長久手消防署庁舎大規模改修工事

長久手消防署庁舎大規模改修工事

図 面 目 録 （ 1 ）

番号	図 面 名 称	番号	図 面 名 称	番号	図 面 名 称
A-001	建築改修工事　特記仕様書（1）	A-041	（改修後） 1階 男性・女性・子どもトイレ　展開図	A-081	（改修後） 3階 ホール、署長室　展開図
A-002	建築改修工事　特記仕様書（2）	A-042	（改修前） 1階 トイレ、浴室、脱衣室、乾燥室、洗濯室　平面詳細図	A-082	（改修後） 3階 警防事務室　展開図
A-003	建築改修工事　特記仕様書（3）	A-043	（改修後） 1階 予防課書庫、シャワールーム、脱衣、脱衣前室、洗面・手洗室　平面詳細図	A-083	（改修前） 3階 消防長室、応接会議室、湯沸、資機材倉庫、倉庫_A　平面詳細図
A-004	建築改修工事　特記仕様書（4）	A-044	（改修前） 1階 トイレ、乾燥室、洗濯室　展開図	A-084	（改修後） 3階 警防事務室、湯沸、倉庫_A　平面詳細図
A-005	建築改修工事　特記仕様書（5）	A-045	（改修前） 1階 浴室、脱衣室　展開図	A-085	（改修前） 3階 消防長室、応接会議室　展開図
A-006	建築改修工事　特記仕様書（6）	A-046	（改修後） 1階 予防課書庫、乾燥室、洗面ロッカー　展開図	A-086	（改修前） 3階 湯沸、資機材倉庫、倉庫_A　展開図
A-007	建築改修工事　特記仕様書（7）	A-047	（改修後） 1階 脱衣、脱衣前室　展開図	A-087	（改修後） 3階 警防事務室　展開図
A-008	建築改修工事　特記仕様書（8）	A-048	（改修前） 1階 車庫、通路、工作室　平面詳細図	A-088	（改修後） 3階 湯沸、倉庫_A　展開図
A-009	敷地案内図	A-049	（改修後） 1階 車庫、通路、防火衣洗濯機乾燥機室　平面詳細図	A-089	（改修前） 3階 講堂　平面詳細図
A-010	（改修前）　敷地配置図	A-050	（改修前） 1階 車庫　展開図	A-090	（改修後） 3階 講堂　平面詳細図
A-011	（改修後）　敷地配置図	A-051	（改修後） 1階 車庫　展開図	A-091	（改修前） 3階 講堂　展開図
A-012	外部仕上表	A-052	（改修前） 1階 通路、工作室　展開図	A-092	（改修前） 3階 講堂　展開図（2）
A-013	内部仕上表（1）	A-053	（改修後） 1階 通路、防火衣洗濯機乾燥機室　展開図	A-093	（改修後） 3階 講堂　展開図（2）
A-014	内部仕上表（2）	A-054	（改修前） 2階 前室兼更衣室、湯沸室、洗面、指令室、仮眠室(212・213)、通信機械室　平面詳細図	A-094	（改修前） 3階 暗室、印刷室、会議室、書庫、書庫兼倉庫　平面詳細図
A-015	内部仕上表（3）	A-055	（改修後） 2階 仮眠室_11-17、洗面ｺｰﾅｰ　平面詳細図	A-095	（改修後） 3階 総務課書庫、会議室、予防課・警防課書庫　平面詳細図
A-016	内部仕上表（4）	A-056	（改修前） 2階 前室兼更衣室、湯沸室、洗面　展開図	A-096	（改修前） 3階 暗室、印刷室、　展開図
A-017	内部仕上表（5）	A-057	（改修前） 2階 指令室、通信機械室　展開図	A-097	（改修前） 3階 会議室　展開図
A-018	（改修前） 1階　平面図	A-058	（改修前） 2階 仮眠室(212・213)　展開図	A-098	（改修前） 3階 書庫、書庫兼倉庫　展開図
A-019	（改修後） 1階　平面図	A-059	（改修後） 2階 仮眠室通路、洗面　展開図	A-099	（改修後） 3階 総務課書庫　展開図
A-020	（改修前） 2階　平面図	A-060	（改修後） 2階 仮眠室_11-13　展開図	A-100	（改修後） 3階 会議室　展開図
A-021	（改修後） 2階　平面図	A-061	（改修後） 2階 仮眠室_14-17　展開図	A-101	（改修後） 3階 予防課・警防課書庫　展開図
A-022	（改修前） 3階　平面図	A-062	（改修前後） 2階 仮眠室(201・202)、仮眠室_18　平面詳細図	A-102	（改修前） 3階 更衣室、和風会議室、踏込、食堂、厨房　平面詳細図
A-023	（改修後） 3階　平面図	A-063	（改修前） 2階 仮眠室(201・202)　展開図	A-103	（改修後） 3階 ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ、食堂、厨房　平面詳細図
A-024	（改修前） 屋上　平面図	A-064	（改修後） 2階 仮眠室_18　展開図	A-104	（改修前） 3階 更衣室　展開図
A-025	（改修後） 屋上　平面図	A-065	（改修前） 2階 仮眠室(203-211)　平面詳細図	A-105	（改修前） 3階 和風会議室、食堂、厨房　展開図
A-026	（改修前） 立面図	A-066	（改修後） 2階 仮眠室_1-10　平面詳細図	A-106	（改修後） 3階 ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ　展開図
A-027	（改修後） 立面図	A-067	（改修前） 2階 仮眠室(203-205)　展開図	A-107	（改修後） 3階 食堂　展開図
A-028	（改修前） 断面図	A-068	（改修前） 2階 仮眠室(206-208)　展開図	A-108	（改修前後） 3階 トイレ　平面詳細図
A-029	（改修後） 断面図	A-069	（改修前） 2階 仮眠室(209-211)　展開図	A-109	（改修前後） 3階 男性トイレ　展開図
A-030	（改修前） 断面詳細図	A-070	（改修前） 2階 通路　展開図	A-110	（改修前後） 3階 女性トイレ　展開図
A-031	（改修後） 断面詳細図	A-071	（改修後） 2階 仮眠室_1-4　展開図	A-111	（改修前後） 3階 トイレ前通路　展開図
A-032	（改修前） 1階 受付、待機室、警防事務室　平面詳細図	A-072	（改修後） 2階 仮眠室_5-8　展開図	A-112	（改修前後） 1階 天井伏図
A-033	（改修後） 1階 予防課、休憩室、相談室、湯沸　平面詳細図	A-073	（改修後） 2階 仮眠室_9-10　展開図	A-113	（改修前後） 2階 天井伏図
A-034	（改修前） 1階 受付、待機室　展開図	A-074	（改修後） 2階 通路　展開図	A-114	（改修前後） 3階 天井伏図
A-035	（改修前） 1階 警防事務室、湯沸室　展開図	A-075	（改修前後） 2階 トイレ、男性トイレ　平面詳細図	A-115	（改修前） 1階 建具伏図
A-036	（改修後） 1階 予防課　展開図	A-076	（改修前後） 2階 トイレ、男性トイレ　展開図	A-116	（改修後） 1階 建具伏図
A-037	（改修後） 1階 休憩室、相談室、湯沸　展開図	A-077	（改修前） 3階 本部事務室、署長兼団長室、ホール　平面詳細図	A-117	（改修前） 2階 建具伏図
A-038	（改修前） 1階 仮眠室　平面詳細図	A-078	（改修後） 3階 警防事務室、署長室、ホール　平面詳細図	A-118	（改修後） 2階 建具伏図
A-039	（改修後） 1階 トイレ　平面詳細図	A-079	（改修前） 3階 本部事務室　展開図（1）	A-119	（改修前） 3階 建具伏図
A-040	（改修前） 1階 仮眠室(101-103　展開図)	A-080	（改修前） 3階 本部事務室　展開図（2）	A-120	（改修後） 3階 建具伏図

建　築　改　修　工　事　特　記　仕　様　書

２０２４年４月１日改訂

章	節・項目	特記事項	備考
1章 一般共通事項	1節 一般事項		
	1.1.1 適用範囲	1．この特記事項以外は下記に準拠する。但し、本工事に関係しない事項は適用しない。 １）尾三消防組合　工事請負契約約款 ２）工事請負契約書 ３）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和　7　年版） ４）〃　公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和　7　年版） ５）〃　公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和　7　年版） ６）〃　公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和　7　年版） ７）〃　公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和　7　年版） ８）〃　公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和　7　年版） ９）〃　公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和　7　年版） １０）〃　公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和　7　年版） １１）〃　建築物解体工事共通仕様書（令和　7　年版） １２）関係法令及び諸工事基準 2．特記事項の適用優先順位　１．◎　（又は○）　２．※ ただし　◎　（又は○）と　※　のある場合は共に適用する。 3．設計図書に関する疑義は原則として、入札執行前に質疑書の提出によって確かめるものとする。	
	1.1.3 官公署その他への届出手続等	＊工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他の関係組織への必要な届出手続等を遅滞なく行う。	
	1.1.4 工事実績情報の登録	＊契約金額が500万円以上の工事は、（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）の工事実績情報サービス（CORINS）に、工事実績情報の登録を、その内容について監督職員の確認を（JACICの様式「登録のための確認のお願い」に従って）受けた上、行う。 また、登録後にJACICが発行する「登録内容確認書」を、監督職員へ提出する。 (1) 工事受注時　契約締結後10日以内 (2) 登録内容の変更時　変更契約締結後10日以内 (3) 工事完了時　工事完成後10日以内 なお、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。	
	1.1.7 別途契約の関連工事	工事区分：建／電／管／空調／汚水処理	

項目	建	電	管	空調	汚水処理	備考	項目	建	電	管	空調	汚水処理	備考
設備スリーブ箱入		※	※	※	※		水槽・その他マンホール	※					
同上用構造体補強	※						厨房機器接続		※	※			
〃　防水処理	※						化粧棚及び鏡						
天井・壁埋込器具切込補強	※					天井下地共	実験台設備接続						
設備機器基礎・防水処理	※					防水処理又は配管	ワイランド用受台	※					
設備機器用アンカーボルト		※	※	※	※	機器類に伴うもの	防煙ｼｬｯﾀｰ、同用煙感知器、防火戸自閉装置及び各間の配　線	※					
（外部）空気取入・換気ガラリ	※												
（内部）空気取入・換気ガラリ	※												
換気扇取付枠	※						同上盤までの電源送り		※				
建物内外配線配管ピット蓋	※						排煙口開放装置				※		
建物内排水溝	※						排煙口手動開放装置	※					
たて樋接続用横引管	※						消火栓組込発信器類及び取付		※				
発電機用　冷却用給水排水		※				減圧水槽以降	不燃性ガス消火設備への電源送り		※				
〃　燃料用油配管		※				燃料小出槽以降	同上制御盤及び制御配線			※			
〃　通気管		※					電動黒板・電動パリマスクへの電源送り		※				
〃　オイルタンク		※											
動力制御盤及び配線		※					受水槽・高架水槽基礎	※					
自動制御盤及び配線				※	※		〃・〃　架台			※			
自動制御盤への電源送り		※					天井・壁改め口	※					
ファンコイルへの電源送り		※					床・改め口	※					
液面電極体リレー及び配線		※					汚水桝			※			汚水処理槽流入側槽入口汚水桝を除く
床排水金物			※										
流し台排水金物	※						雑排水桝			※			
〃　設備接続			※				雨水桝	※					

1章 一般共通事項	1.1.8 疑義に対する協議等	＊設計図書について、監督職員と協議を行った結果、設計図書の訂正または変更を行う場合の措置は、契約書の規定によるほか「愛知県建設局他(都市 交通局・建築局)設計変更事務取扱要領」（令和7年2月改）及び「愛知県建設局工事設計変更ガイドライン」（令和6年2月）を参考とする。	
	2節 工事関係図書		
	1.2.1 実施工程表	＊概成工期　(・)有（令和10 年 1 月 31 日）　※　無	
	1.2.2 施工計画書	＊つり足場を使用するすべての工事において、つり足場の組立・解体作業中の墜落・転落による労働災害防止の方法等の記入及び愛知労働局労働基準部安全課長事務連絡（平成22年7月6日）の注意事項をふまえた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。	
	1.2.4 工事の記録	＊工事写真　１．着手前　工事の着手に先だち、敷地及び周辺道路、建築物、工作物等の現況を撮影する。 ２．工事中　右図に示す黒板に所定事項を明記し、工事の進捗状況を撮影、記録するとともに、特に施工後隠ぺい又は埋設される部分は、被写体に幅広テープを添え撮影する。 ３．完成時　外部（カラー　5箇所） 内部（カラー　適宜箇所） ※デジタルカメラの撮影素子の有効画素数は100万画素程度から300万画素程度を標準とする。	件名／名称／位置／工程／備考／撮影年月日　700×600
	3節 工事現場管理		
	1.3.1 施工管理	＊主任技術者、監理技術者、特例監理技術者及び特例監理技術者を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）の設置及びその他制度の運用については、「監理技術者制度運用マニュアル」（令和７年２月１日付け国土建第１４７号国土交通省不動産・建設経済局建設業課長通知）によるものとする。	
	特例監理技術者	＊本工事において、建設業法第２６条第３項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の要件を全て満たさなければならない。「特例監理技術者」を配置する場合においては、特記仕様書等に示す「監理技術者」を「特例監理技術者」と読み替えるものとする。 １）建設業法第２６条第３項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者（以下「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。 ２）監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有するものであること。なお監理技術者補佐の建設業法第２７条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。 ３）監理技術者補佐は受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。 ４）同一の特例監理技術者を配置できる工事の数は、本工事を含め同時に２件までとする。（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。）については、これら複数の工事を一つの工事とみなす。） ５）特例監理技術者が兼務できる工事は、尾三消防組合管内市町の工事を原則とする。 ６）特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会い等の職務を適正に遂行しなければならない。 ７）特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。 ８）監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。 ９）特例監理技術者が兼務できる工事は尾三消防組合低入札価格調査要領第４条に規定する基準価格を下回った価格をもって契約された工事でないこと。	
		＊本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務する事となる場合、仕様書等に規定する兼務届に加えて、上記１）～９）について各工種における業務分担、連絡体制等を記載した施工計画書を提出すること。	
		＊本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切に工事実績情報サービス（ＣＯＲＩＮＳ）への登録を行うこと。	
	1.3.3 電気保安技術者	＊・適用する　※　適用しない	
	1.3.5 施工条件	＊１）施工時間　時間制限　※　有　・　無 ２）施工に必要な実日数以外に見込んでいる事項 準備期間　(・)30日　※（　）　休日（年末年始休暇及び夏季休暇）　(・)9日(土日含む)　※（　） その他の作業不能日　・（　日）　※　図示による ３）施工順序　※　無　(・)有 ４）工事車両の駐車場所　場所制限　※　有　（※敷地内　）　・　無 ５）資機材置場所　置場制限　※　有　（※敷地内　）　・　無 ６）その他　(・)（　適期による週休二日 土日休みを基本とする　）	
	1.3.11 施工中の環境保全等	＊「土壌汚染対策法」、「県民の生活環境の保全等に関する条例」により措置　・　無　・　有（詳細は図示による）	

No.1a

章	節・項目	特記事項	備考
1章 一般共通事項	1.3.12 発生材の処理等	＊特別管理産業廃棄物の有無　・　無　・　有（処理方法：　） ＊現場において再利用を図るもの　（　） ＊工事に伴い発生する指定副産物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出する。 ※　コンクリート塊　※　アスファルトコンクリート塊　※　建設発生木材　・ ＊下記の物品はPCBの混入が疑われるため、専門の分析機関に依頼し、その有無を確認する。 昭和47年以前の建築物：ポリサルファイド（チオコール）系コーキング 平成元年以前の製造機器：蛍光灯安定器、コンデンサ、リアクトル、コンデンサ用放電コイル、変圧器（絶縁油中の濃度0.5mg/kg以下のものは対象外） 上記以外においても、PCB混入の恐れがある場合は、監督職員と協議の上、確認すること。 ＊PCBを使用している機器材料は、適切は容器に収めた上で引渡しを要する。撤去した機器のﾒｰｶｰ名・型番・製造年月日を記載したﾘｽﾄを作成して総務課へ提出する。 ＊引渡しを要するものは、監督職員の指定する場所に整理し、リストを作成し施設管理者へ引き渡す。 ＊引渡しを要しないものは、すべて場外に搬出し、下記建設副産物の項及び関係法令に従い、適切に処理する。	
	*建設副産物	1．発生材については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）その他関係法令の規定に遵守し「愛知県建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱（以下「リサイクルガイドライン」という。）に基づき、適正に処理する。 2．事前に建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）に登録及び必要事項を入力し、COBRISより出力される「リサイクルガイドライン」に定める計画書（①、②）を監督職員に提出する。　①再生資源利用計画書（実施書）（様式1）　②再生資源利用促進計画書（実施書）（様式2） 3．工事完了時に「リサイクルガイドライン」に定める実施書（①、②）の内容をCOBRISに登録及びＸ工事登録証明書を作成し、監督職員に提出する。 4．建設リサイクル法第９条第１項の対象建設工事に該当する工事は、再資源化等が完了したとき、同法第１８条第１項に基づく報告として、監督職員に「再資源化等報告書」を提出する。 5．産業廃棄物管理表（以下「マニフェスト」という。）管理台帳を作成し、監督職員に提出する。また、マニフェスト伝票は整理して保管し必要に応じて検査員等に提示する。 マニフェスト管理台帳は、交付した全てのマニフェストについて、交付番号、収集運搬業者、処分業者及び廃棄物の内訳（tまたはm3）を記載したものとする。	
	*撤去・更新時のフロン等の取扱い	＊「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」（令和２年４月１日施行）に基づいて行うこと。	
	*分別収集	＊・しない　※　する　「リサイクルガイドライン別表３」による。	
	*再利用を図るもの	＊・（　）・図示による	
	*せっこうﾎﾞｰﾄﾞ処理	＊ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理　・　製造業者に回収を委託　・　管理型最終処分場で埋立処分 ＊上記及び石綿含有せっこうボード以外の処理　・　再資源化　・　管理型最終処分場で埋立処分	
	4節 材料		
	1.4.1 環境への配慮	＊屋内で使用する材料、塗料及び接着剤のホルムアルデヒド放散料　※「F☆☆☆☆　・（　）	
	1.4.2 材料の品質等	＊「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。 1．機器類の能力容量は原則として表示された数値以上とする。（ただし、電気容量は参考とする。） 2．使用する材料は全てアスベストを含まないものとする。 3．本工事に使用する資材等は、品質が規格値を満足し、かつ価格が適正である場合には、県内産の優先使用に努めるものとする。	
	*再資源の利用の指定	＊使用する資材は、リサイクル資材の率先利用を図るため、「愛知県あいくる材率先利用方針」を遵守し、あいくる材として認定されている資材の利用に努める。 １）下記指定材一覧表のうち、愛知県あいくる材率先利用方針第３のAグループの資材は、あいくる材の認定資材を使用する。	

施工場所	品目	規格	再生原料等の指定
			・指定しない　・
			・指定しない　・
			・指定しない　・
			・指定しない　・

		２）あいくる材の指定があるものについて、それ以外のものを使用する場合は、監督職員の承諾を要する。 ３）指定材以外の使用に努める品目は、次のとおりとする。 ・再生加熱アスファルト混合物　・再生路盤材　・ＰＣ製品　・鋳装用ブロック	
	*再生資源の利用の報告	＊工事完了時にあいくる材の使用実績をリサイクルガイドライン様式８「あいくる材使用状況報告書」及び様式９「あいくる材使用実績集約表」を監督職員に提出する。	
	5節 石綿含有建材の調査		
	1.5.1 事前調査	＊大気汚染防止法に基づき、適正に対応すること ＊調査範囲　・　図示による　・（　） ＊既存の設計図書、調査報告書の貸与　(・)有（　）　・　無 ＊石綿含有分析調査　※　行わない　・　行う（調査範囲：　分析方法：　）	
	6節 施工調査		
	1.6.2 施工数量調査	＊調査範囲　※　外壁　・　屋上防水　・　内装　・　塗装　・（　） ＊調査方法　※　打診法　・　赤外線法　・　反射法　・（　）	
	1.6.3 調査のための破壊部分の補修方法	＊補修方法　・（　）	
	7節 施　工		
	1.7.2 技能士	＊※　適用する　・　適用しない	

適用職種	標準仕様書　工事種別	標準仕様書　工事の細分	資格（技能検定における選択作業）	備考
※	鉄筋工事	加工及び組立て	１級鉄筋技能士	適用工事は下記による ※延べ5,000m2以上の工事 ・その他、特に必要と認められる工事
※	コンクリート工事	型枠	１級型枠施工技能士	
※		床コンクリートこて仕上げ	１級左官技能士	
※	防水工事	アスファルト防水工事	１級防水施工技能士	
※		シート防水		
※		塗膜防水		
※		シーリング		

	1.7.5 施工の検査等	＊見本施工　・　行う　※　行わない	
	1.7.9 化学物質の濃度測定	＊下記の室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。 測定する室/箇所数　（1F / 2）（2F / 2）（3F / 4）	
		測定方法　※　パッシブ型採取法　・　文部科学省「学校環境衛生の基準」による　・（　） 対象物質　※　ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン　・　パラジクロロベンゼン　・（　）	
	8節 工事検査及び技術検査		
	1.8.2 技術検査	＊中間技術検査　(・)行わない　・　行う（実施回数：　回、実施する段階：　）	
	9節 完成図等		
	1.9.1 完成時の提出図書	※　愛知県建設局建築工事事務の手引を参考とする。	
	1.9.2 完成図	※　工事完了までに、竣工図（Ａ３二つ折り製本）を２部提出する。 ＊ＣＡＤデータ　※　提出する（CD-RまたはDVD-R）　・　提出しない	
	その他 *光熱水費	＊建物引き渡しまでの電気、水道、ガス等の料金（基本料金、電気主任技術者委託料を含む）は、協議の上、各工事受注者が負担する。	
	*仮　設	＊仮設の方法は施設管理者及び監督職員と協議する。	
	*現場代理人	＊現場代理人においては、受注者との直接的な雇用関係があること。	
	*火災保険等の加入方法	＊保険の種類は、建設工事保険、火災保険又は組み立て保険とする。 期間は、工事資材の現場搬入の日から工事目的物の引渡しの日までとする。（特に定めのない限り、契約上の工事完成期日経過後14日間とする。） 保険金受取人（被保険者）は、受注者とする。	
	*法定外の労災保険	＊本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。	
	*工事中の安全管理	＊南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まった旨の「南海トラフ地震に関連する情報」（随時）が発表された場合、受注者は、継続的に地震関連情報の収集に努め、工事中の建築物等及び仮設物に対し、必要な安全対策措置が実施されているかの確認、及び作業員や必要に応じ第三者に対する安全の再確認を行うなど、有事に際しての備えを行うこと。	
	*事故報告	＊工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。	

株式会社 松浦建築事務所 ＴＥＬ　(0561) 32-0318	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	建築改修工事特記仕様書（１）
	縮尺	NS
	製図	令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
	No.	A-001

章	節	項目	特記事項	備考
1章 一般共通事項		*工事の下請負	＊ 受注者は、下請負に付する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。 １）受注者が、工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。 ２）下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。 ３）下請負者は、建設業法に基づく営業停止の期間中でないこと。 ４）下請負者が、尾三消防組合の競争入札参加資格者である場合には、尾三消防組合指名停止等措置要領に基づく入札参加停止期間中でないこと。 ５）下請負者は、「愛知県が行う契約等からの暴力団排除に関する事務取扱要綱」に掲げる排除措置の措置要件に該当しない者であること。	
		*施工体制台帳	＊ 建設業法第２４条の８第１項の規定により作成した施工体制台帳（同項の規定により記載すべきものとされた事項に変更が生じたことに伴い新たに作成されたものを含む。）の写しを監督職員に提出すること。（公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第１５条）	
		*施工体系図	＊ 下請契約を締結する場合においては、下請金額に関わらず施工体系図を作成し、工事現場の工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲示する。	
		*騒音・振動対策	＊「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達）」及び関連法規の規定を厳守し施工する。 また、騒音規制法、振動規制法の規制の対象となる作業（特定建設作業）及び下記に指定した建設機械については、「低騒音型 低振動型建設機械の指定に関する規程」（建設大臣告示）により指定された建設機械を使用する。 作業名：　建設機械名： 作業名：　建設機械名：	昭和51年 3月 2日制定 昭和62年 3月30日改正 平成 9年 7月31日告示 平成12年12月22日改正 平成13年4月9日改正
		*排出ガス対策型建設機械	＊ 排出ガス対策型建設機械の適用　※　適用する　・　適用しない （対象機種：バックホウ、車輪式トラクターショベル、ブルドーザー、発動発電機、空気圧縮機、油圧ユニット、ローラー類、 ホイルクレーン（いずれもディーゼルエンジン出力7.5～260KW）） （対象規制値：排出ガス対策型建設機械指定要領（国土交通省総合政策局）の別表１（１次基準値））	平成14年4月1日改正
		*石綿含有仕上塗材の除去・補修、既存壁等への作業	＊ 既存の壁等に対して作業（仕上塗材の除去・補修、コア抜きやアンカーボルト打設作業など仕上塗材の破断を伴う全ての作業）をする場合は、既存壁等の石綿含有塗材使用の有無を確認し、石綿が含有されている場合は、除去工法、作業方法等について関係法令所管部局及び監督職員と協議の上、適切な石綿飛散防止措置を講じること。	
		*建設業退職金共済制度	＊ 本工事に関わる自社及び下請負会社の中にこの制度を使用するものがある場合は、同制度に加入し、掛金収納書を提出しなければならない。 制度を使用しない又は証紙を購入しない場合は、理由書等を提出する。	
		*貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱	＊ 工事場所が「自動車Nox・PM法」の規制対象地域内においては、「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」に基づき、対象地域外からの流入車も含め、車種規制非適合車の使用抑制に努めるものとする。	
		*特定特殊自動車の燃料	＊ 受注者は、軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたって、燃料を購入して使用するときは、当該特定特殊自動車の製作等に関する事業者または団体が推奨する軽油（ガソリンスタンド等で販売されている軽油をいう）を選択しなければならない。また、監督職員から特定特殊自動車に使用した燃料の購入伝票を求められた場合、提示をしなければならない。なお、軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたっては、下請負者等に関係法令等を遵守させるものとする。	
		*薬液注入工法	＊ 薬液注入工法により地盤の改良を行う場合は、「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針」（建設省事務次官通達）による。	昭和49年7月10日制定
2章 仮設工事	1節	共通事項		
	2.1.3	騒音・粉じん等の対策	＊ 騒音・粉じん等の対策　・　防音パネル　・　防音シート　※　図示による 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲等　※　図示による	
	2節	足場その他		
	2.2.1	足場その他	＊ 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」（平成２１年４月２４日厚生労働省労働基準局長　基発第0424002号）に規定する、「手すり先行工法等に関するガイドライン」別紙２「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の（２）手すり据置方式又は２の（３）手すり先行専用足場方式により行う。 ＊ 屋根面からの墜落事故防止対策として、必要に応じて、JIS A8971（屋根工事用足場及び施工方法）に基づき、建方作業台、渡り廊下、墜落防護さく等の足場及び装備機材を設置する。 ＊ 内部足場　※　脚立・足場板等　・　枠組足場又はくさび緊結式足場　・　（　） ＊ 外部足場　※　枠組足場又はくさび緊結式足場　・　単管本足場　・　仮設ゴンドラ　・　移動式足場　・　（　） 養生シート等　・　防護シート（JISA8952）　・　防護ネット(JISA8960)　・　防音シート　・　（　） ＊ 材料、撤去材等の運搬方法　・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種　・　Ｅ種　・　（　）	[表 2.2.1]
			＊ 高さが５m以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能墜落制止用器具はフルハーネス型とし、「墜落制止用器具の規格」（平成３１年１月２５日厚生労働省告示第１１号）によるものとする。	
	3節	養　生		
	2.3.1	既存部分の養生	＊ 既存部分の養生　※　ビニルシート、合板等により適切に行う　・　図示による ＊ 既存部分の既存家具、既存設備等の養生方法　※　監督職員の承諾を受けてビニルシート等で行う　・　図示による ＊ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法　・　図示による　・　ビニルシート等　・　保管場所（　） ＊ 固定された備品、机・ロッカーの移動　・　図示による　・　移動しない	
	2.3.2	仮設間仕切り	＊ 仮設間仕切り　・　Ａ種　・　Ｂ種　※　Ｃ種　設置箇所　※　図示による 材　種　＊　合板厚さ　※　9mm　・　（　）　＊ せっこうボード厚さ　※　9.5mm　・　（　） 仕上げ塗装等　・　有　※　無	[表 2.3.1]
		*仮設扉	＊ 種　別　※　木製　（合板張り）　・　（　）　設置箇所　※　図示による	
	4節	仮設物		
	2.4.1	監督職員事務所、受注者事務所等	＊ 監督職員事務所　※　設けない　・　既存建物内の一部　・　構内に新設（規模　（　）m2程度） ＊ 標準備品　机、いす、書棚、行事予定表、ゴム長靴、雨合羽、保護帽、懐中電灯、寒暖計、望落制止用器具、衣類ロッカー、 受注者加入の電話子機、冷暖房機器、消火器、湯沸器、掃除具 ＊ 選択備品　・　パソコン　・　プリンター　・　ＦＡＸ　・　複写機 ＊ 受注者事務所（設ける場合）　※　構内（従業員宿舎を除く）　・　構外 ＊ 材料置場　※　構内　・　構外 ＊ その他仮設物　※　構内（従業員宿舎を除く）　・　構外 ＊ 建設現場標識　※　設ける（他工事と共同設置を可とする）　・　設けない	１２００以上 工事名　○○○○大規模改修工事 工期　令和○○年○○月○○日まで 発注者　尾三消防組合 工事監理者　○○○○設計事務所 工事施工者　○○○○建設 1000以上
3章 防水改修工事	1節	一般事項		
		*保証期間	＊ 防水の保証期間は工事目的物引渡しからモルタル防水５年、その他防水１０年とする。	
	3.1.3	施工一般	降雨等に対する養生方法　※　3.1.3 (5) による　・　（　）	
	3.1.4	改修工法の種類及び工程	＊ 防　水　種類（ X-2 ）　保護層新設の有無　※　設ける　○　設けない　[表 3.1.1] ＊ シーリング　種類（ MS-2、PU-2 ）　[表 3.1.2] ＊ 立上り部等の既存防水層及び保護層の撤去　・　撤去しない　○　図示による ＊ 屋内防水で、新規防水工法にて保護層を新設　・　新設する　・　図示による	
	2節	既存防水層の処理		
	3.2.5	ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ周りの処理	＊ 改修用ドレン設置（POAS工法、POASI工法、POD工法、PODI工法、POS工法、POSI工法及びPOX工法） ※　設ける（主防水材製造所の仕様による）　・　設けない	
	3.2.6	既存下地の補修及び処置	＊ 補修箇所の形状、長さ、数量等　※　図示による　・　（　） ＊ 既存露出防水層の表面仕上塗装の除去（M4AS工法、M4ASI工法、M4CI工法、M4DI工法）　JIS K 2207 ※　除去する（　※　デッキブラシ水洗い　・　高圧水洗浄　）　・　除去しない ＊ 塗膜防水層の表面仕上塗装の除去（L4X工法）　JIS K 2207 ※　除去する（　※　デッキブラシ水洗い　・　高圧水洗浄　）　・　除去しない ＊ 既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置（POS（機械）工法、POSI（機械）工法） ※　3.2.6 (4)（ウ）(g) ①～③による　・　（　） ＊ 架台回り等の処置　※　図示による　・　監督職員との協議による	
	3節	アスファルト防水		
	3.3.2	材　料	＊ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ　＊ 種類　※　表 3.3.3～表 3.3.9までによる・（　）　＊ 厚さ（　）mm ＊ 部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ　＊ 種類　※　表 3.3.3～表 3.3.9までによる・（　）　＊ 厚さ（　）mm ＊ 押え金物　※　アルミ製 Ｌ－30×15×2.0（m）程度　・　（　） ＊ 屋根保護防水断熱工法の断熱材の材質及び厚さ　＊ 材質　※　3.3.2 (8) による　・　（　）　＊ 厚さ（　）mm ＊ 屋根露出防水断熱工法の断熱材の材質及び厚さ　＊ 材質　※　3.3.2 (9) による　・　（　）　＊ 厚さ（　）mm ＊ 絶縁用シート材料 ＊ 屋根保護防水密着工法及び屋根保護防水絶縁工法　※　ｶﾞﾗｽﾏｯﾄﾌｪﾙﾄ厚さ0.15mm以上　・　（　） ＊ 屋根保護防水密着断熱工法及び屋根保護防水絶縁断熱工法　※　ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝを平織りしたﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ（70g/m2程度）　・　（　） ＊ 保護コンクリート　※　無　・　有 ＊ 設計基準強度　※　18N/mm2　・　（　）　＊ スランプ　※　15cm　・　（　） ＊ 立上り部の保護　・　乾式保護材（　）を使用　・　（　） ＊ 立上り部の保護のれんが　※　JIS R1250（普通レンガ）　・　（　）	

章	節	項目	特記事項	備考
3章 防水改修工事	3.3.3	種別及び工程	＊ 施工箇所 / 改修工法 / 新規防水層の種別 ＊ 立上り部における保護コンクリートの適用及び工法（P1B工法、P1BI工法、T1BI工法、P2A工法、P2AI工法） ・　設ける（　・　図示による　・　（　））　・　設けない ＊ 仕上塗料の種類及び使用量（M4C工法、M4DI工法、M3D工法、M3DI工法、P0D工法、P0DI工法） ＊ 種　類　・　図示による　・　（　）　＊ 使用量　・　図示による　・　（　）kg/㎡ ＊ 脱気装置の種類及び設置数量（M3D工法、M3DI工法、M4DI工法、M3D工法、P0D工法、P0DI工法）　※　主材製造所の指定による　・　（　） ＊ 保護層（P1E、P2E工法）　・　設ける（ 仕様等　・　図示による　・　（　））　・　設けない	[表 3.1.1（改修工法）] [表 3.3.3～3.3.10（種別）]
	3.3.4	施工	＊ アスファルトルーフィング類のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材張りじまい位置　・　図示による　・　（　）	
	3.3.5	保護層等の施工	＊ 平場の保護コンクリート厚さ ＊ こて仕上げ　※　80mm　・　（　）　＊ 床タイル張り等の仕上げ　※　60mm　・　（　） ＊ こて仕上げの場合の平たんさ　・　7mm以下/3m　・　10mm以下/3m　・　10mm以下/1m	[表 8.1.5]
			＊ 屋上排水溝の適用　・　適用する　・　適用しない	
	4節	改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水		
	3.4.2	材　料	＊ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの種類及び厚さ ＊ 種　類　※　表 3.4.1～表 3.4.3までによる　・　（　）　＊ 厚さ（　）mm ＊ 粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ及び部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの種類及び厚さ ＊ 種　類　※　表 3.4.1～表 3.4.3までによる　・　（　）　＊ 厚さ（　）mm ＊ 押え金物　材質、形状及び寸法　・　図示による　※　アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度　・　（　） ＊ 屋根露出防水絶縁断熱工法に用いる断熱材　＊ 材質　※　3.4.2 (3)（ウ）による　・　（　）　＊ 厚さ（　）mm	
	3.4.3	種別及び工程	＊ 施工箇所 / 改修工法 / 新規防水層の種別 ＊ 仕上塗料の種類及び使用量（M3AS工法、M3ASI工法、M4AS工法、M4ASI工法、POAS工法、POASI工法、M4ASI工法） ＊ 種　類　・　図示による　・　（　）　＊ 使用量　・　図示による　・　（　）kg/㎡ ＊ 脱気装置の種類及び設置数量（M3AS工法、M3ASI工法、POAS工法、POASI工法、M4ASI工法） ＊ 防湿層の設置（M3ASI工法、M4ASI工法、POASI工法）　・　設ける（ 仕様等　・　図示による　・　（　））　・　設けない	[表 3.1.1（改修工法）] [表 3.4.1～3.4.3（種別）]
	5節	合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水		
	3.5.2	材　料	＊ ルーフィングシートの種類及び厚さ　※　表 3.5.1、表 3.5.2及び表 3.5.3による　・　（　）＊ 厚さ（　）mm ＊ 絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質　※　発砲ポリエチレンシート　・　（　） ＊ 固定金具の材質及び寸法形状　※　3.5.2 (3)（イ）による　・　（材質：　寸法形状：　）	
			＊ 断熱工法に用いる断熱材の材質及び厚さ ＊ 機械的固定工法の場合　※　3.5.2 (3)（エ）(a) による　・　（　）　＊ 厚さ（　）mm ＊ 接着工法の場合　※　3.5.2 (3)（エ）(b) による　・　（　）　＊ 厚さ（　）mm	
	3.5.3	種別及び工程	＊ 施工箇所 / 改修工法 / 新規防水層の種別及び厚さ ＊ 脱気装置の種類及び設置数量（POS工法、POSI工法、S4S工法、S4SI工法、S3S工法、S3SI工法、M4S工法、M4SI工法） ※　主材製造所の指定による　・　（　） ＊ 仕上塗料の種類及び使用量（POS工法、POSI工法、S4S工法、S4SI工法、M4S工法、M4工法） ＊ 種　類　※　図示による　・　（　）　＊ 使用量　※　図示による　・　（　）kg/㎡ ＊ 防湿用フィルムの設置（種別：SI-M1工法、SI-M2工法）　※　図示による　・　（　） ＊ モルタル塗り厚さ（種別：S-C1）　・　（　）mm	[表 3.1.1（改修工法）] [表 3.5.1～3.5.3（種別）]
	3.5.4	施　工	＊ 目地処理（接着工法及び屋内保護密着工法） PCコンクリート部材下地及びALCパネル下地（種別：S-C1）　※　図示による　・　（　） ＊ ＰＣコンクリート部材及びALCパネル下地の入隅部の増張り（種別：S-F1、SI-F1、S-C1）　※　図示による　・　（　） ＊ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した機械的固定工法　※　図示による　・　（　）	
			＊ 保護層（屋内保護密着工法） 平場のモルタル塗り　床塗り工法　※　6.15.6 (2)（ア）及び（イ）に準ずる　・　（　） 下地モルタル塗り　※　6.15.6 (3)（ア）に準ずる　・　（　） 平場の保護コンクリートの厚さ　・　（　）mm 立上り部の保護モルタルの塗厚　※　7mm　・　（　）mm	
	6節	塗膜防水		
	3.6.3	種別及び工程	＊ 施工箇所 / 改修工法 / 新規防水層の種別 屋上 / POX / 平場：X-1、立上り：X-2 訓練塔屋根 / S3X / 平場：X-1、立上り：X-2 ＊ 脱気装置の種類及び設置数量（POX工法及びL4X工法の種別 X-1）　※　主材料製造所の指定による　・　（　） ＊ 仕上塗料の種類及び使用量（POX工法、L4X工法の種別X-2） ＊ 種　類　・　図示による　○　（ ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系 ）　＊ 使用量　・　図示による　・　（ 平場2.5kg/㎡、立上り1.5kg/㎡ ）kg/㎡ ＊ 保護層の適用（P1Y工法、P2Y工法の工程4及び工程5）　・　設ける（ 仕様等　・　図示による　・　（　））　・　設けない	[表 3.1.1（改修工法）] [表 3.6.1～3.6.2（種別）]
	7節	シーリング		
	3.7.2	材料	＊ 改修工法 / シーリング再充填 / シーリング再充填 施工箇所 / 図示による / 図示による 種　類 / MS-2、PU-2 / MS-2、PU-2 ＊ シーリング材表面の仕上　○　仕上なし	[表 3.1.2（改修工法）] [表 3.7.1]
	3.7.3	目地寸法	＊ 施工箇所 / コンクリート打継ぎ部 / ひび割れ誘発部 / ｶﾞﾗｽ回り（5.13.3）以外 / 左記以外 目地幅（mm） / ※　２０　・　（　） / ※　２０　・　（　） / ※　５　・　（　） / ※　１０　・　（　） 目地深さ（mm） / ※　１０　・　（　） / ※　１０　・　（　） / ※　５　・　（　） / ※　１０　・　（　）	
	3.7.7	ブリッジ工法	＊ ﾎﾞﾝﾄﾞﾌﾟﾚｰｶｰ張り　・　行う　○　行わない　＊ ｴｯｼﾞﾝｸﾞ材張り　・　行う　○　行わない	
	3.7.8	シーリング材の試験	＊ 接着性試験　※　簡易接着性試験　○　（ ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系 ）	
	8節	と　い		
	3.8.2	材　料	＊ 材種等　※　（　）　[表 3.8.1] ＊ 表面処理鋼板の場合の表面及び裏面の塗膜の種類　※　図示による　・　（　） 耐酸被覆鋼板　・　使用する　○　使用しない ＊ 防露材のホルムアルデヒドの飛散量　※　F☆☆☆☆　・　（　） ＊ とい受金物、足金物の材種、形状及び取付け間隔　・　図示による　※　表3.8.2により溶融亜鉛めっきを行ったもの 多雪地域　・　適用する　・　適用しない	
	3.8.3	工　法	＊ 既存とい、その他の撤去及び降雨等に対する養生方法　・　（　） ＊ 鋼管製といの防露　※　表3.8.5による　・　（　） ＊ たてどい受金物の取付け　・　（　） ＊ ルーフドレンの取付け　※　3.8.3 (8) による　・　（　）	
	9節	アルミニウム製笠木		
	3.9.2	材　料	＊ 部材の種類　・　押出し２５０形　・　押出し３００形　・　押出し３５０形　・　板材折曲げ形（ ・　板材折曲げ形（　・　オーブン形式　・　シール形式　） ＊ 板材折曲げ形の本体幅及び板厚　＊ 本体幅　・　（　）mm　＊ 板厚さ　※　2.0mm　・　（　）mm ＊ 表面処理　※　A-1種又はB-1種　・　A-2種　・　B-2種　・　C-1種　・　C-2種　・　D種	[表 5.2.2]
	3.9.3	工　法	＊ 既存笠木撤去及び新規笠木の下地補修の工法　・　図示による　・　（　） ＊ 板材折曲げ形笠木の取付方法　・　図示による　・　（　） ＊ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具 ＊ 間隔　・　（　）mm　＊ 固定方式　・　（　）　＊ その他　・　（　）	

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
ＴＥＬ　(0561)　32-0318	図面名称	建築改修工事特記仕様書（２）	縮尺　NS
			製図　令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号　松浦孔明		No. A-002

章	節・項目	特記事項	備考
4章 外壁改修工事	1節 一般事項		
	4.1.4 外壁改修工法の種類	＊ 外部仕上げ部位 ＼ コンクリート打放し仕上げ ／ モルタル塗り仕上げ ／ タイル張り仕上げ ひび割れ部：※ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 ／ ※ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 ／ ○ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ ○ タイルひび割れ部：タイル貼替え 欠損部：※ 充填工法 ・ （　） ／ ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ／ ○ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 浮き部：・ ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・ ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・ ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙｰ注入工法 ・ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙｰ注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ／ ○ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙｰ注入工法 ・ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞｴﾎﾟｷｼ樹脂注入ﾀｲﾙ固定工法 ・ ﾀｲﾙ部分張替え工法 ・ ﾀｲﾙ張替え工法 目地：○ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法	
	4.1.5 改修後の塗り仕上げの種類	＊ 改修後の新規仕上げ　※ 図示による ・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ マスチック塗材塗り ・ 外壁用塗膜防水材塗り	
	2節 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放仕上外壁の改修		
	4.2.4 材料	＊ Uカットシール材充填工法に使用するシーリング材　※ ﾎﾟﾘｻﾙﾌﾚﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ材（ ・ 1成分形 ○ 2成分形） ・ （　） ／ ＊ シール工法材料 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ （　） ・ 図示による ／ ＊ 充填工法材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ （　） ・ 図示による	JIS A 6024
	4.2.5 樹脂注入工法	＊ 注入工法の種類 ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法：＊ 注入間隔　※ 200～300mm間隔 ・ （　）／＊ 樹脂注入量　・ （　） ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法：＊ 注入口間隔　・ （　）／＊ 樹脂注入量　・ （　） ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法：＊ 注入口間隔　・ （　）／＊ 樹脂注入量　・ （　） ＊ ひび割れ部の注入状況の確認方法　※ コアの抜取り　・ （　） ＊ コアの抜取り個数　※ 1個／長さ500mごと及びその端数　・ （　） ＊ 抜取り部の補修方法　※ 図示による　・ （　）	
	3節 ﾓﾙﾀﾙ塗仕上外壁の改修		
	4.3.5 材料	＊ モルタル塗替え工法用材料　＊ モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 ＊ 既製目地材 ・ 使用する（形状　） ・ 使用しない ＊ ｱﾝｶｰﾋﾟﾝｸﾞ注入工法用材料　＊ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ　※ 図示による　・ （　） ＊ ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ材質等　※ SUS304 呼び径4mmの丸鋼で全ﾈｼﾞ切り加工したもの　・ （　） ＊ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ注入工法材料　注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ材質等　※ SUS304 呼び径6mm　・ （　）	
	4.3.6 樹脂注入工法	＊ 注入工法の種類 ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法：＊ 注入間隔　※ 200～300mm間隔 ・ （　）／＊ 樹脂注入量　・ （　） ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法：＊ 注入口間隔　・ （　）／＊ 樹脂注入量　・ （　） ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法：＊ 注入口間隔　・ （　）／＊ 樹脂注入量　・ （　） ＊ ひび割れ部の注入状況の確認方法　※ コアの抜取り　・ （　） ＊ コアの抜取り個数　※ 1個／長さ500mごと及びその端数　・ （　） ＊ 抜取り部の補修方法　※ 図示による　・ （　）	
	4.3.10 モルタル塗替え工法	＊ 下地処理で仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処置　※ 図示による　・ （　）	
	4.3.11 ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	＊ 浮き部分に対するアンカーピン本数 一般部分（本/m2）：※ 16 ・ （　）／指定部分（本/m2）：※ 25 ・ （　）／狭幅部（本/m）：※ 5 ・ （　） ＊ アンカーピン固定用樹脂充填量（挿入孔1箇所当たり）　※ 25ml ・ （　）	[図 4.3.1]
	4.3.12 ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	＊ 浮き部分に対するアンカーピン本数及び注入口数 アンカーピン本数（本/m2）：一般部分：※ 13 ・ （　）／指定部分：※ 20 ・ （　） 注入口の箇所数（箇所/m2）：一般部分：※ 12 ・ （　）／指定部分：※ 20 ・ （　） ＊ 樹脂注入量（注入口1箇所当たり）　※ 25ml ・ （　）	[表 4.3.5] [図 4.3.2]
	4.3.13 ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙｰ注入工法	＊ 浮き部分に対するアンカーピン本数及び注入口数 アンカーピン本数（本/m2）：一般部分：※ 13 ・ （　）／指定部分：※ 20 ・ （　） 注入口の箇所数（箇所/m2）：一般部分：※ 12 ・ （　）／指定部分：※ 20 ・ （　） ＊ 樹脂注入量（注入口1箇所当たり）　※ 50ml ・ （　）	[表 4.3.5] [図 4.3.2]
	4.3.14 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	＊ 浮き部分に対する注入口付アンカーピン本数 一般部分（本/m2）：※ 9 ・ （　）／指定部分（本/m2）：※ 16 ・ （　）／狭幅部（本/m）：※ 5 ・ （　） ＊ 樹脂注入量（注入口1箇所当たり）　※ 25ml ・ （　）	
	4.3.15 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	＊ 浮き部分に対する注入口付アンカーピン本数 アンカーピン本数（本/m2）：一般部分：※ 9 ・ （　）／指定部分：※ 16 ・ （　） 注入口の箇所数（箇所/m2）：一般部分：※ 9 ・ （　）／指定部分：※ 16 ・ （　） ＊ 樹脂注入量（注入口1箇所当たり）　※ 25ml ・ （　）	[表 4.3.6] [図 4.3.4]
	4.3.16 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙｰ注入工法	＊ 浮き部分に対する注入口付アンカーピン本数及び アンカーピン本数（本/m2）：一般部分：※ 9 ・ （　）／指定部分：※ 16 ・ （　） 注入口の箇所数（箇所/m2）：一般部分：※ 9 ・ （　）／指定部分：※ 16 ・ （　） ＊ 樹脂注入量（注入口1箇所当たり）　※ 50ml ・ （　）	[表 4.3.6] [図 4.3.4]
	4節 ﾀｲﾙ張り仕上外壁の改修		
	4.4.5 材料	＊ タイル（部分）張替え工法用材料　＊ 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ○ 外装壁タイル接着剤 ＊ タイルの形状、寸法、用途による区分、耐凍害性の有無、標準色・特別色の別等 ○ （既設に合わせた特注タイル　） ＊ タイル役物 ・ 使用する ・ 使用しない ○ 使用する（接着） ＊ 既調合モルタル　※ 図示による ・ （　） ＊ 外壁タイル接着剤張りのシーリング材 ＊ 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地　※ ポリウレタン系 ・ （　） ＊ 伸縮調整目地及びその他の目地　※ 変成シリコーン系 ・ （　）	
	4.4.7 タイル部分張替え工法	＊ 既存の下地モルタルを撤去せず、1か所当たりの張替え面積が0.25m2を超える場合の工法　※ 図示による ・ （　）	
	4.4.8 タイル張替え工法	＊ 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置　※ 表4.4.2による ・ （　） ＊ タイルの見本焼き　※ 行わない ○ 行う ＊ タイルの試験張り　※ 行わない ・ 行う ＊ セメントモルタルによるタイル張り工法 ＊ 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理　※ 図示による ・ （　） ＊ 下地モルタルの接着力試験　※ 図示による ・ （　） ＊ 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り ＊ ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ＊ 有機系接着剤によるタイル張り ＊ 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理　※ 図示による ・ （　） ＊ 下地調整剤塗りの接着力試験　※ 図示による ・ （　） ＊ タイルの種類等 ○ 外装タイル ・ ユニットタイル	[表 4.4.2] [表 4.4.5] [表 4.4.6]
	4.4.9 ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	＊ 浮き部分に対するアンカーピン本数 アンカーピン本数：一般部分（本/m2）：※ 16 ・ （　）／指定部分（本/m2）：※ 25 ・ （　）／狭幅部（本/m）：※ 5 ・ （　） ＊ アンカーピン固定用樹脂充填量（挿入孔1箇所当たり）　※ 25ml ・ （　）	[図 4.3.1]

No.3a

章	節・項目	特記事項	備考
4章 外壁改修工事	4.4.10 ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	＊ 浮き部分に対するアンカーピン本数及び注入口数 アンカーピン本数（本/m2）：一般部分：※ 13 ・ （　）／指定部分：※ 20 ・ （　） 注入口の箇所数（箇所/m2）：一般部分：※ 12 ・ （　）／指定部分：※ 20 ・ （　） ＊ 樹脂注入量（注入口1箇所当たり）　※ 25ml ・ （　）	[表 4.3.5] [図 4.3.2]
	4.4.11 ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙｰ注入工法	＊ 浮き部分に対するアンカーピン本数及び注入口数 アンカーピン本数（本/m2）：一般部分：※ 13 ・ （　）／指定部分：※ 20 ・ （　） 注入口の箇所数（箇所/m2）：一般部分：※ 12 ・ （　）／指定部分：※ 20 ・ （　） ＊ 樹脂注入量（注入口1箇所当たり）　※ 50ml ・ （　）	[表 4.3.5] [図 4.3.2]
	4.4.12 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	＊ 浮き部分に対する注入口付アンカーピン本数 アンカーピン本数：一般部分（本/m2）：※ 9 ・ （　）／指定部分（本/m2）：※ 16 ・ （　）／狭幅部（本/m）：※ 5 ・ （　） ＊ 樹脂注入量（注入口1箇所当たり）　※ 25ml ・ （　）	
	4.4.13 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	＊ 浮き部分に対する注入口付アンカーピン本数 アンカーピン本数（本/m2）：一般部分：※ 9 ・ （　）／指定部分：※ 16 ・ （　） 注入口の箇所数（箇所/m2）：一般部分：※ 9 ・ （　）／指定部分：※ 16 ・ （　） ＊ 樹脂注入量（注入口1箇所当たり）　※ 25ml ・ （　）	[表 4.3.6] [図 4.3.4]
	4.4.14 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙｰ注入工法	＊ 浮き部分に対する注入口付アンカーピン本数及び アンカーピン本数（本/m2）：一般部分：※ 9 ・ （　）／指定部分：※ 16 ・ （　） 注入口の箇所数（箇所/m2）：一般部分：※ 9 ・ （　）／指定部分：※ 16 ・ （　） ＊ 樹脂注入量（注入口1箇所当たり）　※ 50ml ・ （　）	[表 4.3.6] [図 4.3.4]
	4.4.15 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞｴﾎﾟｷｼ樹脂注入ﾀｲﾙ固定工法	＊ 注入口付アンカーピンの本数　・ （　）本/m2 ＊ 樹脂注入量（注入口1箇所当たり）　※ 25ml ・ （　）	
	4.4.16 目地改修工法	＊ 伸縮調整目地の位置及び寸法　※ 図示による ・ （　）	
	5節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修		
	4.5.2 材料	＊ 塗り仕上げ（仕上塗材） 施工箇所／種類（呼び名）／仕上げの形状／工法 ＊ 外装厚塗材Ｓｉ、Ｅの上塗り材 ・ 塗る ・ 塗らない ＊ 外装厚塗材Ｃの上塗材がセメントスタッコ以外の塗材の場合 ・ 図示による ・ （　） ＊ 複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の耐候性　※ 耐候形３種 ・ 耐候形（　）種 ＊ 複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類　※ 水系アクリルのつやあり ・ （　）	[表 4.5.1] [表 4.5.2]
	4.5.3 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整	＊ 工法 ・ サンダー工法 ・ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤工法　※ 水洗い工法 ＊ 下地調整で下地調整塗材に代えてポリマーセメントモルタルを使用 ・ 使用する ・ 使用しない ＊ 下地処理の処理範囲　※ 既存仕上面全体 ・ （　） ＊ 水洗い工法の処理範囲　※ 他の工法で処理する範囲以外の既存仕上面全面 ・ （　） ＊ 下地のひび割れ部等の補修 ・ （　） ・ 図示による	
	7節 外壁用塗膜防水材による改修		
	4.7.2 材料	＊ 塗り仕上げ（外壁用塗膜防水材） 施工箇所／仕上げの形状／工法 ＊ 模様材の種類　※ 図示による ・ （　） ＊ 仕上げを砂壁上、じゅらく状等とする場合の模様材の種類と所要量　※ 図示による ・ （種類：　所要量：　） ＊ 仕上塗料の種類　※ 図示による ・ （　） ＊ 仕上塗料の耐候性　※ 図示による ・ （　）	[表 4.7.1]
	4.7.3 施工一般	＊ 下地挙動緩衝材 ・ 使用する ・ 使用しない	
5章 建具改修工事	1節 一般事項		
	5.1.3 改修工法	＊ 改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 ＊ 開口周囲の補修工法及び範囲　※ 図示による ・ （　） ＊ 防火戸の適用　※ 図示による ・ （　）	
	5.1.4 防火戸	＊ 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸と連動させるもの ・ 図示による ・ ヒューズ装置 ・ 熱感知器 ・ 煙感知器	
	5.1.5 見本の製作等	＊ 建具見本の製作 ・ 有　※ 無 ＊ 特殊な建具の仮組 ・ 実施する ・ 実施しない	
	5.1.6 取り付け調整等	＊ ブラインドボックス等の再使用 ・ 有 ・ 無　＊ 再使用するもの （　）	
	5.1.7 その他	＊ 防犯建物部品の使用 ・ 使用する ・ 使用しない	
	2節 アルミニウム製建具		
	5.2.2 性能及び構造	＊ 耐風圧性：・ S-1 ・ S-2 ・ S-3 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ S-7／気密性：・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ・ A-4／水密性：・ W-1 ・ W-2 ・ W-3 ・ W-4 ・ W-5 ＊ 外部に面するアルミニウム製建具の種別 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種（枠の見込み寸法：　） ＊ 防音ドア、サッシ（遮音性）：・ 無 ・ 有／断熱ドア、サッシ（断熱性）：・ 無 ・ 有 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4／耐震ドアセット（面内変形追随性）：・ 無 ・ 有 ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5／・ D-1 ・ D-2 ・ D-3	JIS A 4702（ドア） JIS A 4706（サッシ） [表 5.2.1]
	5.2.3 材料	＊ 防虫網 ・ 設置する（　※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス製（SUS316） ・ 設置しない 線径、網目 ・ 線径0.25mm以上、網目16～18メッシュ（合成樹脂） ・ （　）	
	5.2.4 形状及び仕上げ	＊ 表面処理の種別 ・ （　） ・ 図示による ＊ 色 ・ 標準色 ・ 特注色 ＊ 結露水の処理方法 ・ （　） ・ 製作所の仕様による	[表 5.2.2]
	5.2.5 工法	＊ 水きり板 （　）　＊ ぜん板 （　）　＊ その他 （　）	
	3節 樹脂製建具		
	5.3.2 性能及び構造	＊ 耐風圧性：・ S-1 ・ S-2 ・ S-3 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ S-7／気密性：・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ・ A-4／水密性：・ W-1 ・ W-2 ・ W-3 ・ W-4 ・ W-5 ＊ 外部に面する樹脂製建具の種別 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種 ＊ 枠の見込み寸法 ・ 図示による ・ （　） ＊ 防音ドア、サッシ（遮音性）：・ 無 ・ 有／断熱ドア、サッシ（断熱性）：・ 無 ・ 有 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4／耐震ドアセット（面内変形追随性）：・ 無 ・ 有 ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5／・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ＊ 防音ドア、防音サッシの種別 ・ T-1 ・ T-2 ＊ 外部に面する断熱ドア、サッシの種別 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 ＊ 外壁に面する建具の日射熱取得性の等級 ・ 図示による ・ （　）	[表 5.3.1] [表 5.3.2] [表 5.3.3]
	5.3.3 材料	＊ 防虫網 ・ 設置する（　※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス製（SUS316） ・ 設置しない 線径、網目 ・ 線径0.25mm以上、網目16～18メッシュ（合成樹脂） ・ （　） ＊ ガラス　※ 複層ガラス ・ 単層ガラス	
	5.3.4 形状及び仕上げ	＊ 表面色　※ 標準色 ・ 特注色	
	5.3.5 工法	＊ 水きり板 （　）　＊ ぜん板 （　）　＊ その他 （　）	

株式会社 松浦建築事務所
ＴＥＬ （0561） 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	建築改修工事特記仕様書（３）
縮尺	NS
製図	令和08年03月
No.	A-003

１級建築士
登録第92794号 松浦孔明

章	節・項目	特記事項	備考
5 建具改修工事	４節 鋼製建具		
	5.4.2 性能及び構造	＊簡易気密型ドアセットの適用 ・適用する（気密性：A-3 水密性：W-1） ・適用しない	[表 5.4.1]
		＊外部に面する鋼製建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6	[表 5.2.1]
		＊耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級 ・図示による ・（ ）	
		＊ 防音ドア、サッシ（遮音性）：・無 ・有 ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 / 断熱ドア、サッシ（断熱性）：・無 ・有 ・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5 / 耐震ドアセット（面内変形追随性）：・無 ・有 ・D-1 ・D-2 ・D-3	
	5.4.3 材料	＊点検口の類のくつずりの材料 ・図示による ・（ ）	
	5.4.4 形状及び仕上げ	＊鋼板類の厚さ ※表5.4.2による ・図示による ・（ ）	[表 5.4.2]
		＊くつずりの仕上げ ・HL（ステンレス鋼板の場合） ・図示による ・（ ）	
	5.4.6 標準型鋼製建具	＊形状及び寸法 ・図示による ・（ ）	[表 5.4.5]
	５節 鋼製軽量建具		
	5.5.2 性能及び構造	＊簡易気密型ドアセットの適用 ・適用する（気密性：A-3） ・適用しない	
		＊耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級 ・図示による ・（ ）	
		＊ 防音ドア、サッシ（遮音性）：・無 ・有 ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 / 断熱ドア、サッシ（断熱性）：・無 ・有 ・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5 / 耐震ドアセット（面内変形追随性）：・無 ・有 ・D-1 ・D-2 ・D-3	
	5.5.3 材料	＊鋼板類の種類 ※図示による ・（ ）	
		＊ステンレス鋼板 ※SUS304 ※SUS430J1L ※SUS443J1 ・（ ）	
		＊カラー鋼板 ・適用する ・適用しない ・図示による ・（ ）	
		＊召合せ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金	
	5.5.4 形状及び仕上げ	＊鋼板類の厚さ ※表5.5.1による ・図示による ・（ ）	[表 5.5.1]
		＊くつずりの仕上げ ・HL（ステンレス鋼板の場合） ・図示による ・（ ）	
	5.5.6 標準型鋼製軽量建具	＊形状及び寸法 ・図示による ・（ ）	
	６節 ステンレス製建具		
	5.6.3 材料	＊ステンレス鋼板 ※SUS304 ※SUS430J1L ※SUS443J1 ・（ ）	
	5.6.4 形状及び仕上げ	＊表面仕上げ ※ＨＬ仕上げ ・（ ）	
	5.6.5 工法	＊曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	
	７節 木製建具		
	5.7.2 材料	＊種別 ※A種 ・B種	
		＊フラッシュ戸の材料 表面材の種類 ・普通合板の規格 ・天然木化粧合板の規格 ・特殊加工化粧合板の規格	
		表面材の品質等 ・図示による ・（ ）	
		＊かまち及び鏡板の樹種 ・（ ） ・図示による	
		＊ふすまの種別及びふすま紙の上張りの種類 ・（ ） ・図示による	
		＊枠及びくつずりの材料 ・（ ） ・図示による	
	5.7.3 形状及び仕上げ	＊表面板の厚さ ※表5.7.6による ・図示による	
		＊見込み寸法 ※表5.7.7による ・図示による	
	5.7.4 工法	＊引き戸の召合せかまち ・いんろう付き	
		＊縁の仕上げ ・（ ） ・図示による	
	８節 建具用金物		
	5.8.2 材質、形状及び寸法	＊金物の種類及び見え掛り部の材質 ※表5.8.1による（表中の特記の適用は図示による） ・（ ）	[表 5.8.1]
		＊金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ※表5.8.2による ・（ ） ・図示による	[表 5.8.2]
		＊樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ※表5.8.3による ・（ ） ・図示による	[表 5.8.3]
		＊木製建具用丁番の枚数及び大きさ ※表5.8.4による ・（ ） ・図示による	[表 5.8.4]
		＊戸車及びレール ※表5.8.5による ・（ ） ・図示による	[表 5.8.5]
	5.8.3 取付け施工	＊握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置 ・図示による ・（ ）	
	5.8.4 鍵	＊マスターキー ・製作する ・製作しない	
		＊鍵の本数 ※3本1組とし、室名札を付ける ・（ ）	
		＊鍵箱 ・要 ・不要	
	９節 自動ドア開閉装置		
	5.9.2 性能・機構	＊戸の開閉方法 ・（ ） ・図示による	
		＊自動ドアの開閉装置の性能	
		＊駆動装置の性能値 ※表5.9.1による（引き戸用） ・（ ） ・図示による	[表 5.9.1]
		＊車椅子使用者用便房出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※表5.9.2による ・（ ） ・図示による	[表 5.9.2]
		＊検出装置の性能 ※表5.9.3による（引き戸用） ・（ ） ・図示による	[表 5.9.3]
		＊引き戸用駆動装置及び引き戸用検出装置の防錆の適用 ・適用する ・適用しない ・図示による	
		＊引き戸用検出装置の種類 ※表5.9.4による	[表 5.9.4]
		＊タッチスイッチの開閉スイッチ ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ	
		＊車椅子使用者用便房スイッチの開閉スイッチ ・大形（開・閉）押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ	
		＊凍結防止措置 ・要 ・不要	
	１０節 自閉式上吊り引戸装置		
	5.10.3 性能等	＊自閉式上吊り引戸装置の性能 ※表5.10.1による ・（ ）	[表 5.10.1]
	１１節 重量シャッター		JIS A 4705
	5.11.2 形式及び機構	＊シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター	
		＊耐風圧強度（外壁開口部に設ける重量シャッター） ・（ ） ・図示による	
		＊開閉機能による種類 ※電動式（手動併用） ・手動式 ・図示による	[表 5.11.1]
		＊安全装置	
		＊電動シャッターにおける不測の落下防止装置設置箇所 ・（ ） ・図示による	
		＊電動式シャッターにおける障害物感知装置設置箇所 ・（ ） ・図示による	
		＊屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ・(a) かつ (c) ・(b) かつ (c) ・図示による	
		設置個所 ・（ ） ・図示による	
		＊シャッターケース（管理用シャッター） ・設置する ・設置しない	
	5.11.3 材料	＊スラット及びシャッターケースの鋼板の種類 ・JIS G 3302（ めっき付着量 ※Z12又はF12 ・（ ））	
		・JIS G 3312（ めっき付着量 ※Z12又はF12 ・（ ））	
	１２節 軽量シャッター		JIS A 4704
	5.12.2 形式及び機構	＊開閉形式 ※手動式 ・電動式（手動併用） ・図示による	[表 5.12.1]
		＊耐風圧強度 ・（ ） ・図示による	
		＊安全装置	
		＊電動式シャッターにおける障害物感知装置設置箇所 ・（ ） ・図示による	
	5.12.3 材料	＊スラットの材質 ・JIS G 3312（ めっき付着量 ※Z06又はF06 ・（ ））	
		・JIS G 3322（ めっき付着量 ※AZ90 ・（ ））	
	5.12.4 形状及び仕上げ	＊スラット形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 ・図示による	
	１３節 オーバーヘッドドア		JIS A 4715
	5.13.2 形式及び機構	＊セクション材料による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	
		＊JIS A 4715による風圧よる強さの区分 ・（ ） ・図示による	
		＊開閉方式 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 ・図示による	
		＊収納形式 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	
		＊安全装置	
		＊電動式シャッターにおける障害物感知装置設置箇所 ・（ ） ・図示による	
	5.13.3 材料	＊ガイドレールの材料 ※溶融亜鉛めっき鋼板（Z27） ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板（ ・SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 ）	

章	節・項目	特記事項	備考
5 建具改修工事	１４節 ガラス		
	5.14.2 材料	＊フロート板ガラス 品種及び厚さの呼びによる種類 ・図示による ・（品種： 厚さ： ）	
		＊型板ガラス 厚さによる種類 ・図示による ・（厚さ： ）	
		＊網入及び線入り板ｶﾞﾗｽ 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・図示による ・（網又は線の形状： 板の表面の状態： 厚さ： ）	
		＊合わせガラス 材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さの組合せ ・図示による ・（材料板ガラスの種類： 厚さの組合せ： ）	
		合計厚さ （ ） 特性 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類	
		＊強化ガラス 形状による種類、材料板ｶﾞﾗｽの種類による名称 ・図示による ・（形状による種類： 材料板ガラスの種類： 特）性 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類	
		＊熱線吸収板ガラス 板ｶﾞﾗｽによる種類、厚さによる種類 性能 ・1種 ・2種	
		＊複層ガラス 材料板ｶﾞﾗｽ （ ） 厚さの組合せ （ ） 複層ｶﾞﾗｽの厚さ （ ）	
		断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6	
		日射取得性、日射遮へい性による区分 ・G ・S	
		乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン ・クリプトン ・ネオン	
		＊熱線反射ガラス 材料板ｶﾞﾗｽ （ ）	
		厚さによる種類 ・6mm ・8mm ・10mm ・12mm ・（ ）	
		日射熱遮へい性 ・1種 ・2種 ・3種	
		耐久性 ・A種 ・B種	
		＊倍強度ガラス 材料板ｶﾞﾗｽ （ ）	
		厚さによる種類 ・6mm ・8mm ・10mm ・12mm ・（ ）	
		＊ガラス留め材 ・シーリング ・ガスケット（ ）	
	5.14.3 ガラス溝の寸法、形状等	＊ガラス溝の大きさ ※建具の製造所の仕様による ・（ ）	[表 5.14.1]
	5.14.5 ガラスブロック積み	＊材料 ＊ガラスブロック 表面形状 （ ） 呼び寸法 （ ） 厚さ （ ）	
		＊壁用金属枠 （ ） ＊壁用金属枠補強材 （ ）	
		＊力骨 材質 ※ステンレス鋼（SUS304） ・（ ） 寸法 ※径5.5mm ・（ ）	
		形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・（ ）	
		＊化粧目地モルタルの色 （ ） ＊シーリング材の種類 （ ）	
		＊金属製化粧カバー 材質 （ ） 寸法 （ ） 形状 （ ）	
		＊工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 （ ）	
		木下地の場合壁用金属枠の取付け ・（ ） ・図示による	
		目地幅 平積み （ ）mm ※8mm以上15mm以下	
		曲面積み （ ）mm ※外側15mm以下、内側6mm以下	
		伸縮調整目地 幅 （ ）mm 位置 @（ ）m以内 ※6m以下ごと	
		目地部の力骨の補強方法 ※ガラスブロック製造所の仕様による	
6 内装改修工事	１節 一般事項		
	6.1.3 他の部位との取合い等	＊既存間仕切壁の撤去に伴う天井、壁、床の改修範囲 ※壁厚程度 ・図示による	
		＊天井内既存壁撤去に伴う天井改修範囲 ※壁面より両側600mm程度 ・図示による	
		＊天井撤去に伴う壁面改修範囲 ※既存のまま ・図示による	
	２節 既存床の撤去及び下地補修		
	6.2.2 工法	＊ビニル床シート等の除去による下地ﾓﾙﾀﾙの浮き、欠損部等の撤去 ・行う ・行わない ・図示による	
		＊合成樹脂塗り床材の除去等 ・機械的除去工法 ・目荒し工法	
	３節 既存壁の撤去及び下地補修		
	6.3.2 工法	＊間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※モルタル塗り（4.3.10） ・（ ）	
	５節 木下地等		
	6.5.2 木材	＊含水率 ※A種 ・B種	[表 6.5.1]
	(2)（ア）	・「製材のJAS」による製材	
		・下地用製材 寸法、含水率及び保存処理 ※図示による ・（寸法： 含水率： 保存処理： ）	
		等級 ※2級 ・図示による	
		・造作用製材 寸法、含水率及び保存処理 ※図示による ・（寸法： 含水率： 保存処理： ）	
		板類における等級 ※枠、額縁、敷居、鴨居、框の類の見え掛り面は上小節、それ以外は小節以上 ・図示による	
		・広葉樹製材 寸法及び保存処理 ※図示による ・（寸法： 保存処理： ）	
		等級 ※1級 ・図示による	
		含水率 ※10%以下 ・図示による	
	(2)（イ）	・「製材のJAS」以外の製材 下地、造作及び仕上げに用いる製材の寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理 ※図示による ・（寸法： 材面の品質： 含水率： 防虫処理： ）	
		造作材の材面の品質 ※A種 ・B種	[表 6.5.2]
	(3)（ア）	＊造作用集成材	
		・「集成材のJAS」による造作用集成材	
		・造作用集成材 品名、樹種名、見付け材面及び寸法 ※図示による ・（品名： 樹種名： 見付け材面： 寸法： ）	
		見付け材面の品質 ※1等 ・図示による	
		・化粧ばり造作用集成材 品名、樹種名、化粧薄板の厚さ、見付け材面及び寸法 ※図示による ・（品名： 樹種名： 化粧薄板の厚さ： 見付け材面： 寸法： ）	
		見付け材面の品質 ※1等 ・図示による	
	(3)（イ）	・「集成材のJAS」以外の造作用集成材	
		・造作用集成材 樹種、寸法及び見付け材面の品質 ※図示による ・（樹種： 寸法： 見付け材面の品質： ）	
		含水率 ※15%以下 ・図示による	
		・化粧ばり造作用集成材 樹種、寸法、化粧薄板の厚さ及び見付け材面の品質 ※図示による ・（樹種： 寸法： 化粧薄板の厚さ： 見付け材面の品質： ）	
		含水率 ※15%以下 ・図示による	
	(4)（ア）	＊造作用単板積層材	
		・「単板積層材のJAS」による造作用単板積層材 品名、寸法、表面の品質及び防虫処理 ※図示による ・（品名： 寸法： 表面の品質： 防虫処理： ）	
	(4)（イ）	・「単板積層材のJAS」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質及び防虫処理 ※図示による ・（寸法： 表面の品質： 防虫処理： ）	
		含水率 ※14%以下 ・図示による	
	(5)	＊直交集成板 品名、強度等級、種別、接着性能、樹種名及び寸法 ※図示による ・（品名： 強度等級： 種別： 接着性能： 樹種名： 寸法： ）	

株式会社 松浦建築事務所
ＴＥＬ (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	建築改修工事特記仕様書（４）
縮尺	NS
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-004

２０２４年４月１日改訂

章	節・項目	特記事項	備考
内装改修工事	(6)（ア）	＊下地用合板	
		・普通合板	
		品名、単板の樹種名及び防虫処理　※ 図示による ・（品名：　単板の樹種名：　防虫処理：　）	
		厚 さ　※ 5.5mm ・図示による　接着の程度　※ 1類 ・（　）	
		板面の品質　※ 2等以上（広葉樹）　※ C-D以上（針葉樹）・（　）	
		・構造用合板	
		品名、単板の樹種名、保存処理、防虫処理及び強度等級）	
		※ 図示による ・（品名：　単板の樹種名：　保存処理：　防虫処理：　強度等級：　）	
		厚 さ　※ 12mm ・図示による	
		接着の程度　※ 1類（湿潤箇所を除く）　※ 特類（湿潤箇所）・図示による	
		等級　※ 2級以上 ・（　）　板面の品質　※ C-D以上 ・（　）	
	(6)（イ）	＊化粧ばり構造用合板	
		品名、厚さ、単板の樹種名、接着の程度及び防虫処理	
		※ 図示による ・（品名：　厚さ：　単板の樹種名：　接着の程度：　防虫処理：　）	
		湿潤状態となる場所に使用する場合の接着の程度　※ 特類 ・図示による	
	(6)（ウ）	＊天然木化粧合板	
		厚さ、接着の程度及び化粧板に使用する単板の樹種名	
		※ 図示による ・（厚さ：　接着の程度：　化粧板に使用する単板の樹種名：　）	
	(6)（エ）	＊特殊加工化粧合板	
		品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法及び防虫処理	
		※ 図示による ・（品目：　厚さ：　接着の程度：　単板の樹種名：　化粧加工の方法：　防虫処理：　）	
	(6)（オ）	＊パーティクルボード	
		表裏面の状態による区分及び難燃性による区分　※ 図示による ・（表裏面の状態による区分：　難燃性による区分：　）	
		厚 さ　※ 15mm ・図示による　曲げ強さによる区分　※ 13タイプ ・図示による	
		耐水性による区分　※ MR1(M)タイプ　※ MR2(P)タイプ ・図示による	
	(6)（カ）	＊構造用パネル	
		品名及び寸法　※ 図示による ・（品名：　寸法：　）	
	(6)（キ）	＊ミディアムデンシティーファイバーボード（MDF）	
		表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、接着剤による区分及び厚さ	
		※ 図示による ・（表裏面の状態による区分：　曲げ強さによる区分：　接着剤による区分：　難燃性による区分：　厚さ：　）	
	6.5.3 接合具	＊造作材の化粧面の釘打ち　※ 隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し	
		＊錺金物の形状、寸法、材質　※ 6.5.3(2)(ア)による ・（　）	
	6.5.5 防腐・防蟻処理	＊下地木材への防腐・防蟻処理 ・処理が不要な樹種による製材 ・薬剤の加圧注入 ・薬剤の塗布等 ・（　）	
		＊工場における薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理の適用部位　（　）保存処理性能区分　（　）	
		＊薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理の処理方法　表面処理用木材保存剤による処理 ・行う ・行わない	
		薬剤の種類、適用部材　（　）　処理の方法　※ 6.5.5 (1) (b) (2)による ・（　）	
		＊ 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 ・行う ・行わない ・図示による	
		＊ 合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理 ・行う ・行わない ・図示による	
		＊防虫処理 ・行う ・行わない ・図示による	
	6.5.6 RC造等の内部間仕切軸組及び床組	＊間仕切軸組み用いる木材　※ 杉又は松 ・（　）	
		＊床組に用いる木材（土間ｽﾗﾌﾞ類の土台、転ばし大引、転ばし根太）　※ ひのき又は保存処理木材 ・（　）	
		＊床組に用いる木材（上記以外）　※ 杉又は松 ・（　）	
	6.5.7 窓、出入口その他	＊窓、出入口その他の用いる木材（吊元枠、水掛かりの下枠及び敷居）　※ ひのき ・（　）	
		＊窓、出入口その他の用いる木材（その他）　※ 松又は杉 ・（　）	
	6.5.8 床板張り	＊縁甲板及び上がりがまちに用いる木材　※ ひのき ・（　）	
	6.5.9 壁及び天井下地	＊木材　※ 杉又は松 ・（　）	
	6節 軽量鉄骨天井下地		JIS A 6517
	6.6.2 材料	＊野縁等の種類　屋内　※ 19形 ・25形 ・図示による	[表 6.6.1]
		屋外 ・19形　※ 25形 ・図示による	
	6.6.3 形式及び寸法	＊屋外の野縁受、吊りボルト及びインサート間隔 ・（　）・図示による	
		＊屋外の野縁間隔 ・（　）・図示による	[表 6.6.2]
	6.6.4 工法	＊既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない ・図示による	
		＊あと施工アンカーの引抜き試験　※ 行う（屋外の場合の方法（　））・行わない	
		＊確認試験の箇所数及び確認強度　※ 6.6.4(1)(ウ)による	
		＊吊ボルトの間隔が900mmを超える場合の開口部の補強方法 ・図示による ・（　）	
		＊天井のふところが1.5m以上の場合の補強方法　※ 6.6.4 (8) による ・図示による ・（　）	
		＊天井のふところが3mを超える場合の補強方法　※ 図示による ・（　）	
		＊天井下地材の耐震性の補強　※ 図示による ・（　）	
		＊耐風圧性の補強（屋外の軒天井、ピロティ天井等）　※ 図示による ・（　）	
	7節 軽量鉄骨壁下地		JIS A 6517
	6.7.3 形式及び寸法	＊スタッド、ランナーの種類　※ スタッドの高さに応じた種類 ・50形 ・65形 ・90形 ・100形 ⊙（図示に依る）	[表 6.7.1]
		＊スタッド高さが5.0mを超える場合（　）	
	6.7.4 工法	＊出入口及びこれに準ずる開口部の補強　※ 6.7.4(5)による ・（　）	
	8節 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ等張り		
	6.8.2 材料	＊ビニル床シート　種類　※ FS ・（　）色柄（　）	JIS A 5705
		厚さ（mm）　※ 2.0mm ・（　）	
		＊ビニル床タイル　種類　※ KT ・（　）色柄（　）	
		厚さ（mm）　※ 2.0mm ・（　）寸法（　）	
		＊特殊機能床材　帯電防止床シート　種類（　）性能（　）厚さ	
		帯電防止床タイル　種類（　）性能（　）	
		寸法（　）厚さ（　）	
		視覚障害者用床タイル　種類（　）形状（　）	
		耐動荷重性床シート　種類（　）厚さ（　）	
		防滑性床シート　種類（　）厚さ（　）	
		防滑性床タイル　種類（　）寸法（　）厚さ（　）	
		＊ビニル幅木　種類 ・（　）⊙図示による	
		厚さ（mm）　※ 1.5mm以上 ・（　）高さ（mm）　※ 60mm以上 ・（　）	
		＊ゴム床タイル　種類（　）厚さ（mm）（　）色柄（　）寸法（　）	
		＊ビニル床シート、ビニル床タイル用の接着剤種別[下地がセメント系及び木質系以外の場合]（　）	
		＊ゴム床タイル用の接着剤種別[下地がセメント系及び木質系以外の場合]　（　）	
	6.8.3 工法	＊下地の工法（モルタル塗り、セルフレベリング材塗り、木下地以外）・図示による ・（　）	
		＊目地処理する場合の工法　※ 熱溶接工法 ・図示による ・（　）	
	9節 カーペット敷き		
	6.9.2 材料	＊織じゅうたん　種別 ・A種 ・B種 ・C種　織り方（　）	[表 19.3.1]
		色柄 ・（　）　※ 模様の無い無地	
		パイル糸の種類 ・A種 ・B種 ・C種	
		帯電性　※ 人体帯電圧3kV以下 ・（　）	
		＊タフテッドカーペット　パイルの形状（　）パイル長（　）	
		帯電性　※ 人体帯電圧3kV以下 ・（　）	
		＊タイルカーペット　種類　※ 第１種 ・第２種　ﾊﾟｲﾙの形状　※ ループパイル ・（　）	
		寸法　※ 500mm角 ・（　）総厚さ　※ 6.5mm ・（　）	
		＊下敷き材　※ JIS L 3204 第2種2号、厚さ 8mm ・（　）	
		＊取付用付属品　見切り材　材質（　）種類（　）形状（　）	
		押え金物　材質（　）種類（　）形状（　）	
	6.9.3 工法	＊タフテッドカーペットの工法 ・グリッパー工法 ・全面接着工法	[表 6.9.2]
		＊織じゅうたんの接合方法　※ ヒートボンド工法 ・手縫い	
		＊タイルカーペットの敷き方　平場　※ 市松敷き ・（　）	
		階段部分　※ 模様流し ・（　）	
	10節 合成樹脂塗り床		
	6.10.3 工法	＊弾性ウレタン塗り床の仕上げの種類　※ 平滑 ・防滑 ・つや消し	[表 6.10.4]
		＊エポキシ樹脂塗り床の工法 ・薄膜流し展べ ・厚膜流し展べ ・樹脂モルタル	[表 6.10.5～表 6.10.7]
		＊エポキシ樹脂塗り床の仕上げの種類 ・平滑 ・防滑	

章	節・項目	特記事項	備考
内装改修工事	11節 フローリング張り		
	6.11.2 材料	＊フローリングの材料 ・単層フローリング（ ・フローリングボード ・フローリングブロック ）	
		・複合フローリング	
	6.11.3 工法一般	＊工法 ・釘留め（根太張り）工法 ・釘留め（直張り）工法 ・接着工法	
	6.11.4 釘留め工法	＊根太張り工法	
		＊フローリング ・フローリングボード（根太張用） ・複合フローリング（根太張用）	
		＊フローリングボードの樹種 ・なら ・（　）・図示による	
		＊複合フローリングの種別 ・A種 ・B種 ・C種	[表 6.11.2]
		＊複合フローリングの樹種 ・（　）・図示による	
		＊直張り工法	
		＊フローリング ・フローリングボード（直張用） ・複合フローリング（直張用）	
		＊フローリングボードの樹種 ・なら ・（　）・図示による	
		＊複合フローリングの種別 ・A種 ・B種 ・C種	[表 6.11.4]
		＊複合フローリングの樹種 ・（　）・図示による	
	6.11.5 接着工法	＊フローリング ・フローリングボード（直張用） ・複合フローリング（直張用）	
		＊フローリングボードの樹種 ・（　）・図示による	
		＊複合フローリングの種別 ・A種 ・B種 ・C種	
		＊フローリングブロックの樹種、厚さ、幅及び長さ ・図示による ・（樹種：　厚さ：　幅：　長さ：　）	
		＊フローリング裏面の緩衝材　※ 合成樹脂発泡シート ・（　）	
	6.11.6 現場塗装仕上げ	＊塗 装　※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステイン塗りの上ワックス塗り ・ワックス塗り	
	12節 畳敷き		
	6.12.2 材料	＊種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種（畳床の記号：　）	[表 6.12.1]
		＊衝撃緩和型畳の畳表 ・C1 ・C2 ・図示による	
	13節 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ、その他ﾎﾞｰﾄﾞ及び合板張り		
	6.13.2 材料	＊ボード類の種類、厚さ等　※ 図示による	
		＊ボード表面への化粧張り仕上げ等　※ 図示による	
		＊普通合板	
		＊表板の樹種名、板面の品質、厚さ　※ 図示による ・（表板の樹種名：　板面の品質：　厚さ：　）	
		＊防虫処理 ・行う ・行わない	
		＊天然木化粧合板	
		＊化粧板の樹種名、厚さ　※ 図示による ・（化粧板の樹種名：　厚さ：　）	
		＊防虫処理 ・行う ・行わない	
		＊特殊加工化粧合板	
		＊化粧加工の方法　※ 図示による ・オーバーレイ ・プリント ・塗装	
		＊防虫処理 ・行う ・行わない	
	6.13.3 工法	＊ロックウール吸音板の場合を除き、天井のボードの重ね張り ・図示による	
		＊合板の張付け種別 ・A種　※ B種	[表 6.13.3]
		＊せっこうボードの目地工法の種類 ⊙継目処理工法 ・突付け工法 ・目透かし工法	[表 6.13.5]
		＊せっこうボードのエッジの種類（突き付け工法及び目透し工法の場合） ⊙ベベルエッジ ・スクェアエッジ ・図示による	
	14節 壁紙張り		JIS A 6921
	6.14.2 材料	＊壁紙の種類　※ 図示による ・（　）	
		＊防火性能 ⊙図示による ・（　）	
	6.14.3 施工	＊モルタル面及びせっこうプラスター面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえの種別 ・A種　※ B種	[表 7.3.4]
		＊コンクリート面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえの種別 ・A種　※ B種	[表 7.3.5]
		＊せっこうボード面の素地ごしらえ及びその他のボード面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえの種別 ・A種　※ B種	[表 7.3.7]
	15節 モルタル塗り		
	6.15.3 材料	＊モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料（　）・図示による	
		＊既製目地材の適用 ・使用する（形状：　）・使用しない ・図示による	
	6.15.5 下地処理	＊壁面の場合で、仕上げ厚又は全塗り厚が6.15.4(3)の規定を満足しない場合 ・図示による	
	6.15.6 工法	＊床の目地割り　※ 目地割2m2程度、最大目地間隔3m程度 ・図示による ・（　）	
		＊目地の種類　※ 押し目地 ・図示による ・（　）	
	16節 タイル張り		
	6.16.2 施工一般	＊伸縮調整目地の位置　※ 縦横4m以内ごと（床タイル） ・（　）・図示による	
		＊タイルの見本焼き ・有　※ 無	
		＊タイルの試験張り ・有　※ 無	
	6.16.3 ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙによるﾀｲﾙ張り	＊タイルの品質	

適用箇所	形状・寸法	工法	耐凍害性の有無	耐滑り性	標準色・特注色の別

	＊役物 ・有 ・無
	＊張付けモルタル　既調合モルタル（　）
	＊下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理 ・目荒し工法 ・（　）・図示による
	＊壁タイル張り工法
	＊外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り
	＊内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り
6.16.4 有機系接着剤によるﾀｲﾙ張り	＊ﾀｲﾙの品質

適用箇所	形状・寸法	工法	耐凍害性の有無	耐滑り性	標準色・特注色の別

	＊役物 ・有 ・無
17節 セルフレベリング材塗り	
6.17.2 材料	＊種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系
6.17.3 調合及び塗厚	＊セルフレベリング材塗厚 ・（　）・図示による
2節 下地調整	
7.2.1 一般事項	＊RB種の既存塗膜の除去範囲　※ 劣化部分 ・（　）・図示による
7.2.2 木部の下地調整	＊木部の下地調整の種別 ・RA種　※ RB種 ・RC種 ・図示による
7.2.3 鉄鋼面の下地調整	＊鉄鋼面の下地調整の種別 ・RA種　※ RB種 ・RC種 ・図示による
7.2.4 亜鉛めっき鋼面の下地調整	＊亜鉛めっき鋼面の下地調整の種別 ・RA種　※ RB種 ・RC種 ・図示による
7.2.5 ﾓﾙﾀﾙ面及びﾌﾟﾗｽﾀｰ面の下地調整	＊ﾓﾙﾀﾙ面、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面の下地調整の種別 ・RA種　※ RB種 ・RC種 ・図示による
	＊ひび割れ部の補修（　）
7.2.6 ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ALCﾊﾟﾈﾙ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面の下地調整	＊ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ALCﾊﾟﾈﾙ面の下地調整の種別（DP塗り以外） ・RA種　※ RB種 ・RC種 ・図示による
	＊ひび割れ部の補修（　）
	＊ｺﾝｸﾘｰﾄ面（DP塗り）、押出成形ｾﾒﾝﾄ板面の下地調整の種別 ・RA種 ・RB種 ・RC種 ・図示による
	＊ひび割れ部の補修（　）
7.2.7 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ面の下地調整	＊せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面の下地調整の種別 ・RA種　※ RB種 ・RC種 ・図示による
3節 素地ごしらえ	
7.3.2 木部の素地ごしらえ	＊木部の素地ごしらえ種別
	＊不透明塗料塗りの場合　※ A種 ・B種 ・図示による
	＊透明塗料塗りの場合 ・A種　※ B種 ・図示による
7.3.3 鉄鋼面の素地ごしらえ	＊鉄鋼面の素地ごしらえ種別
	＊DP塗り以外 ・A種 ・B種　※ C種 ・図示による
	＊DP塗り ・A種　※ B種 ・C種 ・図示による

株式会社 松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	建築改修工事特記仕様書（５）
縮尺	NS
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-005

２０２４年４月１日改訂

章	節・項目	特記事項	備考
7章 塗装改修工事	7.3.4 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ	＊亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ種別 ・A種 ・B種 ・図示による	
	7.3.5 ﾓﾙﾀﾙ面及びﾌﾟﾗｽﾀｰ面の素地ごしらえ	＊モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえ種別 ・A種 ※B種 ・図示による	
	7.3.6 ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ALCﾊﾟﾈﾙ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面の素地ごしらえ	＊ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ALCﾊﾟﾈﾙ面の素地ごしらえの種別（DP塗り以外） ・A種 ※B種 ・図示による [表 7.3.5] ＊ｺﾝｸﾘｰﾄ面（DP塗り）、押出成形ｾﾒﾝﾄ板面の素地ごしらえの種別 ・A種 ・B種 ・図示による [表 7.3.6]	
	7.3.7 せっこうボード面、その他ボード面の素地ごしらえ	＊せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ種別 [表 7.3.7] ＊継目処理工法の場合 ※A種 ・B種 ・図示による ＊その他の場合 ・A種 ※B種 ・図示による	
	4節 錆止め塗料塗り		
	7.4.2 塗料種別	＊鉄鋼面錆止め塗料塗り塗料種別（EP-G塗りの場合） ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 [表 7.4.1] ＊亜鉛めっき鋼面錆止め塗料種別（SOP塗りの場合） ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 [表 7.4.2]	
	7.4.3 錆止め塗料塗り	＊鉄鋼面錆止め塗料塗り種別（SOP及びEP-G塗りの場合） [表 7.4.3] ＊見え掛り部（新規） ※A種 ・B種 ・C種 ・図示による ＊見え隠れ部（新規） ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による ＊塗替え ・A種 ・B種 ※C種 ・図示による ＊鉄鋼面錆止め塗料塗り種別（DP塗り（新規）の場合） ※A種 ・B種 ・C種 ・図示による [表 7.4.4] ＊亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗り（SOP及びEP-G塗りの場合） [表 7.4.5] 鋼製建具等 ※A種 ・B種 ・C種 ・図示による その他 ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による 塗替え ・A種 ・B種 ※C種 ・図示による	
	5節 合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り		
	7.5.2 木部SOP	＊種別（新規） 屋外 ※A種 ・B種 ・C種 ・図示による [表 7.5.1] 屋内 ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による （塗替え） ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による	
	7.5.3 鉄鋼面のSOP	＊種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による [表 7.5.2]	
	7.5.4 亜鉛めっき鋼面のSOP	＊種別 鋼製建具 ※A種 ・B種 ・C種 ・図示による [表 7.5.3] それ以外 ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による	
	6節 クリヤラッカー塗り		
	7.6.2 クリヤラッカー塗り	＊種別 ・A種 ※B種 ・図示による [表 7.6.1]	
	7節 ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料		
	7.7.2 ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り	＊種別 ・A種 ※B種 ・図示による [表 7.7.1]	
	8節 耐候性塗料塗り		
	7.8.2 鉄鋼面のDP	＊上塗り塗料の等級 ※1種 ・2種 ・3種 [表 7.8.1]	
	7.8.3 亜鉛めっき鋼面のDP	＊上塗り塗料の等級 ※1種 ・2種 ・3種 [表 7.8.2]	
	7.8.4 ｺﾝｸﾘｰﾄ面、押出成形ｾﾒﾝﾄ板面のDP	＊種別 ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 [表 7.8.3]	
	9節 つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り		
	7.9.2 ｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾀﾙ、ﾌﾟﾗｽﾀｰ	＊種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による [表 7.9.1]	
	せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面等のEP-G	＊塗替えの場合のしみ止め ※工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾗとする（B種、C種の場合） ・（ ）	
	7.9.3 木部のEP-G	＊種別 新規 ※A種 ・B種 ・C種 ・図示による [表 7.9.2] 塗替え ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による	
	7.9.4 鉄鋼面のEP-G	＊種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による [表 7.9.3]	
	7.9.5 亜鉛めっき鋼面のEP-G	＊種別 ※A種 ・B種 ・C種 ・図示による [表 7.9.4]	
	10節 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り		
	7.10.2 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り	＊種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による [表 7.10.1] ＊塗替えの場合のしみ止め ※工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾗとする（B種、C種の場合） ・（ ）	
	11節 ウレタン樹脂ワニス塗り		
	7.11.2 ウレタン樹脂ワニス塗り	＊種別 ・A種 ※B種 ・図示による [表 7.11.1] ＊工程1の着色の適用 ・溶剤形着色剤 ・油性顔料着色剤 ・適用しない ・図示による	
	12節 ステイン塗り		
	7.12.2 ステン塗り	＊オイルステイン塗り ・（ ） ・図示による	
	13節 木材保護塗料塗り		
	7.13.2 木材保護塗料塗り	＊種別 ・A種 ※B種 ・図示による [表 7.13.1]	
8章 耐震改修工事	1節 一般事項		
	8.1.2 基本要求品質	＊受注者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合の工場選定は以下による。 1）JISマーク表示認証製品を製造している工場（工業標準化法の一部を改正する法律（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により製品にJISマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場）で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる、全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場（以下「適マークを取得した工場」という。）から選定し、JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するものを用いなければならない。 2）JISマーク表示認証製品を製造し、適マークを取得した工場が工事現場近くに見当たらない場合は、使用する工場について、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめたうえ、その資料により監督職員の確認を得られなければならない。 なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場から選定しなければならない。	
	8.1.3 コンクリートの種類	＊コンクリートの種類 ・普通コンクリート ・軽量コンクリート	
	8.1.4 コンクリートの品質	＊コンクリートの種別 ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 ・大臣認定コンクリート（ ） [表 8.1.1] ＊設計基準強度（Fc） ・普通コンクリート（ ）N/mm2 ・軽量コンクリート（ ）N/mm2 ・図示による ＊荷卸し地点におけるスランプ ※18cm ・（ ） ＊合板せき板を用いる打放し仕上げ ・A種 ・B種 ・C種 [表 8.1.4] ＊コンクリートの仕上がりの平たんさの種別 ・a種 ・b種 ・c種 [表 8.1.5]	
	8.1.5 鉄骨製作工場	＊鉄骨製作工場の加工能力 （ ）	
	8.1.6 鉄骨製作工場における施工管理技術者	＊施工監理技術者の配置 ※必要 ・不要	
	2節 材料		
	8.2.1 鉄筋	＊種類の記号 （ ） [表 8.2.1]	
	8.2.2 溶接金網	＊網目の形状 （ ） 寸法 （ ） 鉄線の径 （ ） JIS G 3551	
	8.2.4 あと施工アンカー	＊・金属系アンカー 引張耐力、せん断耐力 ・図示による ・（引張耐力： せん断耐力： ） アンカー本体の径、埋込み深さ ・図示による ・（径： 埋込み深さ： ） セット方式 ※本体打込み式改良型 ・（ ） 接合筋の種類、径、長さ ・図示による ・（種類： 径： 埋込み深さ： ） ・接着系アンカー 引張耐力、せん断耐力 ・図示による ・（引張耐力： せん断耐力： ） アンカーの種類 ※カプセル型回転・打撃式 ・（ ） アンカー筋の径、埋込み深さ ・図示による ・（径： 埋込み深さ： ） アンカー筋の種類 ・図示による ・（ ） アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・図示による ・（ ） ＊あと施工アンカーの性能確認試験 ※行う ・行わない	
	8.2.5 ｺﾝｸﾘｰﾄの材料及び調合	＊セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント ※高炉セメント（A種） ※シリカセメント（A種） [表 8.2.3] ※フライアッシュセメント（A種） ・エコセメント ・（ ） ＊高炉セメントB種の適用箇所 （ ） フライアッシュセメントB種の適用箇所 （ ） ＊細骨材の種類 フェロニッケルスラグ細骨材 ・使用する ※使用しない 銅スラグ細骨材 ・使用する ※使用しない 電気炉酸化スラグ細骨材 ・使用する ※使用しない 再生骨材H ・使用する ※使用しない ＊砕石、砕砂、ﾌｪﾛﾆｯｹﾙｽﾗｸﾞ細骨材、銅ｽﾗｸﾞ細骨材、電気炉酸化ｽﾗｸﾞ骨材、砂利及び砂のアルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B ＊混和剤 種類 ・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・（ ） ＊混和材 種類 ・フライアッシュ（Ⅰ種） ・フライアッシュ（Ⅱ種） ・フライアッシュ（Ⅳ種） ・高炉スラグ微粉末 ・シリカフューム ・膨張剤 ・図示による ＊構造体強度補正値（S） ※表8.2.4による ・（ ） [表 8.2.4] ＊8.2.5 (5) (b) ⑥アーウ以外の使用する混和材料、使用方法、使用量 ※図示による ・（種類： 使用方法： 使用量： ）	
	8.2.6 構造体用ﾓﾙﾀﾙの材料及び調合	＊モルタルの圧縮強度 ・図示による ・（ ） ＊フロー値 ・図示による ・（ ）	

章	節・項目	特記事項	備考
8章 耐震改修工事	8.2.7 型枠の材料	＊せき板の材料 ※8.2.7 (1) による ・（ ） ・図示による ＊合板の厚さ ※12mm ・（ ） ＊ラス型枠については、下記の仕様により使用できるものとする。 1）使用可能部位 独立基礎、地中梁（ただし、見えがかり部、ピット内部は合板型枠とする。） 2）鉄筋の最小かぶり厚さ ラス型枠を使用した部分の鉄筋の最小かぶり厚さは、公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 表5.3.6に示す数値の+10mmするものとする。 3）ｺﾝｸﾘｰﾄのｽﾗﾝﾌﾟ及び打込み スランプは15cm又は18cmとする。バイブレーターを使用するときには、ラス型枠に直接当てないように注意する。 4）その他 各メーカーで仕様が異なるため、それぞれの施工要領書等で確認する。	
	8.2.8 鋼材	＊スリーブの材種 ・鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・つば付き鋼板 [表 8.2.6] ＊材質、形状、寸法、適用箇所 ※図示による ・（ ） [表 8.2.7]	
	8.2.9 高力ボルト	＊種類 ※トルシア形高力ボルト ・ＪＩＳ形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト ＊ねじの呼び ※図示による ・（ ）	
	8.2.10 溶接材料	＊8.2.10(1)、(2)以外の材料 ・（ ） ・図示による	
	8.2.11 スタッド	＊スタッドの種類 ・（ ） ・図示による	
	8.2.12 柱底均しモルタル及びグラウト材	＊柱底均しモルタル ※無収縮モルタル（8.2.12 (1) による） ・（ ） ＊無収縮グラウト材 ※プレミックスタイプ ・現場調合 無収縮グラウト材の品質	項目 / コンシステンシーの範囲 / 圧縮強度 / 乾燥収縮 品質 / J14ロート 8±2秒 / 30N/mm2以上 / 0×10⁻⁴
	8.2.13 連続繊維補強材及び含浸接着樹脂等	＊連続繊維補強材 ・図示による ・（材料： 工法： 引張強度： ヤング係数： ）	
	8.2.14 鋼材の材料試験等	＊JIS G 0901（建築用鋼板及び平鋼の超音波探傷試験による等級分類及び判定基準）による試験 ・行う ・行わない	
	8.2.15 基礎工事に用いる材料	＊砂利地業に使用する砂利 ・再生クラッシャラン ・切込砂利 ・切込砕石 ・図示による ＊砂地業に使用する砂 ・山砂 ・川砂 ・砕砂 ・図示による ＊杭の材料 ※図示による ・（ ） ＊杭に継手を設ける場合の継手の箇所数、材料、工法等 ※図示による ・（ ）	
	3節 鉄筋の加工及び組立		
	8.3.2 加工	＊90°未満の折曲げの内法直径 （ ）mm	
	8.3.4 継手及び定着	＊適用する継手 ・重ね継手 ・ガス圧接継手 ・機械式継手 ・溶接継手 ＊継手位置 ※図示による ＊柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ重ね継手の長さ ※図示による ・（ ） [表 8.3.2] ＊耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※40d（軽量コンクリートの場合50d）又は表8.3.2の重ね継手の長さのいずれか大きい値 ・（ ） ＊先組み工法等で柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所に設ける場合の継手の位置 ・図示による ・（ ） ＊鉄筋の定着長さ ※表8.3.4による ・（ ） [表 8.3.4] ＊定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 ※8.3.4(5)(イ)による ・（ ） ＊機械式定着工法の適用箇所及び種類 ・図示による ・（ ） ＊帯金組立の形、継手及び定着 ※図示による ・（ ）	
	8.3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	＊鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ※表8.3.6による ・（ ） [表 8.3.6]	
	8.3.7 壁の配筋及び補強	＊壁の配筋 ※図示による ・（ ） ＊壁開口部の補強 ※図示による ・（ ） ＊超音波探傷試験 ※行う ・行わない	
	8.3.8 ガス圧接		
	4節 鉄筋の機械式・溶接継手		
	8.4.2 機械式継手	＊適用箇所、性能、種類、鉄筋相互のあき ※図示による ・（ ） ＊施工完了後の試験 ・外観試験 試験項目、試験方法 ・図示による ・（ ） 不合格となった場合の措置 ・図示による ・（ ） ・超音波測定試験 試験対象 ・図示による ・（ ） 不合格となった場合の措置 ・図示による ・（ ）	
	8.4.3 溶接継手	＊適用箇所、性能、種類、鉄筋相互のあき ※図示による ・（ ） ＊施工完了後の試験 ・外観試験 試験項目、試験方法 ・図示による ・（ ） 不合格となった場合の措置 ・図示による ・（ ） ・超音波測定試験 試験対象 ・図示による ・（ ） 不合格となった場合の措置 ・図示による ・（ ）	
	7節 ｺﾝｸﾘｰﾄの運搬・打込・締固		
	8.7.7 養生	＊普通エコセメント使用時の湿潤養生の期間 （ ）日以上	
	8.7.8 型枠工事	＊外部に面するコンクリートの打増し厚さ （ ）mm ＊シアコネクタをセパレーターとして使用する場合 ・（ ） ・図示による ＊普通エコセメント使用時の型枠の最小存置期間 （ ）	
	9節 軽量コンクリート		
	8.9.1 一般事項	＊軽量コンクリートの適用箇所 ※図示による ・（ ） [表 8.9.1]	
	8.9.2 種類及び品質	＊軽量コンクリートの種類 ・1種 ・2種 所要気乾単位容積質量（t/m2） （ ） ＊スランプ ※21cm ・（ ） ・図示による	
	10節 暑中コンクリート		
	8.10.2 材料及び調合	＊構造体強度補正値（S） ※6N/mm2 ・（ ）	
	11節 無筋コンクリート		
	8.11.1 一般事項	＊コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・図示による ＊設計基準強度 ※18N/mm2 ・（ ） ＊スランプ ・15cm ・18cm ・（ ） ・図示による	
	12節 あと施工アンカー工事		
	8.12.2 穿孔	＊埋込み配管等の採査の方法 （ ）	
	8.12.5 施工確認試験	＊アンカー施工後の確認試験 ※引張試験機による引張試験 ・（ ） ＊1ロット ※1日に施工されたものの径及び仕様ごと ・（ ） ＊試験の個所数 ※1ロットに対して3本 ・（ ） ＊確認強度 （ ）	
	13節 鉄骨工作		
	8.13.2 鉄骨の工作図	＊繰端距離 高力ボルト（ ）mm 普通ボルト（ ）mm アンカーボルト（ ）mm ・図示による ＊ボルト間隔 高力ボルト（ ）mm 普通ボルト（ ）mm アンカーボルト（ ）mm ・図示による ＊ゲージ 高力ボルト（ ）mm 普通ボルト（ ）mm アンカーボルト（ ）mm ・図示による	
	8.13.8 ボルト孔	＊母屋又は胴縁の取り付けに使用する普通ボルト孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm ・（ ） ・図示による	
	8.13.10 仮組	＊仮組の実施 ・行う ※行わない	
	14節 高力ボルト接合		
	8.14.2 摩擦面の性能及び処理	＊すべり係数試験 ・行う（試験の方法： ） ※行わない	
	8.14.7 締付け	＊ナット回転法でＪＩＳ形高力ボルトのボルトの長さが呼び径の5倍を超える場合の回転量 ※図示による ・（ ）	
	15節 溶接接合		
	8.15.3 技能資格者	＊技量付加試験 ・行う ※行わない ・図示による	
	8.15.4 材料準備	＊開先の形状 ※図示による ・（ ）	
	8.15.7 溶接施工	＊エンドタブを切断する箇所及び切断範囲 ※図示による ・（ ） 切断面の仕上げ ※グラインダー仕上げ［粗さ100μmRz程度以下、ノッチ深さ1mm程度以下］ ・図示による ・（ ） ＊完全溶け込み溶接 ＊板厚が異なる場合における低応力高サイクル疲労を受ける部位 ※図示による ・（ ） ＊スカラップの形状 ※図示による ・（ ）	
	8.15.12 溶接部の試験	＊「鉄骨造の継手又は仕口の構造方法を定める件」第二号に関する試験方法等 ・図示による ・（ ） ＊「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・図示による ・（ ） ＊完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う ・行わない	

株式会社 松浦建築事務所 ＴＥＬ (0561) 32-0318	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	建築改修工事特記仕様書（６）	縮尺 NS
			製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. A-006

章	節・項目	特記事項	備考
8 耐震改修工事	１７節 鉄骨の錆止め塗装		
	8.17.2 塗装の範囲	＊ 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ※ 図示による ・（ ） 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※ 8.17.2(1)(ア)～(オ)以外の範囲 ・ 図示による ・（ ）	
	8.17.4 塗料の種別	＊ 錆止め塗料種別 SRC造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面 ※ 表7.4.1のA種 ・（ ） 特記により塗装を行う場合の耐火被覆材の接着する面 （ ）	[表 7.4.1]
	１８節 耐火被覆		
	8.18.2 耐火被覆の種類等	＊ 種 別 ・ 耐火材吹付け ・ 耐火板張り ・ 耐火材巻付け ・ ラス張りモルタル塗り ・ 耐火塗料 ＊ 材料および工法 ※ 図示による ・（ ） ＊ 耐火被覆の耐火性能 ※ 図示による ・（ ）	
	8.18.3 耐火被覆の性能、品質等		
	２０節 溶融亜鉛めっき工法		
	8.20.5 溶融亜鉛めっき高ﾏｶﾞﾈｯﾄ接合	＊ 摩擦面の処理 ・ ブラスト処理 ・ りん酸塩処理 ・ 図示による ・（ ）	
	２１節 現場打ち鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ壁の増設工事		
	8.21.2 既存部分の撤去等	＊ 既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲（既存構造体を露出させる） ・（ ） ＊ 工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ※ 図示による ・（ ） ＊ 既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・（ ） ＊ はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示による ・（ ）	
	8.21.3 既存部分の処理	＊ 打継ぎ面となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度 ※ 図示による ・（ ）	
	8.21.6 鉄筋の加工及び組立	＊ 割裂補強筋の仕様 ※ 図示による ・（ ）	
	8.21.8 コンクリートの打込み	＊ コンクリート打込み工法 ・ 流込み工法 ・ 圧入工法 ・ 図示による ・（ ）	
	8.21.9 既設構造体との取合い	＊ 既存構造体と増設壁との取合いの処理方法 ※ グラウト材の注入 ・ 図示による ・（ ）	
	8.21.10 仕上げ	＊ 増設壁工事後の仕上げ ※ 図示による ・（ ）	
	２２節 鉄骨ﾌﾞﾚｰｽの設置工事		
	8.22.2 既存部分の撤去等	＊ 既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲（既存構造体を露出させる） ・（ ） ＊ 工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ※ 図示による ・（ ） ＊ 既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・（ ） ＊ はつりだした鉄筋及び鉄骨の処理 ※ 図示による ・（ ）	
	8.22.3 既存部分の処理	＊ 打継ぎ面となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度 ※ 図示による ・（ ）	
	8.22.7 既存構造体との取合い	＊ 割裂補強筋の仕様 ※ 図示による ・（ ）	
	8.22.9 仕上げ	＊ ブレース設置工事後の仕上げ ※ 図示による ・（ ）	
	２３節 柱補強工事		
	8.23.2 既存部分の撤去等	＊ 既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲（既存構造体を露出させる） ・（ ） ＊ 工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ※ 図示による ・（ ） ＊ 既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・（ ） ＊ はつりだした鉄筋及び鉄骨の処理 ※ 図示による ・（ ）	
	8.23.3 既存部分の処理	＊ 打継ぎ面となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度 ※ 図示による ・（ ）	
	8.23.5 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖ﾌﾗｯﾌﾟ巻き工法	＊ コンクリート及び構造体用モルタルの打ち込み ・ 流込み工法 ・ 圧入工法 ・ 図示による	
	8.23.6 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法	＊ 柱頭及び柱脚に隙間を設ける場合の鋼板等の加工 ※ 図示による ・（ ）	
	8.23.7 仕上げ	＊ 補強工事後の仕上げ ※ 図示による ・（ ）	
	２４節 連続繊維補強工事		
	8.24.4 既存部分の撤去等	＊ 既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲（既存構造体を露出させる） ・（ ） ＊ 工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ※ 図示による ・（ ） ＊ 既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・（ ） ＊ はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示による ・（ ）	
	8.24.6 施 工	＊ 下地処理 ひび割れ部の改修工法 ・ 4.1.4による樹脂注入工法 ・ 図示による ・（ ） 面取りの大きさ（柱の隅角部） ※ 図示による ・（ ） ＊ 引張強度試験（試験数量： ・ 行う（試験数量： ） ・ 行わない ＊ 付着強度試験（試験数量： ・ 行う（試験数量： ） ・ 行わない	
	8.24.7 仕上げ	＊ 補強工事後の仕上げ ※ 図示による ・（ ）	
	２５節 耐震スリット新設工事		
	8.25.2 施 工	＊ 耐震スリットの幅及び深さ ・ 図示による ・（幅： 深さ： ） ＊ 既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲（既存構造体を露出させる） ・（ ） ＊ 工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ※ 図示による ・（ ） ＊ 充填剤の挿入及び周囲補修等 充填材の種類 / 使用箇所 / 仕様 / 備考 耐火材 遮音材 シーリング 仕様は表 3.7.1の記号による ＊ 既存部分の撤去部の補修 ※ 撤去材と同一材で補修する ・ 監督員との協議による ・（ ）	
	２６節 免震改修工事		
	8.26.5 既存部分の撤去等	＊ 既存部分がRC又はSRCの場合の既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲（既存構造体を露出させる） ・（ ） ＊ 工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ※ 図示による ・（ ） ＊ 既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・（ ） ＊ はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示による ・（ ） ＊ 既存杭の撤去範囲及び撤去方法 ※ 図示による ・（ ）	
	8.26.6 既存部分の処理	＊ 打継ぎ面となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度 ※ 図示による ・（ ） ＊ 既存杭の杭頭部等の処理 ※ 図示による ・（ ）	
	8.26.7 支承材・減衰材	＊ 支承材又は減衰材の材質、諸元 ※ 図示による ・（ ） ＊ 性能確認試験の項目及び数量 ・（ ） ・ 図示による ＊ 製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等 ※ 図示による ・（項目： 内容： 判定基準： 検査頻度： ）	
	8.26.10 支承材又は減衰材の設置	＊ 防錆処置 ・（ ） ・ 図示による ＊ 設置位置の寸法許容差 ・（ ） ・ 図示による ＊ 割裂補強筋の適用 ・ 適用する ・ 適用しない ＊ コンクリート打込み工法 ・ 流込み工法 ・ 圧入工法 ・ 図示による ・（ ）	
	8.26.13 仕上げ	＊ 支承材又は減衰材設置後の仕上げ ※ 図示による ・（ ）	
	8.26.14 耐火被覆	＊ 支承材への耐火被覆の適用 ・ 適用する（仕様： ） ・ 適用しない	
	8.26.15 免震ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｼﾞｮｲﾝﾄ等	＊ 免震部分周囲のｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｼﾞｮｲﾝﾄの仕様、工法等 ※ 図示による ・（ ）	
	8.26.16 検 査	＊ 検査の項目及び数量 ・（ ） ・ 図示による	
	8.26.17 維持管理要領	＊ 記載する項目 ※ 8.26.17 (2) による ・（ ） ＊ 地震計、下げ振り、けがき板、別置き試験体等の設置及び仕様 ※ 図示による ・（ ）	
	２７節 制震改修工事		
	8.27.2 既存部分の撤去等	＊ 既存部分がRC又はSRCの場合の既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲（既存構造体を露出させる） ・（ ） ＊ 工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ※ 図示による ・（ ） ＊ 既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・（ ） ＊ はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示による ・（ ） ＊ 既存鉄骨の撤去範囲及び撤去方法 ※ 図示による ・（ ） ＊ 既存鉄骨の処置 ※ 図示による ・（ ）	
	8.27.3 既存部分の処理	＊ 打継ぎ面となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度 ※ 図示による ・（ ）	
	8.27.4 減衰材	＊ 減衰材の材質、諸元 ※ 図示による ・（ ） ＊ 性能確認試験の項目及び数量 ・（ ） ・ 図示による ＊ 製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等 ※ 図示による ・（項目： 内容： 判定基準： 検査頻度： ）	
	8.27.6 減衰材の設置	＊ 防錆処置 ・（ ） ・ 図示による ＊ 設置位置の寸法許容差 ・（ ） ・ 図示による ＊ 割裂補強筋の適用 ・ 適用する ・ 適用しない ＊ コンクリート打込み工法 ・ 流込み工法 ・ 圧入工法 ・ 図示による ・（ ）	
	8.27.8 仕上げ	＊ 減衰材設置後の仕上げ ・ 図示による ・（ ）	
	8.27.9 検 査	＊ 検査の項目及び数量 ・（ ） ・ 図示による	

章	節・項目	特記事項	備考
8 耐震改修工事	２８節 土工事及び地業工事		
	8.28.2 既存杭の撤去等	＊ 既存杭の撤去範囲及び撤去方法 ※ 図示による ・（ ） ＊ 既存杭の杭頭部等の処理 ※ 図示による ・（ ） ＊ 既存杭の補強 ※ 図示による ・（ ） ＊ 既存杭の健全性を確認する試験 ・ 行う ・ 行わない	
	8.28.3 土工事	＊ 埋戻し及び盛土の材料及び工法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ＊ 処分にあたっては「リサイクルガイドライン」に基づき、適正に処理する。 ＊ 建設発生土の有無 ・ 有 ・ 無 ＊ 建設発生土の処理 ・ 構外搬出（関係法令に従い適切に処理） 搬出先名称（所在地）： （ ） 片道運搬距離：（ ）km 片道運搬時間：（ ）時間 搬出先条件（土質試験、その他建設発生土発生抑制や適正処分に必要な情報） ：（ ） ・ 場内散き均し 建設発生土を構外へ搬出する場合は、搬出先等の承諾を得たうえで、搬出先及び処分状況（高さ、勾配等）がわかる写真並びに運搬を証明する書類等を監督職員に提出する。	[表 8.28.1]
	8.28.4 地業工事	＊ 試験杭の位置、本数、寸法 ※ 図示による ・（位置： 本数： 寸法： ） ＊ 試験杭の施工方法 ※ 図示による ・（ ） ＊ 杭の載荷試験 ・ 水平載荷試験 ・ 鉛直載荷試験 ・ 行わない ＊ 試験の位置、本数、載荷荷重 ※ 図示による ・（位置： 本数： 載荷荷重： ） ＊ 8.28.4 (2) (エ) 以外の報告書の記載事項 （ ） ＊ 地盤の載荷試験 ・ 平板載荷試験 ・ 行わない ＊ 試験の位置、載荷荷重 ※ 図示による ・（位置： 載荷荷重： ） ＊ 8.28.4 (2) (エ) 以外の報告書の記載事項 （ ） ＊ 杭事業の工法 ※ 図示による ・（ ） ＊ 支持地盤の位置、土質、杭の根入れ長さ、水平方向の位置ずれの精度 ※ 図示による ・（位置： 土質： 根入れ長さ： 水平方向の位置ずれの精度： ） ＊ 杭の寸法 ※ 図示による ・（ ） ＊ 技能資格者の技量及び溶接部の確認 （ ） ＊ 杭頭処理 ※ 図示による ・（ ） ・ 無し ＊ 本杭の施工方法 ※ 図示による ・（ ） ＊ 水平方向の位置ずれの精度 X方向 （ ）mm Y方向 （ ）mm ＊ 記録する施工状況等 （ ） ＊ 砂利及び砂地業の厚さ ※ 60mm ・（ ）mm ＊ 捨てコンクリートの厚さ ※ 50mm ・（ ）mm	
9 環境配慮改修工事	１節 石綿含有建材の処理工事		
	9.1.1 一般事項	＊ 大気汚染防止法に基づき、適正に対応すること。 ＊ 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示による ・（ ） ＊ 石綿粉じん濃度測定 ・ 行う ○ 行わない 測定時期 / 測定場所 / 測定点 / 備考 処理作業前 / ① 施工区画周辺又は敷地境界 / 4方向各1点（敷地境界） / （注）1、（注）4 処理作業中 / ② セキュリティーゾーン入口 / 1点 / 空気の流れを確認（注）1 処理作業中 / ③ 集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合） / 1点 / 集じん・排気装置の性能確認（注）1 処理作業中 / ④ 施工区画周辺又は敷地境界 / 4方向各1点（敷地境界） / （注）1 処理作業後 隔離シート撤去前 / ⑤ 処理作業室（隔離された区域）内 / 2点 （注）2 / （注）3 （注）1 連続値で10f/l以上検出された場合は、その原因を確認すること。 （注）2 各施工箇所ごとの室面積が10m2以下は1点、50m2以下までは2点、300m2以下までは3点とする。300m2を超えるものは、300m2ごとに1測定点を追加する。 （注）3 粉じん測定は、粉じん飛散抑制剤を散布した翌日とし、連続値で10f/l以下であることを確認した後、シートの撤去を行うこと。 （注）4 処理作業前の測定については、監督職員との協議による。 ＊ 石綿測第6条による隔離措置と「同等以上の効果を有する措置」により除去等作業を行う場合、上表のうち、①及び④を実施する。 ＊ 粉じん濃度測定結果報告書の提出部数 ※ 2部 ・（ 部）	
	9.1.2 除去工事共通事項	＊ 石綿作業主任者は、法令に基づき、労働者の指揮、作業の方法の指導等、必要な措置を行うこと。 特に、主たる工事が石綿対策工事の場合は、自社所属の石綿作業主任者を選任すること。 ＊ 監督職員等の保護具及び保護衣等は、受注者が無償で準備すること。	
	9.1.3 石綿含有吹付け材の除去	＊ 除去工法 ※ 図示による ・ 9.1.3 (2) (ア) による ＊ 除去した石綿含有吹付け材の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 ・ 図示による ＊ 除去した石綿含有吹付け材の処分 ・ 9.1.3 (3) (エ) (a) による ・ 9.1.3 (4) (エ) (b) による	
	9.1.4 石綿含有保温材等の除去	＊ 除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 ・ 図示による ＊ 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 9.1.3 (3) (エ) (a) による ・ 9.1.3 (4) (エ) (b) による	
	9.1.5 石綿含有成形板等の除去	＊ 養生シート ○ 使用する ・ 使用しない ＊ 除去した石綿含有成形板（石綿含有せっこうﾎﾞｰﾄﾞを除く）の処分 ○ 埋立処分 ・ 中間処分 ・ 図示による	
	9.1.6 石綿含有仕上塗材の除去	＊ 除去方法 ※ 図示による ・（ ） ＊ 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ○ 埋立処分 ・ 中間処分 ・ 図示による ＊ 汚泥としての処理の必要有無 ・ 無 ・ 有（ ）	
	２節 外断熱改修工事		
	9.2.2 材 料	＊ 断熱材の種類及び厚さ ※ 図示による ・（種類： 厚さ： ） ＊ 外装材の種類及び防火性能 ※ 図示による ・（種類： 防火性能： ）	
	9.2.3 既存外壁の処置	＊ 仕上材の撤去 ※ 図示による ・（ ） ＊ 下地面の清掃 ※ 図示による ・（ ）	
	9.2.4 工 法	＊ 断熱材設置部分の下地に欠損部がある場合の改修工法の種類（4.1.4） ※ 図示による ・（ ） ＊ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による ・（ ） ＊ 不陸等の下地調整 ※ 図示による ・（ ） ＊ 断熱材の施工 ※ 図示による ・（ ） ＊ 外装材の施工 ※ 図示による ・（ ） ＊ 通気層の有無及び厚さ ・ 有（厚さ： ） ・ 無 ＊ 外装材の外壁への取り付け ※ 図示による ・（ ）	
	３節 断熱・防露改修工事		
	9.3.2 断熱材打込み工法	＊ 適用する断熱材 種類 / 種別 / 厚さ（mm） / 品質・規格 ・ ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材 / ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 4号 / / JIS A 9521 (建築用断熱材) ・ 押出法ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材 / ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 ・ a ・ b / / ・ 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材 / ・ 1種 ・ 2種 ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 4号 / / ・ ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材 / ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 ・ 1号 ・ 2号 / / ・ ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材 / ・ 特号 ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 4号 / / JIS A 9511 (発泡プラスチック保温材) ・ 押出法ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材 / ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 ・ a ・ b / / ・ A種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材 / ・ 1種 ・ 2種 ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 4号 / / ・ ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ保温材 / ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 ・ 1号 ・ 2号 / /	JIS A 9511
	9.3.3 断熱材現場発泡工法	＊ 種類（建築物断熱材用吹付け硬質ウレタンフォーム（難燃性）） ※ A種1 ・ A種2 ・ A種3 ・ B種1 ・ B種2 ＊ 吹付け厚さ （ ）mm	JIS A 9526

株式会社 松浦建築事務所 ＴＥＬ (0561) 32-0318	工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称 建築改修工事特記仕様書（７）	縮尺 NS
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. A-007

２０２４年４月１日改訂

章	節・項目	特記事項	備考
9章 環境配慮改修工事	9.3.4 断熱材後張り工法	＊ 適用する断熱材 種類 ／ 種別 ／ 厚さ(mm) ／ 品質・規格 ・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ／ JIS A 9521（建築用断熱材） ・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 ・1種 ・2種 ・3種 ・a ・b ／ JIS A 9521（建築用断熱材） ・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・1種 ・2種 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ／ JIS A 9521（建築用断熱材） ・フェノールフォーム断熱材 ・1種 ・2種 ・3種 ・1号 ・2号 ／ JIS A 9521（建築用断熱材） ・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ・特号 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ／ JIS A 9511（発泡プラスチック保温材） ・押出法ポリスチレンフォーム保温材 ・1種 ・2種 ・3種 ・a ・b ／ JIS A 9511（発泡プラスチック保温材） ・A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・1種 ・2種 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ／ JIS A 9511（発泡プラスチック保温材） ・フェノールフォーム保温材 ・1種 ・2種 ・3種 ・1号 ・2号 ／ JIS A 9511（発泡プラスチック保温材） 断熱材に石膏ボード等を張り付けたパネルを使用する場合 ・（ ）	JIS A 9521 JIS A 9511
	4節 屋上緑化改修工事		
	9.4.2 材料	＊ 芝及び地被類の種類等 ※ 図示による ・（ ） 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材 ※ 図示による ・（見切り材： 舗装材： 排水孔： マルチング材： ）	
	9.4.3 工法	＊ 建設省告示第1458号による風圧力に対応した固定工法 ※ 図示による ・（ ） ＊ かん水装置設置及び種類 ※ 図示による ・有（種類： ） ・無 ＊ 既存保護層等の撤去工法 ※ 図示による ・（ ）	
	9.4.4 新植芝及び地被類の枯保証	＊ 枯補償の期間 ※ 引渡しの日から1年 ・（ ）	
	5節 透水性アスファルト舗装改修工事		
	9.5.2 既存舗装の撤去及び再利用	＊ 既存舗装の撤去 ・行う ・行わない ※ 図示による ・（ ） ＊ 既存舗装の再利用 ・行う ・行わない ※ 図示による ・（ ）	
	9.5.3 路床	＊ 凍上抑制層の適用及び厚さ ※ 図示による ・適用する（厚さ： ） ・適用しない ＊ 透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ （ ） ＊ 路床安定処理の適用及び方法 ※ 図示による ・適用する（方法： ） ・適用しない ＊ 盛土材料の種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ＊ 砂の粒度試験 ・行わない ・行う ＊ 路床安定処理用添加材料 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰特号 ・生石灰１号 ・消石灰特号 ・消石灰１号 ＊ 路床土のＣＢＲ試験 ・行う ・行わない ＊ 路床締固め度試験 ・行う ・行わない ＊ 現場CRB試験 ・行う ・行わない	[表 8.28.1] [表 9.5.2]
	9.5.4 路盤	＊ 路盤の厚さ ※ 図示による ・（ ） ＊ 路盤材料の種別 ・図示による ・（ ）	[表 9.5.3]
	9.5.5 舗装の構成及び仕上り	＊ 舗装の構成 ※ 図示による ・（ ） ＊ 舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの ・（ ）	
	9.5.9 試験	＊ 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない	
	視覚障がい者誘導ブロック	＊ 屋内 ※ 塩化ビニール製 ・磁器又はせっ器質タイル ・レジコンコンクリート製 ・（ ） ＊ 屋外 ※ 磁器又はせっ器質タイル、レジコンコンクリート製 ・（ ）	突起の形状・寸法及び配列はJIS T 9251による
その他	給水設備工事 排水設備工事	＊ 給水設備工事の施工については、愛知中部水道企業団指定給水装置工事事業者に登録のある事業者が行うこと。 ＊ 排水設備工事の施工については、長久手市下水道排水設備指定工事店に登録のある事業者が行うこと。	
	特定建設資材の再資源化等	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律［（平成12年法律第104号）以下「建設リサイクル法」という。］に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、別表１又は２、及び３の積算条件を設定しているが、工事請負契約書に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されたものであるため、発注者が、積算上条件明示した別表の事項と別の方法であった場合でも、変更の対象としない。ただし、現場条件の変更等、受注者の責によるものでない事項については、この限りではない。また、受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づく報告として、監督職員に再資源化等報告書を提出すること。 ＊ 別表１ 建築物に係る解体工事 工程ごとの作業内容及び解体方法： ・建築設備、内装等 ／ 作業内容：・有 ・無 ／ 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・屋根ふき材 ／ 作業内容：・有 ・無 ／ 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・外装材、上部構造部材 ／ 作業内容：・有 ・無 ／ 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・基礎、基礎ぐい ／ 作業内容：・有 ・無 ／ 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・その他（ ） ／ 作業内容：・有 ・無 ／ 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ＊ 別表２ 建築物に係る新築工事等（新築・増築・修繕・模様替） 工程ごとの作業内容及び解体方法： ・造成等 ／ 作業内容：・有 (・) 無 ／ 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・基礎、基礎ぐい ／ 作業内容：・有 (・) 無 ／ 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・上部構造部分、外装 ／ 作業内容：(・) 有 ・無 ／ 分別・解体等の方法：・手作業 (・) 手作業と機械作業の併用 ・屋根 ／ 作業内容：(・) 有 ・無 ／ 分別・解体等の方法：(・) 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・建築設備、内装等 ／ 作業内容：(・) 有 ・無 ／ 分別・解体等の方法：・手作業 (・) 手作業と機械作業の併用 ・その他（ ） ／ 作業内容：・有 (・) 無 ／ 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ＊ 別表３ 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（外構・工作物等） 工程ごとの作業内容及び解体方法： ・仮設 ／ 作業内容：・有 ・無 ／ 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・土工 ／ 作業内容：・有 ・無 ／ 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・基礎工事 ／ 作業内容：・有 ・無 ／ 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・本体工事 ／ 作業内容：・有 ・無 ／ 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・本体付属品 ／ 作業内容：・有 ・無 ／ 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・その他（ ） ／ 作業内容：・有 ・無 ／ 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ＊ 別表４ 再資源化等をする施設の名称及び所在地 廃棄物の種類 ／ 施設の名称 ／ 所在地 ・コンクリート ・鉄及びコンクリートから成る建設資材 ・アスファルト・コンクリート ・木材 （一社）公共建築協会の「建築材料・設備材料等品質性能評価事業」により評価をうけた建築材料・設備機材等（評価書に「納入地区および当該建設場所がその地区に含まれるアフターサービス地区」の欄があるものは場合に限る。）については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」及び「公共建築改修工事標準仕様書」に適合するものと扱う。なお、評価を受けていることの確認は、監督職員に評価書の写しを提出することにより行う。	

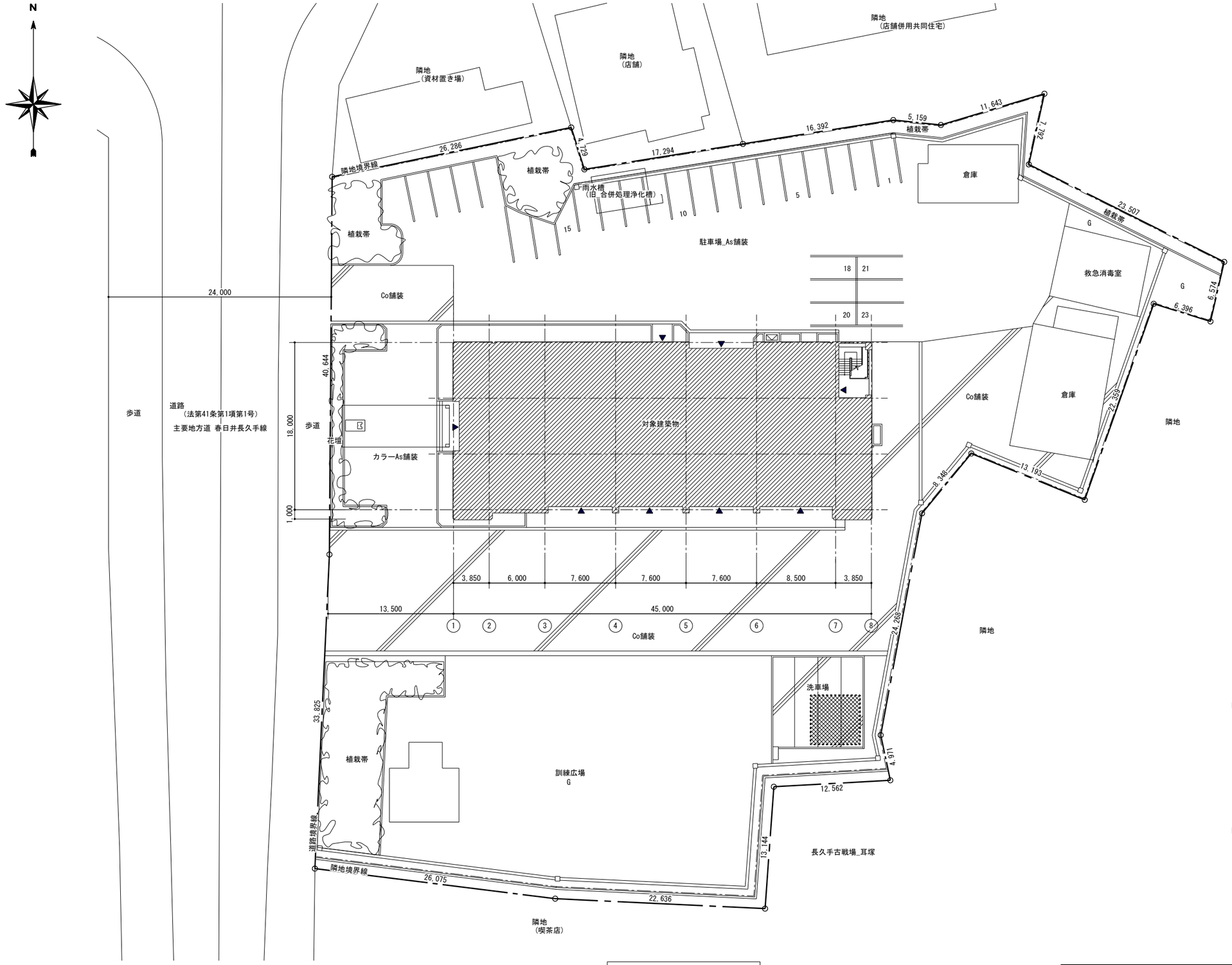
章	節・項目	特記事項	備考

株式会社 松浦建築事務所 ＴＥＬ (0561) 32-0318	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	建築改修工事特記仕様書（８）	縮尺 NS
			製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. A-008

N



株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
TEL (0561) 32-0318	図面名称	敷地案内図	縮尺 A2 1：2,500 / A3 1：3,525
			製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. A-009



改修前　配置図　1/300

■地面凡例

・As：アスファルト舗装

・Co：

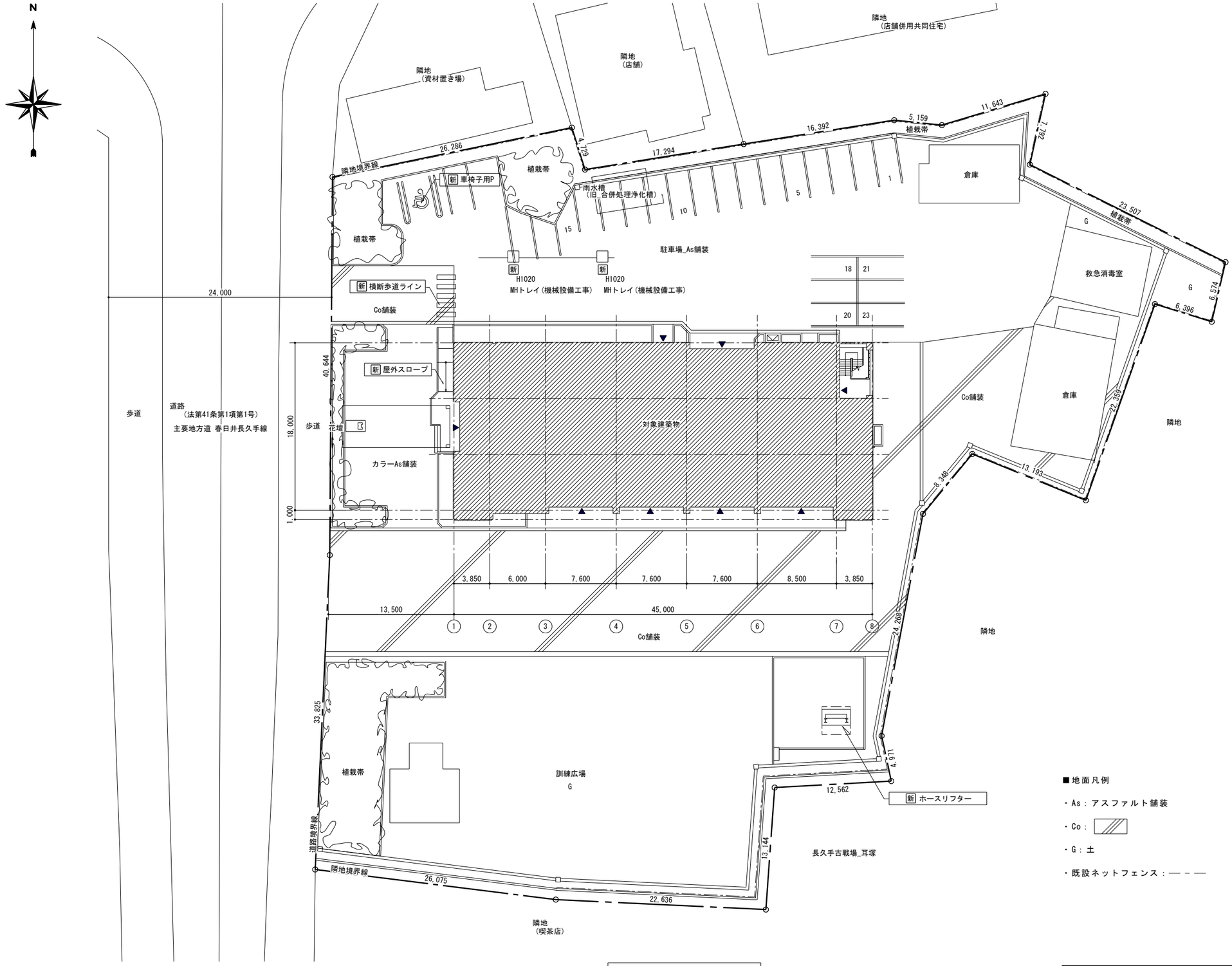
・G：土

・既設ネットフェンス：—— - ——

■工事凡例

・土間コンクリート t150 撤去

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
TEL (0561) 32-0318	図面名称	改修前　敷地配置図
	縮尺	A2 1：300 A3 1：424
	製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No.	A-010



■地面凡例

・As：アスファルト舗装

・Co：

・G：土

・既設ネットフェンス：— - —

改修後　配置図　1/300

株式会社 松浦建築事務所 TEL　(0561)　32-0318	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称 改修後　敷地配置図	縮尺　A2　1：300 A3　1：424
		製図　令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号　松浦孔明	No. A-011

外部改修仕上表

改修項目	部 位	改 修 前	措 置	改 修 後
A.防水改修	屋上	コンクリートスラブ_アスファルト防水 8層_無筋コンクリート金ゴテ押エ t 60（水勾配1/100） 伸縮目地@3,000内外 縦横共	平面防水層（立上り共）_保護コンクリート面下地処理（立上り部の既存防水層及び保護層の撤去は行わない）	平面部_塗膜防水工法(X-1)、（伸縮目地打替、設備基礎廻り・鳩小屋含む） 立上部_塗膜防水工法(X-2)（設備基礎廻り・鳩小屋含む）
	ﾊﾞﾙｺﾆｰ共通	床_防水モルタル金ゴテ押エ	下地補修の上、水洗い清掃、エポキシ樹脂モルタル下地調整材塗り	塗膜防水工法(X-2)
	笠木	カラーアルミ押出型材 W-450	取外し、ケレン、清掃	塗膜防水の上、再取付
	庇	防水モルタル金ゴテ押エ（見付_合板型枠打放シ吹付タイル）	下地補修の上、水洗い清掃、エポキシ樹脂モルタル下地調整材塗り	塗膜防水工法(X-2)
B.外壁改修	巾 木	二丁掛窯変タイル、合板型枠打放シ 吹付タイル	タイル 部分_指定範囲ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入同等工法、欠損部：既設下地共撤去の上張替え、 指定範囲外(車寄せ含む)_水洗い（タイル面はバイオ洗浄コーティング）、清掃 吹 付 部 分_下地調整材共撤去、下地補修：※A1、指定範囲外_水洗い、清掃	既存タイル残置 下地調整 CM-2、可とう形改修塗材RE
	腰壁・壁	二丁掛窯変タイル、合板型枠打放シ 吹付タイル、東西面一部特殊リブ付タイル		
	パラペット	二丁掛窯変タイル、合板型枠打放シ 吹付タイル、東西面一部特殊リブ付タイル		
	柱型・梁型	二丁掛窯変タイル、合板型枠打放シ 吹付タイル		
	軒裏	二丁掛窯変タイル、合板型枠打放シ 吹付タイル		
B_a. 訓練塔改修（屋外階段）	屋上（訓練用ﾊﾞﾙｺﾆｰ）	コンクリート金ゴテ押エ下地シート防水	撤去	既設防水材撤去跡水洗い薄塗り樹脂モルタルの上、塗膜防水(X-2)ノンスリップ工法
	柱型・梁型	合板型枠打放シ 吹付タイル、笠木：モルタル金ゴテ押エ	吹 付 部 分_下地調整材共撤去、下地補修：※A1、指定範囲外_水洗い、清掃	下地調整 CM-2、可とう形改修塗材RE（既存部分との模様合わせを行う事）
	階段	蹴上・踏面：防水モルタル金ゴテ押エ、手摺壁：モルタル下地 吹付タイル、上裏：合板型枠打放シ アクリルリシン吹付	蹴上・踏面_欠損部補修、上裏_下地調整材共撤去、下地補修：※A1、指定範囲外_水洗い、清掃	下地調整 CM-2、可とう形改修塗材RE（既存部分との模様合わせを行う事）
C.建具改修	建具	アルミ製サッシ 見込 70	現況のまま	————
		ガラス	水洗い	————
		オーバースライダー	撤去	電動オーバースライダー（水圧開放装置付き）新設
		鋼製建具	指定箇所_撤去	新設
D.樋 関 係	ルーフドレイン	横引ルーフドレイン：鋳鉄製φ100 コールタール焼付	ストレーナー_撤去	改修用ドレイン新設
	竪 樋	亜鉛メッキ鋼管 φ100	撤去	SUS φ100
	飾り桝	————	————	ステンレス製
E.シーリング	————	サッシ廻りシーリング、トップライト廻りシーリング、 躯体打ち継ぎ目地	撤去	打ち替え_サッシ廻り他 MS-2：変成ｼﾘｺｰﾝ系、打ち継ぎ目地（仕上無）PS-2：ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系
F.そ の 他	トップライト	アクリル樹脂製(乳白色) 1300角、600角	現況のまま	————
	換気パイプ	塩ビ製 防虫網付き OP	下地調整 RB種	DP
	屋上手摺	スチール製 OP H=1,000	撤去	AL製手摺 H-1,100
	パネル類	目隠し_スパンドレール、車寄せ幕板及び軒天	クリーニング	————
	鋼製階段	踏板：縞鋼板 t45、ささら：［-200×50×4.0、手すり:SGP 42.7φ OP	塗膜のみ除去	下地調整の上、DP塗装
G.外 構	ホースリフター	鉄骨造	現況のまま	新設_自立型（ホースリフターFHD200型）_消防ホース10本×2列、分割昇降式
H.新 設	スロープ	花壇	撤去	床：コンクリート打ち刷毛引き仕上、ビニハン手摺
	災害用マンホールトイレ	————	————	3基（災害用ﾏﾝﾎｰﾙﾄｲﾚ洋式ﾀｲﾌﾟ×3、ﾊﾟｰｿﾅﾙﾃﾝﾄ Mﾀｲﾌﾟ×2、Lﾀｲﾌﾟ×1）_貯留型

特記事項

- 鉄骨塗装部分は、錆止め塗装を行うこと。
- 内部に使用するホルムアルデヒト発散建築材料は接着剤も含め全て規制対象外(F☆☆☆☆)のものとする。
- 塗装下地調整は、特記なき限りRB種とし、壁紙張り下地調整はRA種とする。
- 下地補修とは、ひび割れ・欠損・爆裂・浮き・露出鉄筋・塗装の浮き等の劣化補修を行うことをいい、外壁調査図によるものとする。
- ｱｽﾍﾞｽﾄ除去工事に先立ち、気中石綿繊維数が基準値以下であることを証明するため、下記要領にて試験施工を実施する事。
- 湿式 集塵装置付きﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰｹﾚﾝ工法、隔離養生（負圧なし）、粉塵濃度測定（作業付近 1点、プラント付近 1点）
- ※(試験施工にて測定値が基準を満たさない場合は隔離養生を行う事)

【アスベスト含有材撤去】 ※A1

- ［　　］：アスベスト含有材として扱い、適切な撤去方法を行う
  - アスベスト含有部位への足場繋ぎ等の施工において、局部湿潤の上 HEPAフィルター付き吸引機にて削孔による粉塵を吸引すること。（作業員はアスベスト飛散防護マスク等を着用のこと）
  - 使用済HEPAフィルターは適切な保管(アスベスト含有材専用保管)、運搬(飛散防止措置による運搬)
  - 処分(特別管理産業廃棄物-管理型最終処分)とする。
  - アスベスト含有部位について：吹付タイル、リシン吹付等に含まれるアスベストは下地調整材に入っているものとする。

外壁の既設吹付材の撤去方法は、集じん装置付超高圧水洗(高圧ポンプ100Mpa)とし
部分的にﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰｹﾚﾝ工法を併用し既存塗膜、下地調整剤を全面撤去すること。
養生：作業範囲を養生シートにて区画し関係者以外立入禁止とする
工法：形成板を湿潤化し手ばらしにて撤去し、専用袋に集積する
処分：現場外搬出までの他廃材と分けて保管し、シート覆い等の飛散防止措置をする
搬出：運搬車は荷台に覆いをかけるなどの飛散防止措置をする

- 磁器質150角タイル：ピアッツァ OXｼﾘｰｽﾞ_INAX同等品以上
- 手摺：四国化成工業㈱_セイフティビーム SU型同等品以上
- 移動間仕切り：小松ウォール工業㈱_HS-80GF同等品以上
- 多機能けい酸カルシウム板：アイカ工業㈱_モイスNT天井材
- 繊維強化セメント板_ニチアス㈱ NPラックスH
- 遮音構造壁：吉野石膏 ﾊｲﾊﾞｰｳｫｰﾙZ・WI （耐火構造 FP060NP-0448(2)）= LGS W-65+GB-R-Ht12.5+GB-R-Ht9.5（GW 24K 厚50mm）+ WP
- 結露防止塗材：菊水化学工業㈱_ケツロナイン同等品以上
- OAフロア：共同カイテック㈱_ネットワークフロア40同等品以上

凡例・略号○ 仕上げ材( )内は旧分類記号

GB-R	せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	SUS	ｽﾃﾝﾚｽｽﾁｰﾙ (304)
GB-S	耐水（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ）せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	OP	油性調合ﾍﾟｲﾝﾄ
GB-F	強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	OS	ｵｲﾙｽﾃｲﾝ
GB-R-H	普通硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	VP (VE)	塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ
GB-D (T) (W)	化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ）（木目模様）	SOP	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ
		EP-G	つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ
GB-St-A	構造用石膏ボード	EP	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ
DR	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板	EP-T	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料
0.8FK(0.8K)	繊維混入ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板（比重0.8）	NAD	ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料
0.8FK-D	化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板（比重0.8）	UC	ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ
1.0FK	繊維強化セメント板（比重1.0）	DP	耐候性塗料
AL/ST	ｱﾙﾐｳﾑ/鋼	VS - **	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(＊＊材質区分は下記参照)
TM	畳	TS	単層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ発泡層無し(NM)
KT	ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ（CT・CTS）	FS	複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ発泡層無し(NC・NF・NO)
TT	単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ（HT）	HS	発泡複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ発泡層有(DC・DF・DO・PO)
FT	複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ（HT）	KS	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱｰ 発泡層有(PF)
FOA	置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ（HTL）	内装薄塗材E	薄付け仕上塗材 内装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系
FOB	薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	外装厚塗材E	厚付け仕上塗材 外装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系
CP	カーペット	複層塗材E	複層仕上塗材 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系
CPT	カーペットタイル	複層塗材RE	複層仕上塗材 反応硬化形合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系
CT	判硬質ビニル床タイル	可とう形改修用仕上塗材	可とう形改修塗材RE
FLB(FB)	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ（ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ）		
SBB (WBB)	ｿﾌﾄ巾木（木製巾木）		
MBB	メタル巾木		
WP (WP-t)	壁紙_ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(_織物)		

法定不燃・準不燃・難燃認定番号リスト

せっこうボード(GB-R) t9.5	準不燃 QM-9828
壁紙(AA級)、防火種別:2-1	準不燃 QM-9401～9449
構造用石膏ボード（GB-St-A）	不燃 NM-8615

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称 外部仕上表
縮尺 N.S
製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明
No. A-012

内部改修仕上表_1

階	室名	区分	床	床高	巾木	H	腰壁・壁	天井	廻縁	天井高	室名札	備考
1階	玄関ホール	改修前	モルタル下地窯変磁器質床用タイル	±0	テラゾーブロック(TB)・一部赤御影石(GNT)	75	モルタル金ゴテ押エ_吹付タイル	石こうボード(GB-R) t9.0下地 ＋ロックウール化粧吸音板(DR_立体模様) t15	塩ビ製	4,900		正面壁_陶壁 ■ACW-1
		処置	現況のまま		現況のまま		現況のまま	LGS下地共撤去	現況のまま			現況のまま ■ACW-1 両開きドア W1，600×H2,000 → 撤去
		改修後	————	——	受付カウンター部：木製巾木(WBB)_SOP	75	————	LGS下地＋石こうボード(GB-R) t9.5下地 ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(DR) t12	——	——		■ACW-1 両開き自動ドアに改修
	受付	改修前	OAフロアー下地置敷ビニル床タイル(FOA) t5.0	+50	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ_ゾラコート(ZC)吹付(梁型：モルタル下地壁紙(WP))	化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.0	塩ビ製	2,450 〜 2,500		受付ｶｳﾝﾀｰ
	↓	処置	OAフロア共撤去		塗膜_除去		ZC、WP_除去	LGS下地共撤去	撤去			撤去
	予防課	改修後	予防課_OAフロアーH40 ＋ カーペットタイル(CPT) t6.5	+40	下地調整_SOP	75	下地調整の上、壁紙(WP)(梁型共) PS壁：LGS-65@450下地石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス	LGS下地化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,460	○	ｵｰﾌﾟﾝｶｳﾝﾀｰ、天井点検口
	待機室	改修前	OAフロアー下地置敷ビニル床タイル(FOA) t5.0	+50	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ_ゾラコート(ZC)吹付(梁型：モルタル下地壁紙(WP))	化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.0	塩ビ製	2,450		
	↓	処置	OAフロア共撤去		塗膜_除去		ZC、WP_除去	LGS下地共撤去	撤去			
	予防課	改修後	予防課_OAフロアーH40 ＋ カーペットタイル(CPT) t6.5	+40	下地調整_SOP	75	下地調整の上、壁紙(WP)(梁型共) PS壁：LGS-65@450下地石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス	LGS下地化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,460		天井点検口
	警防事務室 同　湯沸室	改修前	OAフロアー下地置敷ビニル床タイル(FOA) t5.0 モルタル下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0	+50 ±0	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ_ゾラコート(ZC)吹付(梁型：モルタル下地壁紙(WP))	化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.0	塩ビ製	2,350 (2,200)	○	ｱﾙﾐ枠（AL）ST（ｽﾁｰﾙ）製行事予定黒板（1,800×900） 流し台、ｺﾝﾛ台、吊戸棚、排気ﾌｰﾄﾞ、水切棚、ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ
	↓	処置	OAフロア共撤去 VS-FS撤去		塗膜_除去		ZC、WP_除去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	撤去
	予防課 更衣室・相談室 湯沸	改修後	予防課・休憩室・給湯_OAフロアーH40 ＋ ｶｰﾍﾟｯﾄﾀｲﾙ(CPT) t5.0 相談室_下地調整の上、ビニル床シート(VS-FS) t2.0	+40 ±0	下地調整_SOP	75	下地調整の上 壁紙(WP)(梁型共)、アルミパーティション(AP) 窓壁：LGS-50@450下地石こうボード t12.5 ＋ 合板 t5.5 ＋ 掲示クロス張り	LGS下地化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,160 〜 2,500	○	ﾐﾆｷｯﾁﾝ（IHﾀｲﾌﾟ）
	仮眠室(101-103) 通路	改修前	モルタル下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0 モルタル下地カーペットタイル(CPT) t6.5	±0	木製巾木(WBB)_OP スチールパーティション	75	既設RC面：モルタル下地壁紙(WP)(梁型共)、LGS下地石こうボード(GB-D(T)) t12 ＋ 壁紙(WP) スチールパーティション(SP)	化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,200 〜 2,300	名札	
		処置	VS-FS、CPT撤去		撤去		RC面_WP撤去、LGS共撤去、SP撤去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	
	↓ トイレ通路 男性・女性トイレ こどもトイレ	改修後	下地調整の上ビニル床シート(VS-FS) t2.0	——	トイレ_メタル巾木(MBB) トイレ通路_ソフト巾木(SBB)	75	既設RC面(梁型共)：モルタル下地 ＋ 壁紙(WP) GL壁工法 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0(突付目地) LGS-65 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0(突付目地) LGS-65 ＋ 強化石こうボード(GB-F) t21 二重張り ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0(突付目地) LGS-65 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 二重張り ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0(突付目地)	LGS下地多機能ケイ酸カルシウム板 t6.0	塩ビ製	2,300	ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
	トイレ	改修前	モルタル下地 磁器質モザイクタイル	-20	————		モルタル下地半磁器質100角タイル(梁型共)	石綿ケイ酸カルシウム板(0.8FK) t6.0_EP	塩ビ製	2,300 〜 2,320	○	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、掃除具入及びﾌｯｸ、ｽﾃﾝﾚｽ（SUS）掃除流し、床見切
	↓	処置	モルタル共撤去(ステンレス框共)				タイルのみ撤去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	撤去
	書庫	改修後	レベリングモルタル金ゴテ ＋ ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	GL工法 ＋ 石こうボード(GB-R) t12.5 ＋ ビニールクロス 梁型_下地調整の上、EP-G	LGS下地化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,300	○	
	浴室	改修前	モルタル下地ポリマールタイル	+50	————		モルタル下地半磁器質100角タイル(梁型共)	バスリブ	塩ビ製	2,300	○	SUS浴槽（1200×740×640）、排水溝、結露水受け
	↓	処置	モルタル共撤去				タイルのみ撤去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	浴槽、排水溝共_撤去ﾓﾙﾀﾙ埋め殺し、結露水受け_撤去
	ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰﾙｰﾑ、脱衣	改修後	モルタル下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0	+150	————		GL工法 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 ＋ 壁紙(WP(防カビ)) GL工法 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0(突付目地)	LGS下地防湿シート ＋ 浴室用パスパネル（パスパネル不燃200同等品）	アルミ製	2,200 〜 2,350	○	ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ（0812ﾀｲﾌﾟ）
	脱衣室 踏込み	改修前	モルタル下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0	+150	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ_VP(梁型共) PS_LGS下地石綿ケイ酸カルシウム板(0.8K) t6.0_VP	バスリブ	塩ビ製	2,200 〜 2,350	○	脱衣棚、上がり框（SUS）
	↓	処置	モルタル共撤去 踏込み_VS-FSのみ撤去		撤去		現況のまま	LGS下地共撤去	撤去		撤去	脱衣棚撤去、上がり框_現況のまま
	脱衣前室 踏込み	改修後	モルタル金ゴテ ＋ ビニル床シート(VS-FS) t2.0 踏込み_下地調整の上、ビニル床シート(VS-FS) t2.0	+150	長尺塩ビソフト巾木	75	GL工法 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 ＋ 壁紙(WP(防カビ)) GL工法 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0(突付目地)	LGS下地防湿シート ＋ 浴室用パスパネル（パスパネル不燃200同等品）	塩ビ製	2,200 〜 2,350	○	
	乾燥室	改修前	防水モルタル金ゴテ押エ(FL-300)、木製床組下地桧スノコ敷	±0	防水モルタル金ゴテ押エ	100	複合板(FPF板 ＋ フレキシブルボード t6.0) t31 打込_VP	石綿ケイ酸カルシウム板(0.8FK) t6.0_VP	塩ビ製	2,200	○	ﾊﾝｶﾞｰﾊﾟｲﾌﾟ、吊金物共（天井内全て複合板ｔ31打ち込み）
	↓	処置	木製床組及び桧スノコ撤去		現況のまま		塗膜_除去	塗膜_除去	現況のまま		撤去	ﾊﾝｶﾞｰﾊﾟｲﾌﾟ天井面切断処理
	洗濯機・乾燥機室	改修後	鋼製床組 H300 ＋ 置き敷タイル t2.0	±0	————		結露防止塗材塗替え	結露防止塗材塗替え	——	——	○	洗濯機ﾊﾟﾝ（機械設備工事）、洗濯機、乾燥機
	洗濯室	改修前	モルタル下地磁器質モザイクタイル	±0	モルタル金ゴテ押エ_VP(色分け) 半磁器質100角タイル	75	モルタル金ゴテ押エ_VP(梁型共) 半磁器質100角タイルライニング	石綿ケイ酸カルシウム板(0.8FK) t6.0_VP	塩ビ製	2,300	○	洗濯機ﾊﾟﾝ、SUS加工手洗い
	↓	処置	水洗い		塗膜_除去 タイルのみ撤去		塗膜_除去 タイルのみ撤去	塗膜_除去	現況のまま		撤去	撤去
	洗面・手洗室	改修後	————	±0	下地調整_EP-G 長尺塩ビソフト巾木（SBB）	75	下地調整_EP-G LGS-50 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0(突付目地)	下地調整の上、EP-G	——	2,300	○	個人用ﾊﾞｽｹｯﾄﾛｯｶｰ、洗面台(機械設備工事)
	通路	改修前	モルタル下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	モルタル金ゴテ押エ_VP(色分け)	75	モルタル金ゴテ押エ_VP(梁型共)	石こうボード(GB-R) t9.0_EP	塩ビ製	2,300	○	床下点検口
		処置	除去		塗膜_除去		塗膜_除去	塗膜_除去	現況のまま		撤去	撤去
		改修後	下地調整の上ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	下地調整_EP-G		下地調整_EP-G	下地調整の上、EP-G	——	2,300	○	床下点検口_更新

共通事項

令 第一節の三　石綿その他の物質の飛散又は発散に対する衛生上の措置 第20条の4～9
合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材(LVL)、MDF、パーティクルボード、
その他の木質建材、壁紙、塗料、接着剤、仕上塗材、グラスウール及びロックウール保温断熱並びに緩衝材、
ユリア樹脂並びにメラミン樹脂断熱材、フェノール樹脂断熱材等指定資材は全て
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆製品を使用する。
厨房機器・洗面化粧台・流し台・収納扉等の仕上材はホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆製品を使用する。
また、接着剤はVOC対策品を使用し、アスベスト(石綿)製品並びにクロルピリホスを使用しない。

【 注記 】
改修工事対象外
既設_床シート材の下地モルタルは30㎜、内壁モルタル仕上並びに下地は25㎜とし、特記なき限り金ゴテ押エ
既設_トイレ、浴室の床構成は均しモルタル25㎜ + アスファルト防水 6層 + シンダーコンクリート60㎜ + モルタル30㎜ + 仕上材
既設_軽量鉄骨壁下地（LGS）は W-65 （スタッド_@300）の上、両面 テーパーせっこうボード（GB-R）12㎜ 、スラブ下までの施工
既設_天井下地は特記なき限り軽量鉄骨（LGS）
：アスベスト含有材を示す

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	内部仕上表（1）
縮尺	N.S
製図	令和08年03月

1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. A-013

内部改修仕上表_2

階	室名	区分	床	床高	巾木	H	腰壁・壁	天井	廻縁	天井高	室名札	備考
1階	階段下物置	改修前	モルタル金ゴテ押エ	±0	合板型枠打放シ	75	合板型枠打放シ	合板型枠打放シ	塩ビ製	———		床下点検口
		処置	現況のまま		現況のまま		現況のまま	現況のまま	現況のまま			現況のまま
		改修後	———		———	———	———	———	———	———		
	車庫	改修前	コンクリート金ゴテ押エ 表面強化剤	±0	合板型枠打放シ	75	合板型枠打放シ(目地切)	複合板(FP板+ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞt3.0) t25 打込_ﾘﾝｼﾝ吹付	塩ビ製	———		ﾎｰｽﾗｯｸ、ﾏﾝﾎｰﾙ、験車ﾋﾞｯﾄ
		処置	現況のまま		現況のまま		現況のまま	現況のまま				験車ﾋﾞｯﾄ→埋め殺し処理、他は現況のまま
		改修後	———		———	———	———	———	———	———		回転式防火衣ﾛｯｶｰ、SUS加工手洗い
	設備機械室、油庫 発電機室、倉庫 ■工作室 ↓ 設備機械室、油庫 発電機室、倉庫 ■防火衣洗濯乾燥機室	改修前	モルタル金ゴテ押エ	±0	合板型枠打放シ 設備機械室_モルタル金ゴテ押エ	75	合板型枠打放シ 目地切 発電機室_吸音材t50 ガラスクロス押エ	合板型枠打放シ 発電機室_吸音材 t50 ガラスクロス押エ	塩ビ製			設備機械室_ﾏﾝﾎｰﾙ、ﾀﾗｯﾌﾟ ■作室_ｽﾃﾝﾚｽ (SUS) 流し、金工木工机、ｽﾁｰﾙ棚 油庫_排油溝、溜枡、倉庫_鉄骨階段、ｽﾁｰﾙ棚
		処置	現況のまま		現況のまま		現況のまま	現況のまま				設備機械室_ﾏﾝﾎｰﾙ、ﾀﾗｯﾌﾟ → そのまま ■工作室_ｽﾃﾝﾚｽ (SUS) 流し、金工木工机 → 撤去 油庫_排油溝、溜枡、倉庫_鉄骨階段、ｽﾁｰﾙ棚 → そのまま
		改修後	———		———	———	———	———				※防火衣洗濯乾燥機室_洗濯機用Co基礎=W1,000×D1,200×H250) ■工作室_撤去跡ﾓﾙﾀﾙ補修
2階	踏込 前室兼更衣室	改修前	木製床組み上耐水合板 t12下地カーペットタイル(CPT) t6.5 踏込__モルタル下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0 +140	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ、LGS下地石こうボード(GB-R) t12_ゾラコート(ZC)吹付(梁型共)	化粧石こうボード(GB-D) t9.0	塩ビ製	2,400 〜 2,540		踏込上がり框
	↓	処置	木製床組み共撤去 踏込み_VS-FSのみ撤去		撤去		ZC_除去(一部RC、下地共撤去)、LGS共撤去	LGS下地共撤去	撤去			撤去
	廊下、仮眠室_16、17	改修後	下地調整の上、カーペットタイル(CPT) t6.5	±0 +150	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設RC部分_下地調整の上壁紙(WP)(梁型共) 遮音構造壁	LGS下地化粧石こうボード(GB-D) t9.5	塩ビ製	2,150 〜 2,300	○	畳敷ﾍﾟｯﾄ (W1,000×L2,160×H500) 、3人用ﾛｯｶｰ、布団入れ
	同上湯沸室	改修前	木製床組みの上耐水合板ｔ12下地カーペットタイル(CPT) t6.5	+140	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ、LGS下地石こうボード(GB-R) t12_EP (梁型共) 流し台前：半磁器質100角タイル	石綿ケイ酸カルシウム板(0.8FK) t6.0_VP	塩ビ製	2,200		流し台、吊戸棚、水切棚
	↓	処置	木製床組み共撤去		撤去		撤去及びEP_除去	LGS下地共撤去	撤去			撤去
	仮眠室_16、17	改修後	下地調整の上、カーペットタイル(CPT) t6.5	±0	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設RC部分_下地調整の上壁紙(WP)(梁型共)、遮音構造壁 PS壁：LGS-65@450下地石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス	LGS下地化粧石こうボード(GB-D) t9.5	塩ビ製	2,150 〜 2,300	○	畳敷ﾍﾟｯﾄ (W1,000×L2,160×H500) 、3人用ﾛｯｶｰ、布団入れ
	仮眠室(212-213)	改修前	木製床組みの上耐水合板 t12下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0 フリーアクセスフロアー(FAF)+ビニル床シート(VS-FS) t2.0	+140	木製巾木(WBB)_OP スチールパーティション	75	モルタル金ゴテ押エ、LGS下地石こうボード(GB-R) t12 ＋ 壁紙(WP)(梁型共) スチールパーティション(SP)	化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,400		
	↓	処置	木製床組み、フリーアクセスフロア共撤去		撤去		モルタル面：WPのみ撤去、LGS共撤去 SP撤去	LGS下地共撤去	撤去			
	仮眠室_12、13	改修後	洗面ｺｰﾅｰ_下地調整の上ビニル床シート t2.0 下地処理の上カーペットタイル(CPT) t6.5	±0	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設RC部分_下地調整の上、壁紙(WP)(梁型共)、遮音構造壁 PS壁：LGS-65@450下地石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス	LGS下地化粧石こうボード(GB-D) t9.5	塩ビ製	2,050 〜 2,300	○	SUS加工手洗い 畳敷ﾍﾟｯﾄ (W1,000×L2,160×H500) 、3人用ﾛｯｶｰ、布団入れ
	指令室	改修前	フリーアクセスフロアー(FAF)+カーペットタイル(CPT) t6.5	+140	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ、LGS下地石こう(GB-R) t12_EP(梁型共)	石こうボード(GB-R) t9.0下地 ＋ロックウール化粧吸音板(DR) t9.0	塩ビ製	2,400		
	↓	処置	撤去及び除去		撤去		撤去及び除去	LGS下地共撤去	撤去			
	仮眠室_14、15 洗面ｺｰﾅｰ	改修後	下地調整の上、カーペットタイル(CPT) t6.5 洗面ｺｰﾅｰ：下地調整の上、ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設RC部分_下地調整の上、壁紙(WP)(梁型共)、遮音構造壁 PS壁：LGS-65@450下地石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス (仮眠室_14)LGS-65 ＋ 石こうボード(GB-R) t12.5 二重張り ＋ 壁紙(WP)	LGS下地化粧石こうボード(GB-D) t9.5	塩ビ製	2,050 〜 2,300	○	畳敷ﾍﾟｯﾄ (W1,000×L2,160×H500) 、3人用ﾛｯｶｰ、布団入れ 仮眠室_14：壁点検口(600×600)
	通信機械室	改修前	フリーアクセスフロアー(FAF) ＋ 置敷ビニル床タイル(FOA) t5.0	+140	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ、LGS下地石こうボード(GB-R) t12_EP (梁型共) 一部 スチールパーティション(SP)	化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,400		
	↓	処置	撤去及び除去		撤去		撤去及びEP_除去	LGS下地共撤去	撤去			
	仮眠室_11、12	改修後	下地調整の上、カーペットタイル(CPT) t6.5	±0	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設RC部分_下地調整の上、壁紙(WP)(梁型共)、遮音構造壁 PS壁：LGS-65@450下地石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス	LGS下地化粧石こうボード(GB-D) t9.5	塩ビ製	2,050 〜 2,300	○	畳敷ﾍﾟｯﾄ (W1,000×L2,160×H500) 、3人用ﾛｯｶｰ、布団入れ
	通路	改修前	モルタル下地カーペットタイル(CPT) t6.5	±0	モルタル金ゴテ押エ_VP、木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ、LGS下地石こうボード(GB-R) t12 ＋ 壁紙(WP)(梁型共)	化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,300 〜 2,400		
		処置	CPTのみ撤去		撤去		撤去	LGS下地共撤去	撤去			
		改修後	下地調整の上、ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設RC部分_下地調整の上、壁紙(WP)(梁型共) 遮音構造壁	LGS下地化粧石こうボード(GB-D) t9.5	塩ビ製	2,300	○	
	洗面	改修前	モルタル下地磁器質モザイクタイル	±0	モルタル_VP塗装	75	モルタル金ゴテ押エ_VP(梁型共) 流し前_半磁器質100角タイル	石こうボード(GB-R) t9.0_EP	塩ビ製	2,300		洗面流し
	↓	処置	タイルのみ撤去		撤去		塗膜、タイル_除去、一部RC共撤去	LGS下地共撤去	撤去			撤去
	仮眠室_16、17	改修後	下地処理の上カーペットタイル(CPT) t6.5	±0	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設RC部分_下地調整の上、壁紙(WP)(梁型共) 遮音構造壁	LGS下地化粧石こうボード(GB-D) t9.5	塩ビ製	2,300	○	畳敷ﾍﾟｯﾄ (W1,000×L2,160×H500) 、3人用ﾛｯｶｰ、布団入れ
	トイレ	改修前	モルタル下地磁器質モザイクタイル	+110	———		モルタル下地半磁器質100角タイル(梁型共)	石綿ケイ酸カルシウム板(0.8FK) t6.0_EP	塩ビ製	2,170		ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
	↓	処置	モルタル共撤去				タイルのみ撤去	LGS下地共撤去	撤去			撤去
	男子トイレ	改修後	捨てコンクリート t50 ＋ ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	メタル巾木(MBB)	75	GL工法 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0(突付目地) LGS-65 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0(突付目地) 梁型_下地調整の上EP-G	LGS下地多機能ケイ酸カルシウム板 t6.0	塩ビ製	2,300	ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ

共通事項

令 第一節の三　石綿その他の物質の飛散又は発散に対する衛生上の措置 第20条の4～9
合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材(LVL)、MDF、パーティクルボード、
その他の木質建材、壁紙、塗料、接着剤、仕上塗材、グラスウール及びロックウール保温断熱並びに緩衝材、
ユリア樹脂並びにメラミン樹脂断熱材、フェノール樹脂断熱材等指定資材は全て
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆製品を使用する。
厨房機器・洗面化粧台・流し台・収納扉等の仕上材はホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆製品を使用する。
また、接着剤はVOC対策品を使用し、アスベスト(石綿)製品並びにクロルピリホスを使用しない。

【 注記 】
□ 改修工事対象外
既設_床シート材の下地モルタルは30㎜、内壁モルタル仕上並びに下地は25㎜とし、特記なき限り金ゴテ押エ
既設_トイレ、浴室の床構成は均しモルタル25㎜ + アスファルト防水 6層 + シンダーコンクリート60㎜ + モルタル30㎜ + 仕上材
既設_軽量鉄骨壁下地 (LGS) は W-65 (スタッド_@300) の上、両面 テーパーせっこうボード (GB-R) 12㎜ 、スラブ下までの施工
既設_天井下地は特記なき限り軽量鉄骨 (LGS)
■ ：アスベスト含有材を示す

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	内部仕上表（２）
縮尺	N.S
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-014

内部改修仕上表_3

階	室名	区分	床	床高	巾木	H	腰壁・壁	天井	廻縁	天井高	室名札	備考
2階	仮眠室(202)	改修前	モルタル下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	木製巾木(WBB)_OP スチールパーティション	75	既設RC面：モルタル下地壁紙(WP)(梁型共) スチールパーティション(SP)	化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,400	○	
	↓	処置	VS-FSのみ撤去		撤去		WPのみ撤去 SP撤去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	
	前室 踏込	改修後	不陸調整材 ＋ 置床 t110 ＋ 捨張合板 t12 ＋ 合板 t12 ＋ ビニル床シート(VS-FS) t2.0	+150	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設RC部分_下地調整の上、壁紙(WP)(梁型共) LGS-65 ＋ 石こうボード(GB-R) t12.5 ＋ 化粧石こうボード(GB-D) t12.5	LGS下地化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,200 ～ 2,350	○	
	仮眠室(201)	改修前	モルタル下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	木製巾木(WBB)_OP スチールパーティション	75	既設RC面：モルタル下地壁紙(WP)(梁型共) スチールパーティション(SP)	化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,400	○	
	↓	処置	VS-FSのみ撤去		撤去		WPのみ撤去 SP撤去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	
	仮眠室_18 (女性仮眠室)	改修後	不陸調整材 ＋ 置床 t110 ＋ 捨張合板 t12 ＋ 合板 t12 ＋ カーペットタイル(CPT) t6.5	+150	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設RC部分_下地調整の上、壁紙(WP)(梁型共) 遮音構造壁 DS壁：LGS-65@450下地 石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス	LGS下地化粧石こうボード(GB-D) t9.5	塩ビ製	2,200	○	畳敷ﾍﾟｯﾄ（W1,000×L2,160×H500）、3人用ﾛｯｶｰ、布団入れ
	仮眠室(202)	改修前	モルタル下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	木製巾木(WBB)_OP スチールパーティション	75	既設RC面：モルタル下地壁紙(WP)(梁型共) スチールパーティション(SP)	化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,400	○	
	↓	処置	VS-FSのみ撤去		撤去		WPのみ撤去 SP撤去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	
	仮眠室_18付き トイレ、脱衣	改修後	不陸調整材 ＋ 置床 t110 ＋ 捨張合板 t12 ＋ 合板 t12 ＋ ビニル床シート(VS-FS) t2.0	+150	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	GL工法 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0(突付目地) LGS-65 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 二重張り ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0(突付目地) LGS-65(一部LGS-100) ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0(突付目地)	(トイレ)LGS下地多機能ケイ酸カルシウム板 t6.0 (脱衣)LGS下地防湿シート ＋ 浴室用パネル	塩ビ製	2,200		
	通路	改修前	モルタル下地カーペットタイル(CPT) t6.5	±0	木製巾木(WBB)_OP スチールパーティション	75	既設RC面：モルタル下地壁紙(WP)(梁型共) スチールパーティション(SP)	化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,300		
	↓	処置	CPTのみ撤去		撤去		WPのみ撤去 SP撤去	LGS下地共撤去	撤去			
	仮眠室_18付き ｼｬﾜｰﾙｰﾑ	改修後	シャワーユニット仕様	+150	シャワーユニット仕様	75	シャワーユニット仕様	シャワーユニット仕様	塩ビ製	2,200		
	仮眠室(203-211) 通路	改修前	モルタル下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0 モルタル下地カーペットタイル(CPT) t6.5	±0	木製巾木(WBB)_OP スチールパーティション	75	既設RC面：モルタル下地 ＋ 壁紙(WP)(梁型共) LGS-65 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 ＋ 壁紙(WP) スチールパーティション(SP)	化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,300 ～ 2,400	○	ｽﾁｰﾙﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ 見込80
	↓	処置	VS-FS、CPTのみ撤去		塗膜_除去		RC面：WPのみ撤去、LGS共撤去 SP撤去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	撤去
	仮眠室_1-10 通路	改修後	下地処理の上ｶｰﾍﾟｯﾄﾀｲﾙ(CPT) t6.5		下地調整_SOP 長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設RC部分_下地調整の上壁紙(WP)(梁型共)、遮音構造壁 PS壁：LGS-65@450下地 石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス	LGS下地化粧石こうボード(GB-D) t9.5	塩ビ製	2,300	○	畳敷ﾍﾟｯﾄ（W1,000×L2,160×H500）、3人用ﾛｯｶｰ、布団入れ
	電気室・倉庫	改修前	モルタル金ゴテ押エ	±0	合板型枠打放シ	75	合板型枠打放シ	合板型枠打放シ	塩ビ製	——		倉庫_手摺、ﾎｲｽﾄ、同ﾚｰﾙ、ｽﾁｰﾙ（ST）棚
		処置	現況のまま		現況のまま		現況のまま	現況のまま	現況のまま			
		改修後	————		————	——	————	————	——	——		
3階	ホール	改修前	モルタル下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	テラゾーブロック(TB) 木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ下地_吹付タイル スチールパーティション(SP)	石こうボード(GB-R) t9.0下地 ＋ロックウール化粧吸音板(DR_立体模様) t12	塩ビ製	2,500		ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ、ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ
	↓	処置	VS-FSのみ撤去		現況のまま		現況のまま SP撤去	LGS下地共撤去	撤去			撤去
	ホール	改修後	下地処理の上ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	LGS-65 ＋ 石こうボード t12.5 二重張り ＋ 壁紙	LGS下地石こうボード(GB-R) t9.5下地 ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(DR) t12	塩ビ製	2,500		ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ、ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ
	署長兼団長室	改修前	OAフロアー下地置敷ビニル床タイル(FOA) t5.0	+60	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙(WP(ゾラコート柄)) アルミパーティション	石こうボード(GB-R) t9.0下地 ＋ロックウール化粧吸音板(DR_立体模様) t12	塩ビ製	2,500	○	ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ、行事予定黒板 1,800×900
	↓	処置	OAフロア共撤去		塗膜_除去		壁紙及びアルミパーティション撤去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	撤去
	署長室	改修後	OAフロアー H40 ＋ カーペットタイル(CPT) t6.5	+40	下地調整の上_SOP、長尺塩ビソフト巾木	75	既設RC面_下地調整の上、壁紙(WP) 既設LGS ＋ 石こうボード(GB-R) t12.5 ＋ 壁紙(WP)	LGS下地石こうボード(GB-R) t9.5下地 ロックウール化粧吸音板(DR) t12	塩ビ製	2,460	ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ	ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ、天井点検口
	本部事務室	改修前	OAフロアー下地置敷ビニル床タイル(FOA) t5.0	+60	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙(WP(ゾラコート柄)) LGS下地石こうボード(GB-R) t12 ＋ 壁紙(WP(ゾラコート柄))	石こうボード(GB-R) t9.0下地 ＋ロックウール化粧吸音板(DR_立体模様) t12	塩ビ製	2,500	○	ｶｳﾝﾀｰ
	↓	処置	OAフロア共撤去		塗膜_除去		WP及びGB-R撤去、指定範囲のみ_LGS共撤去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	撤去
	警防事務室	改修後	OAフロアー H40 ＋ カーペットタイル(CPT) t6.5	+40	下地調整の上_SOP、長尺塩ビソフト巾木	75	既設RC面：下地調整の上、壁紙(WP) LGS-65 ＋ 石こうボード(GB-R) t12.5 ＋ 壁紙(WP)	LGS下地石こうボード(GB-R) t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板(DR) t12	塩ビ製	2,460		ｶｳﾝﾀｰ、天井点検口
	客溜	改修前	モルタル下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙(WP(ゾラコート柄)) LGS下地石こうボード(GB-R) t12 ＋ 壁紙(WP(ゾラコート柄))	石こうボード(GB-R) t9.0下地 ＋ロックウール化粧吸音板(DR_立体模様) t12	塩ビ製	2,500	○	掲示板 1,800×900、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ
	↓	処置	VS-FSのみ撤去		塗膜_除去		WP及びGB-R撤去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	掲示板：現況のまま、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ：撤去
	ロビー・通路	改修後	下地調整の上、ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	下地調整の上_SOP、長尺塩ビソフト巾木	75	既設RC面_下地調整の上、壁紙（WP） 既設LGS ＋ 石こうボード(GB-R) t12.5 ＋ 壁紙(WP)	LGS下地石こうボード(GB-R) t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板(DR) t12	塩ビ製	2,500		ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ、天井点検口
	湯沸	改修前	モルタル下地塗床	±0	木製巾木(WBB)_OP	75	石綿ケイ酸カルシウム板(0.8FK) t6.0_VP	石綿ケイ酸カルシウム板(0.8FK) t6.0_VP	塩ビ製	2,200	○	流し台、ｺﾝﾛ台、吊戸棚、水切棚、排気ﾌｰﾄﾞ
		処置	除去（目荒し工法）		撤去		0.8FK撤去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	撤去
		改修後	OAフロアー H40 ＋ 置敷ビニル床タイル(FOA) t5.0	+40	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設LGS ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0(突付目地)	LGS下地多機能ケイ酸カルシウム板 t6.0	塩ビ製	2,460	ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ	ﾐﾆｷｯﾁﾝ（IH）、排気ﾌｰﾄﾞ

共通事項

令 第一節の三　石綿その他の物質の飛散又は発散に対する衛生上の措置 第20条の4～9
合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材(LVL)、MDF、パーティクルボード、
その他の木質建材、壁紙、塗料、接着剤、仕上塗材、グラスウール及びロックウール保温断熱並びに緩衝材、
ユリア樹脂並びにメラミン樹脂断熱材、フェノール樹脂断熱材等指定資材は全て
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆製品を使用する。
厨房機器・洗面化粧台・流し台・収納扉等の仕上材はホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆製品を使用する。
また、接着剤はVOC対策品を使用し、アスベスト(石綿)製品並びにクロルピリホスを使用しない。

改修する3階天井裏全面に断熱材グラスウール t50 24Kを入れる事。

【 注記 】
□ 改修工事対象外
既設_床シート材の下地モルタルは30㎜、内壁モルタル仕上並びに下地は25㎜とし、特記なき限り金ゴテ押エ
既設_トイレ、浴室の床構成は均しモルタル25㎜ ＋ アスファルト防水 6層 ＋ シンダーコンクリート60㎜ ＋ モルタル30㎜ ＋ 仕上材
既設_軽量鉄骨壁下地（LGS）は W-65 （スタッド_@300）の上、両面 テーパーせっこうボード（GB-R）12㎜ 、スラブ下までの施工
既設_天井下地は特記なき限り軽量鉄骨（LGS）
□ ：アスベスト含有材を示す

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	内部仕上表（３）
縮尺	N.S
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-015

内部改修計画_4

階	室名	区分	床	床高	巾木	H	腰壁・壁	天井	廻縁	天井高	室名札	備考
3階	資機材倉庫	改修前	モルタル下地塗床	±0	木製巾木(WBB)_OP	75	LGS下地石こうボード(GB-R) t12_EP	石こうボード(GB-R) t9.0_EP	塩ビ製	2,300	○	
	↓	処置	除去(目荒し工法)		塗膜_除去及び一部撤去		撤去(GB-R、一部LGS共)	LGS下地共撤去	撤去			
	倉庫_A	改修後	下地調整の上、ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	下地調整の上_SOP 長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設LGS ＋ 強化石こうボード(GB-F) t12.5 ＋ 繊維強化セメント板(1.0FK) t6.0(突付目地)_EP-G LGS-100 ＋ 強化石こうボード(GB-F) t12.5 ＋ 繊維強化セメント板(1.0FK) t6.0(突付目地)_EP-G	LGS下地石こう化粧ボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,400		
	倉庫_A	改修前	半硬質ビニル床タイル(CT) t2.0_WX	±0	木製巾木(WBB)_OP	75	LGS下地石こうボード(GB-R) t12_EP	石こうボード(GB-R) t9.0_EP	塩ビ製	2,400	○	
		処置	タイル撤去		撤去		撤去(GB-R、一部LGS共)	LGS下地共撤去	撤去		撤去	
		改修後	下地調整の上、ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設LGS ＋ 強化石こうボード(GB-F) t12.5 ＋ 繊維強化セメント板(1.0FK) t6.0(突付目地)_EP-G LGS-100 ＋ 強化石こうボード(GB-F) t12.5 ＋ 繊維強化セメント板(1.0FK) t6.0(突付目地)_EP-G	LGS下地石こう化粧ボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,400	ピクトサイン	
	消防長室	改修前	モルタル下地フェルト t10 ＋ カーペットタイル(CPT) t6.5	±0	————		LGS下地石こうボード(GB-R) t12 ＋ 木製胴縁組(21×45縦横共) ＋ 組天然杢練り付け合板 t6.0_CL	石こうボード(GB-R) t9.0下地 ＋ 壁紙 (SS級)	塩ビ製	2,500	○	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ
	↓	処置	フェルト ＋ CPT撤去				石こうボード(GB-R) t12 ＋ 木製胴縁組 ＋ 天然杢練付合板_撤去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	撤去
	警防事務室	改修後	OAフロアー H40 ＋ カーペットタイル(CPT) t6.5	+40	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設LGS ＋ 石こうボード(GB-R) t12.5下地 ＋ 壁紙(WP)	LGS下地石こうボード(GB-R) t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板(DR) t12	塩ビ製	2,460		
	応接会議室	改修前	モルタル下地フェルト t10 ＋ カーペットタイル(CPT) t6.5	±0	————		LGS下地石こうボード(GB-R) t12 ＋ 木製胴縁組(21×45縦横共) ＋ 組天然杢練り付け合板 t6.0_CL	石こうボード(GB-R) t9.0下地 ＋ 壁紙 (D級)	塩ビ製	2,500	○	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ
	↓	処置	フェルト ＋ CPT撤去				石こうボード(GB-R) t12 ＋ 木製胴縁組 ＋ 天然杢練付合板_撤去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	撤去
	警防事務室	改修後	OAフロアーH40 ＋ カーペットタイル(CPT) t6.5	+40	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設LGS ＋ 石こうボード(GB-R) t12.5下地 ＋ 壁紙(WP)	LGS下地石こうボード(GB-R) t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板(DR) t12	塩ビ製	2,460	ピクトサイン	
	講堂	改修前	長尺塩ビシート(VS-FS) t2.0	±0	竪木_CL	75	LGS下地石こうボード(GB-R) t12 ＋ 木製胴縁組(21×45縦横共) ＋ 組天然杢練り付け合板 t6.0_CL	石こうボード(GB-R) t9.0下地 ＋ ロックウール化粧吸音板(DR_立体模様) t12	塩ビ製	2,900	○	移動式ｽﾃｰｼﾞ、ｽｸﾘｰﾝBOX、電動ｽｸﾘｰﾝ (3,600×1,800) 吊ﾊﾞﾄﾝ、吊ﾌｯｸ、暗幕BOX、黒板
		処置	現況のまま		現況のまま		現況のまま	LGS下地共撤去			撤去	現況のまま
		改修後	————	±0	————	75	————	LGS下地石こうボード(GB-R) t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板(DR_立体模様) t12	塩ビ製	2,900	ピクトサイン	可動式ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ (天井裏鉄骨補強共)
	倉庫_B	改修前	半硬質ビニル床タイル(CT) t2.0_WX	±0	モルタル金ゴテ押エ_VP	75	モルタル金ゴテ押エ_EP	石こうボード(GB-R) t9.0_EP	塩ビ製	2,500		
		処置	現況のまま		現況のまま		現況のまま	現況のまま				
		改修後	————	±0	————	75	————	————				
	機械室	改修前	モルタル金ゴテ押エ	±0	モルタル金ゴテ押エ	75	吸音材ｔ50ガラスクロス押え	吸音材 t50 ガラスクロス押エ	塩ビ製			
		処置	現況のまま		現況のまま		現況のまま	現況のまま				
		改修後	————	±0	————	75	————	————				
	会議室	改修前	カーペットタイル(CPT) t6.5	±0	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ LGS ＋ 石こうボード(GB-R) t12 ＋ 壁紙(WP)	石こうボード(GB-R) t9.0下地 ＋ ロックウール化粧吸音板(DR_立体模様) t12	塩ビ製	2,500		
		処置	現況のまま		現況のまま		壁紙 (WP) _除去	LGS下地共撤去				
		改修後	————	±0	————	75	下地調整の上_壁紙(WP)	LGS下地石こうボード(GB-R) t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板(DR_立体模様) t12	塩ビ製	——		
	印刷室	改修前	半硬質ビニル床タイル(CT) t2.0_WX	±0	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ FL+2,500_VP 吸音材 t50 ガラスクロス押エ	繊維混入ケイ酸カルシウム板(比重0.8) t6.0_VP 吸音材 t50 ガラスクロス押エ	塩ビ製	2,300 ——		
	↓	処置	除去		現況のまま		現況のまま	ケイカル板 ＋ LGS下地共撤去				
	通信機械室	改修後	下地調整の上、半硬質ビニル床タイル t2.0_WX		————	75	————	————		——		
	暗室	改修前	半硬質ビニル床タイル(CT) t2.0WX	±0	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ H=2,500_VP	石こうボード(GB-R) t9.0_EP	塩ビ製	2,300		流し台、作業台、吊戸棚
	↓	処置	CTのみ撤去		現況のまま		現況のまま	現況のまま				撤去
	通信機械室	改修後	下地調整の上、半硬質ビニル床タイル t2.0_WX	±0	下地調整の上、SOP塗装 流し台撤去跡_木製巾木(WBB) SOP塗装	75	流し台撤去跡_下地調整の上、EP-G塗装	————				
	書庫	改修前	半硬質ビニル床タイル(CT) t2.0WX	±0	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ LGS ＋ 石こうボード(GB-R) t12_EP	石こうボード(GB-R) t9.0_EP	塩ビ製	2,500		可動式書架
	↓	処置	現況のまま		現況のまま		指定範囲_LGS共撤去	現況のまま				現況のまま
	予防課・警防課書庫	改修後	————		————	75	撤去跡_復旧	————	——	——		——

共通事項

令 第一節の三　石綿その他の物質の飛散又は発散に対する衛生上の措置 第20条の4～9
合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材(LVL)、MDF、パーティクルボード、
その他の木質建材、壁紙、塗料、接着剤、仕上塗材、グラスウール及びロックウール保温断熱並びに緩衝材、
ユリア樹脂並びにメラミン樹脂断熱材、フェノール樹脂断熱材等指定資材は全て
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆製品を使用する。
厨房機器・洗面化粧台・流し台・収納扉等の仕上材はホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆製品を使用する。
また、接着剤はVOC対策品を使用し、アスベスト(石綿)製品並びにクロルピリホスを使用しない。

改修する3階天井裏全面に断熱材グラスウール t50 24Kを入れる事。

【 注記 】
改修工事対象外
既設_床シート材の下地モルタルは30mm、内壁モルタル仕上並びに下地は25mmとし、特記なき限り金ゴテ押エ
既設_トイレ、浴室の床構成は均しモルタル25mm ＋ アスファルト防水 6層 ＋ シンダーコンクリート60mm ＋ モルタル30mm ＋ 仕上材
既設_軽量鉄骨壁下地 (LGS) は W-65 (スタッド_@300) の上、両面 テーパーせっこうボード (GB-R) 12mm 、スラブ下までの施工
既設_天井下地は特記なき限り軽量鉄骨 (LGS)
：アスベスト含有材を示す

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称　内部仕上表（4）
縮尺　N.S
製図　令和08年03月
1級建築士
登録第92794号　松浦孔明
No. A-016

内部改修計画_5

階	室名	区分	床	床高	巾木	H	腰壁・壁	天井	廻縁	天井高	室名札	備考
3階	書庫兼倉庫	改修前	半硬質ビニル床タイル(CT) t2.0WX	±0	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ LGS ＋ 石こうボード(GB-R) t12 ＋ 壁紙(WP) 一部 耐火構造壁、アルミパーティション	石こうボード(GB-R) t9.0下地 ロックウール化粧吸音板(DR_立体模様) t12	塩ビ製	2,500	○	ﾙｰﾊﾞｰ
	↓	処置	指定範囲のみ　撤去		指定範囲のみ　撤去		指定範囲外_壁紙のみ撤去、アルミパーティション_現況のまま 指定範囲_耐火構造壁(LGS+平ﾗｽ3号+GB-R t12×2) 撤去	現況のまま				現況のまま
	予防課・警防課書庫	改修後	指定範囲のみ　半硬質ビニル床タイル(CT) t2.0_WX		指定範囲のみ　長尺塩ビソフト巾木	75	下地調整の上、壁紙(WP)	————	塩ビ製	2,500		
	男性・女性トイレ	改修前	モルタル下地磁器質モザイクタイル	+100	————		モルタル下地45角モザイクタイル	石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0(0.8FK)_EP(ｽﾃｨｯﾌﾟﾙ)	塩ビ製	2,300 ～ 2,350	○	
		処置	防水層、上がり框共撤去				タイルのみ撤去(一部RC共撤去)	LGS下地共撤去	撤去		撤去	
		改修後	下地調整の上、ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	メタル巾木(MBB)	75	GL工法 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0 (突付目地) LGS-65 ＋ LGS-65 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0(突付目地) LGS-65 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 二重張り ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0(突付目地) LGS-65 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0(突付目地) LGS-100 ＋ 耐水石こうボード(GB-S) t12.5二重張り ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0(突付目地)	LGS下地多機能けい酸カルシウム板 t6.0	塩ビ製	2,300	ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、天井点検口
	トイレ前通路	改修前	モルタル下地長尺塩ビシート(VS-FS) t2.0	±0	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙(WP(ゾラコート柄)) 洗面前：150角半磁器質デザインタイル	石こうボード(GB-R) t9.0下地 ＋ 壁紙(WP)	塩ビ製	2,300		洗面化粧台
		処置	VS-FSのみ撤去		塗膜_除去		WPのみ撤去(一部RC共撤去) 洗面前_現況のまま	LGS下地共撤去	撤去			現況のまま
		改修後	下地調整の上、ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	下地調整の上_SOP 長尺塩ビソフト巾木	75	下地調整の上、壁紙(WP) RC撤去範囲_LGS-65 ＋ 石こうボード t12.5 二重張り ＋ 壁紙	LGS下地石こうボード(GB-R) t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板(DR) t12	塩ビ製	2,300		
	更衣室	改修前	モルタル下地半硬質ビニル床タイル(CT) t2.0WX	±0	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ LGS ＋ 石こうボード(GB-R) t12_EP	石こうボード(GB-R) t9.0_EP	塩ビ製	2,400	○	
	↓	処置	CTのみ撤去		塗膜_除去		モルタル面EP_除去及び石こうボード撤去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	
	トレーニングルーム	改修後	下地調整の上、カーペットタイル(CPT) t6.5	±0	下地調整の上_SOP	75	既設RC面_下地調整の上、壁紙(WP) 既設LGS ＋ 石こうボード(GB-R) t12.5 ＋ 壁紙(WP)	LGS下地化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.5	塩ビ製	2,400	ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ	大型姿見鏡 t5.0、h1,800×w1,200×3、天井点検口
	和風会議室	改修前	木製床組みの上畳敷	+150	畳寄せ		モルタル金ゴテ押エ下地_ジュラク吹付 LGS下地、木製軸組 ＋ 下地石こうボード(GB-R) t12_ジュラク吹付	杉杢天井板(目透かし)	木製	2,400		付け鴨居、押入
	↓	処置	木製床組み共撤去		撤去		モルタル面ジュラク_除去、LGS、木製軸組下地共撤去	LGS下地共撤去	撤去			撤去
	食堂	改修後	下地処理の上ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設RC面_下地調整の上、壁紙(WP) 既設LGS ＋ 石こうボード(GB-R) t12.5 ＋ 壁紙(WP)	LGS下地石こうボード(GB-R) t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板(DR) t12	塩ビ製	2,400		
	同上踏込	改修前	モルタル下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	木製巾木(WBB)_OP	75	LGS下地、木製軸組 ＋ 下地石こうボード(GB-R) t12_ジュラク吹付	化粧石こうボード(GB-D(T)) t9.0	塩ビ製	2,400	○	棚間（嵌め殺しｶﾞﾗｽ t3.0）
	↓	処置	VS-FSのみ撤去		撤去		壁下地共撤去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	撤去
	食堂	改修後	下地処理の上ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設LGS ＋ 石こうボード(GB-R) t12.5 ＋ 壁紙(WP)	LGS下地石こうボード(GB-R) t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板(DR) t12	塩ビ製	2,500		
	食堂	改修前	モルタル下地クッションフロア	±0	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ LGS ＋ 石こうボード(GB-R) t12 ＋ 壁紙(WP)	石こうボード(GB-R) t9.0下地 ＋ロックウール化粧吸音板(DR_立体模様) t12	塩ビ製	2,500	○	
		処置	クッションフロア撤去		塗膜_除去、一部撤去		WP、GB-R撤去	LGS下地共撤去	撤去		撤去	
		改修後	下地処理の上ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	下地調整の上、SOP塗装 長尺塩ビソフト巾木(SBB)	75	既設LGS ＋ 石こうボード(GB-R) t12.5 ＋ 壁紙(WP) 既設RC面_下地調整の上、壁紙(WP)	LGS下地石こうボード(GB-R) t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板(DR) t12	塩ビ製	2,500	ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ	
	厨房	改修前	エポキシ樹脂塗床(ノンスリップ)	-50	————		モルタル下地半磁器質100角タイル	石綿ケイ酸カルシウム板(0.8FK) t6.0_VP	塩ビ製	2,500	○	受け渡しﾊｯﾁ・返却ｶｳﾝﾀｰ、厨房機器、食器棚、吊戸棚
		処置	除去(目荒し工法)				現況のまま	VP_除去				現況のまま、但し返却ｶｳﾝﾀｰ引き出しは全て撤去の上、造り替え
		改修後	エポキシ樹脂塗床(ノンスリップ)	-50	————		水洗い	下地調整の上、EP-G	————	————		————
	通路	改修前	モルタル下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	木製巾木(WBB)_OP	75	モルタル金ゴテ押エ LGS ＋ 石こうボード(GB-R) t12 ＋ 壁紙(WP)	石こうボード(GB-R) t9.0下地 ＋ロックウール化粧吸音板(DR_立体模様) t12	塩ビ製	2,500		
		処置	指定範囲_VS-FS撤去		指定範囲_撤去		GB-R共撤去、一部LGS下地共撤去、RC面：壁紙のみ撤去	LGS下地共撤去				
		改修後	指定範囲_ビニル床シート t2.0	±0	指定範囲_長尺塩ビソフト巾木	75	既設RC面_下地調整の上、壁紙(WP) 既設LGS ＋ 石こうボード(GB-R) t12.5 ＋ 壁紙(WP) LGS-65 ＋ 石こうボード(GB-R) t12.5 ＋ 壁紙(WP)	LGS下地石こうボード(GB-R) t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板(DR) t12	————	————		
共通	階段室_A	改修前	モルタル下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	テラゾーブロック（TB）		モルタル金ゴテ押エ 吹付タイル	段裏：モルタル金ゴテ押エ_吹付タイル 石こうボード(GB-R) t9.0 ＋ロックウール化粧吸音板(DR_立体模様) t12	塩ビ製	2,500		手摺、ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ
		処置	現況のまま		現況のまま		現況のまま	現況のまま				
		改修後	————	±0	————		————	————				————
	階段室_B	改修前	モルタル下地ビニル床シート(VS-FS) t2.0	±0	モルタル金ゴテ押エ_VP		モルタル金ゴテ押エ_VP	段裏：モルタル金ゴテ押エ_吹付タイル 石こうボード(GB-R) t12_EP	塩ビ製	2,300		手摺、ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ
		処置	現況のまま		現況のまま		現況のまま	現況のまま				
		改修後	————	±0	————		————	————				————

共通事項

令 第一節の三　石綿その他の物質の飛散又は発散に対する衛生上の措置 第20条の4～9
合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材(LVL)、MDF、パーティクルボード、
その他の木質建材、壁紙、塗料、接着剤、仕上塗材、グラスウール及びロックウール保温断熱並びに緩衝材、
ユリア樹脂並びにメラミン樹脂断熱材、フェノール樹脂断熱材等指定資材は全て
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆製品を使用する。
厨房機器・洗面化粧台・流し台・収納扉等の仕上材はホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆製品を使用する。
また、接着剤はVOC対策品を使用し、アスベスト(石綿)製品並びにクロルピリホスを使用しない。

改修する3階天井裏全面に断熱材グラスウール t50 24Kを入れる事。

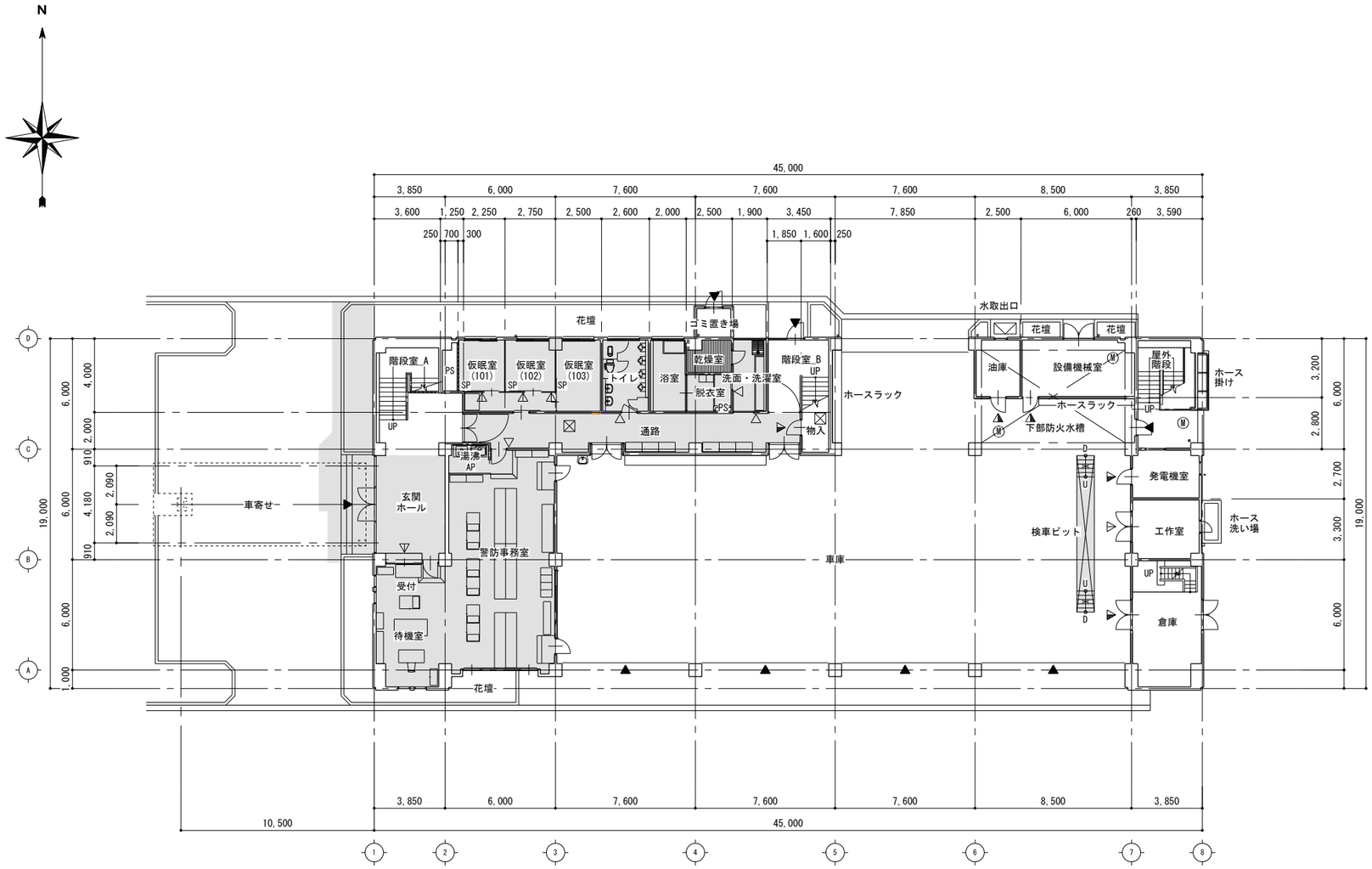
【 注記 】
□ 改修工事対象外
既設_床シート材の下地モルタルは30㎜、内壁モルタル仕上並びに下地は25㎜とし、特記なき限り金ゴテ押エ
既設_トイレ、浴室の床構成は均しモルタル25㎜ + アスファルト防水 6層 + シンダーコンクリート60㎜ + モルタル30㎜ + 仕上材
既設_軽量鉄骨壁下地（LGS）は W-65 （スタッド_@300）の上、両面 テーパーせっこうボード（GB-R）12㎜ 、スラブ下までの施工
既設_天井下地は特記なき限り軽量鉄骨（LGS）
□ ：アスベスト含有材を示す

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	内部仕上表（５）
縮尺	N.S
製図	令和08年03月

1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. A-017



(改修前)凡例

- RC壁
- 軽量鉄骨壁下地
- コンクリートブロック
- 木製軸組
- SP スチールパーティション
- AP アルミパーティション
- 床点検ハッチ
- Ⓜ マンホール
- 室名札 突付け → 撤
- 室名札 突付け → 現
- 室名札 平付け → 撤
- 室名札 平付け → 現

改修前　1階平面図　1/200

■ 凡例

→ 撤 ･･･今回工事(撤去)を示す

→ 現 ･･･現況のまま

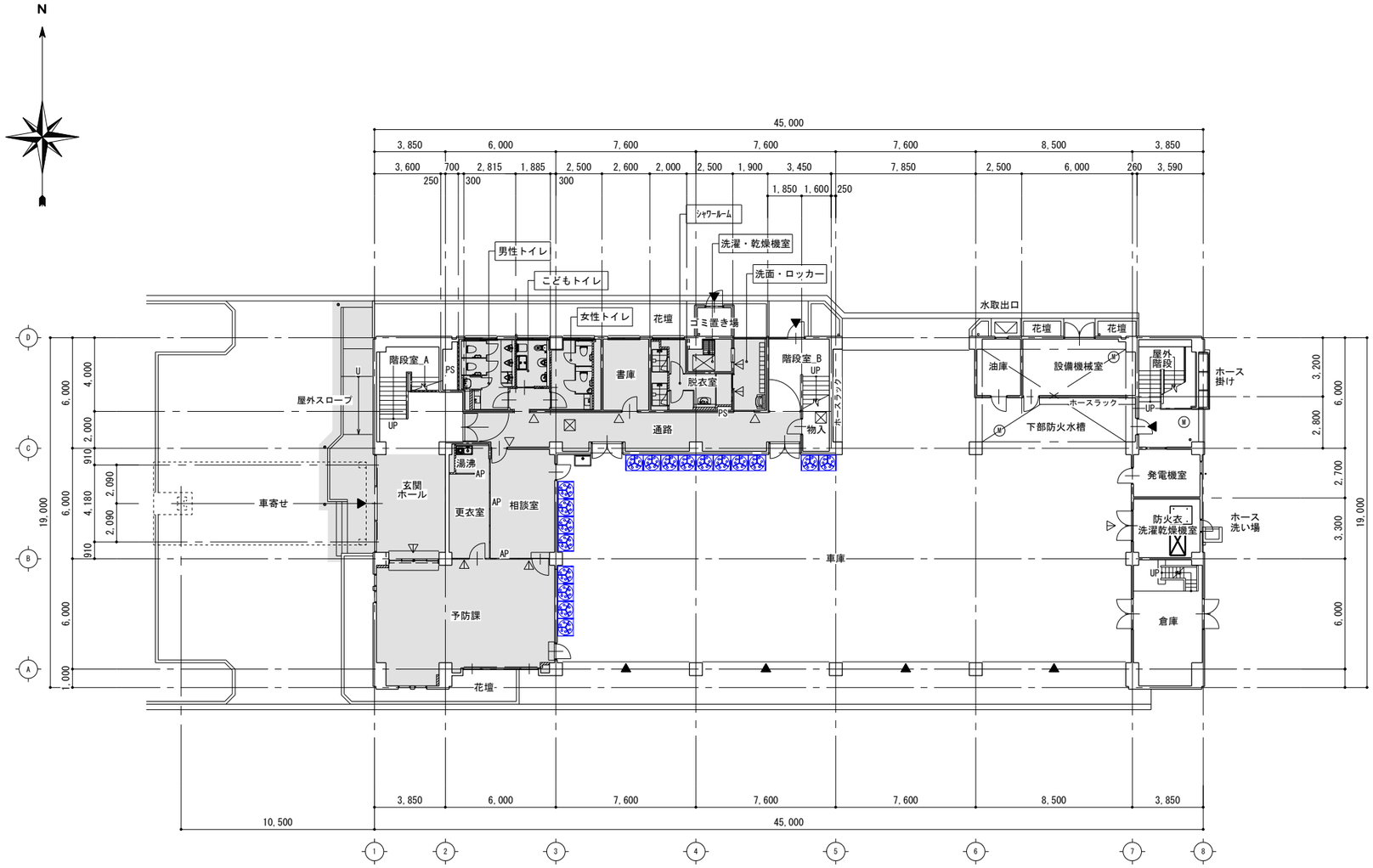
※特記無き限り現況のままとする。

：改修範囲を示す

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	改修前　1階　平面図	縮尺 A2 1：200 A3 1：282
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. A-018



(改修後)凡例

- RC壁
- 軽量鉄骨壁下地
- コンクリートブロック
- 木製軸組
- SP スチールパーティション
- AP アルミパーティション
- 床点検ハッチ
- Ⓜ マンホール
- 室名札　突付け　→新
- 室名札　平付け　→新

改修後　1階平面図　1/200

■ 凡例

新 ･･･今回工事(新規)を示す

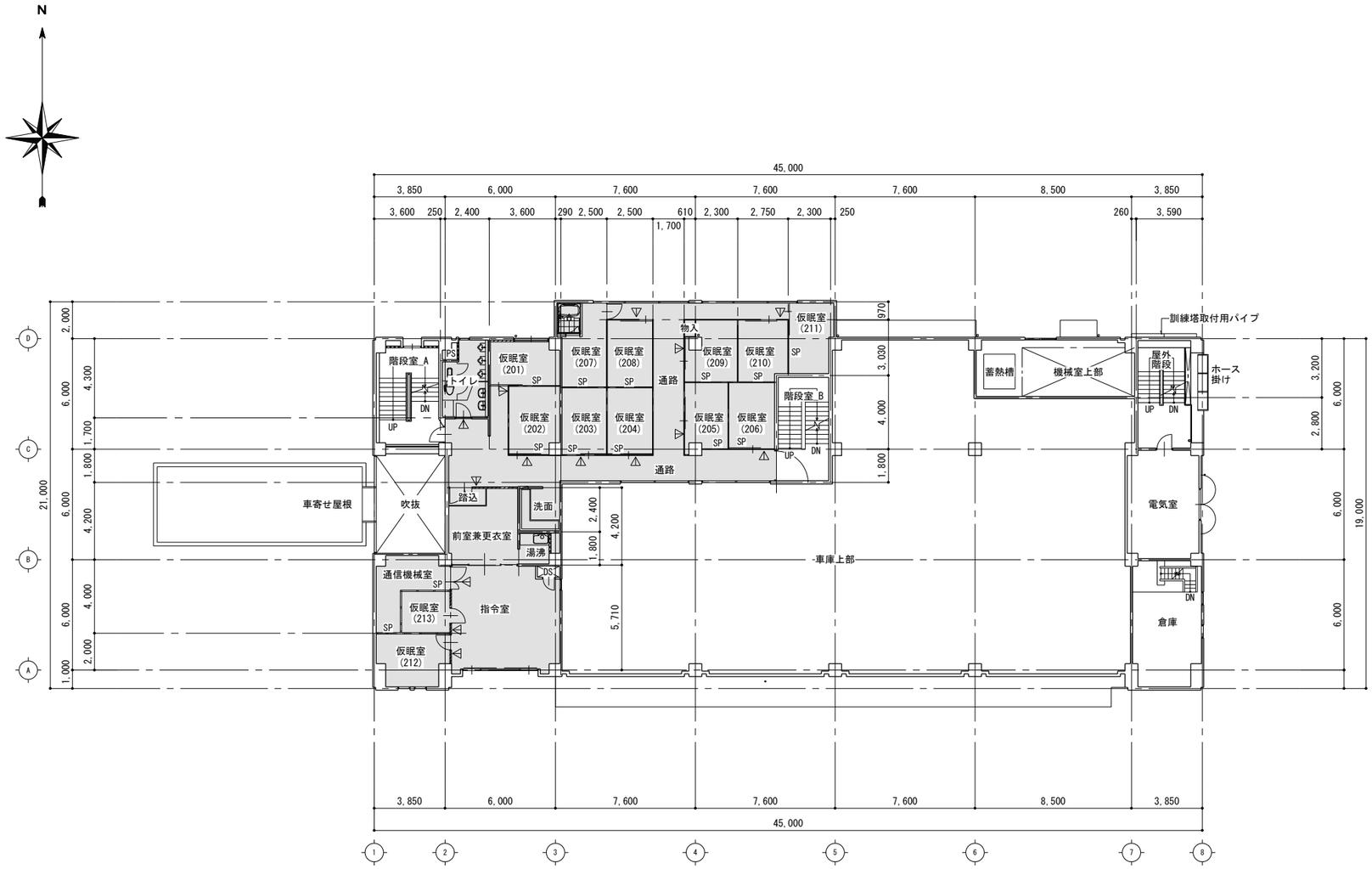
：改修範囲を示す

※特記無き限り現況のままとする。

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	改修後　1階　平面図
縮尺	A2　1：200 A3　1：282
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-019



(改修前)凡例

	RC壁
	軽量鉄骨壁下地
	コンクリートブロック
	木製軸組
SP	スチールパーティション
AP	アルミパーティション
☒	床点検ハッチ
Ⓜ	マンホール
▽	室名札　突付け　→撤
▼	室名札　突付け　→現
▽	室名札　平付け　→撤
▼	室名札　平付け　→現

改修前　２階平面図　1/200

■　凡例

→撤 ･･･今回工事(撤去)を示す

→現 ･･･現況のまま

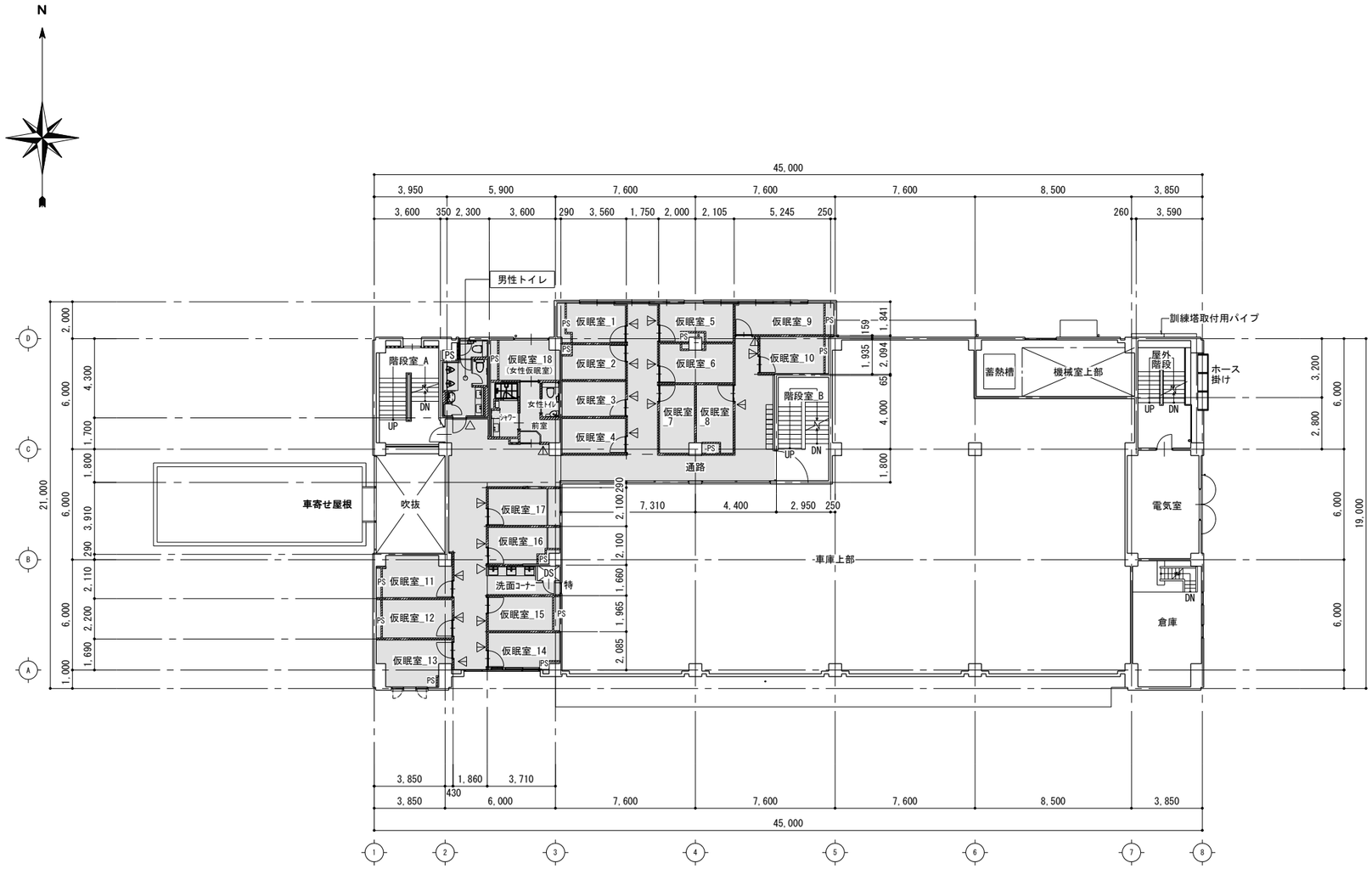
：改修範囲を示す

※特記無き限り現況のままとする。

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	改修前　２階　平面図
縮尺	A2　1：200　A3　1：282
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-020



改修後　２階平面図　1/200

(改修後)凡例

- RC壁
- 軽量鉄骨壁下地
- コンクリートブロック
- 木製軸組
- SP　スチールパーティション
- AP　アルミパーティション
- 床点検ハッチ
- Ⓜ　マンホール
- 室名札　突付け　→ 新
- 室名札　平付け　→ 新

■　凡例

新 ･･･今回工事(新規)を示す

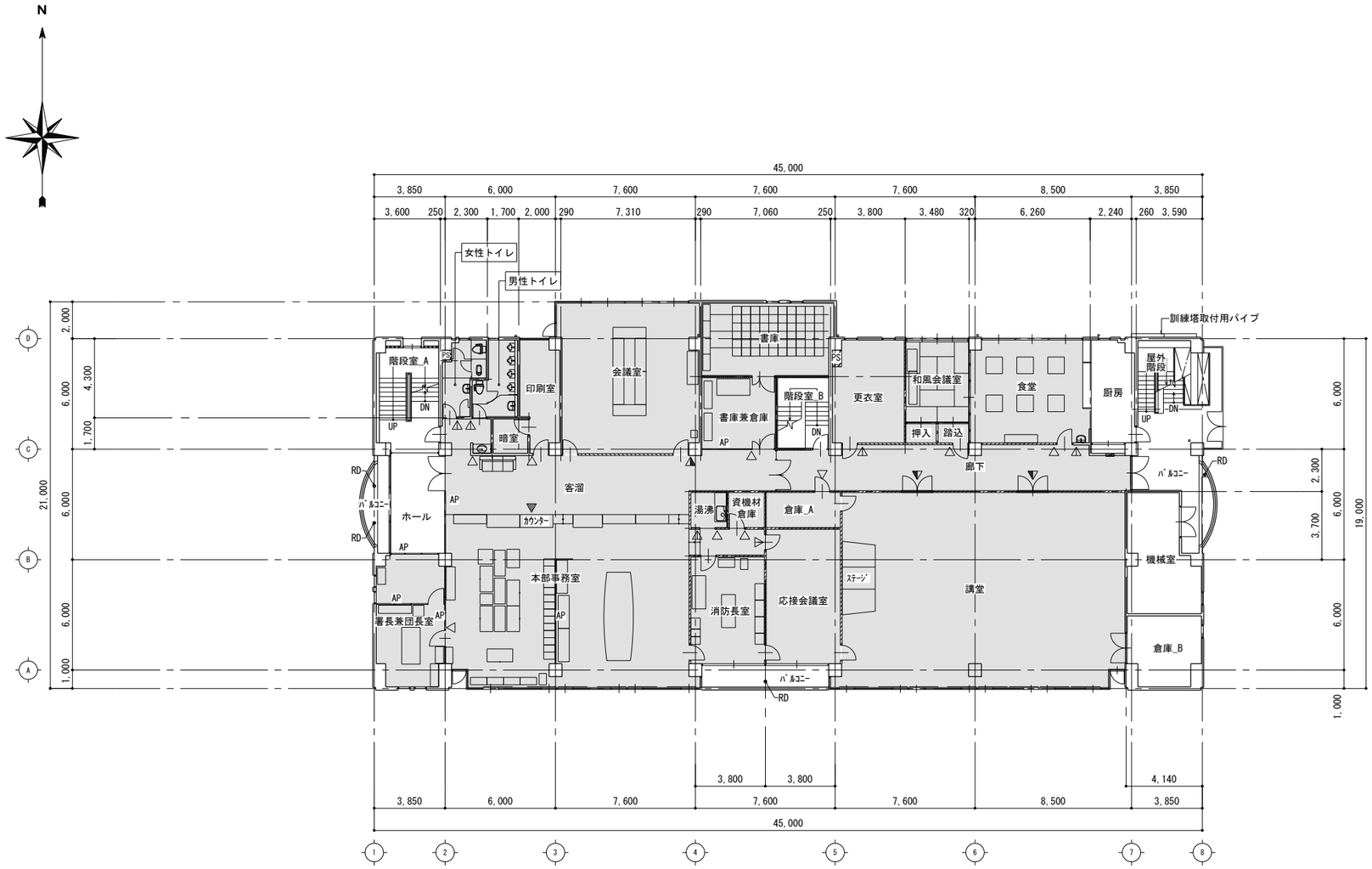
：改修範囲を示す

※特記無き限り現況のままとする。

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	改修後　２階　平面図
縮尺	A2　1：200　A3　1：282
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-021



(改修前)凡例

- RC壁
- 軽量鉄骨壁下地
- コンクリートブロック
- 木製軸組
- SP スチールパーティション
- AP アルミパーティション
- 床点検ハッチ
- (M) マンホール
- 室名札 突付け → 撤
- 室名札 突付け → 現
- 室名札 平付け → 撤
- 室名札 平付け → 現
- サイン 天井吊り → 撤

改修前　３階平面図　1/200

■ 凡例

→ 撤 ･･･今回工事(撤去)を示す

→ 現 ･･･現況のまま

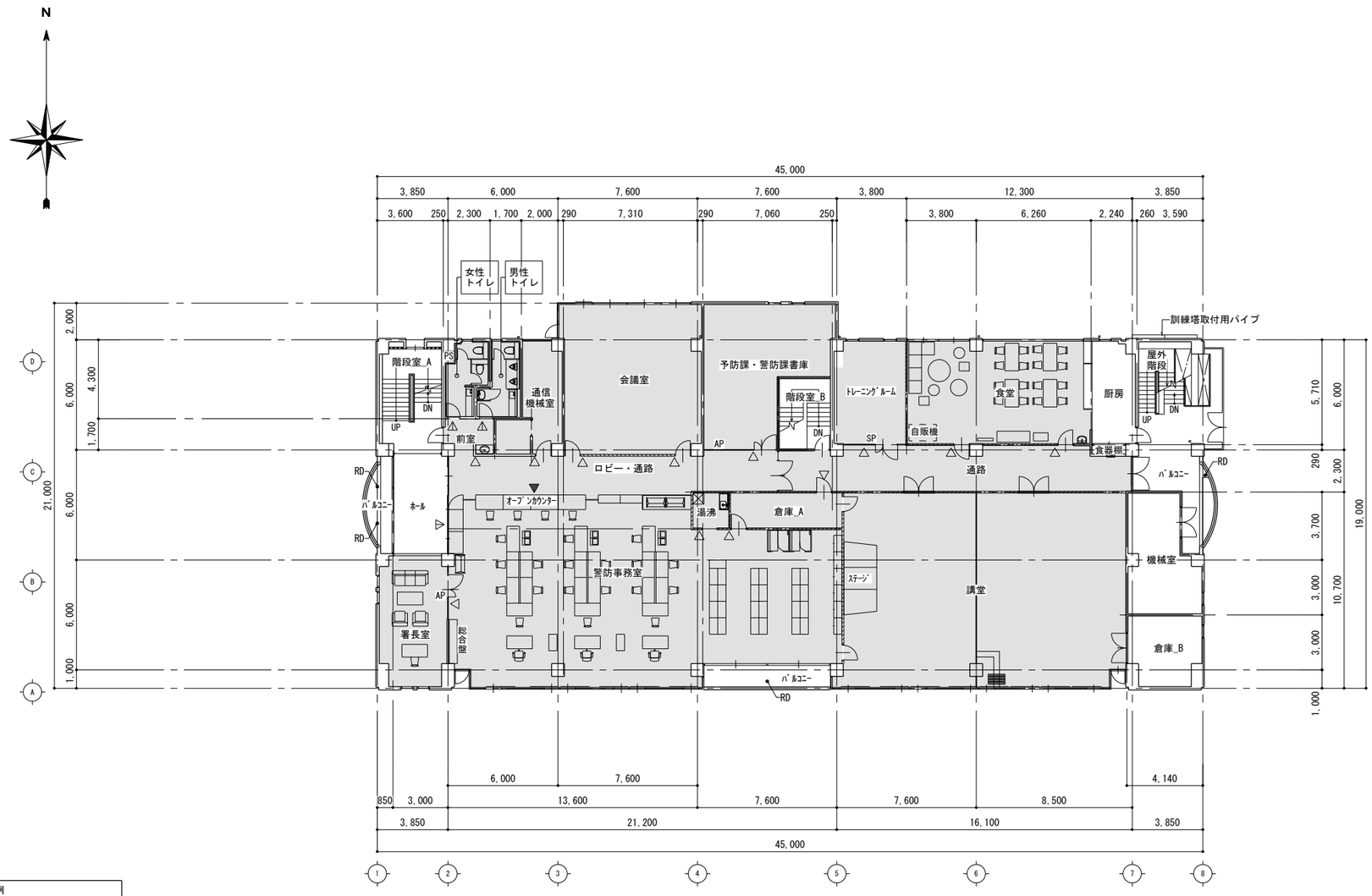
※特記無き限り現況のままとする。

：改修範囲を示す

株式会社 松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	改修前　３階　平面図
縮尺	A2　1：200　A3　1：282
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-022



改修後　３階平面図　1/200

(改修後)凡例

- RC壁
- 軽量鉄骨壁下地
- コンクリートブロック
- 木製軸組
- SP　スチールパーティション
- AP　アルミパーティション
- 床点検ハッチ
- (M)　マンホール
- 室名札　突付け　→新
- 室名札　平付け　→新
- サイン　天井吊り　→新

■ 凡例

新 ･･･今回工事(新規)を示す

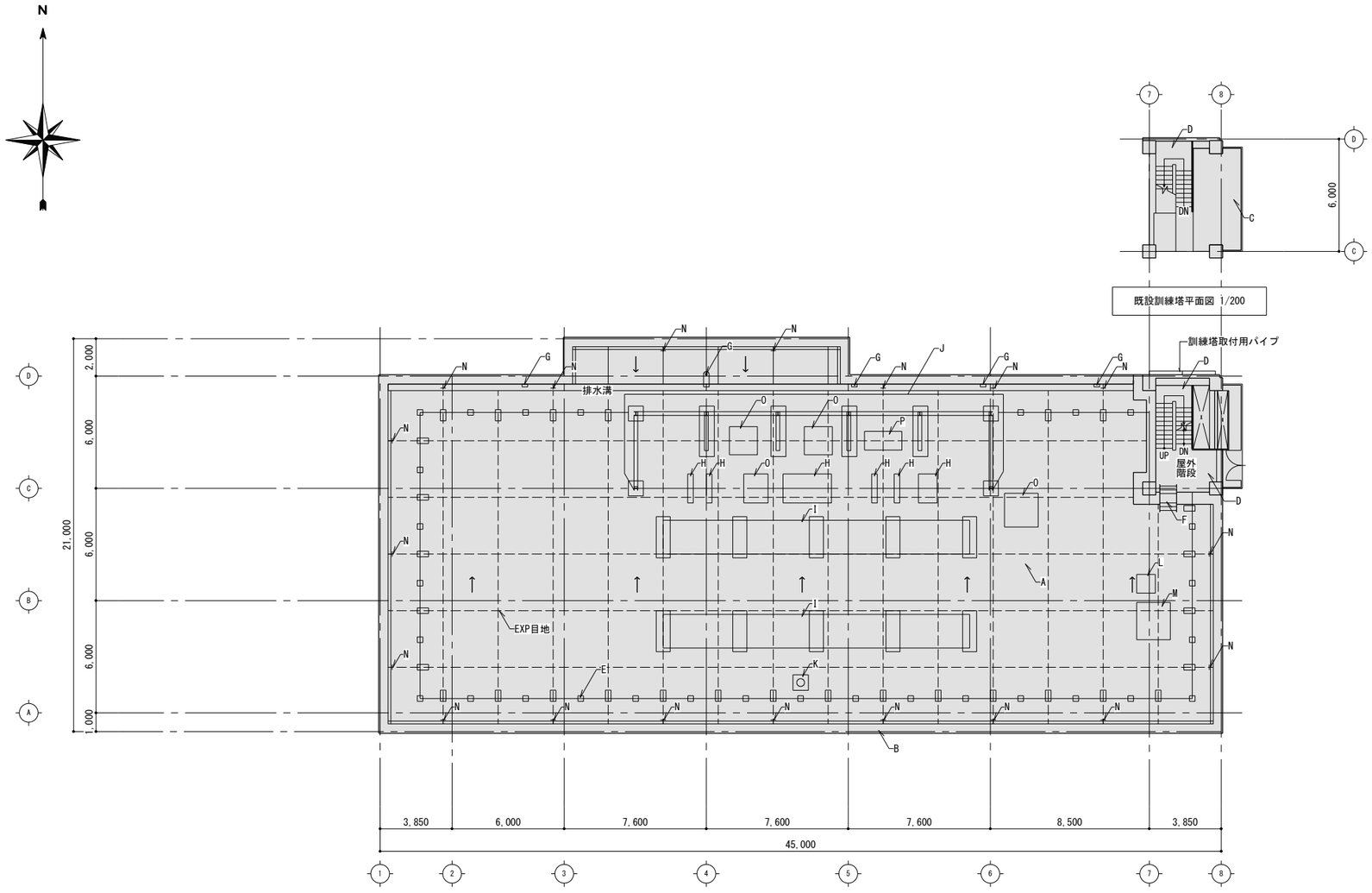
：改修範囲を示す

※特記無き限り現況のままとする。

株式会社 松浦建築事務所

TEL　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事		
図面名称	改修後　３階　平面図	縮尺	A2 1：200 A3 1：282
		製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No.	A-023



改修前　屋上平面図　1/200

A	現況	コンクリートスラブ_アスファルト防水8層 無筋コンクリート金ゴテ押エ t 60(水勾配1/100)	C	現況	コンクリート金ゴテ押エ下地シート防水	E	現況	手すり：スチール製 OP H=1,000	G	現況	RD φ100	I	現況	ソーラーパネル架台	K	現況	国旗掲揚ポール跡	M	現況	排気筒	O	現況	排煙トップライト
	措置	→ 現		措置	→ 撤 シート防水撤去		措置	→ 撤		措置	→ 撤 ストレーナー撤去		措置	→ 現		措置	→ 現		措置	→ 現		措置	→ 現
B	現況	笠木：カラーアルミ押出型材W=450	D	現況	防水モルタル金ゴテ押エ	F	現況	鋼製階段 OP	H	現況	設備機械基礎	J	現況	目隠しルーバー(ｶﾗｰｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ)	L	現況	煙突	N	現況	吊環_19ヶ所	P	現況	PS立上り
	措置	→ 取 一時取り外し		措置	→ 現		措置	→ 撤 塗膜のみ撤去		措置	→ 現		措置	→ 現 清掃のみ		措置	→ 現		措置	→ 現		措置	→ 現

■ 凡例

→ 撤 ･･･今回工事(撤去)を示す

→ 現 ･･･現況のまま

→ 取 ･･･一時取り外し

※特記無き限り現況のままとする。

：改修範囲を示す

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称　改修前　屋上　平面図

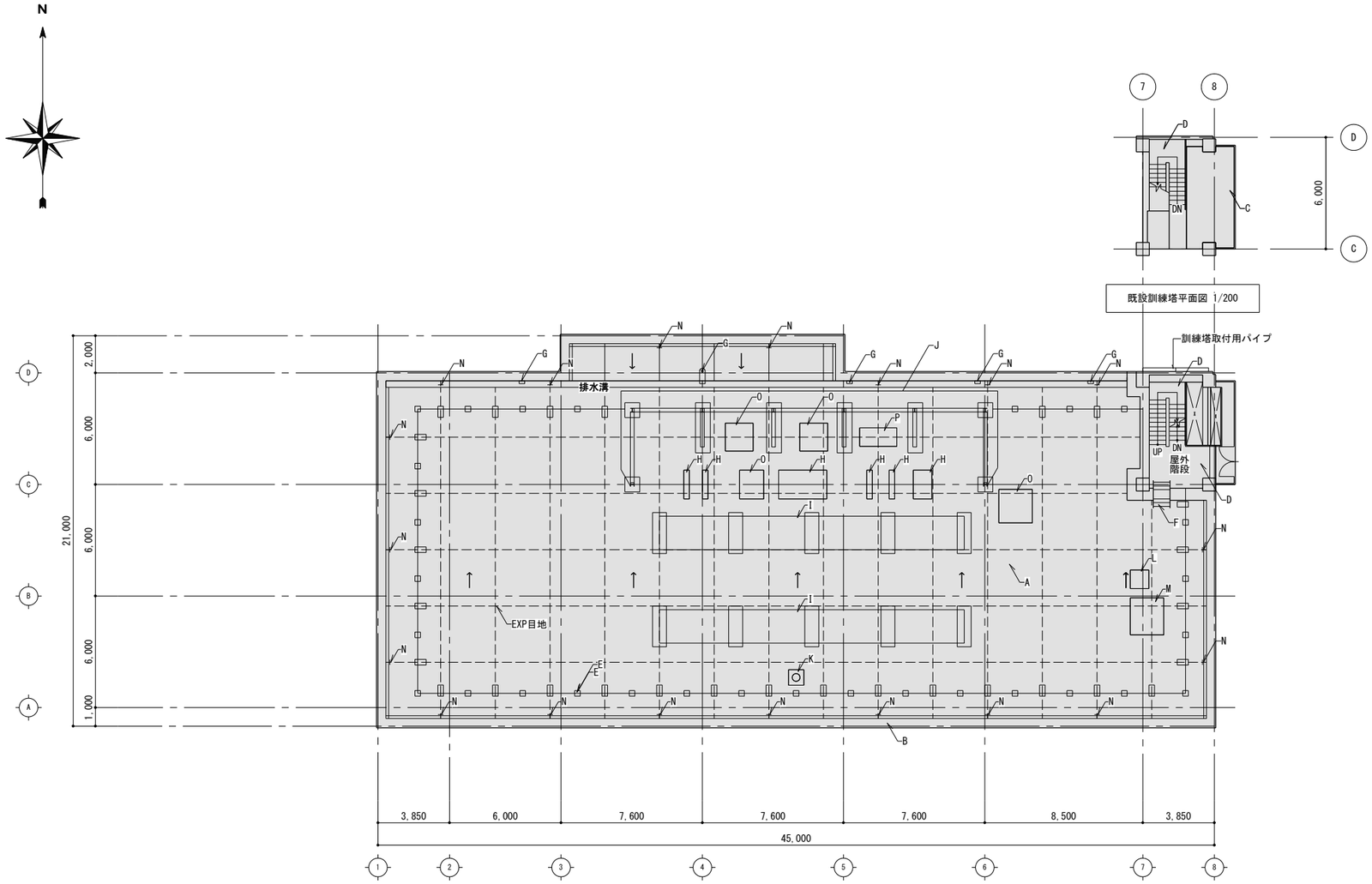
縮尺　A2　1：200　A3　1：282

製図　令和08年03月

1級建築士

登録第92794号　松浦孔明

No. A-024



改修後　屋上平面図　1/200

A	コンクリートスラブ_アスファルト防水8層 無筋コンクリート金ゴテ押エ t 60(水勾配1/100) → 改 保護コンクリート面下地処理の上、 平面部：塗膜防水工法(X-1)立上部：塗膜防水工法(X-2)	C	コンクリート金ゴテ押エ → 改 既設防水材撤去跡水洗い薄塗り樹脂モルタルの上 塗膜防水工法(X-2)(ノンスリップ工法)	E	新 手すり：AL製　H=1,100	G	新 改修用ドレン新設	I	ソーラーパネル架台 → 現	K	国旗掲揚ポール跡 → 現	M	排気筒 → 現	O	排煙トップライト → 現
B	笠木：カラーアルミ押出型材W-450 → 再 再取付(塗膜防水処理)	D	防水モルタル金ゴテ押エ → 改 塗膜防水工法(X-2)	F	鋼製階段 → 改 下地調整の上、DP塗装	H	設備機械基礎 → 現	J	目隠しルーバー(ｶﾗｰｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ) → 現 清掃のみ	L	煙突 → 現	N	吊環_19ヶ所 → 現	P	PS立上り → 現

■ 凡例

新 ･･･今回工事(新規)を示す

→ 再 ･･･今回工事(再取付)を示す

：改修範囲を示す

※特記無き限り現況のままとする。

株式会社 松浦建築事務所

TEL　(0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

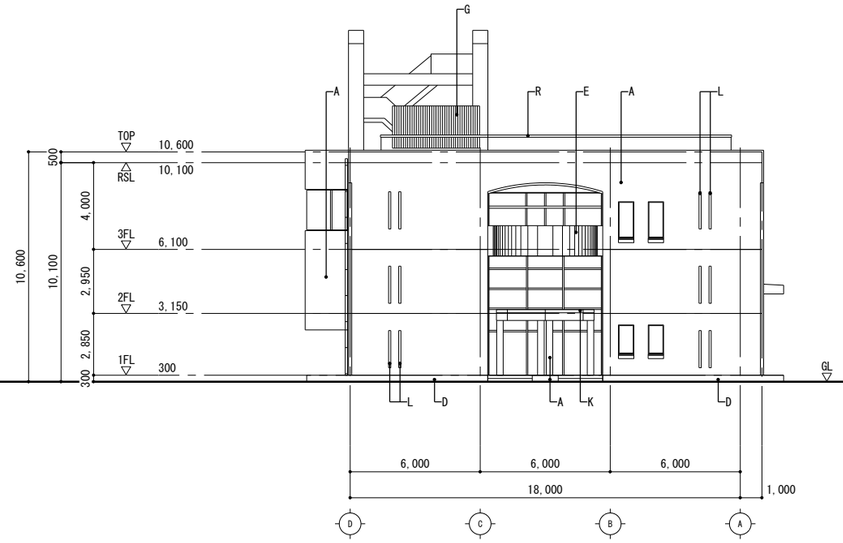
図面名称　改修後　屋上　平面図

縮尺　A2　1：200　A3　1：282

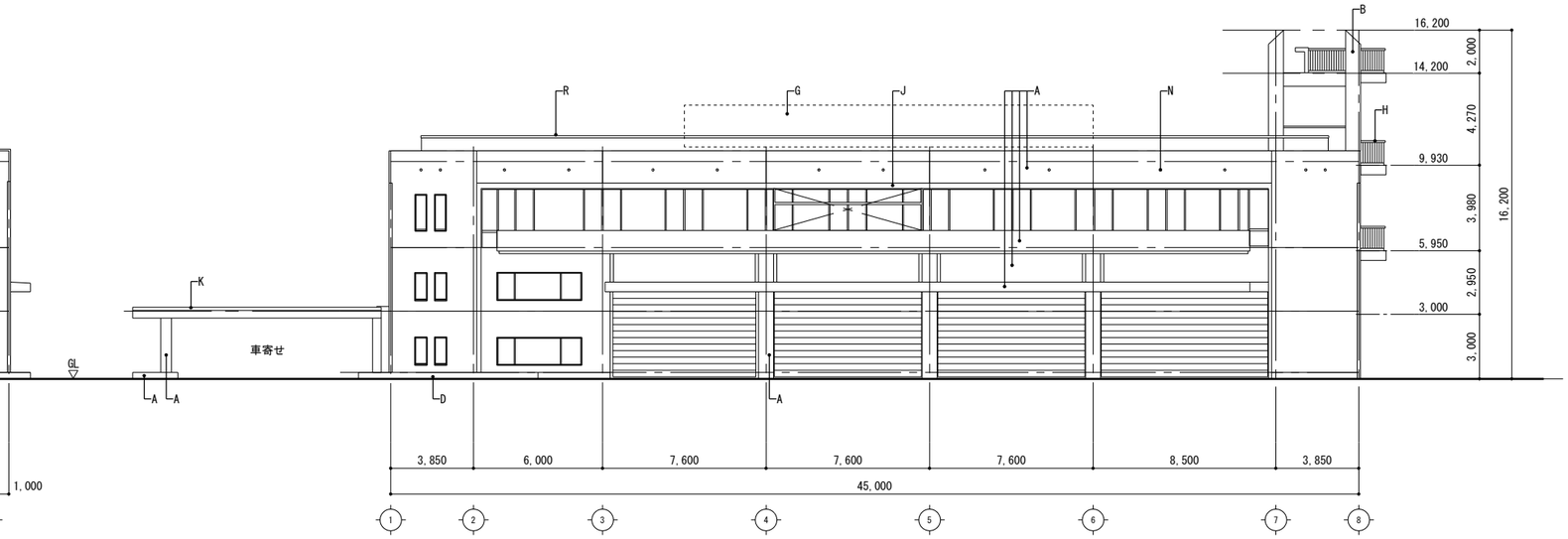
製図　令和08年03月

1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. A-025



改修前 西面立面図 1/200



改修前 南立面図 1/200

改修前 東立面図 1/200

改修前 北立面図 1/200

■ 凡例

→ 撤 ･･･今回工事(撤去)を示す　　特記無き限り現況のままとする。

→ 現 ･･･現況のまま　　：アスベスト含有材を示す

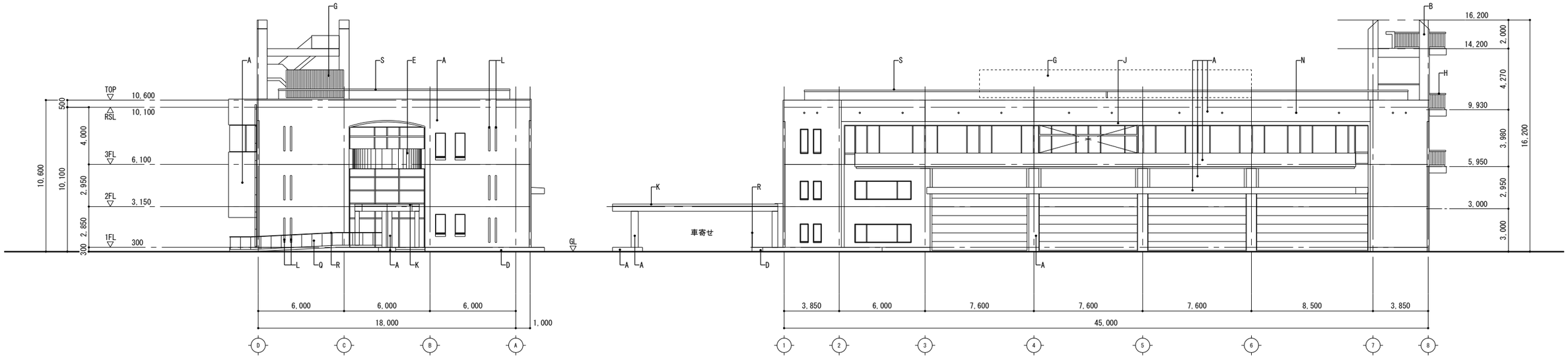
→ 取 ･･･今回工事(一時取外し)を示す

A	二丁掛窯変タイル → 撤 欠損部のみ	E	リブ付き特殊タイル → 撤 欠損部のみ	I	竪樋_鉄部OP → 撤	M	スチールドア → 撤 扉のみ	Q	スチールドア → 撤 扉のみ
B	合板型枠打放し 吹付タイル → 撤	F	庇_カラーステンレス板 → 取	J	見付_カラーアルミ → 現	N	天井裏換気パイプ_塩ビ製　防虫網付き OP → 撤 塗膜除去	R	手摺_鉄部OP → 撤
C	合板型枠打放し アクリルリシン吹付 → 撤	G	目隠し_カラーアルミパネル → 現	K	カラーステンレス板 → 現	O	ホース洗い → 撤 一部撤去(機械設備工事)	S	
D	花壇縁_窯変タイル → 撤 指定範囲のみ	H	手摺_鉄部OP → 改	L	厚焼きタイル W100×t100 → 現	P	ホース振れ止めパイプ → 現	T	

株式会社 松浦建築事務所

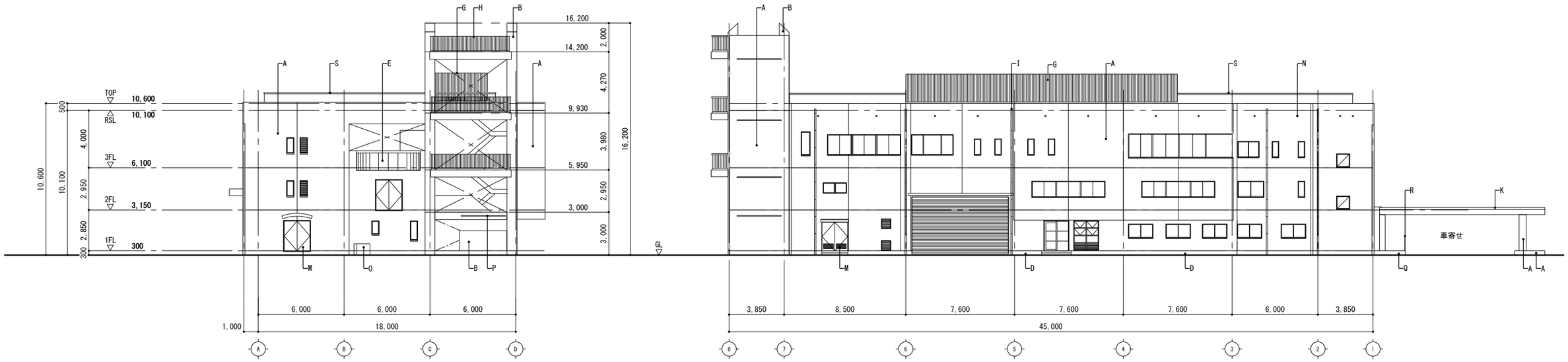
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事		
図面名称	改修前 立面図	縮尺	A2 1：200 A3 1：282
		製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No.	A-026



改修後 西面立面図 1/200

改修後 南面立面図 1/200



改修後 東立面図 1/200

改修後 北立面図 1/200

■ 凡例

新 ･･･今回工事(新規)を示す
→改 ･･･今回工事(改修)を示す
→再 ･･･今回工事(再取付)を示す

特記無き限り現況のままとする。
：アスベスト含有材を示す

A	二丁掛窯変タイル →新 欠損部のみ	E	リブ付き特殊タイル →新 欠損部のみ	I	新 竪樋_SUS φ65	M	新 スチールドア(カバー工法にて改修)	Q	新 スロープ
B	合板型枠打ち放し →改 下地調整_CM-2、可とう形改修塗材RE	F	庇_カラーステンレス板 →再 再取付	J	見付_カラーアルミ	N	天井裏換気パイプ →改 SOP塗装	R	新 スロープ手すり
C	合板型枠打ち放し →改 下地調整_CM-2、可とう形改修塗材RE	G	目隠し_カラーアルミパネル	K	カラーステンレス板	O	ホース洗い →改 部分詳細図参照	S	新 AL製手摺 H=1,100
D	花壇縁_窯変タイル	H	手摺_鉄部OP →改 DP塗装	L	厚焼きタイル W100×t100	P	ホース振れ止めパイプ	T	

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

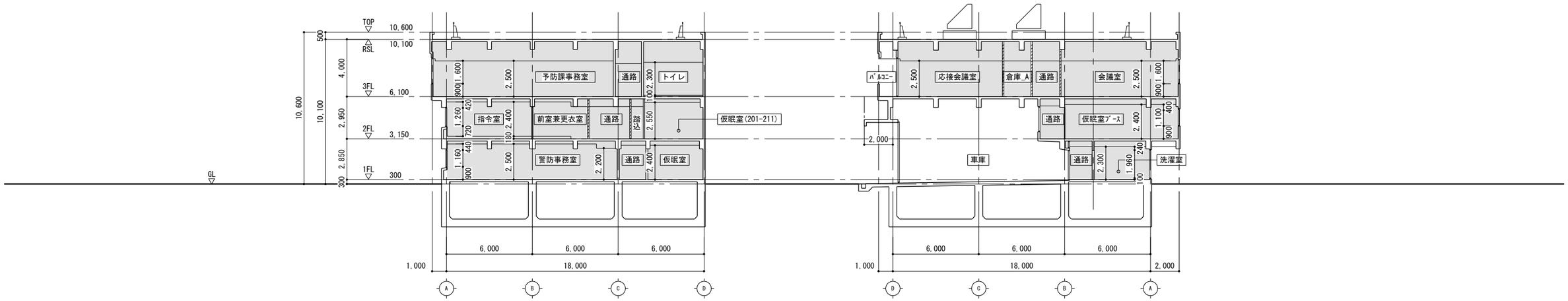
図面名称 改修後 立面図

縮尺 A2 1：200 / A3 1：282

製図 令和08年03月

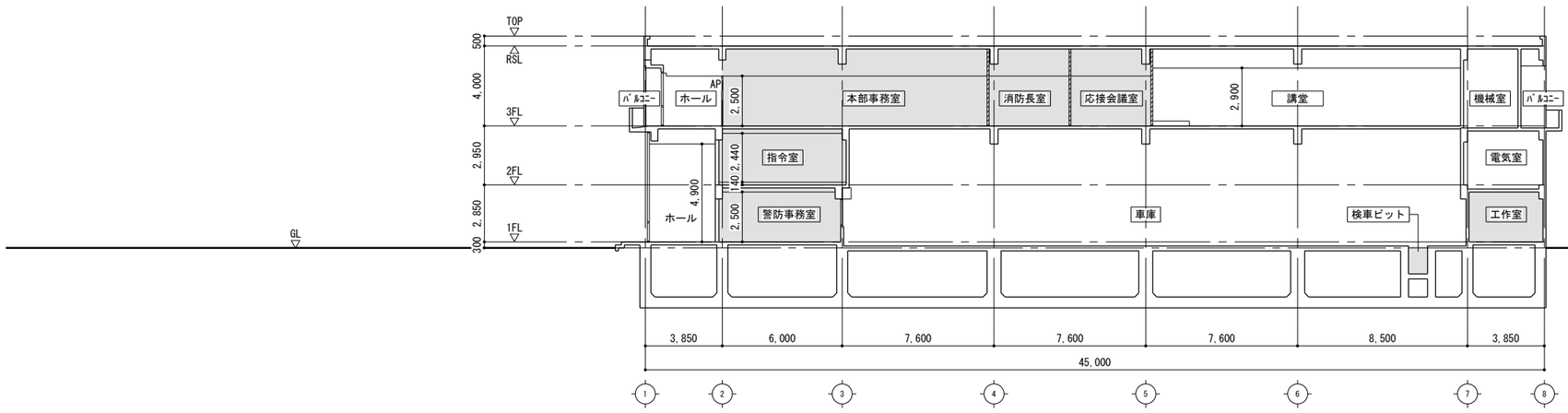
1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-027



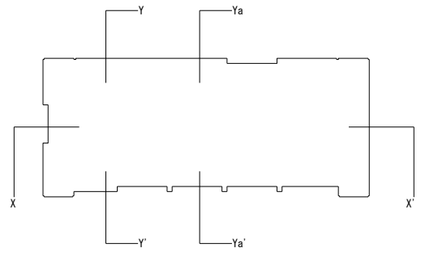
改修前　Y-Y' 断面図　1/200

改修前　Ya-Ya' 断面図　1/200



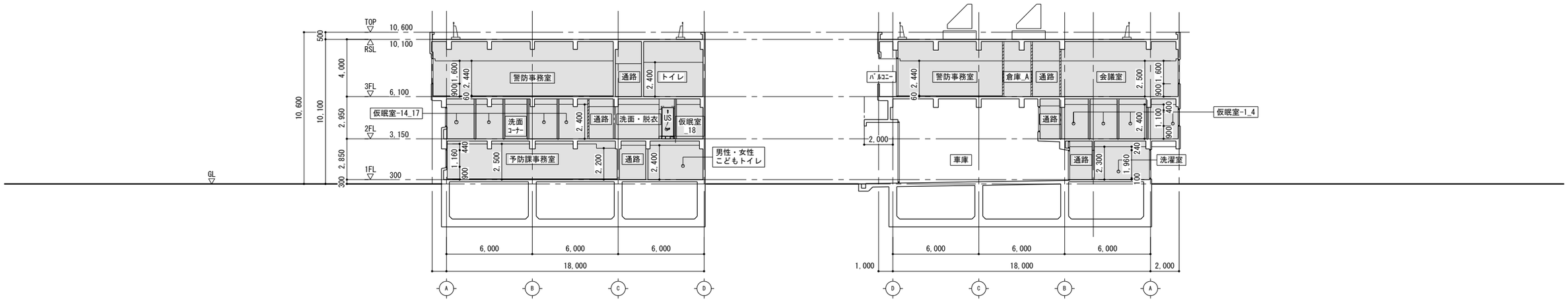
改修前　X-X' 断面図　1/200

：改修範囲を示す



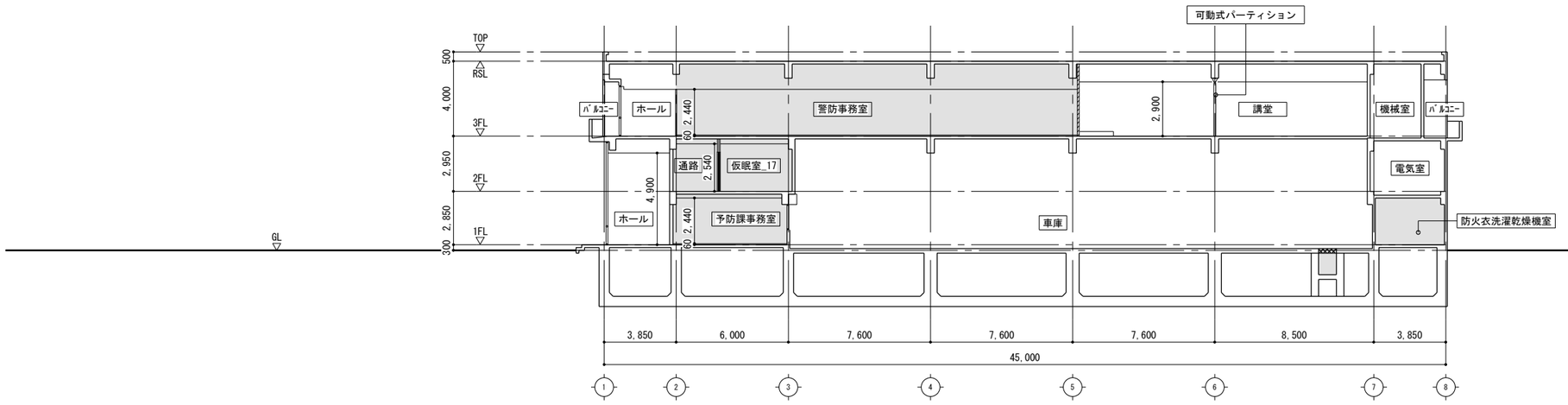
Key_PLAN

株式会社 松浦建築事務所 TEL (0561) 32-0318	工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称 改修前 断面図	縮尺 A2 1：200 A3 1：282
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. A-028



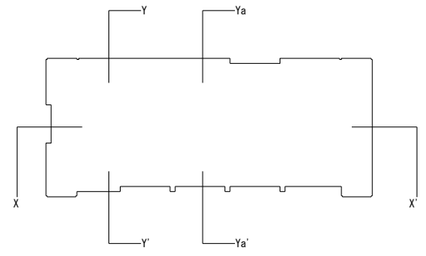
改修後　Y-Y' 断面図　1/200

改修後　Ya-Ya' 断面図　1/200



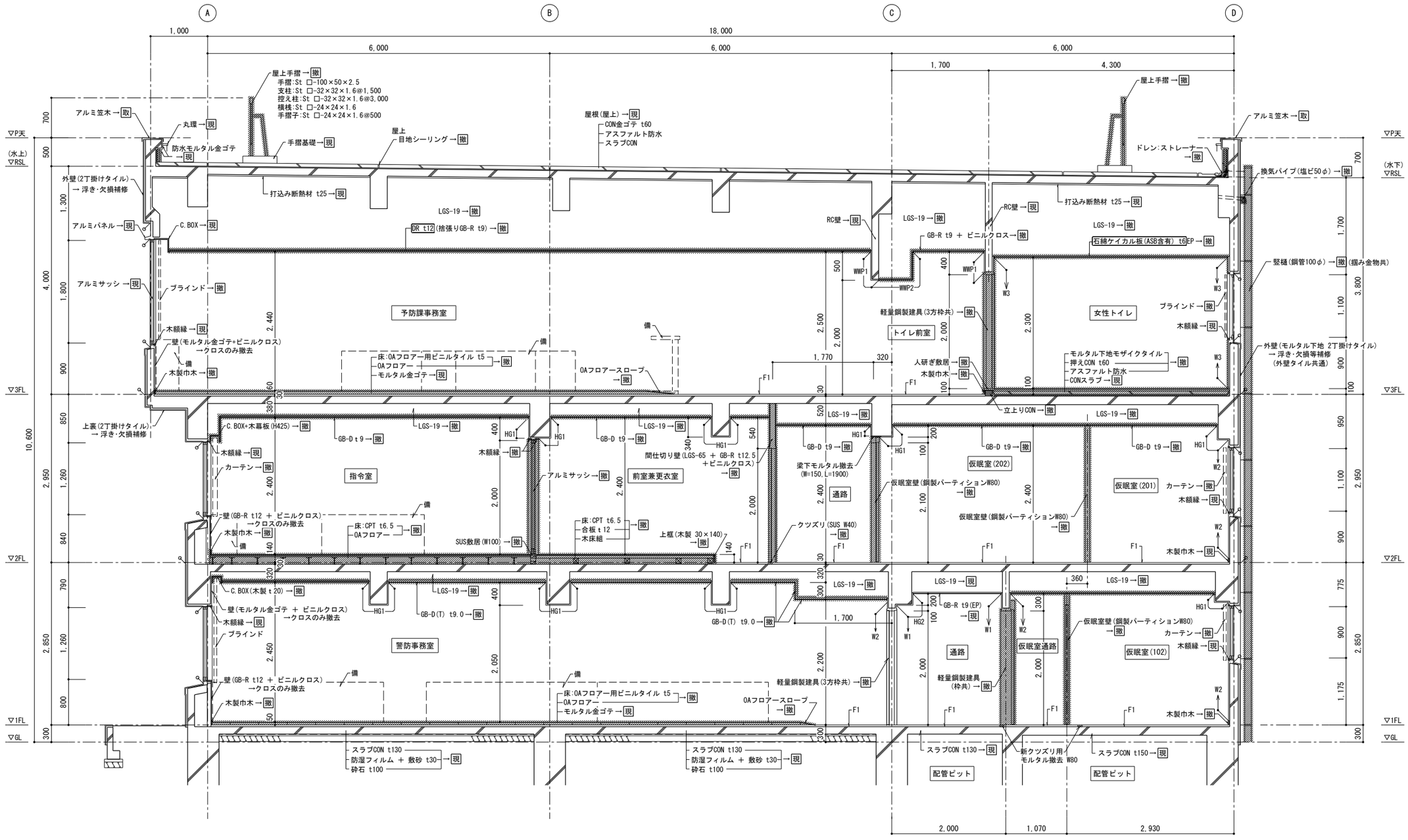
改修後　X-X' 断面図　1/200

：改修範囲を示す



Key_PLAN

株式会社　松浦建築事務所 TEL　(0561) 32-0318	工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称　改修後　断面図	縮尺　A2　1：200 A3　1：282
		製図　令和08年03月
1級建築士 登録第92794号　松浦孔明		No. A-029



改修前　断面詳細図　1/200

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
→ 取 …今回工事(取外し)を示す
o— …シーリング撤去
備…事務機器備品 → 撤
　　：アスベスト含有材を示す

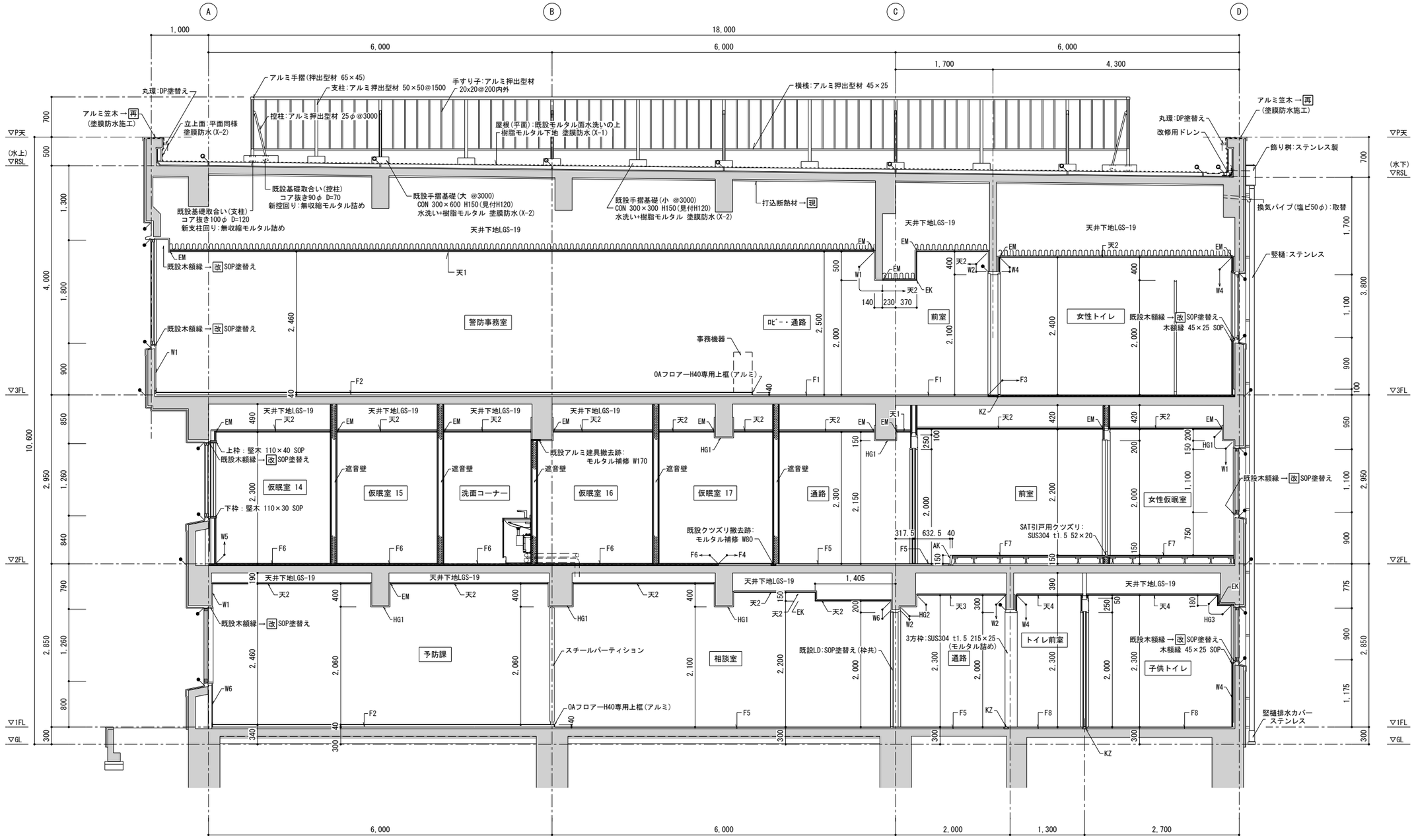
WWP1	モルタル金ゴテ下地＋壁紙(WP(ゾラコート柄)) → 撤 壁紙撤去(モルタル残し)	W1	壁モルタル金ゴテ EP → 現	カーテン・ブラインド → 撤 カーテン・ブラインドのみ撤去(カーテンレールは一時取外し)
WWP2	GB-R t9.0下地＋壁紙(WP(ゾラコート柄)) → 撤 GB-R t9.0(WP共、LGS下地)撤去	W2	壁モルタル金ゴテ ビニルクロス張り → 撤 クロスのみ撤去	
HG1	梁型 モルタル金ゴテ ビニルクロス張り → 撤 クロスのみ撤去	W3	壁 モルタル下地モザイクタイル張り → 撤 クロスのみ撤去	
HG2	梁型 モルタル金ゴテ EP → 現	F1	モルタル金ゴテ下地ビニル床シート t2.0 → 撤 床シートのみ撤去	

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	改修前　断面詳細図
縮尺	A2 1：50　A3 1：71
製図	令和08年03月

1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. A-030



改修後　断面詳細図　1/200

→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
→ 新 …今回工事(新規)を示す
→ 再 …今回工事(再取付)を示す

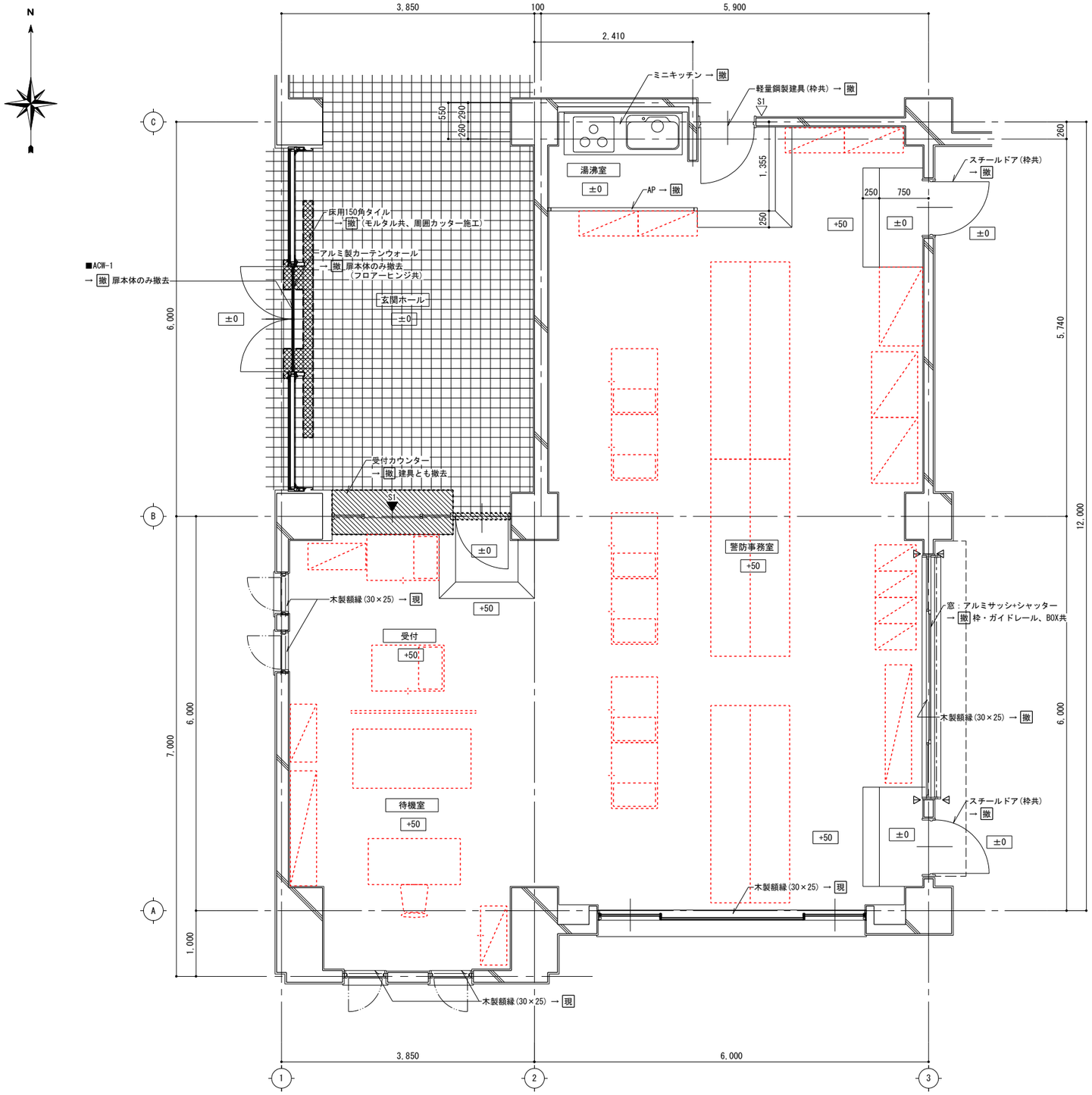
●— …シーリング MS-2 20×10
○— …シーリング MS-2 10×10
○— …シーリング PU-2 20×10
ᔓᔓᔓ …グラスウール t50 24K

注:既設天井LGS用アンカー使用可(ただし、該当階あたり3か所　引張試験 400N/本以上確認必要)

天1	新 ロックウール化粧吸音板(DR) t12　GB-R t9捨張り	W2	既設モルタル金ゴテEP → 改 下地調整の上　EP-G塗替え	F4	既設モルタル金ゴテ面 → 改 下地調整の上　カーペットタイル t6.5		
天2	新 化粧石こうボード(GB-D) t9	W3		F5	既設モルタル金ゴテ面 → 改 下地調整の上　ビニル床シート t2		
天3	既設GB-R EP → 改 下地調整 EP塗替え	W4	新 GB-S t12.5(GL工法)捨張り 化粧ケイカル t6張り	F6	新 モルタル金ゴテ下地　カーペットタイル t6.5		
天4	新 多機能ケイカル板 t6	W5	新 GB-R t12.5(2枚張り LGS-65@450)ビニルクロス張り	F7	新 置床+合板 t12下地　カーペットタイル t6.5		
HG1	梁型 既設モルタル金ゴテ クロスのみ撤去面 → 改 下地調整の上　ビニルクロス張り	W6	既設GB-R t12 ビニルクロスのみ撤去 → 改 下地調整の上ビニルクロス張り	F8	既設モルタル金ゴテ面 → 改 下地調整の上　ビニル床シート t2(トイレ用)		
HG2	梁型 既設モルタル金ゴテ EP → 改 下地調整の上　EP-G塗替え	F1	既設モルタル金ゴテ下地ビニル床シート撤去面 → 改 下地調整の上　ビニル床シート t2張り		(間隔:スラブ配筋同様)		
HG3	新 GB-S t12.5(GL工法)捨張り 化粧ケイカル板 t6	F2	既設モルタル金ゴテ面 → 改 下地調整の上 OAフロアーH40 ＋ カーペットタイル t6.5	EM	塩ビ回り子	AK	上框:SUS304 t1.5 150×40 モルタル詰め
W1	既設モルタル金ゴテ下地ビニルクロスのみ撤去 → 改 下地調整の上　ビニルクロス張り	F3	新 モルタル金ゴテ下地ビニル床シート t2(トイレ用)	EK	塩ビ見切り	KZ	クツズリ:SUS304 t1.5 40x15 モルタル詰め

株式会社 松浦建築事務所
TEL　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	改修後　断面詳細図
縮尺	A2　1：50　A3　1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-031



（改修前） 1階 受付、待機室、警防事務室、玄関 平面詳細図 1/50

玄関ホール	床	モルタル下地窯変磁器質床用タイル → 現
	巾木	テラゾーブロック・一部赤御影石 → 現
	壁	モルタル金ゴテ押エ_吹付タイル → 現
	天井	石こうボード t9.0下地 ＋ ロックウール化粧吸音板(立体模様) t15 → 撤 LGS下地とも撤去
	備考	正面壁_陶壁 → 現
受付	床	OAフロアー下地置敷ビニル床タイル t5.0 → 撤 OAフロア共撤去
	巾木	木製 OP H=75 → 撤 塗膜_除去
	壁	モルタル金ゴテ押エ_ゾラコート吹付 → 撤 ゾラコート_除去
	天井	化粧石こうボード t9.0 → 撤 LGS下地共撤去
	備考	受付カウンター(ｶｳﾝﾀｰ付建具共) → 撤
待機室	床	OAフロアー下地置敷ビニル床タイル t5.0 → 撤 OAフロア共撤去
	巾木	木製 OP H=75 → 撤 塗膜_除去
	壁	モルタル金ゴテ押エ_ゾラコート吹付 → 撤 ゾラコート_除去
	天井	化粧石こうボード t9.0 → 撤 LGS下地共撤去
警防事務室 湯沸室	床1	OAフロアー下地置敷ビニル床タイル t5.0 → 撤 撤去
	床2	モルタル下地ビニル床シート t2.0 → 撤 ビニルシートのみ撤去
	巾木	木製巾木 OP H=75 → 撤 塗膜_除去
	壁	モルタル金ゴテ押エ_ゾラコート吹付 → 撤 ゾラコート_除去
	天井	化粧石こうボード t9.0 → 撤 LGS下地共撤去
	備考	ミニキッチン → 撤

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
※特記なき限り現況のままとする

：アスベスト含有材を示す
：床撤去範囲

◁S1：突出し型室名札 → 撤
◀S1：SUS箱文字 100×100×15 2文字(受付) → 撤
◁ カッター施工

1
4 展開方向 2
3

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

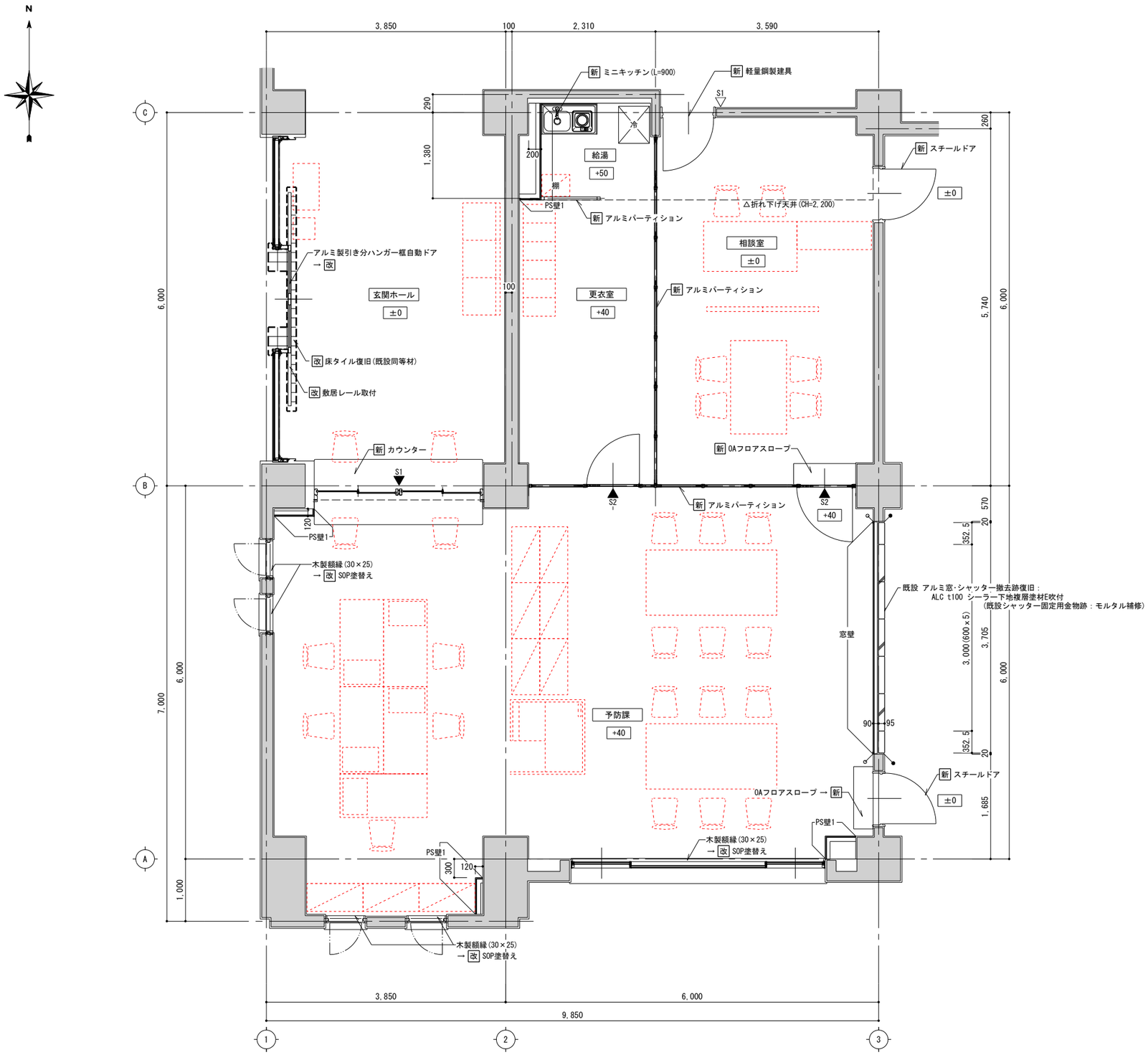
図面名称 （改修前） 1階 受付、待機室、警防事務室、玄関 平面詳細図

縮尺 A2 1：50 A3 1：71

製図 令和08年03月

1級建築士 登録第92794号 松浦孔明

No. A-032



（改修後） 1階 予防課、更衣室、相談室、玄関 平面詳細図 1/50

玄関ホール	床	モルタル下地窯変磁器質床用タイル → 現
	巾木	テラゾーブロック・一部赤御影石 → 現 新 受付カウンター部：木製巾木 H=75 SOP
	壁	モルタル金ゴテ押エ_吹付タイル → 現
	天井	新 LGS下地石こうボード t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板 t12
	備考	正面壁_陶壁 → 現
予防課	床	新 OAフロアーH40 ＋ カーペットタイル t6.5
	巾木	木製巾木 → 改 下地調整の上、SOP塗替え
	壁	既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙
	天井	新 LGS下地化粧石こうボード t9.5
	備考	新 受付カウンター 新 天井点検口
相談室	床	既設モルタル → 改 下地調整の上、ビニル床シート t2.0
	巾木	木製巾木 → 改 下地調整の上、SOP塗替え
	壁	既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙
	天井	新 LGS下地化粧石こうボード t9.5
	備考	新 アルミパーティション 新 天井点検口
更衣室 給湯	床	新 OAフロアーH40 ＋ カーペットタイル t6.5
	巾木	木製巾木 → 改 下地調整の上、SOP塗替え
	壁	既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙
	天井	新 LGS下地化粧石こうボード t9.5
	備考	新 アルミパーティション 新 天井点検口 新 ミニキッチン(L=900)
共通事項	PS壁1	新 LGS-65@450下地石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス (出隅：アルミコーナー 25×25) (既設柱等モルタル面取合い：塩ビ見切り)
窓壁		新 LGS-50@450下地石こうボード t12.5 ＋ 合板 t5.5 ＋ 掲示クロス張り (既設壁取合い(4方)：竪木25×20 SOP) 掲示クロス：マグネット使用可

→ 現 …現況のまま
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す
※特記なき限り現況のままとする
改修範囲外

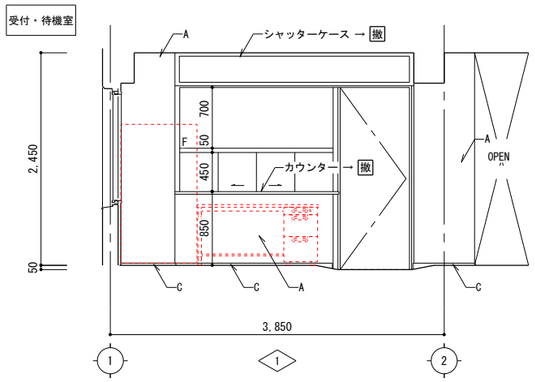
◁S1：突出し型室名札(相談室)
◀S1：平付け大型プレート(1,000×150 予防課受付)
◀S2：平付け型室名札(更衣室・相談室)

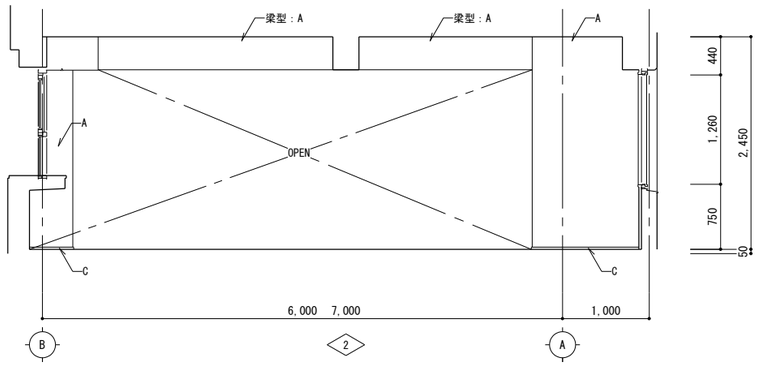
1
4 展開方向 2
3

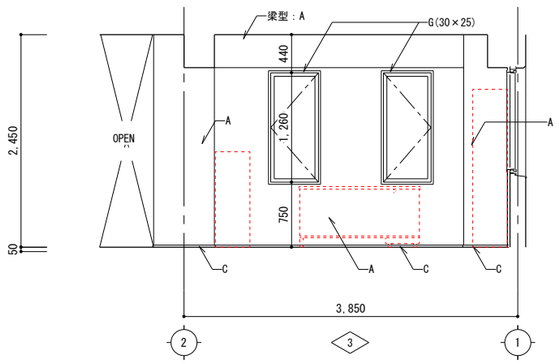
株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

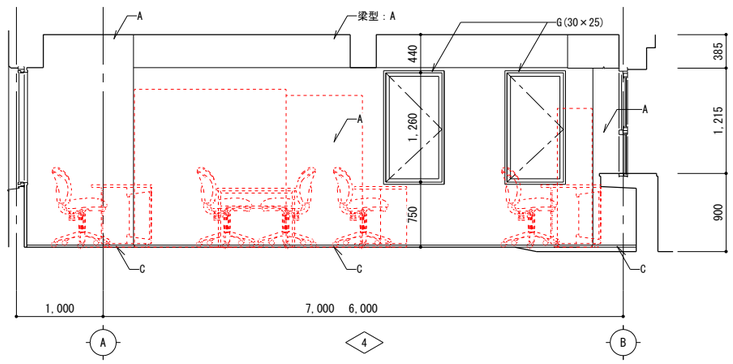
工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称 （改修後） 1階 予防課、更衣室、相談室、給湯 平面詳細図
縮尺 A2 1：50 A3 1：71
製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明
No. A-033

受付・待機室





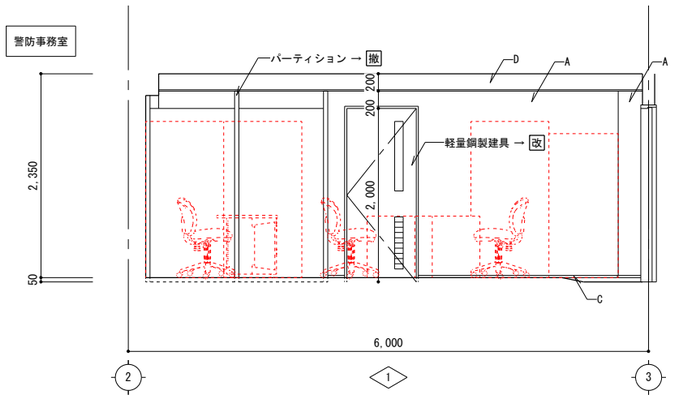


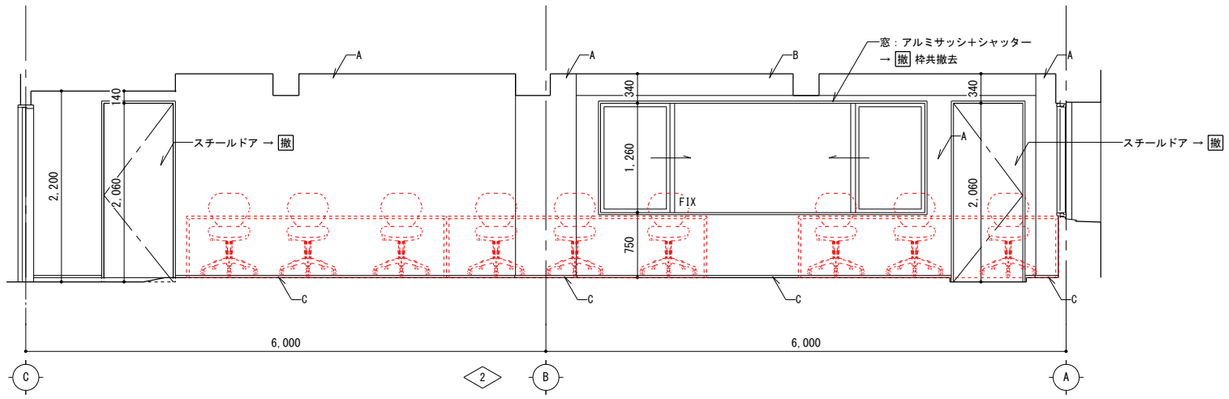


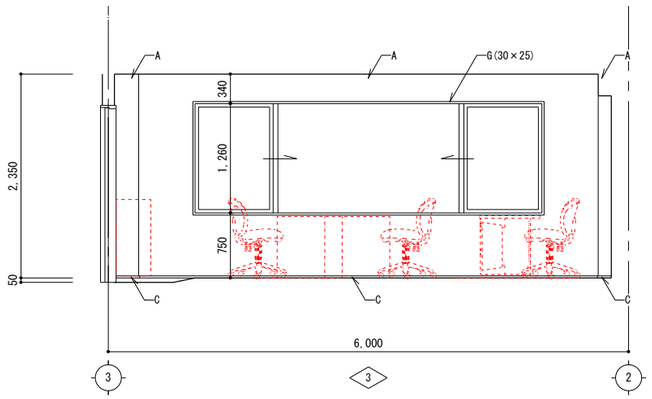
（改修前） 1階 受付、待機室 展開図 1/50

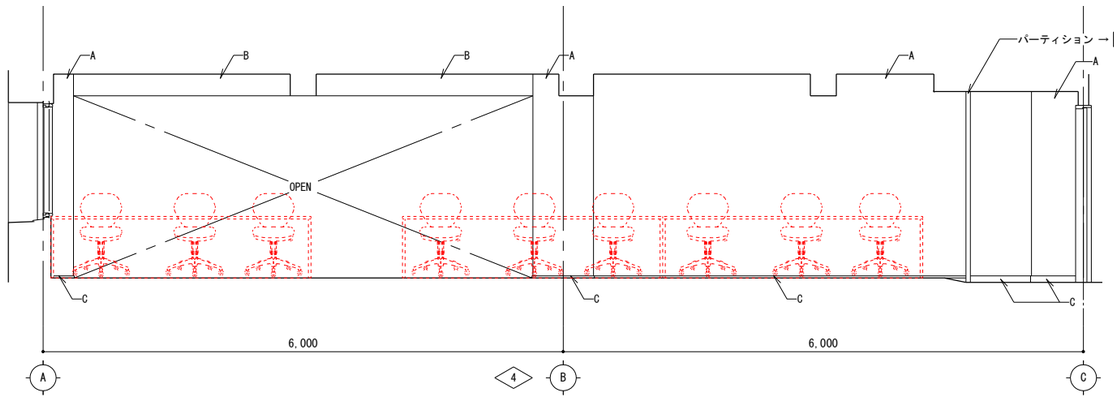
A	現況	モルタル金ゴテ押エ_ゾラコート吹付	C	現況	巾木：木製(WBB) OP H=75	E	現況		G	現況	額縁： 木製額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事(既設撤去)を示す	株式会社 松浦建築事務所 TEL (0561) 32-0318	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	措置	→ 撤 ゾラコート_除去		措置	→ 撤 塗膜_除去		措置			措置	→ 現			図面名称	（改修前） 1階 受付、待機室 展開図
B	現況		D	現況		F	現況		H	現況				縮尺	A2 1：50 A3 1：71
	措置			措置			措置			措置				製図	令和08年03月
													1級建築士 登録第92794号 松浦 孔明		No. A-034

警防事務室

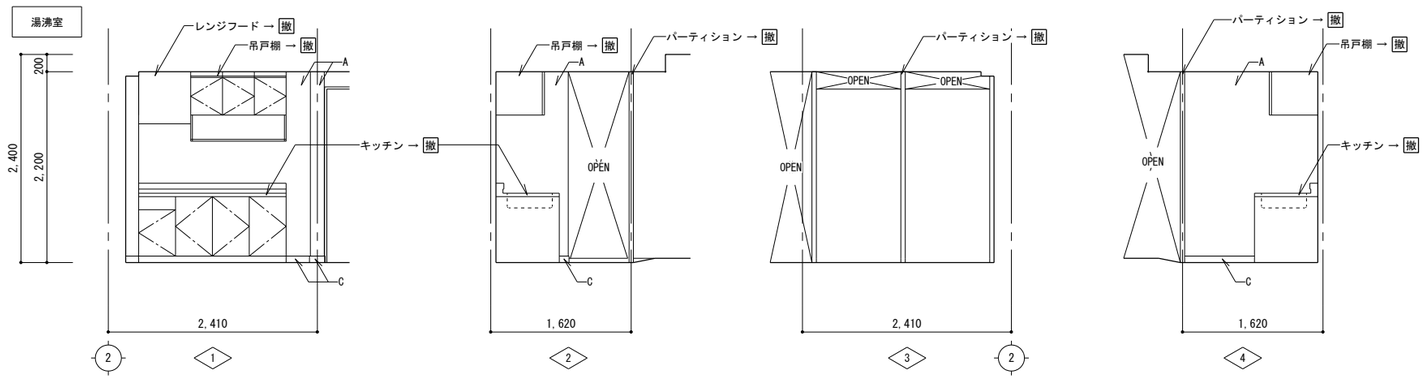








湯沸室



（改修前） 1階 警防事務室、湯沸室 展開図 1/50

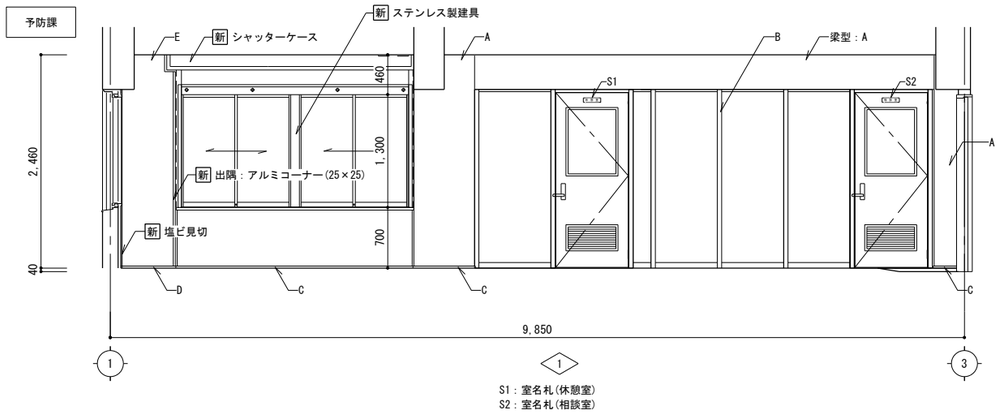
A	現況	モルタル金ゴテ押エ_ゾラコート吹付	C	現況	巾木：木製 OP H=75	E	現況		G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事（既設撤去）を示す	
	措置	→ 撤 ゾラコート_除去		措置	→ 撤 塗膜_除去		措置			措置	→ 現		
B	現況	梁型：モルタル下地 ＋ 壁紙	D	現況	天井：化粧石こうボード t9.0	F	現況		H	現況			
	措置	→ 撤 壁紙のみ		措置	→ 撤 下地共撤去		措置			措置			

株式会社 松浦建築事務所

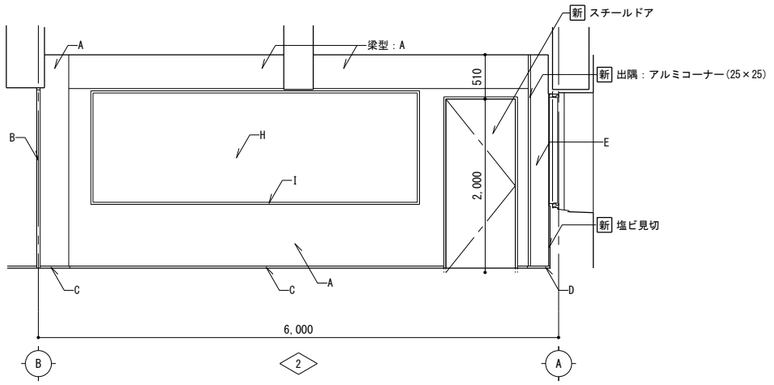
TEL (0561) 32-0318

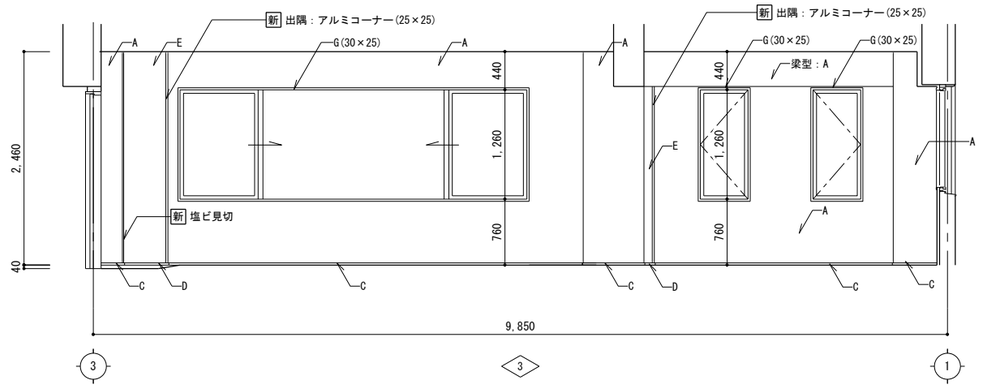
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前） 1階 警防事務室 湯沸室 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-035

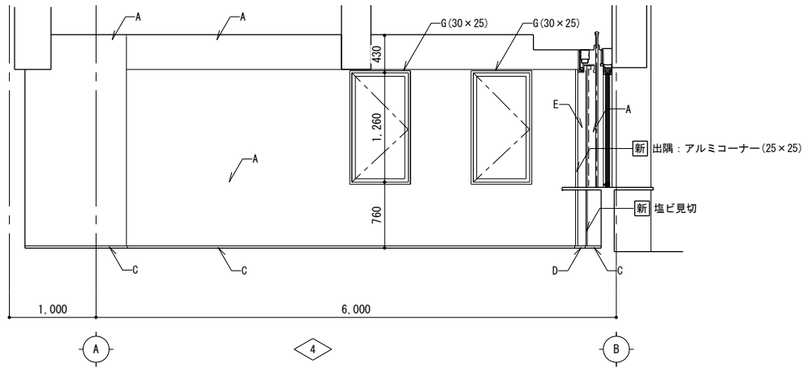
予防課



S1：室名札(休憩室)
S2：室名札(相談室)







（改修後） 1階 予防課 展開図 1/50

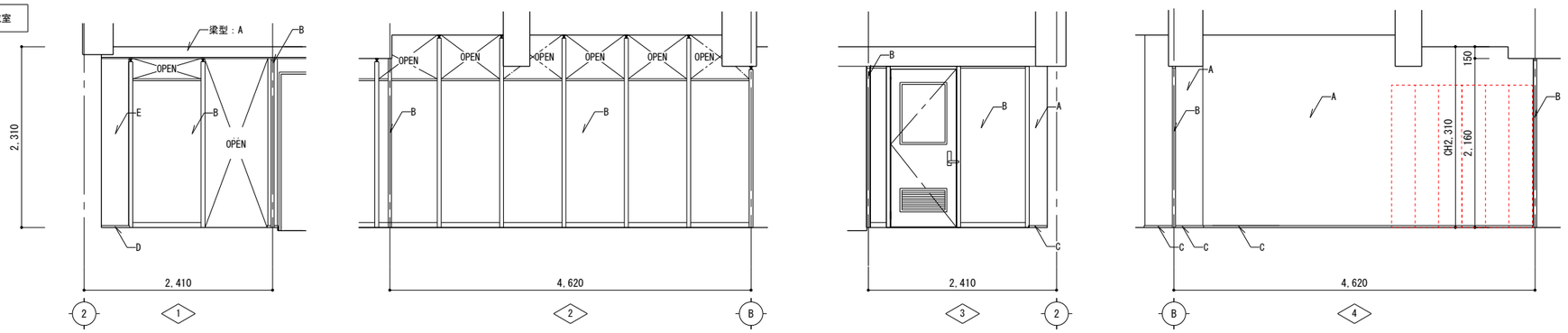
A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙_梁型共	E	PS壁： 新 LGS-65 ＋ 石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス	I	新 既設壁取合い(4方)：竪木25×20 SOP		
B	新 アルミパーティション	F		J			
C	巾木：既設木製巾木 → 改 SOP塗替え	G	額縁：既設木製額縁 → 改 SOP塗替え	K			
D	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木	H	新 LGS-50 ＋ 石こうボード t12.5 ＋ 合板 t5.5 ＋ 掲示クロス張り	L			

→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す

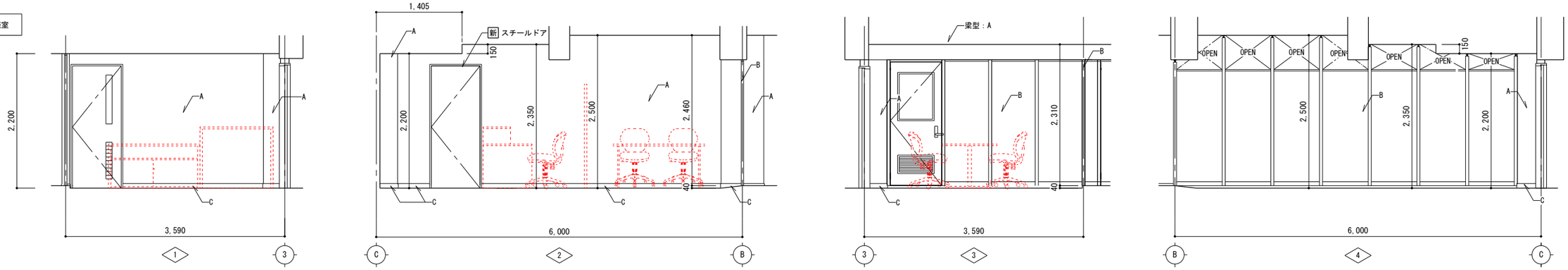
株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	（改修後） 1階 予防課 展開図	縮尺 A2 1：50 A3 1：71
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. A-036

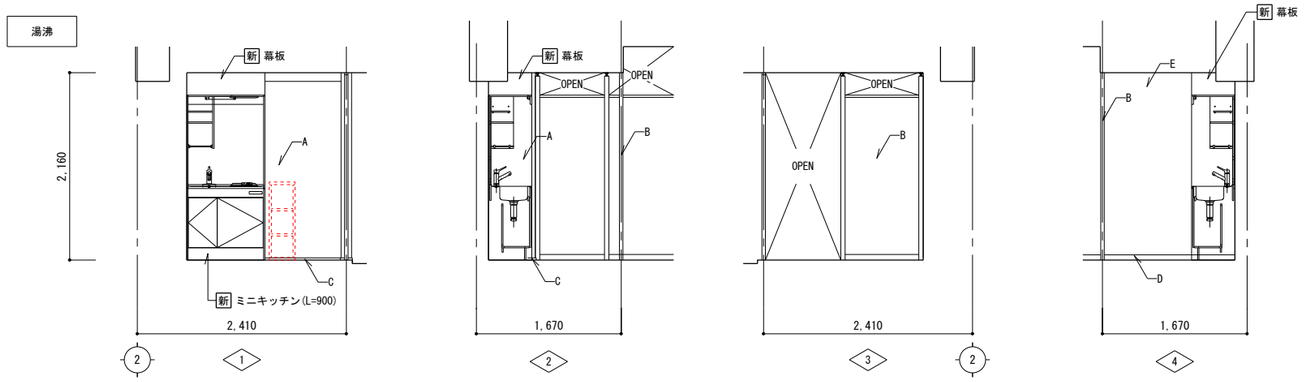
更衣室



相談室



湯沸



（改修後） 1階 更衣室、相談室、給湯 展開図 1/50

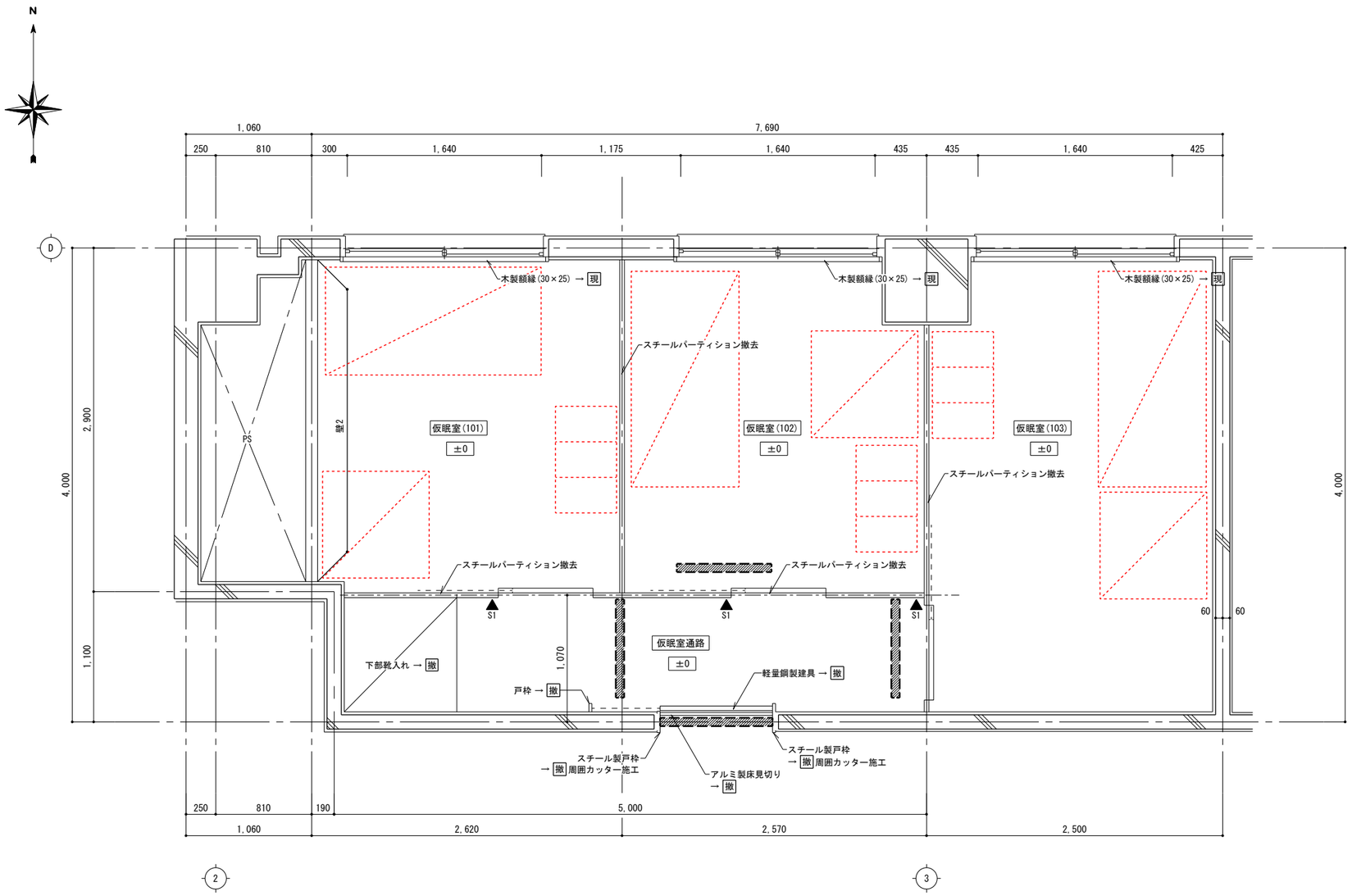
A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙	E	PS壁： 新 LGS-65 ＋ 石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス	I				→ 改 …今回工事(既設改修)を示す 新 …今回工事(新設)を示す
B	新 アルミパーティション	F	折れ下げ天井： 新 化粧石こうボード t9.5	J				
C	巾木：既設木製巾木 → 改 SOP塗替え	G		K				
D	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木	H		L				

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修後） 1階 更衣室、相談室、給湯 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦 孔明
No.	A-037

仮眠室	床	モルタル下地ビニル床シート t2.0 → 撤 ビニルシートのみ撤去
	巾木	木製巾木 OP H=75 → 撤
	壁1	既設RC面：モルタル下地壁紙(梁型共) → 撤 壁紙のみ撤去
	壁2	LGS下地石こうボード t12 ＋ 壁紙 → 撤 LGS共撤去
	天井	化粧石こうボード t9.5 → 撤 LGS下地共撤去
	備考	スチールパーティション → 撤
仮眠室通路	床	モルタル下地カーペットタイル t6.5 → 撤 カーペットタイルのみ撤去
	巾木	木製巾木 OP H=75 → 撤
	壁	既設RC面：モルタル下地壁紙(梁型共) → 撤 壁紙のみ撤去
	天井	化粧石こうボード t9.5 → 撤 LGS下地共撤去
	備考	スチールパーティション → 撤



（改修前） 1階 仮眠室廻り 1：30

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
※特記なき限り現況のままとする

：アスベスト含有材を示す

S1：ネームプレート(3人用)×3 → 撤

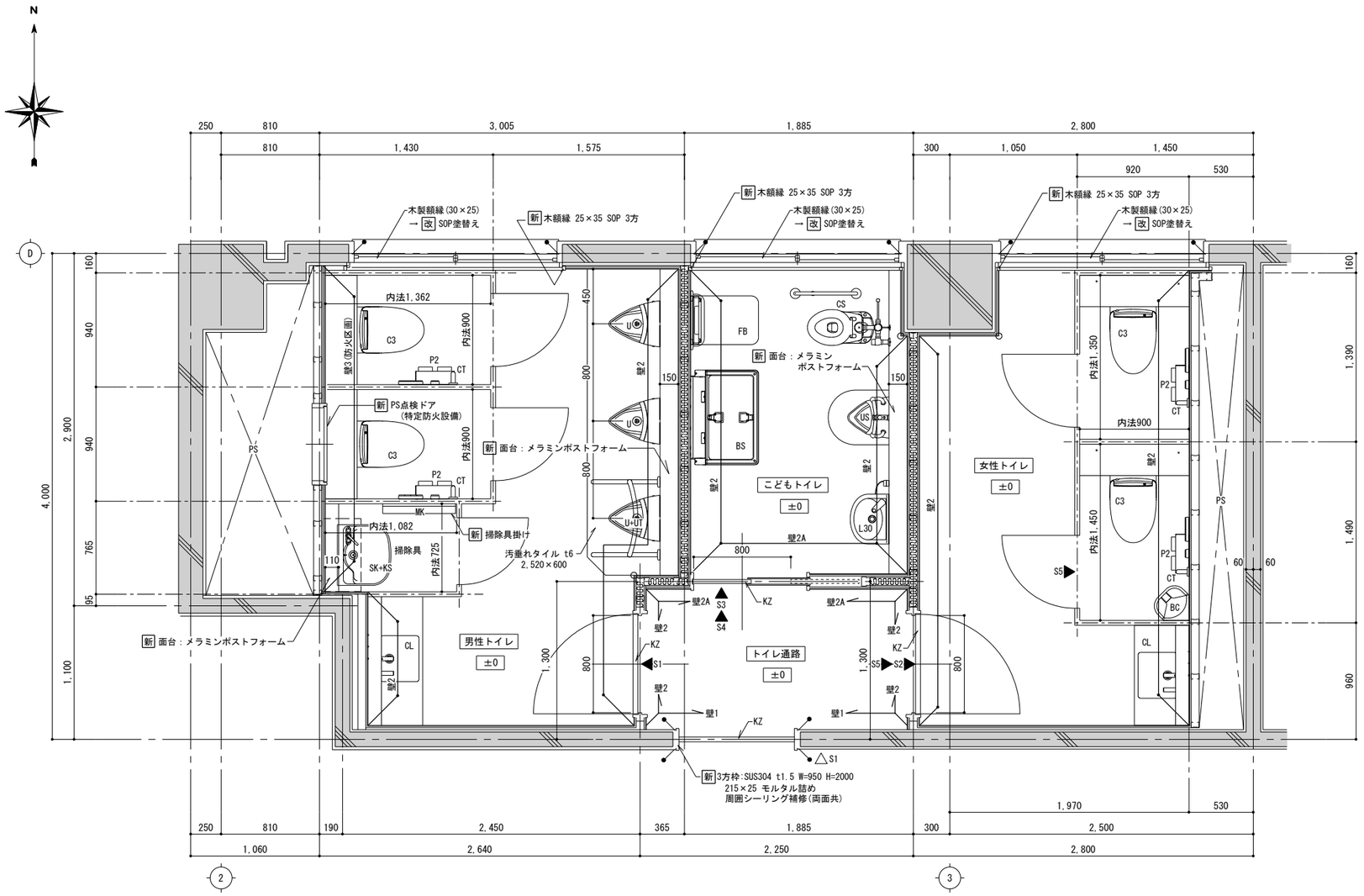
・・・クツズリ設置用床清ハツリ W70程度

展開方向：1 / 2 / 3 / 4

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前） 1階 仮眠室(101-103)、仮眠室通路 平面詳細図
縮尺	A2 1：30 A3 1：42
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-038



（改修後） 1階 トイレ 平面詳細図 1：30

トイレ（男性）（女性）（こども）	床	既設RC面：モルタル → 改 下地調整の上、ビニル床シート t2.0
	巾木	新 メタル巾木 H=75
	壁1	新 GL工法 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0(突付目地)
	壁2	新 LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0(突付目地)
	壁2A	新 LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 2重張り ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0(突付目地)
	壁3	新 LGS-65 ＋ 強化石こうボード t21 二重張り(防火区画) ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0(突付目地)
	天井	新 LGS下地多機能ケイ酸カルシウム板 t6.0
	備考	既設梁型：モルタル → 改 下地調整の上、EP-G塗装 新 衛生器具一式(機械設備)下記表参照
トイレ通路	床	既設RC面：モルタル → 改 下地調整の上、ビニル床シート t2.0
	巾木	新 メタル巾木 H=75
	壁1	既設RC面:モルタル(梁型共) → 改 下地調整の上、壁紙
	壁2	新 LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0
	壁3	新 LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5二重張り ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0
	天井	新 LGS下地多機能ケイ酸カルシウム板 t6.0
	備考	

符号	衛生器具名称(機械設備)
CL	新 カウンター式手洗器(フロントパネル付)
C3	新 壁掛大便器セット(フラッシュタンク式)+洗浄便座
CT	新 I型手摺
P2	新 2連紙巻器
U	新 壁掛け小便器
UT	新 小便器用手摺
SK	新 マルチシンク
MK	新 掃除具掛け(モップ掛けパネル)
KS	新 小物収納パネル
BC	新 ベビーチェア(コーナー設置)
L30	新 手洗器 (リップH=550)
CS	新 幼児用大便器(3-5歳用)+幼児用紙巻器付き手摺(床置き) フラッシュバルブ式
US	新 幼児用小便器(手摺付き リップH=260) +幼児用汚垂れタイル
FB	新 フィッティングボード+I型手摺
BS	新 ベビーシート(横アクセス)

→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す
※特記なき限り現況のままとする
改修範囲外

：アスベスト含有材を示す
○・・・化粧ケイカル板出隅用アルミ見切り
KZ：クツズリ SUS304 t1.5 W40(モルタル詰め)
●— シーリング MS-2 20×10 打替え
グラスウール t50 24K

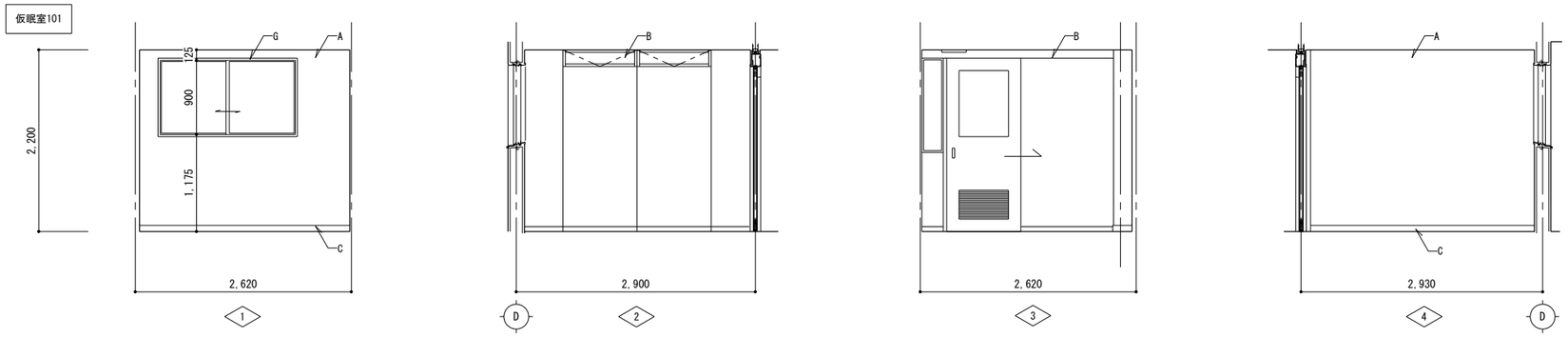
◁S1：突出し型サイン(200×200 男女、こども(男女)、おむつ交換、ベビーチェア)
◀S1：フィルムシートサイン(ピクト 男子)
◀S2：フィルムシートサイン(ピクト 女子)
◀S3：フィルムシートサイン(ピクト こども(男女)+『子供用』)
◀S4：フィルムシートサイン(ピクト おむつ交換+『おむつ交換』)
◀S5：フィルムシートサイン(ピクト ベビーチェア)

1 展開方向 2 3 4

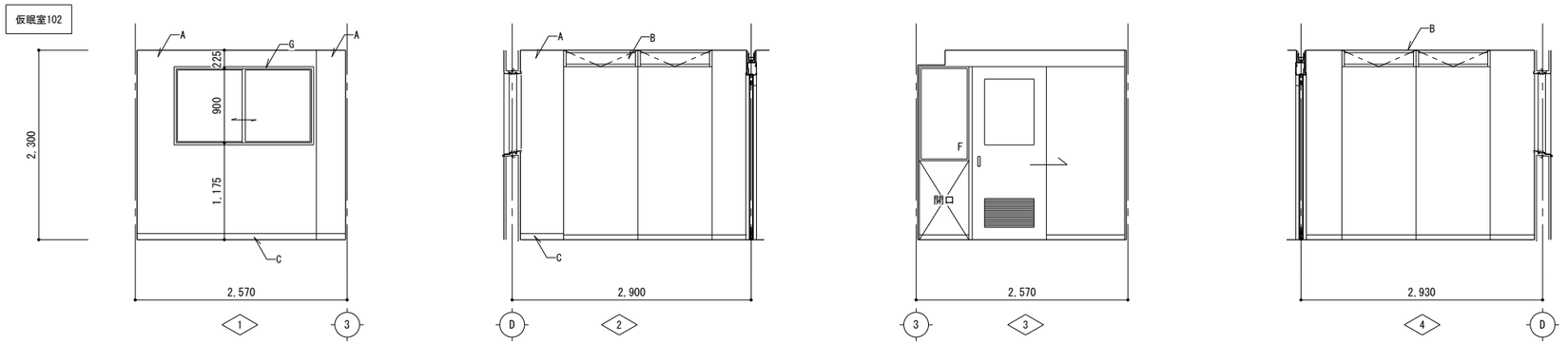
株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	（改修後） 1階 トイレ通路、トイレ 平面詳細図	縮尺 A2 1：30 A3 1：42
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. A-039

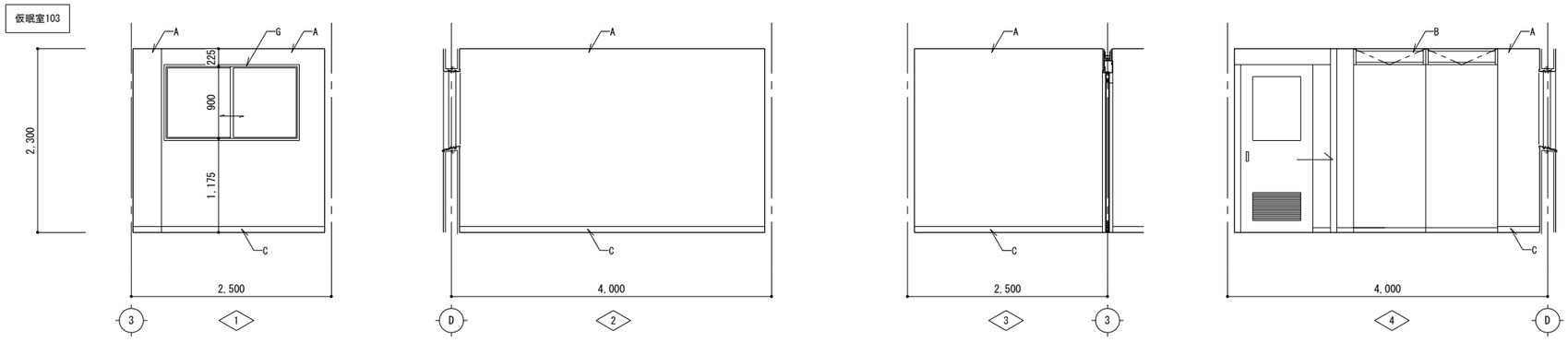
仮眠室101



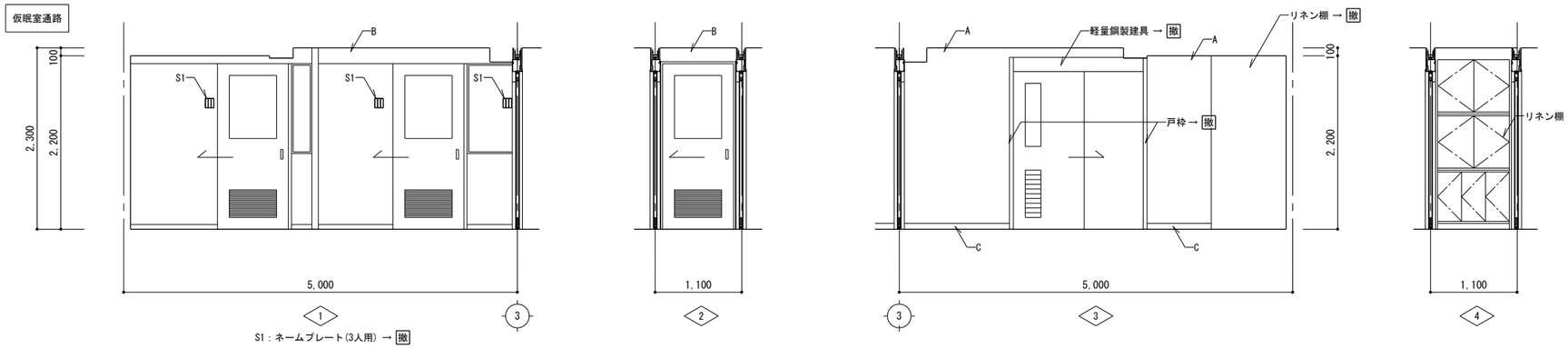
仮眠室102



仮眠室103



仮眠室通路



S1：ネームプレート(3人用) → 撤

(改修前) 1階 仮眠室 展開図 1/50

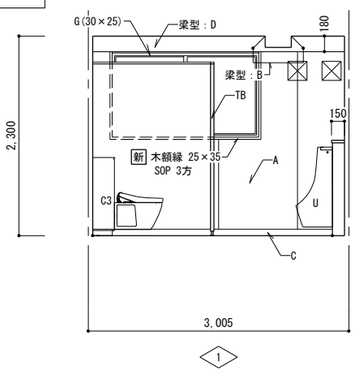
A	現況	既設RC面：モルタル下地 ＋ 壁紙(梁型共)	C	現況	巾木：木製 H=75 OP	E	現況		G	現況	木額縁
	措置	→ 撤 壁紙のみ撤去		措置	→ 撤		措置			措置	→ 現
B	現況	スチールパーテーション	D	現況		F	現況		H	現況	
	措置	→ 撤		措置			措置			措置	

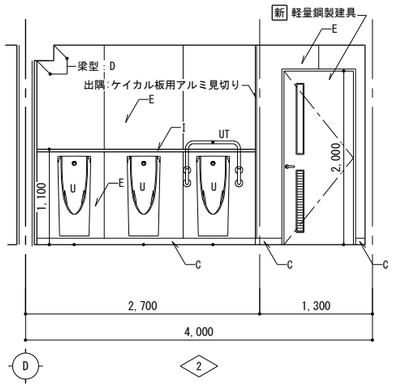
→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す

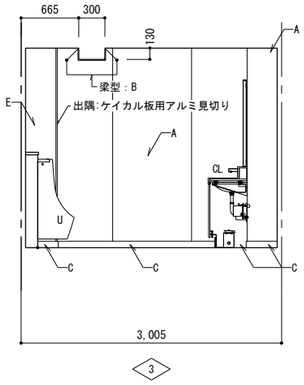
株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

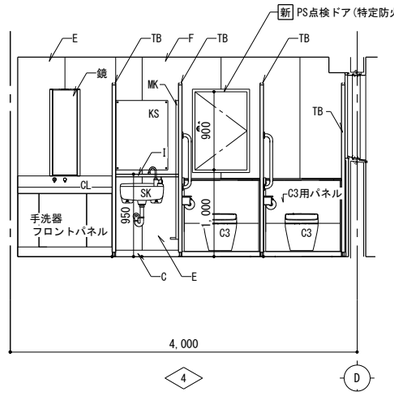
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	(改修前) 1階 仮眠室(101-103) 展開図	縮尺 A2 1：50 A3 1：71
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. A-040

男性トイレ

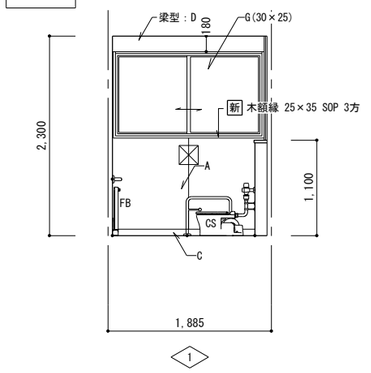


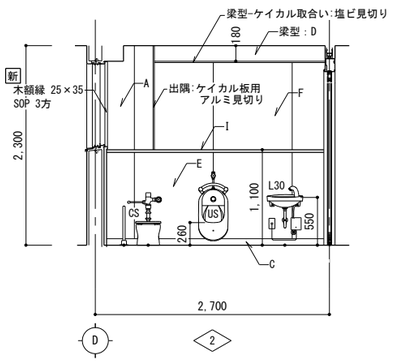


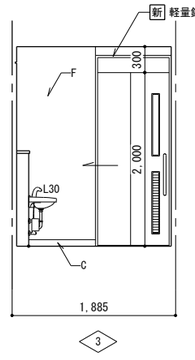


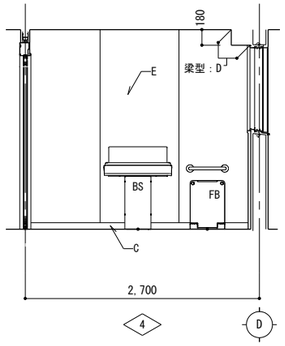


子どもトイレ

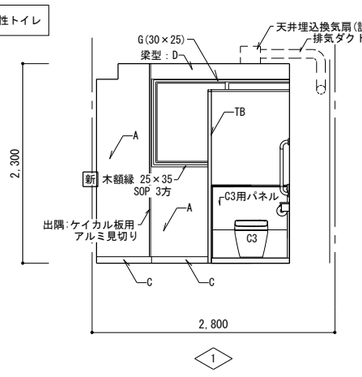


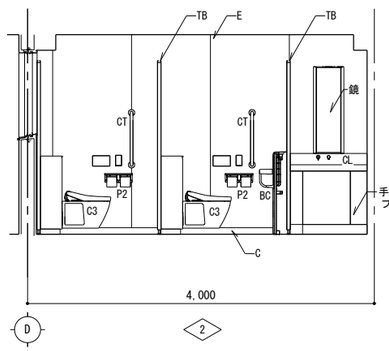


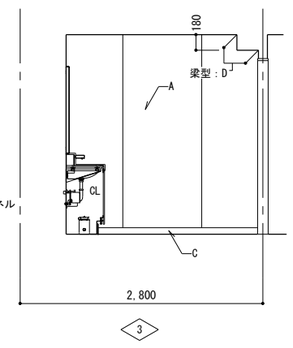




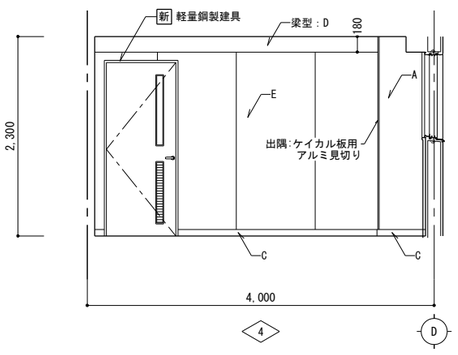
女性トイレ

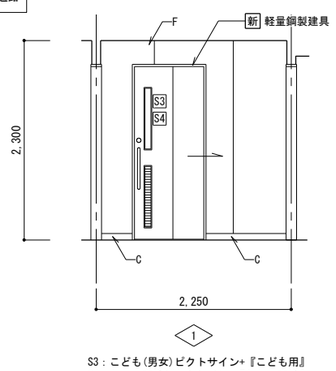


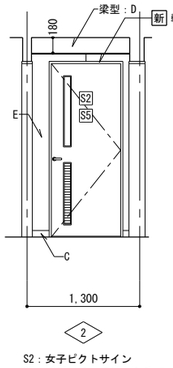


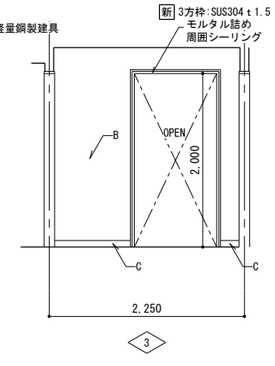


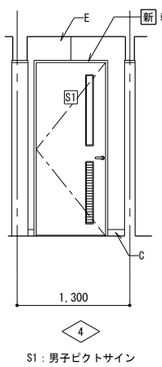
トイレ通路











S3：こども(男女)ピクトサイン+『こども用』
S4：おむつ交換ピクトサイン+『おむつ交換』

S2：女子ピクトサイン
S5：ベビーチェアピクトサイン

S1：男子ピクトサイン

S1～S5：全て建具にフィルムシート貼り H120程度
（文字のあるものはサイン下にH30程度で文字入れ）

化粧ケイカル板は3'×8'を使用のこと
梁型取合いは塩ビ見切り取付

☒・・・壁パイプファン 150φ(設備工事)

（改修後） 1階 男性・女性・子どもトイレ 展開図 1/50

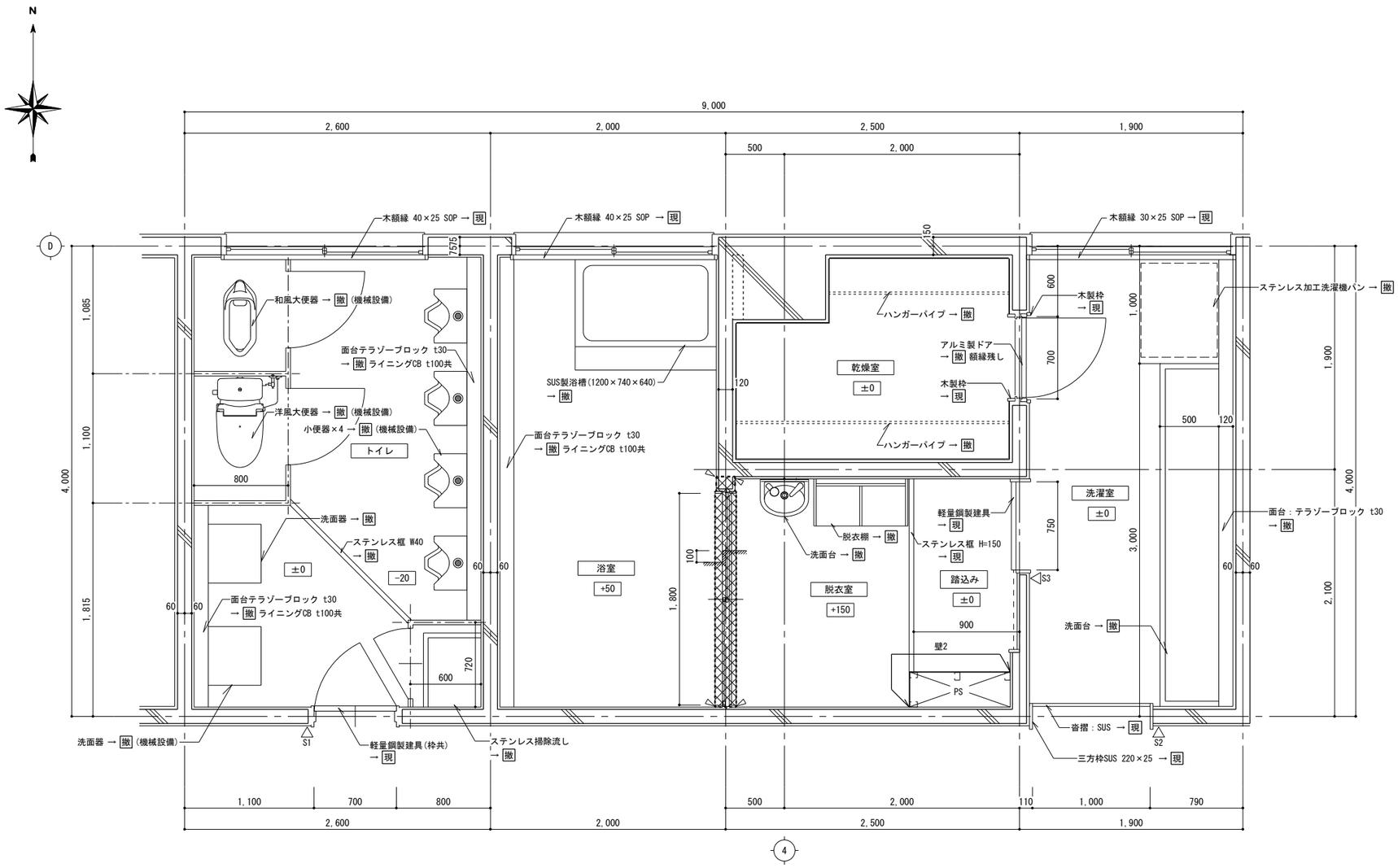
符号	衛生器具名称(機械設備)
CL	新 カウンター式手洗器(フロントパネル付)
C3	新 壁掛大便器セット(フラッシュタンク式)+洗浄便座
CT	新 I型手摺
P2	新 2連紙巻器
U	新 壁掛け小便器
UT	新 小便器用手摺
SK	新 マルチシンク
MK	新 掃除具掛け(モップ掛けパネル)
KS	新 小物収納パネル
BC	新 ベビーチェア(コーナー設置)
L30	新 手洗器 (リップH=550)
CS	新 幼児用大便器(3-5歳用)+幼児用紙巻器付き手摺(床置き) フラッシュバルブ式
US	新 幼児用小便器(手摺付き リップH=260) +幼児用汚垂れタイル
FB	新 フィッティングボード+手摺
BS	新 ベビーシート(横アクセス)

A	壁：既設モルタル 新 GL壁工法 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0(突付目地)	E	壁(ライニング共)：新 LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0(突付目地)	I	面台： 新 メラミンポストフォーム t30		
B	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙	F	壁： 新 LGS-65 ＋ 強化石こうボード t21 2重張り ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0(突付目地)	J			
C	巾木： 新 メタル巾木 H=75	G	木製額縁 → 改 SOP塗替え	K			
D	梁型：既設モルタル → 改 下地調整の上、EP-G塗装	H		L			

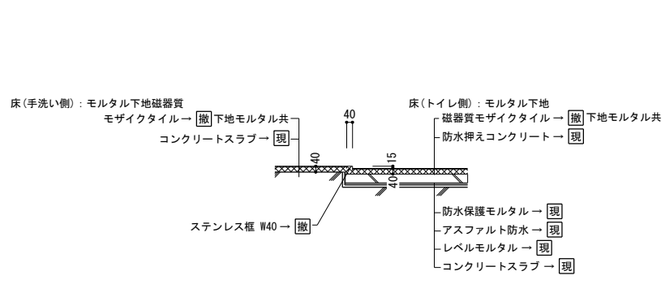
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

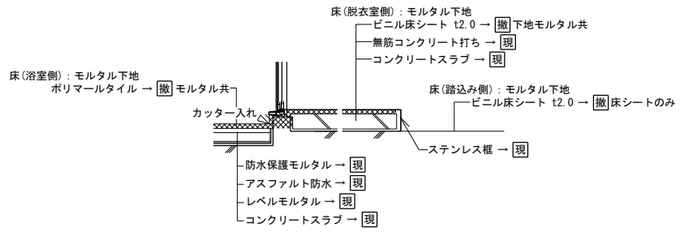
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修後） 1階 トイレ、トイレ通路 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-041



（改修前） 1階 浴室廻り 1：30



ステンレス框回り 床撤去詳細図 1/30



浴室、脱衣室、踏込み 床撤去詳細図 1/30

トイレ	床	モルタル下地磁器質モザイクタイル → 撤 モルタル共撤去(ステンレス框共)
	巾木	
	壁	モルタル下地半磁器質100角タイル(梁型共) → 撤 タイルのみ撤去
	天井	石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0_EP → 撤 LGS下地共撤去
	備考	トイレブース、ステンレス流し → 撤 便器類一式、洗面器 → 撤 (機械設備)
浴室	床	モルタル下地ポリマールタイル → 撤 モルタル共撤去
	巾木	
	壁	モルタル下地半磁器質100角タイル(梁型共) → 撤 タイルのみ撤去
	天井	バスリブ → 撤 LGS下地共撤去
脱衣室 踏込み	床	モルタル下地ビニル床シート t2.0 → 撤 モルタル共撤去、踏込み_ビニルシートのみ撤去
	巾木	木製 OP H=100 → 撤
	壁1	モルタル金ゴテ押エ_VP(梁型共) → 現
	壁2	PS_LGS下地 石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0_VP → 現
	天井	バスリブ → 撤 LGS下地共撤去
乾燥室	床	防水モルタル金ゴテ押エ(FL-300)、木製床組下地桧スノコ敷 → 撤 木製床組及び桧スノコ撤去
	巾木	防水モルタル金ゴテ押エ → 現
	壁	複合板(FPF板 ＋ フレキシブルボード t6.0) t31 打込_VP → 現
	天井	石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0_VP → 撤 塗膜_除去
	備考	ハンガーパイプ → 撤 天井面断面処理
洗濯室	床	モルタル下地磁器質モザイクタイル → 現
	巾木	モルタル金ゴテ押エ VP（色分け） → 撤 塗膜_除去
	壁	モルタル金ゴテ押エ VP → 現
	天井	石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0_VP → 撤 塗膜_除去
	備考	洗面台・ライニング → 撤

・・・上框設置用床溝ハツリ W70程度

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
※特記なき限り現況のままとする

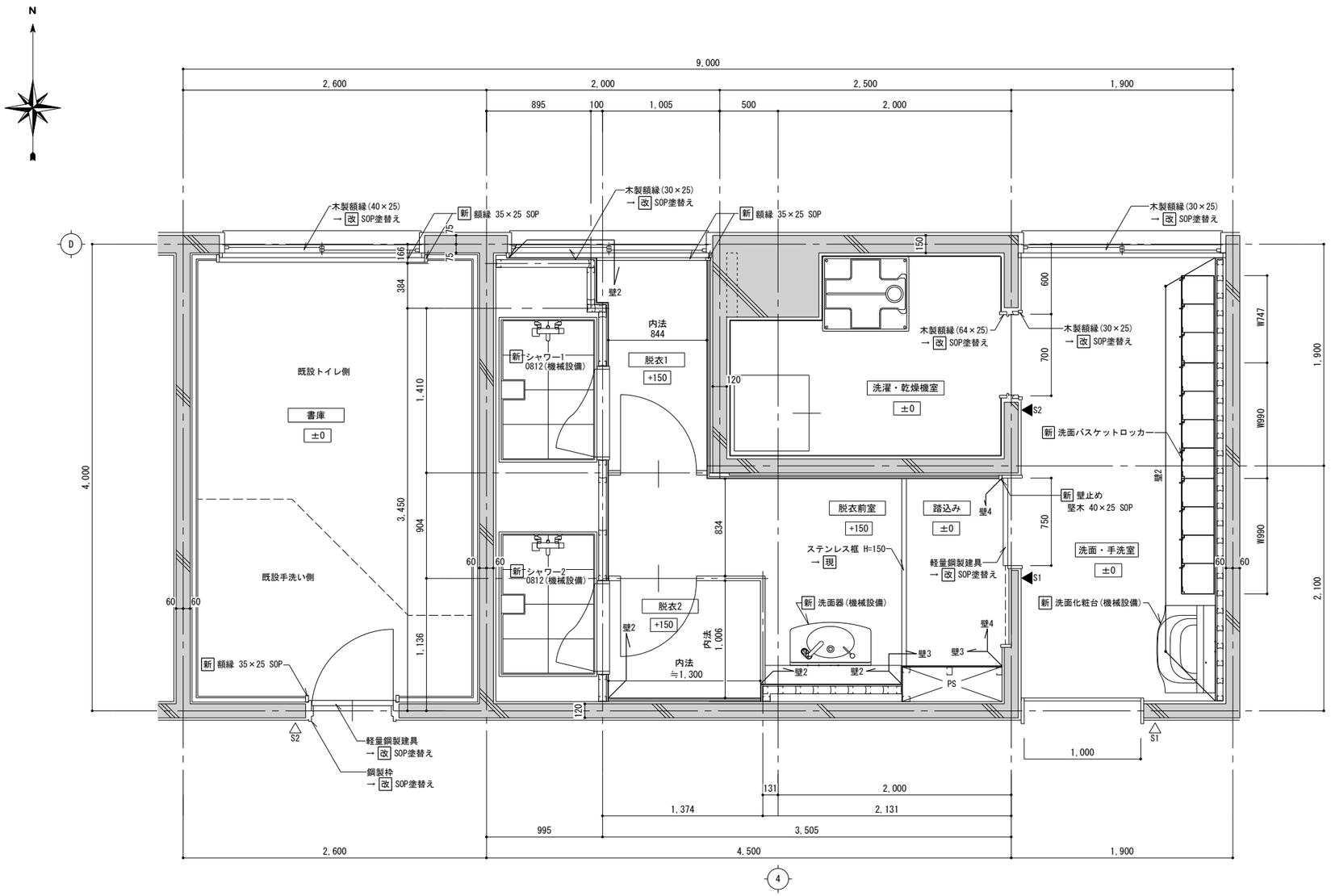
：アスベスト含有材を示す
：床・壁撤去範囲
：カッター入れ

S1：突出し型室名札(御手洗) → 撤
S2：突出し型室名札(洗面) → 撤
S3：突出し型室名札(脱衣室) → 撤

1
4 展開方向 2
3

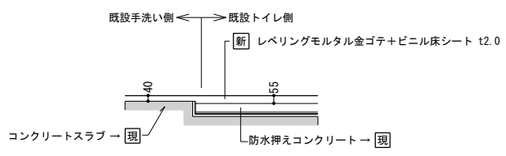
株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称 （改修前） 1階 トイレ、浴室、脱衣室、乾燥室、洗濯室 平面詳細図
縮尺 A2 1：30 A3 1：42
製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明
No. A-042

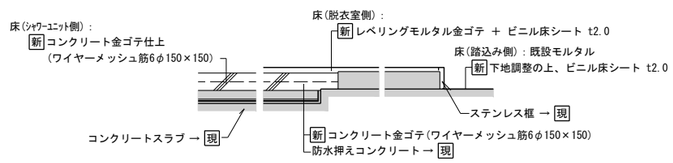


(改修後) 1階 シャワールーム廻り 1:30

書庫	床	既設RC面：モルタル 新 レベリングモルタル金ゴテ ＋ ビニル床シート t2.0
	巾木	新 長尺塩ビソフト巾木 H=75
	壁	新 GL工法 ＋ 石こうボード t12.5 ＋ ビニルクロス
	天井	新 LGS下地化粧石こうボード t9.5
	備考	既設梁型：モルタル → 改 下地調整の上、EP-G
脱衣前室 脱衣 踏込み	床	新 モルタル金ゴテ ＋ ビニル床シート t2.0 踏込み_既設モルタル → 改 下地調整の上、ビニル床シート t2.0
	巾木	新 塩ビソフト巾木
	壁1	新 GL工法 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0
	壁2	新 LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0
	壁3	(既存)LGS下地 石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0 → 改 既存ケイカル板に化粧ケイカル板 t6.0 重ね張り
	壁4	既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙(防カビ)
	天井	新 LGS下地防湿シート ＋ 浴室用バスパネル
	備考	新 トイレブースパーティション 新 洗面器(機械設備)
ｼｬﾜｰ1・2	床	新 コンクリート金ゴテ仕上(ワイヤーメッシュ筋6φ150×150)
	巾木	
	壁	
	天井	
	備考	新 ユニットシャワー(0812タイプ)
洗濯 ・ 乾燥機室	床	新 鋼製床組 H300 ＋ 置き敷タイル t2.0
	巾木	防水モルタル金ゴテ押エ → 現
	壁	複合板(FPF板 ＋ フレキシブルボード t6.0) t31 打込 → 改 結露防止塗材塗替え
	天井	(既存) 石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0 → 改 結露防止塗材塗替え
	備考	新 洗面化粧台(機械設備)
洗面 ・ 手洗室	床	モルタル下地磁器質モザイクタイル → 現
	巾木	既設：モルタル → 改 下地調整の上、EP-G 新 長尺塩ビソフト巾木 H=75
	壁1	既設RC面：モルタル → 改 下地調整の上、EP-G
	壁2	新 LGS-50 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0
	天井	(既存) 石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0 → 改 下地調整の上、EP-G



床改修詳細図 1/30



床改修詳細図 1/30

→ 現 …現況のまま
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す
※特記なき限り現況のままとする
改修範囲外

：アスベスト含有材を示す

◁S1：突出し型室名札(洗面室)
◁S2：突出し型室名札(書庫)
◀S1：平付け型ピクトサイン(200×200 シャワー室)
◀S2：平付け型ピクトサイン(200×200 洗濯室)

1
4 展開方向 2
3

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称 (改修後) 1階
書庫、ｼｬﾜｰﾙｰﾑ、脱衣、脱衣前室
洗面・手洗室 平面詳細図

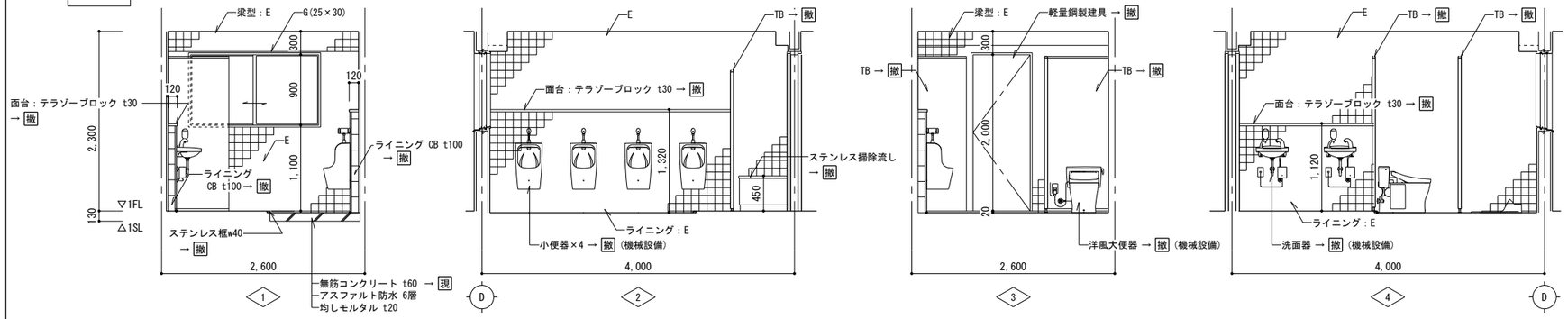
縮尺 A2 1:30
A3 1:42

製図 令和08年03月

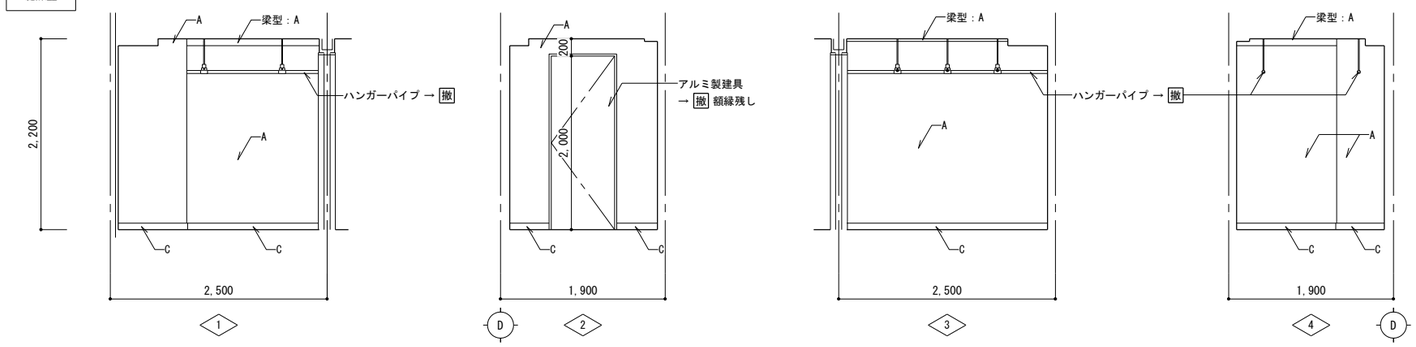
1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-043

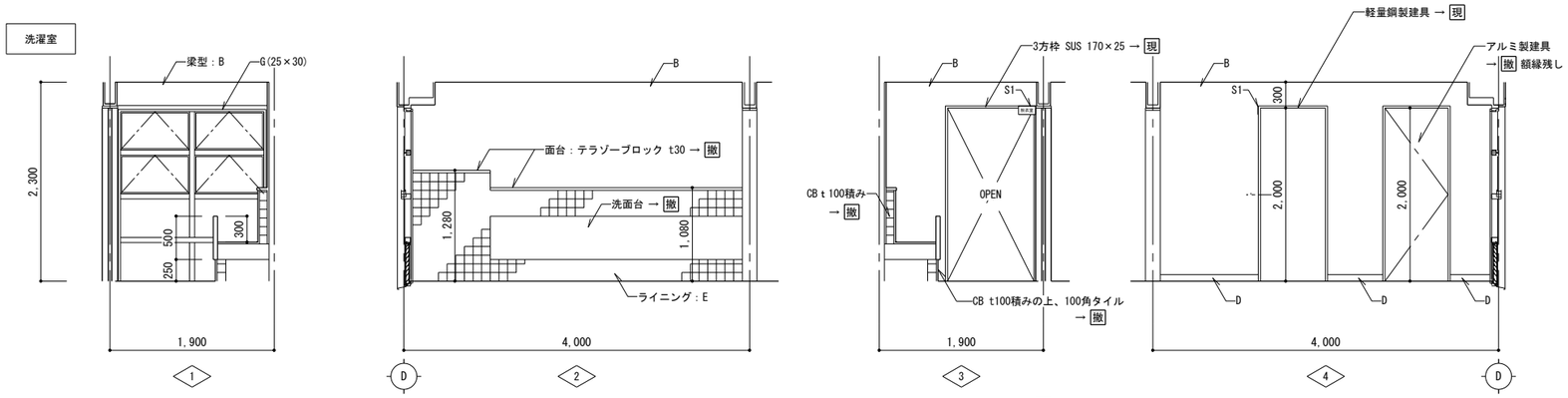
トイレ



乾燥室



洗濯室



S1：突出し型室名札(脱衣室) → 撤

（改修前） 1階 トイレ、乾燥室、洗濯室 展開図 1/50

A	現況	壁：複合板(FPF板 ＋ フレキシブルボード t6.0) t31 打込み_VP	C	現況	巾木：防水モルタル金ゴテ押え	E	現況	モルタル下地半磁器質100角タイル(梁型共)	G	現況	木額縁
	措置	→ 現		措置	→ 現		措置	→ 撤 壁・梁共タイルのみ撤去(ライニングは下地共撤去)		措置	→ 現
B	現況	壁：モルタル金ゴテ押え_VP(梁型共)	D	現況	巾木：モルタル金ゴテ押え_VP(色分け)	F	現況		H	現況	
	措置	→ 現		措置	→ 撤 塗膜_除去		措置			措置	

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称 （改修前） 1階 トイレ、乾燥室、洗濯室 展開図

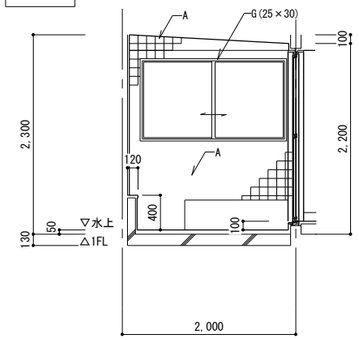
縮尺 A2 1：50 / A3 1：71

製図 令和08年03月

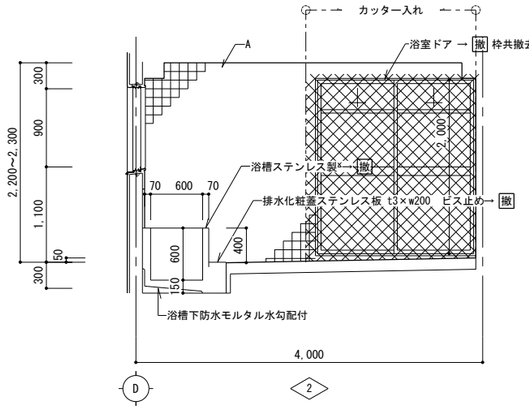
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明

No. A-044

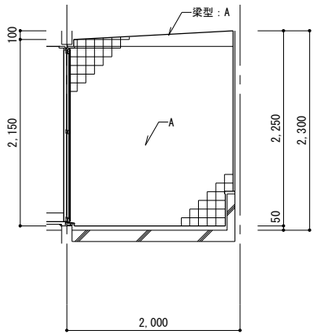
浴室



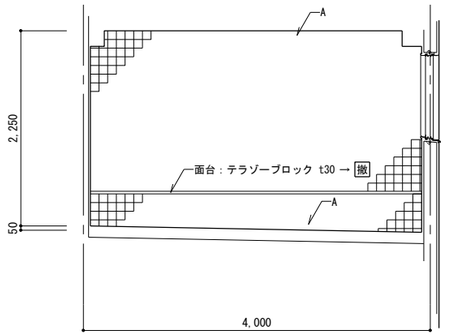
1



D 2

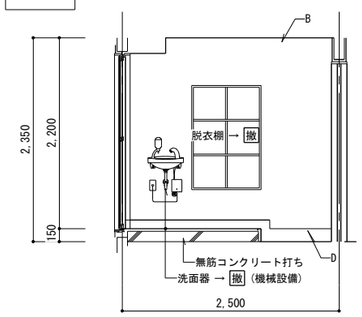


3

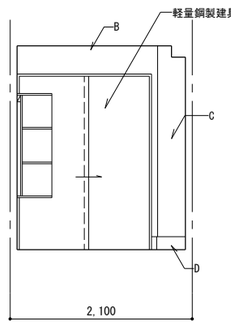


4 D

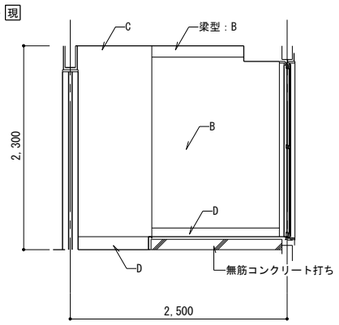
脱衣室



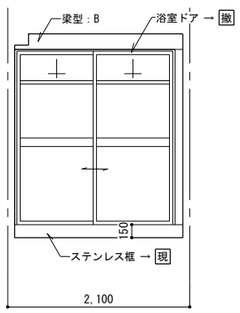
1



2



3



4

（改修前） 1階 浴室、脱衣室 展開図 1/50

A	現況	壁：モルタル下地半磁器質100角タイル(梁型共)	C	現況	壁：LGS下地石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0_VP	E	現況		G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事(既設撤去)を示す ：床・壁撤去範囲	
	措置	→ 撤 タイルのみ撤去		措置	→ 現		措置			措置	→ 現		
B	現況	壁：モルタル金ゴテ押え_VP(梁型共)	D	現況	巾木：木製 OP H=100	F	現況		H	現況			
	措置	→ 現		措置	→ 撤		措置			措置			

株式会社 松浦建築事務所

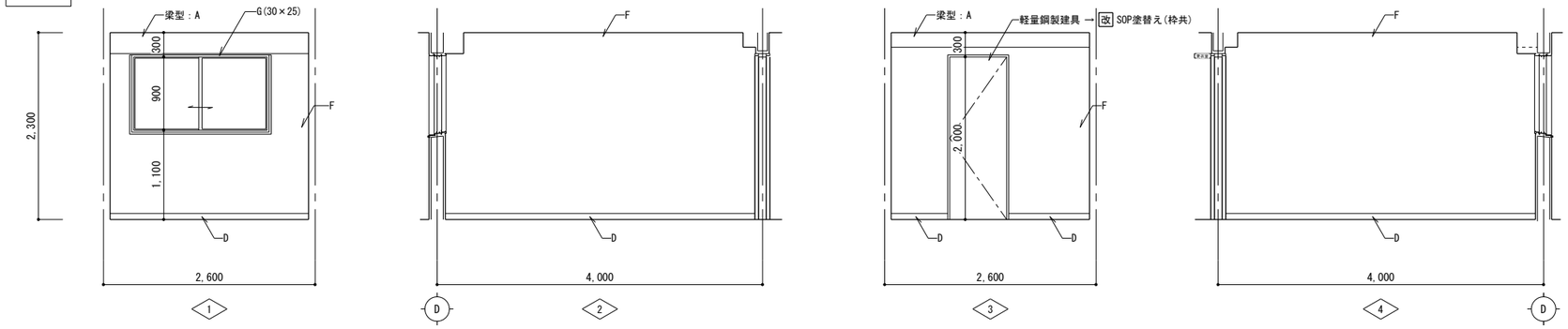
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前） 1階 浴室、脱衣室 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月

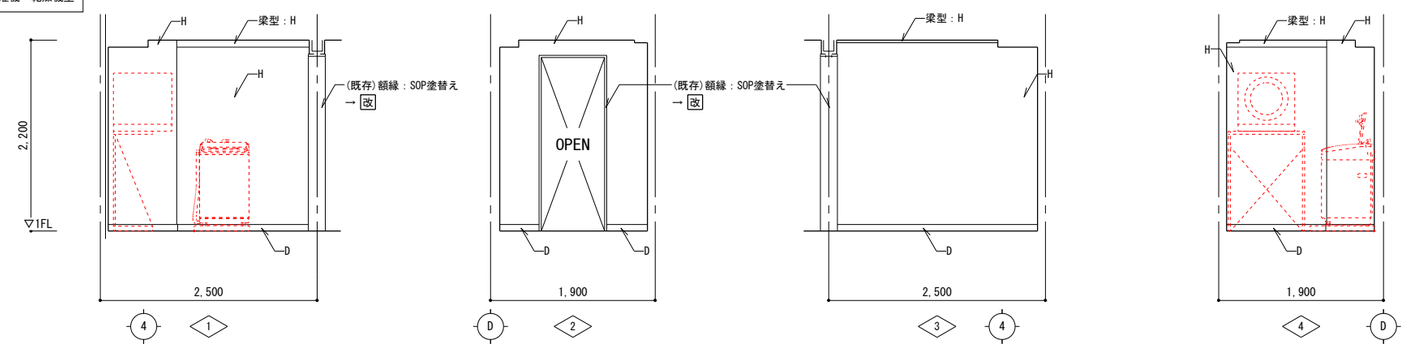
1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-045

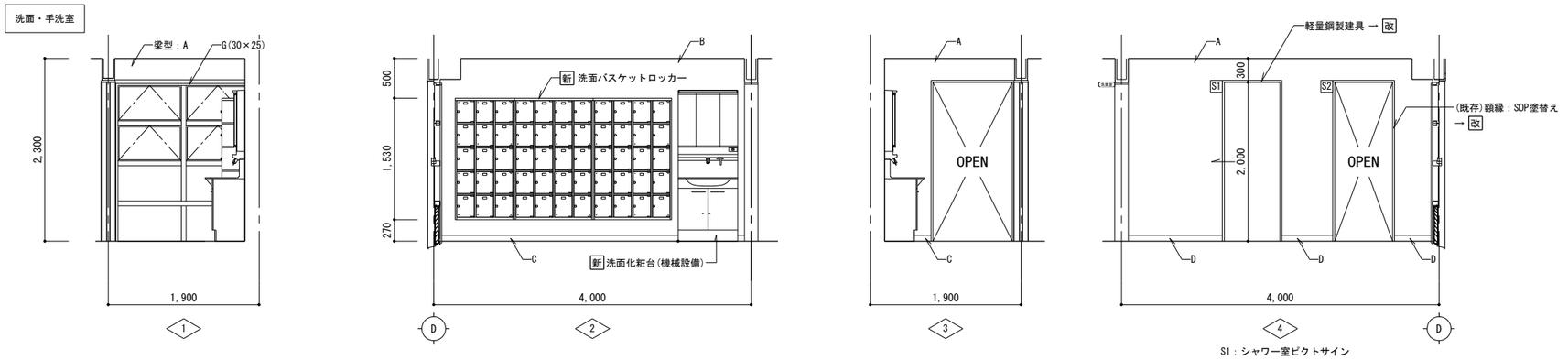
書庫



洗濯機・乾燥機室



洗面・手洗室



（改修後） 1階 書庫、乾燥室、洗面ロッカー 展開図 1/50

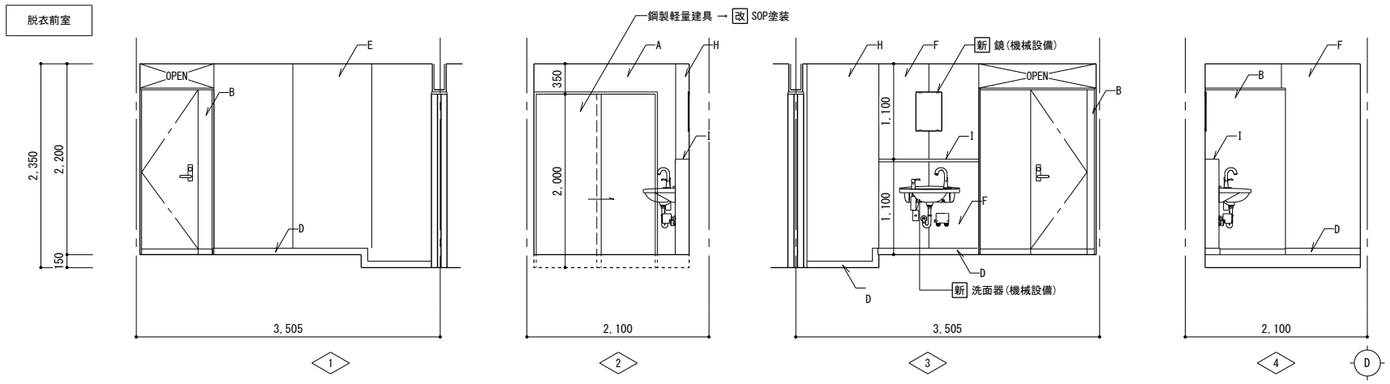
A	既設RC面：モルタル → 改 下地調整の上、EP-G	E		I				→ 改 …今回工事(既設改修)を示す 新 …今回工事(新設)を示す
B	壁：新 LGS-50 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6	F	壁：新 GL工法 ＋ 石こうボード t12.5 ＋ ビニルクロス	J				
C	巾木：新 長尺塩ビソフト巾木 H=75	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K				
D	**巾木：既設モルタル巾木** → 改 下地調整の上、EP-G	H	壁：複合(FPF板 ＋ フレキシブルボード t6) t31 打込み → 改 結露防止塗材塗替え	L				

株式会社 松浦建築事務所

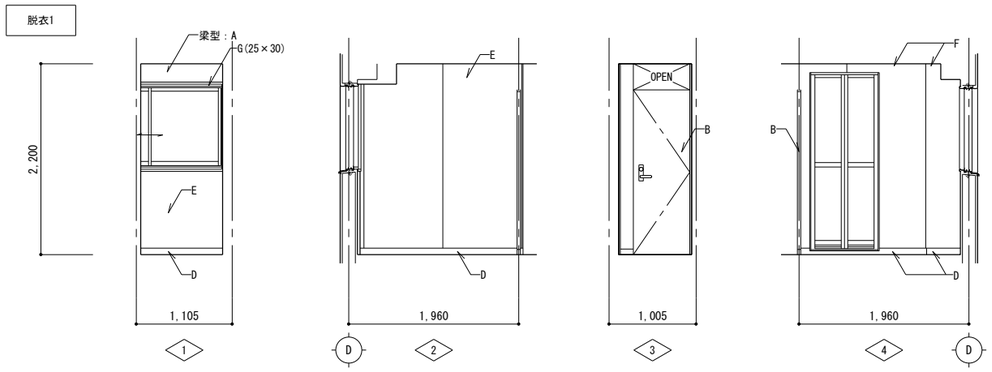
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修後） 1階 書庫、乾燥室、洗面ロッカー 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士	登録第92794号 松浦孔明
No.	A-046

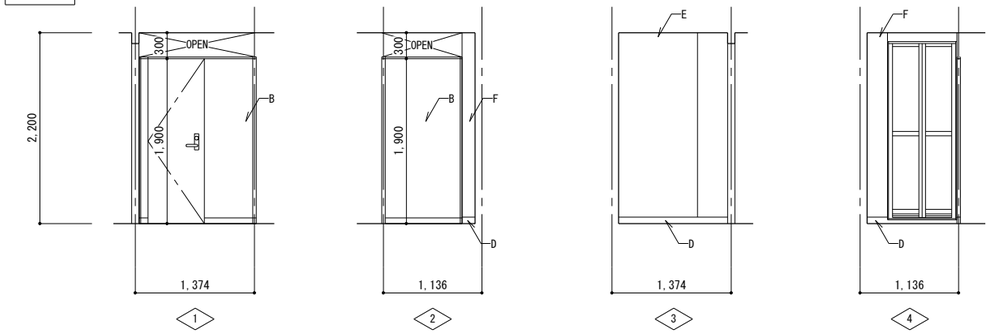
脱衣前室



脱衣1



脱衣2



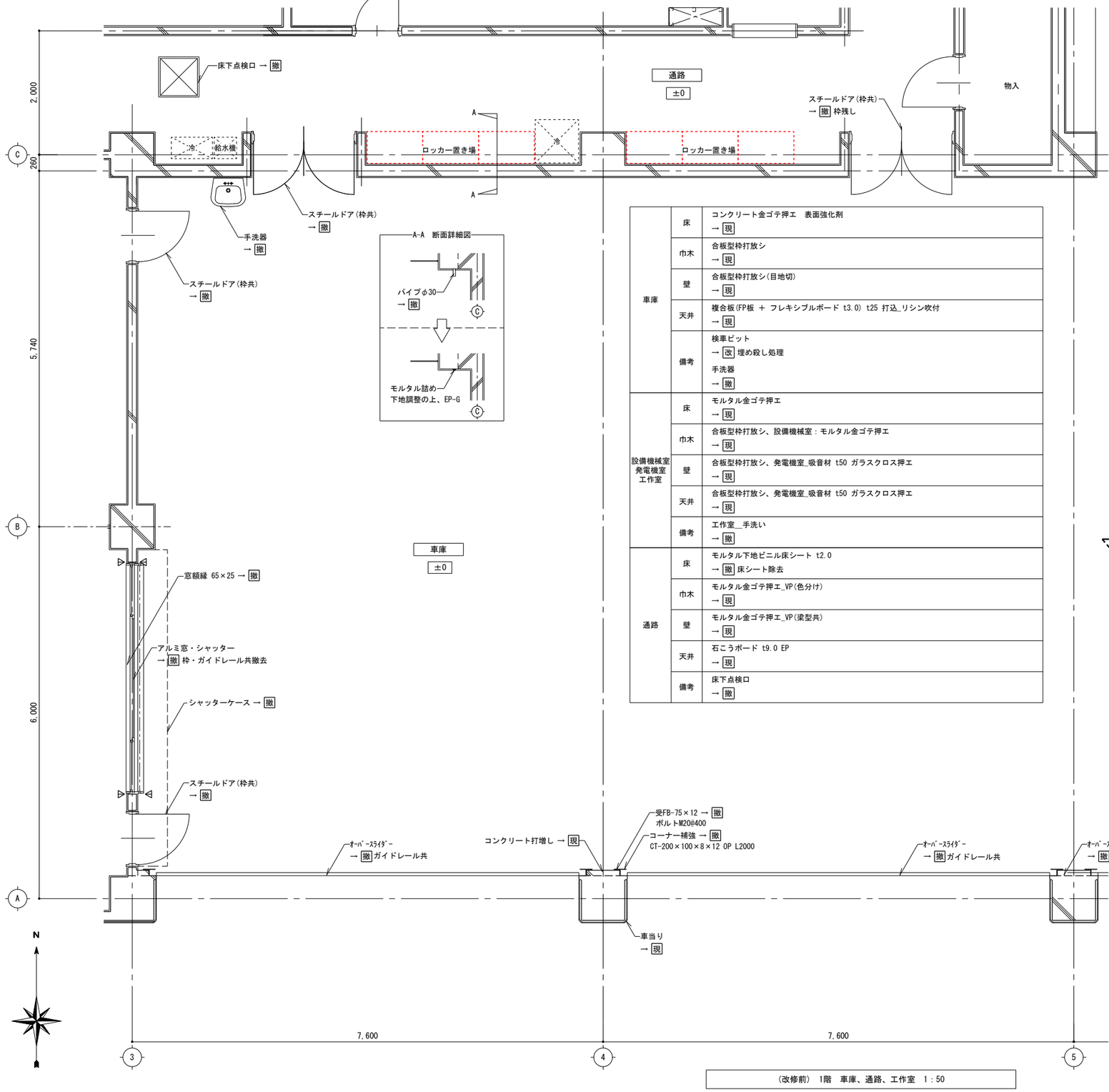
（改修後） 1階 脱衣前室、脱衣室 展開図 1/50

A	梁型：モルタル → 改 下地調整の上、壁紙(防カビ)	E	壁：既設モルタル 新 GL壁工法 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6	I	面台： 新 メラミンポストフォーム t30		
B	新 トイレブースパーテーション	F	壁： 新 LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6	J			
C		G		K			
D	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木 H=75	H	壁：(既存)LGS下地＋石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0 → 改 既存ケイカル板に化粧ケイカル板 t6.0 重ね張り	L			

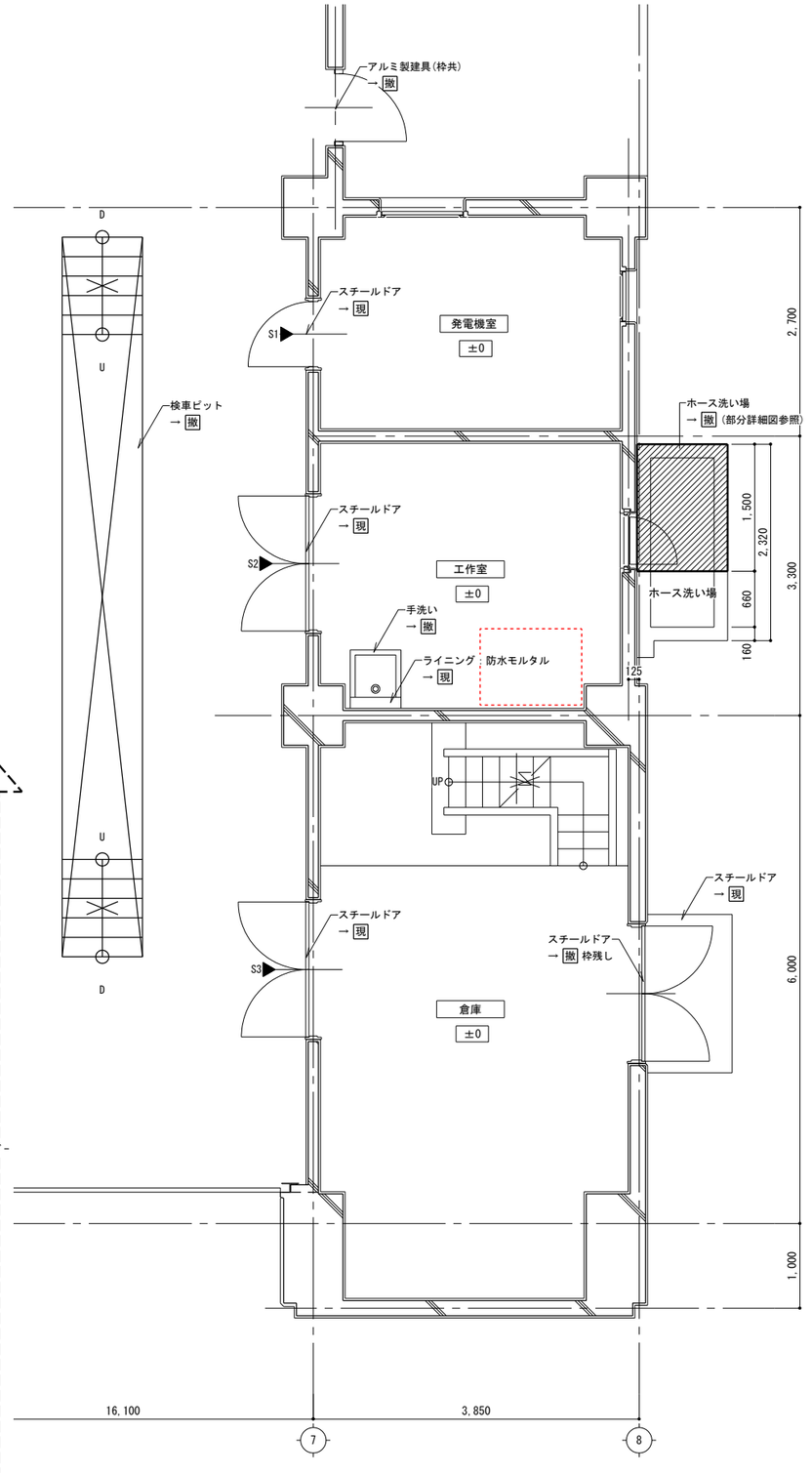
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修後） 1階 脱衣前室、脱衣 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-047



車庫	床	コンクリート金ゴテ押エ　表面強化剤 → 現
	巾木	合板型枠打放シ → 現
	壁	合板型枠打放シ(目地切) → 現
	天井	複合板(FP板 ＋ フレキシブルボード t3.0) t25 打込_リシン吹付 → 現
	備考	検車ピット → 改 埋め殺し処理 手洗器 → 撤
設備機械室 発電機室 工作室	床	モルタル金ゴテ押エ → 現
	巾木	合板型枠打放シ、設備機械室：モルタル金ゴテ押エ → 現
	壁	合板型枠打放シ、発電機室_吸音材 t50 ガラスクロス押エ → 現
	天井	合板型枠打放シ、発電機室_吸音材 t50 ガラスクロス押エ → 現
	備考	工作室_手洗い → 撤
通路	床	モルタル下地ビニル床シート t2.0 → 撤 床シート除去
	巾木	モルタル金ゴテ押エ_VP(色分け) → 現
	壁	モルタル金ゴテ押エ_VP(梁型共) → 現
	天井	石こうボード t9.0 EP → 現
	備考	床下点検口 → 撤



（改修前） 1階 車庫、通路、工作室 1：50

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
※特記なき限り現況のままとする

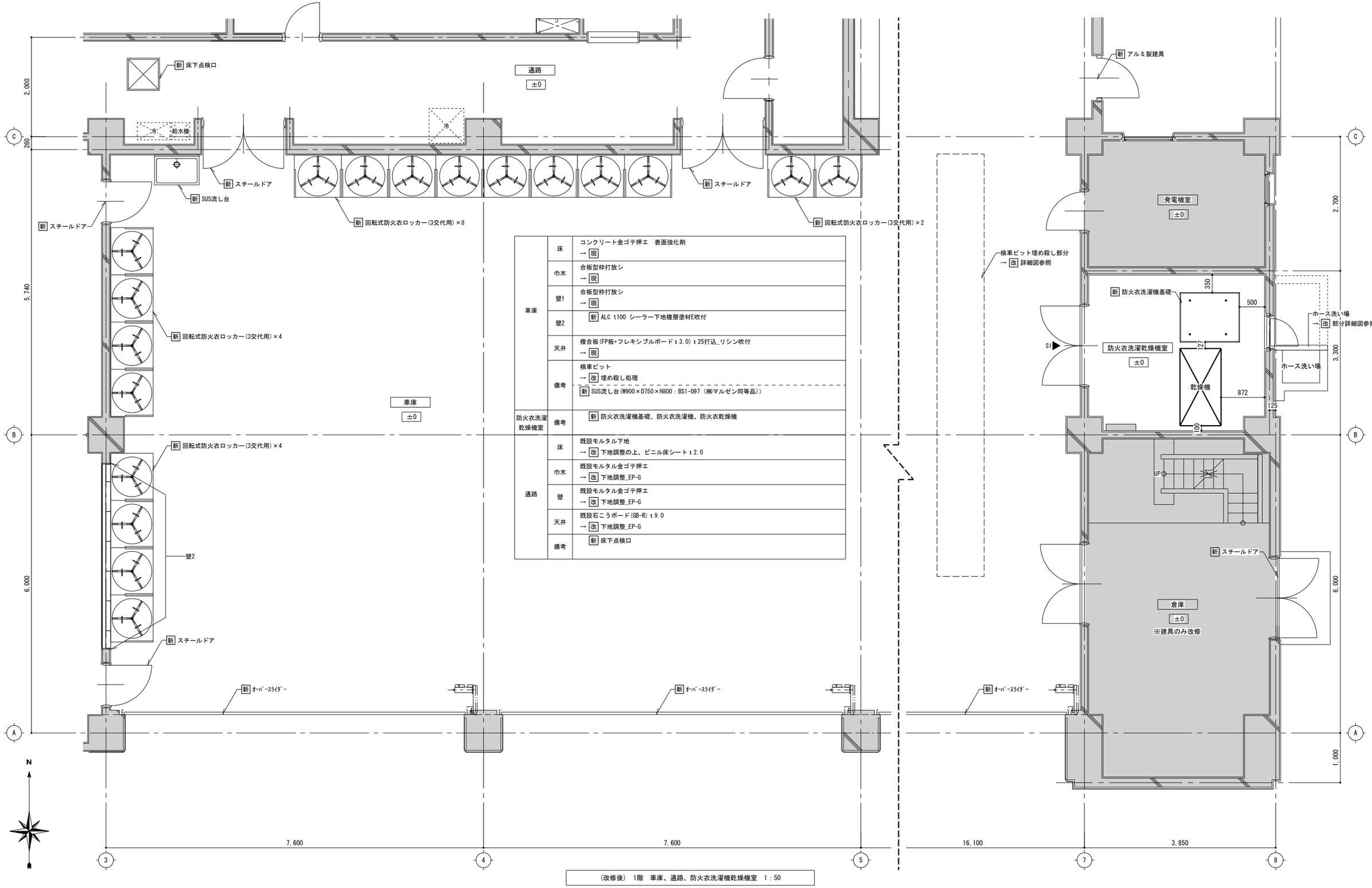
：アスベスト含有材を示す
：壁カッター施工
：機械設備工事撤去範囲

◀S1：平付け型室名札(発電機室) → 現
◀S2：平付け型室名札(小作室) → 撤
◀S3：平付け型室名札(倉庫) → 現

展開方向 1 2 3 4

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前） 1階 車庫、通路、工作室 平面詳細図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-048



車庫	床	コンクリート金ゴテ押エ　表面強化剤 → 現
	巾木	合板型枠打放シ → 現
	壁1	合板型枠打放シ → 現
	壁2	新 ALC t100 シーラー下地複層塗材E吹付
	天井	複合板(FP板+フレキシブルボードｔ3.0)ｔ25打込_リシン吹付 → 現
	備考	検車ピット → 改 埋め殺し処理
		新 SUS流し台(W900×D750×H800：BS1-097（㈱マルゼン同等品))
防火衣洗濯乾燥機室	備考	新 防火衣洗濯機基礎、防火衣洗濯機、防火衣乾燥機
通路	床	既設モルタル下地 → 改 下地調整の上、ビニル床シートｔ2.0
	巾木	既設モルタル金ゴテ押エ → 改 下地調整_EP-G
	壁	既設モルタル金ゴテ押エ → 改 下地調整_EP-G
	天井	既設石こうボード(GB-R)ｔ9.0 → 改 下地調整_EP-G
	備考	新 床下点検口

（改修後）　1階　車庫、通路、防火衣洗濯機乾燥機室　1：50

→ 現 …現況のまま
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す
※特記なき限り現況のままとする
改修範囲外

：アスベスト含有材を示す
：床撤去範囲

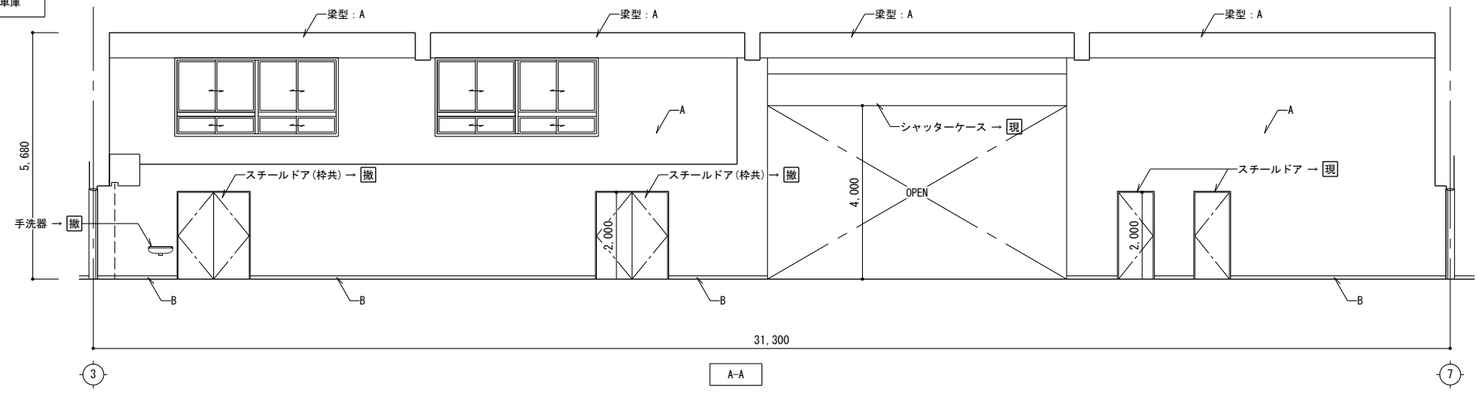
◀S1：平付け型室名札(防火衣乾燥洗濯機室)

展開方向 1 2 3 4

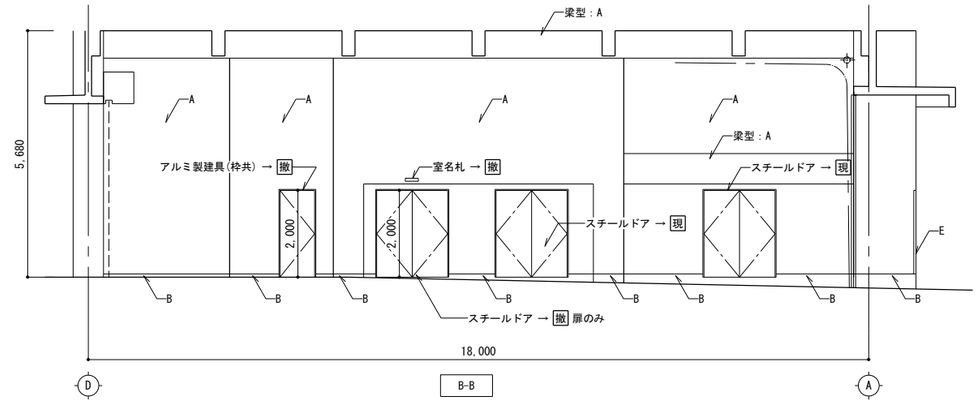
株式会社　松浦建築事務所
TEL　(0561)　32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称　（改修後）　1階　車庫、通路、防火衣洗濯機乾燥機室　平面詳細図
縮尺　A2　1：50　A3　1：71
製図　令和08年03月
1級建築士　登録第92794号　松浦孔明
No. A-049

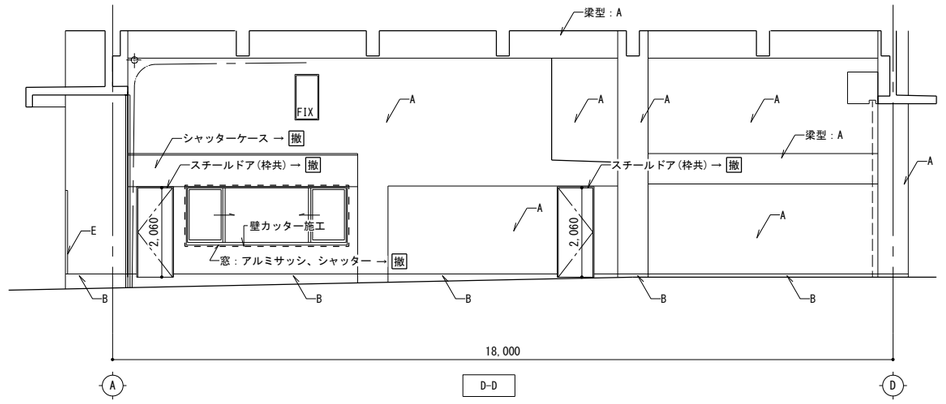
車庫



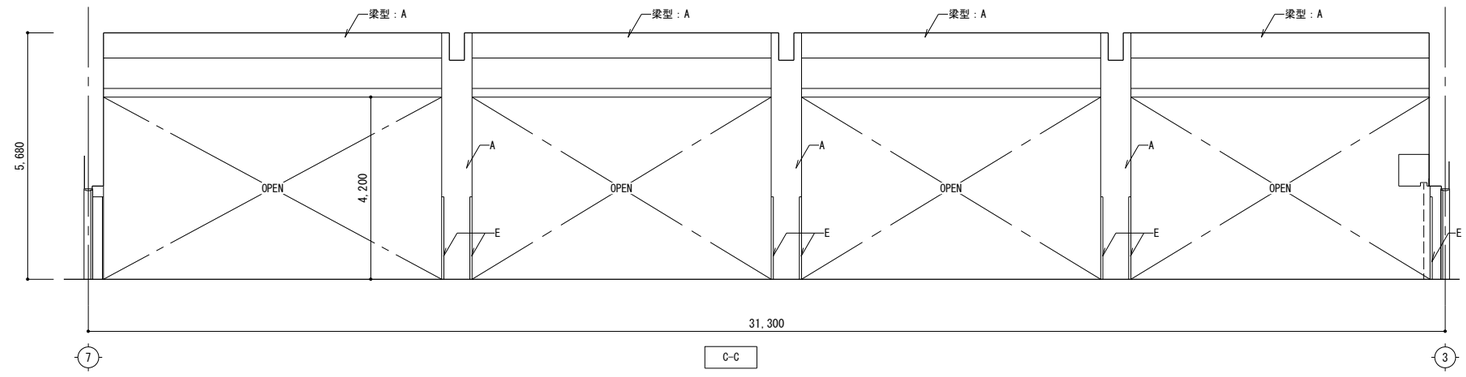
A-A



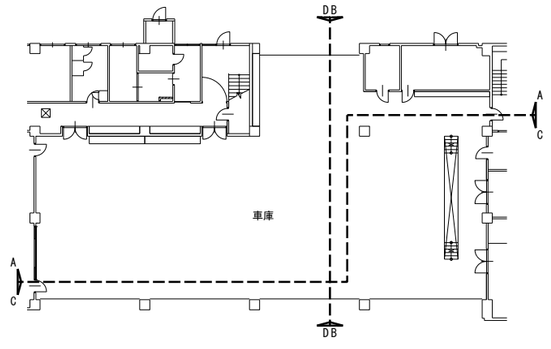
B-B



D-D



C-C



キープラン

（改修前） 1階 車庫 展開図 1/100

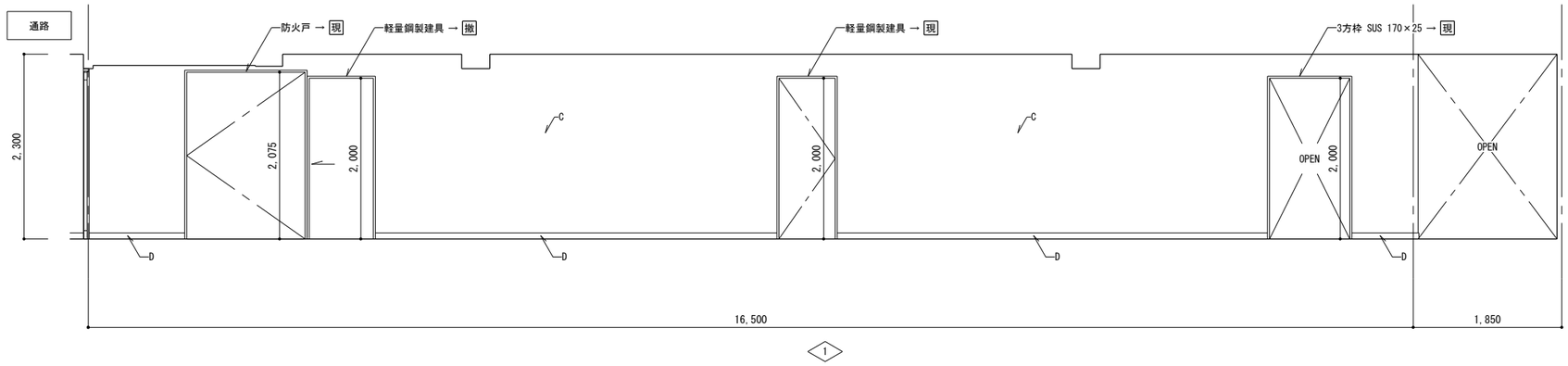
A	現況	合板型枠打放シ(目地切)	C	現況		E	現況	車当り OP	G	現況	
	措置	→ 現		措置			措置	→ 現		措置	
B	現況	巾木：合板型枠打放シ	D	現況		F	現況		H	現況	
	措置	→ 現		措置			措置			措置	

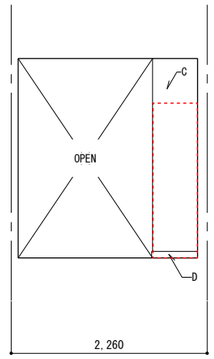
→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す

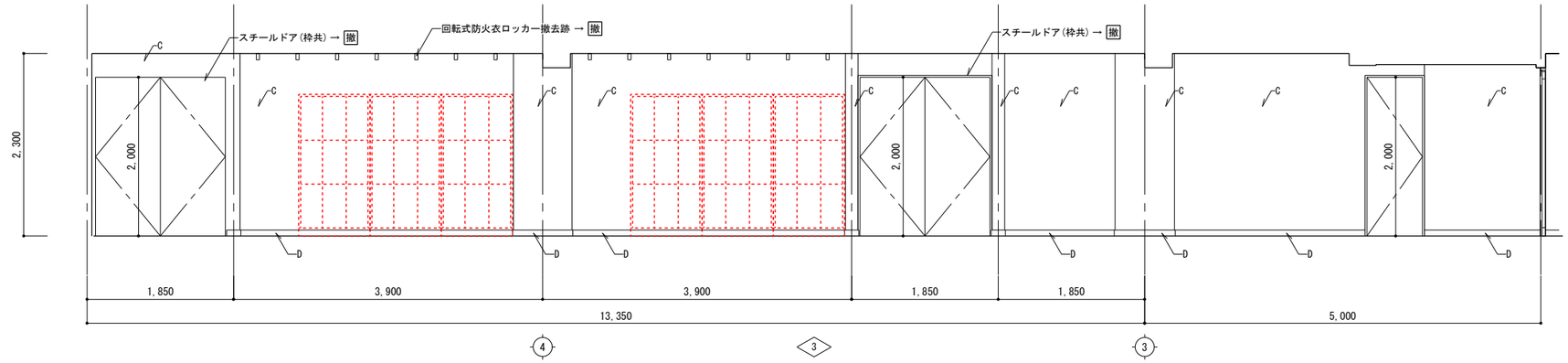
株式会社 松浦建築事務所

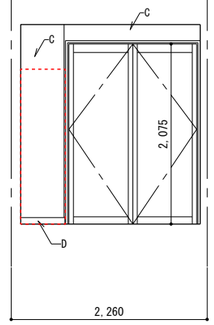
TEL (0561) 32-0318

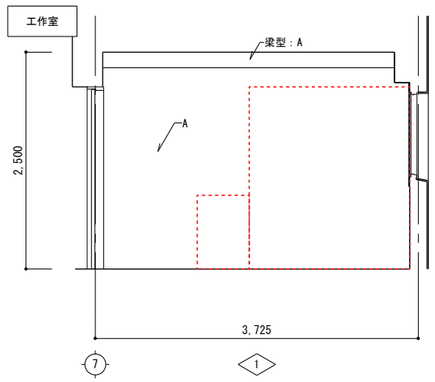
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	（改修前） 1階 車庫 展開図	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. A-050

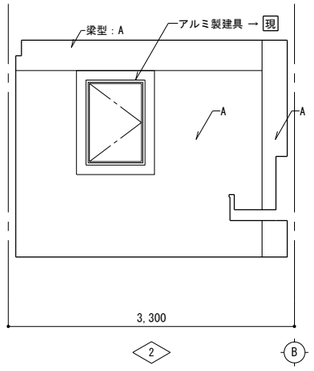


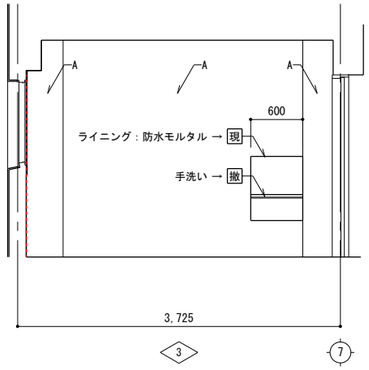


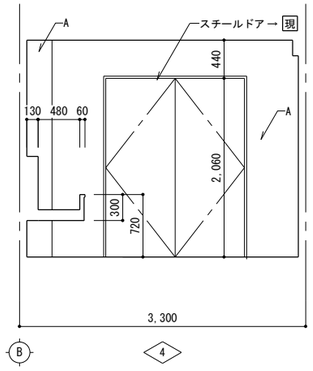












（改修前） 1階 通路、工作室 展開図 1/50

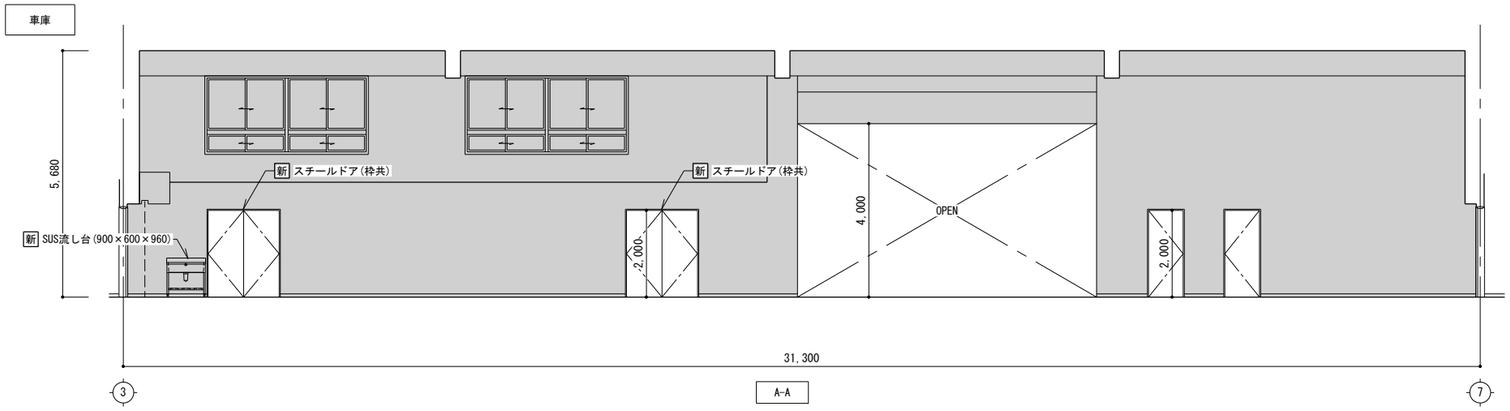
A	現況	合板型枠打放シ(目地切)	C	現況	モルタル金ゴテ押エ_VP(梁型共)	E	現況		G	現況		→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
	措置	→ 現		措置	→ 撤 塗膜除去		措置			措置		
B	現況		D	現況	巾木：モルタル金ゴテ押エ_VP	F	現況		H	現況		
	措置			措置	→ 撤 塗膜除去		措置			措置		

株式会社 松浦建築事務所

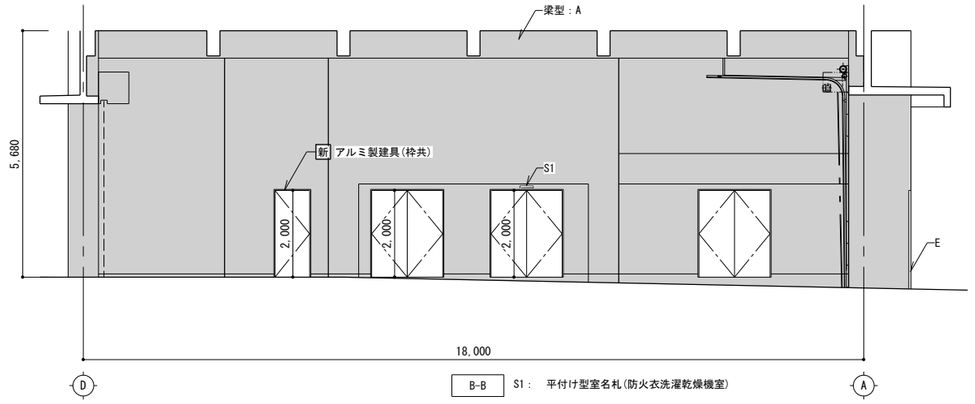
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前） 1階 通路、工作室 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-051

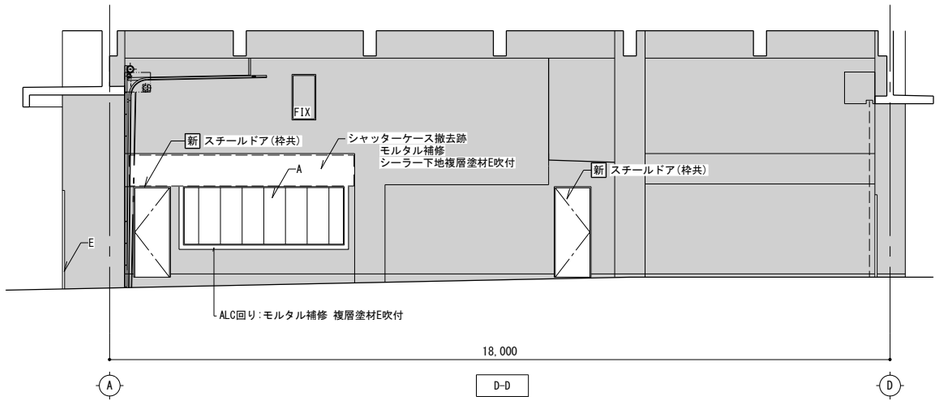
車庫



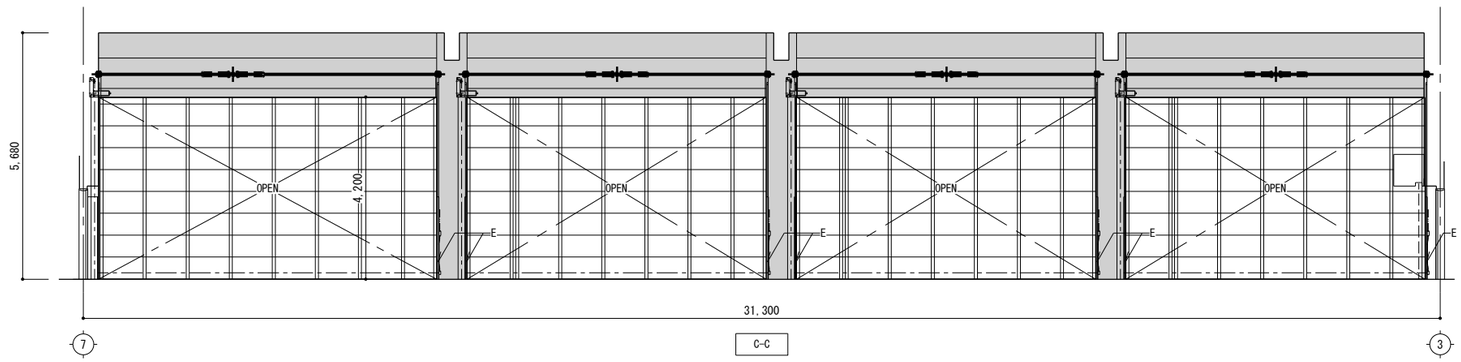
A-A



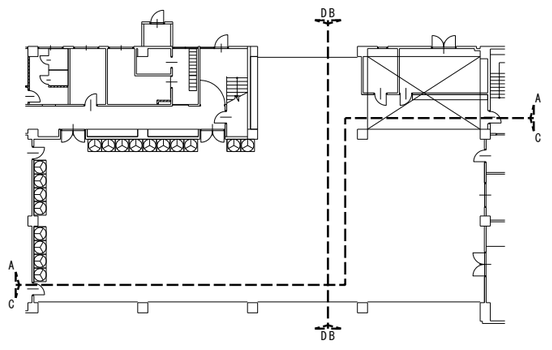
B-B　S1：　平付け型室名札(防火衣洗濯乾燥機室)



D-D



C-C



キープラン

（改修後）　1階　車庫　展開図　1/100

A	新 ALC t100　シーラー下地複層塗材E吹付 周囲シーリング	E	既設戸当り → 改 SOP塗替え	I			
B		F		J			
C		G		K			
D		H		L			

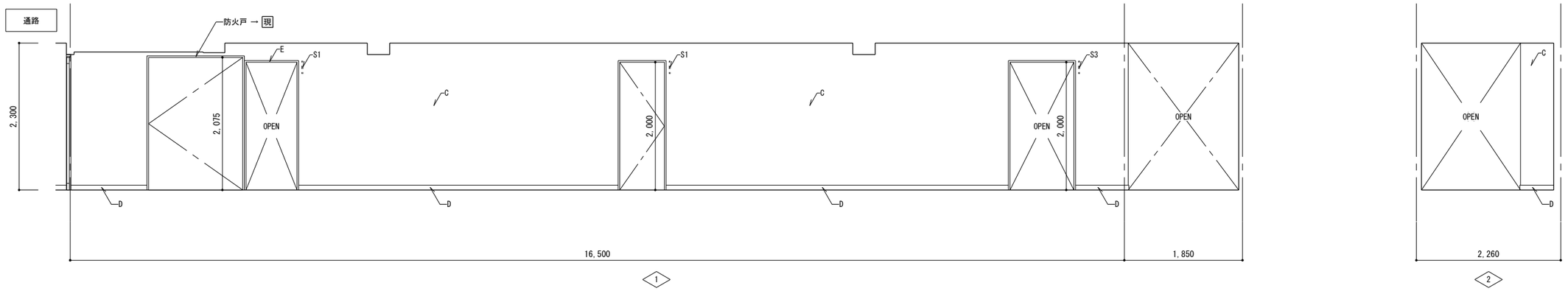
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す

：現況のままを示す

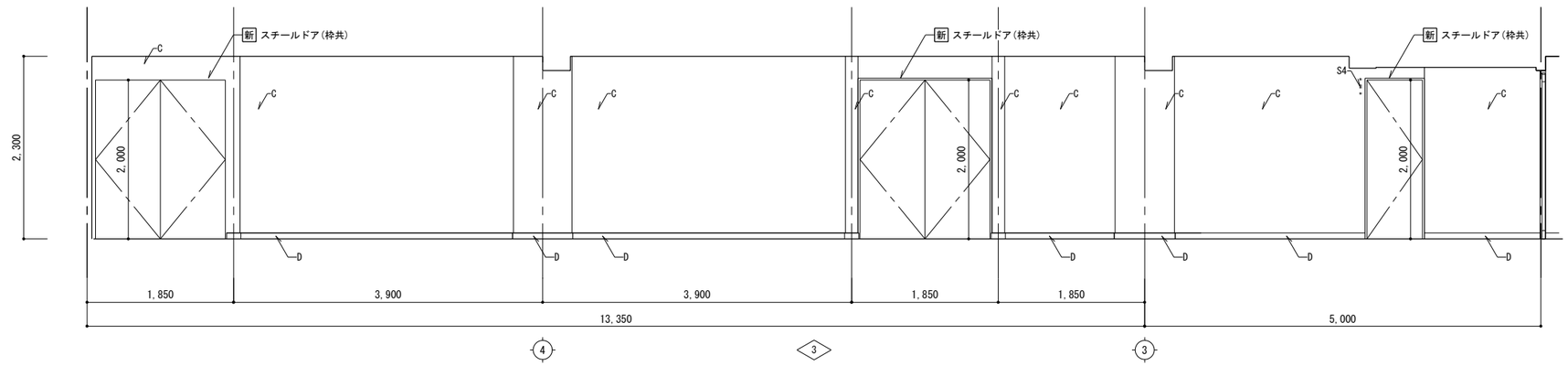
株式会社　松浦建築事務所

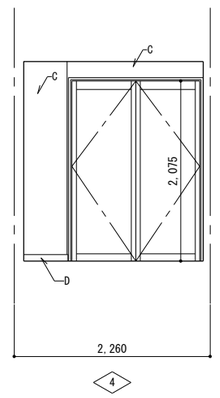
TEL　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	（改修後）　1階 車庫 展開図	縮尺　A2　1：50 A3　1：71
		製図　令和08年03月
1級建築士 登録第92794号　松浦孔明		No. A-052

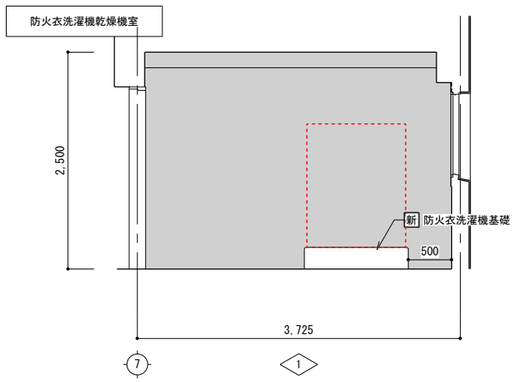


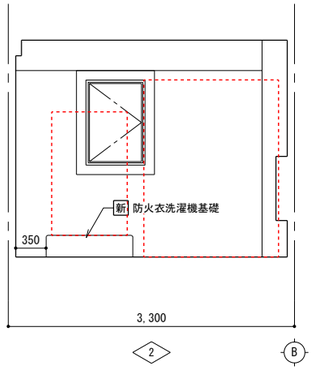
S1：突出し型サイン（トイレ）
S2：突出し型サイン（書庫）
S3：突出し型サイン（洗面室）

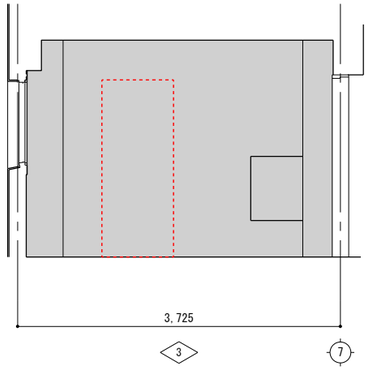


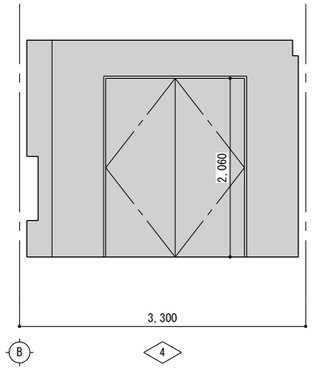


S4：突出し型サイン（相談室）









（改修後） 1階 通路、防火衣洗濯機乾燥機室 展開図 1/50

A		E	新 3方枠：SUS304 t1.5 W=950 H=2000	I			
B		F		J			
C	壁：既設モルタル金ゴテ押エ → 改 下地調整の上、EP-G	G		K			
D	巾木：既設モルタル金ゴテ押エ → 改 下地調整の上、EP-G	H		L			

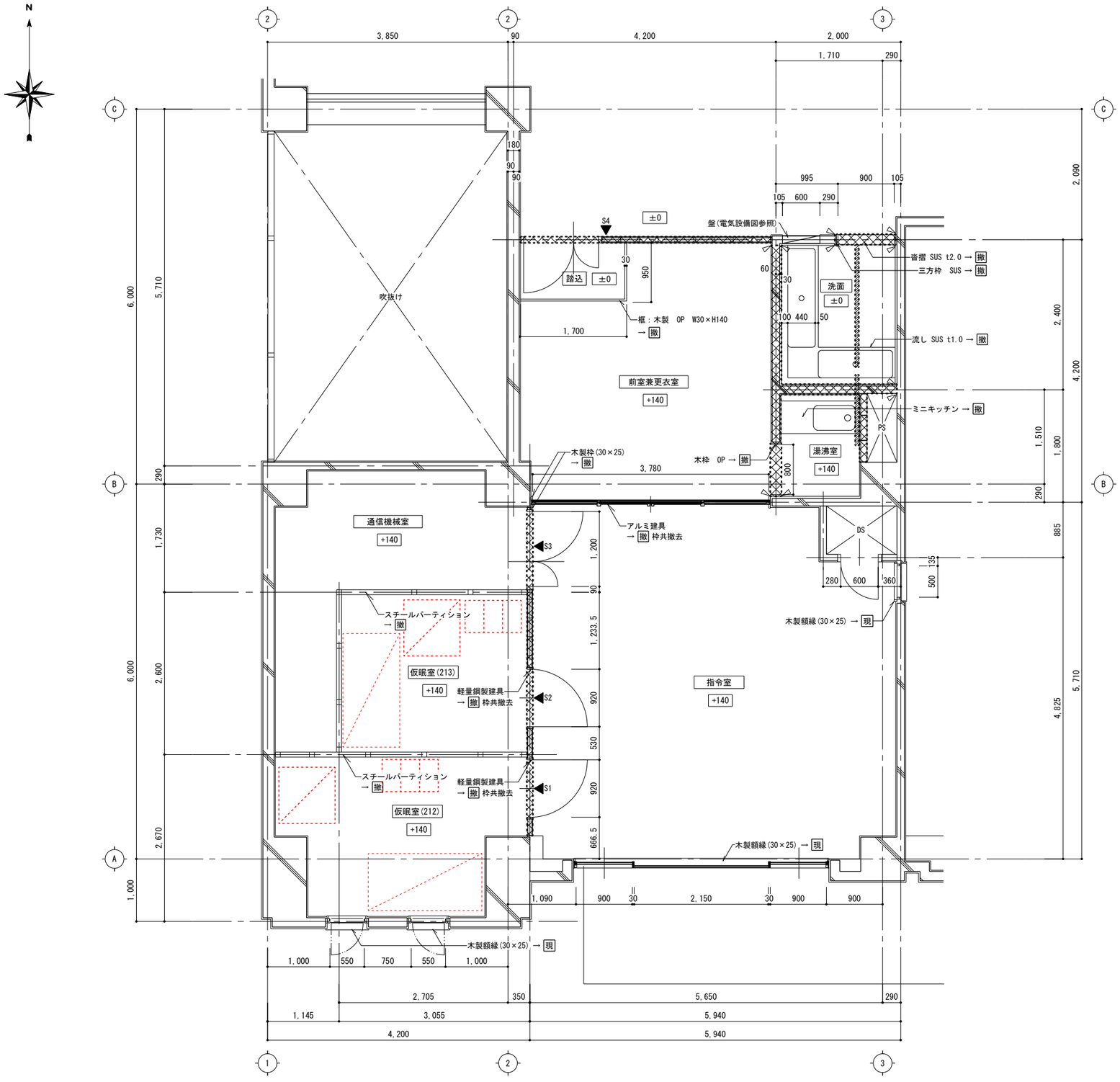
→ 改 …今回工事（既設改修）を示す
新 …今回工事（新設）を示す

：現況のままを示す

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修後） 1階 通路、防火衣洗濯機乾燥機室 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-053



（改修前） 2階 前室兼更衣室、湯沸室、洗面、指令室、仮眠室(212・213) 1：50

踏込 前室兼更衣室	床1	木製床組の上耐水合板 t12下地 カーペットタイル t6.5 → 撤 木製床組み共撤去
	床2	踏込：モルタル下地ビニル床シート t2.0 → 撤 VS-FSのみ撤去
	巾木	木製巾木 OP H=75 → 撤
	壁1	モルタル金ゴテ押エ ＋ ゾラコート吹付 → 撤 ゾラコート_除去
	壁2	LGS下地石こうボード t12 ＋ ゾラコート吹付 → 撤 LGS共撤去
	天井	化粧石こうボード t9.0 → 撤 LGS下地共撤去
	備考	踏込上がり框：木製 H=140 → 撤
湯沸室	床	木製床組みの上耐水合板 t12 カーペットタイル t6.5 → 撤 木製床組み共撤去
	巾木	木製巾木 OP H=75 → 撤
	壁1	モルタル金ゴテ押エ、LGS下地石こうボード t12_EP(梁型共) → 撤 撤去及びEP_除去
	壁2	モルタル下地100角磁器質タイル → 撤 RC壁共撤去
	天井	石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0 _VP → 撤 LGS下地共撤去
	備考	ミニキッチン、吊戸棚、水切り棚 → 撤
指令室	床	フリーアクセスフロア ＋ カーペットタイル t6.5 → 撤 フリーアクセスフロア共撤去
	巾木	木製巾木 OP H=75 → 撤
	壁1	モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙 → 撤
	壁2	LGS下地石こうボード t9.0 ＋ 壁紙 → 撤
	天井	石こうボード t9.0 ＋ ロックウール化粧吸音板 t9.0 → 撤 LGS下地共撤去
	備考	
仮眠室 (212・213)	床1	木製床組の上耐水合板 t12下地 ビニル床シート t2.0 → 撤 木製床組み共撤去
	床2	フリーアクセスフロア ビニール床シート t2.0 → 撤 フリーアクセスフロア共撤去
	巾木	木製巾木 OP H=75 → 撤
	壁1	モルタル金ゴテ押エ_壁紙(梁型共) → 撤 WPのみ撤去
	壁2	LGS下地石こうボード t12 ＋ 壁紙 → 撤 LGS共撤去
	天井	化粧石こうボード t9.5 → 撤 LGS下地共撤去
	備考	スチールパーティション → 撤
通信機械室	床	フリーアクセスフロア ＋ 置敷ビニル床タイル t5.0 → 撤 フリーアクセスフロア共撤去
	巾木	木製巾木 OP H=75 → 撤
	壁	モルタル金ゴテ押エ、LGS下地石こうボード t12 EP(梁型共) → 撤 撤去及びEP_除去
	天井	化粧石こうボード t9.5 → 撤 LGS下地共撤去
	備考	スチールパーティション → 撤
洗面	床	モルタル下地磁器質モザイクタイル → 撤 タイルのみ撤去
	巾木	モルタル VP塗装 → 撤
	壁1	モルタル金ゴテ押エ VP(梁型共) → 撤 塗膜_除去、ハッチ部分RC共撤去
	壁2	ライニング：半磁器質100角タイル → 撤
	天井	石こうボード t9.0 EP → 撤 LGS下地共撤去
	備考	流し SUS → 撤

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
※特記なき限り現況のままとする

：アスベスト含有材を示す
：床・壁撤去範囲
：カッター入れ
：床モルタルカッター施工範囲

◀S1：平付け型アクリルプレート(通信仮眠室1) → 撤
◀S2：平付け型アクリルプレート(通信仮眠室2) → 撤
◀S3：平付け型アクリルプレート(通信機械室) → 撤
◀S4：ネームプレート(2人用) → 撤

1
4 展開方向 2
3

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

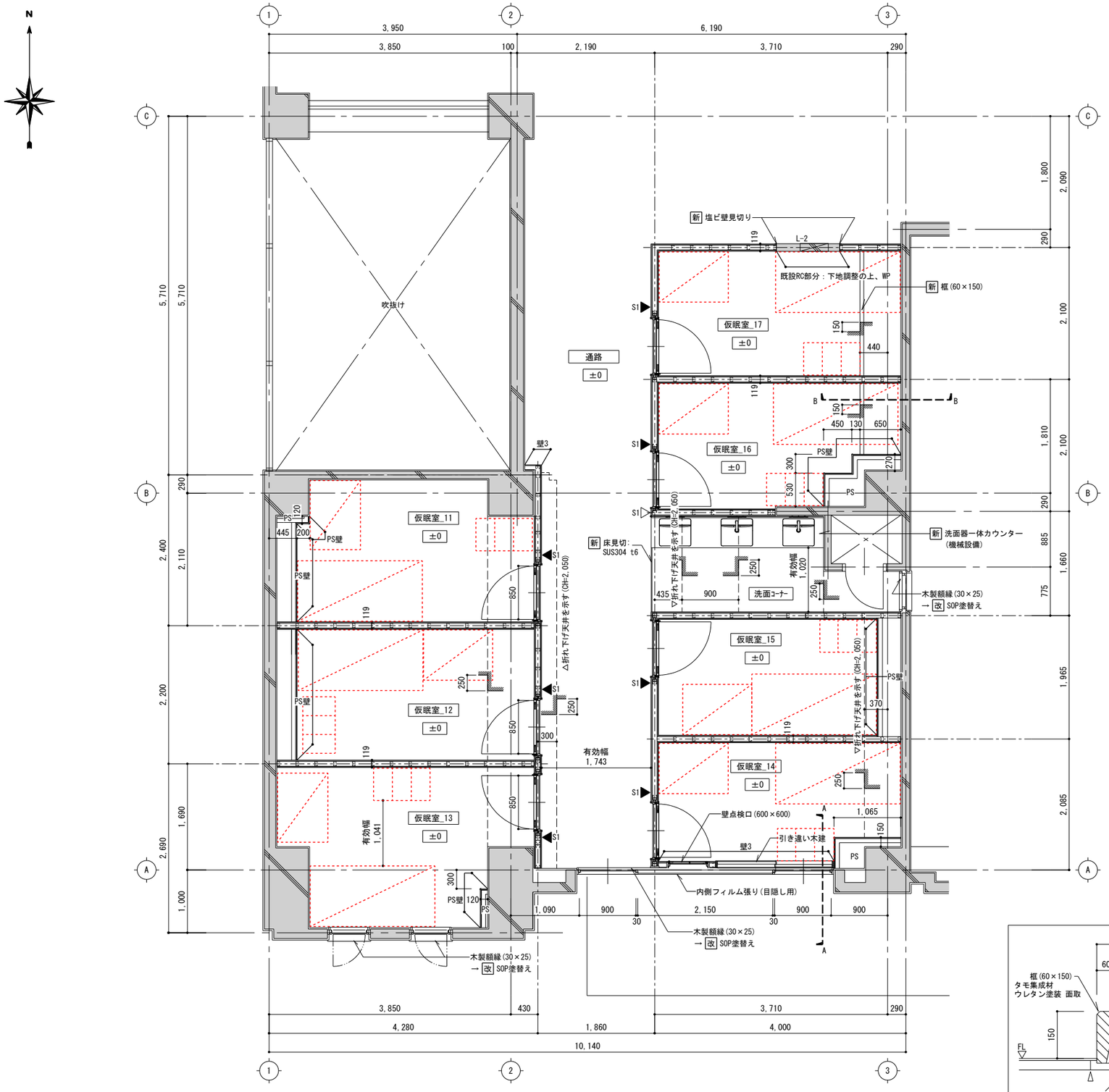
図面名称 （改修前） 2階
前室兼更衣室、湯沸室、洗面
指令室、仮眠室(212・213)、通信機械室
平面詳細図

縮尺 A2 1：50
A3 1：71

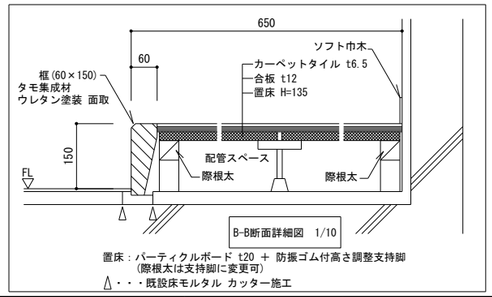
製図 令和08年03月

1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-054

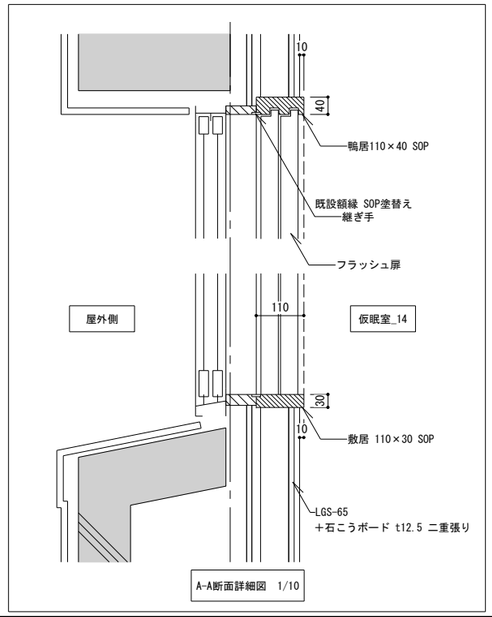


（改修後） 2階 仮眠室_11-17、洗面コーナー 1：50



B-B断面詳細図 1/10

置床：パーティクルボード t20 ＋ 防振ゴム付高さ調整支持脚
（際根太は支持脚に変更可）
△・・・既設床モルタル カッター施工



A-A断面詳細図 1/10

通路	床	既設RC面：モルタル → 改 下地処理の上、ビニル床シート t2.0
	巾木	新 長尺塩ビソフト巾木(SBB) H=75
	壁1	既設RC面：モルタル → 改 下地調整の上、壁紙(梁型共)
	壁2	新 遮音構造壁
	壁3	新 LGS-65 ＋ 石こうボード t12.5 ＋ t9.5 ＋ 壁紙
	天井	新 LGS下地化粧石こうボード t9.5
	備考	
仮眠室 (11～17)	床	既設RC面：モルタル → 改 下地処理の上、カーペットタイル t6.5
	巾木	新 長尺塩ビソフト巾木 H=75
	壁1	既設RC面：モルタル → 改 下地調整の上、壁紙(梁型共)
	壁2	新 遮音構造壁
	壁3	新 （仮眠室_14）LGS-65 ＋ 石こうボード t12.5 二重張り ＋ 壁紙
	天井	新 LGS下地化粧石こうボード t9.5
	備考	新 畳敷ベッド、3人用ロッカー、布団棚
洗面コーナー	床	既設RC面：モルタル → 改 下地処理の上、ビニル床シート t2.0
	巾木	新 長尺塩ビソフト巾木(SBB) H=75
	壁1	既設RC面：モルタル → 改 下地処理の上、壁紙
	壁2	新 遮音構造壁
	天井	新 LGS下地化粧石こうボード t9.5
	備考	新 洗面器一体カウンター(機械設備)
共通事項	PS壁	新 LGS-65@450下地石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス (出隅：アルミコーナー 25×25) (既設柱等モルタル面取合い：塩ビ見切り)

→ 現 …現況のまま
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す
※特記なき限り現況のままとする
改修範囲外

：アスベスト含有材を示す

◁S1：突出し型室名札(洗面)
◀S1：平付け型アクリルプレート(200×50 各室番号)×7

展開方向

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称 （改修後）
2階 仮眠室_11-17、洗面コーナー 平面詳細図

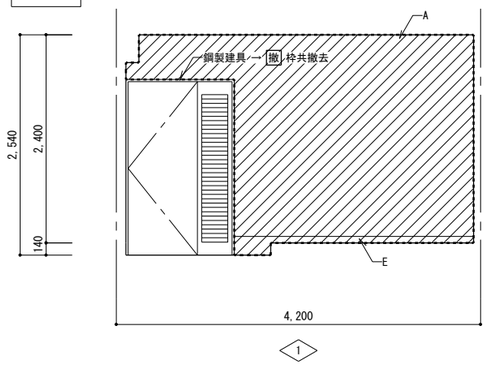
縮尺 A2 1：50
A3 1：71

製図 令和08年03月

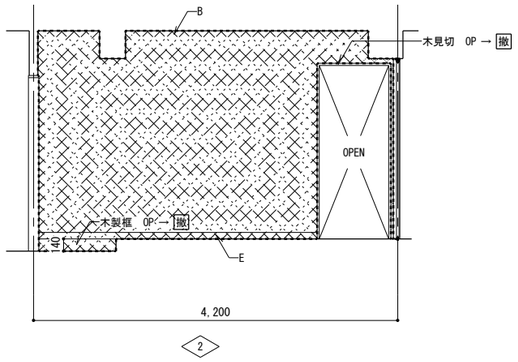
1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-055

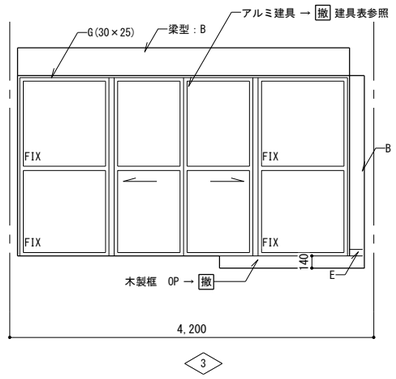
前室兼更衣室



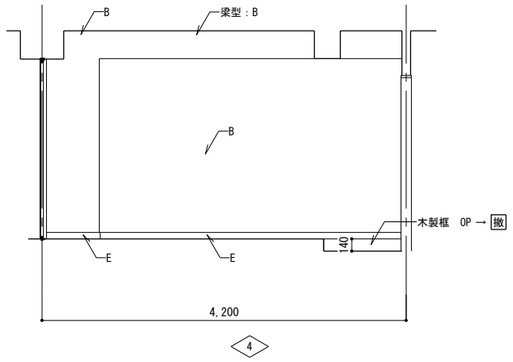
1



2

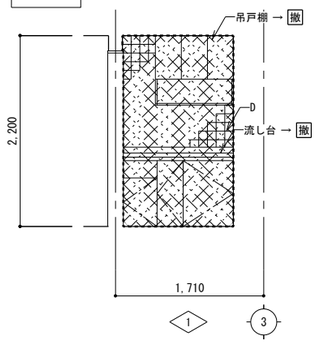


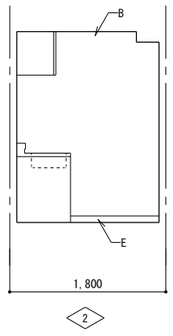
3

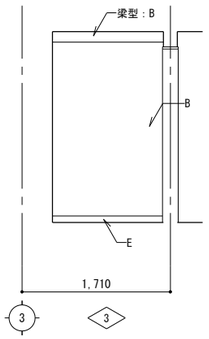


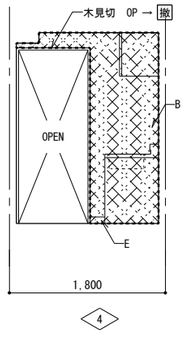
4

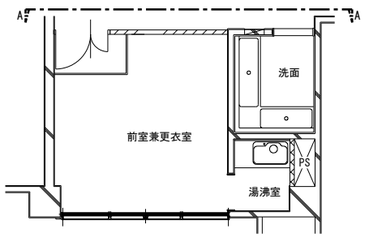
湯沸室





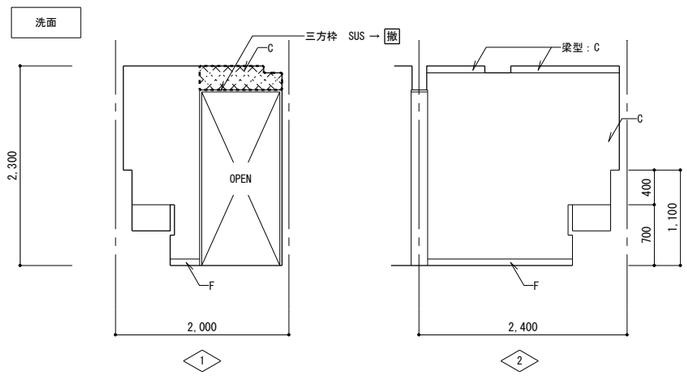


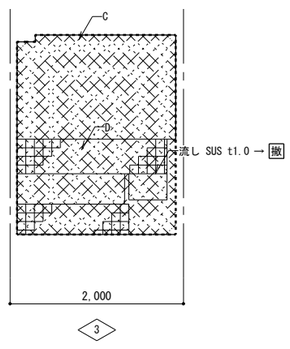


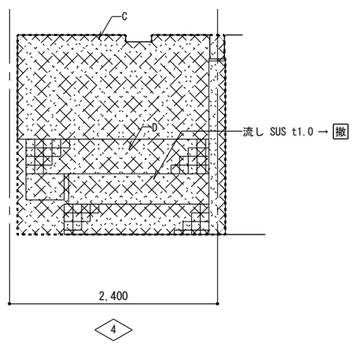


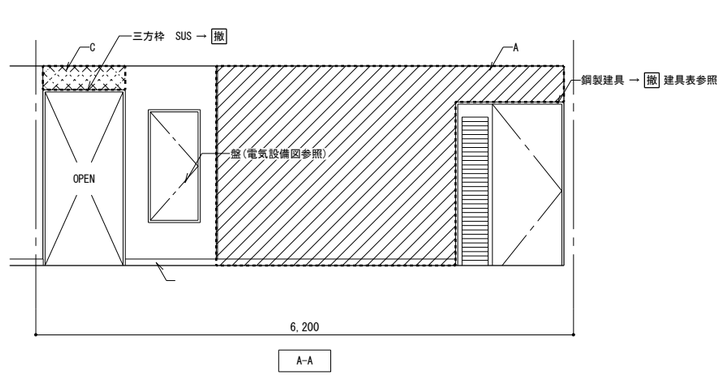
キープラン

洗面









A-A

(改修前) 2階 前室、湯沸室、洗面 展開図 1/50

A	現況	壁：LGS下地石こうボード t12 ＋ ゾラコート吹付	C	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ_VP(梁型共)	E	現況	巾木：木製 OP H=75	G	現況	木額縁
	措置	→ 撤 LGS共撤去		措置	→ 撤 塗膜_除去、ハッチ部分RC共撤去		措置	→ 撤		措置	→ 現
B	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ ＋ ゾラコート吹付(梁型共)	D	現況	壁：半磁器質100角タイル	F	現況	巾木：モルタル VP塗装	H	現況	
	措置	→ 撤 ゾラコート_除去、ハッチ部分RC共撤去		措置	→ 撤 下地共撤去		措置	→ 撤		措置	

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
: RC壁撤去範囲
: LGS壁撤去範囲

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称 (改修前) 2階 前室、湯沸室、洗面 展開図

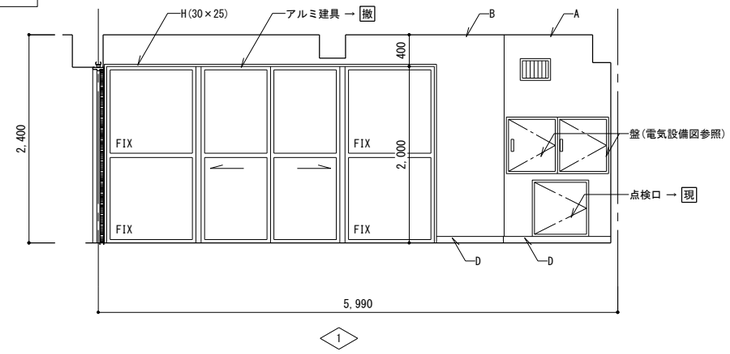
縮尺 A2 1:50 A3 1:71

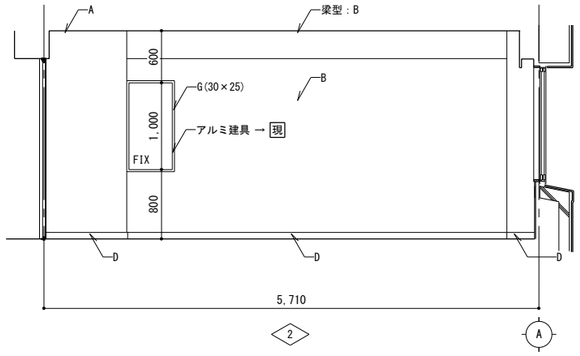
製図 令和08年03月

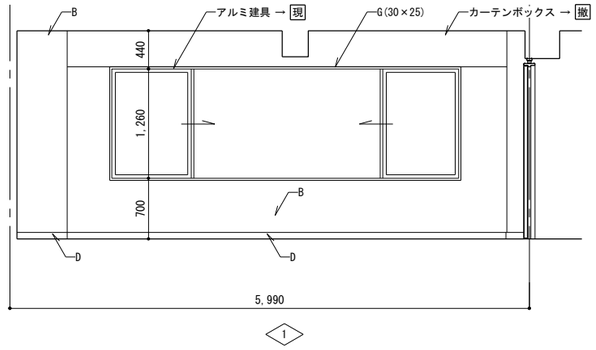
1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

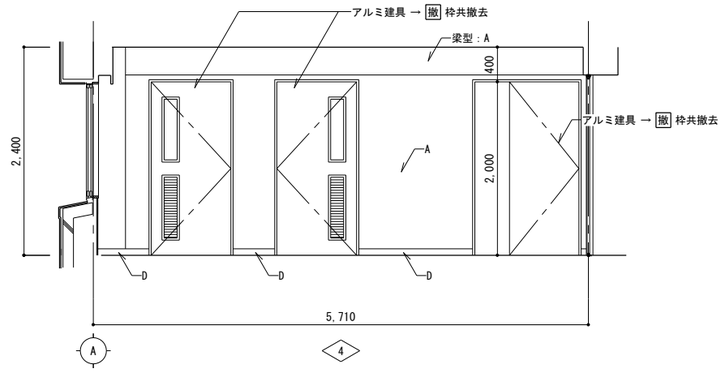
No. A-056

指令室

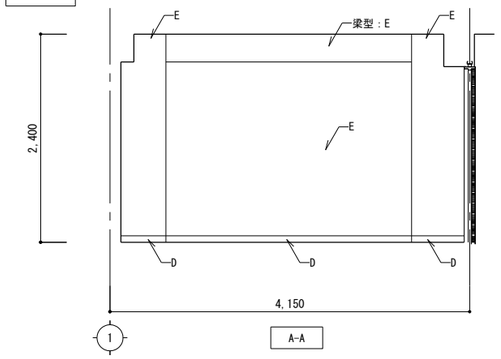




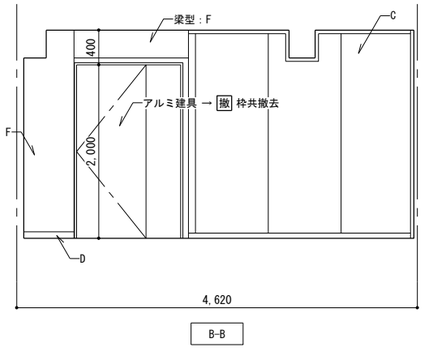




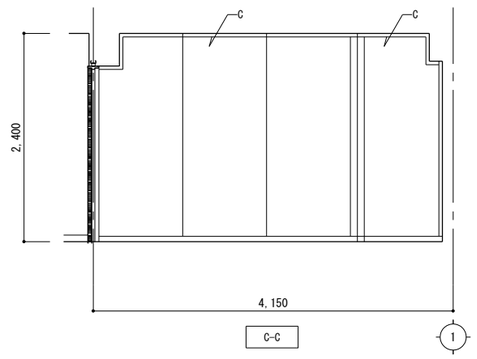
通信機械室

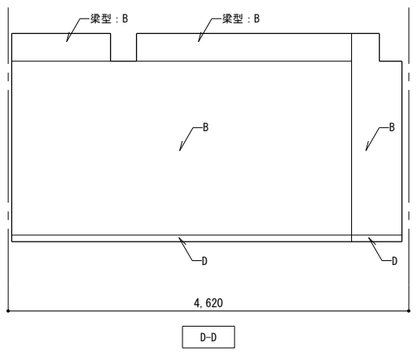


A-A

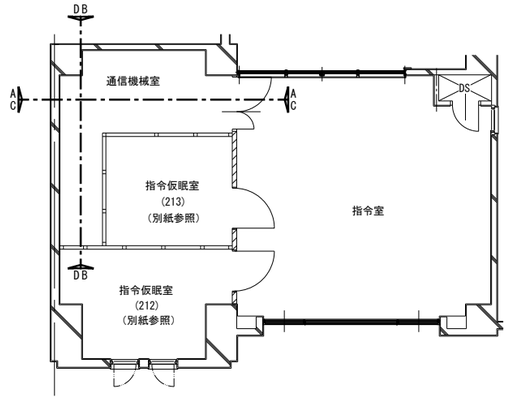


B-B





D-D



キープラン

(改修前)　2階　指令室、通信機械室　展開図　1/50

A	現況	壁：LGS下地石こうボード t9.0 ＋ 壁紙	C	現況	スチールパーティション	E	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ_EP(梁型共)	G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事(既設撤去)を示す			
	措置	→ 撤 LGS共撤去		措置	→ 撤		措置	→ 現		措置	→ 現				
B	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙	D	現況	巾木：木製巾木 H=75 OP	F	現況	壁：LGS下地石こうボード t1.5_EP(梁型共)	H	現況	木額縁				
	措置	→ 撤 壁紙のみ撤去		措置	→ 現		措置	→ 撤 LGS共撤去		措置	→ 撤				

株式会社　松浦建築事務所

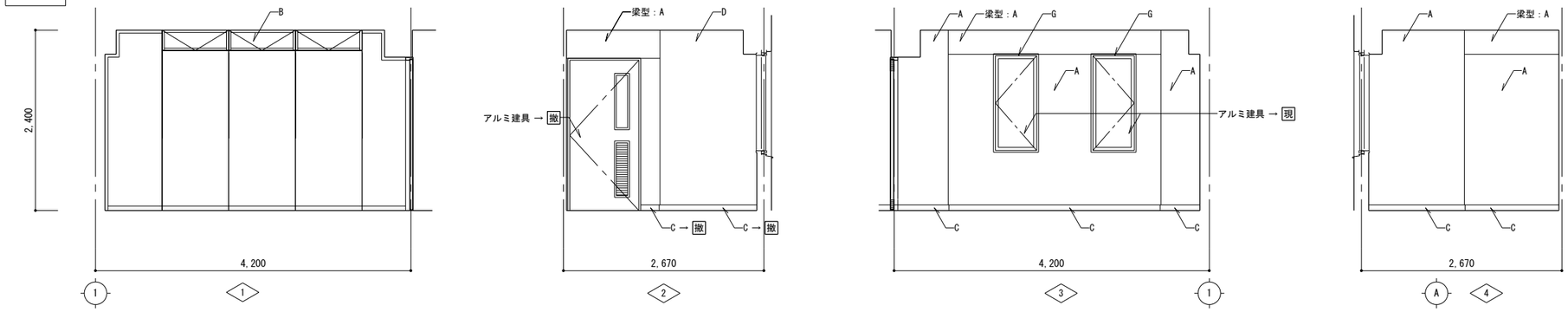
TEL　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	(改修前)　2階 指令室、通信機械室 展開図
縮尺	A2　1：50 A3　1：71
製図	令和08年03月

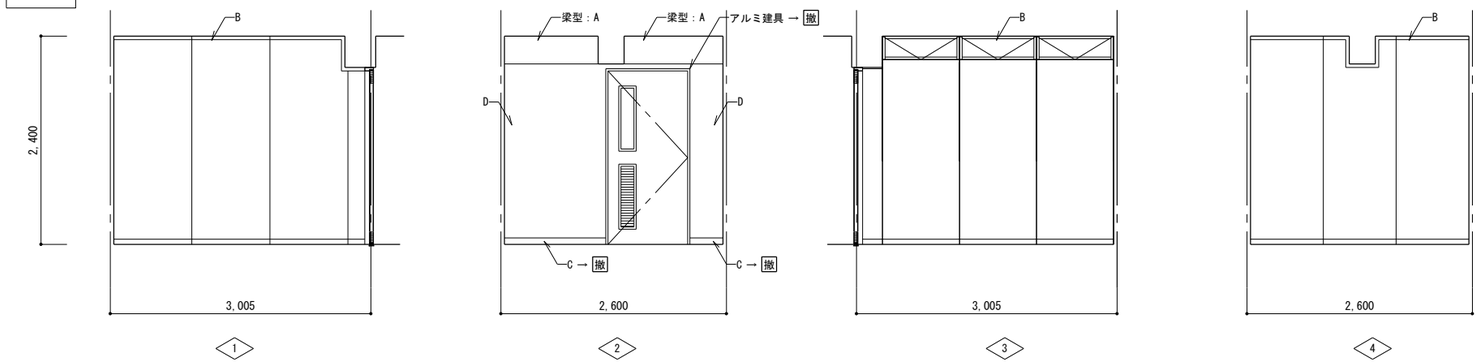
1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. A-057

仮眠室212



仮眠室213



（改修前） 2階 仮眠室(212・213) 展開図 1/50

A	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙(梁型共)	C	現況	巾木：木製 OP H=75	E	現況		G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事(既設撤去)を示す	
	措置	→ 撤 WPのみ撤去		措置	→ 現 LGS部分撤去		措置			措置	→ 現		
B	現況	スチールパーティション	D	現況	壁：LGS下地 ＋ 石こうボード t12.5 ＋ 壁紙	F	現況		H	現況			
	措置	→ 撤		措置	→ 撤 LGS共撤去		措置			措置			

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称 （改修前） 2階 仮眠室(212・213) 展開図

縮尺 A2 1：50 A3 1：71

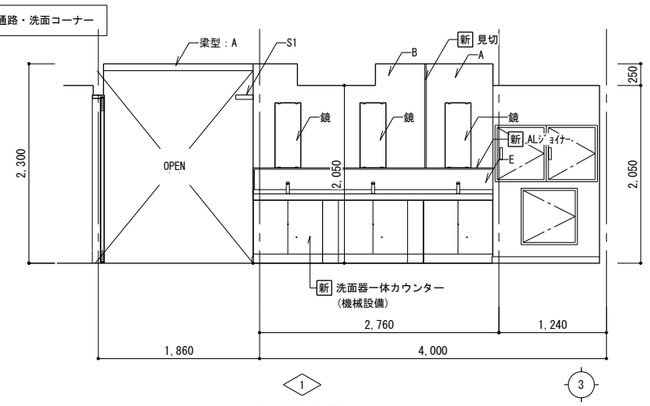
製図 令和08年03月

1級建築士

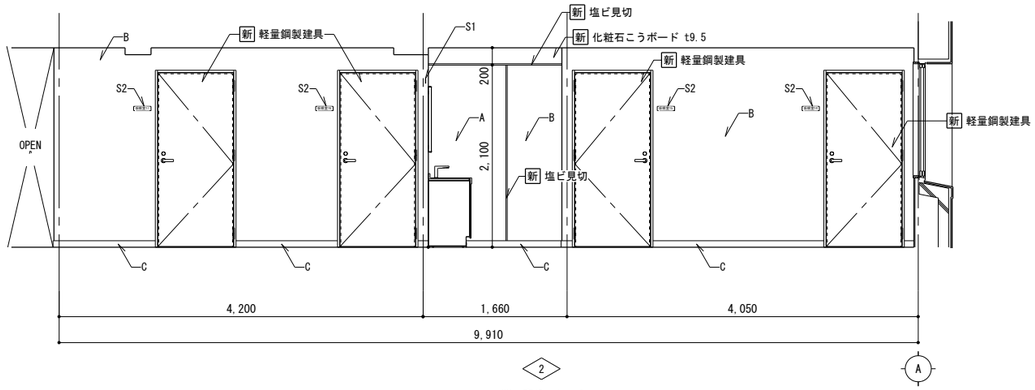
登録第92794号 松浦孔明

No. A-058

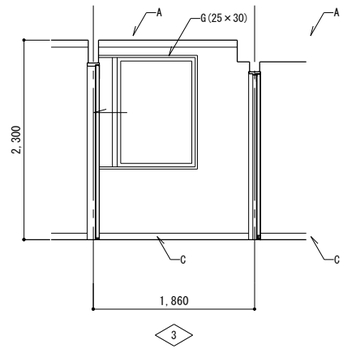
仮眠室通路・洗面コーナー

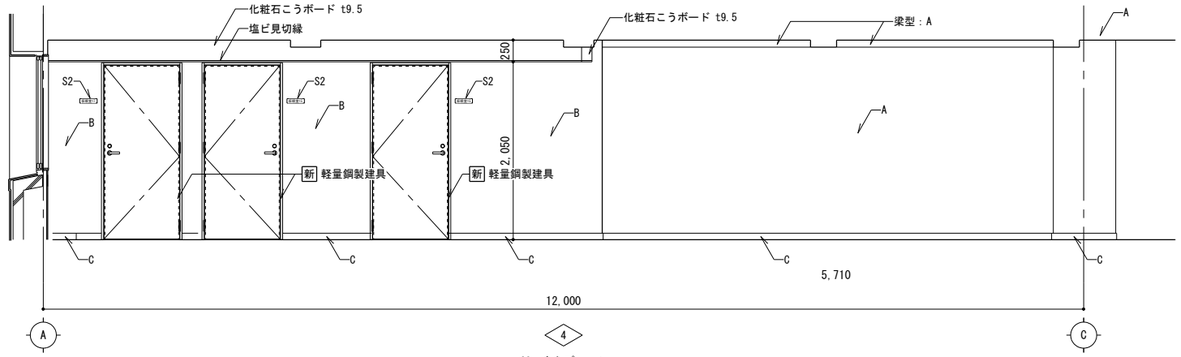


S1：室名札(洗面)

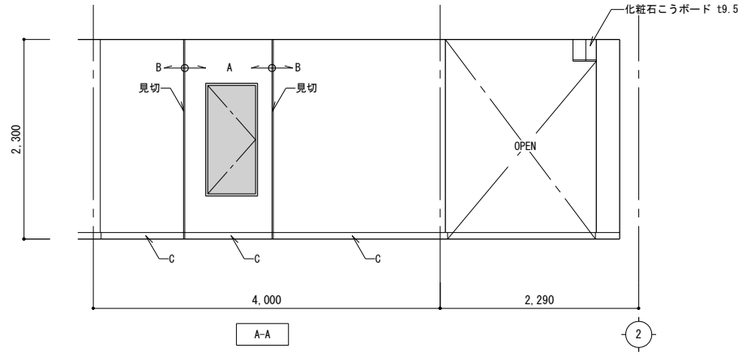


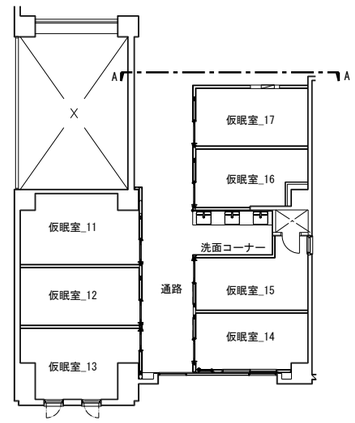
S2：室名プレート





S2：室名プレート





キープラン

(改修後)　2階　仮眠室通路、洗面コーナー　展開図　1/50

A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙	E	壁： 新 メラミン化粧板 t3.0	I				
B	壁： 新 遮音構造壁	F		J				
C	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K				
D		H		L				

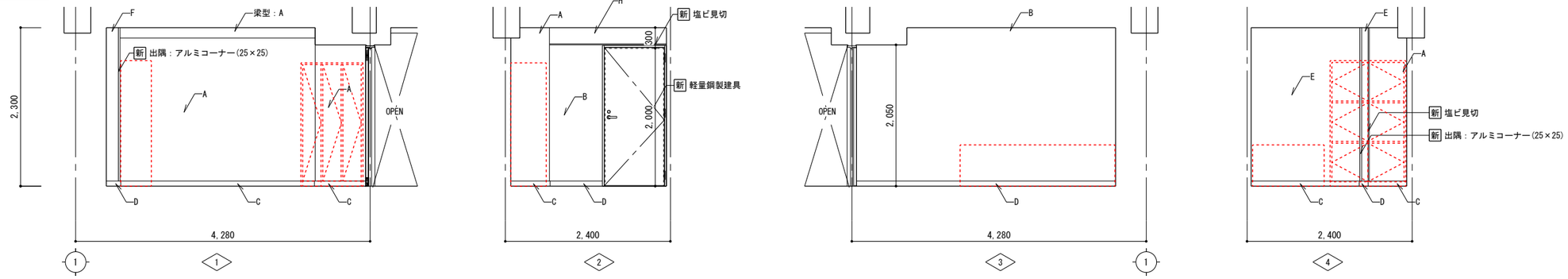
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す

株式会社 松浦建築事務所

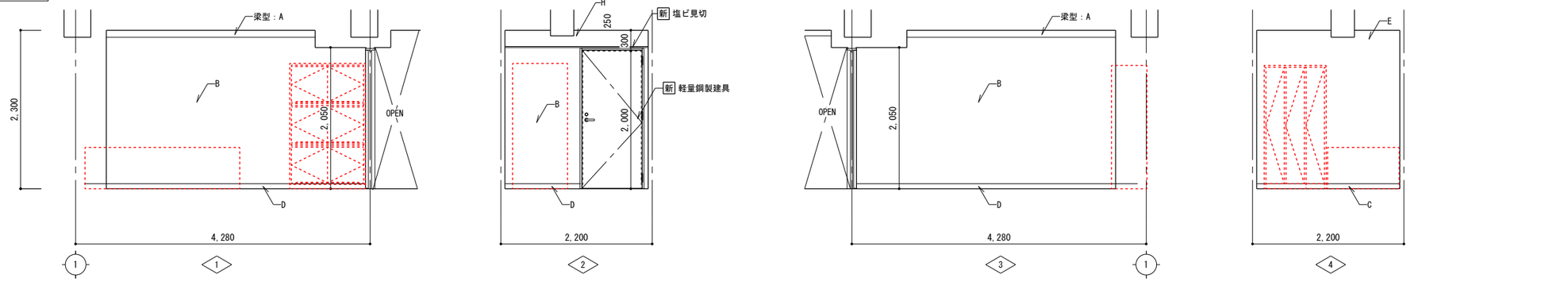
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	(改修後) 2階 仮眠室通路、洗面コーナー 展開図	縮尺 A2 1:50 A3 1:71
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. A-059

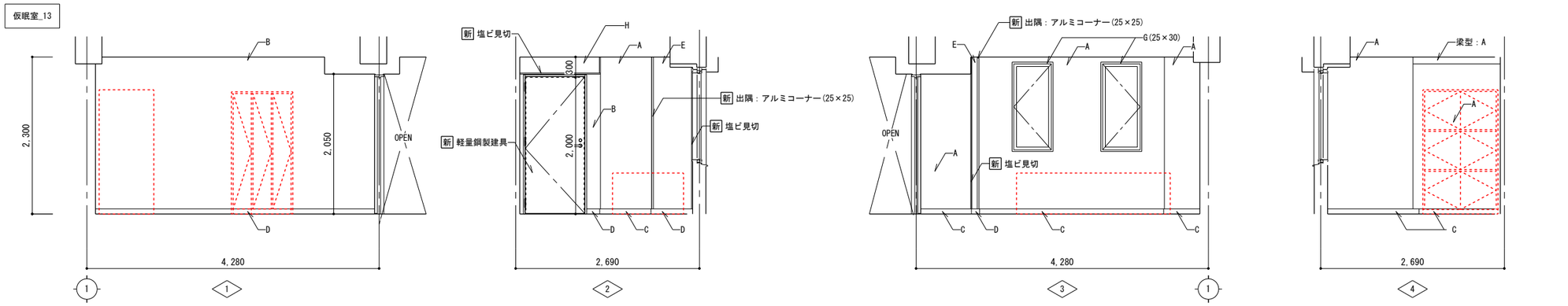
仮眠室_11



仮眠室_12



仮眠室_13



（改修後） 2階 仮眠室_11-13 展開図 1/50

A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙	E	PS壁： 新 LGS-65 ＋ 石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス	I				→ 改 …今回工事(既設改修)を示す 新 …今回工事(新設)を示す
B	壁： 新 遮音構造壁	F		J				
C	巾木：木製 → 改 SOP塗替え	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K				
D	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木	H	折れ下げ天井： 新 化粧石こうボード t9.5	L				

株式会社 松浦建築事務所

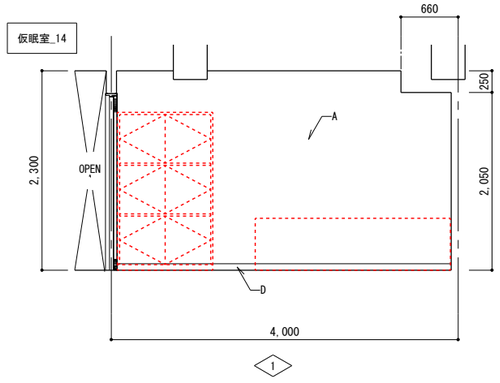
TEL (0561) 32-0318

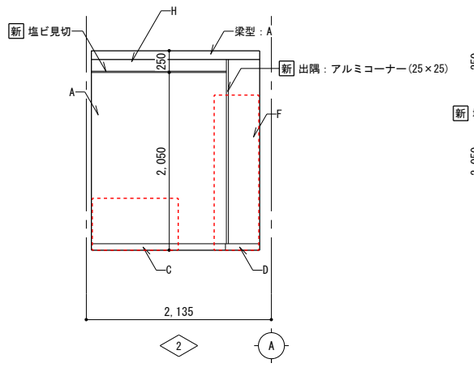
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修後） 2階 仮眠室 11-13 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月

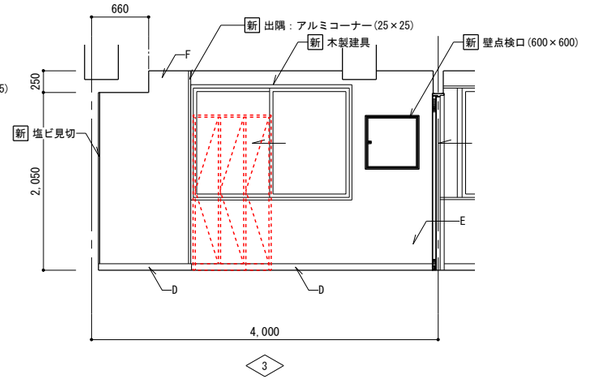
1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

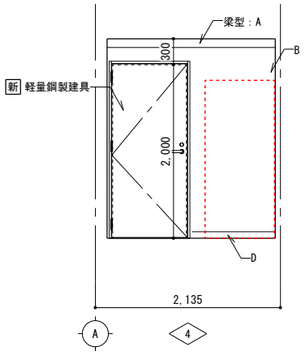
No. A-060

仮眠室_14

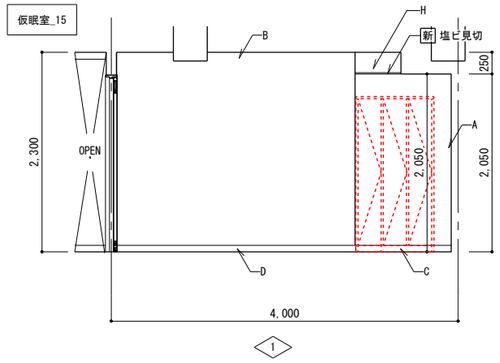


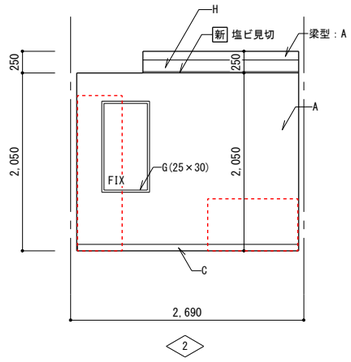


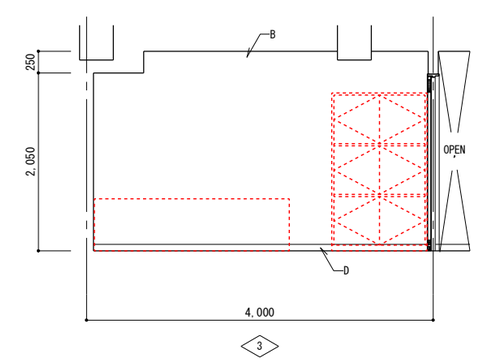


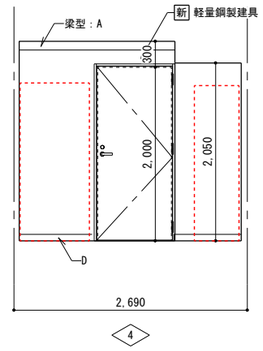


仮眠室_15

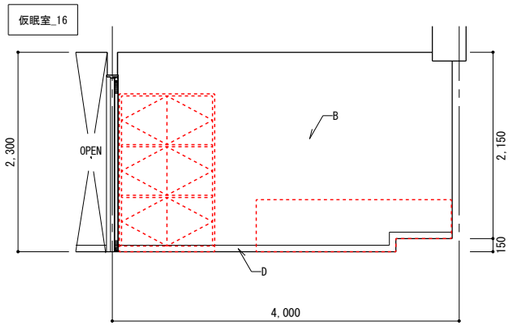


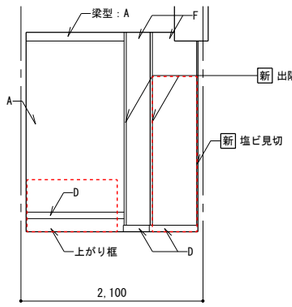


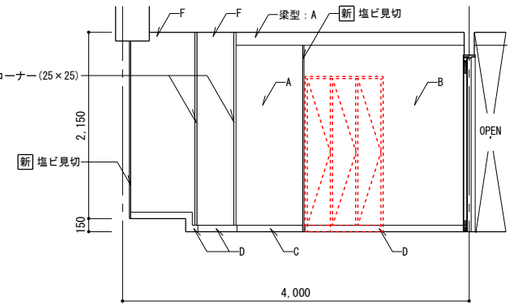


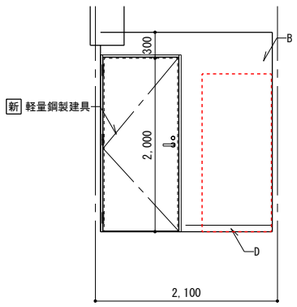


仮眠室_16

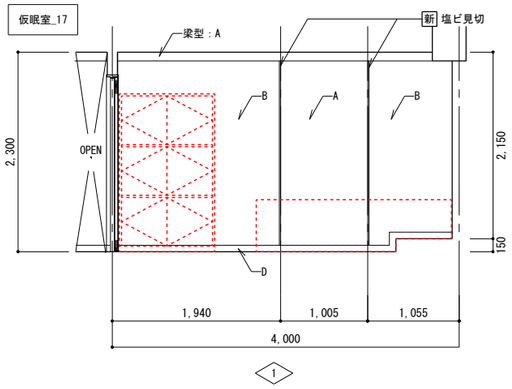


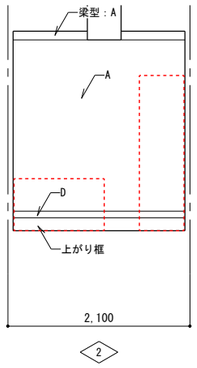


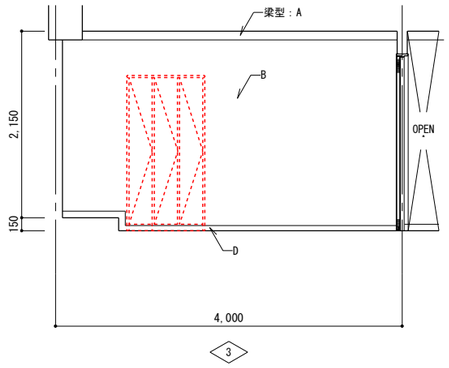


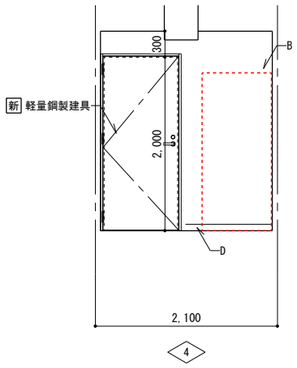


仮眠室_17









（改修後） 2階 仮眠室_14-17 展開図 1/50

A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙	E	壁： 新 LGS-65 ＋ 石こうボード t12.5 二重張り ＋ ビニルクロス	I			
B	壁： 新 遮音構造壁	F	PS壁： 新 LGS-65 ＋ 石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス	J			
C	巾木：木製 → 改 SOP塗替え	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K			
D	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木	H	折れ下げ天井： 新 化粧石こうボード t9.5	L			

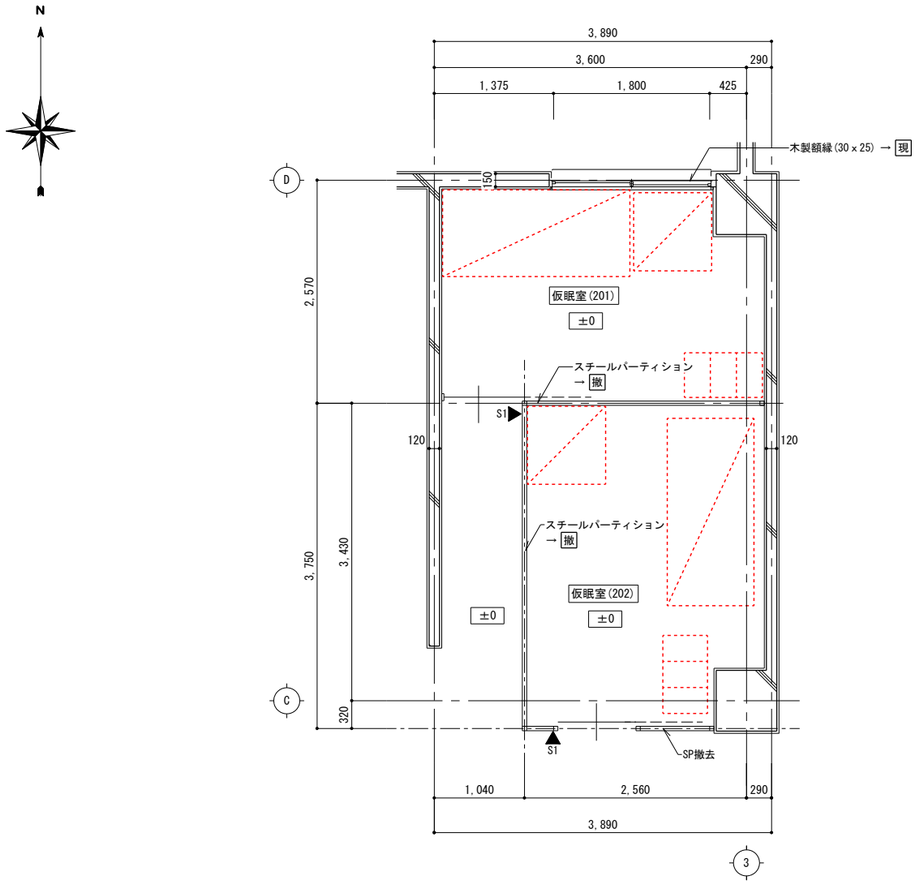
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修後） 2階 仮眠室 14-17 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月

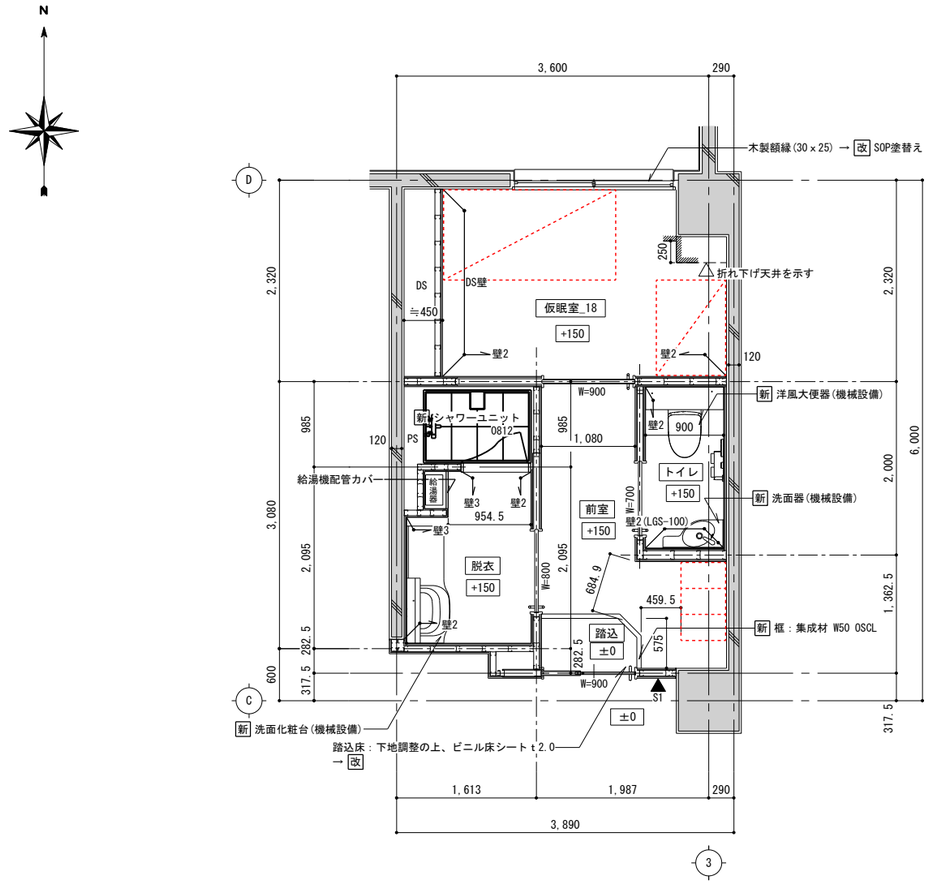
1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-061



（改修前） 2階 仮眠室(201・202) 平面詳細図 1/50

仮眠室 (201-202)	床	モルタル下地ビニル床シート t2.0 → 撤 床シートのみ撤去
	巾木	木製 OP H=75 → 撤
	壁	既設RC面：モルタル下地 ＋ 壁紙(梁型共) → 撤 壁紙のみ撤去　　化粧
	天井	化粧石こうボード t9.5 → 撤 LGS下地共撤去
	備考	スチールパーティション → 撤



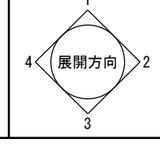
（改修後） 2階 仮眠室_18(女性仮眠室) 平面詳細図 1/50

前室 踏込	床	既設RC面：モルタル → 改 不陸調整材 ＋ 置床 t110 ＋ 捨張合板 t12 ＋ 合板 t12 ＋ ビニル床シート t2.0
	巾木	新 長尺塩ビソフト巾木 H=75
	壁1	既設RC面：モルタル → 改 下地調整の上、壁紙
	壁2	新 LGS-65 ＋ 石こうボード t12.5 ＋ 化粧せっこうボード t12.5
	天井	新 LGS下地化粧石こうボード t9.5
脱衣	床	既設RC面：モルタル → 改 不陸調整材 ＋ 置床 t110 ＋ 捨張合板 t12 ＋ 合板 t12 ＋ ビニル床シート t2.0
	巾木	新 長尺塩ビソフト巾木 H=75
	壁1	既設RC面：モルタル → 改 GL工法 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0
	壁2	新 LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 二重張り ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0
	壁3	新 LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0
	天井	新 LGS下地防湿シート＋浴室用パネル
	備考	新 洗面化粧台(機械設備)
仮眠室_18 (女性仮眠室)	床	既設RC面：モルタル → 改 不陸調整材 ＋ 置床 t110 ＋ 捨張合板 t12 ＋ 合板 t12 ＋ ビニル床シート t2.0
	巾木	新 長尺塩ビソフト巾木 H=75
	壁1	既設RC面：モルタル → 改 下地調整の上、壁紙(梁型共)
	壁2	新 遮音構造壁
	天井	新 LGS下地化粧石こうボード t9.5
	DS壁	新 LGS-65@450下地 石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス (既設柱等モルタル面取合い：塩ビ見切り)
トイレ	床	既設RC面：モルタル → 改 不陸調整材 ＋ 置床 t110 ＋ 捨張合板 t12 ＋ 合板 t12 ＋ ビニル床シート t2.0
	巾木	新 長尺塩ビソフト巾木 H=75
	壁1	既設RC面：モルタル → 改 GL工法 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0
	壁2	新 LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0 (一部LGS-100)
	天井	新 LGS下地多機能ケイ酸カルシウム板 t6.0
	備考	新 洋風大便器・洗面器(機械設備)

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
→ 新 …今回工事(新設)を示す
※特記なき限り現況のままとする
改修範囲外

：アスベスト含有材を示す

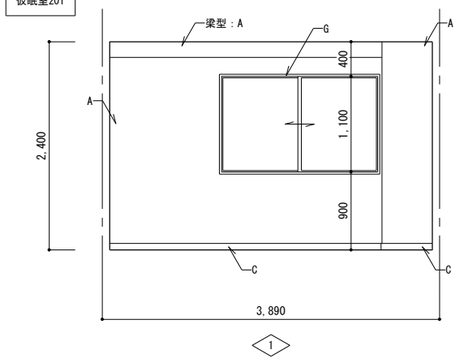
◀(改修前)S1：ネームプレート(3人用)→ 撤
◀(改修後)S1：平付け型アクリルプレート(200×50 仮眠室_18)



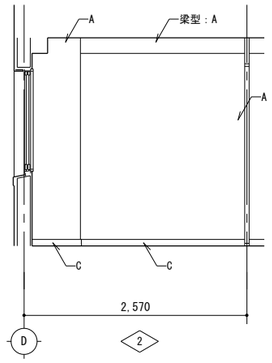
株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前後） 2階 仮眠室(201-202)、仮眠室_18(女性仮眠室) 平面詳細図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-062

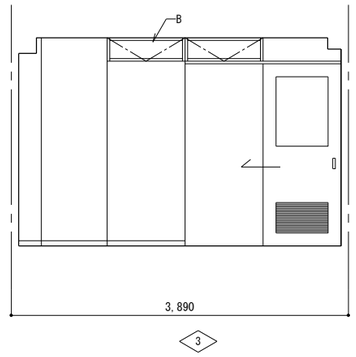
仮眠室201



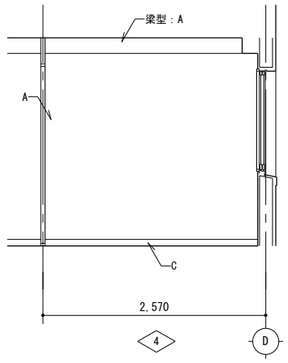
1



2

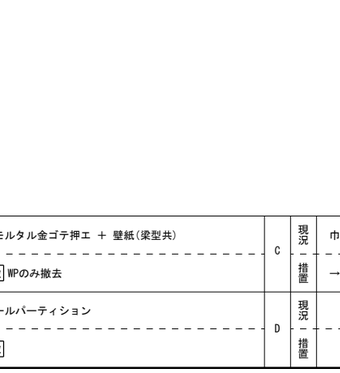


3

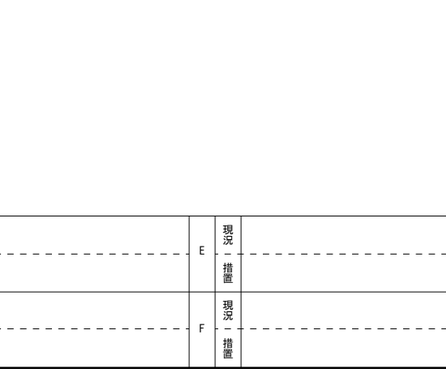


4

仮眠室202



1



2



3



4

（改修前） 2階 仮眠室(201・202) 展開図 1/50

A	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙(梁型共)	C	現況	巾木：木製 OP H=75	E	現況		G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事(既設撤去)を示す	
	措置	→ 撤 WPのみ撤去		措置	→ 現 LGS部分撤去		措置			措置	→ 現		
B	現況	スチールパーティション	D	現況		F	現況		H	現況			
	措置	→ 撤		措置			措置			措置			

株式会社 松浦建築事務所

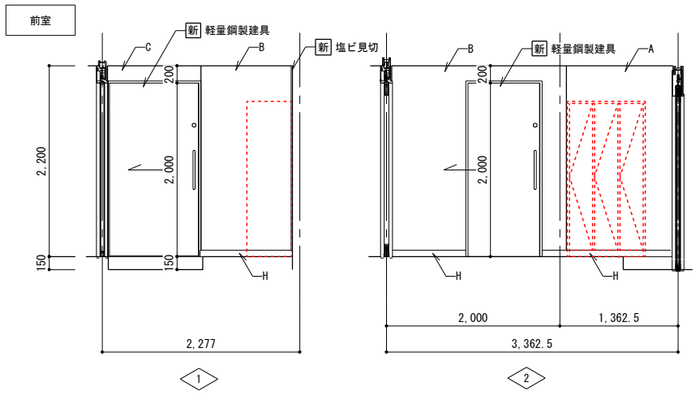
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前） 2階 仮眠室(201・202) 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月

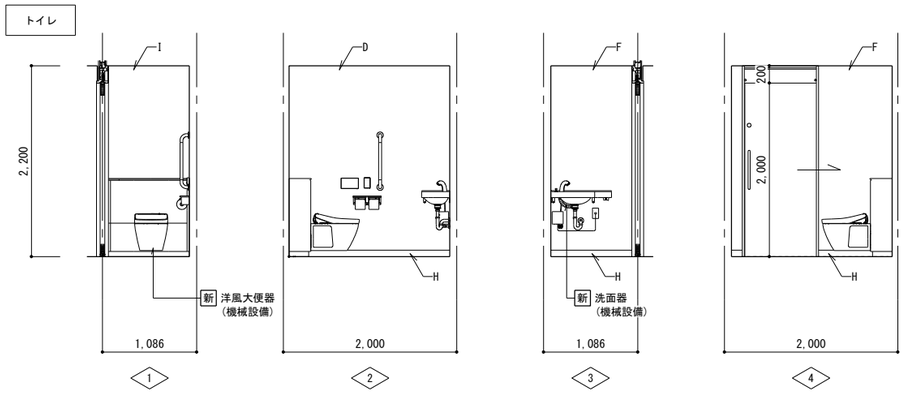
1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-063

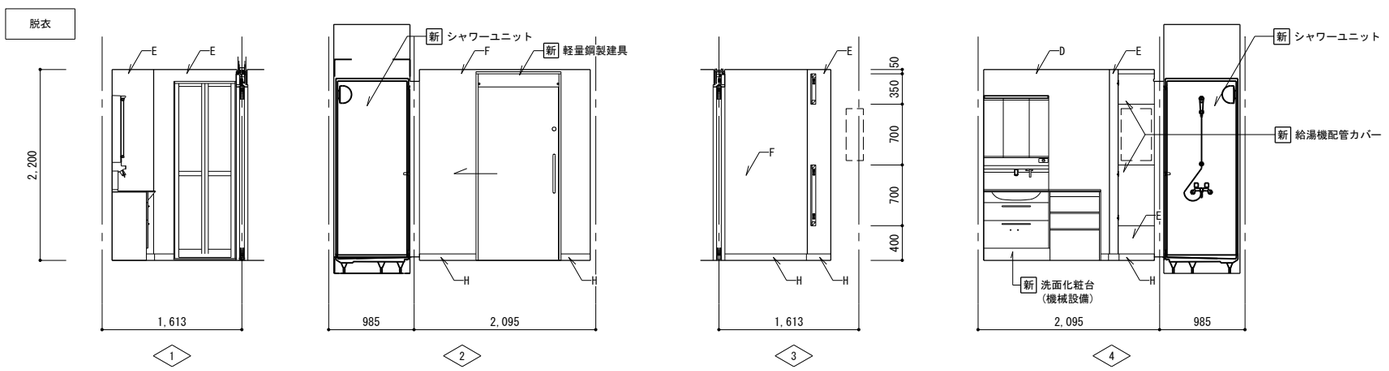
前室



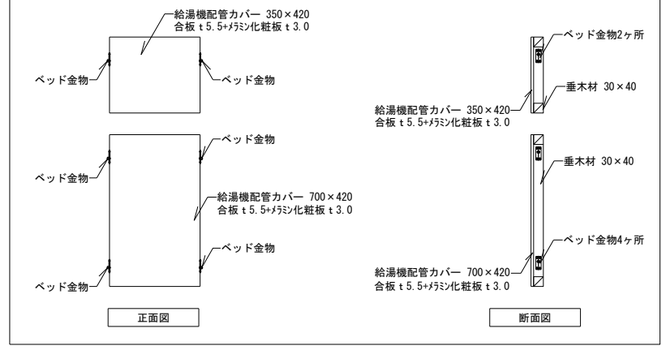
トイレ



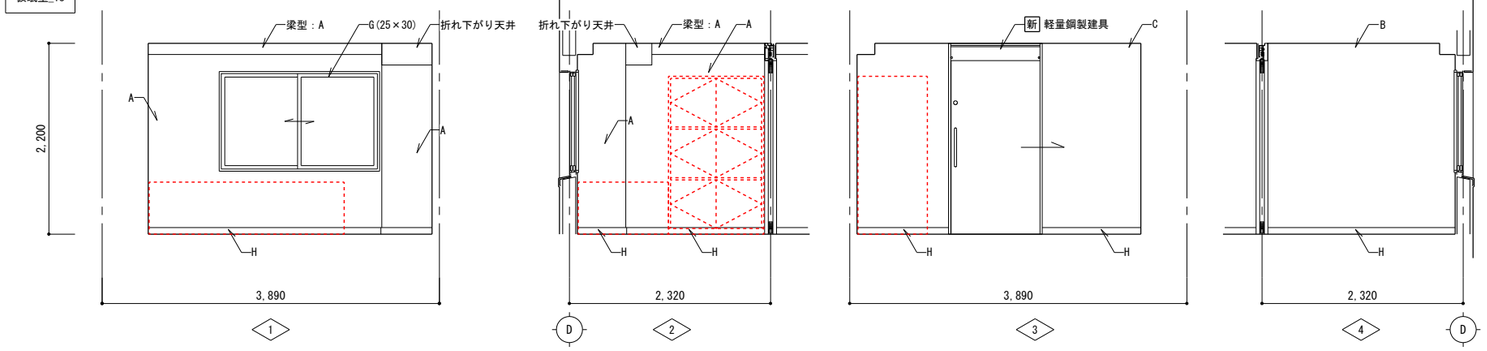
脱衣



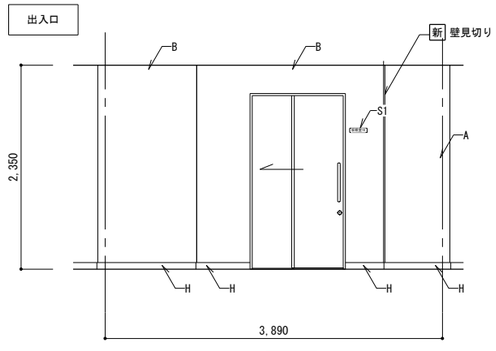
■給湯機配管カバー 1/20



仮眠室_18



出入口



A-A

S1：室名プレート



キープラン

（改修後） 2階 仮眠室_18(女性仮眠室) 展開図 1/50

A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙(梁型共)	E	壁： 新 LGS-65下地耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0	I	壁： 新 LGS-65下地耐水石こうボード t12.5 ＋ t9.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0			
B	壁： 新 LGS-65下地石こうボード t12.5 二重張り ＋ 壁紙	F	壁： 新 LGS-65下地耐水石こうボード t12.5 二重張り ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0	J				
C	壁： 新 遮音構造壁	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K				
D	壁：既設モルタル → 改 GL工法下地耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0	H	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木	L				

→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す

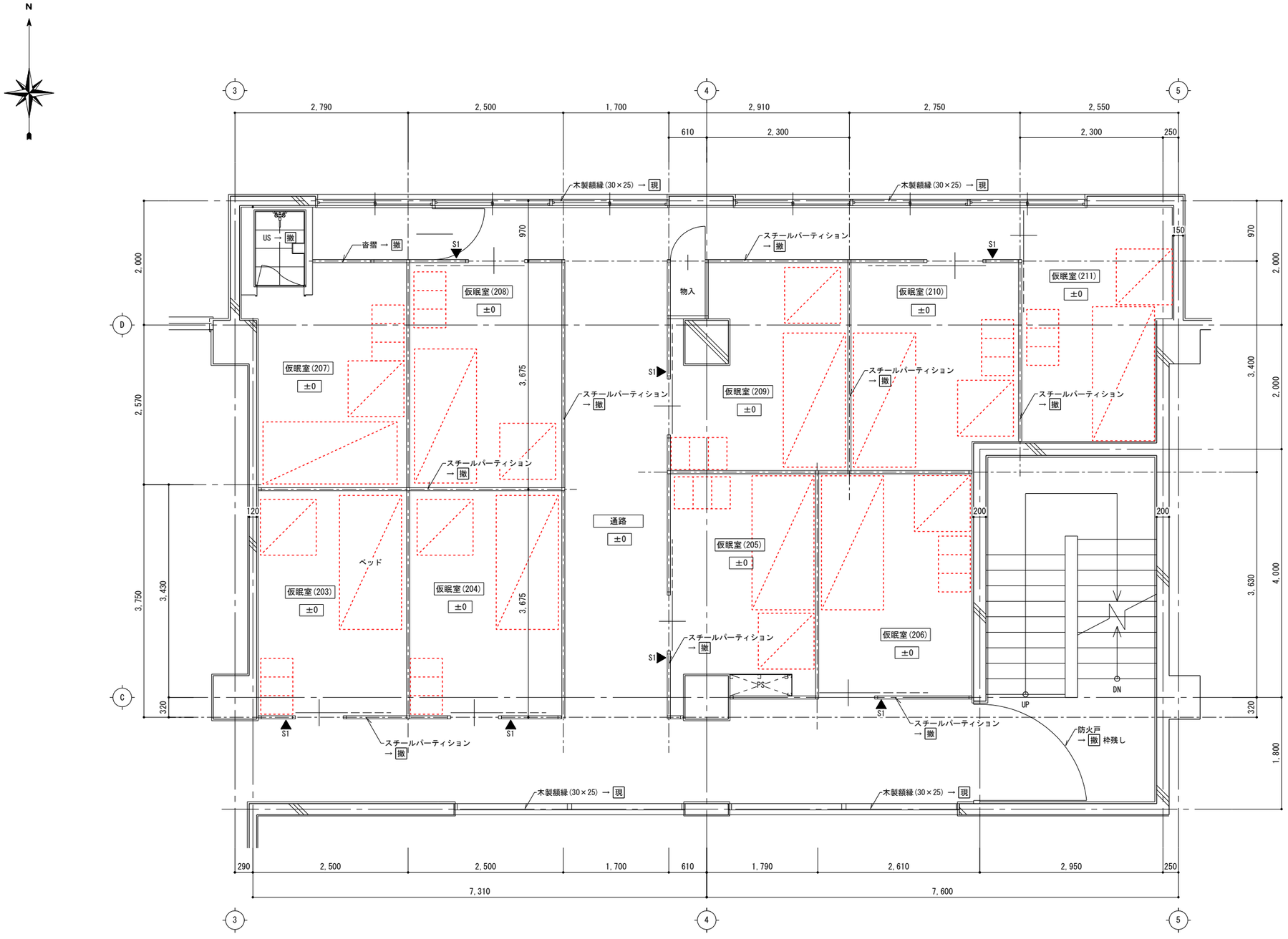
株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修後） 2階 仮眠室_18(女性仮眠室) 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月

1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-064



（改修前） 2階 仮眠室(203-211) 平面詳細図 1：50

仮眠室 (203-211)	床	モルタル下地ビニル床シート t2.0 → 撤 床シートのみ撤去
	巾木	木製巾木 OP H=75 → 撤 塗膜_除去
	壁1	既設RC面：モルタル下地壁紙（梁型共） → 撤 壁紙のみ撤去
	壁2	(仮眠室207のみ)LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 壁紙 → 撤 LGS共撤去
	天井	化粧石こうボード t9.5 → 撤 LGS下地共撤去
	備考	スチールパーティション → 撤
通路	床	モルタル下地カーペットタイル t6.5 → 撤 カーペットタイルのみ撤去
	巾木	木製巾木(WBB) OP H=75 → 撤 塗膜_除去
	壁	既設RC面：モルタル下地壁紙_梁型共 → 撤 壁紙のみ撤去
	天井	化粧石こうボード t9.5 → 撤 LGS下地共撤去
	備考	

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
※特記なき限り現況のままとする

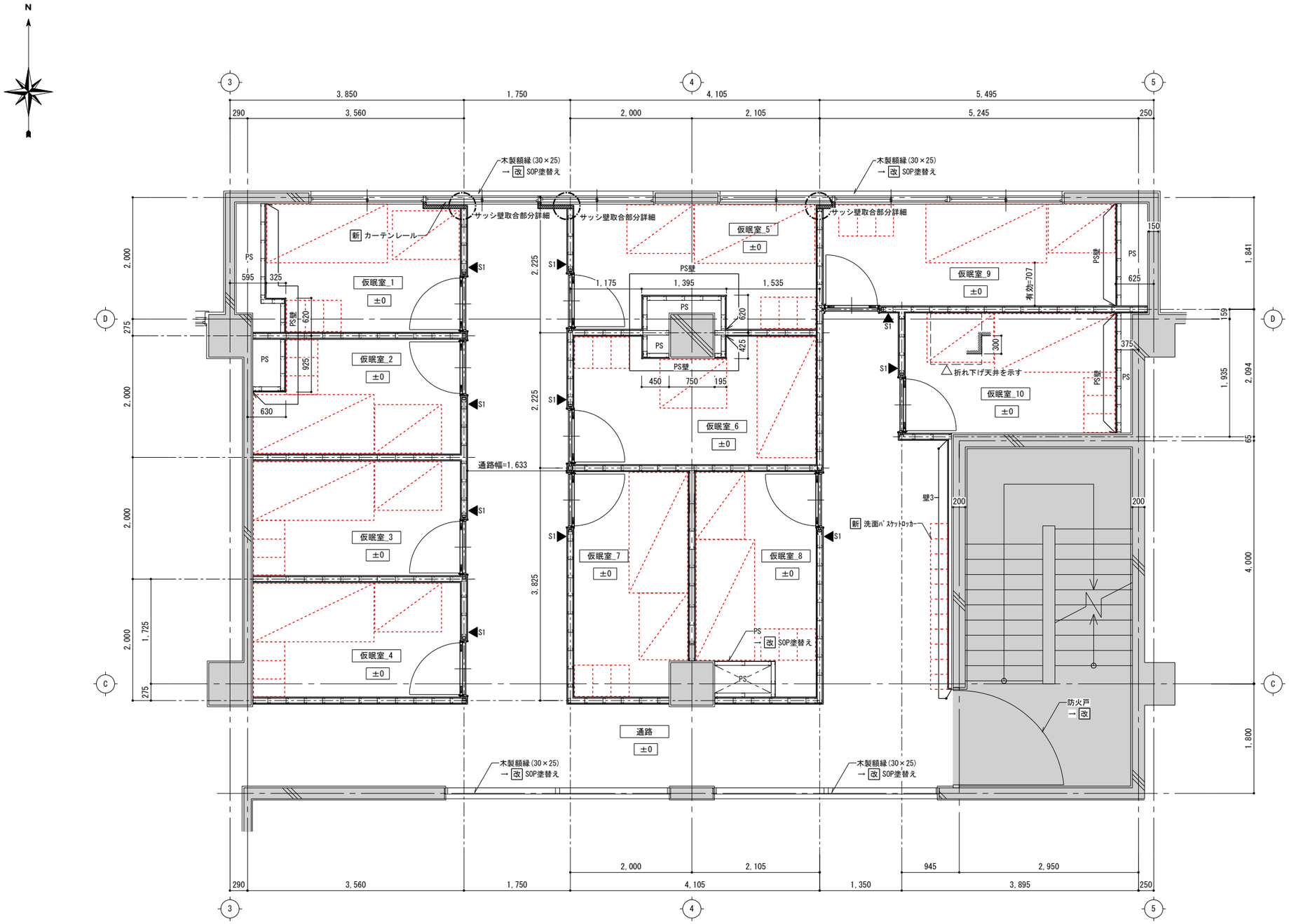
：アスベスト含有材を示す

◀S1：ネームプレート(3人用)×7 → 撤

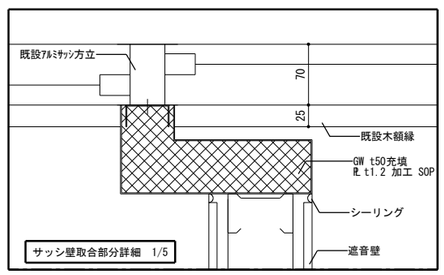
1
4 展開方向 2
3

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	（改修前） 2階 仮眠室(203-211) 平面詳細図	縮尺 A2 1：50 A3 1：71
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. A-065



（改修後） 2階 仮眠室_1-10 平面詳細図 1：50



仮眠室 (1-10)	床	モルタル → 改 下地処理の上、カーペットタイル t6.5
	巾木1	木製 H=75 → 改 下地調整の上、SOP
	巾木2	新 長尺塩ビソフト巾木 H=75
	壁1	既設RC面：モルタル → 改 下地調整の上、壁紙
	壁2	新 遮音構造壁
	天井	新 LGS下地化粧石こうボード t9.5
通路	床	モルタル → 改 下地処理の上、カーペットタイル t6.5
	巾木1	木製 H=75 → 改 下地調整の上、SOP
	巾木2	新 長尺塩ビソフト巾木 H=75
	壁	既設RC面：モルタル → 改 下地調整の上、壁紙
	壁2	新 遮音構造壁
	壁3	新 LGS-50下地石こうボード t12.5 ＋ 合板 t4 ＋ ビニルクロス
	天井	新 LGS下地化粧石こうボード t9.5
共通事項	PS壁	新 LGS-65@450下地 石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス （出隅：アルミコーナー 25×25） （既設柱等モルタル面取合い：塩ビ見切り）

→ 現 …現況のまま
→ 改 …今回工事（既設改修）を示す
新 …今回工事（新設）を示す
※特記なき限り現況のままとする
改修範囲外

：アスベスト含有材を示す

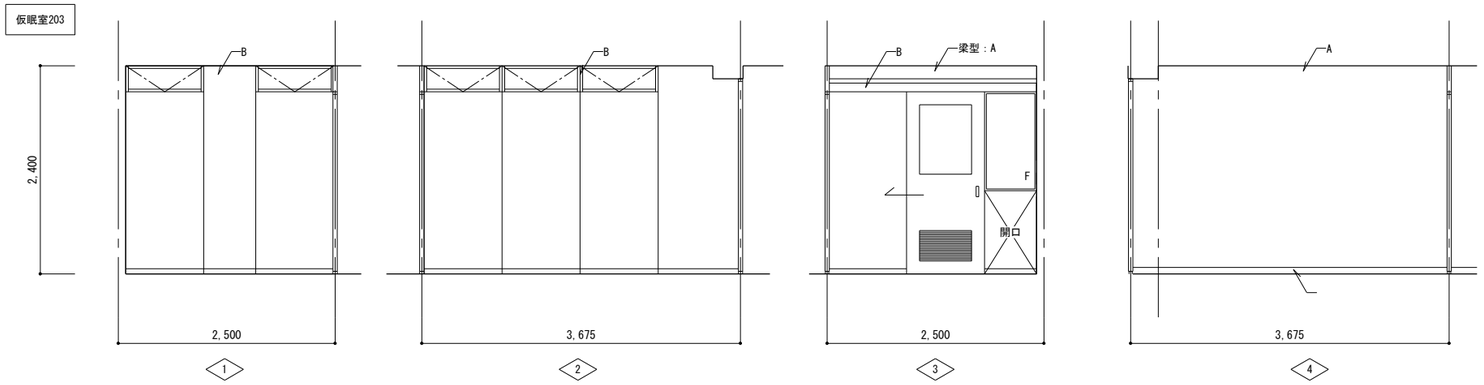
◀S1：平付け型アクリルプレート（200×50 各室番号）×10

展開方向 1 2 3 4

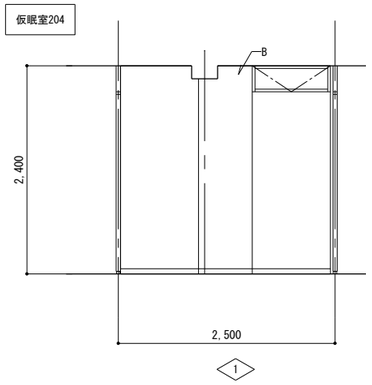
株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

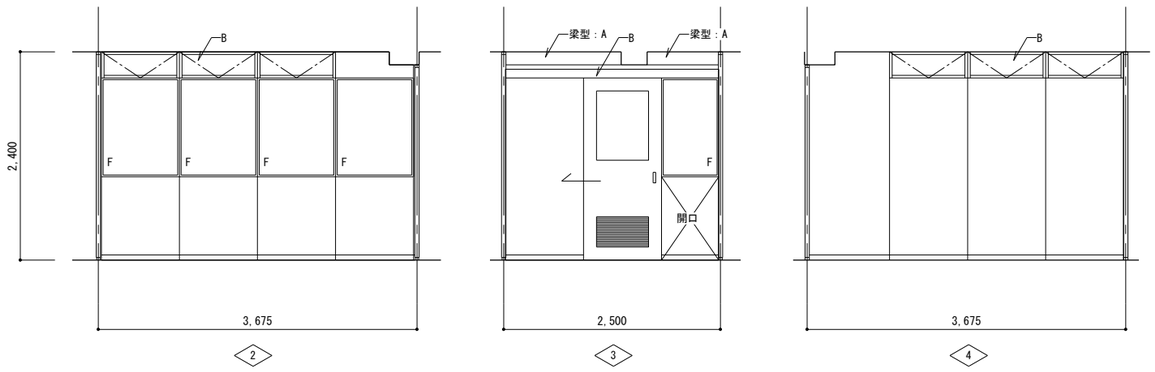
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修後） 2階 仮眠室 1-10 平面詳細図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-066

仮眠室203

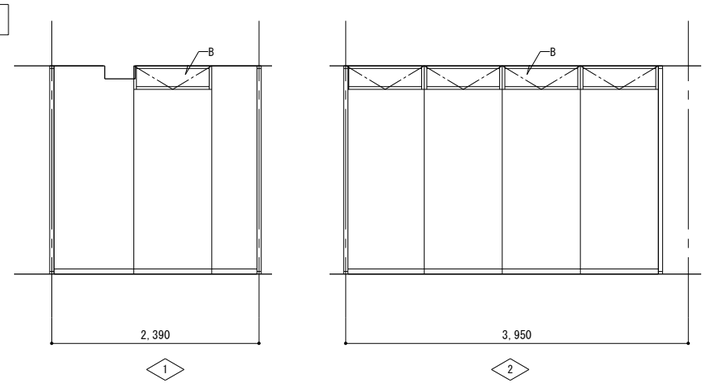


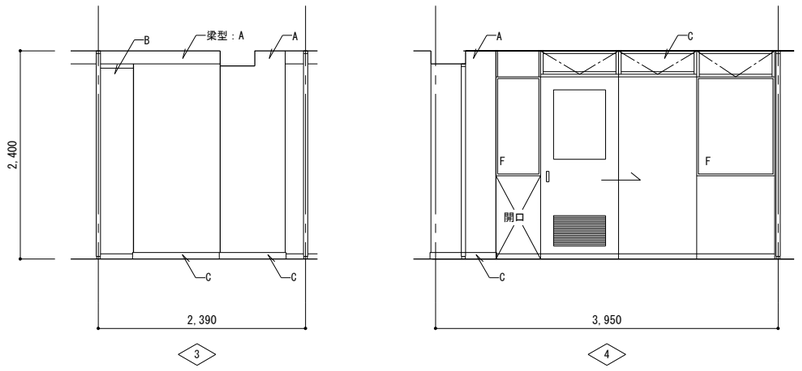
仮眠室204





仮眠室205





（改修前） 2階 仮眠室(203-205) 展開図 1/50

A	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙(梁型共)	C	現況	巾木：木製 OP H=75	E	現況		G	現況	木額縁
	措置	→ 撤 WPのみ撤去		措置	→ 現 LGS部分撤去		措置			措置	→ 現
B	現況	スチールパーティション	D	現況		F	現況		H	現況	
	措置	→ 撤		措置			措置			措置	

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称 （改修前） 2階 仮眠室(203-205) 展開図

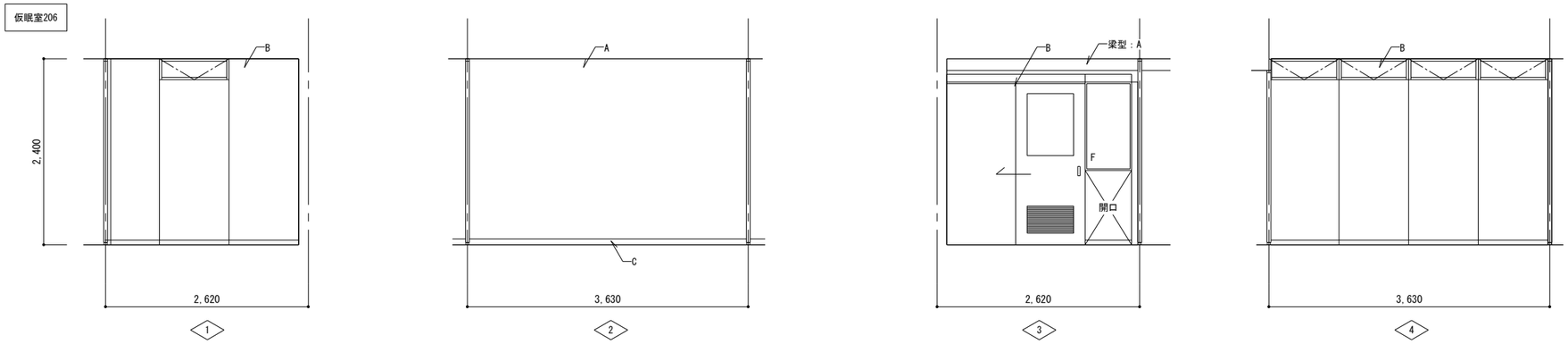
縮尺 A2 1：50 / A3 1：71

製図 令和08年03月

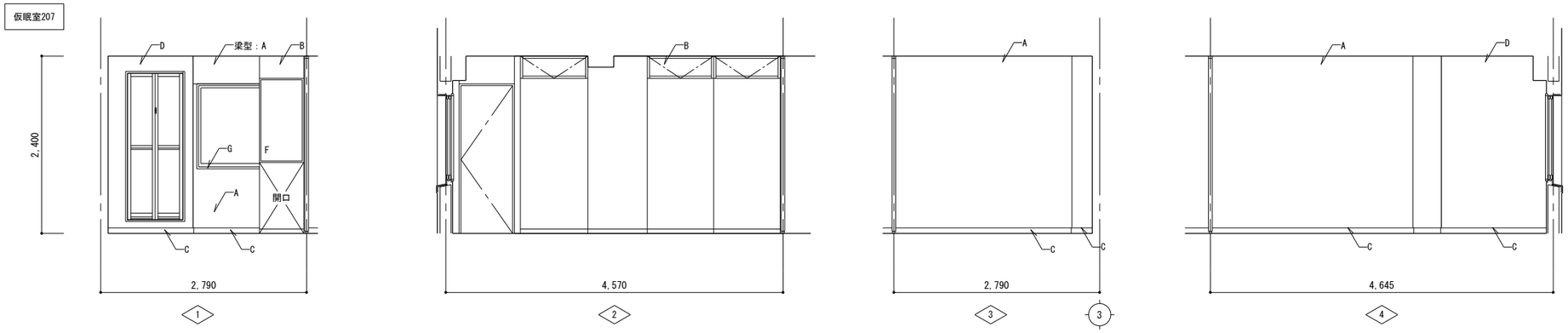
1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-067

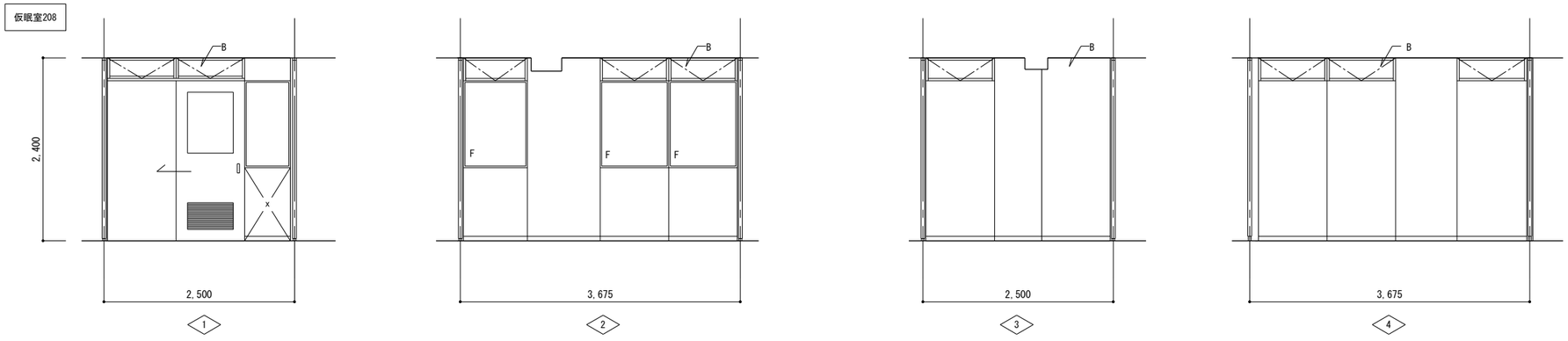
仮眠室206



仮眠室207



仮眠室208



（改修前） 2階 仮眠室(206-208) 展開図 1/50

A	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙(梁型共)	C	現況	巾木：木製 OP H=75	E	現況		G	現況	木額縁
	措置	→ 撤 WPのみ撤去		措置	→ 現 LGS部分撤去		措置			措置	→ 現
B	現況	スチールパーティション	D	現況	壁：LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 壁紙	F	現況		H	現況	
	措置	→ 撤		措置	→ 撤 LGS共撤去		措置			措置	

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称 （改修前） 2階 仮眠室(206-208) 展開図

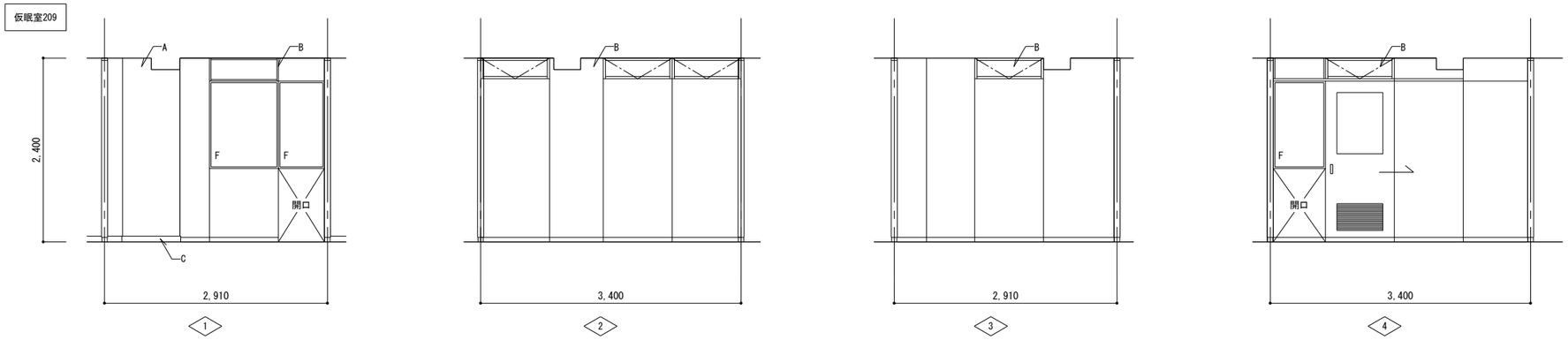
縮尺 A2 1：50 / A3 1：71

製図 令和08年03月

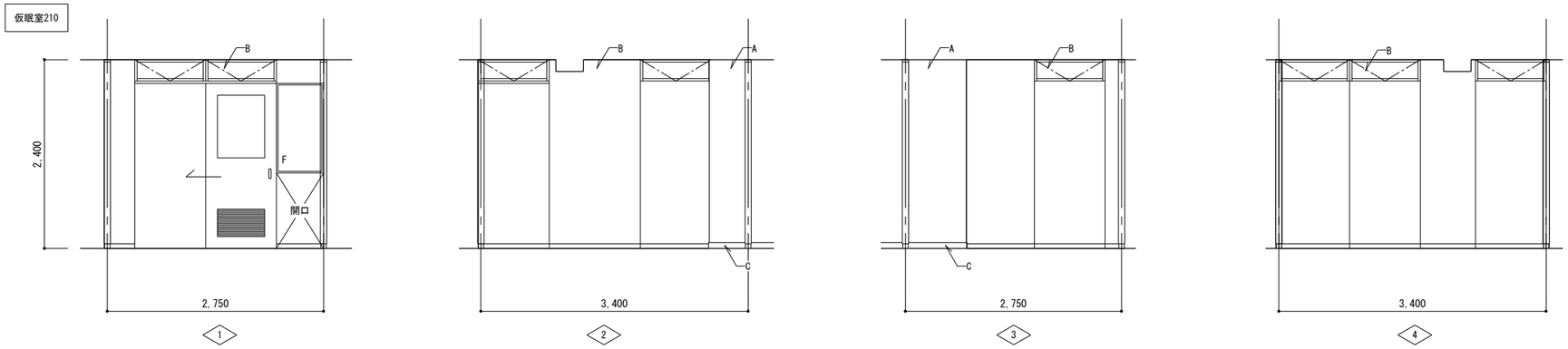
1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-068

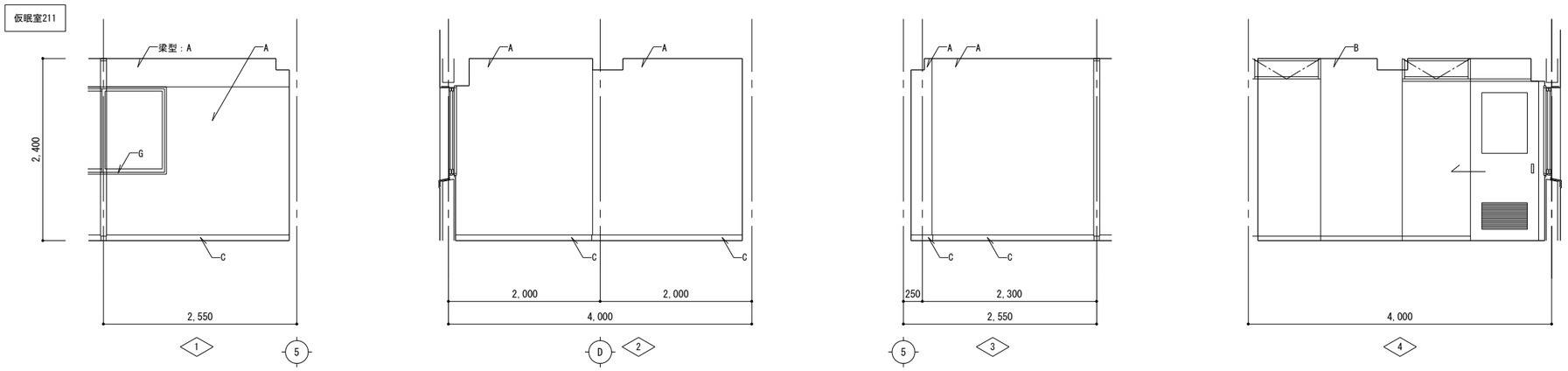
仮眠室209



仮眠室210



仮眠室211



（改修前） 2階 仮眠室(209-211) 展開図 1/50

A	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙(梁型共)	C	現況	巾木：木製 OP H=75	E	現況		G	現況	木額縁
	措置	→ 撤 WPのみ撤去		措置	→ 現 LGS部分撤去		措置			措置	→ 現
B	現況	スチールパーティション	D	現況		F	現況		H	現況	
	措置	→ 撤		措置			措置			措置	

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

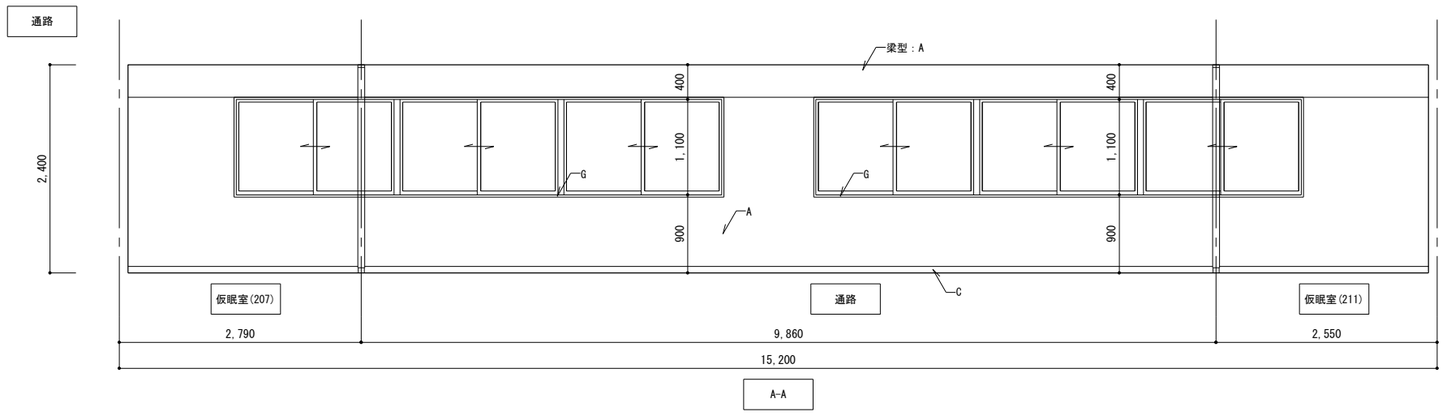
図面名称 （改修前） 2階 仮眠室(209-211) 展開図

縮尺 A2 1：50 A3 1：71

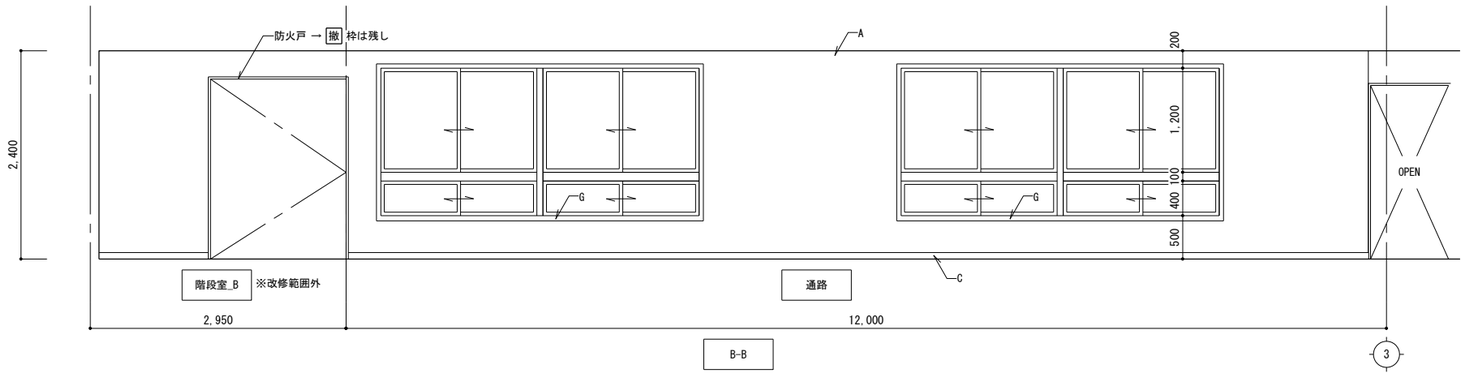
製図 令和08年03月

1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-069

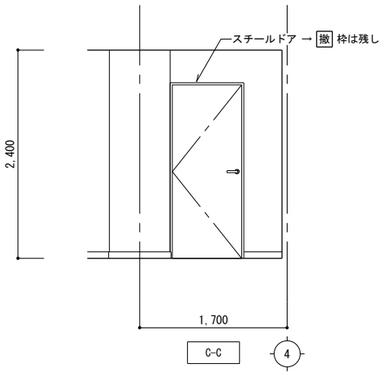


A-A



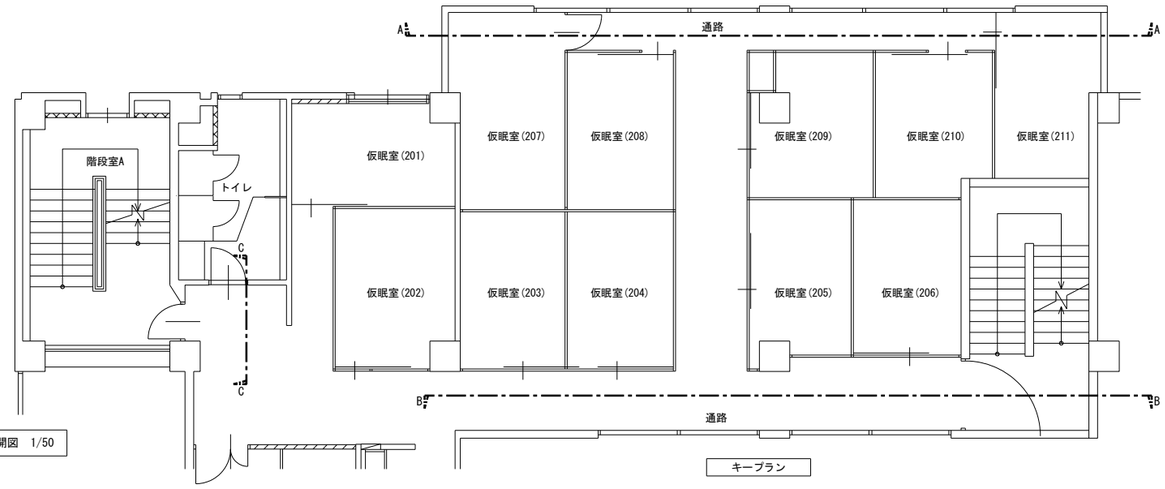
B-B

3



C-C

4



（改修前） 2階 通路 展開図 1/50

キープラン

A	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙(梁型共)	C	現況	巾木：木製 OP H=75	E	現況		G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事(既設撤去)を示す	
	措置	→ 撤 WPのみ撤去		措置	→ 現		措置			措置	→ 現		
B	現況		D	現況		F	現況		H	現況			
	措置			措置			措置			措置			

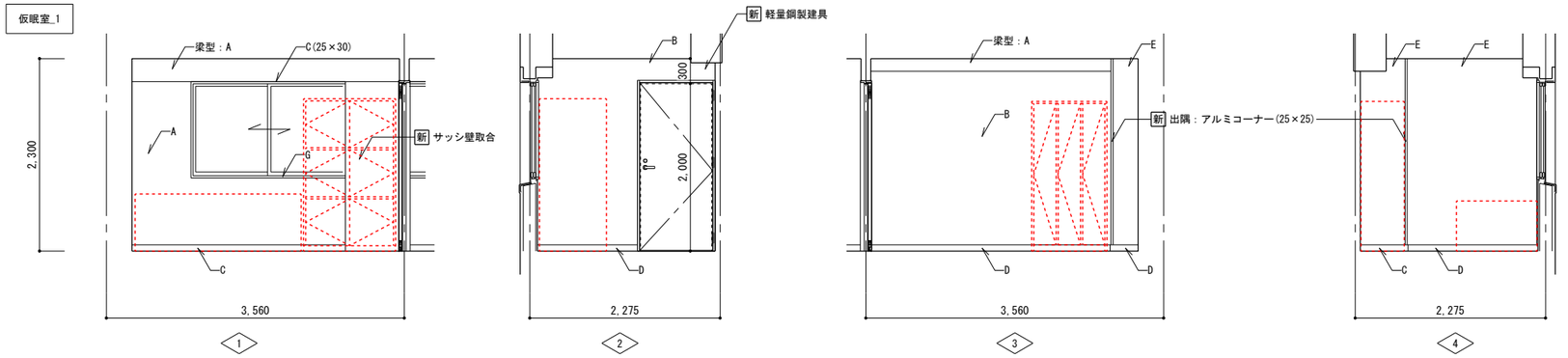
株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

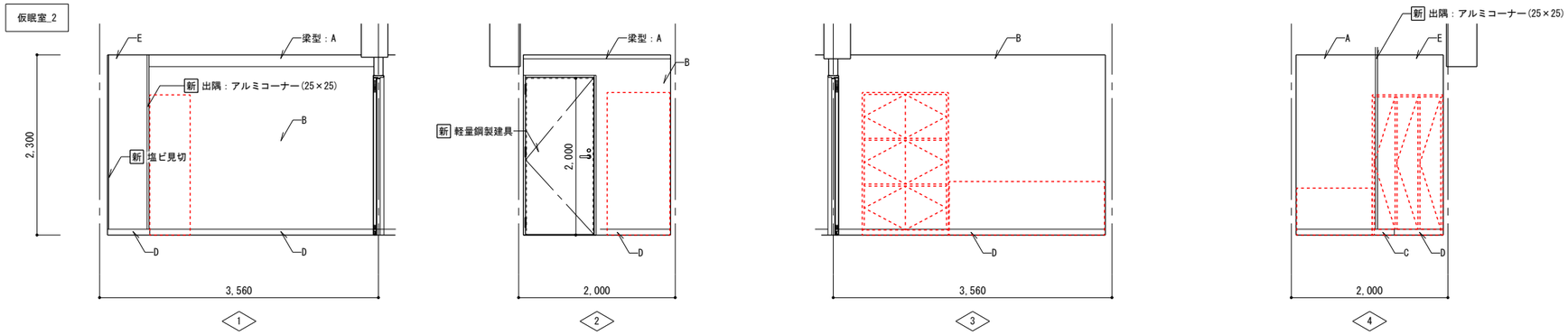
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前） 2階 通路 展開図
縮尺	A2 1：50 / A3 1：71
製図	令和08年03月
No.	A-070

1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

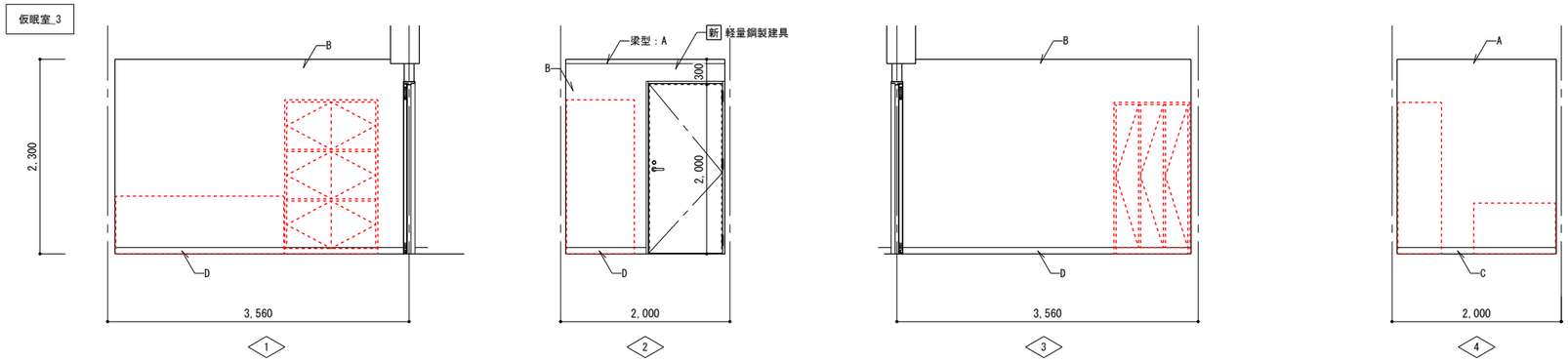
仮眠室_1



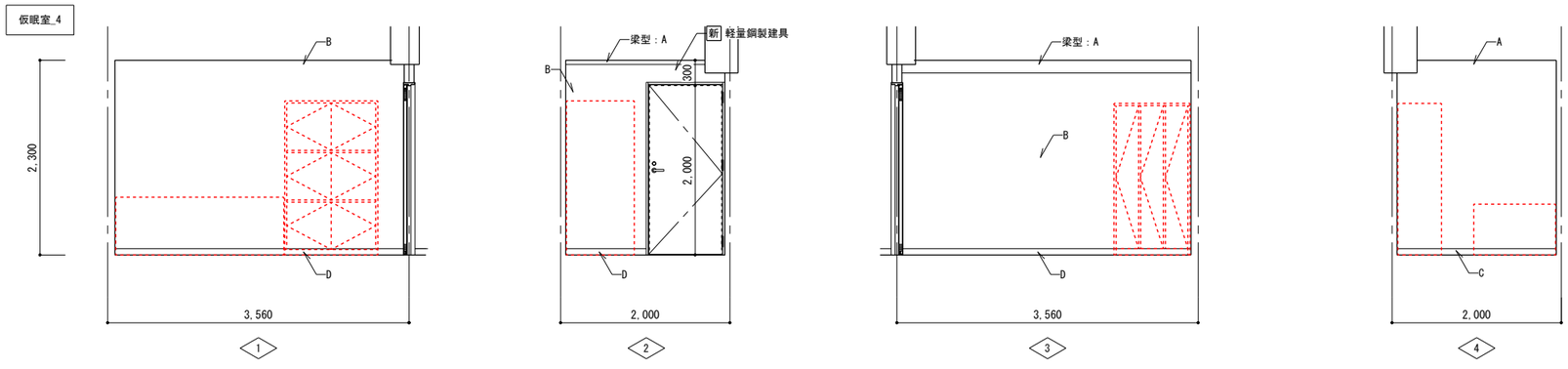
仮眠室_2



仮眠室_3



仮眠室_4



（改修後） 2階 仮眠室_1-4 展開図 1/50

A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙(梁型共)	E	PS壁： 新 LGS-65下地 石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス	I				→ 改 …今回工事(既設改修)を示す 新 …今回工事(新設)を示す
B	壁： 新 遮音構造壁	F		J				
C	巾木：既設木製巾木 → 改 SOP塗替え	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K				
D	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木	H		L				

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

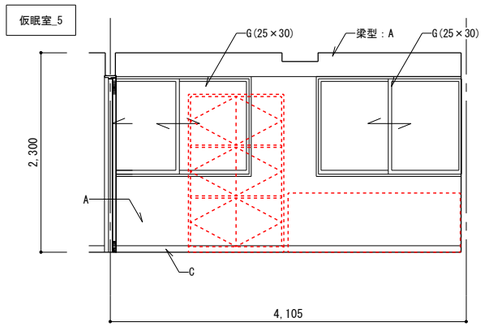
図面名称 （改修後） 2階 仮眠室 1-4 展開図

縮尺 A2 1：50 A3 1：71

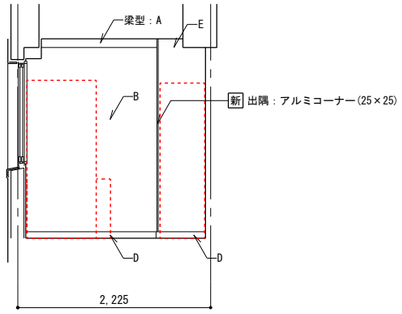
製図 令和08年03月

No. A-071

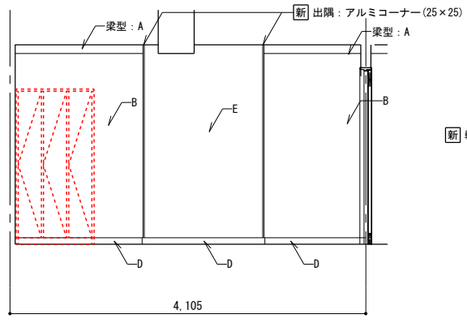
仮眠室_5



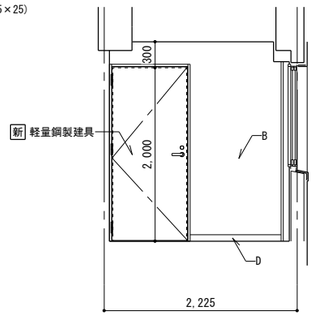
1



2

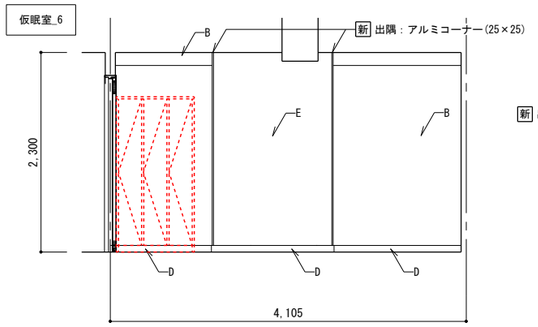


3

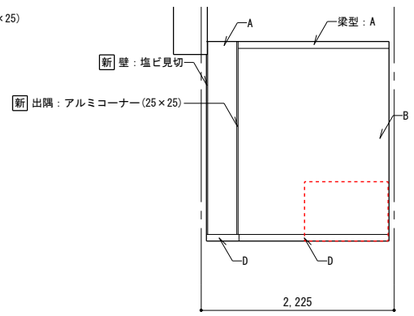


4

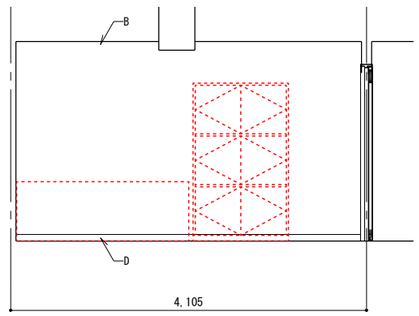
仮眠室_6



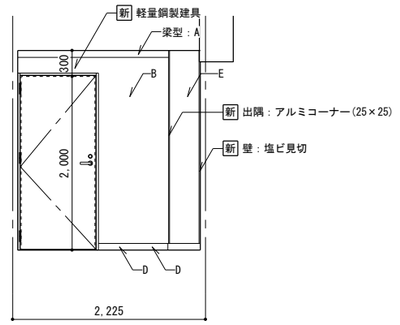
1



2

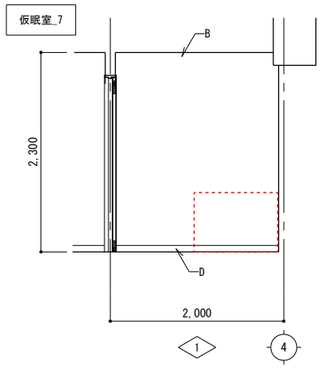


3

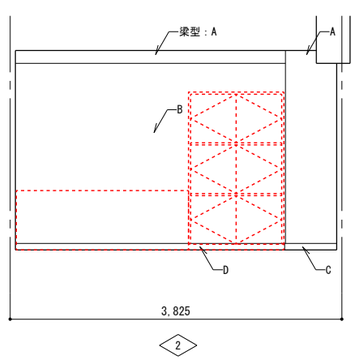


4

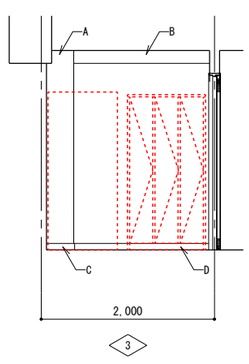
仮眠室_7



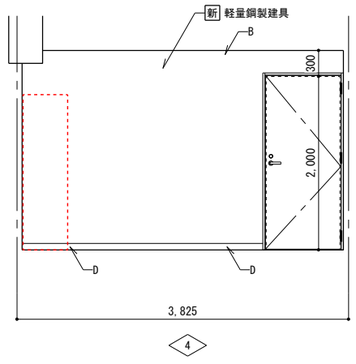
1 4



2

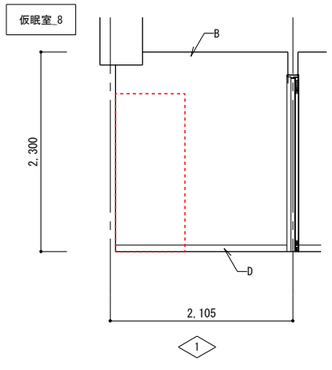


3

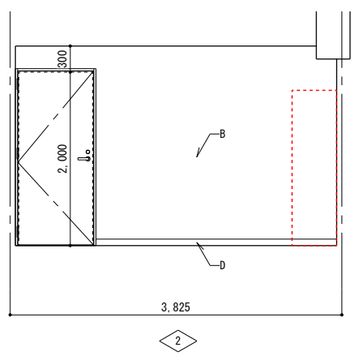


4

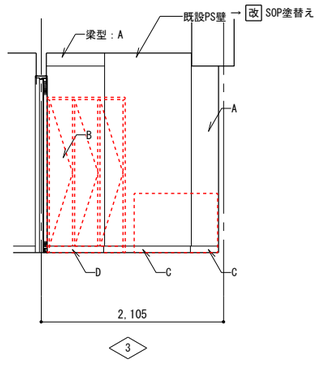
仮眠室_8



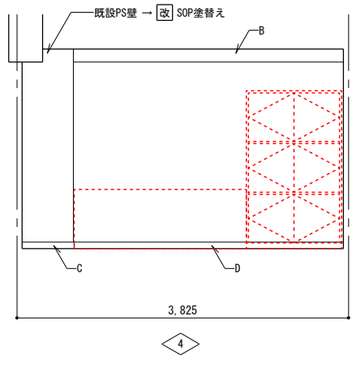
1



2



3



4

(改修後) 2階 仮眠室_5-8 展開図 1/50

A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙(梁型共)	E	PS壁： 新 LGS-65下地 石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス	I			
B	壁： 新 遮音構造壁	F		J			
C	巾木：既設木製巾木 → 改 SOP塗替え	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K			
D	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木	H		L			

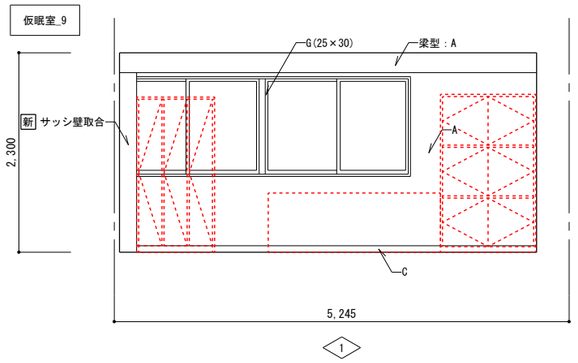
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す

株式会社 松浦建築事務所

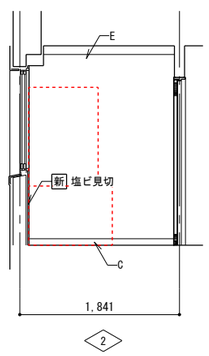
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事		
図面名称	(改修後) 2階 仮眠室_5-8 展開図	縮尺	A2 1：50 A3 1：71
		製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No.	A-072

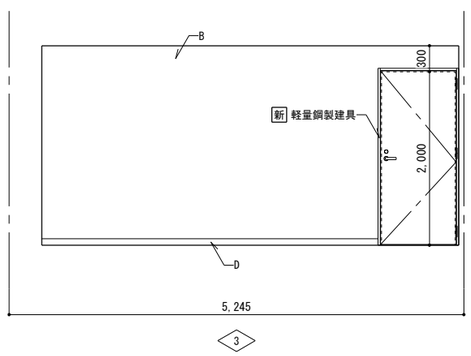
仮眠室_9



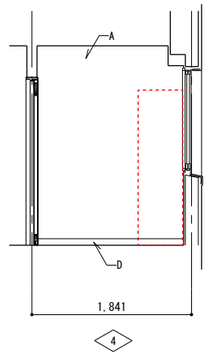
1



2

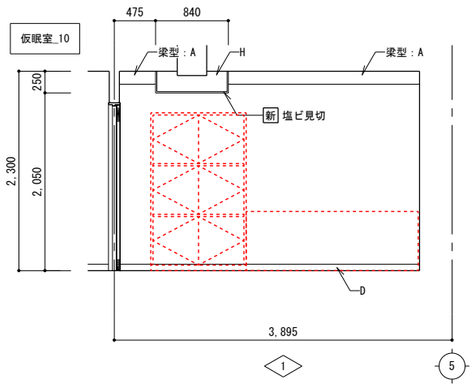


3

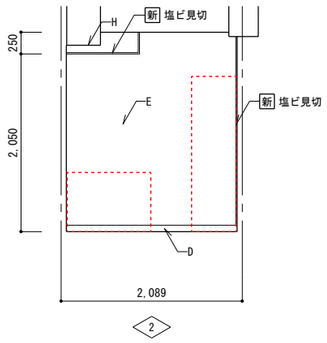


4

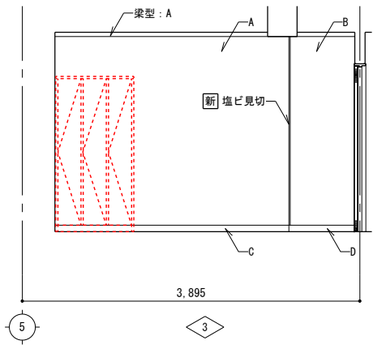
仮眠室_10



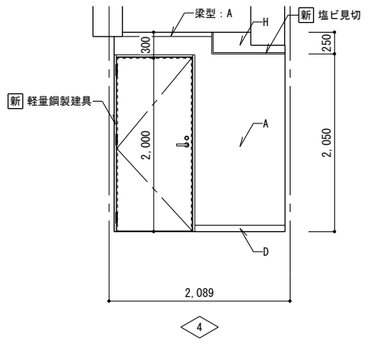
1 5



2



5 3



4

（改修後） 2階 仮眠室_9-10 展開図 1/50

A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙(梁型共)	E	PS壁： 新 LGS-65下地 石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス	I				→ 改 …今回工事(既設改修)を示す 新 …今回工事(新設)を示す
B	壁： 新 遮音構造壁	F		J				
C	巾木：既設木製巾木 → 改 SOP塗替え	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K				
D	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木	H	折れ下げ天井： 新 化粧石こうボード t9.5	L				

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

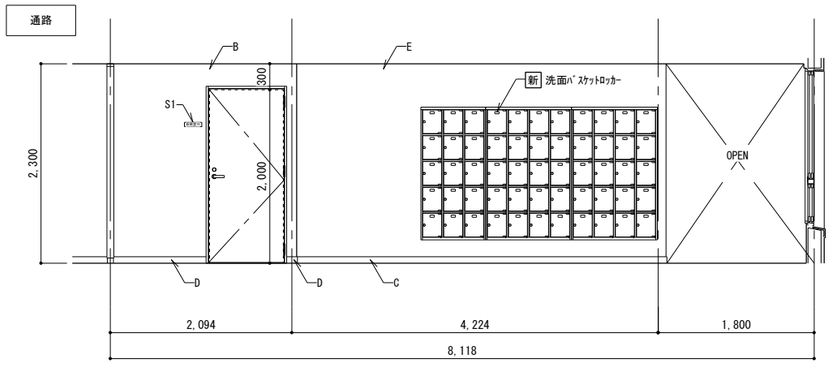
図面名称 （改修後） 2階 仮眠室 9-10 展開図

縮尺 A2 1：50 A3 1：71

製図 令和08年03月

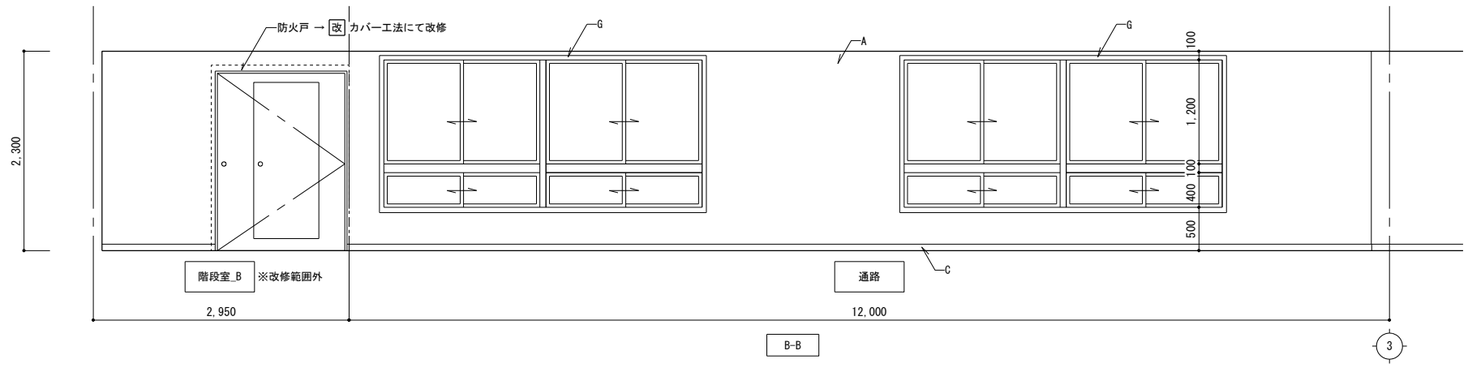
1級建築士 登録第92794号 松浦 孔明

No. A-073



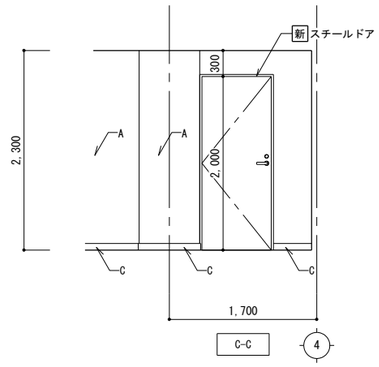
A-A

S1：室名プレート



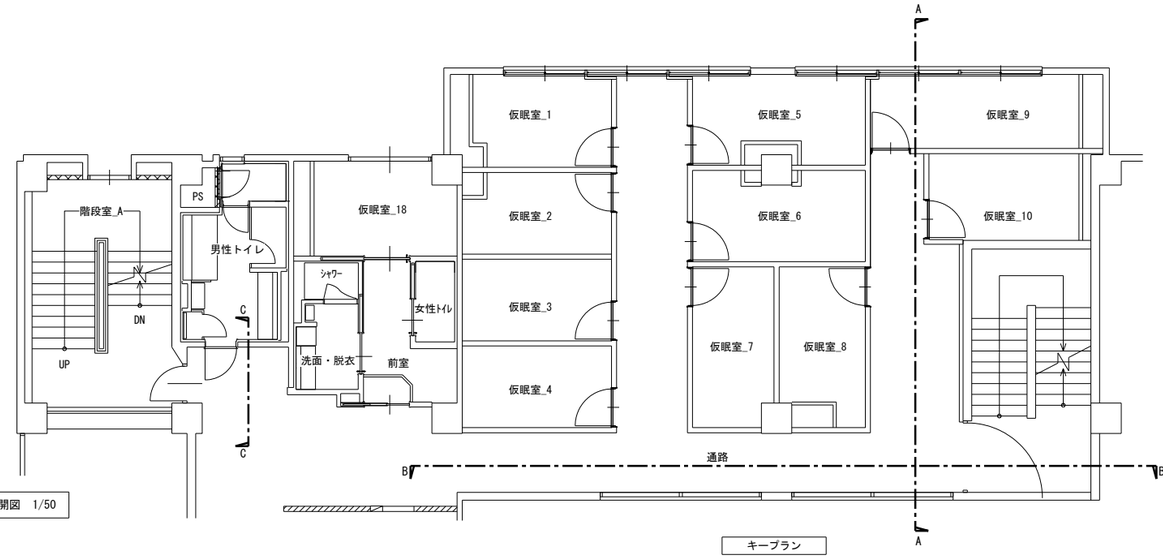
B-B

3



C-C

4



（改修後） 2階 通路 展開図 1/50

キープラン

A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙(梁型共)	E	PS壁： 新 LGS-65下地 石こうボード t9.5 ＋ t12.5 ＋ ビニルクロス	I			
B	壁： 新 遮音構造壁	F		J			
C	巾木：既設木製巾木 → 改 SOP塗替え	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K			
D	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木	H		L			

→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す

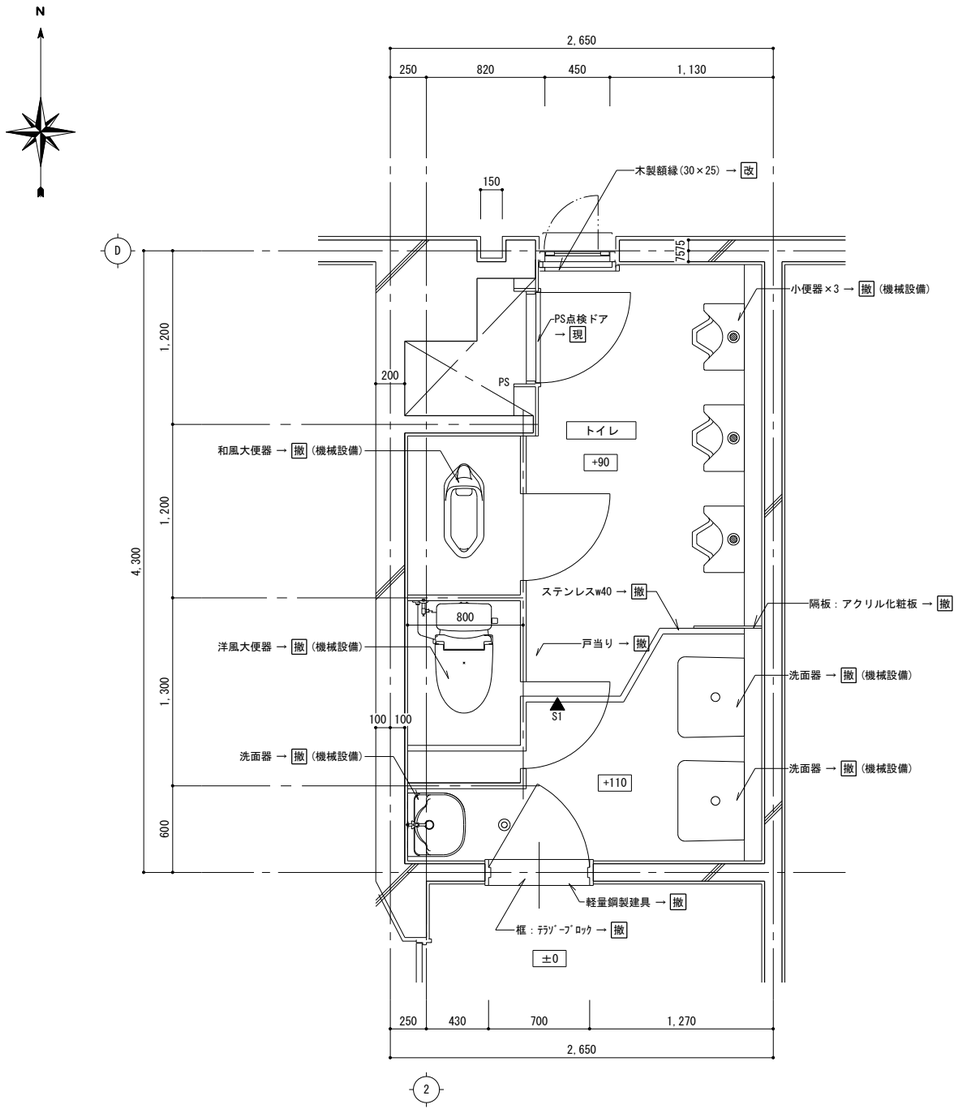
株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

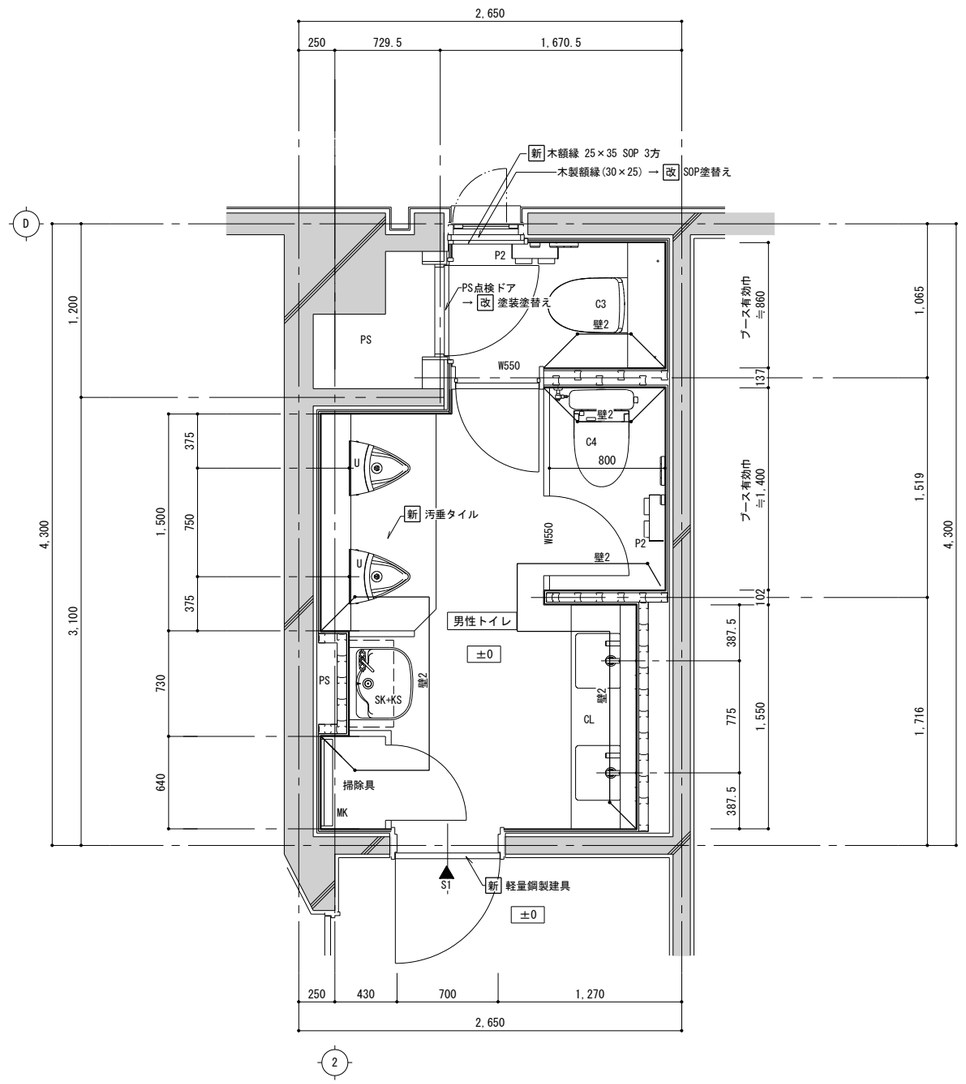
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修後） 2階 通路 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月

1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-074



（改修前） 2階 トイレ 平面詳細図 1/30



（改修後） 2階 男性トイレ 平面詳細図 1/30

◀S1：平付け型アクリルプレート(御手洗) → 撤

トイレ	床	モルタル下地磁器質モザイクタイル → 撤 モルタル共撤去
	巾木	
	壁	モルタル下地半磁器質100角タイル(梁型共) → 撤 タイルのみ撤去
	天井	石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0_EP → 撤 LGS下地共撤去
	備考	トイレブース、掃除流し → 撤 便器類一式、洗面器 → 撤

男性トイレ	床	既設RC面：モルタル → 改 捨てコンクリート t50 ＋ ビニル床シート t2.0
	巾木	新 メタル巾木 H=75
	壁1	既設RC面：モルタル → 改 GL工法 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0（突付目地）
	壁2	新 LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0（突付目地）
	天井	新 LGS下地多機能ケイ酸カルシウム板 t6.0
	備考	梁型 → 改 下地調整の上、EP-G 新 トイレブース 新 衛生器具一式(機械設備)右記表参照

符号	衛生器具名称(機械設備)
CL	新 カウンター式手洗器(フロントパネル付)
C3	新 壁掛大便器セット(フラッシュタンク式)+洗浄便座
C4	新 床置き大便器セット(ロータンク)
P2	新 2連紙巻器
U	新 壁掛け小便器
SK	新 マルチシンク
MK	新 掃除具掛け(モップ掛けパネル)
KS	新 小物収納パネル

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
→ 新 …今回工事(新設)を示す
※特記なき限り現況のままとする
改修範囲外

：アスベスト含有材を示す

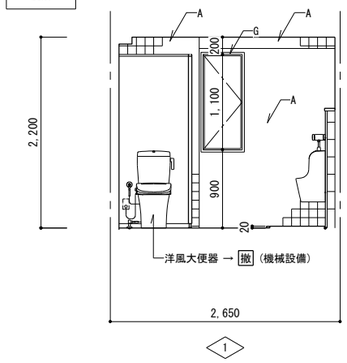
◀改修前_S1：平付け型アクリルプレート(御手洗)→ 撤
◀改修後_S1：フィルムシートサイン(ピクト 男子)

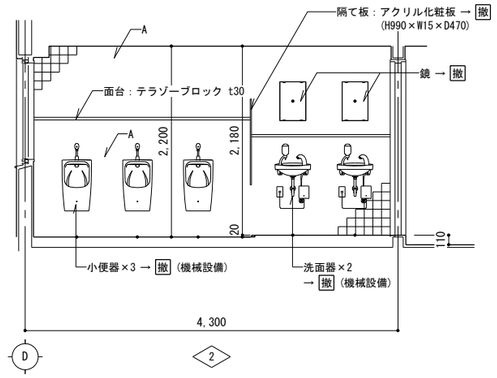
1
4 展開方向 2
3

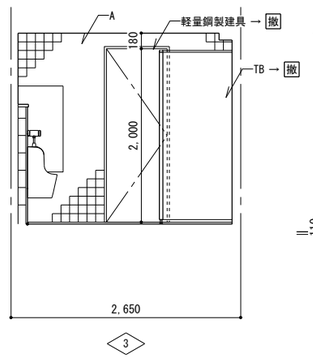
株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

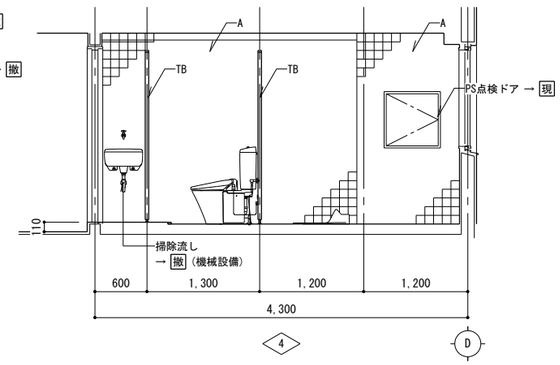
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前後） 2階 トイレ、男性トイレ 平面詳細図
縮尺	A2 1：30 / A3 1：43
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-075

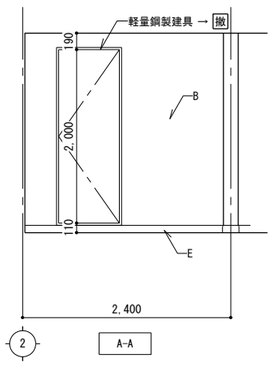
便所



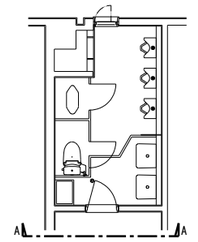








（改修前） 2階 トイレ 展開図 1/50

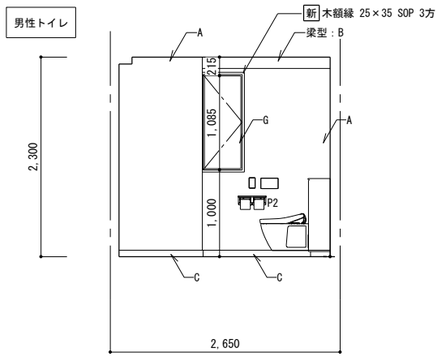


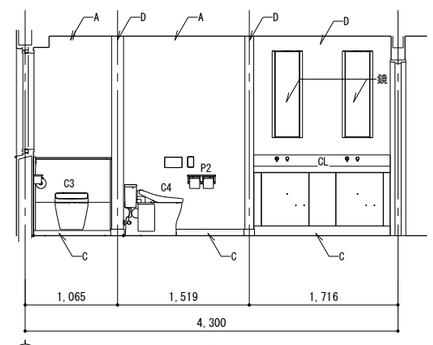
キープラン

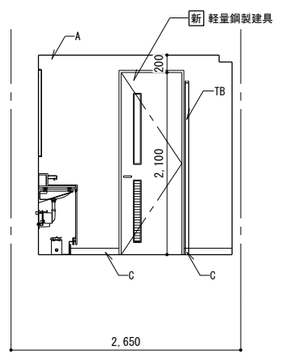
A	現況	壁：モルタル下地半磁器質100角タイル_梁型共	C	現況		E	現況	巾木：木製 0P H=75	G	現況	木額縁
	措置	→ 撤 タイルのみ撤去		措置			措置	→ 現		措置	→ 現
B	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙（梁型共）	D	現況		F	現況		H	現況	
	措置	→ 撤 壁紙のみ撤去		措置			措置			措置	

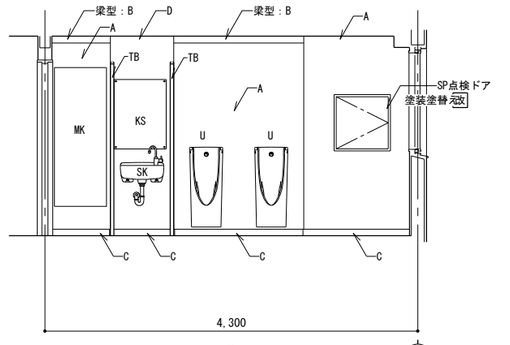
→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す

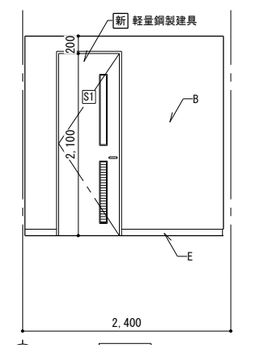
男性トイレ







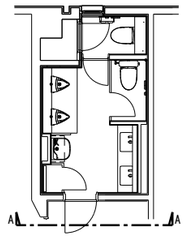




S1：男子ピクトサイン

（改修後） 2階 男性トイレ 展開図 1/50

符号	衛生器具名称(機械設備)
CL	新 カウンター式手洗器(フロントパネル付)
C3	新 壁掛大便器セット(フラッシュタンク式)+洗浄便座
C4	新 床置き大便器セット(ロータンク)
P2	新 2連紙巻器
U	新 壁掛け小便器
SK	新 マルチシンク
MK	新 掃除具掛け(モップ掛けパネル)
KS	新 小物収納パネル



キープラン

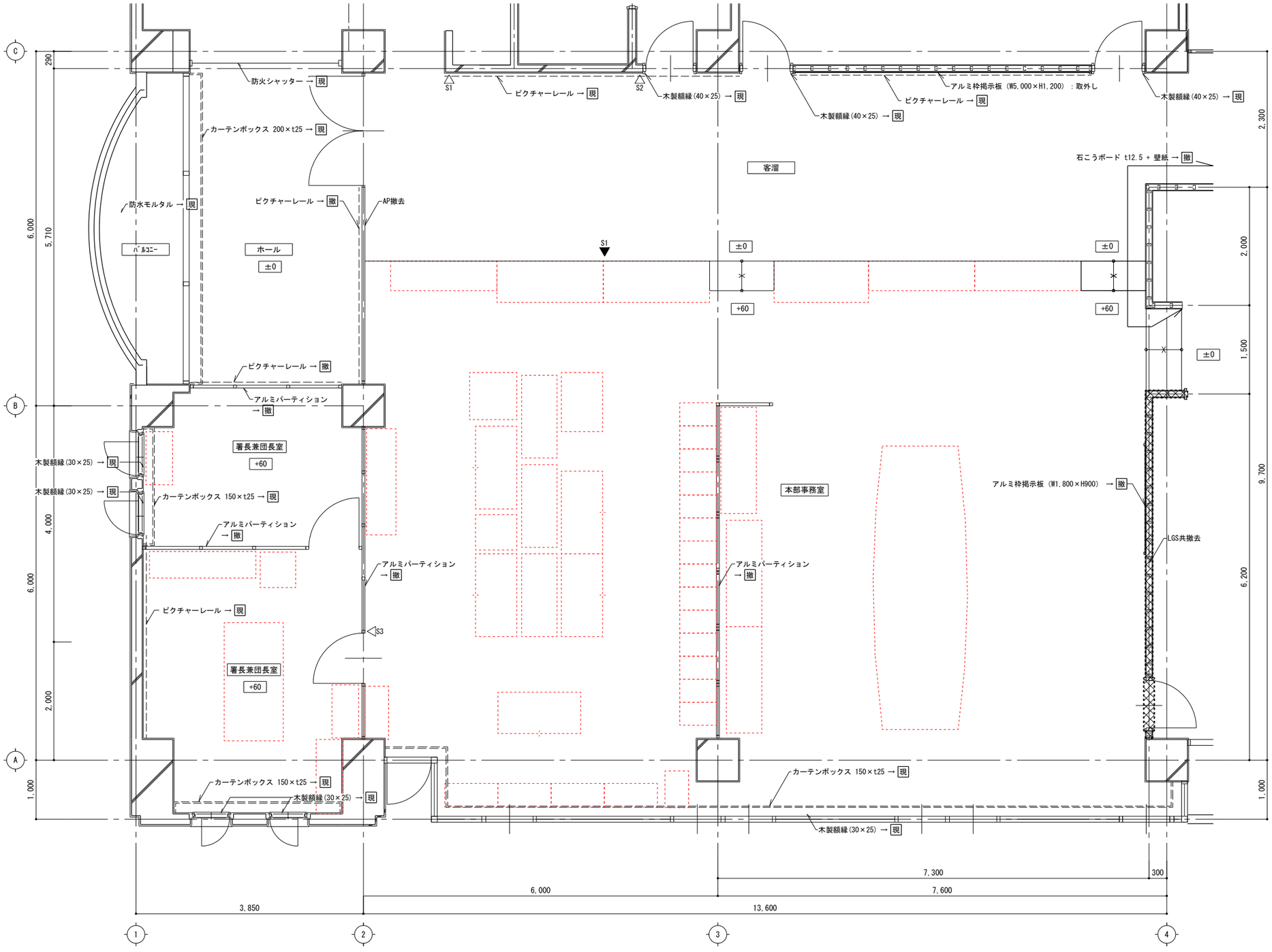
A	壁：新 GL工法下地 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0(突付目地)	E	既設巾木：木製 → 改 SOP塗替え	I			
B	壁：既設モルタル面 → 改 下地調整の上、壁紙	F		J			
C	巾木：新 メタル巾木 H=75	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K			
D	壁：新 LGS下地下地 ＋ 耐水石こうボード t12.5 **＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0（突付目地）**	H		L			

→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前後） 2階 トイレ、男子トイレ 展開図
縮尺	A2 1：50 / A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-076



ホール	床	モルタル下地ビニル床シート t2.0 → 撤 床シートのみ撤去
	巾木	テラゾーブロック、木製 OP H=75 → 現
	壁	モルタル金ゴテ下地_吹付タイル → 現
	天井	石こうボード t9.0下地 ＋ ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(立体模様) t12 → 撤 LGS下地共撤去
客溜	床	モルタル下地ビニル床シート t2.0 → 撤 床シートのみ撤去
	巾木	木製 OP H=75 → 撤 塗膜_除去
	壁	モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙(ゾラコート柄) → 撤 壁紙のみ撤去
	壁2	LGS下地石こうボード t12.5 ＋ 壁紙 → 撤 石こうボード共撤去
	天井	石こうボード t9.0下地 ＋ ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(立体模様) t12 → 撤 LGS下地共撤去
署長兼団長室	床	OAフロアー下地 置敷ビニル床タイル t5.0 → 撤 OAフロア共撤去
	巾木	木製 OP H=75 → 撤 塗膜_除去
	壁	モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙(ゾラコート柄) → 撤 壁紙のみ撤去
	天井	石こうボード t9.0下地 ＋ ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(立体模様) t12 → 撤 LGS下地共撤去
本部事務所	床	OAフロアー下地置敷ビニル床タイル t5.0 → 撤 OAフロア共撤去
	巾木	木製 OP H=75 → 撤 塗膜_除去
	壁	モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙(ゾラコート柄) → 撤 壁紙のみ撤去
	壁2	LGS下地石こうボード t12.5 ＋ 壁紙 → 撤 壁紙のみ撤去、指定範囲のみLGS共撤去
	天井	石こうボード t9.0下地 ＋ ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(立体模様) t12 → 撤 LGS下地共撤去

（改修前） 3階 ホール、署長兼団長室、本部事務所 平面詳細図 1/50

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
※特記なき限り現況のままとする

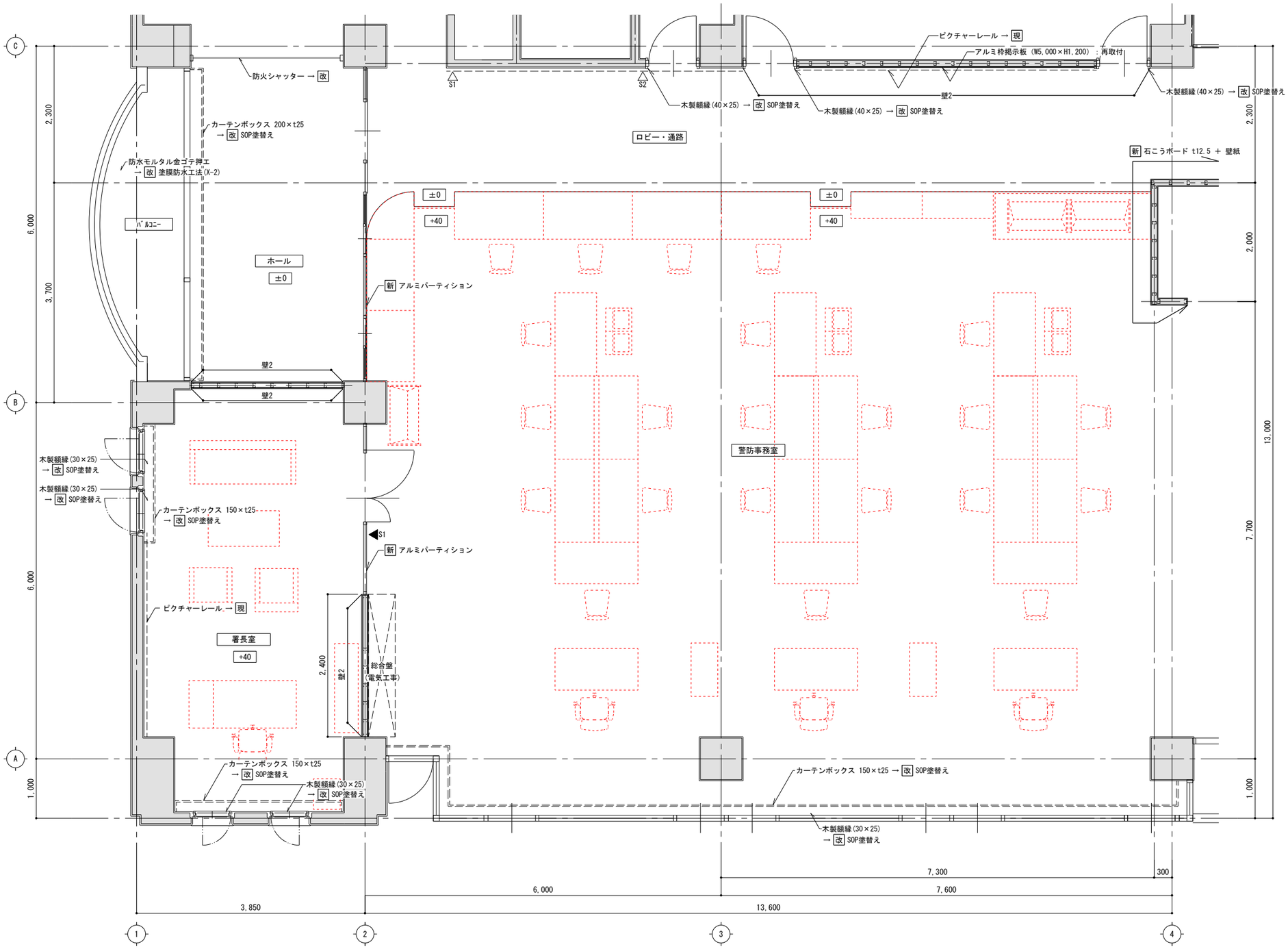
：アスベスト含有材を示す
：床・壁撤去範囲

◁S1：突出し型室名札(御手洗) → 撤
◁S2：突出し型室名札 → 撤
◁S3：突出し型室名札(打合せ室) → 撤
◀S1：吊り下げ案内板(予防課) → 撤

展開方向 1 2 3 4

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前） 3階 本部事務室、署長兼団長室、ホール 平面詳細図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-077



ホール	床	既設モルタル → 改 下地調整の上、ビニル床シート t2.0
	巾木	テラゾーブロック、木製 OP H=75 → 現
	巾木2	新 長尺塩ビソフト巾木 H=75
	壁	既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙
	壁2	新 LGS-65 ＋ 石こうボード t12.5 二重張り ＋ 壁紙
	天井	新 LGS下地石こうボード t9.5下地 ＋ ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 t12
ロビー・通路	床	既設モルタル → 改 下地調整の上、ビニル床シート t2.0
	巾木	既設木製巾木 → 改 下地処理の上、SOP塗装
	巾木2	新 長尺塩ビソフト巾木 H=75
	壁	既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙
	壁2	既設LGS → 改 石こうボード t12.5 ＋ 壁紙
	天井	新 LGS下地石こうボード t9.5下地 ＋ ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 t12
署長室	床	既設モルタル → 改 OAフロアー H40 ＋ カーペットタイル t6.5
	巾木	木製 → 改 下地調整の上、SOP塗装
	巾木2	新 長尺塩ビソフト巾木 H=75
	壁1	既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙
	壁2	新 LGS-65 ＋ 石こうボード t12.5 二重張り ＋ 壁紙
	天井	新 LGS下地石こうボード t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板 t12
警防事務室	床	既設モルタル → 改 OAフロアー H40 ＋ カーペットタイル t6.5
	巾木	木製 → 改 下地調整の上、SOP塗装
	巾木2	新 長尺塩ビソフト巾木 H=75
	壁	既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙
	天井	新 LGS下地石こうボード t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板 t12

（改修後） 3階 ホール、応接コーナー、警防事務所 平面詳細図 1/50

→ 現 …現況のまま
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す
※特記なき限り現況のままとする

改修範囲外

：アスベスト含有材を示す

◁S1：突出し型サイン(200×200 男女)
◁S2：突出し型サイン(200×200 通信機械室)
◀S1：平付け型サイン(200×200 署長室)

1 展開方向 2 3 4

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

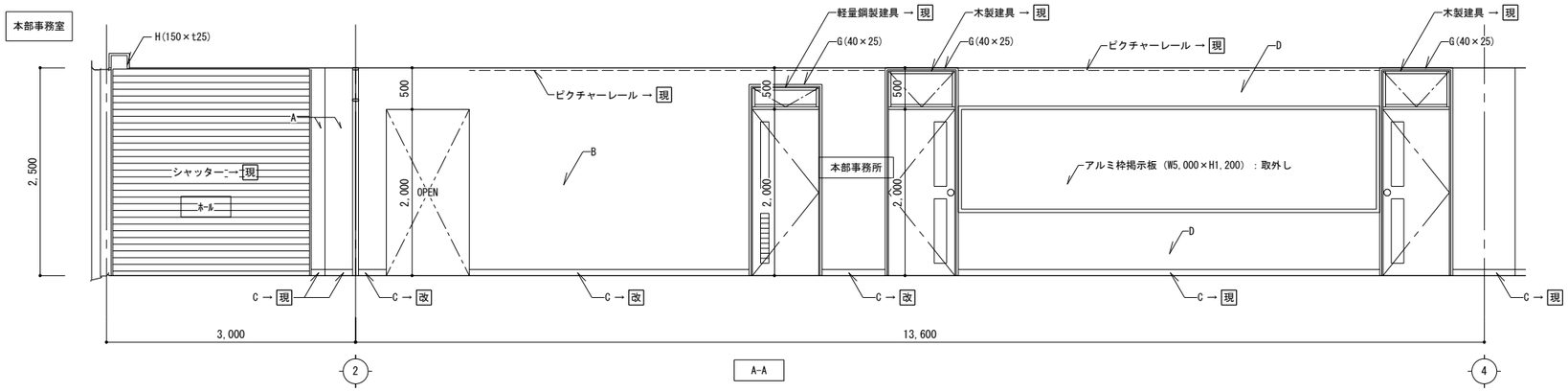
図面名称 （改修後） 3階 警防事務室、署長室、ホール 平面詳細図

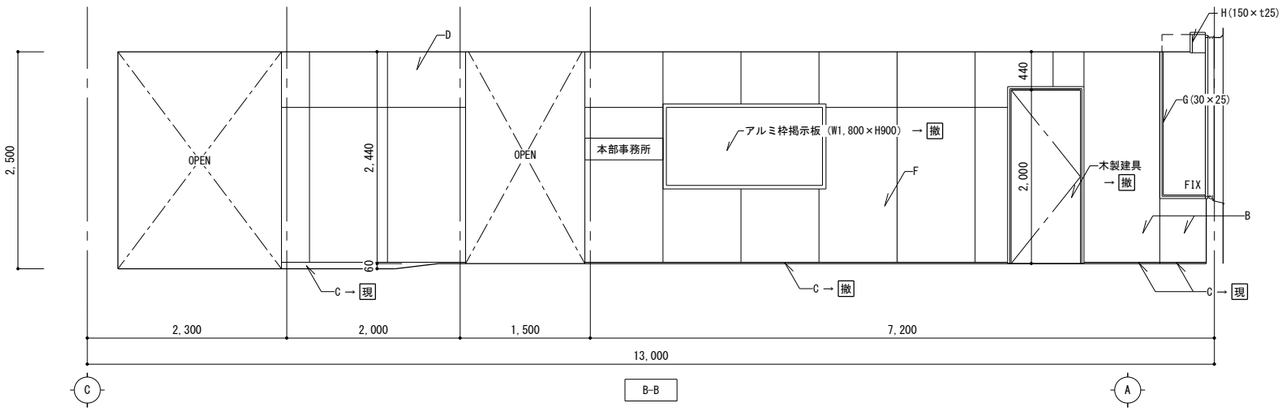
縮尺 A2 1：50 A3 1：71

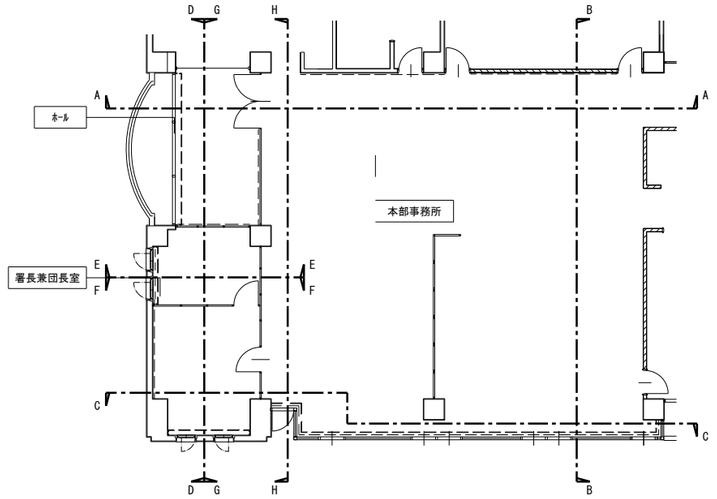
製図 令和08年03月

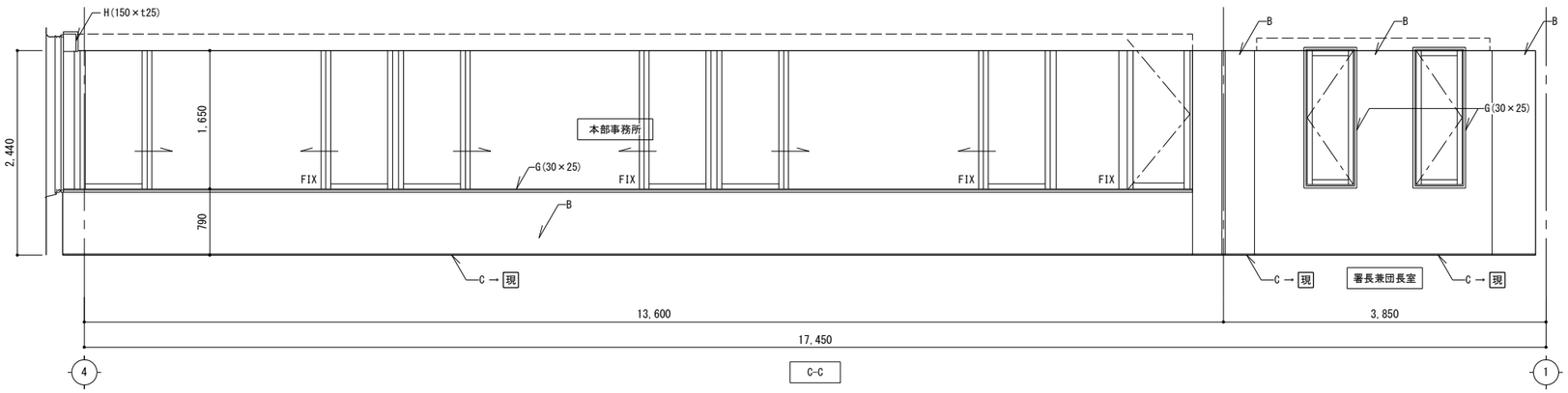
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明

No. A-078



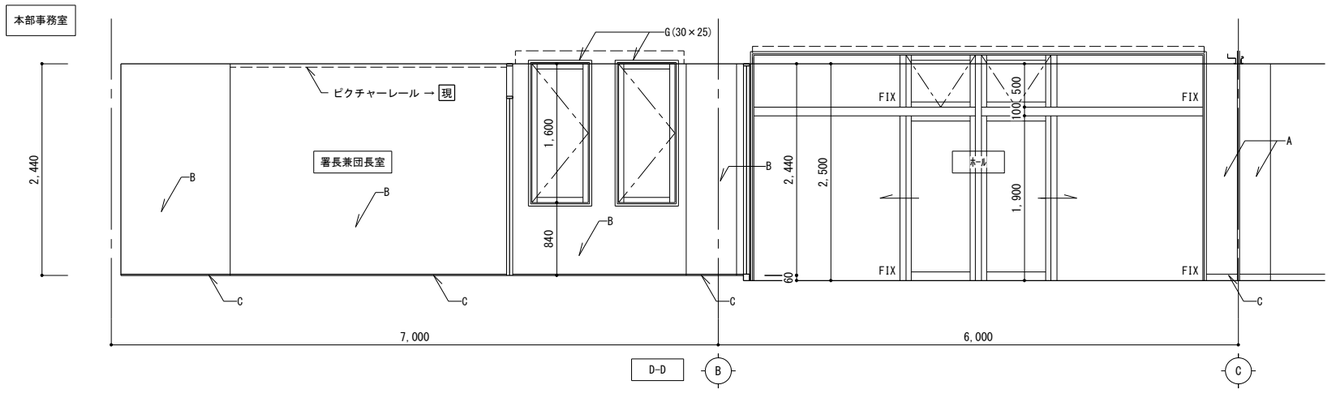


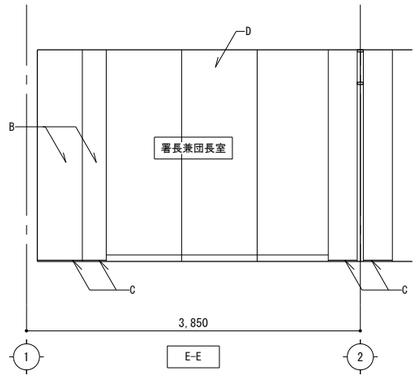


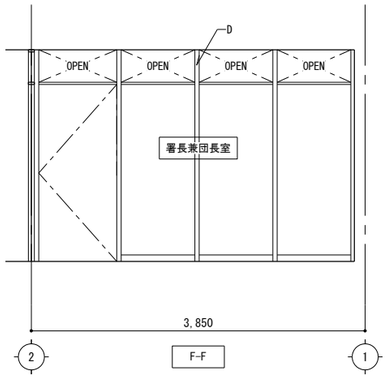


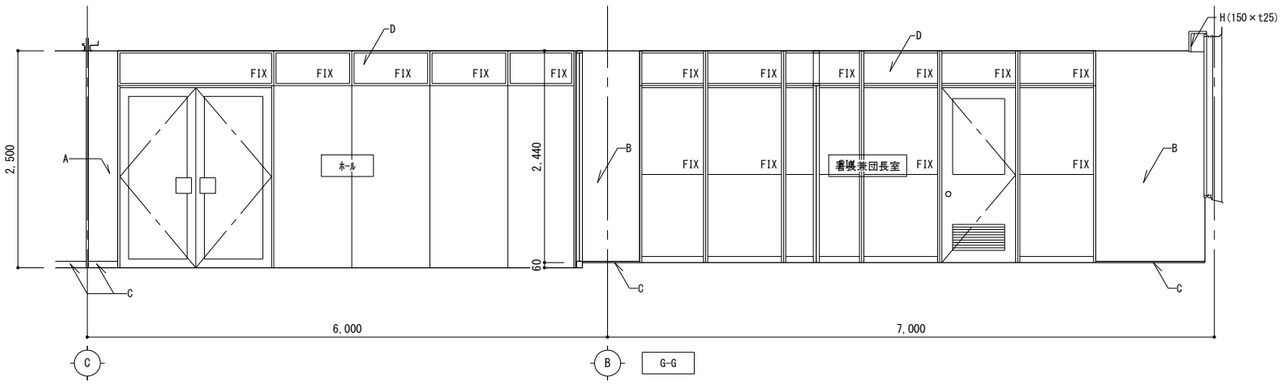
（改修前） 3階 本部事務室 展開図（１） 1/50

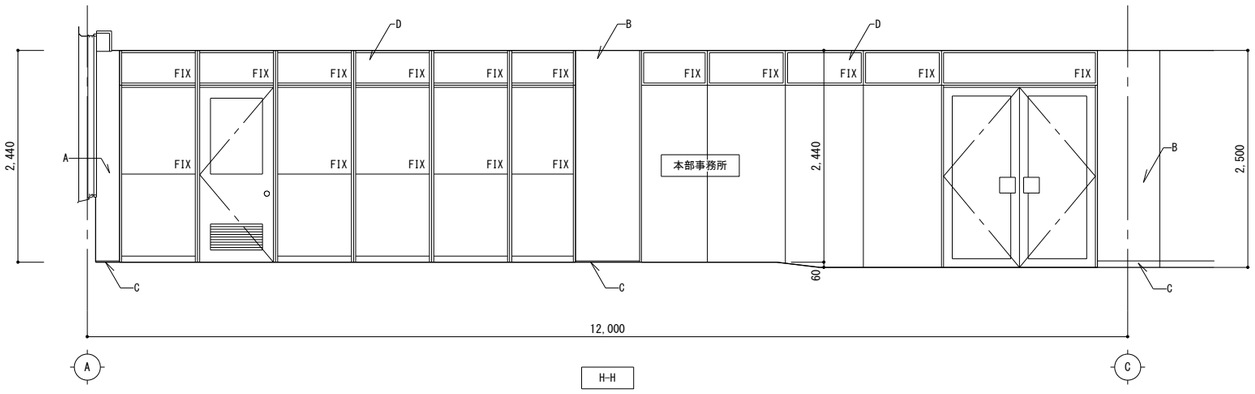
A	現況	壁：モルタル金ゴテ下地_吹付タイル	C	現況	巾木：木製 OP H=75	E	現況		G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事（既設撤去）を示す	株式会社 松浦建築事務所 TEL (0561) 32-0318	工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事 図面名称 （改修前） 3階 本部事務室 展開図（１） 縮尺 A2 1：50 A3 1：71 製図 令和08年03月 1級建築士 登録第92794号 松浦孔明 No. A-079
	措置	→ 現		措置	図示による		措置			措置	→ 現			
B	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙（ゾラコート柄）	D	現況	壁：LGS下地石こうボード t12下地 ＋ 壁紙（ゾラコート柄）	F	現況	壁：LGS下地石こうボード t12下地 ＋ 壁紙（ゾラコート柄）	H	現況	カーテンボックス			
	措置	→ 撤 壁紙のみ撤去		措置	→ 撤 石こうボード共撤去		措置	→ 撤 LGS共撤去		措置	→ 現			

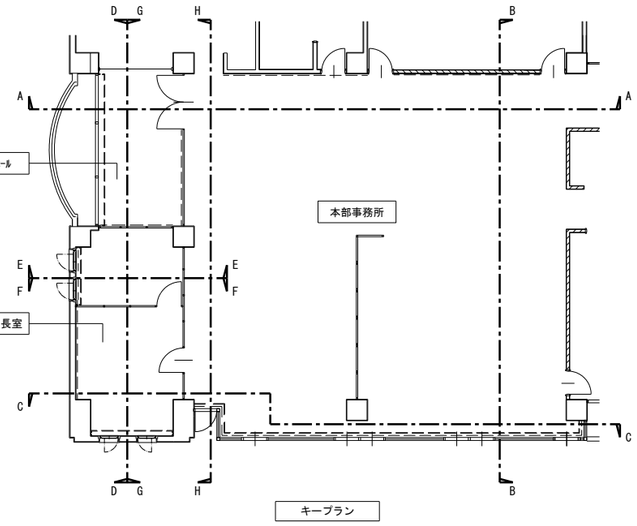












（改修前） 3階 本部事務室 展開図（２） 1/50

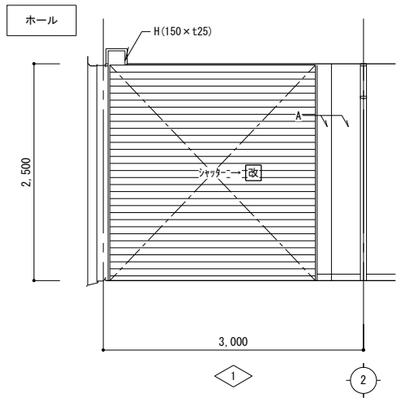
A	現況	壁：モルタル金ゴテ下地_吹付タイル	C	現況	巾木：木製 OP H=75	E	現況		G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事（既設撤去）を示す	
	措置	→ 現		措置	→ 撤 塗膜_除去		措置			措置	→ 現		
B	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙（ゾラコート柄）	D	現況	アルミパーティション	F	現況		H	現況	カーテンボックス		
	措置	→ 撤 壁紙のみ撤去		措置	→ 撤 塗膜_除去		措置			措置	→ 現		

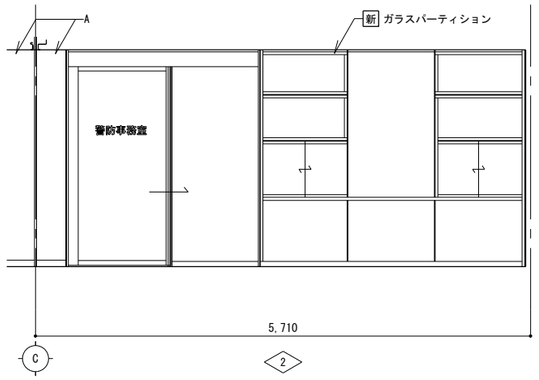
株式会社 松浦建築事務所

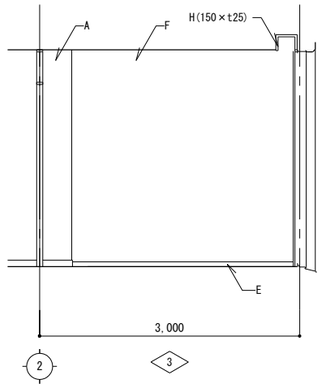
TEL (0561) 32-0318

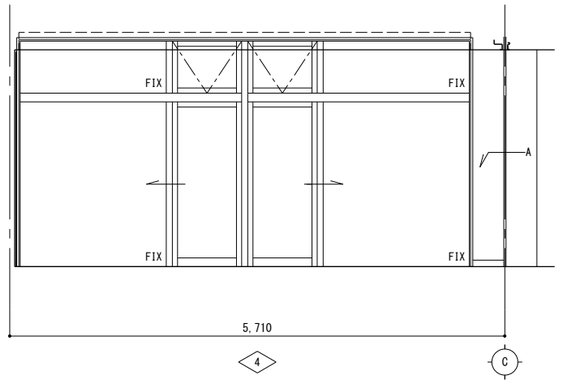
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前） 3階 本部事務室 展開図（２）
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-080

ホール

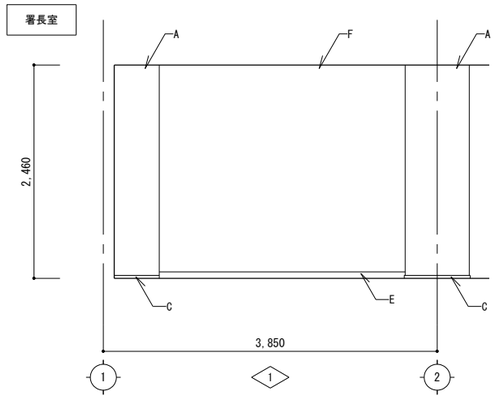


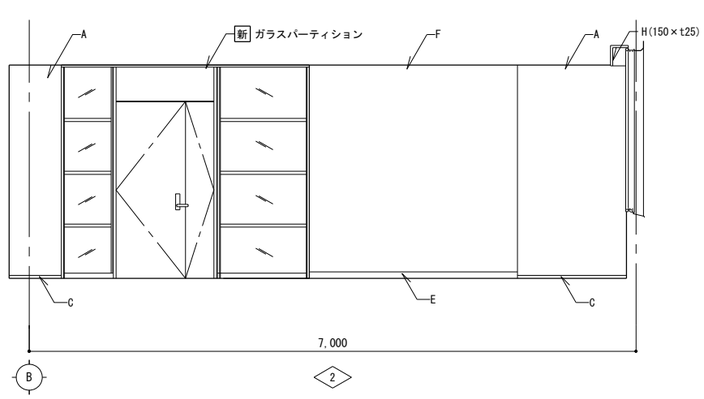


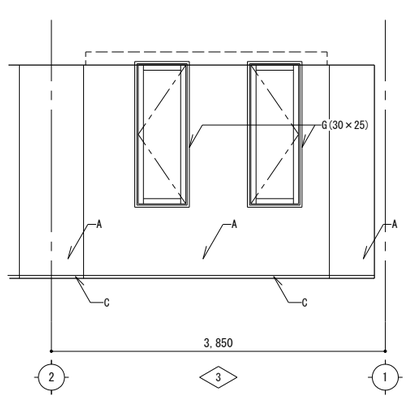


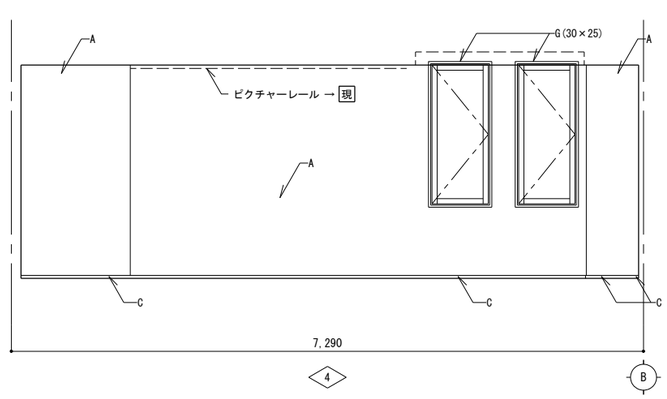


署長室









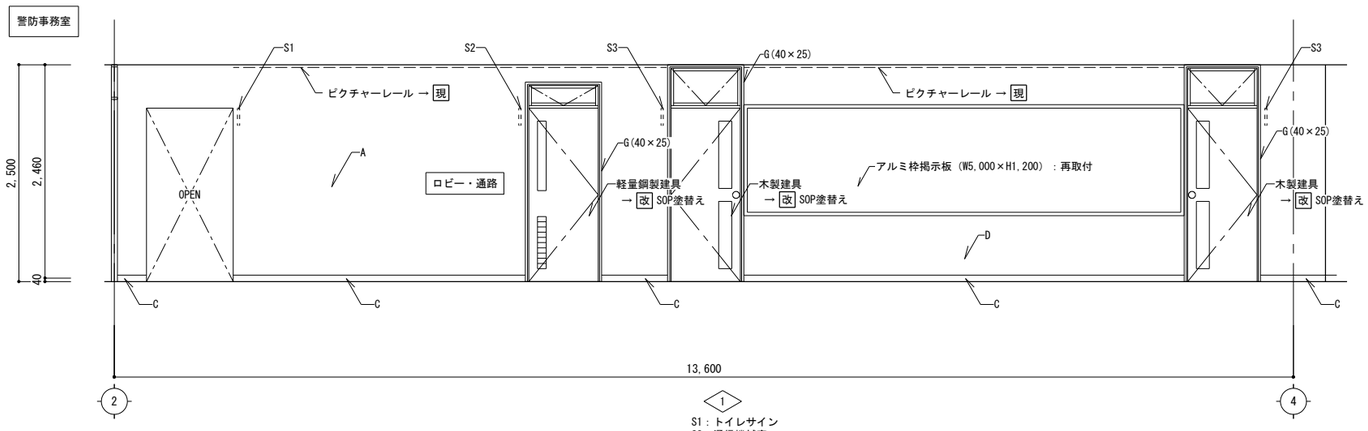
（改修後） 3階 ホール、署長室 展開図 1/50

A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙	E	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木	I				→ 改 …今回工事(既設改修)を示す 新 …今回工事(新設)を示す
B		F	壁： 新 LGS-65+石こうボード t12.5 二重張り ＋ 壁紙	J				
C	巾木：木製 → 改 下地調整の上、SOP	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K				
D	壁：既設LGS → 改 石こうボード t12.5 ＋ 壁紙	H	カーテンボックス → 改 SOP塗替え	L				

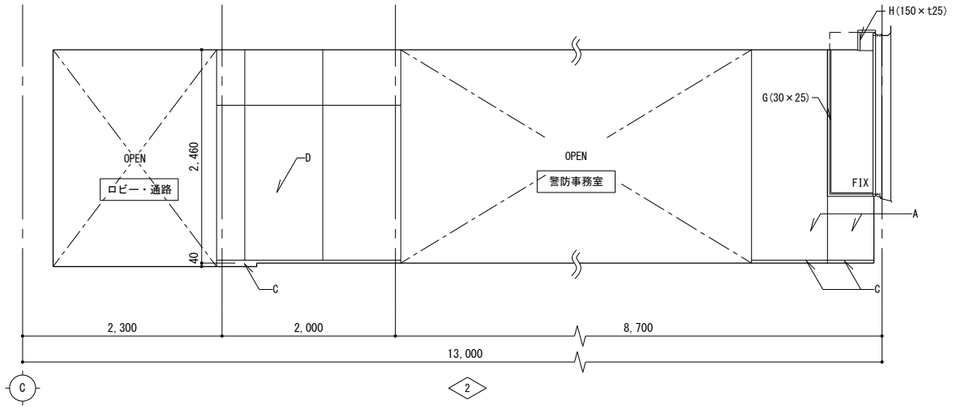
株式会社 松浦建築事務所

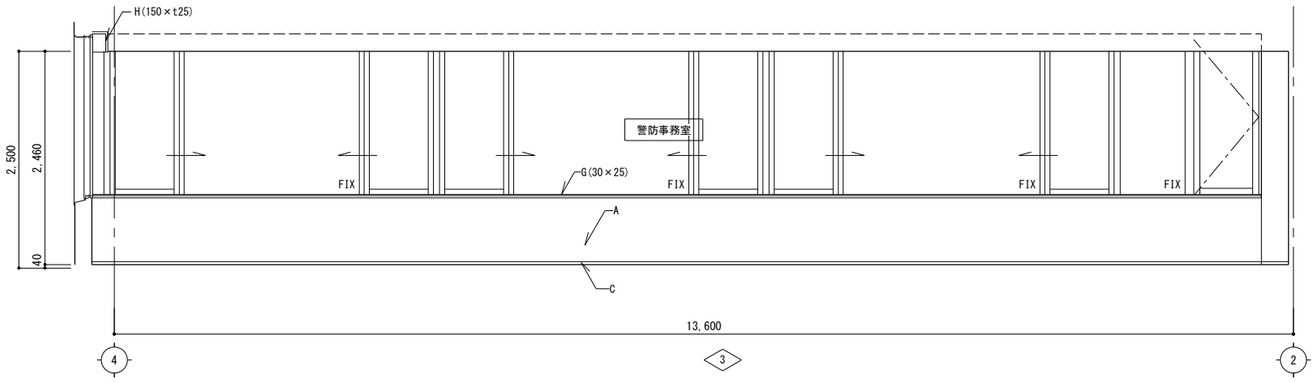
TEL (0561) 32-0318

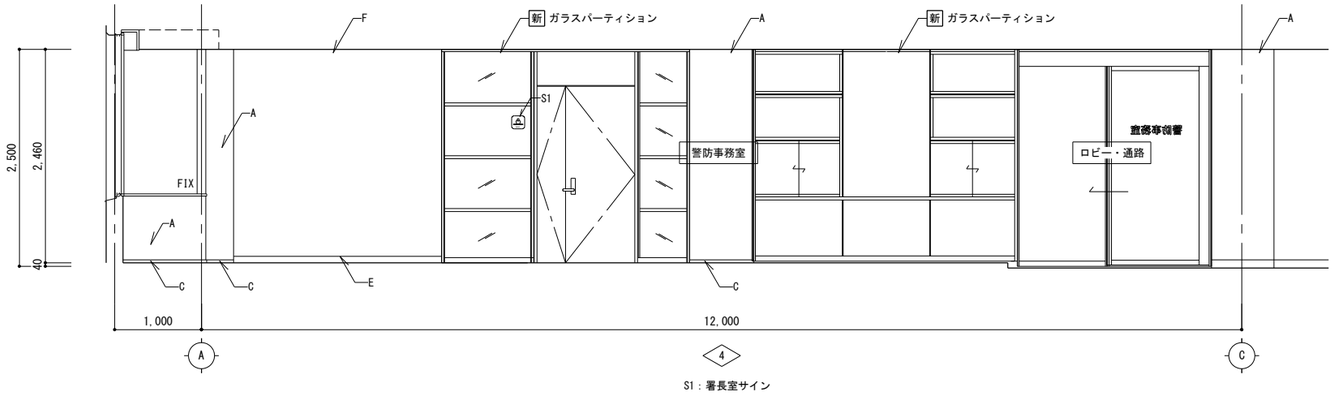
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修後） 3階 ホール、署長室 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松 浦 孔 明
No.	A-081



S1：トイレサイン
S2：通信機械室
S3：会議室







S1：署長室サイン

（改修後） 3階 警防事務室 展開図 1/50

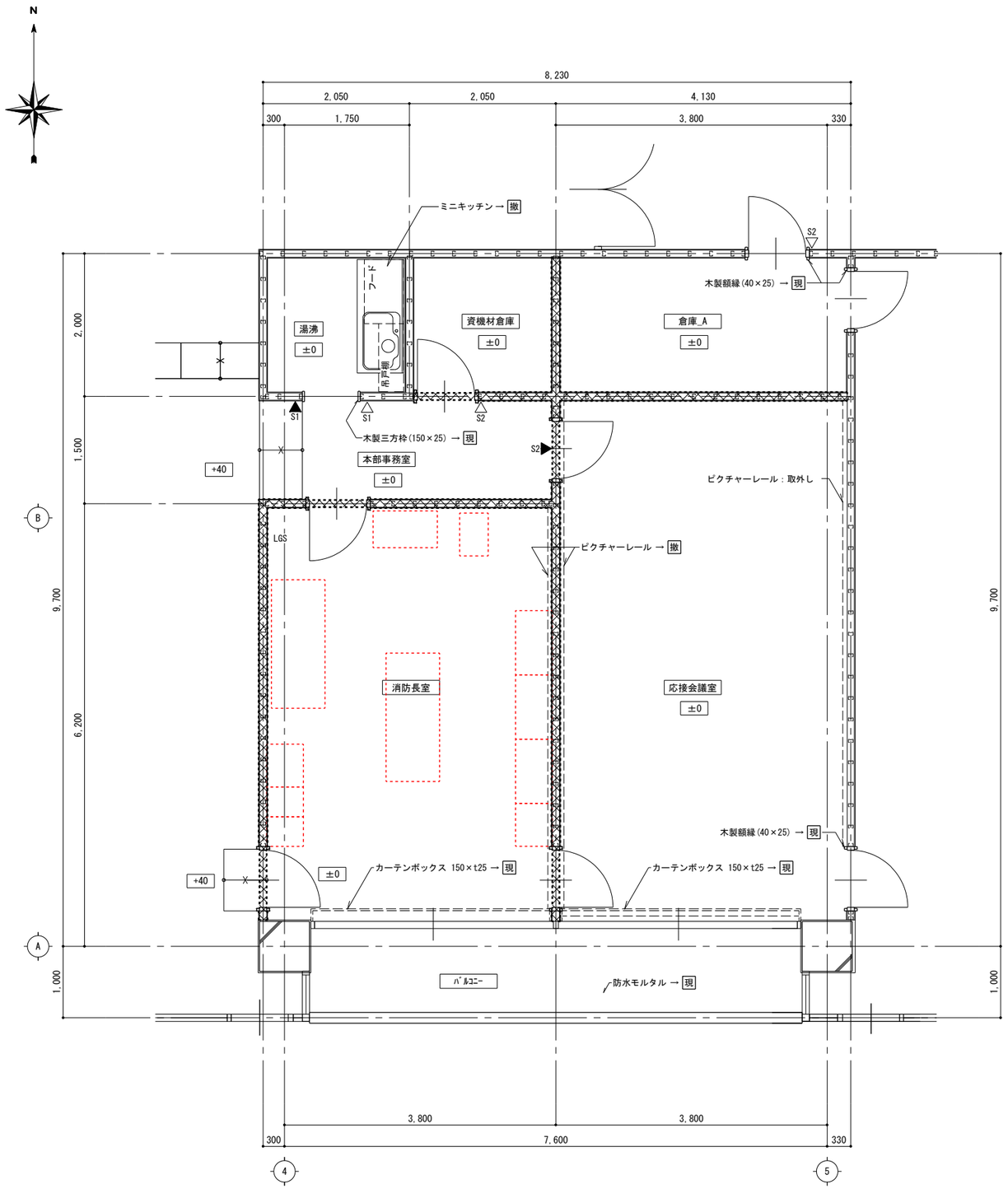
A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙	E	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木	I			
B		F	壁： 新 LGS-65+石こうボード t12.5 二重張り ＋ 壁紙	J			
C	巾木：木製 → 改 下地調整の上、SOP	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K			
D	壁：既設LGS → 改 石こうボード t12.5 ＋ 壁紙	H	カーテンボックス → 改 SOP塗替え	L			

→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修後） 3階 警防事務室 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-082



(改修前) 3階　湯沸、更衣室(資機材倉庫)、倉庫A、消防長室、応接会議室　平面詳細図　1/50

湯沸	床	モルタル下地塗床 → 撤 除去（目荒し工法）
	巾木	木製巾木 OP H=75 → 撤
	壁	石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0_VP → 撤 化粧ケイ酸カルシウム板のみ撤去
	天井	石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0_VP → 撤 LGS下地共撤去
	備考	ミニキッチン → 撤
資機材倉庫	床	モルタル下地塗床 → 撤 除去（目荒し工法）
	巾木	木製巾木 OP H=75 → 撤 塗膜_除去及び一部撤去
	壁	LGS下地石こうボード t12_EP → 撤 石こうボード、一部LGS共撤去
	天井	石こうボード t9.0_EP → 撤 LGS下地共撤去
倉庫A	床	半硬質ビニル床タイル t2.0WX → 撤 タイル撤去
	巾木	木製巾木 OP H=75 → 撤
	壁	LGS下地石こうボード t12_EP → 撤 石こうボード、一部LGS共撤去
	天井	石こうボード t9.0_EP → 撤 LGS下地共撤去
消防長室	床	モルタル下地フェルト t10 ＋ カーペットタイル t6.5 → 撤 フェルト ＋ カーペットタイル共撤去
	巾木	
	壁	LGS下地石こうボード t12 ＋ 木製胴縁（21×45縦横共）組天然杢練り付け合板 t6.0_CL → 撤 石こうボード t12 ＋ 木製胴縁組 ＋ 天然杢練付合板
	天井	石こうボード t9.0下地 ＋ 壁紙（SS級） → 撤 LGS下地共撤去
応接会議室	床	モルタル下地フェルト t10 ＋ カーペットタイル t6.5 → 撤 フェルト ＋ カーペットタイル共撤去
	巾木	
	壁	LGS下地石こうボード t12 ＋ 木製胴縁（21×45縦横共）組天然杢練り付け合板 t6.0_CL → 撤 石こうボード t12 ＋ 木製胴縁組 ＋ 天然杢練付合板
	天井	石こうボード t9.0下地 ＋ 壁紙（D級） → 撤 LGS下地共撤去

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
※特記なき限り現況のままとする

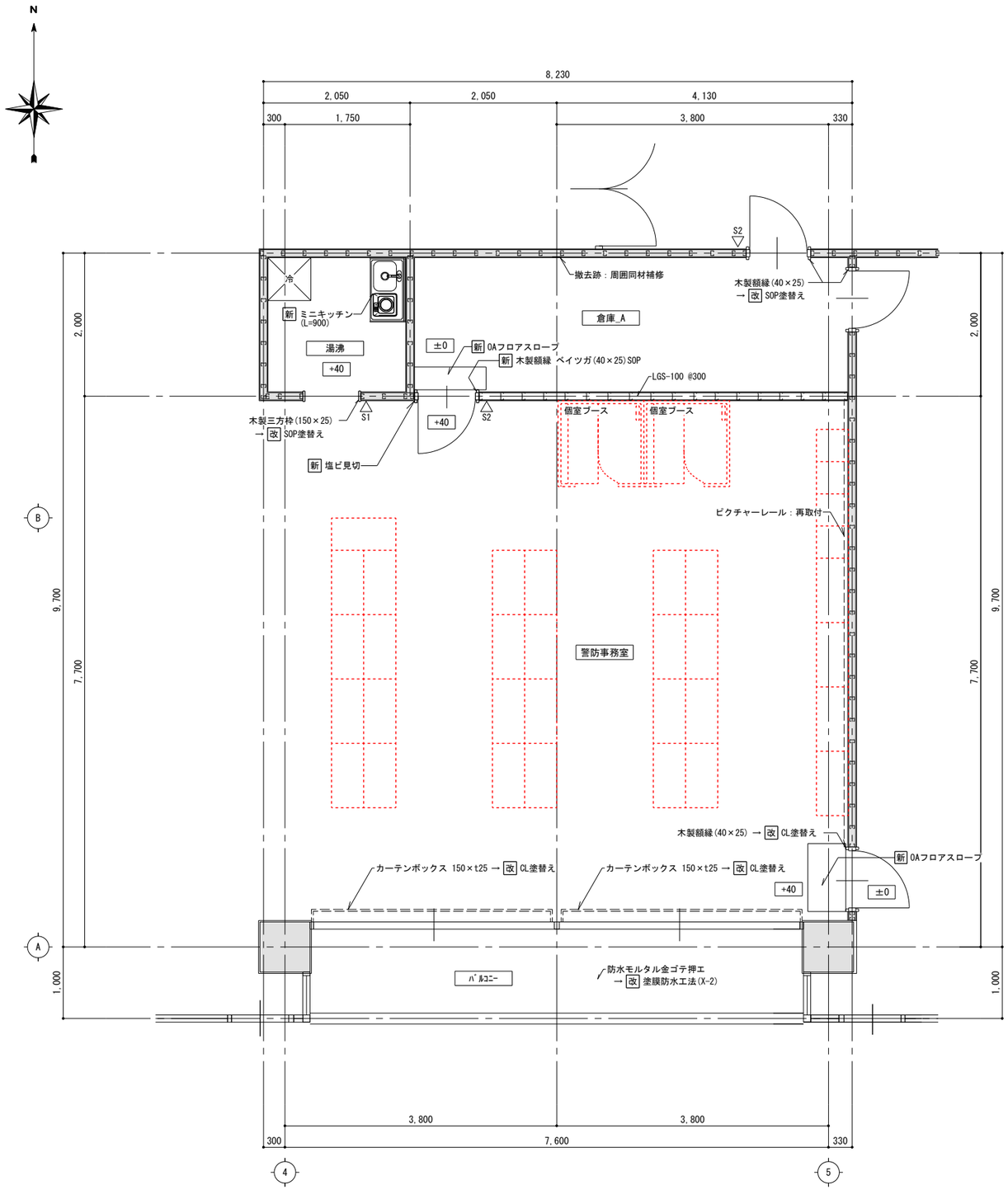
：アスベスト含有材を示す
：壁撤去範囲

◁S1：突出し型室名札(湯沸室) → 撤
◁S2：突出し型室名札(資機材倉庫) → 撤
◁S3：突出し型室名札(倉庫) → 撤
◀S1：ネームプレート(2人用) → 撤
◀S2：平付け型室名札(トレーニング室) → 撤

1
4 展開方向 2
3

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称　(改修前) 3階 消防長室、応接会議室 湯沸、更衣室、倉庫_A 平面詳細図
縮尺　A2 1：50　A3 1：71
製図　令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明
No. A-083



（改修後）3階　湯沸、倉庫A、警防事務所　平面詳細図　1/50

湯沸	床	モルタル → 改 OAフロアー H40 ＋ 置敷ビニル床タイル t5.0
	巾木	新 長尺塩ビソフト巾木
	壁	既設LGS → 改 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0（突付目地）
	天井	新 LGS下地多機能ケイ酸カルシウム板 t6.0
	備考	新 ミニキッチン
倉庫A	床	モルタル → 改 下地処理の上ビニル床シート t2.0
	巾木	木製 → 改 下地調整の上、SOP 新 長尺塩ビソフト巾木
	壁1	既設LGS → 改 強化石こうボード t12.5 ＋ 繊維強化セメント板 t6.0（突付目地）EP-G
	壁2	新 LGS-100 ＋ 強化石こうボード t12.5 ＋ 繊維強化セメント板 t6.0(突付目地)
	天井	新 LGS下地石こう化粧ボード t9.5
警防事務所	床	モルタル → 改 OAフロアー H40 ＋ カーペットタイル t6.5
	巾木	新 長尺塩ビソフト巾木
	壁	既設LGS → 改 石こうボード t12.5下地 ＋ 壁紙
	天井	新 LGS下地石こうボード t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板 t12

→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す
※特記なき限り現況のままとする
改修範囲外

：アスベスト含有材を示す
：壁撤去範囲

S1：突出し型サイン(200×200 給湯)
S2：突出し型サイン(200×200　倉庫A)

1
4 展開方向 2
3

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称　（改修後） 3階
警防事務室、湯沸、倉庫A
平面詳細図

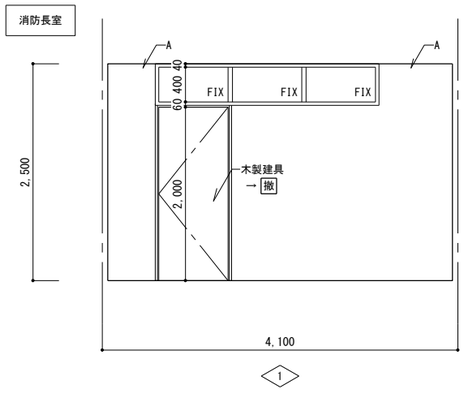
縮尺　A2 1：50
A3 1：71

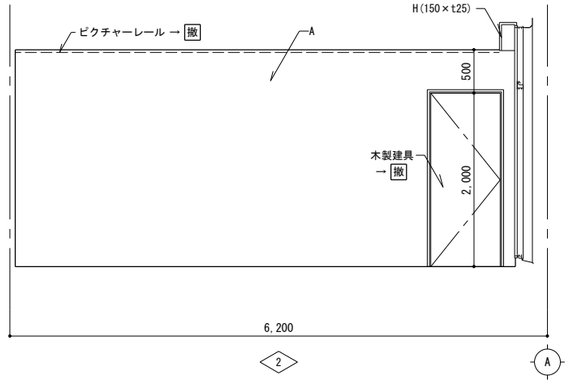
製図　令和08年03月

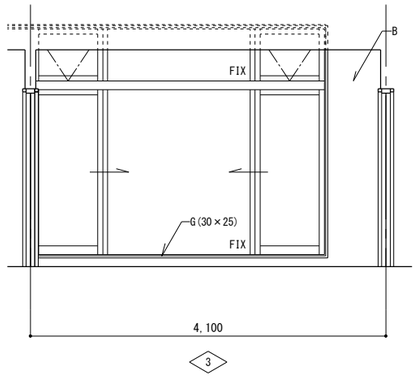
1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

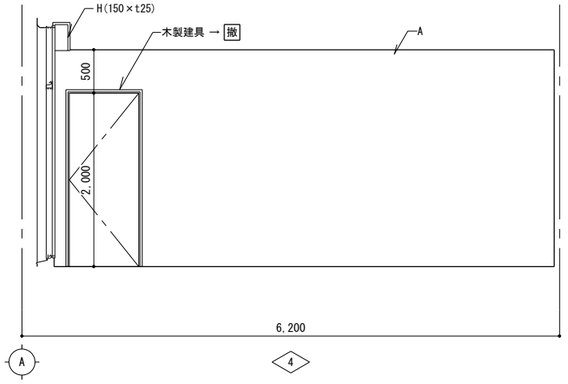
No. A-084

消防長室

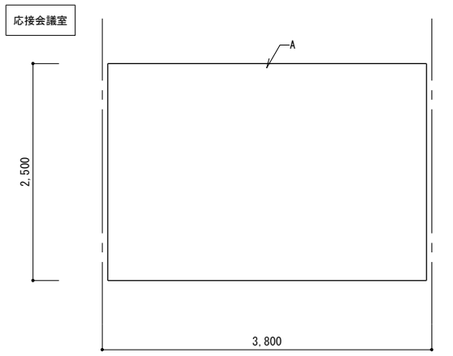


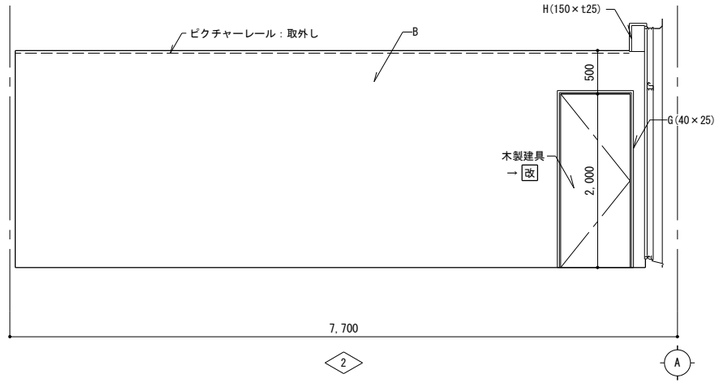


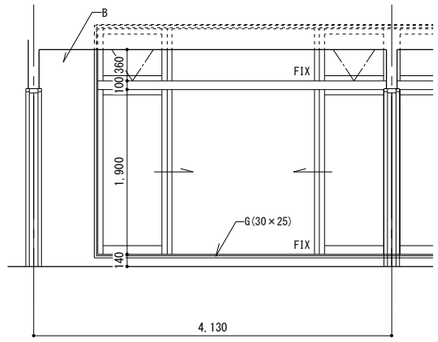


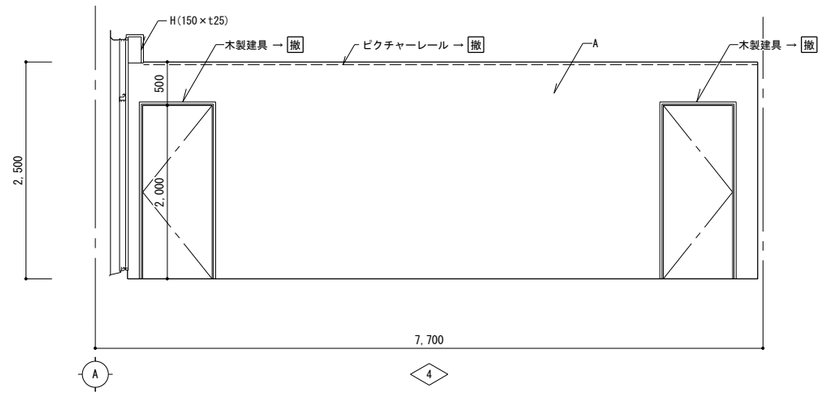


応接会議室









（改修前） 3階 消防長室、応接会議室 展開図 1/50

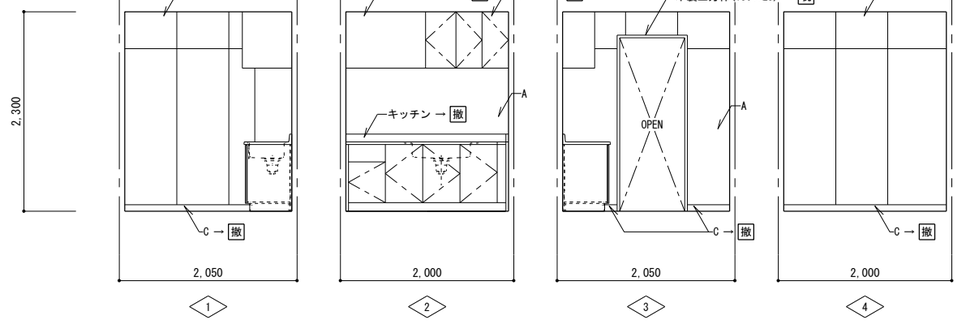
A	現況	壁：LGS下地石こうボード t12の上、 木製胴縁（21×45縦横共）組天然杢練り付け合板 t6.0_CL	C	現況		E	現況		G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事（既設撤去）を示す
	措置	→ 撤 LGS共		措置			措置			措置	→ 現		
B	現況	壁：LGS下地石こうボード t12の上、 木製胴縁（21×45縦横共）組天然杢練り付け合板 t6.0_CL	D	現況		F	現況		H	現況	カーテンボックス	
	措置	→ 撤 石こうボード t12 ＋ 木製胴縁組 ＋ 天然杢練付合板		措置			措置			措置	→ 現		

株式会社 松浦建築事務所

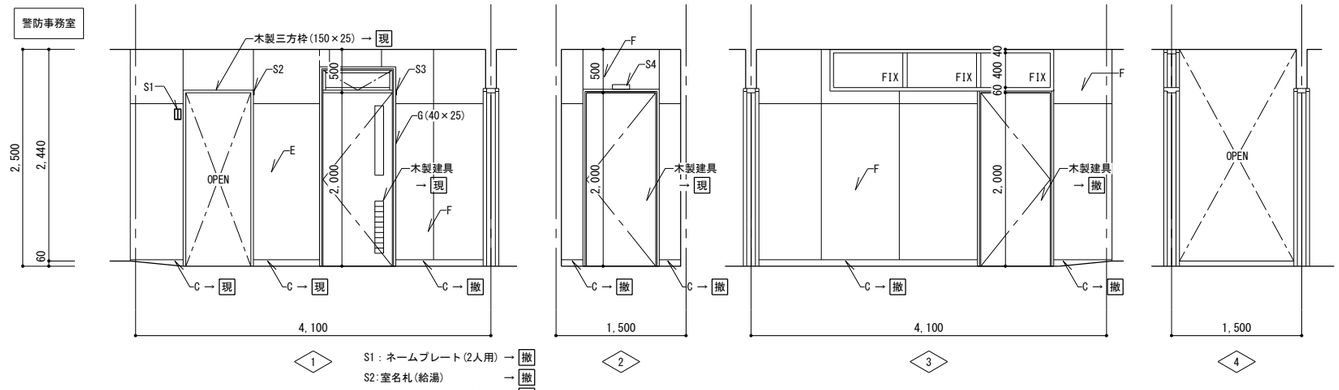
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	（改修前） 3階 消防長室、応接会議室 展開図	縮尺 A2 1：50 A3 1：71
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. A-085

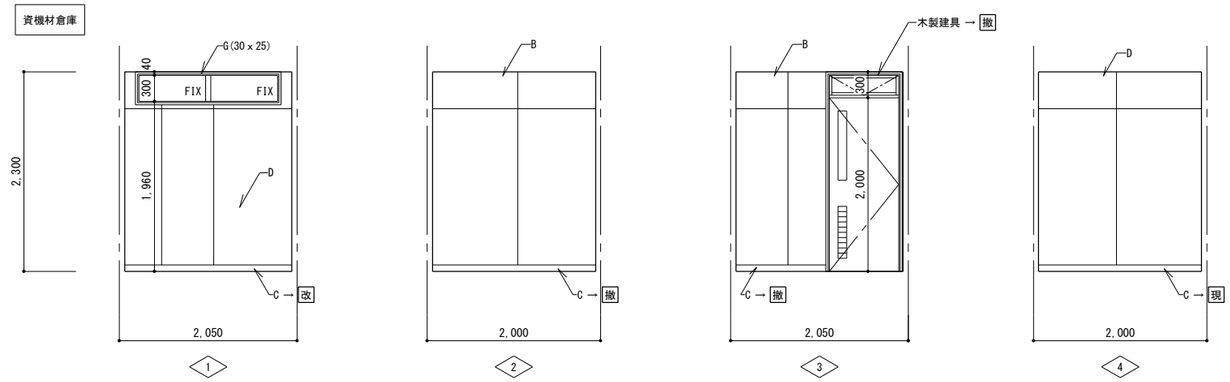
湯沸



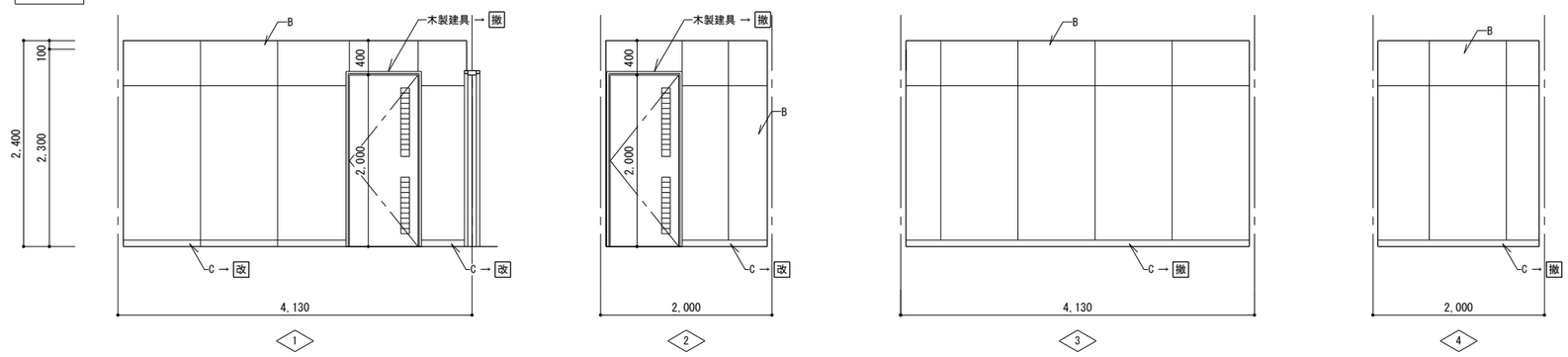
警防事務室



資機材倉庫



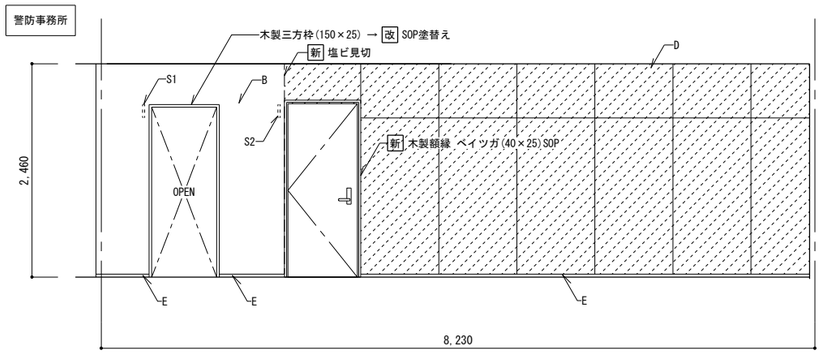
倉庫A



(改修前) 3階 湯沸、資機材倉庫、倉庫A 展開図 1/50

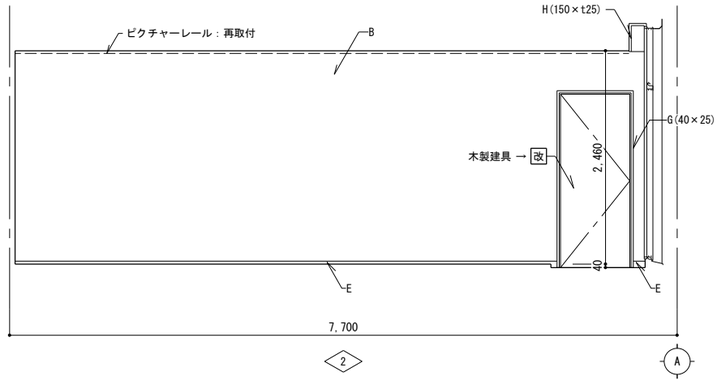
A	現況	壁：石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0 _VP	C	現況	巾木：木製 OP H=75	E	現況	壁：LGS下地石こうボード t12下地 ＋ 壁紙(ゾラコート柄)	G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事(既設撤去)を示す	株式会社 松浦建築事務所 TEL (0561) 32-0318	工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	措置	→ 撤 石綿ケイ酸カルシウム板のみ		措置	図示に依る		措置	→ 改 石こうボード共撤去		措置	→ 現			図面名称 (改修前) 3階 湯沸、資機材倉庫、倉庫A 展開図	縮尺 A2 1：50 A3 1：71
B	現況	壁：LGS下地せっこうボード t12 EP	D	現況	壁：LGS下地せっこうボード t12 _EP	F	現況	壁：LGS下地石こうボード t12下地 ＋ 壁紙(ゾラコート柄)	H	現況	カーテンボックス				製図 令和08年03月
	措置	→ 撤 LGS下地共		措置	→ 撤 石こうボード共撤去		措置	→ 改 LGS下地共		措置	→ 現		1級建築士 登録第92794号 松浦 孔明		No. A-086

警防事務所

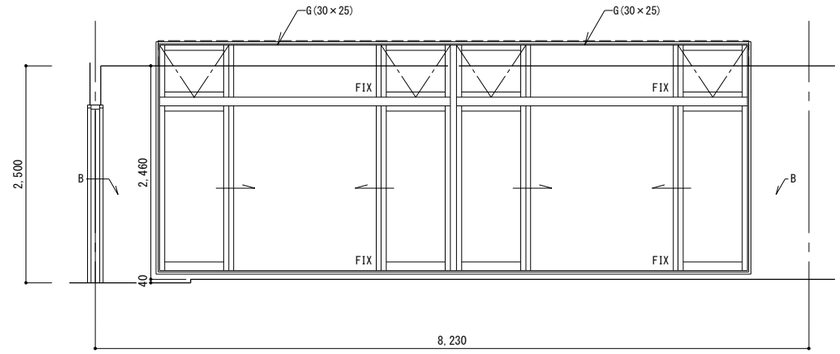


1

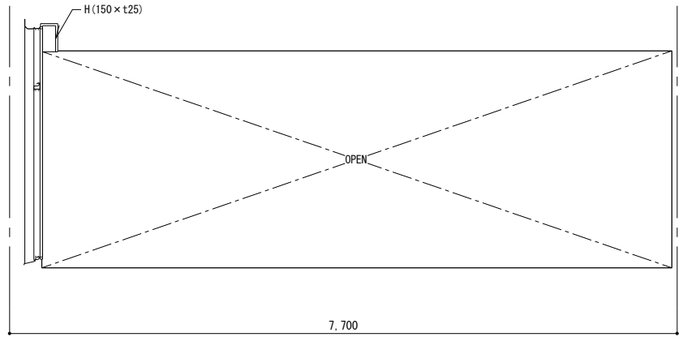
S1：給湯サイン
S2：倉庫A



2 A



3



A 4

(改修後) 3階 警防事務室 展開図 1/50

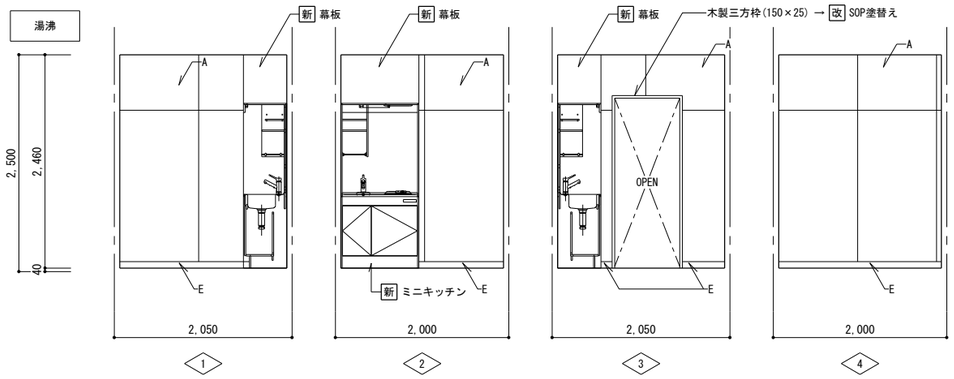
A		E	巾木：新 長尺塩ビソフト巾木	I				→ 改 …今回工事(既設改修)を示す 新 …今回工事(新設)を示す
B	壁：既設LGS → 改 石こうボード t12.5下地 ＋ 壁紙	F		J				
C		G	木額縁 → 改 CL塗替え	K				
D	壁：新 LGS＋強化石こうボード t12.5 ＋ 繊維強化セメント板 t6.0（突付目地）EP-G	H	カーテンボックス → 改 CL塗替え	L				

株式会社 松浦建築事務所

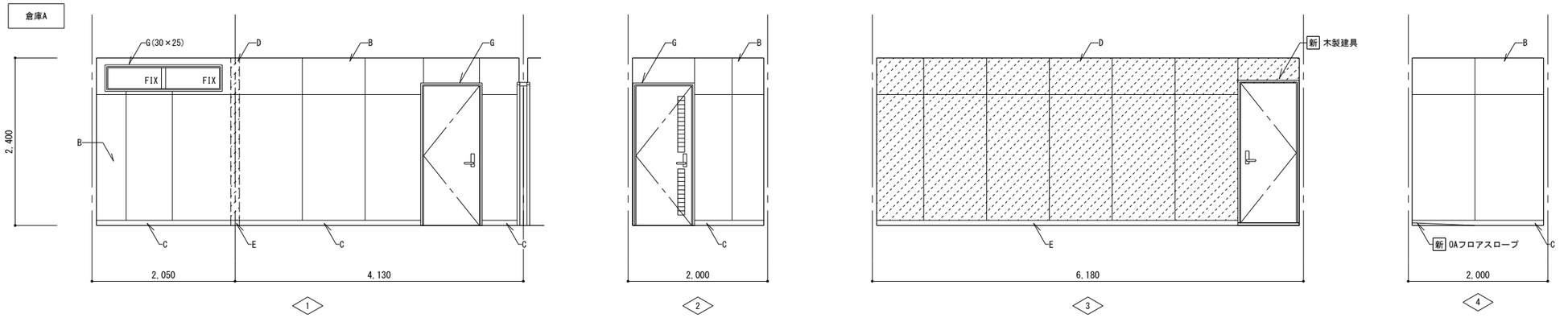
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	(改修後) 3階 警防事務室 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-087

湯沸



倉庫A



(改修後) 3階 湯沸、倉庫A 展開図 1/50

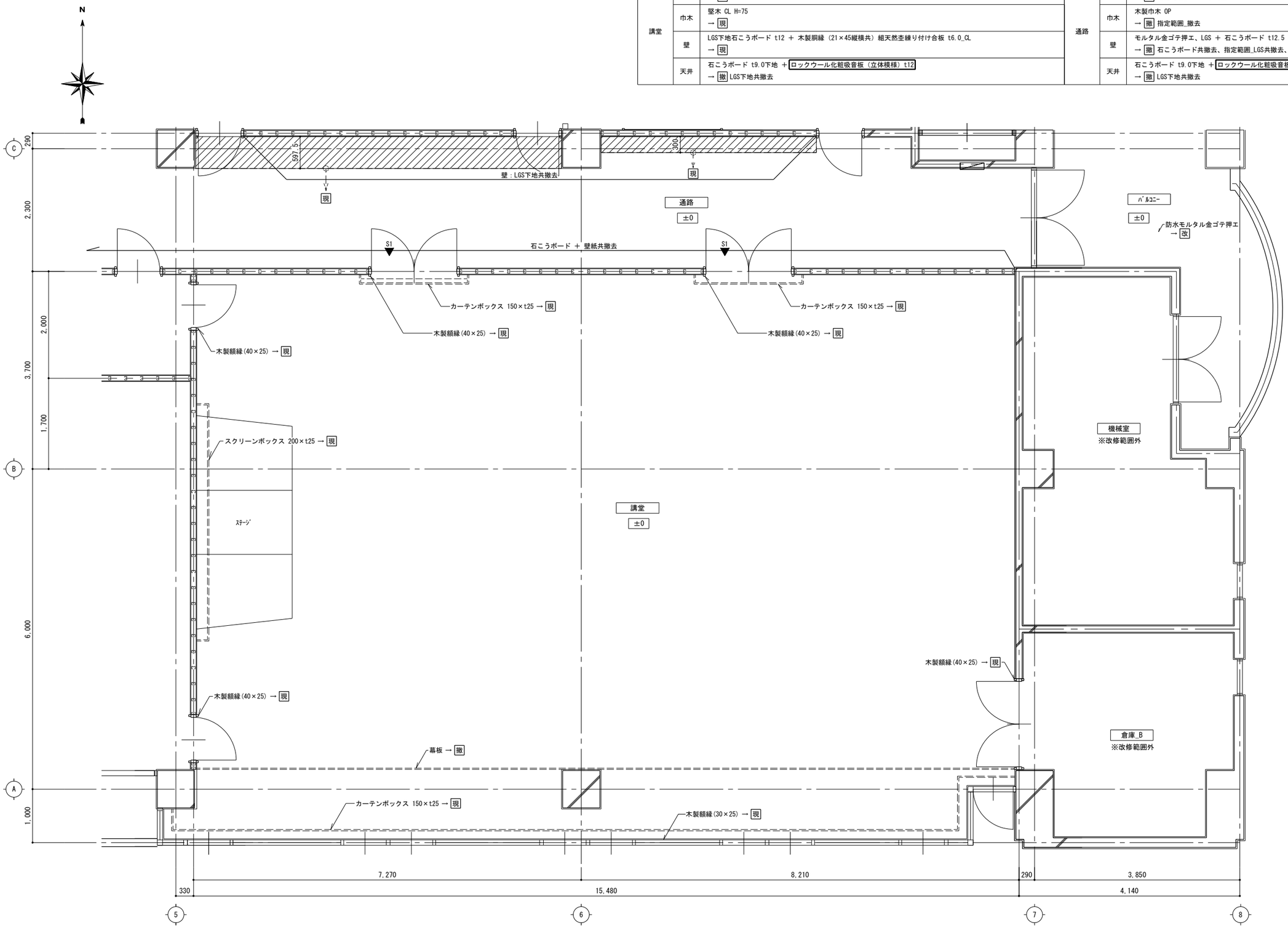
A	壁：既設LGS → 改 耐水石こうボード t12.5 ＋ 繊維強化セメント板 t6.0 (突付目地) EP-G	E	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木	I				→ 改 …今回工事(既設改修)を示す 新 …今回工事(新設)を示す
B	壁：既設LGS → 改 強化石こうボード t12.5 ＋ 繊維強化セメント板 t6.0 (突付目地) EP-G	F		J				
C	巾木：木製 → 改 SOP塗替え	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K				
D	壁： 新 LGS-100 ＋ 強化石こうボード t12.5 ＋ 繊維強化セメント板 t6.0 (突付目地) EP-G	H	カーテンボックス → 改 SOP塗替え	L				

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	(改修後) 3階 湯沸、倉庫A 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-088

講堂	床	長尺塩ビシート t2.0 → 現		通路	床	モルタル下地ビニル床シート t2.0 → 撤 指定範囲_床シート撤去
	巾木	堅木 CL H=75 → 現			巾木	木製巾木 OP → 撤 指定範囲_撤去
	壁	LGS下地石こうボード t12 ＋ 木製胴縁（21×45縦横共）組天然杢練り付け合板 t6.0_CL → 現			壁	モルタル金ゴテ押エ、LGS ＋ 石こうボード t12.5 ＋ 壁紙 → 撤 石こうボード共撤去、指定範囲_LGS共撤去、RC面：壁紙のみ撤去
	天井	石こうボード t9.0下地 ＋ ロックウール化粧吸音板（立体模様）t12 → 撤 LGS下地共撤去			天井	石こうボード t9.0下地 ＋ ロックウール化粧吸音板（立体模様）t12 → 撤 LGS下地共撤去



（改修前） 3階 大会議室 平面詳細図 1/50

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
※特記なき限り現況のままとする

：アスベスト含有材を示す

◀S1：SUS箱文字(講堂) → 現

展開方向

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	（改修前） 3階 講堂 平面詳細図	縮尺 A2 1：50 A3 1：71
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. A-089

N

床復旧　参考図

床：現況のまま

新 ビニル床シート

講堂	床	長尺塩ビシート t2.0 → 現
	巾木	堅木 CL → 現
	壁1	LGS下地石こうボード t12 ＋ 木製胴縁（21×45縦横共）組天然杢縁り付け合板 t6.0_CL → 現
	壁2	新 LGS下地 ＋ 石こうボード t12.5 ＋ 塩化ビニル樹脂フィルム
	天井	新 LGS下地 ＋ 石こうボード t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板 t12

通路	床	モルタル下地ビニル床シート t2.0 新 指定範囲のみ＿ビニル床シート t2.0
	巾木	新 C通り+290＿長尺塩ビソフト巾木 H=75 → 改 （既設巾木）SOP塗替え
	壁1	既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙
	壁2	既設LGS → 改 石こうボード t12.5 ＋ 壁紙
	壁3	新 LGS下地 ＋ 石こうボード t12.5 ＋ 壁紙
	天井	新 LGS下地 ＋ 石こうボード t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板 t12

C　B　A

290　2,300　2,000　3,700　1,700　6,000　1,000

615　300

壁3　壁1　壁2

通路　±0

講堂　±0

ﾊﾞﾙｺﾆｰ

-180

防水モルタル金ゴテ押エ
→ 改 塗膜防水工法(X-2)

±0　±0　±0　-180

機械室
※改修範囲外

ｽﾃｰｼﾞ

新 可動式パーテーション

+40　±0

新 幕板　新 幕板

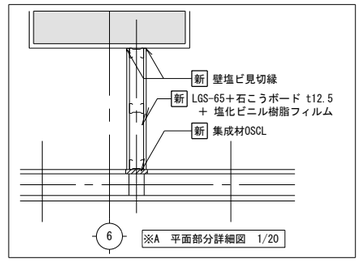
壁2

※A

倉庫_B
※改修範囲外

330　7,270　15,480　8,210　290　3,850　4,140

5　6　7　8



（改修後）　3階　大会議室　平面詳細図　1/50

→ 現 …現況のまま
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す
※特記なき限り現況のままとする
改修範囲外

：アスベスト含有材を示す

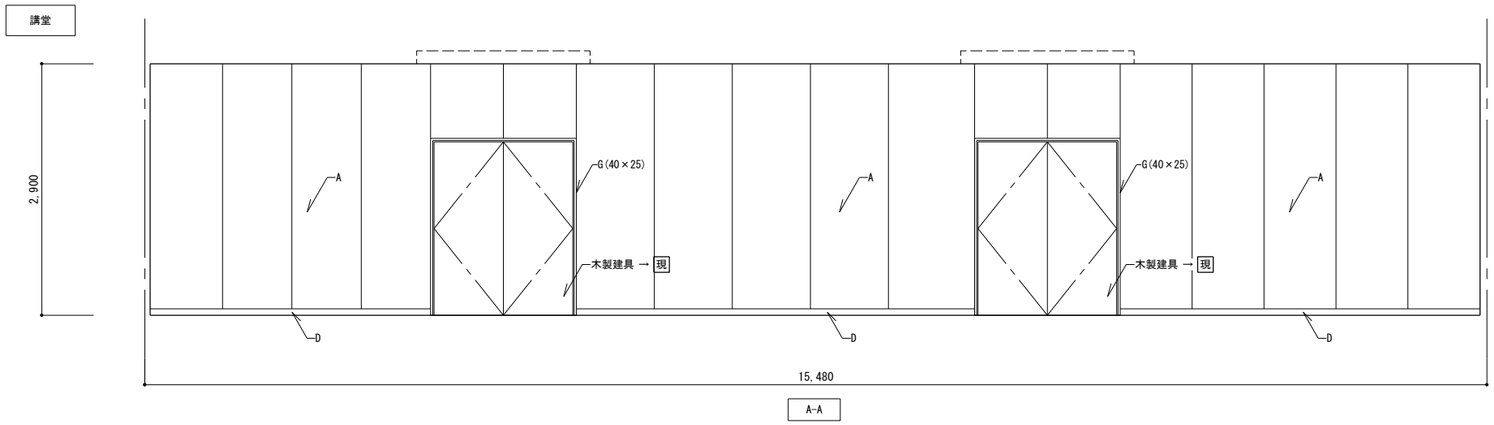
展開方向　1　2　3　4

株式会社　松浦建築事務所

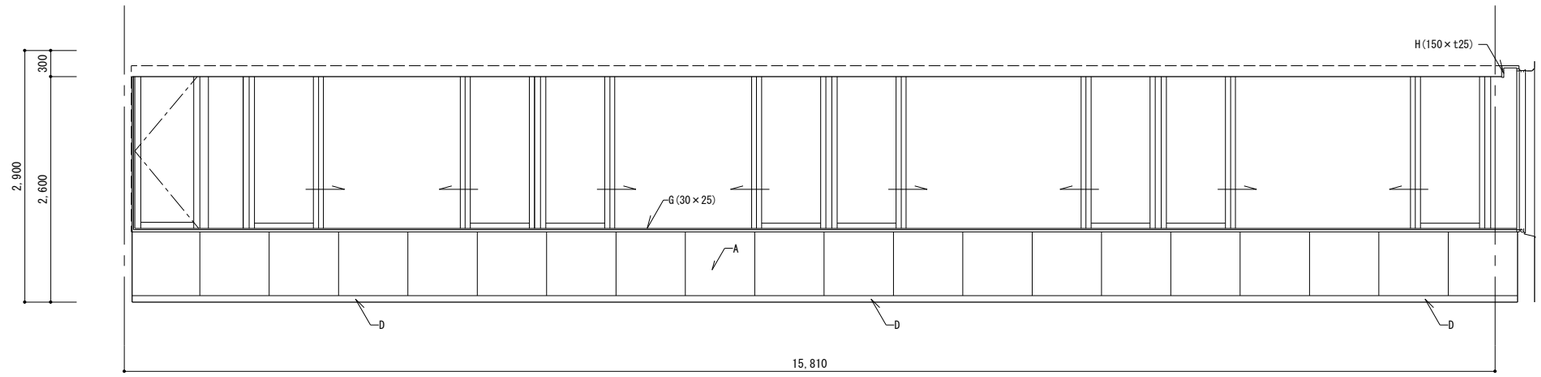
TEL　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修後）　3階 講堂 平面詳細図
縮尺	A2　1：50 A3　1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-090

講堂

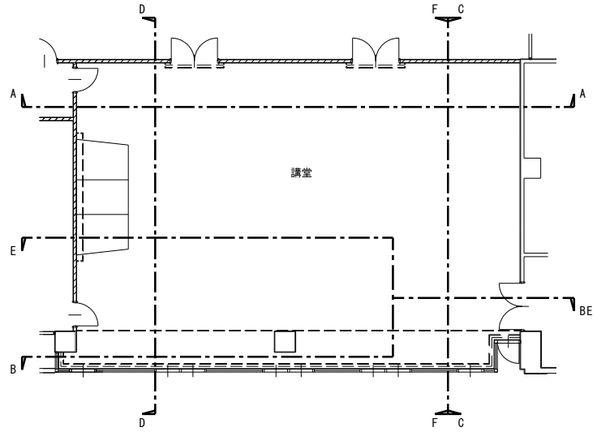


A-A

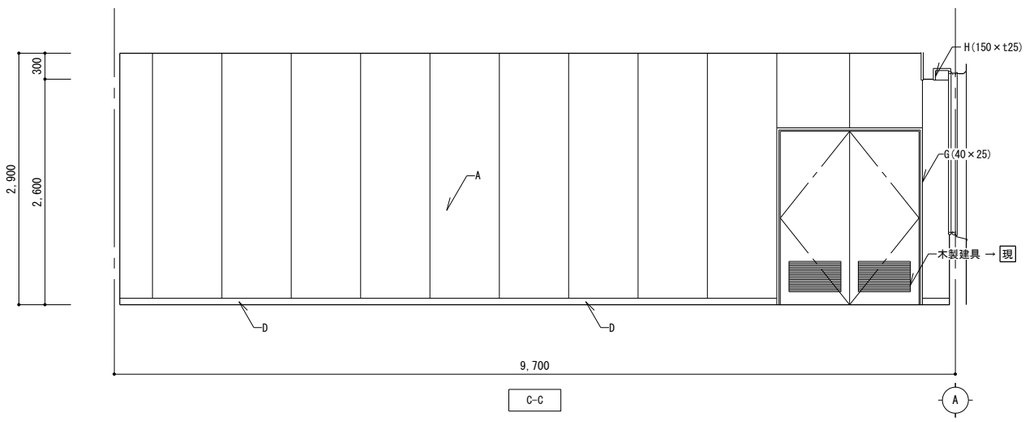


B-B

5

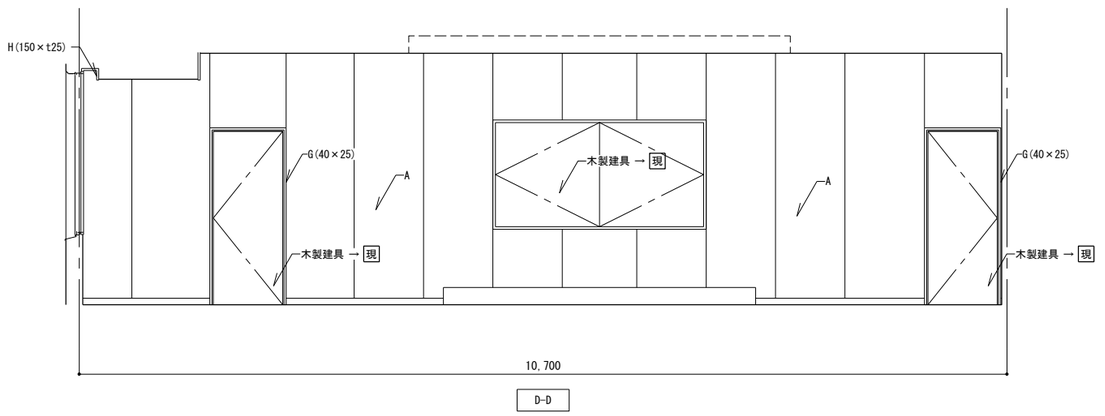


キープラン



C-C

A



D-D

（改修前） 3階 講堂 展開図 1/50

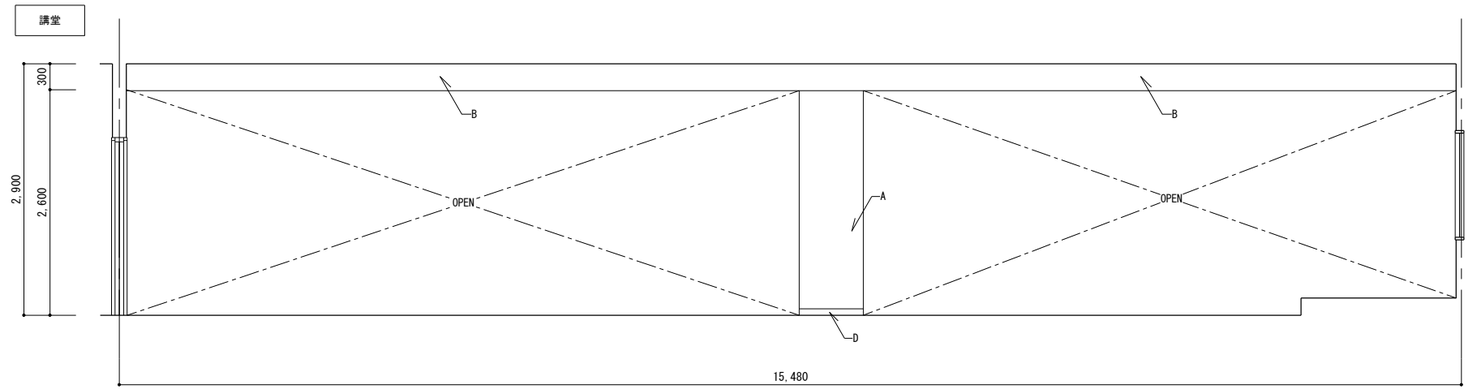
A	現況	壁：LGS下地石こうボード t12 木製胴縁（21×45縦横共）組天然杢練り付け合板 t6.0_CL	C	現況		E	現況		G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事（既設撤去）を示す	
	措置	→ 現		措置			措置			措置	→ 現		
B	現況		D	現況	巾木：堅木 CL H=75	F	現況		H	現況	カーテンボックス		
	措置			措置	→ 現		措置			措置	→ 現		

株式会社 松浦建築事務所

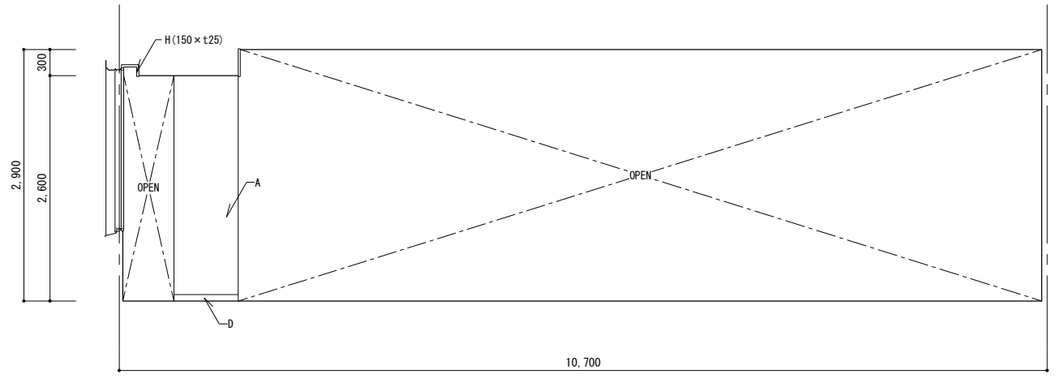
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	（改修前） 3階 講堂 展開図	縮尺 A2 1：50 A3 1：71
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. A-091

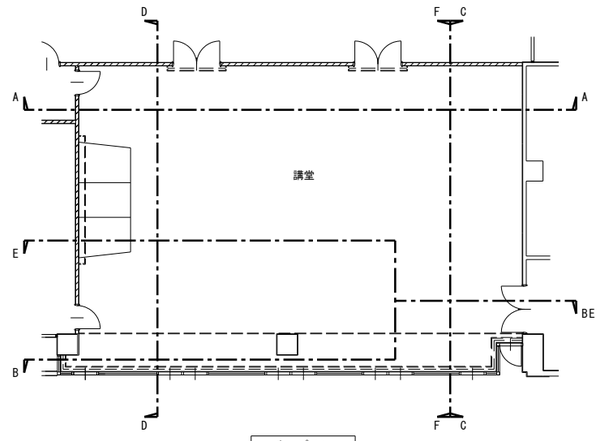
講堂



E-E



F-F



キープラン

（改修前） 3階 講堂 展開図 1/50

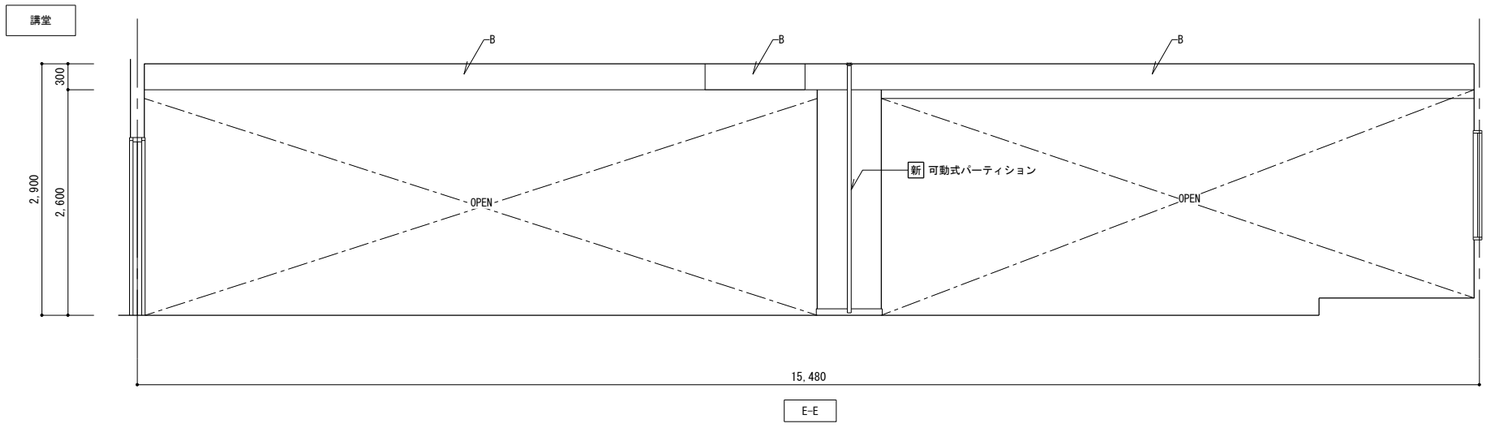
A	現況	壁：LGS下地石こうボード t12 木製胴縁（21×45縦横共）組天然杢練り付け合板 t6.0_CL	C	現況		E	現況		G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事（既設撤去）を示す	
	措置	→ 現		措置			措置			措置	→ 現		
B	現況	幕板	D	現況	巾木：竪木 CL H=75	F	現況		H	現況	カーテンボックス		
	措置	→ 撤		措置	→ 現		措置			措置	→ 現		

株式会社 松浦建築事務所

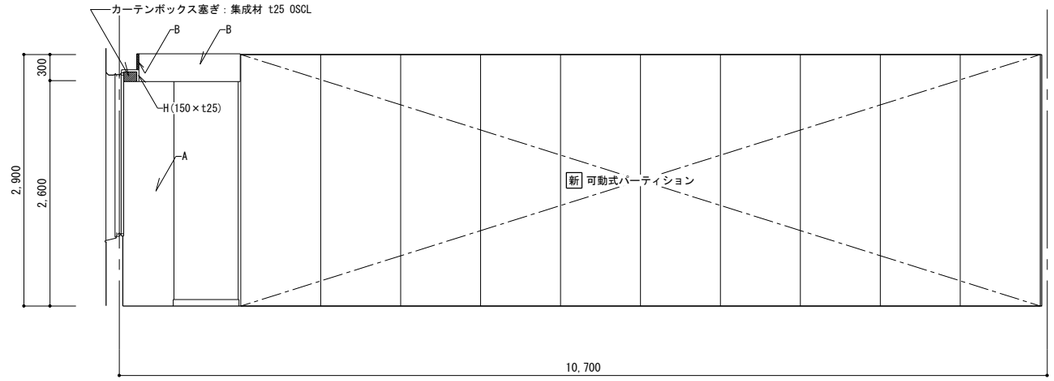
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前） 3階 講堂 展開図（2）
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-092

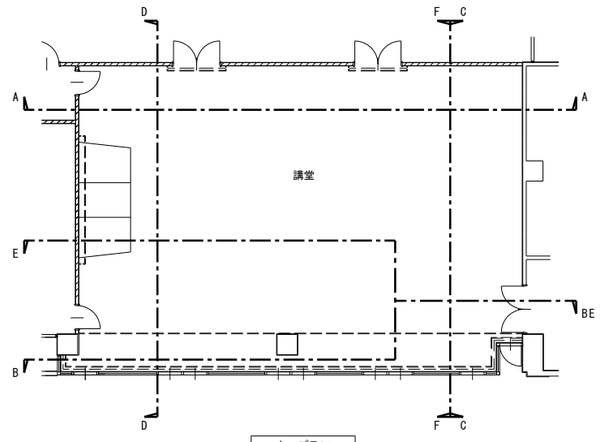
講堂



E-E



F-F



キープラン

（改修後） 3階 講堂 展開図 1/50

A	壁：新 LGS-65 ＋ 石こうボード t12.5 ＋ 塩化ビニル樹脂フィルム	E		I			
B	新 幕板	F		J			
C		G		K			
D		H		L			

→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

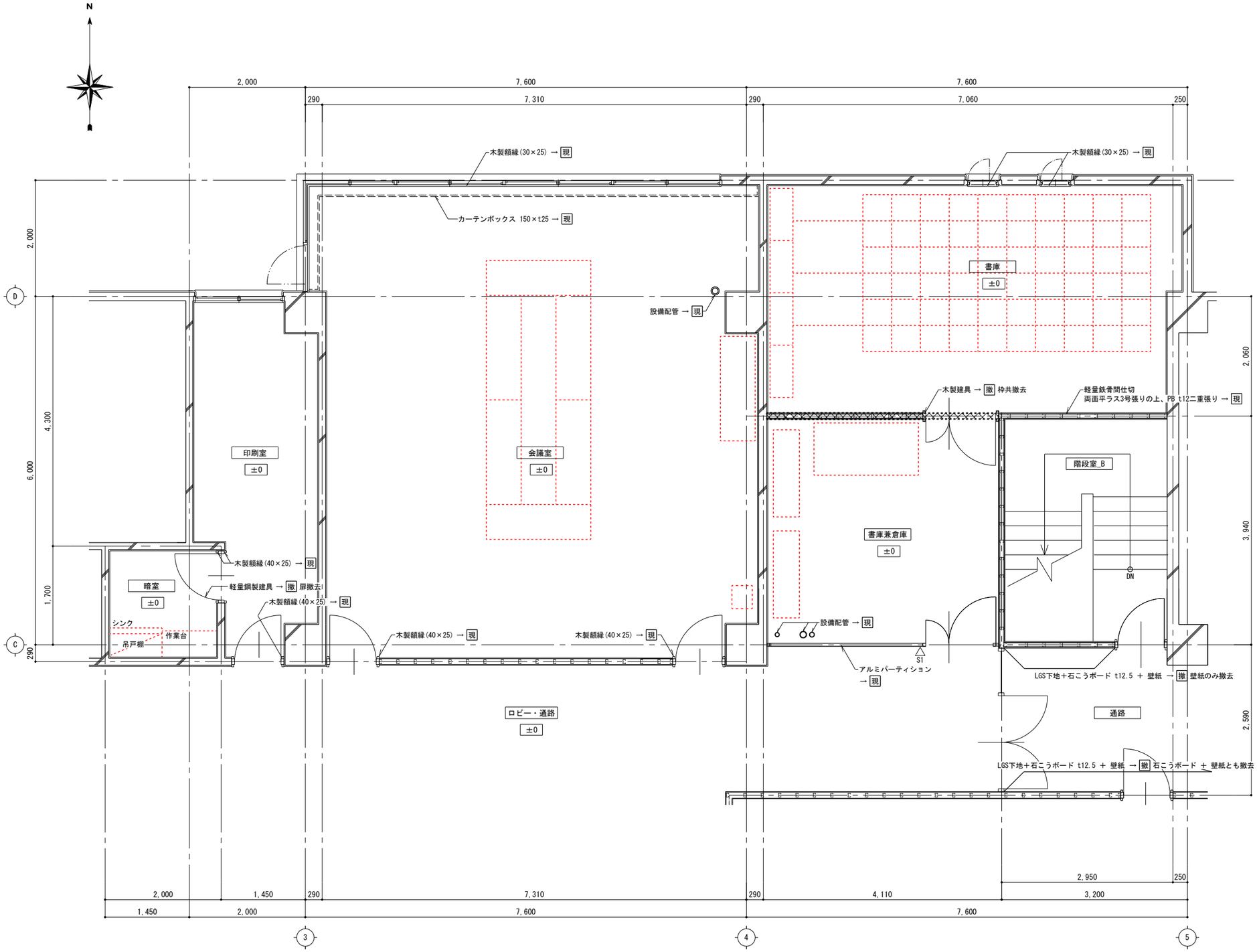
図面名称 （改修後） 3階 講堂 展開図（２）

縮尺 A2 1：50 A3 1：71

製図 令和08年03月

1級建築士 登録第92794号 松浦孔明

No. A-093



暗室	床	半硬質ビニル床タイル t2.0_WX → 撤 床タイルのみ除去
	巾木	木製 OP H=75 → 現
	壁	モルタル金ゴテ押エ_VP → 現
	天井	石こうボード t9.0_EP → 現
	備考	シンク、作業台、吊戸棚 → 撤
印刷室	床	半硬質ビニル床タイル t2.0_WX → 撤 床タイルのみ除去
	巾木	木製 OP H=75 → 現
	壁	モルタル金ゴテ押エ_VP、吸音材 t50 ガラスクロス押エ → 現
	天井	繊維混入ケイ酸カルシウム板 t6.0_VP、吸音材 t50 ガラスクロス押エ → 撤 ケイカル板 ＋ LGS下地共撤去
会議室	床	カーペットタイル t6.5 → 現
	巾木	木製 OP H=75 → 現
	壁	モルタル金ゴテ押エ、LGS下地石こうボード t12 ＋ 壁紙 → 撤 壁紙のみ撤去
	天井	石こうボード t9.0下地 ＋ ロックウール化粧吸音板 t12 → 撤 LGS下地共撤去
書庫	床	半硬質ビニル床タイル t2.0_WX → 現
	巾木	木製 OP H=75 → 現
	壁	モルタル金ゴテ押エ_EP → 現
	天井	石こうボード t9.0_EP → 現
書庫兼倉庫	床	半硬質ビニル床タイル t2.0_WX → 現
	巾木	木製 OP H=75 → 現
	壁	モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙 → 撤 壁紙のみ除去
	壁	一部 耐火構造壁、スチールパーティション → 撤 ハッチ範囲_耐火構造壁(LGS+平ラス3号+GB-R t12×2)
	天井	石こうボード t9.0下地 ＋ ロックウール化粧吸音板 t12 → 現

（改修前） 3階 暗室、印刷室、会議室、書庫、書庫兼倉庫 平面詳細図 1/50

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
※特記なき限り現況のままとする

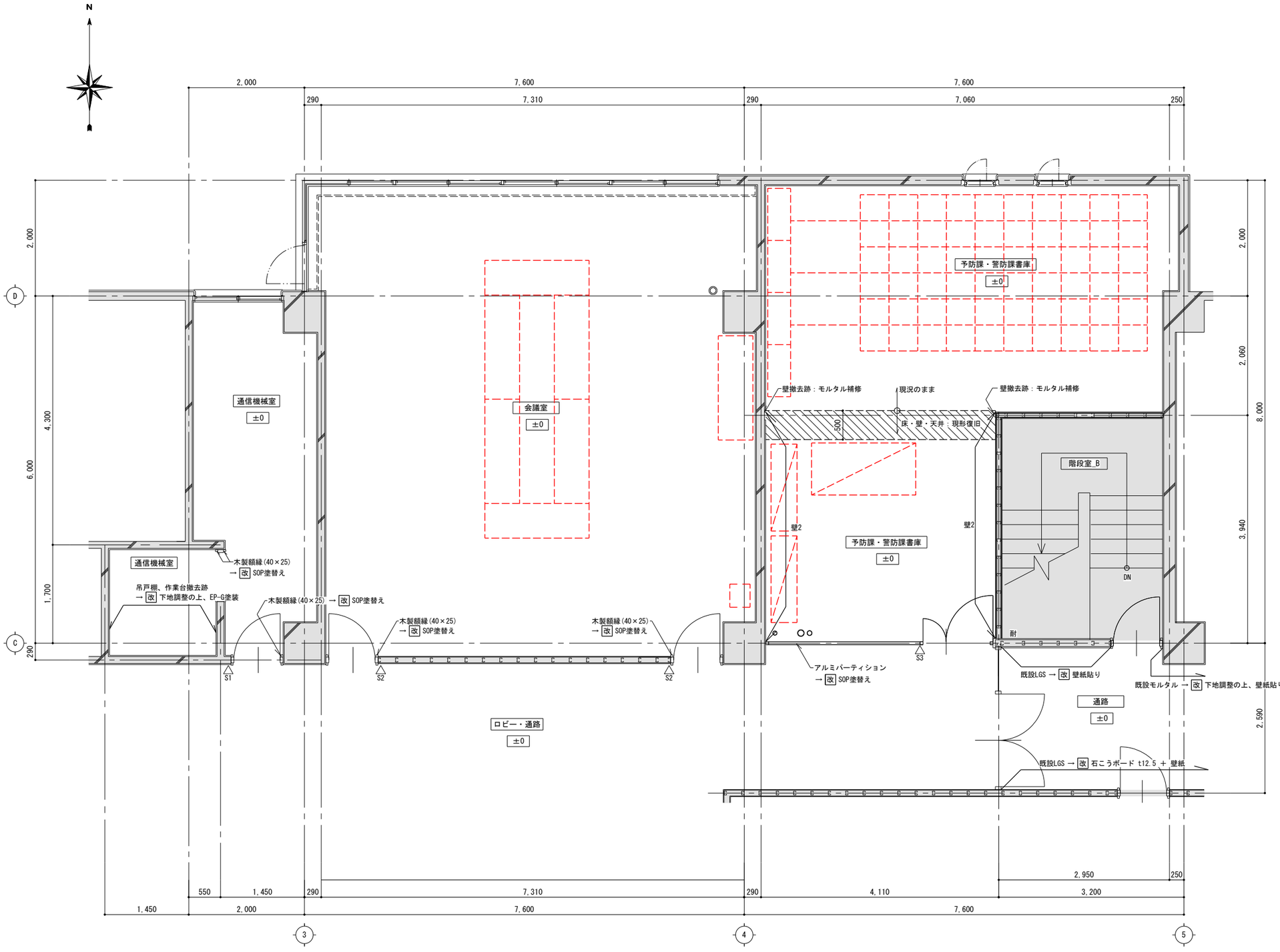
：アスベスト含有材を示す
：床・壁撤去範囲

◁S1：突出し型室名札 → 撤

展開方向 1 2 3 4

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称 （改修前） 3階 暗室、印刷室 会議室、書庫、書庫兼倉庫 平面詳細図
縮尺 A2 1：50 A3 1：71
製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明
No. A-094



通信機械室	床	モルタル → 改 下地調整の上、半硬質ビニル床タイル t2.0_WX
	巾木	木製 → 改 (旧暗室部分のみ)SOP塗替え 新 (流し台撤去跡)木製巾木 H=75 SOP塗装
	壁	モルタル金ゴテ押エ_VP、吸音材 t50ガラスクロス押エ → 現
	天井	吸音材 t50 ガラスクロス押エ → 現
会議室	床	カーペットタイル t6.5 → 現
	巾木	木製 H=75 → 改 SOP塗装
	壁	既設：モルタル金ゴテ押エ、LGS下地石こうボード t12 → 改 下地調整の上、壁紙
	天井	新 LGS下地 ＋ 石こうボード t9.5 ＋ ロックウール化粧吸音板 t12
予防課 警防課書庫	床	半硬質ビニル床タイル t2.0_WX → 改 ハッチ部分のみ 半硬質ビニル床タイル t2.0_WX
	巾木1	木製 H=75 → 改 SOP塗装
	巾木2	新 ハッチ部分＿長尺塩ビソフト巾木 H=75
	壁1	モルタル金ゴテ押エ_EP → 現
	壁2	モルタル金ゴテ押エ → 改 下地調整の上、壁紙
	天井1	石こうボード t9.0_EP → 現
	天井2	石こうボード t9.0 + ロックウール化粧吸音板 t12 → 現

（改修後） 3階 総務課書庫、会議室、予防課・警防課書庫 平面詳細図 1/50

→ 現 …現況のまま
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す
※特記なき限り現況のままとする
改修範囲外

：アスベスト含有材を示す

◁S1：突出し型サイン(200×200 通信機械室)
◁S2：突出し型サイン(200×200 会議室)×2
◁S3：突出し型サイン(200×200 書庫)

1
4 展開方向 2
3

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称 （改修後） 3階 総務課書庫、会議室 予防課・警防課書庫 平面詳細図

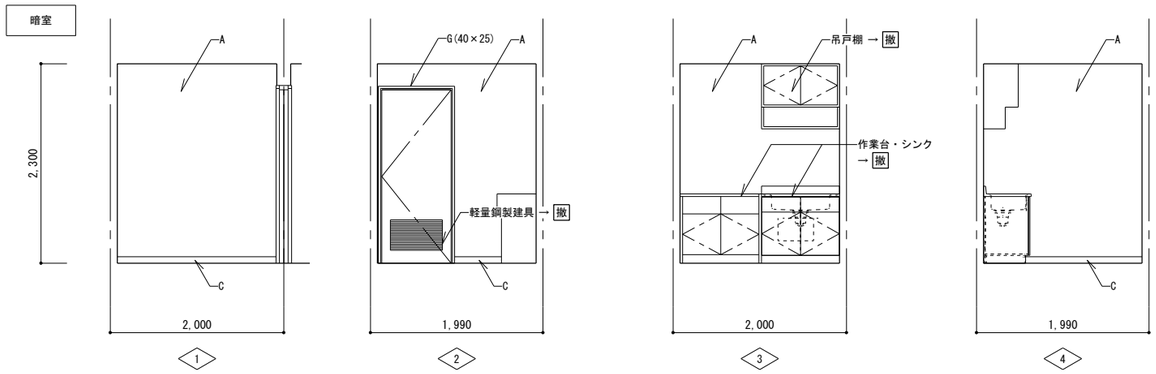
縮尺 A2 1：50 A3 1：71

製図 令和08年03月

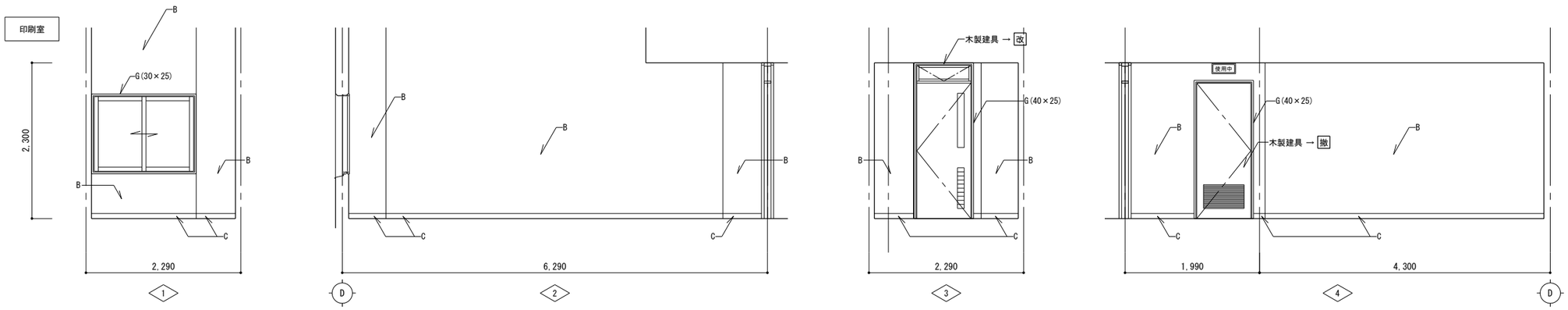
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明

No. A-095

暗室



印刷室



(改修前)　3階　暗室、印刷室　展開図　1/50

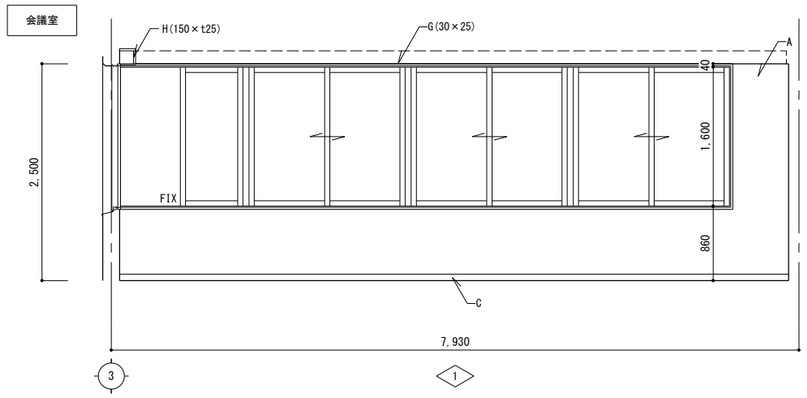
A	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ_VP	C	現況	巾木：木製 OP H=75	E	現況		G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事(既設撤去)を示す	
	措置	→ 現		措置	→ 現		措置			措置	→ 現		
B	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ_VP、吸音材 t50 ガラスクロス押エ	D	現況		F	現況		H	現況			
	措置	→ 現		措置			措置			措置			

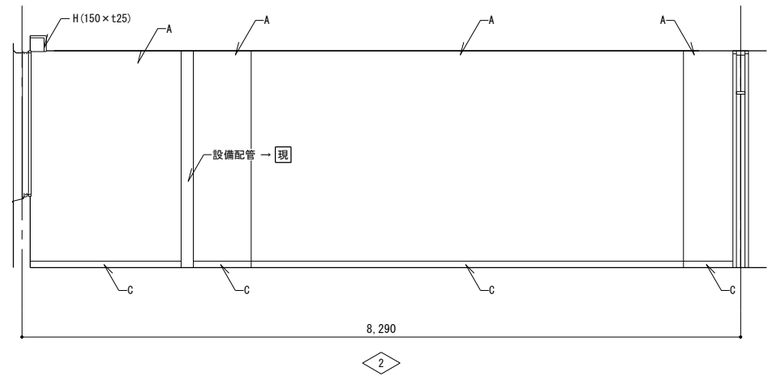
株式会社　松浦建築事務所

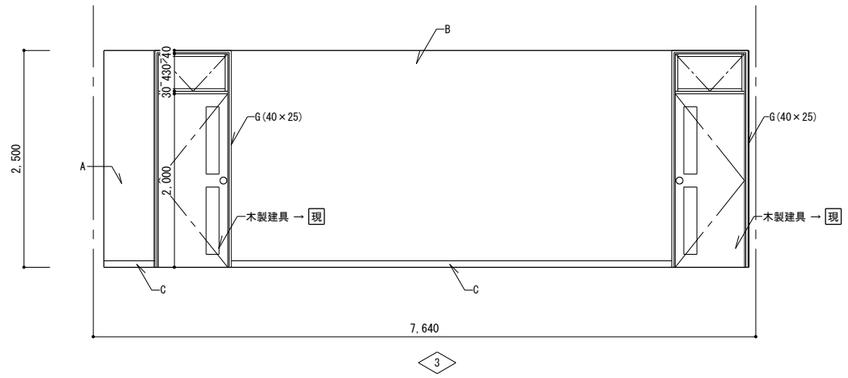
TEL　(0561) 32-0318

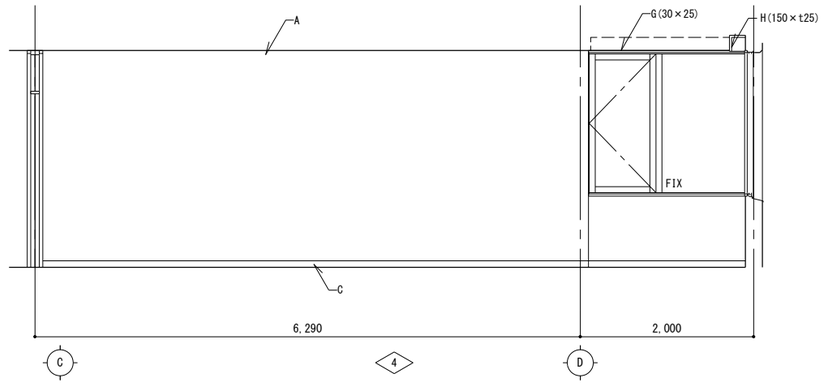
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	(改修前)　3階 暗室、印刷室　展開図
縮尺	A2　1：50 A3　1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-096

会議室









（改修前） 3階 会議室 展開図 1/50

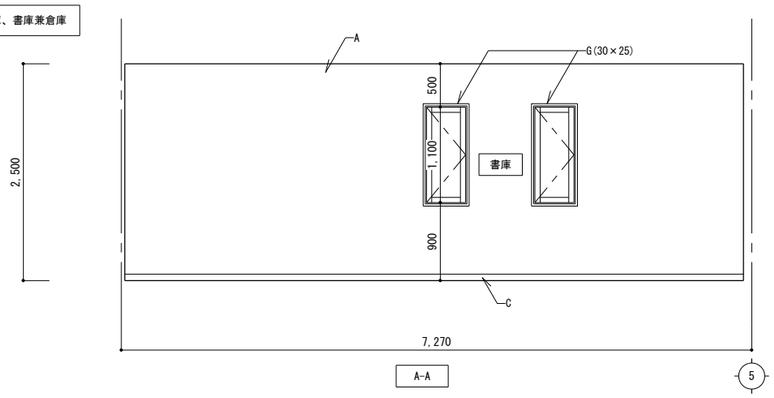
A	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙	C	現況	巾木：木製 OP H=75	E	現況		G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事（既設撤去）を示す	
	措置	→ 撤 壁紙のみ撤去		措置	→ 現		措置			措置	→ 現		
B	現況	壁：LGS下地石こうボード t12 ＋ 壁紙	D	現況		F	現況		H	現況	カーテンボックス		
	措置	→ 撤 壁紙のみ撤去		措置			措置			措置	→ 現		

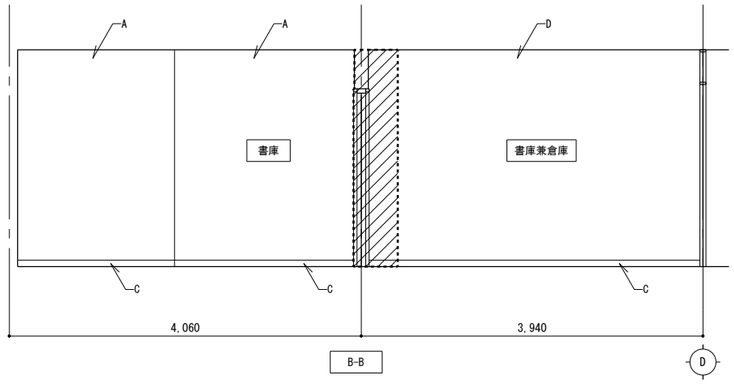
株式会社 松浦建築事務所

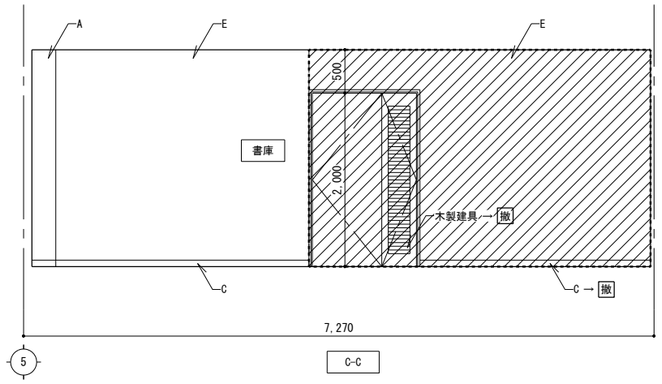
TEL (0561) 32-0318

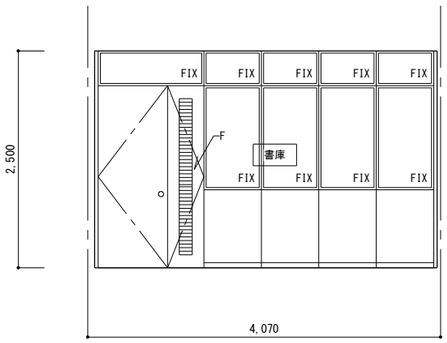
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前）3階 会議室 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-097

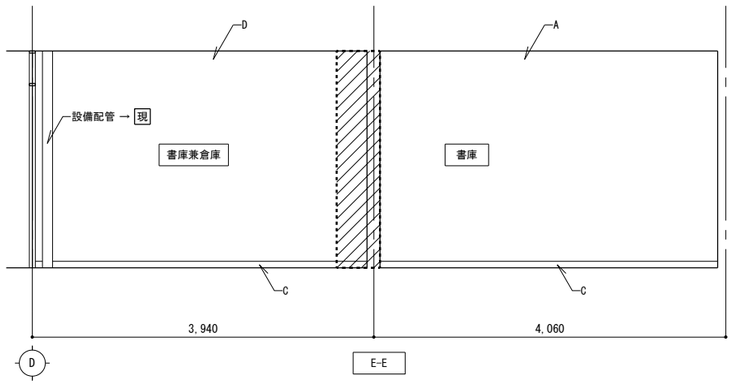
書庫、書庫兼倉庫

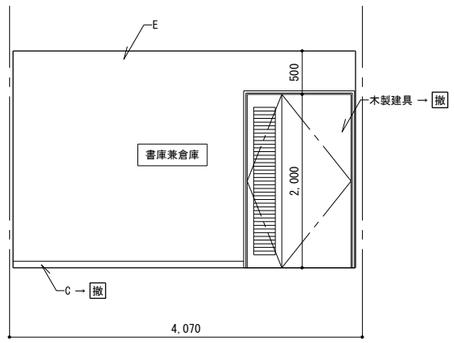


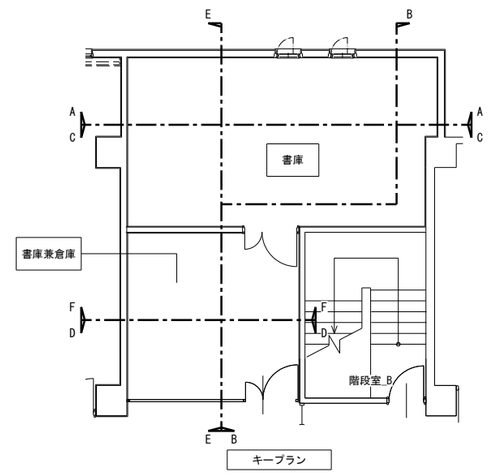












（改修前） 3階 書庫、書庫兼倉庫 展開図 1/50

A	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ_EP	C	現況	巾木：木製 OP H=75	E	現況	壁：耐火構造壁	G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事(既設撤去)を示す	
	措置	→ 現		措置	→ 撤 ハッチ部分のみ撤去		措置	→ 撤 ハッチ部分のみ撤去		措置	→ 現		
B	現況		D	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙	F	現況	アルミパーティション	H	現況			
	措置			措置	→ 撤 壁紙のみ除去		措置	→ 現		措置			

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称 （改修前） 3階 書庫、書庫兼倉庫 展開図

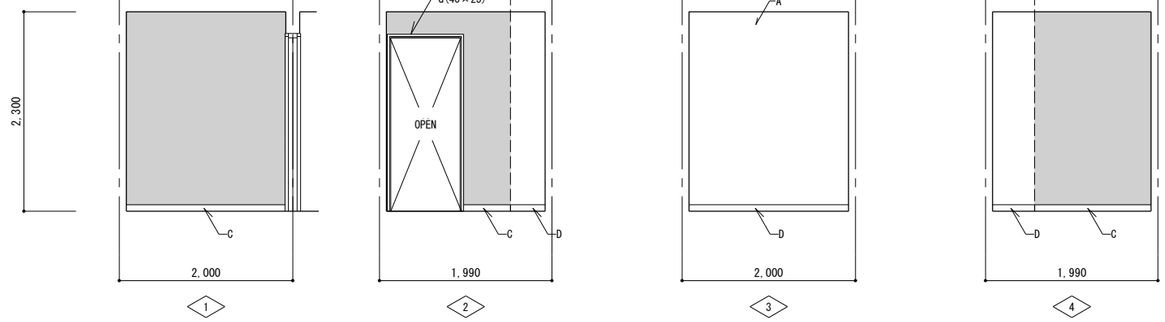
縮尺 A2 1：50 A3 1：71

製図 令和08年03月

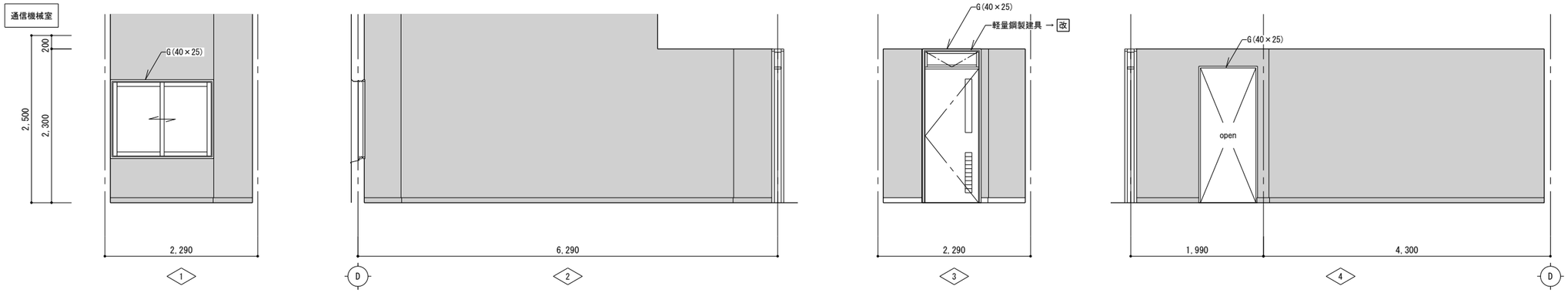
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明

No. A-098

通信機械室



通信機械室



（改修後） 3階 通信機械室 展開図 1/50

A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、EP-G	E		I			
B		F		J			
C	巾木：木製 → 改 下地調整の上、SOP	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K			
D	巾木： 新 木製 H=75 SOP塗装	H		L			

→ 改 …今回工事（既設改修）を示す
新 …今回工事（新設）を示す

改修範囲外

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称 （改修後） 3階 通信機械室 展開図

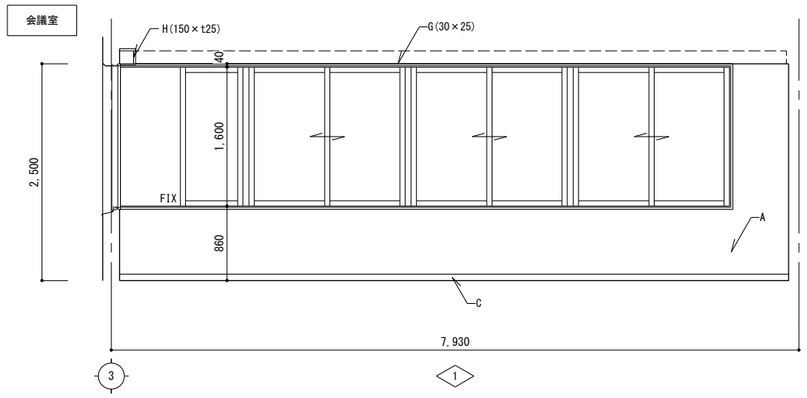
縮尺 A2 1：50 A3 1：71

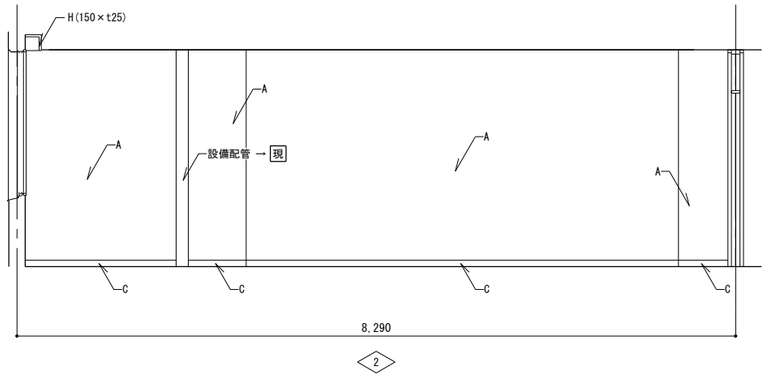
製図 令和08年03月

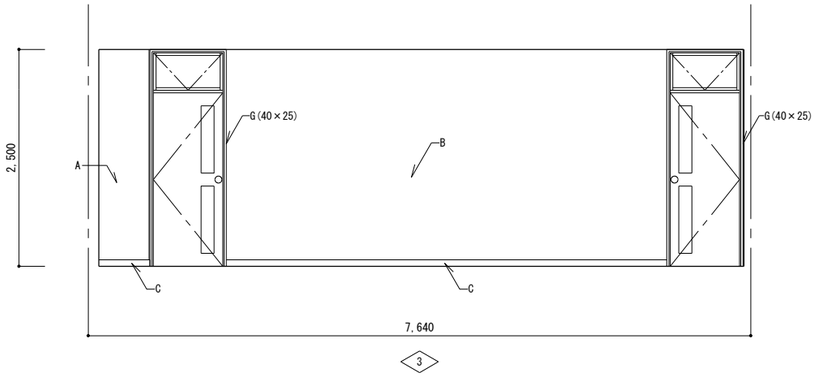
1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

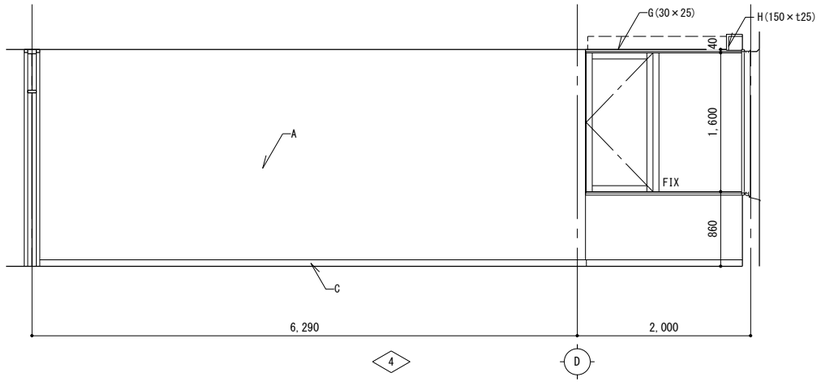
No. A-099

会議室









（改修後） 3階 会議室 展開図 1/50

A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙	E		I			
B	壁：既設LGS下地 ＋ 石こうボード t12 → 改 下地調整の上、壁紙	F		J			
C	巾木：木製 OP H=75 → 改 下地調整の上、SOP塗替え	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K			
D		H	カーテンボックス → 現	L			

→ 改 …今回工事（既設改修）を示す
新 …今回工事（新設）を示す

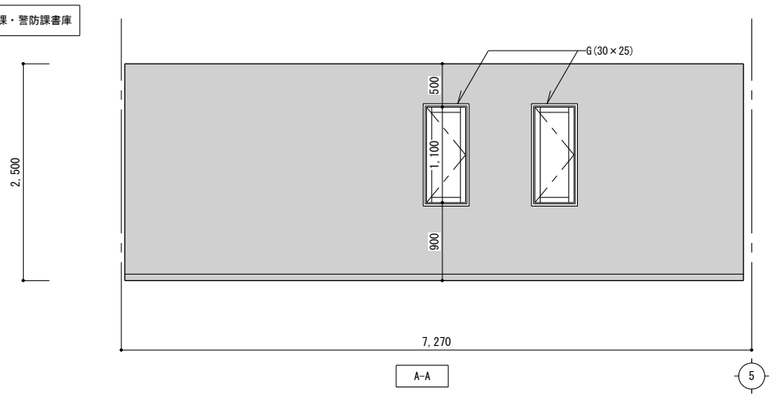
改修範囲外

株式会社 松浦建築事務所

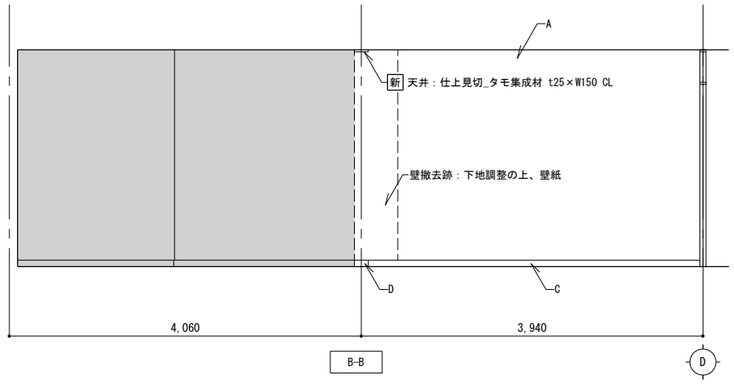
ＴＥＬ （0561） 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	（改修後） 3階 会議室 展開図	縮尺 A2 1：50 A3 1：71
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦 孔明		No. A-100

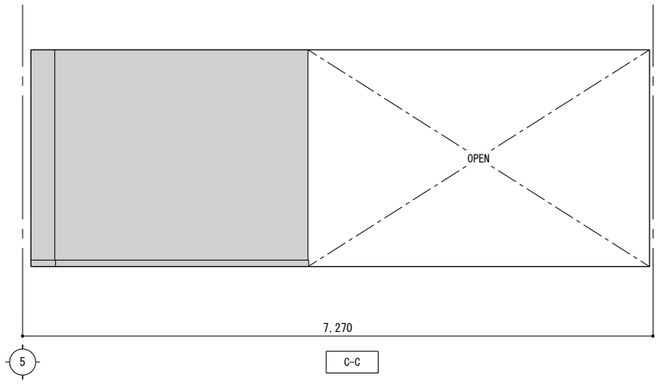
予防課・警防課書庫



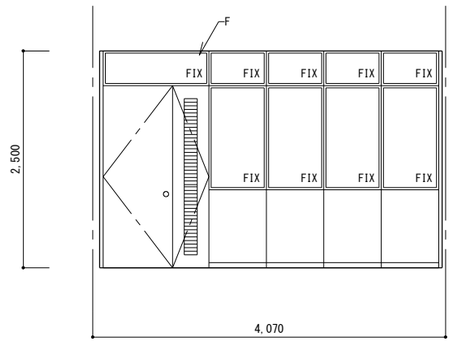
A-A　5



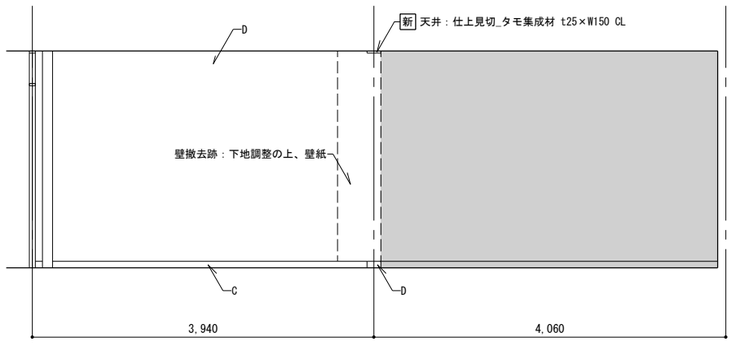
B-B　D



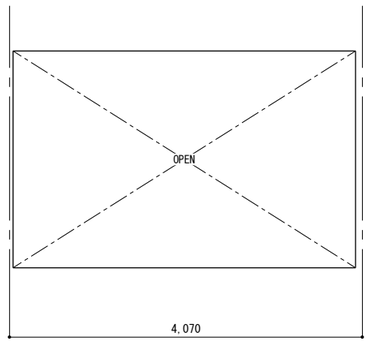
5　C-C



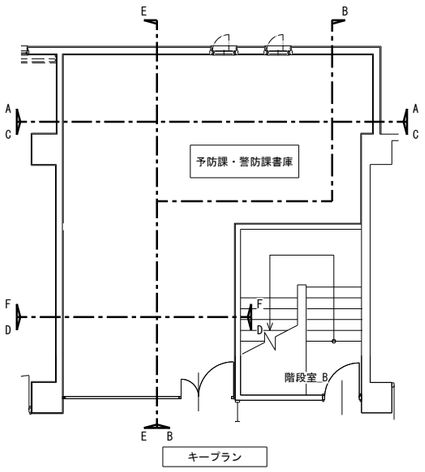
D-D



D　E-E



F-F



キープラン

（改修後） 3階　予防課・警防課書庫　展開図　1/50

A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙	E		I			
B		F	アルミパーティション → 改 SOP塗替え	J			
C	巾木：木製 OP H=75 → 改 SOP塗替え	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K			
D	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木 H=75	H		L			

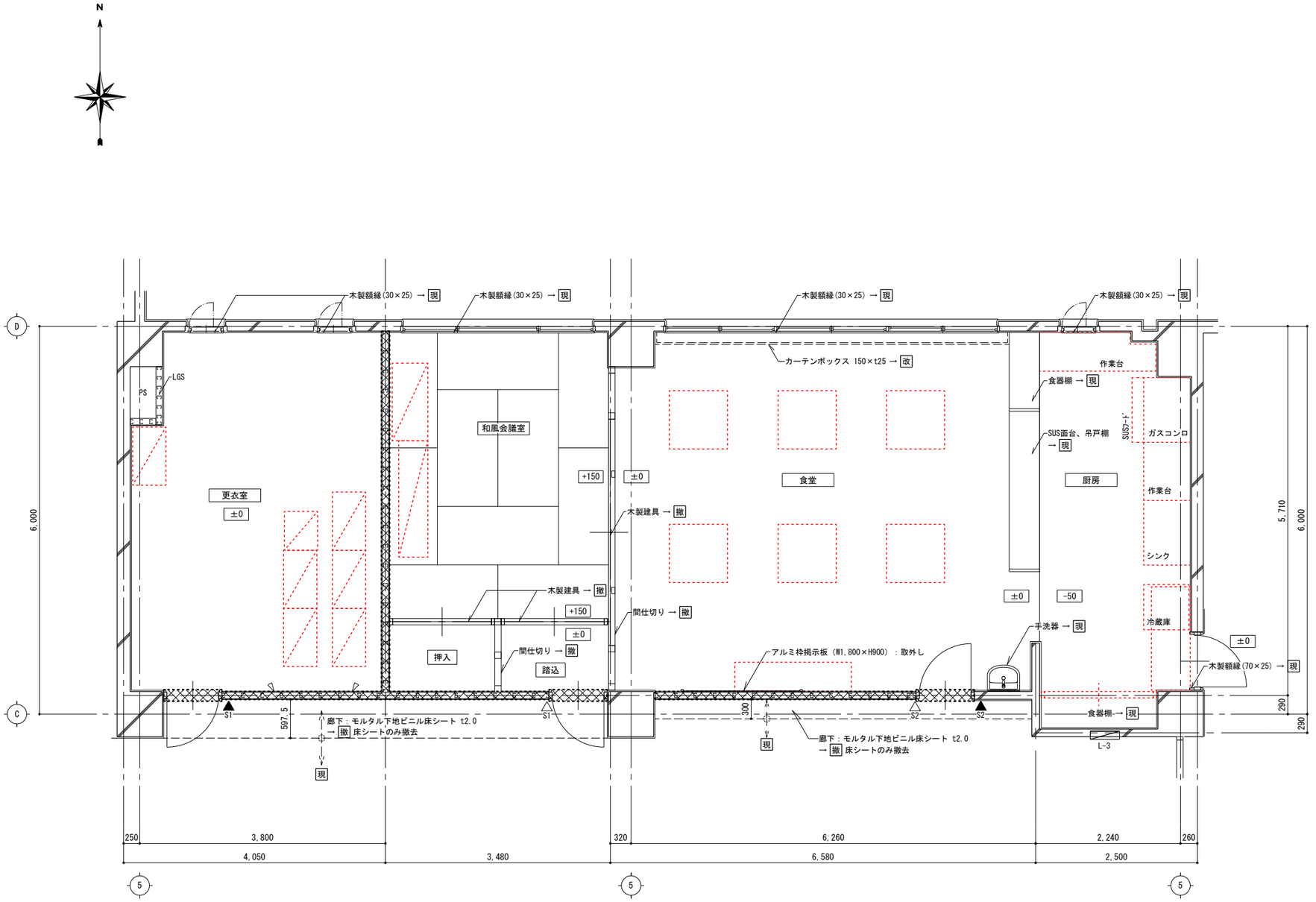
→ 改 …今回工事（既設改修）を示す
新 …今回工事（新設）を示す

改修範囲外

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	（改修後） 3階 予防課・警防課書庫 展開図	縮尺 A2 1：50 A3 1：71
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. A-101



更衣室	床	モルタル下地 半硬質ビニル床タイル t2.0 WX → 撤 床タイルのみ撤去
	巾木	木製巾木 OP H=75 → 撤 塗膜_除去
	壁	モルタル金ゴテ押エ、LGS下地石こうボード t12_EP → 撤 モルタル面_EP 除去及び撤去
	天井	石こうボード t9.0_EP → 撤 LGS下地共撤去
和風会議室	床	木製床組みの上畳敷 → 撤 木製床組み共撤去
	巾木	畳寄せ → 撤
	壁1	モルタル金ゴテ押エ下地_ジュラク吹付 → 撤 モルタル面ジュラク_除去
	壁2	LGS下地、木製軸組下地 ＋ 石こうボード t12_ジュラク吹付 → 撤 下地共撤去
	天井	杉杢天井板（目透かし） → 撤 LGS下地共撤去
踏込	床	モルタル下地ビニル床シート t2.0 → 撤 床シートのみ撤去
	巾木	木製巾木 OP H=75 → 撤
	壁	LGS下地、木製軸組下地 ＋ 石こうボード t12_ジュラク吹付 → 撤 下地共撤去
	天井	化粧石こうボード t9.0 → 撤 LGS下地共撤去
食堂	床	モルタル下地 クッションフロア → 撤 クッションフロア撤去
	巾木	木製巾木 OP H=75 → 撤 塗装_除去、一部撤去
	壁	モルタル金ゴテ押エ、LGS下地石こうボード t12 ＋ 壁紙 → 撤 石こうボード ＋ 壁紙共撤去
	天井	石こうボード t9.0下地 ＋ ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板（立体模様）t12 → 撤 LGS下地共撤去
	備考	食器棚 → 現
厨房	床	エポキシ樹脂塗床（ノンスリップ） → 撤 除去(目荒し工法)
	巾木	-
	壁	モルタル下地半磁器質100角タイル → 現 水洗い
	天井	石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0_VP → 撤 VP_除去
	備考	作業台・ガスコンロ・SUSフード・シンク・食器棚 → 現

（改修前） 3階 更衣室、和風会議室、食堂、厨房 平面詳細図 1/50

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
※特記なき限り現況のままとする

：アスベスト含有材を示す
：LGS・建具撤去範囲
：カッター入れ

◀S1：二人用ネームプレート → 撤
◀S2：二人用ネームプレート → 撤
◁S1：突付け型室名札(倉庫) → 撤
◁S2：突付け型室名札(食堂) → 撤

1
4 展開方向 2
3

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

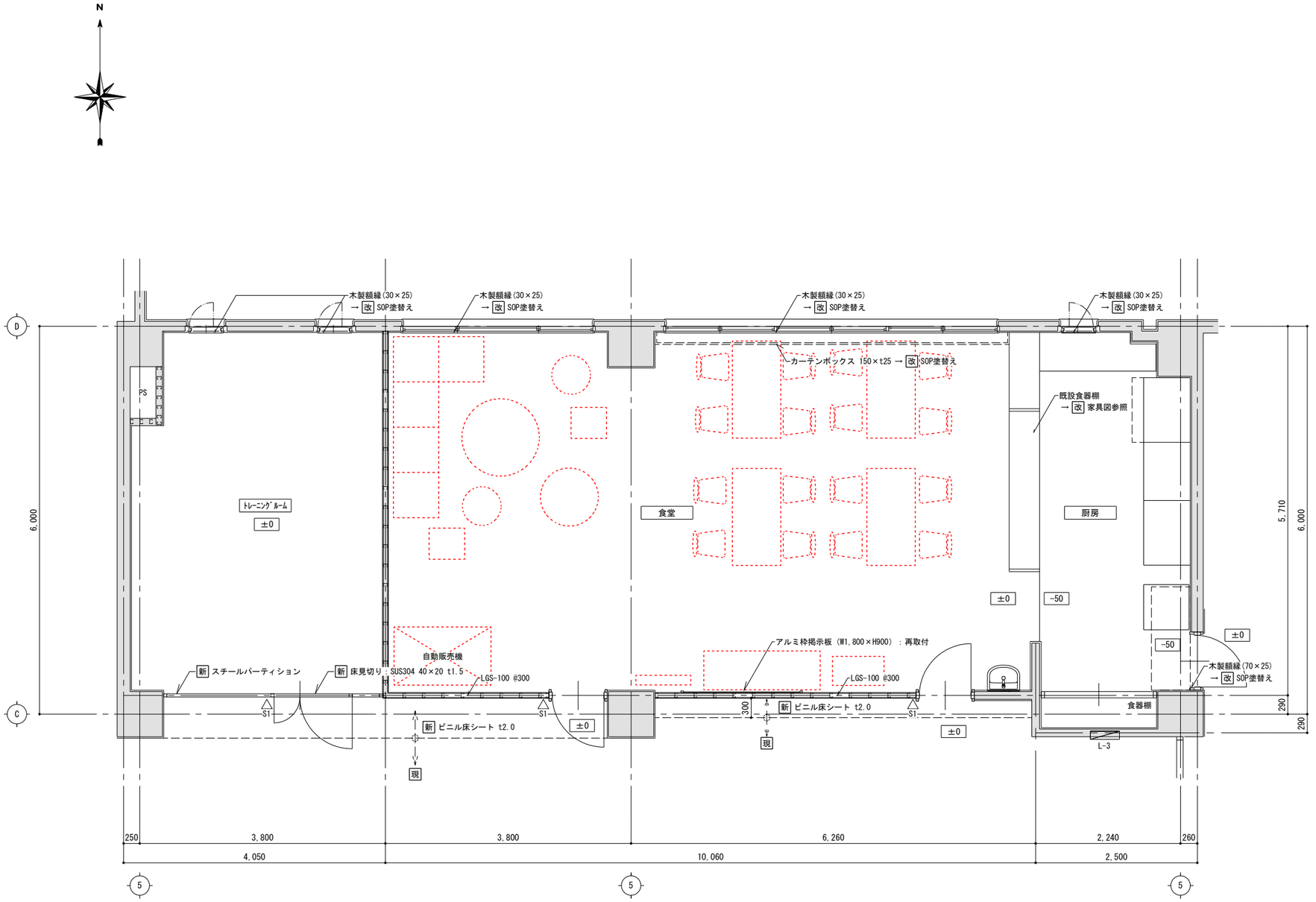
図面名称 （改修前） 3階 更衣室、和風会議室 踏込、食堂、厨房 平面詳細図

縮尺 A2 1：50 A3 1：71

製図 令和08年03月

1級建築士 登録第92794号 松浦孔明

No. A-102



トレーニング ルーム	床	既設モルタル → 改 下地処理の上カーペットタイル t6.5
	巾木	木製 → 改 下地調整の上、SOP
	壁	既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙 既設LGS → 改 石こうボード t12.5 ＋ 壁紙
	天井	新 LGS下地化粧石こうボード t9.5
	その他	新 大型鏡
食堂	床	モルタル → 改 下地調整の上、ビニル床シート t2.0
	巾木	木製 → 改 下地調整の上、SOP塗替え 新 長尺塩ビソフト巾木
	壁	モルタル → 改 下地調整の上、壁紙 既設LGS → 改 石こうボード t12.5 ＋ 壁紙
	天井	新 LGS下地石こうボード t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板 t12
	備考	既設食器棚 → 改 高圧メラミン化粧板 t1.0貼り
厨房	床	既設モルタル → 改 エポキシ樹脂塗床（ノンスリップ）
	巾木	-
	壁	モルタル下地半磁器質100角タイル → 現
	天井	既設石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0 → 改 下地調整の上、EP-G

（改修後） 3階 トレーニング ルーム、食堂、厨房 平面詳細図 1/50

→ 現 …現況のまま
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す
※特記なき限り現況のままとする
改修範囲外

：アスベスト含有材を示す

◁S1：突出し型ピクトサイン(200×200 トレーニングルーム)
◁S2：突出し型ピクトサイン(200×200 食堂)

1
4 展開方向 2
3

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称 （改修後） 3階 トレーニング ルーム、食堂、厨房 平面詳細図

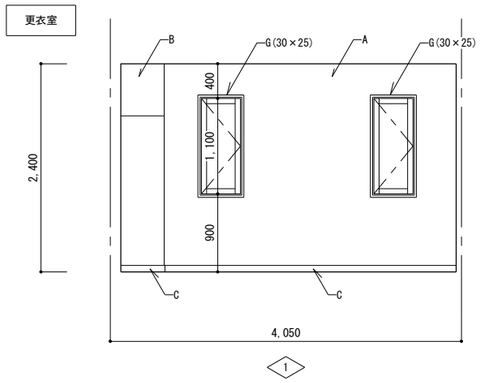
縮尺 A2 1：50 A3 1：71

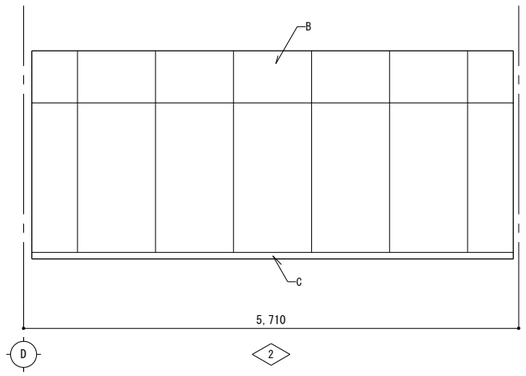
製図 令和08年03月

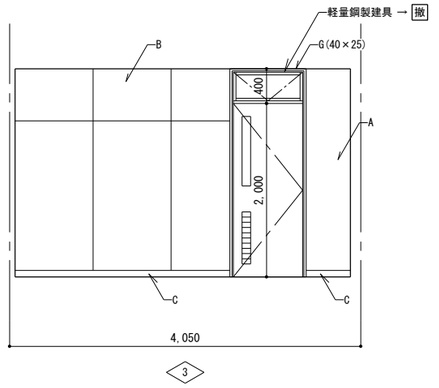
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明

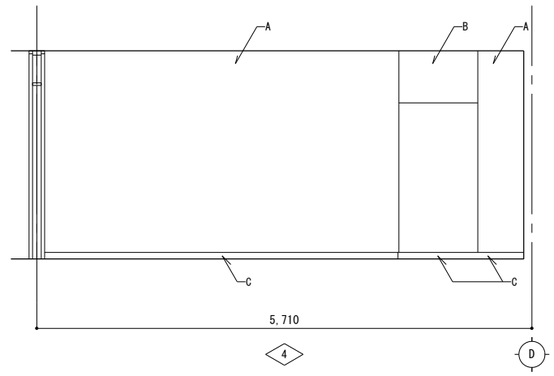
No. A-103

更衣室





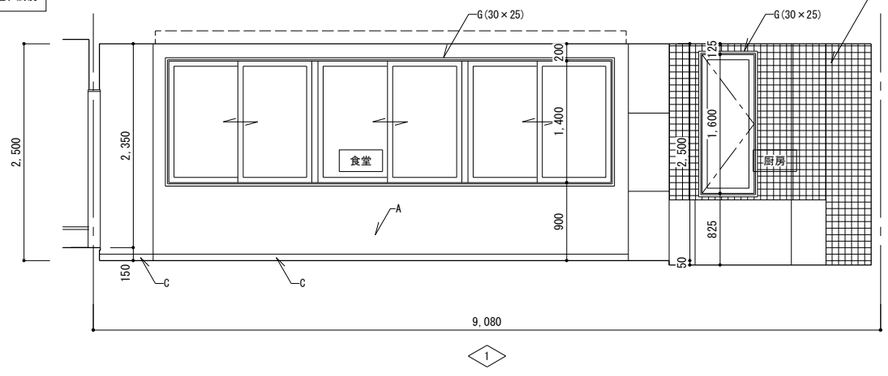


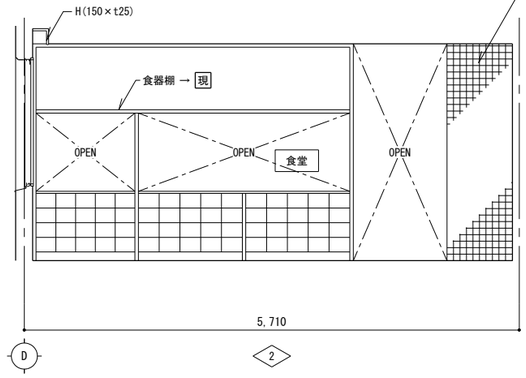


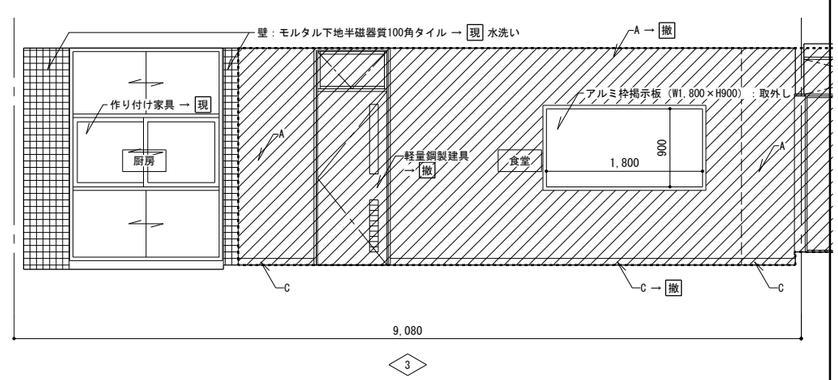
（改修前） 3階 更衣室 展開図 1/50

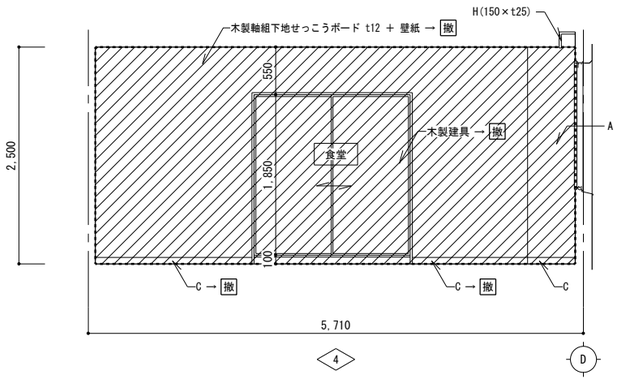
A	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ_EP	C	現況	巾木：木製 OP H=75	E	現況		G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事（既設撤去）を示す	株式会社 松浦建築事務所 TEL (0561) 32-0318	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	措置	→ 改 塗膜_除去		措置	→ 撤 塗膜_除去		措置			措置	→ 現			図面名称	（改修前） 3階 更衣室 展開図
B	現況	壁：LGS下地石こうボード t12_EP	D	現況		F	現況		H	現況				縮尺	A2 1：50 A3 1：71
	措置	→ 撤 石こうボード撤去		措置			措置			措置				製図	令和08年03月
													1級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No.	A-104

食堂、厨房

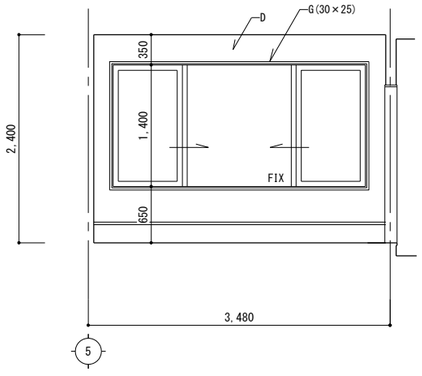


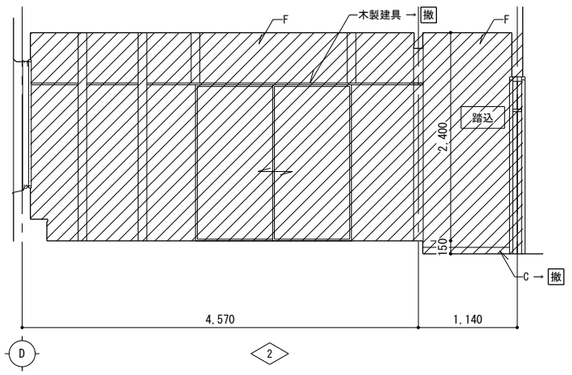


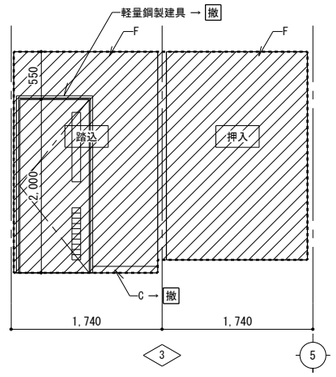


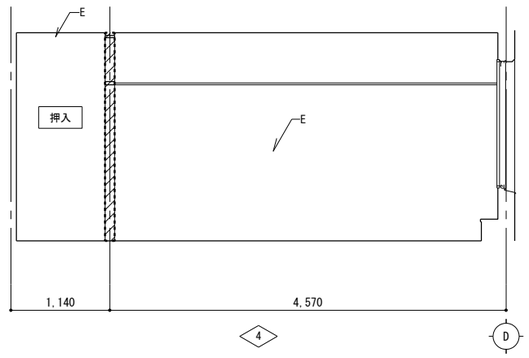


和風会議室









（改修前） 3階 和風会議室、食堂、厨房 展開図 1/50

A	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙	C	現況	巾木：木製 OP H=75	E	現況	壁：LGS下地石こうボード t12_ジュラク吹付	G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事（既設撤去）を示す	
	措置	→ 撤 壁紙のみ撤去		措置	→ 撤 塗膜_除去、一部撤去		措置	→ 撤 石こうボードのみ撤去		措置	→ 現		
B	現況	壁：LGS下地石こうボード t12 ＋ 壁紙	D	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ下地_ジュラク吹付	F	現況	壁：木製軸組下地石こうボード t12_ジュラク吹付	H	現況	カーテンボックス		
	措置	→ 撤 石こうボード ＋ 壁紙とも撤去 一部LGS下地共撤去		措置	→ 撤 モルタル面ジュラク_除去		措置	→ 撤 木製軸組共撤去		措置	→ 現		

株式会社 松浦建築事務所

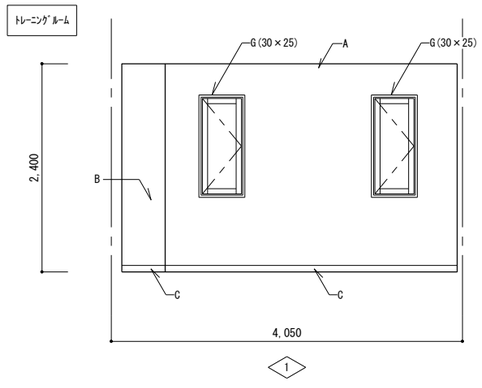
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前） 3階 和風会議室、食堂、厨房 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月

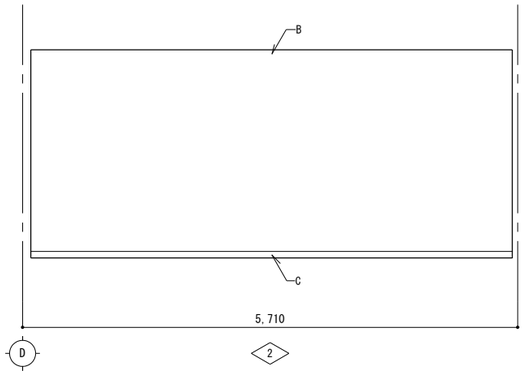
1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-105

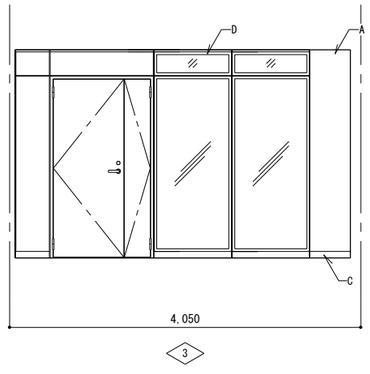
トレーニングルーム



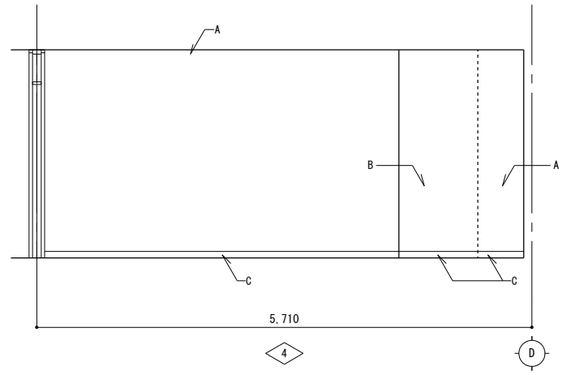
1



D 2



3



4 D

(改修後) 3階 トレーニングルーム 展開図 1/50

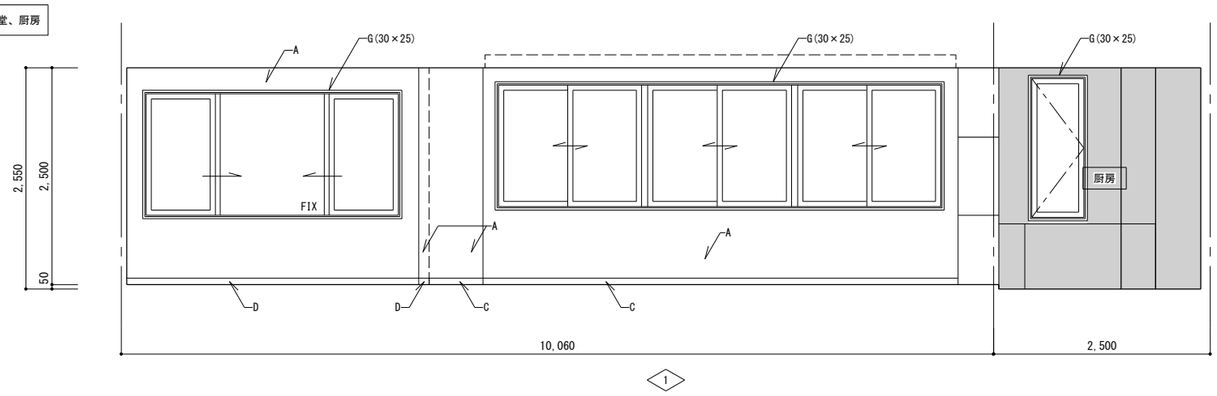
A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙	E		I				→ 改 …今回工事(既設改修)を示す 新 …今回工事(新設)を示す
B	壁：既設LGS → 改 石こうボード t12.5 ＋ 壁紙	F		J				
C	巾木：木製 OP H=75 → 改 SOP塗替え	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K				
D	新 スチールパーティション	H		L				

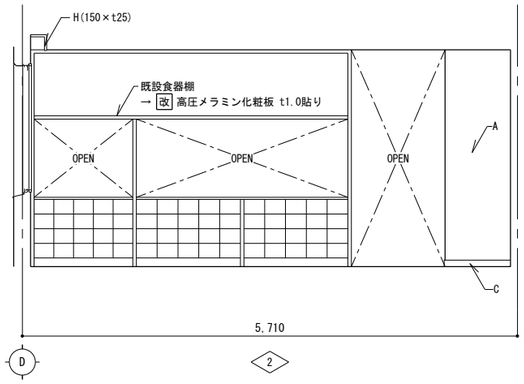
株式会社 松浦建築事務所

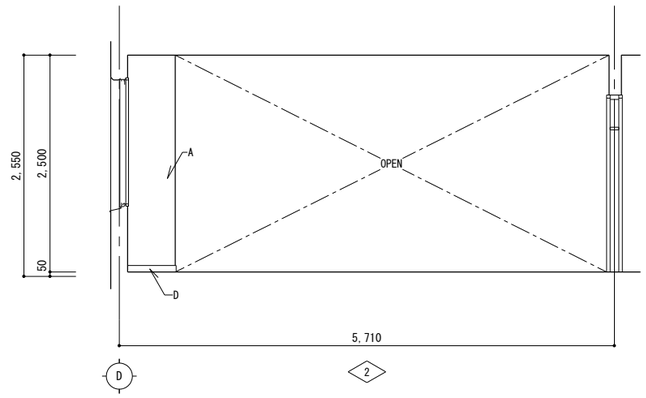
TEL (0561) 32-0318

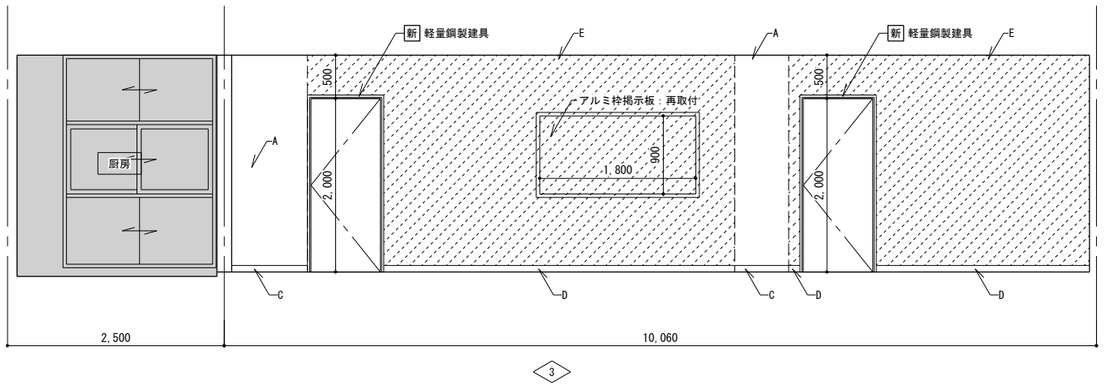
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	(改修後) 3階 トレーニングルーム 展開図
縮尺	A2 1：50 A3 1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-106

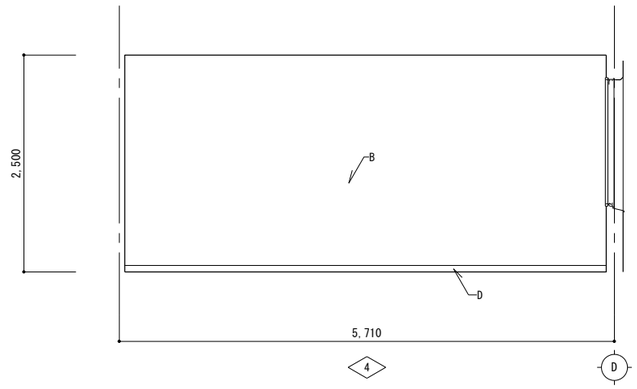
食堂、厨房

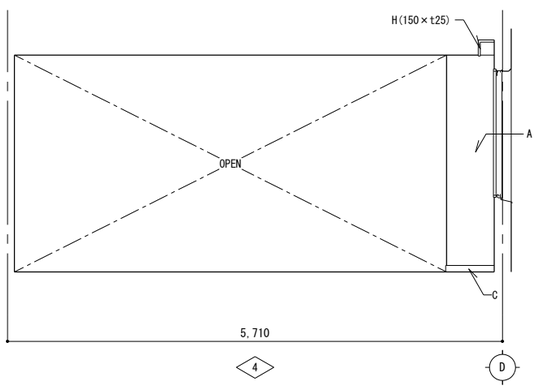












(改修後) 3階 食堂 展開図 1/50

A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙	E	壁：新 LGS ＋ 石こうボード t12.5 ＋ 壁紙	I			
B	壁：既設LGS → 改 石こうボード t12.5 ＋ 壁紙	F		J			
C	巾木：木製 OP H=75 → 改 SOP塗替え	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K			
D	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木	H	カーテンボックス → 改 SOP塗替え	L			

→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新設)を示す

改修範囲外

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

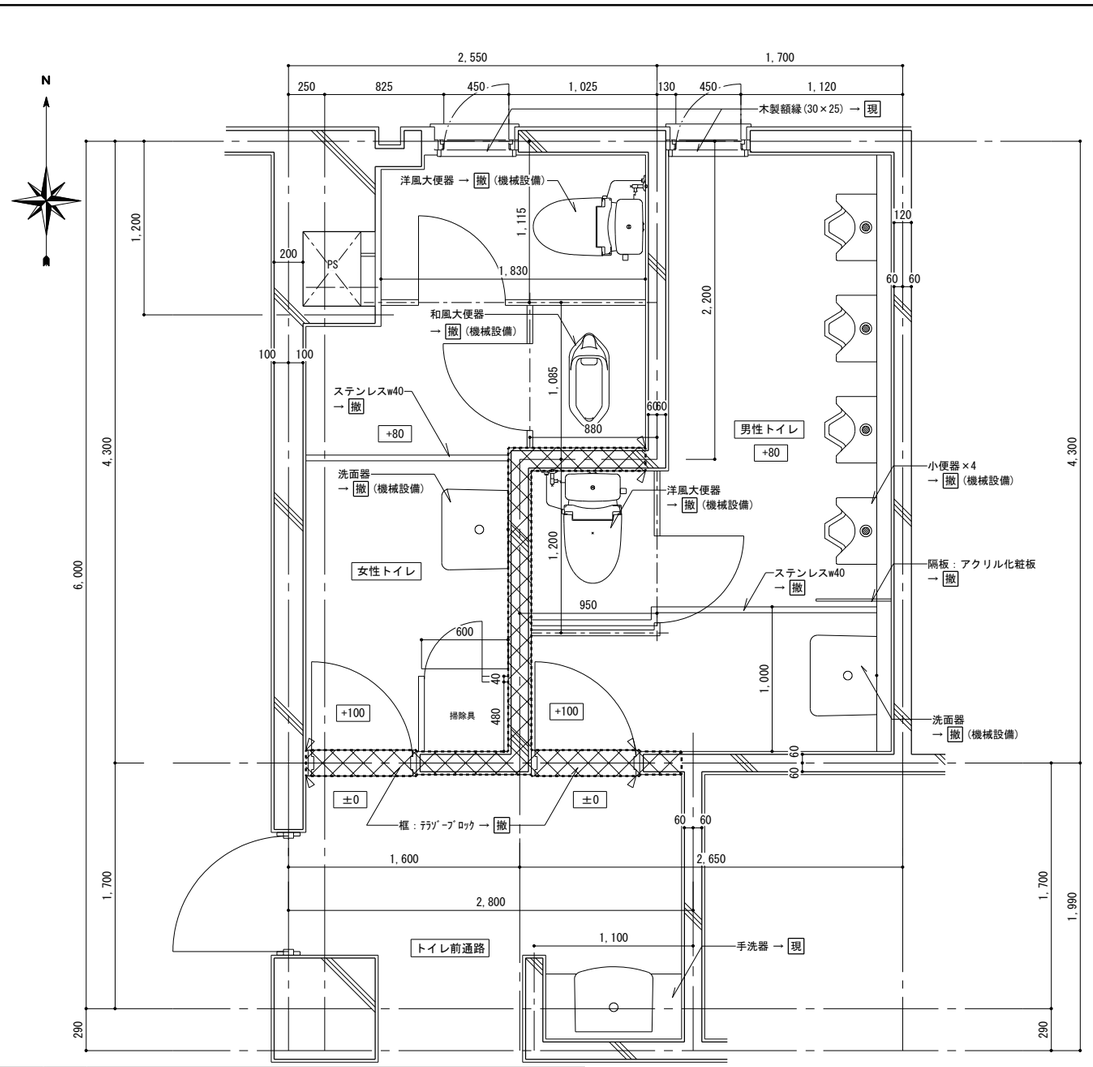
図面名称 (改修後) 3階 食堂 展開図

縮尺 A2 1：50 A3 1：71

製図 令和08年03月

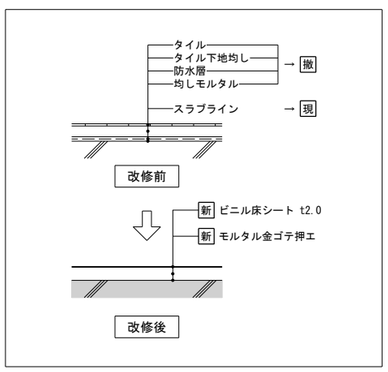
1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

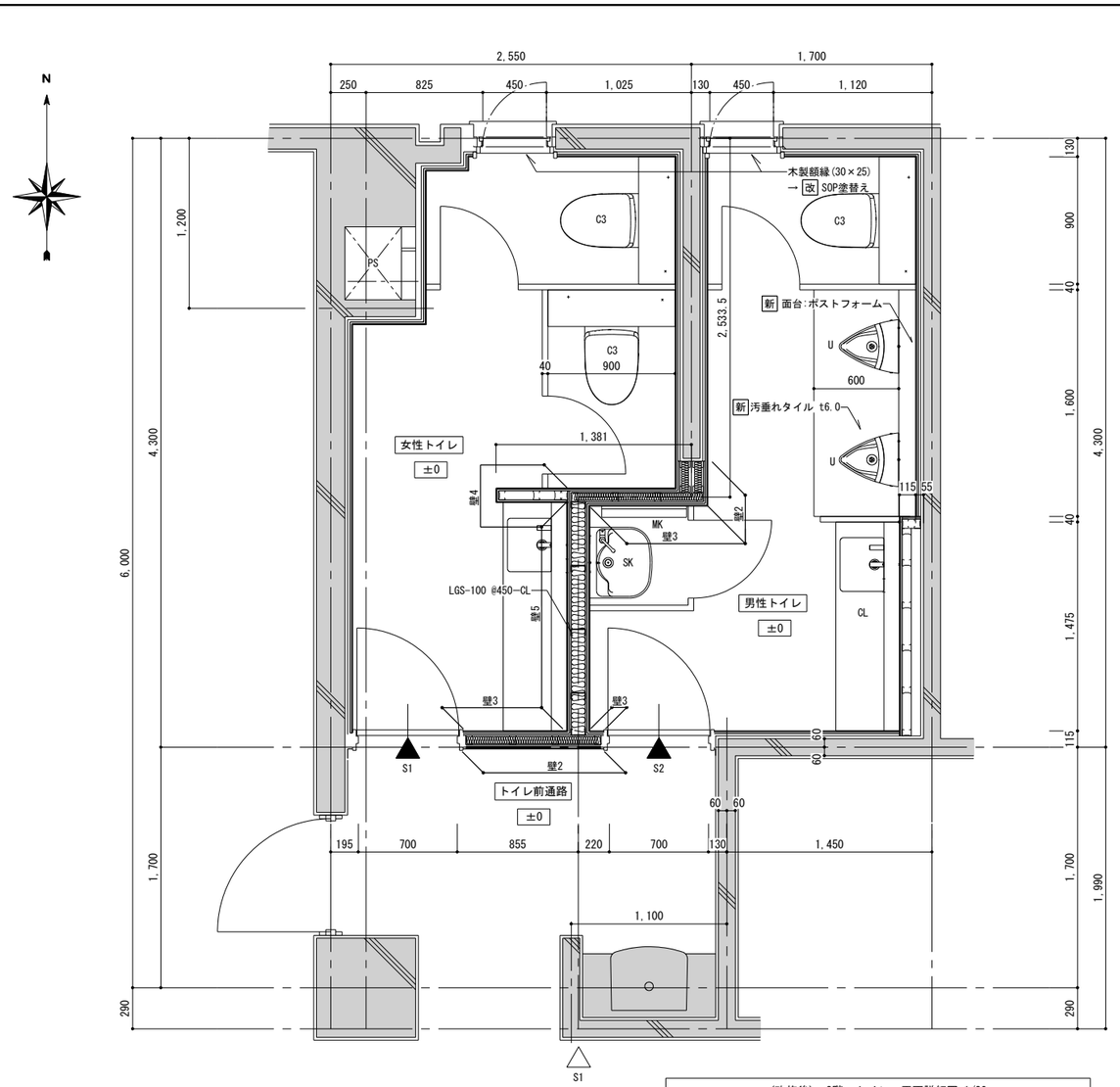
No. A-107



(改修前) 3階 トイレ 平面詳細図 1/30

男性・女性トイレ	床	モルタル下地磁器質モザイクタイル → 撤 防水層、上がり框共撤去
	巾木	
	壁	モルタル下地45角モザイクタイル → 撤 タイル撤去　(一部RC共撤去)
	天井	石綿ケイ酸カルシウム板 t6.0 _EP(スティップル) → 撤 下地共撤去
	備考	トイレブース → 撤 便器類一式、洗面器 → 撤 (機械設備)
トイレ前通路	床	モルタル下地長尺塩ビシート t2.0 → 撤 シートのみ撤去
	巾木	木製巾木　OP　H=75 → 撤 塗膜_除去
	壁1	モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙(ゾラコート柄) → 撤 WPのみ撤去
	壁2	モルタル下地150角モザイクタイル → 現
	天井	石こうボード t9.0 ＋ ビニルクロス → 撤 LGS下地共撤去
	備考	手洗器 → 現





(改修後) 3階 トイレ 平面詳細図 1/30

符号	衛生器具名称(機械設備)
CL	新 カウンター式手洗器(フロントパネル付)
C3	新 壁掛大便器セット(フラッシュタンク式)+洗浄便座
U	新 壁掛け小便器
SK	新 マルチシンク
MK	新 掃除具掛け(モップ掛けパネル)

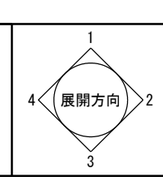
男性・女性トイレ	床	既設モルタル → 改 下地調整の上、ビニール床シート t2.0
	巾木	新 メタル巾木　H=75
	壁1	新 GL工法 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0 (突付目地) (GW　24K t50充填)
	壁2	新 LGS-65 ＋ LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 二重張り ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0 (突付目地) (GW　24K t50充填)
	壁3	新 LGS-65＋耐水石こうボード(GB-S)t12.5二重張り ＋化粧ケイ酸カルシウム板(0.8FK-D) t6.0 (突付目地) (GW　24K t50充填)
	壁4	新 LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0 (突付目地)
	壁5	新 LGS-100 ＋ 耐水石こうボード t12.5 二重張り ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0 (突付目地) (GW　24K t50充填)
	天井	新 LGS下地化多機能ケイ酸カルシウム板 t6.0
	備考	新 トイレブース 新 衛生器具一式(機械設備)上記表参照
トイレ前通路	床	既設モルタル → 改 下地調整の上、ビニル床シート t2.0
	巾木1	既存木製巾木 → 改 SOP塗替え
	巾木2	新 長尺塩ビソフト巾木　H=75
	壁1	既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙
	壁2	新 LGS-65 ＋ 石こうボード t12.5 二重張り ＋ 壁紙
	天井	新 LGS下地石こうボード t9.5下地 ＋ ロックウール化粧吸音板 t12
	備考	150角デザインタイル、手洗器 → 現

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
→ 新 …今回工事(新設)を示す
※特記なき限り現況のままとする
改修範囲外

：アスベスト含有材を示す
：LGS・建具撤去範囲
：カッター入れ

◁ 改修前_S1：突出し型アクリルプレート(御手洗)→ 撤
◀ 改修前_S1：平付け型アクリルピクトサイン(女)→ 撤
◀ 改修前_S2：平付け型アクリルピクトサイン(男)→ 撤
◁ 改修後_S1：突出し型サイン(200×200　男女)
◀ 改修後_S1：フィルムシートサイン(ピクト 女子)
◀ 改修後_S2：フィルムシートサイン(ピクト 男子)

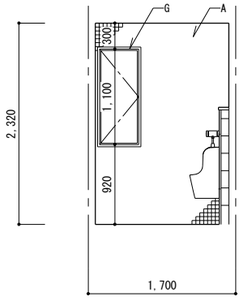
※前室-各トイレ間及び男性トイレ-女性トイレ間の間仕切壁はスラブ下まで立ち上げること。



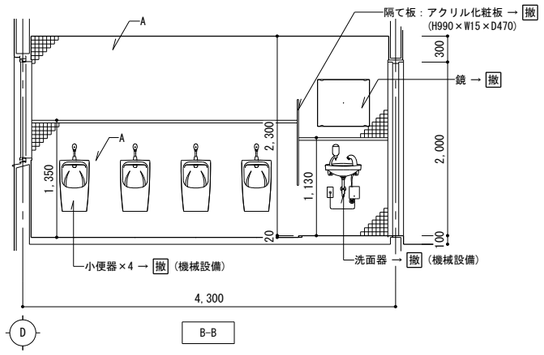
株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	(改修前後) 3階 トイレ、通路 平面詳細図
縮尺	A2 1:30 / A3 1:43
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-108

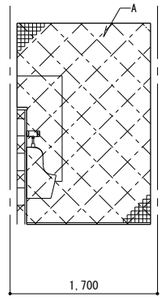
3階　男性トイレ



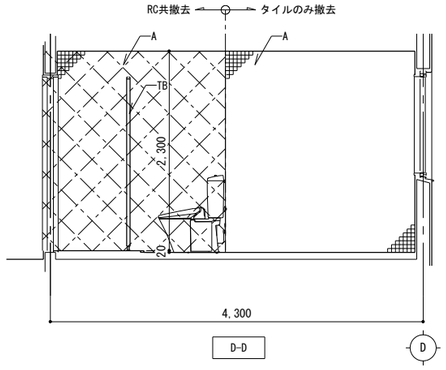
A-A



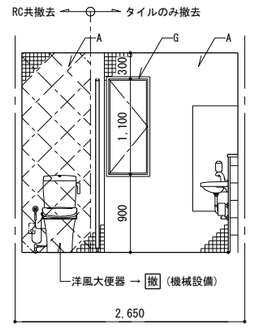
B-B



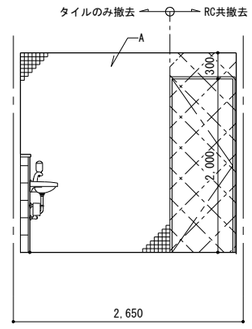
C-C



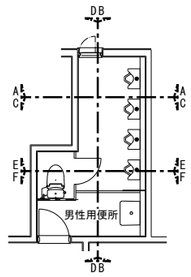
D-D



E-E



F-F

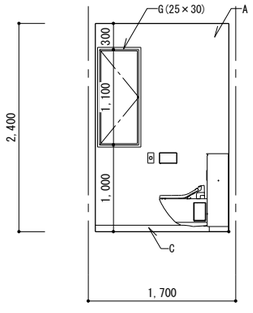


キープラン

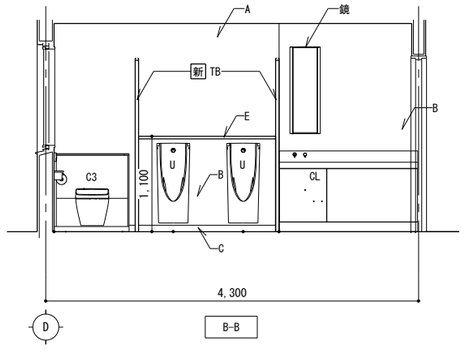
（改修前）　3階　男性トイレ　展開図　1/50

A	現況	壁：モルタル下地45角モザイクタイル	C	現況		E	現況		G	現況	木額縁	→ 現 …現況のまま → 撤 …今回工事（既設撤去）を示す
	措置	→ 撤 タイルのみ撤去一部、ハッチ部RC共撤去		措置			措置			措置	→ 現	
B	現況		D	現況		F	現況		H	現況		
	措置			措置			措置			措置		

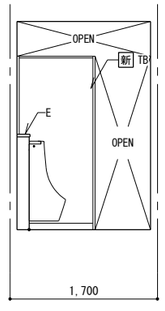
3階　男性トイレ



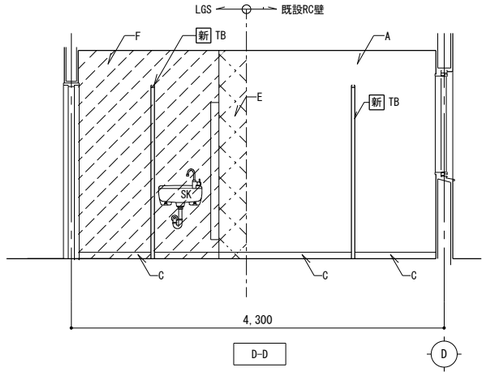
A-A



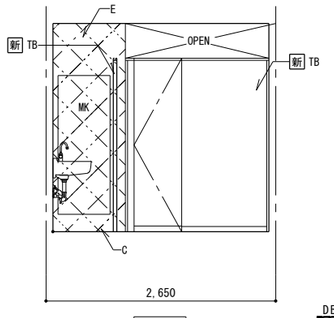
B-B



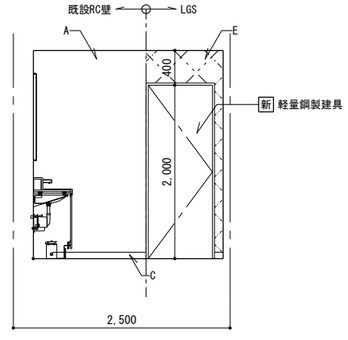
C-C



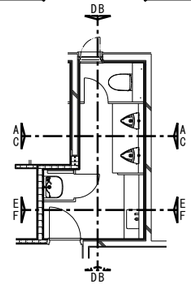
D-D



E-E



F-F



キープラン

（改修後）　3階　男性トイレ　展開図　1/50

符号	衛生器具名称（機械設備）
CL	新 カウンター式手洗器（フロントパネル付）
C3	新 壁掛大便器セット（フラッシュタンク式）+洗浄便座
U	新 壁掛け小便器
SK	新 マルチシンク
MK	新 掃除具掛け（モップ掛けパネル）

A	壁：新 GL壁工法 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0（突付目地）	E	壁：新 LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 二重張り ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0（突付目地）	I			→ 改 …今回工事（既設改修）を示す 新 …今回工事（新設）を示す
B	ライニング：新 LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0（突付目地）	F	壁：新 LGS-100 ＋ 耐水石こうボード t12.5 二重張り ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0（突付目地）	J			
C	新 巾木：メタル巾木 H=75	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K			
D	新 面台：ポストフォーム w30	H		L			

株式会社　松浦建築事務所

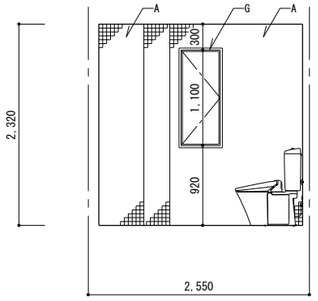
TEL　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前後）　3階 男性トイレ　展開図
縮尺	A2　1：50 A3　1：71
製図	令和08年03月

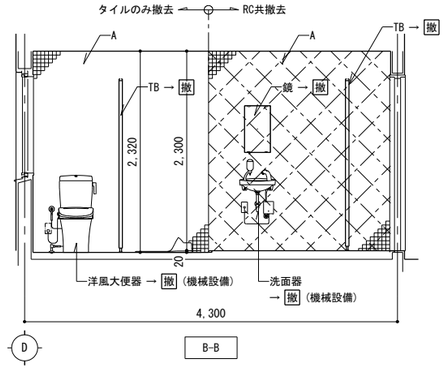
1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. A-109

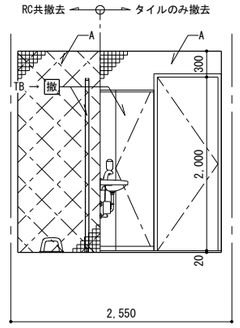
3階　女性トイレ



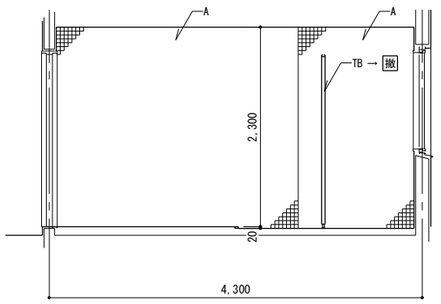
A-A



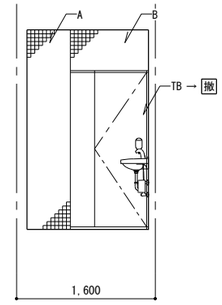
B-B



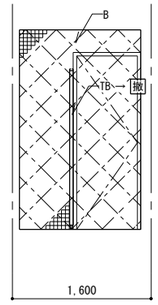
C-C



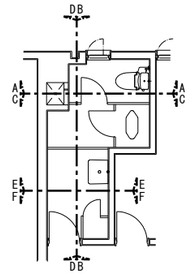
D-D



E-E



F-F



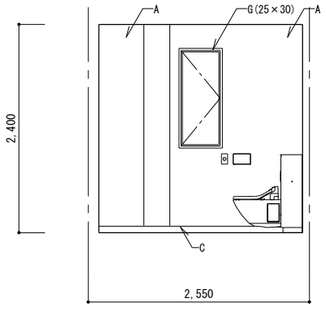
キープラン

（改修前）　3階　女性トイレ　展開図　1/50

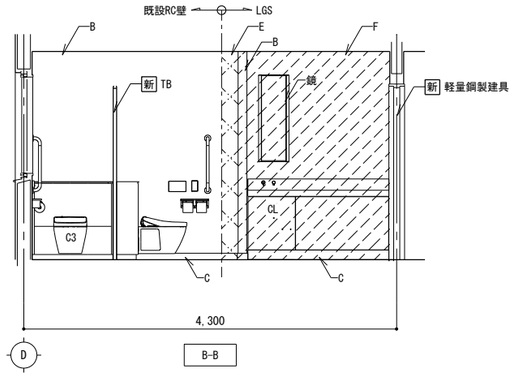
A	現況	壁：モルタル下地45角モザイクタイル	C	現況		E	現況		G	現況	木額縁
	措置	→ 撤 タイルのみ撤去一部、ハッチ部RC共撤去		措置			措置			措置	→ 現
B	現況		D	現況		F	現況		H	現況	
	措置			措置			措置			措置	

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事（既設撤去）を示す

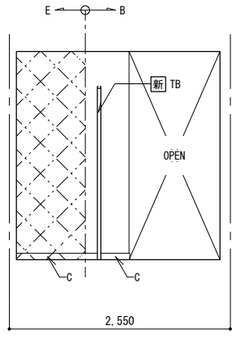
3階　女性トイレ



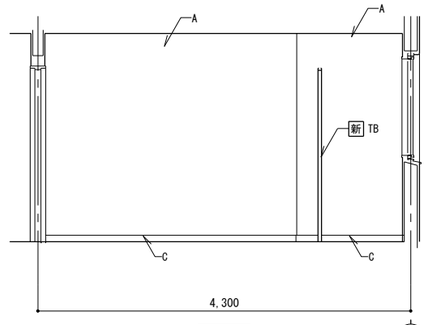
A-A



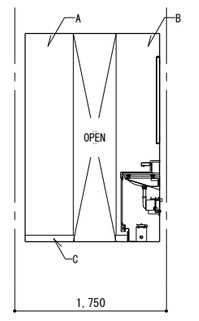
B-B



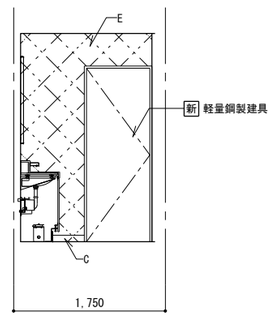
C-C



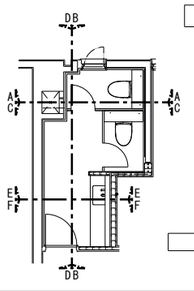
D-D



E-E



F-F



キープラン

（改修後）　3階　女性トイレ　展開図　1/50

符号	衛生器具名称（機械設備）
CL	新 カウンター式手洗器（フロントパネル付）
C3	新 壁掛大便器セット（フラッシュタンク式）+洗浄便座

A	壁：新 GL壁工法 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0（突付目地）	E	壁：新 LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 二重張り ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0（突付目地）	I							
B	ライニング：新 LGS-65 ＋ 耐水石こうボード t12.5 ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0（突付目地）	F	壁：新 LGS-100 ＋ 耐水石こうボード t12.5 二重張り ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0（突付目地）	J							
C	新 巾木：メタル巾木 H=75	G	木額縁 → 改 SOP塗替え	K							
D	新 面台：ポストフォーム w30	H		L							

→ 改 …今回工事（既設改修）を示す
新 …今回工事（新設）を示す

株式会社　松浦建築事務所

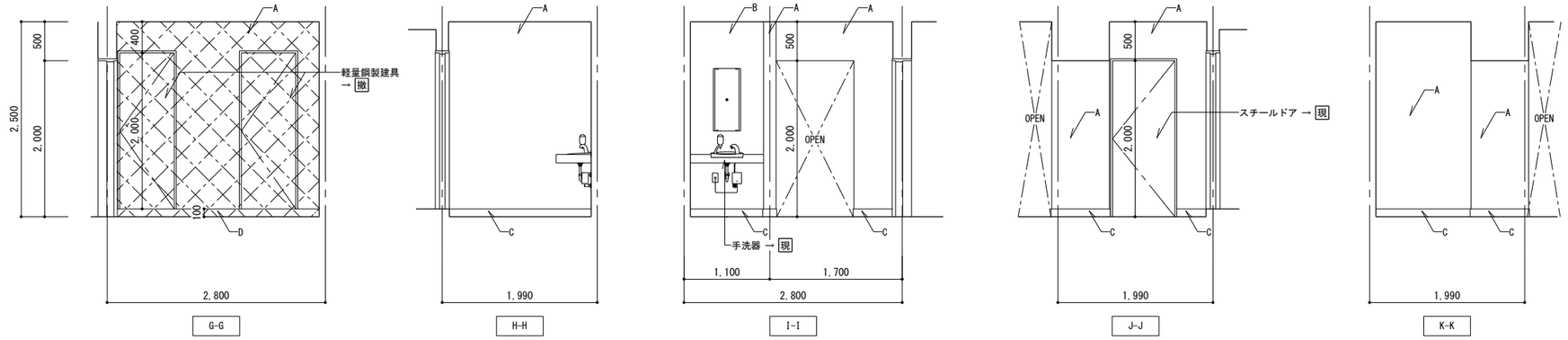
TEL　(0561)　32-0318

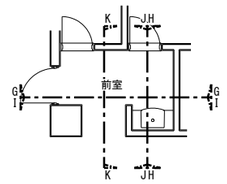
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前後）　3階 女性トイレ　展開図
縮尺	A2　1：50 A3　1：71
製図	令和08年03月

1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. A-110

3階　トイレ前通路



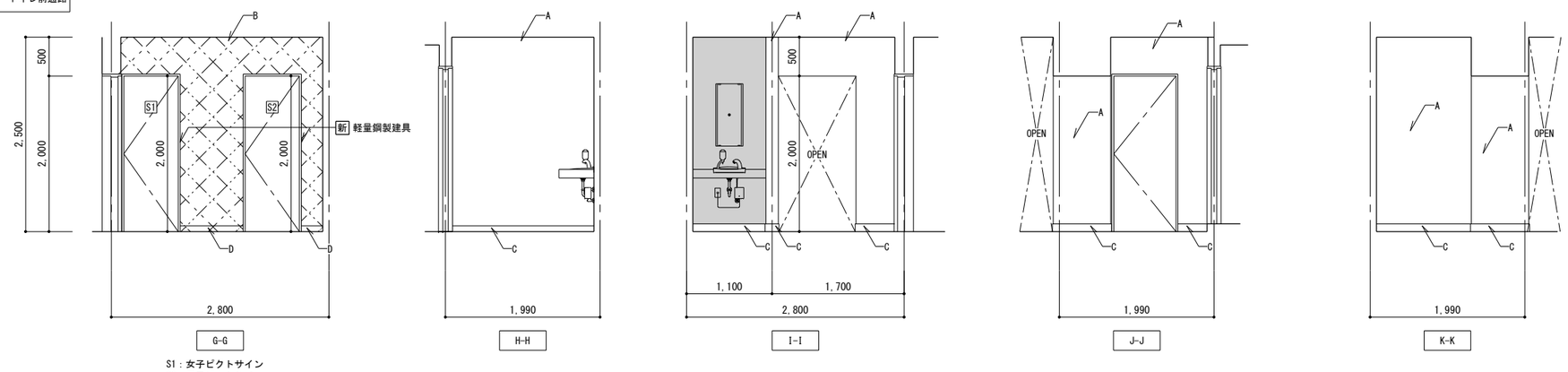


キープラン

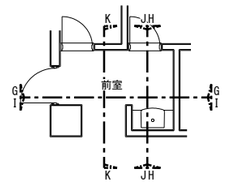
（改修前）　3階　トイレ前通路　展開図　1/50

A	現況	壁：モルタル金ゴテ押エ ＋ 壁紙(ソラコート柄)	C	現況	巾木：木製 OP H=100	E	現況		G	現況		→ 現 …現況のまま
	措置	→ 改 壁紙_除去、ハッチ部RC共撤去		措置	→ 撤 塗膜_撤去		措置			措置		→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
B	現況	壁：モルタル下地150角モザイクタイル	D	現況	巾木：テラゾーブロック	F	現況		H	現況		
	措置	→ 現		措置	→ 撤		措置			措置		

3階　トイレ前通路



S1：女子ピクトサイン
S2：男子ピクトサイン



キープラン

（改修後）　3階　トイレ前通路　展開図　1/50

A	壁：既設モルタル → 改 下地調整の上、壁紙	E		I			→ 改 …今回工事(既設改修)を示す 新 …今回工事(新設)を示す	
B	壁： 新 LGS-65 ＋石こうボード t12.5 二重張り ＋ 壁紙	F		J			改修範囲外	
C	巾木：木製 → 改 SOP塗替え	G		K				
D	巾木： 新 長尺塩ビソフト巾木　H=75	H		L				

株式会社　松浦建築事務所

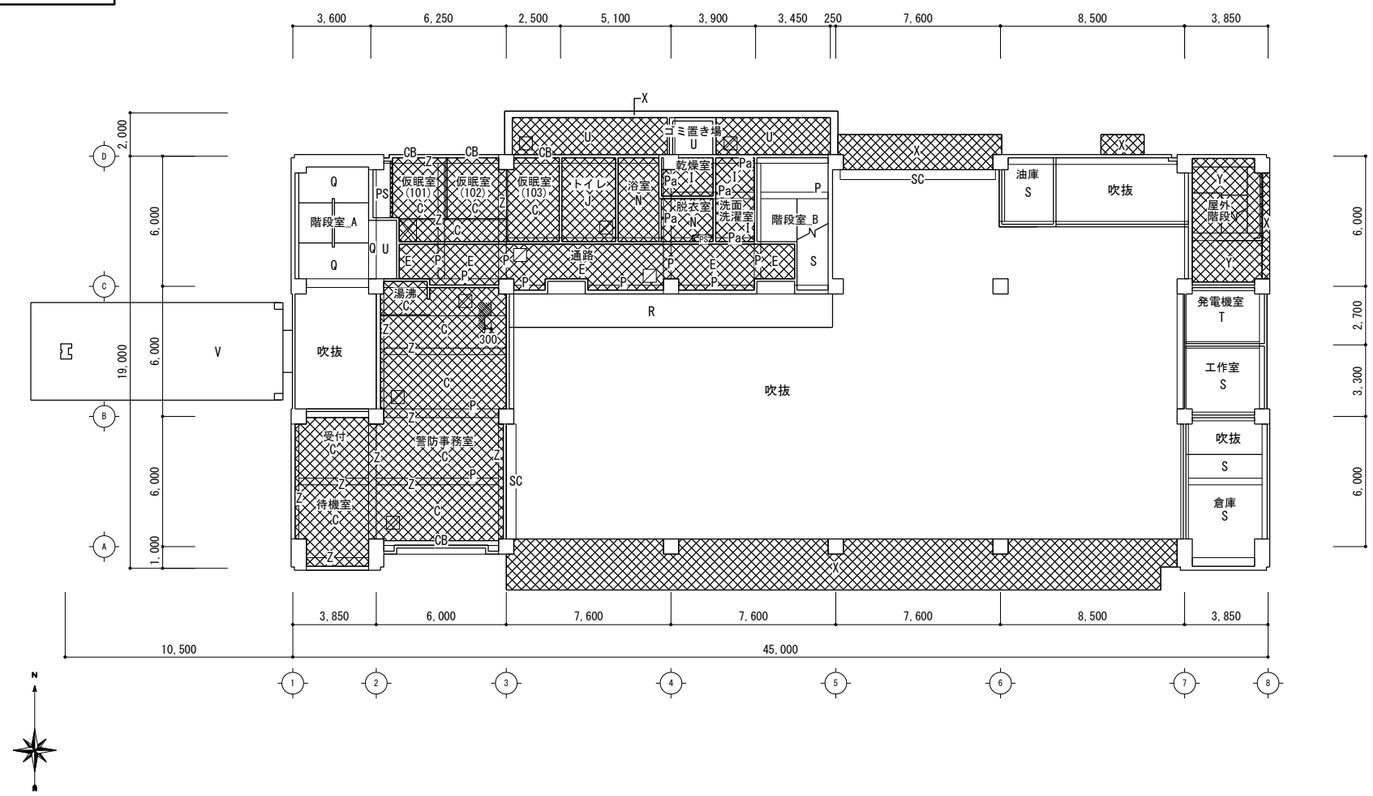
ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前後）　3階 トイレ前通路　展開図
縮尺	A2　1：50 A3　1：71
製図	令和08年03月

1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. A-111

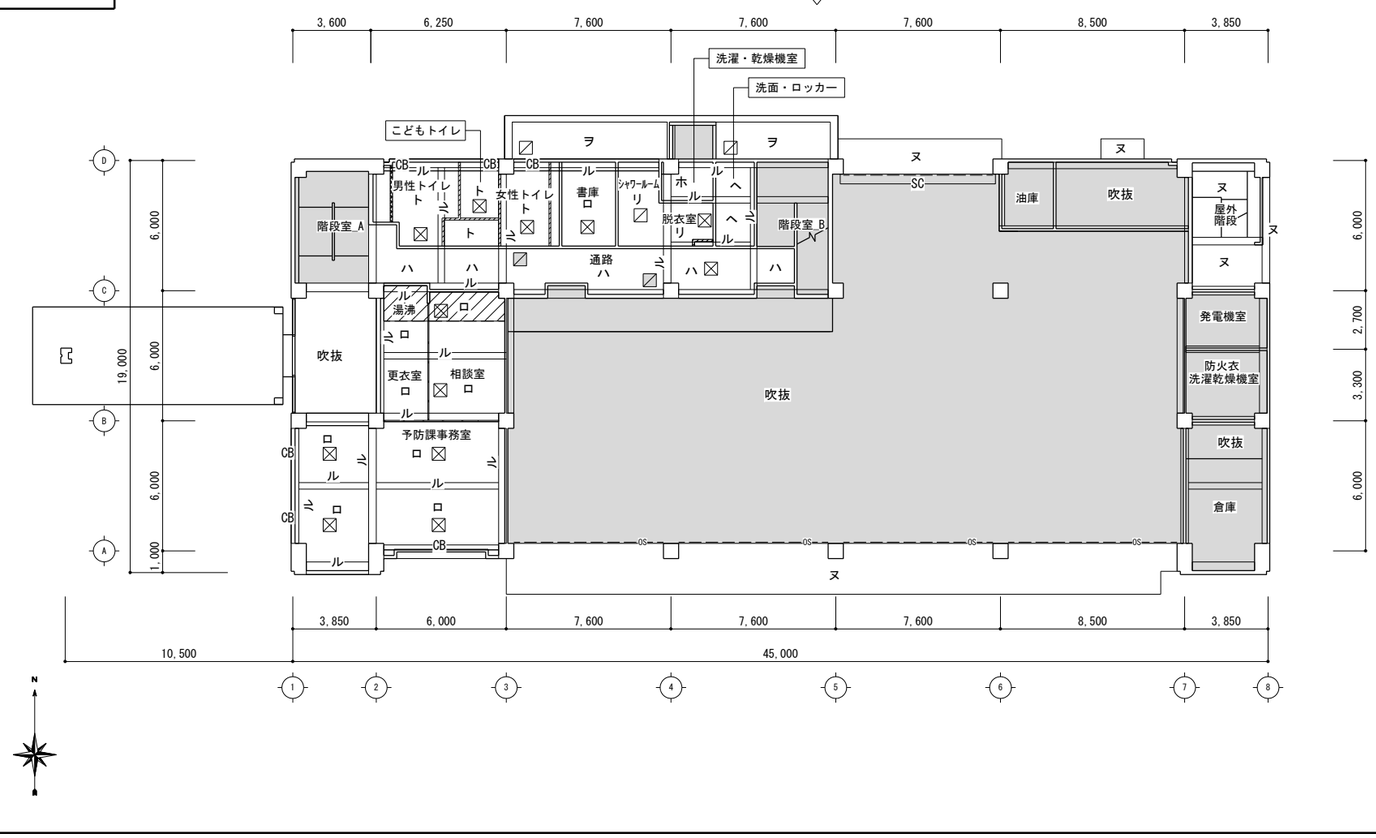
改修前



仕上表_改修前

符号	仕上	符号	仕上
A	GB-R t9.0下地 DR t12(立体模様)	Q	モルタル金ゴテ押エ_吹付タイル
B	GB-R t9.0下地 DR t15(立体模様)	R	合板型枠打チ放シ_AP
C	GB-D t9.0(T)	S	合板型枠打チ放シ
D	GB-D t9.0(杢目)	T	吸音材 t50 ガラスクロス スピンドルピン押エ
E	GB-R t9.0_EP	U	0.8FK t6.0 吹付タイル
F	GB-R t 9.0_WP	V	カラーアルミスパンドレル
G	GB-R(ﾃｰﾊﾟｰ) t9.0_WP-t	W	窯変タイル
H	GB-R t12.0_EP	X	合板型枠打チ放シ 吹付タイル
I	0.8FK t6.0 _VP	Y	合板型枠打チ放シ アクリルリシン吹付
J	0.8FK t6.0 _EP	Z	梁型_モルタル下地壁紙 (WP)
K	0.8FK t6.0 _EP (スティップル)		
L	杉杢天井板(目透し)	SC	シャッターケース
M	T1合板 t2.7	PL	ピクチャーレール (チェーン共)
N	バスリブ	CB	カーテンボックス
O	複合板 t25 目地割 900×900 リシン吹付		
Pa	モルタル金ゴテ押エ_VP	▨	天井点検口 (450×450)
Pb	GB-R t9.0下地 DR t9.0		
P	モルタル金ゴテ押エ_EP	▩	撤去・除去範囲

改修後



仕上表_改修後

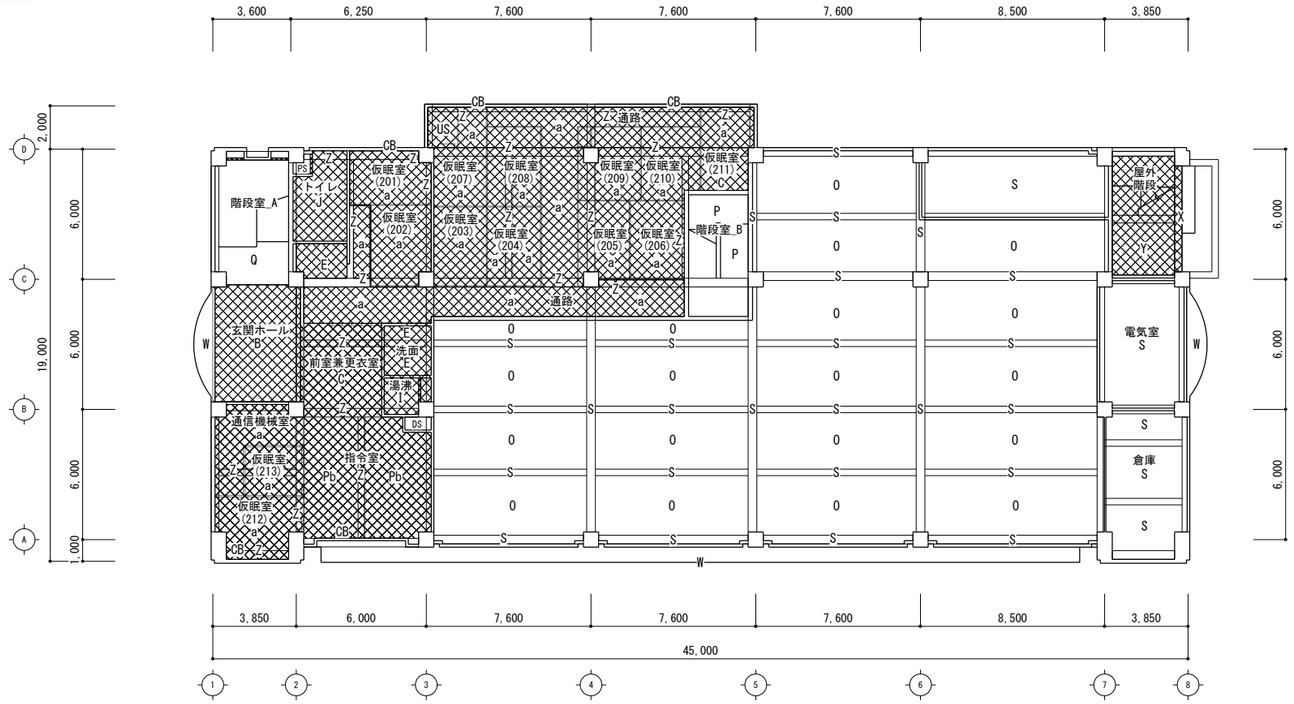
符号	仕上	符号	仕上
A_1	GB-R t9.5下地 DR t12	US	ユニットシャワー仕様
ロ	GB-D t9.5(T)	SC	シャッターケース
ハ	(既設)GB-R t9.0 下地調整_EP-G塗装	PL	ピクチャーレール (チェーン共)
ニ	(既設)GB-R t12.5_EP-G塗装	CB	カーテンボックス_SOP塗装
ホ	(既設) 0.8FK t6.0 結露防止塗材塗替え		
ヘ	(既設)0.8FK t6.0 下地調整_EP-G	☒	天井点検口 (600×600)
ト	多機能ケイ酸カルシウム板 t6.0	▨	天井点検口 (450×450)
チ	仕上見切_ﾀｲﾄ集成材 t25×W150 CL	▨	既設：天井点検口 (450×450)
リ	浴室用バスパネル		
ヌ	既設合板型枠打チ放シ 下地調整 CM-2、可とう形改修塗材RE		現況のまま
ル	モルタル下地調整_壁紙 (WP)	▨	下がり天井部分を示す(CH-150)
ヲ	(既設)0.8FK t6.0 下地調整 CM-2、可とう形改修塗材RE		

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	改修前後 1階 天井伏図
縮尺	A2 1：200 A3 1：282
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-112

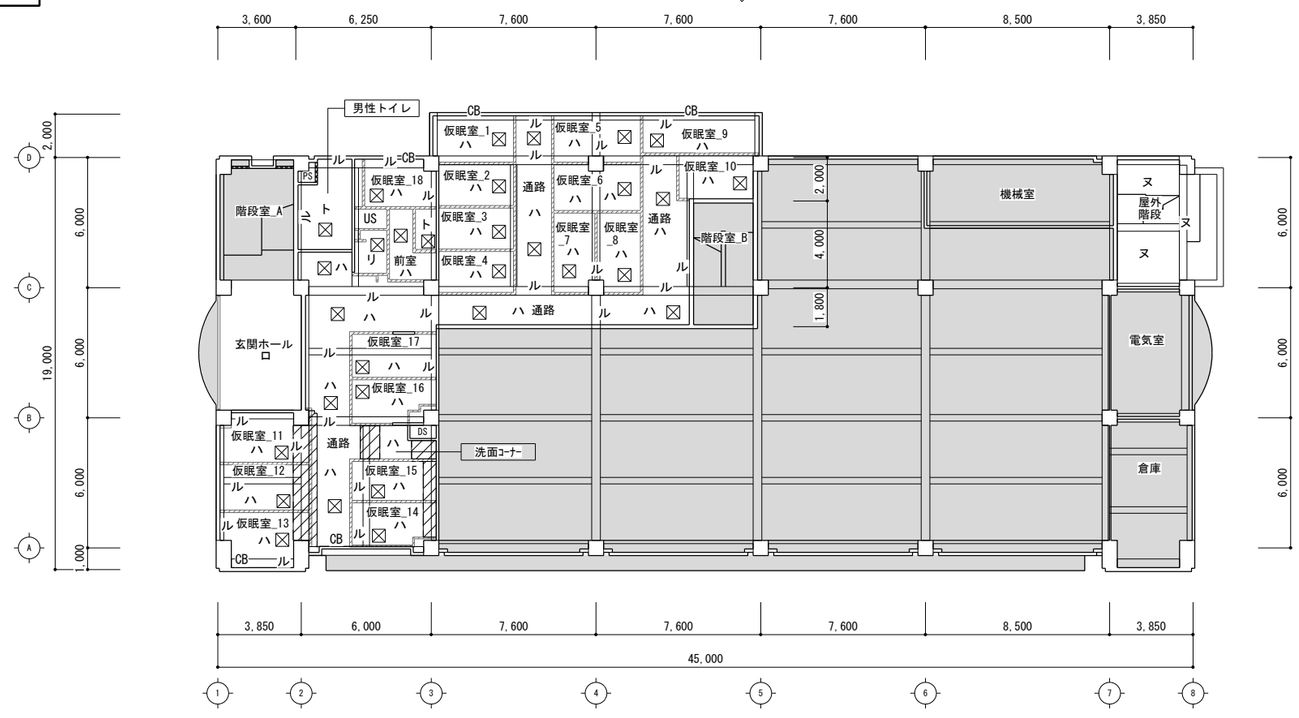
改修前



仕上表_改修前

符号	仕上	符号	仕上
A	GB-R t9.0下地 DR t12(立体模様)	Q	モルタル金ゴテ押エ_吹付タイル
B	GB-R t9.0下地 DR t15(立体模様)	R	合板型枠打チ放シ_AP
C	GB-D t9.0(T)	S	合板型枠打チ放シ
D	GB-D t9.0(杢目)	T	吸音材 t50 ガラスクロス スピンドルピン押エ
E	GB-R t9.0_EP	U	0.8FK t6.0 吹付タイル
F	GB-R t9.0_WP	V	カラーアルミスパンドレル
G	GB-R(ﾃｰﾊﾟｰ) t9.0_WP-t	W	窯変タイル
H	GB-R t12.0_EP	X	合板型枠打チ放シ 吹付タイル
I	0.8FK t6.0 _VP	Y	合板型枠打チ放シ アクリルリシン吹付
J	0.8FK t6.0 _EP	Z	梁型_モルタル下地壁紙 (WP)
K	0.8FK t6.0 _EP (スティップル)	a	GB-D t9.5
L	杉杢天井板(目透し)		
M	T1合板 t2.7	CB	カーテンボックス
N	バスリブ		
O	複合板 t25 目地割 900×900 リシン吹付	☒	天井点検口 (600×600) _17ヶ所
Pa	モルタル金ゴテ押エ_VP	⊘	天井点検口 (450×450) _25ヶ所
Pb	GB-R t9.0下地 DR t9.0		
P	モルタル金ゴテ押エ_EP		
		▨	撤去・除去範囲

改修後



仕上表_改修後

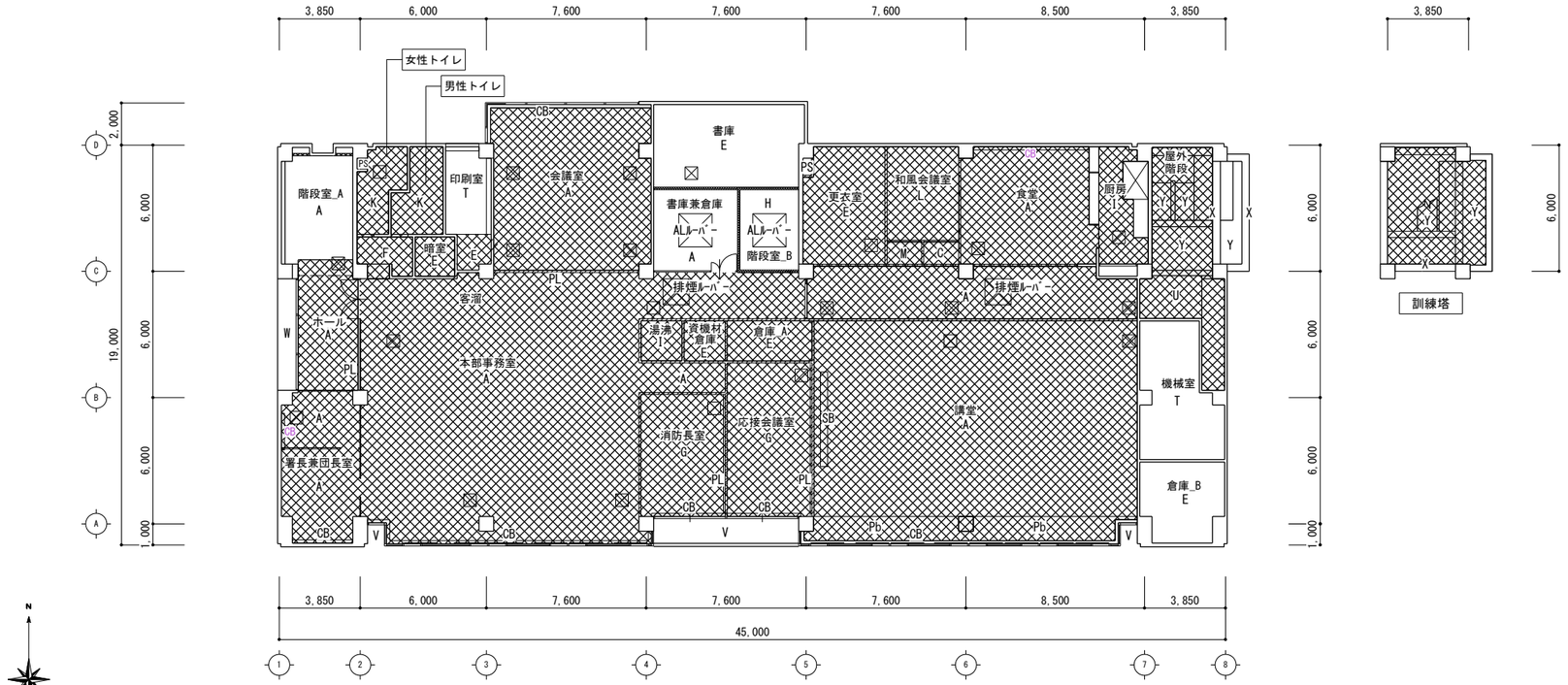
符号	仕上	符号	仕上
イ	GB-R t9.5 下地 DR t12	CB	カーテンボックス_SOP塗装
ロ	LGS下地 ＋ GB-R t9.5 ＋ DR t12	US	ユニットシャワー仕様
ハ	GB-D t9.5(T)		
ニ	(既設)GB-R t9.0 下地調整_EP-G	☒	天井点検口 (600×600)
ホ	(既設)GB-R t12.5_EP-G	⊘	天井点検口 (450×450)
ヘ	(既設)0.8FK t6.0 下地調整_EP-G		
ト	多機能ケイ酸カルシウム板 t6.0	▩	現況のまま
チ	仕上見切_ﾀｲ集成材 t25×W150 CL	▨	下がり天井部分を示す(CH-250)
リ	浴室用バスパネル		
ヌ	既設合板型枠打チ放シ 下地調整 CM-2、可とう形改修塗材RE		
ル	モルタル下地調整 ＋ 壁紙(WP)		

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

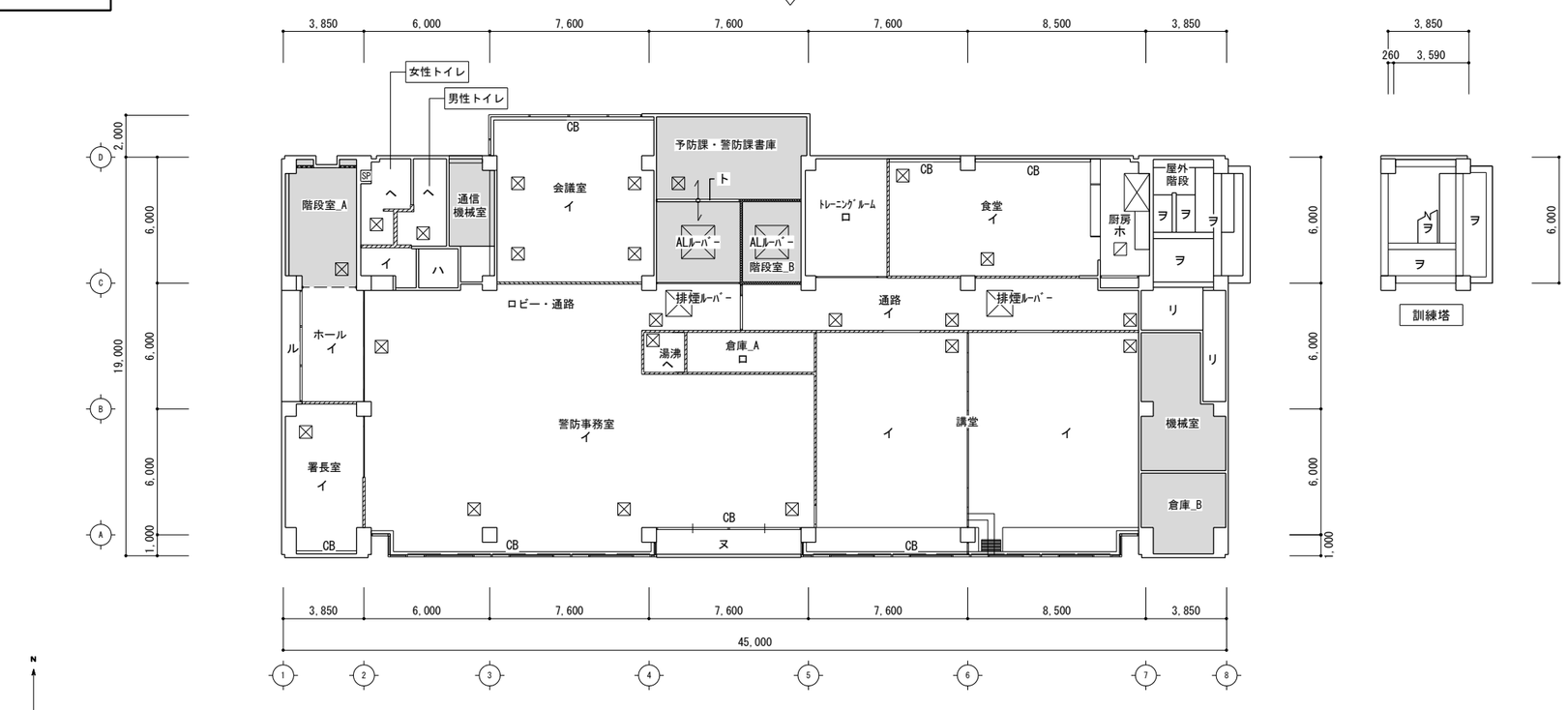
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	改修前後 2階 天井伏図
縮尺	A2 1：200 A3 1：282
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-113

改修前



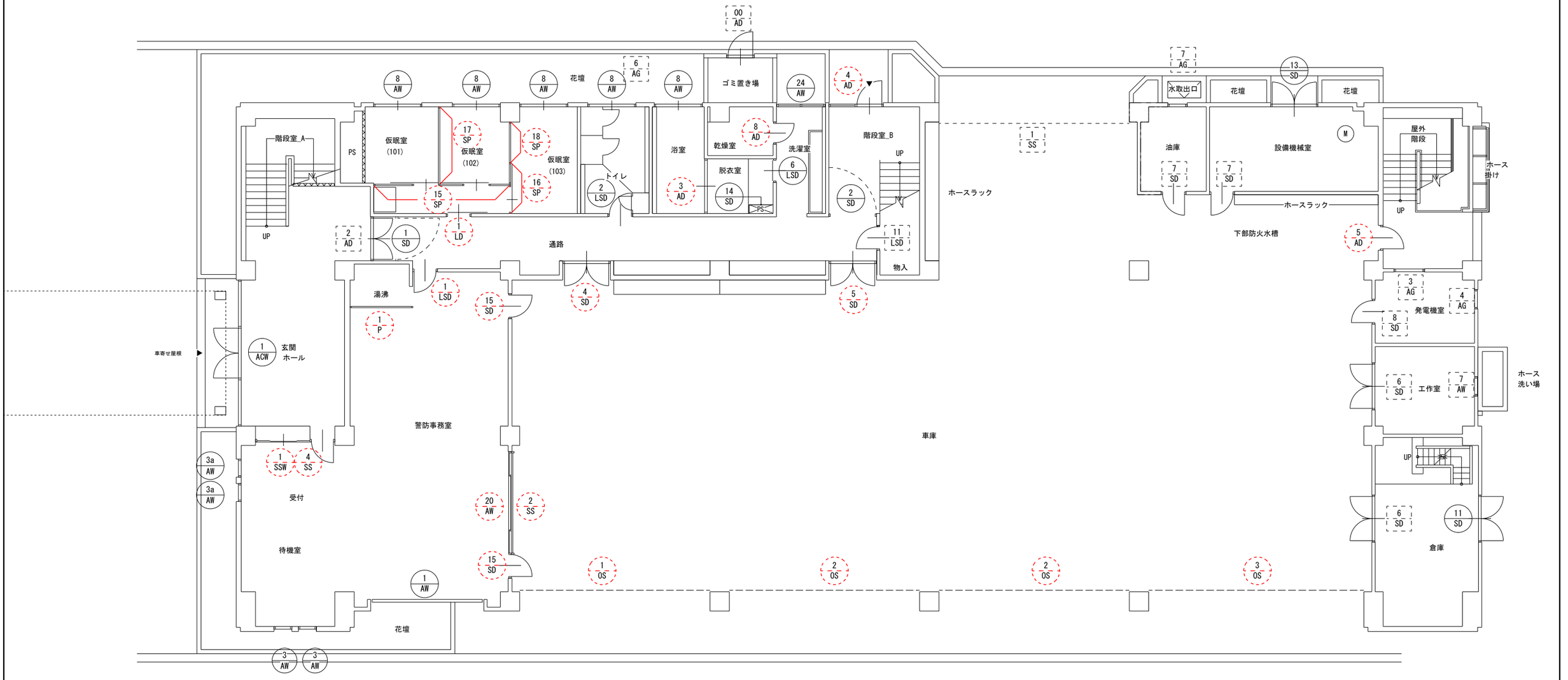
仕上表_改修前			
符号	仕上	符号	仕上
A	GB-R t9.0下地 DR t12(立体模様)	Q	モルタル金ゴテ押エ_吹付タイル
B	GB-R t9.0下地 DR t15(立体模様)	R	合板型枠打ち放し_AP
C	GB-D t9.0(T)	S	合板型枠打ち放し
D	GB-D t9.0(杢目)	T	吸音材 t50 ガラスクロス スピンドルピン押エ
E	GB-R t9.0_EP	U	0.8FK t6.0_吹付タイル
F	GB-R t9.0_WP	V	カラーアルミスパンドレル
G	GB-R(ﾀｰﾊﾞｰ) t9.0_WP-t	W	窯変タイル
H	GB-R t12.0_EP	X	合板型枠打ち放し 吹付タイル
I	0.8FK t6.0_VP	Y	合板型枠打ち放し アクリルリシン吹付
J	0.8FK t6.0_EP	Z	梁型_モルタル下地壁紙（WP）
K	0.8FK t6.0_EP（スティップル）		
L	杉杢天井板(目透し)	PL	ピクチャーレール（チェーン共）
M	T1合板 t2.7	CB	カーテンボックス
N	バスリブ	SB	スクリーンボックス（集成材練付合板貼 W350×D300×L4,500）
O	複合板 t25 目地割 900×900 リシン吹付		
Pa	モルタル金ゴテ押エ_VP	☒	天井点検口（600×600）
Pb	GB-R t9.0下地 DR t9.0	◪	天井点検口（450×450）
P	モルタル金ゴテ押エ_EP	▨	撤去・除去範囲

改修後



仕上表_改修後			
符号	仕上	符号	仕上
イ	GB-R t9.5 下地 DR t12	CB	カーテンボックス
ロ	GB-D t9.5(T)		
ハ	GB-R t9.0 下地調整_EP-G	☒	天井点検口（600×600）
ニ	GB-R t12.5_EP-G		
ホ	(既設)0.8FK t6.0 下地調整_EP-G塗装		現況のまま
ヘ	多機能ケイ酸カルシウム板 t6.0		
ト	仕上見切_ﾓﾐ集成材 t25×W150 CL		
チ	浴室用バスパネル		
リ	0.8FK t6.0_リシン吹付		
ヌ	カラーアルミスパンドレル　水洗い		
ル	窯変タイル　水洗い		
ヲ	既設合板型枠打ち放し 下地調整 CM-2、可とう形改修塗材RE		
ワ	モルタル下地調整_壁紙（WP）		
			改修する天井裏全面にグラスウール t50 24Kを入れる事。

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
TEL (0561) 32-0318	図面名称	改修前後　3階　天井伏図	縮尺 A2 1：200 A3 1：282
			製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. A-114



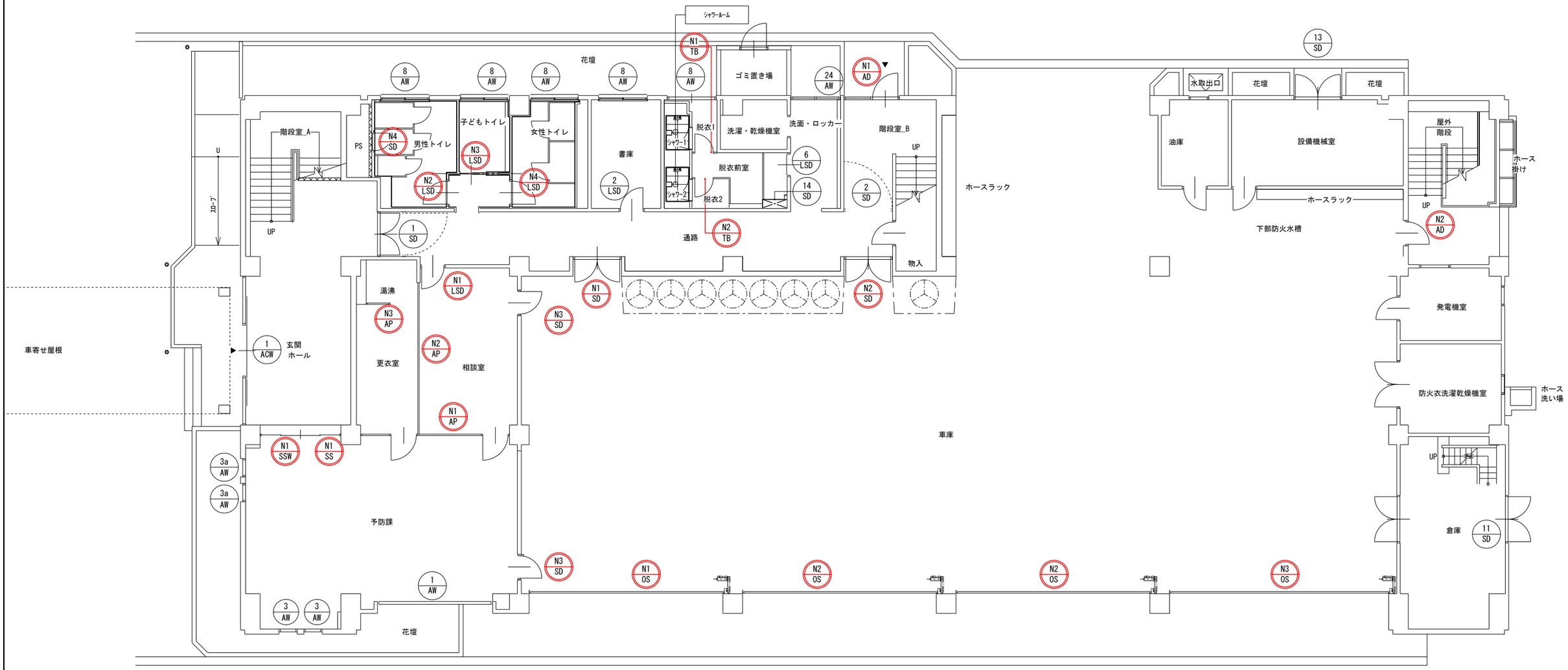
改修前１階　建具伏図　1/100

－：撤去建具

：改修建具

：既設のまま建具

株式会社 松浦建築事務所 TEL (0561) 32-0318	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	（改修前） １階 建具伏図
	縮尺	A2 1：100 A3 1：141
	製図	令和08年03月
	１級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No. A-115

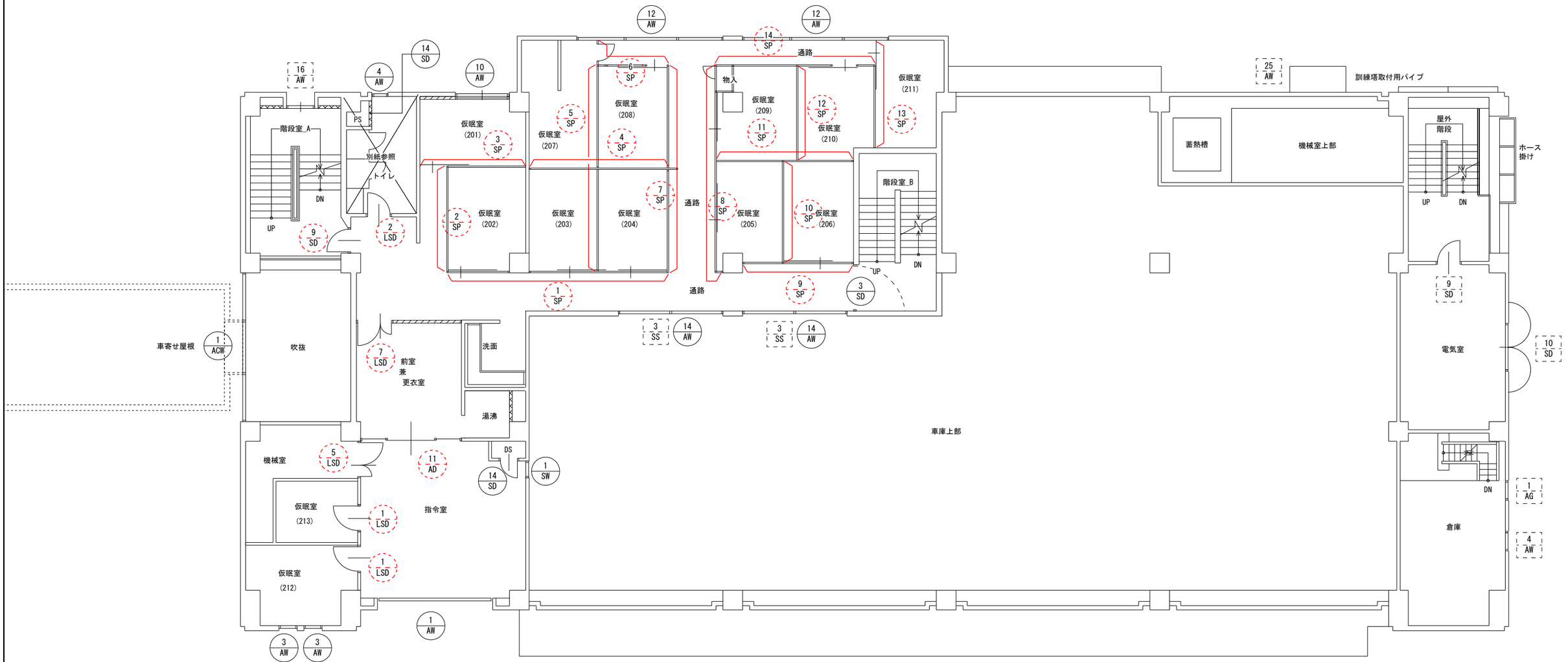


改修後１階　建具伏図　1/100

：新設建具

：改修建具

株式会社 松浦建築事務所 ＴＥＬ　(0561)　32-0318	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	（改修後）１階 建具伏図
	縮尺	A2　1：100 A3　1：141
	製図	令和08年03月
１級建築士 登録第92794号　松浦孔明	No.	A-116



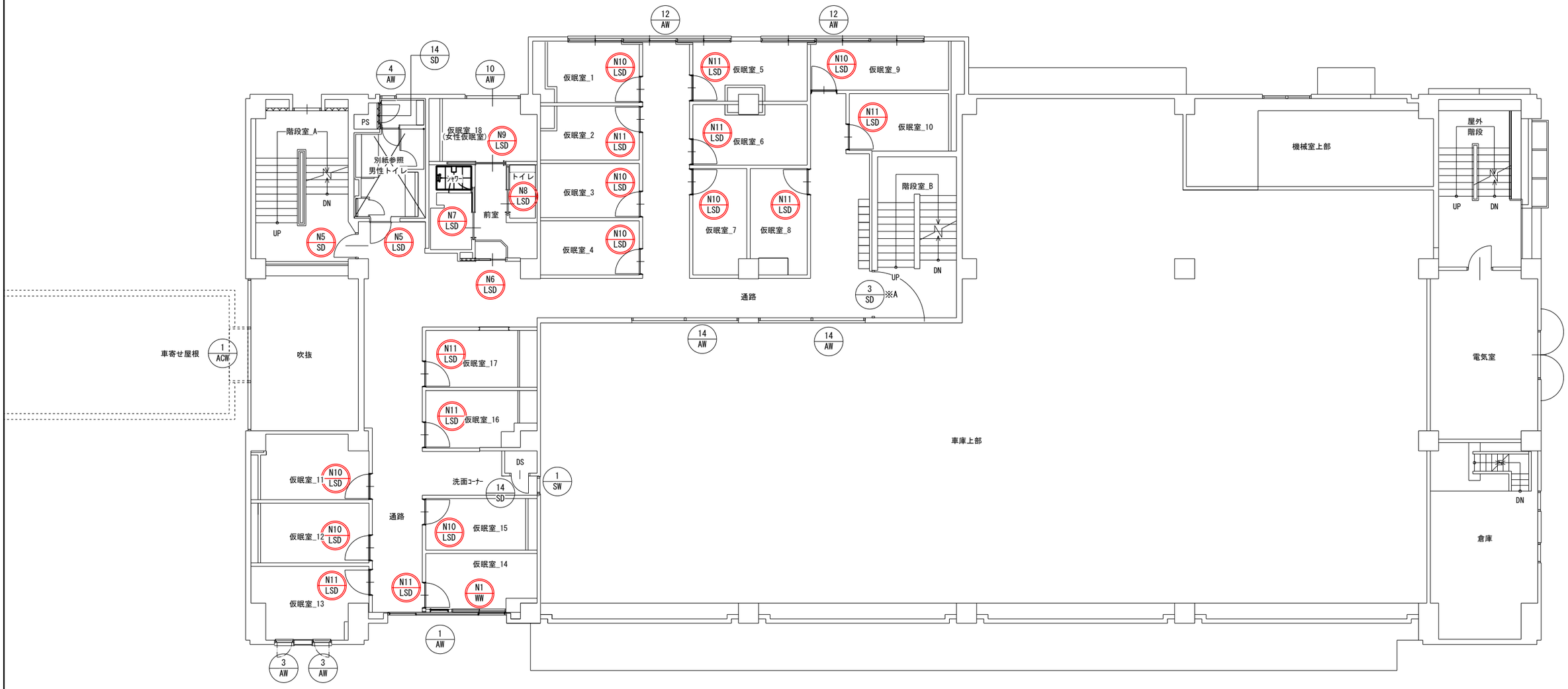
改修前２階　建具伏図　1/100

：撤去建具

：改修建具

：既設のまま建具

株式会社 松浦建築事務所 ＴＥＬ　(0561)　32-0318	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	（改修前）２階 建具伏図
	縮尺	A2　1：100 A3　1：141
	製図	令和08年03月
	１級建築士 登録第92794号　松浦孔明	No. A-117



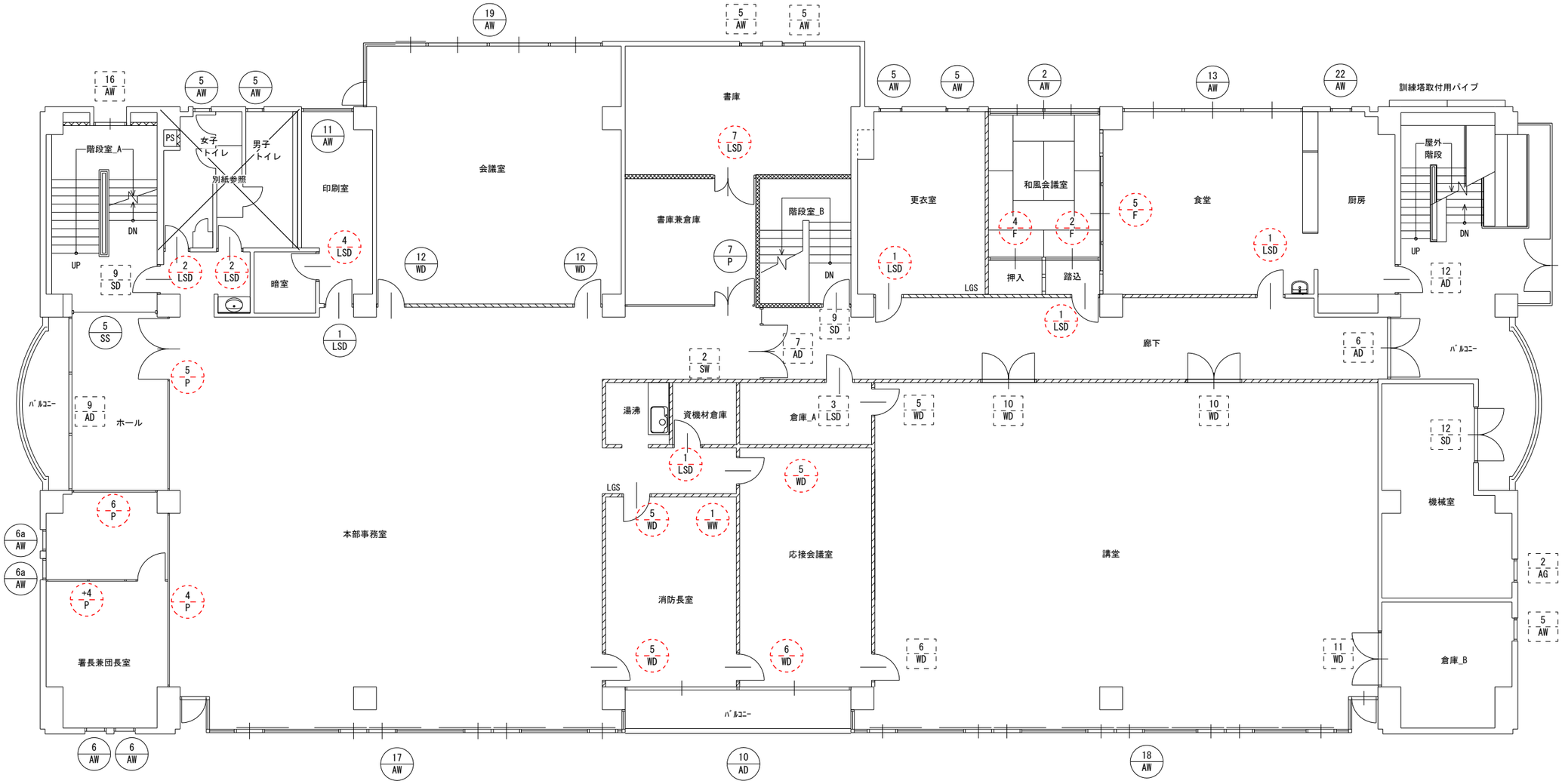
改修後２階　建具伏図　1/100

※A：2方向避難が必要であり、SD-3はくぐり戸のない3㎡以上の防火戸の為、改修が必要だと考える。

：新設建具

：改修建具

株式会社 松浦建築事務所	工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称 （改修後） ２階 建具伏図	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
		製図 令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No. A-118



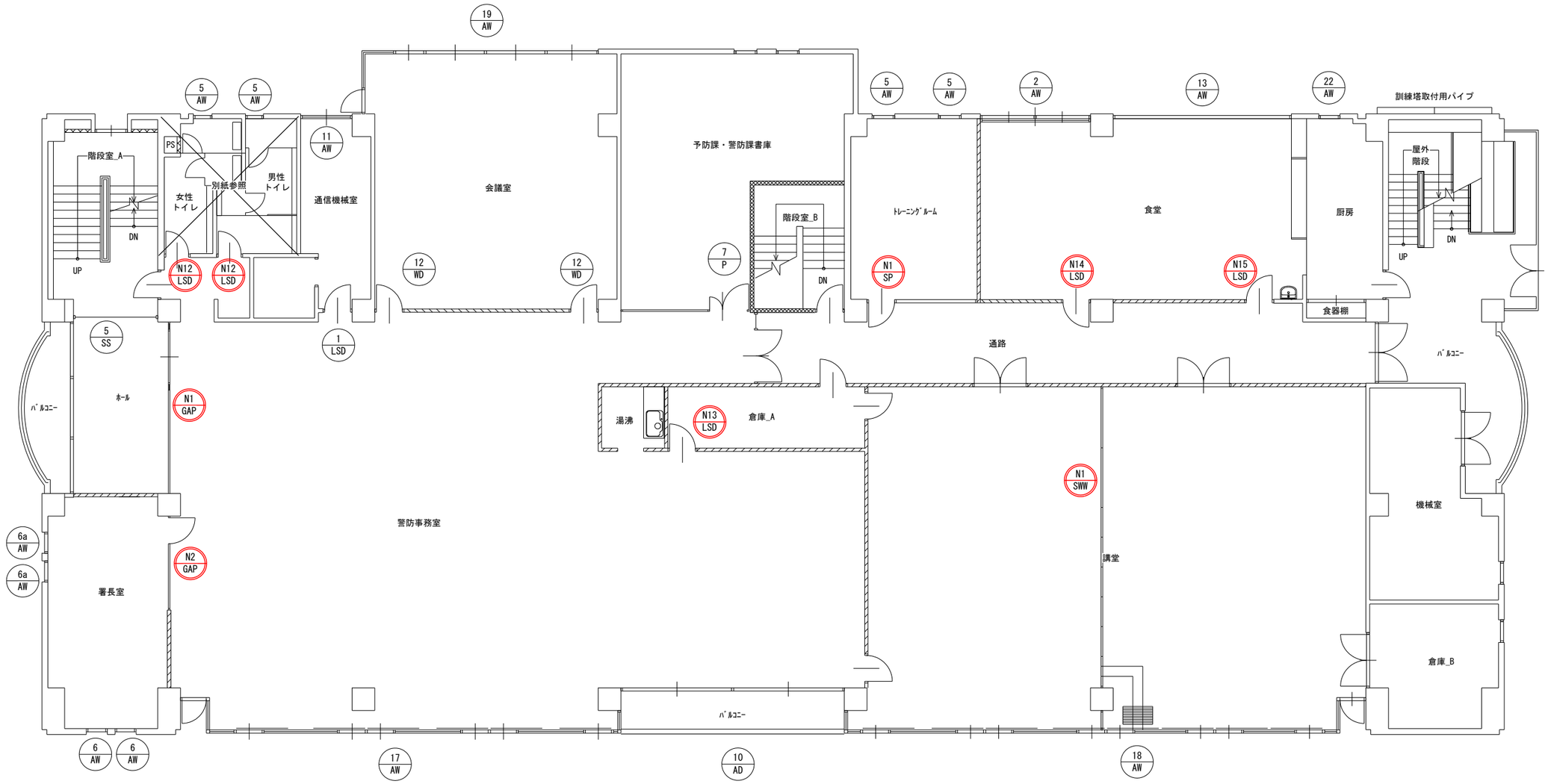
改修前３階　建具伏図　1/100

－：撤去建具

：改修建具

：既設のまま建具

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	（改修前）３階 建具伏図	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
			製図 令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. A-119

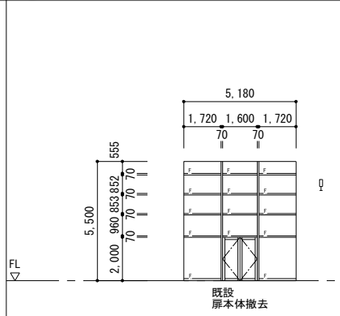
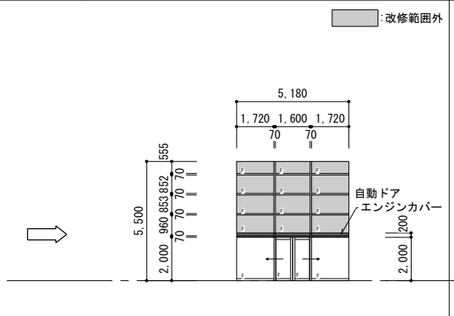
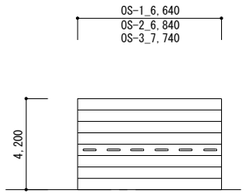
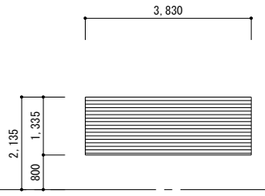


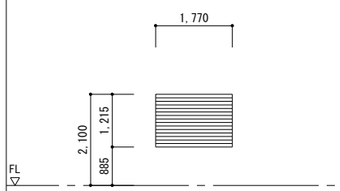
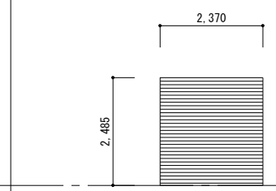
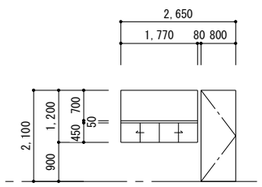
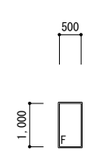
改修後３階　建具伏図　1/100

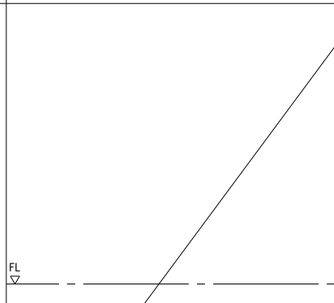
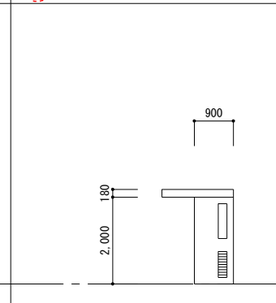
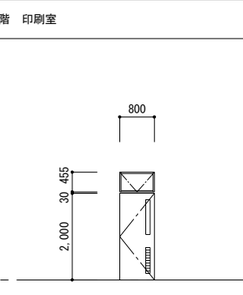
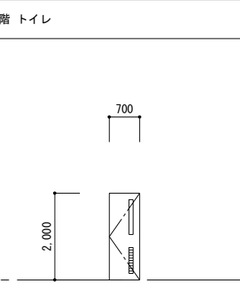
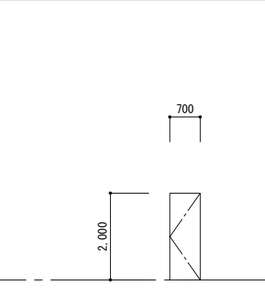
：新設建具

：改修建具

株式会社 松浦建築事務所 ＴＥＬ　(0561)　32-0318	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	（改修後）３階 建具伏図
	縮尺	A2　1：100 A3　1：141
	製図	令和08年03月
１級建築士 登録第92794号　松浦孔明	No.	A-120

符号	数量																		
		1 ACW 1階 玄関ホール		1 ACW 1階 玄関ホール 1/200		1			1 OS 2 OS 3 OS 車庫		1_(2)_1			2 SS 1階 警防事務室		1	
姿図														
現況 改修後	型式 見込	アルミ製カーテンウォール	250	アルミ製引き分けハンガー框自動ドア	70				重量スライダー					上部手動式防火シャッター			
	金物	FH、FB、DH、ドアハンドル、		自動ドアエンジン、付属金物一式、赤外線センサー、電気錠					スタンダード収納型、バランス式、明り窓付					付属金物一式、煙感知器連動金物一式			
	仕上	電解二次着色		————					カラーアルミ焼付塗装					スラット t1.6 OP			
	ガラス	ブロンズペン ミラー t8.0、6.0		FLG t6.0、追突防止(16枚)、ガラスフィルム貼り					オーバースラーダー・金物撤去								
今回	改修	※1、※2、※7、ドア・金物撤去		※自動ドア部新設、電気錠（通電金具一式）					※9a					※9a			

符号	数量																		
		4 SS 1階 受付		5 SS 3階 ロビー		1			1 SSW 1階 受付					1 SW 2階 指令室		1	
姿図																	
現況 改修後	型式 見込	上部手動式防火シャッター		上部手動式防火シャッター					片開きスチール製ドア付ステンレス窓		100			嵌め殺しスチールサッシ		70	
	金物	付属金物一式、煙感知器連動金物一式		付属金物一式、煙感知器連動金物一式					PH、DC、HM※-1					—			
	仕上	スラット t1.6 OP		スラット t1.6 OP										—			
	ガラス								FWG t6.8					磨きワイヤー t6.8			
今回	改修	※9a		※危害防止措置取付					※9					※2、7			

符号	数量																		
				1 LD 1階 仮眠室		1			1 LSD 1階 警防事務室、2階 仮眠室(212・213)、3階 資機材倉庫、更衣室、和風会議室、食堂		7			2 LSD 2階・3階 トイレ		2			4 LSD 3階 暗室		1
									1 LSD 3階 印刷室		1			2 LSD 1階 トイレ		1					
姿図																					
現況 改修後	型式 見込			躯体付き吊下げ片引きﾊﾝｶﾞｰﾄﾞｱ	枠130 扉36				片開軽量スチールドア		40			片開軽量スチールドア		40			片開軽量スチールドア		40
	金物			アルミガラリ、彫り込み引手、標準金物一式					PH、DC、HM※-1					PH、DC、アクリル製押し板、取手					PH、DC、アクリル製押し板、取手		
	仕上			焼付塗装					SOP					焼付塗装					OP		
	ガラス			透明ポリカーボネート t5.0					FG t4.0、3階のみ内倒し欄間_FL t3.0					FG t4.0					FG t4.0		
今回	改修			※9a					※9a ※印刷室のみ塗装塗替え					※9a ※1階トイレのみ塗装塗替え					※9		

〈改修項目凡例〉

※1：ガラス押えシーリング（SR-1）打替
※2：建具周囲シーリング（MS-2）打替
※3：塗装塗替
※4：開閉調整(引戸形式は戸車交換を含む)
※5：脱落防止処置
※6：既設建具の部分撤去・更新
※7：ガラスクリーニング
※8：JIS A 5759 飛散防止フィルム貼り保証付（消防認定品）
※9：撤去（建具のみ） ※9a：撤去（枠共）

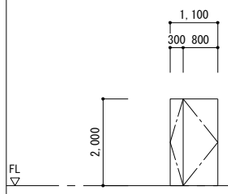
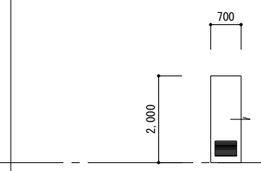
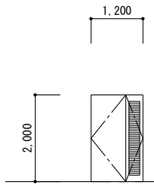
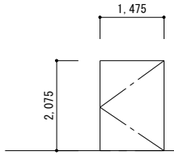
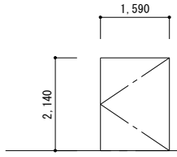
凡例・略号

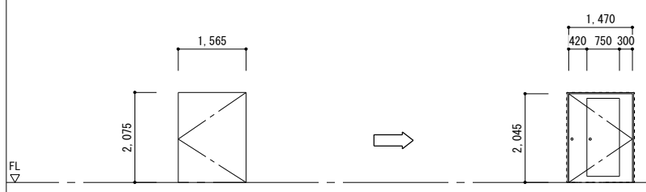
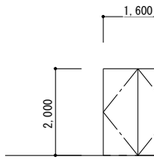
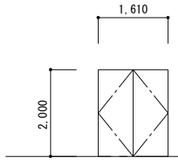
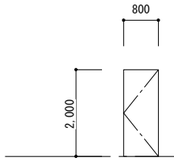
FLG：ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ TG：強化ｶﾞﾗｽ FG：型板ｶﾞﾗｽ FWG:網入り型板ｶﾞﾗｽ PWG：網入り磨き板ｶﾞﾗｽ WP：線入り磨き板ｶﾞﾗｽ
WF：線入り型板ｶﾞﾗｽ HG：熱線吸収ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ HWG：熱線吸収磨き網入りｶﾞﾗｽ RG：高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ
Low-E複層：室外側ｶﾞﾗｽ+乾燥空気層(A)+室内側ｶﾞﾗｽ（Low-E） （日射遮蔽型）
DC：ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ CDC：ｺﾝｼｰﾙﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ LP：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ FH：ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ FB：ﾌﾗﾝｽ落とし HM※-1：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/ｻﾑﾀｰﾝ）
HM※-2：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/空） LHS：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠（※_ｴｽｶﾃｵﾝ付） PH：ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ
AH：ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ CH：ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ DST：戸当たり DS：ﾄﾞｱｽｺｰﾌﾟ T：丁番 LH：ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ
DH：本締錠GH：ｸﾞﾚﾓﾝﾊﾝﾄﾞﾙ DG2：ｴﾝｼﾞﾝﾄﾞｱ用錠

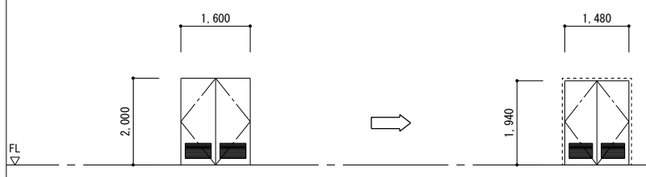
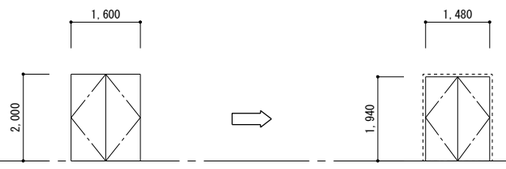
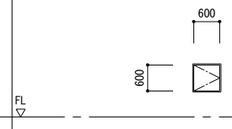
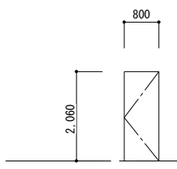
：撤去建具
：改修建具
：既設のまま建具

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称 （撤去改修）建具表（１）
縮尺 A2 1：100、1：200 / A3 1：141、1：282
製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明
No. A-121

符号	数量	5 LSD 2階 通信機械室	1	6 LSD 1階 脱衣室	1	7 LSD 2階 前室兼更衣室、3階 書庫	2			1 SD 1階 通路	1	2 SD 1階 通路	1
姿図													
現況 改修後 型式 見込		親子開軽量エアータイトスチールドア	40	片引き軽量スチールドア	40	親子開軽量スチールドア	ST枠 86 扉 40			片開きスチールフラッシュドア(特定防火設備)	100	片開きスチールフラッシュドア(特定防火設備)	100
現況 改修後 金物		PH、DC、HM※-1、GH		引手、戸車、レール		PH、DC、HM※-1、FB				PH、DC、HM※-1、FB		PH、DC、HM※-1、FB	
現況 改修後 仕上		OP		OP		OP				OP		OP	
現況 改修後 ガラス										―		―	
今回 改修		※9a		※3		※9a				※3、4		※3、4	

符号	数量	3 SD 2階 通路	1	4 SD 1階 車庫	1	5 SD 1階 車庫	1	9 SD 2階 通路	1	
姿図										
現況 改修後 型式 見込		片開きスチールフラッシュドア(特定防火設備)	100	くぐり戸付片開きスチールフラッシュドア(特定防火設備)	ST枠 86 扉 40	両開きスチールフラッシュドア(特定防火設備)	86	両開きスチールフラッシュドア(特定防火設備)	86	片開きスチールフラッシュドア	86	
現況 改修後 金物		PH、DC、HM※-1、FB		PH、DC、HM※-1、FB		Pヒンジ、握玉付シリンダー錠		Pヒンジ、握玉付シリンダー錠		Pヒンジ、握玉付シリンダー錠、ドアチェック		
現況 改修後 仕上		OP		SOP		OP		OP		OP		
現況 改修後 ガラス						―		―		―		
今回 改修		※9		※カバー工法にて改修		※9a		※9a		※9a		

符号	数量	11 SD 1階 倉庫	1	13 SD 1階 設備機械室	1	14 SD 1階 脱衣室、2階 指令室、トイレ	3	15 SD 1階 警防事務室	2
姿図									
現況 改修後 型式 見込		両開きスチールフラッシュドア	86	両開きスチールフラッシュドア	86	片開きスチールフラッシュドア	30	片開きスチールフラッシュドア	
現況 改修後 金物		Pヒンジ、ドアチェック、握玉付シリンダー錠、フランス落とし	Pヒンジ、ドアチェック、握玉付シリンダー錠、フランス落とし	Pヒンジ、ドアチェック、握玉付シリンダー錠、フランス落とし	Pヒンジ、ドアチェック、握玉付シリンダー錠、フランス落とし	ラッチ錠、ステンレス丁番		Pヒンジ、握玉付シリンダー錠、ドアチェック	
現況 改修後 仕上		OP	OP	OP	OP	OP		OP	
現況 改修後 ガラス		―	―	―	―	―		―	
今回 改修		※9	※カバー工法にて改修	※9	※カバー工法にて改修	※3(枠共)		※9a	

〈改修項目凡例〉

※1：ガラス押えシーリング（SR-1）打替(AWはゴムビード:撤去)
※2：建具周囲シーリング（MS-2）打替
※3：塗装塗替
※4：開閉調整(引戸形式は戸車交換を含む)
※5：脱落防止処置
※6：既設建具の部分撤去・更新
※7：ガラスクリーニング
※8：JIS A 5759 飛散防止フィルム貼り保証付（消防認定品）
※9：撤去（建具のみ） ※9a：撤去（枠共）

凡例・略号

FLG：ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ TG：強化ｶﾞﾗｽ FG：型板ｶﾞﾗｽ FWG:網入り型板ｶﾞﾗｽ PWG：網入り磨き板ｶﾞﾗｽ WP：線入り磨き板ｶﾞﾗｽ
WF：線入り型板ｶﾞﾗｽ HG：熱線吸収ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ HWG：熱線吸収磨き網入りｶﾞﾗｽ RG：高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ
Low-E複層：室外側ｶﾞﾗｽ+乾燥空気層(A)+室内側ｶﾞﾗｽ（Low-E）（日射遮蔽型）
DC：ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ CDC：ｺﾝｼｰﾙﾄﾞﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ LP：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ FH：ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ FB：ﾌﾗﾝｽ落とし HM※-1：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/ｻﾑﾀｰﾝ）
HM※-2：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/空） LHS：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠（※_ｴｽｶﾁｵﾝ付） PH：ﾋﾞﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ
AH：ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ CH：ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ DST：戸当たり DS：ﾄﾞｱｽｺｰﾌﾟ T：丁番 LH：ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ
DH：本締錠GH：ｸﾞﾚﾝﾊﾝﾄﾞﾙ DG2：ｴﾝｼﾞﾝﾄﾞｱ用錠

：撤去建具
：改修建具

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

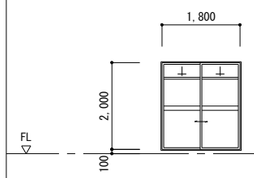
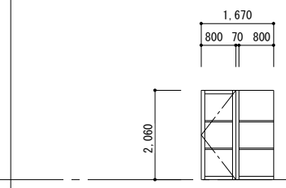
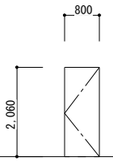
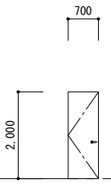
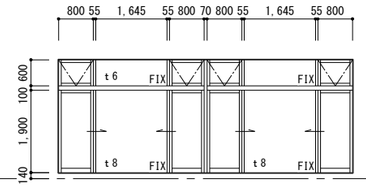
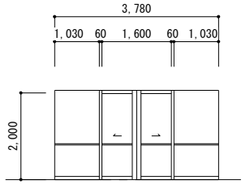
図面名称 (撤去改修) 建具表（2）

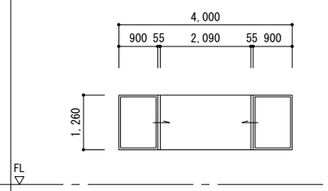
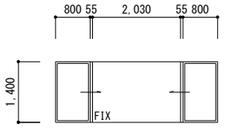
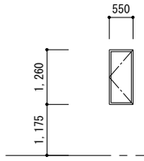
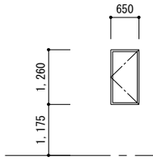
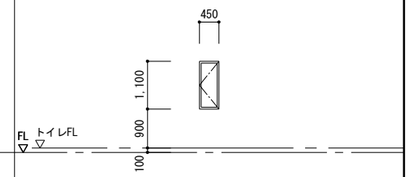
縮尺 A2 1：100 / A3 1：141

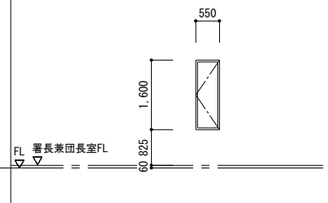
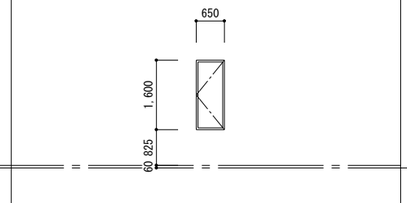
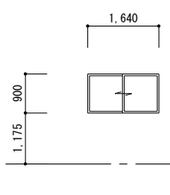
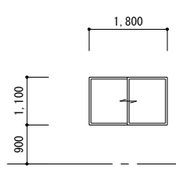
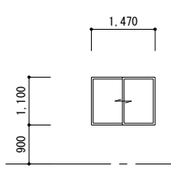
製図 令和08年03月

1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-122

符号	数量	3 AD 1階 浴室	1	4 AD 1階 階段室_B	1	5 AD 屋外階段	1	8 AD 1階 乾燥室	1	10 AD 3階 消防長室	1	11 AD 2階 指令室	1
姿図													
現況 改修後 型式 見込		引違いアルミドア	70	袖嵌め殺しアルミ製片開ﾄﾞｱ	70	アルミ製片開ﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ	70	片開アルミ製セミエアータイトドア	70	アルミ製両開きドア(外倒しランマ付き)	70	アルミ製引き分けドア	70
現況 改修後 金物		引手、戸車		Pヒンジ、握玉付シリンダー錠、ドアチェック		Pヒンジ、握玉付シリンダー錠		PH、DC、LP		引手、クレセント、外倒し金物一式		引手、SUSレール	
現況 改修後 仕上		―		電解着色		電解着色							
現況 改修後 ガラス		FG t4		PW t6.8		―				HG t6、t8		FLG t6.0	
今回 改修		※9a		※9a		※9a		※9		※2、7		※9a	

符号	数量			1 AW 1階 警防事務室、2階 指令室	2	2 AW 3階 和風会議室	1	3 AW 1階 待機室、2階 仮眠室(212)	4	3a AW 1階 受付	2	4 AW 2階 トイレ	1
姿図													
現況 改修後 型式 見込				両片引きアルミサッシ	70	両片引きアルミサッシ	70	片開きアルミサッシ	70	片開きアルミサッシ	70	片開きアルミサッシ	70
現況 改修後 金物				引手、クレセント		引手、クレセント		片開き金物一式		片開き金物一式		片開き金物一式	
現況 改修後 仕上				―		―		―		―		―	
現況 改修後 ガラス				HG t6		FLG t6		HG t6		HG t6		FLG t5	
今回 改修				※2、7		※2、7		※2、7		※2、7		※2、7 ※2階 倉庫のみ現況のまま	

符号	数量			6 AW 3階 署長兼団長室	2	6a AW 3階 署長兼団長室	2	8 AW 1階 仮眠室(101-103)、トイレ、浴室	5	10 AW 2階 仮眠室(201)	1	11 AW 3階 印刷室	1
姿図		5 AW 3階 書庫、倉庫_B	3										
現況 改修後 型式 見込		片開きアルミサッシ	70	片開きアルミサッシ	70	片開きアルミサッシ	70	引き違いアルミサッシ	70	引き違いアルミサッシ	70	引き違いアルミサッシ	70
現況 改修後 金物		片開き金物一式		片開き金物一式		片開き金物一式		引手、クレセント		引手、クレセント		引手、クレセント	
現況 改修後 仕上		―		―		―		―		―		―	
現況 改修後 ガラス		FLG t5		HG t6		HG t6		FG t4		FLG t5		FG t4	
今回 改修		※2、7 （書庫、倉庫_Bは現況のまま）		※2、7		※2、7		※2、7		※2、7		※2、7	

<改修項目凡例>

※1：ガラス押えシーリング（SR-1）打替(AWはゴムビード:撤去)　※5：脱落防止処置

※2：建具周囲シーリング（MS-2）打替　※6：既設建具の部分撤去・更新

※3：塗装塗替　※7：ガラスクリーニング

※4：開閉調整(引戸形式は戸車交換を含む)　※8：JIS A 5759 飛散防止フィルム貼り保証付（消防認定品）

※9：撤去（建具のみ）　※9a：撤去（枠共）

凡例・略号

FLG：ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ　TG：強化ｶﾞﾗｽ　FG：型板ｶﾞﾗｽ　FWG:網入り型板ｶﾞﾗｽ　PWG：網入り磨き板ｶﾞﾗｽ　WP：線入り磨き板ｶﾞﾗｽ
WF：線入り型板ｶﾞﾗｽ　HG：熱線吸収ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ　HWG：熱線吸収磨き網入りｶﾞﾗｽ　RG：高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ
Low-E複層：室外側ｶﾞﾗｽ+乾燥空気層(A)+室内側ｶﾞﾗｽ（Low-E）（日射遮蔽型）
DC：ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ　CDC：ｺﾝｼｰﾙﾄﾞﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ　LP：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ　FH：ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ　FB：ﾌﾗﾝｽ落とし　HM※-1：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/ｻﾑﾀｰﾝ）
HM※-2：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/空）　LHS：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠（※_ｴｽｶﾃｵﾝ付）　PH：ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ
AH：ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ　CH：ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ　DST：戸当たり　DS：ﾄﾞｱｽｺｰﾌﾟ　T：丁番　LH：ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ
DH：本締錠GH：ｸﾞﾚﾓﾝﾊﾝﾄﾞﾙ　DG2：ｴﾝｼﾞﾝﾄﾞｱ用錠

：撤去建具
：改修建具
：既設のまま建具

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

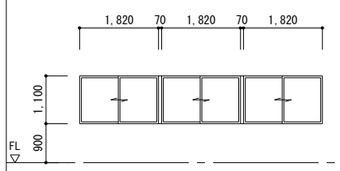
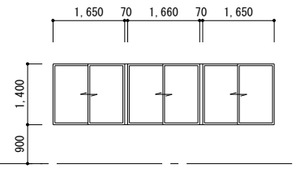
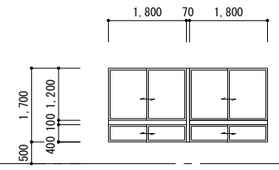
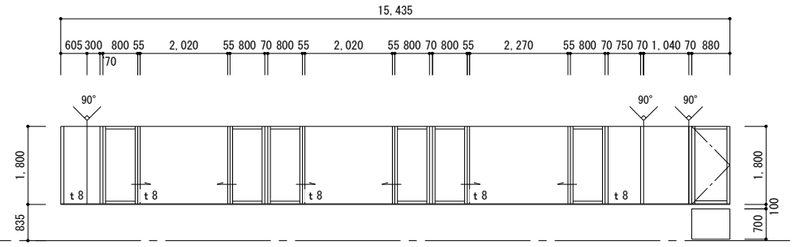
図面名称 (撤去改修) 建具表（３）

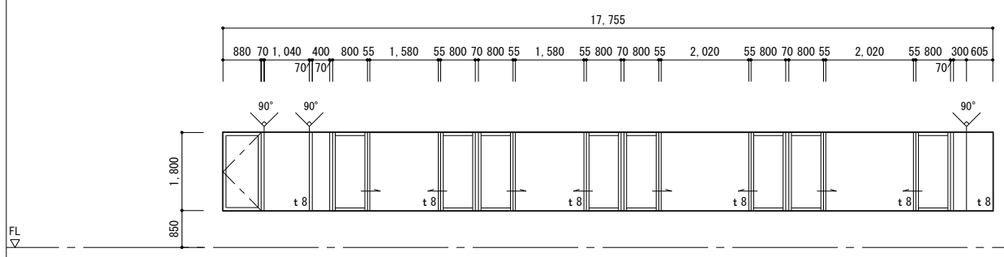
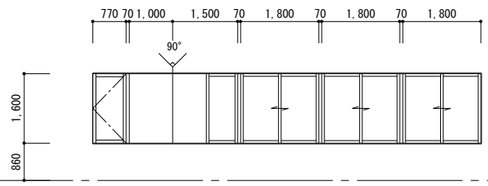
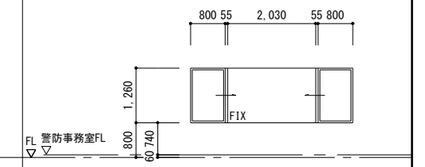
縮尺 A2 1：100 / A3 1：141

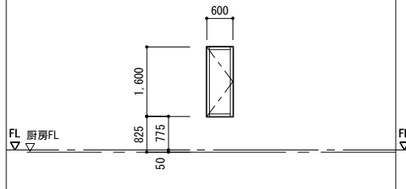
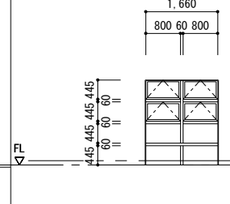
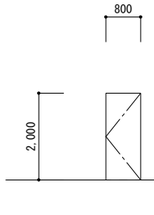
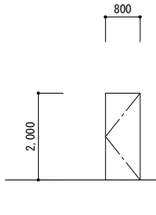
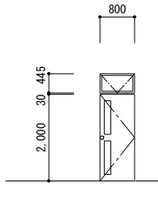
製図 令和08年03月

1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-123

符号	数量	12 AW 2階 通路	2	13 AW 3階 食堂	1	14 AW 2階 通路	2	17 AW 3階 警防事務室	1
姿図									
現況 改修後 型式 見込		3連窓引き違いアルミサッシ	70	3連窓引き違いアルミサッシ	70	3連窓引き違いアルミサッシ	70	3連窓引き違いアルミサッシ	70
現況 改修後 金物		引手、クレセント		引手、クレセント		引手、クレセント		引手、クレセント	
現況 改修後 仕上		―		―		―		―	
現況 改修後 ガラス		FLG t5		FLG t5		FLG t5		HG t8、t10 特記無き限り t6	
今回 改修		※2、7		※2、7		※2、7		※2、7	

符号	数量	18 AW 3階 講堂	1	19 AW 3階 会議室	1	20 AW 1階 警防事務室	1
姿図							
現況 改修後 型式 見込		4連両開きアルミサッシ(嵌め殺し、片開き窓付)	70	4連両開きアルミサッシ(嵌め殺し、片開き窓付)	70	両片開きアルミサッシ	70
現況 改修後 金物		引手、クレセント、片開き金物一式		引手、クレセント、片開き金物一式		引手、クレセント	
現況 改修後 仕上		―		―		―	
現況 改修後 ガラス		HG t6、8		FLG t6		HG t6、8	
今回 改修		※2、7		※2、7		※9a	

符号	数量	22 AW 3階 厨房	1	24 AW 1階 洗濯室	1	5 WD 3階 消防長室、応接会議室	3	6 WD 3階 応接会議室	1	12 WD 3階 会議室	2
						5 WD 3階 講堂	1	6 WD 3階 講堂	1		
姿図											
現況 改修後 型式 見込		片開きアルミサッシ	70	突き出しアルミサッシ	70	片開合板フラッシュ戸	40	片開合板フラッシュ戸	40	片開き合板フラッシュドア(内倒しランマ付)	50
現況 改修後 金物		引手、クレセント		付属金物一式		PH、CDC、HM※-1		PH、CDC、HM※-1		PH、CDC、HM※-1、内倒し金物一式	
現況 改修後 仕上		―		―		メラミン化粧板_天然杢練付合板		メラミン化粧板_天然杢練付合板		天然杢練付合板	
現況 改修後 ガラス		FLG t6		ラフワイヤー t6.8		ポリカーボネート（透明） t5.0					
今回 改修		※2、7				※9a （講堂のみ現況のまま）		※9a （講堂のみ現況のまま）		※3(枠のみ)	

〈改修項目凡例〉

※1：ガラス押えシーリング（SR-1）打替(AWはゴムビード:撤去)
※2：建具周囲シーリング（MS-2）打替
※3：塗装塗替
※4：開閉調整(引戸形式は戸車交換を含む)
※5：脱落防止処置
※6：既設建具の部分撤去・更新
※7：ガラスクリーニング
※8：JIS A 5759 飛散防止フィルム貼り保証付（消防認定品）
※9：撤去（建具のみ） ※9a：撤去（枠共）

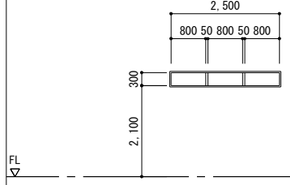
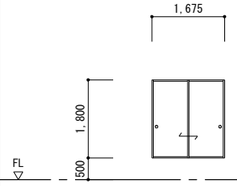
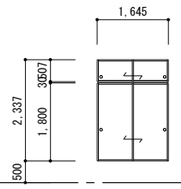
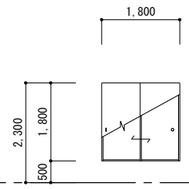
凡例・略号

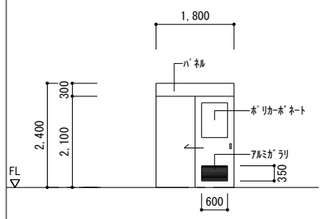
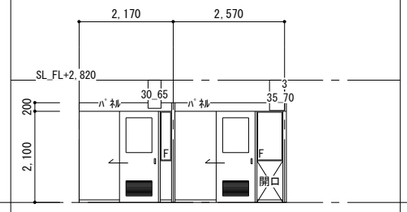
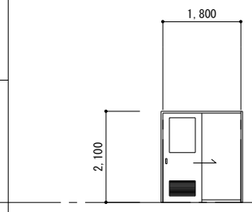
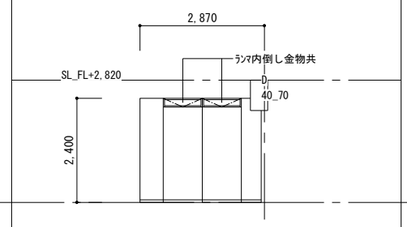
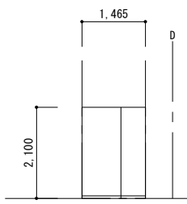
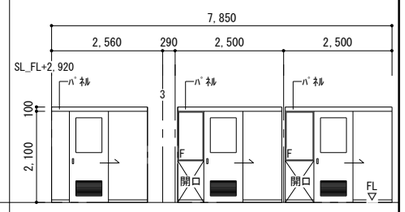
FLG：ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ TG：強化ｶﾞﾗｽ FG：型板ｶﾞﾗｽ FWG:網入り型板ｶﾞﾗｽ PWG：網入り磨き板ｶﾞﾗｽ WP：線入り磨き板ｶﾞﾗｽ
WF：線入り型板ｶﾞﾗｽ HG：熱線吸収ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ HWG：熱線吸収磨き網入りｶﾞﾗｽ RG：高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ
Low-E複層：室外側ｶﾞﾗｽ+乾燥空気層(A)+室内側ｶﾞﾗｽ（Low-E）（日射遮蔽型）
DC：ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ CDC：ｺﾝｼｰﾙﾄﾞﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ LP：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ FH：ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ FB：ﾌﾗｼｽ落とし HM※-1：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/ｻﾑﾀｰﾝ）
HM※-2：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/空） LHS：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠（※_ｴｽｶﾃｵﾝ付） PH：ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ
AH：ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ CH：ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ DST：戸当たり DS：ﾄﾞｱｽｺｰﾌﾟ T：丁番 LH：ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ
DH：本締錠GH：ｸﾞﾚﾓﾝﾊﾝﾄﾞﾙ DG2：ｴﾝｼﾞﾝﾄﾞｱ用錠

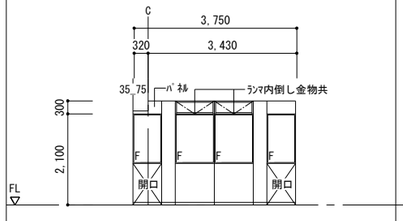
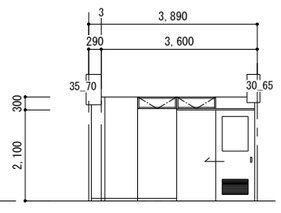
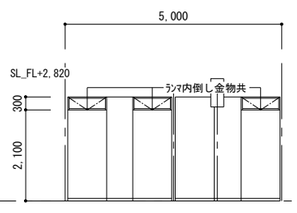
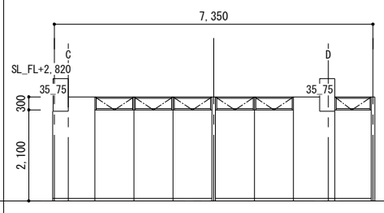
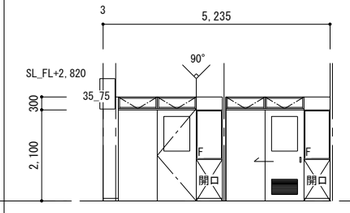
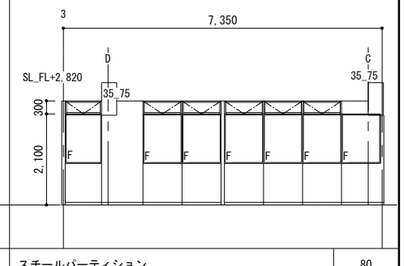
：撤去建具
：改修建具
：既設のまま建具

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称 (撤去改修) 建具表（4）
縮尺 A2 1：100 A3 1：141
製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明
No. A-124

符号	数量	1 WW 3階 消防長室	1		2 F 3階 和風会議室	1	4 F 3階 和風会議室	1	5 F 3階 和風会議室	1	
姿図											
現況 改修後 型式 見込		木製嵌め殺し窓	40		引き違い襖戸	21	引き違い襖戸	21	引き違い戸襖	40	
現況 改修後 金物		ー			引手		引手		引手		
現況 改修後 仕上		スプルス			枠_カシュー塗り、本鳥の子紙_両面		枠_ｶｼｭｰ塗り、本鳥の子紙、合板		枠_カシュー塗り、本鳥の子紙、メラミン化粧板		
現況 改修後 ガラス		透明ガラス t3									
今回 改修		※9a			※9a		※9		※9		

符号	数量	※ SP ｽﾁｰﾙﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ_ﾄﾞｱ ・ﾊﾟﾈﾙ 共通仕様	——	15 SP 1階 仮眠室(101-103)	1	16 SP 1階 仮眠室(103)	1	17 SP 1階 仮眠室(101-102)	1	18 SP 1階 仮眠室(102-103)	1	1 SP 2階 仮眠室(202、203-204)	1
姿図										※103側姿図 			
現況 改修後 型式 見込		スチールパーティション	80	スチールパーティション	80	スチールパーティション	80	スチールパーティション	80	スチールパーティション	80	スチールパーティション	80
現況 改修後 金物		彫り込み引手、付属金物一式、アルミ製ガラリ(600×350、開口率30%)		彫り込み引手、付属金物一式、アルミ製ガラリ(600×350、開口率30%)		彫り込み引手、付属金物一式、アルミ製ガラリ（600×350、開口率30%）		彫り込み引手、付属金物一式		彫り込み引手、付属金物一式		彫り込み引手、付属金物一式、アルミ製ガラリ(600×350、開口率30%)	
現況 改修後 仕上		焼付化粧鋼板		焼付化粧鋼板		焼付化粧鋼板		焼付化粧鋼板		焼付化粧鋼板		焼付化粧鋼板	
現況 改修後 ガラス		ポリカーボネート（透明）t5.0		ポリカーボネート（透明）t5.0		ポリカーボネート（透明）t5.0		ポリカーボネート（透明）t5.0		ー		ポリカーボネート（透明）t5.0	
今回 改修				※9a		※9a		※9a		※9a		※9a	

符号	数量	2 SP 2階 仮眠室(202)	1	3 SP 2階 仮眠室(201)	1	4 SP 1階 仮眠室(202-203)	1	5 SP 2階 仮眠室(202、203-204)	1	6 SP 1階 仮眠室(207-208)	1	7 SP 1階 仮眠室(204、208)	1
姿図													
現況 改修後 型式 見込		スチールパーティション	80	スチールパーティション	80	スチールパーティション	80	スチールパーティション	80	スチールパーティション	80	スチールパーティション	80
現況 改修後 金物		彫り込み引手、付属金物一式、ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（600×350、開口率30%）		彫り込み引手、付属金物一式、ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（600×350、開口率30%）		彫り込み引手、付属金物一式、ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（600×350、開口率30%）		彫り込み引手、付属金物一式、ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（600×350、開口率30%）		彫り込み引手、付属金物一式、ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（600×350、開口率30%）		彫り込み引手、付属金物一式、ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（600×350、開口率30%）	
現況 改修後 仕上		焼付化粧鋼板		焼付化粧鋼板		焼付化粧鋼板		焼付化粧鋼板		焼付化粧鋼板		焼付化粧鋼板	
現況 改修後 ガラス		ポリカーボネート（透明）t5.0		ポリカーボネート（透明）t5.0		ポリカーボネート（透明）t5.0		ポリカーボネート（透明）t5.0		ポリカーボネート（透明）t5.0		ポリカーボネート（透明）t5.0	
今回 改修		※9a		※9a		※9a		※9a		※9a		※9a	

〈改修項目凡例〉

※1：ガラス押えシーリング（SR-1）打替(AWはゴムビード:撤去)　※5：脱落防止処置

※2：建具周囲シーリング（MS-2）打替　※6：既設建具の部分撤去・更新

※3：塗装塗替　※7：ガラスクリーニング

※4：開閉調整(引戸形式は戸車交換を含む)　※8：JIS A 5759 飛散防止フィルム貼り保証付（消防認定品）

※9：撤去（建具のみ）　※9a：撤去（枠共）

凡例・略号

FLG：ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ　TG：強化ｶﾞﾗｽ　FG：型板ｶﾞﾗｽ　FWG:網入り型板ｶﾞﾗｽ　PWG：網入り磨き板ｶﾞﾗｽ　WP：線入り磨き板ｶﾞﾗｽ
WF：線入り型板ｶﾞﾗｽ　HG：熱線吸収ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ　HWG：熱線吸収磨き網入りｶﾞﾗｽ　RG：高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ
Low-E複層：室外側ｶﾞﾗｽ+乾燥空気層(A)+室内側ｶﾞﾗｽ（Low-E）（日射遮蔽型）
DC：ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ　CDC：ｺﾝｼｰﾙﾄﾞﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ　LP：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ　FH：ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ　FB：ﾌﾗﾝｽ落とし　HM※-1：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/ｻﾑﾀｰﾝ）
HM※-2：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/空）　LHS：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠（※_ｴｽｶﾃｵﾝ付）　PH：ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ
AH：ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ　CH：ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ　DST：戸当たり　DS：ﾄﾞｱｽｺｰﾌﾟ　T：丁番　LH：ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ
DH：本締錠GH：ｸﾞﾚﾝﾊﾝﾄﾞﾙ　DG2：ｴﾝｼﾞﾝﾄﾞｱ用錠

：撤去建具

：改修建具

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

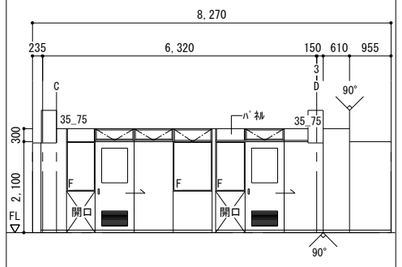
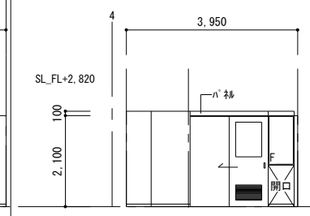
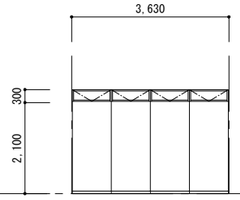
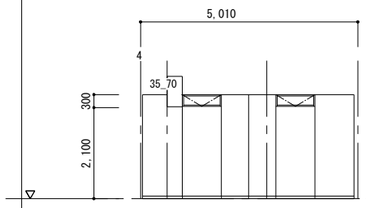
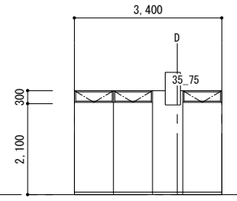
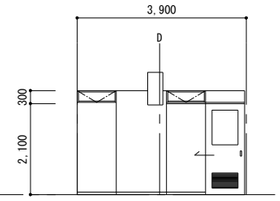
図面名称 (撤去改修) 建具表（5）

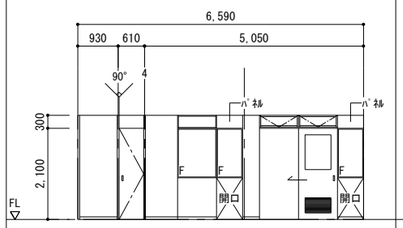
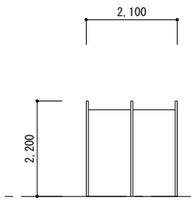
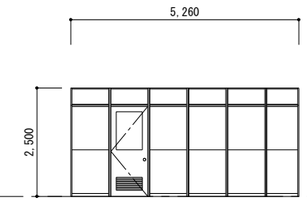
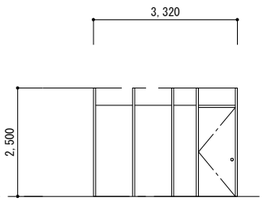
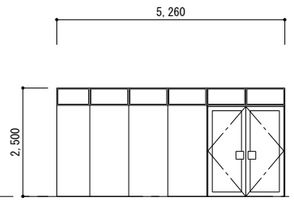
縮尺 A2 1：100 / A3 1：141

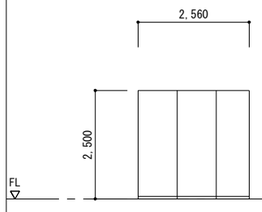
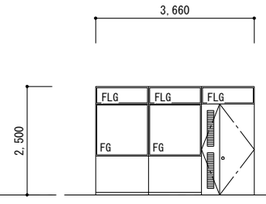
製図 令和08年03月

1級建築士 登録第92794号 松浦孔明

No. A-125

符号	数量	8 SP 1階 仮眠室(205、209)	1	9 SP 1階 仮眠室(205-206)	1	10 SP 1階 仮眠室(206)	1	11 SP 1階 仮眠室(209-210)	1	12 SP 1階 仮眠室(209-210)	1	13 SP 1階 仮眠室(210-211)	1
姿図													
現況 改修後 型式 見込		スチールパーティション	80	スチールパーティション	80	スチールパーティション	80	スチールパーティション	80	スチールパーティション	80	スチールパーティション	80
現況 改修後 金物		彫り込み引手、付属金物一式、ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（600×350、開口率30%）		彫り込み引手、付属金物一式、ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（600×350、開口率30%）		彫り込み引手、付属金物一式、ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（600×350、開口率30%）		彫り込み引手、付属金物一式、ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（600×350、開口率30%）		彫り込み引手、付属金物一式、ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（600×350、開口率30%）		彫り込み引手、付属金物一式、ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（600×350、開口率30%）	
現況 改修後 仕上		焼付化粧鋼板		焼付化粧鋼板		焼付化粧鋼板		焼付化粧鋼板		焼付化粧鋼板		焼付化粧鋼板	
現況 改修後 ガラス		ポリカーボネート（透明）t5.0		ポリカーボネート（透明）t5.0		ポリカーボネート（透明）t5.0		ポリカーボネート（透明）t5.0		ポリカーボネート（透明）t5.0		ポリカーボネート（透明）t5.0	
今回 改修		※9a		※9a		※9a		※9a		※9a		※9a	

符号	数量	14 SP 1階 仮眠室(209-210)	1		1 P 1階 警防事務室_湯沸	1	4 P 3階 署長兼団長室	1	+4 P 3階 署長兼団長室	1	5 P 3階 ホール	1
姿図												
現況 改修後 型式 見込		スチールパーティション	80		ｱﾙﾐｽﾀｯﾄﾞ型ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	50	ｽﾁｰﾙﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	60	ｱﾙﾐｽﾀｯﾄﾞ型ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	50	ｽﾁｰﾙﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	60
現況 改修後 金物		彫り込み引手、付属金物一式、ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ（600×350、開口率30%）					T、DC、HM-2		T、DC、HM-2		PH、DC、FB、HM-1	
現況 改修後 仕上		焼付化粧鋼板			ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧板		化粧鋼板		ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧板		化粧鋼板	
現況 改修後 ガラス		ポリカーボネート（透明）t5.0					FLG t3.0				FLG t3.0	
今回 改修		※9a			※9a		※9a		※9a		※9a	

符号	数量	6 P 3階 ホール	1	7 P 3階 書庫兼倉庫	1
姿図					
現況 改修後 型式 見込		スチールパーティション	60	スチールパーティション	60
現況 改修後 金物				T、DC、HM-1、FB	
現況 改修後 仕上		化粧鋼板			
現況 改修後 ガラス				FG t4.0（ﾗﾝﾏ:FLG t3.0）	
今回 改修		※9a		※3(枠共)	

〈改修項目凡例〉

※1：ガラス押えシーリング（SR-1）打替(AWはゴムビード:撤去)
※2：建具周囲シーリング（MS-2）打替
※3：塗装塗替
※4：開閉調整(引戸形式は戸車交換を含む)
※5：脱落防止処置
※6：既設建具の部分撤去・更新
※7：ガラスクリーニング
※8：JIS A 5759 飛散防止フィルム貼り保証付（消防認定品）
※9：撤去（建具のみ） ※9a：撤去（枠共）

凡例・略号

FLG：ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ TG：強化ｶﾞﾗｽ FG：型板ｶﾞﾗｽ FWG:網入り型板ｶﾞﾗｽ PWG：網入り磨き板ｶﾞﾗｽ WP：線入り磨き板ｶﾞﾗｽ
WF：線入り型板ｶﾞﾗｽ HG：熱線吸収ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ HWG：熱線吸収磨き網入りｶﾞﾗｽ RG：高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ
Low-E複層：室外側ｶﾞﾗｽ+乾燥空気層(A)+室内側ｶﾞﾗｽ（Low-E）（日射遮蔽型）
DC：ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ CDC：ｺﾝｼｰﾙﾄﾞﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ LP：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ FH：ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ FB：ﾌﾗｼｽ落とし HM※-1：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/ｻﾑﾀｰﾝ）
HM※-2：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/空） LHS：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠（※_ｴｽｶﾃｵﾝ付） PH：ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ
AH：ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ CH：ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ DST：戸当たり DS：ﾄﾞｱｽｺｰﾌﾟ T：丁番 LH：ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ
DH：本締錠GH：ｸﾞﾚﾝﾊﾝﾄﾞﾙ DG2：ｴﾝｼﾞﾝﾄﾞｱ用錠

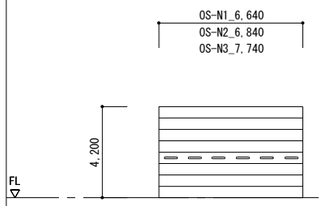
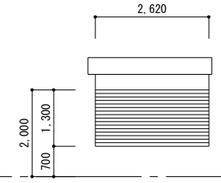
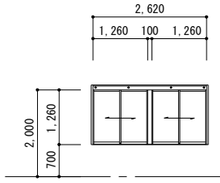
：撤去建具
：改修建具

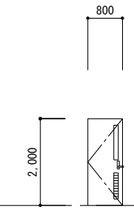
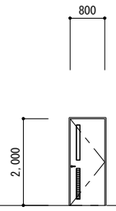
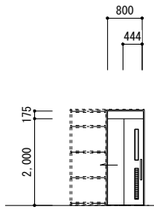
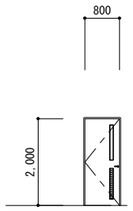
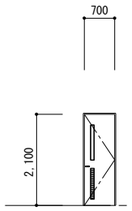
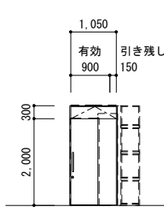
株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

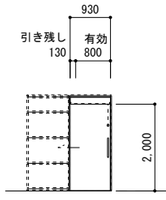
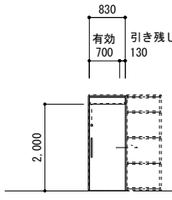
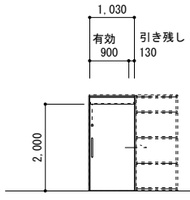
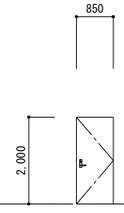
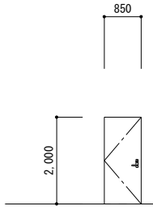
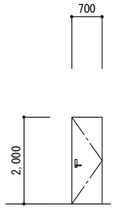
工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称 （撤去改修）建具表（６）
縮尺 A2 1：100 A3 1：141
製図 令和08年03月

1級建築士 登録第92794号 松浦孔明

No. A-126

符号	数量	N1 OS / N2 OS / N3 OS 車庫 1/200	1_(2)_1	N1 SS 1階 受付	1	N1 SSW 1階 受付	1
姿図							
現況 改修後 型式 見込		電動ホイスト式アルミ製重量オーバースライダー				ステンレス製2連引違い窓	100
現況 改修後 金物		スタンダード収納型電動式、明り窓（AL）、キースイッチ(ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ) 障害物感知装置、リモコンスイッチ		付属金物一式、煙感知器連動金物一式		付属金物一式	
現況 改修後 仕上		カラーアルミ焼付塗装		スラット t1.6 SOP			
現況 改修後 ガラス						FLG t6	
今回 改修		新設		※新設		新設	

符号	数量	N1 LSD 1階 相談室	1	N2 LSD 1階 男性トイレ	1	N3 LSD 1階 子どもトイレ	1	N4 LSD 1階 女性トイレ	1	N5 LSD 2階 男子トイレ	1	N6 LSD 2階 仮眠室_18(女性仮眠室)付き前室	1
姿図													
現況 改修後 型式 見込		片開軽量スチールドア	40	鋼製軽量片開き戸	40	鋼製軽量２連引き込み戸(LGS壁内蔵型)	40	鋼製軽量片開き戸	40	鋼製軽量片開き戸	40	鋼製軽量2連引き込み戸(LGS壁内蔵型)	40
現況 改修後 金物		PH、DC、HM※-1		取付金物一式、ガラリ		HD、取付金物一式、ガラリ		取付金物一式、ガラリ		取付金物一式、ガラリ		HD、取付金物一式	
現況 改修後 仕上		亜鉛メッキ鋼板(防錆塗装仕上) SOP塗装		亜鉛メッキ鋼板(防錆塗装仕上) SOP塗装		亜鉛メッキ鋼板t0.6（防錆塗装仕上）SOP塗装		亜鉛メッキ鋼板(防錆塗装仕上) SOP塗装		亜鉛メッキ鋼板(防錆塗装仕上) SOP塗装		亜鉛メッキ鋼板t0.6（防錆塗装仕上）SOP塗装	
現況 改修後 ガラス		FG t4.0		FG t4.0		FG t4.0		FG t4.0		FG t4.0		－	
今回 改修		※新設		※新設		※新設		※新設		※新設		※新設	

符号	数量	N7 LSD 2階 仮眠室_18付き脱衣	1	N8 LSD 2階 仮眠室_18付きトイレ	1	N9 LSD 2階 仮眠室_18(女性用仮眠室)	1	N10 LSD 2階 仮眠室(1、3、4、7、9、11、12、15)	8	N11 LSD 2階 仮眠室(2、5、6、8、10、13、14、16、17)	9	N12 LSD 3階 女性トイレ、男性トイレ	2
姿図													
現況 改修後 型式 見込		鋼製軽量ハンガードア(LGS壁内蔵型)	40	鋼製軽量ハンガードア(LGS壁内蔵型)	40	鋼製軽量ハンガードア(LGS壁内蔵型)	40	鋼製軽量片開き戸(SAT)	40	鋼製軽量片開き戸(SAT)	40	鋼製軽量片開き戸	40
現況 改修後 金物		DH、取付金物一式		DH、取付金物一式		DH、取付金物一式		ストッパー付きドアクローザー、HLS、取付金物一式		ストッパー付きドアクローザー、HLS、取付金物一式		取付金物一式	
現況 改修後 仕上		亜鉛メッキ鋼板t0.6（防錆塗装仕上）SOP塗装		亜鉛メッキ鋼板t0.6（防錆塗装仕上）SOP塗装		亜鉛メッキ鋼板t0.6（焼付塗装仕上）SOP塗装		亜鉛メッキ鋼板(防錆塗装仕上) SOP塗装		亜鉛メッキ鋼板(防錆塗装仕上) SOP塗装		亜鉛メッキ鋼板(防錆塗装仕上) SOP塗装	
現況 改修後 ガラス		－		－		－		－		－		－	
今回 改修		※新設		※新設		※新設		※新設		※新設		※新設	

〈特記事項〉

・新設建具はマスターキーを作成すること

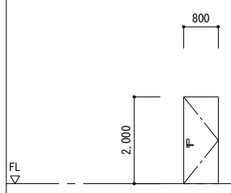
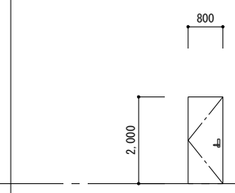
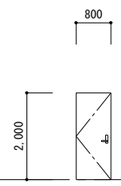
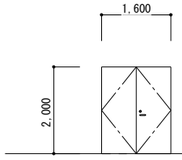
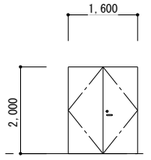
凡例・略号

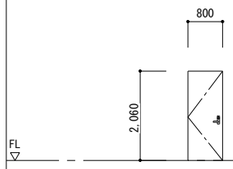
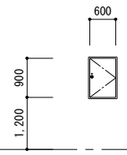
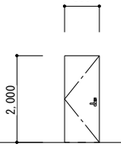
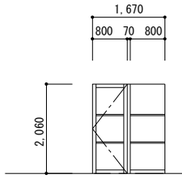
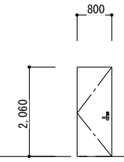
FLG：ﾌﾛｰﾄﾄﾞｶﾞﾗｽ　TG：強化ｶﾞﾗｽ　FG：型板ｶﾞﾗｽ　FWG:網入り型板ｶﾞﾗｽ　PWG：網入り磨き板ｶﾞﾗｽ　WP：線入り磨き板ｶﾞﾗｽ
WF：線入り型板ｶﾞﾗｽ　HG：熱線吸収ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ　HWG：熱線吸収磨き網入りｶﾞﾗｽ　RG：高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ
Low-E複層：室外側ｶﾞﾗｽ+乾燥空気層(A)+室内側ｶﾞﾗｽ(Low-E)（日射遮蔽型）
DC：ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ　CDC：ｺﾝｼｰﾙﾄﾞﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ　LP：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ　FH：ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ　FB：ﾌﾗﾝｽ落とし　HM※-1：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/ｻﾑﾀｰﾝ）
HM※-2：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/空）　LHS：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠（※_ｴｽｶﾁｵﾝ付）　PH：ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ
AH：ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ　CH：ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ　DST：戸当たり　DS：ﾄﾞｱｽｺｰﾌﾟ　T：丁番　LH：ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ
DH：本締錠GH：ｸﾞﾚﾓﾝﾊﾝﾄﾞﾙ　DG2：ｴﾝｼﾞﾝﾄﾞｱ用錠

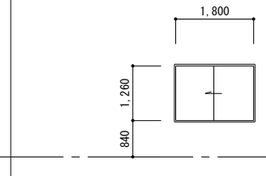
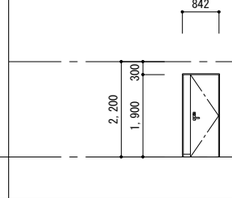
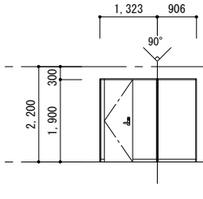
：新設建具

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	（新設建具）建具表（７）	縮尺 A2 1：100 / A3 1：141
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. A-127

符号	数量											
		N13 LSD 3階 倉庫_A	1	N14 LSD 3階 食堂	1	N15 LSD 3階 食堂	1			N1 SD 1階 車庫	1	N2 SD 1階 車庫	1
姿図													
現況改修後	型式 見込	鋼製軽量片開き戸	40	鋼製軽量片開き戸	40	鋼製軽量片開き戸	40			両開きスチールドア	86	両開きスチールドア	86
	金物	取付金物一式		取付金物一式		取付金物一式				PH、LHS、DC（ｽﾄｯﾊﾟｰ無し）、順位調節器、電気錠（通電金具一式）		PH、LHS、DC（ｽﾄｯﾊﾟｰ無し）、順位調節器、電気錠（通電金具一式）	
	仕上	亜鉛メッキ鋼板(防錆塗装仕上) SOP塗装		亜鉛メッキ鋼板(防錆塗装仕上) SOP塗装		亜鉛メッキ鋼板(防錆塗装仕上) SOP塗装				R-1.6 フラッシュ SOP		R-1.6 フラッシュ SOP	
	ガラス	―		―		―				―		―	
今回	改修	※新設		※新設		※新設				※新設		※新設	

符号	数量											
		N3 SD 1階 予防課事務	2	N4 SD 1階 男性トイレ	1	N5 SD 2階 通路	1			N1 AD 1階 階段室_B	1	N2 AD 屋外階段	1
姿図													
現況改修後	型式 見込	片開きスチールドア	86	片開きアングルドア（PS点検ドア）（特定防火設備）	40	片開きスチールドア	86			袖嵌め殺しアルミ製片開ドア	70	アルミ製片開ドア	70
	金物	PH、LHS、DC、電気錠（通電金具一式）		丁番、ケースハンドル錠		Pヒンジ、握玉付シリンダー錠、ドアチェック				PH、LHS、DC、電気錠（通電金具一式）		PH、LHS、DC、電気錠（通電金具一式）	
	仕上	R-1.6 フラッシュ SOP		R-1.6 フラッシュ SOP		R-1.6 フラッシュ SOP				電解着色		電解着色	
	ガラス			―		―				PW t6.8		―	
今回	改修	※新設		※新設		※新設				※新設		※新設	

符号	数量											
				N1 WW 2階 仮眠室_14	1			N1 TB 1階 脱衣1	1	N2 TB 1階 脱衣2	1	
姿図												
現況改修後	型式 見込			木製引き違い窓	40			トイレブースパーティション	40	トイレブースパーティション	40	
	金物			―				表示錠、付属金物一式		表示錠、付属金物一式		
	仕上			合板フラッシュ SOP				高圧メラミン化粧板		高圧メラミン化粧板		
	ガラス			―				―		―		
今回	改修			※新設				※新設		※新設		

〈特記事項〉

・新設建具はマスターキーを作成すること

凡例・略号

FLG：ﾌﾛｰﾄﾄﾞｶﾞﾗｽ　TG：強化ｶﾞﾗｽ　FG：型板ｶﾞﾗｽ　FWG:網入り型板ｶﾞﾗｽ　PWG：網入り磨き板ｶﾞﾗｽ　WP：線入り磨き板ｶﾞﾗｽ
WF：線入り型板ｶﾞﾗｽ　HG：熱線吸収ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ　HWG：熱線吸収磨き網入りｶﾞﾗｽ　RG：高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ
Low-E複層：室外側ｶﾞﾗｽ+乾燥空気層(A)+室内側ｶﾞﾗｽ（Low-E）（日射遮蔽型）
DC：ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ　CDC：ｺﾝｼｰﾙﾄﾞﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ　LP：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ　FH：ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ　FB：ﾌﾗﾝｽ落とし　HM※-1：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/ｻﾑﾀｰﾝ）
HM※-2：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/空）　LHS：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠（※_ｴｽｶﾁｵﾝ付）　PH：ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ
AH：ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ　CH：ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ　DST：戸当たり　DS：ﾄﾞｱｽｺｰﾌﾟ　T：丁番　LH：ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ
DH：本締錠GH：ｸﾞﾚﾓﾝﾊﾝﾄﾞﾙ　DG2：ｴﾝｼﾞﾝﾄﾞｱ用錠

N1 TB ：新設建具

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

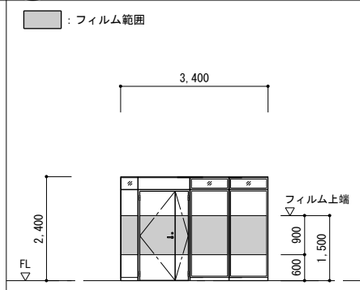
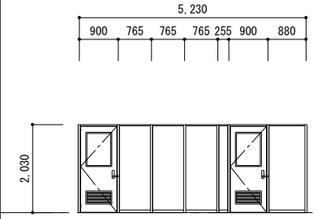
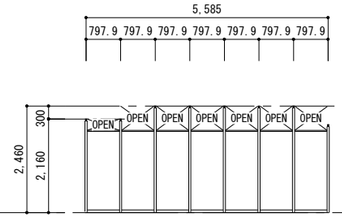
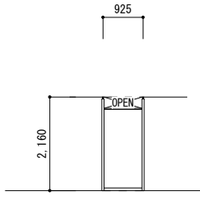
図面名称　（新設建具）建具表（８）

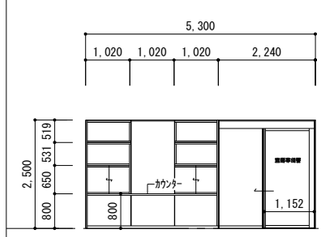
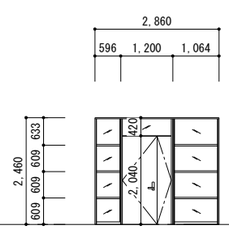
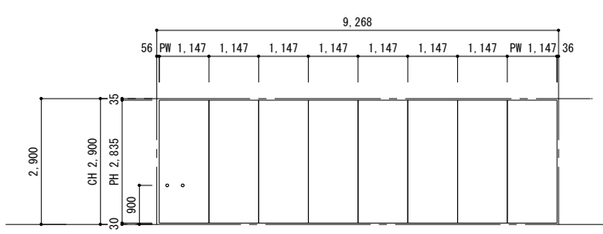
縮尺　A2 1：100　A3 1：141

製図　令和08年03月

1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. A-128

符号	数量	N1 SP 3階 トレーニングルーム	1	N1 AP 1階 相談室・更衣室	1	N2 AP 1階 相談室・更衣室	1	N3 AP 1階 湯沸	1
姿図									
現況 改修後 型式	見込	スチールパーティション	70(35)	アルミパーティション	50	アルミパーティション	50	アルミパーティション	50
現況 改修後 金物		付属金物一式		T、DC、LHS		T、DC、LHS		―	
現況 改修後 仕上		亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上げ)		亜鉛メッキ鋼板焼付塗装		亜鉛メッキ鋼板焼付塗装		亜鉛メッキ鋼板焼付塗装	
現況 改修後 ガラス		TG t5(すりガラス風ﾌｨﾙﾑ貼りH=900)		FG t4.0		FG t4.0		―	
今回 改修		※新設_小松ｳｫｰﾙ ﾏｲﾃｨｰ70同等品		新設_小松ｳｫｰﾙ ﾅｯｸｰ50SW同等品		新設_小松ｳｫｰﾙ ﾅｯｸｰ50SW同等品		新設_小松ｳｫｰﾙ ﾅｯｸｰ50SW同等品	

符号	数量	N1 GAP 3階 ホール	1	N2 GAP 3階 署長室	1	N1 SWW 3階 大会議室（講堂）	1
姿図							
現況 改修後 型式	見込	ガラスパーティション	70(35)	ガラスパーティション	70(35)	移動式パーティション	80
現況 改修後 金物		付属金物一式、ｶﾞﾗｽ引き戸、ｶﾞﾗｽ引き分け窓（ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠）		付属金物一式		附属金物一式	
現況 改修後 仕上		ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾈﾙ（亜鉛メッキ鋼板焼付塗装）		ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾈﾙ（亜鉛メッキ鋼板焼付塗装）		GB-R t12.5下地壁紙	
現況 改修後 ガラス		TG t8.0（ｶﾞﾗｽﾌｨﾙﾑ貼り）、FLG t5.0		FLG t6			
今回 改修		新設_小松ｳｫｰﾙ ﾏｲﾃｨ GWALL同等品		新設_小松ｳｫｰﾙ ﾏｲﾃｨｰGWALL同等品		新設_小松ｳｫｰﾙ ﾗｲﾄﾘｰｳｫｰﾙ LW-80GF同等品、固定パネル1ヶ所	

符号	数量	
姿図		
現況 改修後 型式	見込	
現況 改修後 金物		
現況 改修後 仕上		
現況 改修後 ガラス		
今回 改修		

〈特記事項〉
・新設建具はマスターキーを作成すること

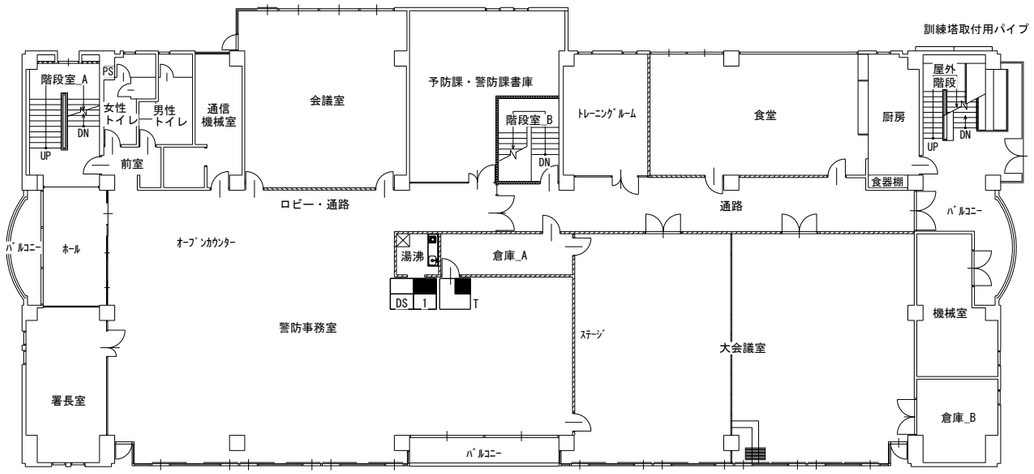
凡例・略号

FLG：ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ　TG：強化ｶﾞﾗｽ　FG：型板ｶﾞﾗｽ　FWG:網入り型板ｶﾞﾗｽ　PWG：網入り磨き板ｶﾞﾗｽ　WP：線入り磨き板ｶﾞﾗｽ
WF：線入り型板ｶﾞﾗｽ　HG：熱線吸収ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ　HWG：熱線吸収磨き網入りｶﾞﾗｽ　RG：高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ
Low-E複層：室外側ｶﾞﾗｽ+乾燥空気層(A)+室内側ｶﾞﾗｽ（Low-E）（日射遮蔽型）
DC：ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ　CDC：ｺﾝｼｰﾙﾄﾞﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ　LP：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ　FH：ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ　FB：ﾌﾗｼｽ落とし　HM※-1：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/ｻﾑﾀｰﾝ）
HM※-2：本締付ﾓﾉﾛｯｸ（ｼﾘﾝﾀﾞｰ/空）　LHS：ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠（※_ｴｽｶﾃｵﾝ付）　PH：ﾋﾞﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ
AH：ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ　CH：ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ　DST：戸当たり　DS：ﾄﾞｱｽｺｰﾌﾟ　T：丁番　LH：ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ
DH：本締錠GH：ｸﾞﾚﾓﾝﾊﾝﾄﾞﾙ　DG2：ｴﾝｼﾞﾝﾄﾞｱ用錠

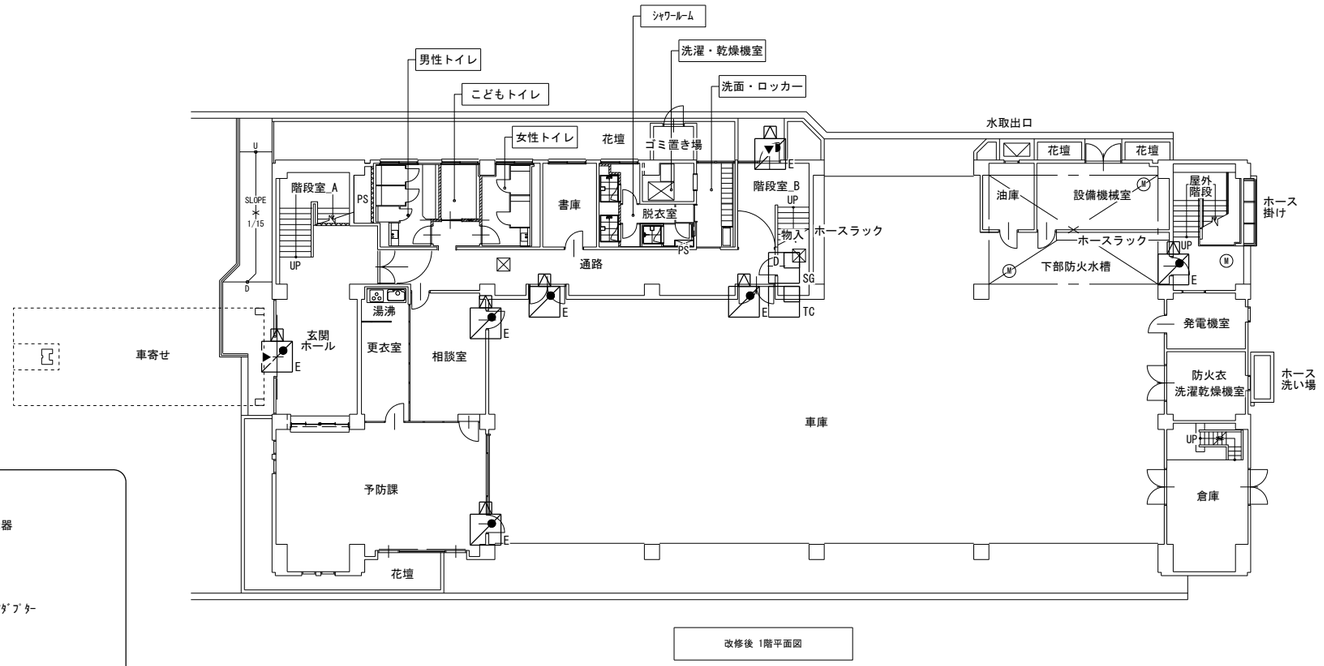
：新設建具

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称 (新設建具) 建具表（９）
縮尺 A2 1：100 / A3 1：141
製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明
No. A-129



改修後 3階平面図



改修後 1階平面図

凡例

DS / 1 2線式電気錠操作盤	BAN-DS1
D / SG 操作表示器	SSP-G1D
T マジカルテンキー制御器	TKU-003.C
2線変換アダプター	AD311
TC マジカルテンキー操作器	TKU-003.DCV
E 電気錠	錠種未定

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称 電気錠 配置平面図

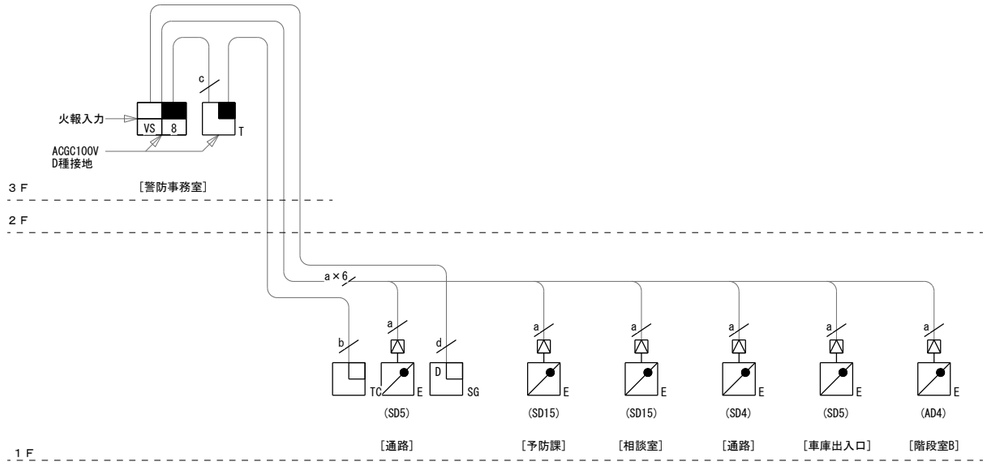
縮尺 A2 1：200 / A3 1：282

製図 令和08年03月

1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-130

1．系統図



凡 例

VS 8 多回線電気錠制御盤 BAN-VS8	2線変換ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ AD311	a	(F)CPEV-S 1.2-2P 配線距離は表１参照
T ﾏｼﾞｶﾙﾃﾝｷｰ制御器 TKU-003.C	E 電気錠 錠種未定	b	(F)CPEV-S 0.9-2P 配線距離は表２参照
TC ﾏｼﾞｶﾙﾃﾝｷｰ操作器 TKU-003.DCV		c	(F)CPEV 0.9-2P 配線距離は100mまで
D SG 操作表示器 SSP-G1D		d	(F)CPEV-S 0.9-2P 配線距離は100mまで

配線は予備線を含む。
配管・配線・電源は別途工事。

表１

配線距離
適用：BAN-VS4,BAN-VS8,BAN-VS12B,BAN-VS16B
BAN-VS20B,BAN-VS24B,BAN-VS28B,BAN-VS32B

電気ｽﾄﾗｲｸ 電気錠 ／ 線径	電気錠～制御盤間 (m)				
	ASE	AL4M ALN AFG	ALA ANS ALG50 AUS	AMS,AUT/R(A),AEPT ALGT/R50,APPT/R(A) APBT/R,EM2L600 EL-101,AST/R,AD219	ASZ
DENｺｰﾄﾞ9C (断面積 0.3 mm2)	10	20	30	40	60
0.65 mm	20	25	50	60	75
0.9 mm	40	40	80	120	120
1.2 mm	60	60	120	180	180
1.6 mm相当	100	100	190	300	300
2.0 mm相当	160	160	300	480	480

表２

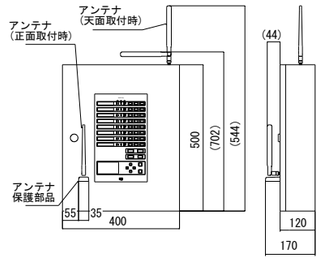
配線距離
適用：TKU-003.C,BAN-OP,TK2,BAN-D,TKU2
～TKU-003.D(DCV)

操作器～制御器	
線径 (mm)	距離 (m)
0.65 AWG22相当	50
0.9 AWG19相当	100
1.2 AWG16相当(*)	180

＊ 旧操作器と組み合わせる場合100mまで。

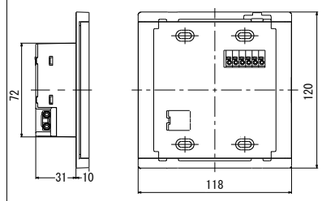
2．外観図

多回線電気錠制御盤 BAN-VS8



取付方法	屋内壁面取付
材質	SPCC t1.6
仕上	本体：ｱｲﾎﾞﾘｰ(日本塗料工業会 U22-90B近似色)
	操作部：ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ(日本塗料工業会 KN-85近似色)
電源	AC100V±10% 50/60Hz 100W
重量	最大約16kg　縮尺 FREE　単位 mm

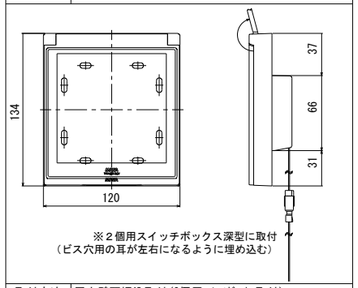
マジカルテンキー制御器 TKU－003．C



※２個用スイッチボックス深型に取付
（ビス穴用の耳が上下になるように埋め込む）

取付方法	屋内壁面埋込取付(2個用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ取付)
材質	ASA樹脂
仕上	ﾎﾜｲﾄ(日本塗料工業会 K75-90A近似色)
電源	AC100V±10% 50/60Hz 1.5W
重量	約300g　縮尺 FREE　単位 mm

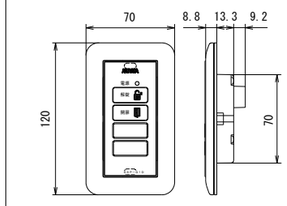
マジカルテンキー操作器 TKU－003．DCV



※２個用スイッチボックス深型に取付
（ビス穴用の耳が左右になるように埋め込む）

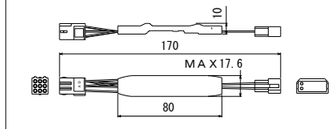
取付方法	屋内壁面埋込取付(2個用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ取付)
材質	ﾊﾞﾈﾙ部：強化ｶﾞﾗｽ　本体/ｶﾊﾞｰ：ASA樹脂
仕上	ﾌﾞﾗｯｸ(BK)(日本塗料工業会 GN-10近似色)
	ﾎﾜｲﾄ(WH)(日本塗料工業会 K75-90A近似色)
電源	ﾏｼﾞｶﾙﾃﾝｷｰ制御器より供給
重量	約380g　縮尺 FREE　単位 mm

操作表示器 SSP－G1D



取付方法	屋内壁面埋込取付(1個用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ)
材質	ABS樹脂
仕上	本体：ｵﾌﾎﾜｲﾄ(日本塗料工業会No. AN-85近似色)
	操作部：ﾀﾞｰｸｸﾞﾚｰ(日本塗料工業会No. AN-55近似色)
電源	電気錠制御盤より供給
重量	約70g　縮尺 FREE　単位 mm

2線変換アダプター AD311



ピン配列表（９Ｐ）

No.	ﾘｰﾄﾞ線色	信号名	
1	青	ｱｸﾁｭｴｰﾀｰ	
2	茶	ｱｸﾁｭｴｰﾀｰ	
3	―	―	
4	白	扉開閉信号	閉扉時メイク
5	橙	扉開閉信号	
6	―	―	
7	黒	施解錠信号	施錠時メイク
8	―	―	
9	赤	施解錠信号	

ピン配列表（２Ｐ）

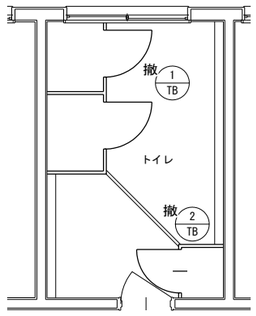
No.	ﾘｰﾄﾞ線色	信号名
1	白	電気錠ｿﾚﾉｲﾄﾞ
2	黒	電気錠ｿﾚﾉｲﾄﾞ

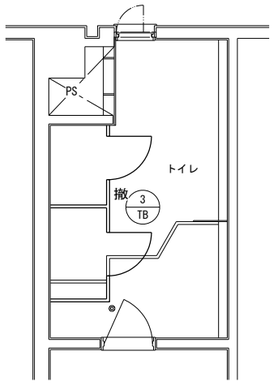
単位 mm

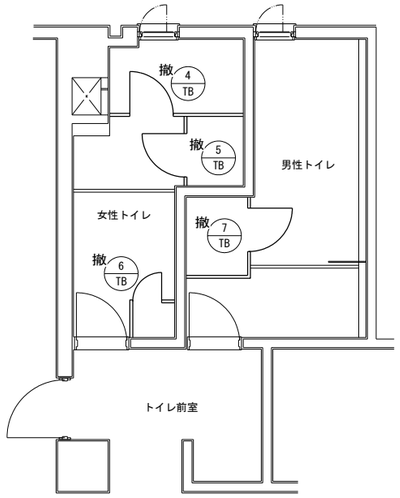
S25－1051
2025.07.09
※製品仕様は予告なく変更する場合があります

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	電気錠 詳細図	縮尺 NS
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. A-131







撤 ：撤去

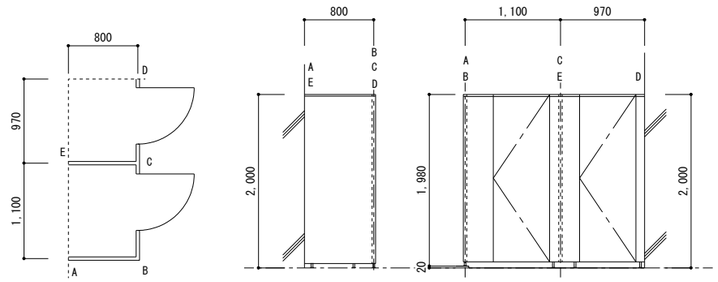
1階　伏せ図　1/60

2階　伏せ図　1/60

3階　伏せ図　1/60

符号	数量		
1 TB	1	1階：トイレ	1

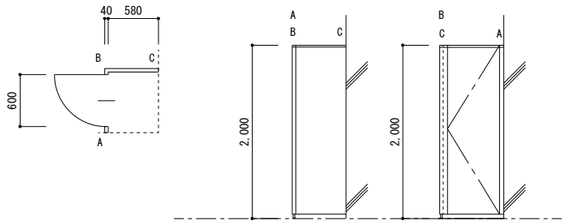
姿図



型式	見込		
		片開きフラッシュ戸	40
金物		握玉付き空錠、蝶番	
仕上		メラミン化粧板	
ガラス		―	
備考		※撤去	

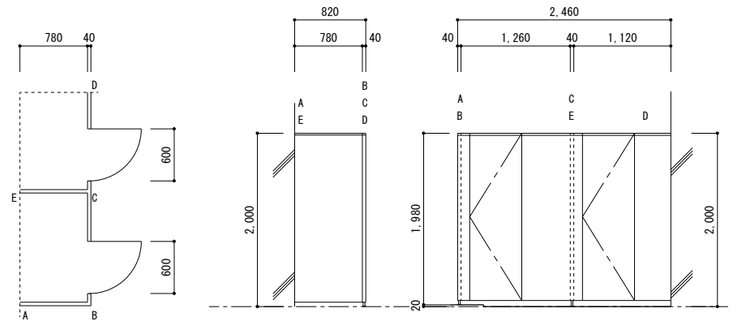
符号	数量		
2 TB	1	1階：トイレ	1

姿図



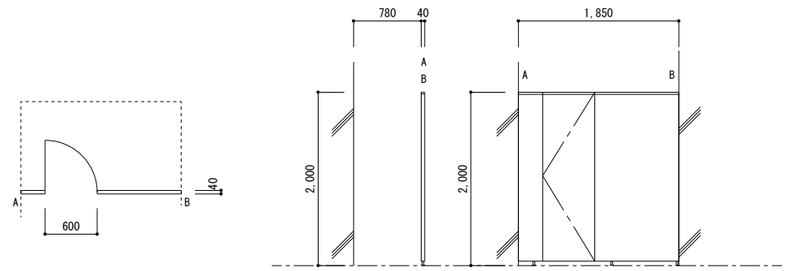
型式	見込		
		片開きフラッシュ戸	40
金物		握玉付き空錠、蝶番	
仕上		メラミン化粧板	
ガラス		―	
備考		※撤去	

符号	数量		
3 TB	1	2階：トイレ	1



型式	見込		
		片開きフラッシュ戸	40
金物		握玉付き空錠、蝶番	
仕上		メラミン化粧板	
ガラス		―	
備考		※撤去	

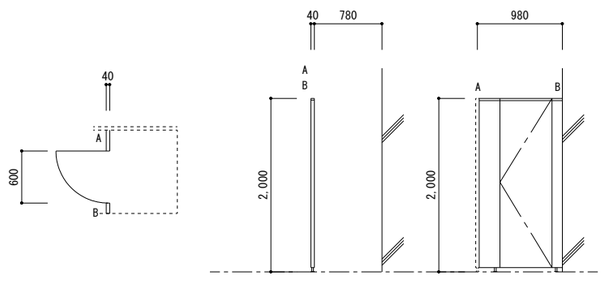
符号	数量		
4 TB	1	3階：女性トイレ	1



型式	見込		
		片開きフラッシュ戸	40
金物		握玉付き空錠、蝶番	
仕上		メラミン化粧板	
ガラス		―	
備考		※撤去	

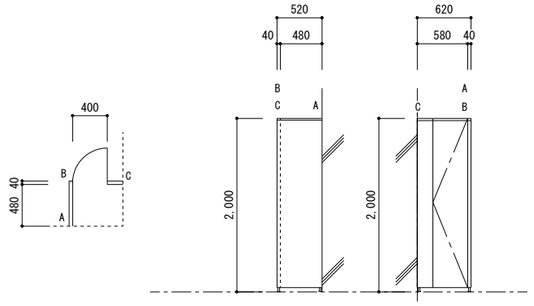
符号	数量		
5 TB	1	3階：女性トイレ	1

姿図



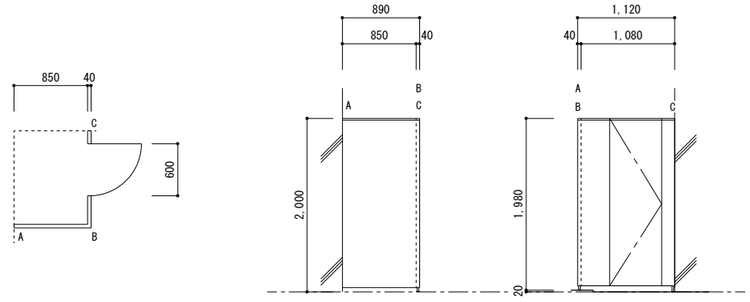
型式	見込		
		片開きフラッシュ戸	40
金物		握玉付き空錠、蝶番	
仕上		メラミン化粧板	
ガラス		―	
備考		※撤去	

符号	数量		
6 TB	1	3階：女性トイレ	1



型式	見込		
		片開きフラッシュ戸	40
金物		握玉付き空錠、蝶番	
仕上		メラミン化粧板	
ガラス		―	
備考		※撤去	

符号	数量		
7 TB	1	3階：男性トイレ	1



型式	見込		
		片開きフラッシュ戸	40
金物		握玉付き空錠、蝶番	
仕上		メラミン化粧板	
ガラス		―	
備考		※撤去	

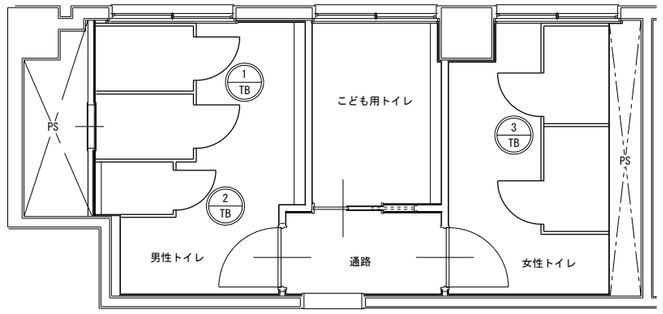
株式会社　松浦建築事務所

TEL　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前）　各階 トイレブース表
縮尺	A2　1：50 A3　1：71
製図	令和08年03月

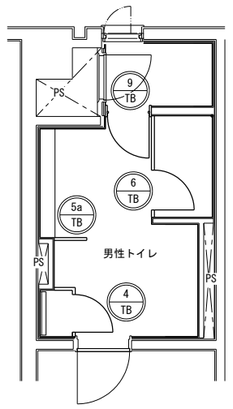
1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. A-132

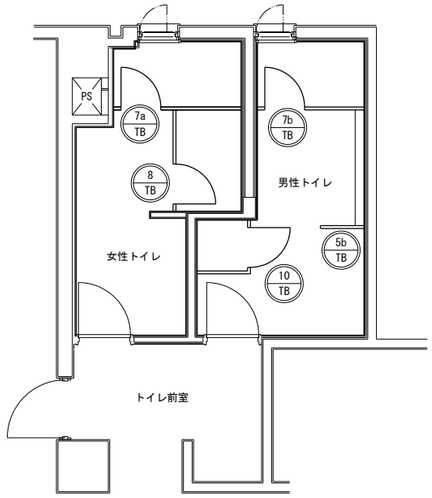


：新設

1階　伏せ図　1/60



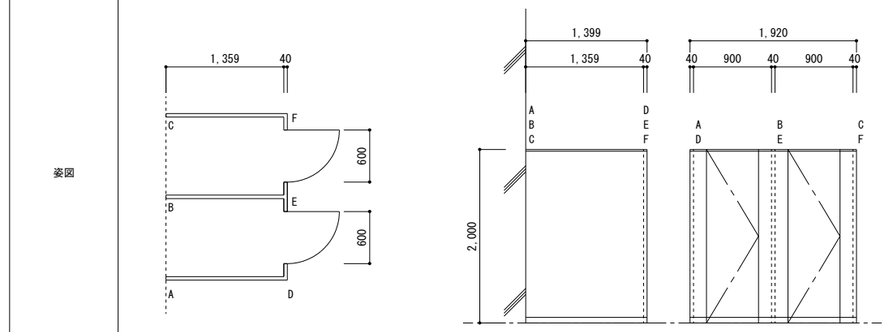
2階　伏せ図　1/60



3階　伏せ図　1/60

符号	数量	1 TB 1階：男性トイレ	1

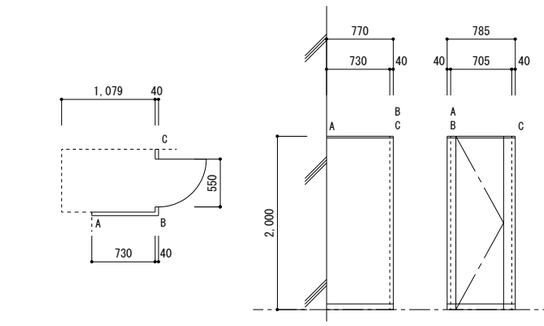
姿図



型式	見込	トイレブース
金物		アルミ笠木、SUS製巾木、SUS製グレビティヒンジ、スライドラッチ、帽子掛け戸当り、付随金物一式
仕上		高圧メラミン樹脂化粧板
ガラス		—
備考		※新設

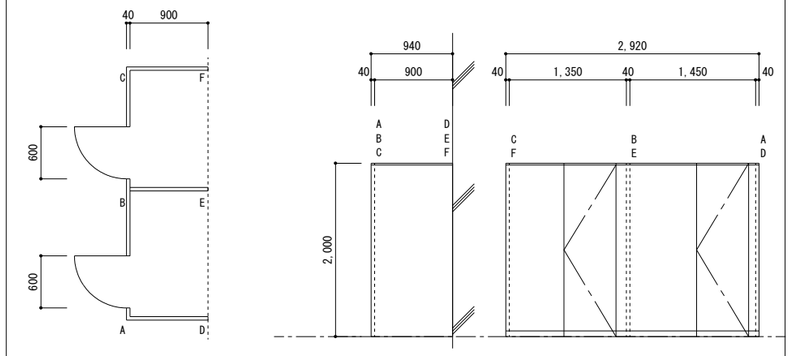
符号	数量	2 TB 1階：男性トイレ	1

姿図



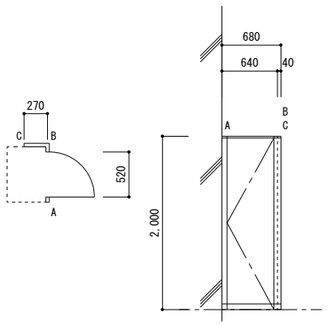
型式	見込	掃除具入れ	40
金物		アルミ笠木、SUS製巾木、SUS製グレビティヒンジ、戸当り、付随金物一式	
仕上		高圧メラミン樹脂化粧板	
ガラス		—	
備考		※新設	

符号	数量	3 TB 1階：女性トイレ	1



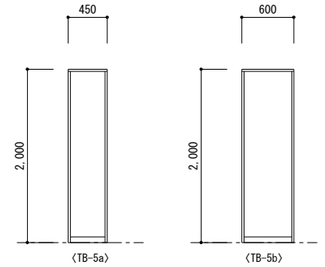
型式	見込	トイレブース	40
金物		アルミ笠木、SUS製巾木、SUS製グレビティヒンジ、スライドラッチ、帽子掛け戸当り、付随金物一式	
仕上		高圧メラミン樹脂化粧板	
ガラス		—	
備考		※新設	

符号	数量	4 TB 2階：男性トイレ	1



型式	見込	掃除具入れ	40
金物		アルミ笠木、SUS製巾木、SUS製グレビティヒンジ、戸当り、付随金物一式	
仕上		高圧メラミン樹脂化粧板	
ガラス		—	
備考		※新設	

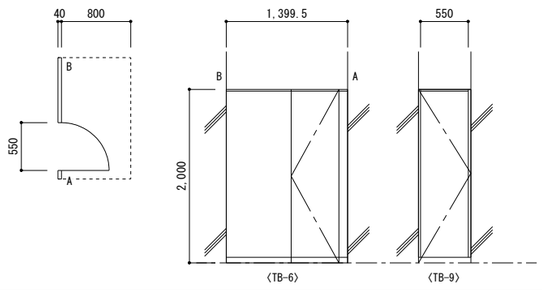
符号	数量	5a TB 5b TB 2階：男性トイレ、3階：男性トイレ	1



型式	見込	トイレパーティション	40
金物		アルミ笠木、SUS製巾木、付随金物一式	
仕上		高圧メラミン樹脂化粧板	
ガラス		—	
備考		※新設	

符号	数量	6 TB 9 TB 2階：男性トイレ	各1

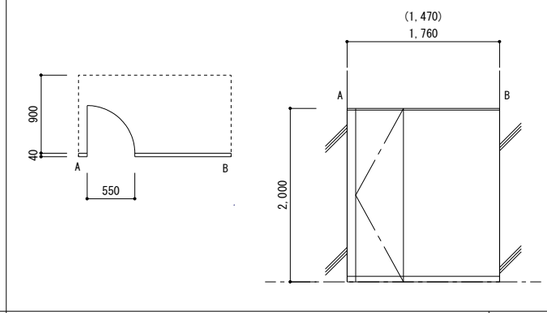
姿図



型式	見込	トイレブース	40
金物		アルミ笠木、SUS製巾木、SUS製グレビティヒンジ、スライドラッチ、帽子掛け戸当り、付随金物一式	
仕上		高圧メラミン樹脂化粧板	
ガラス		—	
備考		※新設	

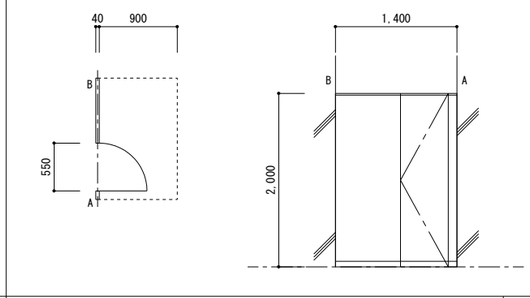
符号	数量	7a TB 7b TB 3階：女性トイレ、男性トイレ	1

※()内はTB-7bを示す



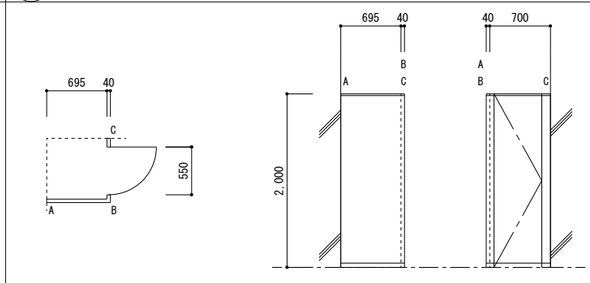
型式	見込	トイレブース	40
金物		アルミ笠木、SUS製巾木、SUS製グレビティヒンジ、スライドラッチ、帽子掛け戸当り、付随金物一式	
仕上		高圧メラミン樹脂化粧板	
ガラス		—	
備考		※新設	

符号	数量	8 TB 3階：女性トイレ	1



型式	見込	トイレブース	40
金物		アルミ笠木、SUS製巾木、SUS製グレビティヒンジ、スライドラッチ、帽子掛け戸当り、付随金物一式	
仕上		高圧メラミン樹脂化粧板	
ガラス		—	
備考		※新設	

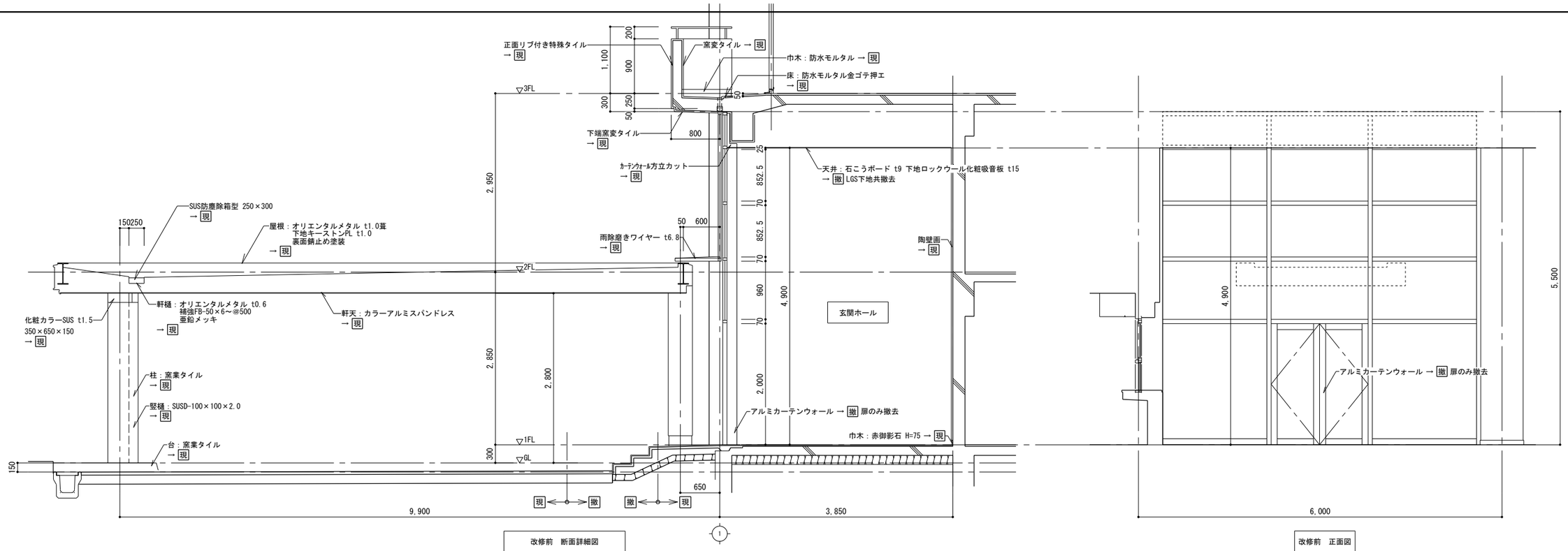
符号	数量	10 TB 3階：男性トイレ	1

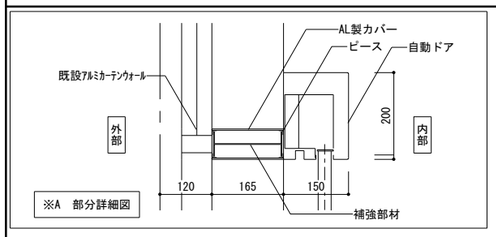


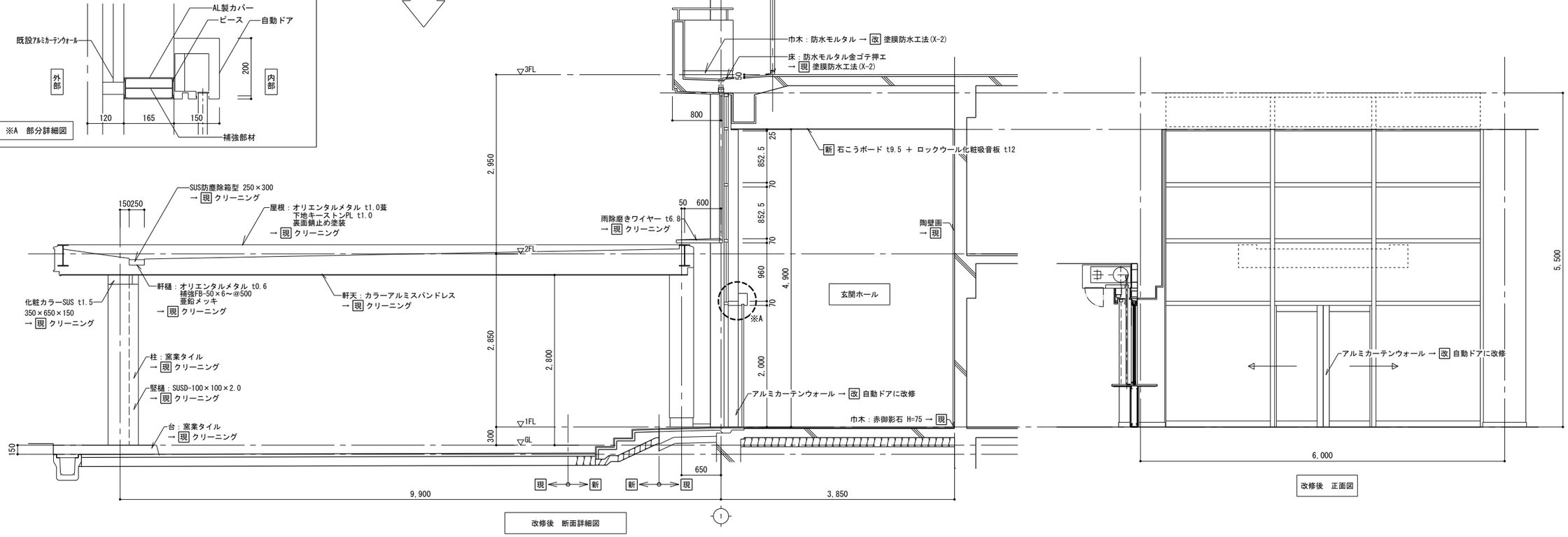
型式	見込	トイレブース	仕上	高圧メラミン樹脂化粧板
金物		アルミ笠木、SUS製巾木 SUS製ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、ｽﾗｲﾄﾞﾗｯﾁ 帽子掛け戸当り、付随金物一式	ガラス	—
			改修	※新設

株式会社	松浦建築事務所
TEL	(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	(改修後) 各階 トイレブース表	縮尺 A2 1：50 A3 1：71
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. A-133







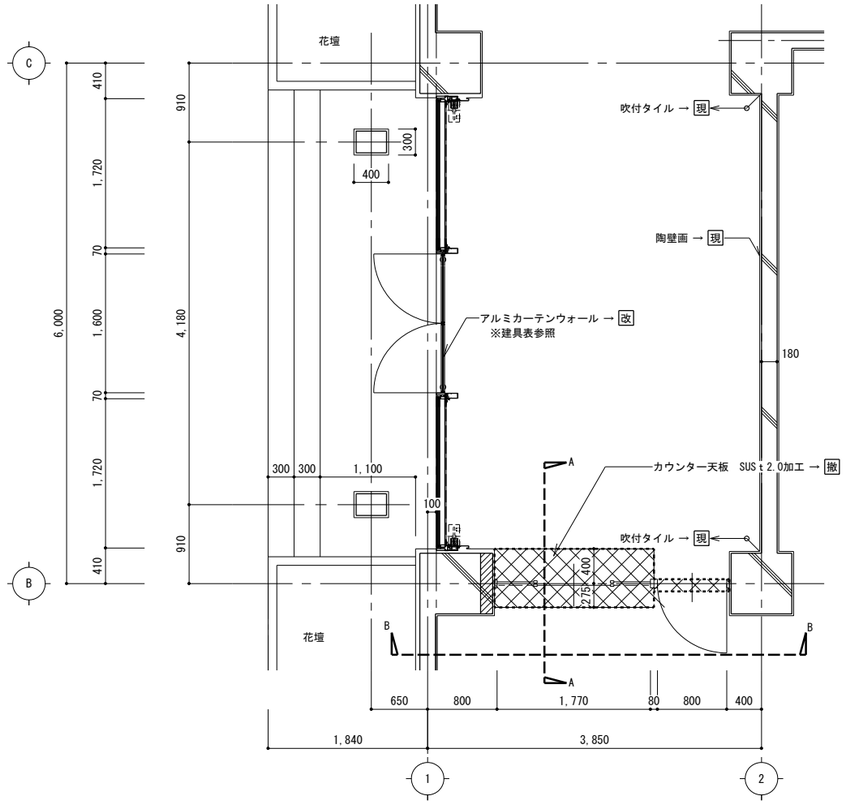
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
→ 新 …今回工事(新規)を示す
※特記なき限り現況のままとする

改修範囲外

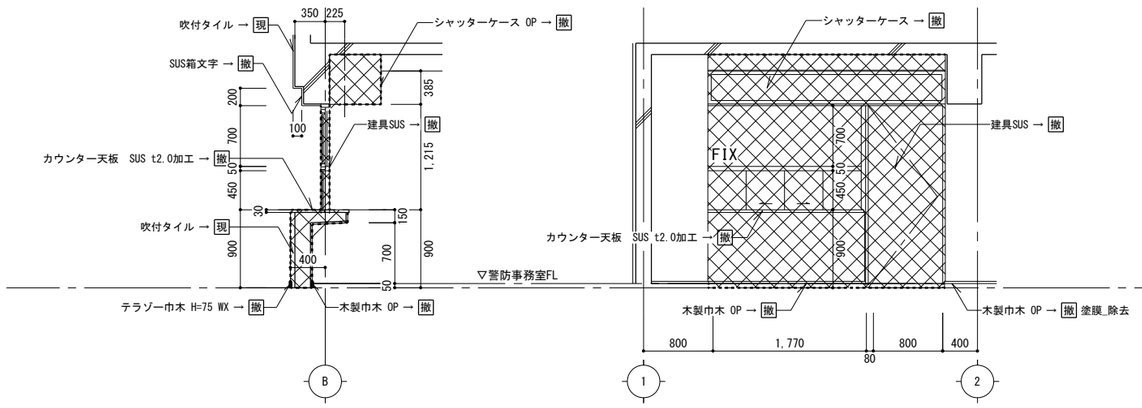
株式会社　松浦建築事務所
TEL　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前後）　1階 玄関ホール　部分詳細図
縮尺	A2　1：50 A3　1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-134

（改修前） １階　カウンター詳細図

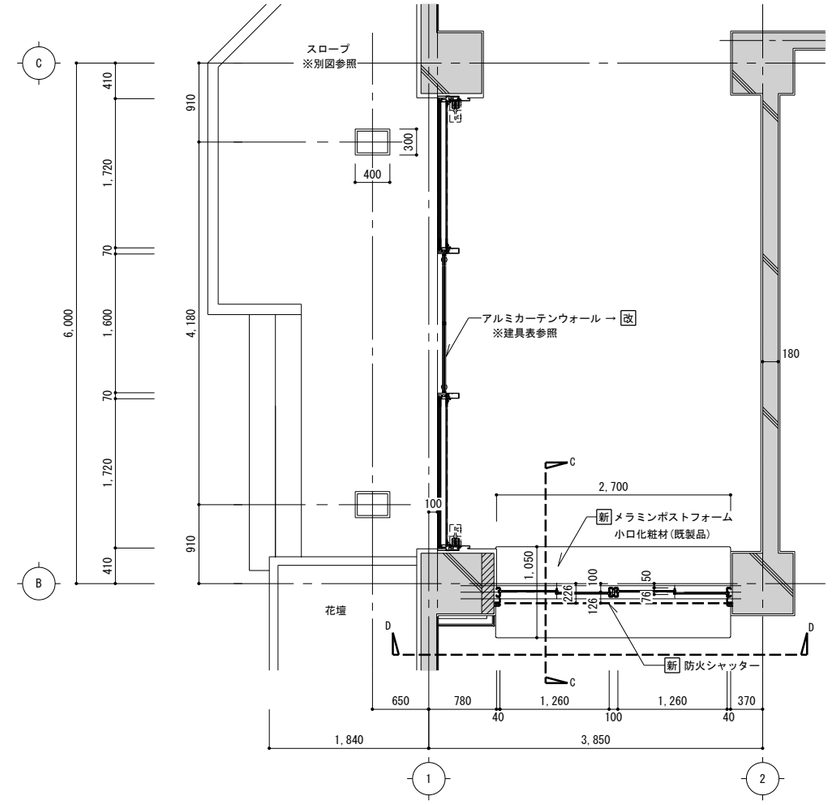


改修前　1階　玄関ホール　平面詳細図

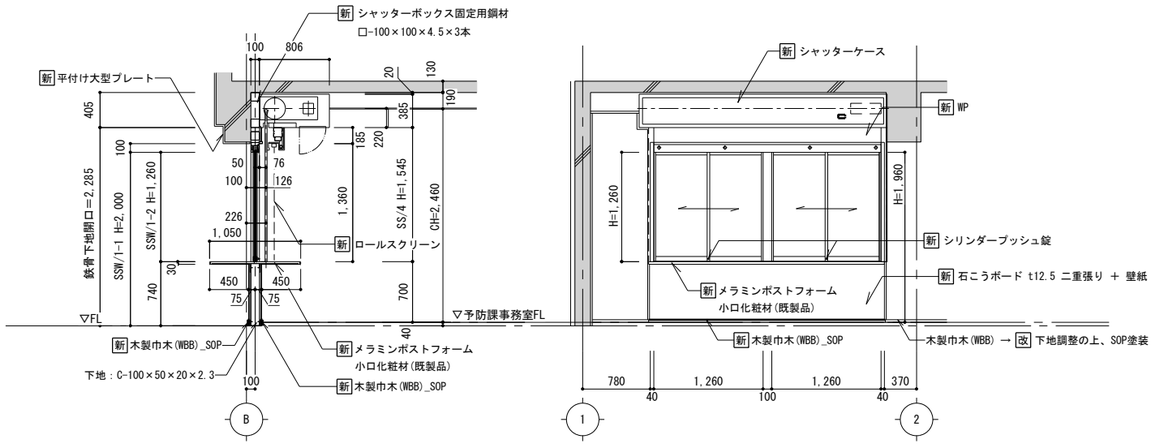


A-A　断面詳細図　　B-B　正面図

（改修後） １階　カウンター詳細図



改修後　1階　玄関ホール　平面詳細図



C-C　断面詳細図　　D-D　正面図

→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
新 …今回工事(新規)を示す

改修範囲外
：撤去範囲

※建具寸法、形状が変化する可能性有り

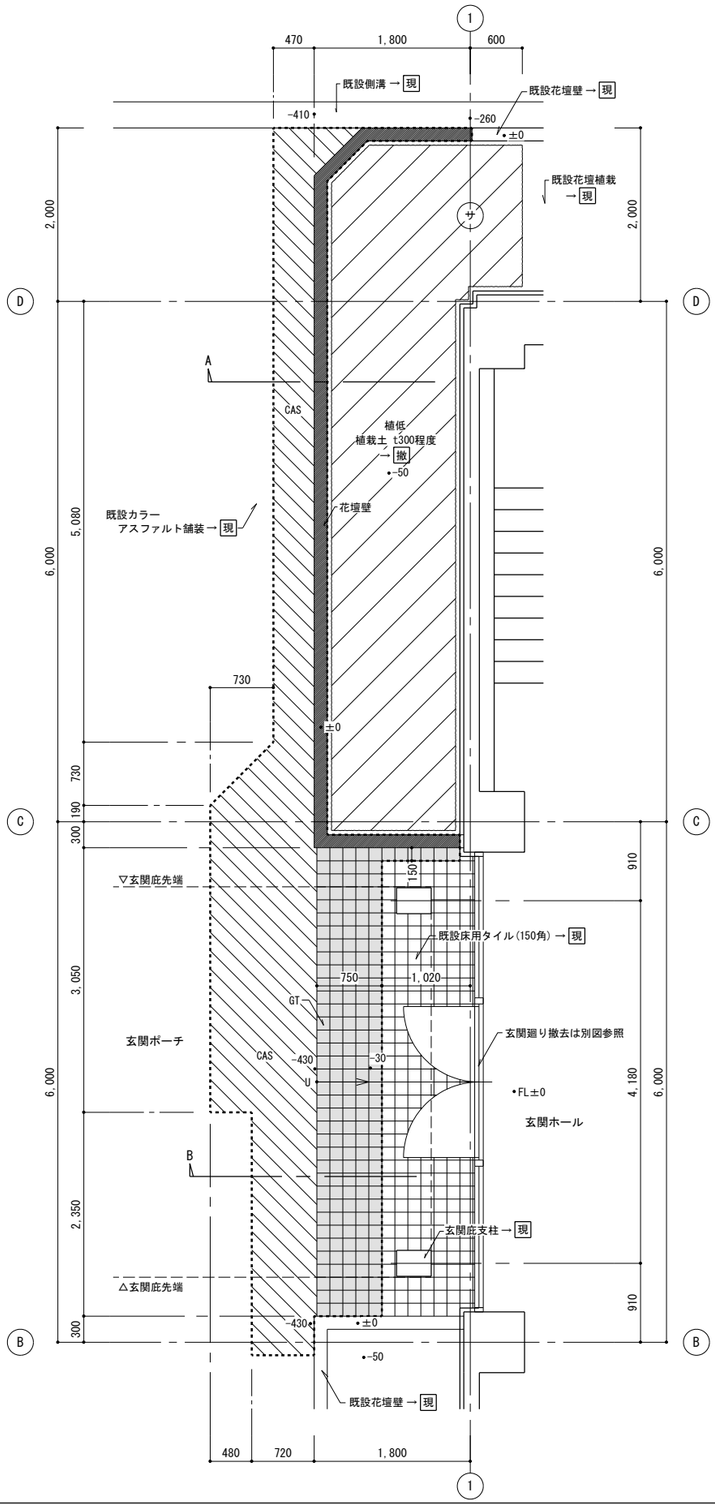
株式会社　松浦建築事務所

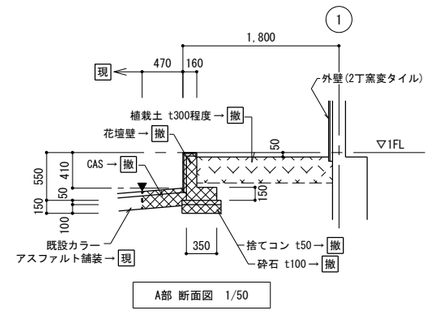
ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前後） １階 カウンター 断面詳細図
縮尺	A2　1：50　A3　1：71
製図	令和08年03月
１級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-135

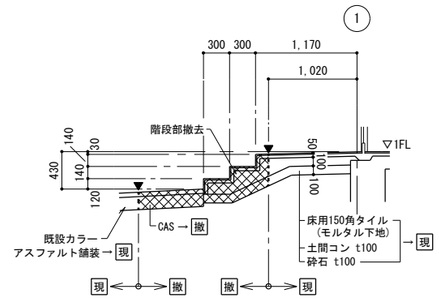
屋外スロープ（玄関スロープ）

改修前　平面詳細図　1/50





A部 断面図　1/50

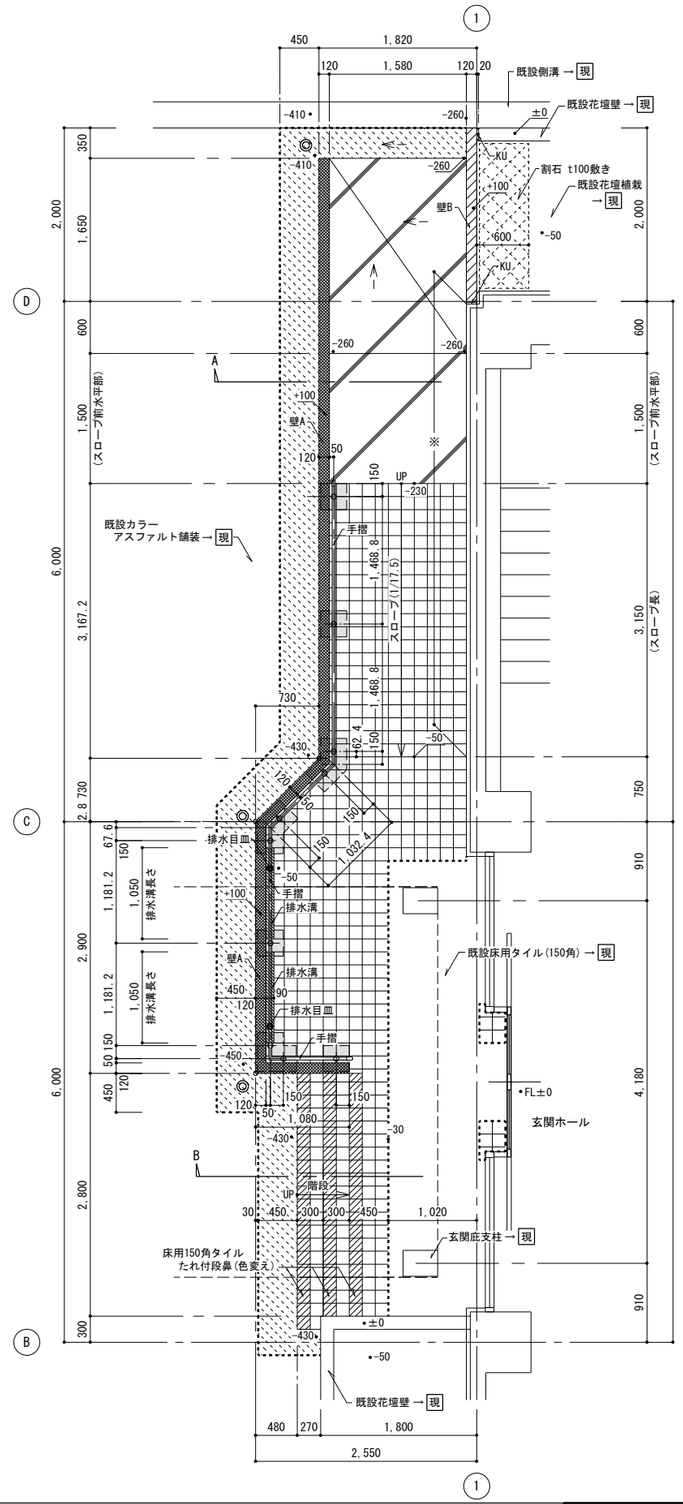


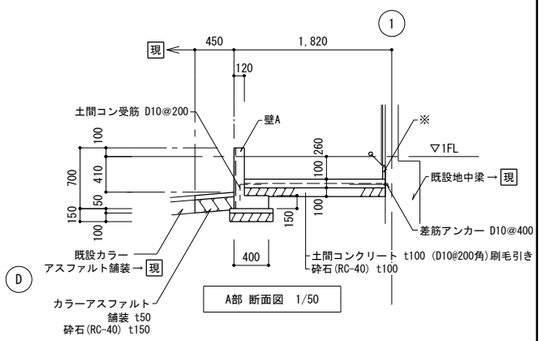
B部 断面図　1/50

▼・・・カッター施工
階段部撤去：床用150角タイル(モルタル下地)
土間コンクリート t100 + 砕石 t100

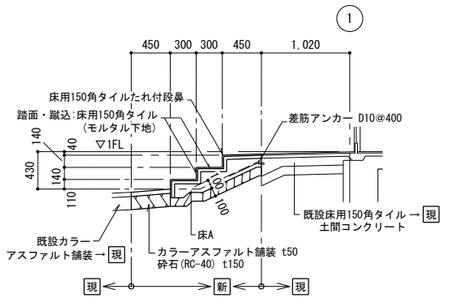
CAS		カラーアスファルト舗装 t50、砕石 t150 → 撤 残し舗装面取合い：カッター施工
花壇壁		現場打ちコンクリート造　タイル張り H550 → 撤 残し花壇壁面取合い：カッター施工
GT		土間コンクリート+150角床タイル張り → 撤 階段部共 残しタイル面取合い：カッター施工
植低		植栽(サツキ H=800) 13㎡ → 撤
サ		植栽(サザンカ H=2.5m　W=1.2m　C=0.25) 1本 → 撤 (伐採・伐根)
		構造物撤去範囲を示す（特記なき限り現況のままとする）

改修後　平面詳細図　1/50





A部 断面図　1/50



B部 断面図　1/50

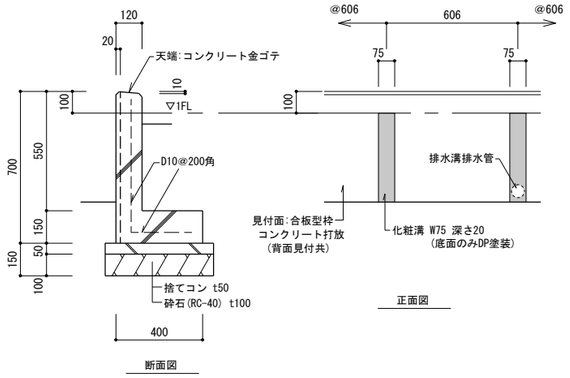
壁A	段差止め壁　H=700
壁B	花壇壁　H=500
手摺	アルミ製34φ　1段　H800　　手摺基礎 コンクリート 300×300×300
排水溝	モルタル金ゴテ(勾配付)　溝巾90　L=1050　排水目皿50φ
◎	ラバーコーン　80φ　H=825
	土間コンクリート t100 + 床用150角タイル(モルタル下地) (床用150角タイルは既設合わせ　階段先端：たれ付段鼻　色変え) 既設土間コン・既設地中梁取合いは差筋アンカー(D10@400)
	土間コンクリート t100(刷毛引き)　D10@200角シングル 砕石(RC-40) t100
	カラーアスファルト舗装 t50　砕石(RC-40) t150
	割石敷き t100　割石(50-150)のみ敷き並べ(目つぶし砂利不要)

＜― 水勾配
※(改修前の花壇内で改修後に露出した部分)：水洗いの上モルタル金ゴテ補修
KU：既設構造物取合い　クッション材 t20

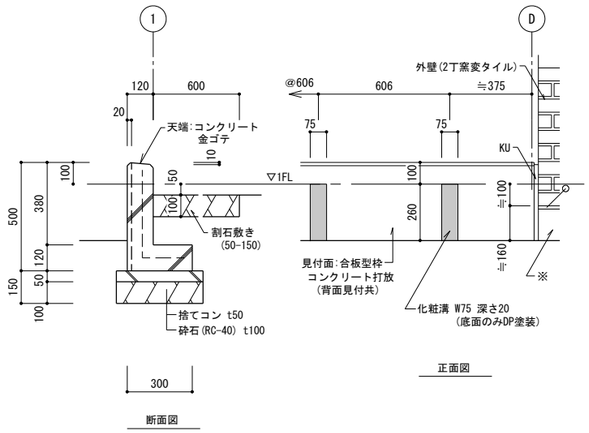
株式会社　松浦建築事務所
TEL　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	(改修前後) 屋外スロープ　部分詳細図
縮尺	A2　1：50 A3　1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-136

壁A　段差止め壁　H=700　1/20

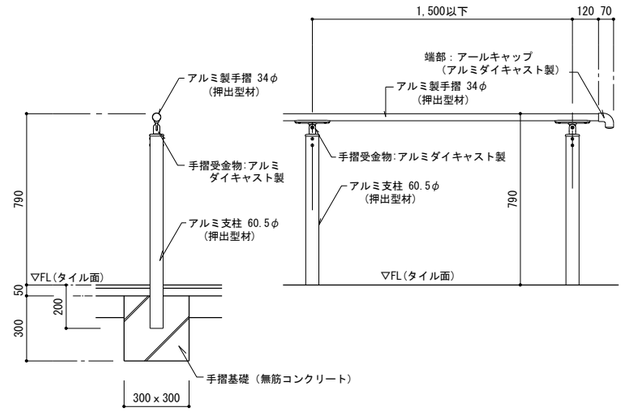


壁B　花壇壁　H=500　1/20

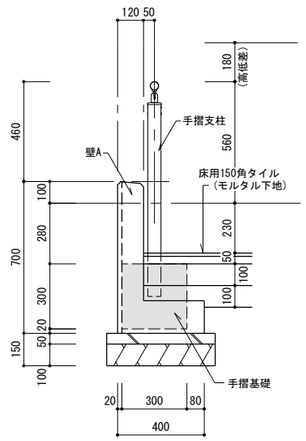


※(改修前の花壇内で改修後に露出した部分):水洗いの上モルタル金ゴテ補修
KU:既設構造物取合い クッション材 t 20
⊖—— 外壁タイル取合い:シーリング MS-2 15×10程度

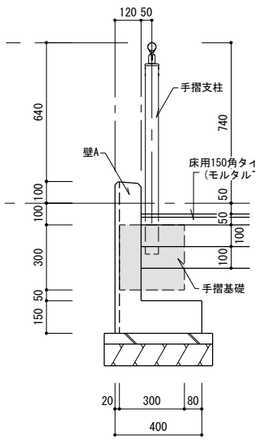
手摺　アルミ手摺34φ　1/20



・スロープ勾配=180/3150
　=1/17.5(角度=3.270488°)
・製品は四国化成 セイフティビーム アルミタイプ SB34 同等品

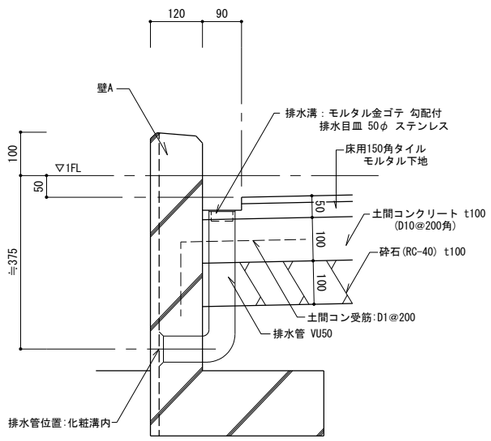


スロープ最下部

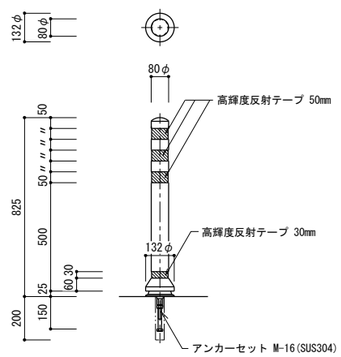


スロープ最上部

排水溝　1/10

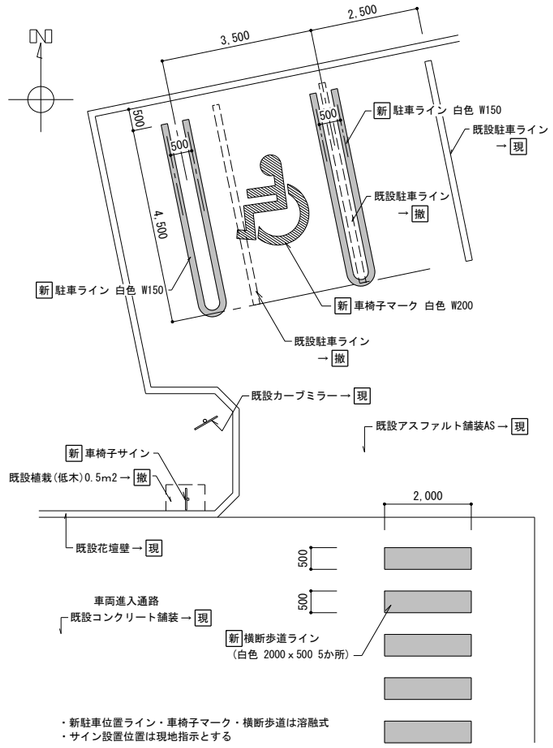


ラバーコーン　1/10



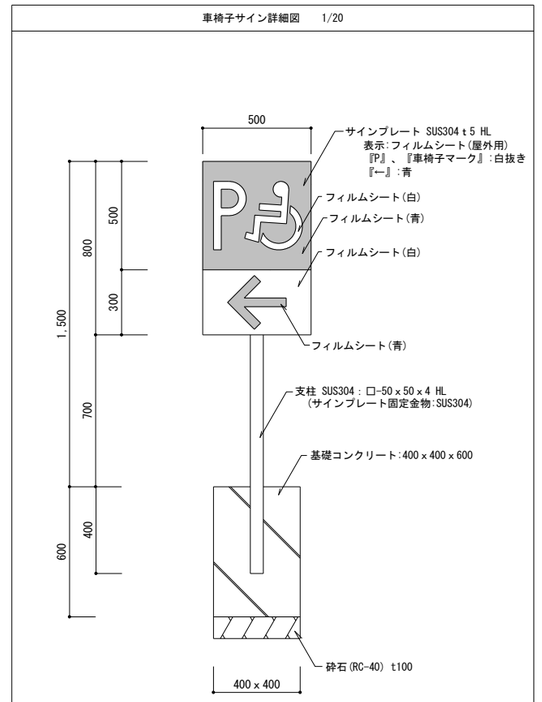
本体材質:リサイクルゴム
　再帰反射塗装(ウレタン塗装+ガラスビーズ)
製品は(株)サンポール　リサイクルラバーコーン　RC-80　同等品

車椅子用P回り　1/100



・新駐車位置ライン・車椅子マーク・横断歩道は溶融式
・サイン設置位置は現地指示とする

車椅子サイン詳細図　1/20

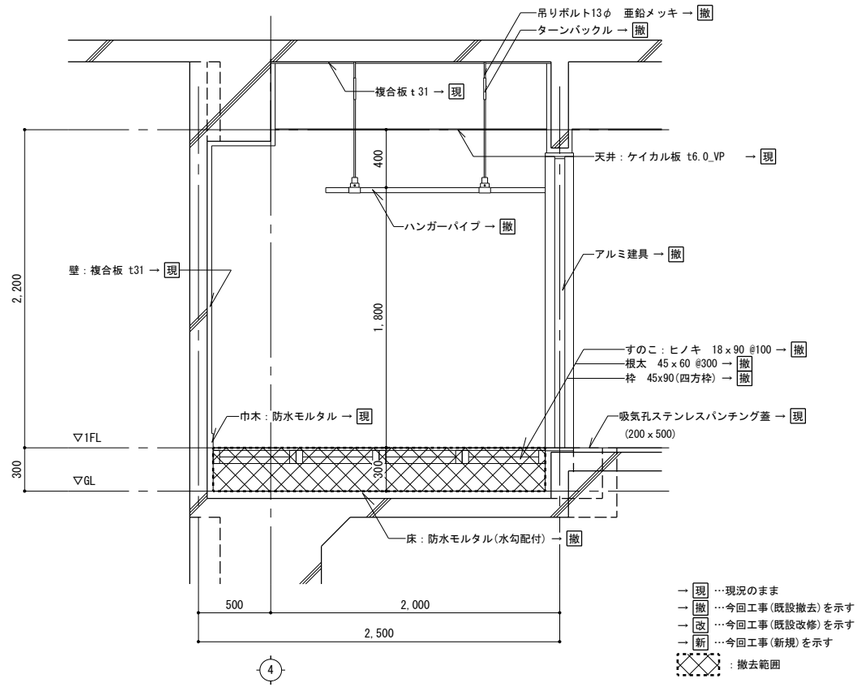


外構回りに用いるコンクリート強度
　特記なき限りFC=18N(温度補正必要)
　捨てコンクリート:FC=18(温度補正不要)

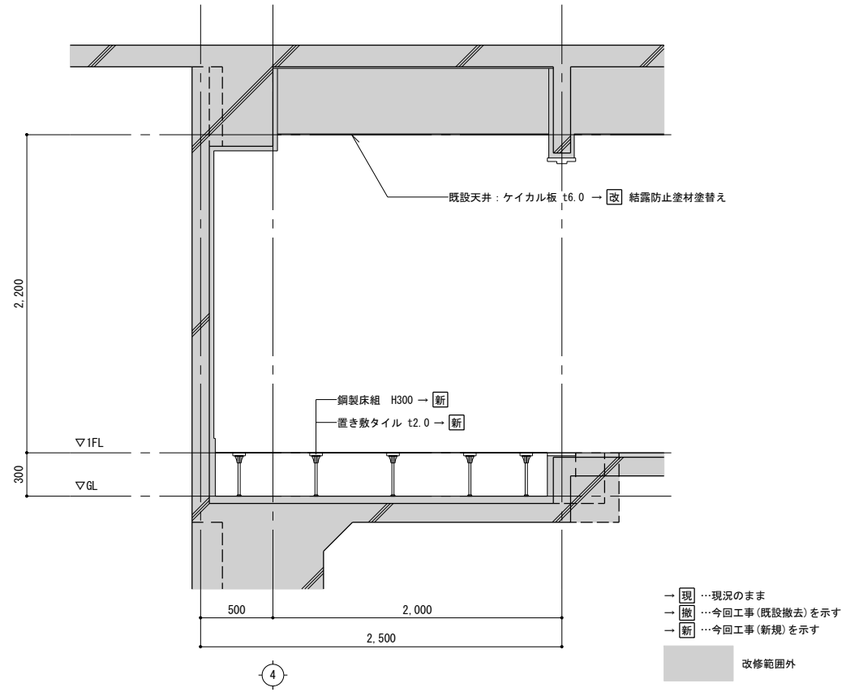
株式会社　松浦建築事務所
TEL　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	(改修前後) 屋外スロープ　部分詳細図
縮尺	A2　1:50 A3　1:71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-137

乾燥室詳細図　1：30

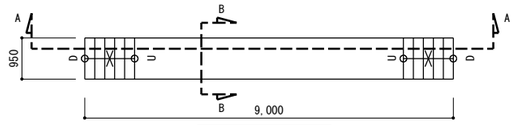


改修前　1階　乾燥室　断面詳細図　1：30

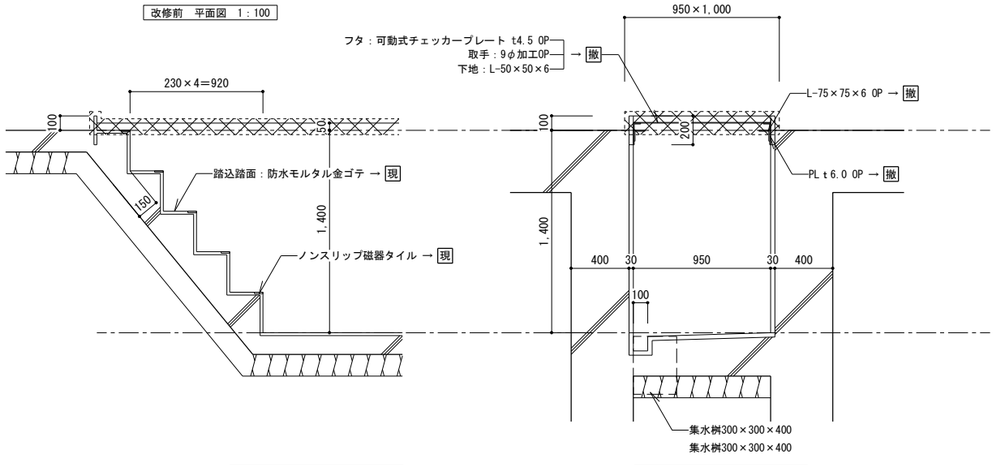


改修後　1階　乾燥室　断面詳細図　1：30

検車ピット詳細図　1：30



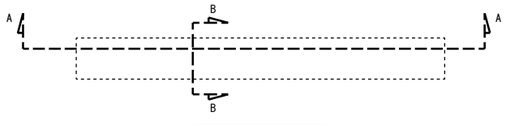
改修前　平面図　1：100



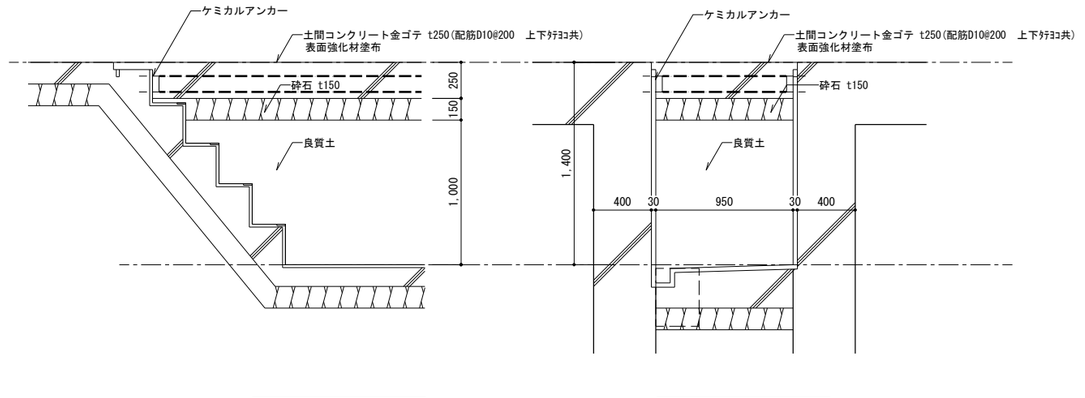
改修前　A-A断面図　1：30

：撤去範囲

改修前　B-B断面図　1：30



改修後　平面図　1：100

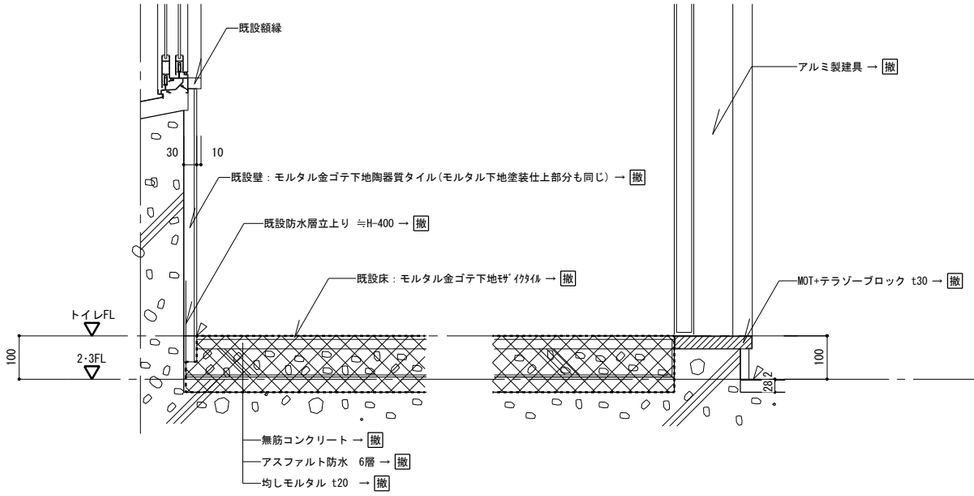


改修後　A-A断面図　1：30

改修後　B-B断面図　1：30

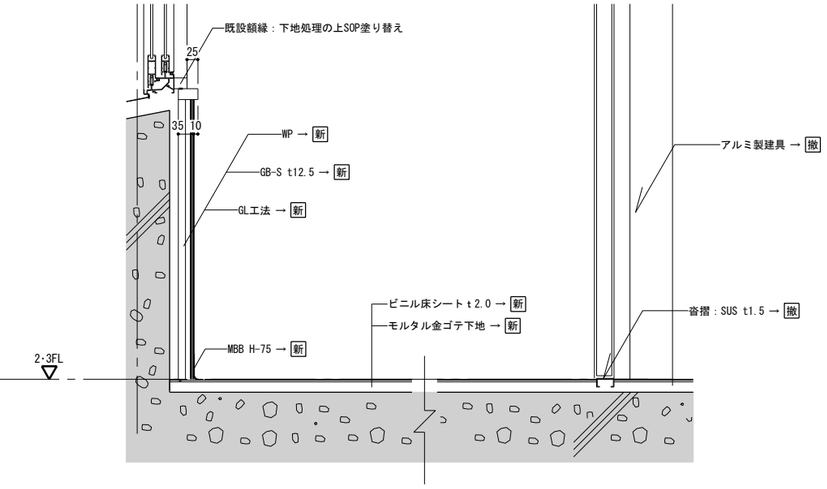
株式会社　松浦建築事務所 TEL　(0561)　32-0318	工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称　(改修前後)　1階 乾燥室、車庫検車ピット 断面詳細図	縮尺　A2　1：30 A3　1：42
		製図　令和08年03月
1級建築士 登録第92794号　松浦孔明		No. A-138

床・壁改修後取合参考図　1：10



※既設防水層は改修工事に支障のある部分のみ撤去とする。

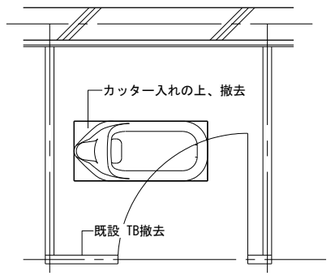
改修前　断面図　1：10



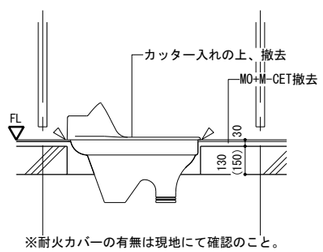
※長尺塩ビ床シート(VS(NC))：タジマ パーマリューム マーブルEM

改修後　断面図　1：10

既設和風便器　撤去改修参考図　1：20

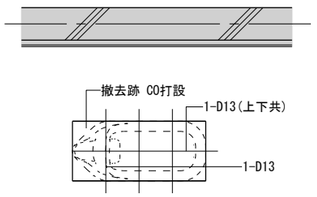


改修前　平面詳細図　1：20



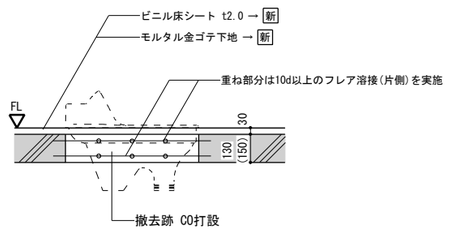
※耐火カバーの有無は現地にて確認のこと。

改修前　断面詳細図　1：20



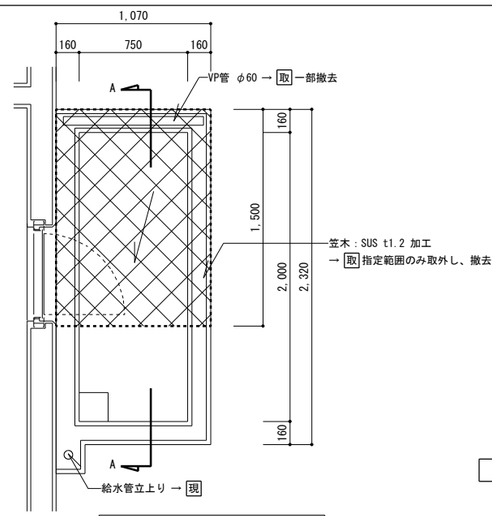
撤去跡CO打設要領
Fc=21N/mm2(+3)
ケミカルアンカーを用いD13にて補強

改修後　平面詳細図　1：20

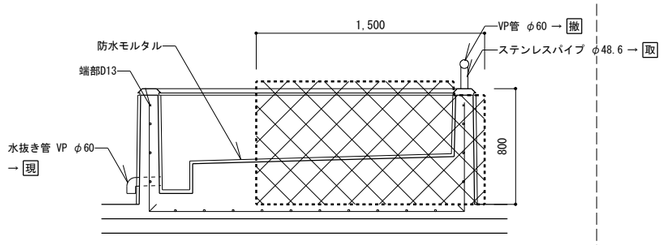


改修後　断面詳細図　1：20

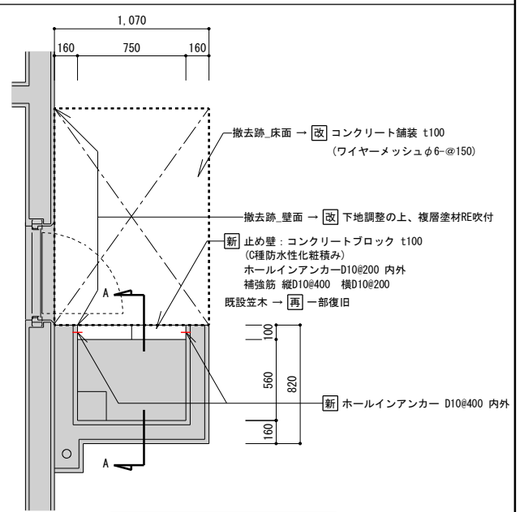
ホース洗い場詳細図　1：30



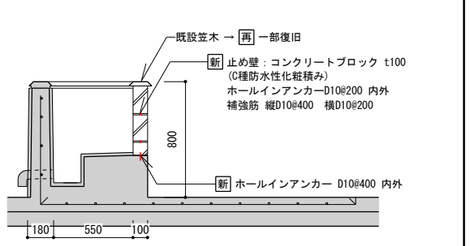
改修前　平面詳細図　1：30



改修前　A-A断面詳細図　1：30



改修後　平面詳細図　1：30



改修後　A-A断面詳細図　1：30

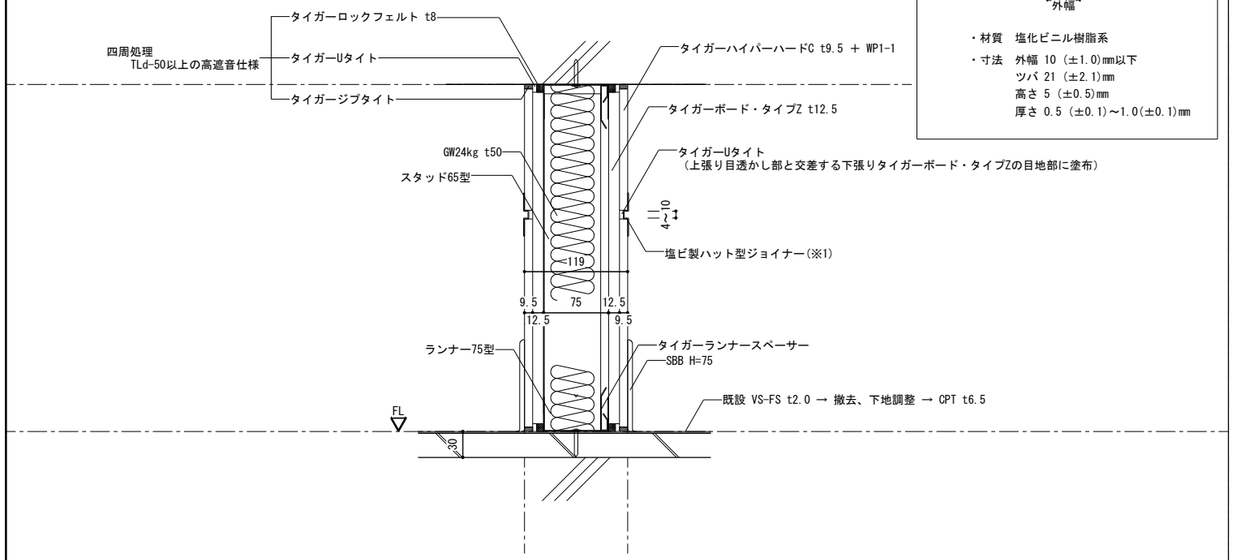
→ 現 …現況のまま
→ 撤 …今回工事(既設撤去)を示す
→ 改 …今回工事(既設改修)を示す
→ 新 …今回工事(新設)を示す
→ 取 …今回工事(一時取外し)を示す
→ 再 …今回工事(再取付)を示す
※特記なき限り現況のままとする

：改修範囲外を示す
：撤去範囲
：カッター入れ

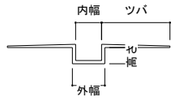
株式会社　松浦建築事務所
TEL　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	共通部分詳細図（1）
縮尺	A2　1：10 A3　1：14
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-139

仮眠室_遮音構造壁（吉野耐火遮音 ハイパーウォールZ・WI 目透かし仕様）　1/5

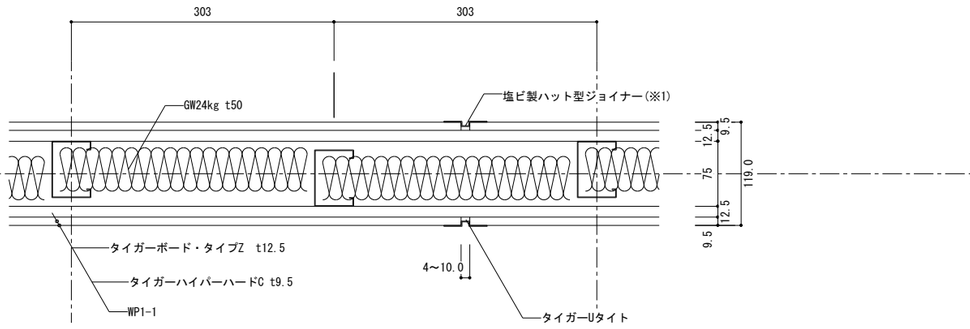


※1：使用可能な塩ビ製ハット型ジョイナー



・材質　塩化ビニル樹脂系

・寸法　外幅 10（±1.0）mm以下
ツバ 21（±2.1）mm
高さ 5（±0.5）mm
厚さ 0.5（±0.1）～1.0（±0.1）mm

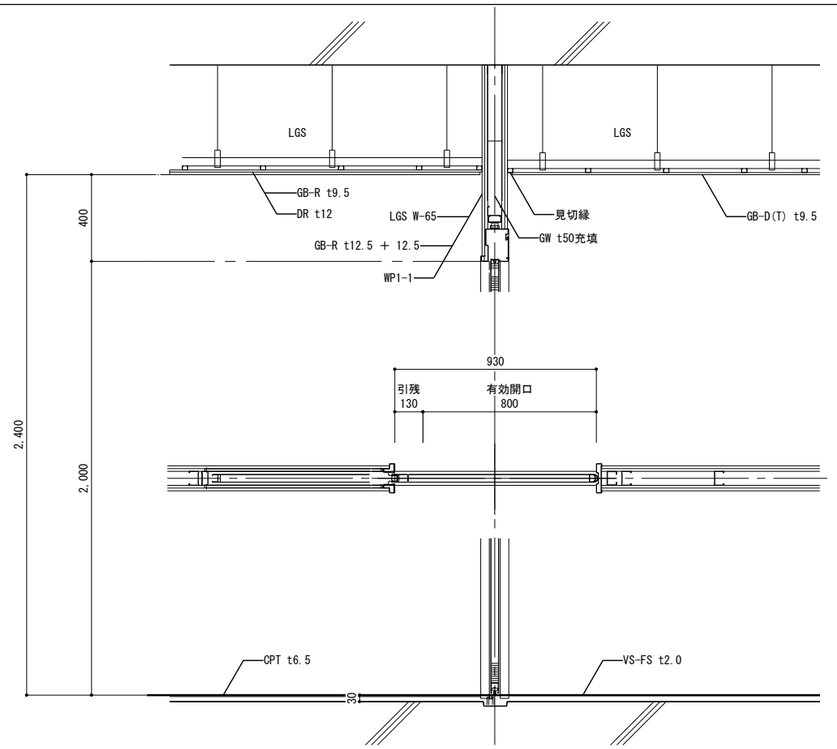


構成防火材料認定番号		壁高さ対応表					
壁厚	耐火構造認定：FP060NP-0448（2）	採用	壁高さ	スタッド	ランナー	壁厚	
200	遮音構造認定：SOI-0187（TLD-52）	○	3300迄	65型JIS	75型JIS	119	
220	タイガーハイパーハードC t9.5：NM-1908		3700迄	75型JIS	90型JIS	134	
250	タイガーボード・タイプZ t21：NM-8615		4200迄	90型JIS	100型JIS	144	
270							

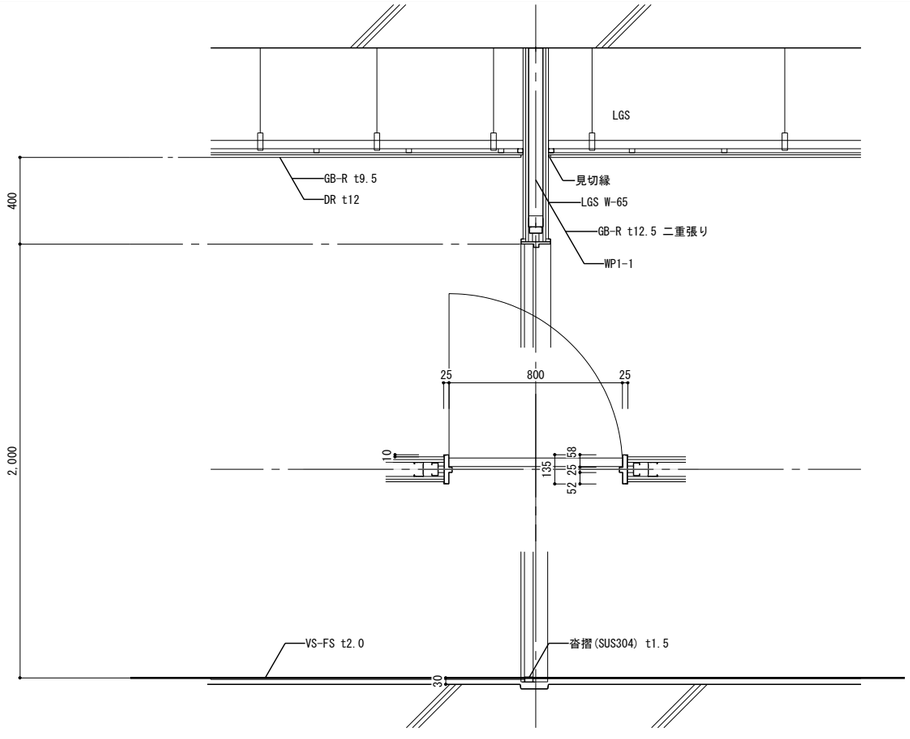
備考

きしみ音対策
専用のランナースペーサーを用い、せっこうボードはテーパーエッジを採用する。

鋼製ハンガー引き戸納まり標準図 1/20



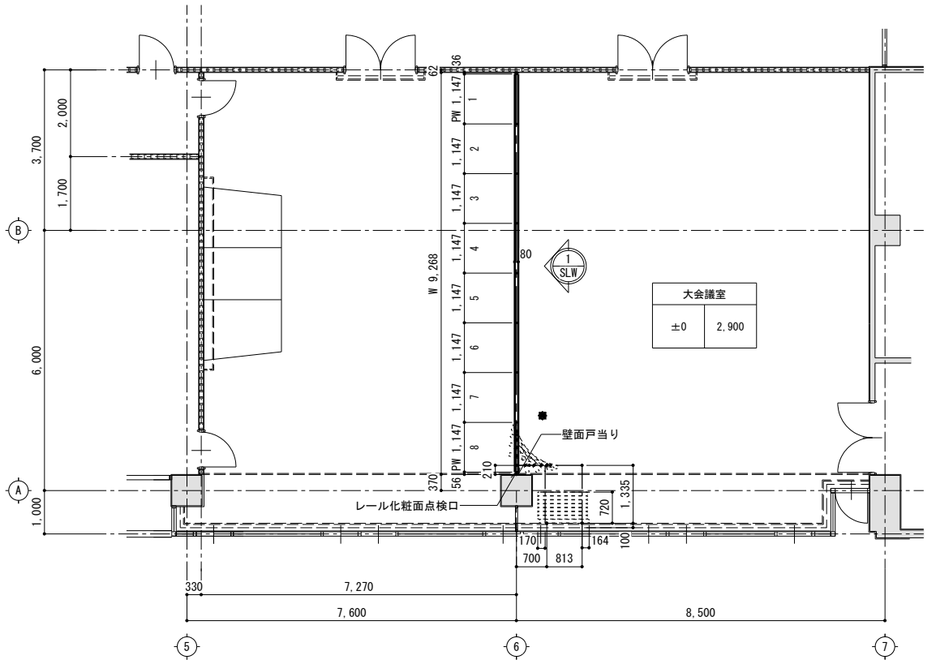
鋼製建具枠納まり標準図 1/20



株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
TEL　(0561) 32-0318	図面名称	共通部分詳細図（２）	縮尺 A2 1：50 A3 1：71
			製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明			No. A-140

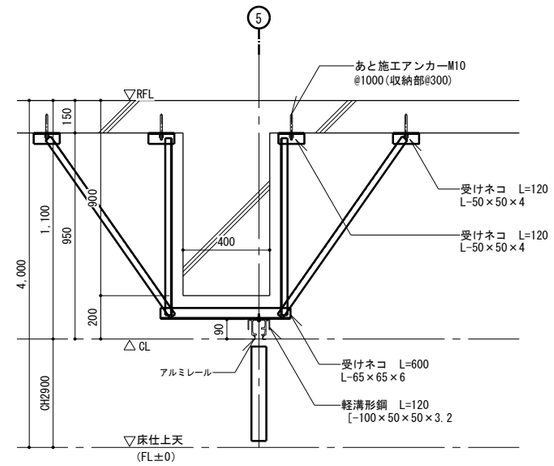
スライディングウオール 厚み80mm(LW-80GF) (1 SLW)

レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
		コーナー部 直角レール
ランナー仕様	走行輪	消音型水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
	吊ボルト	M 14
パネル仕様	表面仕上	クロス貼り(内装工事)
	表面材	せっこうボード12.5mm
	充填材	グラスウール
	骨組	木枠(LVL)
	フレーム	アルミ押出形材 (アルマイト処理)
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式

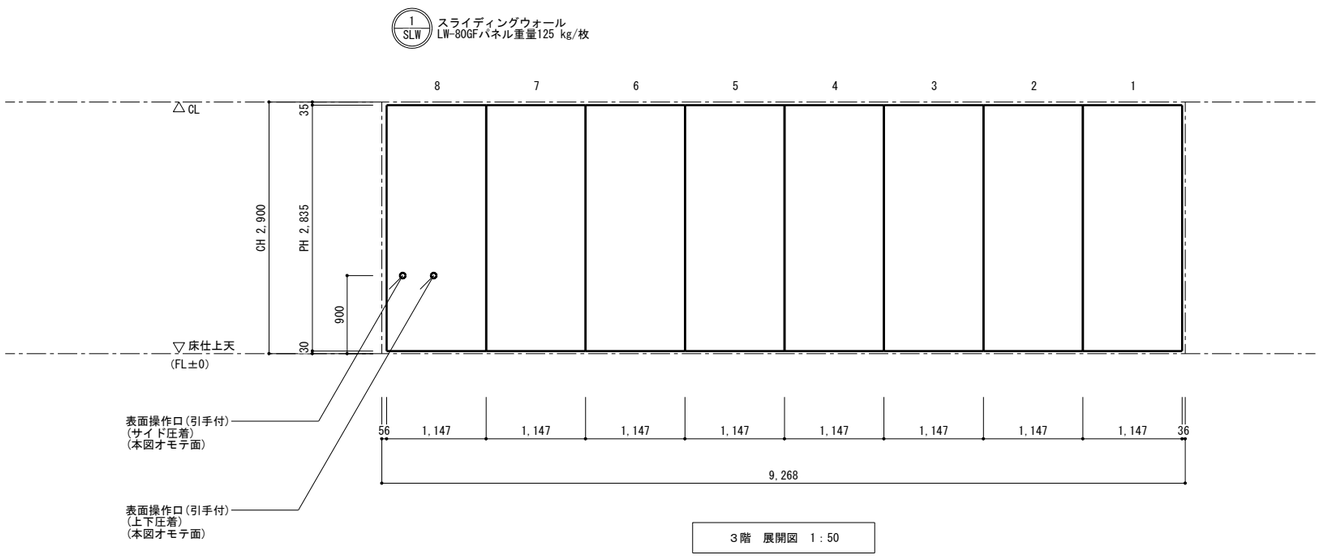


3階 平面図 1:100

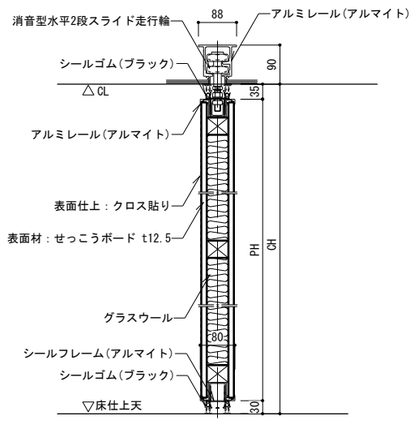
●操作口取付側



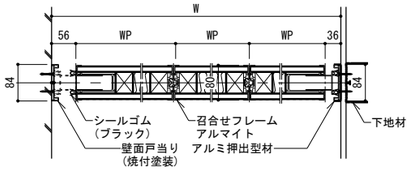
レール取付断面図 S=1:20



3階 展開図 1:50



縦断面詳細図 1:10

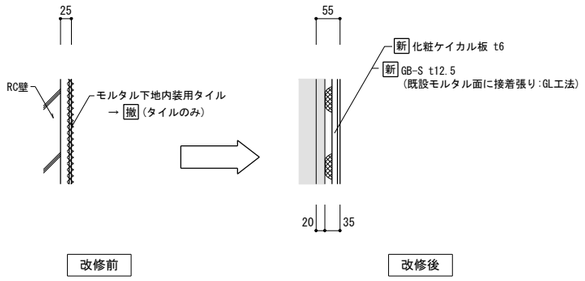


横断面詳細図 1:10

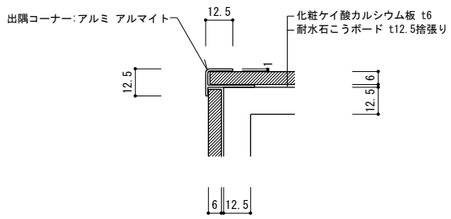
<スライディングウォール 厚み80mm> (LW-80GF)

株式会社	松浦建築事務所	工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事
TEL (0561) 32-0318		図面名称 共通部分詳細図(3)
		縮尺 A2 1:100 A3 1:141
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. A-141

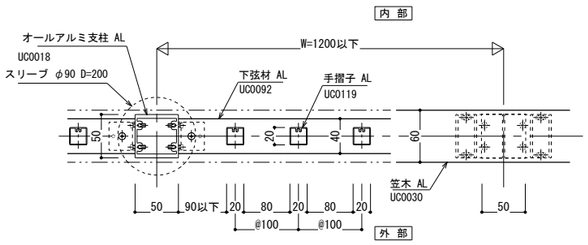
GL工法参考図　1/10



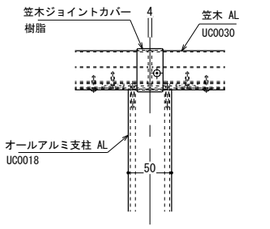
化粧ケイカル板　出隅コーナー詳細図　1/2



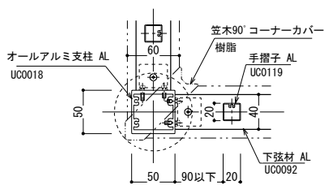
屋上手すり　参考図　1/5



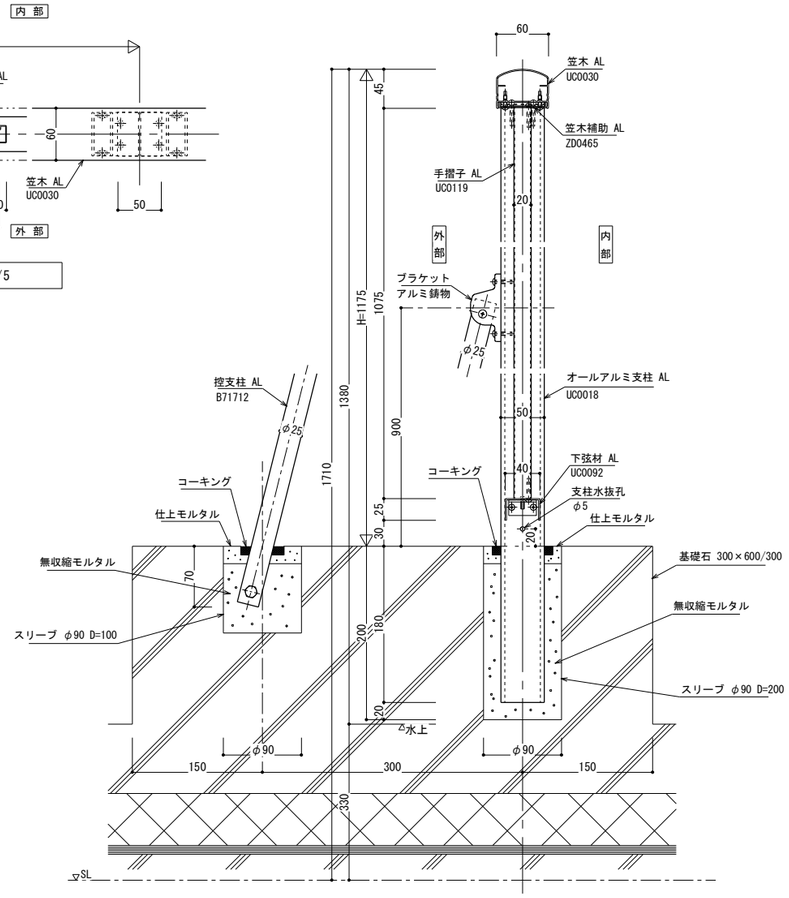
横断面詳細図　1/5



ジョイント外観図　1/5

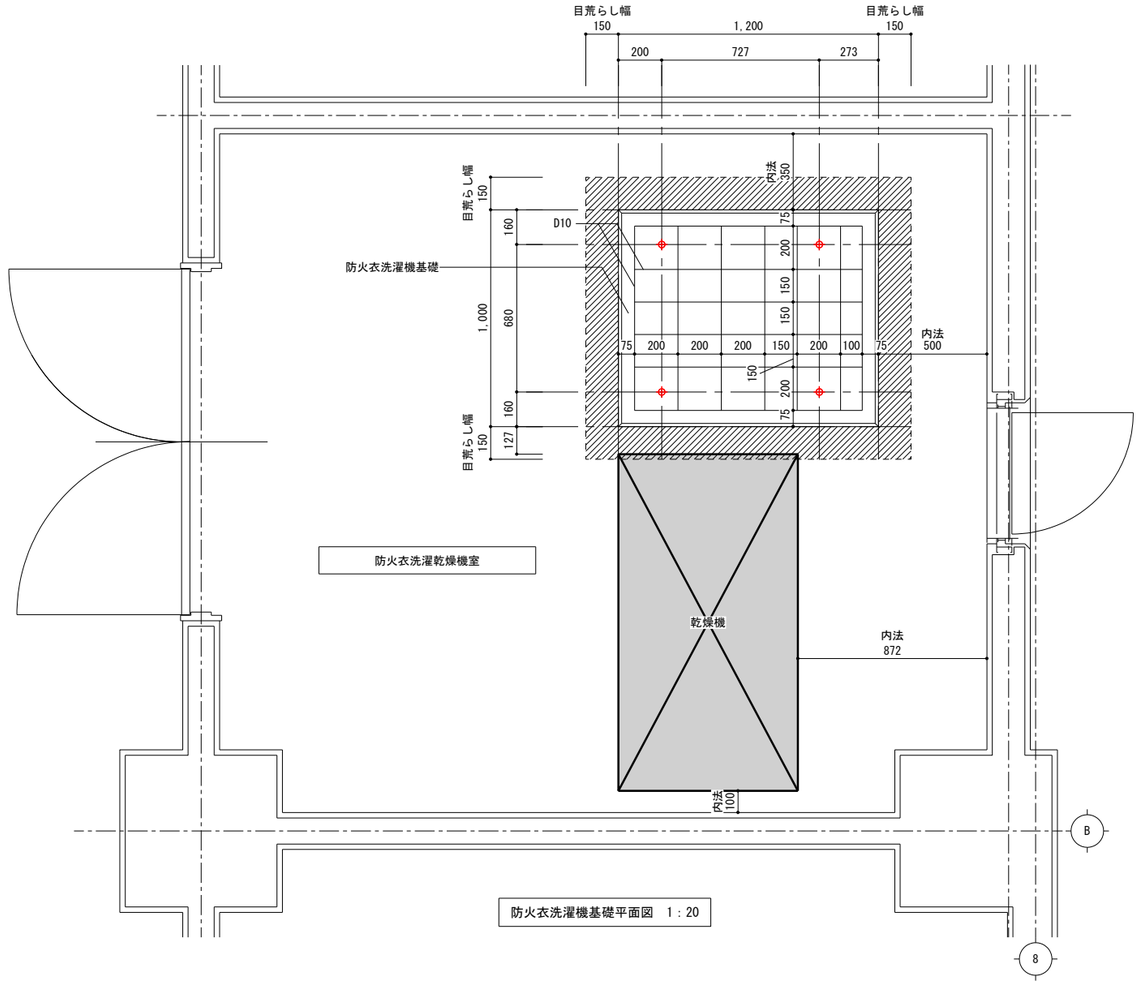


90°コーナー横断面詳細図　1/5

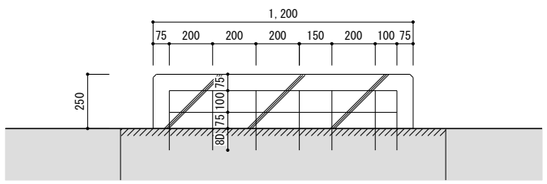


縦断面詳細図　1/5

新設　防火衣洗濯機基礎詳細図　1：20



防火衣洗濯機基礎平面図　1：20



防火衣洗濯機基礎断面図　1：20

■凡例

：設置範囲高圧水洗浄の上、目荒し等剥離防止処置を行う範囲を示す

：アンカー位置（ケミカルアンカーD10）

：鉄筋_SD295A D10

ｺﾝｸﾘｰﾄ　：Fc-21N/mm²

■防火衣洗濯機・乾燥機について

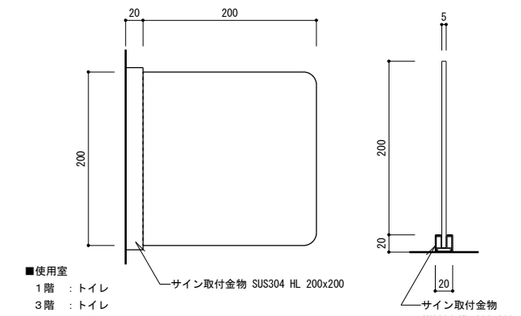
- 洗濯機：Gear Washer 6着仕様
- 乾燥機：Gear Cabinet 6着仕様
- 洗剤・撥水剤 自動投入器(2連式)
- 専用洗剤(20Kg)
- 撥水剤(18Kg)
- 特殊備品洗濯用キット
- 特殊備品洗濯用洗剤
- Gear Cabinetシュルフ(ラック)
- Gear Cabinet運転終了ブザー

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	共通部分詳細図（４）
縮尺	A2　1：20　A3　1：28
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-142

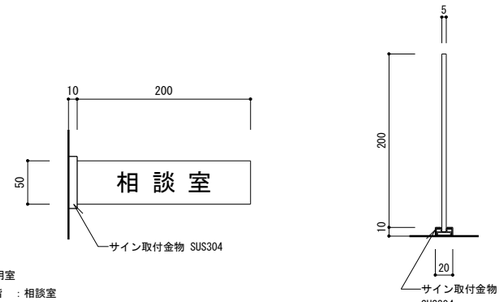
ピクトサイン（突付け） 1/5　数量 9



■使用室
1階 ：トイレ
3階 ：トイレ
：給湯
：倉庫A
：通信機械室
：会議室
：書庫
：ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ
：食堂

基材:アクリル 200×200 t5
表示:フィルムシート
デザイン、色は監督員と協議すること

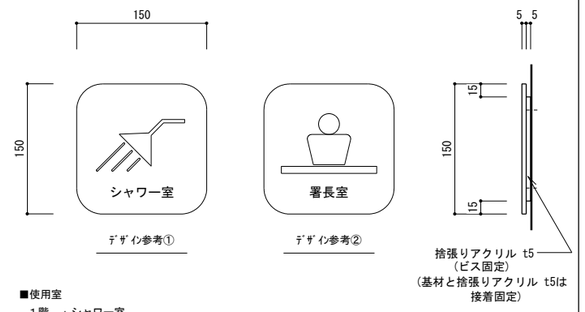
室名札（突き付け） 1/5　数量 4



■使用室
1階 ：相談室
：更衣室
：洗面・ロッカー室
2階 ：洗面

基材:アクリル 200×50 t5
表示:フィルムシート

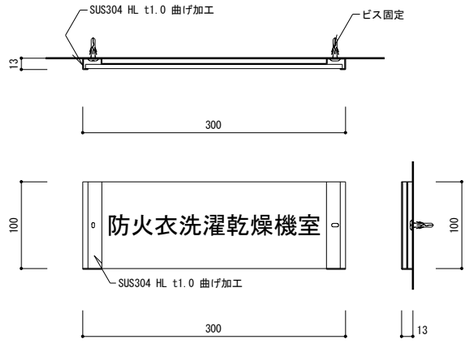
ピクトサイン（平付け） 1/5　数量 3



■使用室
1階 ：シャワー室
：洗濯・乾燥機室
3階 ：署長室

基材:カラーアクリル 150×150 t5
表示:フィルムシート
デザイン、色は監督員と協議すること

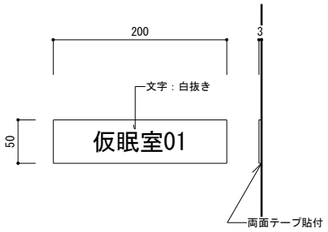
室名札（平付け） 1/5　数量 1



■使用室
車庫 ：防火衣洗濯乾燥機室

基材:アクリル 300×100 t5
表示:フィルムシート

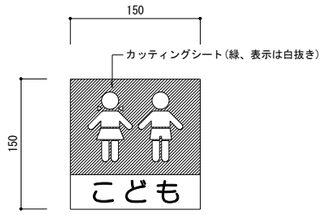
平付けプレート 1/5　数量 20



■使用室
1階 ：相談室
：更衣室
2階 ：仮眠室(1～18)

基材:カラーアクリル 200×50 t3
表示:フィルムシート

フィルムシートサイン 1/5　数量 8



■使用室
1階 ：各トイレ
2階 ：男性トイレ
3階 ：各トイレ

デザイン、色は監督員と協議すること

平付け 大型プレート 1/5　数量 2



■使用室
1階 ：予防課
3階 ：警防課

基材:スチール t1.6 焼付塗装
表示:塩ビシート切文字貼(文字白抜き)
土台：スチール t1.6 折曲加工 焼付塗装

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称 共通部分詳細図（５）
縮尺 A2 1：50 A3 1：71
製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明
No. A-143

長久手消防署　外壁劣化数量総括表

劣化項目			単位	東立面	西立面	南立面	北立面	階段室	バルコニー	合計	調査数量合計	施工数量合計(枚)	施工面積(m2)	カッター施工(m)
浮き	一般部	タイル面	㎡	6.96	9.34	16.26	2.13	0.00	3.47	38.16				
			枚	557	747	1301	170	0	278	3053				
		モルタル・打放し面	㎡	0.00	0.90	0.00	0.00	7.99	0.00	8.89				
	狭幅部	タイル面	m	19.7	1.7	35.5	9.0	0.0	0.0	65.9				
			枚	281	24	507	129	0	0	941				
		モルタル・打放し面	m	0.00	0.0	0.0	0.0	36.9	1.3	38.2				
ひび割れ	二丁掛タイル	幅0.2㎜未満	枚	181	215	641	596	0	0	1633	2,002	2,750	63.3	1.210
		幅0.2㎜以上1.00㎜未満	枚	12	118	30	175	0	31	366				
		幅1.00㎜以上	枚	0	3	0	0	0	0	3				
	小口タイル	幅0.2㎜未満	枚	95	140	285	329	0	0	849	1,055	1,450		
		幅0.2㎜以上1.00㎜未満	枚	1	45	40	91	0	28	205				
		幅1.00㎜以上	枚	0	0	0	1	0	0	1				
	モルタル・打放し面	幅0.2㎜未満	m	11.5	0.6	0.0	0.0	10.8	1.6	24.5				
		幅0.2㎜以上1.00㎜未満	m	16.5	5.6	1.8	0.4	35.1	2.1	61.5				
		幅1.00㎜以上	m	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.6				
欠損・爆裂	タイル面	二丁掛タイル	枚	7	12	1	0	0	0		調査数量 20	施工数量合計(枚) 27	0.7	13.4
		小口タイル	枚	16	2	1	2	0	0		調査数量 21	施工数量合計(枚) 28		
	モルタル・打放し面	100×100	箇所	8	0	0	0	2	0	10				
		100×200	箇所	0	0	0	0	5	0	5				
		100×300	箇所	0	0	0	0	2	0	2				
		上記より大	箇所	0	0	0	3	5	0	8				

株式会社　松浦建築事務所
TEL　(0561)　32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

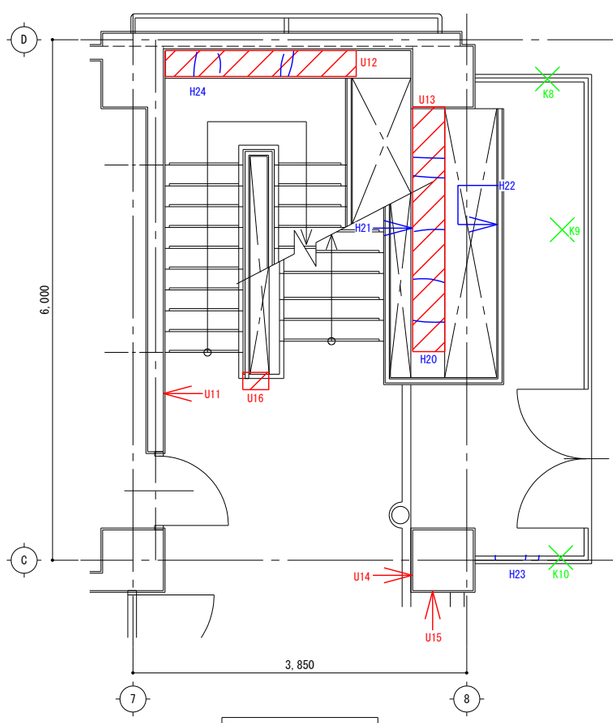
図面名称　外壁劣化数量総括表

縮尺　A2　1：50　A3　1：71

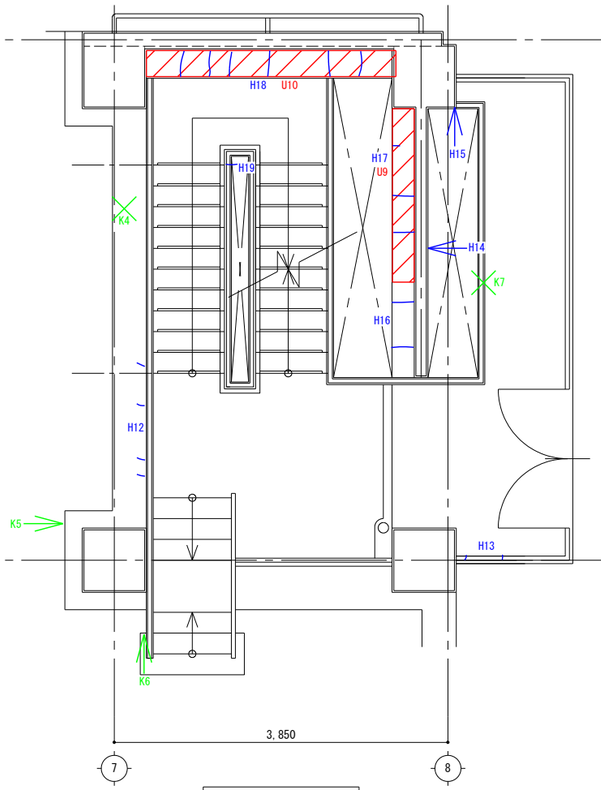
製図　令和08年03月

1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

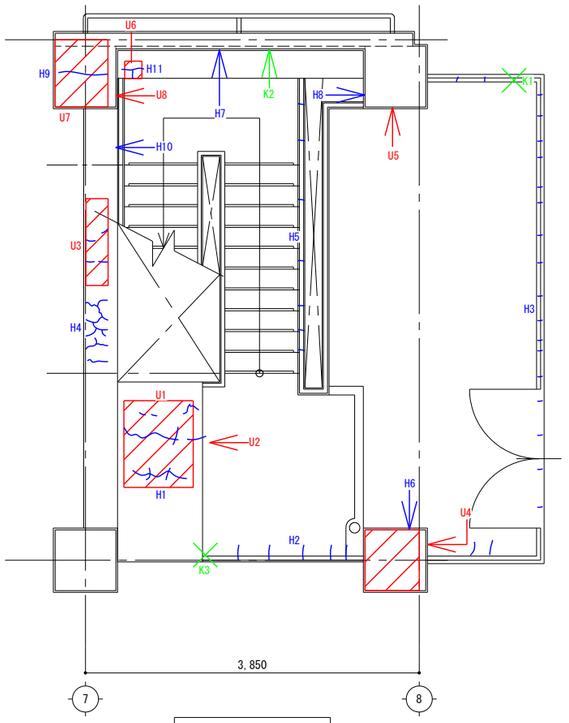
No. A-144



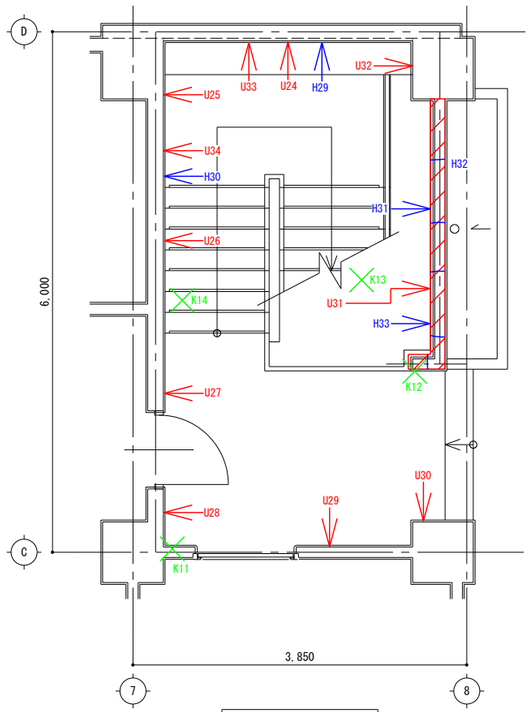
3階　平面詳細図



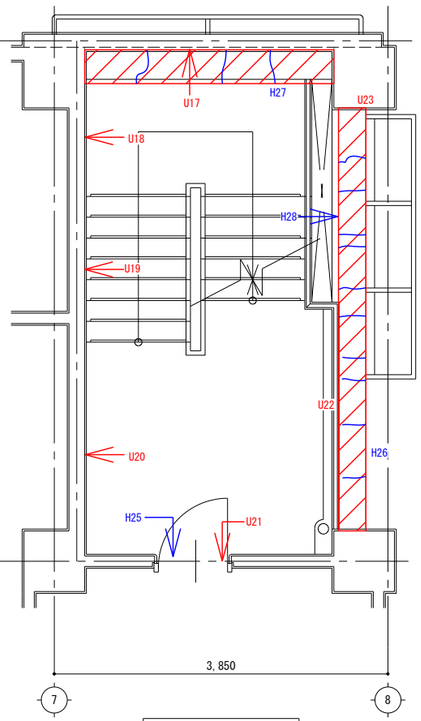
R階　平面詳細図



最上階　平面詳細図



1階　平面詳細図



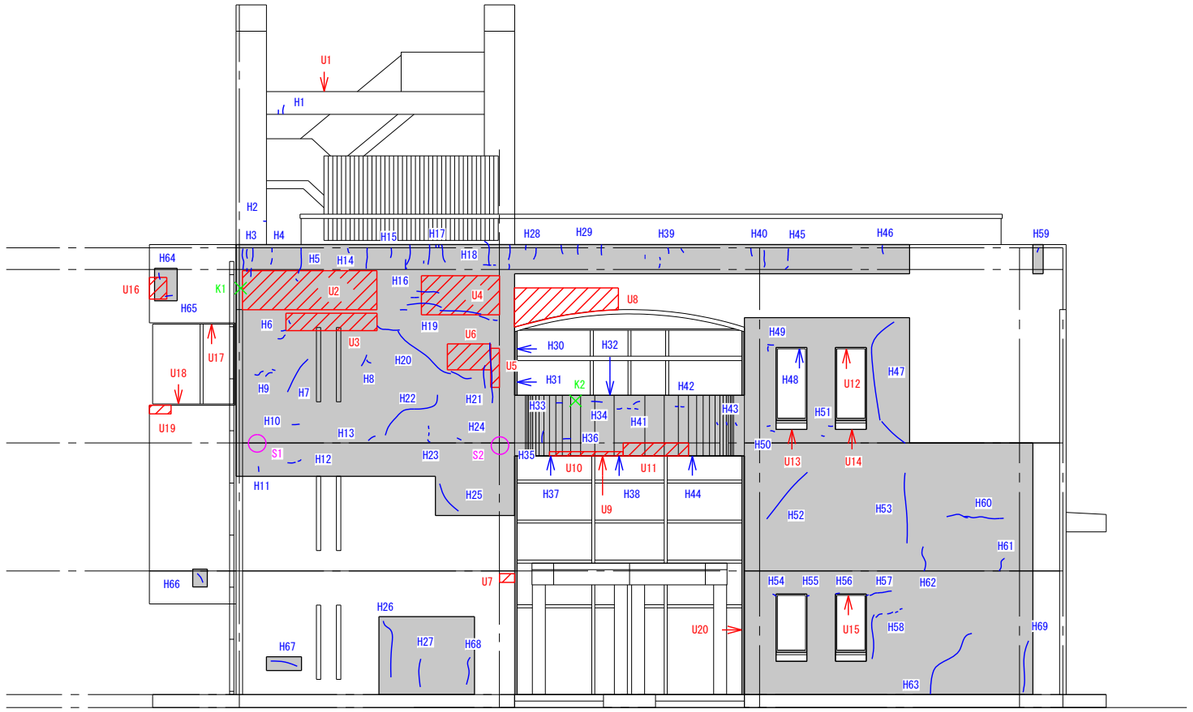
2階　平面詳細図

凡例		
略図	整理番号	劣化項目
	U1. U2. U3. . .	浮き
	H1. H2. H3. . .	ひびわれ
	K1. K2. K3. . .	欠損・爆裂
	S1. S2. S3. . .	シーリング状況

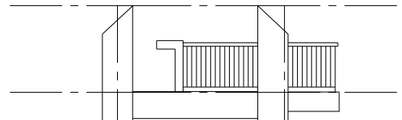
株式会社　松浦建築事務所

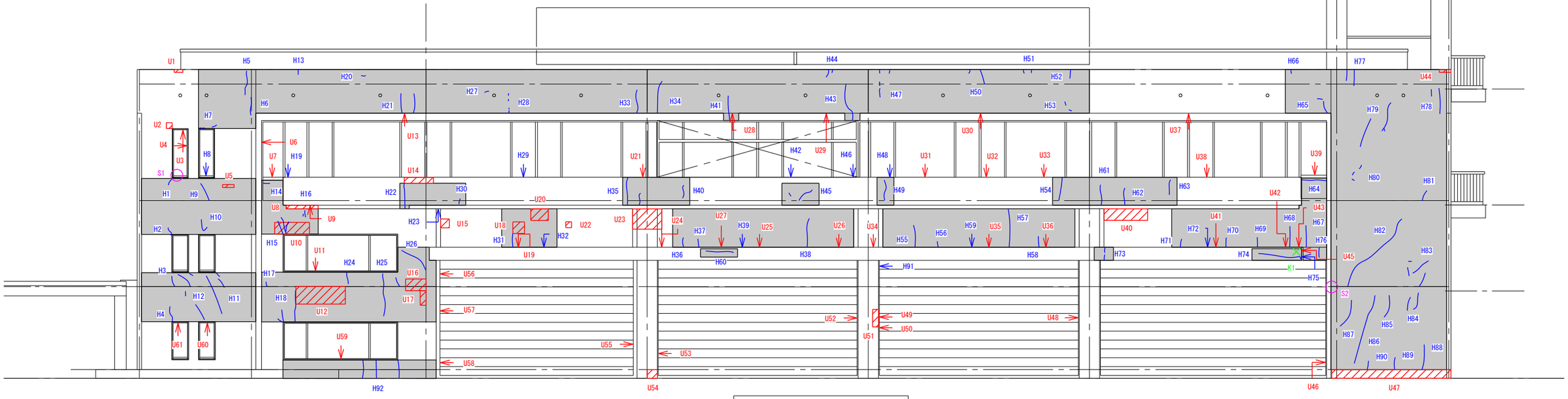
TEL　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	(現況) 外壁調査　屋外階段
縮尺	A2　1：50 A3　1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-145



外壁改修　改修前　西面立面図　1/100





外壁改修　改修前　南面立面図　1/100

凡例

略図	整理番号	劣化項目
▨	U1.U2.U3...	浮き
≀	H1.H2.H3...	ひびわれ
×	K1.K2.K3...	欠損・爆裂
○	S1.S2.S3...	シーリング状況

株式会社　松浦建築事務所

TEL　(0561)　32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

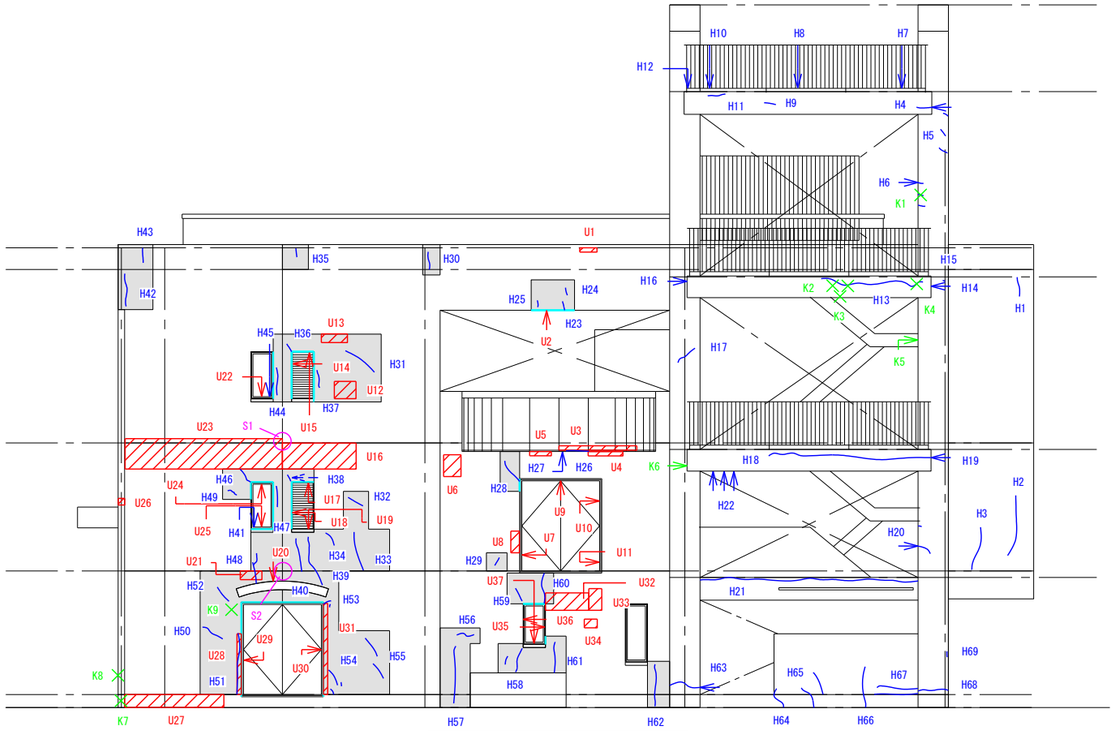
図面名称　(現況)　外壁調査　西南立面図

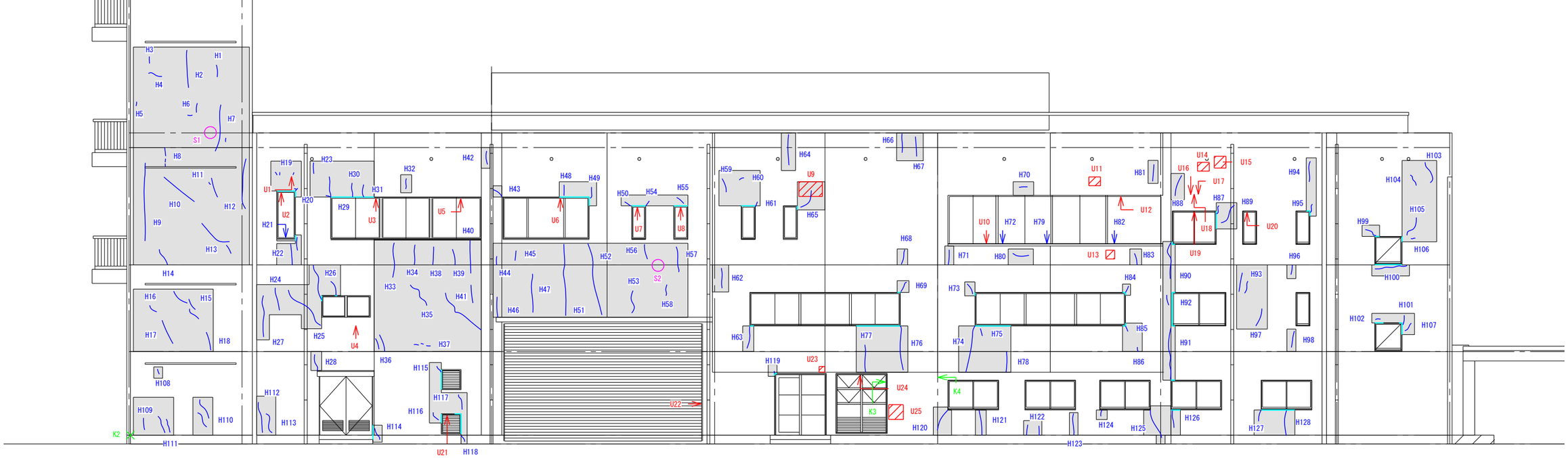
縮尺　A2　1：200　A3　1：282

製図　令和08年03月

1級建築士　登録第92794号　松浦孔明

No. A-146





外壁改修　改修前　北面立面図　1/100

凡例		
略図	整理番号	劣化項目
▨	U1. U2. U3. . .	浮き
≀	H1. H2. H3. . .	ひびわれ
×	K1. K2. K3. . .	欠損・爆裂
○	S1. S2. S3. . .	シーリング状況

株式会社　松浦建築事務所

TEL　(0561)　32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称　（現況）外壁調査　東北立面図

縮尺　A2　1：200　A3　1：282

製図　令和08年03月

1級建築士

登録第92794号　松浦孔明

No. A-147

外 壁 補 修 要 領 図

補 修 部 分	補 修 方 法
クラック 0.2mm未満クラック(m)	シール工法（ひび割れ巾＜0.2mm） シール材：可とう性エポキシ樹脂
クラック 0.2mm以上～1.0mm以下 クラック(m)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法（0.2mm≦ひび割れ巾≦1mm） ボンドシリンダー　エポキシ樹脂 （JIS A6024 建築用注入補修エポキシ樹脂）注入 座金取付シーリング
クラック 1.0mmを超えるクラック (m)	Ｕカットシール材充填工法（1mm＜ひび割れ巾） Ｕカット（巾10mm程度、深さ10～15mm程度）後清掃の上 プライマー塗布（全面接着）シーリング材 エポキシ樹脂モルタル 3～5mm
欠　損 × ：(100 x 100)以下 △ ：(100 x 200)程度 ▽ ：(100 x 300)程度 ▲ ：(200 x 200)以上	エポキシ樹脂モルタル充填工法（欠損部＜0.25m3） エポキシ樹脂モルタル充填　金ゴテ仕上げ
露筋欠損 ＊ ：(100 x 100)以下 ◆ ：(100 x 200)程度 ◇ ：(100 x 300)程度 ● ：(200 x 200)以上	エポキシ樹脂モルタル充填工法（欠損部＜0.25m3） 鉄筋 露出鉄筋部ケレン錆落し清掃の上、プライマー処理 エポキシ樹脂モルタル充填　金ゴテ仕上げ

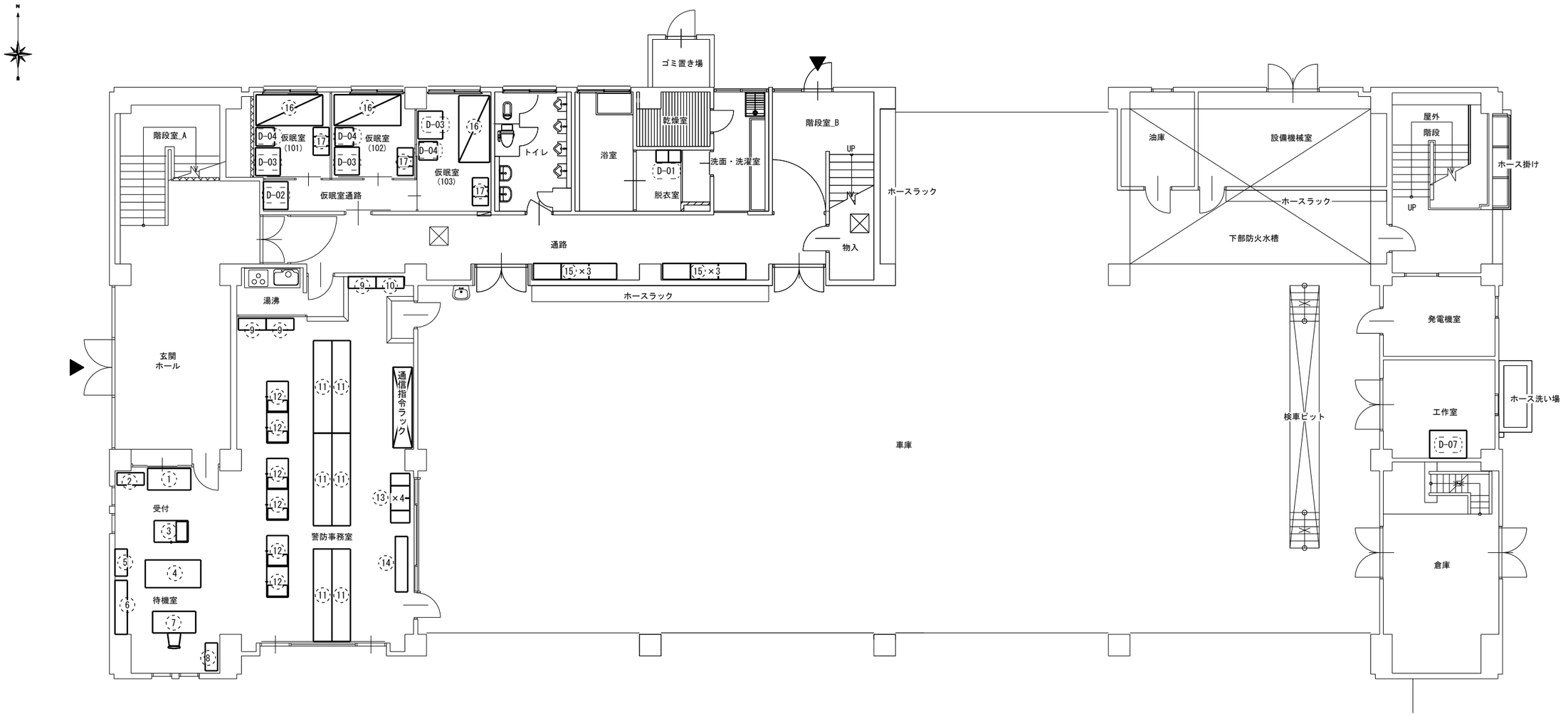
補 修 部 分	補 修 方 法
モルタル浮き （一般部） （指定部）	アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 せん孔径6mm程度 エポキシ樹脂（JIS A6024 建築用注入補修エポキシ樹脂） 注入（12本/m2）浮き代の測定を行い注入量を決める パテ状エポキシ樹脂 既設モルタル仕上げ せん孔径6mm程度 ステンレス全ネジピン SUS 304 φ4　L＝50 全ネジ切り（13本/m2） エポキシ樹脂　25～30cc/本 パテ状エポキシ樹脂 5 30 ●：アンカーピン固定部（13本/m2） ○：注入口（12本/m2） 単位グリッド　200×200 ※指定部単位グリッドは110×110とする 1,000 1,000 200 200 以下 1,000 200 1,000 ●：アンカーピン固定部 ○：注入口 狭小部
モルタル浮き （狭幅部）	
タイル浮き （一般部） （指定部）	アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 せん孔径6mm程度 エポキシ樹脂（JIS A6024 建築用注入補修エポキシ樹脂） 注入（12本/m2）浮き代の測定を行い注入量を決める パテ状エポキシ樹脂 既設外壁：小口土ものタイル せん孔径6mm程度 ステンレス全ネジピン SUS 304 φ4　L＝50 全ネジ切り（13本/m2） エポキシ樹脂　25～30cc/本 パテ状エポキシ樹脂 5 ●：アンカーピン固定部（13本/m2） ○：注入口（12本/m2） 単位グリッド　200×200 ※指定部単位グリッドは110×110とする 1,000 1,000 200 200 以下 1,000 200 1,000 ●：アンカーピン固定部 ○：注入口 狭小部
タイル欠損（ひび割れ） 0.2mm未満クラック(m) 0.2mm以上～1.0mm以下クラック(m)	既設外壁：小口・２丁掛け 土ものタイル(施釉) カッター入れ 既設外壁：土ものタイル （欠損・ひび割れタイル） 欠損部周囲をカッター入れ 該当部分撤去（下地モルタル共） 高圧洗浄（高圧ポンプ10～15MPa） カッター入れ 改修前・処置 新規下地モルタル （又は、外装タイル張り用有機系接着剤） 新規土ものタイル貼 （特注タイル 色合わせ用見本焼き必要） ・役物は、切断・接着にて作成 改 修 後

※タイル撤去後、躯体にクラックがあることが判明した場合は、クラック巾に応じた補修後に新規タイルを張り付けとする

【特記】
1．施工方法は、「国土交通大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書」に準拠し、施工計画書を監督職員に提出し、承諾を得ることとする。
2．内部補修も本図に準ずるものとする。
3．現場での着手前に不良個所を調査し、工事監理者と協議の上、改修施工とする。(変更契約対象とする)

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	外壁改修要領図
縮尺	A2　1：200 A3　1：282
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松 浦 孔 明
No.	A-148



室名	番号	名称	寸法(幅×奥行×高さ)	数量	改修内容	室名	番号	名称	寸法(幅×奥行×高さ)	数量	改修内容
受付	1	机	1,400×700×700	1	撤去	通路	15	ロッカー(9人用)	900×515×1,790	6	撤去
	2	キャビネット	880×400×1,600	1	撤去	仮眠室	16	畳ベッド	1,820×910×600	3	撤去
	3	デスク	1,100×600×700	1	撤去		17	ロッカー(3人用)	900×515×1,790	3	撤去
待機室	4	デスク	1,800×900×680	1	撤去		D-03	押入	900×900×2,150	3	撤去
	5	キャビネット	880×400×1,750	1	撤去		D-04	机	600×600×750	3	撤去
	6	キャビネット	1,750×400×1,820	1	撤去	仮眠室前通路	D-02	リネン棚	900×800×2,150	1	撤去
	7	机	1,400×700×700	1	撤去	脱衣室	D-01	脱衣棚	800×400×1,200	1	撤去
	8	キャビネット	900×400×1,100	1	撤去	工作室	D-07	金工木工机	1,200×900×800	1	撤去
警棒事務室	9	ロッカー(18人用)	900×380×1,800	3	撤去						
	10	STラック	800×400×1,660	1	撤去						
	11	ロングデスク	550×3,000×710	6	撤去						
	12	デスク	1,000×700×900	6	撤去						
	13	キャビネット	400×620×1,200	4	撤去						
	14	キャビネット	760×400×880	1	撤去						

改修前　１階平面図　1/200

■符号事項

D-00　：撤去造作家具を示す

0　：撤去事務什器を示す

■符号事項

※既設事務什器、家具撤去に際しては、売却対象を指定場所に移設保管とする

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

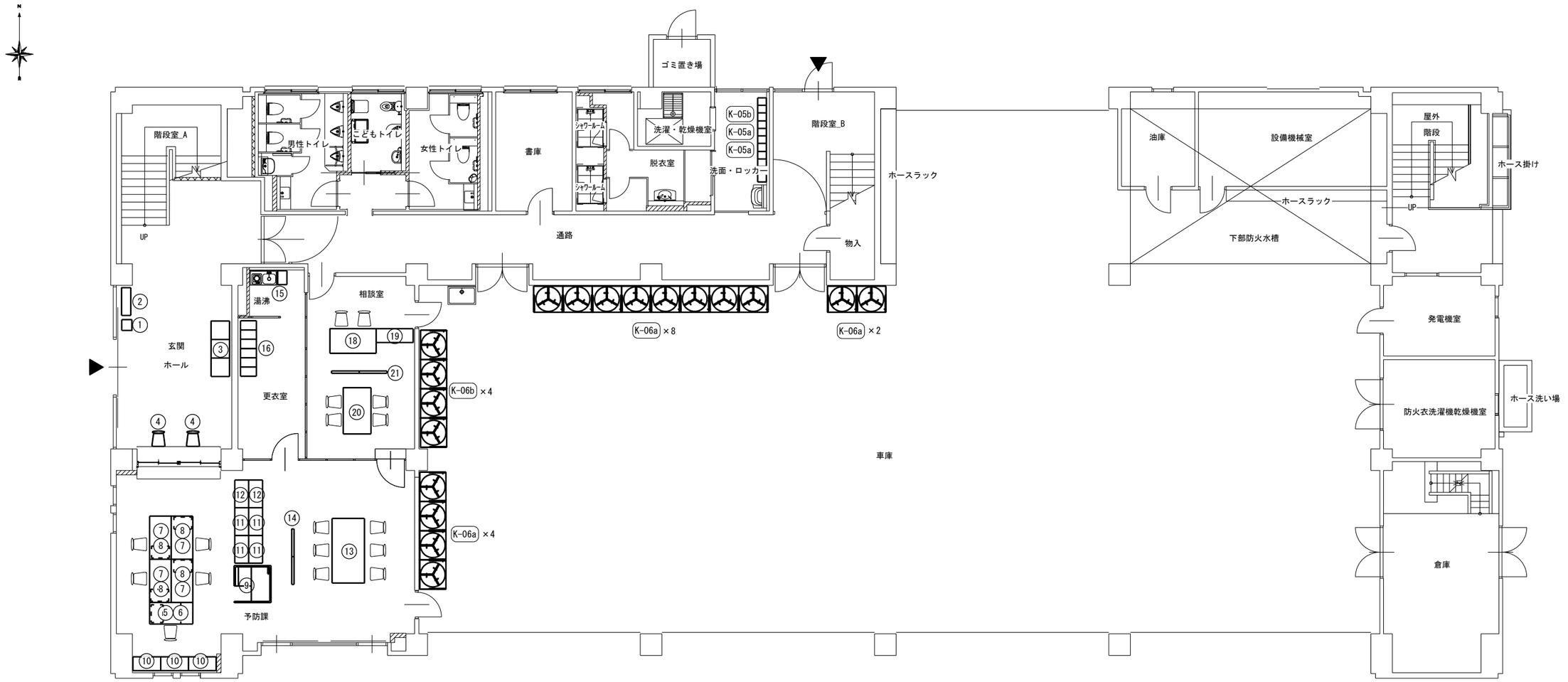
図面名称　（改修前）
1階　家具・什器配置図

縮尺　A2　1：100
A3　1：141

製図　令和08年03月

１級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. A-149



室名	番号	名称	数量	備考	室名	番号	名称	数量	備考
玄関ホール	1	ｻｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ	1	各階案内	更衣室・湯沸	15	棚	1	
	2	ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄｽﾀﾝﾄﾞ	1			16	3人用ロッカー	2	
	3	背付きベンチ	1			17			
	4	椅子	2		相談室	18	ﾛｰｶｳﾝﾀｰ	1	椅子×2
予防課	5	デスク	1	デスクチェア		19	ﾊｲｶｳﾝﾀｰ	1	
	6	ワゴン	1			20	ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾃｰﾌﾞﾙ	1	椅子×4
	7	デスク	4	デスクチェア×4		21	目隠しパネル	2	
	8	ワゴン	4		洗面・ロッカー	K-05a	洗面用ﾊﾞｽｹｯﾄﾛｯｶｰ	2	55人分(別図参照)
	9	ワークブース	1	チェア×1		K-05b	洗面用ﾊﾞｽｹｯﾄﾛｯｶｰ	1	55人分(別図参照)
	10	収納棚	3		車庫	K-06a	防火衣回転ロッカー	14	3人用×14(別図参照)
	11	引き違い書庫	4			K-06b	**防火衣回転ロッカー**	4	3人用×4(別図参照)
	12	書類棚	2						
	13	ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾃｰﾌﾞﾙ	1	デスクチェア×6					
	14	目隠しパネル	2						

改修後　1階平面図　1/100

■符号事項

K-00　：新設造作家具を示す

0　：新設事務什器を示す
（事務什器のサイズについては事務什器提案書参照）

株式会社　松浦建築事務所
TEL　(0561)　32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称　（改修後）
1階　家具・什器配置図

縮尺　A2　1：100
A3　1：141

製図　令和08年03月

1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. A-150



改修前　２階平面図　1/100

室名	番号	名称	寸法(幅x奥行x高さ)	数量	改修内容
前室兼更衣室	1	ロッカー(6人用)	600×500×1,800	1	撤去
	2	ソファー	700×700×350	2	撤去
	3	机	1,200×600×350	2	撤去
指令室	4	ソファー	1,760×800×350	1	撤去
	5	デスク	1,800×450×700	4	撤去
	6	キャビネット	880×400×950	1	撤去
	7	机	1,400×730×700	1	撤去
仮眠室	8	畳ベッド	1,820×910×600	13	撤去
	9	ロッカー	900×515×1,790	13	撤去
	D-03	押入	900×900×2,150	13	撤去
	D-04	机	600×600×750	13	撤去

■符号事項

D-00 ：撤去造作家具を示す

0 ：撤去事務什器を示す

■符号事項

※既設事務什器、家具撤去に際しては、売却対象を指定場所に移設保管とする

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

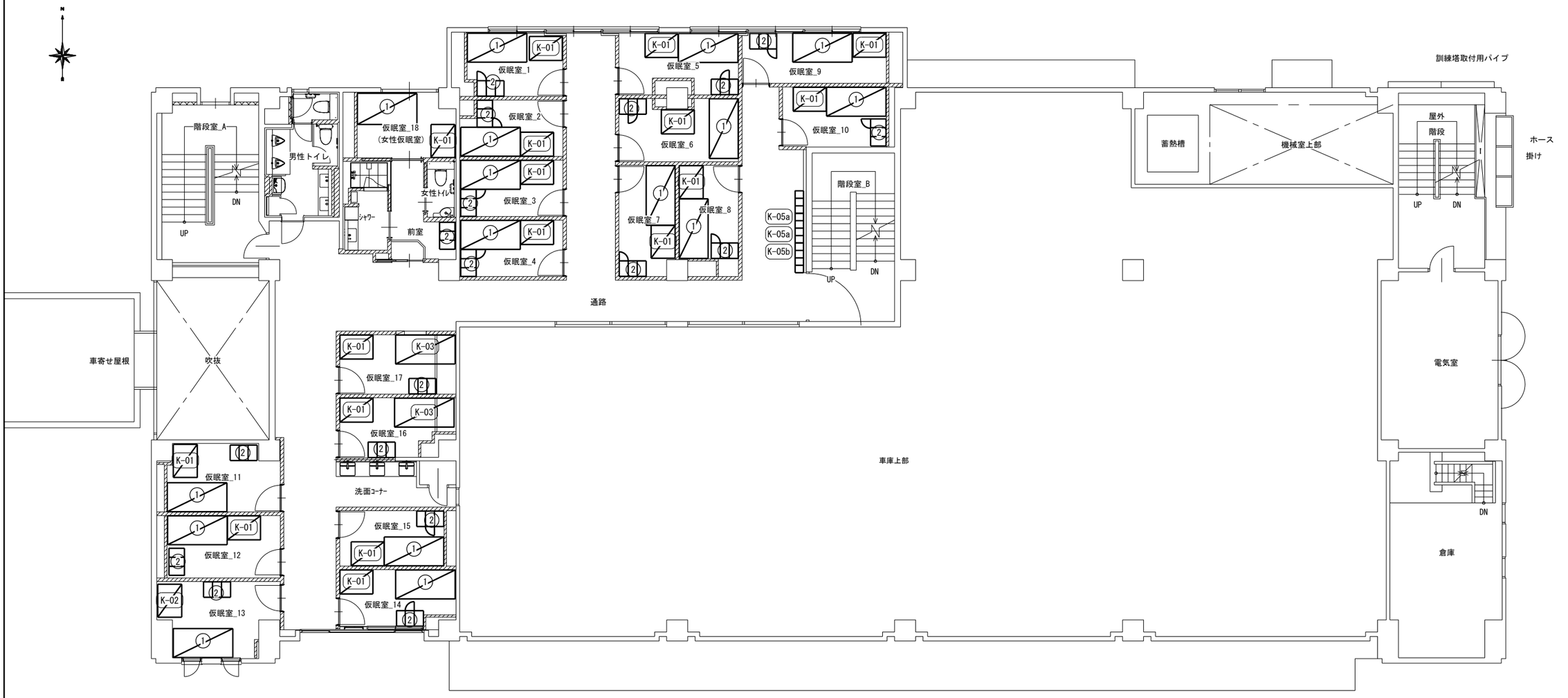
図面名称　（改修前）
2階　家具・什器配置図

縮尺　A2　1：100
A3　1：141

製図　令和08年03月

１級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. A-151



改修後　２階平面図　1/100

室名	番号	名称	数量	備考
仮眠室-1_17 仮眠室_18 (女性用仮眠室)	1	引出付き畳ベッド	17	
	2	3人用ロッカー	18	
	K-01	布団入れ	17	別図参照
	K-02	布団入れ	1	別図参照
	K-03	引出付き畳ベッド	2	特注
通路	K-05a	洗面ﾊﾟｽｹｯﾄﾛｯｶｰ	2	20人分(別図参照)
	K-05b	洗面ﾊﾟｽｹｯﾄﾛｯｶｰ	1	15人分(別図参照)

■符号事項

K-00　：新設造作家具を示す

0　：新設事務什器を示す
(事務什器のサイズについては事務什器提案書参照)

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

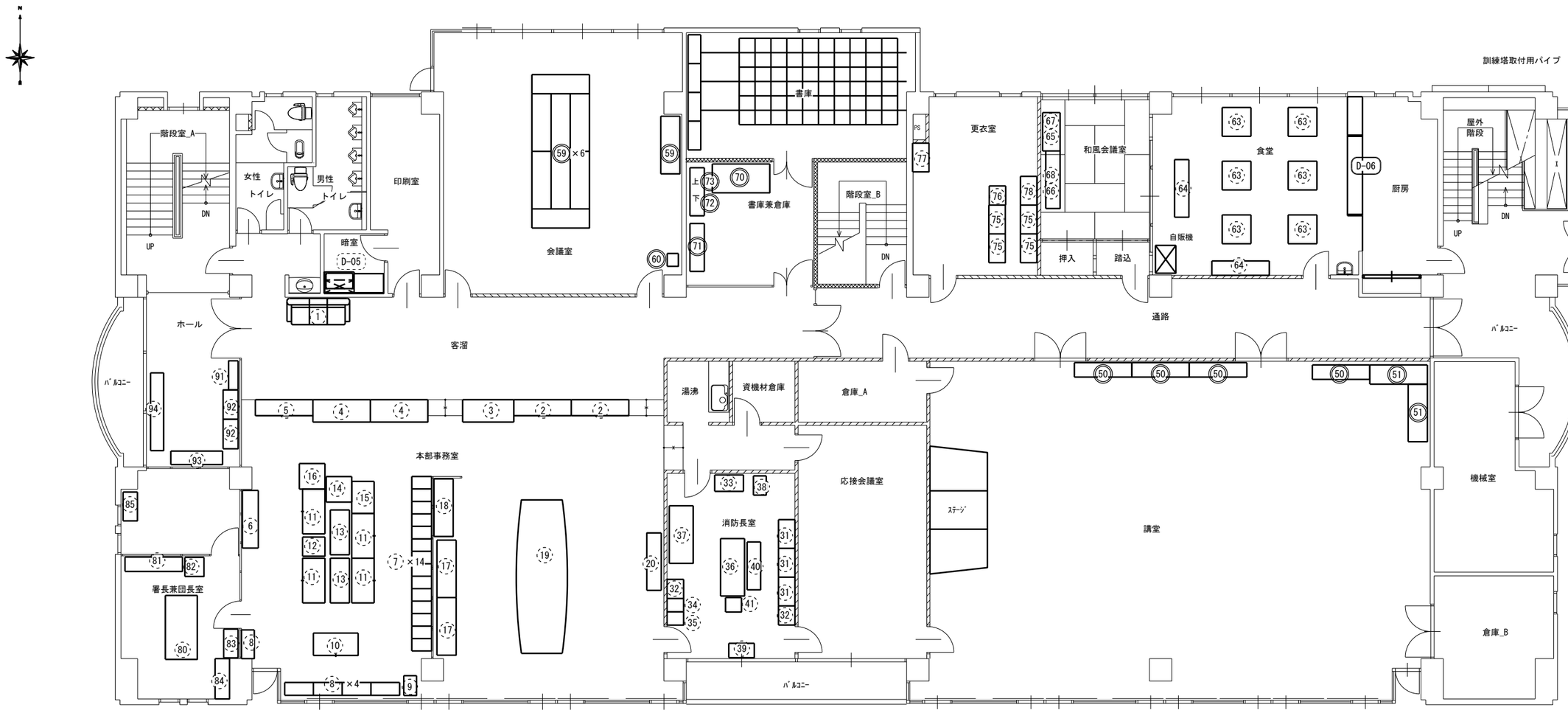
図面名称　(改修後)
2階　家具・什器配置図

縮尺　A2　1：100
A3　1：141

製図　令和08年03月

1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. A-152



室名	番号	名称	寸法(幅x奥行x高さ)	数量	改修内容
本部事務室	1	ソファー	1,800×600×350	1	撤去
	2	カウンター	1,800×500×960	2	撤去
	3	カウンター	1,600×700×700	1	撤去
	4	カウンター	1,800×700×700	2	撤去
	5	カウンター	1,800×500×960	1	撤去
	6	キャビネット	1,800×500×960	1	撤去
	7	キャビネット	390×620×1,000	14	撤去
	8	キャビネット	900×400×1,130	5	撤去
	9	キャビネット	400×620×1,020	1	撤去
	10	デスク	1,400×700×700	1	撤去
	11	デスク	1,400×700×700	4	撤去
	12	キャビネット	600×700×600	1	撤去
	13	机	1,400×600×720	2	撤去
	14	机	800×800×710	1	撤去
	15	机	1,000×700×700	1	撤去
	16	机	700×800×700	1	撤去
	17	ソファー	1,800×600×350	2	撤去
	18	机(PC台)	1,800×600×700	1	撤去
	19	長机	1,280×4,800×700	1	撤去
	20	机	1,800×450×700	1	撤去

室名	番号	名称	寸法(幅x奥行x高さ)	数量	改修内容
消防長室	31	ロッカー(3人用)	900×515×1,800	3	撤去
	32	ロッカー(2人用)	600×515×1,800	2	撤去
	33	ロッカー(9人用)	900×515×1,800	1	撤去
	34	ロッカー	900×515×1,800	1	撤去
	35	ロッカー	900×515×1,800	1	撤去
	36	机	1,800×750×700	1	撤去
	37	STラック	1,840×600×1,800	1	撤去
	38	キャビネット	350×620×740	1	撤去
	39	キャビネット	800×450×750	1	撤去
	40	椅子	1,500×420×420	1	撤去
	41	キャビネット	500×450×650	1	撤去
応接会議室	トレーニング機材のみ				
講堂	50	机	600×1,800×700	4	現況のまま
	51	机	450×1,800×700	2	現況のまま
会議室	59	机(椅子_30脚)	1,800×600×710	7	現況のまま
	60	電話台	350×400×700	1	現況のまま
食堂	63	テーブル	900×900×710	6	撤去
	64	テーブル	1,800×450×710	2	撤去
	D-06	食器棚	3,680×700×2,500	1	改修家具(別図参考)

室名	番号	名称	寸法(幅x奥行x高さ)	数量	改修内容
和風会議室	65	リビングボード(引違い)	1,200×550×700	1	撤去
	66	リビングボード	1,800×700×450	3	撤去
	67	リビングボード	1,200×380×1,100	1	撤去
	68	リビングボード	1,600×450×700	1	撤去
書庫兼倉庫	70	机	1,800×900×680	1	現況のまま
	71	STラック	1,500×455×2,100	1	現況のまま
	72	STキャビネット(下)	1,800×450×1,050	1	現況のまま
	73	ST書庫(上)	1,800×450×1,110	1	現況のまま
更衣室	75	ロッカー(3人用)	900×515×1,800	4	撤去
	76	ロッカー(2人用)	600×515×1,800	1	撤去
	77	ロッカー(9人用)	900×515×1,800	1	撤去
	78	ST書庫	900×515×1,800	1	撤去
署長兼団長室	80	机	2,000×1,000×700	1	撤去
	81	STラック	1,800×450×1,800	1	撤去
	82	掃除具ロッカー	500×450×1,810	1	撤去
	83	キャビネット	900×450×900	1	撤去
	84	STラック	1,250×450×1,800	1	撤去
	85	キャビネット	900×450×900	1	撤去

室名	番号	名称	寸法(幅x奥行x高さ)	数量	改修内容
ホール	91	キャビネット	910×300×1,120	1	撤去
	92	ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄｽﾀﾝﾄﾞ	920×470×1,200	2	撤去
	93	棚	1,620×420×400	1	撤去
	94	棚	2,430×410×500	1	撤去
暗室	D-05	作業台	1,840×650×800	1	撤去

改修前　3階平面図　1/100

■符号事項

D-00　：改修造作家具を示す

0　：撤去事務什器を示す

0　：現況のまま事務什器を示す

※既設事務什器、家具撤去に際しては、売却対象を指定場所に移設保管とする

株式会社　松浦建築事務所
TEL　(0561) 32-0318
1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

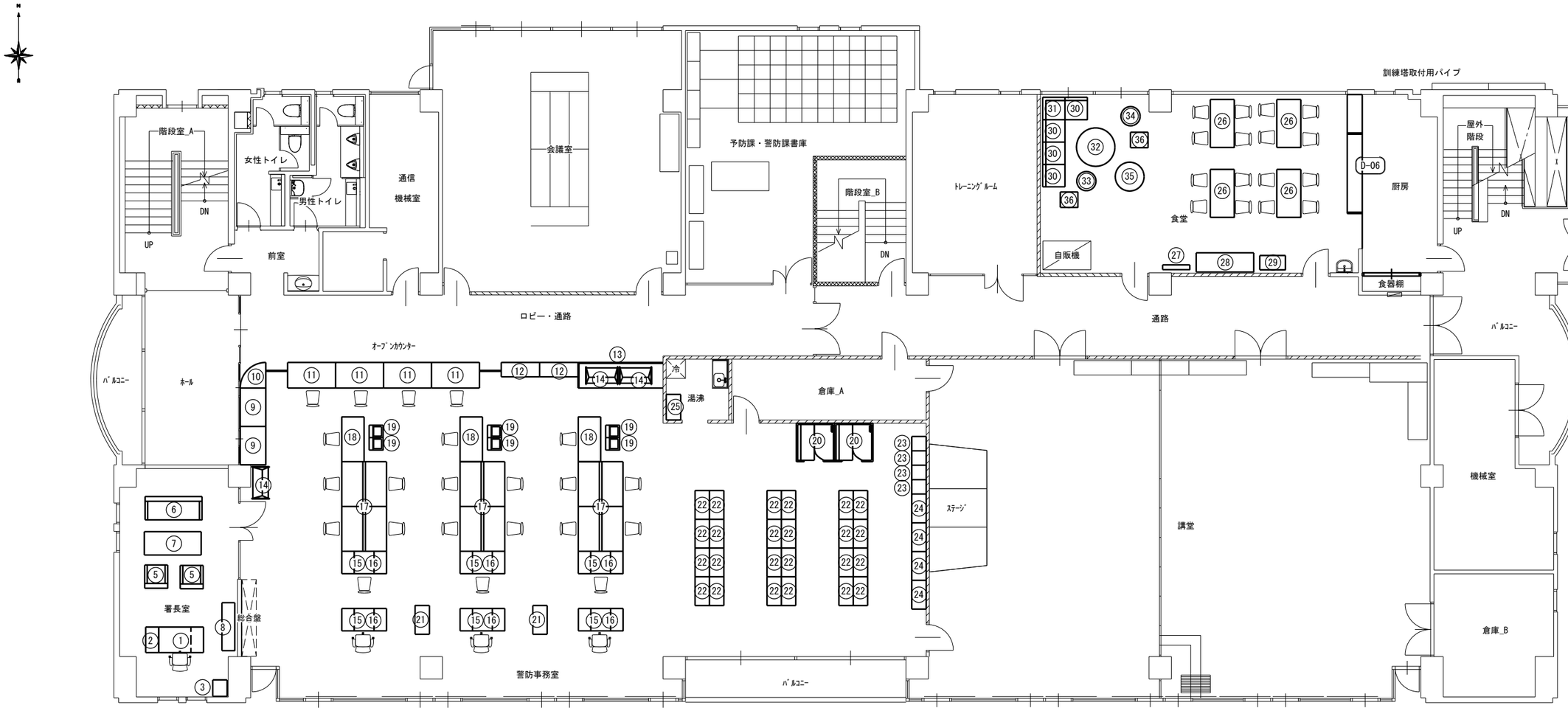
工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称　(改修前)　3階　家具・什器配置図

縮尺　A2　1：100　A3　1：141

製図　令和08年03月

No. A-153



室名	番号	名称	数量	備考	室名	番号	名称	数量	備考
署長室	1	デスク	1	デスクチェア×1	警防事務室	21	収納棚	2	
	2	脇机	1			22	モバイルロッカー	24	
	3	ロッカー	1			23	棚	4	
	4					24	モバイルロッカー	4	
	5	1人掛けソファ	2		湯沸	25	食器棚	1	
	6	3人掛けソファ	1		食堂	26	テーブル	4	ﾀﾞｲﾆﾝｸﾞﾁｪｱ×16
	7	ローテーブル	1			27	モニタースタンド	1	
	8	キャビネット	1			28	テーブル	1	
警防事務室	9	ローカウンター	2			29	ローボード	1	
	10	コーナーカウンター	1			30	1人掛けソファ	4	
	11	ローカウンター	4			31	コーナーソファ	1	
	12	ハイカウンター	2			32	ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾃｰﾌﾞﾙ	1	
	13	パネル	1			33	ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾃｰﾌﾞﾙ	1	
	14	マルチカート	3			34	椅子	1	
	15	デスク	6	デスクチェア×6		35	椅子	1	
	16	ワゴン	6			36	サイドテーブル	2	
	17	デスク	3	デスクチェア×12					
	18	デスク	3	デスクチェア×3		D-06	食器棚	1	改修家具(別紙参照)
	19	ゴミ箱	6						
	20	個室ブース	2						

改修後　3階平面図　1/100

■符号事項

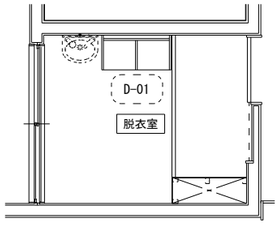
D-00　：改修造作家具を示す

0　：新設事務什器を示す
（事務什器のサイズについては事務什器提案書参照）

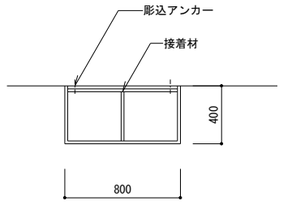
株式会社　松浦建築事務所
TEL　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修後） 3階　家具・什器配置図
縮尺	A2　1：100 A3　1：141
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-154

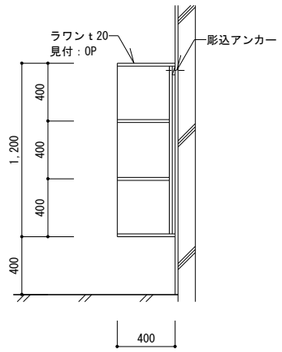
符号	D-01	名称（設置場所）	脱衣棚(1階：脱衣室)	数量	1



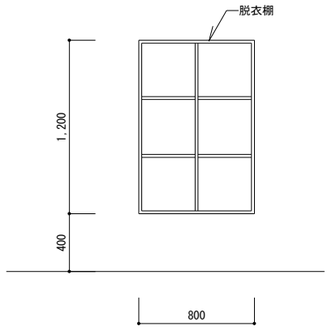
キープラン



平面図

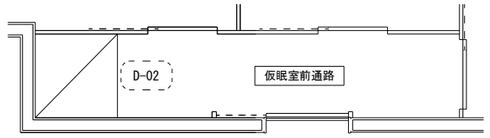


断面図

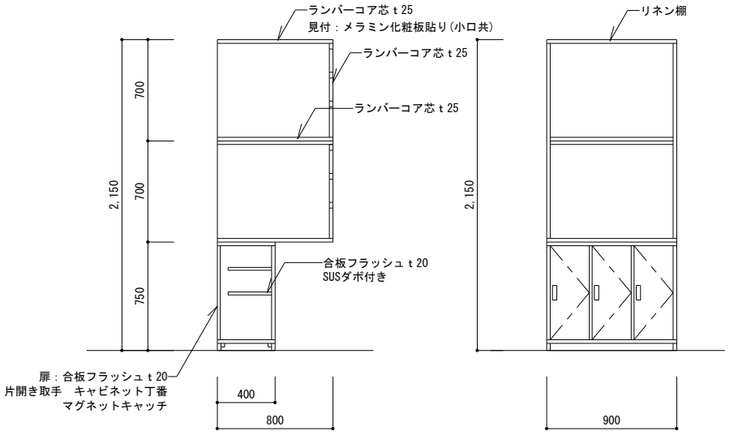


立面図

符号	D-02	名称（設置場所）	リネン棚(1階：仮眠室前通路)	数量	1



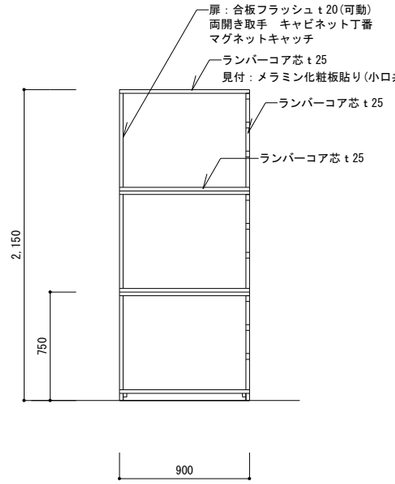
キープラン



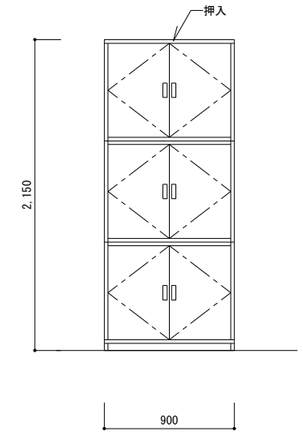
断面図

立面図

符号	D-03	名称（設置場所）	押入(1階・2階：各仮眠室)	数量	16

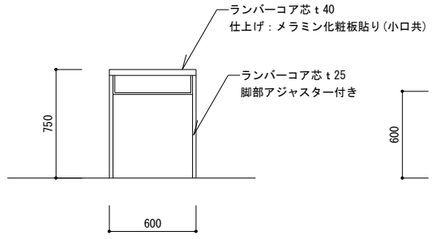


断面図

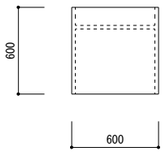


立面図

符号	D-04	名称（設置場所）	机(1階・2階：各仮眠室)	数量	16

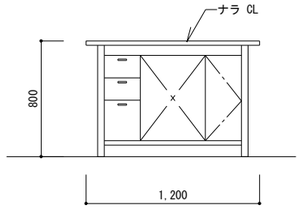


立面図

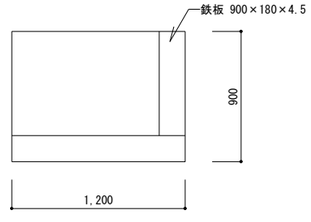


平面図

符号	D-07	名称（設置場所）	金工木工机(1階：工作室)	数量	1

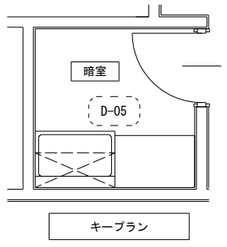


立面図

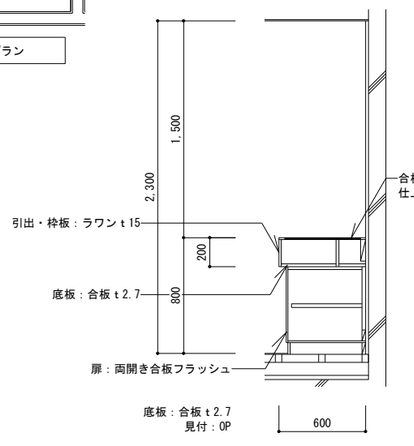


平面図

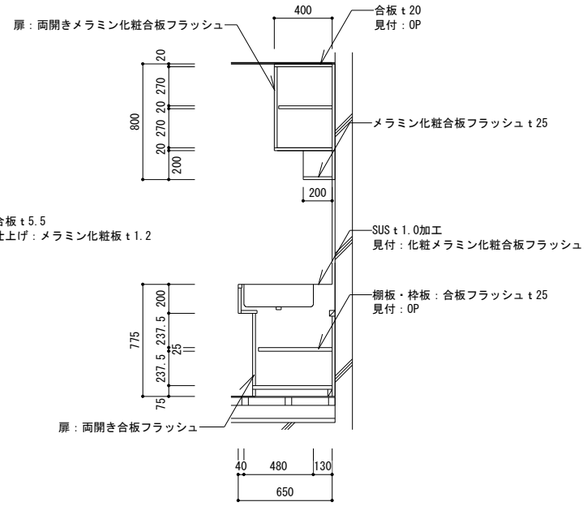
符号	D-05	名称（設置場所）	SUS流し、作業台、吊戸棚(3階：暗室)	数量	1



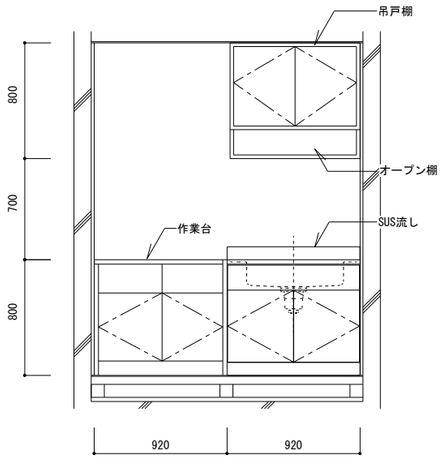
キープラン



作業台断面図



SUS流し断面図



立面図

■符号事項

D-00 ：撤去家具を示す

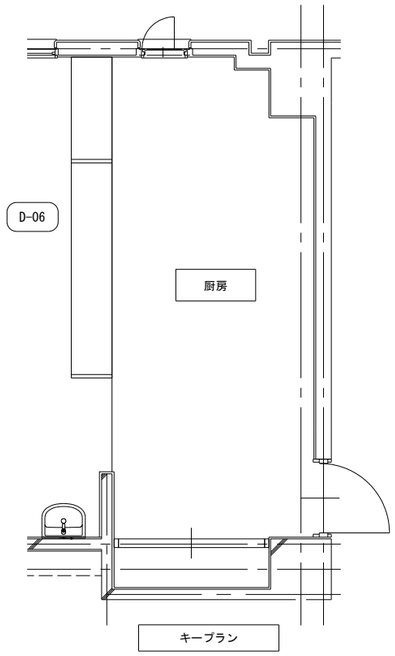
株式会社　松浦建築事務所

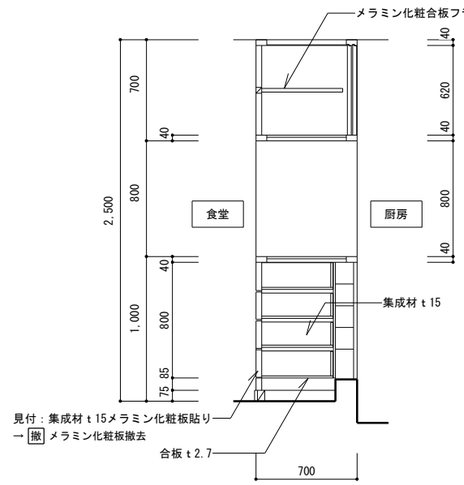
TEL　(0561)　32-0318

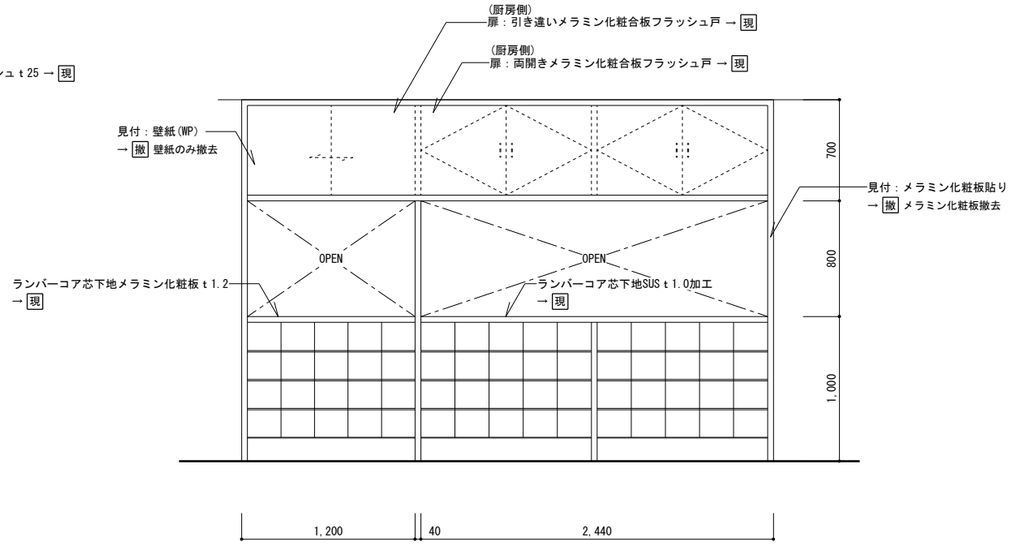
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前） 撤去家具図、キープラン
縮尺	A2　1：30 A3　1：42
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-155

符号	D-06	名称（設置場所）	食器棚(3階：食堂)	数量	1

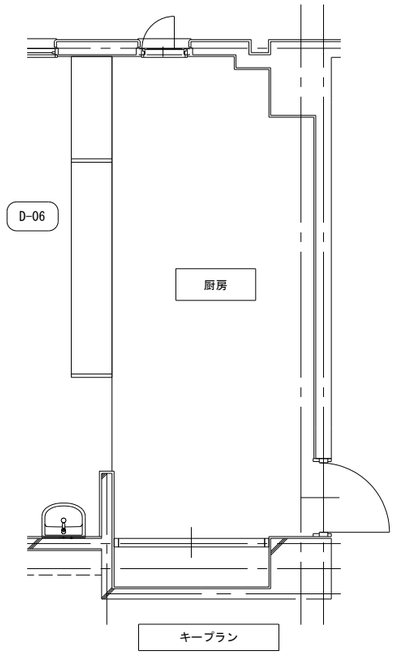
改修前

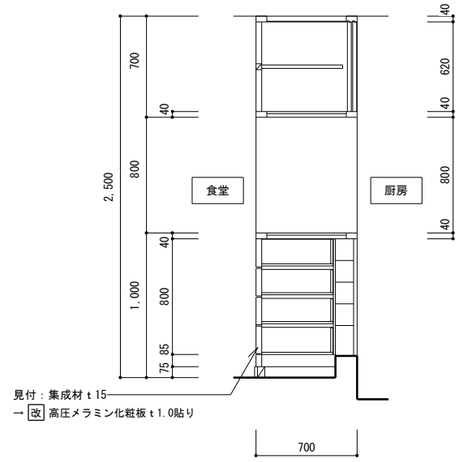


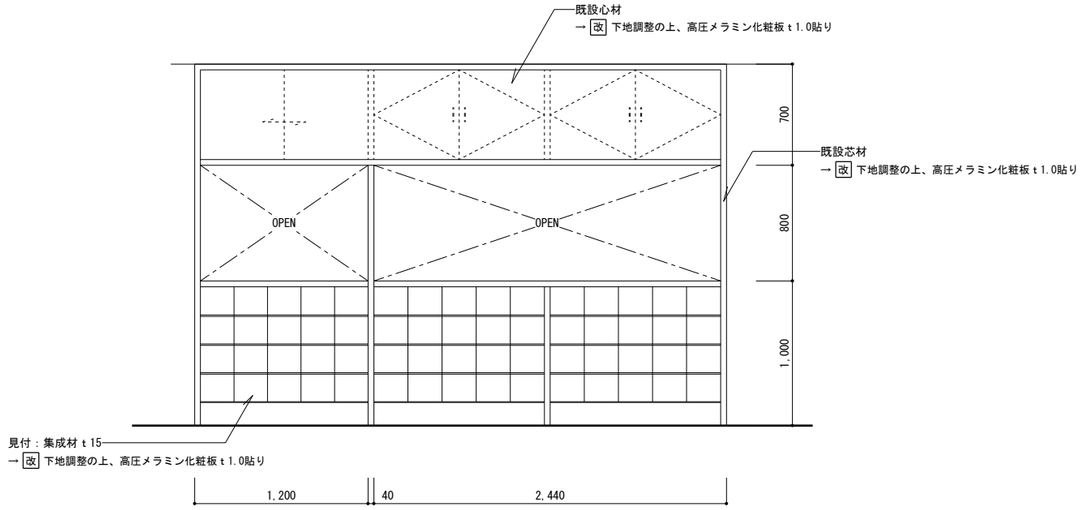




改修後







■符号事項

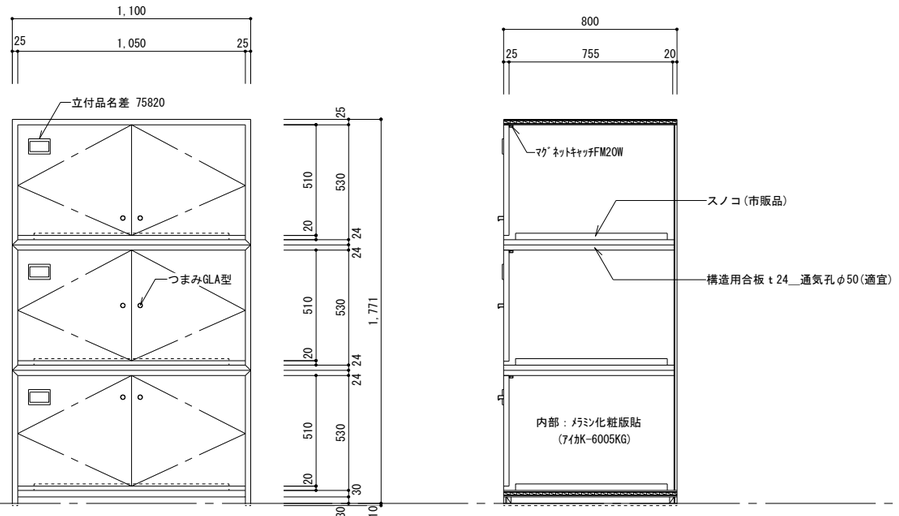
D-00 ：改修家具を示す

株式会社 松浦建築事務所

ＴＥＬ (0561) 32-0318

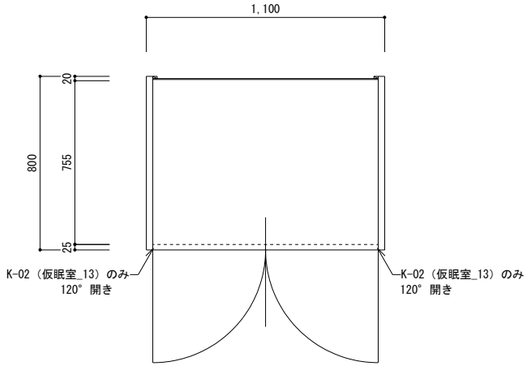
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	改修前後 既設家具図	縮尺 A2 1：10 / A3 1：14
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. A-156

符号	K-01	名称（設置場所）	布団入れ(2階：各仮眠室)	数量	17
符号	K-02	名称（設置場所）	布団入れ(2階：仮眠室_13)	数量	1



立面図　1：20

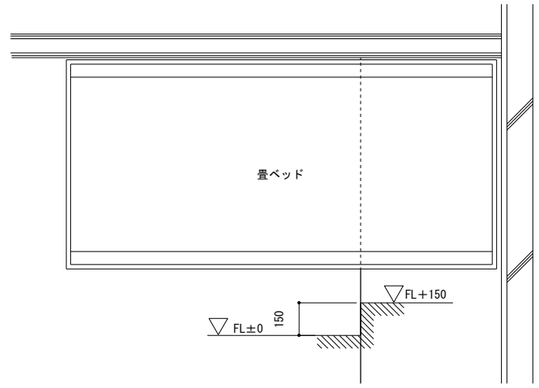
断面図　1：20



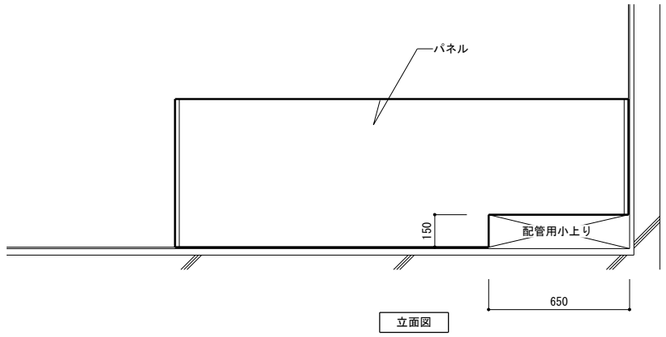
平面図　1：20

部位	材質・仕様	
仕上げ	メラミン化粧板貼り(小口共)(アイカK-6005KG)	
天板	芯材ランバーコア t25	
側板	芯材ランバーコア t25	
底板	芯材ランバーコア t30	
裏板	ラワン合板 t4	
開戸	両開き戸	
	合板フラッシュ t25	
	スライド丁番(90°開き)	マグネットキャッチ
備考	３段積み(耐震固定)	
	転倒防止金具	
	K-02（仮眠室_13）のみスライド丁番(120°開き)	

符号	K-03	名称（設置場所）	仮眠用畳ベッド(2階：仮眠室_16、17)	数量	2



平面図



立面図

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称　（改修後）新設家具図(1)

縮尺　A2　1：10　A3　1：14

製図　令和08年03月

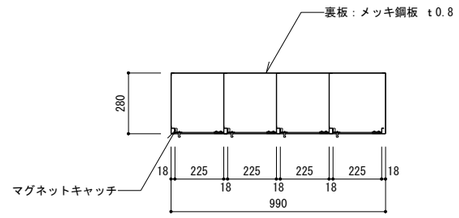
1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. A-157

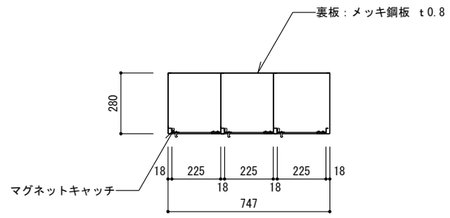
符号	K-04	名称（設置場所）		数量	

欠番

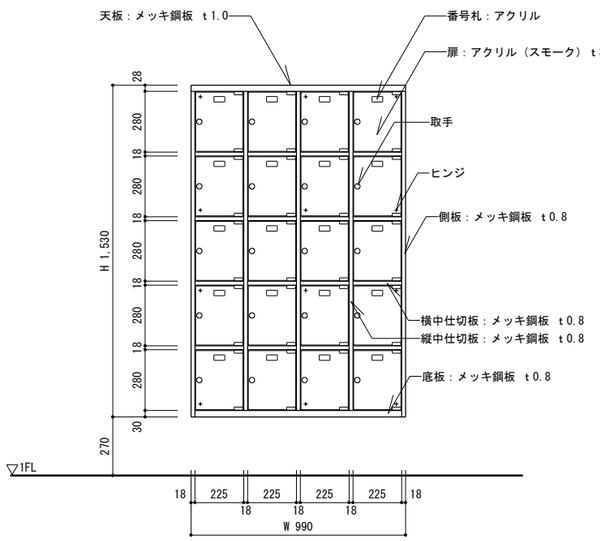
符号	K-05a	名称（設置場所）	洗面バスケットロッカー(1階：洗面・ロッカー室_2台、2階：通路_2台)	数量	4
符号	K-05b	名称（設置場所）	洗面バスケットロッカー(1階：洗面・ロッカー室_1台、2階：通路_1台)	数量	2



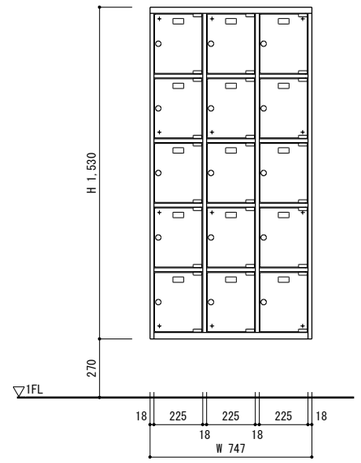
K-04a 平面図 1:20



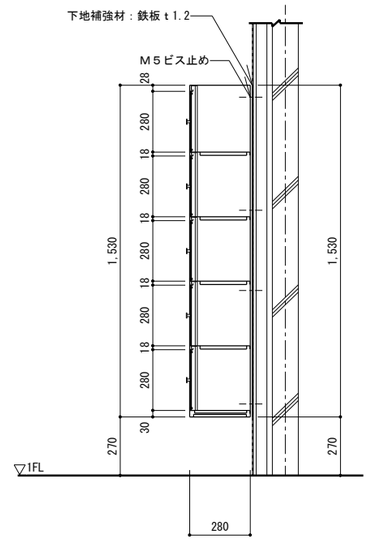
K-04b 平面図 1:20



K-05a 正面図 1:20



K-05b 正面図 1:20



断面図 1:20

※洗面バスケットロッカーA
設置場所： １階　洗面・手洗室_2台 ２階　通路_2台
・４列５段　２０人用
・寸　法：Ｗ９９０×Ｄ２８０×Ｈ１５３０
塗装：粉体焼付塗装
製作台数 ・・・ ２ 台(20人分×2台=40人分)

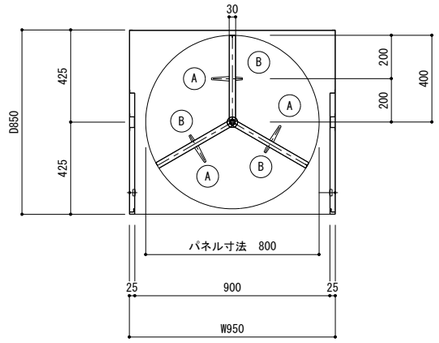
※洗面バスケットロッカーB
設置場所： １階　洗面・手洗室_1台 ２階　通路_1台
・３列５段　１５人用
・寸　法：Ｗ７４７×Ｄ２８０×Ｈ１５３０
塗装：粉体焼付塗装
製作台数 ・・・ １ 台(15人用×1台=15人分)

株式会社 松浦建築事務所

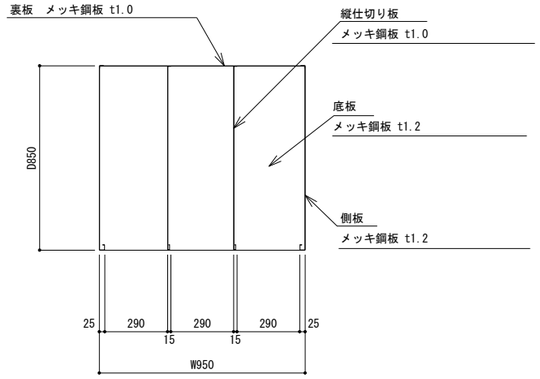
ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	（改修後） 新設家具図(2)	縮尺 A2 1：10 A3 1：14
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. A-158

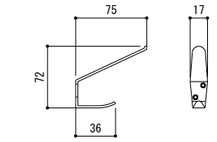
符号	K-06a	名称（設置場所）	車庫	数量	14
符号	K-06b	名称（設置場所）	車庫	数量	4



中段平面図 1:20

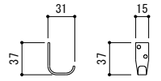


下段平面図 1:20



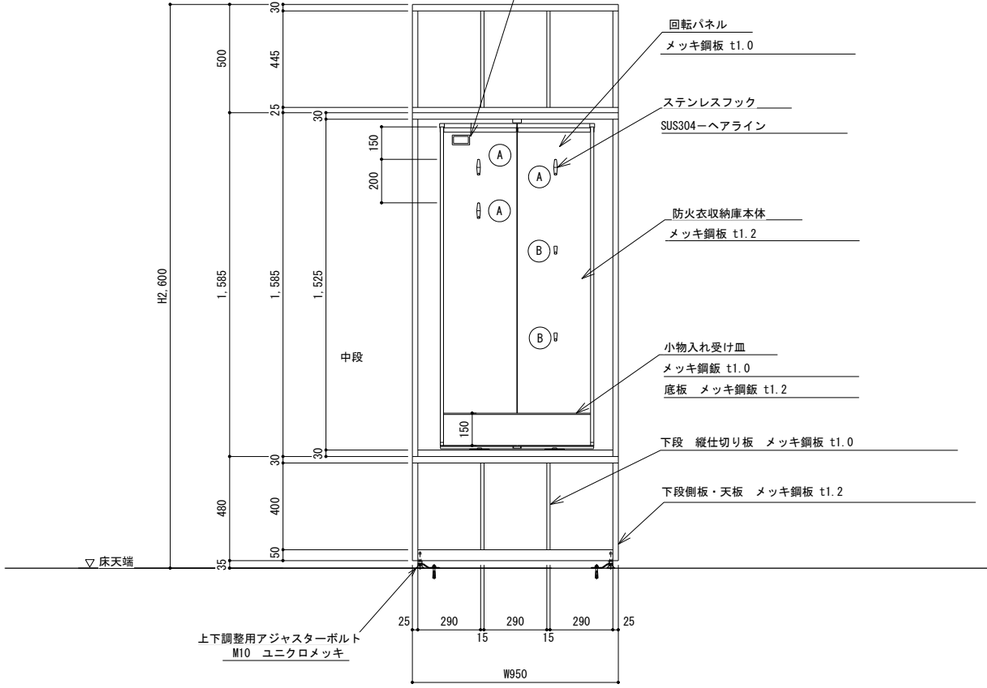
Ⓐ　ステンレス　帽子掛け　1：5

ＳＵＳ３０４ ヘアーライン

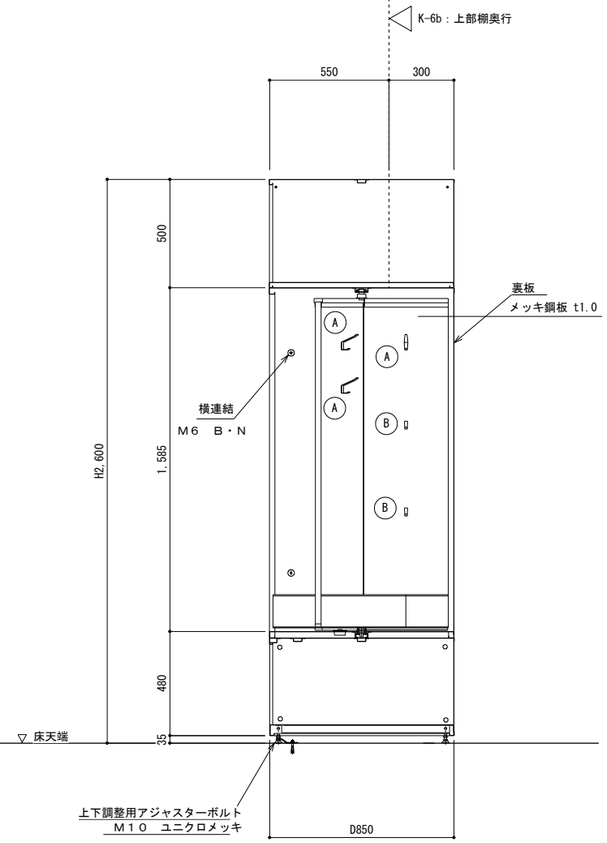


Ⓑ　ステンレス　フック　1：5

ＳＵＳ３０４ ヘアーライン



正面図 1:20



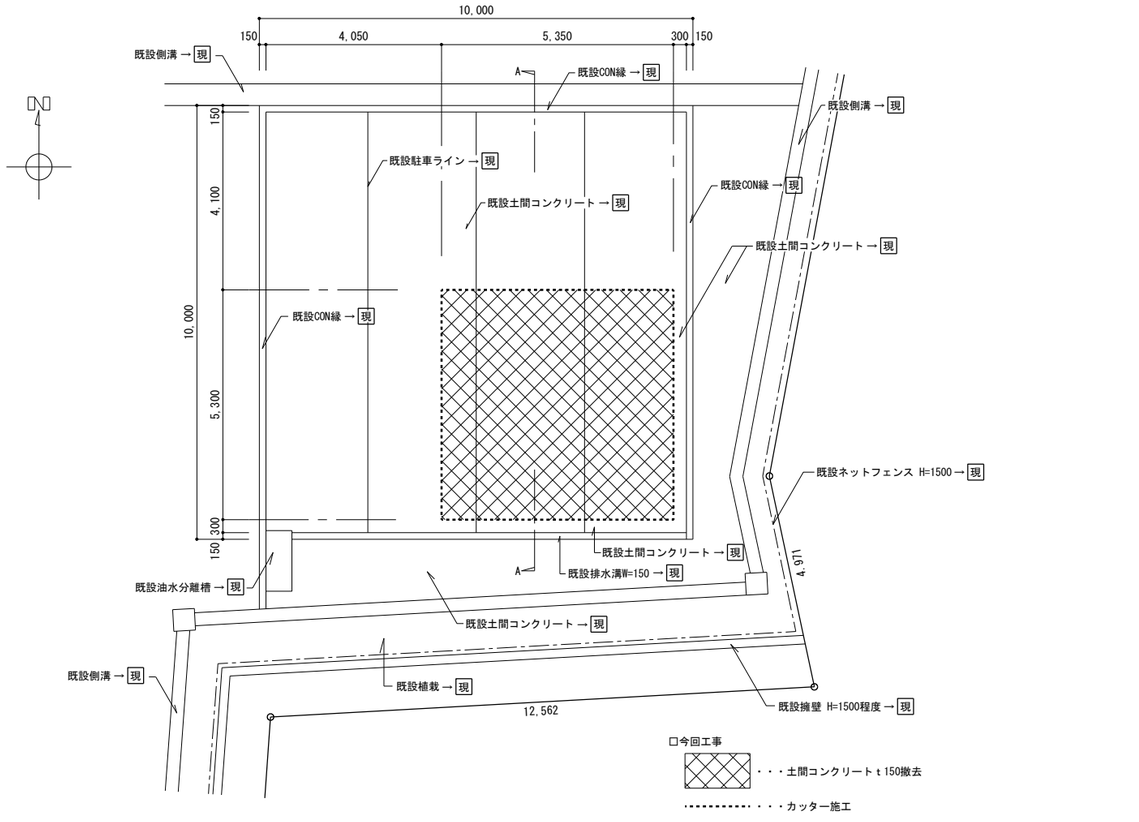
縦断面図 1:20

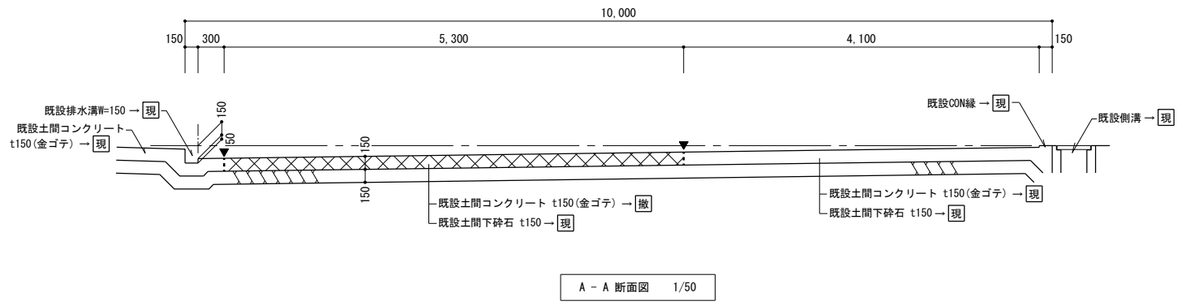
回転式防火衣ロッカー	ＲⅢ－３型（３交替上部収納棚付）
寸　法：Ｗ９５０×Ｄ８５０×Ｈ２６００	
塗　装：粉体焼付塗装	

株式会社　松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	（改修後） 新設家具図（3）	縮尺　A2　1：10 A3　1：14
ＴＥＬ　（0561）32-0318			製図　令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号　松浦孔明		No. A-159

ホースリフター配置図

改修前　平面図　1/100

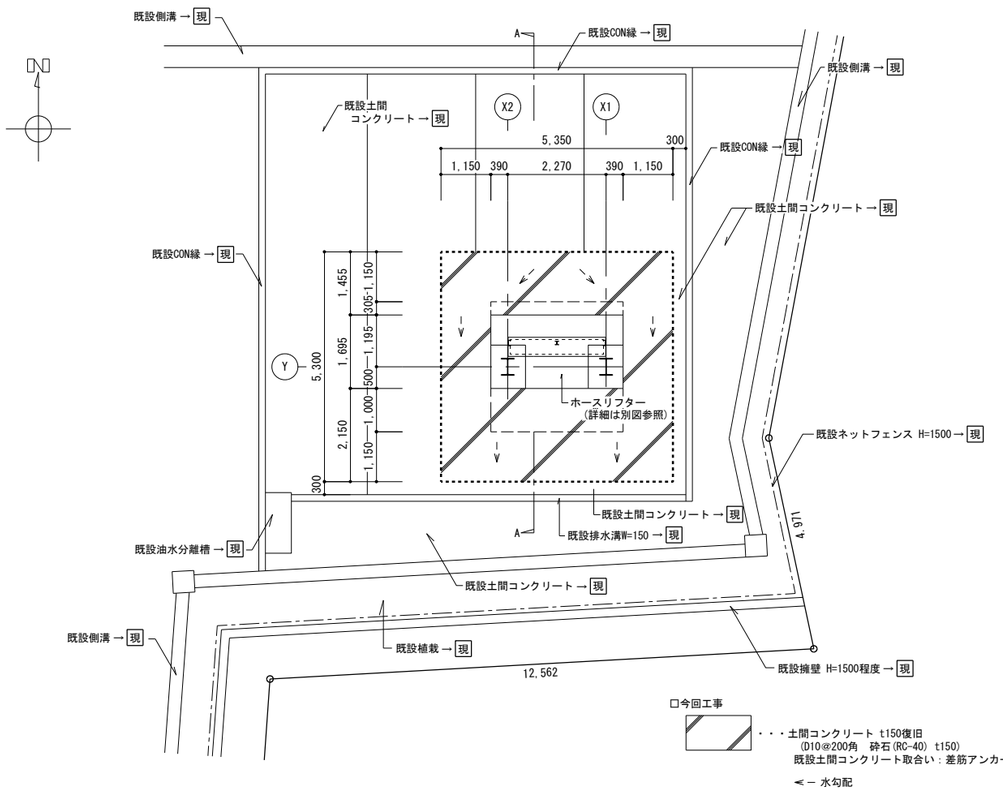


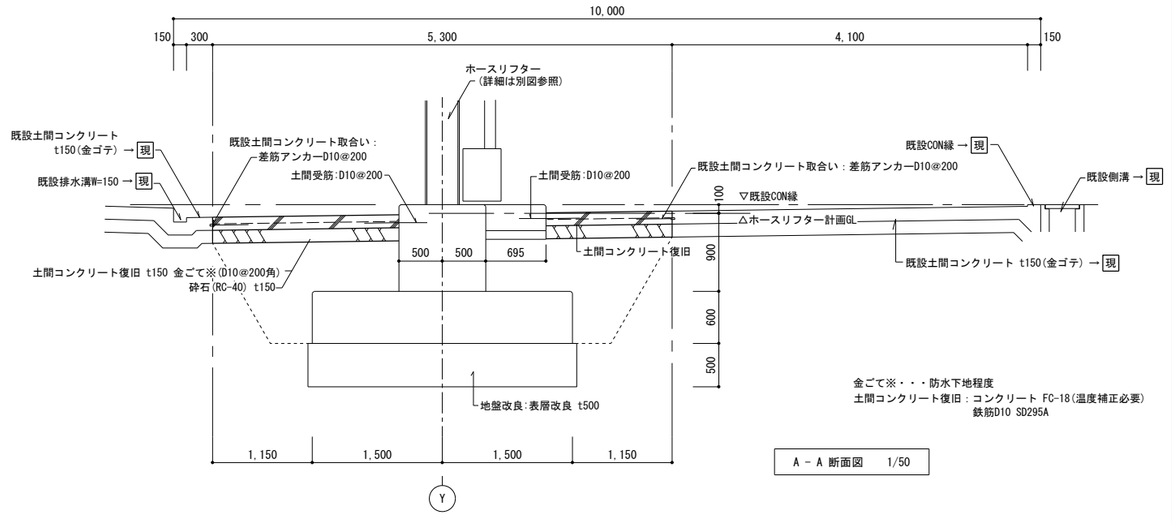


A － A 断面図　1/50

▼・・・カッター施工

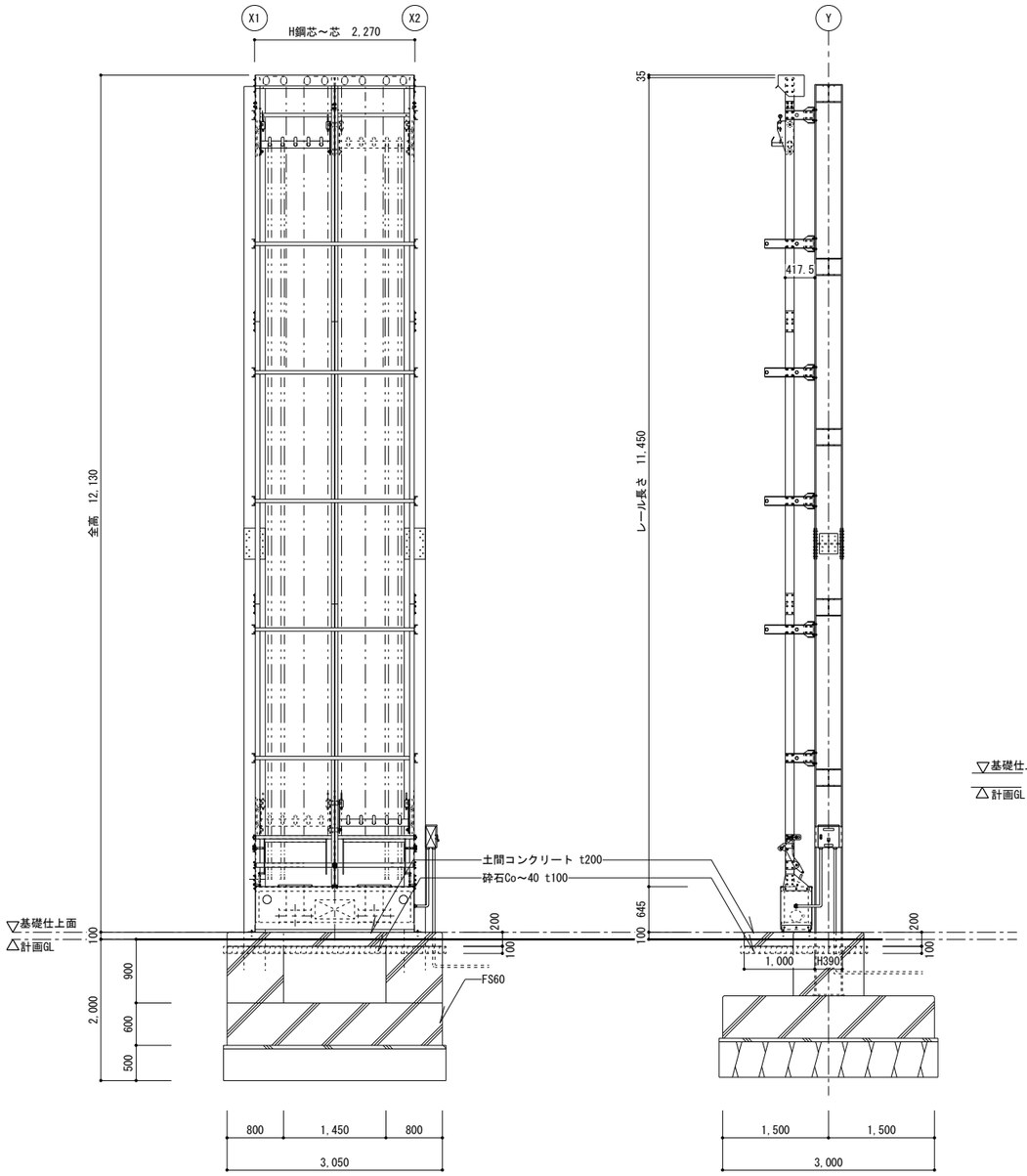
改修後　平面図　1/100





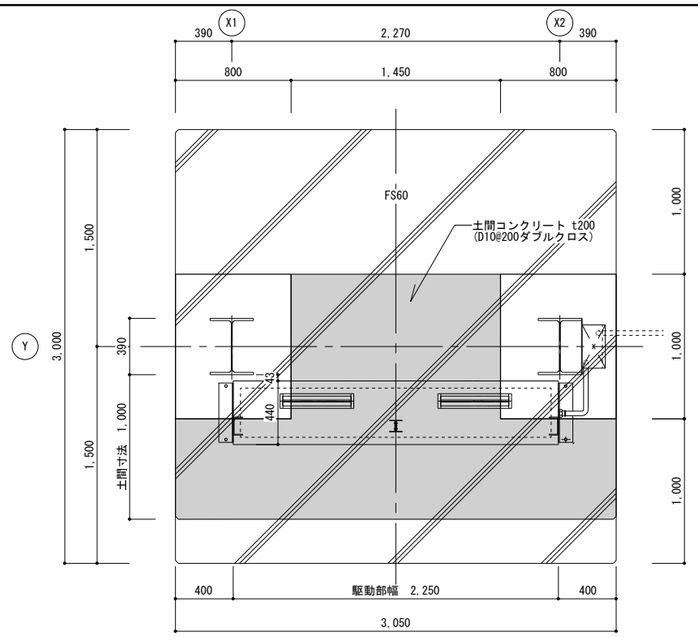
A － A 断面図　1/50

株式会社　松浦建築事務所 TEL　(0561) 32-0318	工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称　ホースリフター配置図	縮尺　A2　1：50　A3　1：71
		製図　令和08年03月
1級建築士 登録第92794号　松浦孔明		No. A-160



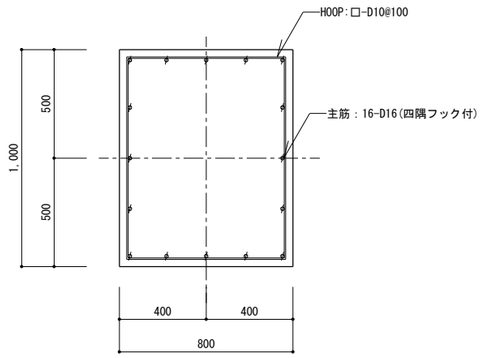
正面図　1：60

側面図　1：60

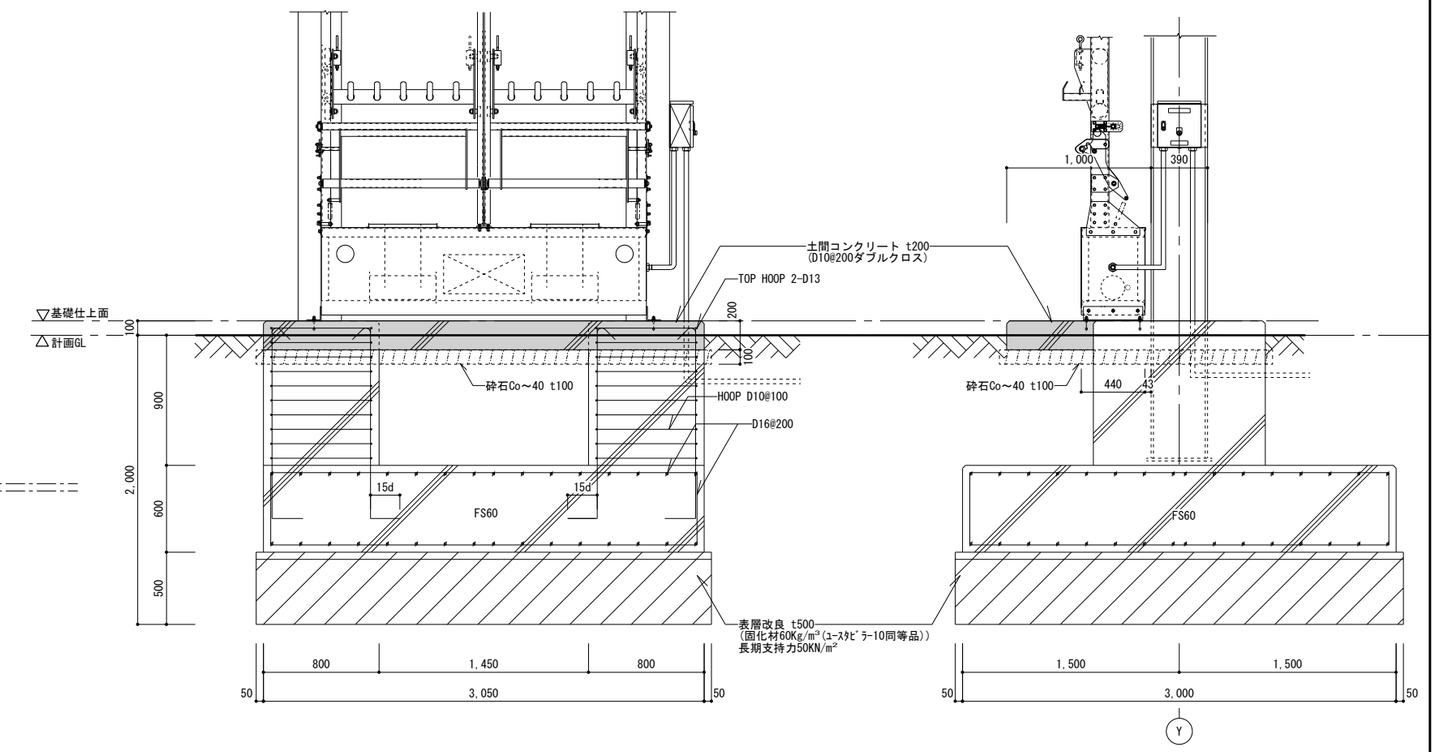


下部駆動部平面詳細図　1：30

：土間コンクリート部分を示す



柱脚詳細図　1：20



基礎断面図　1：30

FS60：ｔ600　上端筋D16@200
下端筋D16@200
(短辺長辺共)

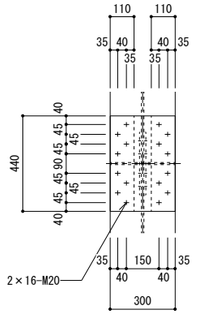
基礎断面図　1：30

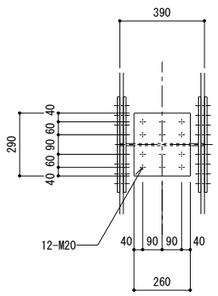
使用材料

コンクリートFc-21（温度補正必要）
鉄筋D10～D16：SD295A（重ね継手）

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561) 32-0318

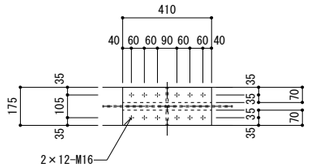
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	ホースリフター 基礎詳細図
縮尺	A2　1：50　A3　1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-161

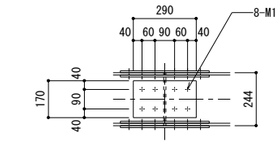




フランジ	３２－Ｍ２０：Ｌ＝７０	2R— 12×300×440 4R— 12×110×440
ウェブ	１２－Ｍ２０：Ｌ＝６０	2R— 9×260×290

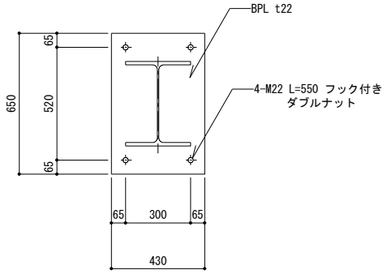
柱継手詳細図　1：20



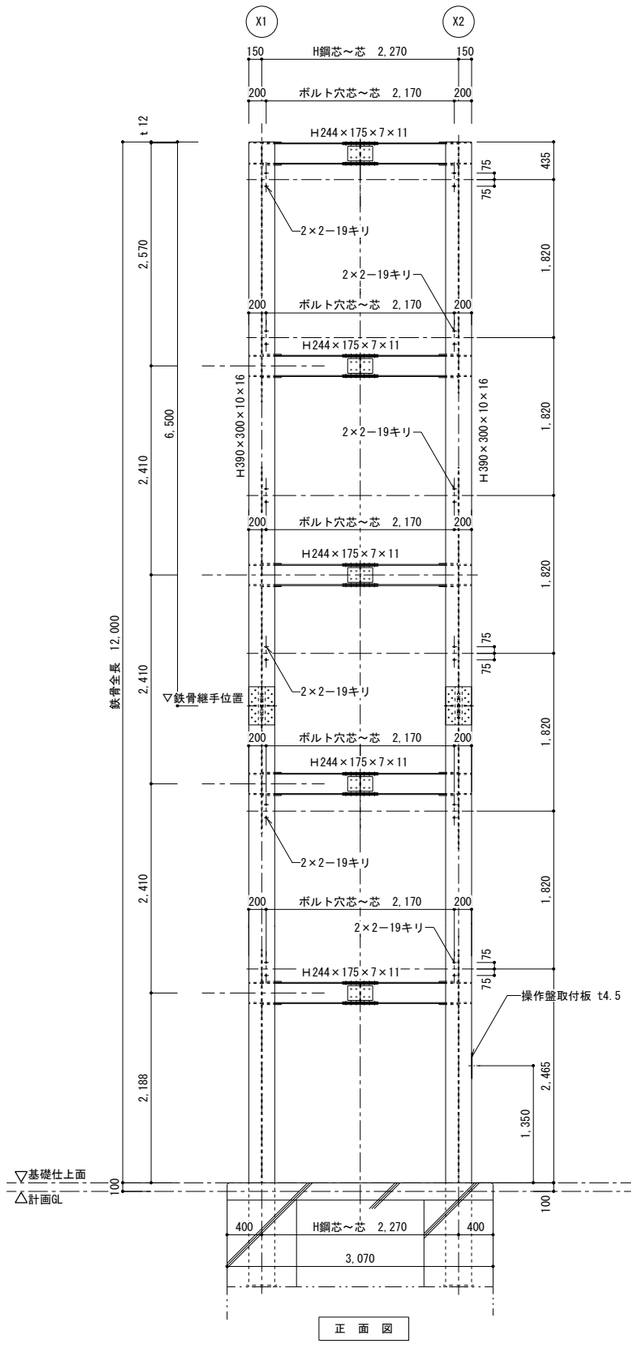


フランジ	２４－Ｍ１６：Ｌ＝５５	2R— 9×175×410 4R— 9× 70×410
ウェブ	８－Ｍ１６：Ｌ＝４５	2R— 6×170×290

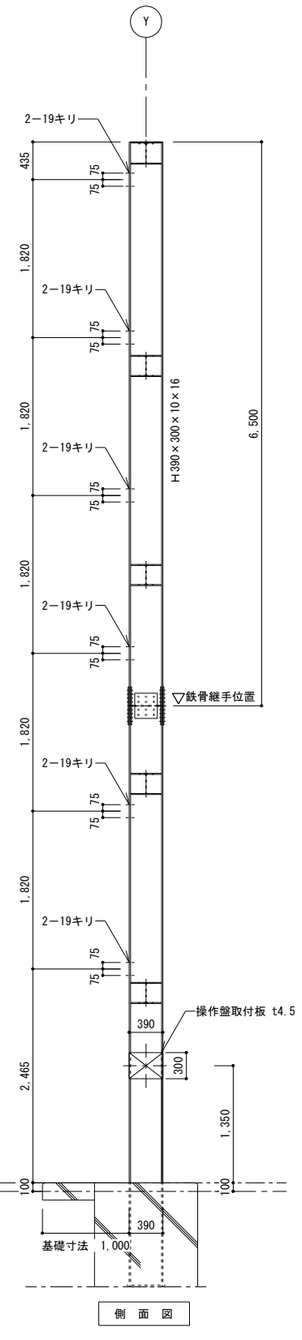
梁継手詳細図　1：20



柱脚詳細図　1：20

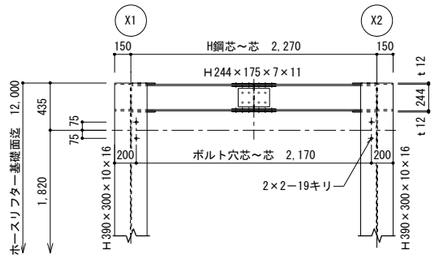


正　面　図

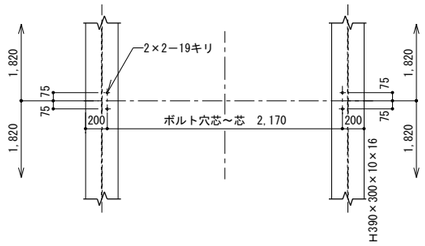


側　面　図

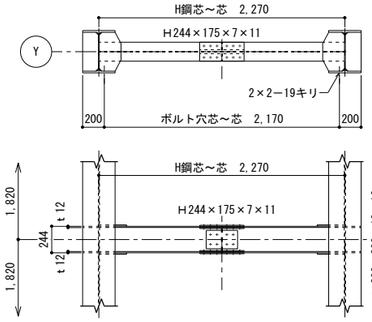
ホースリフター取付用　鉄骨支柱穴あけ配置図　1：50



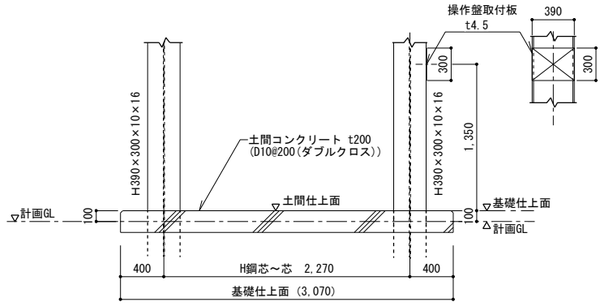
ホースリフター取付用上部穴位置図　1：40



ホースリフター取付用取付穴位置図：40



横梁部詳細図　1：40



下部詳細図　1：40

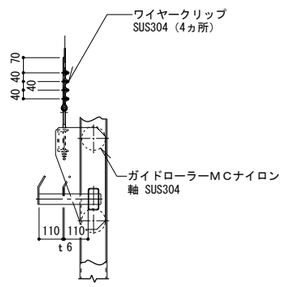
【特記】
溶融亜鉛メッキ仕上げとする.（ＨＤＺＴ７７）
鋼材(柱、梁、プレート、ベースプレート)：ＳＳ４００
ボルト：高力ボルト　Ｆ８Ｔ
アンカーボルト：SS400

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561) 32-0318

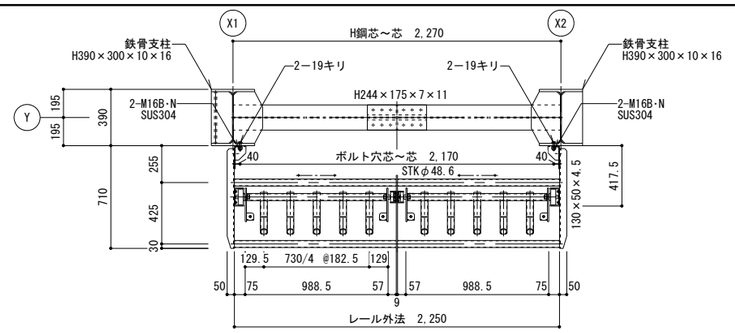
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	ホースリフター取付用 鉄骨支柱穴あけ位置図
縮尺	A2　1：50 A3　1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	A-162

■仕様概略

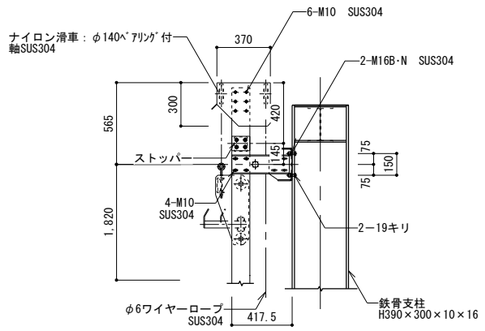
項目	仕様	各部材質及び防錆処理	
型式	ＦＨＤ２００（分割昇降型）	ガイドレール	耐蝕アルミ合金 A6063S-T5
台数	１基		⊏・125×65×6（両側2本） ⊏・80×40×4（中間2本）
外形寸法	W2,250×H12,130	ガイドローラ	MCナイロン 軸SUS304
ホース収容本数	5本×2×2列　計20本	レールブラケット	SS材　溶融亜鉛メッキ
巻上能力	20kg×10＝200kg／列	ホースハンガー	同上
作動	各列単独昇降	ウインチボックス	骨格SS材溶融亜鉛ﾒｯｷ、外板SUS
昇降速度	7.6m／min　60HZ	同上内部機器	生地のまま
電動機	0.75KW　ブレーキ付　2台	吊りワイヤー	2×φ6－2列　ｽﾃﾝﾚｽﾜｲﾔｰ
電源	200V／220V　3相　60HZ	ボルト類	ｵｰﾙｱﾝｶｰ共全てSUS304
操作回路電源	AC　24V		



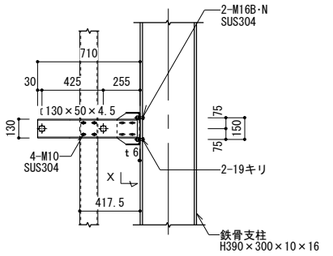
ホースハンガー詳細　1：20



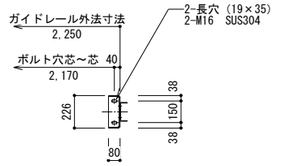
ハンガー及びレールブラケット平面　1：30



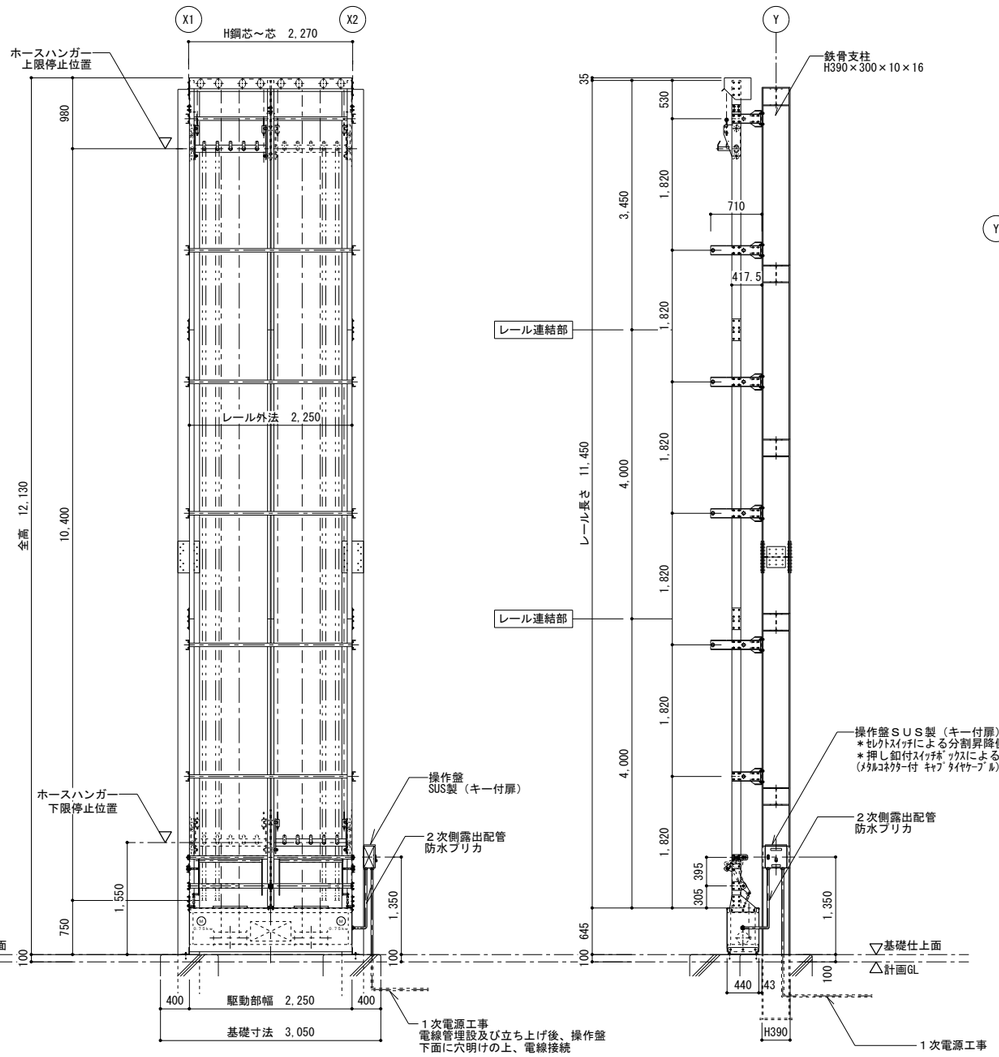
滑車ボックス詳細　1：30



レールブラケット詳細　1：30



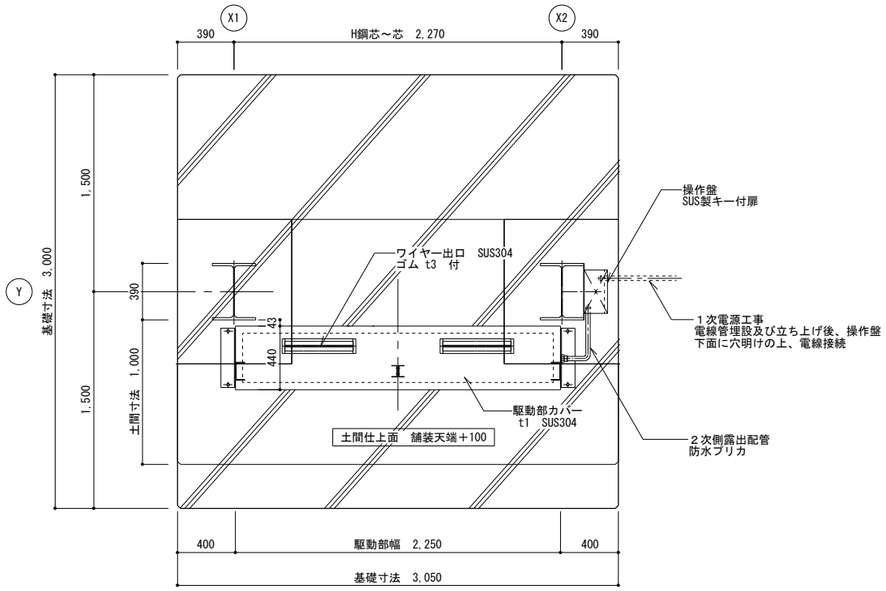
X矢視　1：30



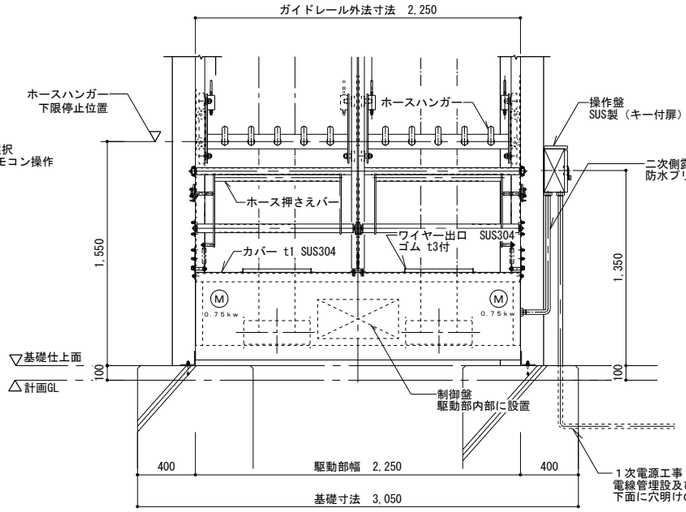
正面図

側面図

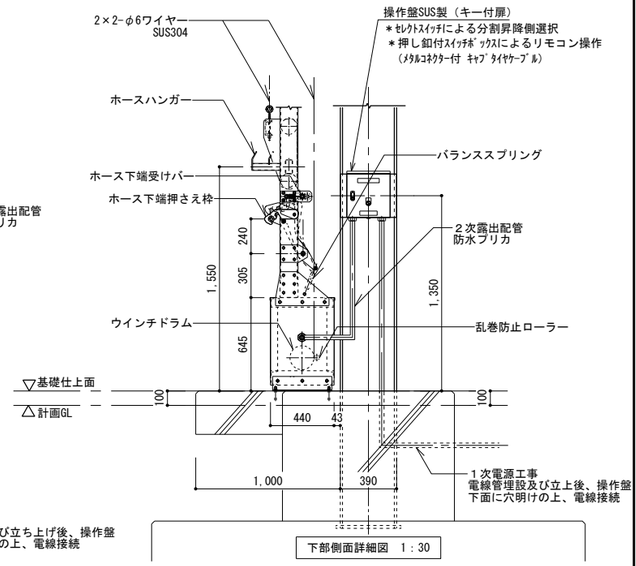
ホースリフターＦＨＤ２００　組立図　1：60



下部駆動部平面詳細図　1：30



下部駆動部正面詳細図　1：30

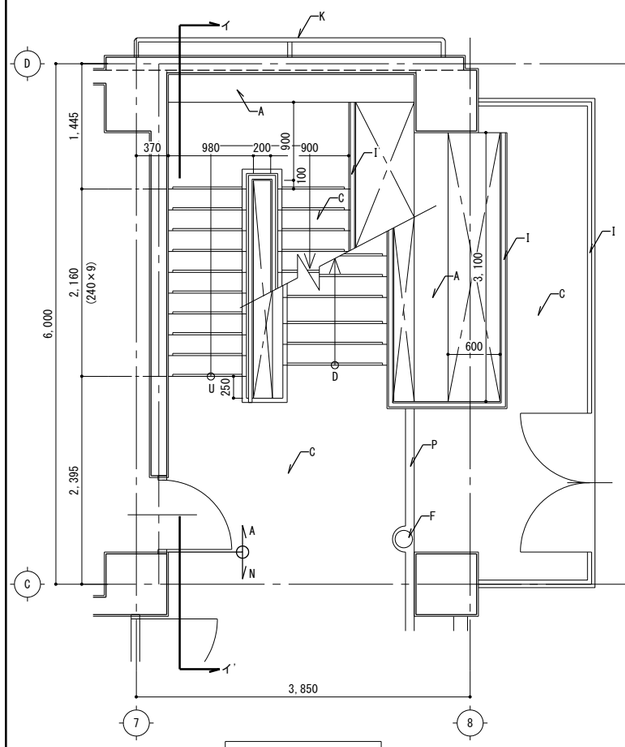


下部側面詳細図　1：30

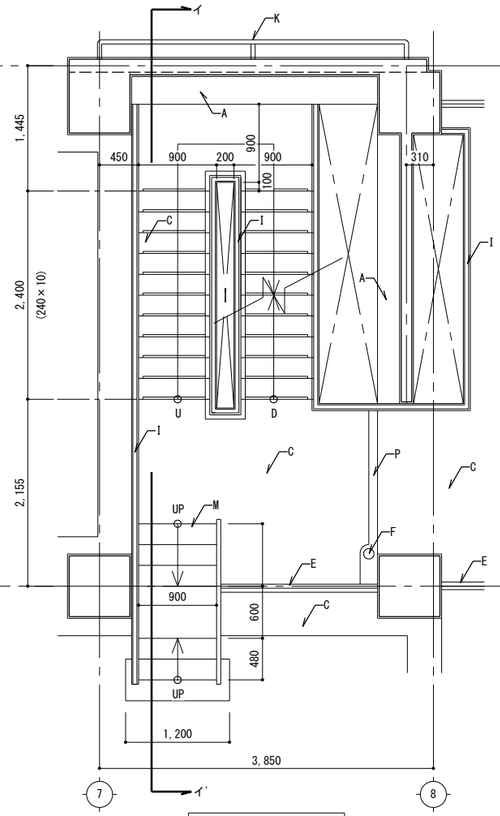
株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561)　32-0318

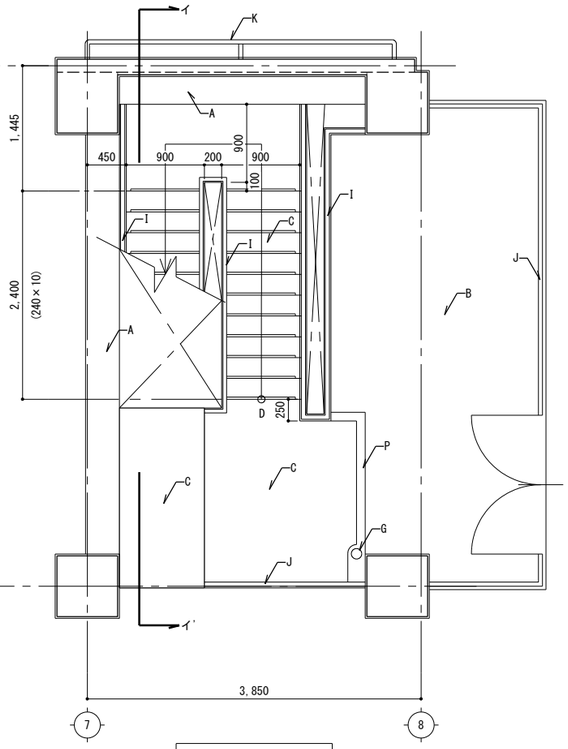
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	ホースリフター 組立図・詳細図	縮尺　A2　1：50 A3　1：71
		製図　令和08年03月
1級建築士 登録第92794号　松浦孔明		No. A-163



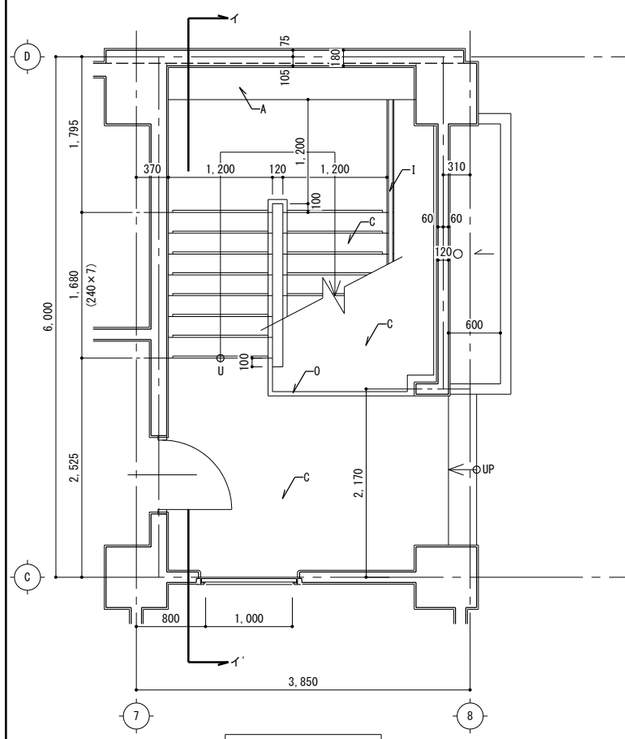
3階　平面詳細図



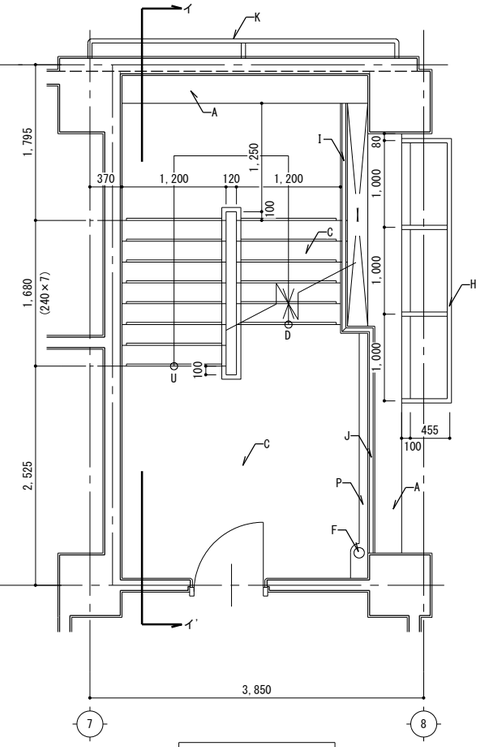
R階　平面詳細図



最上階　平面詳細図

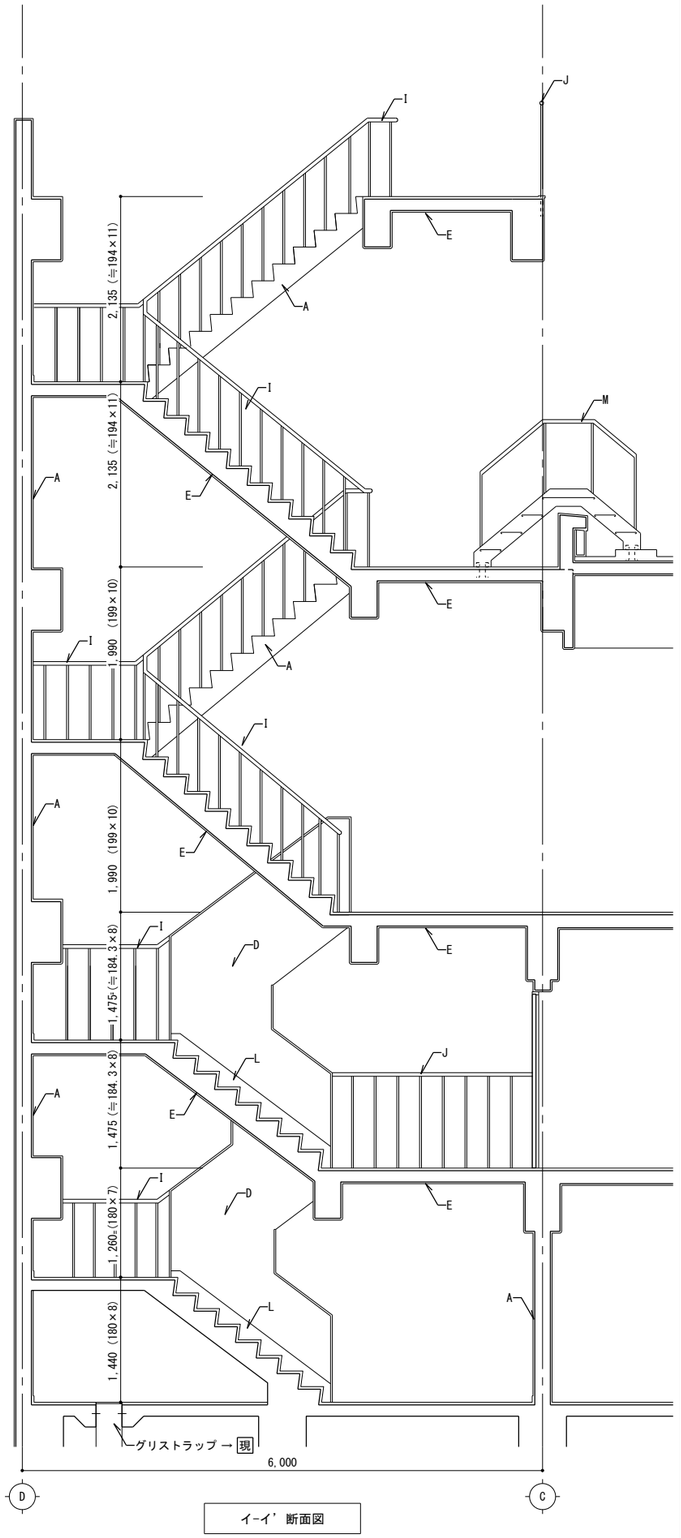


1階　平面詳細図



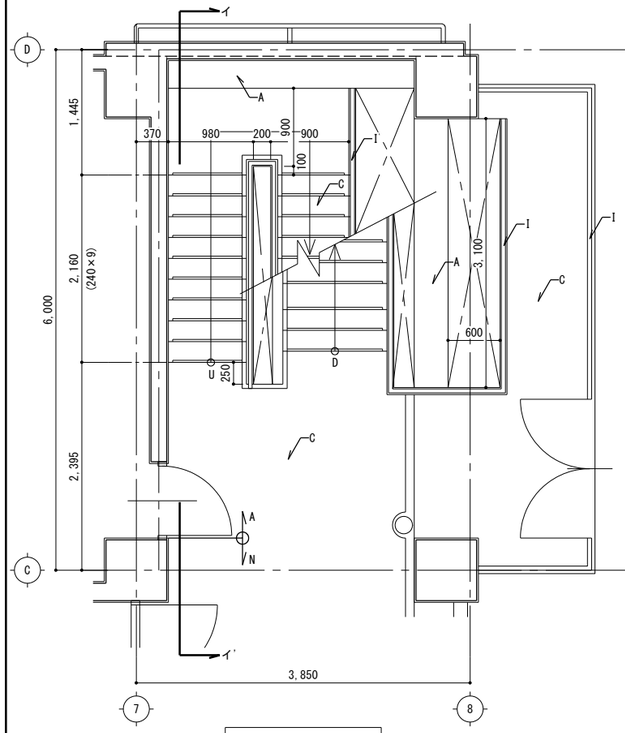
2階　平面詳細図

符号	仕上げ
A	合板型枠打放シ 吹付タイル → 撤 下地調整材共撤去
B	コンクリート金ゴテ押エ シート防水 → 撤 シート防水撤去
C	防水モルタル金ゴテ押エ → 現
D	モルタル下地 吹付タイル → 撤 下地調整材共撤去
E	上裏：合板型枠打放シ アクリルリシン吹付 → 撤 下地調整材共撤去
F	中継ドレン → 現
G	ルーフドレン → 現
H	ホース掛け → 現
I	手すり H=900 → 現
J	手すり H=1,100 → 現
K	訓練塔取付用パイプ48.6φ SUS → 現
L	巾木：モルタル金ゴテ押エ → 現 水洗い、清掃
M	鋼製階段 → 撤 塗膜のみ除去
N	モルタル下地 窯業タイル → 現 塗膜のみ除去
O	排水溝巾50 防水モルタル → 現
P	排水溝巾100 防水モルタル → 現
	：アスベスト含有を示す

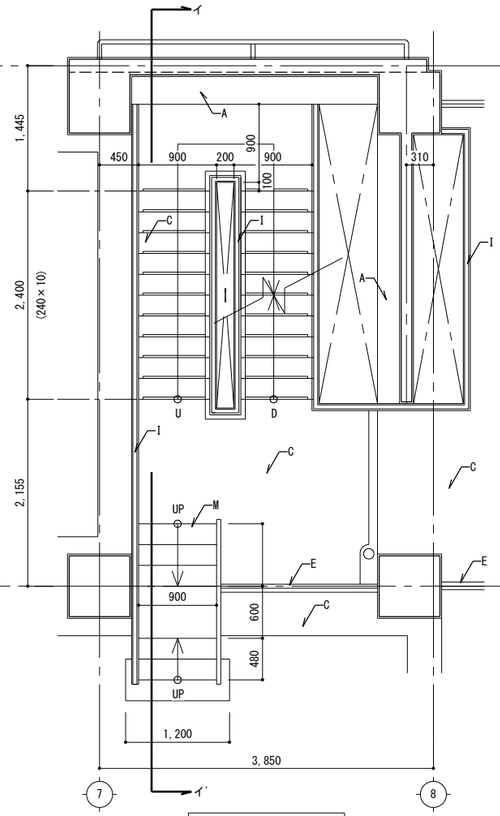


イ-イ' 断面図

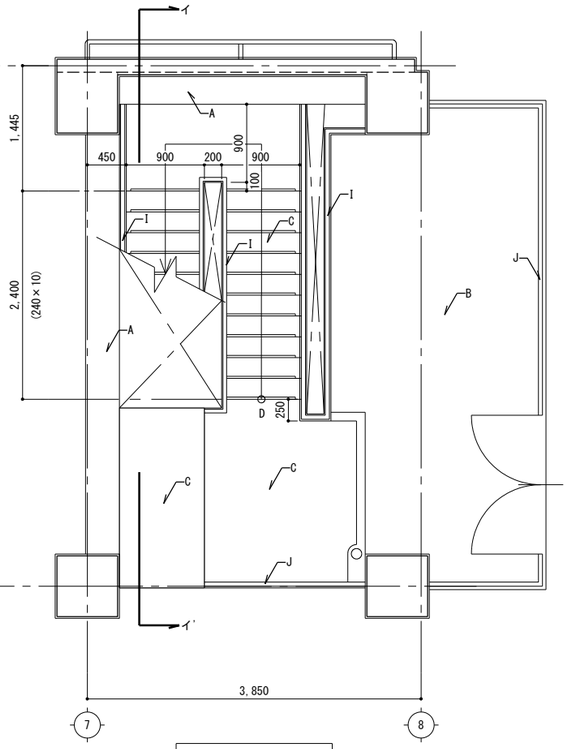
株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	改修前　屋外階段 平面詳細図　断面詳細図
	縮尺	A2　1：50 A3　1：71
	製図	令和08年03月
TEL　(0561)　32-0318	1級建築士 登録第92794号　松浦孔明	No. A-164



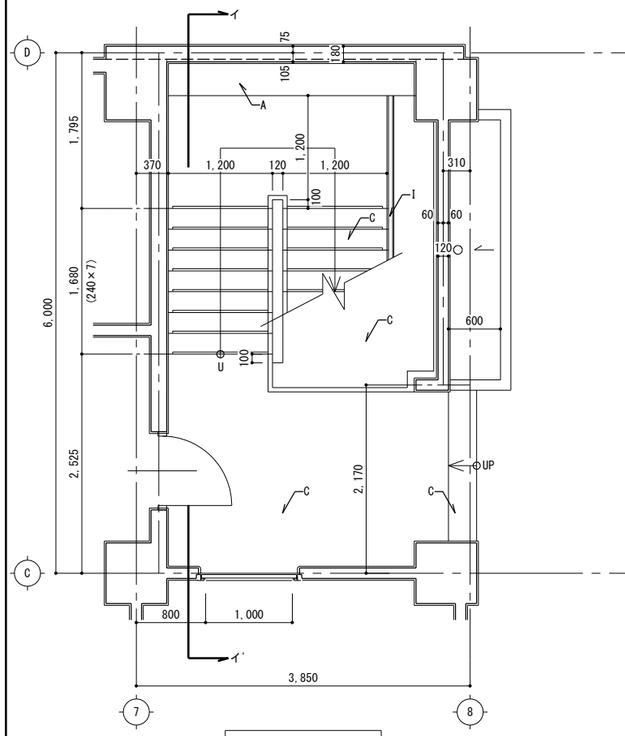
3階　平面詳細図



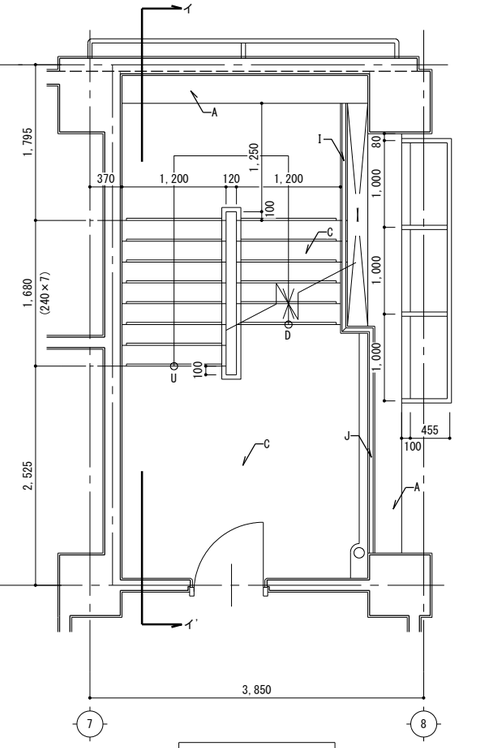
R階　平面詳細図



最上階　平面詳細図

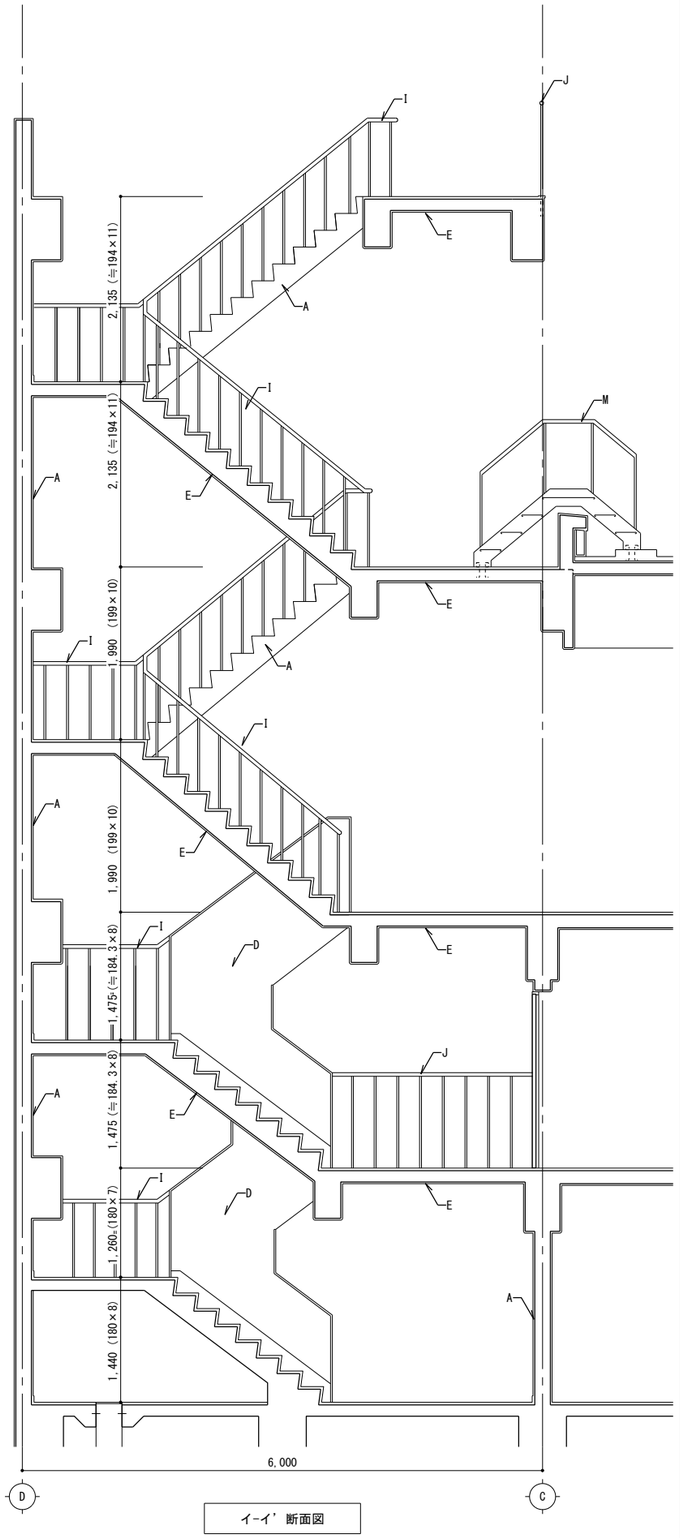


1階　平面詳細図



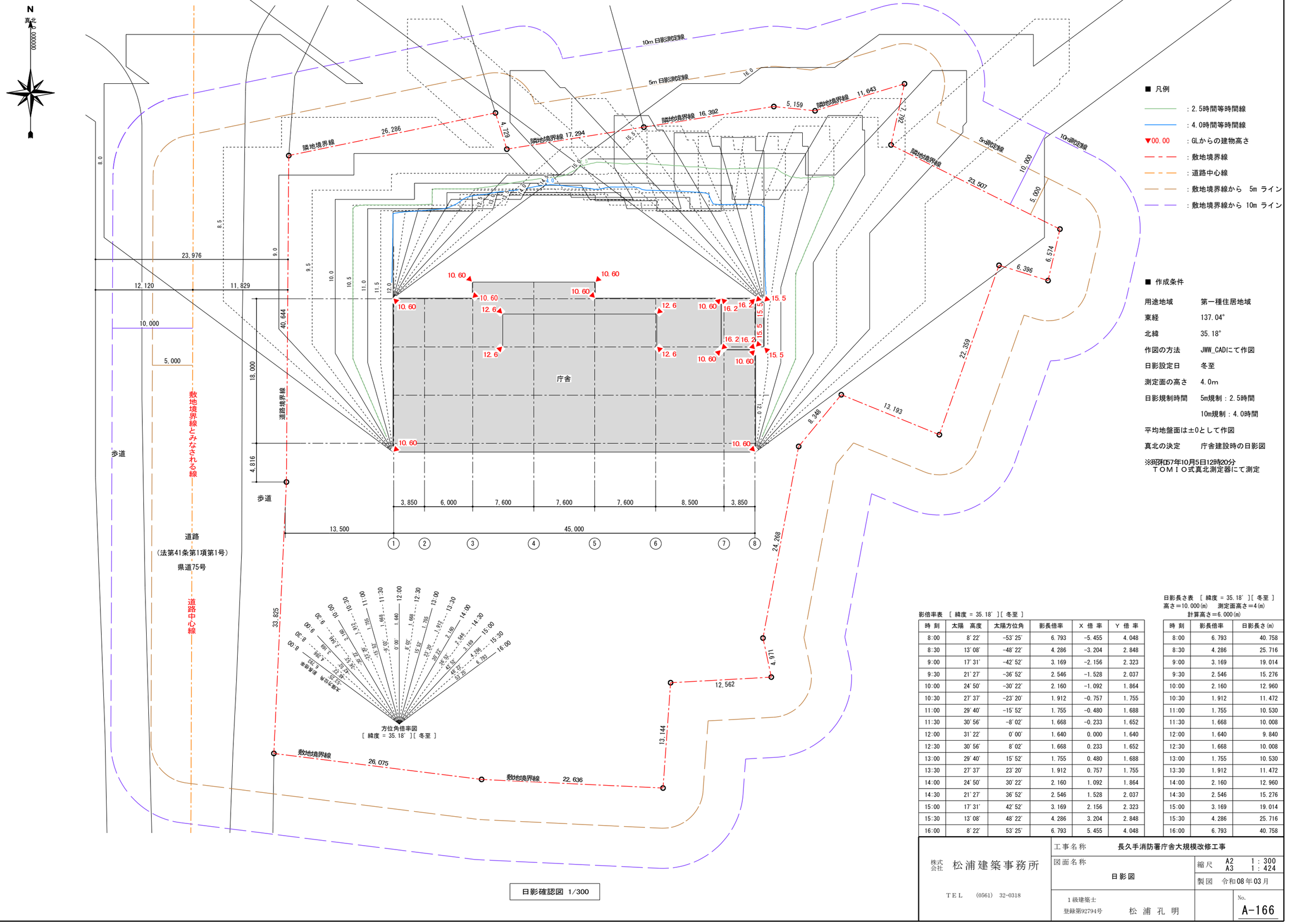
2階　平面詳細図

符号	仕上げ
A	合板型枠打放シ → 改 下地調整 CM-2、可とう形改修塗材RE
B	コンクリート金ゴテ押エ → 改 薄塗り樹脂モルタルの上、塗膜防水(X-2)ノンスリップ工法
C	防水モルタル金ゴテ押エ → 改 欠損部補修
D	モルタル下地 吹付タイル → 改 下地調整 CM-2、可とう形改修塗材RE
E	上裏：合板型枠打放シ → 改 下地調整 CM-2、可とう形改修塗材RE
F	
G	
H	
I	手すり H=900 → 改 DP塗装
J	手すり H=1,100 → 改 DP塗装
K	
L	
M	鋼製階段 → 改 下地調整の上、DP塗装
N	モルタル下地 窯業タイル → 改 外部仕上表に依る
O	
P	



イ-イ' 断面図

株式会社 松浦建築事務所 TEL (0561) 32-0318	工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称 改修後 屋外階段 平面詳細図 断面詳細図	縮尺 A2 1：50 A3 1：71
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. A-165



日影確認図 1/300

影倍率表 ［ 緯度 = 35.18° ］［ 冬至 ］

時 刻	太陽 高度	太陽方位角	影長倍率	X 倍 率	Y 倍 率
8:00	8°22'	-53°25'	6.793	-5.455	4.048
8:30	13°08'	-48°22'	4.286	-3.204	2.848
9:00	17°31'	-42°52'	3.169	-2.156	2.323
9:30	21°27'	-36°52'	2.546	-1.528	2.037
10:00	24°50'	-30°22'	2.160	-1.092	1.864
10:30	27°37'	-23°20'	1.912	-0.757	1.755
11:00	29°40'	-15°52'	1.755	-0.480	1.688
11:30	30°56'	-8°02'	1.668	-0.233	1.652
12:00	31°22'	0°00'	1.640	0.000	1.640
12:30	30°56'	8°02'	1.668	0.233	1.652
13:00	29°40'	15°52'	1.755	0.480	1.688
13:30	27°37'	23°20'	1.912	0.757	1.755
14:00	24°50'	30°22'	2.160	1.092	1.864
14:30	21°27'	36°52'	2.546	1.528	2.037
15:00	17°31'	42°52'	3.169	2.156	2.323
15:30	13°08'	48°22'	4.286	3.204	2.848
16:00	8°22'	53°25'	6.793	5.455	4.048

日影長さ表 ［ 緯度 = 35.18° ］［ 冬至 ］
高さ＝10.000(m) 測定面高さ＝4(m)
計算高さ＝6.000(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.793	40.758
8:30	4.286	25.716
9:00	3.169	19.014
9:30	2.546	15.276
10:00	2.160	12.960
10:30	1.912	11.472
11:00	1.755	10.530
11:30	1.668	10.008
12:00	1.640	9.840
12:30	1.668	10.008
13:00	1.755	10.530
13:30	1.912	11.472
14:00	2.160	12.960
14:30	2.546	15.276
15:00	3.169	19.014
15:30	4.286	25.716
16:00	6.793	40.758

株式会社 松浦建築事務所
ＴＥＬ (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称 日影図

縮尺 A2 1：300 A3 1：424

製図 令和08年03月

1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. A-166

電　気　設　備　工　事　特　記　仕　様　書

２０２４年４月１日改訂

編	節・項目	特記事項	備考
第１編 一般共通事項	第１章 一般事項 第１節 総則		
	1.1.1 適用範囲	１．この特記事項以外は下記に準拠する。但し、本工事に関係しない事項は適用しない。 １）尾三消防組合 工事請負契約約款 ２）工事請負契約書 ３）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和 7 年版） ４）〃 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和 7 年版） ５）〃 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和 7 年版） ６）〃 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和 7 年版） ７）〃 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和 7 年版） ８）〃 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 7 年版） ９）〃 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 7 年版） １０）〃 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和 7 年版） １１）〃 建築物解体工事共通仕様書（令和 7 年版） １２）関係法令及び諸工事基準 ２．特記事項の適用優先順位 １．◎ （又は○） ２．※ ただし ◎ （又は○）と ※ のある場合は共に適用する。 ３．本工事に使用する資材は、「電気設備工事指定資材」によるものとする。 ４．設計図書に関する疑義は原則として、入札執行前に質問書の提出によって確かめるものとする。	【改修 1.1.1】
	1.1.3 官公署その他への届出手続等	＊ 工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他の関係組織への必要な届出手続等を遅滞なく行う。	【改修 1.1.3】
	1.1.4 工事実績情報の登録	＊ 契約金額が500万円以上の工事は、（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）の工事実績情報サービス（CORINS）に、工事実績情報の登録を、その内容について監督職員の確認を（JACICの様式「登録のための確認のお願い」に従って）受けた上、行う。 また、登録後にJACICが発行する「登録内容確認書」を、監督職員へ提出する。 （1）工事受注時 契約締結後10日以内 （2）登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内 （3）工事完成時 工事完成後10日以内 なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。	【改修 1.1.4】
	1.1.7 別途契約の関連工事	項目 / 工事区分（建築・電気・管・空調・汚水処理） / 備考	

項目	建築	電気	管	空調	汚水処理	備考	項目	建築	電気	管	空調	汚水処理	備考
設備スリーブ箱入		※	※	※	※		水槽・その他マンホール	※					
同上用構造体補強	※						厨房機器接続		※	※			
〃 防水処理	※						化粧棚及び鏡						
天井・壁埋込器具切込補強	※					天井下地共	実験台設備接続						
設備機器基礎・防水処理	※					防水処理又は配管機器類に伴うもの	ワイランド用受台	※					
設備機器用アンカーボルト		※	※	※	※		防煙ｼｬｯﾀｰ、同用煙感知器、防火戸自閉装置及び各間の配 線	※					
（外部）空気取入・換気ガラリ	※												
（内部）空気取入・換気ガラリ	※												
換気扇取付枠	※						同上盤までの電源送り		※				
建物内外配線配管ピット蓋	※						排煙口開放装置				※		
建物内排水溝	※						排煙口手動開放装置	※					
たて樋接続用横引管	※						消火栓組込発信器類及び取付		※				
発電機用 冷却用給水排水		※				減圧水槽以降	不燃性ガス消火設備への電源送り		※				
〃 燃料用油配管		※				燃料小出槽以降	同上制御盤及び制御配線			※			
〃 通気管		※					電動黒板・電動パリマクへの電源送り		※				
〃 オイルタンク		※											
動力制御盤及び配線		※					受水槽・高架水槽基礎	※					
自動制御盤及び配線				※	※		〃 ・ 〃 架台			※			
自動制御盤への電源送り		※					天井・壁改め口	※					
ファンコイルへの電源送り		※					床・改め口	※					
液面電極体リレー及び配線		※					汚水桝			※			汚水処理槽流入側槽入口汚水桝を除く
床排水金物			※										
流し台排水金物	※						雑排水桝			※			
〃 設備接続			※				雨水桝	※					

1.1.8	疑義に対する協議等	＊ 設計図書について、監督職員と協議を行った結果、設計図書の訂正または変更を行う場合の措置は、契約書の規定によるほか「愛知県建設局他（都市 交通局・建築局）設計変更事務取扱要領」（令和7年2月改）及び「愛知県建設局工事設計変更ガイドライン」（令和6年2月）に定めるところによる。	
第２節	工事関係図書		
1.2.1	実施工程表	＊ 概成工期 ・ 有（ 年 月 日）※ 無	
1.2.4	工事の記録	＊ 工事写真 １．着手前 工事の着手に先だち、敷地及び周辺道路、建築物、工作物等の現況を撮影する。 ２．工事中 右図に示す黒板に所定事項を明記し、工事の進捗状況を撮影、記録するとともに、特に施工後隠ぺい又は埋設される部分は、被写体に幅広テープを添え撮影する。 ３．完成時 外部（カラー 5箇所） 内部（カラー 適宜箇所） ※デジタルカメラの撮影素子の有効画素数は100万画素程度から300万画素程度を標準とする。	

件名	
名称	
位置	
工程	
備考	
撮影年月日	

600 × 700

第３節	工事現場管理		
1.3.1	施工管理	＊ 主任技術者、監理技術者、特例監理技術者及び特例監理技術者を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）の設置及びその他制度の運用については、「監理技術者制度運用マニュアル」（令和７年２月１日付け国土建第１４７号国土交通省不動産・建設経済局建設業課長通知）によるものとする。	【改修 1.3.1】
	特例監理技術者	＊ 本工事において、建設業法第２６条第３項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の要件を全て満たさなければならない。「特例監理技術者」を配置する場合においては、特記仕様書等に示す「監理技術者」を「特例監理技術者」と読み替えるものとする。 １）建設業法第２６条第３項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者（以下「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。 ２）監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有するものであること。 なお監理技術者補佐の建設業法第２７条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。 ３）監理技術者補佐は受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。 ４）同一の特例監理技術者を配置できる工事の数は、本工事を含め同時に２件までとする。（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。）については、これら複数の工事を一つの工事とみなす。） ５）特例監理技術者が兼務できる工事は、尾三消防組合管内の工事でなければならない。 ６）特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会い等の職務を適正に遂行しなければならない。 ７）特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。 ８）監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。 ９）特例監理技術者が兼務できる工事は尾三消防組合入札価格調査要領第４条に規定する基準価格を下回った価格をもって契約された工事でないこと。 ＊ 本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務する事となる場合、仕様書等に規定する兼務届に加えて、上記１）～９）について各工種における業務分担、連絡体制等を記載した施工計画書を提出すること。 ＊ 本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切に工事実績情報サービス（ＣＯＲＩＮＳ）への登録を行うこと。	
1.3.2	電気保安技術者	＊ ※ 適用する ・ 適用しない	【改修 1.3.2】
1.3.3	施工条件	＊ １）施工時間 時間制限 ※ 有 ・ 無 ２）施工に必要な実日数以外に見込んでいる事項 準備期間 （・） 30日 ※（ ） 休日（年末年始休暇及び夏季休暇） （・） 9日（土日含む）※（ ） その他の作業不能日 ・（ 日） ※ 図示による ３）工事車両の駐車場所 場所制限 ※ 有 （※敷地内 ） ・ 無 ４）資機材置場所 置場制限 ※ 有 （※敷地内 ） ・ 無 ５）その他 （・）（ 通期による週休二日 土日休みを基本とする ）	【改修 1.3.3】

No.1a

編	節・項目	特記事項	備考
第１編 一般共通事項	1.3.4 品質管理	＊ 「工事監理ガイドライン」（平成21年9月1日策定 国土交通省住宅局建築指導課） ・ 適用する ※ 適用しない 適用に当たっては、「工事監理ガイドライン」４．（１）確認項目及び確認方法の例示一覧（別紙）に、確認項目として掲げられた工事内容のうち、「具体的な確認方法」欄に品質管理記録により確認するものについて、（２）留意事項に留意し、品質管理の記録を監督職員に提出し確認を受ける。 ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた確認項目については、この限りでない。	
	1.3.9 発生材の処理等	＊ 特別管理産業廃棄物の有無 ・ 無 ・ 有（処理方法： ） ＊ 現場において再利用を図るもの （ ） ＊ 工事に伴い発生する指定副産物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出する。 ※ コンクリート塊 ※ アスファルトコンクリート塊 ※ 建設発生木材 ・（ ） ＊ 下記の物品はPCBの混入が疑われるため、専門の分析機関に依頼し、その有無を確認する。 （ ） 昭和47年以前の建築物：ポリサルファイド（チオコール）系コーキング 平成元年以前の製造機器：蛍光灯安定器、コンデンサ、リアクトル、コンデンサ用放電コイル、変圧器（絶縁油中の濃度0.5mg/kg以下のものは対象外） 上記以外においても、PCB混入の恐れがある場合は、監督職員と協議の上、確認すること。 ＊ PCBを使用している機器材料は、適切は容器に収めた上で引渡しを要する。撤去した機器のﾒｰｶｰ名・型番・製造年月日を記載したﾘｽﾄを作成して都市計画課へ提出する。 ＊ 引渡しを要するものは、監督職員の指定する場所に整理し、リストを作成し施設管理者へ引き渡す。 ＊ 引渡しを要しないものは、すべて場外に搬出し、下記建設副産物の項及び関係法令に従い、適切に処理する。	【改修 1.9.1】
	【改修1.9.1】	＊ 発生材の保管、集積場所が必要な場合 ・ （ ）	
	*建設副産物	１．発生材については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）その他関係法令の規定に遵守し「愛知県建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱（以下「リサイクルガイドライン」という。）に基づき、適正に処理する。 ２．事前に建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）に登録及び必要事項を入力し、COBRISより出力される「リサイクルガイドライン」に定める計画書（①、②）を監督職員に提出する。 ①再生資源利用計画書（実施書）（様式1） ②再生資源利用促進計画書（実施書）（様式2） ３．工事完了時に「リサイクルガイドライン」に定める実施書（①、②）の内容をCOBRISに登録及び工事登録証明書を作成し、監督職員に提出する。 ４．建設リサイクル法第９条第１項の対象建設工事に該当する工事は、再資源化等が完了したとき、同法第１８条第１項に基づく報告として、監督職員に「再資源化等報告書」を提出する。 ５．産業廃棄物管理表（以下「マニフェスト」という。）管理台帳を作成し、監督職員に提出する。また、マニフェスト伝票は整理して保管し必要に応じて検査員等に提示する。 マニフェスト管理台帳は、交付した全てのマニフェストについて、交付番号、収集運搬業者、処分業者及び廃棄物の内訳（またはm3）を記載したものとする。	
	*撤去・更新時のフロン等の取扱い	＊ 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」（令和２年４月１日施行）に基づいて行うこと。	
	*分別収集	＊ ・ しない ※ する 「リサイクルガイドライン別表３」による。	
第１編 一般共通事項	第４節 機器及び材料		
	1.4.1 環境への配慮	＊ 屋内で使用する材料、塗料及び接着剤のホルムアルデヒド放散料 ※ F☆☆☆☆ ・（ ） ＊ 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。	
	1.4.2 機材の品質等	１．機器類の能力容量は原則として表示された数値以上とする。（ただし、電気容量は参考とする。） ２．使用する材料は全て石綿を含まないものとする。 ３．本工事に使用する資材等は、品質が規格値を満足し、かつ価格が適正である場合には、県内産の優先使用に努めるものとする。	
	*再生資源の利用の指定	＊ 使用する資材は、リサイクル資材の率先利用を図るため、「愛知県あいくる材率先利用方針」を遵守し、あいくる材として認定されている資材の利用に努める。 １）下記指定材一覧表のうち、愛知県あいくる材率先利用方針第３のAグループの資材は、あいくる材の認定資材を使用する。	

施工場所	品目	規格	再生原料等の指定
			・ 指定しない ・
			・ 指定しない ・
			・ 指定しない ・
			・ 指定しない ・

２）あいくる材の指定があるものについて、それ以外のものを使用する場合は、監督職員の承諾を要する。
３）指定材以外の使用に努める品目は、次のとおりとする。
・ 再生加熱アスファルト混合物 ・ 再生路盤材 ・ ＰＣ製品 ・ 舗装用ブロック

	*再生資源の利用の報告	＊ 工事完了時にあいくる材の使用実績をリサイクルガイドライン様式８「あいくる材使用状況報告書」及び様式９「あいくる材使用実績集約表」を監督職員に提出する。	
【改修】1.4.3	再使用機材	＊ 取外し後再使用する機材 ※ 図示による ・（ ） ＊ 特別な清掃を行う機材及びその方法 ※ 図示による ・（ ）	
第５節	施工		
1.5.3	施工の検査等	＊ 見本施工 ・ 行う ※ 行わない	【改修 1.6.4】
1.5.7	化学物質の濃度測定	＊ 化学物質の濃度 ・ 測定する ※ 測定しない 測定する室/箇所数 （ / ）（ / ）（ / ） 測定方法 ※ パッシブ型採取法 ・ 文部科学省「学校環境衛生の基準」による ・（ ） 対象物質 ※ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン ・ パラジクロロベンゼン ・（ ） ＊ 着工前の測定 ※ 行わない ・ 行う（ ）	【改修 1.6.8】
第６節	工事検査及び技術検査		
1.6.2	技術検査	＊ 中間技術検査 ・ 行わない ・ 行う （実施回数： 回、実施する段階： ）	【改修 1.10.2】
第７節	完成図等		
1.7.1	完成時の提出図書	※ 愛知県建設局建築工事事務の手引による。	【改修 1.11.1】
1.7.2	完成図	※ 工事完了までに、竣工図（Ａ３二つ折り製本）を２部提出する。 ＊ ＣＡＤデータ ※ 提出する（CD-RまたはDVD-R） ・ 提出しない	【改修 1.11.2】
【改修】７節	養生		
【改修】1.7.1	養生範囲	＊ 養生範囲 ※ 図示による ・（ ） ・ 【改修1.7.1】による箇所	
【改修】1.7.2	養生方法及び清掃	＊ 養生方法 ※ ビニルシート ※ 合板 ・（ ） ＊ 既存設備の養生方法 ※ ビニルシート ※ 合板 ・（ ） ＊ 備品等の移動及び養生 ※ 図示による ・（ ） ＊ 機材搬入及び撤去機材搬出通路 ※ ビニルシート ※ 合板 ・（ ）	
【改修】８節	撤去		
【改修】1.8.1	一般事項	＊ 内容物の回収を要する機器、配管等の処置 ※ 図示による ・（ ）	
【改修】1.8.2	撤去作業の安全対策	＊ 石綿の撤去 ※ 図示による ・（ ）	
【改修】1.8.6	撤去後の補修及び復旧	＊ 機器等撤去後の補修及び復旧 ※ 図示による ・（ ） ＊ 開口部（床、壁、天井等の撤去後） ＊ 補修方法 ※ 図示による ・ 監督職員と協議 ・（ ） ＊ 仕上げの仕様 ※ 図示による ・ 監督職員と協議 ・（ ）	
その他	*光熱水費	＊ 建物引き渡しまでの電気、水道、ガス等の料金（基本料金、電気主任技術者委託料を含む）は、協議の上、各工事受注者が負担する。	
	*仮 設	＊ 仮設の方法は施設管理者及び監督職員と協議する。	
	*現場代理人	＊ 現場代理人においては、受注者との直接的な雇用関係があること。	
	*火災保険等の加入方法	＊ 電気設備工事の保険の種類は、火災保険又は組み立て保険とする。 期間は、工事資材の現場搬入の日から工事目的物の引渡しの日までとする。（特に定めのない限り、契約上の工事完成期日経過後14日間とする。） 保険金受取人（被保険者）は、受注者とする。	
	*法定外の労災保険	＊ 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。	
	*工事中の安全管理	＊ 南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まった旨の「南海トラフ地震臨時情報」が発表された場合、受注者は、継続的に地震関連情報の収集に努め、工事中の建築物等及び仮設物に対し、必要な安全対策措置が実施されているかの確認、及び作業員や必要に応じ第三者に対する安全の再確認を行うなど、有事に際しての備えを行うこと。	
	*事故報告	＊ 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。	
	*工事の下請負	＊ 受注者は、下請負に付する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。 １）受注者が、工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。 ２）下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。 ３）下請負者は、建設業法に基づく営業停止の期間中でないこと。 ４）下請負者が、尾三消防組合の競争入札参加資格者である場合には、尾三消防組合指名停止等措置要領に基づく入札参加停止期間中でないこと。 ５）下請負者は、「愛知県が行う契約等からの暴力団排除に関する事務取扱要綱」に掲げる排除措置の措置要件に該当しない者であること。	

株式会社	松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
TEL (0561) 32-0318		図面名称	電気設備工事特記仕様書（１）
		縮尺	NS
		製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No.	E-001

２０２４年４月１日改訂

編	章・節・項目	特記事項	備考
第１編 一般共通事項	*施工体制台帳	＊ 建設業法第２４条の８第１項の規定により作成した施工体制台帳（同項の規定により記載すべきものとされた事項に変更が生じたことに伴い新たに作成されたものを含む。）の写しを監督職員に提出すること。（公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第15条）	
	*施工体系図	＊ 下請契約を締結する場合においては、下請金額に関わらず施工体系図を作成し、工事現場の工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲示する。	
	*騒音・振動対策	＊ 「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達）」及び関連法規の規定を厳守し施工する。 また、騒音規制法、振動規制法の規制の対象となる作業（特定建設作業）及び下記に指定した建設機械については、「低騒音型 低振動型建設機械の指定に関する規程」（建設大臣告示）により指定された建設機械を使用する。 作業名：　建設機械名： 作業名：　建設機械名：	昭和51年 3月 2日制定 昭和62年 3月30日改正 平成 9年 7月31日告示 平成12年12月22日改正 平成13年4月9日改正
	*排出ガス対策型建設機械	＊ 排出ガス対策型建設機械の適用　※ 適用する　・ 適用しない	平成3年10月8日制定
	建設機械	（対象機種：バックホウ、車輪式トラクターショベル、ブルドーザー、発動発電機、空気圧縮機、油圧ユニット、ローラー類、 ホイルクレーン（いずれもディーゼルエンジン出力7.5～260kW）） （対象規制値：排出ガス対策型建設機械指定要領（国土交通省総合政策局）の別表１（１次基準値））	平成14年4月1日改正
	*石綿含有仕上塗材の除去・補修、既存壁等への作業	＊ 既存の壁等に対して作業（仕上塗材の除去・補修、コア抜きやアンカーボルト打設作業など仕上塗材の破断を伴う全ての作業）をする場合は、既存壁等の石綿含有塗材使用の有無を確認し、石綿が含有されている場合は、除去工法、作業方法等について関係法令所管部局及び監督職員と協議の上適切な石綿飛散防止措置を講じること。	
	*建設業退職金共済制度	＊ 本工事に関わる自社及び下請負会社の中にこの制度を使用するものがある場合は、同制度に加入し、掛金収納書を提出しなければならない。制度を使用しない又は証紙を購入しない場合は、理由書等を提出する。	
	*貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱	＊ 工事場所が「自動車Nox・PM法」の規制対象地域内においては、「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」に基づき、対象地域外からの流入車も含め、車種規制非適合車の使用抑制に努めるものとする。	
	*特定特殊自動車の燃料	＊ 受注者は、軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたって、燃料を購入して使用するときは、当該特定特殊自動車の製作等に関する事業者または団体が推奨する軽油（ガソリンスタンド等で販売されている軽油をいう）を選択しなければならない。また、監督職員から特定特殊自動車に使用した燃料の購入伝票を求められた場合、提示をしなければならない。なお、軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたっては、下請負者等に関係法令等を遵守させるものとする。	
	*薬液注入工法	＊ 薬液注入工法により地盤の改良を行う場合は、「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針」（建設省事務次官通達）による。	昭和49年7月10日制定
	*予備品	＊ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に記載された「予備品」の他、照明器具に用いるランプを種別ごと、大きさ（W）ごとに現物数の３％を具備する。（ただし、端数は切り上げ）	
	２章　共通工事		
	第１節　仮設工事		
	2.1.1　一般事項		
	*監督職員事務所、受注者事務所等	＊ 監督職員事務所　※ 設けない　・ 既存建物内の一部　・ 構内に新設（規模（　　）m2程度） ＊ 標準備品　机、いす、書棚、行事予定表、ゴム長靴、雨合羽、保護帽、懐中電灯、寒暖計、塗落制止用器具、衣類ロッカー、受注者加入の電話子機、冷暖房機器、消火器、湯沸器、掃除具 ＊ 選択備品　・ パソコン　・ プリンター　・ ＦＡＸ　・ 複写機 ＊ 受注者事務所（設ける場合）　※ 構内（従業員宿舎を除く）　・ 構外 ＊ 材料置場　※ 構内　・ 構外 ＊ その他仮設物　※ 構内（従業員宿舎を除く）　・ 構外 ＊ 建設現場標識　※ 設ける（他工事と共同設置を可とする）　・ 設けない １２００以上 工事名　○○○○大規模改修工事 工期　令和○○年○○月○○日まで 発注者　尾三消防組合 工事監理者　○○○○設計事務所 工事施工者　○○○○建設 工120001	【改修　2.2.7】
	【改修】2.2.2　足場その他	＊ 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」（令和５年１２月２６日厚生労働省労働基準局長　基発第1226第2号）に規定する、「手すり先行工法等に関するガイドライン」別紙２「働きやすい安心感のある足場」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」の２の（１）手すり据置方式又は２の（２）手すり先行専用足場方式により行う。 ＊ 屋根面からの墜落事故防止対策として、必要に応じて、JIS A8971（屋根工事用足場及び施工方法）に基づき、建方作業台、渡り廊下、墜落防護さく等の足場及び装備機材を設置する。 ＊ 内部足場　※ Ａ種　※ Ｂ種　※ Ｃ種　※ Ｄ種　・ Ｅ種　・ Ｆ種　・ Ｇ種	[改修　表2.2.1]
		＊ 外部足場　・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種　※ Ｄ種　※ Ｅ種　・ Ｆ種	[改修　表2.2.2]
		＊ 養生　・ 防護シート（JISA8952）　・ 防護ネット(JISA8960)　・ 防音シート　・（　　）	
		＊ 高さが５m以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能墜落制止用器具はフルハーネス型とし、「墜落制止用器具の規格」（平成３１年１月２５日厚生労働省告示第１１号）によるものとする。	
	【改修】2.2.3　仮設間仕切り	＊ 仮設間仕切り　・ Ａ種　・ Ｂ種　※ Ｃ種　＊ 設置箇所　※ 図示による 材種　＊ 合板厚さ　※ 9mm　・（　　）＊ せっこうボード厚さ　※ 9.5mm　・（　　） 仕上げ塗装等　・ 有　※ 無	[改修　表2.2.3]
		＊ 仮設扉　種別　※ 木製（合板張り）　・（　　）　＊ 設置箇所　※ 図示による	
	【改修】2.2.4　工事用電力等	＊ 既存設備を使用できない場合　※ 発電機　・（　　）	
	第２節　土工事		
	2.2.1　一般事項	＊ 埋戻し土及び盛土　※ 切土の中の良質土　・（　　）	【改修　2.3.1】
	第４節　コンクリート工事		
	2.4.1　一般事項	＊ コンクリートの強度　※ 設計基準強度　18N/mm2　・（　　）　・ 図示による スランプ　・ 15cm　・ 18cm　・（　　）	【改修　2.5.1】
	第７節　塗装工事		
	2.7.1　一般事項	＊ 金属管の塗装箇所　※ 屋内見えがかり部分（機械室、EPS等は除く）の屋内露出配管及び屋外露出配管は原則として塗装する。 ＊ 色合い等　・（　　）　・ 図示による ＊ 塗料の種別、塗り回数　※ 表2.7.1による（改修は表2.8.1）　・（　　）	【改修　2.8.1】 [表　2.7.1][改修　表2.8.1]
	第９節　スリーブ工事		
	2.9.1　一般事項	＊ スリーブの材料及び仕様　・ 鋼管　・ 硬質塩化ビニル管　・ 亜鉛めっき鋼板 ・ 鋼板（錆止めペイント）　・ つば付鋼管　・ 紙チューブ　・（　　）	【改修　2.10.1】 [表　2.9.1][改修　表2.10.1]
	第１０節　インサート		
	2.10.1　一般事項	＊ インサートの許容引抜荷重　※ 表2.10.1による　・（　　）	[表　2.10.1]
	【改修】2.12.1　一般事項	＊ インサート及びアンカーの許容引抜荷重　※ 表2.12.1による　・（　　）	[改修　表2.12.1]
	【改修】2.12.3　あと施工アンカー	＊ 穿孔　埋め込み配管等の探査の範囲及び方法　（　　） ＊ 性能確認試験　・ 行う　・ 行わない ＊ 施工後確認試験　・ 行う　・ 行わない	
	【改修】第１１節　はつり工事		
	【改修】2.11.2　非破壊検査	＊ 放射線透過試験　・ 行う　・ 行わない	
	【改修】2.11.3　穴開け及び補修	＊ 貫通場所及び口径　（　　）	
	【改修】2.11.4　溝はつり及び補修	＊ はつり深さ　（　　）	
	【改修】2.11.5　開口部補修等	＊ 補修が必要な箇所　（　　）　防水箇所の貫通処理方法　（　　） ＊ 意匠を考慮する場合の仕上げ方法　（　　）	
	【改修】第１３節　基礎工事		
	【改修】2.13.1　一般事項	＊ 機器用基礎　・ 新設　・ 既設再使用　・ 図示による ＊ 基礎の補修　（　　） ＊ 既設基礎の解体　周辺機器の養生　（　　）　防水層の補修　（　　） ＊ 既設基礎撤去後の補修及び床面仕上げ　（　　）	
	【改修】第１４節　仮設備工事		
	【改修】2.14.1	＊ 仮設備を要する期間　（　　）	
	【改修】2.14.3　仮電源等	＊ 受変電設備又は発電装置を電源として仮設備する場合　※ 2.14.3（ア）～（コ）による　・（　　）	

編	節・項目	特記事項	備考
第２編 電力設備工事	*材　料	＊ 電線、ケーブル　特記なき電線、ケーブルは原則として環境対策品とし、JCS規格（日本電線工業会規格）適合品を使用すること。	
		＊ 配線器具　配線器具に使用するプレート類は原則として金属製とする。ただし、防水型等の場合はこの限りでない。	
	*施　工	＊ 照明器具取付方法　蛍光灯照明器具FL40W　１灯相当（同等重量器具を含む）以上は躯体にｱﾝｶｰを使用の上、堅固に取り付ける。	
		＊ 予備配管　分電盤から立上り予備配管として、予備の配線遮断器4個以下の場合は（22）相当を1本、5個以上の場合（22）相当を2本以上、二重天井内まで立ち上げる。	
		＊ 位置ボックス　１）照明器具で送り配線となるもの及び配線が端末となるものは、位置ボックスを省略してもよい。 ２）簡易間仕切に設ける配線器具の位置ﾎﾞｯｸｽは省略してもよい。なお配線器具はそれぞれに適合した形式のものとする。 ３）原則として、外壁部分への取付は避ける。	
		＊ 中継ボックス　配管の1区間が30mを超える場合には途中にﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ又はｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽを設ける。	
		＊ 地中管路　埋設標は地中管路の曲折箇所、道路横断箇所及び直線部分に設ける。直線部分の場合は30mごとに設ける。ただし、30mに満たないときは、その間に１個とする。	
		＊ 埋設標識シート　高圧配線、低圧幹線、通信用幹線の地中配管に標識シートを設ける。	
	第１章　機　材		
	第４節　照明器具		
	1.4.2　構造一般	＊ 照明用ポール　配線用遮断機（引外し装置なし）　・ 設置する　・ 設置しない カットアウトスイッチ　・ 設置する　・ 設置しない	
	1.4.4　光　源	＊ 光源色　※ 相関色温度　4,600～5,500K（昼白色）　・（　　）　・ 図示による ＊ LED照明器具の平均演色評価数（Ra）　※ ﾍﾟｰｽﾗｲﾄ形器具は80以上、ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ形及び高天井形器具は70以上　・（　　）・ 図示による	
	第６節　照明制御装置		
	1.6.3　統合照明制御		
	1.6.3.1　共通事項	＊ 機器構成　・（　　）　・ 図示による	
	1.6.3.2　照明監視制御装置	＊ 表1.6.1において基本機能に追加するもの ・ 照明器具個別通信制御　・ 調色制御　・ 連動制御　・ 強制制御　・ 管理機能	
	1.6.3.4　監視操作装置	＊ 外部出力端子の種別　・（　　）	
	1.6.3.7　照明制御器	＊ 人の通り抜けと滞在を識別した照明器具の光出力又は点滅の制御　・（　　）	
	第７節　分電盤		
	1.7.3　キャビネット	＊ 材　質　※ 鋼製　・ ステンレス製	[表　1.7.2]
	1.7.6　器具類	＊ 積算計器　計量法による検定付　・ 適用する　※ 適用しない ＊ 低圧用SPD　低圧用SPDクラスⅡの性能　※ 表1.7.2による　・（　　） 低圧用SPDクラスⅠの性能　・（　　）	[表　1.7.12]
		＊ 電力計測装置　計測回路数　（　　） ＊ 集中監視部　信号回路数　（　　）　信号種別　（　　） 外部出力端子種別　（　　） ＊ 変成器　定格電流　（　　） ＊ 表示器　・ 設ける　・ 設けない	
	第９節　ＯＡ盤		
	1.9.3　キャビネット	＊ 通気口（端子盤部）　・ 設置する（仕様：　　）　・ 設置しない ＊ 冷却用ファン（端子盤部）　・ 設置する（仕様：　　）　・ 設置しない	
	第１２節　制御盤		
	1.12.3　キャビネット	＊ キャビネット（屋内用）の材質　※ 鋼板製（厚さ1.6mm以上）　・ ステンレス製（厚さ1.2mm以上）	
	1.12.6　器具類	＊ 低圧用SPDクラスⅡの性能　※ 表1.12.19による　・（　　）　・ 図示による ＊ 低圧用SPDクラスⅠの性能　・（　　）　・ 図示による	
	第１４節　電気自動車用充電装置		
	1.14.1　一般事項	＊ 装置種別　・ 電気自動車用急速充電装置　・ 電気自動車用普通充電装置（定格電圧：　　）	
	1.14.3　キャビネット	＊ キャビネットの材質　・ 鋼板製（厚さ1.6mm以上）　・ ステンレス製（厚さ1.2mm以上）	
	1.14.4　電力変換装置	＊ 定格直流電圧　（　　）	
	1.14.8　状態警報表示項目	＊ 移報用の遠方監視用接点　・ 設ける　・ 設けない　・ 図示による	
	第１５節　電熱装置		
	1.15.2　制御盤	＊ 過昇温防止装置　・ 設ける　・ 設けない　・ 図示による	
	1.15.3　発熱線等	＊ 発熱線　・ 第2種発熱線　・ 第4種発熱線	
	第１９節　機材の試験		
	1.19.1　試　験	＊ 散水試験を行う機材　・ 分電盤　・ OA盤の分電盤部　・ 実験盤　・ 制御盤	
	第２章　施　工		
	第１節　共通事項		
	【改修】2.1.1　事前確認	＊ 事前確認の項目　[改修　表2.1.1] ＊ 配線の確認　・ 照明器具　・ スイッチ　・ コンセント ＊ 機器と開閉器等の対照　・ スイッチ ＊ 照明点滅回路の確認　・ コンセント　・ 制御盤 ＊ 制御回路の確認　・ 照明器具　・ スイッチ　・ コンセント ＊ 照明改修を行う場合の対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定　測定箇所（　　）回　数（　　）	
	2.1.1　電線の接続	＊ 屋外の高圧架橋ポリエチレン絶縁ケーブル相互の接続又は端末処理を行う間合いの被覆の伸縮対策　・ 行う　・ 行わない	【改修　2.1.2】
	2.1.13　耐震施工	＊ 機器の水平震度及び鉛直震度　・（　　）　・ 図示による ＊ 横引き管等の耐震安全性の分類　・ 一般の施設　※ 特定の施設 ＊ 垂直配管等の耐震安全性の分類　・ 一般の施設　※ 特定の施設 ＊ 建物のエキスパンションジョイント部の配線　・ 標準図第2編の措置を行う　・（　　）	
	【改修】2.1.15　配管・配線等の改修	＊ 配線引抜き後の空配管　・ 導入線を入れる	
	第９節　バスダクト配線		
	2.9.2　バスダクトの敷設	＊ エキスパンションバスダクト　・ 図示による　・ 設ける　・ 設けない	【改修　2.10.2】
	【改修】2.11.4　ケーブル配線	＊ 屋外のEM-高圧架橋ポチエチレンケーブル相互の接続又は端末処理を行う場合の被覆の伸縮対策　・（　　）	
	第１３節　接地		
	2.13.9　接地線	＊ C種接地工事又はD種接地工事の接地線の太さ[配線用遮断器等の定格電流が100A以下の場合]　・ 8mm2以上　・（　　）	【改修　2.14.9】
	2.13.12　その他	＊ 大地抵抗率測定用補助接地極の埋設　・ 行う　・ 行わない	
	第１５節　動力設備		
	2.15.1　配線	＊ 支持架台の設置　・ 図示による　・ 設ける　・ 設けない	【改修　2.16.1】
	第１７節　雷保護設備		
	2.17.3　引き下げ導線	＊ 溶接による接続　・ 行う　・ 行わない	【改修　2.18.3】
	2.17.4　接地極	＊ 構造体利用接地極　※ 図示による　・（　　） ＊ 大地抵抗率測定用補助接地極の埋設　・ 行う　・ 行わない	
	第１８節　施工の立会い及び試験		
	2.18.2　施工の試験	＊ 接地抵抗測定（構造体接地、環状接地、網状接地、基礎接地の場合）　時　期（　　）回　数（　　）	【改修　2.19.2】
		＊ 照度測定（一般照明）　※ 行う　・ 行わない ＊ 【改修】　総合作動試験　・ 行う　・ 行わない	

株式会社 松浦建築事務所 ＴＥＬ　(0561)　32-0318	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	電気設備工事特記仕様書（２）
	縮尺	NS
	製図	令和08年03月
	１級建築士 登録第92794号　松浦孔明	No. E-002

編	章・節・項目	特記事項	備考
第3編 受変電設備工事	第１章 機材		
	第１節 ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式配電盤		
	1.1.3 キャビネット	＊キャビネット（屋内） ※ 鋼板製 ・ ステンレス製	[表 1.1.4]
		＊キャビネット（屋外） ※ 鋼板製 ・ ステンレス製	
	1.1.5 盤内器具類	＊積算計器 計量法による検定付 ・ 適用する ※ 適用しない	
	1.1.6 高圧機器	＊交流遮断器の操作方式 ※ 図示による ・ 手動ばね操作方式 ・ 電気操作方式	
		＊高圧進相コンデンサの絶縁方式 ※ 図示による ・ 油入 ・ 乾式	
		＊直列リアクトル 絶縁方式 ※ 図示による ・ 油入 ・ モールド	
		＊ 最大許容電流が高調派条件により許容する値を超える場合 ・ （ ） ・ 図示による	
		＊電圧負荷開閉器の操作方式 ・ 電動式	
		＊ 引込柱 ※ 図示による ・ 避雷器内蔵 避雷器非内蔵	
	第２節 高圧スイッチギヤ		
	1.2.1 一般事項	＊高圧スイッチギヤ ・ JIS C 62271-200 ・ JEM 1425 ・ 図示による	
	1.2.2 構造一般	＊運転連続性喪失区分及び仕切板等級 ・ LSC1 ・ LSC1-PI ・ LSC2B-PI ・ 図示による	
		＊スイッチギヤの形 ・ CX形 ・ CW形 ・ PW形 ・ 図示による	
	1.2.4 導電部	＊JIS C 62271-200による高圧スイッチギアの導電部 定格電流（ ） ・ 図示による	
		定格短時間耐電流（ ） ・ 図示による	
		＊JEM 1425による高圧スイッチギアの導電部 定格電流（ ） ・ 図示による	
		定格短時間耐電流（ ） ・ 図示による	
	第３節 22/33kV特別高圧ｽｲｯﾁｷﾞﾔ		
	1.3.1 一般事項	＊22/33kV特別高圧スイッチギヤ ・ JIS C 62271－200 ・ JEM 1425 ・ 図示による	
		＊運転連続性喪失区分及び仕切板等級 ・ LSC1 ・ LSC1-PI ・ LSC1-PM ・ LSC2B-PI	
		・ LSC2B-PM ・ 図示による	
	1.3.2 構造一般	＊スイッチギヤの形 ・ CX形 ・ CW形 ・ PW形 ・ MW形 ・ 図示による	
	1.3.4 導電部	＊JIS C 62271-200による22/33kV特別高圧スイッチギアの導電部 定格電流（ ） ・ 図示による	
		定格短時間耐電流（ ） ・ 図示による	
		＊JEM 1425による22/33kV特別高圧スイッチギアの導電部 定格電流（ ） ・ 図示による	
		定格短時間耐電流（ ） ・ 図示による	
	第５節 低圧スイッチギヤ		
	1.5.2 構造一般	＊スイッチギヤの形 ・ CX形 ・ CS形 ・ CW形 ・ FW形 ・ 図示による	
	1.5.4 導電部	＊定格電流（ ） 定格短時間耐電流（ ）	
	第８節 絶縁監視装置		
	1.8.3 キャビネット	＊キャビネット ※ 鋼板製（厚さ1.6mm以上） ・ ステンレス製（厚さ1.2mm以上） ・ 図示による	
	1.8.5 性能	＊低圧回路の監視性能 絶縁雄経時変化の表示 ・ 行う ・ 行わない ・ 図示による	
	第９節 機材の試験		
	1.9.1 試験	＊キュービクル式配電盤、高圧スイッチギヤの温度上昇性能試験 ・ 行う ・ 行わない	
	第２章 施工		
	第１節 据付け		
	2.1.1 キュービクル式配電盤等の据付け	＊水平震度及び鉛直震度 ・ （ ） ・ 図示による	
	2.1.2 特別高圧スイッチギヤの据付け	＊水平震度及び鉛直震度 ・ （ ） ・ 図示による	
第4編 電力貯蔵設備工事	第２章 機材		
	第２節 交流無停電電源装置(UPS)		
	2.2.1 一般事項	＊UPS ・ 常時インバータ給電方式 ・ ラインインタラクティブ方式 ・ 常時商用給電方式	
	2.2.7 性能	＊停電補償時間 （ ） ＊温度条件 ※ 25℃ ・ （ ）	
	第３節 電力平準化用蓄電装置		
	2.3.1 一般事項	＊電力平準機能 ・ ピークシフト機能（・ 2.3.1（2）（ア）(a)① ・ 2.3.1（2）（ア）(a)②）	
		・ ピークカット機能（・ 2.3.1（2）（ア）(b)① ・ 2.3.1（2）（ア）(b)②）	
	2.3.5 電力平準化用蓄電池	＊電池の種別 ※ リチウムニ次電池 ・ 鉛蓄電池 ・ ニッケル水素蓄電池	
		＊	

蓄電池容量	期待寿命	充放電回数	放電時間
kW	年	回	時間

2.3.7 交直変換装置及び系統連系保護装置	＊交流出力電圧 ※ 図示による ・ （ ）	
	＊出力電気方式 ※ 図示による ・ 三相3線式 ・ 単相3線式 ・ 単層2線式	
2.3.8 計測、状態及び警報表示項目	＊遠方監視用接点 ※ 設けない ・ 設ける ・ 図示による	
第４節 分散電源エネルギーマネジメントシステム		
2.4.2 機能	＊適用する機能 ・ バックアップ機能 ・ 需要予測制御機能 ・ 再生可能エネルギー発電予測制御機能	
	・ 系統安定制御機能 ・ 逆潮流機能	
	＊適用する見える化機能 ・ 商用受電電力表示 ・ 負荷電力表示 ・ 需要予測表示 ・ 発電電力表示	
	・ 蓄電池運転計画表示 ・ 蓄電池充放電指令表示 ・ 蓄電池残量表示 ・ 運転計画/実績グラフ表示	
	・ ドレンドグラフ表示 ・ 需要予測/実績グラフ表示 ・ 再生可能エネルギー発電予測/実績グラフ表示	
第３章 施工		
第１節 据付け		
3.1.1 架台、盤類の据付け	＊ 簡易形、ラインインタラクティブ方式及び常時商用給電方式のUPSである場合の据付け方法 ・ 図示による	【改修 2.2.1】
	＊水平震度及び鉛直震度 ・ （ ） ・ 図示による	
【改修】第２節 据付け等		
【改修】2.2.4 機器の取外し、再使用	＊蓄電池の電解液の処理 （ ）	
第5編 発電設備工事	第１章 機材	
	第１節 ディーゼル発電装置	
	1.1.1 一般事項	＊発電装置の運転時間 ※ 図示による ・ （ ）
	1.1.4 原動機	
	1.1.4.2 性能	＊排気ガスの排出規制値 （ ）
	1.1.4.5 部品等	＊潤滑油装置の運転時間 （ ）
	1.1.4.7 共通台板	＊共通台板のストッパの耐地震力 （ ）
	1.1.5 配電盤	
	1.1.5.3 保安装置	＊外部用端子 ・ 設ける ・ 設けない
		表1.1.7の*印のうち、適用するもの （ ） [表 1.1.7]
	1.1.6 補機附属装置	
	1.1.6.1 一般事項	＊適用機器等 （ ）
	1.1.6.4 主燃料槽等	＊磁わい式液面検出装置 ・ 使用する ・ 使用しない
		＊燃料小出槽 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製
		＊給油ボックス等 キャビネット ※ ステンレス製（厚さ1.2mm以上） ・ 鋼板製（厚さ1.6mm以上）
		磁わい式液面計 ・ 設ける ・ 設けない
		＊漏油検知装置 ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による
	1.1.6.5 排気ｶﾞｽ処理装置等	＊原動機の排気ガスの窒素酸化物の規制値 （ ）
	1.1.7 燃料等	[表 1.1.8]
	1.1.7.1 燃料油等	＊燃料油 軽油 ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 特3号 JIS K 2204
		重油 ・ 1種（A種）1号 ・ 1種（A種）2号 JIS K 2205
	1.1.8 配管材料等	＊表1.1.9以外の燃料、冷却水、排気、始動用空気、換気ﾀﾞｸﾄ等の主要配管材料 ） [表 1.1.9]
	第２節 ガスエンジン発電装置	
	1.2.4 原動機	
	1.2.4.2 性能	＊排気ガス排出規制値 （ ）
	1.2.4.5 部品等	＊潤滑油装置の運転時間 （ ）
	1.2.4.7 共通台板	＊共通台板のストッパの耐地震力 （ ）
	1.2.5 配電盤	＊外部用端子 ・ 設ける ・ 設けない
		＊表1.2.3による保安装置の*うち、適用するもの （ ） [表 1.2.3]
	1.2.6 補機附属装置等	
	1.2.6.1 一般事項	＊適用機器等 （ ）
	1.2.6.5 排気ｶﾞｽ処理装置等	＊原動機の排気ガスの窒素酸化物の規制値 （ ）
	1.2.7 燃料等	
	1.2.7.1 燃料ガス等	＊燃料ガス ・ 天然ガス系都市ガス「13A」 ・ 天然ガス系都市ガス「12A」 [表 1.2.4]
	1.2.8 配管材料等	＊燃料、冷却水、排気、始動用空気、換気ﾀﾞｸﾄ等の主要配管材料 （ ） [表 1.1.9]

No.3a

編	節・項目	特記事項	備考
第5編 発電設備工事	第３節 ガスタービン発電装置		
	1.3.4 原動機		
	1.3.4.1 一般事項	＊原動機の防音パッケージ周囲1mにおける運転音 ※ 90dB（A）以下 ・ （ ）	
	1.3.4.2 性能	＊排気ガスの排出規制値 （ ）	
	1.3.4.5 部品等	＊潤滑油系統の配管に設ける冷却器 ※ 空冷式 ・ 水冷式	
		＊潤滑油装置の運転時間 （ ）	
	1.3.4.7 共通台板	＊共通台板のストッパの耐地震力 （ ）	
	1.3.5 配電盤	＊外部用端子 ・ 設ける ・ 設けない	
		＊表1.3.2による保安装置の*うち、適用するもの （ ）	[表 1.3.2]
	1.3.6 補機附属装置等		
	1.3.6.3 主燃料槽等	＊磁わい式液面検出装置 ・ 使用する ・ 使用しない	
		＊燃料小出槽 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製	
		＊給油ボックス等 キャビネット ※ ステンレス製（厚さ1.2mm以上） ・ 鋼板製（厚さ1.6mm以上）	
		磁わい式液面計 ・ 設ける ・ 設けない	
	1.3.6.5 排気ｶﾞｽ処理装置等	＊原動機の排気ガスの窒素酸化物の規制値 （ ）	
	1.3.7 燃料等		
	1.3.7.1 燃料油	＊燃料油 灯油 ・ 1号 ・ 2号	JIS K 2203
		軽油 ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 特3号	JIS K 2204
		重油 ・ 1種（A種）1号 ・ 1種（A種）2号	JIS K 2205
	1.3.7.2 燃料ガス等	＊燃料ガス ・ 天然ガス系都市ガス「13A」 ・ 天然ガス系都市ガス「12A」	[表 1.2.4]
	1.3.8 配管材料等	＊燃料、冷却水、排気、始動用空気、換気ﾀﾞｸﾄ等の主要配管材料 （ ）	[表 1.1.9]
	第４節 ﾏｲｸﾛｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ発電装置		
	1.4.1 一般事項	＊発電出力200kw超のマイクロガスタービン ※ 図示による ・ （ ）	
		＊運転方式 系統連系しないもの （ ）	
		＊原動機の防音パッケージ周囲1mにおける運転音 ※ 70dB（A）以下 ・ （ ）	
	1.4.3 発電機	＊逆変換装置の出力電気方式 ・ 三相3線式 ・ 三相4線式 ・ 単相3線式 ・ 単相2線式	
	1.4.4 原動機	＊ﾏｲｸﾛｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝの排熱と蒸気又は排ｶﾞｽ吸収式の組合せ （ ）	
		＊排気ガスの排出規制値 ・ （ ）	
	1.4.5 制御装置	＊保安装置の外部用端子 ・ 設ける ・ 設けない	
	1.4.6 排気ガス処理装置等	＊原動機の排気ガスの窒素酸化物の規制値 （ ）	
	1.4.8 共通台板	＊共通台板のストッパの耐地震力 （ ）	
	1.4.11 主燃料槽等	＊磁わい式液面検出装置 ・ 使用する ・ 使用しない	
		＊燃料小出槽 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製	
		＊給油ボックス等 キャビネット ※ ステンレス製（厚さ1.2mm以上） ・ 鋼板製（厚さ1.6mm以上）	
		磁わい式液面計 ・ 設ける ・ 設けない	
	1.4.13 燃料等		
	1.4.13.1 燃料油	＊燃料油 灯油 ・ 1号 ・ 2号	JIS K 2203
	1.4.13.2 燃料ガス	＊燃料ガス ・ 天然ガス系都市ガス「13A」 ・ 天然ガス系都市ガス「12A」	[表 1.2.4]
	1.4.14 配管材料等	＊燃料、冷却水、排気、始動用空気、換気ﾀﾞｸﾄ等の主要配管材料 （ ）	[表 1.1.9]
	第５節 燃料電池発電装置		
	1.5.1 一般事項	＊燃料電池発電装置 ※ りん酸形燃料電池 ・ （ ）	
		＊運転方式 系統連系しないもの （ ）	
		＊運転時間 （ ）	
		＊設置条件（温度） ※ 1.5.1（6）（ア）、（イ）による・ （ ）	
	1.5.3 燃料電池装置	＊燃料電池装置の出力電気方式 ・ 三相3線式 ・ 単相3線式	
	1.5.3.2 制御装置	＊制御装置の遠方監視用端子 ・ 設ける ・ 設けない	
		表1.5.3の*1印のうち、適用するもの （ ）	[表 1.5.3]
	1.5.8 燃料等	＊燃料ガス ・ 天然ガス系都市ガス「13A」 ・ 天然ガス系都市ガス「12A」	[表 1.2.4]
	1.5.9 配管材料等	＊燃料、冷却水、排気、始動用空気、換気ﾀﾞｸﾄ等の主要配管材料 （ ）	[表 1.1.9]
	第７節 太陽光発電装置		
	1.7.1 一般事項	＊太陽光発電装置 ※ 系統連係形 ・ （ ）	
		＊自立運転 ・ 行う ・ 行わない	
	1.7.2 太陽電池アレイ	＊公称出力 ※ 図示による ・ （ ）	
	1.7.3 接続箱	＊PV直流用SPD ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による	
		＊ PV直流用SPDクラスⅡの性能 ※ 表1.7.2による ・ （ ） ・ 図示による	
		＊ PV直流用SPDクラスⅠの性能 ・ （ ） ・ 図示による	
	1.7.4 ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｭｼﾅ及び系統連係保護装置	＊交流出力電圧 ・ 100V ・ 200V	
		＊出力電気方式 ・ 三相3線式 ・ 単相3線式 ・ 単相2線式	
		＊PV直流用SPD ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による	
		＊ PV直流用SPDクラスⅡの性能 ※ 表1.7.2による ・ （ ） ・ 図示による	
		＊ PV直流用SPDクラスⅠの性能 ・ （ ） ・ 図示による	
		＊計測表示項目の遠方監視用端子 ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による	
	第８節 風力発電装置		
	1.8.1 一般事項	＊定格出力20kW以上の風力発電装置 （ ）	
		＊系統連係 ・ 有 ・ 無	
	1.8.2 風車発電装置	＊風車 スケール （ ） 材質 （ ） 形状 （ ） その他 （ ）	
		＊機外1mにおける運転音 ※ 80dB（A）以下 ・ （ ）	
	1.8.3 制御盤	＊移報用遠方監視用接点 ・ 設ける ・ 設けない	
	第９節 小出力発電装置		
	1.9.4 小形燃料電池発電装置	＊出力電圧 ・ 100V ・ 200V	
		＊出力電気方式 ・ 三相3線式 ・ 単相3線式 ・ 単相2線式	
		＊燃料ガス ・ 天然ガス系都市ガス「13A」 ・ 天然ガス系都市ガス「12A」	[表 1.2.4]
		＊燃料、冷却水、排気、始動用空気、換気ﾀﾞｸﾄ等の主要配管材料 （ ）	[表 1.1.9]
	第１０節 機材の試験		
	1.10.1 発電装置の試験	＊原動機の試験 ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ、ﾏｲｸﾛｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ以外で1.10.2（イ）（f）ｳの過負荷試験を除く原動機 （ ）	
		＊配電盤の試験 キュービクル式配電盤、高圧及び特別高圧スイッチギア等の温度上昇性能試験 ・ 行う ・ 行わない	
		＊冷却水ポンプ及び冷却棟の試験 試験を指定された機材 （ ）	

株式会社 松浦建築事務所
ＴＥＬ (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	電気設備工事特記仕様書（３）
縮尺	NS
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	E-003

２０２４年４月１日改訂

編	章・節・項目	特記事項	備考
第5編 発電設備工事	第２章 施工		
	【改修】2.1.1 事前確認	＊ ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ発電設備、ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝ発電設備、ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ発電設備、ﾏｲｸﾛｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ発電設備の事前確認の項目 ＊ 機能の確認 ・ 配線の改修及び更新 ＊ 動作の確認 ・ 発電機 ・ 原動機 ・ 補機附属装置 ・ 配線の改修及び更新 ＊ 細部の確認 ・ 配電盤 ＊ 負荷運転状態における細部の確認を行うもの ・ 始動用蓄電池 ・ 始動用空気圧縮機 ・ 始動用補助装置 ・ 保安装置 ・ 調速機 ・ （ ）	
	第１節 ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ発電設備等の据付		
	2.1.1 耐震処置	＊ 水平震度及び鉛直震度 ・ （ ） ・ 図示による	【改修 2.2.1】
	2.1.4 配電盤、制御装置等の据付け	＊ 水平震度及び鉛直震度 ・ （ ） ・ 図示による	【改修 2.2.2】
	2.1.7 配管等		【改修 2.2.7】
	2.1.7.1 配管一般	＊ 横引き管等の耐震安全性の分類 ※ 一般施設 ・ 特定の施設	[表 2.1.2][改修 表2.2.2] 【改修 2.2.7.1】
	2.1.7.5 排気系統配管	＊ 排気管の断熱材（屋内） ※ ロックウール等厚さ75mm以上 ・ （ ）	【改修 2.2.7.5】
	第２節 燃料電池発電設備の据付		
	2.2.1 耐震処置	＊ 水平震度及び鉛直震度 ・ （ ） ・ 図示による	【改修 2.3.1】
	2.2.5 配管等		【改修 2.3.1】
	2.2.5.1 配管一般	＊ 横引き管等の耐震安全性の分類 ※ 一般施設 ・ 特定の施設	[表 2.1.2][改修 表2.2.2] 【改修 2.3.5】
	第７節 施工の立会及び試験		
	2.7.6 風力発電設備の試験	＊ 表2.7.5の「施工の試験」の*印のうち、適用するもの （ ）	【改修 2.8.6】
第6編 通信・情報設備工事	第１章 機材		
	第３節 配線器具		
	1.3.2 光コネクタ	＊ 光ファイバ接続コネクタ	JIS X 5150
	1.3.3 BNCコネクタ	同軸ｹｰﾌﾞﾙ接続ｺﾈｸﾀでJIS C 5412の仕様によらないもの（ﾃﾚﾋﾞ共同受信設備、ﾃﾚﾋﾞ電波障害防除設備以外） （ ）	
	第４節 端子盤・機器収納ラック等		
	1.4.2 端子盤等	＊ 端子盤及び集合保安箱（屋内用キャビネット） ※ 鋼板 ・ ステンレス鋼板	
	1.4.4 端子類	＊ UTPパッチパネルのモジュラ形の横一連のポート数 ※ 24ポート ・ （ ） ＊ 光ファイバパッチパネルの光コネクタの横一連のポート数 ※ 12ポート ・ （ ）	
	1.4.5 通信用SPD	＊ 通信用SPDの性能 ・ カテゴリC2 ・ カテゴリD1 ・ （ ） ・ 図示による	【表1.4.4】
	第５節 構内情報通信網装置		
	1.5.1 一般事項	＊ パケット転送能力 （ ） フィルタリング能力 （ ） インターフェース種別 （ ） ポート数 （ ） その他 （ ） ＊ 音声、映像、監視データ等用の通信プロトコル （ ） ＊ PoE PoE方式による電力供給機器 （ ） 1ポート当たりの電力供給機能 ・ 15.4W ・ 30.0W 電力供給方式 ・ エンドスパン方式 ・ ミッドスパン方式 ＊ 無線LAN 通信方式 ・ 1：1（対向通信モード） ・ N：N（アドホックモード） ・ 1：N（インフラストラクチャモード） 認証サーバの設置 ・ 設置する（仕様： ） ・ 設置しない その他の認証 （ ） 暗号化方式 （ ） 最大伝送速度 （ ） 周波数帯域 （ ） 拡散方式 （ ） ＊ 通信用SPDを設置する場合の性能 ・ カテゴリC2 ・ カテゴリD1 ・ （ ） ・ 図示による ＊ 時刻同期装置 ・ 設けない ・ 設ける（時刻補正の方式 ） ・ 図示による	[表 1.5.4] 【表1.4.4】
	1.5.2 スイッチ	＊ グループ化 グループ間での通信方式 （ ） スイッチング パケットの遅延時間について （ ） V-LAN 装置全体で構成可能なグループ数 （ ） ﾘﾝｸｱｸﾞﾘｹﾞｰｼｮﾝ機能 束ねる物理的ﾘﾝｸ数 （ ） マルチキャスト機能 対応プロトコル （ ） ＊ 優先制御機能（QoS） （ ）	
	1.5.3 ルーター	＊ PoE機能 1ポート当たりの電力供給機能 ・ 15.4W ・ 30.0W 電力供給方式 ・ エンドスパン方式 ・ ミッドスパン方式 ＊ マルチキャスト機能 （ ） 暗号化機能 （ ） ＊ PoE機能 PoE方式による電力供給機器 （ ） 1ポート当たりの電力供給機能 ・ 15.4W ・ 30.0W 電力供給方式 ・ エンドスパン方式 ・ ミッドスパン方式 ＊ プロトコル（WAN接続時） （ ）	
	1.5.5 ファイヤウォール	＊ インターフェース 種類 （ ） 数量 （ ） 対応可能な同時ｾｯｼｮﾝ数 （ ） 処理能力 （ ） 暗号化機能 （ ） その他 （ ）	
	1.5.6 UMT（統合脅威管理）	＊ 各種機能 ・ （ ）	
	1.5.7 ネットワーク管理装置	＊ オペレーションシステムの仕様（ネットワーク管理ソフトウェア運用装置用）（ ） ネットワーク管理ソフトウェア運用装置の仕様 （ ） ＊ 基本機能以外の機能 パフォーマンス管理機能 （ ） RMON機能 （ ） オートディスカバリ機能 （ ）	
	1.5.8 機器収納ラック	＊ 配線用遮断器 ※ 設けない ・ 設ける	
	第６節 構内交換装置		
	1.6.1 一般事項	＊ 局線 回線種別及び使用回線数 ※ 図示による ・ （ ） 内線 回線種別及び使用回線数 ※ 図示による ・ （ ） ＊ 通信用SPDを設置する場合の性能 ・ カテゴリC2 ・ カテゴリD1 ・ （ ） ・ 図示による ＊ 時刻同期装置 ※ 設けない ・ 設ける（時刻補正の方式 ） ・ 図示による	【表1.4.4】
	1.6.2 交換装置	＊ 局線応答方式 ・ 局線中継台方式 ・ 分散中継台方式 ・ ダイヤルイン方式 ・ ダイレクトインダイヤル方式 ・ ダイレクトインライン方式 ・ これらの併用（ ） ＊ IP-PBX 呼制御プロトコル （ ） ＊ VoIPサーバー 呼の処理能力 （ ） 機能収納ラックに収納する場合、ラック内の配線用遮断器 ※ 設けない ・ 設ける	
	1.6.3 電源装置	＊ 停電補償時間 （ ）	
	1.6.4 局線中継台	＊ 数量 ※ 図示による ・ （ ）	
	1.6.5 電話機等	＊ IP電話機 PC接続インタフェース ・ 設ける ・ 設けない ACアダプタの数 （ ） ＊ PoE機能 1ポート当たりの電力供給機能 ・ 15.4W ・ 30.0W 電力供給方式 ・ エンドスパン方式 ・ ミッドスパン方式 ＊ IPコードレス電話機の基地局及び携帯電話機 通信方式 ・ 1:1（対向通信モード） ・ N:N（アドホックモード） ・ 1:N（インフラストラクチャモード） 認証サーバの設置 ・ 設置する ・ 設置しない その他の認証、暗号化方式 ・ （ ） 最大伝送速度 （ ） 周波数帯域 （ ） 拡散方式 （ ）	[表 1.5.4]
	1.6.7 ボタン電話装置	＊ 局線応答方式 ・ 分散中継台方式 ・ ダイヤルイン方式 ・ ダイレクトインダイヤル方式 ・ ダイレクトインライン方式 ・ 併用（ ） ＊ IP電話を接続できるボタン電話装置 IP-PBXの呼制御プロトコル（ ）	
	第７節 情報表示装置		
	1.7.2 マルチサイン装置	＊ 操作制御部 スキャナ ・ 設ける ・ 設けない	
	1.7.3 出退表示装置	＊ 制御装置及び中継増幅器の外箱 ・ 埋込みとしない ・ 埋込とする（鋼板製1.6mm以上） ・ 図示による ＊ LEDの場合の外箱 ※ 鋼板製 ・ 合成樹脂製	
	1.7.4 時刻表示装置		
	1.7.4.2 親時計	＊ 親時計の時刻補正の方式 （ ） 親時計の時刻同期装置 ※ 設けない ・ 設ける（時刻補正の方式 ）	
	1.7.4.6 太陽電池式 ﾎｰﾙ形屋外時計	＊ 内照式時計 点灯時間 （ ）時間 点灯保証日数（不日照時） （ ）日 ＊ 電波による時刻補正の方式 （ ）	
	第８節 映像・音響装置		
	1.8.3 スピーカ	＊ 集合形スピーカ スピーカの性能 （ ） キャビネットの材質、形状等 （ ）	
	1.8.6 その他の機器		
	1.8.6.1 マイクロホン	＊ ワイヤレスマイク ・ 電波式（ ・ アナログ方式 ・ デジタル方式 ） ・ 赤外線式	
	1.8.6.4 ｵｰﾃﾞｨｵﾚｺｰﾀﾞ	＊ 記憶容量 ※ 8時間以上録音 ・ （ ）	
	1.8.6.5 Blu-ray/DVD ﾌﾟﾚｰﾔ・ﾚｺｰﾀﾞ	＊ 記憶容量 ※ 8時間以上録画 ・ （ ）	

編	節・項目	特記事項	備考
第6編 通信・情報設備工事	第９節 拡声装置		
	1.9.1 一般事項	＊ 通信用SPDを設置する場合の性能 ・ カテゴリC2 ・ カテゴリD1 ・ （ ） ・ 図示による	【表1.4.4】
	1.9.4 その他の機器	＊ アナウンスレコーダにプログラムタイマを付属（外部接続）する場合 外部時刻同期装置 ※ 設けない ・ 設ける（時刻補正の方式 ） ＊ FM用アンテナの材質 （ ）	
	第１０節 誘導支援装置		
	1.10.2 音声誘導装置	＊ 検出部 検出方式 （ ）	
	1.10.4 テレビインターホン	＊ 撮像範囲を調整する機能（親機） ・ 設ける ・ 設けない 撮像範囲を調整する機能（子機） ・ 設ける ・ 設けない	
	1.10.5 外部受付用インターホン	＊ 撮像範囲を調整する機能（親機） ・ 設ける ・ 設けない	
	1.10.7 トイレ等呼出装置	＊ 通話機能 ・ 設ける ・ 設けない ＊ ブザー付呼出表示灯 ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による	
	第１１節 テレビ共同受信装置		
	1.11.1 一般事項	＊ 通信用SPDを設置する場合の性能 ・ カテゴリC2 ・ カテゴリD1 ・ （ ） ・ 図示による	【表1.4.4】
	1.11.3 ｱﾝﾃﾅ及びﾏｽﾄ	＊ UHFアンテナ ※ 全帯域用 ・ （ ）	
	1.11.4 機器収容箱	＊ 屋内用キャビネット ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製	
	第１２節 テレビ電波障害防除装置		
	1.12.3 ﾍｯﾄﾞｴﾝﾄﾞ、機器収容箱等	＊ 機器収容箱等（屋内） ※ 鋼板用 ・ ステンレス鋼板 ＊ 機器収容箱（屋外） ・ 合成樹脂製 ・ マルチダイキャスト性 ・ 鋳鉄製 ・ 鋼板製	
	1.12.4 アンテナマスト	＊ UHFアンテナ ※ 全帯域用 ・ （ ）	
	第１３節 監視カメラ装置		
	1.13.1 一般事項	＊ 伝送方式 ・ アナログ伝送方式 ・ ネットワーク伝送方式 ・ 同軸伝送方式 ・ 併用方式 ＊ 通信プロトコル（ネットワーク伝送方式の場合） ※ TCP/IP ・ （ ） ＊ 通信用SPDを設置する場合 ・ カテゴリC2 ・ カテゴリD1 ・ （ ） ・ 図示による ＊ ファイヤウォールを設ける場合 インターフェース 種類 （ ） 数量 （ ） 対応可能な同時ｾｯｼｮﾝ数 （ ） 処理能力 （ ） 暗号化機能 （ ） その他 （ ） ＊ UTMを設ける場合 各種機能 ・ （ ）	
	1.13.2 カメラ	＊ レンズ交換形 区分 ・ 標準レンズ ・ 広角レンズ ・ 望遠レンズ 機能 （ ） その他 （ ） ＊ レンズ一体型 区分 ・ 標準レンズ ・ 広角レンズ ・ 望遠レンズ 機能 （ ） その他 （ ） ＊ カメラへの電源供給方式 （ ）	
	1.13.3 モニタ装置	＊ カラーモニタの解像度 （ ）	
	1.13.4 録画装置	＊ デジタル記憶媒体の容量 （ ） ＊ 時刻補正の方式 （ ） ＊ デジタルレコーダ 解像度 （ ） フレームレート （ ） その他 （ ） ＊ NTSC方式の映像信号の取込 （ ） ＊ 録画サーバー 解像度 （ ） フレームレート （ ） その他 （ ） ＊ 通信プロトコル（ネットワーク伝送方式の場合） ※ TCP/IP ・ （ ）	
	1.13.5 その他の機器	＊ 構内情報通信網装置を介して外部から録画装置に接続し、制御、閲覧等を行う機能 （ ） ＊ 耐候形ハウジングに取り付けられるようにするもの ・ ワイパ ・ デフロスタ ・ ヒータ ・ ファン ＊ 旋回装置付カメラ レンズの区分、機能等 （ ） カメラへの電源供給方式 （ ） ＊ ネットワーク伝送方式における機器の監視操作部 画像分割数 （ ）	
	第１４節 駐車場管制装置		
	1.14.2 管制盤	＊ 屋内用キャビネット ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 ＊ カウンタ制御の機能 （ ）	
	1.14.5 発券機	＊ 屋内用キャビネット ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 ＊ 発行券 ・ 磁気式 ・ ICカード式 ・ （ ） ＊ 発券方式 （ ）	[表 1.14.1]
	1.14.7 カードリーダ	＊ 屋内用キャビネット ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製	
	第１５節 防犯・入退室管理装置		
	1.15.1 一般事項	＊ 機器の時刻補正の方式 （ ）	
	1.15.2 制御装置	＊ 入退室管理装置の制御装置機能 遠隔施解錠制御 ・ 有 ・ 無 スケジュール設定・制御 ・ 有 ・ 無 記録機能 ・ 有 ・ 無 照明・空調制御 ・ 有 ・ 無 防災・防犯等ｲﾝﾀｰﾌｪｰｼｮﾝ機能 ・ 有 ・ 無 停電時システムバックアップ機能 ・ 有 ・ 無	[表 1.15.1]
	1.15.3 認識部	＊ 認識方式 （ ） ＊ ﾊﾞｲｵﾒﾄﾘｯｸｽ照合装置のﾊﾞｲｵﾒﾄﾘｯｸｽ情報 ・ 指紋 ・ 網膜 ・ 指静脈 ・ 虹彩 ・ （ ）	
	1.15.4 その他の機器	＊ ｾｷｭﾘﾃｨｹﾞｰﾄ 通過処理能力 （ ） 構造 （ ） 材質 （ ） その他 （ ） 車椅子の通行可能機能 ・ 有 ・ 無	
	第１６節 自動火災報知設備		
	1.16.1 一般事項	＊ 通信用SPDを設置する場合 ※ カテゴリC2 ※ カテゴリD1（性能 ）・（ ）	
	1.16.4 副受信機・表示装置	＊ 液晶ディスプレイ 画面サイズ、表示色数及び形式等 ※ 図示による ・ （ ）	
	第１８節 非常警報装置		
	1.18.1 一般事項	＊ 緊急地震放送 ・ 行う ・ 行わない	
	第１９節 ガス漏れ火災警報装置		
	1.19.3 副受信機	＊ 液晶ディスプレイ 画面サイズ、表示色数及び形式等 ※ 図示による ・ （ ）	
	第２章 施工		
	【改修】第１節 共通事項		
	【改修】2.1.1 事前確認	＊ 機器の取付け、取外し工事前の配線の確認 端末機器等 ・ 行う ・ 行わない 主要装置 ・ 行う ・ 行わない ＊ 機器の取付け、取外し工事前の行先不明の回路及び配線の解明 端末機器等 ・ 行う ・ 行わない ＊ 機器の取付け、取外し工事前の端末機器等と主装置等の対照 端末機器等 ・ 行う ・ 行わない	
	【改修】2.1.15 主装置等の更新	＊ 主装置等に接続されている電線収容物、ｹｰﾌﾞﾙ等が撤去に支障がある場合の取扱い （ ）	
	【改修】2.1.17 自動火災報知設備等の改修	＊ R型受信機の設計 ・ （ ）	
	第１１節 地中配線		
	2.11.3 管路等の敷設	＊ 標識シート ・ 設ける ・ 設けない	【改修 2.13.3】
	第１３節 構内情報通信網設備		
	2.12.2 機器の取付け	＊ 複数の室内又は屋外に無線LANを構築する場合の電波干渉調査 ・ 行う ・ 行わない	【改修 2.14.2】
	第１９節 テレビ共同受信設備		
	2.19.3 受信調査	＊ 最上階床コンクリート打設直後の受信調査 ※ 行う チャンネル （ ） ・ 行わない	【改修 2.20.3】
	第２０節 ﾃﾚﾋﾞ電波障害防除設備		
	2.20.2 事前調査	＊ 事前調査を行う箇所数 （ ） 調査を行うチャンネル （ ）	
	第２２節 駐車場管制設備		
	2.22.2 機器の取付け	＊ 光線式検知器 投受光器 間隔 （ ） 取付け高さ （ ）	【改修 2.22.2】
		＊ 超音波センサ式検知器（2個以上設置する場合） 設置間隔 （ ）	
	第２８節 施工の立会い及び試験		
	2.28.2 施工の試験	＊ 映像・音響設備の試験 ｲﾝﾋﾟｰﾀﾞﾝｽ試験 ・ 行う ・ 行わない 残響時間試験 ・ 行う ・ 行わない 伝送周波数試験 ・ 行う ・ 行わない 音圧分布試験 ・ 行う ・ 行わない	【改修 2.28.2】

株式会社 松浦建築事務所
ＴＥＬ （0561） 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	電気設備工事特記仕様書（４）
縮尺	NS
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	E-004

編	章・節・項目	特記事項	備考
第７編 中央監視制御設備工事	第１章 機材 第１節 共通事項 1.1.1 一般事項	＊ 中央監視制御装置の信号入力条件（標準図 第６編「中央監視制御設備工事」以外） （ ）	
	第２節 警報盤 1.2.1 一般事項	＊ 信号の伝送方式 （ ）	
	第３節 簡易形監視制御装置 1.3.1 一般事項	＊ 簡易形監視制御装置の機能（表1.3.1に○印のない機能） （ ） ＊ 通信用SPDを設置する場合の性能 ・ カテゴリC2 ・ カテゴリD1 ・ （ ） ・ 図示による ＊ 機器構成 （ ） ＊ 帳票用印字装置 （ ）	[表 1.3.1] 【表1.4.4】
	1.3.2 監視操作装置 1.3.4 記録装置		
	第４節 監視制御装置 1.4.1 一般事項 1.4.2 監視操作装置	＊ 監視制御装置の機能（表1.3.1に○印のない機能） （ ） ＊ 機器構成 ・ ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾟﾈﾙ ・ 表示装置 ・ ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ ・ （ ） ＊ キャビネットに組込む場合のキャビネットの外観、構造等 ※ 図示による ・ （ ） ＊ プログラムタイマ機能の精度 ※ 月差60秒以下 ・ （ ）	[表 1.3.1]
	1.4.4 記録装置	＊ 帳票用印字装置 印字方式 ・ インクジェット式 ・ 写真式（・レーザー式 ・LED式） ・ （ ）	
	第２章 施工 第２節 配線 2.2.1 配線	＊ 最大使用電圧が60Vを超える回路に用いる場合 屋外の高圧架橋ポリエチレン絶縁ケーブルの接続又は端末処理を行う場合の被覆の伸縮対策 ・ （ ） 機器の水平震度及び鉛直震度 ・ 図示による ・ （ ） 横引き管等の耐震安全性の分類 ※ 一般施設 ・ 特定の施設 鉛直配管等の耐震安全性の分類 ・ 一般施設 ※ 特定の施設 建物引込部の配管の耐震処置 ・ （ ） 建物のエキスパンションジョイント部の配線 ・ 標準図第2編の措置を行う ・ （ ） 直線部の距離が長い箇所のエキスパンションパスダクトの設置 ・ 設ける ・ 設けない C種接地工事又はD種接地工事の接地線の太さ[配線用遮断器等の定格電流が100V以下の場合] ・ 表2.15.2による ・ 8mm以上 ・ （ ） 大地抵抗率測定用補助接地極の埋設 ・ 行う ・ 行わない	[表 2.1.2] [表 2.1.3]
第８編 医療関係設備	第２章 非接地電源用分電盤等 第１節 機材 2.1.2 非接地電源用分電盤 2.1.2.2 キャビネット 2.1.2.4 器具類	＊ 材料 ※ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ 合成樹脂製 ＊ 単相の絶縁変圧器 二次定格電圧 ・ 100V ・ 200V ＊ 電流監視装置 分岐回路に流れる電流の監視 ・ 行う ・ 行わない	
	第３章 ナースコール設備 第１節 機材 3.1.2 基本形ﾅｰｽｺｰﾙ装置 3.1.3 携帯形ﾅｰｽｺｰﾙ装置	＊ 水気のある場所（ﾄｲﾚ、浴室等）に設置する呼出押しﾎﾞﾀﾝの性能 ・ 防湿性能 ・ 防滴性能 ・ 標準 ・ 図示による ＊ 構内PHS方式 （ ） ＊ 小型携帯用主装置 （ ）	
	3.1.4 情報表示形ﾅｰｽｺｰﾙ装置	＊ 情報表示形親機 ・ 卓上形 ・ 壁掛形 ・ 自立形 ＊ 水気のある場所（ﾄｲﾚ、浴室等）に設置する呼出押しﾎﾞﾀﾝの性能 ・ 防湿性能 ・ 防滴性能 ・ 標準 ・ 図示による ＊ 病床ユニットの仕上げ材質 ※ 金属製 ・ 樹脂製	
	3.1.5 病床ユニット 第４節 施工の試験 3.4.1 施工の試験	＊ オプション等の試験 （ ） ＊ 携帯型ナースコール装置のオプション等の試験 （ ）	
耐震措置	本設計図、共通仕様書及び標準図に記載されたものの他は営繕工事における耐震性強化指針（H9.4）による。	＊ 局部震動法による建築設備機器（水槽類を除く）の設計用標準水平震度（ＫＳ） 耐震安全性の分類 ※ 特定の施設：重要機器 2．０（2．０）／一般機器 1．５（2．０） ・ 一般の施設：重要機器 1．５（2．０）／一般機器 1．０（1．５） 上層階、屋上及び塔屋：2．０（2．０）／1．５（2．０）／1．５（2．０）／1．０（1．５） 中間階：1．５（1．５）／1．０（1．５）／1．０（1．５）／0．６（1．０） １階及び地下階：1．０（1．０）／0．６（1．０）／0．６（1．０）／0．４（0．６） （注）（ ）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 本表は建築物の構造体が鉄筋コンクリート造、鉄骨造のものに適用する。 上層階は、2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階。 中間階は、地下階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの。（平屋建は１階と屋上で構成され中間階はなし） 設置場所の区分は機器を支持している床部分にしたがって適用する。 水槽類にはオイルタンク等を含む。 ＊ 局部震動法による水槽類の設計用標準水平震度（ＫＳ） 耐震安全性の分類 ※ 特定の施設：重要機器 2．０／一般機器 1．５ ・ 一般の施設：重要機器 1．５／一般機器 1．０ 上層階、屋上及び塔屋：2．０／1．５／1．５／1．０ 中間階：1．５／1．０／1．０／0．６ １階及び地下階：1．５／1．０／1．０／0．６ ＊ 重要機器 受変電設備機器、自家発電設備機器、直流電源機器、通信機器、電話交換機器、給水装置、排水装置、重要な空調熱源機器、中央監視制御機器 危険物関係機器、危険物用防災機器 避難用機器、防災機器 火気使用機器、（除、ガス瞬間湯沸器等）第１種圧力容器、高圧ガス機器、油槽類105kW以上の冷凍機、冷却塔、貯湯槽大型水槽類、特殊ガス容器等 ＊ 上記の他、上記を機能させるために必要な補器類、施設特性により重要とされるもの及び特に指定するもの。（ ）	
その他	特定建設資材の再資源化等	＊ 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律［（平成12年法律第104号）以下「建設リサイクル法」という。］に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、別表1又は2、及び3の積算条件を設定しているが、工事請負契約書に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されたものであるため、発注者が、積算上条件明示した別表の事項と別の方法であった場合でも、変更の対象としない。ただし、現場条件の変更等、受注者の責によるものでない事項については、この限りではない。また、受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づく報告として、監督職員に再資源化等報告書を提出すること。 ＊ 別表１ 建築物に係る解体工事 工程ごとの作業内容及び解体方法：・造成等／・基礎、基礎ぐい／・上部構造部分、外装／・屋根／・建築設備、内装等／・その他（ ） 作業内容：・有 ・無 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用	

編	節・項目	特記事項	備考
その他		＊ 別表２ 建築物に係る新築工事等（新築・増築・修繕・模様替） 工程ごとの作業内容及び解体方法： ・造成等／・基礎、基礎ぐい／・上部構造部分、外装／・屋根／・建築設備、内装等／・その他（ ） 作業内容：・有 ・無 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ＊ 別表３ 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（外構・工作物等） 工程ごとの作業内容及び解体方法： ・仮設／・土工／・基礎工事／・本体工事／・本体付属品／・その他（ ） 作業内容：・有 ・無 分別・解体等の方法：・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ＊ 別表４ 再資源化等をする施設の名称及び所在地 廃棄物の種類：・コンクリート／・鉄及びコンクリートから成る建設資材／・アスファルト・コンクリート／・木材 施設の名称： 所在地：	

電気設備工事指定資材

電線管　波付合成樹脂管及びポリエチレン被覆鋼管は、JIS規格適合品を使用すること。

分類		指定資材	適用範囲	品質性能基準
照明類	1	ＬＥＤ照明器具（一般屋内用に限る）		評価名簿登載品（★１）
	2	ＬＥＤ照明器具（屋外用）		★１のLED照明器具（一般屋内用に限る）の評価名簿登載品メーカーの製品
	3	照明制御装置		評価名簿登載品
	4	可変速運転用ｲﾝﾊﾞｰﾀ装置		評価名簿登載品
	5	非常用照明器具		（一財）日本建築センターの防災性能評定マークの表示が貼付されたもの又は（一社）日本照明工業会のJIL適合マークが貼付されたもの
	6	誘導灯		（一社）日本電気協会（誘導灯審査委員会）の認定証票が貼付されたもの
電線類	1	耐火・耐熱電線		（一社）電線総合技術センター（JECTEC）の認定を受けたもの
盤類	1	分電盤（実験盤を含む）		評価名簿登載品
	2	制御盤		評価名簿登載品
	3	消防設備用制御盤		（一財）日本消防設備安全センターの認定証票が貼付されたもの
	4	キュービクル式配電盤		評価名簿登載品
	5	高圧ｽｲｯﾁｷﾞﾔ（ＣＷ形）		評価名簿登載品
	6	高圧ｽｲｯﾁｷﾞﾔ（ＰＷ形）		評価名簿登載品
高圧機器	1	高圧交流遮断器		評価名簿登載品（★２）
	2	高圧進相コンデンサ		評価名簿登載品
	3	高圧限流ヒューズ		評価名簿登載品
	4	高圧負荷開閉器		評価名簿登載品
	5	高圧変圧器（特定機器）		評価名簿登載品
	6	高圧避雷器		評価名簿登載品
電磁開閉器類	1	電磁開閉器、接触器		★２の遮断器類の評価名簿登載メーカーの製品
絶縁監視装置	1	高圧回路の絶縁監視装置		評価名簿登載品
	2	低圧回路の絶縁監視装置		評価名簿登載品
蓄電池	1	ベント形据置鉛蓄電池		評価名簿登載品
	2	制御弁式据置鉛蓄電池		評価名簿登載品
	3	据置ﾆｯｹﾙ・ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙｶﾘ蓄電池		評価名簿登載品
	4	ｼｰﾙ形ﾆｯｹﾙ・ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙｶﾘ蓄電池		評価名簿登載品
直流電源装置	1	消防用設備		蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの
交流無停電電源装置	1		簡易型を除く	評価名簿登載品
自家発電装置	1			（一社）日本内燃力発電設備協会の認定証票が貼付されたもの
太陽光発電装置	1	ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ及び系統連系保護装置		評価名簿登載品
通信設備	1	構内交換装置	交換機、主装置、電話機	（一財）電気通信端末機器審査協会の認定表示があるもの
	2	監視カメラ装置		評価名簿登載品
	3	自動火災報知装置	感知器、発信器、中継器、受信機	日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの
	4	自動閉鎖装置	連動制御盤、自動閉鎖装置	（一財）日本建築センターの防災性能評定マークが貼付されたもの
	5	非常警報装置	ベル、表示灯、起動装置	日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの
	6	非常放送	消防設備用	日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの
	7	ガス漏れ警報装置	受信機、中継器	日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの
			検知器	（一財）日本ガス機器検査協会の合格証票又は高圧ガス保安協会の検定合格証票が貼付されたもの
中央監視制御装置	1			評価名簿登載品
ｻｰｼﾞ保護ﾃﾞﾊﾞｲｽ	1	低圧用ＳＰＤ		評価名簿登載品

注）本工事に使用する資材・機材は、上表によるほか、令和６年版国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の各標準仕様書、工事特記仕様書、図面で指定された品質、性能を有するもの及び以下のものとする。
１）（一社）公共建築協会の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」により評価を受けた建築材料・設備機材等（「評価名簿登載品」という。）ただし、評価書の「納入地区及びアフターサービス地区」に当該工事場所が含まれる場合に限る。
２）（一財）ベターリビングが認定した優良住宅部品（ＢＬ部品）。ただし現場においてＢＬマーク表示が確認できるものに限る。
３）その他、各標準仕様書の仕様規定及び試験方法に適合することが証明書等で確認でき、監督職員の承諾を得られたもの。（定期的なメンテナンスが必要になる機材については、メンテナンス（アフターサービス）体制についても監督職員に承諾が得られること。）
なお「評価名簿登載品」は（一社）公共建築協会の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価書の写しを提出することにより、その評価を受けたこと及びメンテナンス体制があることについて証明することができる。

株式会社 松浦建築事務所
ＴＥＬ （0561） 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	電気設備工事特記仕様書（５）
縮尺	NS
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	E-005

隣地
（資材置き場）

隣地
（店舗）

屋外(北)	
Y	2

CV5.5° -2C(HI28) C

26,286

4,729

16,392

5,159

11,643

7,762

隣地境界線

CV5.5° -2C(HI28) C

17,294

倉庫

雨水槽
（旧_合併処理浄化槽）

23,507

HH(ｷ)

6KV CV38° -3C(HI70) : 高圧
CV5.5° -2C(HI28) : SOG

CV8° -3C(HI28)
CVV2° -2C(HI22)

CV5.5° -2C(HI28) G

IN 電力 3φ6600V60Hz

駐車場_As舗装

CV5.5° -2C(HI28) D

既設引込柱

HH(ｷ)

HH(ｷ)

HH(ｷ)

HH(ｷ)

HH(ｷ)

救急消毒室

以降配置図参照

CV8° -3C(HI28)
CV5.5° -2C(HI28) ×2 C G
CVV2° -2C(HI22)

(HI42) ×2 : TEL
(HI28) : ｻｲﾚﾝ
(HI54) : 予備

6,574

6,396

CV2.0° -2C(HI22) F

U

以降、平面図

以降、平面図

以降、平面図

以降、平面図

以降、平面図

以降、平面図

40,644

D

以降、平面図

倉庫

22,359

歩道

カラーAs舗装

対象建築物

HH(ｷ)

(HI28) ×3

隣地

18,000

屋外(軒下)	
a	1
e	6

以降、平面図

13,193

8,348

HH(ｷ)

24,816

屋外(南)	
Y	2

3,850 6,000 7,600 7,600 7,600 8,500 3,850

13,500 45,000

1 2 3 4 5 6 7 8

24,268

CV5.5° -2C(HI28) E

隣地

CV8° -2C(HI28)
CV8° -2C(HI28)
CV8° -2C(HI28)
A B E

Co舗装

CV8° -2C(HI28)
CV8° -2C(HI28)
B E

改修後_配置図 1/200

訓練広場

As舗装

33,825

4,971

12,562

HH(ｷ)

CV8° -2C(HI28) A

投光器回路

CV8° -2C(HI28) B

投光器回路

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	設計図
TEL (0561) 32-0318	図面名称	配置図（改修前）	縮尺 A2 1：200 / A3 1：282
			製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-006

隣地
（資材置き場）

隣地
（店舗）

隣地境界線

倉庫

雨水槽
（旧 合併処理浄化槽）

救急消毒室

駐車場_As舗装

歩道

カラーAs舗装

対象建築物

訓練広場

Co舗装

As舗装

改修後_配置図 1/200

IN 電力 3φ6600V60Hz

既設引込柱

屋外(北)	
Y	2

屋外(軒下)	
F25	1
b27	6

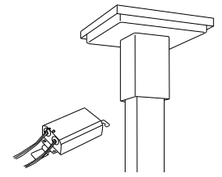
屋外(南)	
Y	2

屋外(ﾎｰｽﾘﾌﾀｰ)	
M120W	1

M120W	LED 10800 lm/ 86.4 W	電源内蔵型
	HF400W x1 相当	広角型



Y	LED 4100 lm/ 50 W	電源別置型
	HF250W x1 相当	防雨型(灯具のみ)

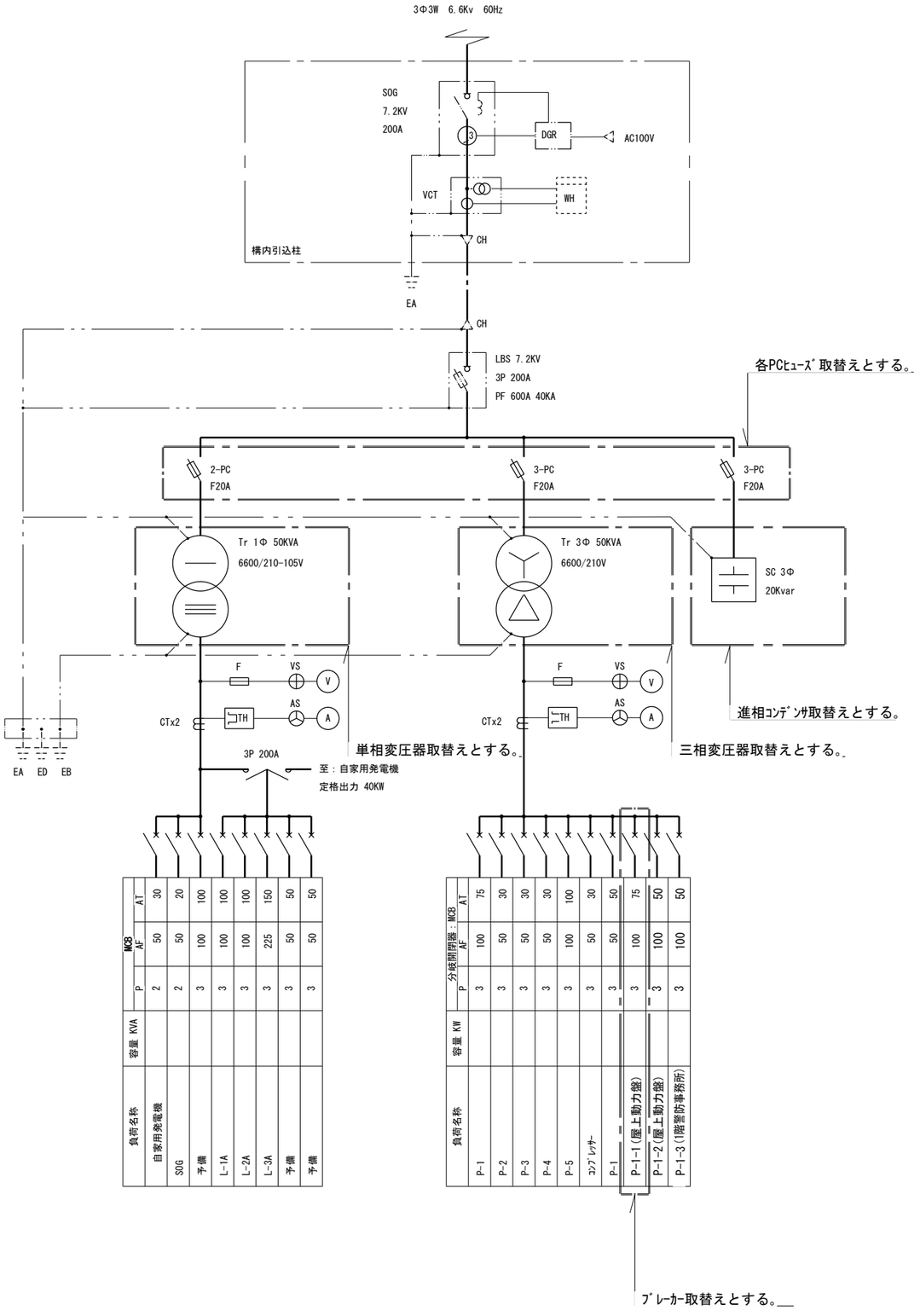


注 記

1. 図中特記なき配管配線は下記とする
   - EM-CE 3.5° - 3C (FEP30) 地中埋設
2. 特記なきハンドホールは下記とする
   - H : 600 x 600 x 750 (R8K-60) ・セパレータ付
3. 各設備共通事項
   - 地中埋設配管深さは GL-600 以上とする
   - ■ 埋設表示テープ・表示杭を布設する

株式会社	松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事 設計図
TEL (0561) 32-0318		図面名称	配置図（改修後）
		縮尺	A2 1：200 / A3 1：282
		製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No.	E-007

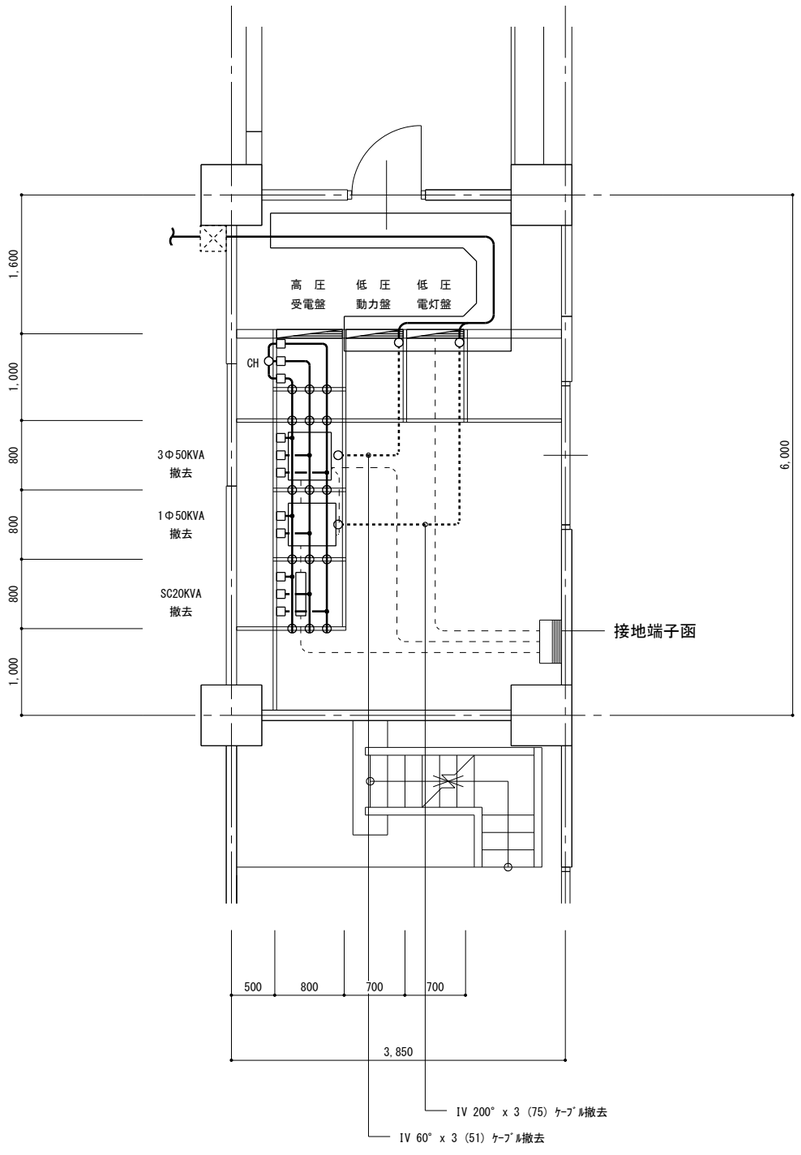
改修前	受変電結線図	N.S	



負荷名称	容量 KVA	MCB P	MCB AF	MCB AT
自家用発電機		2	50	30
SOG		2	50	20
予備		3	100	100
L-1A		3	100	100
L-2A		3	100	100
L-3A		3	225	150
予備		3	50	50
予備		3	50	50

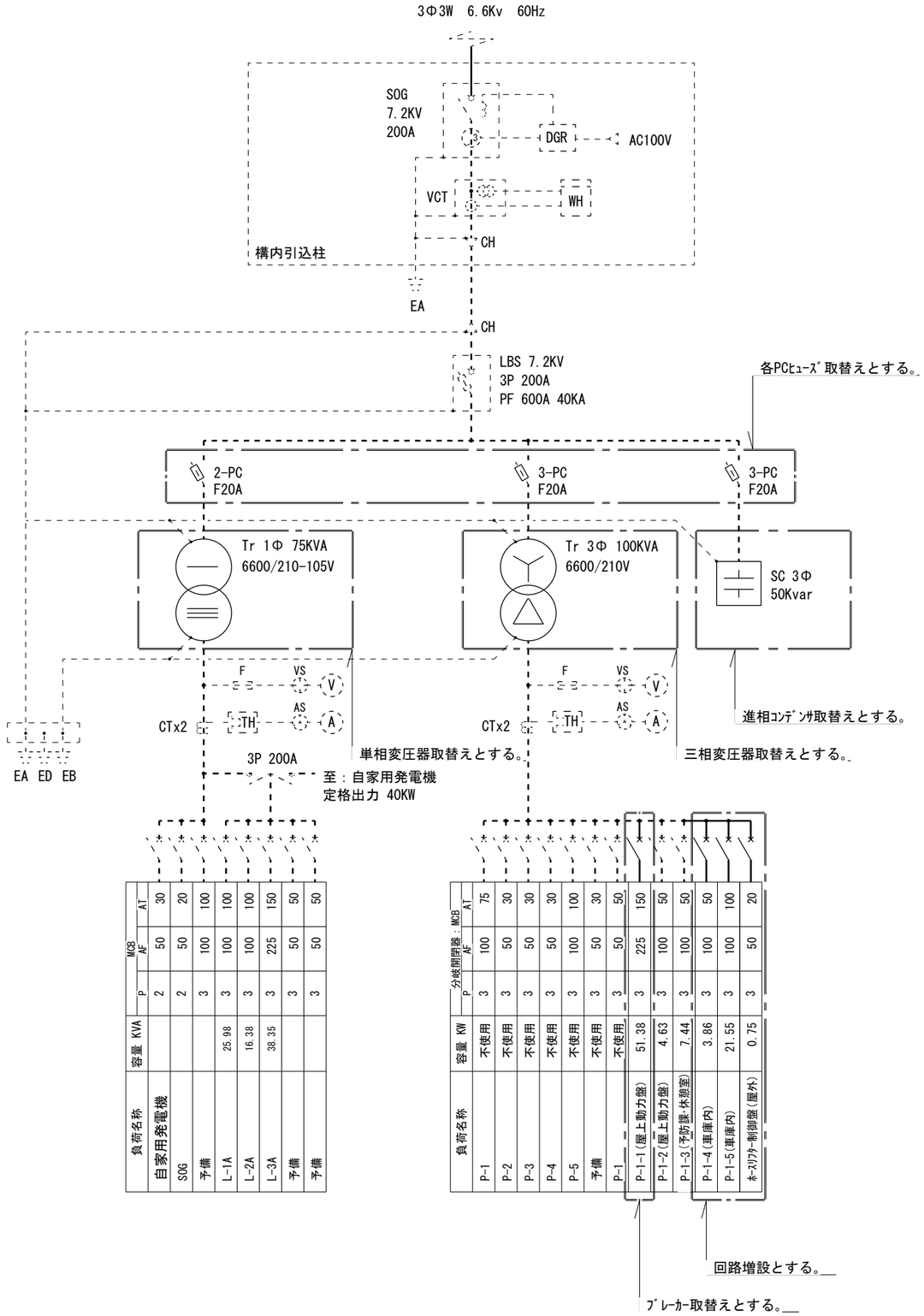
負荷名称	容量 KW	分岐開閉器：MCB P	AF	AT
P-1		3	100	75
P-2		3	50	30
P-3		3	50	30
P-4		3	50	30
P-5		3	100	100
ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ		3	50	30
P-1		3	50	50
P-1-1（屋上動力盤）		3	100	75
P-1-2（屋上動力盤）		3	100	50
P-1-3（階警防事務所）		3	100	50

改修前	電気室詳細図	S=1/50	



株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	設計図
	図面名称	受変電結線図（改修前）	縮尺 N.S
			製図 令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-008

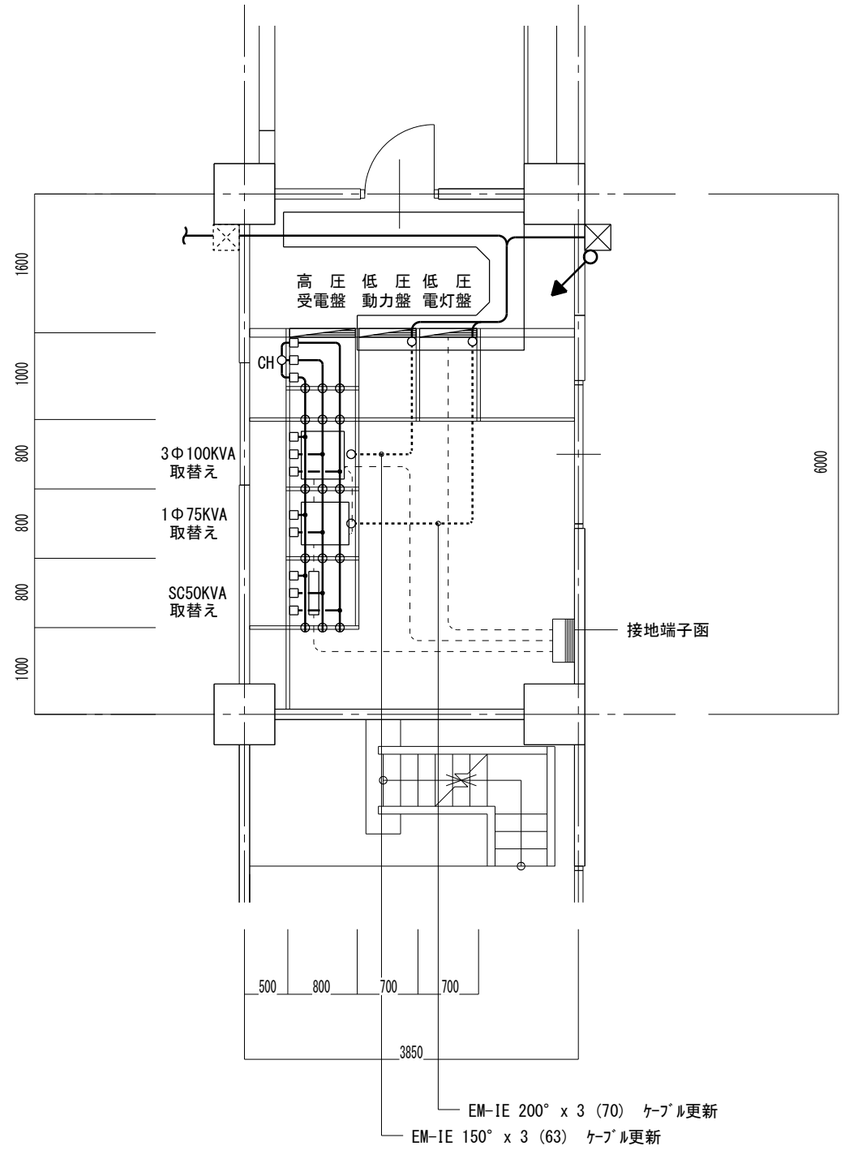
改修後	受変電結線図	N.S	※　破線表示は既設を示す



負荷名称	容量 KVA	MCB P	MCB AF	MCB AT
自家用発電機		2	50	30
SOG		2	50	20
予備		3	100	100
L-1A	25.98	3	100	100
L-2A	16.38	3	100	100
L-3A	38.35	3	225	150
予備		3	50	50
予備		3	50	50

分岐開閉器：MCB				
負荷名称	容量 KW	P	AF	AT
P-1	不使用	3	100	75
P-2	不使用	3	50	30
P-3	不使用	3	50	30
P-4	不使用	3	50	30
P-5	不使用	3	100	100
予備	不使用	3	50	30
P-1	不使用	3	50	50
P-1-1（屋上動力盤）	51.38	3	225	150
P-1-2（屋上動力盤）	4.63	3	100	50
P-1-3（予防課・休憩室）	7.44	3	100	50
P-1-4（車庫内）	3.86	3	100	50
P-1-5（車庫内）	21.55	3	100	100
ｷｭﾘｱｰ制御盤（屋外）	0.75	3	50	20

改修後	電気室詳細図	S=1/50	

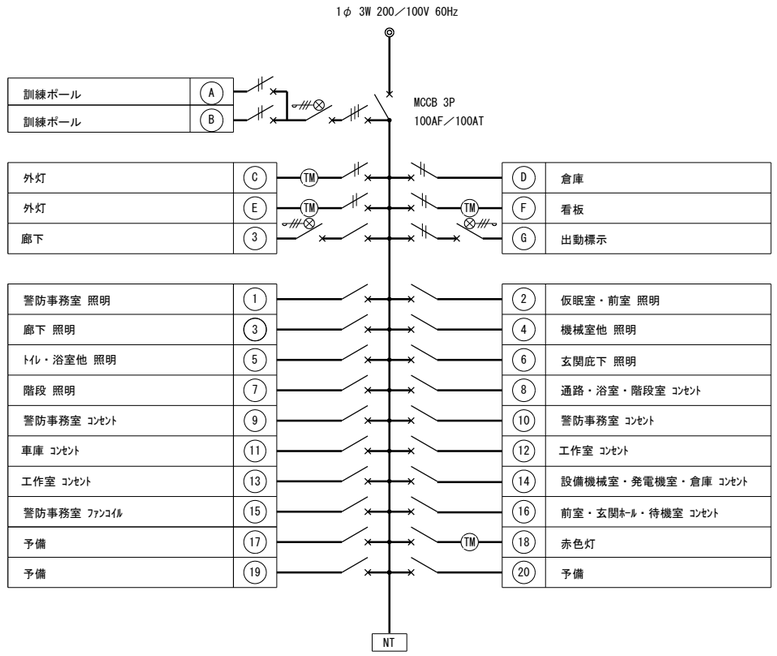


株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	設計図
	図面名称	受変電結線図（改修後）	縮尺　N.S
			製図　令和08年03月
TEL　(0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-009

改修前	分電盤結線図	N.S	

L-1

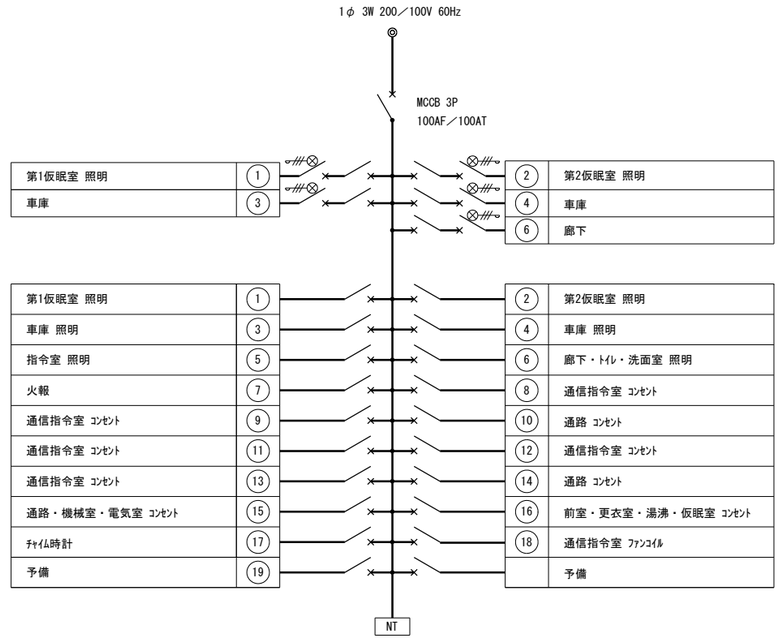
盤形式	屋内埋込型	設置場所	1階　通路
盤材質	鋼板製	備　考	



一般回路 分岐開閉器	数量		数量
200V　MCCB 3P 50AF/50AT	1	電磁開閉器 2P30AT	2
200V　MCCB 2P 50AF/30AT	1	タイマーユニット	4
200V　MCCB 2P 50AF/20AT	4		
200V　MCCB 2P 50AF/50AT	2		
100V　MCCB 1P 50AF/20AT	21		
電磁開閉器 3P100AT	1		

L-2

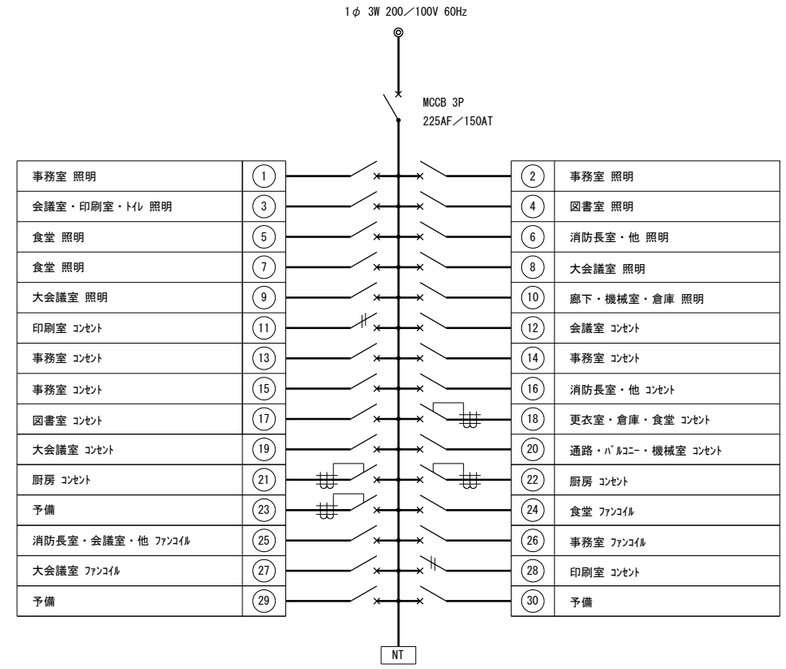
盤形式	屋内埋込型	設置場所	通路
盤材質	鋼板製	備　考	



一般回路 分岐開閉器	数量		
100V　MCCB 1P 50AF/20AT	25		
電磁開閉器 2P30AT	5		

L-3

盤形式	屋内埋込型	設置場所	通路
盤材質	鋼板製	備　考	



一般回路 分岐開閉器	数量		
100V　ELCB 2P 50AF/20AT	4		
100V　MCCB 1P 50AF/20AT	24		
200V　MCCB 2P 50AF/20AT	2		

株式会社　松浦建築事務所

TEL　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	分電盤結線図（改修前）	縮尺　N.S
		製図　令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-010

改修後	分電盤結線図（１）	N.S	

L-1A

盤形式	屋内壁掛型	設置場所	１階　通路	設備容量	25.98　[KVA]
盤材質	鋼板製・指定色塗装	備　考	盤上下部に金属ダクト取付		

1φ 3W 200／100V 60Hz

318VA

118	階　段　灯	階		非	非 常 照 明	50
100	出動標示灯・サイレン	1E		3E	屋外倉庫	000
100	赤色灯 （タイマー制御 － B ）	gT				

MCCB 3P
100／100AT

13460VA　　12150VA

379	予防課 照明	a		b	通路 照明	297
489	ﾄｲﾚ・脱衣室等 照明	c		d	機械室等 照明	269
130	車庫庇下 照明 （タイマー制御 － B ）	eT		fE	玄関庇下 照明	248
1000	ﾘﾓｺﾝﾄﾗﾝｽ	h		iE	リフター照明	86
500	訓練棟　投光器　200V	1E		2E	訓練棟　投光器　200V	500
500	外灯 （タイマー制御 － B ）　200V	3T		4T	外灯 （タイマー制御 － B ）　200V	500
300	看板照明 （タイマー制御 － B ）	2T		4	予防課 OAｺﾝｾﾝﾄ	600
600	予防課 OAｺﾝｾﾝﾄ	5		6	予防課 OAｺﾝｾﾝﾄ	1000
800	予防課 OAｺﾝｾﾝﾄ	7		8	予防課 OAｺﾝｾﾝﾄ	800
800	休憩室・相談室 OAｺﾝｾﾝﾄ	9		10	予防課 ｺﾝｾﾝﾄ	150
600	休憩室・相談室 ｺﾝｾﾝﾄ	11		12E	給湯室 ｺﾝｾﾝﾄ	1500
1500	給湯室 ｺﾝｾﾝﾄ	13E		14E	給湯室 ｺﾝｾﾝﾄ	1500
1000	男子WC ｳｫｼｭﾚｯﾄ	15E		16E	男子WC ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ	1000
900	こどもWC ｺﾝｾﾝﾄｰ	17E		18E	女子WC ｳｫｼｭﾚｯﾄ	900
1000	女子WC ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ	19E		20E	更衣室・脱衣室 ｺﾝｾﾝﾄ	750
750	通路・ロッカー ｺﾝｾﾝﾄ	21		22E	車庫 ｺﾝｾﾝﾄ	450
1500	洗濯乾燥室 ｺﾝｾﾝﾄ	23E		24E	洗濯乾燥室 ｺﾝｾﾝﾄ	1500
600	機械室等 ｺﾝｾﾝﾄ	25		換	予防課 換気	100
112	ｶﾞｽ給湯器用 ｺﾝｾﾝﾄ	26E			予備	
	予備				予備	

NT

一般回路 分岐開閉器		リモコン機器	数量	年間プログラムタイマーユニット	
100V　MCCB 1P 50/20AT	19	リモコンリレー　2P20A	13	（ソーラー機能付）	
100V　MCCB 2P 50/20AT	2	リレー制御Ｔ／Ｕ（４回路用）	4	年間プログラムタイマー制御	
100V　ELCB 2P 50/20AT	20	接点入力　Ｔ／Ｕ（４入力用）		Ａ：ON － 日入り　OFF － 日出	
200V　ELCB 2P 50/20AT	4	伝送ユニット		Ｂ：ON － 日入り　OFF － 指定時刻	
		リモコントランス	1		

L-2A

盤形式	屋内壁掛型	設置場所	通路	設備容量	16.38　[KVA]
盤材質	鋼板製・指定色塗装	備　考	盤上下部に金属ダクト取付		

1φ 3W 200／100V 60Hz

118VA

118	階　段　灯	階	非	非 常 照 明	50

MCCB 3P
100／100AT

8792VA　　7420VA

317	仮眠室 1-4・女性 照明	a	b	仮眠室　5-10 照明	119
251	通路 照明	c	d	仮眠室 11-17 照明	166
345	車庫西 照明	e	f	車庫東 照明	776
1000	ﾘﾓｺﾝﾄﾗﾝｽ	g		予備	
1500	仮眠室　1-10 ｺﾝｾﾝﾄ	1	2	通路 ｺﾝｾﾝﾄ	450
1050	仮眠室 11-17 ｺﾝｾﾝﾄ	3	4E	女性仮眠室 ｺﾝｾﾝﾄ	1050
1200	洗面・脱衣 ｺﾝｾﾝﾄ	5E	6E	男子WC ｳｫｼｭﾚｯﾄ	1500
1000	男子WC ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ	7E	8E	洗面ｺｰﾅｰ ｺﾝｾﾝﾄ	1200
1200	洗面ｺｰﾅｰ ｺﾝｾﾝﾄ	9E	10E	洗面ｺｰﾅｰ ｺﾝｾﾝﾄ	1200
450	電気室等 ｺﾝｾﾝﾄ	11	12	仮眠室1～10.18 室内機　200V	418
266	仮眠室11～17 室内機　200V	13	14	仮眠室1～10.18 全熱交換機	429
213	仮眠室11～17 全熱交換機	15	16E	ｼｬﾜｰ室 給湯機用ｺﾝｾﾝﾄ	112
	予備			予備	

NT

一般回路 分岐開閉器		リモコン機器	数量	年間プログラムタイマーユニット	
100V　MCCB 1P 50/20AT	14	リモコンリレー　2P20A	2	（ソーラー機能付）	
100V　MCCB 2P 50/20AT	2	リレー制御Ｔ／Ｕ（４回路用）	1	年間プログラムタイマー制御	
100V　ELCB 2P 50/20AT	10	接点入力　Ｔ／Ｕ（４入力用）		Ａ：ON － 日入り　OFF － 日出	
200V　ELCB 2P 50/20AT	2	伝送ユニット	1	Ｂ：ON － 日入り　OFF － 指定時刻	
		リモコントランス			

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	分電盤結線図（１）（改修後）	縮尺　N.S
		製図　令和08年03月
１級建築士 登録第92794号　松浦孔明		No. E-011

改修後	分電盤結線図（２）	N.S	

L-3A

盤形式	屋内自立型	設置場所	３階　警防事務室廊下	設備容量	38.35　[KVA]
盤材質	鋼板製・指定色塗装	備　考	総合盤に組込み		

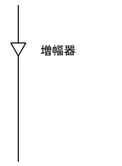


一般回路 分岐開閉器			リモコン機器	数量	年間プログラムタイマーユニット	1
100V	MCCB 1P 50/20AT	33	リモコンリレー　2P20A	9	（ソーラー機能付）	
100V	MCCB 2P 50/20AT	10	リレー制御Ｔ／Ｕ（４回路用）	3	年間プログラムタイマー制御	
100V	ELCB 2P 50/20AT	16	接点入力　Ｔ／Ｕ（４入力用）	1	A : ON - 日入り　OFF - 日出	
200V	ELCB 2P 50/20AT	2	伝送ユニット	1	B : ON - 日入り　OFF - 指定時刻	
			リモコントランス	2		

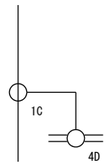
改修後	端子盤リスト	N.S						

盤名称	盤 形 式	電　話	放　送	時計	テレビ	電気錠	露出ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A2ヶ口	備　　考
T-1A	屋内壁掛形（盤上部・下部ダクト付）	50P	10P	10P	C	20P		
T-2A	屋内壁掛形（盤上部・下部ダクト付）	50P	10P	10P		20P		
T-3A	屋内壁掛形（盤上部・下部ダクト付）	50P	20P	10P	B			
T-3B	総合盤に組込	50P	20P	10P	A	20P	6	

A



B



C



改修後	防災複合盤警報表示リスト	N.S	

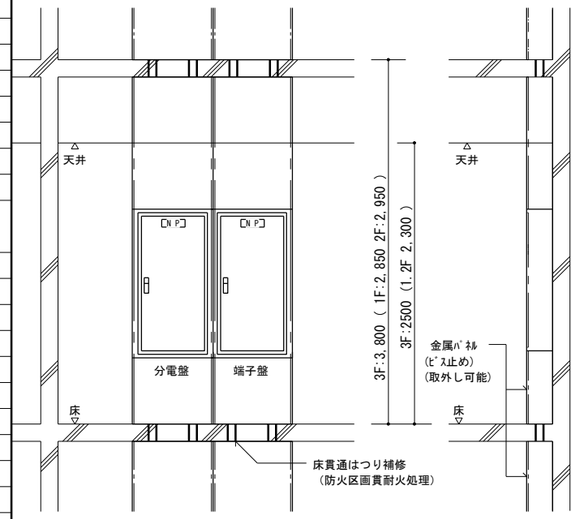
	名　　称	表示 運転	停止	故障	満水	減水	備　　考
1	給湯膨張タンク				○		
2	給湯膨張タンク					○	
3	受水槽				○		
4	受水槽					○	
5	雨水貯留槽				○		
6	雨水貯留槽					○	
7	非常用発電機	○					
8	非常用発電機			○			
9	高圧機器 一括警報			●			屋外ｷｭｰﾋﾞｸﾙ用
10	低圧機器 一括警報			●			将来対応

注　記

防災複合盤に警報を移報する為の既設動力盤等に対応処理を行い、

防災複合盤警報表示に支障をきたさない様すること

	分電盤・端子盤取付　参考図	N.S	



株式会社　松浦建築事務所

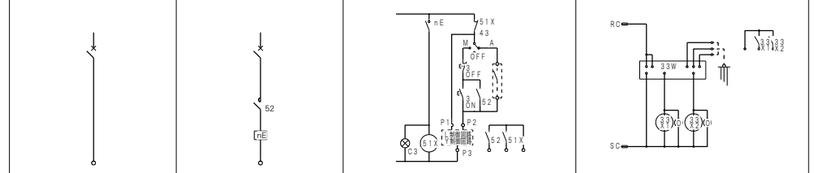
ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	分電盤結線図（２）（改修後）	縮尺　N.S
		製図　令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松 浦 孔 明	No. E-012

改修後	分電盤結線図（３）	N.S	

動力分電盤結線図(改修前・後)

Ⅰ 主回路結線図		Ⅱ 操作・制御回路	
A 電源送り	D 直入起動	4 試験→自動または運動	9 漏雷警報



特記事項

1．表示灯は全てLEDとする。
2．電磁開閉器（52）は瞬停防止型とする。
3．保護リレーnEは3Eを原則とする。
4．新設は端子受けとする。新設分岐がある場合は、渡り端子を設ける。

名称	幹線NO	結線図	回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 MCCB	ELCB	P	AF	AT	負荷名称	負荷容量(KW)	制御結線番号	遠方操作および表示 発停	表示	警報	備考及びその他付機器
(既設) P-1-1 (屋上) (屋外壁掛け 壁埋型)	CV122° E8° (撤去)	MCCB3P 100AF/75AT	①	200	○	3	100	75	MAC-K1-1(室外機)		A				CV14° -3C E3.5° (G36/F30)
			②	200	○	3	100	75	MAC-K1-1(室外機)		A				CV14° -3C E3.5° (G36/F30)
(既設) P-1-2 (屋上) (屋外壁掛け 壁埋型)	[既設流用]		①	200	○	3	50	20	PAC-K3(室外機)		A				CV3.5° -3C E2.0 (G22/F24)
			②	200	○	3	50	30	PAC-K4(室外機)		A				CV5.5° -3C E2.0 (G28/F24)
(既設) P-1-3 (1階) (屋外壁掛け 壁埋型)	[既設流用]		①	200	○	3	50	30	PAC-K2(室外機)		A				CV5.5° -3C E2.0 (G28/F24)
			②	200	○	3	50	30	PAC-K2(室外機)		A				CV5.5° -3C E2.0 (G28/F24)

名称	幹線NO	結線図	回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 MCCB	ELCB	P	AF	AT	負荷名称	負荷容量(KW)	制御結線番号	遠方操作および表示 発停	表示	警報	備考及びその他付機器
(既設) P-1-1 (屋上) (屋外壁掛け 壁埋型)	EM-CE160° IE14° (新設)	MCCB3P 225AF/150AT TO:51.38KW	①	200	○	3	50	30	MAC-1(室外機)	5.2	A				EM-CE5.5° -3C IE2.0 (G28/F24)
			②	200	○	3	100	100	MAC-3(室外機)	15.1	A				EM-CE22° -3C IE5.5° (G42/F50)
			③	200	○	3	125	125	MAC-4(室外機)	26.9	A				EM-CE38° -3C IE8° (G54/F50)
			④	200	○	3	50	30	PAC-3(室外機)	4.18	A				EM-CE3.5° -3C IE2.0 (G22/F24)
(既設) P-1-2 (屋上) (屋外壁掛け 壁埋型)	[既設流用]	TO:4.63KW	①	200	○	3	50	20	PAC-4(室外機)	3.38	A				EM-CE3.5° -3C IE2.0 (G22/F24)
			②	200	○	3	50	30	PAC-5(室外機)	1.25	A				EM-CE2.0° -3C IE2.0 (G22/F24)
(既設) P-1-3 (1階) (屋外壁掛け 壁埋型)	[既設流用]	TO:7.44KW	①	200	○	3	50	30	PAC-1(室外機)	3.72	A				EM-CE5.5° -3C IE2.0 (G28/F24)
			②	200	○	3	50	30	PAC-2(室外機)	3.72	A				EM-CE3.5° -3C IE2.0 (G22/F24)

名称	幹線NO	結線図	回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 MCCB	ELCB	P	AF	AT	負荷名称	負荷容量(KW)	制御結線番号	遠方操作および表示 発停	表示	警報	備考及びその他付機器
(新設) P-1-4 (下置屋) (屋外壁掛型)	EM-CE114° IE5.5° (新設)	MCCB3P 100AF/50AT F L TO:3.86KW	①	200	○	3	50	20	MAC-2(室外機)	1.93	A				EM-CE3.5° -3C IE2.0 (G22/F24)
			②	200	○	3	50	20	MAC-3(室外機)	1.93	A				EM-CE3.5° -3C IE2.0 (G22/F24)
(新設) P-1-5 (下置屋) (屋外壁掛型)	EM-CE138° IE8° (新設)	MCCB3P 100AF/100AT F L TO:27.05KW	①	200	○	3	50	15	オーバースライダー	0.2	A				EM-CE3.5° -3C IE2.0 (G22/F24)
			②	200	○	3	50	15	オーバースライダー	0.2	A				EM-CE3.5° -3C IE2.0 (G22/F24)
			③	200	○	3	50	15	オーバースライダー	0.2	A				EM-CE3.5° -3C IE2.0 (G22/F24)
			④	200	○	3	50	15	オーバースライダー	0.2	A				EM-CE3.5° -3C IE2.0 (G22/F24)
			⑤	200	○	3	50	30	コンプレッサー	7.7	A				EM-CE5.5° -3C IE2.0 (G28)
			⑥	200	○	3	50	20	排気ファン FE-1	5.5	A/4				EM-CE3.5° -3C IE2.0 (G22/F24)
			⑦	200	○	3	50	30	乾燥機	12.0	A				EM-CE5.5° -3C IE2.0 (G28)
			⑧	200	○	2	50	20	防火衣洗濯機	1.05	A				EM-CE3.5° -3C(1E) (G22/E31)

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	分電盤結線図（３）（改修後）	縮尺 N.S
			製図 令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-013

改修前	幹線・動力設備　凡例	N.S

記　号	名　　称	備　　考
	分電盤	
	動力盤	
S	手元開閉器	特記無きは
		MCCB 3P 50AF(鉄箱入)とする
M	電動機	空調・衛生工事
FC	ファンコイル	空調工事
3P	電極	衛生工事

記　号	名　　称	備　　考
	中継ボックス	
	配管・配線	立ち上げ・引き下げ
	配管・配線	天井隠ぺい
	配管・配線	床隠ぺい
	配管・配線	露出
	配管・配線	地中埋設
	既設器具撤去を示す	
	既設配管配線撤去を示す	

注記

1.　図中特記なき配管・配線は 下記とする

2.0 x 2　(19)

改修前	コンセント設備　凡例	N.S

記　号	名　　称	備　　考
	分電盤	
	壁付コンセント	2P15A x2
E	壁付コンセント	2P15A x2・接地端子付
20A	壁付コンセント	250V 2P 15A (E付)×1
	床付コンセント	2P15A x2
E/WP	壁付防水コンセント	2P15A (E付) x1

記　号	名　　称	備　　考
	中継ボックス	
	配管・配線	立ち上げ・引き下げ
	配管・配線	天井隠ぺい
	配管・配線	床隠ぺい
	配管・配線	露出
	既設器具撤去を示す	
	既設配管配線撤去を示す	

注記

1.　図中特記なき配管配線は下記とする

2.0 x 2　(19)

2.0 x 3　(19)

2.0 x 4　(25)

2.0 x 5　(25)

2.0 x 6　(25)

※　1．2階仮眠室（改修工事済）は下記とする

2.0 x 3　(PF16)

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称　（改修前）各設備凡例

縮尺　N.S

製図　令和08年03月

1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. E-014

改修範囲

：今回改修部分

：今回改修適用外部分（器具類に取替）

L-1 既設分電盤内開閉器撤去し中継ボックスとする

CV38° -3C E14° (PE54) : L-1(残置)
CV8° -3C (PE28)(残置)
(PE54)(残置)

CV8° -3C (PE28) : P-1 (残置)

P-1 (残置)

IV200° ×3 E22° (75) (残置)
IV2.0×2 (19) (残置)

CV14° -3C E5.5° (36)×2 : P-1 (残置)
CV38° -3C E14° (54) : L-1 (残置)

2.0×3 E2.0 (25) (残置)

CV8° -3C (HI28)(残置)
CVV2° -2C(HI22)(残置)

花壇

ゴミ置き場

階段室 A

仮眠室 (101)

仮眠室 (102)

仮眠室 (103)

トイレ

浴室

乾燥室

洗面・洗濯室

脱衣室

階段室 B

油庫

設備機械室

屋外階段

CVV2° -2C(HI22)(残置)

38° ×3 E14° (54) : L-1(残置)

通路

物入

下部防火水槽

PB43

湯沸

AP

玄関ホール

警防事務室

受付

待機室

以降、電気室より

発電機室

発電機 (残置)

3P30A

検車ピット

工作室

倉庫

花壇

CV5.5° -3C E2.0(28) (撤去)
CV5.5° -3C E2.0(28) (撤去)

P-1-3 既設分電盤残置とし改修後分電盤流用とする。

CV14° -3C E5.5° (PE36) : P-1(残置)
CV14° -3C E5.5° (PE36) : P-1(残置)

6KV 38° -3C(HI70) : 高圧(残置)
CV5.5° -2C(HI28) : SOG(残置)
E60° (VP28) : 接地(残置)

19,000 = 6,000 + 6,000 + 6,000 + 1,000

3,850 | 6,000 | 7,600 | 7,600 | 7,600 | 8,500 | 3,850

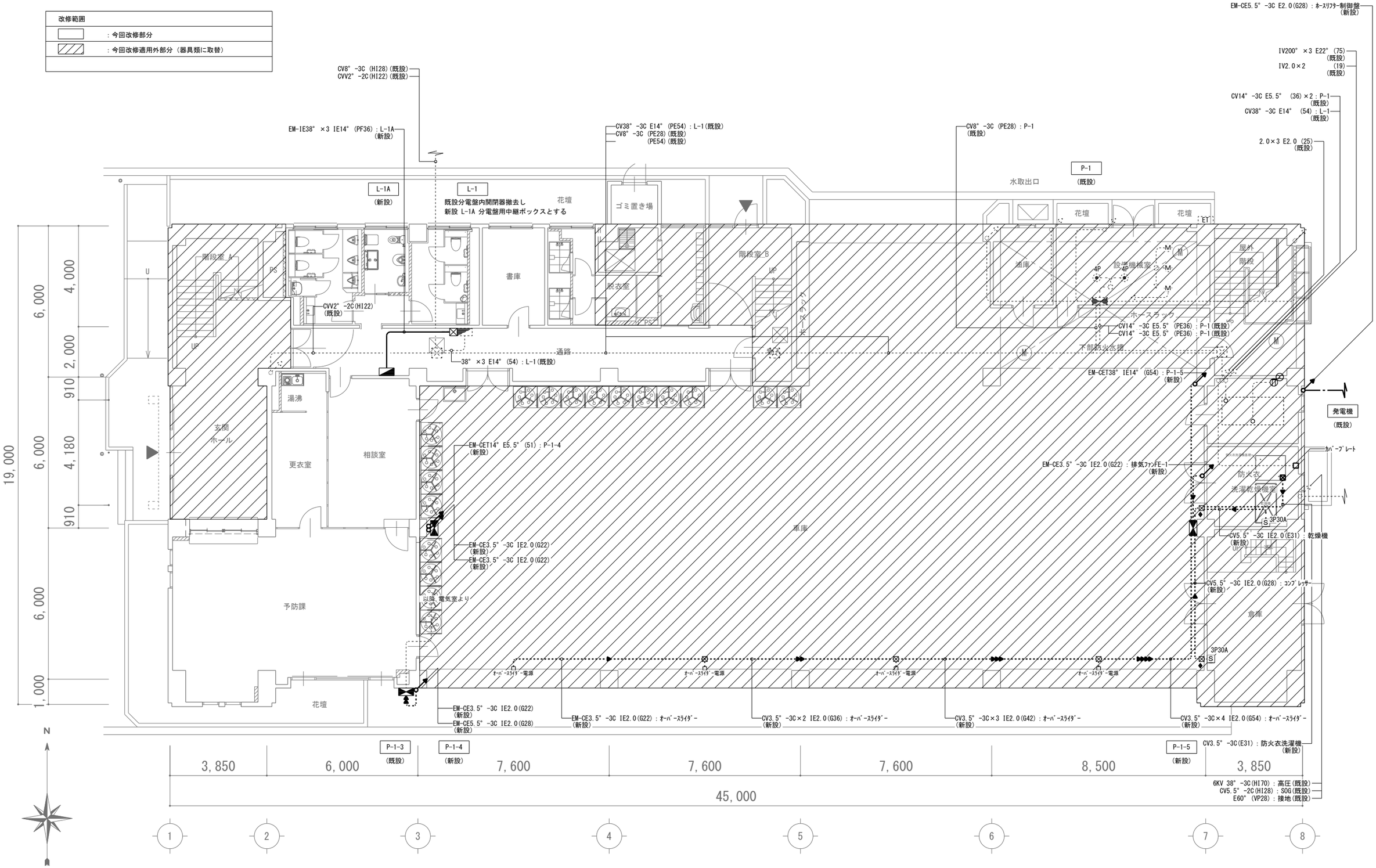
45,000

N

改修前　1階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事	
TEL (0561) 32-0318	図面名称 幹線設備 1階平面図（改修前）	縮尺 A2 1：100 / A3 1：141
		製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No. E-015

改修範囲
：今回改修部分
：今回改修適用外部分（器具類に取替）



改修後　１階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	幹線設備 1階平面図（改修後）
	縮尺	A2 1：100 / A3 1：141
	製図	令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
	No.	E-016

改修範囲
：今回改修部分
：今回改修適用外部分（器具類に取替）

P-2
（残置）

L-2
既設分電盤内開閉を器撤去し
中継ボックスとする

38° ×3 E14° (51)：L-2(残置)
5.5° ×3 E2.0(25)：P-2(残置)
2° ×12(31)×2
（残置）
CVT 22° E8° (54)：P-1-1
（配線のみ撤去）
CVT 22° E8° (51)：P-1-1
（撤去）
IV200° ×3 E22° (75)
（残置）
IV2.0×2 (19)
（残置）
CV14° -3C E5.5° (36)×2：P-1
（残置）
CV38° -3C E14° (54)：L-1
（残置）
2.0×3 E2.0 (25)
（残置）
訓練塔取付用パイプ
CVV2° -2C(HI22)
（残置）
仮眠室 (201)
仮眠室 (211)
仮眠室 (207)
仮眠室 (206)
仮眠室 (205)
仮眠室 (204)
仮眠室 (203)
仮眠室 (202)
FC
階段室 A
階段室 B
トイレ
PS
通路
物入
屋外階段
UP
DN
4P
PB43
38° ×3 E14° (51)：L-2
（残置）
車寄せ屋根
吹抜
踏込
洗面
前室兼更衣室
湯沸
DS
通信機械室
仮眠室 (213)
仮眠室 (212)
指令室
既設警報盤を撤去し
中継ボックスとする
5.5° ×3 E2.0(25)：P-2
（残置）
車庫上部
電気室
倉庫
EV
CV5.5° -3C E2.0(28)
（撤去）
CV5.5° -3C E2.0(28)
（撤去）
CV5.5° -3C E2.0(28)
（撤去）
6KV 38° -3C(HI70)：高圧(残置)
CV5.5° -2C(HI28)：SOG(残置)
E60° (VP28)：接地(残置)

970
3,030
4,000
1,800
2,400
4,200
1,800
5,710
2,000
6,000
6,000
6,000
1,000
21,000

3,850
6,000
7,600
7,600
8,500
3,850
45,000

A
B
C
D
1
2
3
4
5
6
7
8
N

改修前　２階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	幹線設備 2階平面図（改修前）	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
TEL (0561) 32-0318			製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-017

改修範囲	
	：今回改修部分
	：今回改修適用外部分（器具類に取替）

L-2A
（新設）

P-2
（残置）

L-2

既設分電盤内開閉を器撤去し
新設 L-2A 分電盤用中継ボックスとする

2" ×12(31)×2
（既設）

EM-CET60" IE14" (既設54) : P-1-1
（配線のみ新設）

EM-CE5.5" -3C E2.0(ケーブルラック) : ホースリフター制御盤
（新設）

EM-CET60" IE14" (ケーブルラック) : P-1-1
（新設）

EM-CET14" IE5.5" (ケーブルラック) : P-1-4
（新設）

EM-CET38" IE14" (ケーブルラック) : P-1-5
（新設）

訓練塔取付用パイプ

EM-IE38" ×3 IE14" (PF36) : L-2A
（新設）

CVV2" -2C(HI22)
（既設）

仮眠室_1
仮眠室_2
仮眠室_3
仮眠室_4
仮眠室_5
仮眠室_6
仮眠室_7
仮眠室_8
仮眠室_9
仮眠室_10
仮眠室_11
仮眠室_12
仮眠室_13
仮眠室_14
仮眠室_15
仮眠室_16
仮眠室_18
（女性仮眠室）

階段室_A
階段室_B
女性トイレ
シャワー
前室
通路
吹抜
車寄せ屋根
洗面コーナー
車庫上部
車庫
屋外階段
電気室
機械室上部
蓄熱槽

38" ×3 E14" (51) : L-2(既設)

EM-CET38" IE14" (G54) : P-1-5
（新設）

PB43

PB300×300×300 SUS-WP

EM-CET60" IE14" (70) : P-1-1
（新設）

EM-CET14" E5.5" (51) : P-1-4
（新設）

EM-CE3.5" -3C IE2.0(G22) ×2
（新設）

既設警報盤を撤去し
新設 K-1 中継ボックスとする

MAC-2

MAC-3

EM-CE3.5" -3C IE2.0(G22)
（新設）

EM-CE3.5" -3C IE2.0(G22) ×2
（新設）

EM-CE3.5" -3C IE2.0(G22) : 排気ファンFE-1
（新設）

PAC-1

PAC-2

EM-CE3.5" -3C IE2.0(G22)
（新設）

EM-CE5.5" -3C IE2.0(G28)
（新設）

6KV 38" -3C(H170) : 高圧(既設)
CV5.5" -2C(H128) : SOG(既設)

EM-HP1.2-10P(PF22) : 警報
（既設）

EM-CE5.5" -3C E2.0(G28) : ホースリフター制御盤
（新設）

E60" (VP28) : 接地(既設)

5.5" ×3 E2.0(25) : P-2
（既設）

EM-CE3.5" -3C IE2.0(G22)
（新設）

EM-CE5.5" -3C IE2.0(G28)
（新設）

21,000 = 2,000 + 6,000 + 6,000 + 1,000
6,000 = 4,300 + 1,700
6,000 = 1,800 + 3,910 + 290
2,110 + 6,000 + 1,690 = 2,200

1,935 + 159 + 1,841 = 2,094 + 65 + 4,000 + 1,800
2,120 + 2,100 + 660 + 1,065 + 2,085 = 7,310 + 4,400 + 2,950 + 250

3,850 + 1,860 + 3,710 = 3,850 + 430 + 6,000
7,600 + 7,600 + 7,600 + 8,500 + 3,850 = 45,000

N

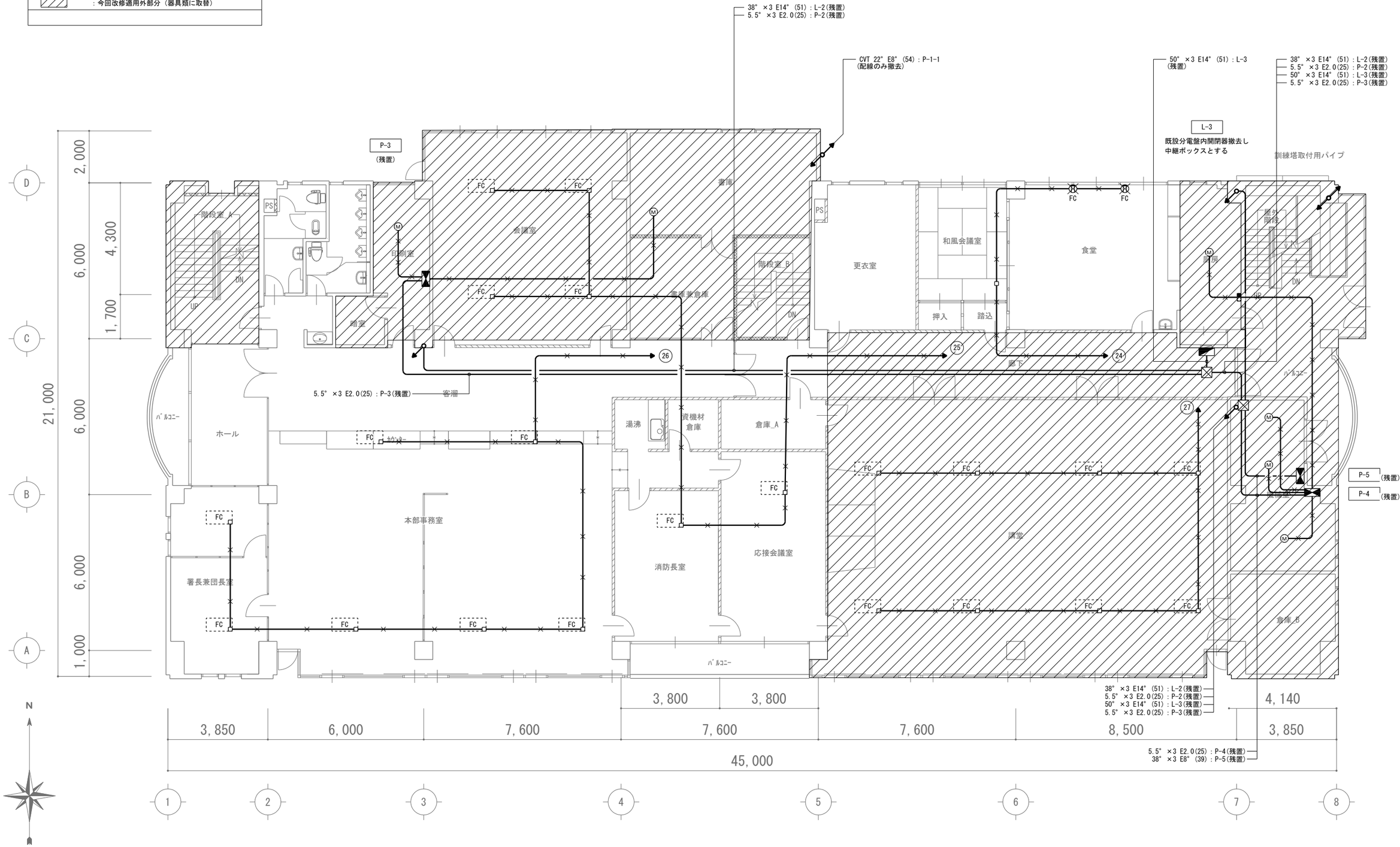
1 2 3 4 5 6 7 8

A B C D

改修後　２階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	幹線設備 2階平面図(改修後)	縮尺 A2 1：100 / A3 1：141
TEL (0561) 32-0318			製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-018

改修範囲
：今回改修部分
：今回改修適用外部分（器具類に取替）

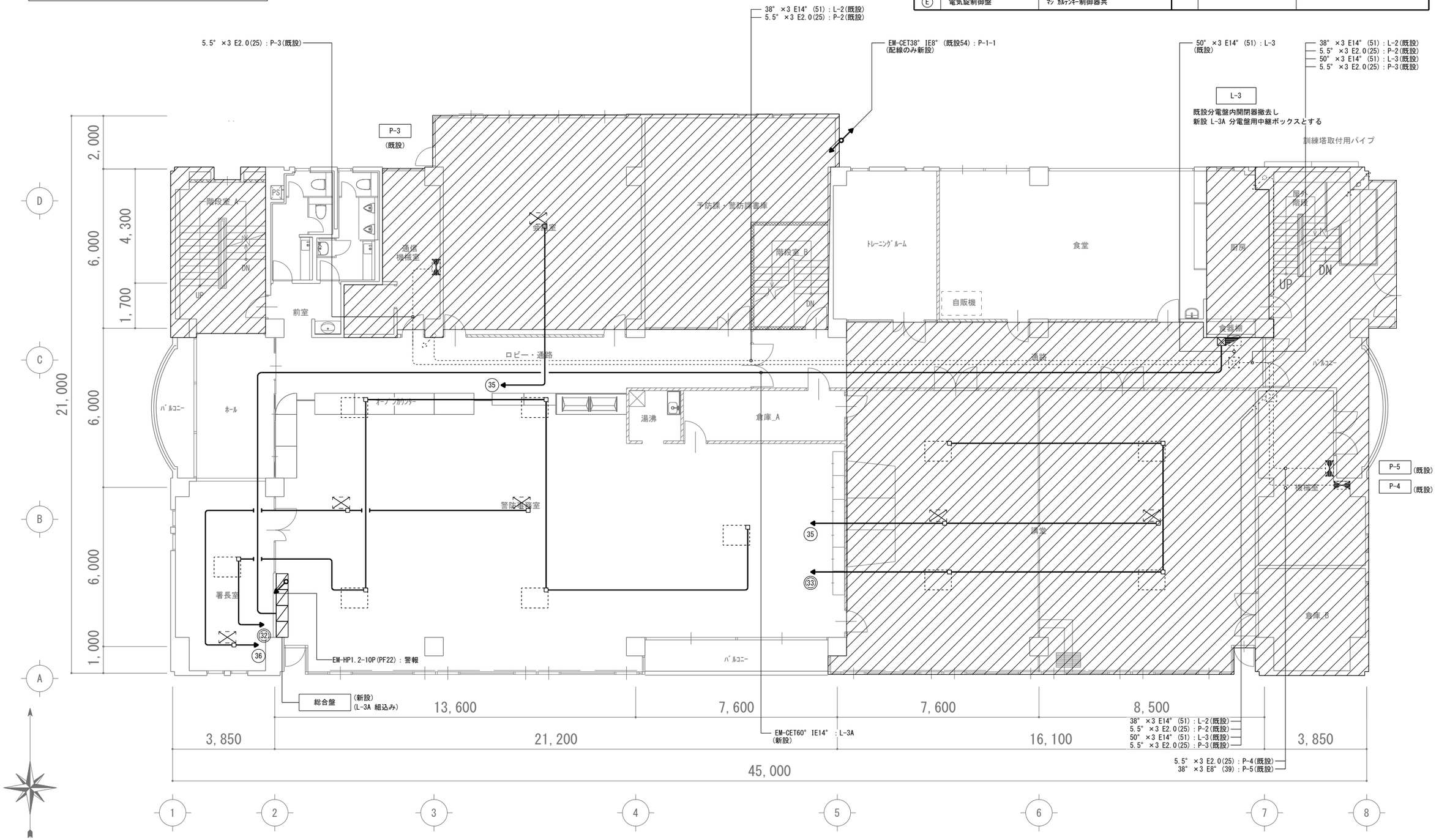


改修前　３階平面図　1/100

株式会社　松浦建築事務所	工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称　幹線設備　3階平面図（改修前）	縮尺　A2　1：100　A3　1：141
		製図　令和08年03月
TEL　(0561) 32-0318	1級建築士　登録第92794号　松浦孔明	No. E-019

改修範囲	
	：今回改修部分
	：今回改修適用外部分（器具類に取替）

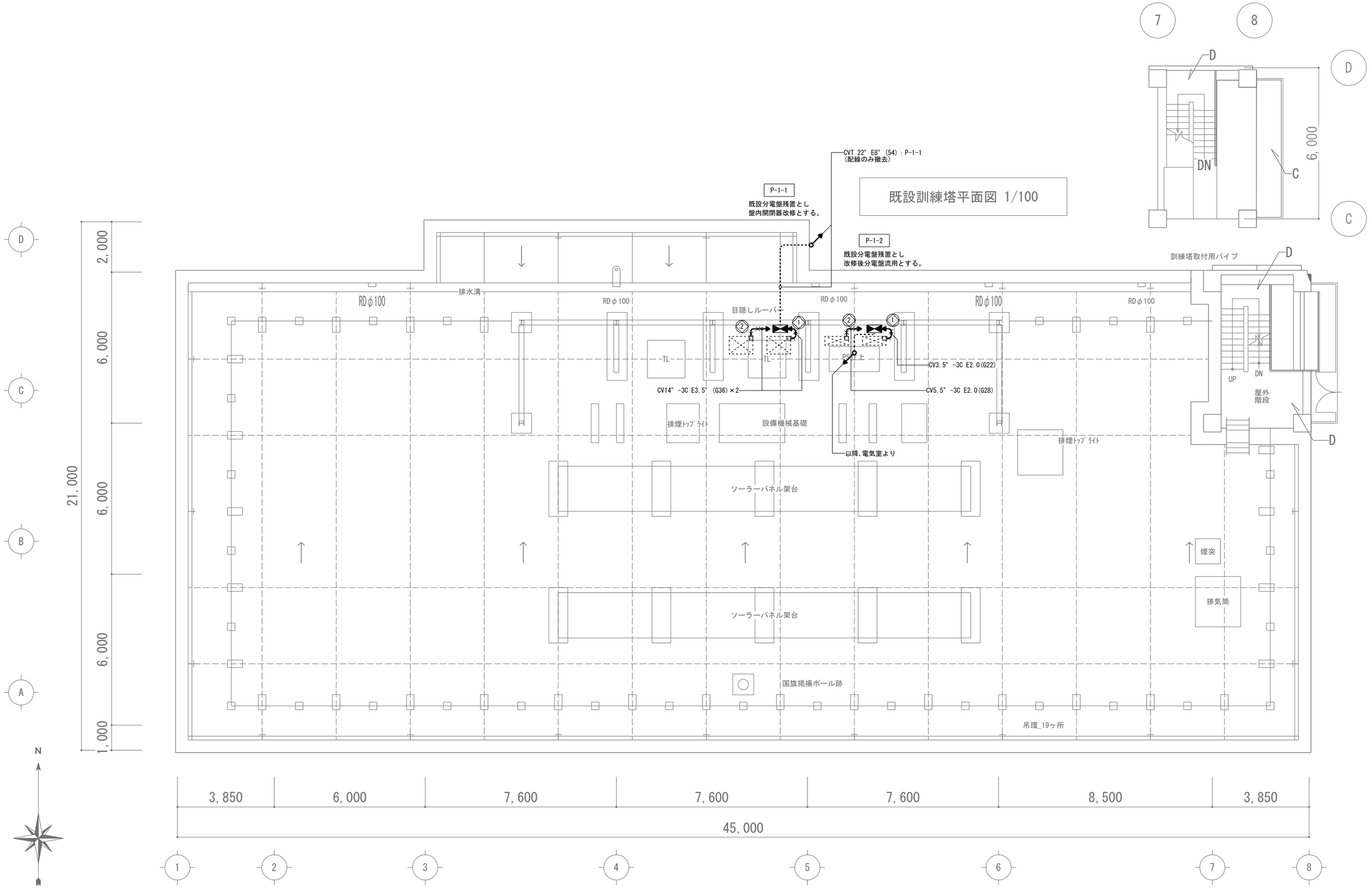
総合盤内機器					
Ⓐ	防災アンプ		Ⓕ	分電盤	
Ⓑ	防災複合受信機	40回線(火報・自閉・警報)	Ⓖ	テレビ共聴機器	
Ⓒ	親時計	1回線	Ⓗ	端子盤	電話・情報
Ⓓ	防犯カメラ主装置				
Ⓔ	電気錠制御盤	ﾏｼﾞｶﾙﾃﾝｷｰ制御器共			



改修後　３階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	幹線設備 3階平面図(改修後)	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
TEL (0561) 32-0318			製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-020

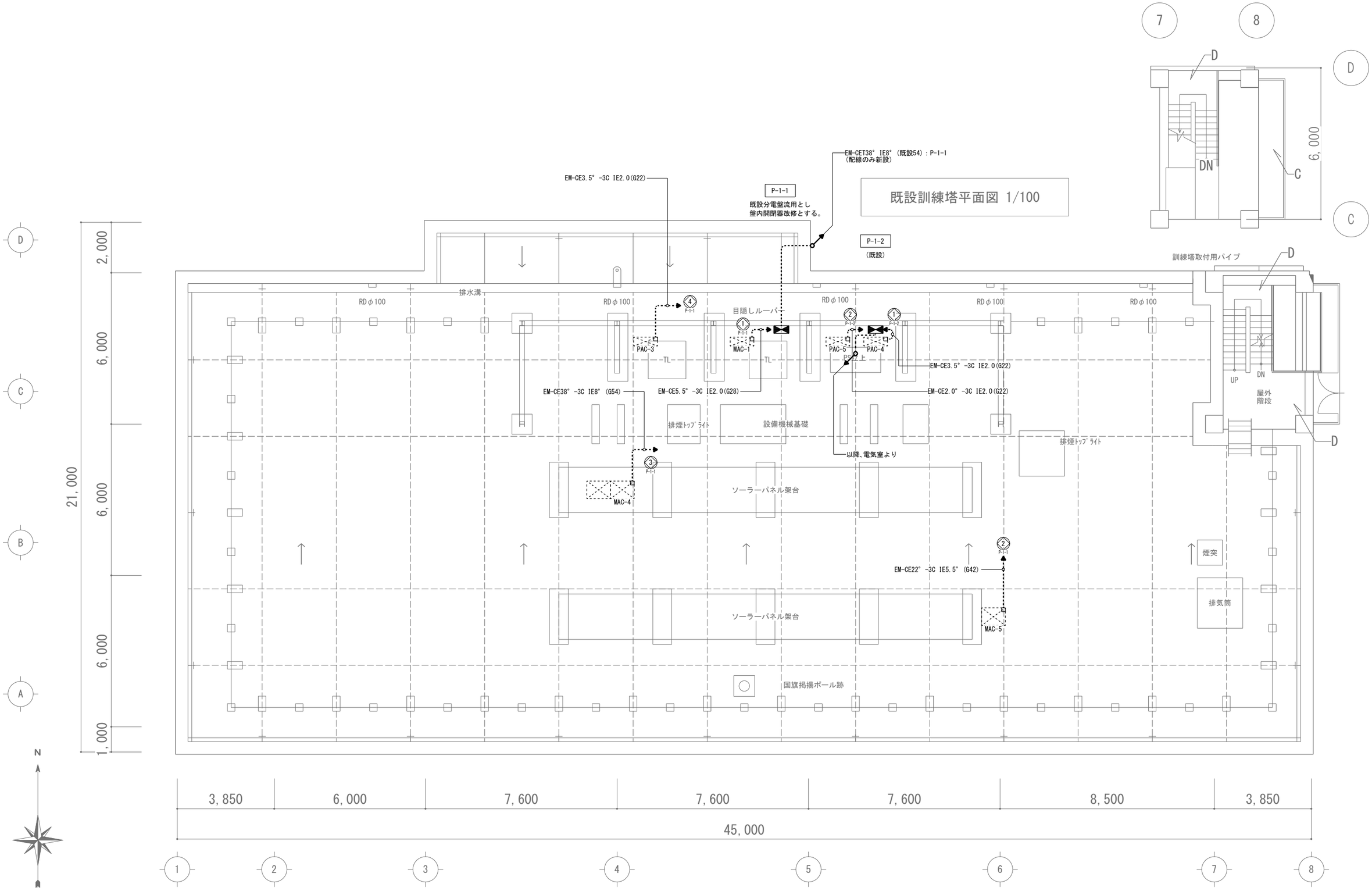
既設訓練塔平面図 1/100



改修前　屋上平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事
TEL (0561) 32-0318	図面名称 幹線設備 屋上平面図(改修前)
	縮尺 A2 1:100 / A3 1:141
	製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No. E-021

既設訓練塔平面図 1/100



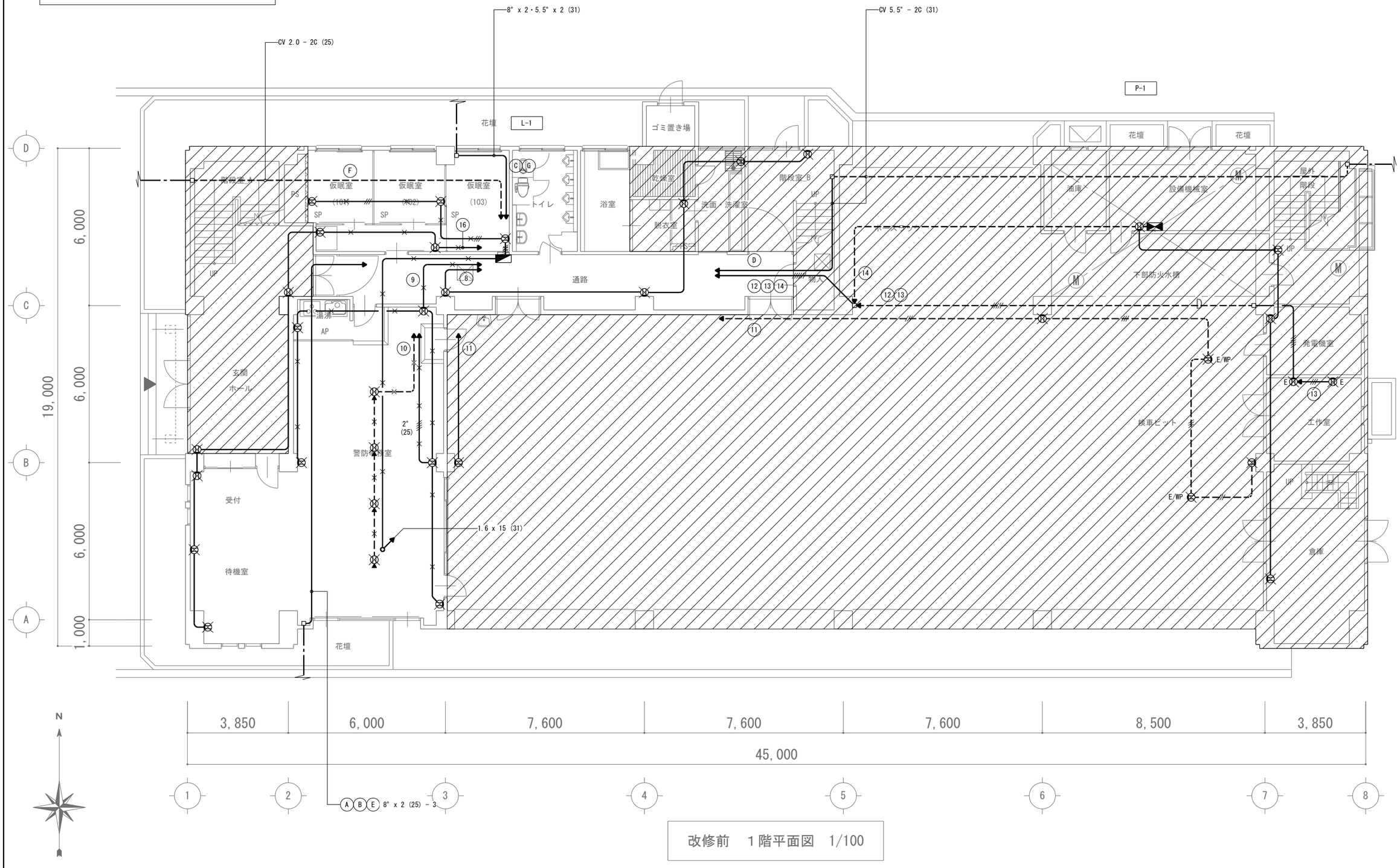
改修後　屋上平面図　1/100

株式会社　松浦建築事務所

TEL　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	幹線設備 屋上平面図(改修後)
縮尺	A2 1：100　A3 1：141
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	E-022

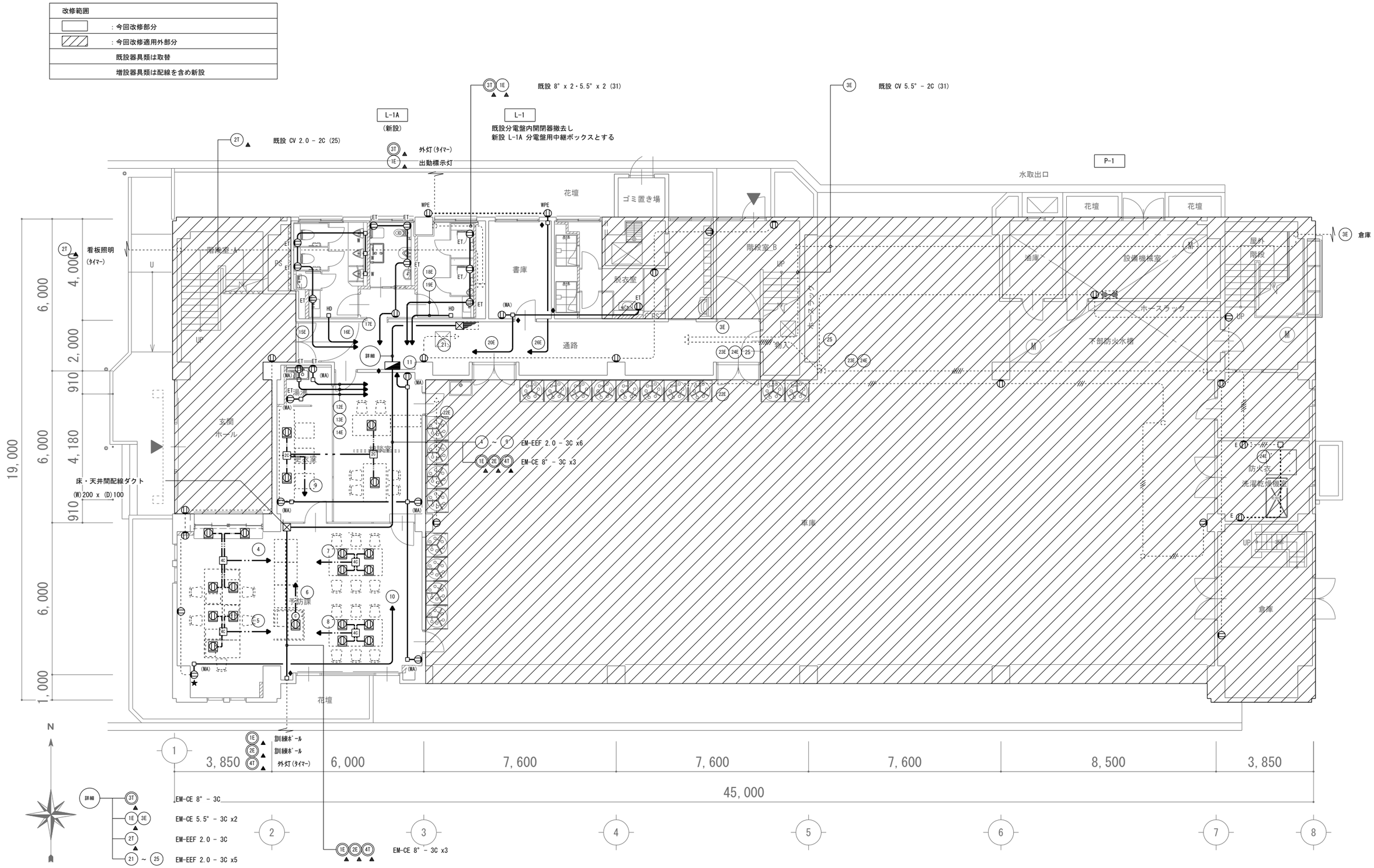
改修範囲
：今回改修部分
：今回改修適用外部分（器具類に取替）



改修前　１階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	ｺﾝｾﾝﾄ設備 1階平面図（改修前）	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
			製図 令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-023

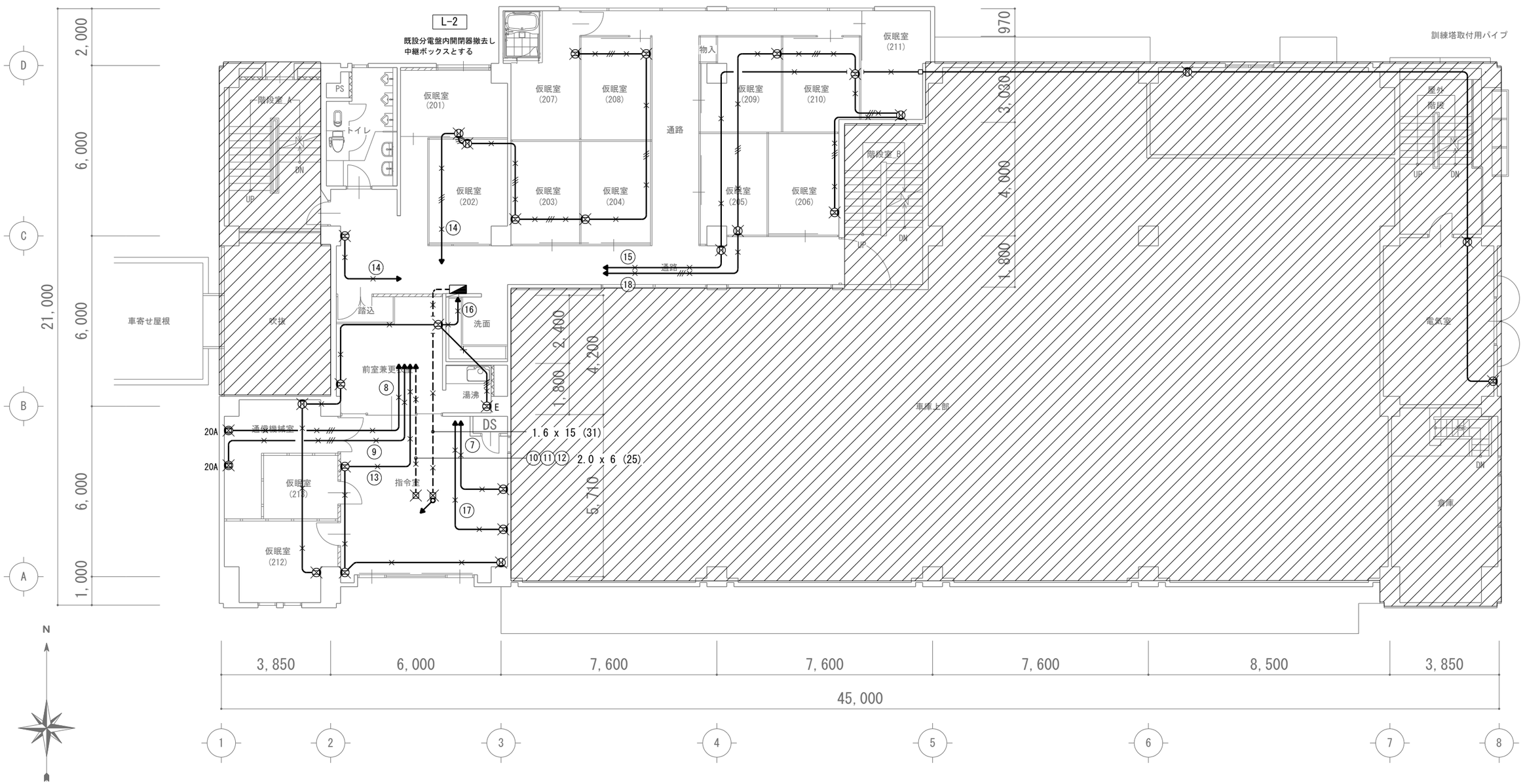
改修範囲
：今回改修部分
：今回改修適用外部分
既設器具類は取替
増設器具類は配線を含め新設



改修後　１階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	ｺﾝｾﾝﾄ設備 1階平面図(改修後)
	縮尺	A2 1：100　A3 1：141
	製図	令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
	No.	E-024

改修範囲
：今回改修部分
：今回改修適用外部分（器具類に取替）



改修前　２階平面図　1/100

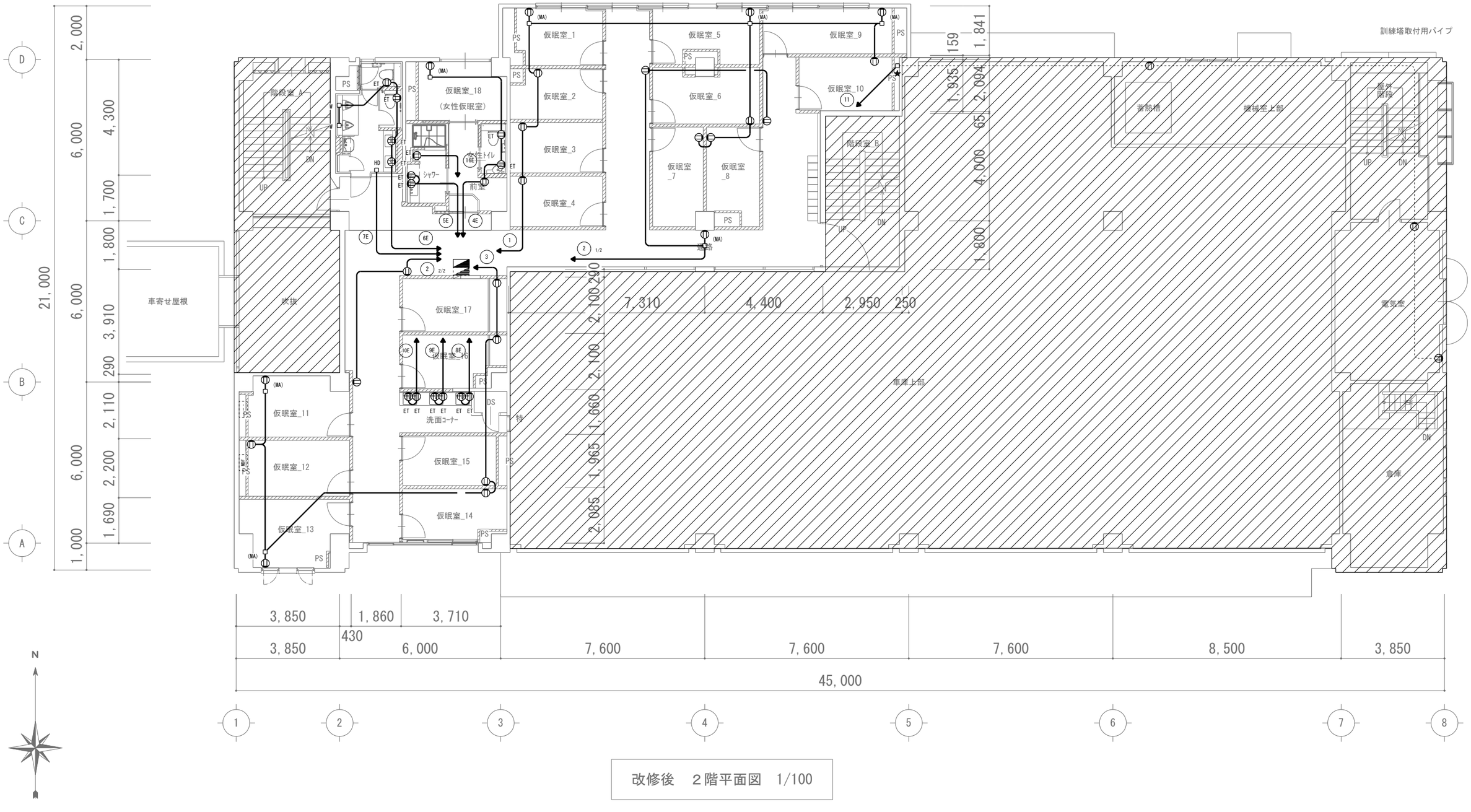
株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	ｺﾝｾﾝﾄ設備 2階平面図（改修前）
TEL (0561) 32-0318	縮尺	A2 1：100　A3 1：141
	製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No.	E-025

改修範囲
：今回改修部分
：今回改修適用外部分
既設器具類は取替
増設器具類は配線を含め新設

L-2A
（残置）

L-2

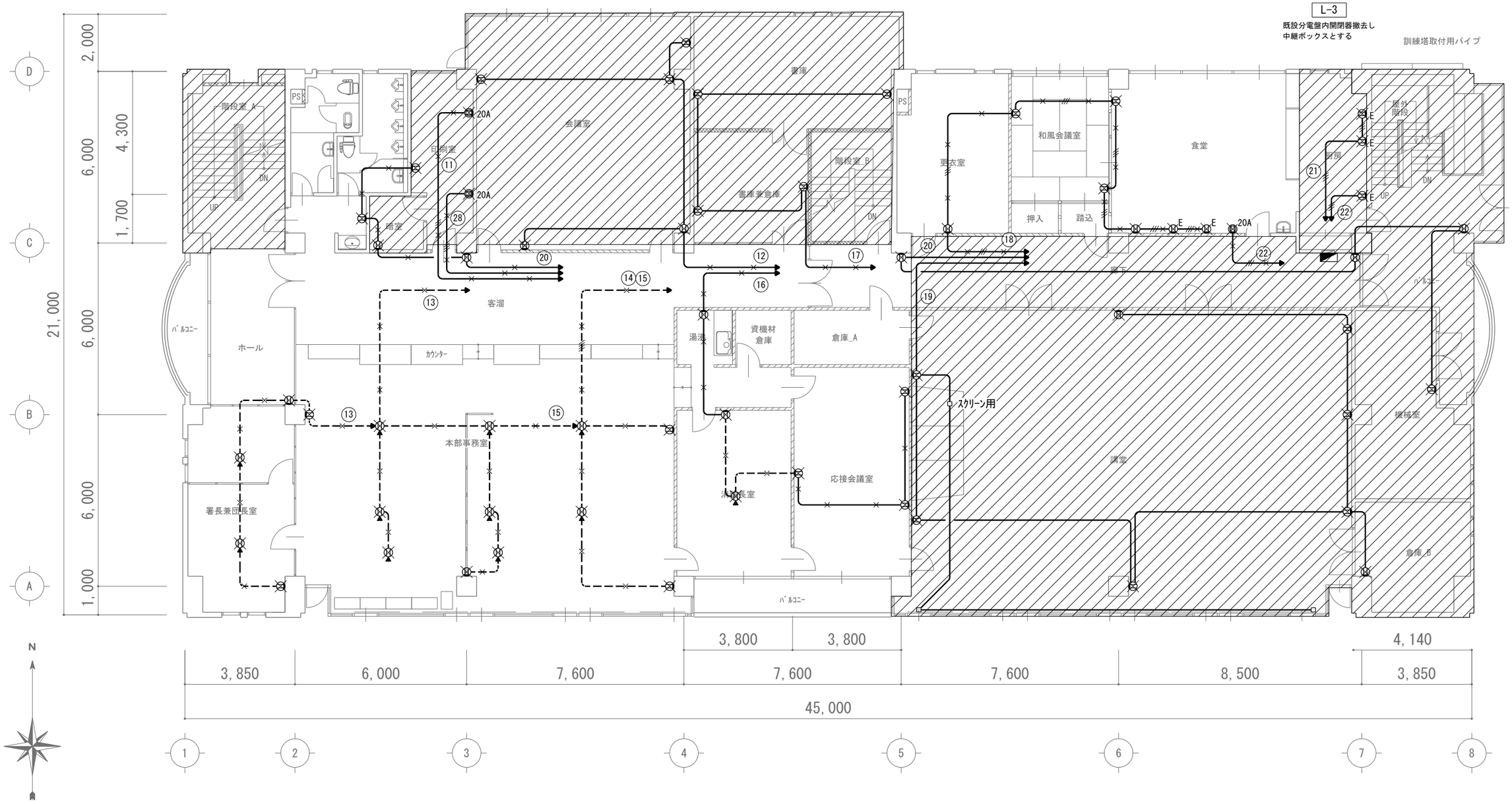
既設分電盤内開閉を器撤去し
新設 L-2A 分電盤用中継ボックスとする



改修後　２階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事	
TEL (0561) 32-0318	図面名称 ｺﾝｾﾝﾄ設備 2階平面図（改修後）	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
		製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No. E-026

改修範囲
：今回改修部分
：今回改修適用外部分（器具類に取替）

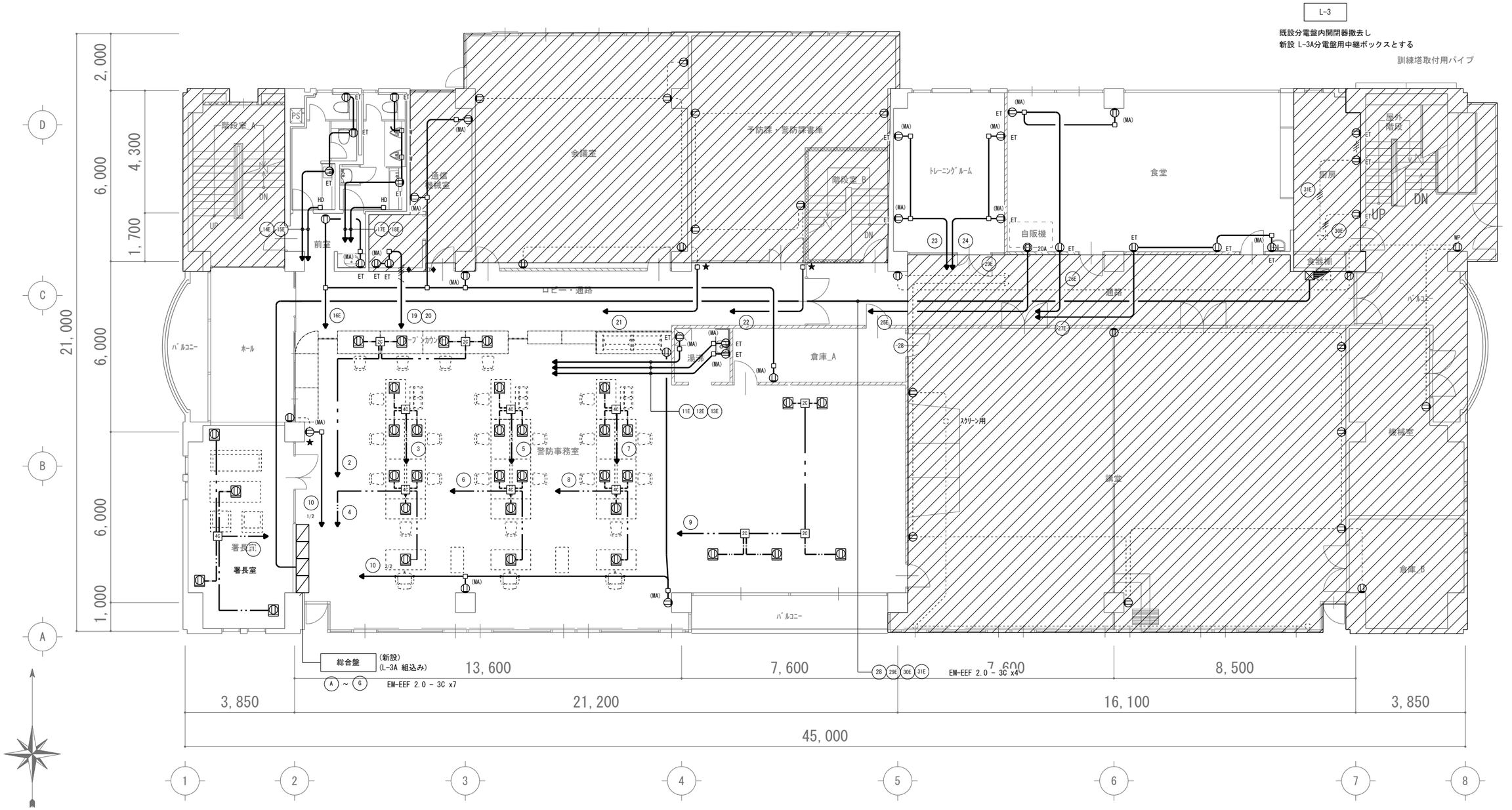


改修前　３階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	ｺﾝｾﾝﾄ設備　3階平面図（改修前）	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
			製図 令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-027

改修範囲
□ ：今回改修部分
▨ ：今回改修適用外部分
既設器具類は取替
増設器具類は配線を含め新設

総合盤内機器　電源リスト					
(A)	防災アンプ		(F)	テレビ共聴機器	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A(E付)x2ヶ口
(B)	防災複合受信機	40回線(火報・自閉・警報)	(G)	端子盤	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A(E付)x2ヶ口
(C)	親時計	1回線			
(D)	防犯カメラ主装置	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A(E付)x2ヶ口-2	※分電盤への配線はEM-EEF 2.0 - 3C とする		
(E)	電気錠制御盤	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A(E付)x2ヶ口			



改修後　３階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	ｺﾝｾﾝﾄ設備 3階平面図(改修後)	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
TEL (0561) 32-0318			製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-028

改修前	電灯設備　凡例	N.S					改修前	照明器具リスト	N.S				
記　号	名　　称	備　　考	記　号	名　　称	備　　考		名　称	器　具　形　式	管　球　種　別	名　称	器　具　形　式	管　球　種　別	
	分電盤			中継ボックス			A	埋込下面解放	FL 40W x 2	a	赤色灯	IL 20W x 1	
							A1	埋込下面解放	FL 40W x 2　BT組込み	a1	赤色灯	IL 5W x 1	
	天井灯			配管・配線	立ち上げ・引き下げ		A3	埋込下面解放	FL 40W x 3	b	安全増防爆型	IL 40W x 1	
	ダウンライト・シーリングライト			配管・配線	天井隠ぺい		B	埋込アクリルルーバー	FL 40W x 2	d	ダウンライト	IL 100W x 1	
	外壁ブラケット			配管・配線	床隠ぺい		B2	埋込アルミルーバー	FL 40W x 2	e	ダウンライト	IL 60W x 1	
	棚下灯			配管・配線	露出		C	埋込下面解放	FL 40W x 1	f	シーリングライト	IL 60W x 1	
							D	埋込下面解放	FL 20W x 2	g	ダウンライト（非常灯）	IL 20W x 1　BT組込み	
	天井灯（非常照明）			既設器具撤去を示す			D1	埋込下面解放	FL 20W x 2　BT組込み	h	ダウンライト（非常灯）	IL 20W x 1　BT組込み	
	ダウンライト（非常照明）			既設配管配線撤去を示す			E	富士型	FL 40W x 1	i	直付灯（非常灯）	IL 20W x 1　BT組込み	
							E´	富士型	FL 20W x 1	j	ダウンライト（非常灯）	IL 20W x 1　BT組込み	
	スイッチ	1P 15A x1					F	富士型	FL 20W x 2	m	埋込アクリル	FCL 40W + 30W	
3	３路スイッチ	3W 15A x1					F1	富士型	FL 20W x 2　BT組込み	n	ダウンライト	IL 60W x 1	
4	４路スイッチ	4W 15A x1					G	反射傘付	FL 40W x 2	r	ダウンライト	IL 60W x 1	
	パイロットランプ						G1	反射傘付	FL 40W x 2　BT組込み	s	三色灯	IL 10W x 3	
							H	反射傘付	FL 40W x 1				
F	換気ファン	空調工事					I1	階段照明	FL 40W x 1　BT組込み				
	天井付コンセント	2P15A x1					J	富士型	FL 40W x 2				
							J1	富士型	FL 40W x 2　BT組込み				
							K	埋込黒板灯	FL 40W x 1				
							L4	シーリングライト	FL 40W x 2				
							M3	和風直付灯	FL 20W x 3				
							N	シーリングライト	FL 20W x 4				
							O1	富士型（防水）	FL 40W x 2　BT組込み				
							P	埋込アクリル	FL 20W x 4				
							Q	深埋込アクリル	FL 20W x 4				
							R	埋込アクリル	FL 20W x 4				
							S	流し元灯	FL 15W x 1				
注記							T1	階段照明	FL 20W x 2　BT組込み				
1.　図中特記なき配管・配線は 下記とする							U	ミラーライト	FL 20W x 1				
分電盤より第１ボックスまでは 2.0 とする							V	表示灯	FL 10W x 1				
	1.6 x 2　(19)						X	ウォールライト	FL 10W x 1				
	1.6 x 3　(19)						Y	投光器	HF 100W x 1				
	1.6 x 4　(25)												
	1.6 x 5　(25)												
	1.6 x 6　(25)												
(G16)	1.6 x 3　(G16)						※　１．２階仮眠室（改修工事済）は下記とする						
							名　称	器　具　形　式	管　球　種　別				
※　１．２階仮眠室（改修工事済）は下記とする							A202	埋込下面解放	FL 20W x 2				
分電盤より第１ボックスまでは 2.0 とする							A202D	埋込下面解放	FL 20W x 2　BT組込み				
	1.6 x 2　(PF16)						B501	足元灯	IL 5W x 1				
	1.6 x 3　(PF16)						C201D	ダウンライト（非常灯）	IL 20W x 1　BT組込み				
	1.6 x 4　(PF22)												

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事　設計図
図面名称	（改修前）電灯設備 凡例・注記・器具リスト
縮尺	N.S
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松　浦　孔　明
No.	E-029

改修後	電灯設備　凡例・注記	N.S

凡例

記号	名称	備考
◢	分電盤	
▭○	LED 天井灯	
⊂○	LED 壁付灯	
○	LED ダウンライト	
●	非常照明器具	
(F)	換気ファン	空調工事
●	スイッチ	1P 15A x1
● L	ON表示灯付スイッチ	1P 15A x1：2線式
⊛ nL	ﾌﾙ2線式ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ	傍記は回路数を示す
S	熱線センサ付自動スイッチ	親機（広角検知形）
S F	熱線センサ付自動スイッチ	親機・換気扇連動接点付
S	熱線センサ付自動スイッチ	子機
S F	熱線センサ付自動スイッチ	子機・換気扇連動接点付
● SL	同上　操作ユニット	照明操作用
┈┈	既設機器を示す	
┈┈┈	既設配管・配線を示す	
♦	はつり補修を示す	
★	既設配線への接続を示す	
☒	中継ボックス	
	配管・配線	立ち上げ・引き下げ
———	配管・配線	天井隠ぺい
- - - - -	配管・配線	床隠ぺい
—·—	配管・配線	地中埋設

注記

1. 図中特記なき配管配線は 下記とする

分電盤より第１ボックスまでは EM-EEF 2.0 とする

———	EM-EEF 1.6 - 3C	（1Cは接地線）
———\	EM-EEF 1.6 - 2C x2	（1Cは接地線）
———\	EM-EEF 1.6 - 2C + 3C	（1Cは接地線）
———	EM-EEF 1.6 - 2C	(PF22)
———	EM-EEF 1.6 - 3C	(PF22)
—·(25)·—	EM-EEF 1.6 - 3C	(E25)

熱線センサー配線

——S—	信号 EM-EEF 1.6 - 2C
	電源 EM-EEF 1.6 - 3C

リモコン配線

——R—	EM-FCPEE-S 1.2 - 3P	

2. 二重天井内はころがし配線可とする

3. 既設壁内の配線立上げ・引下げ部分において
既設配管が利用可能の場合はこれに入線する

4. 回路記号は下記とする

(n)　：一般 100V回路
(n)▲　：リモコン回路
(nT)　：タイマー回路・ＥＬＣＢ回路
(nE)　：ＥＬＣＢ回路

5. 各設備共通事項

天井梁露出部分の配線は１種金属線ぴ(Ａ型)に入線する

壁面露出部分の配線はねじなし電線管又は１種金属線ぴに入線する

改修後	リモコンスイッチリスト	N.S

個別スイッチ

ｽｲｯﾁ No	負荷名称
1	１階　予防課　①－②通り
2	１階　予防課　②－③通り
3	１階　受付(ｵｰﾌﾟﾝｶｳﾝﾀｰ)
4	２階　車庫　③－⑤通り
5	２階　車庫　⑤－⑦通り
6	３階　警防事務室　②－③通り　北
7	３階　警防事務室　②－③通り　南
8	３階　警防事務室　③－④通り　北
9	３階　警防事務室　③－④通り　南
10	３階　警防事務室　④－⑤通り　北
11	３階　警防事務室　④－⑤通り　南
12	３階　警防事務室　④－⑤通り　ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ
13	３階　応接コーナー
14	３階　ロビー・通路
15	屋外　訓練ポール（1）投光器
16	屋外　訓練ポール（2）投光器

グループ設定スイッチ

ｽｲｯﾁ No	負荷名称	備考（個別スイッチ回路）
17	１階　予防課	１～３
18	２階　車庫	４・５
19	３階　警防事務室	６～１２
20	屋外　訓練ポール　投光器	１５・１６
	指令信号による点滅	
21	出動表示灯	
	サイレン	
	回転灯	
	年間プログラムタイマーによる点滅	
22	車庫庇　照明	
23	外灯（１）	
24	外灯（２）	
25	看板　照明	
26	赤色灯	

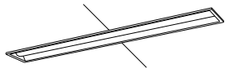
株式会社　松浦建築事務所

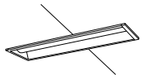
ＴＥＬ　(0561)　32-0318

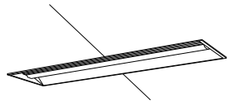
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事　設計図
図面名称	（改修後）電灯設備 凡例
縮尺	N.S
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	E-030

改修後	照明器具図	N.S

A32	LED 5200 lm/ 31.9 W	LED 40形	B22	LED 3200 lm/ 21.8 W	LED 20形	C32	LED 5200 lm/ 31.9 W	LED 40形	D32	LED 5200 lm/ 31.9 W	LED 40形	E22	LED 3200 lm/ 21.8 W	LED 20形	F50	LED 8000 lm/ 49.7 W	
A21	LED 3200 lm/ 20.6 W	LED 40形	B12	LED 1600 lm/ 11.6 W	LED 20形				D21	LED 3200 lm/ 20.6 W	LED 40形					昼白色 (5000K) . Ra83	埋込口450
昼白色 (5000K)		W=150	昼白色 (5000K)		W=150	昼白色 (5000K)		W=300	昼白色 (5000K)		W=150	昼白色 (5000K)		W=150			



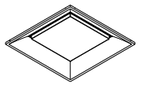




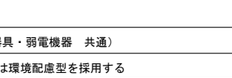
大会議室

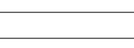


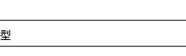




G44PG	LED 6900 lm/ 43.1 W	パイプ吊形	H12G	LED 1600 lm/ 11.6 W	LED 20形	I33W	LED 5200 lm/ 32.5 W	LED 40形	J14W	LED 1600 lm/ 13.1 W	LED 20形	K30	LED 1970 lm/ 30.0 W	L=1200	L21	LED 3200 lm/ 20.6 W	LED 40形
G32G	LED 5200 lm/ 31.9 W	LED 40形		昼白色 (5000K) . Ra83	器具ガード付		昼白色 (5000K) . Ra83	防湿・防雨型		昼白色 (5000K) . Ra83	防湿型		昼白色 (5000K) . Ra83	間接照明器具		昼白色 (5000K) . Ra83	埋込黒板灯
昼白色 (5000K) . Ra83		器具ガード付			W=80		本体：ｽﾃﾝﾚｽ	W=150			W=150			W=80			W=220







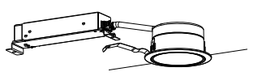
厨房

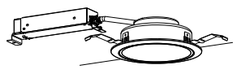
シャワー室等

玄関ホール（受付壁面）

大会議室

M12	LED 1695 lm/ 11.6 W	LED 150形	N20	LED 2500 lm/ 18.6 W	LED 250形	O05	LED 101 lm/ 0.5 W	LED小丸電球	P12	LED 1390 lm/ 11.2 W	ミラーライト	Q12	LED 500 lm/ 11.5 W	流し元灯	R31E	LED 3600 lm/ 30.5 W	防爆型
	昼白色 (5000K) . Ra85			昼白色 (5000K) . Ra85			ナイトライト		白色 (4000K) . Ra93						防爆構造：ExdⅡB+H2T6X	
		埋込 φ150			埋込 φ150			埋込 φ75							昼白色 (5000K) . Ra83	





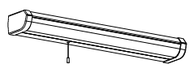
玄関ホール



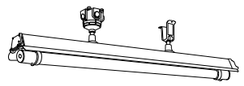
仮眠室



便所・洗面

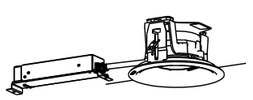


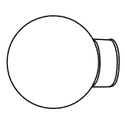
シャワー室等



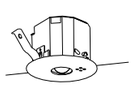
S15W	LED 1480 lm/ 14.9 W	ウォールライト	b27	LED 970 lm/ 7 W	LED 100形	F25	LED / 2.2 W	赤色灯	Z1D	LED非常灯(専用型リモコン自己点検機能付)		Z2D	LED非常灯(専用型リモコン自己点検機能付)		Z24D	LED 3800 lm/ 29.6 W	非常電源内蔵型
	白色 (4000K) . Ra93	防湿型		昼白色 (5000K) . Ra85	防雨型		昼白色 (5000K)	防雨型		φ100 低天井用 (～3m)	30分間タイプ		φ100 低天井用 (～6m)	30分間タイプ		ひとセンサ 段調光	30分間タイプ
	本体：ｽﾃﾝﾚｽ				埋込 φ150			φ200		非常灯評定番号	LALE-004		非常灯評定番号	LALE-006		リモコン自己点検機能付	
										非常電源内蔵型			非常電源内蔵型			非常灯評定番号	LALE-015



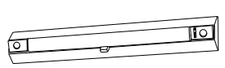








壁直付型（天井直付兼用）



注記（照明器具・弱電機器　共通）
1.　器具は環境配慮型を採用する
2.　形状・仕様・寸法は参考を示す
3.　照明器具図記載の消費電力は
JIS C 8105-3の規定によるものとする

器具仕様	
記 号	
C	調光器具
D	非常電源内蔵型
G	ガード付
W	防雨・防湿形

S	熱線センサー組込型

S	熱線センサー組込型

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	設計図
図面名称	（改修後）照明器具図	縮尺　N.S
		製図　令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-031

改修範囲	
	：今回改修部分
	：今回改修適用外部分（器具類に取替）

階段室_A	
R	2

待機室	
A	3

通路	
D	2
D1	3

湯沸	
E´	1
S	1

警防事務室	
A	11

仮眠室101-103	
A202	6
B501	3
C201D	3

通路	
A202	1
A202D	1

トイレ	
C	1
U	2

浴室	
a	2

脱衣室	
F	1

乾燥室	
f	1

洗濯室	
E	1

階段室_B	
T	1

物入	
f	1

車庫庇	
J	4

油庫	
b	1

設備機械室	
H	2

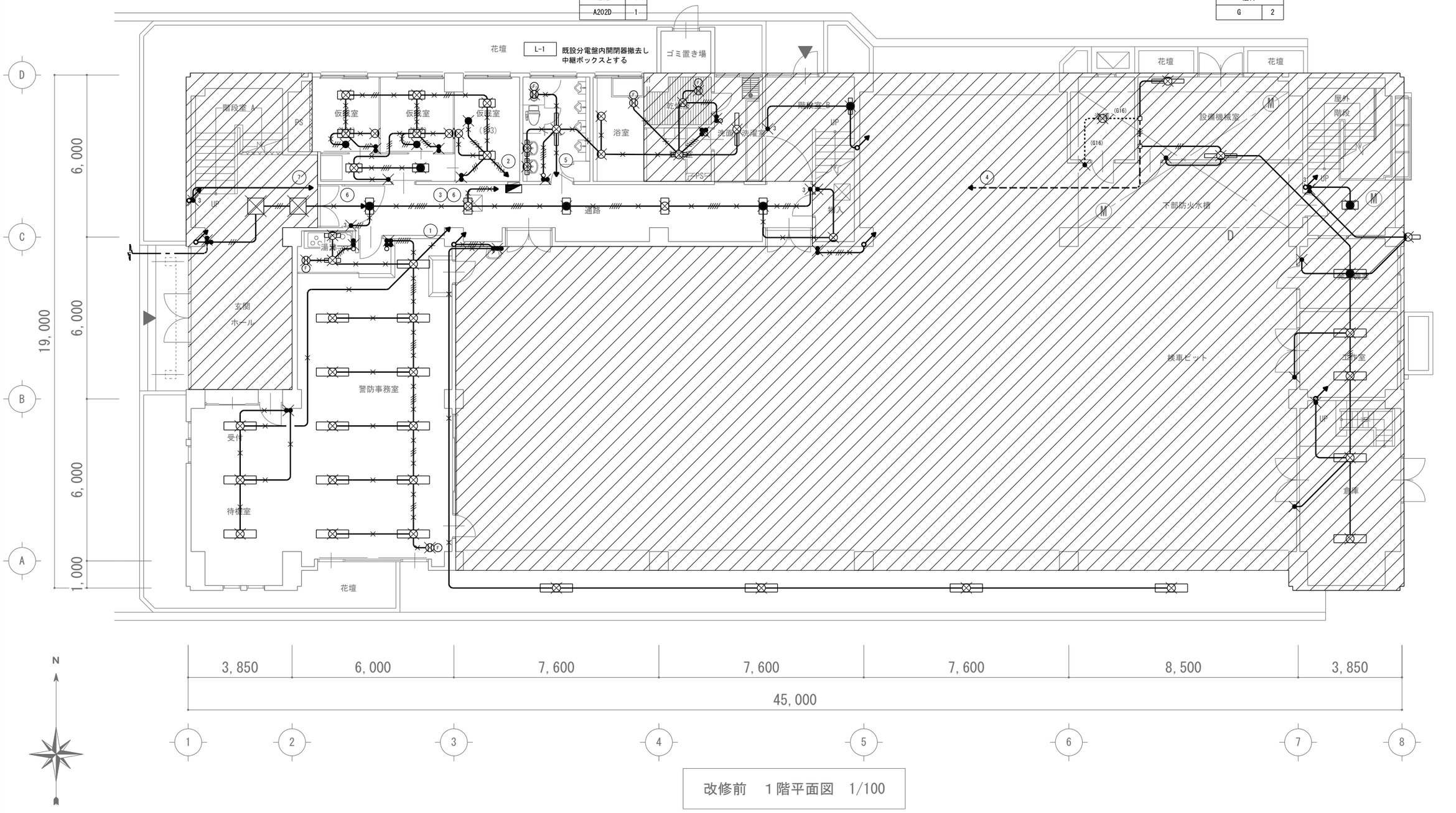
工作室	
G	2

倉庫	
G	2

屋外階段	
F1	1

発電機室	
G1	1

外壁	
X	1



改修前　１階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	電灯設備　1階平面図（改修前）	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
			製図 令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-032

改修範囲
□ ：今回改修部分
▨ ：今回改修適用外部分
既設器具類は取替
増設器具類は配線を含め新設

前室	
M12	2

こどもトイレ	
M12	4

更衣室	
D32	1

脱衣室	
E22	1
M12	1
P12	1

洗濯・乾燥機室	
E22	1

洗面・ロッカー	
D32	1

階段室_B	
Z24D	1

油庫	
R31E	1

屋外階段	
Z24D	1

外壁	
S15W	1

男性トイレ	
M12	8
P12	1

女性トイレ	
M12	5
P12	1

シャワー室	
M12	2

通路	
M12	8

物入	
H12G	1

設備機械室	
G32G	2

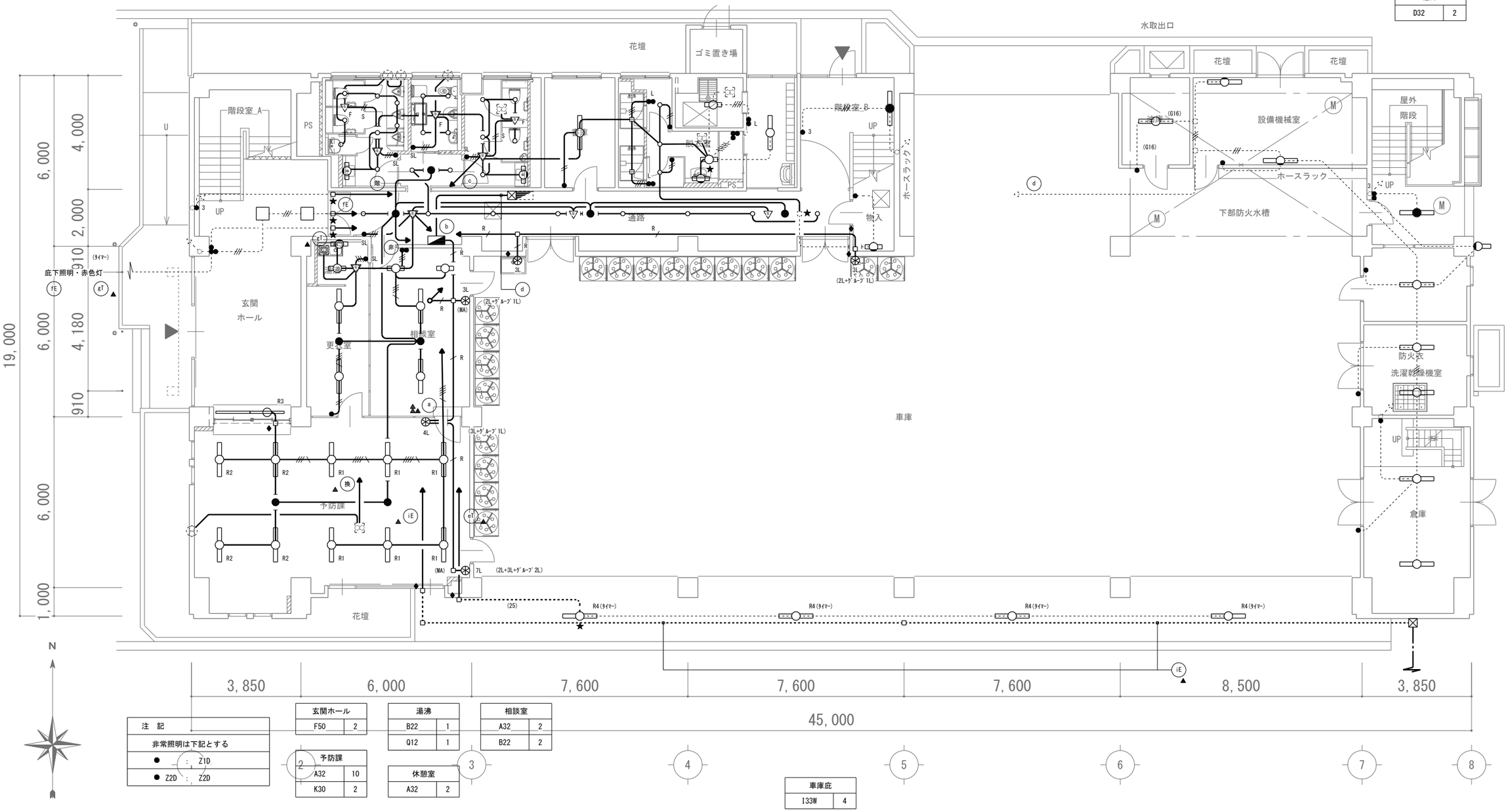
発電機室	
G32G	1

防火衣洗濯乾燥室	
D32	2

倉庫	
D32	2

L-1A
(新設)

L-1
既設分電盤内開閉器撤去し
新設 L-1A 分電盤用中継ボックスとする



注　記
非常照明は下記とする
● ：Z1D
● Z2D ：Z2D

玄関ホール	
F50	2

湯沸	
B22	1
Q12	1

相談室	
A32	2
B22	2

予防課	
A32	10
K30	2

休憩室	
A32	2

車庫庇	
I33W	4

改修後　１階平面図　1/100

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	電灯設備　1階平面図（改修後）	縮尺　A2　1：100　A3　1：141
		製図　令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-033

改修範囲
：今回改修部分
：今回改修適用外部分（器具類に取替）

階段室_A	
F1	1
I	1

トイレ	
C	1
U	2

更衣室	
A	1
A1	1

指令室	
B	4
B1	4

仮眠室212.213	
J1	2

仮眠室201-211	
A202	22
B501	11
C201D	11

階段室_B	
A202D	1

車庫上部	
J	26

屋外階段	
F1	1
T	1

電気室	
G	2

吹抜	
d	8
j	1

前室・通路	
D	1
D1	2

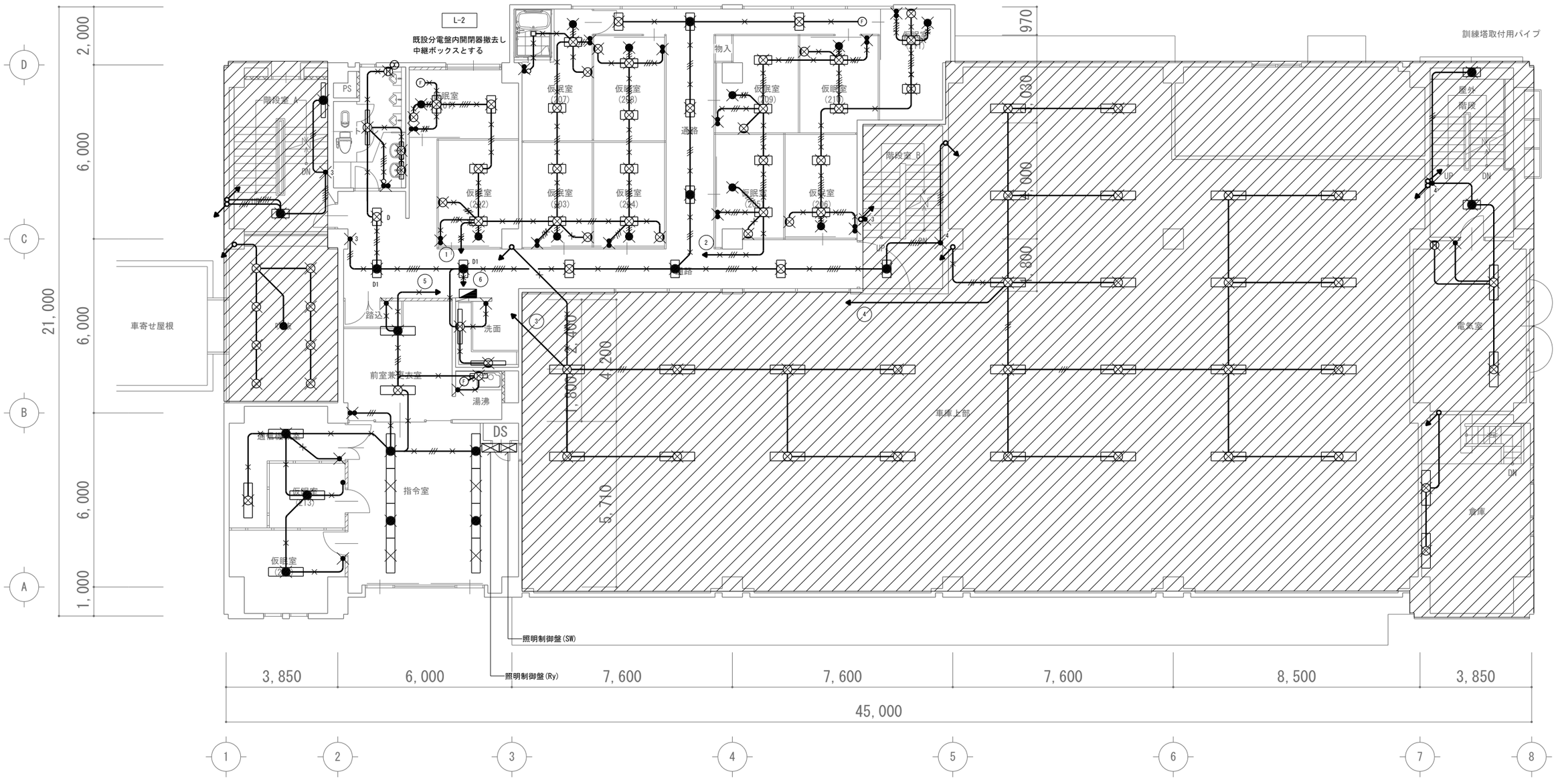
洗面	
E	2

通信機械室	
G	1
G1	1

湯沸	
S	1

通路	
A202	5
A202D	3

倉庫	
G	2



照明制御盤		指令信号による切替ＳＷ	
1	モード選択	6	車庫　西
2	２階　廊下	7	１階　廊下
3	２階　仮眠室　東	8	１階　仮眠室
4	２階　仮眠室　西	9	屋外出動灯
5	車庫　東		

改修前　２階平面図　1/100

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	電灯設備　2階平面図（改修前）
縮尺	A2　1：100 A3　1：141
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	E-034

階段室_A	
Z24D	2

男性トイレ	
M12	5
P12	2

女性仮眠室	
M12	2
005	1

洗面・脱衣	
M12	1
P12	1

前室	
M12	3

トイレ	
M12	1

仮眠室_1～10	
M12	21
005	10

通路	
M12	16

階段室_B	
Z24D	2

屋外階段	
Z24D	2

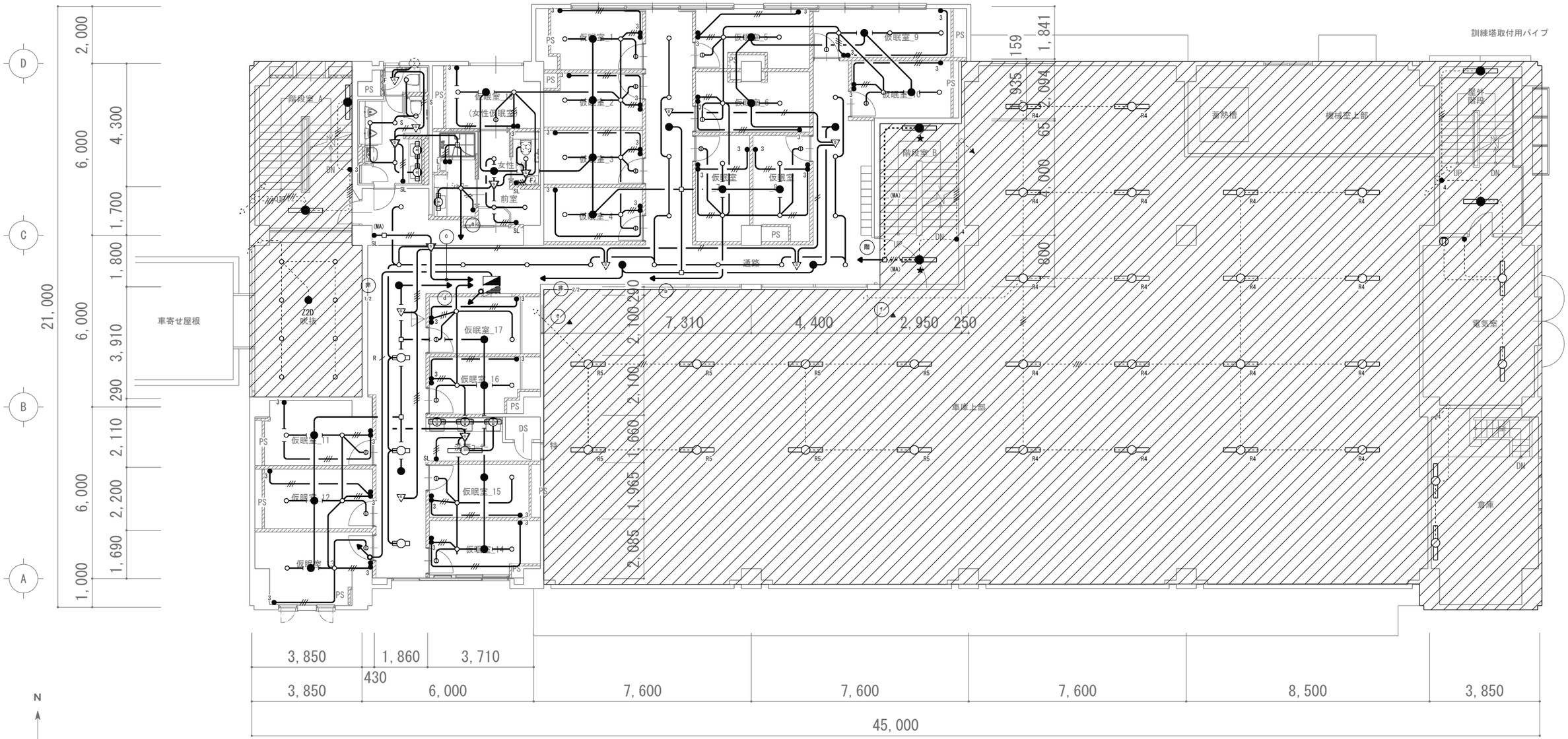
電気室	
D32	2

倉庫	
G32G	2

L-2A
（残置）

L-2

既設分電盤内開閉を器撤去し
新設 L-2A 分電盤用中継ボックスとする



注　記
非常照明は下記とする
●　：　Z1D
● Z2D　：　Z2D

吹抜	
N20	8

仮眠室_11～17	
M12	14
005	7

通路	
B22	3

洗面コーナー	
A21	1
P12	3

車庫上部	
G44PG	26

改修後　２階平面図　1/100

株式会社　松浦建築事務所
TEL　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	電灯設備　2階平面図（改修後）	縮尺　A2　1：100　A3　1：141
		製図　令和08年03月
1級建築士 登録第92794号　松浦孔明		No. E-035

改修範囲
：今回改修部分
：今回改修適用外部分（器具類に取替）

階段室_A	
F1	1
I	1

通路	
d	8
j	1

署長兼団長室	
P	3
g	2

女性トイレ	
U	1
e	1

前室・通路	
Q	4
U	1
e	3
j	3

男性トイレ	
U	1
e	1

本部事務室	
A	13
A1	5

印刷室	
J	2

暗室	
V	1
f	1
s	1

会議室	
A	7
A1	2

湯沸	
S	1
e	1

書庫	
J	6

書庫兼倉庫	
A3	2
g	1

階段室_B	
J1	1
I	1

更衣室	
E´	1

倉庫_A	
E	1

通路	
e	2
j	1

消防長室	
B	4
g	1

応接会議室	
N	6
g	1

大会議室	
A	20
A1	5
K	2

更衣室	
E	4

資機材倉庫	
M	2
i	1

踏込	
e	1

食堂	
j	2
m	9
r	12

廊下	
e	6
j	2

厨房	
O	1
O1	1

屋外階段	
F	1
F1	1
T	1

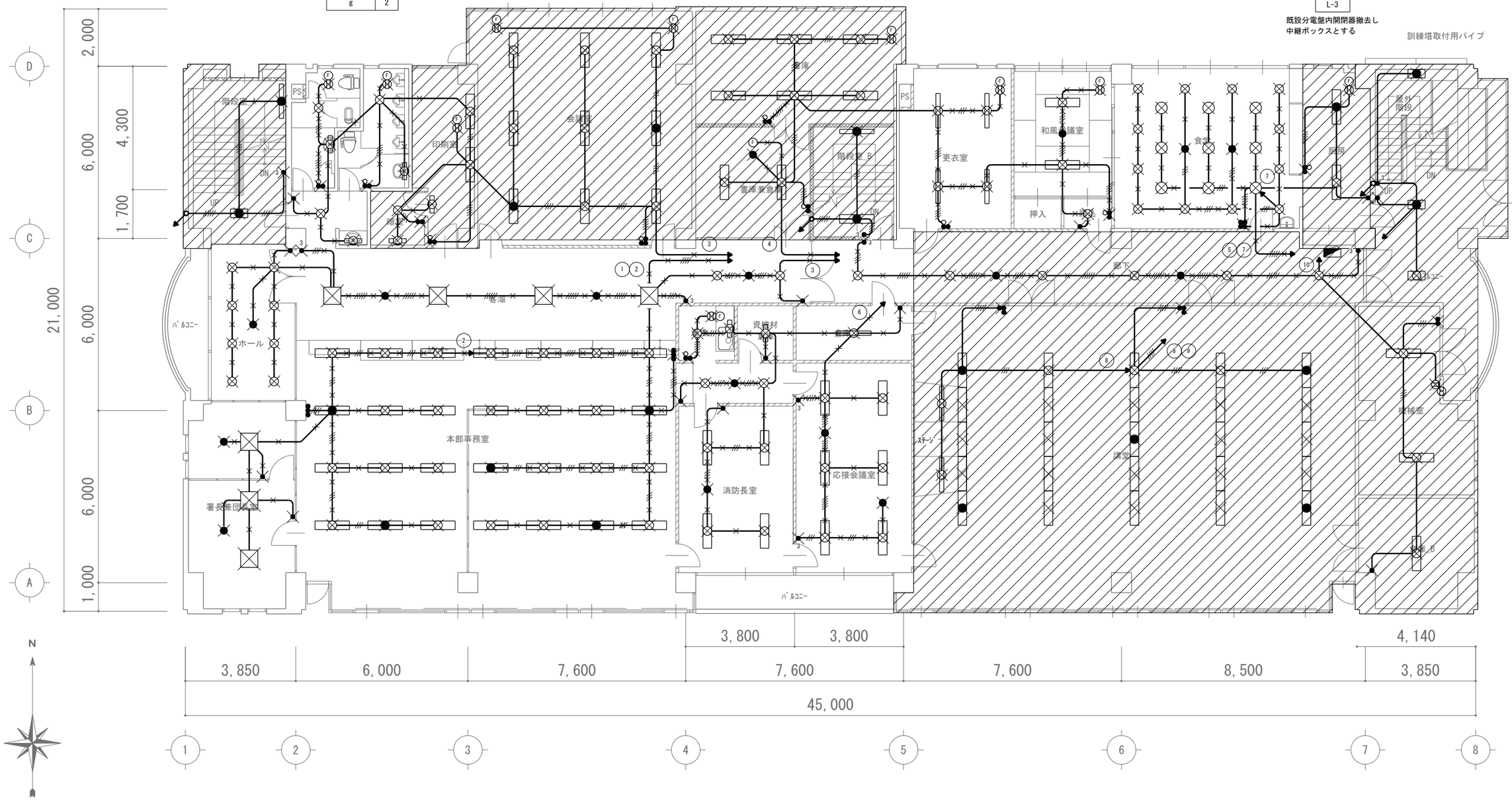
機械室	
G	2

倉庫_B	
G	1

L-3

既設分電盤内開閉器撤去し
中継ボックスとする

訓練塔取付用パイプ



改修前　３階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	電灯設備 3階平面図（改修前）
	縮尺	A2 1：100 / A3 1：141
	製図	令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No. E-036

階段室_A	
Z24D	2

女性トイレ	
M12	4
P12	1

男子トイレ	
M12	4
P12	1

前室	
M12	2
P12	1

倉庫	
E22	1
G32G	2

会議室	
C32	9

予防課・ 警防課書庫	
D21	6
C32	2

階段室_B	
Z24D	2

ロビー・通路	
F50	6

ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ	
D21	4

通路	
M12	7

食堂	
F50	8
P12	1

厨房	
I33W	2

屋外階段	
Z24D	2

バルコニー	
J14W	1

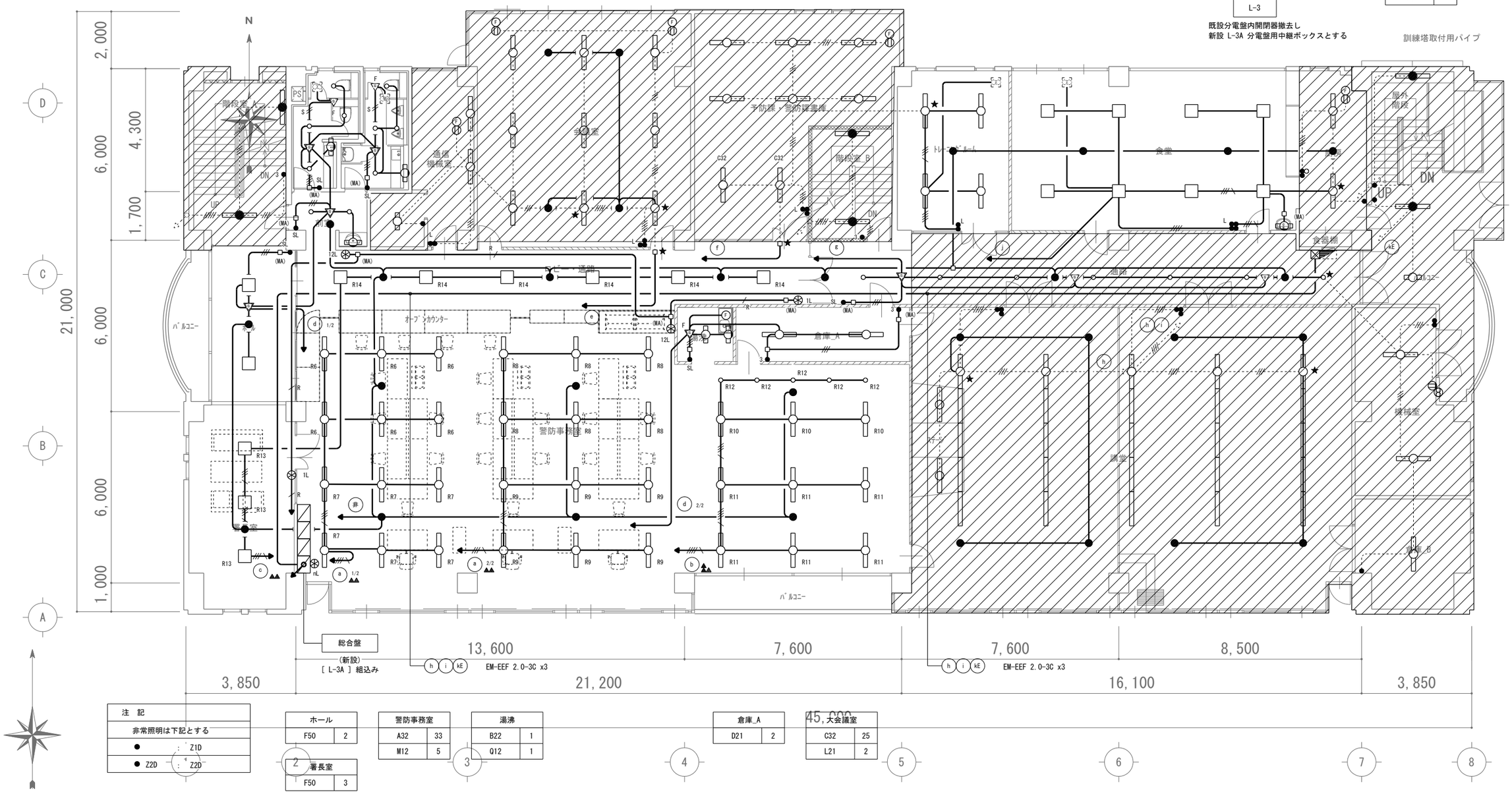
機械室	
G32G	2

倉庫_B	
D32	1

L-3

既設分電盤内開閉器撤去し
新設 L-3A 分電盤用中継ボックスとする

訓練塔取付用パイプ



注 記

非常照明は下記とする

● : Z1D

● Z2D : Z2D

ホール	
F50	2

署長室	
F50	3

警防事務室	
A32	33
M12	5

湯沸	
B22	1
Q12	1

倉庫_A	
D21	2

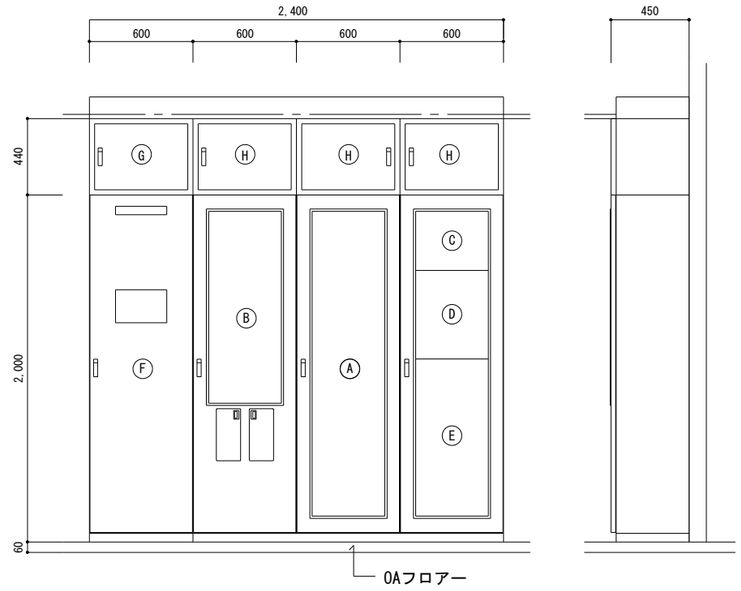
大会議室	
C32	25
L21	2

改修後　３階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	電灯設備 3階平面図(改修後)
	縮尺	A2 1：100 / A3 1：141
	製図	令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
	No.	E-037

	弱電機器図	N.S

総合盤姿図　（３階警棒事務室に設置）



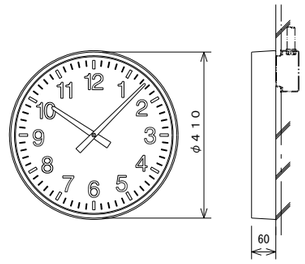
※　参考図

番号	名　　称	備　　考
A	防災アンプ	
B	防災複合受信機	40L
C	親時計	1回線
D	防犯カメラ主装置	
E	電気錠制御盤	ﾏｼﾞｶﾙﾃﾝｷｰ制御器共
F	分電盤	扉前面にﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ ２４回路 取付
G	テレビ共聴機器	
H	端子盤	電話・情報

注）　1.　函体は自火報工事とする

　　2.　姿図 ・寸法は参考とする

A　φ４１０　壁掛型子時計（屋内用）

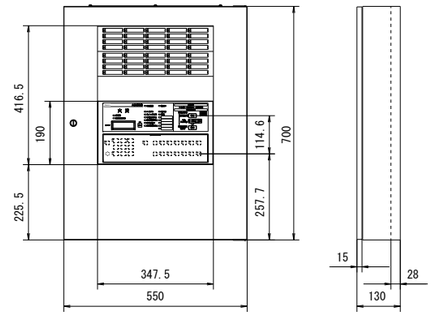


定格	ＤＣ２４Ｖ有極３０秒パルス　消費電流１２ｍＡ
指針	アルミ　黒色塗装
文字板	鋼板　白色塗装　文字黒色印刷
表ガラス	ガラス　透明　ｔ＝２
ケース	鋼板　クールホワイト色塗装

防災複合受信機

ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ 40回線(火報 10回線・自閉 10回線・諸警報 20回線)

総合盤に組込み



常用電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	警戒時最大：55VA 警報時最大：170VA
予備電源	DC24V 3500mAh ニッケルカドミウム蓄電池
1回線あたりの感知器接続数（当社品）	接続数は終端抵抗器によって異なります。

		10KΩ	20KΩ
A	熱サイバーセンサ	80コ	20コ
B	煙サイバーセンサ	30コ	7コ
B'	煙サイバーセンサ 熱検知機能付、２信号	20コ	5コ
C	光電分離型感知器	1セット	接続不可
D	炎感知器	20コ	5コ

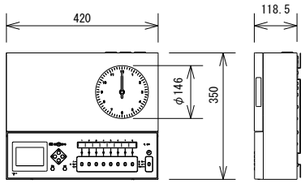
上記感知器が混在する場合は、下記の方程式により接続数を決めて下さい。

10KΩ	20KΩ
$A+4(B'+D)+\frac{8}{3}\ B\leqq 80$ C=1 光電式分離型感知器と他の感知器は混在不可	$A+4(B'+D)+\frac{8}{3}\ B\leqq 80$ C=0 光電式分離型感知器は接続不可

親時計　（1回路）

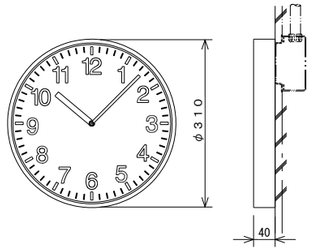
年間プログラムタイマー・チャイム・電波受信機能付

総合盤に組込み



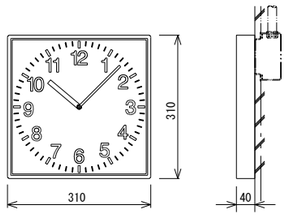
定格	ＡＣ１００Ｖ±１０％　５０Ｈｚ／６０Ｈｚ
時間精度	±０．７秒／週（２５℃）、電波受信機能により積算誤差０秒
時刻修正	長波ＪＪＹ（標準電波）又はＧＮＳＳ衛星電波（ＧＰＳ、ＱＺＳＳ、ＧＬＯＮＡＳＳ） 又はＮＨＫ－ＦＭ放送受信による
チャイム	１０曲（固定４曲、任意６曲） 固定曲：ウエストミンスター寺院の鐘・家路・アマリリス・ピンポーン３回 任意曲：任意のＭＰ３データを再生可能（省エネお知らせ用音声データを２曲保存済み）
停電補償時間	子時計駆動：３０時間以上 ３０時間を越える停電時は、停電復帰時自動調針
プログラムタイマー	８回路独立、サマータイム機能付、年間・週間プログラムの設定が可能
プログラム設定方法	パソコンでプログラム設定後、付属の専用ＳＤカードで登録
子時計出力	ＤＣ２４Ｖ　３０秒有極パルス、子時計接続容量　３６０ｍＡ／回路
ケース仕様	前ケース・後ケース：鋼板　オイスターグレー色塗装 スイッチパネル：ＡＢＳ樹脂　オイスターグレー色

φ３１０　壁掛型子時計（屋内用）



定格	ＤＣ２４Ｖ有極３０秒パルス　消費電流１２ｍＡ
指針	アルミ　黒色塗装
文字板	鋼板　白色塗装　文字黒色印刷
表ガラス	ガラス　透明　ｔ＝２
ケース	鋼板　クールホワイト色塗装

□３１０　壁掛型子時計（屋内用）



定格	ＤＣ２４Ｖ有極３０秒パルス　消費電流１２ｍＡ
指針	アルミ　黒色塗装
文字板	鋼板　白色塗装　文字黒色印刷
表ガラス	ガラス　透明　ｔ＝２
ケース	鋼板　クールホワイト色塗装

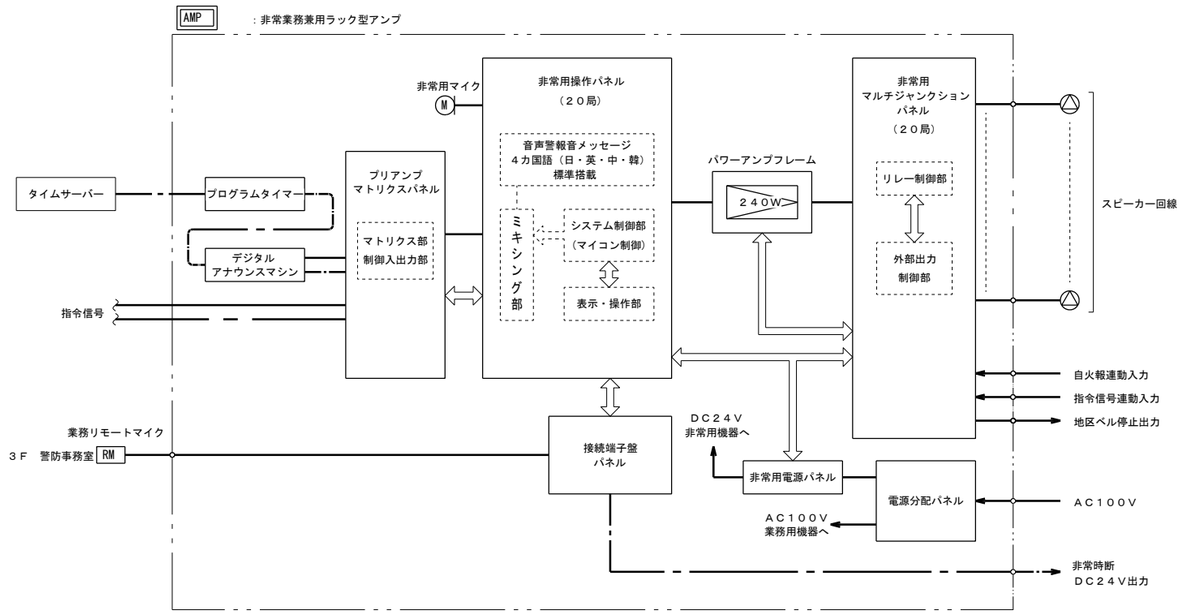
株式会社　松浦建築事務所

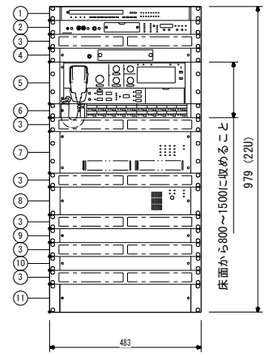
ＴＥＬ　（0561）32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	設計図
図面名称	弱電機器図（改修後）	縮尺　N.S
		製図　令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-038

	放送機器図（１）	N.S	

	非常業務放送設備　システムブロック図		AMP	非常業務兼用ラック型アンプ	総合盤に組込み





No.	名　　称
１	年間プログラムタイマーユニット
２	デジタルアナウンスマシン
３	通気パネル
４	プリアンプマトリクスパネル
５	非常用操作パネル
６	非常用増設操作パネル　２０局
７	パワーアンプフレーム
	デジタルパワーアンプモジュール　２４０Ｗ
８	非常用電源パネル
９	電源分配パネル
１０	接続端子盤パネル
１１	非常用マルチジャンクションパネル　２０局

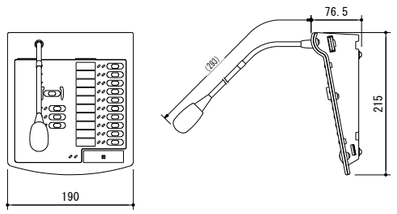
常　用　電　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ		階選択スイッチ操作を設定可能）
非　常　電　源	ＤＣ２４Ｖ（ニカド蓄電池）		（うち２系統は停電時もニカド電池により動作可能）
定　格　出　力	２４０Ｗ	点　検　機　能	点検モード時、非常断２４Ｖ遮断なし、音声出力なし
音　声　入　力	８入力＋外部放送入力		で動作チェックが可能
出　力　制　御	非常・業務とも２０局＋一斉		点検用音源内蔵、点検用音声入力搭載（音量調整可）、
	（一斉は緊急・通常の２モード選定式）		自己診断機能搭載、総合点検残時間表示機能、
非　常　警　報　音	音声合成音（第１シグナル、第２シグナル、		自火報からのメイク状態確認機能
	感知器発報放送、火災放送、非火災報放送）	■プログラムタイマー	
	音声合成音、日本語／ニか国語（日本語+英語）および	入　出　力	接点入力×１６、接点出力×１６
	三か国語／四か国語（中国語、韓国語を付加）の切換式	時　計　精　度	月差±１０秒以内
	※出荷時に搭載されたメッセージ以外を放送する	停電補償時間	１００時間以上
	場合は所轄消防の許可を得る必要があります。	時　刻　補　正	接点入力、ＮＴＰサーバー
出　火　階　情　報	８１種類標準搭載	そ　の　他	ファームウェア更新、システム登録データ・時刻保持
	別途、設定支援ソフトで２０００種類以上の		設定ソフトウェア（付属）よりプログラム設定
	出火階情報に標準対応可能	■デジタルアナウンスマシン	
	※上記以外の階情報メッセージは特注対応可能	制　御　入　力	起動×１６、緊急再生、緊急停止、緊急録音、他
フ　ロ　ン　ト　マ　イ　ク	単一指向性ダイナミック型	制　御　出　力	ビジー出力×８、異常出力
	非常業務兼用、音量調節可能（業務放送時のみ）	そ　の　他	ＬＡＮデータ転送、
機　　能	自火報連動機能、液晶表示（放送手順、動作設定表示、		設定ソフトウェアによるメモリーカード直接書き込み
	異常表示、動作履歴、タイマー移行残時間表示等）		アナログ録音、メモリーカード（１Ｇ）１枚実装済
リ　モ　コ　ン	非常用（業務兼用）最大１６台接続可（システム拡張時）		ＡＣアダプター付
	業務用 最大８台接続可（システム拡張時）	■その他	
	接点式 最大１２台接続可（システム拡張時）		接続端子盤パネル　付
非常時断電源	２系統 ＤＣ２４Ｖ 各２５０ｍＡ（非常時に電源供給断）		
制　御　入　力	緊急地震放送：１系統、外部放送：１系統		
	（緊急地震放送系統は停電時もニカド電池により動作可能）		
	制御入力：２０系統（任意の機能を設定可）		
制　御　出　力	非常接点出力：１系統、外部モニター：１系統		
	（上記系統は停電時もニカド電池により動作可能）		
	制御出力：１２系統（任意の放送状態、		

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	設計図
	図面名称	放送機器図（１）（改修後）	縮尺 N.S
			製図 令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-039

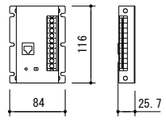
放送機器図（２）

N.S

RM 業務リモートマイク



リモートマイク

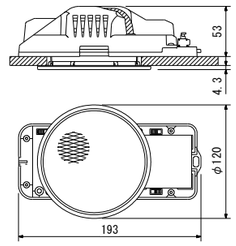


ＲＪ４５端子盤

■リモートマイク	
電源	ＤＣ２４Ｖ（本体側より供給／ＡＣアダプター）
マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサーマイク
	ＡＧＣ付、ＯＮ／ＯＦＦ可能
操作部	回線選択×１０（増設可能）、一斉（カバー付）、他
入力	外部マイク×１
その他	内蔵チャイム×４、モニタースピーカー内蔵
■ＲＪ４５端子盤	
印加電圧	４０Ｖ以下
耐電流	１Ａ
その他	電圧表示灯付

小型天井埋込スピーカー（ＡＴＴ付）

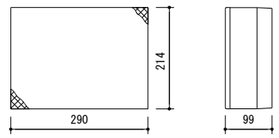
Ｌ級



定格入力	３Ｗ（３．３ｋΩ），１Ｗ（１０ｋΩ）
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）
周波数特性	１６０Ｈｚ～１８ｋＨｚ
スピーカー	８ｃｍコーン型
音量調節	３段切換
仕上	ネット：アルミエキスパンド、オフホワイト
その他	取付穴径：φ１００ｍｍ、適合天井板厚：５～２５ｍｍ

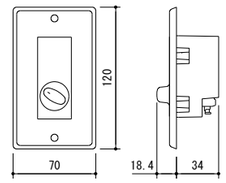
壁掛型スピーカー（ＡＴＴ付）

Ｌ級



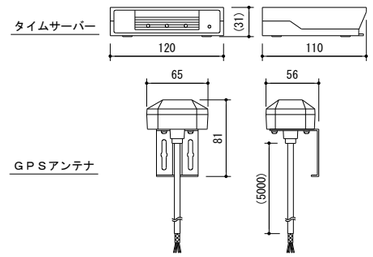
定格入力	３Ｗ（３．３ｋΩ），１Ｗ（１０ｋΩ）
出力音圧レベル	９５ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）
周波数特性	１６０Ｈｚ～１７ｋＨｚ
スピーカー	１６ｃｍコーン型
仕上	本体：木製　ライトグレー
	ネット：ジャージ　ライトグレー
その他	差込型コネクターによるワンタッチ結線、音量調節器付

アッテネーター



入力容量	０．５～６Ｗ
音量切換	５段階切換
仕上	プレート：アルミ

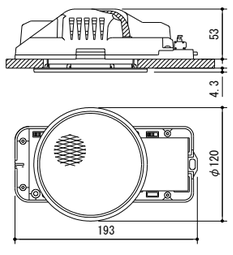
タイムサーバー



電源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
	（ＡＣアダプター（付属）使用）またはＰｏＥ
接点出力	２系統　半導体リレー出力
ネットワークＩ／Ｆ	１系統
ＧＰＳ	受信電波：ＧＰＳ衛星電波／準天頂衛星電波Ｌ１型
	受信周波数：１５７５．４２ＭＨｚ
使用場所	サーバー：屋内、アンテナ：屋外(保護等級：ＩＰ６５相当)

小型天井埋込スピーカー

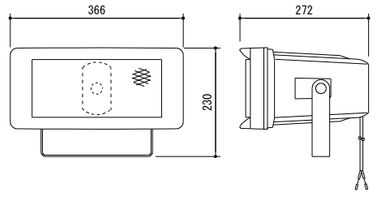
Ｌ級



定格入力	３Ｗ（３．３ｋΩ），１Ｗ（１０ｋΩ）
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）
周波数特性	１６０Ｈｚ～１８ｋＨｚ
スピーカー	８ｃｍコーン型
仕上	ネット：アルミエキスパンド　オフホワイト
その他	取付穴径：φ１００ｍｍ、適合天井板厚：５～２５ｍｍ

ワイドホーンスピーカー（１５Ｗ）

Ｌ級



定格入力	１５Ｗ(６７０Ω)，１０Ｗ(１ｋΩ)，５Ｗ(２ｋΩ)
出力音圧レベル	９７ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）
周波数特性	１５０Ｈｚ～１５ｋＨｚ
スピーカー	１２ｃｍ防滴コーン型
水平指向性	９０°
仕上	ホーン・カバー：樹脂　オフホワイト
その他	防塵・防水性能：ＩＰ６５

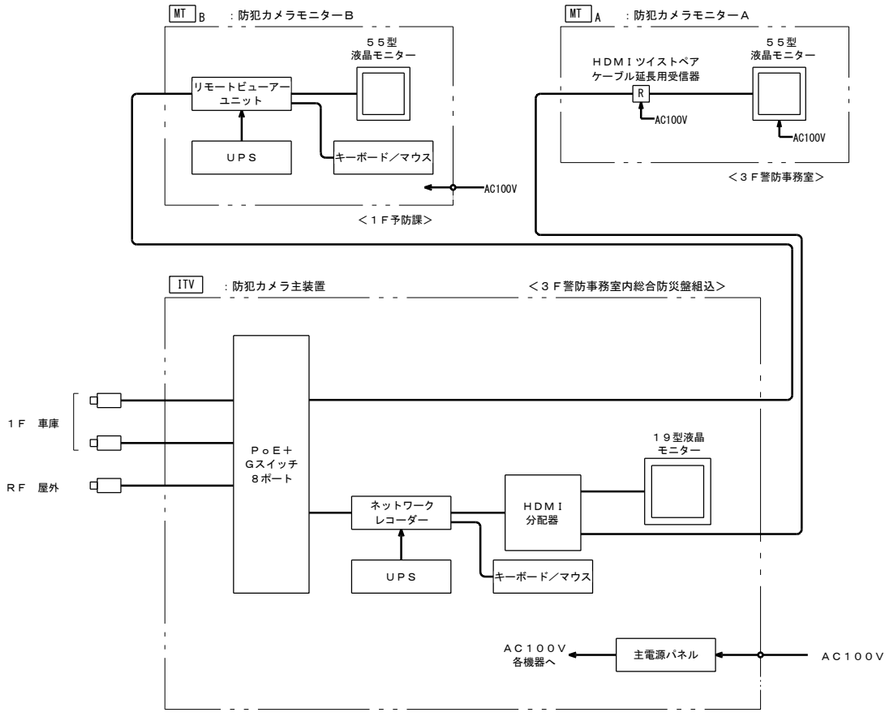
株式会社 松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561) 32-0318

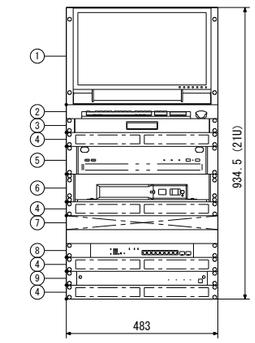
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	設計図
図面名称	放送機器図（２）（改修後）	縮尺 N.S
		製図 令和08年03月
１級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. E-040

	防犯カメラ機器図	N.S

ＩＴＶ設備　システムブロック図



ITV　防犯カメラ主装置　　総合盤に組込み



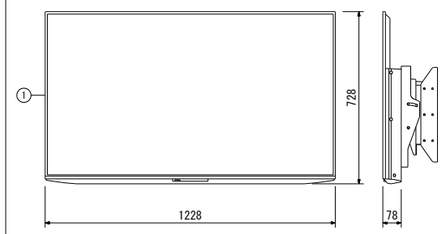
No.	名　　称
1	１９型液晶モニター
2	キーボード／マウス
3	スライド棚
4	通気パネル
5	ネットワークレコーダー
6	ＵＰＳ
7	ＨＤＭＩ分配器
8	ＰｏＥ＋Ｇスイッチ８ポート
9	主電源パネル

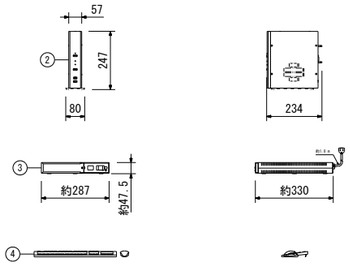
電　　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
■ネットワークレコーダー	
記録メディア	ＳＡＴＡ　ハードディスク　４ＴＢ（４ＴＢ×１）
カメラ録画録音台数	最大１６台
モニター出力	ＨＤＭＩ・ＤｉｓｐｌａｙＰｏｒｔ・アナログＲＧＢ各１
音声入出力	ライン入力・マイク入力・ライン出力　各１
接点入出力	無電圧メイク接点入力・オープンコレクター出力　各４
ライブ画面表示	１画面、３／４／６／８／９／１５／
	１６分割、シーケンス
再生画面表示	１画面、４分割、最大１６分割、全方位カメラ画像補正
録画画像サイズ	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：１０８０ｐ，２１６０ｐ他
総フレームレート	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：４８０ｆｐｓ
ﾘﾓｰﾄﾋﾞｭｰｱｰ接続台数	最大１６台
デュアルモニター機能	クローンモード、サブモニター（ライブ／マップ表示）
エクスポート機能	静止画、定期バックアップ、ＵＳＢメモリー／外付ＨＤＤ
音声送信	カメラまたはＩＰスピーカーへの個別放送、
	ＩＰスピーカーへのグループ放送
	（最大登録：カメラ・ＩＰスピーカー　各１６台）
センシング連動	対応カメラとの組合せでアナログ計器センシング
	白杖認識滞在・通過人数カウント、顔認証を利用可能
その他	プリ・ポストアラーム録画、ＮＴＰサーバー／クライアント
	ＰＣレスマップ機能、カメラ制御（ポイントビュー、
	ズームビュー他）ライブ／再生フルスクリーン表示・デジ
	タルズーム、プログラムイベント機能、ライブ再配信機能
	センシングデータ保存／グラフ表示／ＩＰスピーカー制御
ｽﾏｰﾄﾌｫﾝｱﾌﾟﾘ連携	アプリへのライブ配信／再生配信／プッシュ通知、
(TRIFORA Mobile)	アプリからのリモコン操作／音声操作

■１９型液晶モニター	
液晶パネル	１８．５型ワイド　ＴＮ（アンチグレア）
視野角	水平：１７０°、垂直１６０°
入力	映像×４、音声×３
出力	音声×１
その他	スピーカー内蔵
■ＵＰＳ	
出力定格容量	５００ＶＡ（３００Ｗ）
バッテリー	鉛バッテリー
	容量：７．２Ａｈ／６Ｖ×２個
	期待寿命：４～５年（周囲温度２０℃）
停電／復電切換時間	８ｍｓ以内
■ＰｏＥ＋Ｇスイッチ８ポート	
ＵＴＰポート数	８ポート　１０／１００／１０００ＢＡＳＥ-Ｔ
拡張モジュールスロット	ＳＦＰ：２（ポート１～８と選択）
機能	ＶＬＡＮ，ＱｏＳ、リンクアグリゲーション
	ＭＳＴＰ／ＲＳＴＰ／ＳＴＰ
ファン	なし
ﾊﾞｯﾌｧﾌﾛｰ/ｽｲｯﾁﾝｸﾞ容量	５１２ＫＢ／２０Ｇｂｐｓ
■その他	
	キーボード／マウス、スライド棚、
	ＨＤＭＩ分配器、主電源パネル　付

MT B　防犯カメラモニターＢ

No.	名　　称
1	５５型液晶モニター
2	リモートビューアーユニット
3	ＵＰＳ
4	キーボード／マウス

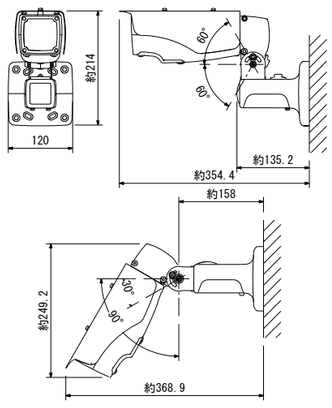




電　　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
■５５型液晶モニター	
画面サイズ	５５Ｖ型ワイド
画素数	３，８４０×２，１６０
その他	壁取付金具付
■リモートビューアーユニット	
モニター出力	ＨＤＭＩ・ＤｉｓｐｌａｙＰｏｒｔ・アナログＲＧＢ　各１
音声入出力	ライン入力・マイク入力・ライン出力　各１
レコーダー登録台数	最大２５６台（カメラ最大３２７６８台）
ライブ画面表示	１画面、３／４／６／８／９／１５／１６／２４／３６／
	６４分割、シーケンス、最大１２８台同時モニター可
ライブ表示画像サイズ	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：ＨＶＧＡＷ（最大ch30 fps）
	（高解像度表示機能使用時は録画設定に準じる）
	ＭＰＥＧ－４：Ｄ１（最大ｃｈ３０ｆｐｓ）
再生表示	１画面、４分割、最大１６分割、全方位カメラ画像補正
再生画像	画像サイズ・画質・フレームレートは録画設定に準じる
同時再生レコーダー数	最大１６台
デュアルモニター機能	クローンモード、サブモニター（ライブ・マップ表示）
エクスポート機能	動画／静止画、ＵＳＢメモリー／外付ＨＤＤ
音声送信	カメラまたはＩＰスピーカーへの個別放送、
	ＩＰスピーカーへのグループ放送（最大登録：
	カメラ３２７６８台、ＩＰスピーカー１６３８４台）
その他	ＵＰＳ連動、マップ機能、ＮＴＰサーバー／クライアント
	カメラ制御（ポイントビュー、ズームビュー他）
	ライブ／再生フルスクリーン表示・デジタルズーム・
	センシングデータ保存／グラフ表示／ＩＰスピーカー制御
■ＵＰＳ	
出力定格容量	５００ＶＡ（３００Ｗ）
バッテリー	鉛バッテリー
	容量：７．２Ａｈ／６Ｖ×２個
	期待寿命：４～５年（周囲温度２０℃）
停電／復電切換時間	８ｍｓ以内
■その他	
	キーボード／マウス　付

屋外赤外ネットワークカメラ

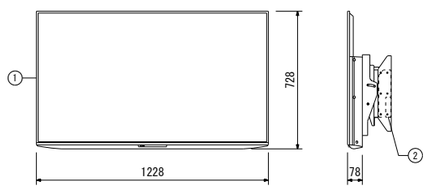
RBSS認定品



電　　源	ＰｏＥ対応
撮像素子	１／２．８型ＣＭＯＳ　２１３万画素
走査方式	プログレッシブ
最低被写体照度	０ｌｘ（５０％、白黒、Ｆ１．５、赤外ＬＥＤ点灯時）
ダイナミックレンジ	１２０ｄＢ以上（ワイドダイナミックＨＩＧＨ時）
赤外ＬＥＤ	あり（照射距離：５０ｍ）
ネットワークＩ／Ｆ	１０ＢＡＳＥ－Ｔ／１００ＢＡＳＥ－ＴＸ
同時アクセス数	１４（ＨＴＴＰＳ機能使用時：８）
画像圧縮方式	ストリーム１，２，４：Ｈ．２６５，Ｈ．２６４
	ストリーム３：ＪＰＥＧ
画像サイズ	最大１９２０×１０８０
フレームレート	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：最大３０ｆｐｓ
画角	水平：最大１１３°～３４°、垂直：５９°～１９°
機能	ＳＤカード録画（パスワードロック対応）、切り出しズーム
	音声双方向、プライバシーマスク、デイナイト
	マイク電源供給（ファンタム電源）、モーションディテクト
	ＩＰ６６(ベースカバー：親水コート)、ワイドダイナミック
	電動バリフォーカルレンズ、デジタルノイズリダクション
拡張機能	通過・滞在人数カウント、アナログ計器センシング
	白杖認識、プライバシー保護画像生成、Ｓａｆｉｅクラウド録画
その他	ＲＢＳＳ　２０１８年基準　高度機能５．２．６　性能2対応

MT A　防犯カメラモニターＡ

No.	名　　称
1	５５型液晶モニター
	壁取付金具（機器収納ボックス付）
2	ＨＤＭＩツイストペアケーブル延長用受信器



電　　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
■５５型液晶モニター	
画面サイズ	５５Ｖ型ワイド
画素数	３，８４０×２，１６０
その他	壁取付金具（機器収納ボックス付）付
■ＨＤＭＩツイストペアケーブル延長用受信器	
入力信号	ＨＤＢａｓｅＴ：ＲＪ４５
出力信号	ＨＤＭＩ　ＴｙｐｅＡ
	ＨＤＣＰ１．４／２．２対応（パススルー）
延長用ケーブル	Ｃａｔ６　ＵＴＰ／ＳＴＰ，Ｃａｔ５ｅ　ＵＴＰ／ＳＴＰ，
	ＣＡＴ．５Ｅ　ＨＤＣ　最大延長距離：１５０ｍ
ＬＡＮ	１０ＢＡＳＥ－Ｔ／１００ＢＡＳＥ－ＴＸ
その他	機器収納ボックス内に取付

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事　設計図
	図面名称	監視カメラ機器姿図（改修後）
	縮尺	N.S
	製図	令和08年03月
ＴＥＬ　(0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
	No.	E-041

改修後	凡　例・注記	－	

凡　例

記　号	名　　称	備　　考
	分電盤	
	端子盤	
AMP	防災アンプ	総合盤に組込み
AMP (A)	大会議室放送アンプ	既設
RM	業務用リモートマイク	
	天井埋込スピーカ	
	天井埋込スピーカ	ATT付
	壁付スピーカ	ATT付
	ホーン形スピーカ	
	アッテネータ	
MJ	スピーカジャック	

記　号	名　　称	備　　考
	既設機器を示す	
	既設配管・配線を示す	
◆	はつり補修を示す	
★	既設配線への接続を示す	
	既設器具撤去を示す	改修前（撤去）図面　凡例
	既設配管配線撤去を示す	改修前（撤去）図面　凡例

注　記

1. 図中特記なき配管配線は 下記とする

EM-HP 1.2-2C (PF16)	
EM-HP 1.2-3C (PF16)	
EM-HP 1.2-3C x2 (PF16)	
(19) EM-HP 1.2-3C (E19)	
[M] EM-HP 1.2-3C (MMA)	

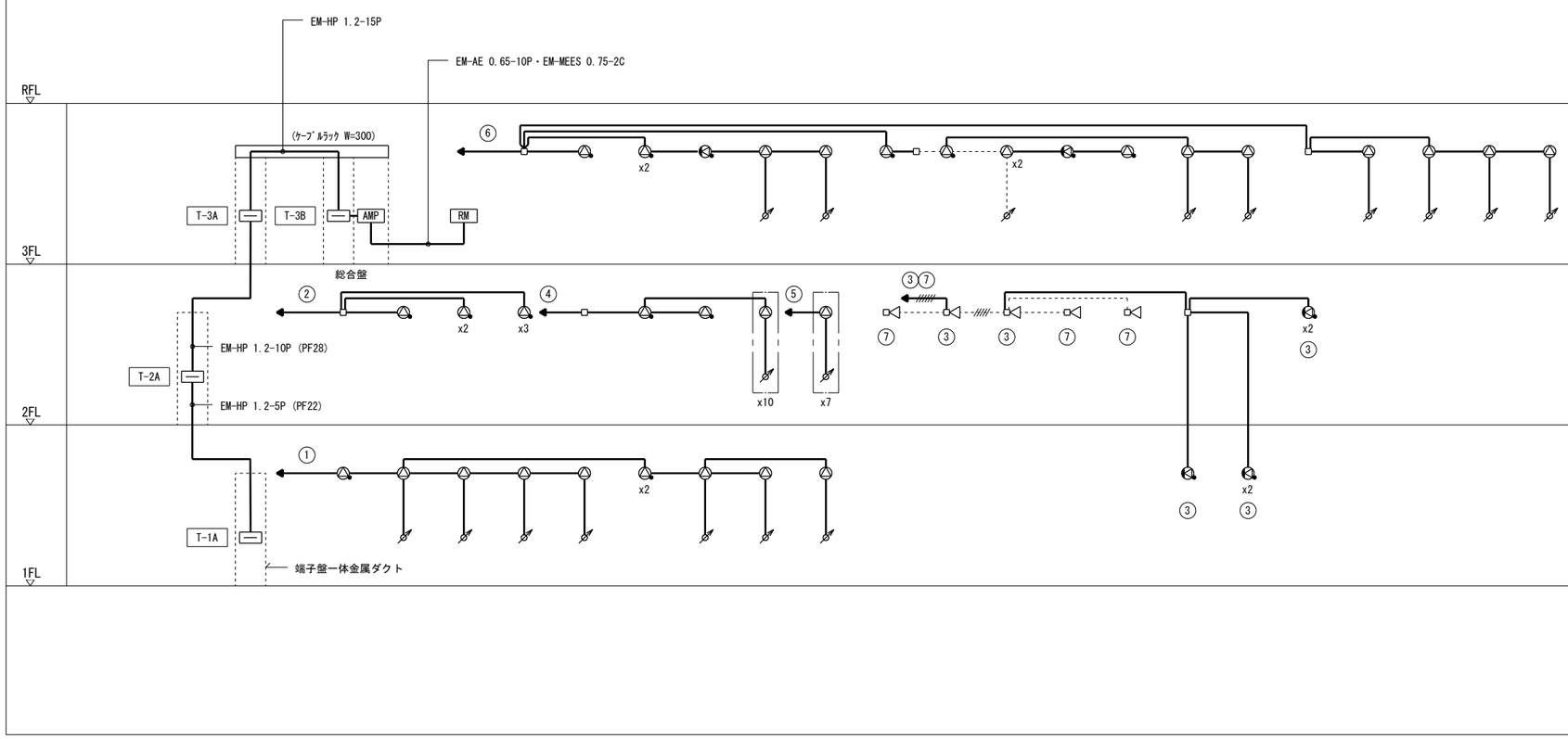
2. 二重天井内はころがし配線可とする
3. 既設壁内の配線立上げ・引下げ部分において
   既設配管が利用可能の場合はこれに入線する
4. 各設備共通事項
   天井梁露出部分の配線は１種金属線び(Ａ型)に入線する
   壁面露出部分の配線はねじなし電線管又は１種金属線びに入線する

改修前　凡例

1. 図中特記なき配管配線は 下記とする

1.2 x 2　(19)	
1.2 x 3　(19)	
1.2 x 4　(19)	
1.2 x 5　(25)	
1.2 x 7　(25)	
3C HP 0.9 - 3C x 1　(PF16)	
3Cx2 HP 0.9 - 3C x 2　(PF16)	
3Cx3 HP 0.9 - 3C x 3　(PF16)	
MVVS0.75-2C MVVS 0.75 - 2C　(19)	

改修後	放送設備　系統図	－	※　破線表示は既設を示す



改修後	防災アンプ容量計算表	－	

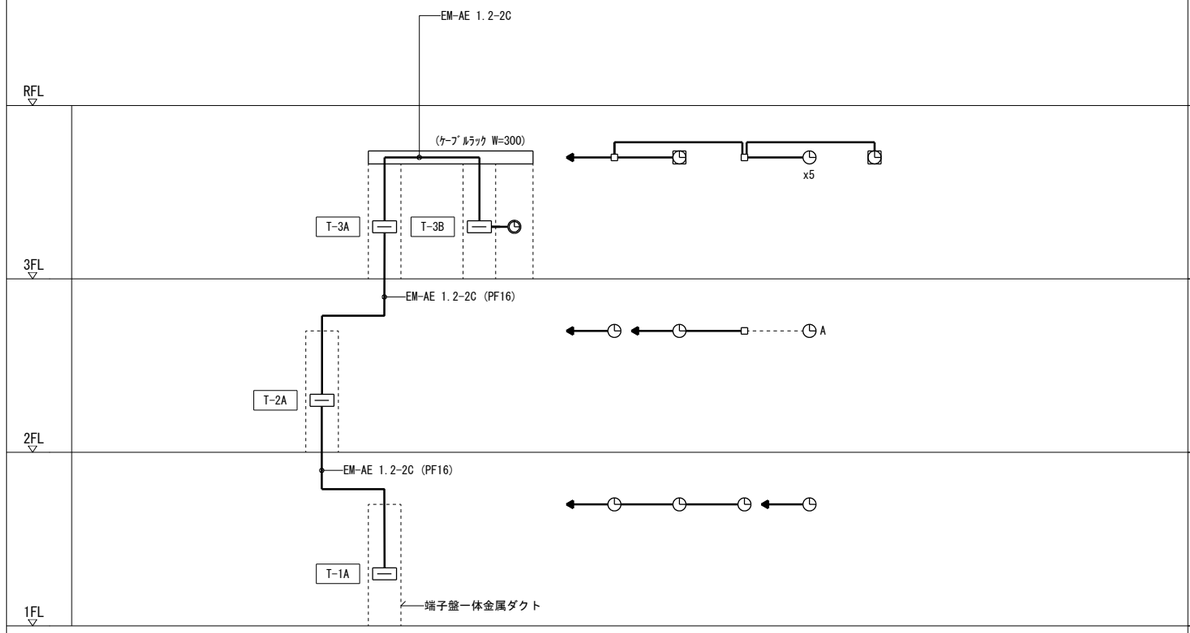
回路	居室	共用部	ホーン型		備考
入力負荷	1W	3W	15W		
①	9	1			
②	1	5			
③	5		2		
④	13				
⑤	7				
⑥	15	3			
⑦			3		
⑧					予備回路
⑨					予備回路
⑩					予備回路
計	50	9	5		
合計	50	27	75		
ｱﾝﾌﾟ容量	計 152W　＜　アンプ容量　180W				

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	設計図
	図面名称	（改修後）放送設備 系統図	縮尺 N.S
TEL (0561) 32-0318			製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-042

改修後	時計設備　凡例・注記	－	

凡　例			注　記
記　号	名　　称	備　　考	1.　　図中特記なき配管配線は 下記とする
▭	端子盤		——— EM-AE 1.2-2C (PF16)
◔	親時計	総合盤に組込み	
◷	丸型子時計		2.　二重天井内はころがし配線可とする
◱	角型子時計		3.　既設壁内の配線立上げ・引下げ部分において
			既設配管が利用可能の場合はこれに入線する
⁅ ⁆	既設機器を示す		4.　各設備共通事項
----------	既設配管・配線を示す		天井梁露出部分の配線は１種金属線ぴ(Ａ型)に入線する
			壁面露出部分の配線はねじなし電線管又は１種金属線ぴに入線する
♦	はつり補修を示す		
★	既設配線への接続を示す		改修前　凡例
			1.　図中特記なき配管配線は 下記とする
▭	既設器具撤去を示す	改修前（撤去）図面　凡例	——//—— 1.2 x 2　(19)
——×——	既設配管配線撤去を示す	改修前（撤去）図面　凡例	——///—— 1.2 x 3　(19)
			——////—— 1.2 x 4　(19)
			——/////—— 1.2 x 5　(25)
			——//////—— 1.2 x 7　(25)

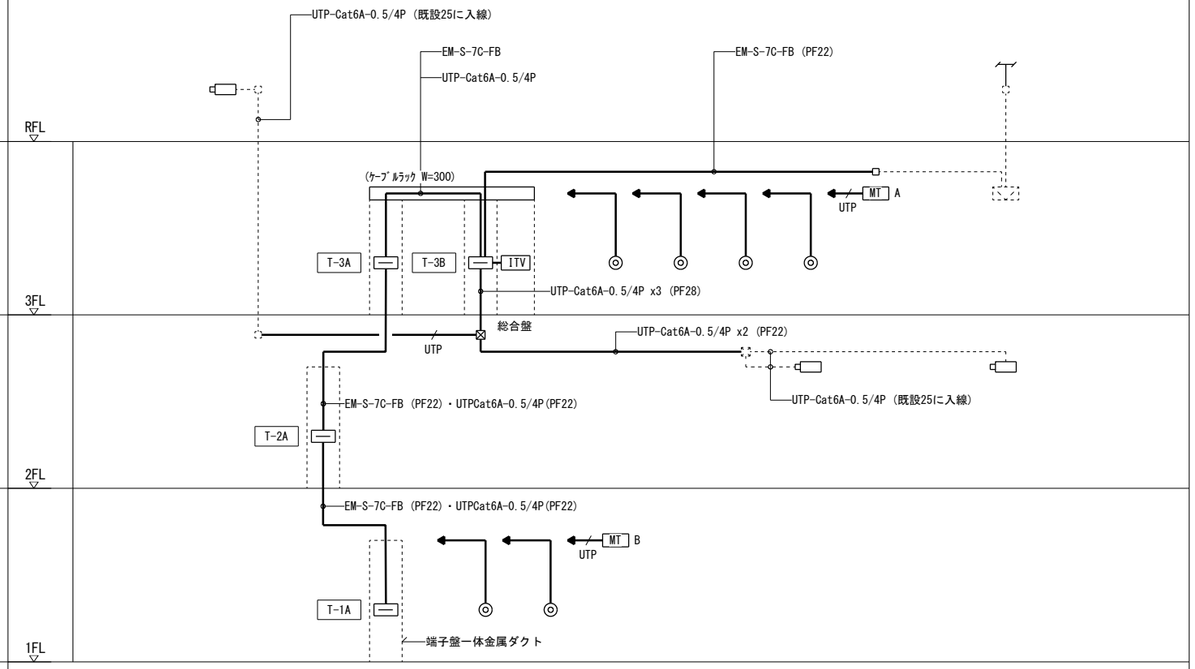
改修後	時計　系統図	－	※　破線表示は既設を示す



改修後	防犯ｶﾒﾗ・ﾃﾚﾋﾞ共聴設備 凡例・注記	－	

凡　例			注　記
記　号	名　　称	備　　考	1.　図中特記なき配管配線は 下記とする
▽	テレビアンテナ		——— EM-5C-FB (PF16)
▭	テレビ機器収納箱		——UTP—— UTP-Cat6A-0.5/4P (PF22)
◎	テレビ端子		
ITV	防犯カメラ主装置	総合盤に組込み	2.　二重天井内はころがし配線可とする
MT	監視モニター	予防課・警防事務室に設置	3.　既設壁内の配線立上げ・引下げ部分において
▭	防犯カメラ		既設配管が利用可能の場合はこれに入線する
			4.　各設備共通事項
⁅ ⁆	既設機器を示す		天井梁露出部分の配線は１種金属線ぴ(Ａ型)に入線する
----------	既設配管・配線を示す		壁面露出部分の配線はねじなし電線管又は１種金属線ぴに入線する
♦	はつり補修を示す		
★	既設配線への接続を示す		改修前　凡例
			1.　図中特記なき配管配線は 下記とする
▭	既設器具撤去を示す	改修前（撤去）図面　凡例	——— 5C － 2V　(19)
——×——	既設配管配線撤去を示す	改修前（撤去）図面　凡例	

改修後	防犯ｶﾒﾗ・ﾃﾚﾋﾞ共聴設備 系統図	－	※　破線表示は既設を示す



株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561)　32-0318

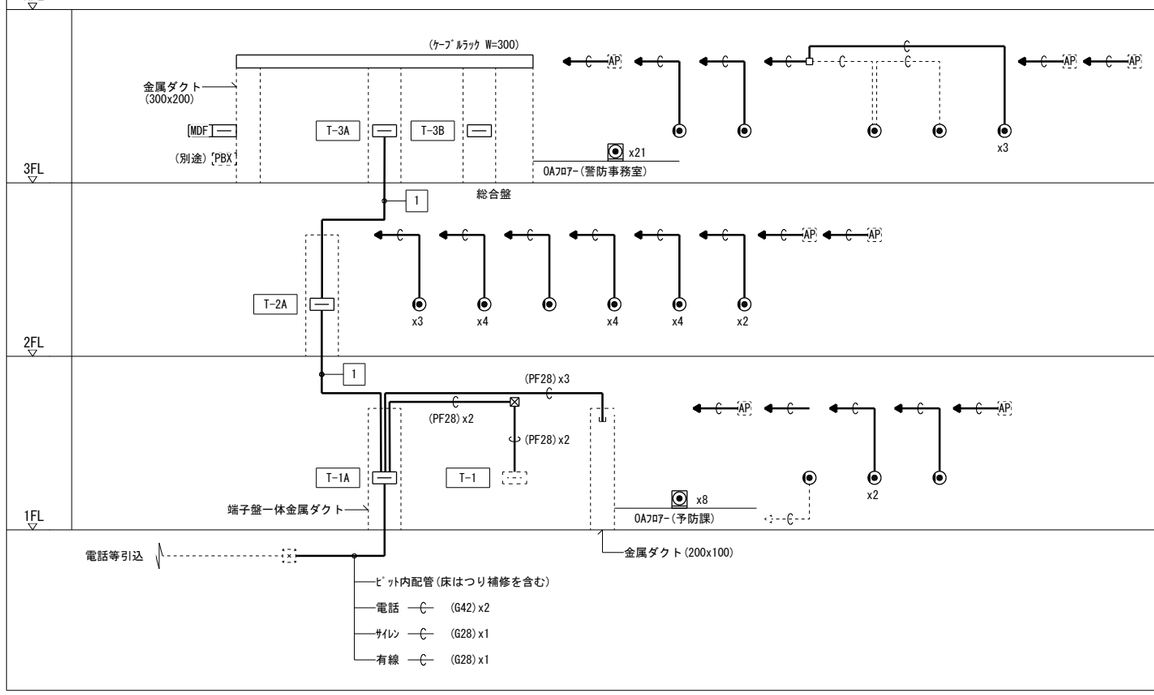
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	設計図
図面名称	（改修後）時計・テレビ設備 系統図	縮尺　N.S
		製図　令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-043

改修後	時計設備　凡例・注記	－	

凡例			注記
記号	名称	備考	1. 図中特記なき配管配線は 下記とする
MDF	本配線盤		C (PF22)
—	端子盤	総合盤に組込み	.(19) C (19)
	OAﾌﾛｱｰ用ローテンション	電話・LAN用	
	壁付電話アウトレット		
	床付電話アウトレット		
AP	無線LANアクセスポイント	機器別途	
	既設機器を示す		改修前　凡例
	既設配管・配線を示す		1. 図中特記なき配管配線は 下記とする
			C (25)
♦	はつり補修を示す		.(19) C (19)
★	既設配線への接続を示す		
	既設器具撤去を示す	改修前（撤去）図面　凡例	
	既設配管配線撤去を示す	改修前（撤去）図面　凡例	

改修後	電話設備　系統図	－	※　破線表示は既設を示す

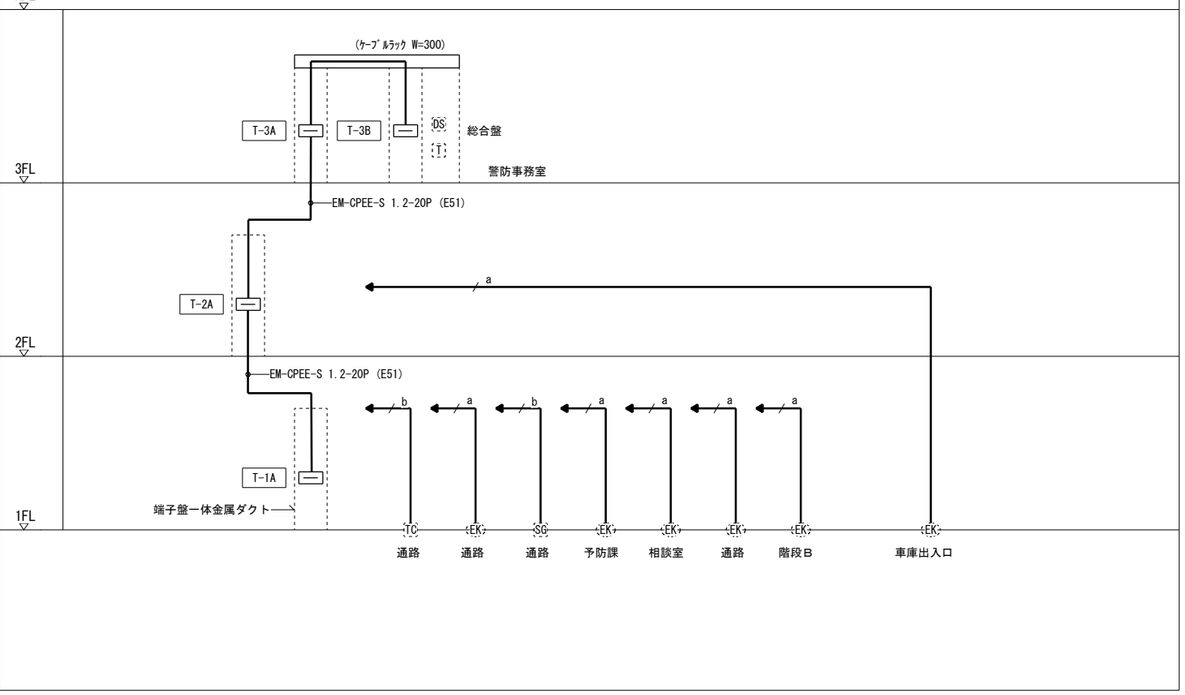
1	電話	C (E51)x2
	電話	C (PF28)x3
	ｻｲﾚﾝ	C (PF28)x1
	有線	C (PF28)x1



改修後	電気錠設備　凡例・注記	－	

凡例			注記
記号	名称	備考	1. 図中特記なき配管配線は 下記とする
DS	２線式電気錠操作盤	機器別途：総合盤に組込み	a EM-CPEE-S 1.2-2P (PF16)
T	ﾏｼﾞｶﾙﾃﾝｷｰ 制御器	機器別途：総合盤に組込み	a(19) EM-CPEE-S 1.2-2P (E19)
TC	ﾏｼﾞｶﾙﾃﾝｷｰ 操作器	機器別途	b EM-CPEE-S 0.9-2P (PF16)
SG	操作表示器	機器別途	b(19) EM-CPEE-S 0.9-2P (E19)
EK	電気錠（２線変換ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ共）	機器別途	
			2. 二重天井内はころがし配線可とする
♦	はつり補修を示す		3. 各設備共通事項
			天井梁露出部分の配線は１種金属線ぴ(Ａ型)に入線する
			壁面露出部分の配線はねじなし電線管又は１種金属線ぴに入線する

改修後	電気錠設備　系統図	－	

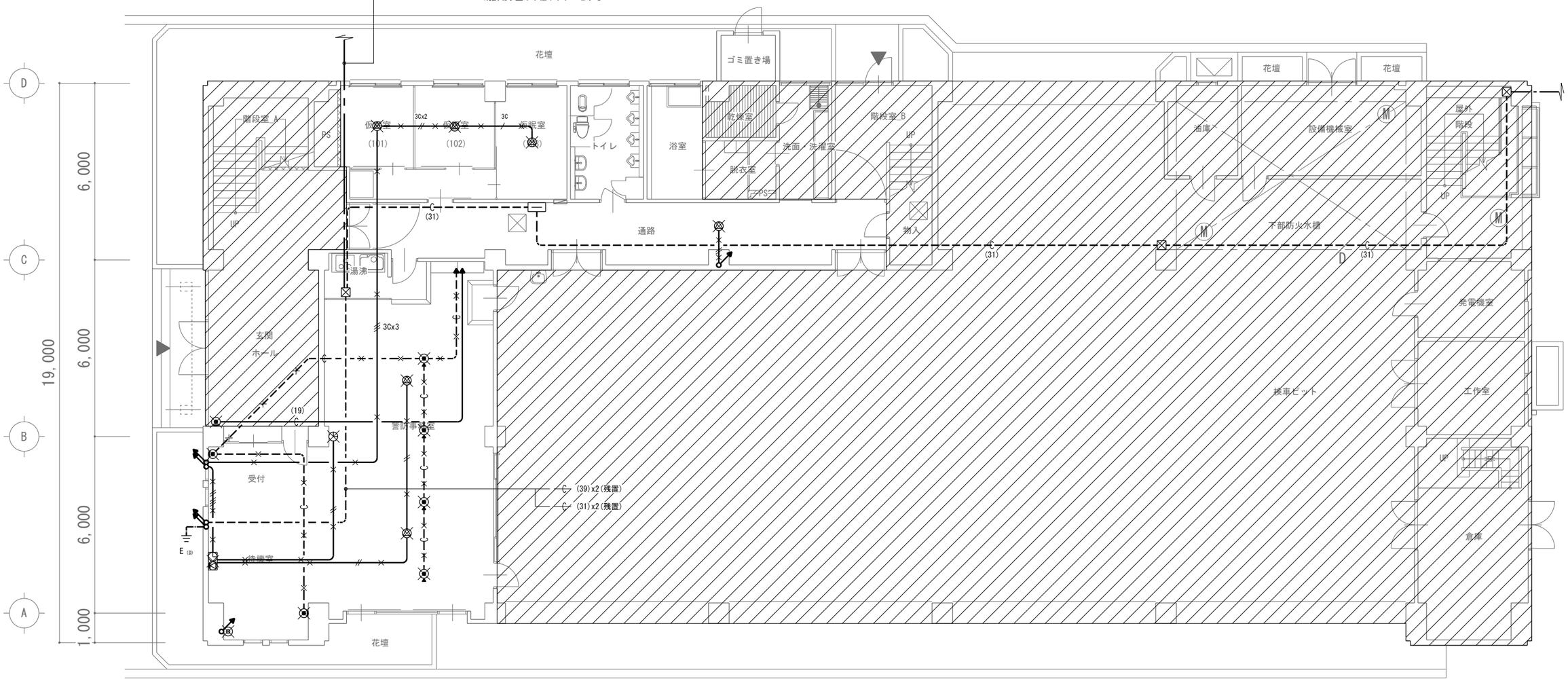


株式会社	松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事　設計図
		図面名称	（改修後）電話・電気錠設備 系統図
		縮尺	A2 1：100 / A3 1：141
		製図	令和08年03月
TEL	(0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
		No.	E-044

改修範囲	
	：今回改修部分
	：今回改修適用外部分（器具類に取替）

電話 (G42)x2
ｻｲﾚﾝ (G28)x1
有線 (G28)x1

T-1
既設端子盤は中継ボックスとする



改修前　１階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	弱電設備 1階平面図（改修前）
	縮尺	A2 1：100 / A3 1：141
	製図	令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
	No.	E-045

改修範囲
□ ：今回改修部分
▨ ：今回改修適用外部分
既設器具類は取替
増設器具類は配線を含め新設

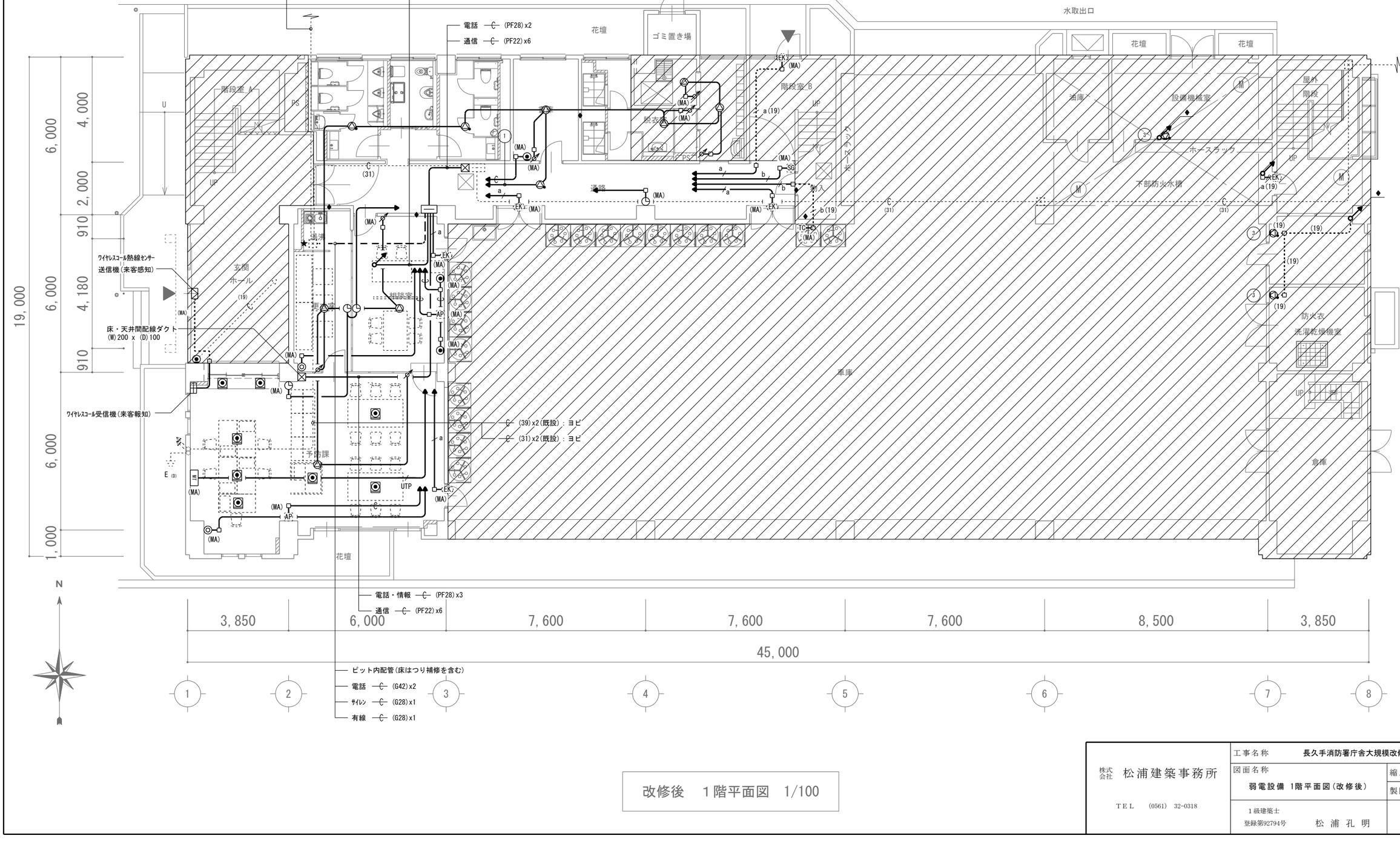
- ２階床はつり補修
- 電話・情報 ―C― (E51)x2・(PF28)x3
- ｻｲﾚﾝ ―C― (PF28)x1
- 有線 ―C― (PF28)x1
- 放送 EM-HP 1.2-5P (PF22)
- 時計 EM-AE 1.2-2C (PF16)
- ﾃﾚﾋﾞ･防犯 EM-S-7C-FB (PF22)・UTPCat6A-0.5/4P(PF22)
- ヨビ ―C― (E51)x1
- 電気錠 EM-CPEE-S 1.2-20P (E51)
- 通信 ―C― (PF28)x3

既設電話 ―C― (G42)x2
既設ｻｲﾚﾝ ―C― (G28)x1
既設有線 ―C― (G28)x1

T-1A
(新設)

T-1
既設端子盤は新設端子盤 T-1A の中継ボックスとする

電話 ―C― (PF28)x2
通信 ―C― (PF22)x6

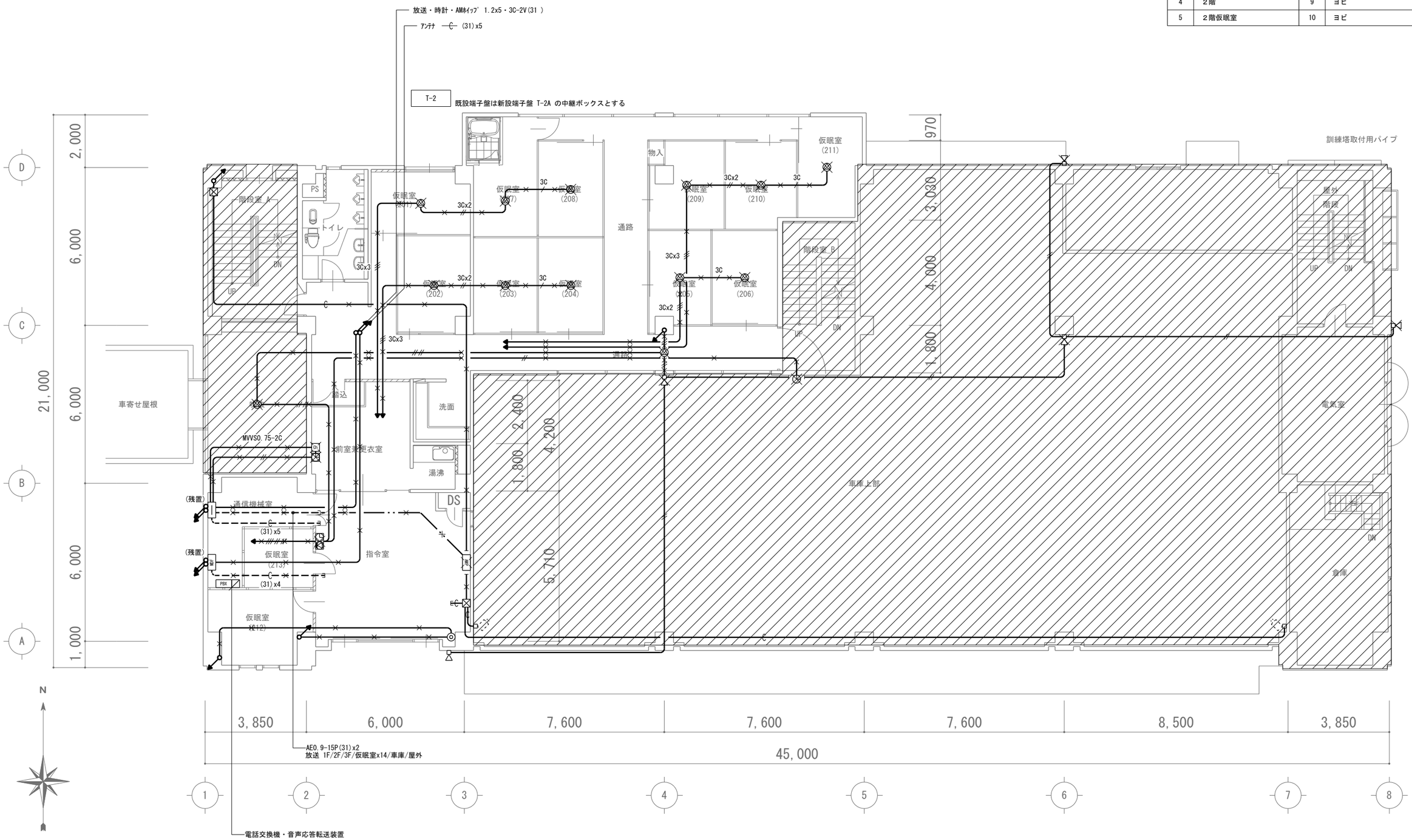


改修後　１階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	弱電設備 1階平面図(改修後)	縮尺 A2 1：100 / A3 1：141
TEL (0561) 32-0318			製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. E-046

改修範囲	
	：今回改修部分
	：今回改修適用外部分（器具類に取替）

既設放送回路			
1	車庫	6	２階仮眠室
2	１階	7	３階
3	１階仮眠室	8	屋外
4	２階	9	ヨビ
5	２階仮眠室	10	ヨビ

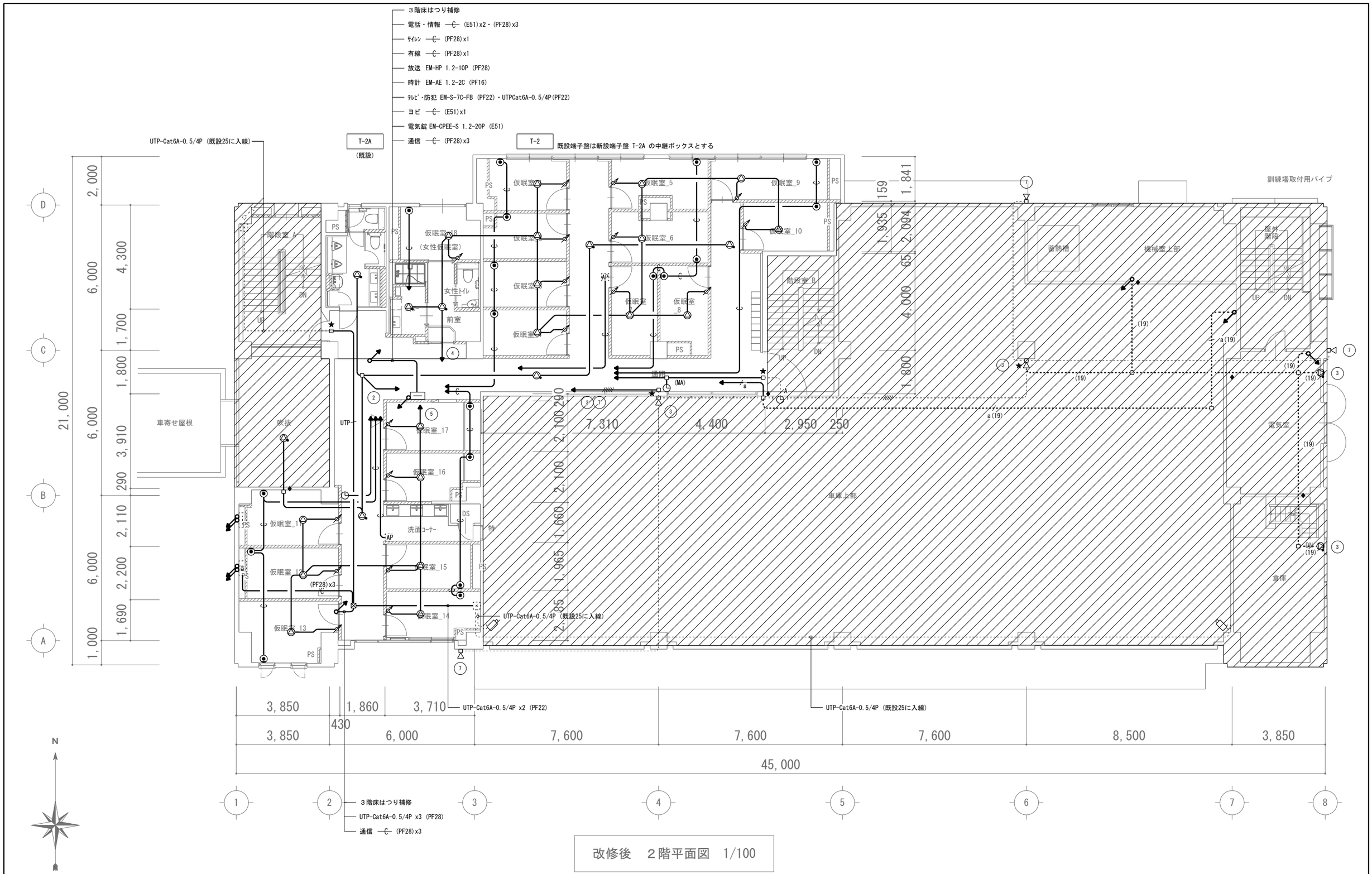


改修前　２階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561)　32-0318

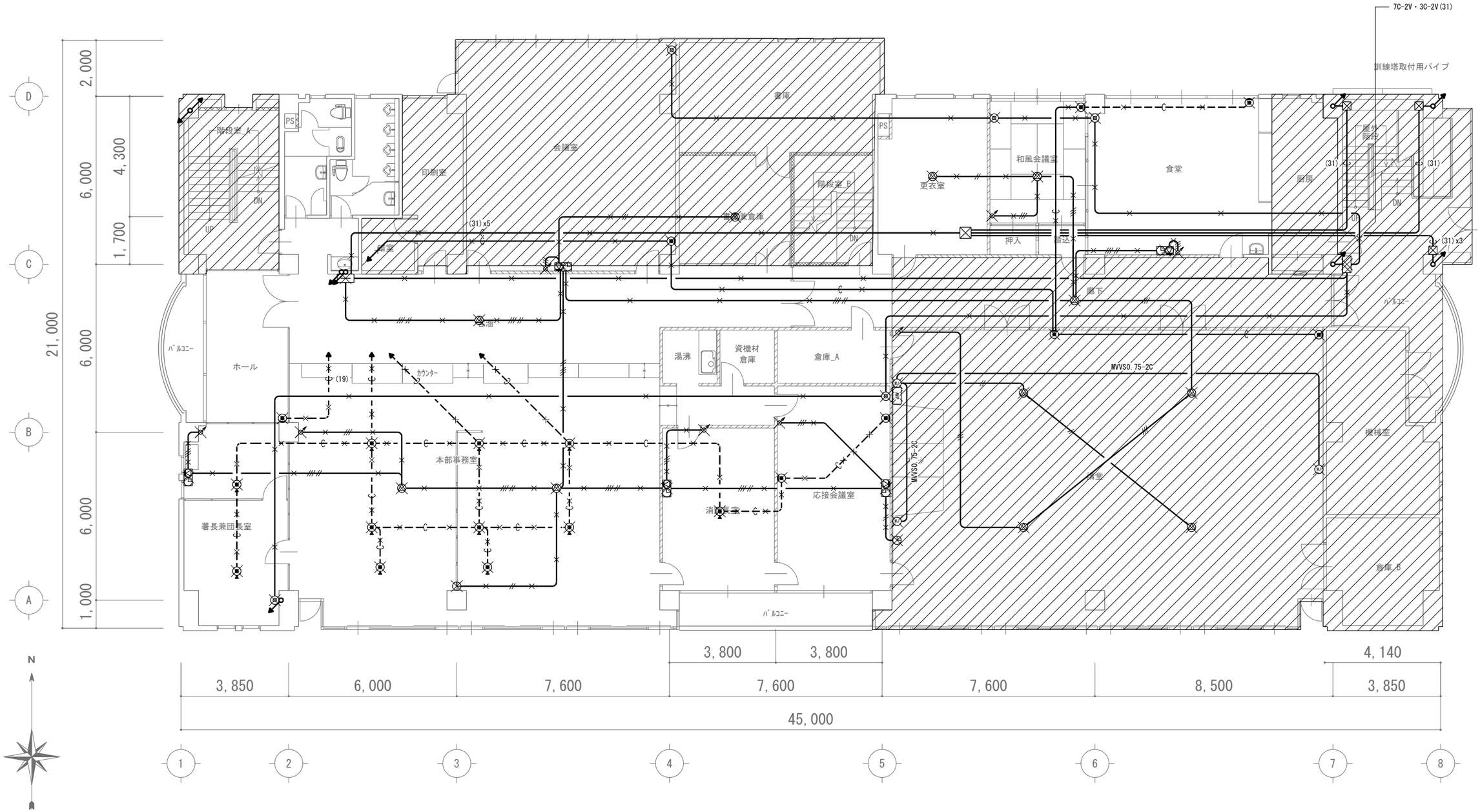
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	弱電設備 2階平面図（改修前）	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-047



改修後　２階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所 TEL (0561) 32-0318	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	弱電設備 2階平面図(改修後)
	縮尺	A2 1:100 A3 1:141
	製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No.	E-048

改修範囲
：今回改修部分
：今回改修適用外部分（器具類に取替）



改修前　３階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	弱電設備 3階平面図（改修前）
	縮尺	A2 1：100 A3 1：141
	製図	令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No. E-049

３階床はつり補修
電話・情報 —C— (E51)x2・(PF28)x3
ｻｲﾚﾝ —C— (PF28)x1
有線 —C— (PF28)x1
放送 EM-HP 1.2-10P (PF28)
時計 EM-AE 1.2-2C (PF16)
ﾃﾚﾋﾞ・防犯 EM-S-7C-FB (PF22)・UTPCat6A-0.5/4P(PF22)
ヨビ —C— (E51)x1
電気錠 EM-CPEE-S 1.2-20P (E51)
通信 —C— (PF28)x3

倉庫内機器		
Ⓐ	電話交換機	改修前２階通信機械室より移設：別途工事
Ⓑ	音声応答転送装置	〃
Ⓒ	本配線盤(MDF)	改修前２階通信機械室より移設：本工事
Ⓓ	電話端子盤	〃
Ⓔ	金属ダクト	盤・機器下部及び盤・機器渡り配線用
Ⓕ	金属ダクト	ｹｲﾌﾞﾙﾗｯｸへの配線用 300(W)x200(D)

総合盤内機器					
Ⓐ	防災アンプ		Ⓕ	分電盤	
Ⓑ	防災複合受信機	40回線(火報・自閉・警報)	Ⓖ	テレビ共聴機器	
Ⓒ	親時計	1回線	Ⓗ	端子盤	電話・情報
Ⓓ	防犯カメラ主装置				
Ⓔ	電気錠制御盤	ﾏｼﾞｶﾙﾃﾝｷｰ制御器共			

T-3A (新設)　T-3　既設端子盤は新設端子盤 T-3A の中継ボックスとする

弱電 —C— (E31)x3
ﾃﾚﾋﾞｱﾝﾃﾅ EM-S 7C-FB (PF22)：至・総合盤
既設 7C-2V (31)
訓練塔取付用パイプ
UTP-Cat6A-0.5/4P (既設25に入線)
NTT架空引込
PB300×300×300 SUS-WP
階段室 A
PS
会議室
予防課・警防課書庫
通信機械室
階段室 B
トレーニングルーム
食堂
厨房
屋外階段
自販機
前室
ロビー・通路
(PF28)x5
ホール
ｹｰﾌﾞﾙｶｳﾝﾀｰ
湯沸
分電盤_A
既設 MVVS0.75-2C
既設 MVVS0.75-2C
通路
ﾊﾞﾙｺﾆｰ
機械室
分電盤_B
警防事務室
署長室
UTP
WT
(A)
(MA)
AP
(31)
(31)x3
(19)
DN
UP
2,000
6,000
4,300
1,700
21,000
6,000
6,000
1,000
13,600
7,600
7,600
8,500
3,850
21,200
16,100
3,850
45,000

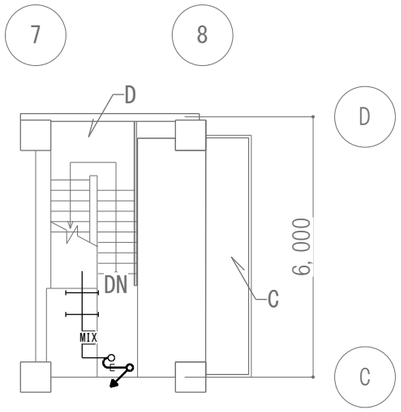
３階床はつり補修
UTP-Cat6A-0.5/4P x3 (PF28)
通信 —C— (PF28)x3
総合盤 (新設)
通信 —C— (PF22)x6
EM-AE 0.65-10P・EM-EES 0.75-2C
ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ W=300
放送 EM-HP 1.2-15P
時計 EM-AE 1.2-2C
テレビ EM-S 7C-FB
防犯ｶﾒﾗﾓﾆﾀｰ UTP-Cat6A-0.5/4P
電気錠 EM-CPEE-S 1.2-20P

A B C D　1 2 4 5 6 7 8

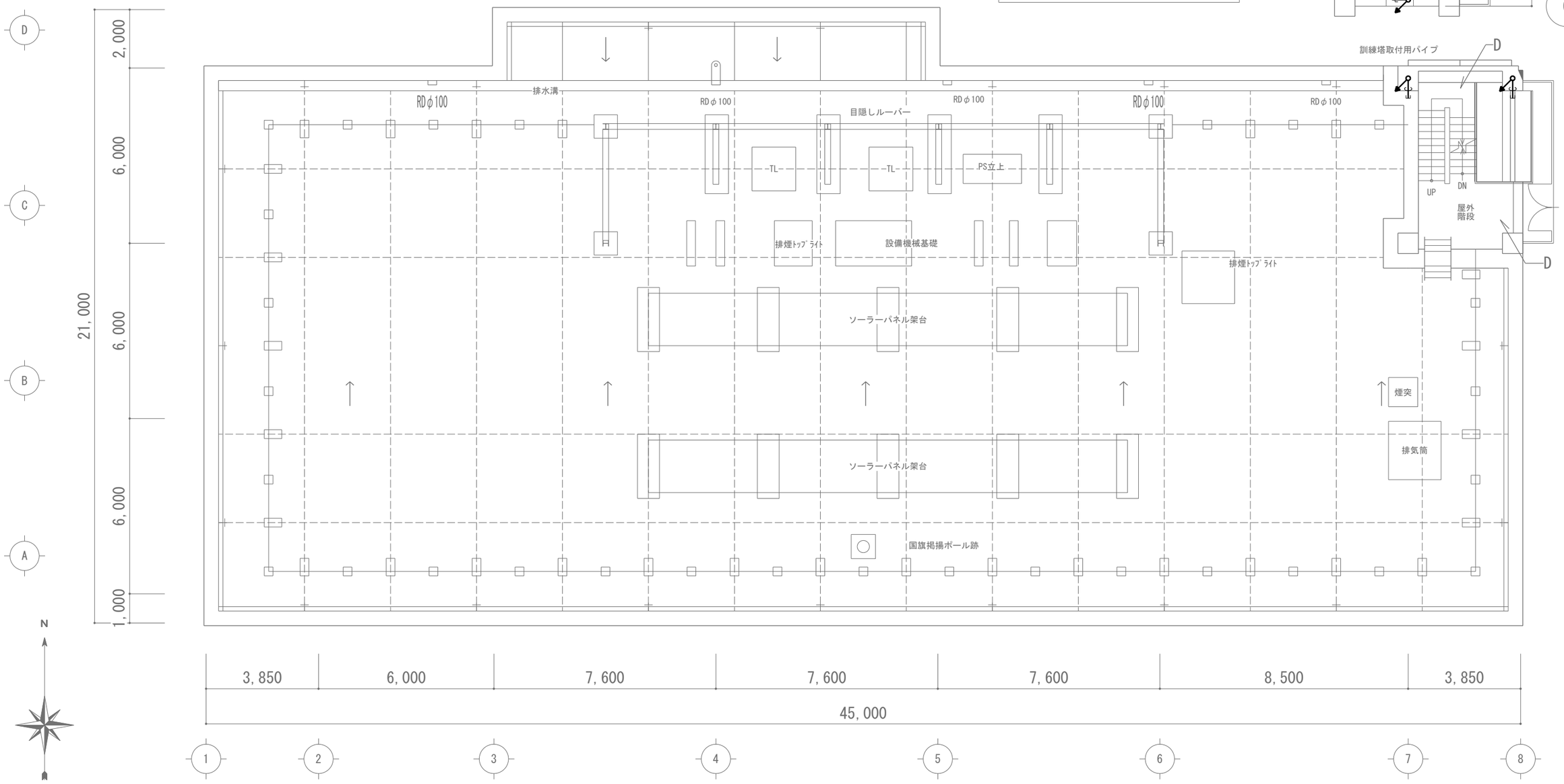
改修後　３階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	弱電設備 3階平面図(改修後)	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
			製図 令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-050

テレビアンテナ
UHF 22EL
VHF 12EL
UV MIX
AM ホイップ
マスト 側壁型3m



既設訓練塔平面図 1/100

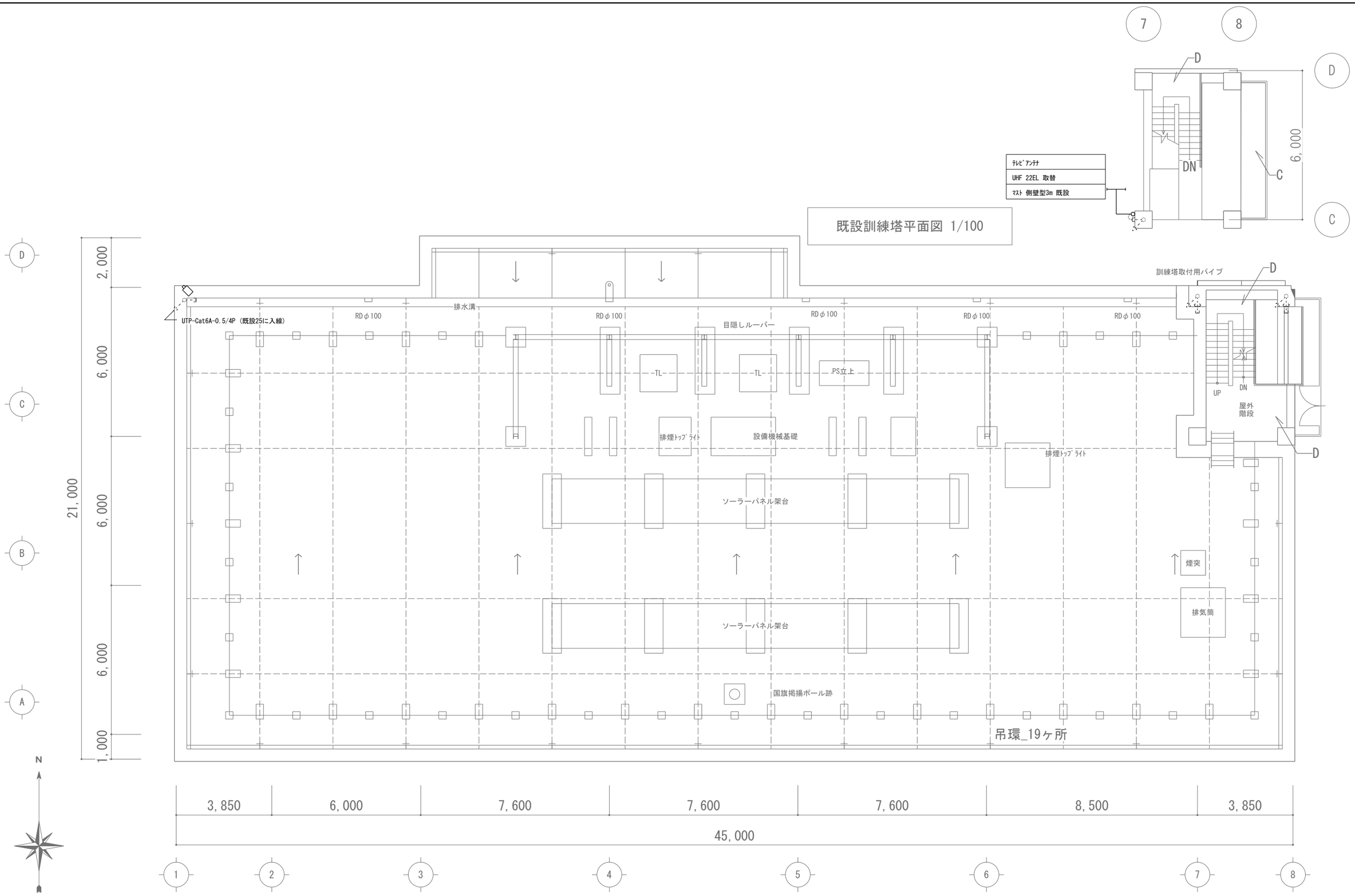


改修前 屋上平面図 1/100

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	弱電設備 屋上平面図(改修前)	縮尺 A2 1:100 A3 1:141
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. E-051



改修前　屋上平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所 TEL (0561) 32-0318	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	弱電設備 屋上平面図（改修後）
	縮尺	A2 1：100 A3 1：141
	製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No.	E-052

改修後	凡　例・注記	－	

凡　例

記　号	名　　称	備　　考	記　号	名　　称	備　　考
	防災複合盤	P型1級 40回線 (火報 10回線 :防火戸 10回線 :諸警報 20回線)	AMP	防災アンプ	
	機器収容箱	収納・屋内消火栓箱組込			
				警戒区域線	
P	発信器	P型 1級	No	警戒区域番号	自火報
	表示灯	LED	No	表示番号	防火戸・防火シャッター
	差動スポット感知器	2種			
	定温スポット感知器	特種		既設機器を示す	
	定温スポット感知器	1種 70°防水形		既設配管・配線を示す	
E	定温スポット感知器	1種 耐圧防爆型			
S S	光電式スポット型感知器	光電式2種・点検口付	♦	はつり補修を示す	
Ω	終端抵抗器		★	既設配線への接続を示す	
S	光電式スポット型感知器	光電式3種		既設器具撤去を示す	改修前（撤去）図面　凡例
停 SS	レリーズ（建築工事）	防火シャッター		既設配管配線撤去を示す	改修前（撤去）図面　凡例
停	レリーズ（建築工事）	防火戸			
FR	消火栓起動リレー				

注　記

1.　図中特記なき配管配線は 下記とする

自火報	EM-AE 1.2-2C	(PF16)	
	EM-AE 1.2-3C	(PF16)	
	EM-AE 1.2-4C	(PF16)	
防火戸	EM-HP 1.2-3C	(PF16)	
	EM-HP 1.2-5C	(PF16)	
	EM-HP 1.2-5P	(PF22)	
	EM-HP 1.2-10P	(PF28)	

2.　二重天井内はころがし配線可とする

3.　★ ：既設配線に接続を示す

4.　♦ ：はつり補修か所を示す

5.　既設壁内の配線立上げ・引下げ部分において
既設配管が利用可能の場合はこれに入線する

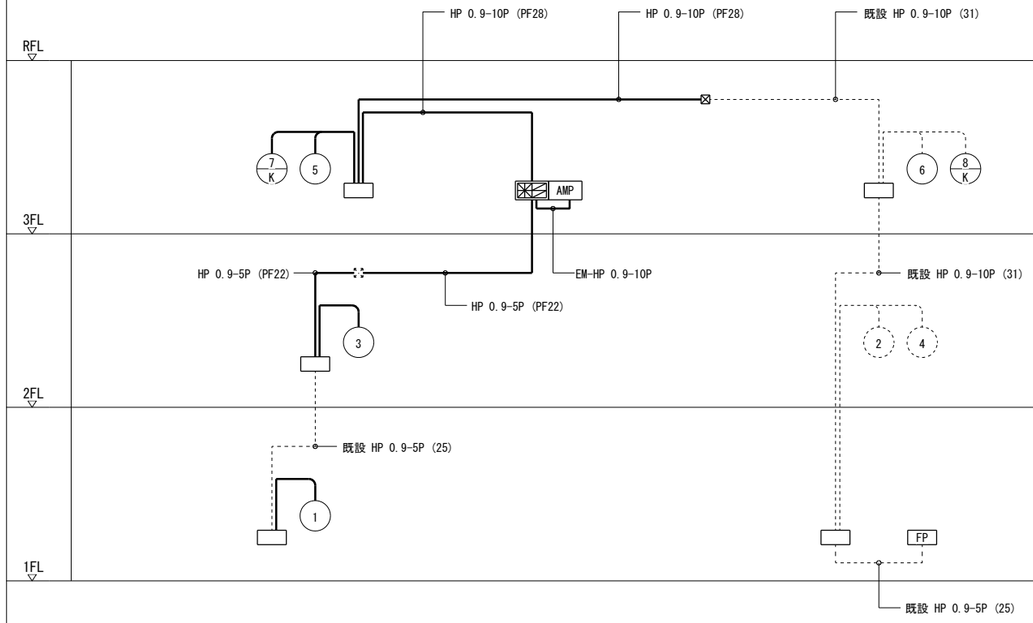
6.　各設備共通事項
天井梁露出部分の配線は１種金属線ぴ(Ａ型)に入線する
壁面露出部分の配線はねじなし電線管又は１種金属線ぴに入線する

改修前　凡例

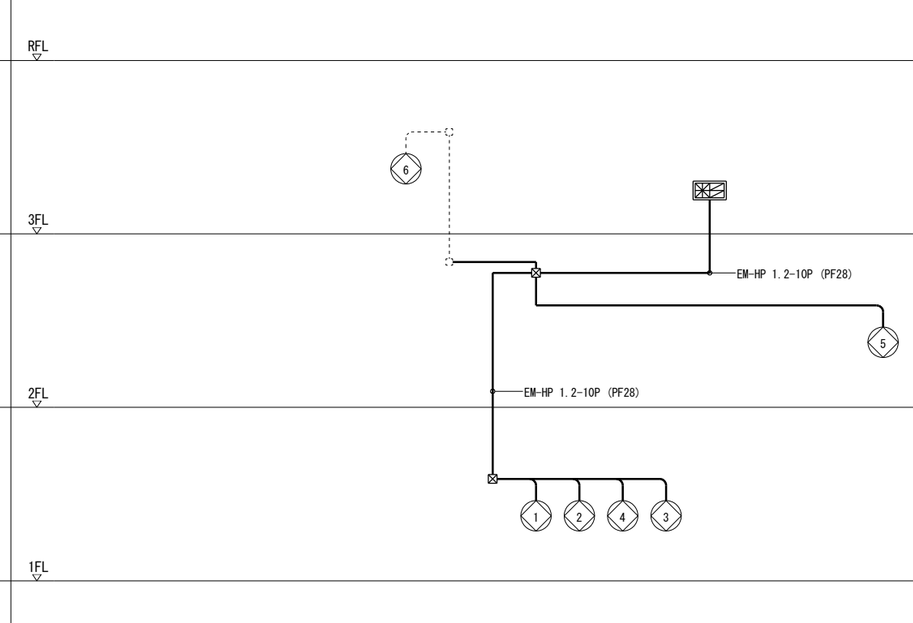
1.　図中特記なき配管配線は 下記とする

自火報	IV 1.2 x 2	(19)
	IV 1.2 x 4	(19)
	IV 1.2 x 4	(G16)
防火戸	HIV 1.2 x 3	(19)
	HIV 1.2 x 5	(19)

改修後	自火報　系統図	－	※　破線表示は既設を示す



改修後	防火戸･防火ｼｬｯﾀｰ　系統図	－	※　破線表示は既設を示す

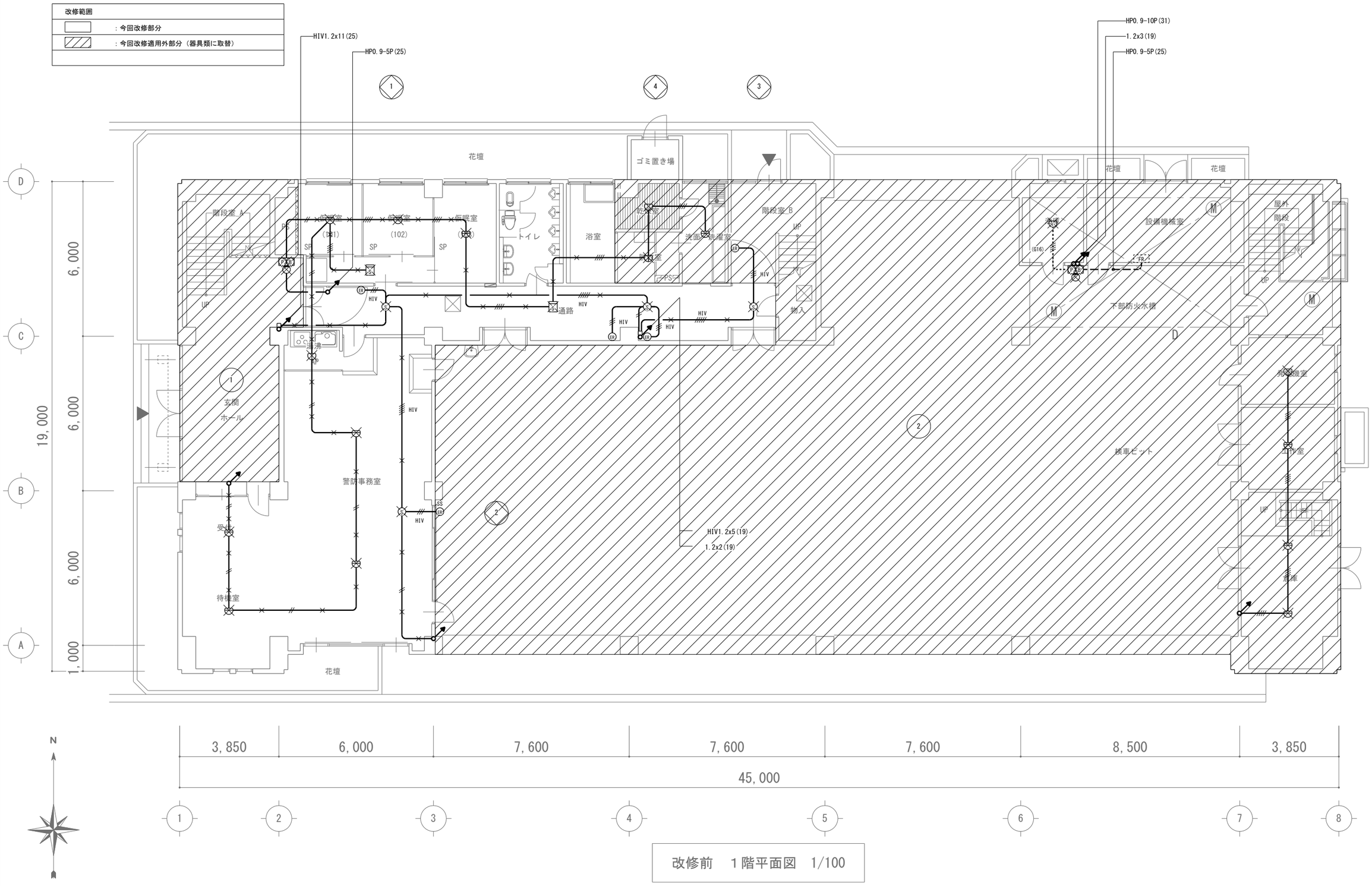


株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	設計図
図面名称	（改修後）火報設備 系統図	縮尺　N.S
		製図　令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松 浦 孔 明	No. E-053

改修範囲	
	：今回改修部分
	：今回改修適用外部分（器具類に取替）



改修前　１階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	縮尺 A2 1：100 A3 1：141	
	自動火災報知設備 1階平面図（改修前）	製図 令和08年03月	
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. E-054

改修範囲
：今回改修部分
：今回改修適用外部分
既設器具類は取替
増設器具類は配線を含め新設

２階床はつり補修
HP 1.2-10P (PF28)
既設 HP 0.9-5P (25)
既設 HP 0.9-10P (31)
既設 1.2x3 (19)
既設 HP 0.9-5P (25)
既設 1.2x2(19)

1
4
3
2

花壇
ゴミ置き場
水取出口
花壇
花壇
階段室 A
階段室 B
書庫
脱衣室
通路
物入
クラブスポーツ
湯沸
玄関ホール
更衣室
相談室H
予防課
車庫
設備機械室
ホースラック
不部防火水槽
屋外階段
防火衣洗濯乾燥機室
車庫
花壇
UP
DN
PS
EPS
特
HIV
H10P
H5P
H
(G16)
FR
M

19,000
6,000
4,180
910
6,000
910
6,000
1,000

3,850 | 6,000 | 7,600 | 7,600 | 7,600 | 8,500 | 3,850
45,000

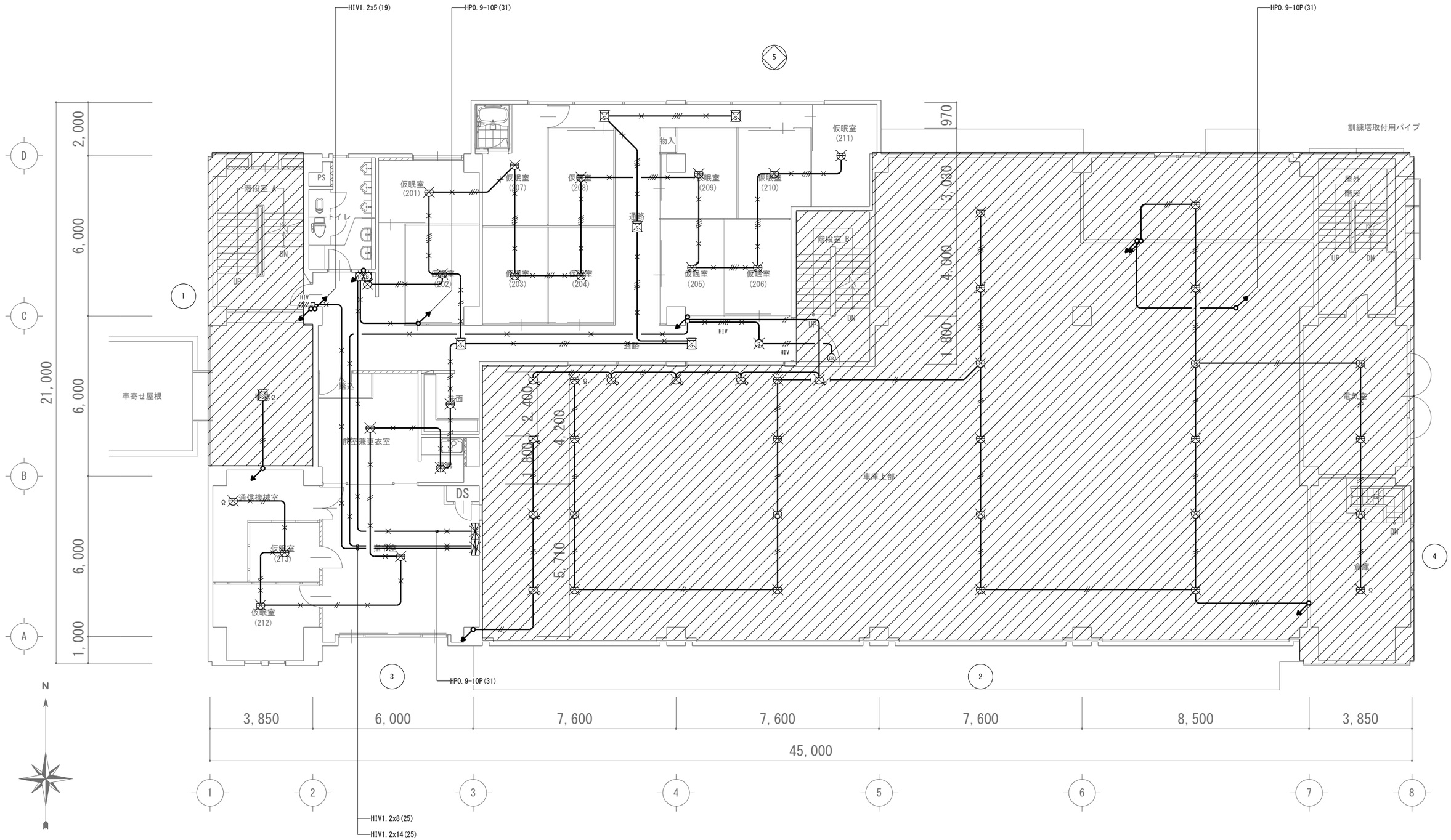
N

1 2 3 4 5 6 7 8

改修後　１階平面図　1/100

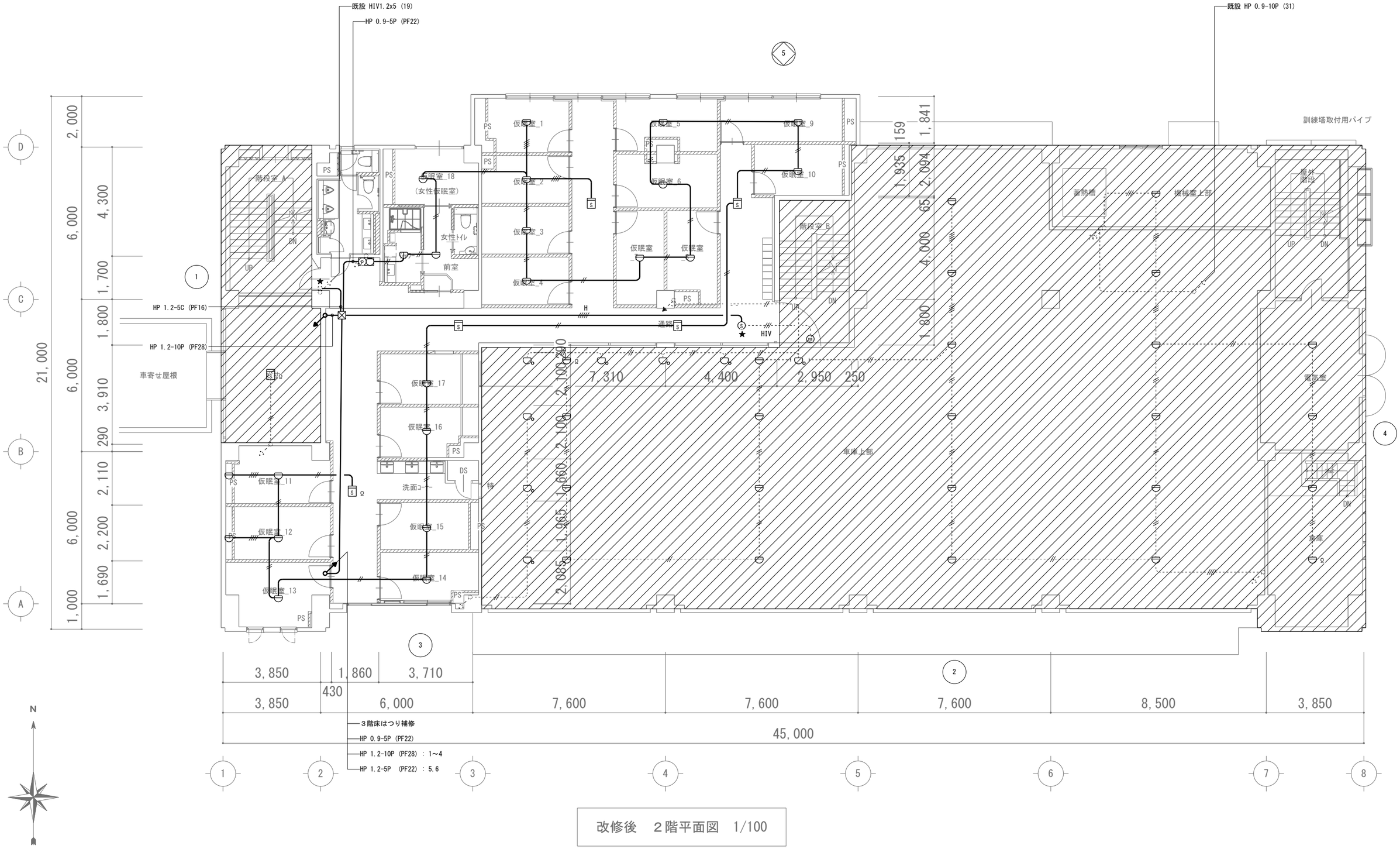
株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	自動火災報知設備 1階平面図（改修後）	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
TEL (0561) 32-0318			製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. E-055

改修範囲
：今回改修部分
：今回改修適用外部分（器具類に取替）



改修前　２階平面図　1/100

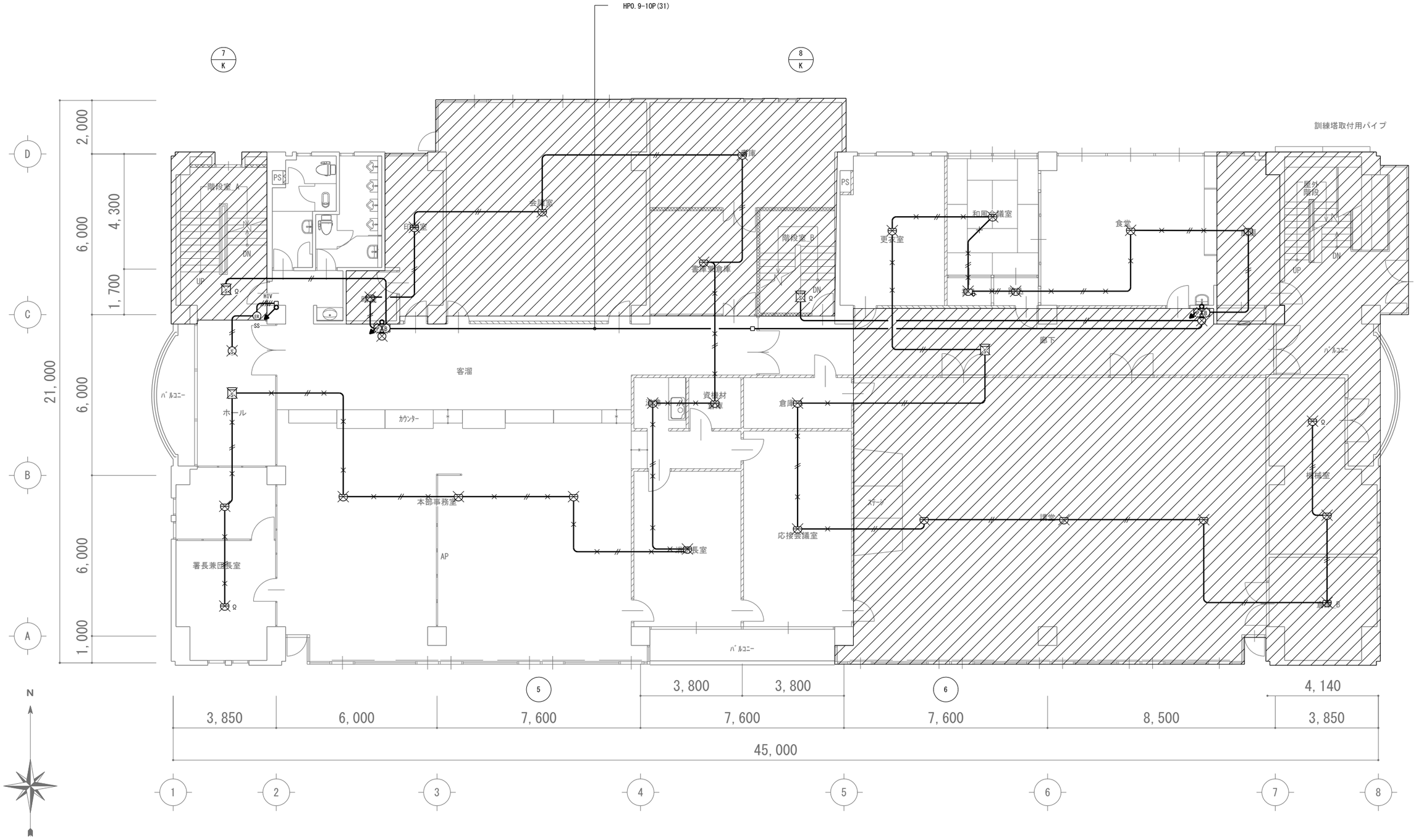
株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	自動火災報知設備 2階平面図（改修前）
	縮尺	A2 1：100 / A3 1：141
	製図	令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
	No.	E-056



改修後　２階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	自動火災報知設備 2階平面図(改修後)	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
TEL (0561) 32-0318			製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. E-057

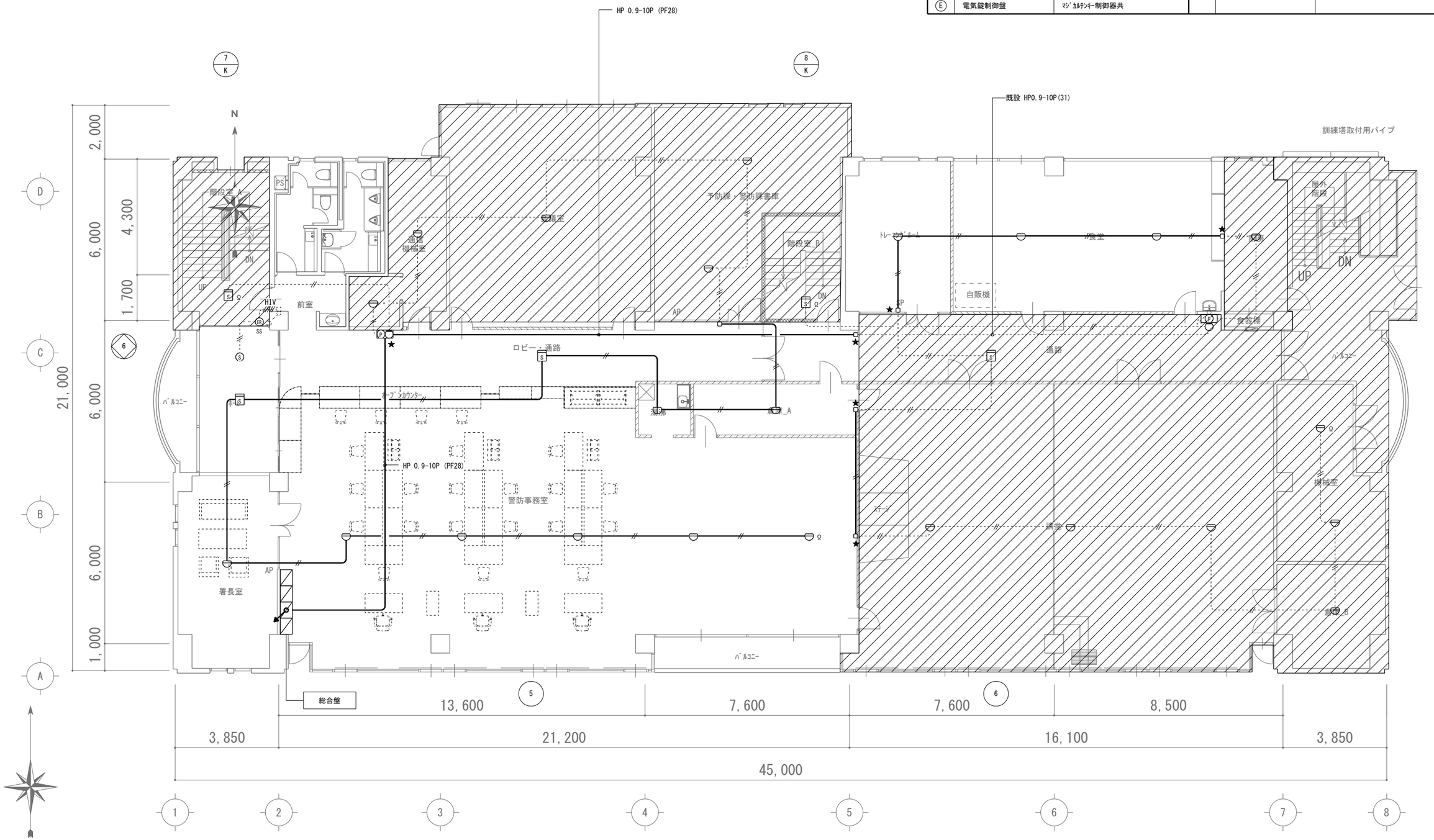
改修範囲
：今回改修部分
：今回改修適用外部分（器具類に取替）



改修前　３階平面図　1/100

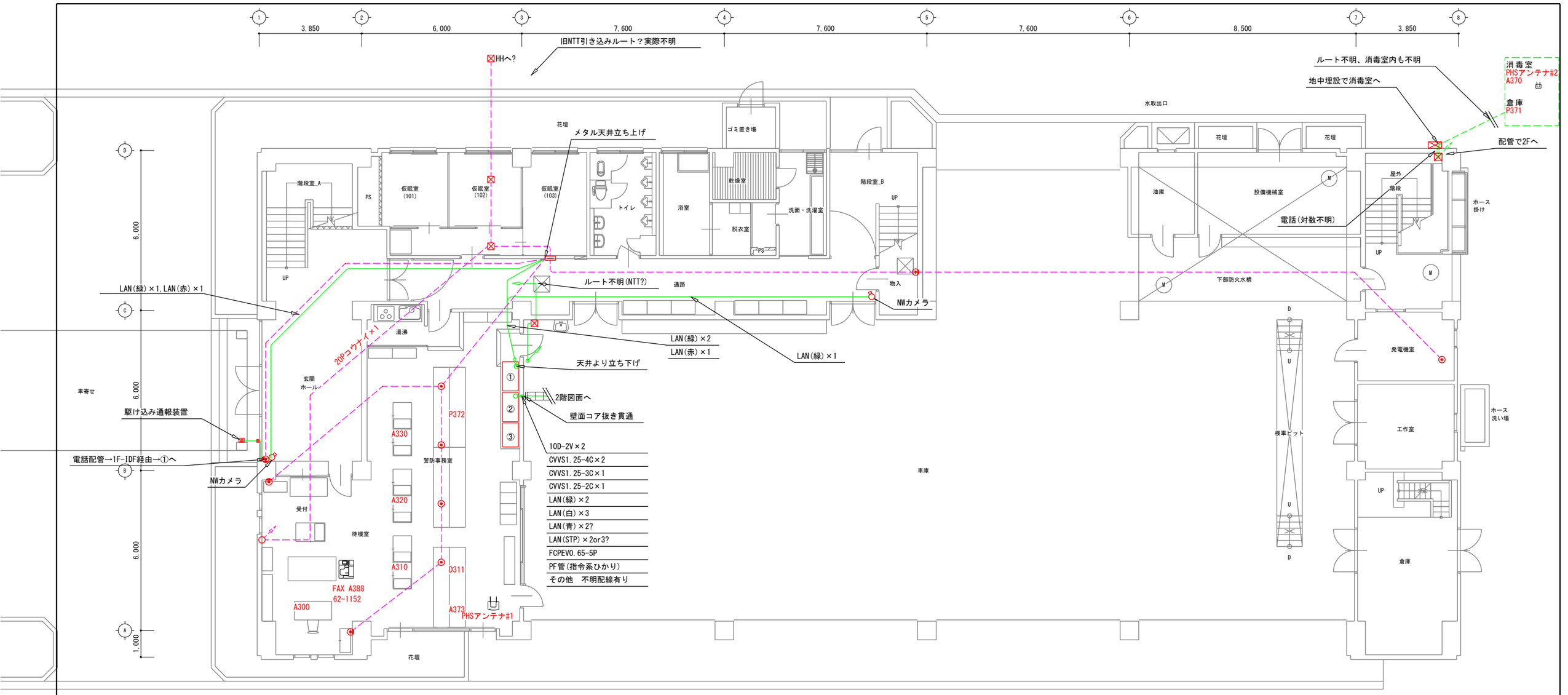
株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	自動火災報知設備 3階平面図（改修前）
	縮尺	A2 1：100 / A3 1：141
	製図	令和08年03月
TEL (0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
	No.	E-058

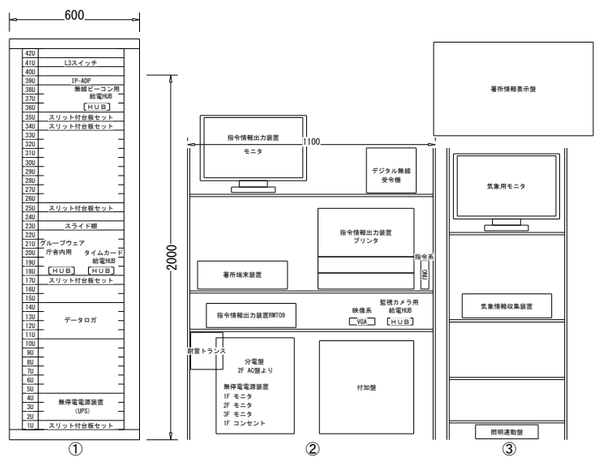
総合盤内機器					
Ⓐ	防災アンプ		Ⓕ	分電盤	
Ⓑ	防災複合受信機	40回線(火報・自閉・警報)	Ⓖ	テレビ共聴機器	
Ⓒ	親時計	1回線	Ⓗ	端子盤	電話・情報
Ⓓ	防犯カメラ主装置				
Ⓔ	電気錠制御盤	ﾏｼﾞｶﾙﾃﾝｷｰ制御器共			



改修後　３階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	自動火災報知設備 3階平面図(改修後)	縮尺 A2 1:100 A3 1:141
TEL (0561) 32-0318			製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. E-059



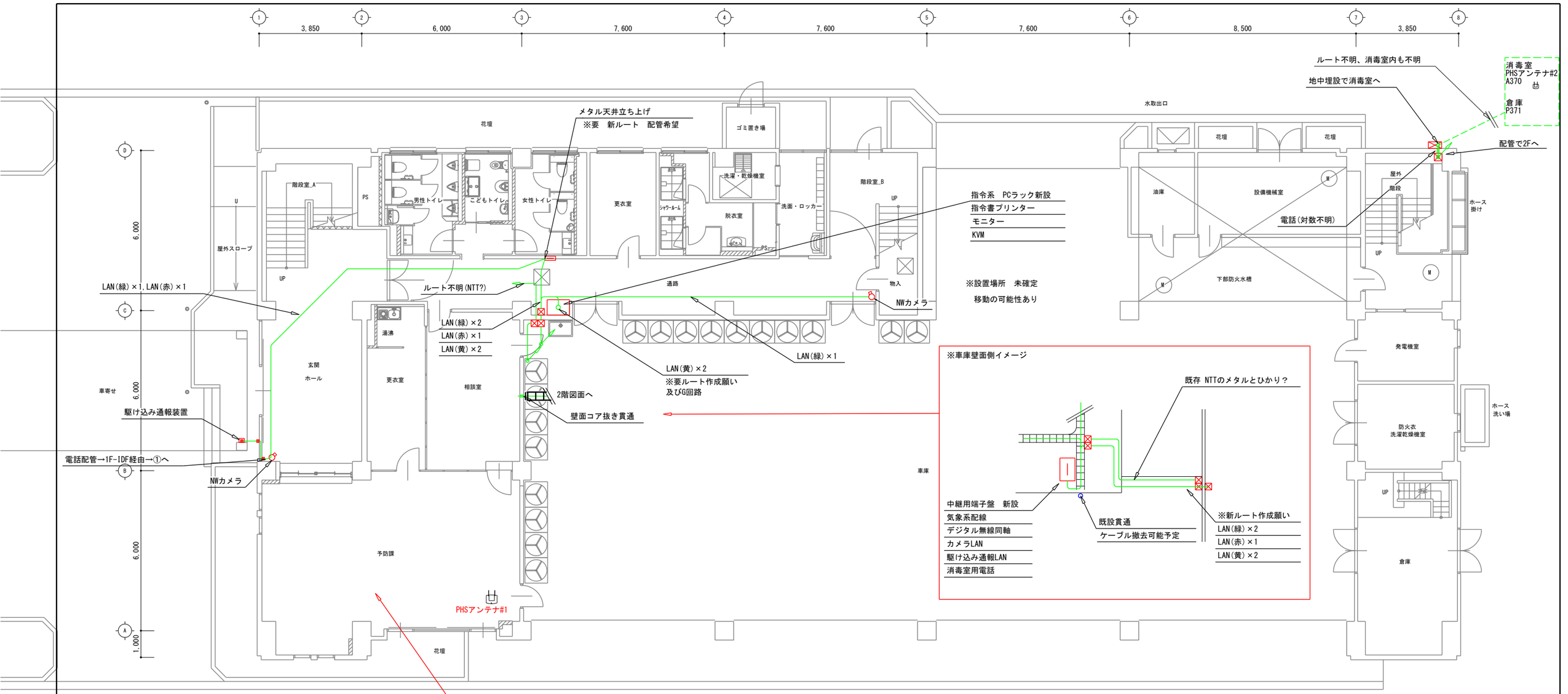


通信設備　1/20

改修前　１階平面図　1/100

N

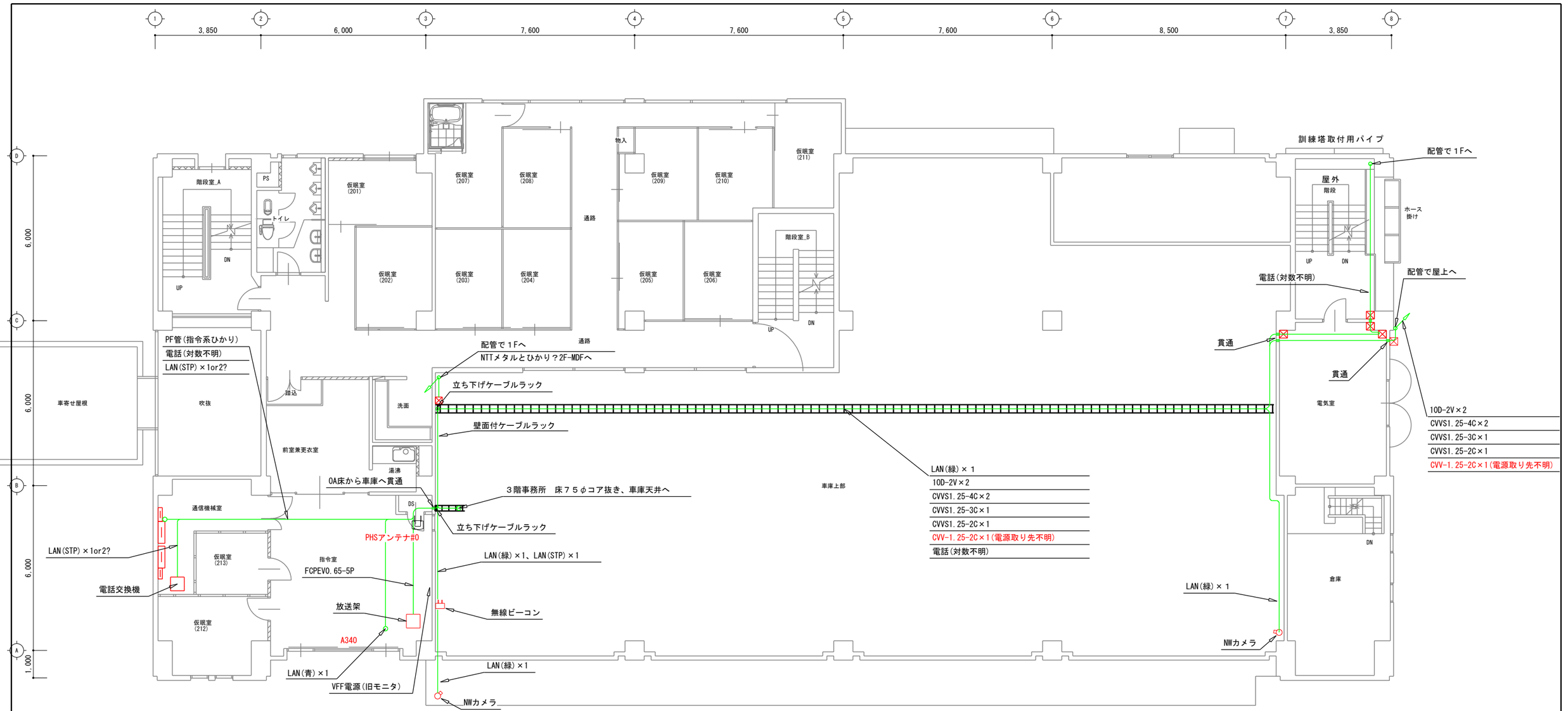
株式会社	松浦建築事務所
TEL	(0561) 32-0318
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（通信設備工事） 改修前　１階　平面図
縮尺	A2　1：100 A3　1：141
製図	令和08年03月
1級建築士	登録第92794号　松浦孔明
No.	E-060



※要 配管
新MDF→1F 事務室OA床×２　２２φ　事務所TEL用
新MDF→１F事務室 天井裏まで
　　PHSアンテナ用　点検口近場
3F 19インチラック①～1F 事務所OA床　配管又は配線ルート
　　車庫のラックまでは、ルート有り
　　庁舎用LANと支援LAN

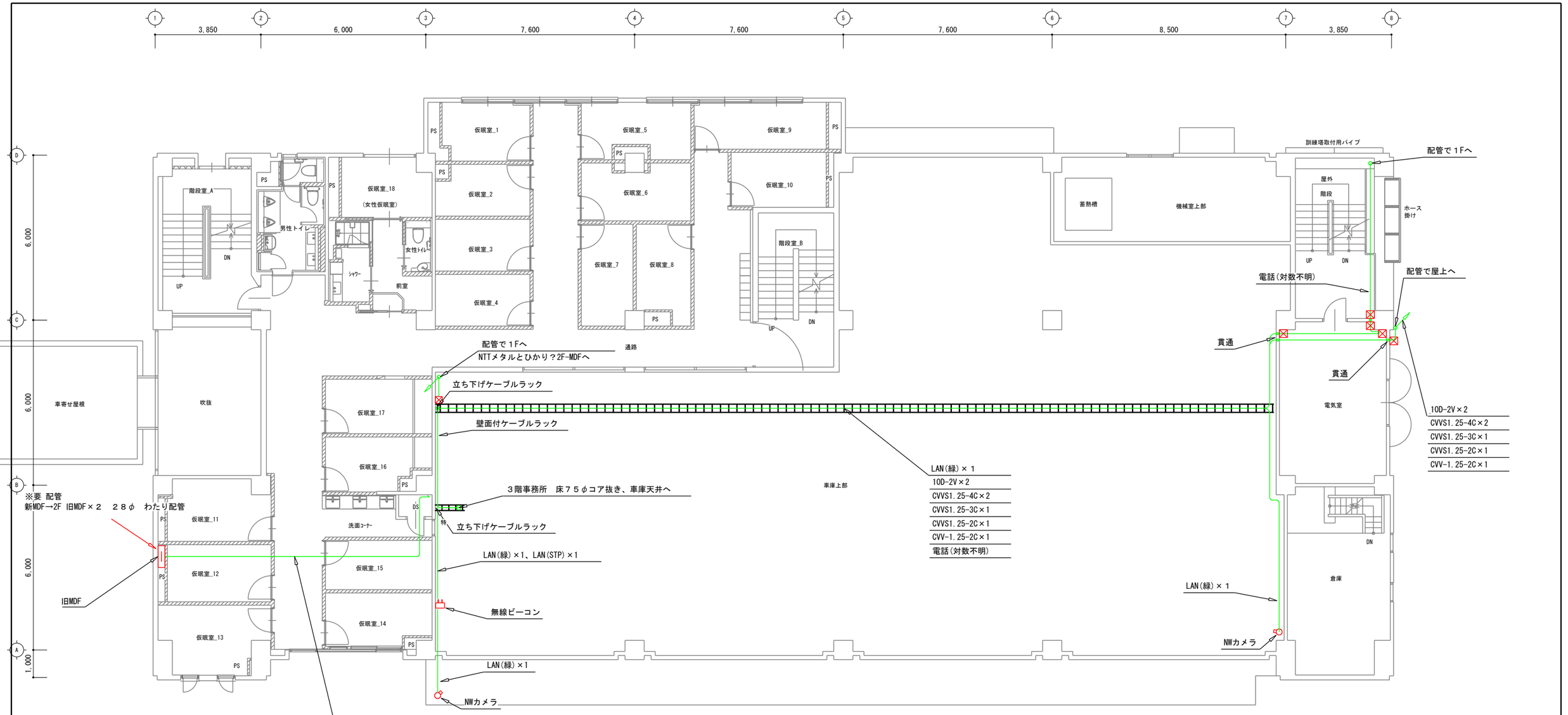
改修後　１階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所 TEL (0561) 32-0318	工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称 （通信設備工事） 改修後　１階　平面図	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
		製図 令和08年03月
	１級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No. E-061



改修前　２階平面図　1/100

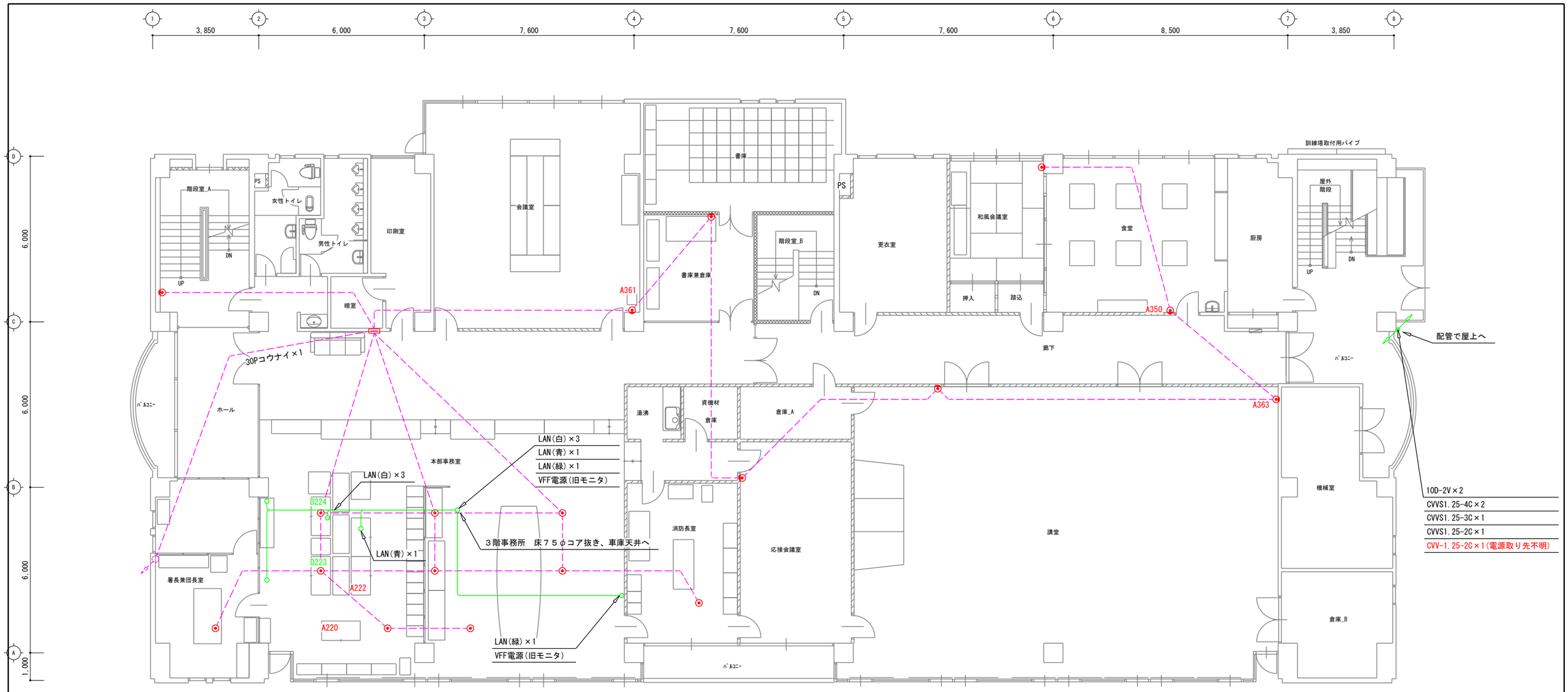
株式会社 松浦建築事務所 ＴＥＬ　(0561)　32-0318	工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称　（通信設備工事） 改修前　２階　平面図	縮尺　A2　1：100 A3　1：141
		製図　令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号　松浦孔明	No. E-062



改修後　２階平面図　1/100

N

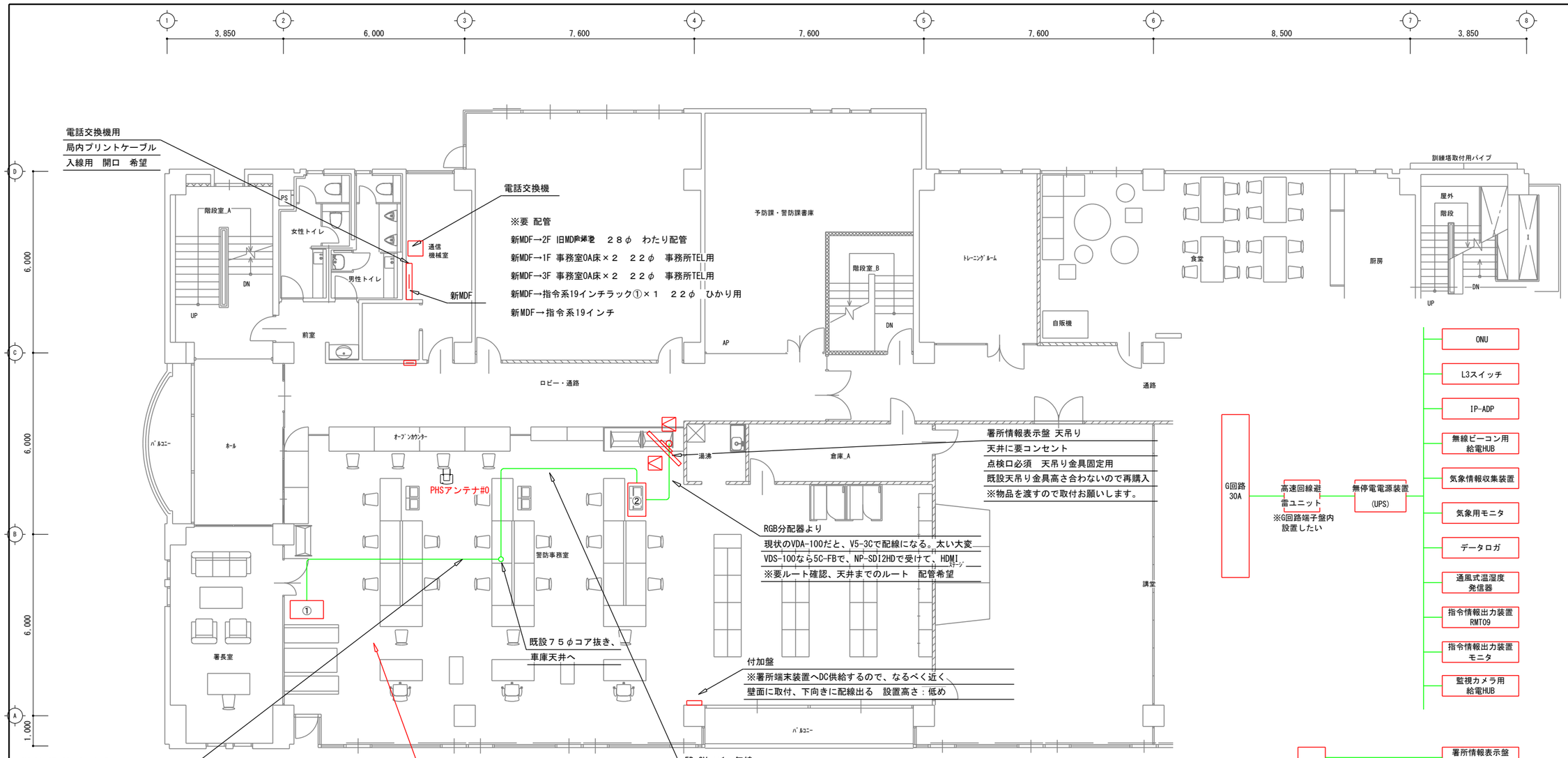
株式会社 松浦建築事務所 TEL (0561) 32-0318	工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称 (通信設備工事) 改修後　２階　平面図	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. E-063

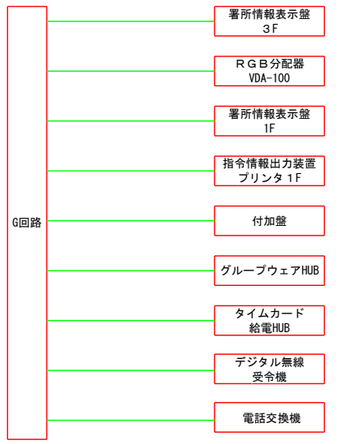


改修前　３階平面図　1/200

N

株式会社　松浦建築事務所 ＴＥＬ　(0561)　32-0318	工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称　（通信設備工事） 改修前　３階　平面図	縮尺　A2　1：100 A3　1：141
		製図　令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号　松浦孔明	No. E-064





CVVS1.25-4C×2　気象
CVVS1.25-3C×1　気象
CVVS1.25-2C×1　気象
CVV-1.25-2C×1　気象
※１要ルート　配管？
LAN(白)×1?　1F用予防課 支援
LAN(青)×1?　1F予防課 庁舎
LAN(赤)×1　駆け込み通報TEL
LAN(STP)×1　無線ビーコ

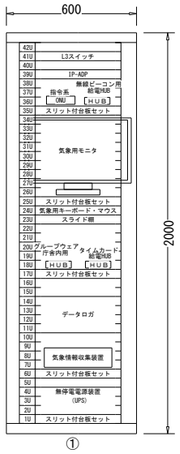
※要 配管
新MDF→3F 事務室OA床×２　２２φ　事務所TEL用
新MDF→3F事務室 天井裏まで
PHSアンテナ用　点検口近場
3F 19インチラック①～1F 事務所OA床　配管又は配線ルート

5D-2V ×1　無線
LAN(緑)×４ カメラ
LAN(黄)×２　1F-PR、1F-KVM　※要ルート
FCPEV0.65-5P　指令放送→AMP（場所不明）　※要ルート　配管希望

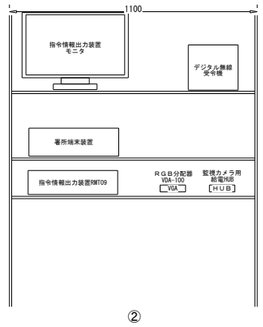
改修後　３階平面図　1/100



通信設備　1/20

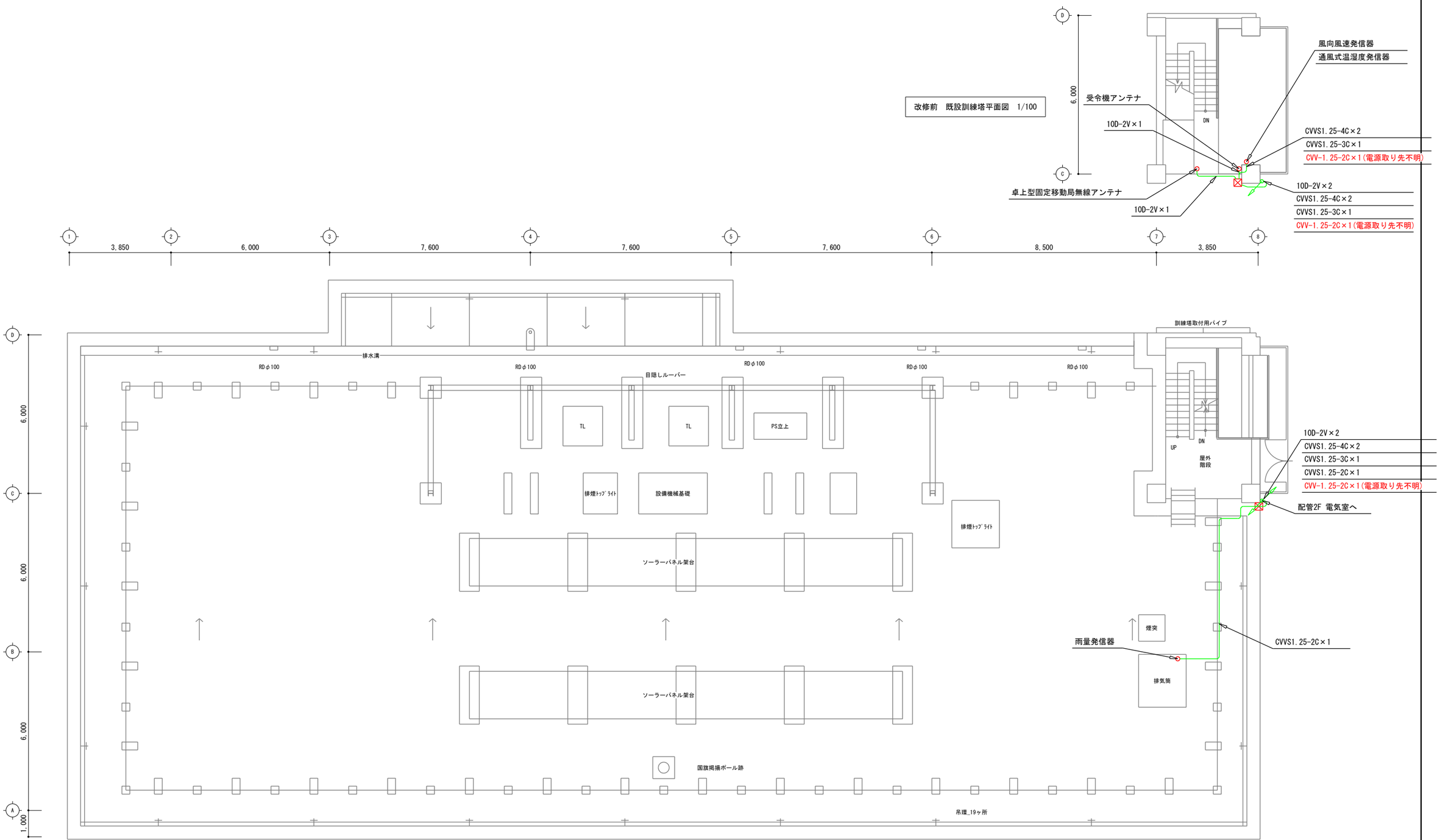


①



②

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	（通信設備工事） 改修前　３階　平面図
	縮尺	A2　1：100 A3　1：141
	製図	令和08年03月
TEL　(0561)　32-0318	1級建築士 登録第92794号　松浦孔明	No. E-065

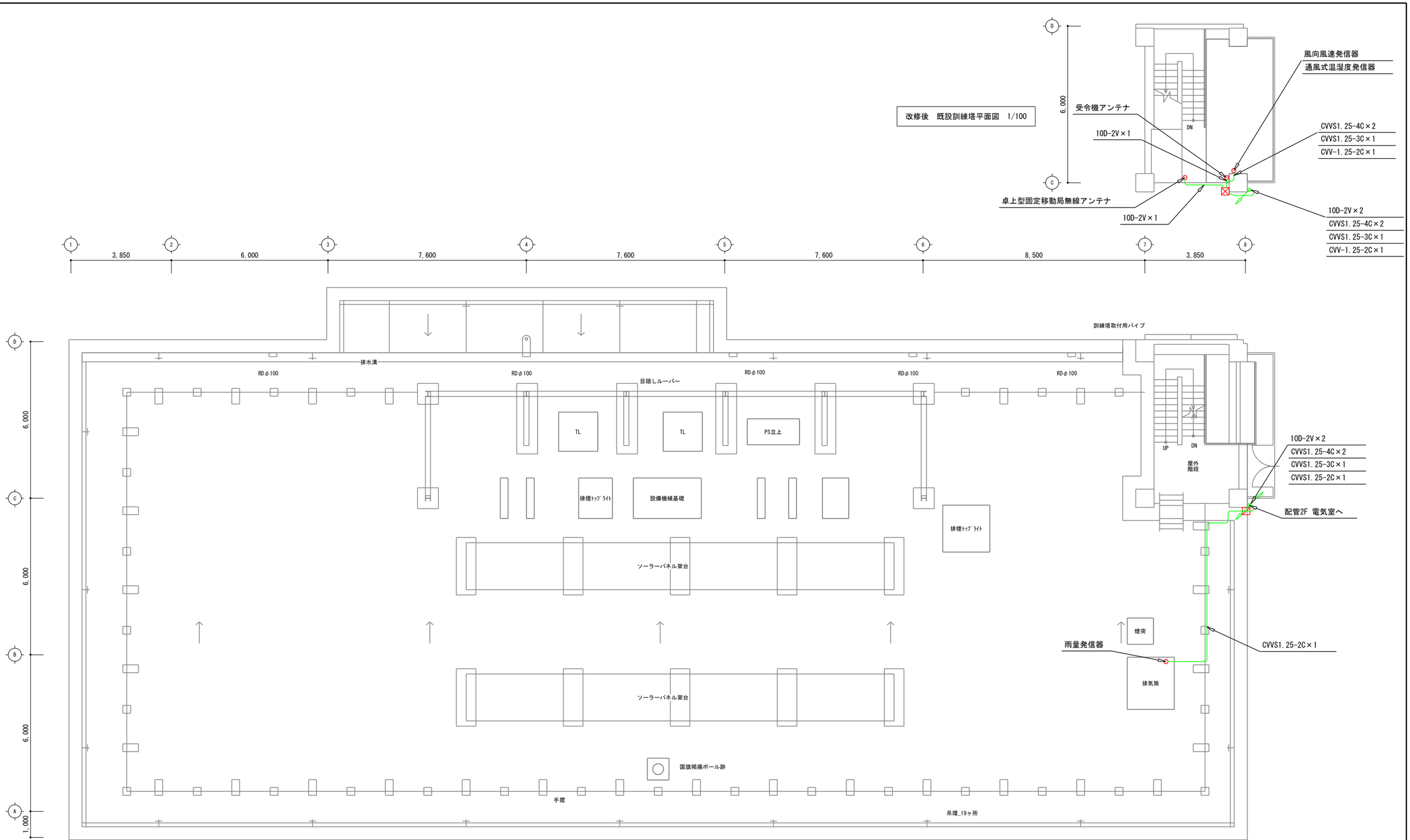


改修前　既設訓練塔平面図　1/100

改修前　屋上平面図　1/100



株式会社 松浦建築事務所 TEL (0561) 32-0318	工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称 (通信設備工事) 改修前 屋上 平面図	縮尺 A2 1:200 A3 1:282
		製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No. E-066



改修後　既設訓練塔平面図　1/100

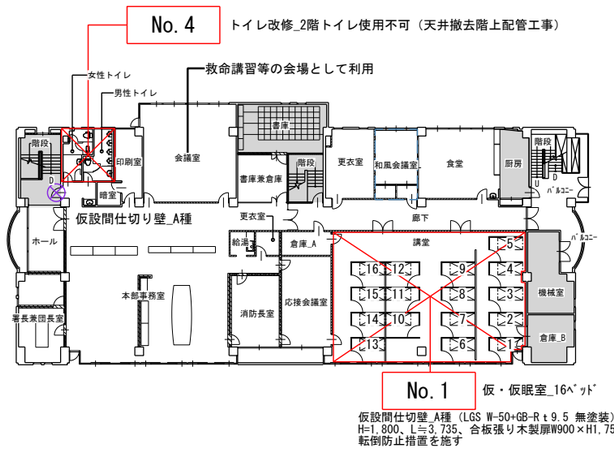
改修後　屋上平面図　1/100

N

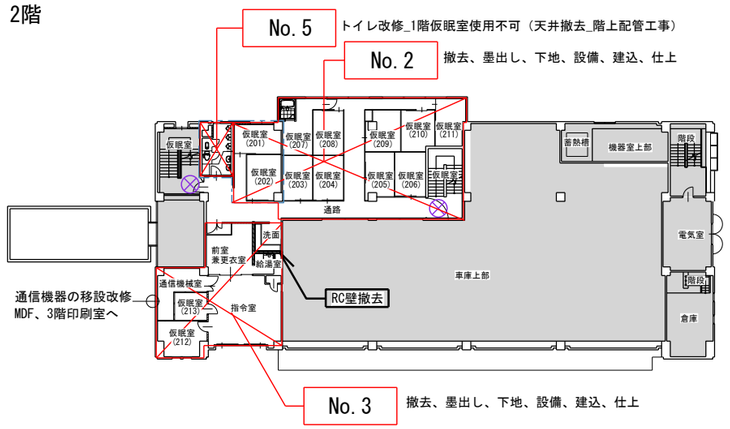
株式会社 松浦建築事務所 TEL (0561) 32-0318	工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称 (通信設備工事) 改修後　屋上　平面図	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. E-067

第１期改修_工程計画（２階:仮眠室、指令室、トイレ ＋ 3階トイレ）

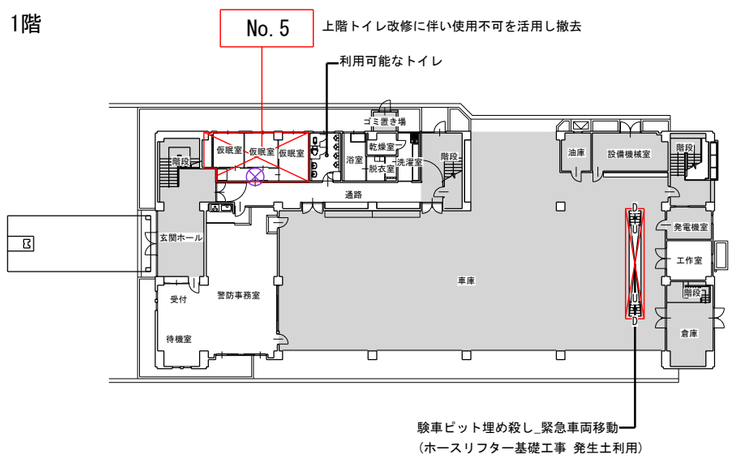
3階



2階

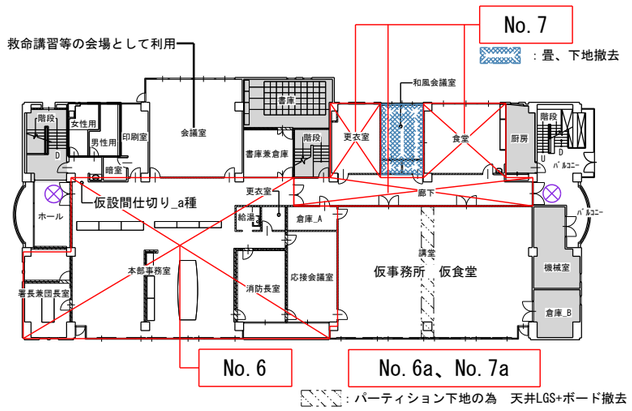


1階

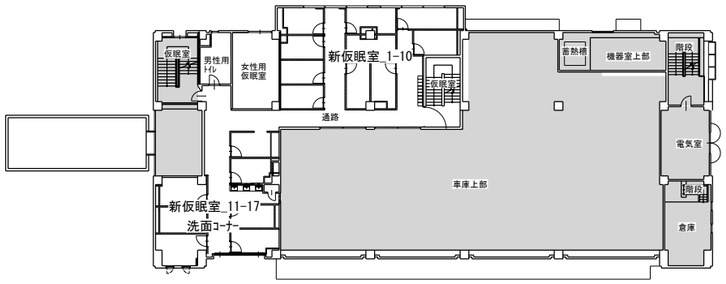


第２期改修_工程計画（３階:警防事務室、更衣室、食堂、大会議室）

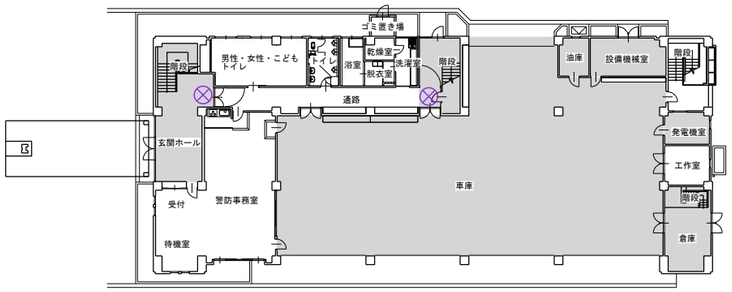
3階



2階

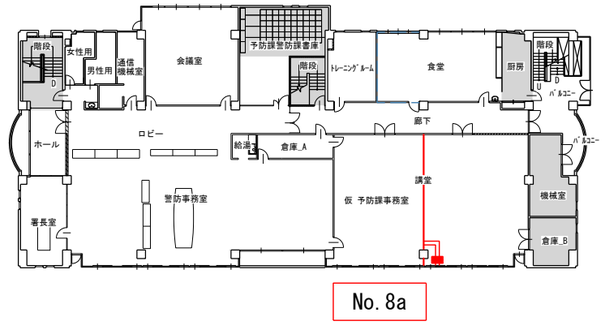


1階

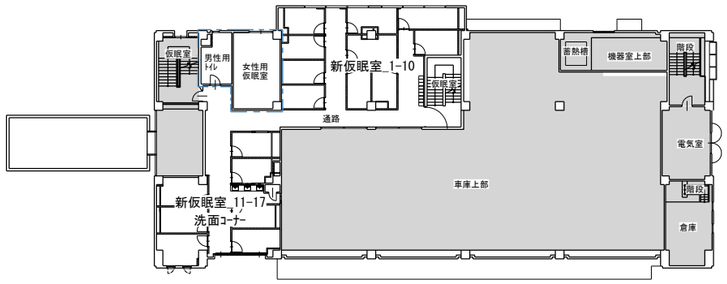


第３期改修_工程計画（１階_警防事務室）

3階

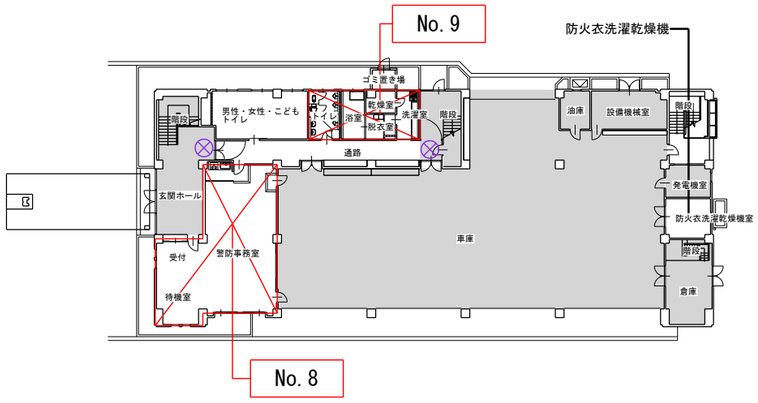


2階



1階

風呂、シャワー、洗面洗濯が利用出来ない期間



：工事外エリア
：工事エリア
：立ち入り禁止（フェンス、A型バリケード）
：LGS、スチールパーティション等撤去

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	ステップ図
縮尺	A2　1：2,500 A3　1：3,525
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松 浦 孔 明
No.	K-001

想定工程表

（建具、パーティション製作）

想定月	令和8年 9月	10月	11月	12月	令和9年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和10年 1月	2月
工事工程月数	契約前	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月	13ヶ月	14ヶ月	15ヶ月	16ヶ月	17ヶ月

外部足場
- 搬入搬出口確保
- 仮設事務所・トイレ設置

外壁・防水
- 壁繋ぎ部ｱｽﾍﾞｽﾄ先行除去
- ｱｽﾍﾞｽﾄ除去、外壁改修、防水改修、外構（スロープ、ホースリフター）

第１期
- 工事の準備(工程表・施工図作成、仮設等) 1か月
- 1か月 No.1 仮・仮眠室_設置
- 4か月 No.2 + No.3 2F 仮眠室_工事
- 3階トイレ改修 No.4 + No.5 2F トイレ使用不可、1F トイレのみ使用可
- 1か月(引越し期間)
- 利用開始

第２期
- 工事の準備(家具の撤去移設等) 1か月
- 3.5か月 No.6 & No.6a 3F 本部事務室、講堂_工事
- 0.5か月(引越し期間)
- 利用開始
- 2.5か月 No.7 & No.7a 3F 食堂、更衣室_工事
- 1か月(引越し期間) No.8a 3F 講堂_仮・予防課事務室利用

第３期
- 工事の準備(家具の撤去移設等) 1か月
- 1.5か月 No.8 1F 警防事務室_工事
- 利用開始
- 1.5か月 No.9 1F トイレ・浴室_工事
- 1か月 検査・書類作成等

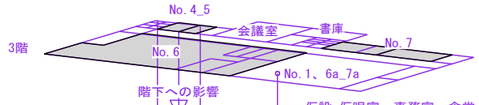
△契約　△現場乗り込み　△部分使用検査　△部分使用検査　△部分使用検査　△概成工期　△完了

備考	※仮設仮眠室等の仮設準備期間、庁内における引越し期間含む　※特記なき仮設間仕切り壁はc種とする。 ※工程No.全てに於いて、家具・備品の撤去有り(製作物の期間含む)

外壁改修

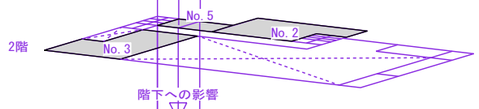


第2期

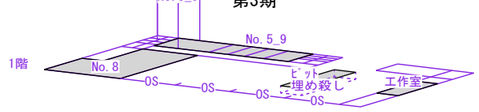


外部足場

第1期

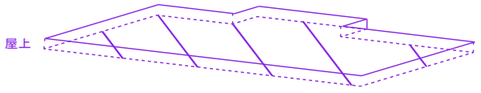


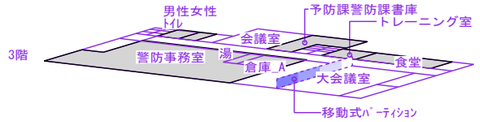
第3期

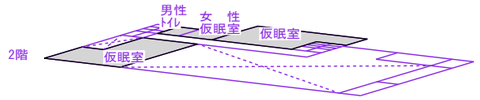


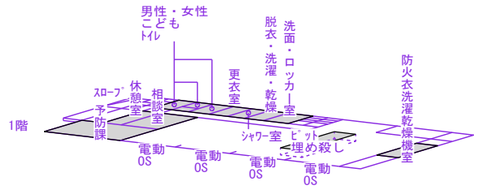
第1_3期 外部廻り改修工事

外部足場



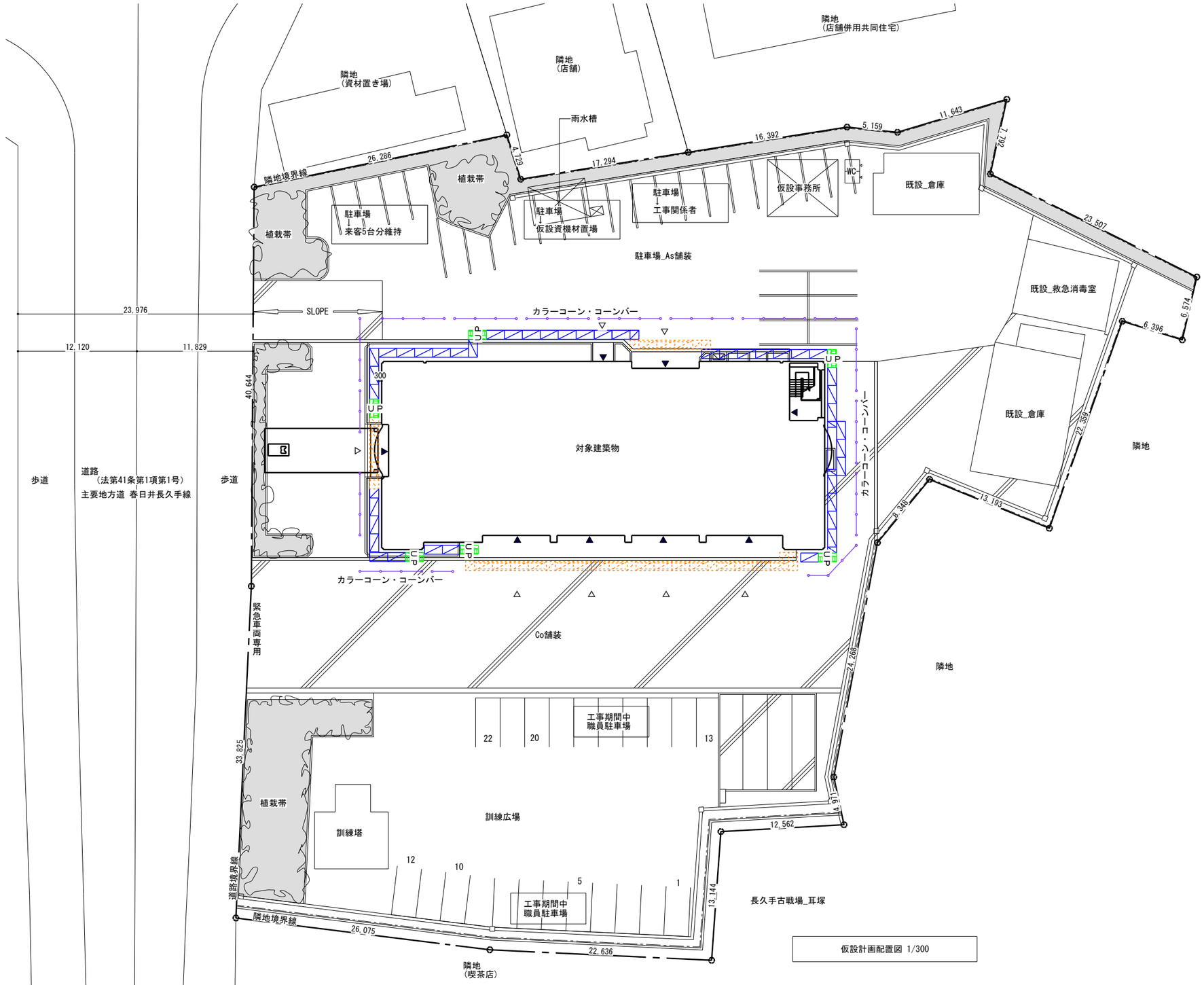






：改修範囲を示す

株式会社 松浦建築事務所 TEL (0561) 32-0318	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	想定工程表
	縮尺	A2 1：2,500 A3 1：3,525
	製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No.	K-002



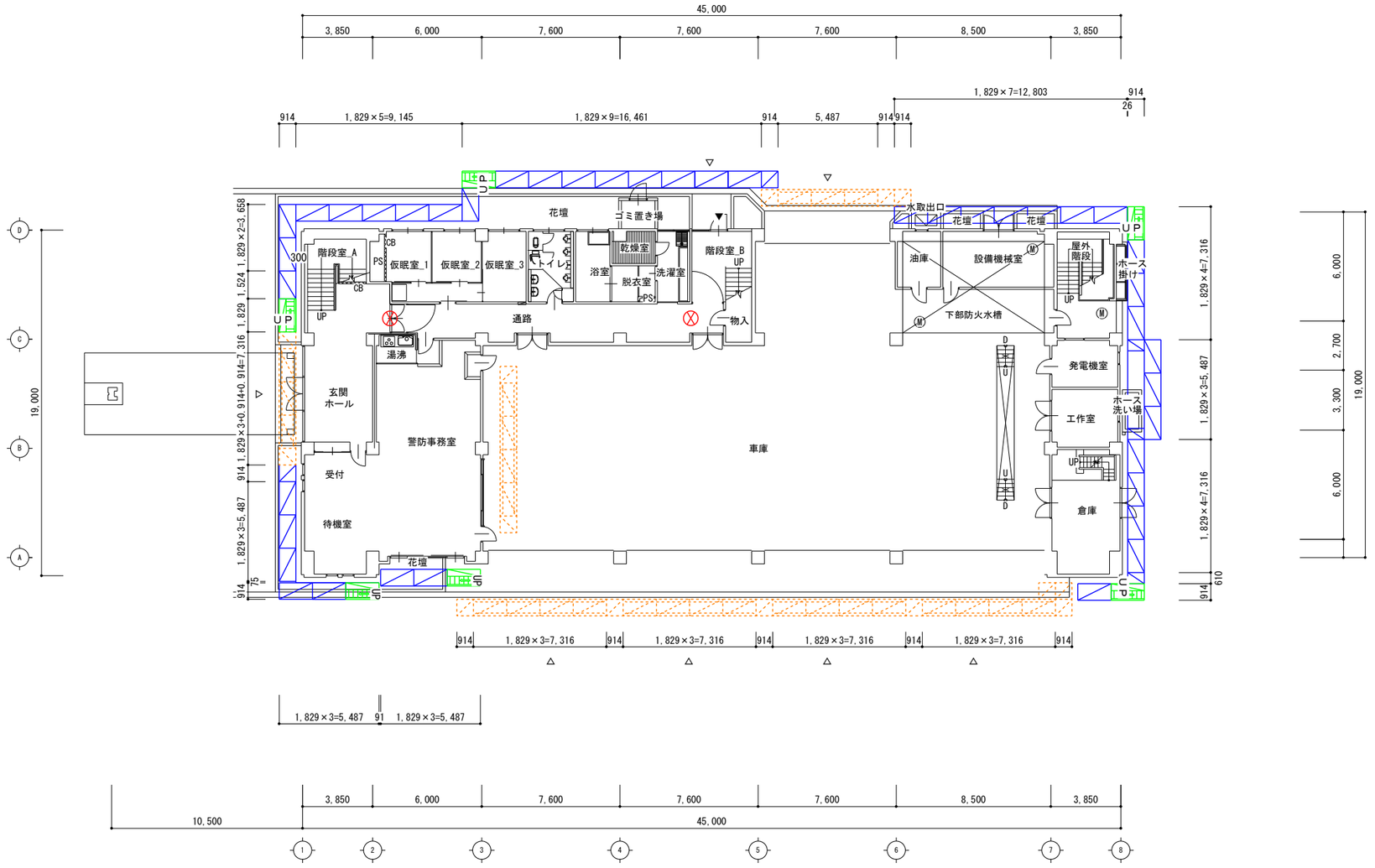
仮設計画配置図 1/300

枠組足場（インチサイズ） H-1,700	資機材搬入搬出	立入禁止（フェンス、A型バリケード）
梁枠○スパン	出入口	カラーコーン・コーンバー
枠組階段	植栽帯	
ﾛｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰ	メッシュシート	

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	仮設計画配置図（参考）	縮尺 A2 1：300 / A3 1：423
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. K-003



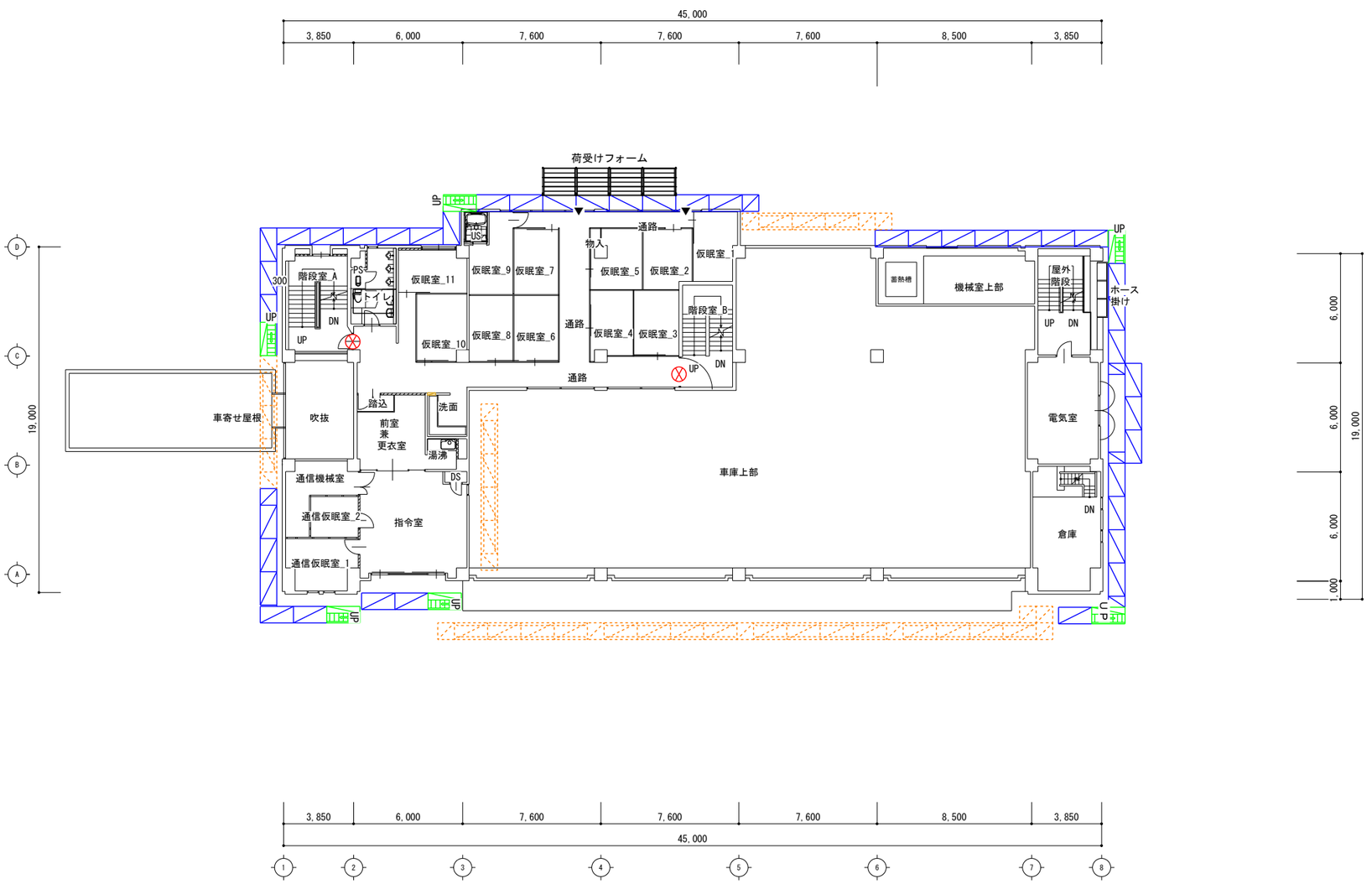
仮設計画1階平面図 1/200

枠組足場（インチサイズ） H-1,700	▼ 資機材搬入搬出	ⓧ 立入禁止（フェンス、A型バリケード）	
梁枠○スパン	▽ 出入口		
枠組階段			
ﾛｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰ			

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事		
図面名称	仮設計画1階平面図（参考）	縮尺	A2 1：200 A3 1：282
		製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No.	K-004



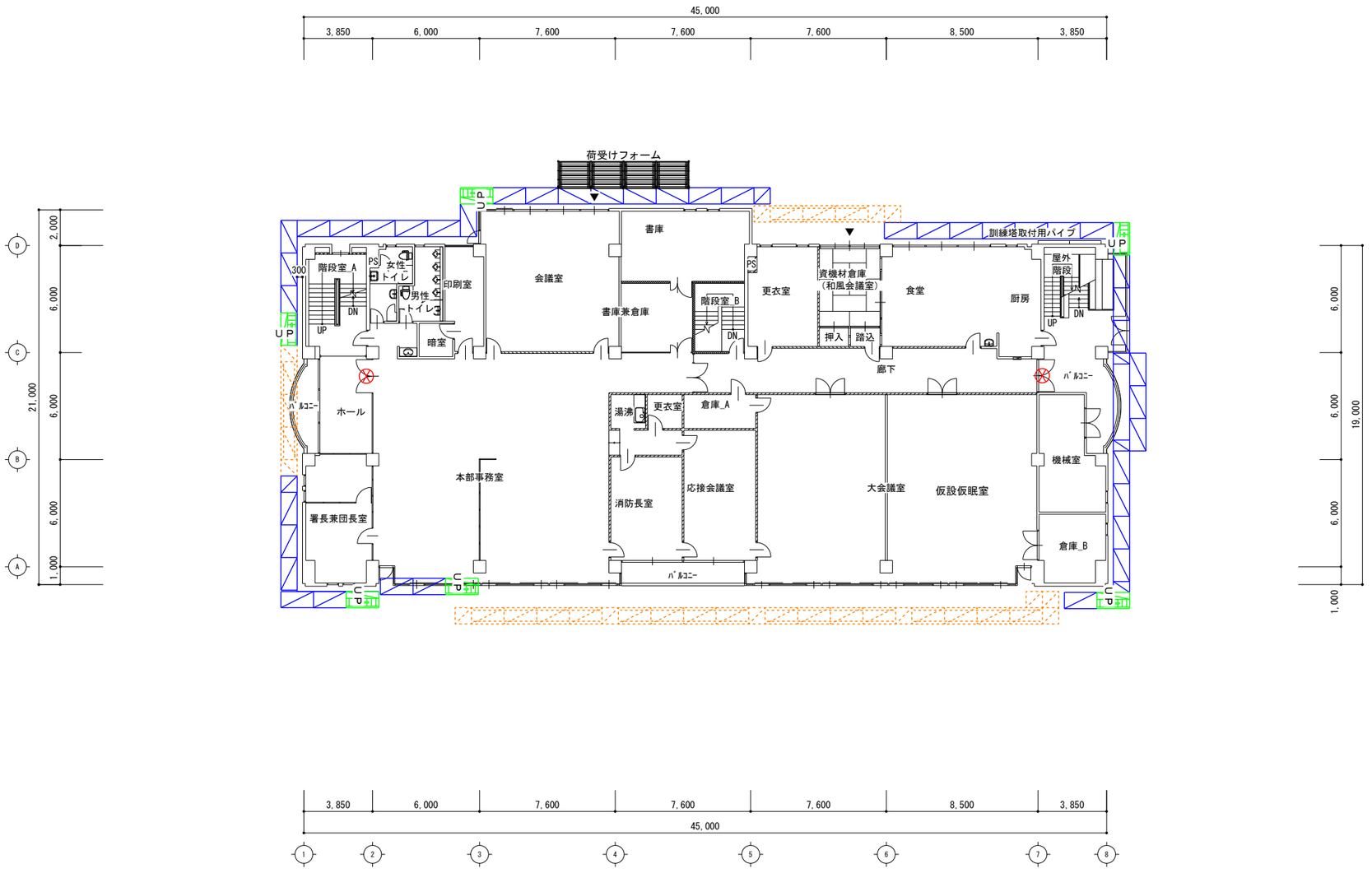
仮設計画2階平面図 1/200

枠組足場（インチサイズ） H-1,700	▼ 資機材搬入搬出	ⓧ 立入禁止（フェンス、A型バリケード）	
梁枠○スパン	▽ 出入口		
枠組階段			
ﾛｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰ			

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	仮設計画2階平面図（参考）	縮尺 A2 1：200 A3 1：282
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. K-005



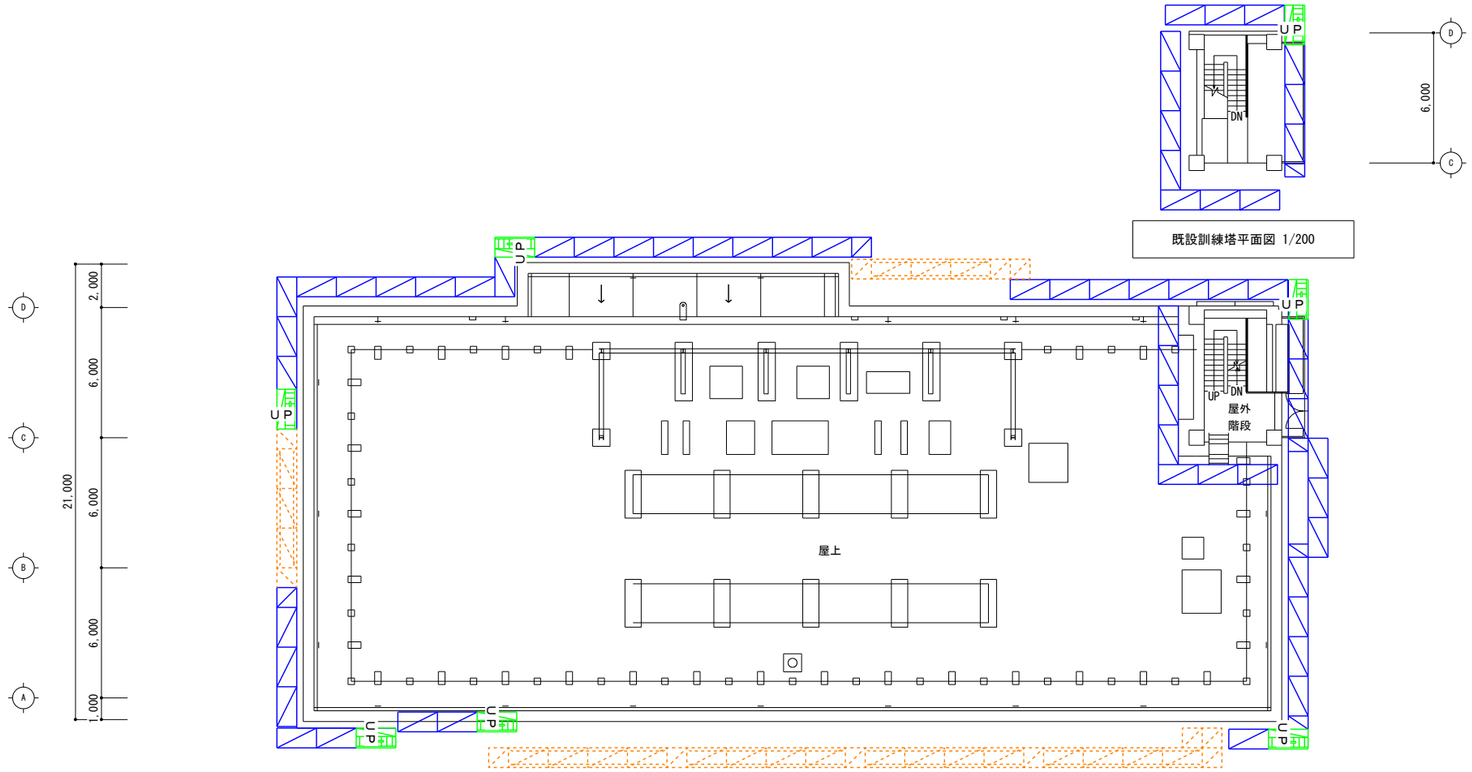
仮設計画3階平面図 1/200

枠組足場（インチサイズ） H-1,700	▼ 資機材搬入搬出	Ⓧ 立入禁止（フェンス、A型バリケード）	
梁枠○スパン	▽ 出入口		
枠組階段			
ﾛｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰ			

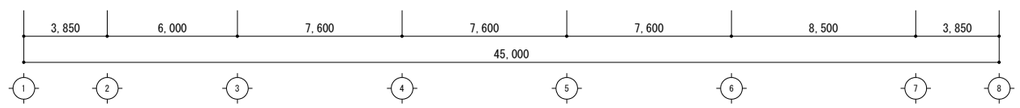
株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	仮設計画3階平面図（参考）
縮尺	A2 1：200 A3 1：282
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	K-006



既設訓練塔平面図 1/200

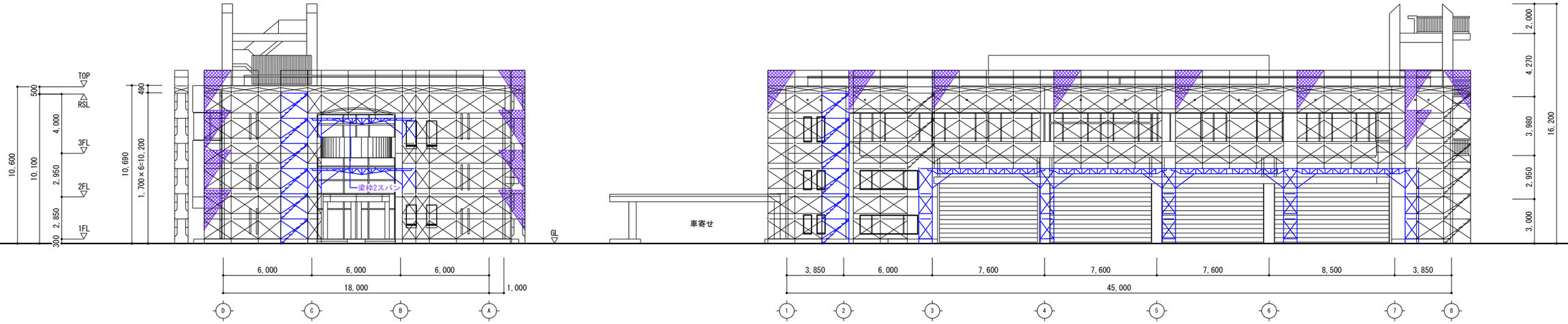


仮設計画屋上平面図 1/200

	枠組足場（インチサイズ） H-1,700
	梁枠○スパン
	枠組階段
RT	ﾛｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰ

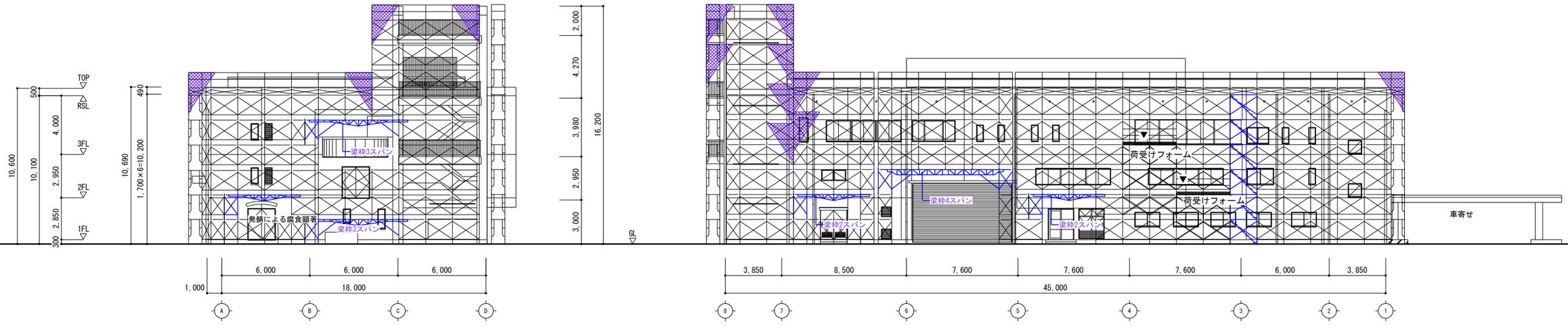
株式会社 松浦建築事務所
ＴＥＬ (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	仮設計画屋上平面図（参考）
縮尺	A2 1：200 A3 1：282
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松 浦 孔 明
No.	K-007



仮設計画西面立面図 1/200

仮設計画南面立面図 1/200



仮設計画東面立面図 1/200

仮設計画北面立面図 1/200

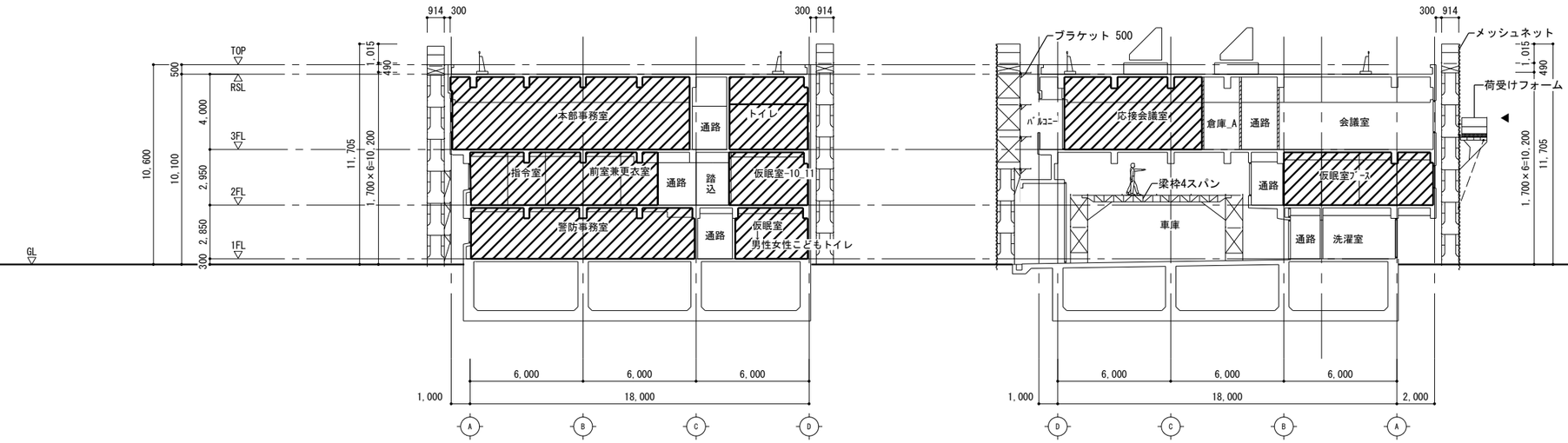
▼ 荷受けファーム

メッシュシート

株式会社 松浦建築事務所

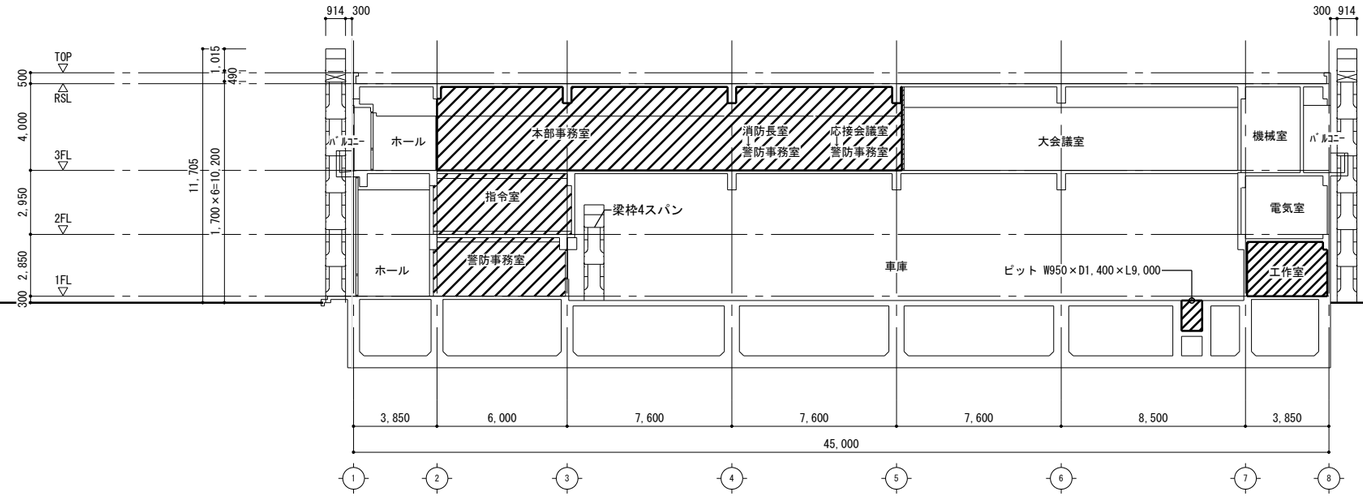
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	仮設計画立面図(参考)
縮尺	A2 1:200 / A3 1:282
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	K-008



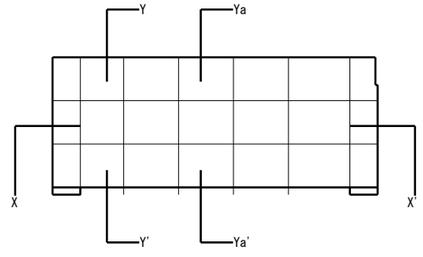
Y-Y' 断面仮設計画図 1/200

Ya-Ya' 仮設計画断面図 1/200



X-X' 仮設計画断面図 1/200

工事対象



Key_PLAN

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	仮設計画断面図(参考)
縮尺	A2 1:200 / A3 1:282
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	K-009

機　械　設　備　工　事　特　記　仕　様　書

２０２４年４月１日改訂

編	節・項目	特記事項	備考
第１編 一般共通事項	第１章 一般事項 第１節 総　則		
	1.1.1 適用範囲	１．この特記事項以外は下記に準拠する。但し、本工事に関係しない事項は適用しない。 １）尾三消防組合　工事請負契約約款 ２）工事請負契約書 ３）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和　7　年版） ４）〃　公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和　7　年版） ５）〃　公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和　7　年版） ６）〃　公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和　7　年版） ７）〃　公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和　7　年版） ８）〃　公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和　7　年版） ９）〃　公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和　7　年版） １０）〃　公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和　7　年版） １１）〃　建築物解体工事共通仕様書（令和　7　年版） １２）関係法令及び諸工事基準 ２．特記事項の適用優先順位　１．◎　（又は○）　２．※ ただし　◎　（又は○）と　※　のある場合は共に適用する。 ３．本工事に使用する資材は、「電気設備工事指定資材」によるものとする。 ４．設計図書に関する疑義は原則として、入札執行前に質問書の提出によって確かめるものとする。	【改修　1.1.1】
	1.1.3 官公署その他への届出手続等	＊工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他の関係組織への必要な届出手続等を遅滞なく行う。	【改修　1.1.3】
	1.1.4 工事実績情報の登録	＊契約金額が500万円以上の工事は、（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）の工事実績情報サービス（CORINS）に、工事実績情報の登録を、その内容について監督職員の確認を（JACICの様式「登録のための確認のお願い」に従って）受けた上、行う。 また、登録後にJACICが発行する「登録内容確認書」を、監督職員へ提出する。 （1）工事受注時　契約締結後10日以内 （2）登録内容の変更時　変更契約締結後10日以内 （3）工事完成時　工事完成後10日以内 なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。	【改修　1.1.4】 【改修　1.1.7】
	1.1.7 別途契約の関連工事	設備スリーブ箱入 ※／同上用構造体補強 ※／〃　防水処理 ※／天井・壁埋込器具切込補強 ※／設備機器基礎・防水処理 ※／設備機器用アンカーボルト ※／（外部）空気取入・換気ガラリ ※／（内部）空気取入・換気ガラリ ※／換気扇取付枠 ※／建物内外配線配管ピット蓋 ※／建物内排水溝 ※／たて樋接続用横引管 ※／発電機用　冷却用給水排水 ○／〃　燃料用油配管 ○／〃　通気管 ○／〃　オイルタンク ○／動力制御盤及び配線 ○／自動制御盤及び配線 ○／自動制御盤への電源送り ○／ファンコイルへの電源送り ○／液面電極体リレー及び配線 ○／床排水金物 ○／流し台排水金物 ※／〃　設備接続 ○ 天井下地共　実験台設備接続 防水処理又は配管ワイヤランド用受台 ※ 機器類に伴うもの　防煙ｼｬｯﾀｰ、同用煙感知器、防火戸自閉装置及び各間の配　線 ※／同上盤までの電源送り ○／排煙口開放装置 ○／排煙口手動開放装置 ※／消火栓組込発信器類及び取付 ○／減圧水槽以降　不燃性ガス消火設備への電源送り ○／燃料小出槽以降　同上制御盤及び制御配線 ○／電動黒板・電動パリマクへの電源送り ○／受水槽・高架水槽基礎 ※／〃・〃・〃　架台 ○／天井・壁改め口 ※／床・改め口 ※／汚水桝 ○／雑排水桝 ○／雨水桝 ※／雨水桝 ○／汚水桝 ○／雑排水桝 ○／雨水桝 ○ 備考：汚水処理槽流入側槽入口汚水桝を除く	
	1.1.8 疑義に対する協議等	＊設計図書について、監督職員と協議を行った結果、設計図書の訂正または変更を行う場合の措置は、契約書の規定によるほか「愛知県建設局他（都市 交通局・建築局）設計変更事務取扱要領」（令和7年2月改）及び「愛知県建設局工事設計変更ガイドライン」（令和6年2月）に定めるところによる。	
	第２節 工事関係図書 1.2.1 実施工程表	＊概成工期　・有（　年　月　日）※　無	
	1.2.4 工事の記録	＊工事写真　１．着手前　工事の着手に先だち、敷地及び周辺道路、建築物、工作物等の現況を撮影する。 ２．工事中　右図に示す黒板に所定事項を明記し、工事の進捗状況を撮影、記録するとともに、特に施工後隠ぺい又は埋設される部分は、被写体に幅広テープを添え撮影する。 ３．完成時　外部（カラー　5箇所） 内部（カラー　適宜箇所） ※デジタルカメラの撮影素子の有効画素数は100万画素程度から300万画素程度を標準とする。	件名／名称／位置／工程／備考／撮影年月日　600×700
	第３節 工事現場管理 1.3.1 施工管理	＊主任技術者、監理技術者、特例監理技術者及び特例監理技術者を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）の設置及びその他制度の運用については、「監理技術者制度運用マニュアル」（令和７年２月１日付け国土建第１４７号国土交通省不動産・建設経済局建設業課長通知）によるものとする。	
	特例監理技術者	＊本工事において、建設業法第２６条第３項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の要件を全て満たさなければならない。「特例監理技術者」を配置する場合においては、特記仕様書等に示す「監理技術者」を「特例監理技術者」と読み替えるものとする。 １）建設業法第２６条第３項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者（以下「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。 ２）監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有するものであること。 なお監理技術者補佐の建設業法第２７条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。 ３）監理技術者補佐は受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。 ４）同一の特例監理技術者を配置できる工事の数は、本工事を含め同時に２件までとする。（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。）については、これら複数の工事を一つの工事とみなす。） ５）特例監理技術者が兼務できる工事は、尾三消防組合管内市町の工事でなければならない。 ６）特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会い等の職務を適正に遂行しなければならない。 ７）特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。 ８）監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。 ９）特例監理技術者が兼務できる工事は尾三消防組合低入札価格調査要領第４条に規定する基準価格を下回った価格をもって契約された工事でないこと。 ＊本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務する事となる場合、仕様書等に規定する兼務届に加えて、上記１）～９）について各工種における業務分担、連絡体制等を記載した施工計画書を提出すること。 ＊本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切に工事実績情報サービス（ＣＯＲＩＮＳ）への登録を行うこと。	
	1.3.2 電気保安技術者	＊・適用する　・適用しない	【改修　1.3.2】
	1.3.3 施工条件	＊１）施工時間　時間制限　※　有　・　無 ２）施工に必要な実日数以外に見込んでいる事項 準備期間　○・30日　※（　）　休日（年末年始休暇及び夏季休暇）　○・9日（土日含む）　※（　） その他の作業不能日　・（　日）　※　図示による ３）工事車両の駐車場所　場所制限　※　有　（※敷地内　）　・　無 ４）資機材置場所　置場制限　※　有　（※敷地内　）　・　無 ５）その他　○・（　通期による週休二日 土日休みを基本とする　） ＊非施工場所が機能停止とされる場合の代替措置　※　図示による　・（　） ＊天井内機器等の改修に伴う天井解体の施工条件　※　図示による　・（　）	【改修　1.3.3】
【改修】1.3.3			

編	節・項目	特記事項	備考
第１編 一般共通事項	1.3.4 品質管理	＊「工事監理ガイドライン」（平成21年9月1日策定　国土交通省住宅局建築指導課）・適用する　※　適用しない 適用に当たっては、「工事監理ガイドライン」４．（１）確認項目及び確認方法の例示一覧（別紙）に、確認項目として掲げられた工事内容のうち、「具体的な確認方法」欄に品質管理記録により確認するものについて、（２）留意事項に留意し、品質管理の記録を監督職員に提出し確認を受ける。 ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた確認項目については、この限りでない。	
	1.3.9 発生材の処理等	＊特別管理産業廃棄物の有無　・無　・有（処理方法：　） ＊現場において再利用を図るもの　（　） ＊工事に伴い発生する指定副産物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出する。 ※　コンクリート塊　※　アスファルトコンクリート塊　※　建設発生木材　・（　） ＊下記の物品はPCBの混入が疑われるため、専門の分析機関に依頼し、その有無を確認する。　（　） 昭和47年以前の建築物：ポリサルファイド（チオコール）系コーキング 平成元年以前の製造機器：蛍光灯安定器、コンデンサ、リアクトル、コンデンサ用放電コイル、変圧器（絶縁油中の濃度0.5mg/kg以下のものは対象外） 上記以外においても、PCB混入の恐れがある場合は、監督職員と協議の上、確認すること。 ＊PCBを使用している機器材料は、適切は容器に収めた上で引渡しを要する。撤去した機器のﾒｰｶｰ名・型番・製造年月日を記載したﾘｽﾄを作成して都市計画課へ提出する。 ＊引渡しを要するものは、監督職員の指定する場所に整理し、リストを作成し施設管理者へ引き渡す。 ＊引渡しを要しないものは、すべて場外に搬出し、下記建設副産物の項及び関係法令に従い、適切に処理する。	【改修　5.1.1】
	*建設副産物	１．発生材については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）その他関係法令の規定に遵守し「愛知県建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱（以下「リサイクルガイドライン」という。）に基づき、適正に処理する。 ２．事前に建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）に登録及び必要事項を入力し、COBRISより出力される「リサイクルガイドライン」に定める計画書（①、②）を監督職員に提出する。　①再生資源利用計画書（実施書）（様式1）　②再生資源利用促進計画書（実施書）（様式2） ３．工事完了時に「リサイクルガイドライン」に定める実施書（①、②）の内容をCOBRISに登録及び工事登録証明書を作成し、監督職員に提出する。 ４．建設リサイクル法第９条第１項の対象建設工事に該当する工事は、再資源化等が完了したとき、同法第１８条第１項に基づく報告として、監督職員に「再資源化等報告書」を提出する。 ５．産業廃棄物管理表（以下「マニフェスト」という。）管理台帳を作成し、監督職員に提出する。また、マニフェスト伝票は整理して保管し必要に応じて検査員等に提示する。 マニフェスト管理台帳は、交付した全てのマニフェストについて、交付番号、収集運搬業者、処分業者及び廃棄物の内訳（tまたはm3）を記載したものとする。	
	*撤去・更新時のフロン等の取扱い	＊「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」（令和２年４月１日施行）に基づいて行うこと。	
	*分別収集	＊・しない　※　する　「リサイクルガイドライン別表３」による。	
	第４節 機器及び材料 1.4.1 環境への配慮	＊屋内で使用する材料、塗料及び接着剤のホルムアルデヒド放散料　※　F☆☆☆☆　・（　） ＊「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。	
	1.4.2 機材の品質等	１．機器類の能力容量は原則として表示された数値以上とする。（ただし、電気容量は参考とする。） ２．使用する材料は全て石綿を含まないものとする。 ３．本工事に使用する資材等は、品質が規格値を満足し、かつ価格が適正である場合には、県内産の優先使用に努めるものとする。	
	*再資源の利用の指定	＊使用する資材は、リサイクル資材の率先利用を図るため、「愛知県あいくる材率先利用方針」を遵守し、あいくる材として認定されている資材の利用に努める。 １）下記指定材一覧表のうち、愛知県あいくる材率先利用方針第３のAグループの資材は、あいくる材の認定資材を使用する。 施工場所／品目／規格／再生原料等の指定（・指定しない　・） ２）あいくる材の指定があるものについて、それ以外のものを使用する場合は、監督職員の承諾を要する。 ３）指定材以外の使用に努める品目は、次のとおりとする。 ・再生加熱アスファルト混合物　・再生路盤材　・ＰＣ製品　・舗装用ブロック	
	*再生資源の利用の報告	＊工事完了時にあいくる材の使用実績をリサイクルガイドライン様式８「あいくる材使用状況報告書」及び様式９「あいくる材使用実績集約表」を監督職員に提出する。	
	1.4.6 機材の検査に伴う試験	＊標準仕様書、図面等により指定された機材等以外で、試験の必要な機材　（　）	【改修　1.4.6】
	【改修】1.4.3 再使用品	＊取外し前に確認する状態及び性能・機能　※　図示による　・（　） ＊特別な清掃を行う機材及びその方法　※　図示による　・（　）	
	第５節 施　工 1.5.2 技能士	＊・適用する　※　適用しない 適用職種／作業範囲／作業内容／資格（技能検定における選択作業） 機械設備工事の配管／配管工事の施工／１級配管技能士　（建築配管作業）	【改修　1.6.2】
	1.5.4 施工の検査等	＊見本施工　・実施する（　）　・実施しない	【改修　1.6.5】
	1.5.7 化学物質の濃度測定	＊化学物質の濃度　・測定する　※　測定しない 測定する室/箇所数　（　/　）（　/　）（　/　） 測定方法　※　パッシブ型採取法　・文部科学省「学校環境衛生の基準」による　・（　） 対象物質　※　ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン　・パラジクロロベンゼン　・（　） ＊着工前の測定　※　行わない　・行う（　）	【改修　1.6.9】
	第６節 工事検査及び技術検査 1.6.2 技術検査	＊中間技術検査　・行わない　・行う（実施回数：　回、実施する段階：　）	【改修　1.7.2】
	第７節 完成図等 1.7.1 完成時の提出図書	※　愛知県建設局建築工事事務の手引を参考とする。 ※　工事完了までに、竣工図（Ａ３二つ折り製本）を２部提出する。	【改修　1.8.3】【改修　1.8.4】
	1.7.2 完成図	＊ＣＡＤデータ　※　提出する（CD-RまたはDVD-R）　・提出しない	完成図に機器ﾒｰｶｰ名・型式及び埋設配管の位置寸法を記入する事
	【改修】3章 養　生 【改修】3.1.1 養生範囲	＊養生範囲　※　図示による　・（　）	
	【改修】3.2.1 養生方法及び清掃	＊既存部分の養生方法　※　ビニルシート、合板等により適切に行う　・（　） ＊固定された備品、机及びロッカーの移動　※　図示による　・（　） ＊機材搬入及び搬去機材搬出通路の養生　※　ビニルシート、合板等により適切に行う　・（　）	
	【改修】4章 撤　去 【改修】4.1.1 共通事項	＊内容物の回収を要する機器、配管等の処置　※　図示による　・（　）	
	【改修】4.1.2 撤去作業の安全対策	＊アスベストの撤去　※　図示による　・（　）	
	【改修】4.2.4 撤去後の補修及び復旧	＊機器等撤去後の補修及び復旧　※　図示による　・（　） ＊開口部（床、壁、天井等の撤去後）　＊補修方法　※　図示による　・監督職員と協議　・（　） ＊仕上げの仕様　※　図示による　・監督職員と協議　・（　）	
	その他 *光熱水費	＊建物引き渡しまでの電気、水道、ガス等の料金（基本料金、電気主任技術者委託料を含む）は、協議の上、各工事受注者が負担する。	
	*仮　設	＊仮設の方法は施設管理者及び監督職員と協議する。	
	*現場代理人	＊現場代理人においては、受注者との直接的な雇用関係があること。	
	*火災保険等の加入方法	＊保険の種類は、火災保険又は組み立て保険とする。 期間は、工事資材の現場搬入の日から工事目的物の引渡しの日までとする。（特に定めのない限り、契約上の工事完成期日経過後14日間とする。） 保険金受取人（被保険者）は、受注者とする。	
	*法定外の労災保険	＊本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。	
	*工事中の安全管理	＊南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まった旨の「南海トラフ地震臨時情報」が発表された場合、受注者は、継続的に地震関連情報の収集に努め、工事中の建築物等及び仮設物に対し、必要な安全対策措置が実施されているかの確認、及び作業員や必要に応じ第三者に対する安全の再確認を行うなど、有事に際しての備えを行うこと。	
	*事故報告	＊工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。	

株式会社 松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	機械設備工事特記仕様書（１）
縮尺	NS
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	M-001

編	節・項目	特記事項	備考
第１編 一般共通事項	*工事の下請負	＊ 受注者は、下請負に付する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。 １）受注者が、工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。 ２）下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。 ３）下請負者は、建設業法に基づく営業停止の期間中でないこと。 ４）下請負者が、尾三消防組合の競争入札参加資格者である場合には、尾三消防組合指名停止等措置要領に基づく入札参加停止期間中でないこと。 ５）下請負者は、「愛知県が行う契約等からの暴力団排除に関する事務取扱要綱」に掲げる排除措置の措置要件に該当しない者であること。	
	*施工体制台帳	＊ 建設業法第２４条の８第１項の規定により作成した施工体制台帳（同項の規定により記載すべきものとされた事項に変更が生じたことに伴い新たに作成されたものを含む。）の写しを監督職員に提出すること。 （公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第15条）	
	*施工体系図	＊ 下請契約を締結する場合においては、下請金額に関わらず施工体系図を作成し、工事現場の工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲示する。	
	*騒音・振動対策	＊「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達）」及び関連法規の規定を厳守し施工する。 また、騒音規制法、振動規制法の規制の対象となる作業（特定建設作業）及び下記に指定した建設機械については、「低騒音型 低振動型建設機械の指定に関する規程」（建設大臣告示）により指定された建設機械を使用する。 作業名：　建設機械名： 作業名：　建設機械名：	昭和51年 3月 2日制定 昭和62年 3月30日改正 平成 9年 7月31日告示 平成12年12月22日改正 平成13年4月9日改正
	*排出ガス対策型建設機械	＊ 排出ガス対策型建設機械の適用　※ 適用する ・ 適用しない （対象機種：バックホウ、車輪式トラクターショベル、ブルドーザー、発動発電機、空気圧縮機、油圧ユニット、ローラー類、ホイルクレーン（いずれもディーゼルエンジン出力7.5～260kW）） （対象規制値：排出ガス対策型建設機械指定要領（国土交通省総合政策局）の別表１（１次基準値））	平成３年10月8日制定 平成14年4月1日改正
	*石綿含有仕上塗材の除去・補修、既存壁等への作業	＊ 既存の壁等に対して作業（仕上塗材の除去・補修、コア抜きやアンカーボルト打設作業など仕上塗材の破断を伴う全ての作業）をする場合は、既存壁等の石綿含有塗材使用の有無を確認し、石綿が含有されている場合は、除去工法、作業方法等について関係法令所管部局及び監督職員と協議の上、適切な石綿飛散防止措置を講じること。	
	*建設業退職金共済制度	＊ 本工事に関わる自社及び下請負会社の中にこの制度を使用するものがある場合は、同制度に加入し、掛金収納書を提出しなければならない。 制度を使用しない又は証紙を購入しない場合は、理由書等を提出する。	
	*貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱	＊ 工事場所が「自動車Nox・PM法」の規制対象地域内においては、「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」に基づき、対象地域外からの流入車も含め、車種規制非適合車の使用抑制に努めるものとする。	
	*特定特殊自動車の燃料	＊ 受注者は、軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたって、燃料を購入して使用するときは、当該特定特殊自動車の製作等に関する事業者または団体が推奨する軽油（ガソリンスタンド等で販売されている軽油をいう）を選択しなければならない。また、監督職員から特定特殊自動車に使用した燃料の購入伝票を求められた場合、提示をしなければならない。なお、軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたっては、下請負者等に関係法令等を遵守させるものとする。	
	*薬液注入工法	＊ 薬液注入工法により地盤の改良を行う場合は、「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針」（建設省事務次官通達）による。	昭和49年7月10日制定
	第１章 一般事項		【改修 1.2.1】
	第２節 電動機及び制御盤		
	1.2.1 電動機		
	1.2.1.2 誘導電動機の始動方式	＊ 200V・400V三相誘導発電機の始動方式　※ 表2.1.5による ・（　　）	[表 2.1.5]
	1.2.2 制御及び操作盤		
	1.2.2.1 制御及び操作盤	＊ 指定機器 ・（　　） ＊ 表2.1.6の機材で、△印を適用するもの　※ 図示による ・（　　） ＊ 表2.1.7により設ける表示等で、△印を適用するもの　※ 図示による ・（　　） ＊ 表2.1.8以外で設ける接点及び端子　※ 図示による ・（　　） ＊ 表2.1.8により設ける接点及び端子で、△印を適用するもの　※ 図示による ・（　　）	[表 2.1.6] [表 2.1.7] [表 2.1.8]
	1.2.2.2 ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ用制御及び操作盤	＊ ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ制御を行う場合の制御及び操作盤　※ 1.2.2.1による ・（　　）	
	第３節 総合試運転調整等		
	1.3.3 総合試運転調整	＊ 適用項目 ・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度測定 ・ 室内気流及びじんあい測定 ・ 騒音測定 ・ 飲料水の水質の測定	【改修 1.3.3】
	第２章 配管工事		
	第１節 配管材料		【改修 2.1.1】
	2.1.1 一般事項		
	2.1.2 管及び継手		
	2.1.2.1 冷温水及び冷却水用	＊ 管 材 ・（　　） ＊ ステンレス鋼管のメカニカル形管継手の種類 ・（　　）	[表 2.2.1]
	2.1.2.2 蒸気、高温水及び油用	＊ 管 材 ・（　　）	[表 2.2.3]
	2.1.2.3 ブライン用	＊ ブライン温度が-10℃を下回る場合のブライン管及び継手 ・（　　）	[表 2.2.4]
	2.1.2.4 冷媒用	＊ 管 材 ・（　　）	[表 2.2.5]
		＊ 多湿箇所等に使用する断熱材被覆銅管の断熱厚さ ・（　　）	
	2.1.2.5 給水、給湯及び消火用	＊ 管 材 ・（　　） ＊ ステンレス鋼管のメカニカル形管継手の種類 ・（　　）	[表 2.2.6]
	2.1.2.6 排水及び通気用	＊ 管 材 ・（　　）	[表 2.2.8]
	第２節 配管付属品		【改修 2.1.1】
	2.2.7 伸縮管継手		
	2.2.7.1 鋼管用	＊ 種 類 ・ ベローズ形（JIS B 2352） ・ スリーブ形（SHASE-S003）	
	2.2.12 絶縁継手	＊ 設置箇所　※ 2.5.17.2「鋼管とｽﾃﾝﾚｽ鋼管、銅管と鋼管」による ・（　　）	【改修 2.2.1】
	2.2.14 蒸気トラップ	＊ 蒸気トラップ本体材質（ベローズ式、フロート式、バケット式、サーモダイナミック式及びサーモスタチックの場合）・ ステンレス製	
	2.2.16 量水器	＊ 方 式 ・ 直読式 ・ パルス式	
	2.2.22 緊急遮断弁装置	＊ 緊急遮断弁装置 ・ 設置する ・ 設置しない ・（　　）	
		＊ 遮断弁の駆動方式 ・ 電気式 ・ 機械式	
	2.2.23 水栓柱	＊ 本 体　※ 合成樹脂製 ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼製	
		＊ 寸 法　※ 約70mm角で全長約1,300mm ・（　　）	
	2.2.24 不凍水栓柱	＊ 寸 法　※ 全長約1,500mm ・（　　）	
	2.2.27 スリーブ	＊ スリーブ　※ 2.2.27 (2) による ・（　　）	[表 2.2.11]
	第３節 計器その他		【改修 2.1.1】
	2.3.6 遠隔油量指示計	＊ 遠隔油量指示計 ・ 抵抗変化式液面計 ・ 磁歪式液面計 ・ 図示による	
		＊ 副指示計 ・ 要 ・ 不要	
	2.3.8 瞬間流量計	＊ 流量計 ・ 着脱可能形 ・ 固定形 ・（　　）	
	第４節 配管施工の一般事項		
	2.4.1 一般事項	＊ 建築物導入部分で不動沈下のおそれのある部分（排水及び通気配管を除く）　※ 図示による ・（　　）	【改修 2.2.1】
		＊ 給水、給湯、冷温水、冷却水配管の絶縁継手　設置箇所（　　）　仕 様（　　）	
	2.4.2 冷温水、ブライン及び冷却水配管	＊ 空調機用トラップの形式　※ 図示による ・（　　）	【改修 2.2.2】
		＊ ﾌｧｲﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄと冷温水管の接続部 ・ 流量調整弁を設置 ・ 定流量弁を設置 ・（　　）	〃
	2.4.8 排水及び通気配管	＊ 空調機用トラップの形式　※ 図示による ・（　　）	【改修 2.2.8】
	【改修】2.2.11 既設配管の再生を行う場合の留意事項	＊ 工 法　※ 図示による ・（　　）	
		＊ 施工前の劣化状態の調査 ＊ 調査箇所　※ 図示による ・（　　） ＊ ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ個数　※ 図示による ・（　　）	
		＊ 通水後の水質検査　※ 行 う ・ 行わない	
	第５節 管の接合		
	2.5.7 ステンレス鋼管	＊ 継手の種類 ・（　　） ・ 図示による	【改修 2.3.7】
	2.5.9 ビニル管	＊ 給水管の接合　※ 接着接合 ・ ゴム輪接合	【改修 2.3.10】
		＊ 排水管の接合　※ 接着接合 ・ ゴム輪接合	〃
	2.5.10 ポリエチレン管	＊ 接 合 ・ 電気融着接合 ・ メカニカル接合	【改修 2.3.11】
		＊ 異種管との接合部に設ける点検用桝の種類 ・（　　）	〃
	2.5.11 架橋ポリエチレン管	＊ 接 合 ・ 電気融着接合 ・ メカニカル接合	【改修 2.3.12】
	2.5.12 ポリブテン管	＊ 接 合 ・ 熱融着接合 ・ 電気融着接合 ・ メカニカル接合	【改修 2.3.13】
	2.5.14 耐火二層管	＊ 伸縮継手の設置個所 ・（　　）	【改修 2.3.15】
	2.5.15 溶接接合		
	2.5.15.12 溶接部の検査	＊ 非破壊検査 ・ 行う（検査の種類：　　） ・ 行わない	【改修 2.3.16.12】
		＊ 抜取率　※ 表2.2.16による（改修は表2.2.2） ・（　　）	[表 2.2.16][改修 表2.2.1]
	2.5.15.13 非破壊検査の適用範囲と判定基準	＊ 放射線透過検査の判定基準（　　）	【改修 2.3.17.13】
	2.5.16 異種管の接合	＊ 鋼管とステンレス鋼管、銅管と鋼管の接合要領　※ 標準図（異種管の接合要領P100） ・（　　）	【改修 2.3.17.2】

編	節・項目	特記事項	備考
第２編 共通工事	第６節 勾配、吊り及び支持		
	2.6.3 吊り及び支持	＊ 表2.2.20（改修は表2.2.6）の形鋼振れ止め支持で不要となる箇所のうち特記により必要とする場合 ＊ 必要箇所 ・ 図示による ・（　　） ＊ 支持間隔 ・（　　）m以下	【改修 2.4.3】
	第７節 地中配管		
	2.7.1 一般事項	＊ 埋設給水本管の分岐、曲り部等の衝撃防護措置　※ 図示による ・（　　） ＊ 地中埋設標（屋外埋設管の分岐及び曲り部）の設置箇所　※ 図示による ・（　　）	
	【改修】2.5.1 一般事項	＊ 埋設部分の舗装等のはつり及び復旧工事 ＊ 施工範囲　※ 図示による ・（　　） ＊ 舗装仕様　※ 図示による ・（　　） ＊ 地盤対策　※ 図示による ・（　　）	
		＊ 植栽・芝生・舗装・石貼・タイル等の移植及び撤去、復旧及び再利用品等　※ 図示による ・（　　）	
	【改修】第７節 試 験		
	【改修】2.7.1 一般事項	＊ システム全体の試験 ・ 行 う ・ 行わない 既設配管との接続部等、既設配管を含む部分の試験方法及び試験圧力　※ 図示による ・（　　）	
	【改修】第８節 撤 去		
	【改修】2.8.2 既設配管の撤去	＊ 既設配管の撤去範囲　※ 図示による ・（　　）	
	第３章 保温、塗装及び防錆工事		
	第１節 保温工事		
	3.1.1 一般事項	＊ この節によらない保温工事 ・（　　）	
	3.1.4 空気調和設備工事の保温	＊ 区 分 / 保温の種別 / 備 考 [表2.3.2]	【改修 3.1.3】
		温水管（膨張管含む）：・ イ ・ ロ 低圧蒸気管：・ イ ・ ロ 冷水・冷温水管（膨張管含む）：・ イ ・ ロ ・ ハ 冷媒管：・ イ ・ ロ 冷水・冷温水タンク：・ イ ・ ロ ・ ハ 温水・還水タンク、熱交換器、膨張タンク：・ イ ・ ロ 冷水・冷温水ﾍｯﾀﾞｰ：・ イ ・ ロ ・ ハ 温水・蒸気ﾍｯﾀﾞｰ：・ イ ・ ロ ダクト：・ イ ・ ロ 消音内貼：・ イ ・ ロ	
		＊ 共同溝の保温種別（　　） ＊ 暗渠内の空調用ドレン管の保温 ・ 行う ・ 行わない ・ 図示による ＊ 保温化粧ケース（冷媒管の保温外装） ・ 使用する ・ 使用しない ・ 図示による ＊ 外装材の種別（冷媒管に断熱材被覆銅管を使用した場合）（　　） ＊ 暗渠内のダクトの保温 ・ 行う ・ 行わない ・ 図示による ＊ 厨房排気用ダクトの保温 ・ 行う ・ 行わない ・ 図示による ＊ 表2.3.2 注11（ア）～（ク）で保温を行うもの（　　仕様（　　）） ＊ 表2.3.2 注12（ア）～（カ）で保温を行うもの（　　仕様（　　）） ＊ 表2.3.2 注13（ア）～（コ）で保温を行うもの（　　仕様（　　）） ＊ 表2.3.3 注8 冷媒管保温化粧ケースの材質（　　） ＊ 表2.3.3 注10 管及び機器の保温工種別Aの場合　※ A１（ｼｰﾄﾀｲﾌﾟ） ・ A２（ｼﾞｬｹｯﾄﾀｲﾌﾟ） ・ 図示による	[表 2.3.3]
	3.1.5 給排水衛生設備工事の保温	＊ 区 分 / 保温の種別 / 備 考 [表2.3.5]	
		給水管：・ イ ・ ロ ・ ハ 排水及び通気管：・ イ ・ ロ ・ ハ 給湯管（膨張管含む）：・ イ ・ ロ 銅板製タンク：・ イ ・ ロ ・ ハ 貯湯タンク：・ イ ・ ロ	
		＊ 共同溝の保温種別（　　） ＊ 銅板製タンクの保温 ・ 行う（仕様：　　） ・ 行わない ＊ 表2.3.5 注5（ア）～（サ）で保温を行うもの（　　仕様（　　）） ＊ 表2.3.6 注7 施工種別aにおけるa2の適用　※ a１（ｼｰﾄﾀｲﾌﾟ） ・ a２（ｼﾞｬｹｯﾄﾀｲﾌﾟ） ・ 図示による	
	3.1.6 保温材の厚さ	＊ 保温材の厚さ（空調設備工事、給排水衛生設備工事）で寒冷地等で表2.3.7によらない場合（　　）	[表 2.3.7]
	第２節 塗装及び防錆工事		
	3.2.1 塗 装		【改修 3.2.1】
	3.2.1.1 一般事項	＊ 塗装の箇所で表2.3.10（改修は表2.3.3）以外の箇所に塗装を行う場合 ・ 図示による ・（　　）	【改修 3.2.1.1】
	3.2.1.3 塗料種別	＊ 調合ペイント　※ JIS K 5516 1種 ・（　　） ＊ ｱﾙﾐﾆｳﾑﾍﾟｲﾝﾄ　※ JIS K 5492 ・（　　）	【改修 3.2.1.3】
	3.2.2 防 錆		
	3.2.2.1 一般事項	＊ 仕様書で指定したもの以外で防錆処理を行うもの　※ 図示による ・（　　）	【改修 3.2.2.1】
	第４章 関連工事		
	第１節 仮設工事		
	4.1.1 一般事項		【改修 1編2.2.1】
	*監督職員事務所、受注者事務所等	＊ 監督職員事務所　※ 設けない ・ 既存建物内の一部 ・ 構内に新設（規模（　　）m2程度） ＊ 標準備品　机、いす、書棚、行事予定表、ゴム長靴、雨合羽、保護帽、懐中電灯、寒暖計、塗落制止用器具、衣類ロッカー、受注者加入の電話子機、冷暖房機器、消火器、湯沸器、掃除具 ＊ 選択備品 ・ パソコン ・ プリンター ・ ＦＡＸ ・ 複写機 ＊ 受注者事務所（設ける場合）　※ 構内（従業員宿舎を除く） ・ 構外 ＊ 材料置場　※ 構内 ・ 構外 ＊ その他仮設物　※ 構内（従業員宿舎を除く） ・ 構外 ＊ 建設現場標識　※ 設ける（他工事と共同設置を可とする） ・ 設けない	【改修 1編2.3.1】 【改修 1編2.3.2】
		１２００以上 工 事 名　○○○○大規模改修工事 工 期　令和○○年○○月○○日まで 発 注 者　尾三消防組合 工事監理者　○○○○設計事務所 工事施工者　○○○○建設 T-R1001	
	【改修】1編2章2節 足場その他【2.2.1】	＊ 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」（令和５年１２月２６日厚生労働省労働基準局長 基発第1226第2号）に規定する、「手すり先行工法等に関するガイドライン」別紙２「働きやすい安心感のある足場」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」の２の（１）手すり据置方式又は２の（２）手すり先行専用足場方式により行う。 ＊ 屋根面からの墜落事故防止対策として、必要に応じて、JIS A8971（屋根工事用足場及び施工方法）に基づき、建方作業台、渡り廊下、墜落防護さく等の足場及び装備機材を設置する。 ＊ 内部足場　※ Ａ種 ※ Ｂ種 ※ Ｃ種 ※ Ｄ種 ・ Ｅ種 ・ Ｆ種 ・ Ｇ種 ＊ 外部足場　・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種 ※ Ｄ種 ※ Ｅ種 ・ Ｆ種 ＊ 養 生　・ 防護シート（JISA8952） ・ 防護ネット（JISA8960） ・ 防音シート ・（　　）	[改修 表1.2.1] [改修 表1.2.2]
		＊ 高さが５ｍ以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能墜落制止用器具はフルハーネス型とし、「墜落制止用器具の規格」（平成３１年１月２５日厚生労働省告示第１１号）によるものとする。	
	【改修】1編2章3節 仮設間仕切り【2.2.3】	＊ 仮設間仕切り ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ※ Ｃ種 ＊ 設置箇所　※ 図示による 材 種 ＊ 合板厚さ　※ 9mm ・（　　） ＊ せっこうボード厚さ　※ 9.5mm ・（　　） 仕上げ塗装等 ・ 有 ※ 無 ＊ 仮設扉 種 別　※ 木製（合板張り） ・（　　） ＊ 設置箇所　※ 図示による	[改修 表1.2.3]

株式会社 松浦建築事務所 ＴＥＬ (0561) 32-0318	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	機械設備工事特記仕様書（２）	縮尺 NS
			製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. M-002

２０２４年４月１日改訂

編	節・項目	特記事項	備考
第２編 共通工事	第２節 土工事		
	4.2.1 一般事項	＊埋戻し及び盛土 ・山砂の類 ※ 根切土の中の良質土 ・他現場の発生土の中の良質土 ・再生コンクリート砂 ＊処分にあたっては「リサイクルガイドライン」に基づき、適正に処理する。 ＊建設発生土の有無 ・有 ・無 ＊建設発生土の処理 ・構外搬出（関係法令に従い適切に処理） 搬出先名称（所在地）：（ ） 片道運搬距離：（ ）km 片道運搬時間：（ ）時間 搬出先条件（土質試験、その他建設発生土発生抑制や適正処分に必要な情報） ：（ ） ・場内敷き均し 建設発生土を構外へ搬出する場合は、搬出先等の承諾を得たうえで、搬出先及び処分状況（高さ、勾配等）がわかる写真並びに運搬を証明する書類等を監督職員に提出する。	【改修 7.1.1】
	第４節 コンクリート工事		
	4.4.1 一般事項	＊設計基準強度 ※ 18N/mm2 ・（ ） スランプ ・15cm ・18cm	【改修 7.3.1】
	【改修】４章 はつり及び穴開け		
	【改修】4.1.1 共通事項	＊施工日・施工時間 制限 ・（有 ） ・無	
	【改修】4.1.2 非破壊検査	＊放射線透過試験 ・行 う ・行わない	
	【改修】4.1.3 穴開け及び補修	＊貫通場所及び口径 （ ）	
	【改修】4.1.5 既設基礎の解体はつり	＊解体基礎の仕様（有筋・無筋、防水・非防水、寸法等） ※ 図示による ・（ ） ＊基礎の解体・撤去後の床面仕上げ及び補修 ※ 図示による ・（ ）	
	【改修】５章 ｲﾝｻｰﾄ及びｱﾝｶｰ		
	【改修】5.1.1 共通事項	＊既存インサート及びアンカーボルトを使用する場合の引張強度確認試験 ・行 う ・行わない	
	【改修】5.1.2 機器の固定	＊給湯設備に使用するアンカーは平成24年国交省告示第1447号による ＊アンカーの耐震計算を行う機器 ※ 図示による ・（ ）	
	【改修】5.2.1 穿 孔	＊埋め込み配管等の探査の範囲及び方法 ※ 図示による ・（ ）	
	【改修】5.2.3 確認試験	＊あと施工アンカーの性能確認試験 ・行 う ・行わない ＊あと施工アンカーの施工後確認試験 ・行 う ・行わない	
	【改修】６章 基礎工事		
	【改修】6.1.1 共通事項	＊機器用基礎 ・新設（仕様 ） ・既設再使用 ＊基 礎 ・標準基礎 ・防振基礎 ＊標準基礎の場合の基礎の大きさ ・（ × ） ※ 図示による ＊基礎の増設及び補修 ※ 図示による ・（ ） ＊防水層の補修 （ ）	
第３編 空気調和設備工事	第１章 機 材 〈各節共通〉	＊インバーター制御を行う空気調和設備[制御盤に1.2.2.2を適用] （ ） 上記設備のインバーター回路の高調波対策 ・要 ・不要	
	第１節 ボイラー		
	1.1.1 ボイラー	＊[・鋼製ボイラー ・鋼製小型モニター ・小型貫流ボイラー及び簡易貫流ボイラー ・鋳鉄製ボイラー] 燃料装置の燃焼制御方式 ） 制御盤 適用する構成項目 ・進相コンデンサー ・運転時間計 [表 2.1.6] 表2.1.8○印以外で設ける接点及び端子 ・運転時間表示用端子 ・（ ） ＊複数台の小型貫流ボイラーから構成される場合の適用 ・（ ） 小型貫流ボイラー又は簡易貫流ボイラーの場合の薬液注入装置の適用 ・（ ） ＊鋼製簡易ボイラーの燃焼装置 燃焼制御方式 （ ） ＊鋳鉄製簡易ボイラーの燃焼装置 燃焼制御方式 （ ）	
	1.1.2 鋼板製煙道	＊適用するもの ・ばい煙濃度計の取付座 ・ばいじん量測定口 ・伸縮継手 ・掃除口 ＊煙道の鋼材厚さ ・（ ） ・3.2mm ＊塗料種別 合成樹脂調合ペイント塗りの塗料 ※ JIS K 5516 1種 ・（ ） 【改修 3.2.1】 アルミニウムペイント塗りの塗料 ※ JIS K 5492 ・（ ）	
	1.1.3 ばい煙濃度計	＊投光器 ※ 送風機付き ・（ ） 受光器 ※ 送風機付き ・（ ）	
	1.1.5 給水軟化装置	＊イオン交換樹脂筒 ※ 1筒式 ・（ ） ＊運転方式 ※ 自動式 ・手動式 ・（ ） ＊付属品 処理水用高度測定器 ・要 ・不要	
	【改修】第1節 機 器		
	【改修】1.1.2 試 験	＊分割搬入を行う機器の試験 ※ 行う（ ） ・行わない	
	第２節 温水発生機		
	1.2.1 真空式温水発生機	＊燃焼装置の燃焼制御方式[真空式温水発生機、無圧式温水発生機の場合] ・（ ） ・図示による	
	1.2.2 無圧式温水発生機	＊容量調節装置の燃焼制御方式 ・（ ）	
	1.2.3 木質バイオマスボイラー（真空式温水発生機）	＊制御盤[定格出力186kwを超える場合] ＊適応する構成項目 ・進相コンデンサー ・運転時間計 [表 2.1.6]	
	1.2.4 木質バイオマスボイラー（無圧式温水発生機）	＊表2.1.8○印以外で設ける接点及び端子 ・運転時間表示用端子 ・（ ） [表 2.1.8]	
	第３節 冷凍機		
	1.3.1 チリングユニット		
	1.3.1.1 一般事項	＊圧縮機のインバーター制御 ・行う ・行わない ＊モジュール形の適用 ・有 ・無 ＊氷蓄熱用への適用 ・有 ・無 ・図示による	
	1.3.1.6 電動機	＊始動方式 ・（ ） ・図示による ※ 2.1.5による ・直入始動 ・始動装置による始動	
	1.3.1.11 冷 媒	＊冷 媒 ・（ ） ・図示による	
	1.3.1.13 成績係数	＊数 値 ・（ ） ・図示による	
	1.3.1.14 制御盤	＊適用する構成項目 ・進相コンデンサー ・運転時間計 [表 2.1.6] ＊表示項目[圧縮機の電動機出力の合計値が5.5kW以上30kW以下の場合] ・運転停止表示 ・保護継電器の動作表示 [表 2.1.7] ＊表2.1.8○印以外で設ける接点及び端子 ・運転時間表示用端子 ・冷水出入口温度用端子 ・消費電力表示用端子 [表 2.1.8]	
	1.3.2 空気熱源ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ		
	1.3.2.1 一般事項	＊圧縮機のインバーター制御 ・行う ・行わない ＊モジュール形の適用 ・有 ・無 ＊氷蓄熱用への適用 ・有 ・無 ・図示による	
	1.3.2.4 電動機	＊始動方式 ・（ ） ・図示による ※ 2.1.5による ・直入始動 ・始動装置による始動	
	1.3.2.10 冷 媒	＊冷 媒 ・（ ） ・図示による	
	1.3.2.12 成績係数	＊数 値 ・（ ） ・図示による	
	1.3.2.13 制御盤	＊適用する構成項目 ・進相コンデンサー ・運転時間計 [表 2.1.6] ＊表示項目[圧縮機の電動機出力の合計値が5.5kW以上30kW以下の場合] ・運転停止表示 ・保護継電器の動作表示 [表 2.1.7] ＊表2.1.8○印以外で設ける接点及び端子 ・運転時間表示用端子 ・温水出入口温度用端子 [表 2.1.8] ・冷水出入口温度用端子 ・消費電力表示用端子	
	1.3.3 遠心冷凍機		
	1.3.3.1 一般事項	＊容量制御 ・インバーター制御方式とする ・インバーター制御方式としない インバーター制御盤 ・要 ・不要 ・図示による ＊氷蓄熱用への適用 ・有 ・無 ・図示による	
	1.3.3.4 電動機	＊始動方式 ※ 表2.1.5による ・直入始動 ・始動装置による始動 ・図示による	
	1.3.3.11 冷 媒	＊冷 媒 ・（ ） ・図示による	
	1.3.3.13 成績係数	＊数 値 ・（ ） ・図示による	
	1.3.3.14 電動機盤	＊進相コンデンサー（高圧電動機盤） ・設置する ・設置しない ・図示による	
	1.3.3.15 制御盤	＊表2.1.8○印以外で設ける接点及び端子[低圧の場合]・運転時間表示用端子 ・冷水出入口温度用端子 ・消費電力表示用端子 [表 2.1.8]	

編	節・項目	特記事項	備考
第３編 空気調和設備工事	1.3.4 スクリュー冷凍機		
	1.3.4.1 一般事項	＊容量制御 ・インバーター制御方式とする ・インバーター制御方式としない インバーター制御盤 ・要 ・不要 ・図示による ＊水蓄熱用への適用 ・有 ・無 ・図示による ＊熱回収型の適用 ・有 ・無 ・図示による	
	1.3.4.5 電動機	＊始動方式 ・（ ） ・図示による ※ 2.1.5による ・直入始動 ・始動装置による始動	
	1.3.4.11 冷 媒	＊冷 媒 ・（ ） ・図示による	
	1.3.4.13 成績係数	＊数 値 ・（ ） ・図示による	
	1.3.4.14 電動機盤	＊進相コンデンサー（高圧電動機盤） ・設置する ・設置しない ・図示による	
	1.3.4.15 制御盤	＊表2.1.8○印以外で設ける接点及び端子[低圧の場合] ・運転時間表示用端子 ・冷水出入口温度用端子 ・消費電力表示用端子	[表 2.1.8]
	1.3.5 吸収冷凍機		
	1.3.5.11 成績係数	＊数 値 ・（ ） ・図示による	
	1.3.5.12 制御盤	＊表2.1.8○印以外で設ける接点及び端子 ・運転時間表示用端子 ・冷水出入口温度用端子 ・消費電力表示用端子	[表 2.1.8]
	1.3.6 吸収冷温水機		
	1.3.6.1 一般事項	＊排熱熱交換器 ・有 ・無 ・排熱投入型再生器 ・有 ・無	
	1.3.6.3 本 体	＊高温再生器 ・煙管式 ・液管式	
	1.3.6.9 燃焼装置	＊燃焼制御方式 （ ）	
	1.3.6.15 成績係数	＊数 値 ※ グリーン購入法に定める数値[冷房時] ・（ ） ・図示による	
	1.3.6.16 燃料削減率	＊数 値 GG0（ ） GG1（ ）	
	1.3.6.17 制御盤	＊表2.1.8○印以外で設ける接点及び端子 ・運転時間表示用端子 ・冷水出入口温度用端子 ・消費電力表示用端子 ・燃料消費量表示用端子	[表 2.1.8]
	1.3.7 吸収冷温水機ユニット		
	1.3.7.2 本 体	＊高温再生器 ・煙管式 ・液管式	
	1.3.7.6 燃焼装置	＊燃焼制御方式 （ ）	
	1.3.7.12 成績係数	＊数 値 ※ グリーン購入法に定める数値 ・（ ） ・図示による	
	1.3.7.13 制御盤	＊表2.1.8○印以外で設ける接点及び端子 ・運転時間表示用端子 ・冷水出入口温度用端子 ・消費電力表示用端子 ・燃料消費量表示用端子	[表 2.1.8]
	第４節 ｺｰｼﾞｪﾈﾚｰｼｮﾝ装置		
	1.4.2 構 成	＊冷却塔（放熱用） ・設ける ・設けない ・図示による	
	1.4.3 原動機	＊共通台板 水平震度（ ） ・図示による ＊排気ガスの排出規制値 （ ） ・図示による ＊ガスタービン発電装置 原動機のエンクロージャ周囲1mにおける運転音 ※ 90dB（A）以下 ・（ ） 潤滑油系統の配管に設ける冷却器 ※ 空冷式 ・水冷式 ・図示による 運転期間 ・（ ） ・図示による ＊マイクロガスタービン発電装置 マイクロガスタービンの排熱と蒸気又は排ガス吸収式をっ組み合わせる場合 ・（ ）	
	1.4.4 発電機等	＊マイクロガスタービン発電装置 逆変換装置の出力電気方式 ・三相3線式 ・三相4線式 ・単相3線式 ・単相2線式	
	1.4.5 配電盤	＊ディーゼル発電装置 保安装置の外部用端子 ・設ける ・設けない ＊表1.1.7の*印のうち、適用するもの （ ）	[表 1.1.7]
		＊ガスエンジン発電装置 保安装置の外部用端子 ・設ける ・設けない ＊表1.2.3の*印のうち、適用するもの （ ）	[表 1.2.3]
		＊ガスタービン発電装置 保安装置の外部用端子 ・設ける ・設けない ＊表1.3.2の*印のうち、適用するもの （ ）	[表 1.3.2]
	1.4.6 補機付属装置等	＊補機付属装置等（ ） ・設置する ・設置しない	
	1.4.7 熱回収装置		
	1.4.7.1 一般事項	＊構 成 ・温水熱交換器 ・排ガスボイラー ・排ガス熱交換器 ・熱回収用ポンプ ・その他（ ）	
	1.4.7.2 温水熱交換器	＊多管形熱交換器の付属品 ＊鉄はしご ・要 ・不要 ・図示による	
	1.4.7.4 熱回収用ポンプ	＊ｹｰｼﾝｸﾞの材質 ※ FC200以上（JIS G 5501） ・SUS304（JIS G 4305） ・SCS13（JIS G5121） ・図示による ＊電動機の200V三相誘導発電機の始動方式 ※ 表2.1.5による ・（ ）	[表 2.1.5]
	1.4.7.5 制御盤	＊フート弁 口径（ ）mm ＊冷却塔及び冷却水ポンプの制御 ・組込む ・組込まない	
	1.4.14 総合効率	＊数値 ＊発電出力量 （ ） ＊排熱回収量 （ ） ＊燃料投入熱量（低位発熱量） （ ）	
	1.4.16 試 験	＊気密又は満水試験 ・有 ・無 ＊安全弁試験 ・有 ・無	
	第５節 氷蓄熱ユニット		
	1.5.5 冷 媒	＊冷 媒 ・（ ） ・図示による	
	1.5.6 氷生成装置	＊種 類 ・スタティック形（ ・内融式 ・外融式 ・カプセル式） ・ダイナミック形	
	1.5.7 タンク	＊材 質 （ ） ＊設計用水平震度 ※ 図示による ・（ ）	
	1.5.9 成績係数	＊数 値 ※ グリーン購入法に定める数値 ・（ ） ・図示による	
	第６節 冷却塔		
	1.6.5 送風機	＊ケーシング下部の水抜き ・設ける ・設けない ＊電動機（直動形以外） 200V・399V三相誘導発電機の始動方式 ※ 第2編 表2.1.4による ・（ ）	【改修 2編1.2.1】
	1.6.6 電動機	＊200V・400V三相誘導発電機の始動方式 ※ 第2編 表2.1.5による ・（ ）	【改修 2編1.2.1】
	1.6.7 冷却塔用薬液注入装置	＊薬液注入装置の適用 ・適用する ・適用しない ・図示による	
	第７節 空気調和機		
	1.7.1 ユニット形空気調和機		
	1.7.1.1 一般事項	＊1.7.1.1（ア）に挙げられたもの以外で必要な部材 ・（ ） ※ 図示による ＊大温度差送風方式（冷房時14℃以下）の場合の表面結露対策 ・行う ・行わない ・図示による ＊潜熱・顕熱分離型の場合、適用する項目 ・1.7.1.1（オ）(a) ・1.7.1.1（オ）(b) ・1.7.1.1（オ）(c)（形式 ） ＊許容騒音ﾚﾍﾞﾙにおいて設計風量及び全静圧が表3.1.7を超える場合 ・（ ） ・図示による	[表 3.1.7]
	1.7.1.4 加湿器	＊加湿方式 ・蒸気噴霧式 ・水気化式 ・図示による	
	1.7.1.7 送風機	＊送風機の風量において設計風量が表3.1.8を超える場合 ・（ ） ・図示による	[表 3.1.8]
	1.7.1.8 電動機	＊200V・400V三相誘導発電機の始動方式 ※ 第2編 表2.1.5による ・（ ）	【改修 2編1.2.1】
	1.7.2 ｺﾝﾊﾟｸﾄ形空気調和機		
	1.7.2.1 一般事項	＊1.7.2.1（イ）に挙げられたもの以外で必要な部材 ・（ ） ※ 図示による ＊床吹出形のコンパクト型空気調和機 ・1.7.2.1（オ）による ・図示による ＊潜熱・顕熱分離型の場合、適用する項目 ・1.7.2.1（カ）(a) ・1.7.2.1（カ）(b) ・1.7.2.1（カ）(c)（形式 ）	
	1.7.2.4 加湿器	＊加湿方式 ・蒸気噴霧式 ・水気化式 ・図示による	
	1.7.2.7 送風機	＊送風機の風量において設計風量が表3.1.8を超える場合 ・（ ） ・図示による	
	1.7.2.9 エアフィルター	＊メインフィルター ・折込み形（1.8.2）の薄形 ・電気集塵器（ﾊﾟﾈﾙ形）（1.8.5）	
	1.7.2.11 制御盤	＊制御盤 ・適用する（第２編1.2.2による） ・適用しない	[表 2.1.8]
	1.7.3 デシカント空気調和機	＊1.7.3.1（ア）に挙げられたもの以外で必要な部材 ・（ ） ※ 図示による	
	1.7.3.5 加湿器	＊加湿方式 ・蒸気噴霧式 ・水気化式 ・図示による	
	1.7.3.7 送風機	＊送風機の風量において設計風量が表3.1.8を超える場合 ・（ ） ・図示による	[表 3.1.8]
	1.7.3.8 電動機	＊200V・400V三相誘導発電機の始動方式 ※ 第2編 表2.1.5による ・（ ）	【改修 2編1.2.1】
	1.7.4 ファンコイルユニット		
	1.7.4.1 一般事項	＊隠ぺい形で備えるもの ・吸出口 ・吸込口 ・エアフィルター ＊床置形及びローボイ形の露出形の付属品 ・流量調整弁 ・定流量弁 ・（ ） ＊サブドレンパン ・設置する ・設置しない ・図示による	
	1.7.4.6 ドレンパン		
	1.7.4.12 附属品等	＊表3.1.10で適用するもの ・流量調整弁、定流量弁 ・（ ） ・図示による	

株式会社 松浦建築事務所
ＴＥＬ （0561） 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	機械設備工事特記仕様書（３）
縮尺	NS
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松 浦 孔 明
No.	M-003

２０２４年４月１日改訂

編	節・項目	特記事項	備考
第３編 空気調和設備工事	1.7.5 ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形空気調和機		
	1.7.5.1 一般事項	＊床置き屋内機の形式 ・FRV(J) ・FRV(D) ・FRH ・FIH ・FRL ・FIL ・図示による	
	1.7.5.2 構成	＊補助加熱器 ・組込む（ ・温水コイル ・蒸気コイル ・電気ヒーター） ・組込まない	
		＊加湿器 ・組込む ・組込まない	
	1.7.5.3 圧縮機	＊圧縮機の組込 ・屋内機 ※ 屋外機	
	1.7.5.13 エアフィルター	＊ろ材ユニット ・再生式 ・非再生式 ・図示による	
		＊ろ材交換形 ・適用する ・適用しない ・図示による	
	1.7.5.15 冷媒	＊冷 媒 ・（ ） ・図示による	
	1.7.5.16 冷媒管	＊冷媒管 ※ 第２編2.1.2による ・（ ）	
	1.7.5.17 制御盤	＊通用する構成項目 ・進相コンデンサー ・運転時間計	[表 2.1.6]
		＊表2.1.8O印以外で設ける接点及び端子 ・遠方発停用端子 ・温度調整器用端子 ・運転時間表示端子	[表 2.1.8]
	1.7.5.18 ﾘﾓｰﾄｺﾝﾄﾛｰﾗｰ	＊形 式 ※ 屋内機に取付けたもの ※ ワイヤード式 ・ワイヤレス式 ・図示による	
	1.7.6 ﾏﾙﾁﾊﾟｯｹｰｼﾞ形空気調和機		
	1.7.6.1 一般事項	＊屋内機の形式 ・FRV(J) ・FRV(D) ・FRH ・FIH ・FRL ・FIL	
		・CR ・CRK ・CIS ・CID ・CK-1 ・CK-2	
		・WR ・CK-3 ・CK-4 ・FIO ・CIO ・図示による	
	1.7.6.2 構成	＊補助加熱器 ・組込む（ ・温水コイル ・蒸気コイル ・電気ヒーター） ・組込まない	
		＊加湿器 ・組込む ・組込まない	
		＊屋内機の天井吊形の隠ぺい形に備えるもの ・吹出口 ・吸込口 ・エアフィルター ・図示による	
	1.7.6.3 圧縮機	＊圧縮機の組込 ・屋内機 ※ 屋外機	
	1.7.6.14 外気処理ﾕﾆｯﾄ	＊形 式 ・天井吊（隠ぺい）形 ・床置形 ・図示による	
	1.7.6.17 冷媒	＊冷 媒 ・（ ） ・図示による	
	1.7.6.18 冷媒管	＊冷媒管 ※ 第２編2.1.2による ・（ ）	
	1.7.6.19 制御盤	＊通用する構成項目 ・進相コンデンサー ・運転時間計	[表 2.1.6]
		表2.1.8O印以外で設ける接点及び端子 ・遠方発停用端子 ・温度調整器用端子 ・運転時間表示端子	[表 2.1.8]
	1.7.6.20 ﾘﾓｰﾄｺﾝﾄﾛｰﾗｰ	＊リモートコントローラー ※ 集中管理リモコン及び個別リモコンを備えたもの ・（ ）	
		＊1.7.6.20 (a) 以外に必要な集中管理リモコンの機能 ・（ ） ・図示による	
		＊集中管理リモコンにエネルギー管理に関する機能 ・要 ・不要	
		＊個別リモコンの系統区分 ・図示による ・（ ）	
	1.7.7 ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ式空気調和機		
	1.7.7.1 一般事項	＊屋外機運転時の排熱を有効に利用する温水取出機能 ・適用する ・適用しない ・図示による	
		＊屋外機（冷房能力45kW以上）に消費電力自給装置 ・適用する ・適用しない ・図示による	
		＊電源自立型ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ式空気調和機 ・適用する ・適用しない ・図示による	
	1.7.7.2 構成	＊加湿器 ・組込む ・組込まない	
		＊屋内機の天井吊形の隠ぺい形に備えるもの ・吹出口 ・吸込口 ・エアフィルター ・図示による	
	1.7.7.18 外気処理ユニット	＊形 式 ・天井吊（隠ぺい）形 ・床置形	
	1.7.7.21 冷媒	＊冷 媒 ・（ ） ・図示による	
	1.7.7.22 冷媒管	＊冷媒管 ※ 第２編2.1.2による ・（ ）	
	1.7.7.23 成績係数	＊数 値 ※ グリーン購入法に定める数値 ・（ ） ・図示による	
	1.7.7.24 制御盤	＊通用する構成項目 ・進相コンデンサー ・運転時間計	
		表2.1.8O印以外で設ける接点及び端子 ・遠方発停用端子 ・温度調整器用端子 ・運転時間表示端子	[表 2.1.8]
	1.7.7.25 ﾘﾓｰﾄｺﾝﾄﾛｰﾗｰ	＊リモートコントローラー ※ 集中管理リモコン及び個別リモコンを備えたもの ・（ ）	
		＊1.7.6.20 (a) 以外に必要な集中管理リモコンの機能 ・（ ） ・図示による	
		＊集中管理リモコンにエネルギー管理に関する機能 ・要 ・不要	
		＊個別リモコンの系統区分 ・図示による	
	第８節 空気清浄装置		
	1.8.1 ﾊﾟﾈﾙ形ｴｱﾌｨﾙﾀｰ		
	1.8.1.2 ろ材ユニット	＊ろ材ユニット ・再生式 ・非再生式 ・図示による	
		＊ろ材交換形 ・適用する ・適用しない ・図示による	
	1.8.2 折込み形ｴｱﾌｨﾙﾀｰ		
	1.8.2.1 一般事項	＊形 式 ・中性能 ・高性能 ・HEPAフィルター ・図示による	
	1.8.2.2 ろ材ユニット	＊性 能 ※ 表3.1.11による ・（ ）	
		＊ろ材交換形 ・適用する ・適用しない ・図示による	
	1.8.3 自動巻取形ｴｱﾌｨﾙﾀｰ		
	1.8.3.6 制御盤	＊制御盤 表2.1.8O印以外で設ける接点及び端子 ・（ ）	
	1.8.4 電気集じん器（自動巻取形）		
	1.8.4.9 制御盤	＊制御盤 表2.1.8O印以外で設ける接点及び端子 ・（ ）	
	1.8.5 電器集じん器（ﾊﾟﾈﾙ形）		
	1.8.5.7 制御盤	＊制御盤 表2.1.8O印以外で設ける接点及び端子 ・（ ）	
	第９節 全熱交換器		
	1.9.2 回転型全熱交換器		
	1.9.2.3 駆動装置	＊回転数制御装置 ・組込む ・組込まない ・図示による	
	1.9.2.5 電動機	＊200V・400V三相誘導発電機の始動方式 ※ 第2編 表2.1.5による ・（ ）	【改修 2編1.2.1】
	1.9.4 全熱交換ユニット		
	1.9.4.4 付属品	＊運転表示 ・要 ・不要 ＊操作スイッチ ・要 ・不要	
	第10節 放熱器等		
	1.10.1 ファンコンベクター		
	1.10.1.1 一般事項	＊隠ぺい形で備えるもの ・吹出口 ・吸込口 ・エアフィルター ・図示による	
	1.10.5 床暖房		
	1.10.5.1 一般事項	＊方 式 ・温水式 ・電気式 ・図示による	
	1.10.5.2 温水式床暖房	＊温熱源 ・ガス温水熱源機 ・ヒートポンプ給湯機 ・（ ）	
		＊温熱源を複数台接続する場合 ・（ ） ・図示による	
		＊温水式放熱器本体 ・温水パネル式 ・温水マット式	
	1.10.5.3 電気式床暖房	＊発熱ユニット ・発熱ボード ・発熱シート	
	1.10.6 ガス温水熱源機	＊本 体 ・単機能温水熱源機 ・給湯温水熱源機 ・図示による	
		＊形 式 ・据置形 ・壁掛形 ＊給水方式 ・自動給水 ・手動	
	第11節 送風機		
	1.11.1 遠心送風機	＊ケーシングの下部に水抜き穴 ・設ける（ ） ・設けない	
		＊200V・400V三相誘導発電機の始動方式 ※ 第2編 表2.1.5による ・（ ）	【改修 2編1.2.1】
	1.11.2 軸流送風機及び斜流送風機	＊ケーシングの下部に水抜き穴 ・設ける（ ） ・設けない	
		＊200V・400V三相誘導発電機の始動方式 ※ 第2編 表2.1.5による ・（ ）	【改修 2編1.2.1】
	1.11.4 排煙機	＊形 式 ※ 遠心送風機 ・斜流送風機 ・軸流送風機	
		＊電動機 200V・400V三相誘導発電機の始動方式 ※ 第2編 表2.1.5による ・（ ）	【改修 2編1.2.1】
	第12節 ポンプ		
	1.12.1 空調用ポンプ	＊ｹｰｼﾝｸﾞの材質 ※ FC200以上（JIS G 5501） ・SUS304（JIS G 4305） ・SCS13（JIS G5121） ・図示による	
		＊200V・400V三相誘導発電機の始動方式 ※ 第2編 表2.1.5による ・（ ）	【改修 2編1.2.1】
		＊フート弁 口径（ ）mm	
	1.12.2 ボイラー給水ポンプ	＊ｹｰｼﾝｸﾞの材質 ※ FC200以上（JIS G 5501） ・SUS304（JIS G 4305） ・SCS13（JIS G5121） ・図示による	
		＊200V・400V三相誘導発電機の始動方式 ※ 第2編 表2.1.5による ・（ ）	【改修 2編1.2.1】
		＊フート弁 口径（ ）mm	
		＊形 式 ・横 形 ・立 形 ・渦流形 ・図示による	
	1.12.3 真空給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ（真空ポンプ方式）	＊形 式 ・給水ポンプ２台（複式） ・給水ポンプ１台（単式）	
		＊表(制御盤)以外で設ける接点及び端子 ・（ ）	
	1.12.4 真空給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ（エゼクター方式）	＊形 式 ・循環ポンプ２台（複式） ・循環ポンプ１台（単式）	
		＊表(制御盤)以外で設ける接点及び端子 ・（ ）	
		＊制御方式 ＊還水ﾀﾝｸがない場合で循環ﾎﾟﾝﾌﾟが複式の場合の運転方法 ・図示による ・（ ）	
		＊還水ﾀﾝｸがある場合で循環ﾎﾟﾝﾌﾟが複式の場合の運転方法 ・図示による ・（ ）	
	1.12.5 オイルポンプ	＊形 式 ・渦流形 ・歯車形	
	第13節 タンク及びヘッダー		
	1.13.2 還水タンク	＊蒸気管の接続口 ・要 ・不要 ＊温度調節装置の取付座 ・要 ・不要	
		＊材 質 ・SUS 304 ・SUS 316 ・SUS 444	
	1.13.3 多管形熱交換器	＊付属品 鉄はしご ・要 ・不要 ・図示による	
	1.13.5 開放形膨張タンク	＊材 質 ・SUS 304 ・鋼 板（エポキシ樹脂ライニング） ・図示による	
	1.13.6 空調用密閉形隔膜式膨張タンク	＊付属品 溶解栓 ・要 ・不要 ・図示による	

No.4a

編	節・項目	特記事項	備考
第３編 空気調和設備工事	1.13.7 オイルタンク	＊形 式 ・（ ） ・図示による	
	1.13.9 ヘッダー	＊還水管、排水管の接続口 ・設ける ・設けない ・図示による	
	第14節 ダクト及びダクト付属品		【改修 1.2.1】
	1.14.1 一般事項	＊排煙ダクト ※ 亜鉛鉄板製 ・鋼板製 ・図示による	
	1.14.3 長方形ダクト		
	1.14.3.1 ダクトの区分	＊ダクトの区分 ・アングルフランジ工法ダクト ・コーナーボルト工法ダクト ・図示による	
	1.14.3.2 ｺｰﾅｰﾎﾞﾙﾄ工法ﾀﾞｸﾄ	＊コーナーボルト工法ダクト ・共板フランジ工法 ・スライドオンフランジ工法 ・図示による	
	1.14.3.5 板 厚	＊厨房用排気ダクトの板厚 ・（ ）mm ・図示による	
	1.14.6 チャンバー	＊消音内貼 ・設ける ・設けない ・図示による	
	1.14.7 吹出口及び吸出口ﾎﾞｯｸｽ	＊ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ・グラスウール製 ・図示による	
	1.14.8 排気フード	＊フード囲いにダンパー類の点検口 ・設ける（ ） ・設けない ・図示による	
		＊取付けるコック等 ・黄銅製コック ・黄銅製プラグ ・ステンレス製コック ・図示による	
	1.14.11 グリス除去装置	＊グリス除去装置 ・グリスエクストラクター ・グリスフィルター ・図示による	
	第15節 制気口及びダンパー		【改修 1.3.1】
	1.15.3 吹出口		
	1.15.3.1 ｼｰﾘﾝｸﾞﾃﾞｨﾌｭｰｻﾞｰ	＊オートコーン上下機構付シーリングディフューザー ・適用する ・適用しない ・図示による	
		＊低温送風形シーリングディフューザー ・適用する ・適用しない ・図示による	
	1.15.3.5 床吹出口	＊ケーシングに送風機及びモーターダンパーを組込む場合 ・（ ） ・図示による	
	1.15.14 変風量ユニット	＊風量制御をDDCからの制御信号により ・行う ・行わない ・図示による	
	第２章 施 工		
	第１節 機器の据付け及び取付け		
	2.1.1 一般事項	＊基 礎 ・標準基礎 （大きさ ※ 図示による ・（ × ）） ・防振基礎	【改修 2.1.1】
		＊機器の設計用震度 ※ 2.1.1 (5) （ア）（イ）[改修は2.1.1 (4) （ア）（イ）]による（ ）	[表 3.2.1]
	2.1.8 ｺｰｼﾞｪﾈﾚｰｼｮﾝ装置	＊排ガス管、排ガスダクトの保温材の厚さ ・（ ）mm	【改修 2.1.9】
	2.1.18 送風機		【改修 2.1.19】
	2.1.18.1 遠心送風機	＊床置形の基礎の形式 ※ 標準基礎（標準図（基礎施工要領（四））） ・防振基礎	【改修 2.1.19.1】
		＊防振基礎の場合 ＊防振材 ・（ ）＊振動絶縁効率 ・（ ）	
	2.1.19 ポンプ	＊防振基礎の場合 ＊防振材 ・（ ）＊振動絶縁効率 ※ 80%以上 ・（ ）	【改修 2.1.20】
	第２節 ダクトの取付け		
	2.2.1 一般事項	＊多湿箇所の排気ダクトの水抜管 ・設ける ・設けない	【改修 2.2.1】
	2.2.6 ダクト付属品		【改修 2.2.6】
	2.2.6.3 風量測定口	＊取付け位置 ※ 図示による ・（ ）	【改修 2.2.6.5】
	【改修】2.2.6 既設ﾀﾞｸﾄの再利用	＊ダクト内清掃 ・行 う ・行わない ・図示による	
	【改修】2.2.7 ダクト清掃	＊ダクト清掃の工法 ・（ ） ・図示による	
		＊既存状態の調査・記録する場所及び箇所数 ・（ ） ・図示による	
		＊吹出口、吸込口、ダンパー等の再取付け前の清掃 ・行 う ・行わない	
		＊ダクト内粉じんの捕集方法 ※ 集じん装置又は集じんﾌｨﾙﾀｰ ・図示による	
		＊清掃後のﾀﾞｸﾄ内面状態の記録写真 ＊記録場所 ・（ ） ＊箇所数 ・（ ）	
		＊仮設ダクト ・設ける ・設けない ・図示による	
	【改修】第4節 撤 去		
	【改修】2.4.5 既設ﾀﾞｸﾄの撤去	＊撤去範囲 ※ 図示による ・（ ）	
第４編 自動制御設備工事	第１章 機 材		
	第１節 総 則		
	1.1.1 一般事項	＊自動制御のシステム構成及び機能 ※ 図示による ・（ ）	【改修 1.1.1】
	【改修】1.1.1 一般事項	＊再使用品 ・有 ・無 ・図示による	
	第２節 自動制御機器		
	1.2.2 調節部	＊中央監視制御装置との通信機能 ・有 ・無 ・図示による	
	【改修】1.2.2 盤類の改造	＊盤類の改造（1.2.2 (1)（ア）～（エ）以外） ・有 （ ） ・無 ・図示による	
		＊中央監視装置のソフトの追加、変更及び機能変更 ・有 （ ） ・無 ・図示による	
	1.2.3 操作部		
	1.2.3.1 電動弁	＊弁の耐圧 ※ 1.0MPa ・（ ） ・図示による	
		＊電気接点（開閉状態の遠方表示用） ・設ける（ ） ・設けない ・図示による	
	1.2.3.2 電磁弁	＊弁の耐圧 ※ 1.0MPa ・（ ） ・図示による	
	第３節 自動制御盤		
	1.3.3 キャビネット	＊屋内用キャビネット ※ 防錆処理を施した鋼板t=1.6mm ・ステンレス鋼板t=1.2mm ・（ ）	
	第４節 中央監視制御装置		
	1.4.1 一般事項	＊システムの構成及び機能 ※ 図示による ・（ ）	
	1.4.2 中央監視盤		
	1.4.2.1 構 成	＊システム構成 ・中央処理装置 ・補助記憶装置 ・表示装置 ・ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾟﾈﾙ ・操作器	
		・操作卓 ・伝送制御装置 ・電源装置 ・（ ）	
		＊形 式 ※ 図示による ・（ ）	
	1.4.2.2 中央処理装置	＊主記憶部の記憶容量 ・（ ） ・図示による	[表 4.1.3]
		＊監視制御機能 ※ 図示による ・監視機能・表示機能・操作機能（ ） 制御機能 （ ）	
		データ管理機能 （ ） 保全業務支援機能 （ ）	
	1.4.2.3 補助記憶装置	＊形 式 ※ 図示による ・（ ）	
	1.4.2.4 表示装置	＊表示装置 ・デスクトップ型 ・壁掛型 ・壁掛分離型 ・図示による	[表 4.1.4]
		＊表4.1.4 表示装置機能に示す表示内容以外に計測データ等を表示する場合 ・（ ） ・図示による	
		＊表示点数 ・（ ）	
	1.4.2.5 副表示装置	＊画面 ・液晶ディスプレイ ・グラフィックパネル	
		＊液晶ディスプレイとする場合の表4.1.4表示装置機能に示す表示装置以外に計測データ等を表示する場合 ・（ ） ・図示による	
		＊グラフィックパネルとする場合の 形式 ・合成樹脂パネル ・鋼板パネル ・合成樹脂モザイクパネル	
		表示項目及び表示点数 ・（ ） ・図示による	
	1.4.2.7 操作卓	＊寸 法 ※ 図示による ・（ ）	
	1.4.2.9 電源装置	＊交流無停電電源装置 ・適用する ・適用しない	[表 4.1.5]
		＊停電補償時間 ・（ ）	
	1.4.3 周辺装置		
	1.4.3.1 記録(印字)装置	＊印字方式 ・インクジェット方式 ・レーザー方式 ・図示による	[表 4.1.6]
	1.4.3.3 インターホン	＊通話方式及び設置場所 ・図示による ・（ ） ・適用しない	
	1.4.4 端末装置	＊DDC（ダイレクトデジタルコントローラー）	
		熱源用DDC機能 ※ （ ）表4.1.7による ・図示による	[表 4.1.7]
		空調用ＤＤＣ機能 ※ （ ）表4.1.8による ・図示による	[表 4.1.8]
		ＶＡＶ用ＤＤＣ機能 ※ （ ）表4.1.8による ・図示による	〃
		ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄＤＤＣ機能 ※ （ ）表4.1.9による ・図示による	[表 4.1.9]
		ﾕｰｻﾞｰﾀｰﾐﾅﾙ機能 ※ （ ）表4.1.10による ・図示による	[表 4.1.10]
	第５節 計装用機材		
	1.5.1 電気計装用機材	＊合成樹脂製可とう電線管（PF管） ※ 単層管 ・図示による ・（ ）	[表 4.1.14]
	第２章 施 工		
	第３節		
	2.3.1 配 線	＊機器の水平震度及び鉛直震度 ※ 図示による ・（ ）	
		＊横引き配管等の耐震支持 ※ 一般の施設 ・特定の施設 ・図示による	[表 4.2.1]
		＊垂直配管 ※ 一般の施設 ・特定の施設 ・図示による	[表 4.2.2]
	【改修】第2章 施 工		
	【改修】第5節 撤 去		
	【改修】2.5.2 既存設備の撤去	＊電線管、配線等の撤去範囲 ※ 図示による ・（ ）	

株式会社 松浦建築事務所
ＴＥＬ (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称 機械設備工事特記仕様書（４）

縮尺 NS

製図 令和08年03月

１級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. M-004

編	節・項目	特記事項	備考
第５編 給排水衛生設備工事	第１章 機材		【改修 1章1節】
	第１節 衛生器具		
	1.1.1 一般事項	＊ 衛生陶器の附属品及び水栓、洗浄弁、洗浄管等の見え掛り部の材質 ※ ニッケルクロムめっき ・ ステンレス製	
	1.1.2 衛生陶器及び付属品	＊ 付属水栓[自動水栓の場合] 電源種別 ・ AC電源 ・ 乾電池 ・ 自己発電 手動スイッチ ・ 有 ・ 無 ＊ 小便器用節水装置 ・ 小便器一体型 ・ 小便器分離型 ＊ 大便器用便座 ※ 温水洗浄便座 ・ 普通便座 ＊ 洋風便器の附属品（ｽﾃﾝﾚｽ製ﾚｽﾄﾊﾞｰﾊﾞｰ&ホルダー） ・ 要 ・ 不要 ＊ 紙巻器のﾜﾝﾊﾝﾄﾞｶｯﾄ機能 ・ 要 ・ 不要 ＊ 背もたれ ※ 設けない ・ 設ける	
	1.1.3 衛生器具ユニット		
	1.1.3.1 大便器ユニット	＊ 大便器の種類及び洗浄弁の組合せ ・（ ） ・ 図示による ＊ 給水管 ・（ ） ・ 図示による ＊ 通気管 ・（ ） ・ 図示による ＊ 排水管 ※ 塩ビ排水管 ・（ ） ＊ ケーシングの化粧前板の仕様 （ ） ＊ ケーシングの甲板の仕様 （ ）	
	1.1.3.2 小便器ユニット	＊ 小便器の種類及び節水装置の組合せ ・（ ） ・ 図示による ＊ 給水管 ・（ ） ・ 図示による ＊ 通気管 ・（ ） ・ 図示による ＊ 排水管 ※ 塩ビ排水管 ・（ ） ＊ ケーシングの化粧前板の仕様 （ ） ＊ ケーシングの甲板の仕様 （ ）	
	1.1.3.3 洗面器ユニット	＊ 洗面器の種類 ・（ ） ・ 図示による ＊ 給湯管 ・ 要 ・ 不要 ＊ 給水管 ・（ ） ・ 図示による ＊ 通気管 ・（ ） ・ 図示による ＊ 排水管 ※ 塩ビ排水管 ・（ ） ＊ ケーシングの化粧前板の仕様 （ ） ＊ ケーシングの甲板の仕様 （ ）	
	1.1.3.4 壁掛形汚物流しﾕﾆｯﾄ	＊ 汚物流しの種類、ホース付ストーマ装具洗浄用水栓及び給湯方式 ・（ ） ・ 図示による ＊ 給水管 ・（ ） ・ 図示による ＊ 通気管 ・（ ） ・ 図示による ＊ 排水管 ※ 塩ビ排水管 ・（ ） ＊ ケーシングの化粧前板の仕様 （ ） ＊ ケーシングの甲板の仕様 （ ）	
	1.1.3.5 その他のユニット	＊ 掃除流しユニットの仕様 ・（ ） ・ 図示による ＊ 手洗器ユニットの仕様 ・（ ） ・ 図示による ＊ 車椅子対応ユニットの仕様 ・（ ） ・ 図示による	
	1.1.4 浴室ユニット	＊ 仕様等 ※ 図示による ・	

仕様	壁		床		天井	
配管	給水管	・要・不要		給湯管	・要・不要	
浴槽	材質			大きさ		
	高断熱性能	・要・不要		浴槽ふた（ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製）	・要・不要	
照明	種類					
付属品	建具			鏡		
	排水トラップ			タオル掛け		

	1.1.5 複合浴室ユニット	＊ 仕様等 ※ 図示による ・				

仕様	壁		床		天井	
配管	給水管	・要・不要		給湯管	・要・不要	
浴槽	材質			大きさ		
複合設備	大便器			洗面器		
照明	種類					
付属品	建具			鏡		
	排水トラップ			石けん受け・握りバー		
	タオル棚・タオル掛け			紙巻器		
	シャワーカーテン			化粧棚		
	コンセント（AC 100V）					

	1.1.7 自動水栓	＊ 電源種別 ・ AC電源 ・ 乾電池 ・ 自己発電 ＊ 手動スイッチ ・ 有 ・ 無	
	1.1.8 大便器用洗浄弁	＊ 操作方式 ・ 手動式 ・ 電気開閉式（ ・ センサー式 ・ タッチスイッチ式）	
	1.1.9 鏡	＊ 大きさ ・（ × ） ※ 図示による	
	1.1.10 化粧鏡	＊ 大きさ ・（ × ） ※ 図示による	
	1.1.11 水石けん入れ	＊ 型式 ・ 手洗器一体型 ・ 手洗器分離型 ＊ 自動供給式 ・ 適用する ・ 適用しない	
	1.1.13 温水洗浄便座	＊ 温水洗浄機能の加熱方式 ・ 貯湯式 ・ 瞬間式 ＊ 付加機能 ・ 温風乾燥機能 ・ 擬音装置 ・ リモコン	
	【改修】第1節 機器・器具		
	【改修】1.1.2 試験	＊ 分割搬入の必要のある機器の試験 ・ 行わない ・ 行う（ ）	
	第２節 ポンプ		
	1.2.1 揚水用ポンプ（横形）	＊ 電動機 200V・400V三相誘導発電機の始動方式 ※ 第2編 表2.1.5 ・（ ） ＊ フート弁の呼び径 ・（ ） ※ 図示による ＊ フート弁の呼び径 ・（ ） ※ 図示による	
	1.2.2 揚水用ポンプ（立形）		
	1.2.3 小型給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ	＊ 制御方式 ・ 吐出し圧力一定制御 ・ 末端圧力推定制御 ・ 図示による ＊ 運転方式 ・（ ） ※ 図示による ＊ 24時間強制ﾛｰﾃｰｼｮﾝ機能 ・ 有 ・ 無	
	1.2.4 水道用直結加圧形ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ	＊ 逆流防止装置の設置位置 ※ 吸込側 ・（ ） ・ 図示による	
	1.2.5 深井戸用水中ﾓｰﾀｰﾎﾟﾝﾌﾟ	＊ ケーシングの材質 ・ 図示による ・ JIS G 4305（冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯）のSUS304 ※ JIS G5501（ねずみ鋳鉄品）FC200以上 ・ JIS G 5121（ステンレス鋼鋳鉄品）のSC13 ＊ 揚水管の材質 ・（ ） ・ 図示による ＊ 制御ケーブルの長さ ・（ ） ・ 図示による ＊ 水中ケーブルの長さ ・（ ） ・ 図示による	
	1.2.7 汚水、雑排水及び汚物用水中ﾓｰﾀｰﾎﾟﾝﾌﾟ	＊ ケーシングの材料 ・ FC150以上、CAC406、SUS304又はSCS13 ・ 合成樹脂製 ・ 図示による ＊ 羽根車の材質 ・ FC150以上、CAC406、SUS304又はSCS13 ・ 合成樹脂製 ・ 図示による ＊ 水中形三相誘導電動機 ・ 油封式 ・ 乾式 ＊ 電動機の極数 ※ ４極 ※ ６極 ・（ ）極 ＊ 着脱装置 ・（ ） ・ 図示による ＊ ストレーナー ・ 要 ・ 不要 ＊ 水中ケーブル長さ ・（ ） ・ 図示による	
	1.2.8 消火ポンプユニット	＊ ケーシングの材質 ・ 図示による ・ JIS G 4305（冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯）のSUS304 ※ JIS G5501（ねずみ鋳鉄品）FC200以上 ・ JIS G 5121（ステンレス鋼鋳鉄品）のSC13 ＊ 電動機 200V・400V三相誘導発電機の始動方式 ※ 第2編 表2.1.5 ・（ ） ＊ フート弁の呼び径 ・（ ） ・ 図示による	
	第３節 温水発生機等		
	1.3.1 真空式温水発生機	＊ 燃焼装置の燃焼制御方式[真空式温水発生機、無圧式温水発生機の場合] ・（ ）	
	1.3.2 無圧式温水発生機	＊ 容量調節装置の燃焼制御方式 ・（ ）	
	1.3.3 木質バイオマスボイラー（真空式温水発生機）	＊ 制御盤[定格出力186kwを超える場合] ＊ 適応する構成項目 ・ 進相コンデンサー ・ 運転時間計	[表 2.1.6]
	1.3.4 木質バイオマスボイラー（無圧式温水発生機）	＊ 表2.1.8○印以外で設ける接点及び端子 ・ 運転時間表示用端子 ・（ ）	[表 2.1.8]
		インバーター制御を行う場合の制御盤における1.2.2.2の適用 ※ 適用する ・ 適用しない インバーター制御を行う場合のインバーター回路の高調波対策 ・ 要 ・ 不要	
	1.3.5 ｺｰｼﾞｪﾈﾚｰｼｮﾝ装置		
	1.3.5.1 排熱回収型給湯器	＊ 貯湯タンク容量 ・（ ） ※ 300L以上 ・ 図示による ＊ 補助熱源機（ガス給湯器） 給湯方式 ・ 貯湯式 ・ 瞬間式 補助熱源機（潜熱回収型給湯器）熱効率 ※ ９０%以上（基準総発熱量） ・（ ） ＊ 温水熱交換器 銅製はしご ・ 要 ・ 不要	

編	節・項目	特記事項	備考
第５編 給排水衛生設備工事	1.3.7 潜熱回収型給湯器	＊ 熱効率 ※ ９０%以上（基準総発熱量） ・（ ） ・ 図示による	
	1.3.8 貯湯式電気温水器	＊ 制御盤へ節電機能 ・ 組込む ・ 組込まない ・ 図示による	
	1.3.9 ヒートポンプ給湯器	＊ 貯湯タンク容量 ・（ ） ・ 図示による	
	1.3.10 排気筒	＊ 外気開放の場合の頂部の形状 ・（ ） ・ 図示による	
	1.3.11 太陽熱集熱器	＊ 形式 ・ 平板形 ・ 真空ガラス管形 ・ 図示による ＊ ケーシングの材質 ・ 亜鉛鉄板 ・ アルミニウム板 ・ ステンレス鋼板 ・ 図示による	
	1.3.12 太陽熱蓄熱槽	＊ 補助熱源 ・ 組込む ・ 組込まない ・ 図示による ＊ ケーシングの材質 ・ 亜鉛鉄板 ・ アルミニウム板 ・ ステンレス鋼板 ・ 図示による	
	第４節 タンク		
	1.4.1 一般事項	＊ 設計用水平震度 ※ 図示による ・（ ） ＊ 鋼板製タンクの塗装 塗料種別 合成樹脂調合ペイント塗りの塗料 ※ JIS K 5516 1種 ・（ ） アルミニウムペイント塗りの塗料 ※ JIS K 5492 ・（ ）	
	1.4.2 タンク		
	1.4.2.1 FRP製一体形ﾀﾝｸ	＊ 給水栓用配管の接続口 ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による	
	1.4.2.2 FRP製ﾊﾟﾈﾙﾀﾝｸ	＊ パネルタンク ※ 複合板形パネルタンク ・ 単板形パネルタンク ・ 図示による ＊ 電極棒の切替等によりタンクの容量制御を行う場合の気相部の水位レベル ・（ ） ・ 図示による	
	1.4.2.3 鋼板製一体形ﾀﾝｸ	＊ 乾燥方法 ※ 加熱硬化 ・（ ） ・ 図示による ＊ 給水栓用配管の接続口 ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による	
	1.4.2.4 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板製ﾊﾟﾈﾙﾀﾝｸ（溶接組立型）	＊ 保温（タンク外部） ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による ＊ 給水栓用配管の接続口 ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による ＊ 電極棒の切替等によりタンクの容量制御を行う場合の気相部の水位レベル ・（ ） ・ 図示による	
	1.4.2.5 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板製ﾊﾟﾈﾙﾀﾝｸ（ﾎﾞﾙﾄ組立型）	＊ 保温（タンク外部） ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による ＊ 給水栓用配管の接続口 ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による ＊ 電極棒の切替等によりタンクの容量制御を行う場合の気相部の水位レベル ・（ ） ・ 図示による	
	1.4.3 貯湯タンク	＊ 電気防食措置 ※ 外部電源方式 ・ 流電陽極方式 ※ 併用方式（マンホール部、管板部）	
	1.4.4 給湯用膨張・補給水ﾀﾝｸ	＊ 本体の材質 ・ 鋼板（エポキシ樹脂ライニング） ・ SUS304 ＊ 付属品 鋼製はしご ・ 要 ・ 不要 ＊ 乾燥方法 ※ 加熱硬化 ・（ ） ・ 図示による	
	1.4.5 給湯用密閉形膨張式膨張タンク	＊ 付属品 溶解栓 ・ 要 ・ 不要	
	1.4.6 消火用充水タンク	＊ 本体の材質（開放形膨張ﾀﾝｸの場合） ・ 鋼板（エポキシ樹脂ライニング） ・ SUS304 ・ 図示による ＊ 付属品（開放形膨張ﾀﾝｸの場合） 鋼製はしご ・ 要 ・ 不要 ＊ 保温（タンク外部）（ｽﾃﾝﾚｽ鋼板製ﾊﾟﾈﾙﾀﾝｸの場合） ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による ＊ 給水栓用配管の接続口（ｽﾃﾝﾚｽ鋼板製ﾊﾟﾈﾙﾀﾝｸの場合） ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による ＊ 電極棒の切替等によりタンクの容量制御を行う場合の気相部の水位レベル ・（ ） ・ 図示による	
	第５節 消火機器		【改修 1章第2節】
	1.5.3 連結送水管		
	1.5.3.1 送水口	＊ 送水口 ・ 青銅製（呼称65） ・ ステンレス製（呼称65） ＊ 型式 ・ 壁埋込型 ・ スタンド型	
	1.5.3.2 放水口	＊ 材質 ・ 青銅製 ・ ステンレス鋳物製 ＊ 呼称 ・ 50 ・ 65	
	1.5.4 屋外消火栓		
	1.5.4.1 屋外消火栓開閉弁	＊ 材質（地上式） ・ 鋳鉄製（要部青銅製） ・ ステンレス鋳物製	
	1.5.4.2 屋外消火栓箱	＊ 材質 ※ 鋼板（厚さ1.6mm以上） ・ ステンレス鋼板（厚さ1.5mm以上） ＊ 形状 ※ 自立形片流れ屋根付き	
	1.5.5 スプリンクラー		
	1.5.5.1 ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰﾍｯﾄﾞ	＊ 閉鎖型ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰﾍｯﾄﾞの種別 ・（ ） ・ 図示による	[表 5.1.5]
		＊ ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ用送水口 ・ 青銅製（呼称65） ・ ステンレス製（呼称65） ＊ 型式 ・ 壁埋込型 ・ スタンド型	
	1.5.8 泡消火		
	1.5.8.1 泡消火薬剤	＊ 泡消火薬剤 ※ 水成膜泡消火薬剤 ・ 合成界面活性剤泡消火薬剤 ・ 図示による	
	1.5.8.3 感知用ヘッド	＊ 形式 ・（ ） ・ 図示による	
	1.5.10 連結散水		
	1.5.10.1 散水ヘッド	＊ 形式 ・ 開放型散水ヘッド ・ 閉鎖型スプリンクラーヘッド ・ 図示による	
	1.5.10.3 送水口	＊ 送水口 ・ 青銅製（呼称65） ・ ステンレス製（呼称65） ＊ 型式 ・ 壁埋込型 ・ スタンド型 ＊ １の送水区域の散水ヘッド数が４以下のもの ・ 単口形 ・（ ） ・ 図示による	
	第６節 厨房機器		
	1.6.1 一般事項	＊ 熱調理器で固定金具等で床等に固定するもの ・（ ） ・ 図示による ＊ 安全装置の各機材への適用で表5.1.7の△印を適用する機材 ※ 図示による ・（ ）	[表 5.1.7]
	1.6.4 板金製品		
	1.6.4.1 流し	＊ 流しの下部に設けるもの ※ すのこ（ ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板製(0.8mm以上) ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼管製(0.8mm以上)） ・ 戸棚 ＊ 流しトラップ ※ 合成樹脂製 ・（ ） ・ 図示による	
	1.6.4.2 作業台（調理台、脇台、盛付台等）	＊ 作業台の下部に設けるもの ※ すのこ（ ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板製(0.8mm以上) ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼管製(0.8mm以上)） ・ 戸棚	
	1.6.4.4 棚	＊ 段数 ・（ ）・ 図示による	
	1.6.5 熱調理器		
	1.6.5.4 ｶﾞｽﾃｰﾌﾞﾙﾚﾝｼﾞ	・ 丸五徳型の甲板 ※ 鋳鉄製t=10mm以上 ※ ステンレス鋼板製t=2.0mm以上 ・ ステンレス鋼板製t=1.2mm以上 ＊ すのこ ・ 設ける（ ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板製(0.8mm以上) ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼管製(0.8mm以上)） ・ 設けない	
	1.6.5.5 電気ﾃｰﾌﾞﾙﾚﾝｼﾞ	＊ すのこ ・ 設ける（ ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板製(0.8mm以上) ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼管製(0.8mm以上)） ・ 設けない	
	1.6.5.6 揚物器（ﾌﾗｲﾔｰ）	＊ 加熱方式 ・ ガス式 ・ 電気式 ・ 図示による	
	1.6.5.7 炊飯器	＊ 加熱方式 ・ ガス式 ・ 電気式 ・ 図示による	
	1.6.5.8 焼物器	＊ 形式 ・ オーブン形 ・ 開放形 ・ 図示による ＊ 加熱方式 ・ ガス式 ・ 電気式 ・ 図示による	
	1.6.5.9 煮炊釜	＊ 加熱方式 ・ ガス式 ・ 電気式 ・ 図示による	
	1.6.6 食器洗浄機	＊ 加熱方式 ・ ガス式 ・ 電気式 ・ 図示による	
	第７節 排水金具		
	1.7.6 排水金物	＊ 排水共栓 ※ ステンレス製 ・ 黄銅製 ・ 図示による	
	1.7.7 通気金具	＊ 防錆処理（見え掛かり部がねずみ鋳鉄製の場合） ・ 溶融亜鉛めっき ・（ ）	
	1.7.8 グリース阻集器	＊ 本体材質 ※ ステンレス鋼板製 ・ 強化プラスチック製（FRP） ・ 鋳鉄製	
	第９節 雨水利用機器		
	1.9.1 雨水電動遮断弁	＊ 遮断弁の種類 ・ ナイフ仕切弁 偏心式プラグ弁 ・ バタフライ弁 ＊ 遮断弁の開閉状態の遠方表示用接点、端子等 ・ 設ける ・ 設けない	
	1.9.2 網かご形ｽｸﾘｰﾝ（床置形）	＊ 本体の目幅 有効間隔 ※ 5mm ・（ ）mm	
	1.9.3 移送ポンプ	＊ ケーシングの材質 ・（ ） ・ 1.2.7(3)の金属製 ・ 合成樹脂製 ＊ 羽根車の材質 ・（ ） ・ 1.2.7(4)の金属製 ・ 合成樹脂製 ＊ 水中形三相誘導電動機 ・ 油封式 ・ 乾式 ＊ 着脱装置 ・（ ） 付属品 ストレーナー ・ 要 ・ 不要 水中ケーブル長さ ・（ ）	
	1.9.4 薬液注入装置	＊ 仕様 ・（ ）	

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	機械設備工事特記仕様書（５）
縮尺	NS
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	M-005

２０２４年４月１日改訂

編	節・項目	特記事項	備考
第5編 給排水衛生設備工事	第２章 施工		
	第２節 給排水衛生機器		
	2.2.1 一般事項	＊基礎 ・ 標準基礎（大きさ ※ 図示による ・（ × ））・ 防振基礎	【改修 2.1.1】
		＊設計用震度 ※ 2.1.1（5）（ア）（イ）[改修は2.1.1（4）（ア）（イ）]による ・（ ）	[表 3.2.1]
	2.2.2 ポンプ		【改修 2.2.2】
	2.2.2.1 揚水用ﾎﾟﾝﾌﾟ（横形）及び小形給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ	＊防振材 ・（ ）	
		＊振動絶縁効率 ※ 80%以上 ・（ ）	
	2.2.3 温水発生機等		
	2.2.3.2 ｺｰｼﾞｪﾈﾚｰｼｮﾝ装置	＊コージェネレーション装置 排ガス管、排ガスダクトの保温材の厚さ ・（ ）㎜	【改修 2.2.3】
	2.2.3.4 ガス湯沸器	＊基礎 ・ 標準基礎（大きさ ※ 図示による ・（ × ））・ 防振基礎	【改修 2.1.1】
	2.2.3.5 潜熱回収型給湯器	＊設計用震度 ※ 2.1.1（5）（ア）（イ）[改修は2.1.1（4）（ア）（イ）]による（ ）	[表 3.2.1]
	2.2.3.6 貯湯式電気温水器		
	2.2.3.7 ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ給湯機		【改修 2.2.4】
	2.2.4 タンク		
	2.2.4.1 FRP製、鋼板製及びｽﾃﾝﾚｽ鋼板製ﾀﾝｸ	＊基礎の形式 ・ 標準基礎（大きさ ※ 図示による ・（ ））・ 防振基礎	
		＊設計用震度 ※ 2.1.1（5）（ア）（イ）[改修は2.1.1（4）（ア）（イ）]による ・（ ）	[表 3.2.1]
	2.2.6 厨房機器	＊床又は壁に固定する機器 ・ 図示による ・（ ）	【改修 2.2.6】
	【改修】2.2.機器・器具の使用	＊再使用する機材の取外し前に確認する状態及び性能・機能 ※ 図示による ・（ ）	
		＊取外し後、特別な清掃を行う機材及びその方法 ※ 図示による ・（ ）	
第6編 ガス設備工事	第１章 一般事項		
	第１節 総則		
	1.1.1 一般事項	＊都市ガス設備 都市ガス供給会社による責任施工とする。但し検査結果報告書等の提出を行うものとする。	【改修1.1.1】
		＊液化石油ガス設備 施工は、液化石油ガス設備士が行うものとする。	
	第２章 都市ガス設備		
	第１節 機材		
	2.1.1 管及び継手	＊管及び継手 ・（ ）表6.2.1による ・ 図示による	[表 6.2.1]
	2.1.3 ガス漏れ警報器	＊外部出力端子 ・ 有 ・ 無 ・ 図示による	
	2.1.4 ガス漏れ警報設備	＊外部出力端子 ・ 有 ・ 無 ・ 図示による	
	2.1.7 ガスメーター	＊計量方式 ・ 実測式 ・ パルス式	
	2.1.8 配管用雑材料	＊スリーブの仕様 ※ 第2編 2.2.27(2)による ・（ ）	
	第２節 施工		
	2.2.3 配管		【改修 2.2.3】
	2.2.3.1 一般事項	＊地中埋設標（屋外埋設管の分岐及び曲り部）の設置箇所 ※ 図示による ・（ ）	【改修 2.2.3.1】
	2.2.3.2 吊り及び支持	＊第2編 表2.2.20（改修は表2.2.6）の形鋼振れ止め支持不要箇所のうち特記により必要とする場合 必要箇所、分類、支持間隔 ・（ ）	【改修 2.2.3.2】
	2.2.4 塗装	＊塗料種別 合成樹脂調合ペイント塗りの塗料 ※ JIS K 5516 1種 ・（ ）	
		アルミニウムペイント塗りの塗料 ※ JIS K 5492 ・（ ）	
	第３章 液化石油ガス設備		
	第１節 機材		
	3.1.1 管及び継手	＊管及び継手 ・（ ）表6.3.1による ・ 図示による	[表 6.3.1]
	3.1.3 充てん容器その他		
	3.1.3.6 ガス漏れ警報器	＊外部出力端子 ・ 有 ・ 無 ・ 図示による	
	3.1.4 配管用雑材料	＊スリーブの仕様 ※ 第2編 2.2.27(2)による ・（ ）	
	第２節 施工		
	3.2.2 管の接合	＊鋼管の接合溶接部の非破壊検査 ・ 行う ・ 行わない	【改修 2.3.2】
		＊検査の種類及び抜取率 ・（ ） ＊抜取率 ・（ ）	
	3.2.3 配管	＊地中埋設標（屋外埋設管の分岐及び曲り部）の設置箇所 ※ 図示による ・（ ）	
	3.2.4 塗装	＊塗料種別 合成樹脂調合ペイント塗りの塗料 ※ JIS K 5516 1種 ・（ ）	
		アルミニウムペイント塗りの塗料 ※ JIS K 5492 ・（ ）	
	【改修】第4章 撤去		
	【改修】2.4.2 既存設備の撤去	＊既存配管等の撤去範囲 ※ 図示による ・（ ）	
第7編 さく井設備工事	第１章 一般事項		
	第２節 事前調査		
	1.2.1 事前調査	＊揚水井 ・ 既設井分布調査 ・ 法的規制調査 ・ 地表探査 ・ 周辺環境調査（騒音・振動測定）	
		＊地中熱交換井 ・ 既設井分布調査 ・ 法的規制調査 ・ 地質情報の収集・整理	
		・ 代表井による熱交換効率の把握（方法： ）・ 周辺環境調査	
	第２章 揚水井設備		
	第１節 機材及び施工		
	2.1.1 掘さく	＊工法 ・ パーカッション式 ・ ロータリー式 ・ ダウンザホールハンマ式 ・ 回転振動式	
		＊孔口保護管の深度 ・（ ） ・ 図示による	
		＊仮設ケーシング ・ 使用する ・ 使用しない	
		＊ケーシング挿入の安全確認 ・ 行う（ ・ 傾斜測定 ・ ガイド管の降下試験） ・ 行わない	
	2.1.2 電気検層	＊測定方法 ※ 連続測定 ・ スポット測定（深度1mごと）	
	2.1.3 ケーシング	＊管材 ※ 配管用炭素鋼鋼管（JIS G 3452） ・ 配管用ステンレス鋼鋼管（JIS G 3459）	
	第３章 地中熱交換井設備		
	第１節 機材及び施工		
	3.1.1 掘さく	＊工法 ・ 回転振動式 ・ ロータリー式 ・ ダウンザホールハンマ式 ・ ロータリーパーカッション式	
第8編 浄化槽設備工事	第１章 一般事項		
	第１節 総則		
	1.1.1 一般事項	＊型式 ・ 現場施工型 ・ ユニット型 ＊処理種別 ・ 小規模合併処理 ・ 合併処理	[表 8.1.1]
		＊処理性能 ＊BOD除去率 ・ 90%以上 ・ 95%以上 ＊BOD濃度 ・ 10mg/L以下 ・ 20mg/L以下	
		＊COD濃度 ・ 規定なし ・ 10mg/L以下 ＊T-P濃度 ・ 規定なし ・ 1mg/L以下	
		＊T-N濃度 ・ 規定なし ・ 10mg/L以下 ・ 15mg/L以下 ・ 20mg/L以下	
		＊方式 ・（ ） ・ 図示による	
	1.1.2 施工範囲	＊送風機室 ・ 設置する （ 仕様等 ※ 図示による ・（ ）） ・ 設置しない	[表 8.1.2]
		＊防護さく ・ 設置する （ 仕様等 ※ 図示による ・（ ）） ・ 設置しない	
		＊ｺﾝｸﾘｰﾄ躯体工事 ・ 設置する （ 仕様等 ※ 図示による ・（ ）） ・ 設置しない	
		＊ユニット型 ・ 土工事 ・ 地業工事 ・ コンクリート工事 ・ 左官工事	
	第２章 現場施工型浄化槽		
	第３章 ユニット型浄化槽		
	第１節 機材		
	2.1.1(3.1.1) スクリーン	＊電動機 200V・400V三相誘導発電機の始動方式 ※ 第2編 表2.1.5による ・（ ）	
	2.1.2(3.1.1) 汚水、汚物ポンプ	＊ケーシングの材質 ・（ ） ・ 第5編1.2.7(3)の金属製 ・ 合成樹脂製	
		＊羽根車の材質 ・（ ） ・ 第5編1.2.7(4)の金属製 ・ 合成樹脂製	
		＊水中形三相誘導電動機 ・ 油封式 ・ 乾式	
		＊汚物用水中モーターポンプ 電動機の極数 ・ 4極 ・ 6極	
		＊着脱装置 ・（ ） ＊付属品 水中ケーブル長さ ・（ ）	
	2.1.4(3.1.1) ｴｱﾘﾌﾄﾎﾟﾝﾌﾟ	＊計量機能 ・ 要 ・ 不要 ＊調整機能 ・ 要 ・ 不要	
	2.1.5(3.1.1) 送風機	＊間欠ばっ気運転 ・ 行う ・ 行わない ・ その他（ ）	
		＊換気用送風機 ・ 遠心送風機 ・ 軸流送風機 ・ 斜流送風機	
		ケーシング下部の水抜き穴 ・ 設ける ・ 設けない	
		電動機（直動形以外） 200V・400V三相誘導発電機の始動方式 ※ 第2編表2.1.5による ・（ ）	
		・ 壁掛式有圧換気扇 ・ 天井式有圧換気扇	
		＊送風機の据付け	
		基礎 ・ 標準基礎（大きさ ※ 図示による ・（ ）） ・ 防振基礎	
		機器 設計用震度 ※ 第3編2.1.1（4）（ア）（イ）による ・（ ）	
		遠心送風機（床置形） 基礎の形式 ※ 標準基礎 ・ 防振基礎	
		防振基礎の場合 防振基礎 ・（ ） 振動絶縁効率 ・（ ）%	
	2.1.6(3.1.1) 制御盤	＊一括故障表示用無電圧接点及び端子 ・ 設ける ・ 設けない	
	2.1.11(3.1.1) 消泡装置	＊消泡装置 ・ ノズル式 ・ 消泡剤式	
	2.1.14(3.1.1) 消毒装置	＊消毒装置 ※ 塩素剤を使用するもの（ ・ 固定塩素剤消毒装置 ・ 次亜塩素酸ソーダ消毒装置） ・（ ）	
	2.1.28(3.1.1) マンホール	＊マンホールに施錠 ・ 設ける ・ 設けない	
		＊合成樹脂製等のマンホール ・ 設ける ・ 設けない	
	2.1.30(3.1.1) 配管	＊管材 ・（ ） ＊継手及び弁類 ・（ ）	[表 8.2.1]

No.6a

編	節・項目	特記事項	備考
第8編 浄化槽設備工事	第２章 現場施工型浄化槽		
	第２節 施工		
	2.2.1 施工	＊土留等 ・ 設置する （ 仕様等 ※ 図示による ・（ ）） ・ 設置しない	
	第３章 ユニット型浄化槽		
	第２節 施工		
	3.2.1 施工	＊基礎等の厚さ ※ 表8.3.1による ・（ ）	[表 8.3.1]
第9編 昇降機設備工事	第１章 一般事項		
	第１節 総則		
	1.1.1 一般事項	＊回生電力儲蓄システム ・ 使用する ・ 図示による	
	第２章 普及型エレベーター		
	第２節 機材及び施工		
	2.2.1 駆動装置等		
	2.2.1.4 電源盤及び制御盤	＊機械室なしの場合の設置場所 ・ 昇降路内 ・ 乗場 ※ 図示による	【改修 2.2.1.2】
		＊高調波対策 ・ 適用する ※ 図示による	
		＊動力計測用電力量計 ・ 設ける ・ 設けない ※ 図示による	
		＊制御装置の機能 ・（ ） ※ 図示による	[表 9.2.3]
	2.2.2 かご		【改修 2.2.2】
	2.2.2.3 かご室	＊側板の材質 ・（ ） ※ 図示による	
		＊かご室内設備 ・ 各階案内表示板 ・ 館内放送用スピーカー ・ 着脱式壁保護材	
		＊付加仕様 ・ かご内専用操作盤 ・ かご内手すり ・ かご内鏡 ・ かご内専用インジケータ	
		・ キックプレート（設置場所 ※ かご内側面及び背面 ・ かご内正面）	
		・ 視覚障がい者用装置（点字銘板、自動放送装置）	
	2.2.2.4 かごの戸	＊材質 ・（ ） ※ 図示による	
	2.2.3 乗場		【改修 2.2.3】
	2.2.3.1 三方枠	＊材質 ・（ ） ※ 図示による	
	2.2.3.2 乗場の戸	＊材質 ・（ ） ※ 図示による	
	2.2.3.5 乗場ボタン	＊専用乗場ボタン（付加仕様） ・ 設置する（2.2.3.5（2）による） ・ 設置しない	
	2.2.3.6 インジケータ	＊ホールランタン ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による	
		＊昇降方向音声装置 ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による	
	2.2.3.7 非常着床用出入口	＊仕様 ・（ ） ※ 図示による	
	2.2.5 安全装置	＊釣合おもり側で非常止め装置 ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による	【改修 2.2.5】
	2.2.6 耐震措置		
	2.2.6.2 設計用震度	＊地域係数 ※ 1.0 ・（ ）	
		＊耐震安全性の分類 ・ 耐震クラスA14 ・ 耐震クラスS14	
		＊免震構造及び制振構造の場合の設計用水平震度 （ ）	
		＊免震構造の場合の設計用鉛直震度 （ ）	
	2.2.6.3 地震感知器	＊免震構造及び制振構造の建築物の場合の加速度の設定方式及び設定値 （ ）	[表 9.2.8]
	2.2.7 管制運転等	＊適用する運転 ・ 地震時管制運転 ・ 火災時管制運転 ・ 非常用発電時管制運転（自家発時）	【改修 2.2.7】
		・ 停電時救出運転 ・ 浸水時管制運転 ・ ピット冠水時管制運転	
		・ 緊急地震速報連動運転 ・ 図示による	
	2.2.8 エレベーター監視盤		
	2.2.8.1 一般事項	＊構成 ・ 監視装置（ ・ 表示部 ・ 操作部 ・ ｲﾝﾀｰﾎﾝ） ・ 電源装置 ・ 操作卓	
		＊形式 ・ 自立形 ・ 壁掛形 ・ デスクトップ形	
	2.2.8.2 監視装置	＊表示部 ・ 発光ダイオードによる表示 ・ 液晶ディスプレイ	
		＊操作キースイッチ ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による	
	2.2.8.4 操作卓	＊操作卓 ・ 設置する （寸法 ・（ ） ※ 図示による） ・ 設置しない	
	2.2.9 エレベーター警報盤	＊エレベーター警報盤 ・ 設置する ・ 設置しない ・ 図示による	
	第３章 一般エレベーター		
	第１節 一般事項		
	3.1.1 一般事項	＊ロープ式エレベーター構造 ・ 機械室あり ・ 機械室なし	
	3.2.1 駆動装置等		
	3.2.1.4 電源盤及び制御盤	＊機械室なしの場合の設置場所 ・ 昇降路内 ・ 乗場 ※ 図示による	【改修 2.2.1.2】
		＊高調波対策 ・ 適用する ※ 図示による	
		＊動力計測用電力量計 ・ 設ける ・ 設けない ※ 図示による	
		＊制御装置の機能 ・（ ） ※ 図示による	[表 9.2.3]
	3.2.2 かご		【改修 2.2.2】
	3.2.2.2 かご床	＊乗用、寄台用及び人荷共用エレベーターのかご床の材質及び敷居の材質	
		・（床： 敷居： ） ※ 床：ｺﾞﾑﾀｲﾙ製（0.3mm以上）又は合成樹脂系ﾀｲﾙ（0.2mm以上） 敷居：ｱﾙﾐﾆｳﾑ製又はｽﾃﾝﾚｽ鋼材	
		＊乗用、寄台用及び人荷共用エレベーターのかご床の敷物 ※ 図示による ・（ ）	
	3.2.2.3 かご室	＊側板の材質 ・（ ） ※ 図示による	
		＊かご室内設備 ・ 各階案内表示板 ・ 館内放送用スピーカー ・ 着脱式壁保護材	
		＊付加仕様 ・ かご内専用操作盤 ・ かご内手すり ・ かご内鏡 ・ かご内専用インジケータ	
		・ キックプレート（設置場所 ※ かご内側面及び背面 ・ かご内正面）	
		・ 視覚障がい者用装置（点字銘板、自動放送装置）	
	3.2.2.4 かごの戸	＊材質 ・（ ） ※ 図示による	
	3.2.3 乗場		【改修 2.2.3】
	3.2.3.1 三方枠	＊材質 ・（ ） ※ 図示による	
	3.2.3.2 乗場ボタン	＊専用乗場ボタン（付加仕様） ・ 設置する（2.2.3.5（2）による） ・ 設置しない	
	3.2.5 安全装置	＊釣合おもり側で非常止め装置 ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による	【改修 2.2.5】
	3.2.6 耐震措置	＊地域係数 ※ 1.0 ・（ ）	
		＊耐震安全性の分類 ・ 耐震クラスA14 ・ 耐震クラスS14	
		＊免震構造及び制振構造の場合の設計用水平震度 （ ）	
		＊免震構造の場合の設計用鉛直震度 （ ）	
		＊免震構造及び制振構造の建築物の場合の地震感知器の加速度の設定方式及び設定値 （ ）	[表 9.2.8]
	3.2.7 管制運転等	＊適用する運転 ・ 地震時管制運転 ・ 火災時管制運転 ・ 非常用発電時管制運転（自家発時）	【改修 2.2.7】
		・ 停電時救出運転 ・ 浸水時管制運転 ・ ピット冠水時管制運転	
		・ 緊急地震速報連動運転 ・ 図示による	
	3.2.8 エレベーター監視盤		
		＊構成 ・ 監視装置（ ・ 表示部 ・ 操作部 ・ ｲﾝﾀｰﾎﾝ） ・ 電源装置 ・ 操作卓	
		＊形式 ・ 自立形 ・ 壁掛形 ・ デスクトップ形	
		＊監視装置の表示部 ・ 発光ダイオードによる表示 ・ 液晶ディスプレイ	
		＊監視装置の操作ｷｰｽｲｯﾁ ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による	
		＊操作卓 ・ 設置する （寸法 ・（ ） ※ 図示による） ・ 設置しない	
	3.2.9 エレベーター警報盤	＊エレベーター警報盤 ・ 設置する ・ 設置しない ・ 図示による	
	3.2.10 塗装		【改修 2.2.8】
	3.2.10.3 塗装標準	＊表面仕上げの塗装程度及び表面平面度の種別 ・ １種 ・ ２種 ・ ３種	[表 9.2.10]
	3.2.11 電気配線		【改修 2.2.9】
	3.2.11.1 一般事項	＊保守遠隔監視用（電話回線）配管、配線 ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による	

株式会社 松浦建築事務所
ＴＥＬ （0561） 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	機械設備工事特記仕様書（６）
縮尺	NS
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	M-006

２０２４年４月１日改訂

編	節・項目	特記事項	備考
第9編 昇降機設備工事	第４章 非常用エレベーター		
	第１節 一般事項		
	4.1.1 一般事項	＊ ロープ式エレベーター構造 ・ 機械室あり ・ 機械室なし	
	電源盤及び制御盤	＊ 機械室なしの場合の設置場所 ・ 昇降路内 ・ 乗場 ※ 図示による	【改修 2.2.1.2】
		＊ 高調波対策 ・ 適用する ※ 図示による	
		＊ 動力計測用電力量計 ・ 設ける ・ 設けない ※ 図示による	
		＊ 制御装置の機能 ・（ ） ※ 図示による	[表 9.2.3]
	かご床	＊ 乗用、寝台用及び人荷共用エレベーターのかご床の材質及び敷居の材質	
		・（床： 敷居： ） ※ 床：ｺﾞﾑｼｰﾄ製(0.3mm以上)又は合成樹脂系ﾌｨﾙﾑ(0.2mm以上) 敷居：ｱﾙﾐﾆｳﾑ製又はｽﾃﾝﾚｽ鋼材	
		＊ 乗用、寝台用及び人荷共用エレベーターのかご床の敷物 ※ 図示による ・（ ）	
	かご室	＊ 側板の材質 ・（ ） ※ 図示による	
		＊ かご室内設備 ・ 各階案内表示板 ・ 館内放送用スピーカー ・ 着脱式壁保護材	
		＊ 付加仕様 ・ かご内専用操作盤 ・ かご内手すり ・ かご内鏡 ・ かご内専用インジケータ	
		・ キックプレート（設置場所 ※ かご内側面及び背面 ・ かご内正面）	
		・ 視覚障がい者用装置（点字銘板、自動放送装置）	
	かごの戸	＊ 材質 ・（ ） ※ 図示による	
	三方枠	＊ 材質 ・（ ） ※ 図示による	
	乗場ボタン	＊ 専用乗場ボタン（付加仕様） ・ 設置する（2.2.3.5（2）による） ・ 設置しない	
	安全装置	＊ 釣合おもり側で非常止め装置 ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による	【改修 2.2.5】
	耐震措置	＊ 地域係数 ※ 1.0 ・（ ）	
		＊ 耐震安全性の分類 ・ 耐震クラスＡ14 ・ 耐震クラスＳ14	
		＊ 免震構造及び制振構造の場合の設計用水平震度 （ ）	
		＊ 免震構造の場合の設計用鉛直震度 （ ）	
		＊ 免震構造及び制振構造の建築物の場合の地震感知器の加速度の設定方式及び設定値 （ ）	[表 9.2.8]
	管制運転等	＊ 適用する運転 ・ 地震時管制運転 ・ 火災時管制運転 ・ 非常用発電時管制運転（自家発時）	【改修 2.2.7】
		・ 停電時救出運転 ・ 浸水時管制運転 ・ ピット冠水時管制運転	
		・ 緊急地震速報連動運転 ・ 図示による	
	ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ監視盤	＊ 構成 ・ 監視装置（ ・ 表示部 ・ 操作部 ・ ｲﾝｼﾞｹｰﾀ） ・ 電源装置 ・ 操作卓	
		＊ 形式 ・ 自立形 ・ 壁掛形 ・ デスクトップ形	
		＊ 監視装置の表示部 ・ 発光ダイオードによる表示 ・ 液晶ディスプレイ	
		＊ 監視装置の操作ｷｰｽｲｯﾁ ・ 設ける ・ 設けない ・ 図示による	
		＊ 操作卓 ・ 設置する （寸法 ・（ ） ※ 図示による） ・ 設置しない	
	ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ警報盤	＊ エレベーター警報盤 ・ 設置する ・ 設置しない ・ 図示による	
	第５章 小荷物専用昇降機		
	第２節 機材及び施工		
	5.2.5 電気配線及び付属品		
	5.2.5.1 電気配線	＊ 保守遠隔監視用（電話回線）配管、配線 ・ 設ける ・ 設けない	
	第６章 エスカレーター		
	第２節 機材及び施工		
	6.2.4 欄干		
	6.2.4.1 内側板	＊ 材質 ・ ステンレス鋼板 ・ 透明強化ガラス ・ 図示による	
	6.2.7 制御盤及び運転操作方式	＊ 運転操作方式 自動発停運転機能 ・ 設ける ・ 設けない	
	6.2.8 安全装置	＊ エスカレーターと接する部分 ・ 保護板 ・（ ）	
	6.2.9 耐震施工	＊ 地域係数 ※ 1.0 ・（ ）	
	【改修】7編1章 一般事項		
	【第2節】 仮設工事等		
	【1.2.1】 一般事項	＊ 同一昇降路内の隣接するＥＶの運転 ・ 行う（対策： ） ・ 行わない	
	【改修】7編2章 一般油圧ＥＶ		
	【第2節】 機材及び施工		
	【2.2.6】 耐震措置	＊ 耐震措置 ※ 第9編第2章第2節2.2.6による ・（ ）	
	【第3節】 撤去工事		
	【1.3.2】 既設機器の撤去	＊ 既設機器等の撤去範囲 ※ 図示による ・（ ）	
		＊ 撤去後の開口部（床、壁、天井等）の補修方法、仕上げの仕様 ※ 監督職員と協議 ・ 図示による	
	【1.3.3】 既設機器の撤去	＊ 撤去方法 ※ 図示による ・（ ）	
第10編 機械式駐車設備工事	第２章 二段方式駐車装置		
	第２節 機材及び施工		
	2.2.4 運転操作盤	＊ 運転操作盤 ※ 号機毎につき一面設ける ・（ ）	
		＊ 号機選択スイッチ ・ 要 ・ 不要	
	2.2.6 安全装置	＊ 安全操作盤以外の非常停止装置 ・ 設ける ・ 設けない	
	2.2.7 耐震措置	＊ 地域係数 ※ 1.0 ・（ ）	
	2.2.8 塗装及び防錆		
	2.2.8.1 一般事項	＊ 構造体及び機器の防錆 ・ 塗装（ ） ・ 溶融亜鉛めっき ・ 図示による	
第11編 医療ガス設備工事	第２章 医療ガス設備工事		
	第１節 機材		
	2.1.1 医療ガス供給装置		
	2.1.1.1 定置式超低温液化ガス供給装置	＊ 設置数 ※ 1 ・ 2 ・（ ） ・ 図示による	
		＊ 警報装置 ※ 接点付き液面計 ・（ ） ・ 図示による	
	2.1.1.2 可搬式超低温液化ガス供給装置	＊ 切換器 ・ 手動式 ・ 自動切換え式	
	2.1.1.4 マニフォールド	＊ ボンベ転用防止用鎖 ※ 2.1.1.3（カ）（ｃ）③による ・（ ） ・ 図示による	
	2.1.1.5 圧縮空気供給装置	＊ エアドライヤの除湿方式 ・（ ） ・ 図示による	
		＊ 制御盤 ※ 2.1.1.5（ｎ）による ・（ ） ・ 図示による	
	2.1.1.5 吸引装置	＊ 吸引装置 ※ 水封ロータリー式または油回転式 ・ 他の方式（ ）	
	2.1.1.7 麻酔ガス排除装置	＊ 麻酔ガス排除装置 ・ エジェクタ方式 ・ 吸引方式	
		＊ 余剰麻酔ガス処理装置 ・ 付加する ・ 付加しない	
	2.1.2 ｱｳﾄﾚｯﾄ、区域別遮断弁、遠隔警報器		
	2.1.2.1 アウトレット	＊ その他の機器 （ ）	
	2.1.2.2 区域別遮断弁	＊ 壁以外に取付ける場合 （ ）	
		＊ 緊急導入口付とする場合 （ ）	
	2.1.4 機材の検査に伴う試験	＊ 指定して試験を行う機材 （ ）	
	第２節 施工		
	2.2.1 機器の据付け及び取付け		
	2.2.1.1 吸引ポンプ、空気圧縮機、ﾀﾝｸ	＊ 基礎 ・ 標準基礎（大きさ ※ 図示による ・（ ）） ・ 防振基礎	
		＊ 機器 設計用震度 ※ 第3編2.2.1（5）（ア）（イ）による ・（ ）	
		＊ 防振基礎の場合 防振材 ・（ ）	
		＊ 振動絶縁効率 ※ ８０%以上 ・（ ）%	
	2.2.1.3 アウトレット	＊ 壁取付形アウトレット 取付高さ ・（ ）	
		＊ 天井吊下式アウトレット ソケットアセンブリの吊下げ位置 ・（ ） ・ 図示による	
		＊ 天井リール式アウトレット ソケットアセンブリの吊下げ位置 ・（ ） ・ 図示による	
	2.2.2 配管の施工		
	2.2.2.1 一般事項	＊ 空気及び吸引配管の保護方法 （ ）	
	2.2.2.2 銅管	＊ 配管の接合（2.2.2.2（エ）以外を使用する場合） （ ）	

編	節・項目	特記事項	備考
第12編 医療ガス設備工事	第３節 既存配管設備の変更		
	2.3.1 一般事項	＊ 既存の撤去を行う場合の切り離し部 ※ プラグ止め ・（ ）	
		＊ 2.4.2（ア）～（カ）までの試験を簡略化する場合 （ ）	
		＊ 仮設供給の方法 （ ）	
	第４節 検査・試験		
	2.4.2 検査・試験の順序	＊ ※ 2.4.2による ・（ ）	
	2.4.3 検査・試験の時期と内容		
	2.4.3.8 作動及び性能検査	＊ アウトレット ガス別同定の検査方法（酸素濃度計による酸素濃度測定）で判別不可能な場合	
		・ 他の方法（ ） ・ 一時的に送気圧力を変える ・ 単独で試験を行う	
	2.4.3.9 圧縮空気供給装置の清浄度試験	＊ 判定基準 治療用空気の露点温度 ※ 5℃以下 ・（ ）寒冷地等	
耐震措置	本設計図、共通仕様書及び標準図に記載されたものの他は営繕工事における耐震性強化指針（H9.4月）による。	＊ 局部震度法による建築設備機器（水槽類を除く）の設計用標準水平震度（ＫＳ）	本表は建築物の構造体が鉄筋コンクリート造、鉄骨造のものに適用する。 上層階は、2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階。 中間階は、地下階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの。（平屋建は１階と屋上で構成され中間階はなし） 設置場所の区分は機器を支持している床部分にしたがって適用する。 水槽類にはオイルタンク等を含む。

設置場所	耐震安全性の分類 ※ 特定の施設 重要機器	※ 特定の施設 一般機器	・ 一般の施設 重要機器	・ 一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び搭屋	２．０（２．０）	１．５（２．０）	１．５（２．０）	１．０（１．５）
中間階	１．５（１．５）	１．０（１．５）	１．０（１．５）	０．６（１．０）
１階及び地下階	１．５（１．０）	１．０（１．０）	１．０（１．０）	０．６（０．６）

（注）（ ）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。

＊ 局部震度法による水槽類の設計用標準水平震度（ＫＳ）

設置場所	耐震安全性の分類 ※ 特定の施設 重要機器	※ 特定の施設 一般機器	・ 一般の施設 重要機器	・ 一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び搭屋	２．０	１．５	１．５	１．０
中間階	１．５	１．０	１．０	０．６
１階及び地下階	１．５	１．０	１．０	０．６

＊ 重要機器

受変電設備機器、自家発電設備機器、直流電源機器、通信機器、電話交換機器、給水装置、排水装置、重要な空調熱源機器、中央監視制御機器	危険物関係機器、危険物用防災機器 避難用機器、防災機器	火気使用機器、（除、ガス瞬間湯沸器等）第１種圧力容器、高圧ガス機器、油槽類105kW以上の冷凍機、冷却塔、貯湯槽大型水槽類、特殊ガス容器等

＊ 上記の他、上記を機能させるために必要な補器類、施設特性により重要とされるもの及び特に指定するもの。 （ ）

その他	特定建設資材の再資源化等	＊ 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律［（平成12年法律第104号）以下「建設リサイクル法」という。］に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、別表1又は2、及び3の積算条件を設定しているが、工事請負契約書に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されたものであるため、発注者が、積算上条件明示した別表の事項と別の方法であった場合でも、変更の対象としない。ただし、現場条件の変更等、受注者の責によるものでない事項については、この限りではない。また、受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づく報告として、監督職員に再資源化等報告書を提出すること。

＊ 別表１ 建築物に係る解体工事

	工程	作業内容	分別・解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	・ 建築設備、内装等	※ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ 屋根ふき材	※ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ 外装材、上部構造部材	・ 有 ※ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ 基礎、基礎ぐい	・ 有 ※ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ その他（ ）	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用

＊ 別表２ 建築物に係る新築工事等（新築・増築・修繕・模様替）

	工程	作業内容	分別・解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	・ 造成等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ 基礎、基礎ぐい	・ 有 ※ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ 上部構造部分、外装	・ 有 ※ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ 屋根	※ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ 建築設備、内装等	※ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ その他（ ）	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用

＊ 別表３ 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（外構・工作物等）

	工程	作業内容	分別・解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	・ 仮設	※ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ 土工	※ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ 基礎工事	・ 有 ※ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ 本体工事	※ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ 本体付属品	※ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ その他（ ）	※ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用

株式会社 松浦建築事務所
ＴＥＬ (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	機械設備工事特記仕様書（７）
縮尺	NS
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	M-007

編	節・項目	特記事項	備考
その他	給水設備工事 排水設備工事	＊　別表４　再資源化等をする施設の名称及び所在地 廃棄物の種類 / 施設の名称 / 所在地 ・コンクリート ・鉄及びコンクリートから成る建設資材 ・アスファルト・コンクリート ・木材 ＊ 給水設備工事の施工については、愛知中部水道企業団指定給水装置工事事業者に登録のある事業者が行うこと。 ＊ 排水設備工事の施工については、長久手市下水道排水設備指定工事店に登録のある事業者が行うこと。	

機械設備工事指定資材

分類	指定資材	適用範囲	品質性能基準
管	鋼管		JISマーク表示品　JIS規格適合品
	ライニング鋼管		JWWA規格適合品　WSP規格適合品
	排水用鋳鉄管		JIS規格適合品
	水道用ダクタイル鋳鉄管		JWWA規格適合品
	排水、通気用鉛管		SHASE規格適合品
	樹脂管		JISマーク表示品　JIS規格適合品　JWWA規格適合品　AS規格適合品
	コンクリート管	厚管	JISマーク表示品
弁及び継手	可鍛鋳鉄製管継手		JISマーク表示品　JPF規格適合品
	鋼管継手		JISマーク表示品　JIS規格適合品　JPF規格適合品　MDJ規格適合品
	ビニル管継手		JISマーク表示品　JWWA規格適合品
	伸縮管継手（ベローズ形・スリーブ形）		評価名簿登載品
	青銅弁・鋳鉄弁		JISマーク表示品　JV規格適合品
	減圧弁・温度調整弁		評価名簿登載品
ポンプ類	横型遠心ポンプ		評価名簿登載品
	水中モーターポンプ	（汚水用・雑排水用・汚物用）	評価名簿登載品
	立形遠心ポンプ		評価名簿登載品
衛生器具ユニット	衛生器具ユニット		JISマーク表示品　評価名簿登載品
タンク	ＦＲＰ製パネルタンク		評価名簿登載品
	密閉型隔膜式膨張ﾀﾝｸ（空調機・給湯用）		評価名簿登載品
	ｽﾃﾝﾚｽ鋼板製ﾊﾟﾈﾙﾀﾝｸ（溶接組立形）		評価名簿登載品
	ｽﾃﾝﾚｽ鋼板製ﾊﾟﾈﾙﾀﾝｸ（ﾎﾞﾙﾄ組立形）		評価名簿登載品
鋳鉄製ふた	マンホールふた・弁桝ふた		評価名簿登載品
消火装置	スプリンクラー消火システム		評価名簿登載システム
	不活性ガス消火システム		評価名簿登載システム
	泡消火システム		評価名簿登載システム
ボイラー	鋳鉄製ボイラー		評価名簿登載品
	鋼製ボイラー		評価名簿登載品
	鋼製簡易ボイラー		評価名簿登載品
	鋼製小型ボイラー		評価名簿登載品
温水発生機	真空式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）		評価名簿登載品
	無圧式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）		評価名簿登載品
冷凍機	ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ（空気熱源ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ含む）		評価名簿登載品
	直だき吸収式冷温水機		評価名簿登載品
	小型吸収冷温水機ユニット		評価名簿登載品
	遠心冷凍機		評価名簿登載品
冷却塔	冷却塔		評価名簿登載品
空気調和器	ユニット形空気調和機		評価名簿登載品
	パッケージ形空気調和機	圧縮機用電動機の出力7.5kw以上	評価名簿登載品
	コンパクト形空気調和機		評価名簿登載品
	ファンコイルユニット及びカセット型ファンコイルユニット		評価名簿登載品
	ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ式空気調和機	冷房能力28kWを超えるもの（ﾏﾙﾁ形を除く）	評価名簿登載品
送風機	遠心送風機（多翼形送風機）		評価名簿登載品
	斜流送風機		評価名簿登載品
	軸流送風機		評価名簿登載品
	消音ボックス付送風機		評価名簿登載品
ダクト付属品	吹出口・吸込口		評価名簿登載品
	風量ユニット（定風量・変風量）		評価名簿登載品
自動制御	自動制御システム		評価名簿登載システム
空気清浄装置	エアフィルター（パネル形・折り込み形・袋形）		評価名簿登載品
	自動巻取形ｴｱｰﾌｨﾙﾀｰ		評価名簿登載品
	電気集じん器		評価名簿登載品
板	亜鉛鉄板		JIS規格適合品
保温材	ロックウール保温材 グラスウール保温材 ポリスチレンフォーム保温材		JISマーク表示品　JIS規格適合品

注）本工事に使用する資材・機材は、上表によるほか、令和４年版国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の各標準仕様書、工事特記仕様書、図面で指定された品質、性能を有するもの及び以下のものとする。

１）（一社）公共建築協会の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」により評価を受けた建築材料・設備機材等（「評価名簿登載品」という。）ただし、評価書の「納入地区及びアフターサービス地区」に当該工事場所が含まれる場合に限る。

２）（一財）ベターリビングが認定した優良住宅部品（ＢＬ部品）。ただし現場においてＢＬマーク表示が確認できるものに限る。

３）その他、各標準仕様書の仕様規定及び試験方法に適合することが証明書等で確認でき、監督職員の承諾を得られたもの。（定期的なメンテナンスが必要になる機材については、メンテナンス（アフターサービス）体制についても監督職員に承諾が得られること。）

なお「評価名簿登載品」は（一社）公共建築協会の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価書の写しを提出することにより、その評価を受けたこと及びメンテナンス体制があることについて証明することができる。

※ JIS規格　日本産業規格
JWWA規格　（公社）日本水道協会規格
WSP規格　日本水道鋼管協会規格
SHASE規格　（公社）空気調和・衛生工学会規格
AS規格　塩化ビニル管・継手協会規格
JPF規格適合品　日本金属継手協会規格
MDJ規格適合品　排水鋼管継手工業会規格
JV規格適合品　（一社）日本バルブ工業会規格

編	節・項目	特記事項	備考

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	機械設備工事特記仕様書（８）	縮尺　NS
		製図　令和08年03月
１級建築士 登録第92794号　松浦孔明		No. M-008

（特記なき動力は3Φ×200ｖ）

記　号	名　　称	仕　　様	台数	設置階	状況・措置
R-K１	二重効用吸収式	屋外型　　都市ガス焚	1	屋上	撤去
	冷温水機	冷却能力　120,960 kal/h　加熱能力　105,680 kal/h　ガス消費量11.6m³/h			２０１４年更新
		冷温水量380L　冷水出口温度7℃　温水出口温度55℃			
		冷却水量539.6L/min（32℃～39℃）			
		溶液循環ポンプ600w　　燃焼用ブロア400w			
Ｔ-K３	膨張タンク	開放式	1	屋上	撤去
		ＳＵＳ製　１５０Ｌ			１９８３年設置
ＣＴ-K１	冷　却　塔	低騒音型　冷却能力　231,170 kal/h	1	屋上	撤去
		冷却水　入口　39℃～出口32℃　水量　550.4L/min　ファン0.6kw			２０１４年更新
AHU-K１	エアハンドリングユニット	水平型　冷房能力　29,900 kal/h　暖房能力　37,100 kal/h	1	２Ｆ車庫	撤去
		冷温水コイル　6列　水量129　L/min　　ファン　3400CMH×21 mmag（機外静圧）×1.5kw			１９８３年設置
AHU-K２	エアハンドリングユニット	水平型　冷房能力　36,300 kal/h　暖房能力　36,000 kal/h	1	３Ｆ印刷室	撤去
		冷温水コイル　8列　水量125　L/min　　ファン　2720CMH×30 mmag（機外静圧）×1.5kw			１９８３年設置
AHU-K３	エアハンドリングユニット	立型　冷房能力　42,400 kal/h　暖房能力　37,600 kal/h	1	３Ｆ機械室	撤去
		冷温水コイル　8列　水量143　L/min　　ファン　3600CMH×37 mmag（機外静圧）×2.2kw			１９８３年設置
PCH-K１	冷 温 水 ポ ン プ	ラインポンプ　65Φ×424　L/min　×31 mh×5.5kw　　屋外防滴カバー共	1	屋　上	撤去
					２０１４年設置
PCD-K１	冷 却 水 ポ ン プ	ラインポンプ　65Φ×539.6L/min　×13 mh×2.2kw　　屋外防滴カバー共	1	屋　上	
MAC－K１	ビルマルチ空調機　室外機	冷暖切替　　冷房能力　14.0 kW　　暖房能力　16.0kW	2	屋　上	撤去
					２００６年設置
MAC－K１－１	ビルマルチ空調機　室内機	天井カセット型（２方向吹出）　　冷房能力　2.8 kW　　暖房能力　3.2kW	3	１Ｆ仮眠室	撤去
			11	２Ｆ仮眠室	２００６年設置
MAC－K２	ビルマルチ空調機　室外機	冷暖切替　　冷房能力　5.6 kW　　暖房能力　6.3kW	1	２Ｆ車庫上部	撤去
					２００６年設置
MAC－K２－１	ビルマルチ空調機　室内機	天井カセット型（２方向吹出）　　冷房能力　2.8 kW　　暖房能力　3.2kW	2	２Ｆ通信仮眠室	撤去
					２００６年設置
PAC－K１	天吊露出型空調機	シングルタイプ	2	１Ｆ警防事務室	撤去
		冷暖切替　　冷房能力　10.0 kW　　暖房能力　11.2kW			２０１２年設置
PAC－K２	天吊露出型空調機	シングルタイプ	1	２Ｆ指令室	撤去
		冷暖切替　　冷房能力　12.5 kW　　暖房能力　15.0kW			１９９７年設置
PAC－K３	天吊露出型空調機	ツインタイプ	1	３Ｆ食　堂	撤去
		冷暖切替　　冷房能力　12.5 kW　　暖房能力　14.0kW			２０１２年設置
PAC－K４	カセット型空調機	シングルタイプ	1	３Ｆ和　室	撤去
	（１方向吹出）	冷暖切替　　冷房能力　3.6 kW　　暖房能力　4.8kW			１９９７年設置

記　号	名　　称	仕　　様	台数	設置階	備　　考
ＦC-K１	ファンコイル	冷房能力　2.2 kW　暖房能力　3.4kW　　300型	2	各　室	撤去
	天吊隠蔽型　ＣＲ	冷温水量　4　L/min　　ファン　34w×1Φ×100v			１９８３年設置
ＦC-K２	ファンコイル	冷房能力　3.0 kW　暖房能力　4.8kW　　400型	5	３階本部事務室	撤去
	カセット型　ＣＡ	冷温水量　8　L/min　　ファン　52w×1Φ×100v	2	３階署長室	１９８３年設置
ＦC-K３	ファンコイル	冷房能力　3.0 kW　暖房能力　4.8kW　　400型	4	３階会議室	撤去
	天吊隠蔽型　ＣＲ	冷温水量　8　L/min　　ファン　52w×1Φ×100v			１９８３年設置
ＦC-K４	ファンコイル	冷房能力　3.0 kW　暖房能力　4.8kW　　400型	8	３階大会議室	撤去
	カセット型　ＣＡ	冷温水量　8　L/min　　ファン　52w×1Φ×100v			１９８３年設置
ＦE-K１	送風機	片吸込シロッコ天吊型　#3 1/2×13,000 CMH×33 mmag× 3.7kw×3Φ200v	1	２階　車庫	撤去
					１９８３年設置
ＦE-K２	送風機	片吸込シロッコ天吊型　#2 1/2×3,600 CMH×19 mmag× 0.75kw×3Φ200v	1	３階　機械室	撤去
					１９８３年設置
ＦE-K３	送風機	片吸込シロッコ天吊型　#2　　×2,130 CMH×17 mmag× 0.75kw×3Φ200v	1	２階　厨房	既設のまま
					１９８３年設置
ＦE-K４	送風機	片吸込シロッコ天吊型　#1 1/2×1,600 CMH×23 mmag× 0.4kw×3Φ200v	1	３階　書庫	既設のまま
					１９８３年設置
Ｆ-K１	天　井　扇	低騒音型　１００Φ	3	１階図示位置	
			2	２階図示位置	撤去
Ｆ-K２	天　井　扇	低騒音型　１５０Φ	4	１階図示位置	
			2	２階図示位置	撤去
			7	３階図示位置	
Ｆ-K３	天　井　扇	低騒音型　１５０Φ	1	３階　書庫	既設のまま
Ｆ-K１０	換　気　扇	羽根径　２００Φ　　３４５m3/ｈ	1	２階トイレ	撤去
Ｆ-K２０	有　圧　扇	羽根径　４００Φ　２，６１０m3/ｈ	1	１階発電機室	既設のまま
Ｆ-K２１	有　圧　扇	羽根径　３００Φ　１，３２０m3/ｈ	1	２階　電気室	既設のまま

（注記）
１．表中機器は全て撤去とする。

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称　空調設備　改修前　機器表

縮尺　NS

製図　令和08年03月

１級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. M-009

記号	名称	仕様	電源 φ	電源 V	台数	設置場所 階	設置場所 室名	備考
PAC−1	店舗用空調機 （５HP）	天吊露出形、同時ツインタイプ 冷媒　：　Ｒ３２ 冷房能力　：　12.5 kW　消費電力 ： 3.72kW 暖房能力　：　14.0 kW　消費電力 ： 3.61kW 送風機　：　0.09 kW（内）　0.19 kW（外） 圧縮機　：　2.45 kW 付属品　：　手元リモコン（配管配線共） コンクリート基礎200H	3	200	1	1階	予防課	（参考型番） SZRH140BYD
PAC−2	店舗用空調機 （３HP）	天井カセット型（４方向吹出） 冷媒　：　Ｒ３２ 冷房能力　：　7.1　kW　消費電力 ： 2.10kW 暖房能力　：　8.0　kW　消費電力 ： 2.05kW 送風機　：　0.05 kW（内）　0.09 kW（外） 圧縮機　：　1.7　kW 付属品　：　手元リモコン（配管配線共） コンクリート基礎200H	1	200	1	1階	休憩室	（参考型番） SZRC80BYV
PAC−3	店舗用空調機 （６HP）	天井カセット型（４方向吹出）、ツインタイプ 冷媒　：　Ｒ３２ 冷房能力　：　14.0 kW　消費電力 ： 4.18kW 暖房能力　：　16.0 kW　消費電力 ： 4.05kW 送風機　：　0.11 kW（内）　0.19 kW（外） 圧縮機　：　3.08 kW 付属品　：　手元リモコン（配管配線共） コンクリート基礎200H	3	200	1	3階	会議室	（参考型番） SZRC160BYD
PAC−4	店舗用空調機 （５HP）	天井カセット型（４方向吹出）、ツインタイプ 冷媒　：　Ｒ３２ 冷房能力　：　12.5 kW　消費電力 ： 3.38kW 暖房能力　：　14.0 kW　消費電力 ： 3.28kW 送風機　：　0.05 kW（内）　0.19 kW（外） 圧縮機　：　2.45 kW 付属品　：　手元リモコン（配管配線共） コンクリート基礎200H	3	200	1	3階	食堂	（参考型番） SZRC140BYD
PAC−5	店舗用空調機 （２HP）	天井カセット型（４方向吹出） 冷媒　：　Ｒ３２ 冷房能力　：　5.0　kW　消費電力 ： 1.21kW 暖房能力　：　5.6　kW　消費電力 ： 1.25kW 送風機　：　0.05 kW（内）　0.05 kW（外） 圧縮機　：　1.07 kW 付属品　：　手元リモコン（配管配線共） コンクリート基礎200H	1	200	1	3階	トレーニングルーム	（参考型番） SZRC56BYV

記号	名称	仕様	電源 φ	電源 V	台数	設置場所 階	設置場所 室名	備考
MAC−1	ビル用マルチ エアコン （室外機） （６HP）	冷媒　：　Ｒ３２ 冷房能力　：　14.0 kW　消費電力 ： 4.35kW 暖房能力　：　16.0 kW　消費電力 ： 5.20kW 送風機　：　0.26 kW 圧縮機　：　4.66 kW 付属品　：　壁掛け架台 標準附属品一式	3	200	1	R階	屋上	（参考型番） ＲＸＴＡ１６０Ａ
MAC−1−1	ビル用マルチ エアコン （室内機）	天井カセット形（１方向吹き出し） 冷房能力　：　2.2　kW　消費電力 ： 0.038kW 暖房能力　：　2.5　kW　消費電力 ： 0.038kW 送風機　：　0.07 kW 付属品　：　緊急遮断弁 手元リモコン（配管配線共）	1	200	11	2階	仮眠室 1〜10、18	（参考型番） ＦＸＹＫＡ２２ＡＡ
MAC−2	ビル用マルチ エアコン （室外機） （３HP）	冷媒　：　Ｒ３２ 冷房能力　：　7.1　kW　消費電力 ： 1.79kW 暖房能力　：　8.0　kW　消費電力 ： 1.93kW 送風機　：　0.26 kW 圧縮機　：　1.53 kW 付属品　：　壁掛け架台 標準附属品一式	3	200	1	2階	車庫内	（参考型番） ＲＸＴＡ８０Ａ
MAC−2−1	ビル用マルチ エアコン （室内機）	天井カセット形（１方向吹き出し） 冷房能力　：　2.2　kW　消費電力 ： 0.038kW 暖房能力　：　2.5　kW　消費電力 ： 0.038kW 送風機　：　0.07 kW 付属品　：　緊急遮断弁 手元リモコン（配管配線共）	1	200	3	2階	仮眠室 11〜13	（参考型番） ＦＸＹＫＡ２２ＡＡ
MAC−3	ビル用マルチ エアコン （室外機） （３HP）	冷媒　：　Ｒ３２ 冷房能力　：　7.1　kW　消費電力 ： 1.79kW 暖房能力　：　8.0　kW　消費電力 ： 1.93kW 送風機　：　0.26 kW 圧縮機　：　1.53 kW 付属品　：　コンクリート基礎200H	3	200	1	2階	車庫内	（参考型番） ＲＸＴＡ８０Ａ
MAC−3−1	ビル用マルチ エアコン （室内機）	天井カセット形（１方向吹き出し） 冷房能力　：　2.2　kW　消費電力 ： 0.038kW 暖房能力　：　2.5　kW　消費電力 ： 0.038kW 送風機　：　0.07 kW 付属品　：　緊急遮断弁 手元リモコン（配管配線共）	1	200	3	2階	仮眠室 11〜13	（参考型番） ＦＸＹＫＡ２２ＡＡ

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称　空調設備　改修後　機器表－１

縮尺　NS

製図　令和08年03月

１級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. M-010

記号	名称	仕様	電源 φ	電源 V	台数	設置場所 階	設置場所 室名	備考
MAC－4	ビル用マルチエアコン（室外機）（２４ＨＰ）	冷媒　：　Ｒ３２ 冷房能力　：　67.0 kW　消費電力 ： 4.35kW 暖房能力　：　77.5 kW　消費電力 ： 5.20kW 送風機　：　2.06 kW 圧縮機　：　11.80kW×2 付属品　：　スプリング防振架台 標準附属品一式	3	200	1	R階	屋上	（参考型番） ＲＸＹＡ６７０Ａ
MAC－4－1	ビル用マルチエアコン（室内機）	天井カセット形（４方向吹き出し） 冷房能力　：　14.0 kW　消費電力 ： 0.217kW 暖房能力　：　16.0 kW　消費電力 ： 0.217kW 送風機　：　0.10 kW 付属品　：　緊急遮断弁 手元リモコン（配管配線共）	1	200	5	2階	警防事務室	（参考型番） ＦＸＹＦＡ１４０ＡＡ
MAC－4－2	ビル用マルチエアコン（室内機）	天井カセット形（４方向吹き出し） 冷房能力　：　7.1　kW　消費電力 ： 0.072kW 暖房能力　：　8.0　kW　消費電力 ： 0.068kW 送風機　：　0.05 kW 付属品　：　緊急遮断弁 手元リモコン（配管配線共）	1	200	1	2階	署長室	（参考型番） ＦＸＹＦＡ７１ＡＡ
MAC－5	ビル用マルチエアコン（室外機）（１６ＨＰ）	冷媒　：　Ｒ３２ 冷房能力　：　45.0 kW　消費電力 ： 12.9kW 暖房能力　：　50.0 kW　消費電力 ： 15.1kW 送風機　：　0.66 kW×2 圧縮機　：　13.3 kW 付属品　：　スプリング防振架台 標準附属品一式	3	200	1	R階	屋上	（参考型番） ＲＸＹＡ４５０Ａ
MAC－5－1	ビル用マルチエアコン（室内機）	天井カセット形（４方向吹き出し） 冷房能力　：　11.2 kW　消費電力 ： 0.217kW 暖房能力　：　12.5 kW　消費電力 ： 0.217kW 送風機　：　0.10 kW 付属品　：　緊急遮断弁 手元リモコン（配管配線共）	1	200	4	2階	講　堂	（参考型番） ＦＸＹＦＡ１１２ＡＡ
ＨＥＸ－１	全熱交換器	天井カセット型 仕　様　：　100Φ×30 m3/Ｈ×100Pa×39W 付属品　：　コントロールスイッチ ＳＵＳ製パイプフード×2	1	100	10 4 1	2階 2階 2階	仮眠室1～10 仮眠室14～17 仮眠室18	（参考型番） VL-100ZS3
ＨＥＸ－２	全熱交換器	壁掛型 仕　様　：　100Φ×29 m3/Ｈ×19W 付属品　：　ワイヤレスリモコンスイッチ 専用パイプフード	1	100	3	2階	仮眠室11～13	（参考型番） VL-08ES3
ＨＥＸ－３	全熱交換器	天井カセット型 仕　様　：　150Φ×150 m3/Ｈ×100Pa×128W 付属品　：　コントロールスイッチ ＳＵＳ製パイプフード	1	100	1	3階	署長室	（参考型番） LGH-N25CS3

記号	名称	仕様	電源 φ	電源 V	台数	設置場所 階	設置場所 室名	備考
ＨＥＸ－４	全熱交換器	天井カセット型 仕　様　：　200Φ×400 m3/Ｈ×100Pa×249W 付属品　：　コントロールスイッチ ＳＵＳ製パイプフード	1	100	2 2	3階 3階	警防事務室 講堂	（参考型番） LGH-N50CS3
ＨＥＸ－５	全熱交換器	天井カセット型 仕　様　：　200Φ×500 m3/Ｈ×100Pa×249W 付属品　：　コントロールスイッチ ＳＵＳ製パイプフード	1	100	1	3階	会議室	（参考型番） LGH-N50CS3
ＦＥ－１	排気ファン	片吸い込みシロッコファン（天吊り型） 仕　様　：　#3 1/2×13,000 CMH×300Pa ×　5.5kw 付属品　：　防振架台	3	200	1	1階	車庫	（参考型番） ＳＲＭ４
ＦＥ－２	排気ファン	有圧扇 仕　様　：　羽根径　250Φ 400 m3/Ｈ×30Pa 付属品　：　ＳＵＳ製ウェザーカバー	1	100	1	3階	男性トイレ	（参考型番） EFG-25KSB2-P
Ｆ－１	排気ファン	天井扇（サニタリー） 仕　様　：　100Φ×50 m3/Ｈ×50Pa×15.5W 付属品　：　ＳＵＳ製パイプフード	1	100	2 1	1階 3階	シャワールーム 女性トイレ	（参考型番） VD-13Z14
Ｆ－２	排気ファン	天井扇（サニタリー）、２部屋用 仕　様　：　100Φ×80 m3/Ｈ×50Pa×15.5W 付属品　：　ＳＵＳ製パイプフード、副吸込口	1	100	1	3階	シャワー	（参考型番） VD-13ZF14
Ｆ－３	排気ファン	天井扇（サニタリー） 仕　様　：　100Φ×150 m3/Ｈ×50Pa×23W 付属品　：　ＳＵＳ製パイプフード	1	100	1 1	1階 1階	脱衣室 洗濯・乾燥機室	（参考型番） VD-15ZP14
Ｆ－４	排気ファン	天井扇（サニタリー） 仕　様　：　150Φ×250 m3/Ｈ×100Pa×49W 付属品　：　ＳＵＳ製パイプフード	1	100	1	1階	女性トイレ	（参考型番） VD-20ZB13
Ｆ－５	排気ファン	天井扇（サニタリー） 仕　様　：　150Φ×300 m3/Ｈ×100Pa×82W 付属品　：　ＳＵＳ製パイプフード	1	100	1 1	3階 3階	男性トイレ 女性トイレ	（参考型番） VD-23ZB13
Ｆ－６	排気ファン	天井扇（インテリア） 仕　様　：　150Φ×200 m3/Ｈ×80Pa×40W 付属品　：　ＳＵＳ製パイプフード	1	100	1	3階	トレーニングルーム	（参考型番） VD-18ZXP14-C
Ｆ－７	排気ファン	天井扇（インテリア） 仕　様　：　150Φ×300 m3/Ｈ×100Pa×64.5W 付属品　：　ＳＵＳ製パイプフード	1	100	1	1階	予防課	（参考型番） VD-20ZXP14-C
Ｆ－８	排気ファン	天井扇（インテリア） 仕　様　：　150Φ×400 m3/Ｈ×100Pa×90W 付属品　：　ＳＵＳ製パイプフード	1	100	1	3階	食堂	（参考型番） VD-23ZXP13-C
Ｆ－９	排気ファン	天井扇（台所用） 仕　様　：　150Φ×200 m3/Ｈ×80Pa×35W 付属品　：　ＳＵＳ製パイプフード	1	100	1 1	1階 3階	休憩室湯沸し 湯沸し	（参考型番） VD-18Z13
Ｆ－１０	排気ファン	パイプファン 仕　様　：　150Φ×100 m3/Ｈ×15Pa×5.5W 付属品　：　ＳＵＳ製パイプフード	1	100	2 1 1	1階 1階 1階	男性トイレ こどもトイレ 予防課	（参考型番） V-12PPVS8

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

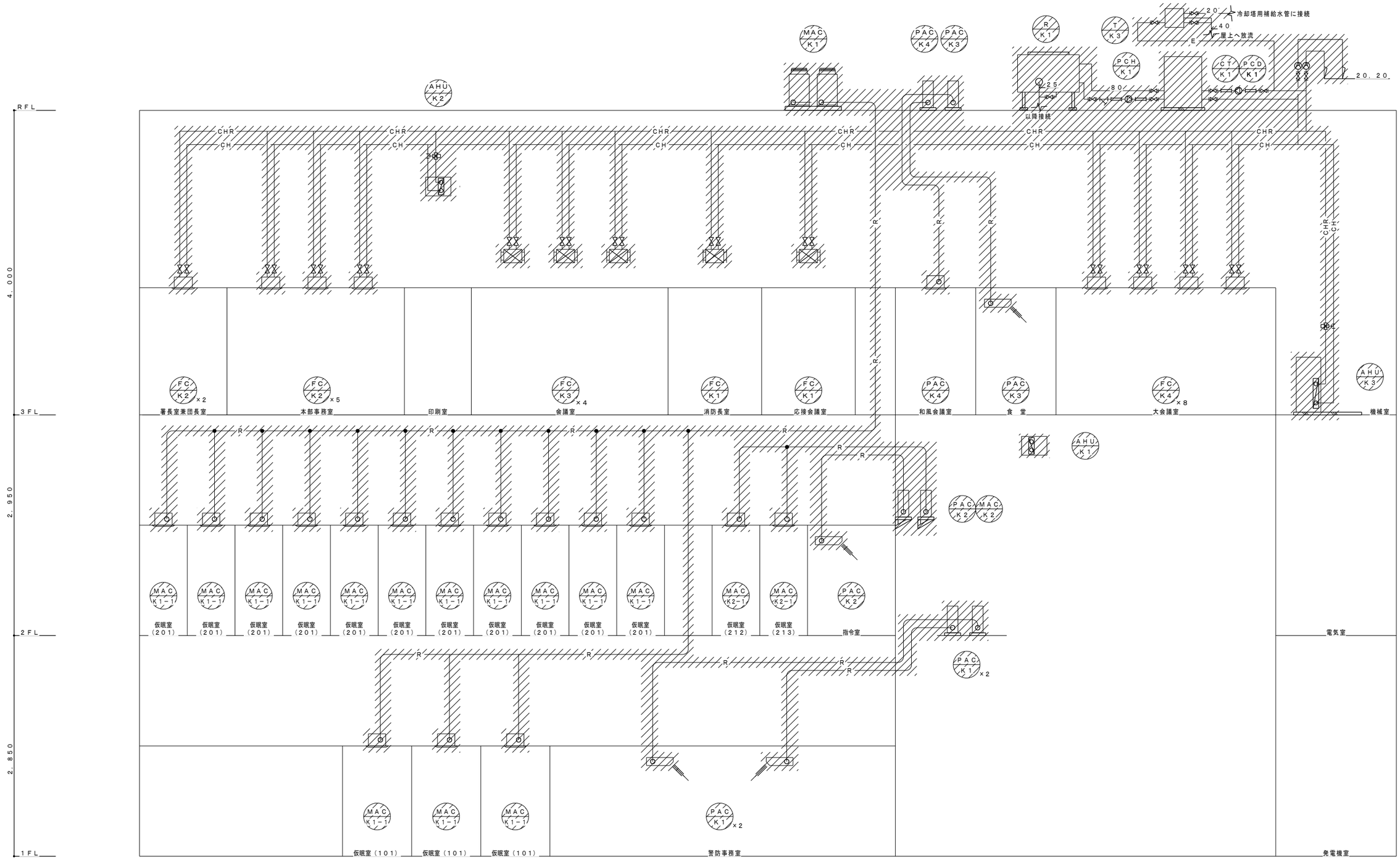
図面名称　空調設備　改修後　機器表－２

縮尺　NS

製図　令和08年03月

１級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. M-011

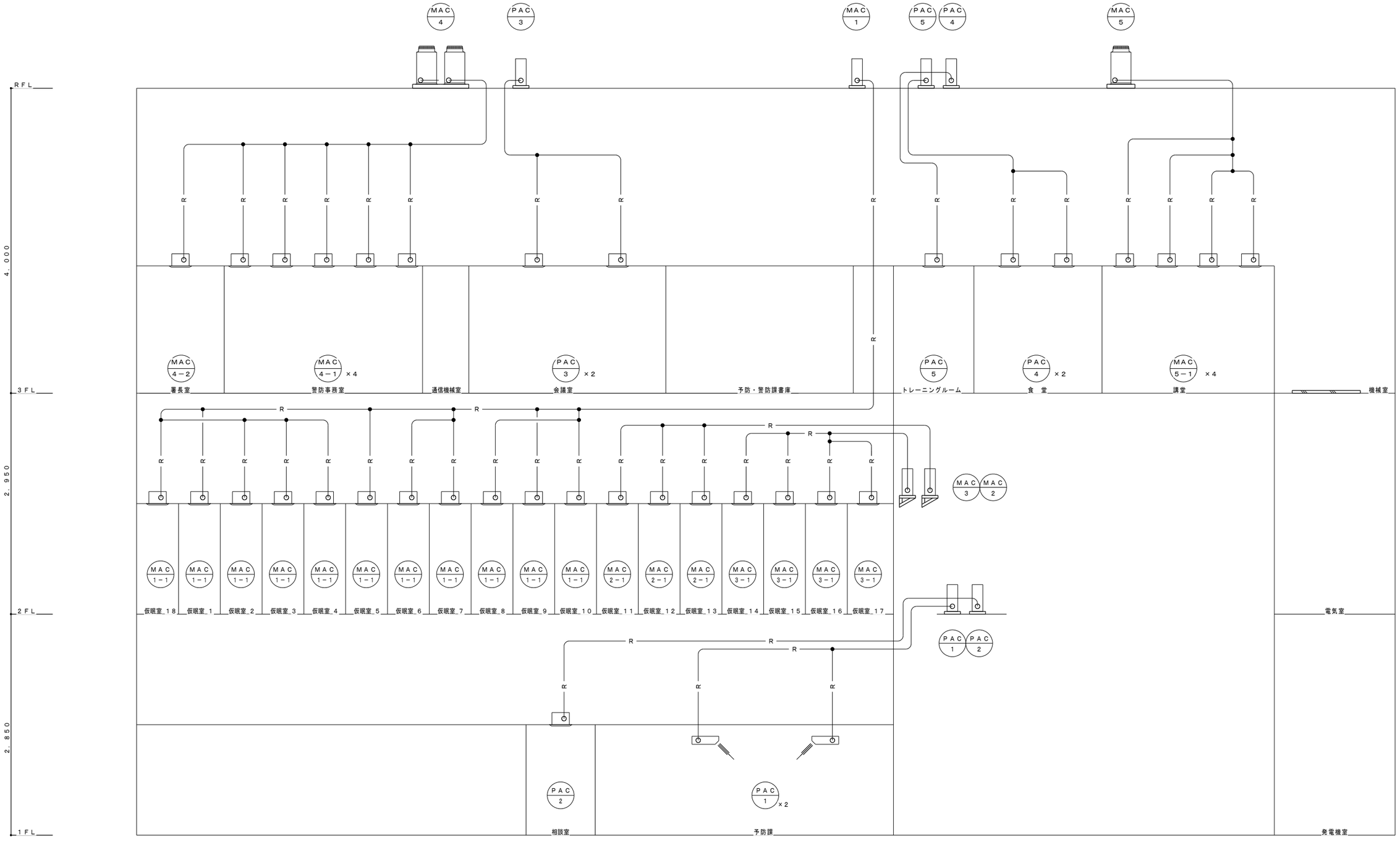


凡例	
———	既設配管を示す
//////////	撤去を示す

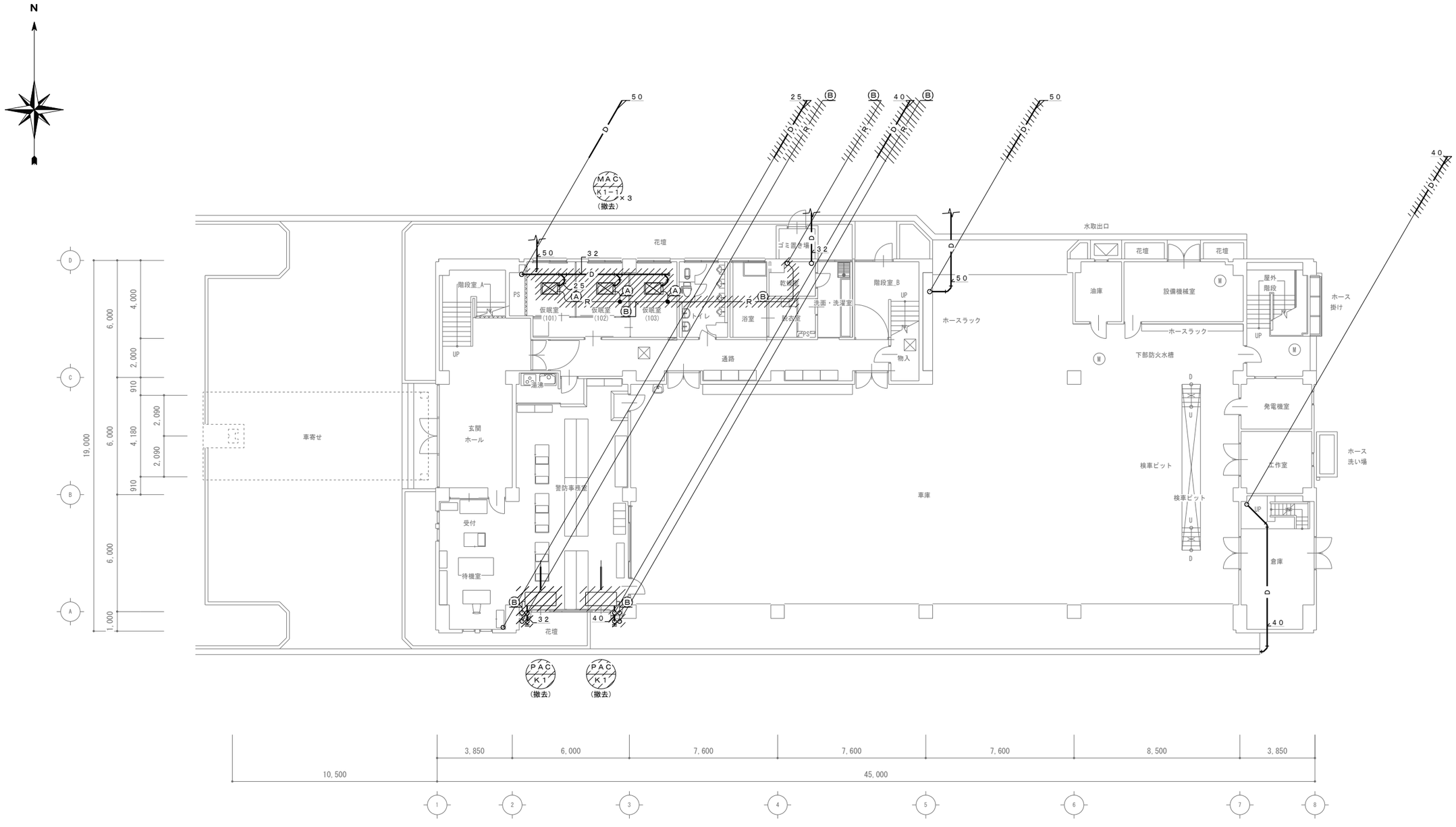
株式会社　松浦建築事務所

TEL　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	縮尺 NS	
空調設備　改修前　配管系統図	製図　令和08年03月	
1級建築士 登録第92794号　松浦孔明		No. M-012



株式会社 松浦建築事務所	工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称 空調設備　改修後　配管系統図	縮尺 NS
TEL (0561) 32-0318		製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No. M-013



改修前　１階平面図　1/200

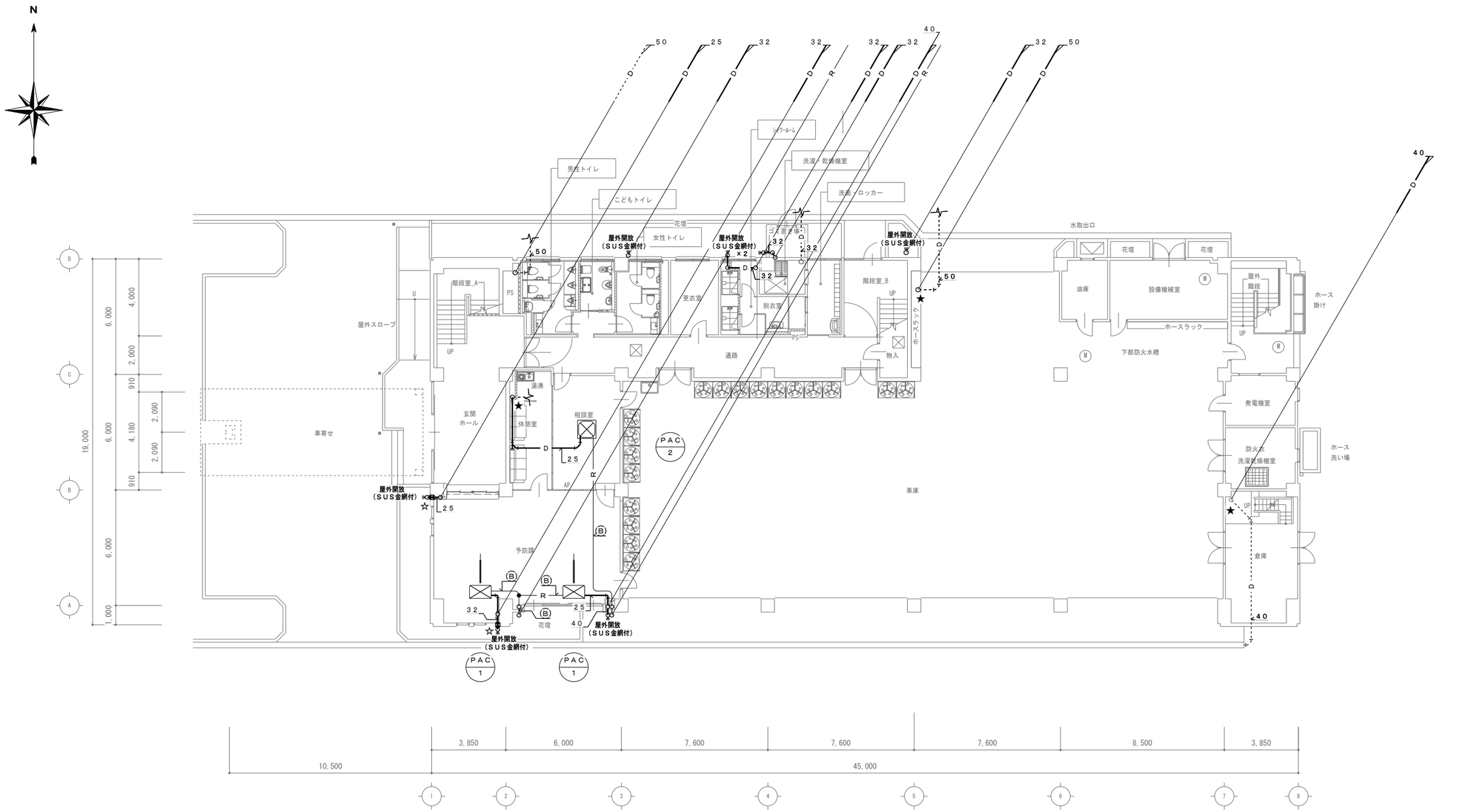
凡例	
――――	既設配管を示す
//////////	撤去を示す

冷媒配管サイズリスト		
記号	液　管	ガス管
Ⓐ	６．４　Φ	１２．７　Φ
Ⓑ	９．５　Φ	１５．９　Φ
Ⓒ	９．５　Φ	１９．１　Φ
Ⓓ	９．５　Φ	２２．２　Φ

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	空調設備　改修前　配管１階平面図
縮尺	A2　1：150　A3　1：212
製図	令和08年03月
１級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	M-014



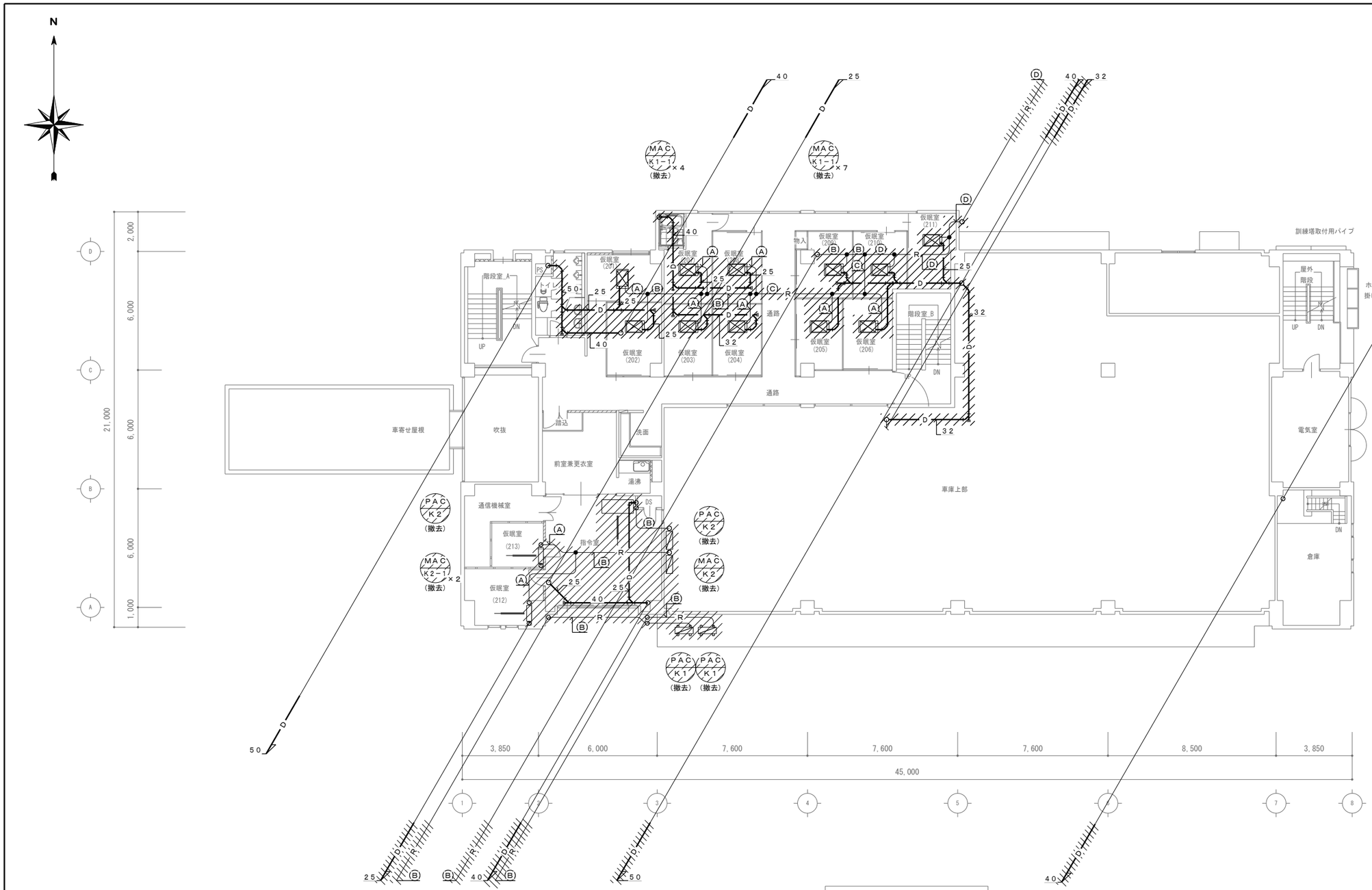
冷媒配管サイズリスト				
記号	液　管	ガス管	信号線	二次側電源線
Ⓐ	６．４　Φ	１２．７　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓑ	９．５　Φ	１５．９　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓒ	９．５　Φ	１９．１　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓓ	９．５　Φ	２２．２　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓔ	１２．７　Φ	２２．２　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓕ	１２．７　Φ	２５．４　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓖ	１５．９　Φ	２８．６　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C

1）屋外機と屋内機との信号線・電源線は、本工事とし冷媒管と共巻きとする。

凡例	
———	新設配管を示す
- - - - -	既設配管を示す
------‖——★	既設管接続ヶ所を示す
——☆——	コア抜きヶ所を示す。

改修後　１階平面図　1/150

株式会社　松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	空調設備　改修後　配管１階平面図	縮尺　A2　1：150　A3　1：212
			製図　令和08年03月
ＴＥＬ　(0561) 32-0318	１級建築士 登録第92794号	松 浦 孔 明	No. M-015



改修前　２階平面図　1/200

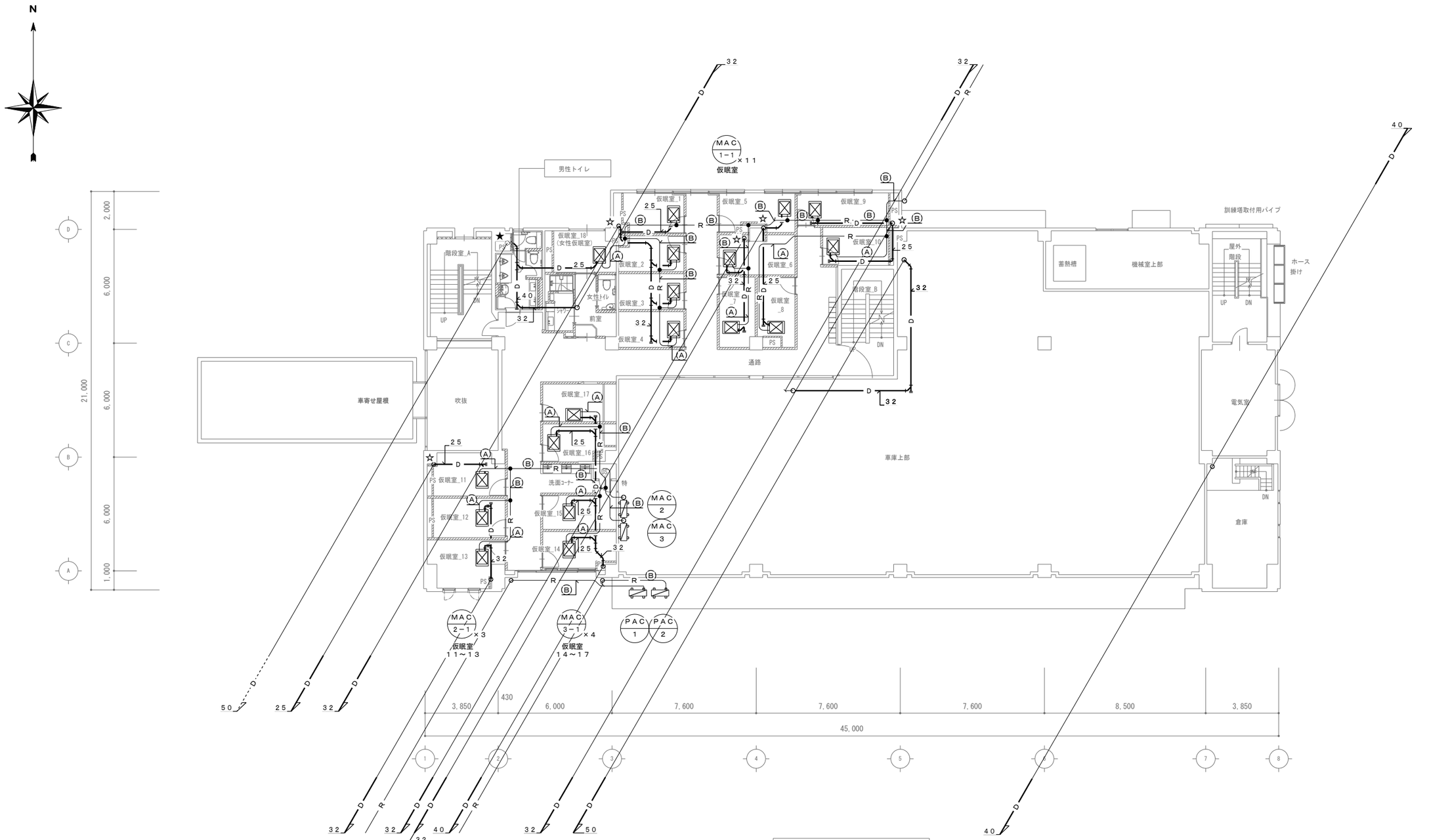
凡例	
――――	既設配管を示す
//////////	撤去を示す

冷媒配管サイズリスト		
記号	液　管	ガス管
Ⓐ	６．４　Φ	１２．７　Φ
Ⓑ	９．５　Φ	１５．９　Φ
Ⓒ	９．５　Φ	１９．１　Φ
Ⓓ	９．５　Φ	２２．２　Φ

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	縮尺 A2 1：150 A3 1：212	
空調設備　改修前　配管２階平面図	製図　令和08年03月	
１級建築士 登録第92794号　松浦孔明		No. M-016



改修後　２階平面図　1/150

冷媒配管サイズリスト				
記号	液　管	ガス管	信号線	二次側電源線
Ⓐ	６．４　Φ	１２．７　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓑ	９．５　Φ	１５．９　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓒ	９．５　Φ	１９．１　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓓ	９．５　Φ	２２．２　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓔ	１２．７　Φ	２２．２　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓕ	１２．７　Φ	２５．４　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓖ	１５．９　Φ	２８．６　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C

1）屋外機と屋内機との信号線・電源線は、本工事とし冷媒管と共巻きとする。

凡例	
———	新設配管を示す
- - - - -	既設配管を示す
----‖★	既設管接続ヶ所を示す
—☆—	コア抜きヶ所を示す。

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	空調設備　改修後　配管２階平面図	縮尺 A2 1：150 A3 1：212
TEL　(0561) 32-0318			製図　令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. M-017

N

AHU−K2			
冷温水	GV	50	2
〃	FJ	50	2

FC−K3			
冷温水	GV	20	8
〃	FJ	20	8

AHU K2 （撤去）

FC K3 ×4 （撤去）

PAC K4 （撤去）

PAC K3 （撤去）

訓練塔取付用パイプ

FC−K2			
冷温水	GV	20	14
〃	FJ	20	14

AHU K3 （撤去）

FC K2 ×2 （撤去）

FC K2 ×5 （撤去）

FC K1 ×2 （撤去）

FC K4 ×8 （撤去）

AHU−K3			
冷温水	GV	50	2
〃	FJ	50	2

FC−K1			
冷温水	GV	20	4
〃	FJ	20	4

FC−K4			
冷温水	GV	20	16
〃	FJ	20	16

改修前　３階平面図　1/200

凡例	
———	既設配管を示す
//////	撤去を示す

冷媒配管サイズリスト		
記号	液　管	ガス管
Ⓐ	6.4 Φ	12.7 Φ
Ⓑ	9.5 Φ	15.9 Φ
Ⓒ	9.5 Φ	19.1 Φ
Ⓓ	9.5 Φ	22.2 Φ

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

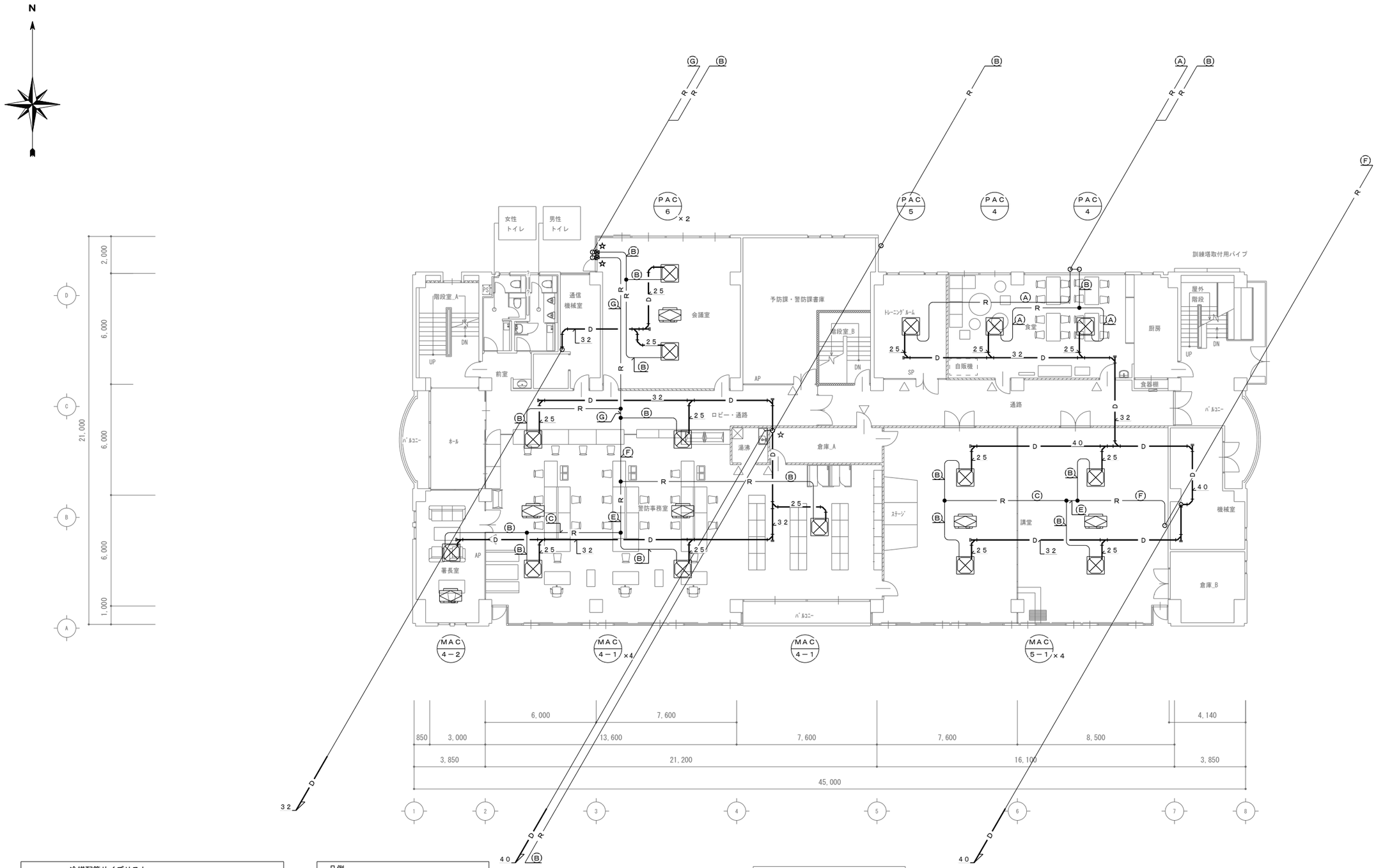
図面名称　空調設備　改修前　配管３階平面図

縮尺　A2　1：150　A3　1：212

製図　令和08年03月

１級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. M-018



改修後　３階平面図　1/150

冷媒配管サイズリスト				
記号	液　管	ガス管	信号線	二次側電源線
Ⓐ	６．４　Φ	１２．７　Φ	EM-CEE^{2}-2C	EM-CE^{2}-3C
Ⓑ	９．５　Φ	１５．９　Φ	EM-CEE^{2}-2C	EM-CE^{2}-3C
Ⓒ	９．５　Φ	１９．１　Φ	EM-CEE^{2}-2C	EM-CE^{2}-3C
Ⓓ	９．５　Φ	２２．２　Φ	EM-CEE^{2}-2C	EM-CE^{2}-3C
Ⓔ	１２．７　Φ	２２．２　Φ	EM-CEE^{2}-2C	EM-CE^{2}-3C
Ⓕ	１２．７　Φ	２５．４　Φ	EM-CEE^{2}-2C	EM-CE^{2}-3C
Ⓖ	１５．９　Φ	２８．６　Φ	EM-CEE^{2}-2C	EM-CE^{2}-3C

1）屋外機と屋内機との信号線・電源線は、本工事とし冷媒管と共巻きとする。

凡例	
———	新設配管を示す
- - - - - -	既設配管を示す
----★----	既設管接続ヶ所を示す
——☆——	コア抜きヶ所を示す。

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	空調設備　改修後　配管３階平面図
縮尺	A2　1：150 A3　1：212
製図	令和08年03月
１級建築士 登録第92794号	松　浦　孔　明
No.	M-019

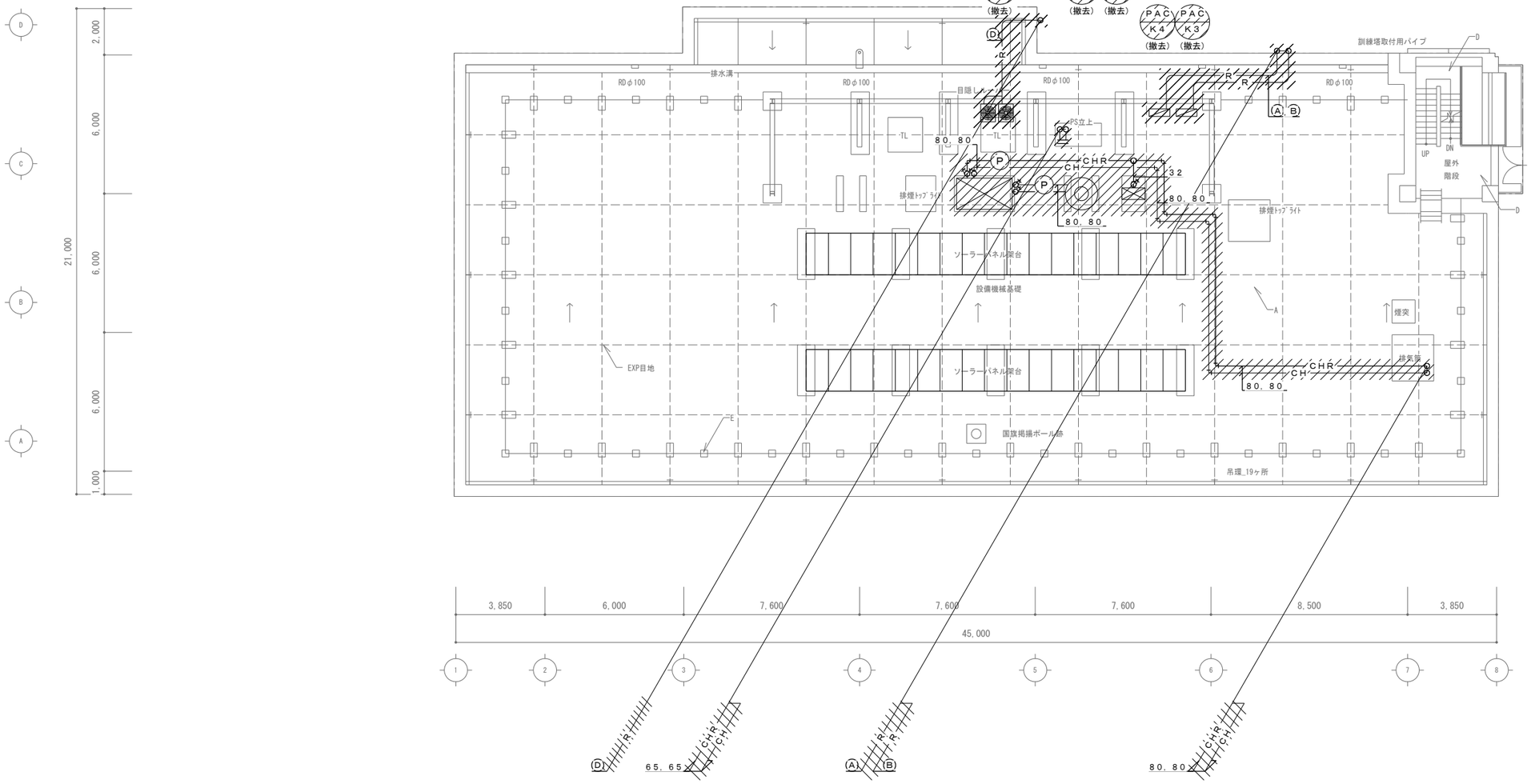
N

R－K1			
冷温水	GV	80	2
〃	FJ	80	2
冷却水	GV	80	2
〃	FJ	80	2
排水	GV（水抜き）	25	2

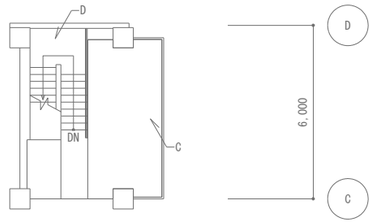
CT－K1			
冷却水	GV	80	2
〃	CV	125	1
〃	FJ	125	2
排水	GV（水抜き）	25	1

PCH－K1			
冷温水	GV	80	2
〃	CV	80	1
〃	FJ	80	2

PCD－K1			
冷却水	GV	80	2
〃	CV	80	1
〃	FJ	80	2



改修前　屋上平面図　1/200

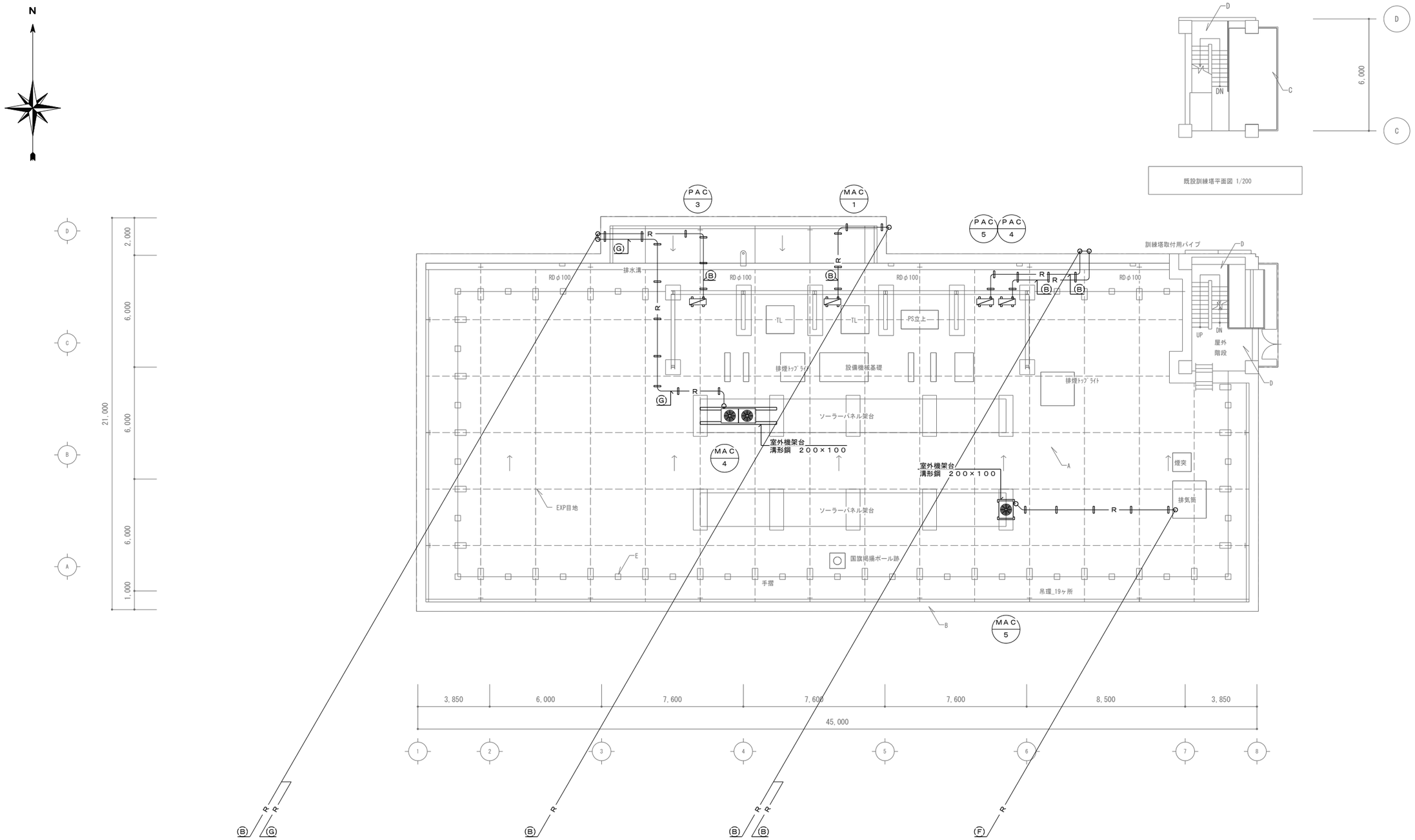


既設訓練塔平面図　1/200

凡例	
――――	既設配管を示す
//////////	撤去を示す

冷媒配管サイズリスト		
記号	液　管	ガス管
Ⓐ	6.4　Φ	12.7　Φ
Ⓑ	9.5　Φ	15.9　Φ
Ⓒ	9.5　Φ	19.1　Φ
Ⓓ	9.5　Φ	22.2　Φ

株式会社　松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	空調設備　改修前　配管屋上平面図	縮尺　A2　1：150　A3　1：212
			製図　令和08年03月
TEL　(0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. M-020



既設訓練塔平面図 1/200

改修後　屋上平面図　1/150

冷媒配管サイズリスト				
記号	液　管	ガス管	信号線	二次側電源線
Ⓐ	6.4　Φ	12.7　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓑ	9.5　Φ	15.9　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓒ	9.5　Φ	19.1　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓓ	9.5　Φ	22.2　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓔ	12.7　Φ	22.2　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓕ	12.7　Φ	25.4　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C
Ⓖ	15.9　Φ	28.6　Φ	EM-CEE2□-2C	EM-CE2□-3C

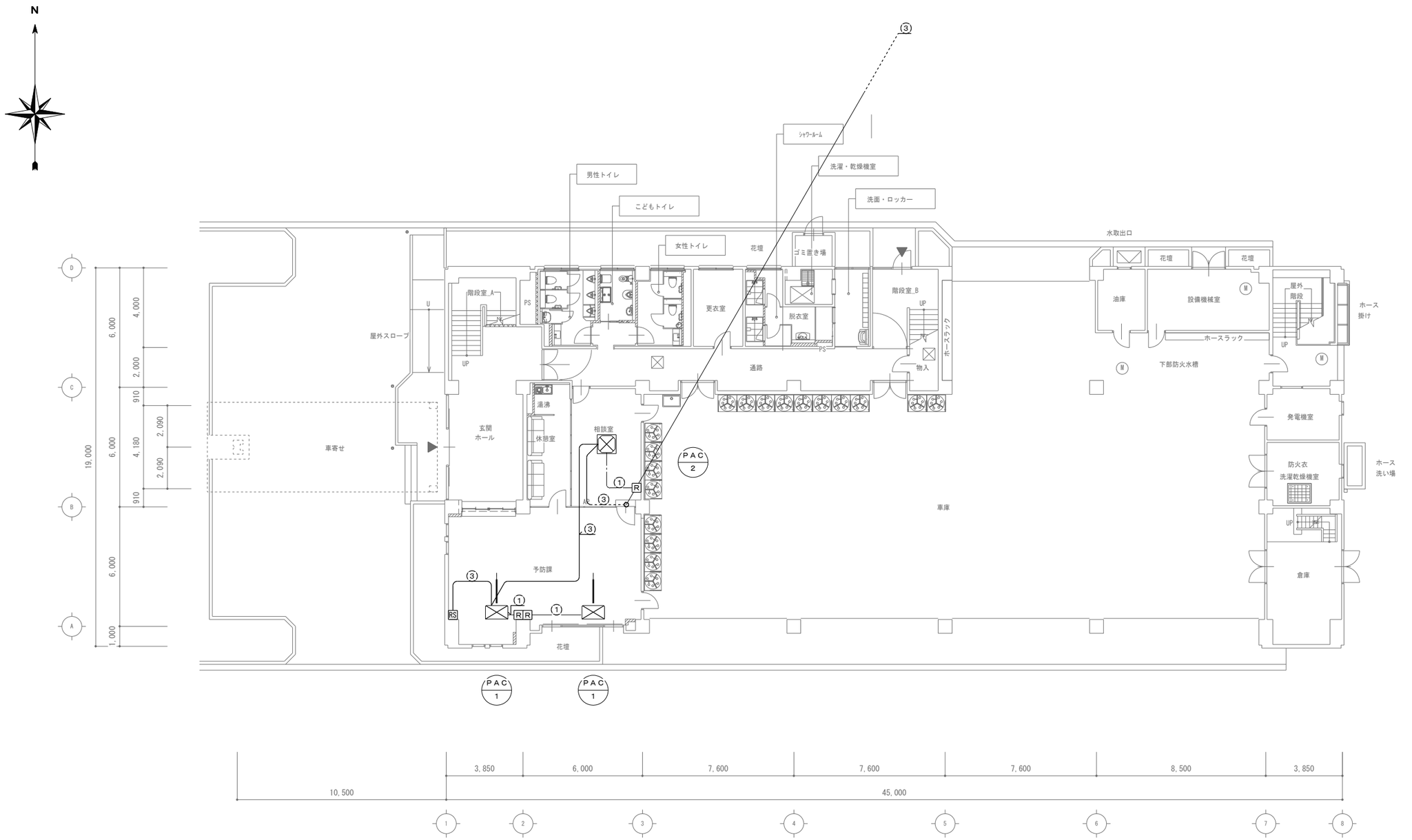
1）屋外機と屋内機との信号線・電源線は、本工事とし冷媒管と共巻きとする。

凡例	
———	新設配管を示す
- - - - -	既設配管を示す
----‖★	既設管接続ヶ所を示す
——☆	コア抜きヶ所を示す。

株式会社　松浦建築事務所

TEL　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	空調設備　改修後　配管屋上平面図
縮尺	A2　1：150 A3　1：212
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	M-021



改修後　１階平面図　1/150

（凡例）

記号	系統名	配線種	天井内	壁・２重床内	屋外
①	手元リモコン	EM−CEE1.25□−2C	コロガシ	ＰＦ管路	E管路
②	空調換気扇信号線	EM−CEE1.25□−4C	コロガシ	ＰＦ管路	E管路
③	集中リモコン	EM−CEE2□−2C	コロガシ	ＰＦ管路	E管路

記号	名称	線種	備考
R	室内機手元リモコン	——— - ———	
VS	空調換気扇リモコン	− — — — — −	
RS	集中リモコン	----------	

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

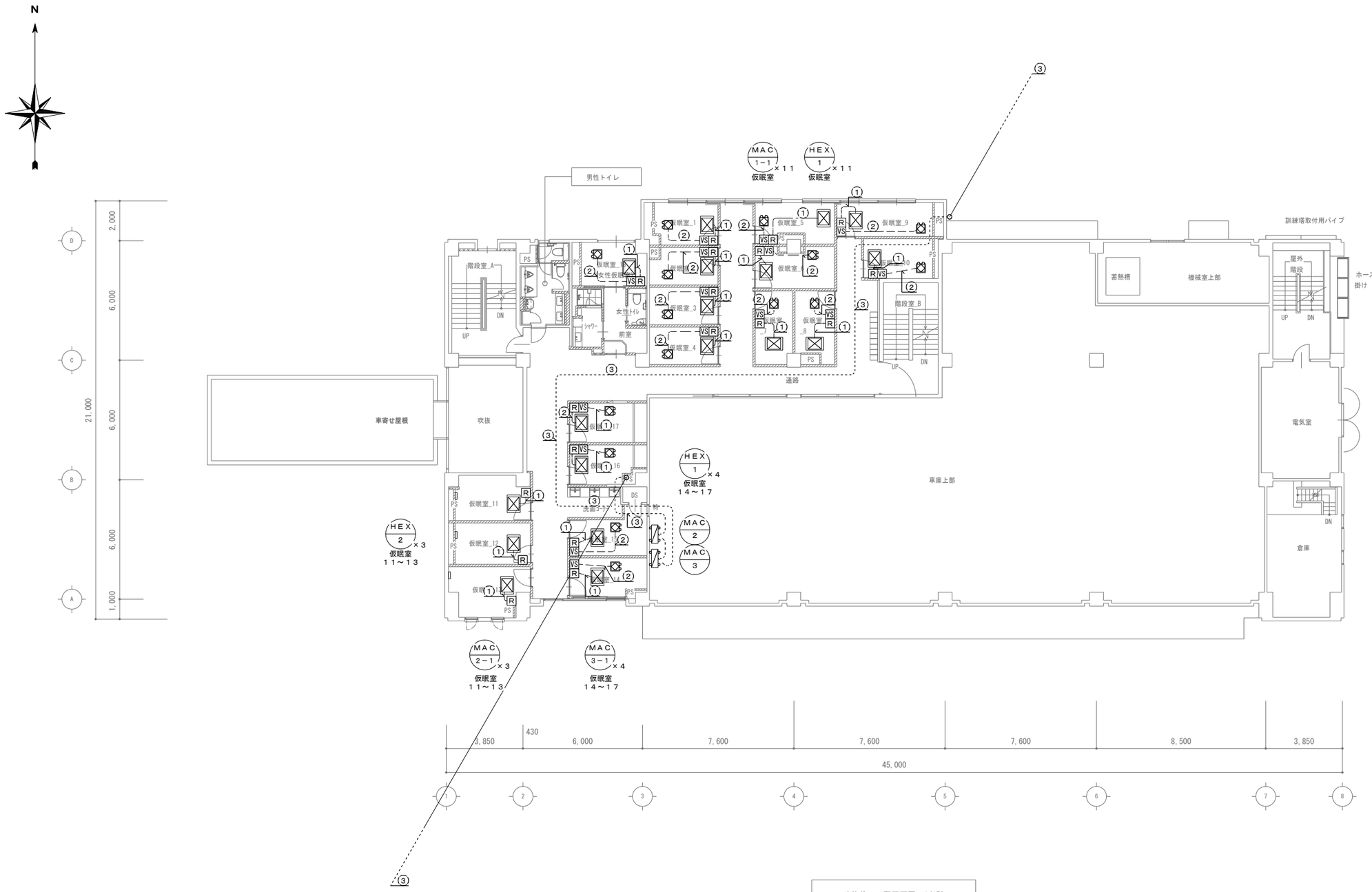
図面名称　空調設備　改修後　リモコン１階平面図

縮尺　A2　1：150　A3　1：212

製図　令和08年03月

１級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. M-022



改修後　２階平面図　1/150

（凡例）

記号	系統名	配線種	天井内	壁・２重床内	屋外
①	手元リモコン	EM−CEE1.25□−2C	コロガシ	PF管路	E管路
②	空調換気扇信号線	EM−CEE1.25□−4C	コロガシ	PF管路	E管路
③	集中リモコン	EM−CEE2□−2C	コロガシ	PF管路	E管路

記号	名称	線種	備考
R	室内機手元リモコン	——－———	
VS	空調換気扇リモコン	－———————	
RS	集中リモコン	----------	

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

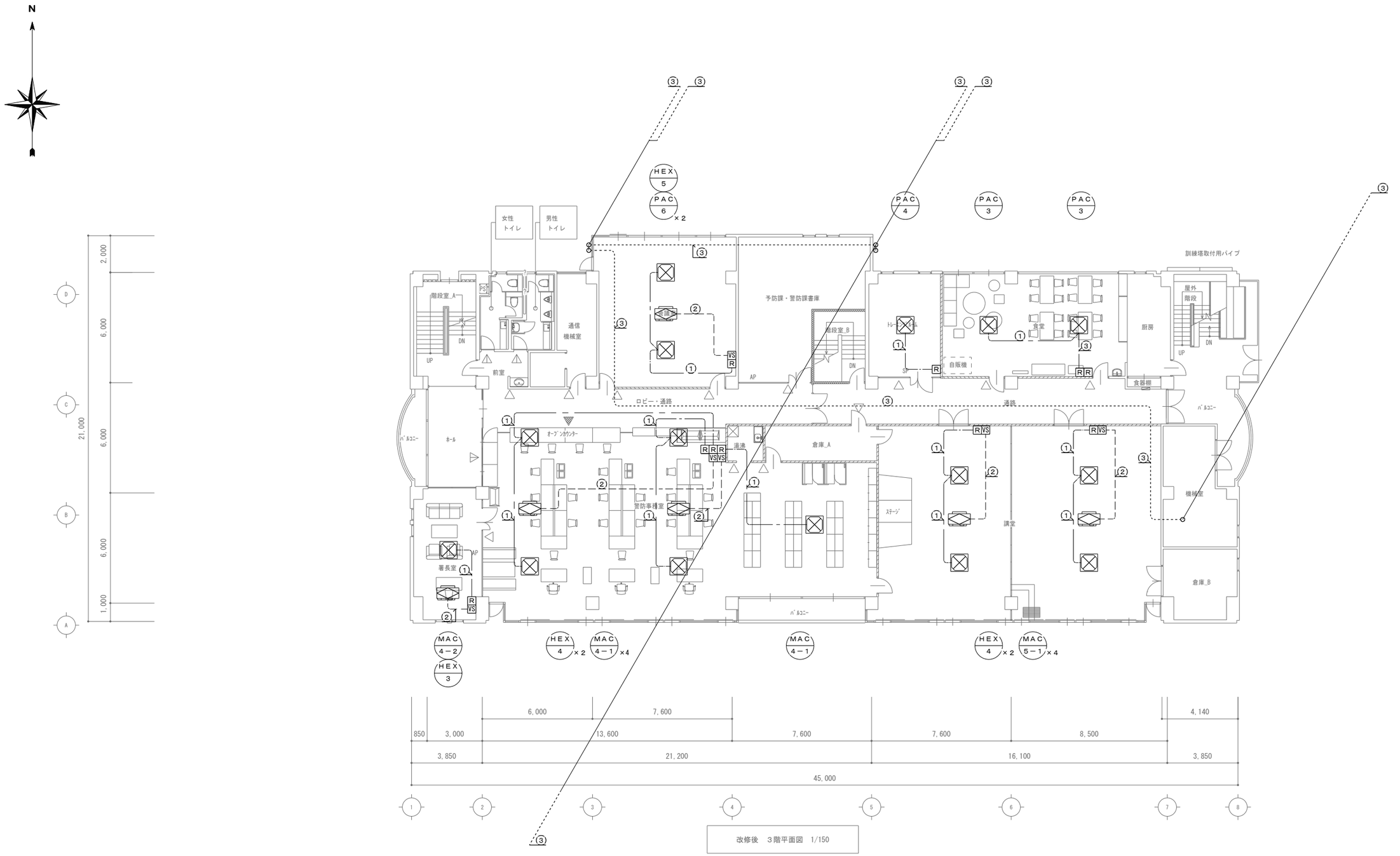
図面名称　空調設備　改修後　リモコン２階平面図

縮尺　A2　1：150　A3　1：212

製図　令和08年03月

１級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. M-023



改修後　３階平面図　1/150

（凡例）

記号	系統名	配線種	天井内	壁・２重床内	屋外
①	手元リモコン	EM－CEE1.25□－2C	コロガシ	ＰＦ管路	Ｅ管路
②	空調換気扇信号線	EM－CEE1.25□－4C	コロガシ	ＰＦ管路	Ｅ管路
③	集中リモコン	EM－CEE2□－2C	コロガシ	ＰＦ管路	Ｅ管路

記号	名称	線種	備考
R	室内機手元リモコン	——－——	
VS	空調換気扇リモコン	－－－－－－	
RS	集中リモコン	･･･････････	

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

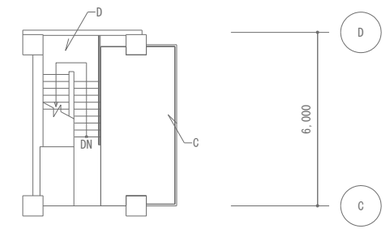
図面名称　空調設備　改修後　リモコン３階平面図

縮尺　A2　1：150　A3　1：212

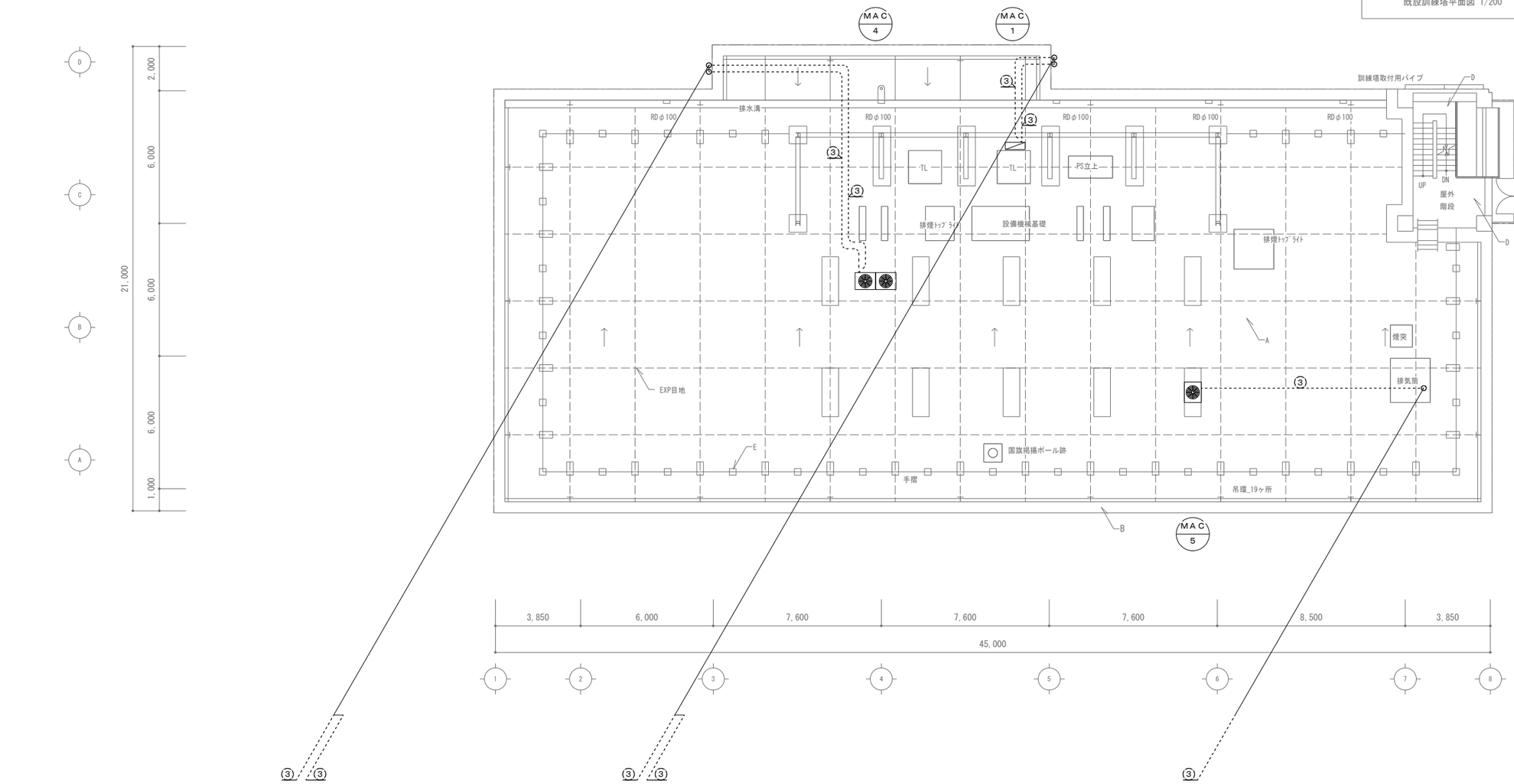
製図　令和08年03月

１級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. M-024



既設訓練塔平面図 1/200



改修後 屋上平面図 1/150

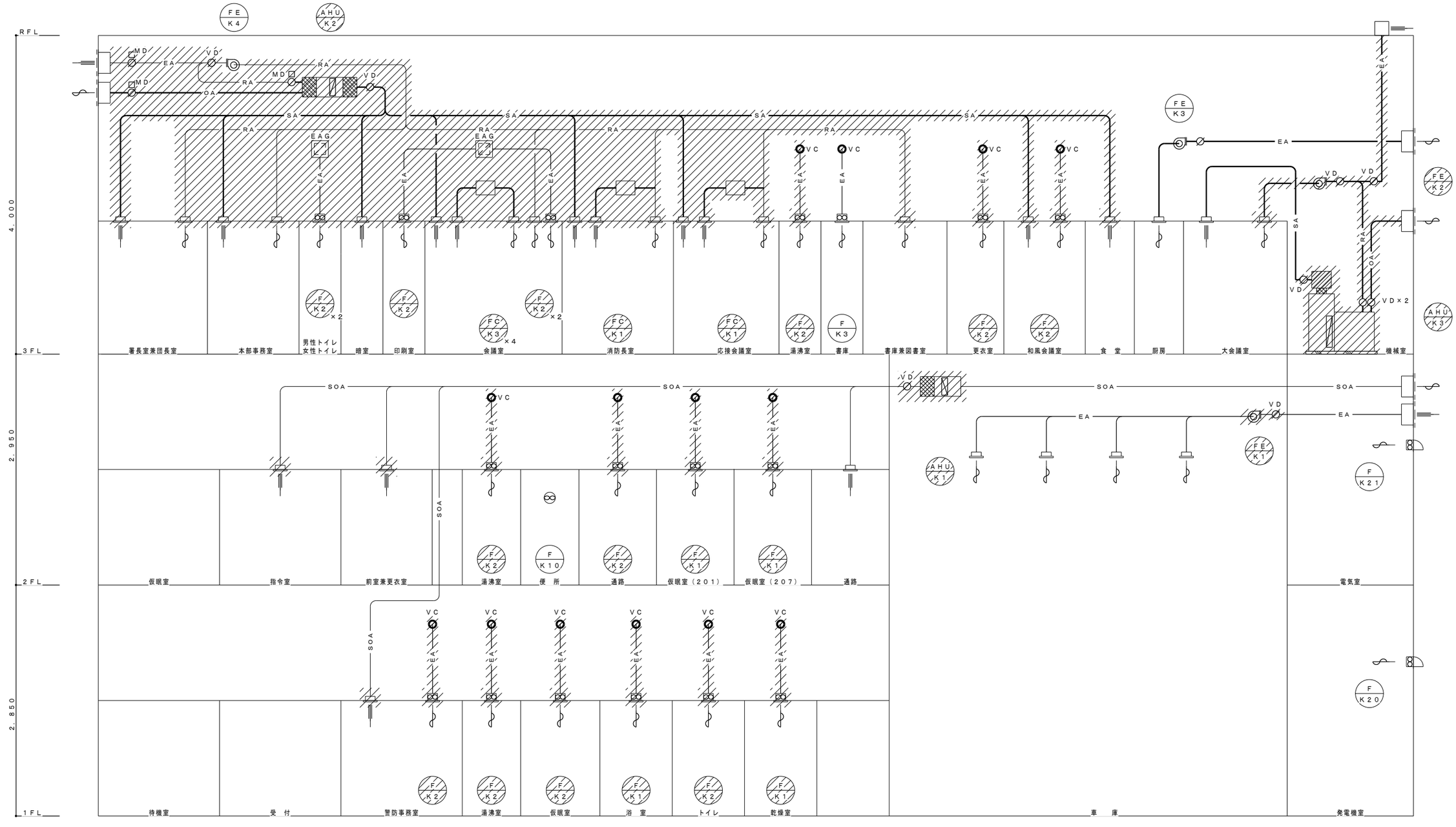
（凡例）

記号	系統名	配線種	天井内	壁・２重床内	屋外
①	手元リモコン	EM−CEE1.25□−2C	コロガシ	PF管路	E管路
②	空調換気扇信号線	EM−CEE1.25□−4C	コロガシ	PF管路	E管路
③	集中リモコン	EM−CEE2□−2C	コロガシ	PF管路	E管路

記号	名称	線種	備考
R	室内機手元リモコン	——－——	
VS	空調換気扇リモコン	－——	
RS	集中リモコン	----------	

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	空調設備 改修後 リモコン屋上平面図
縮尺	A2 1：150 A3 1：212
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	M-025

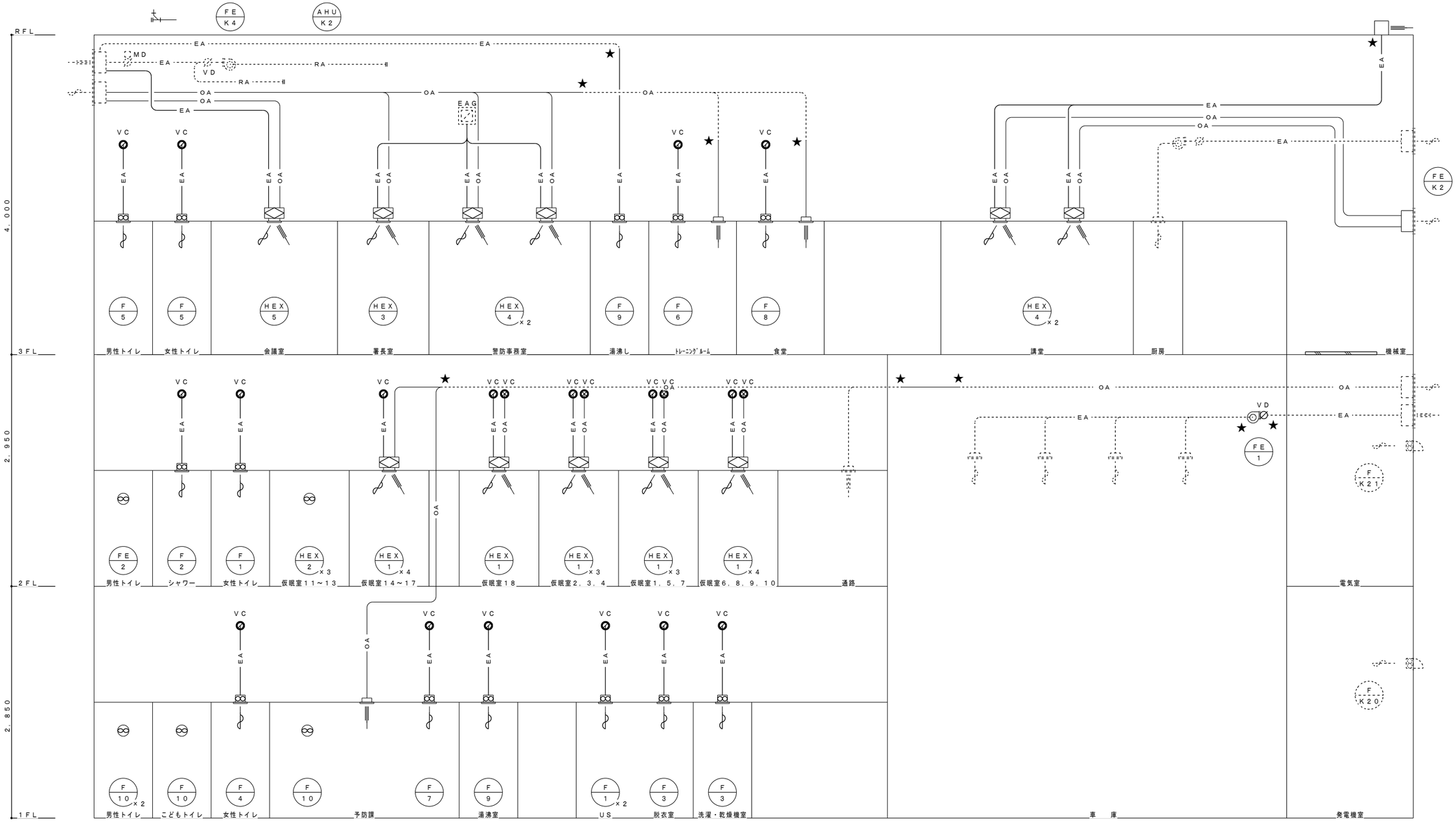


凡例	
———	既設配管を示す
//////////	撤去を示す

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	空調設備　改修前　ダクト系統図	縮尺　A2　1：150　A3　1：212
		製図　令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. M-026

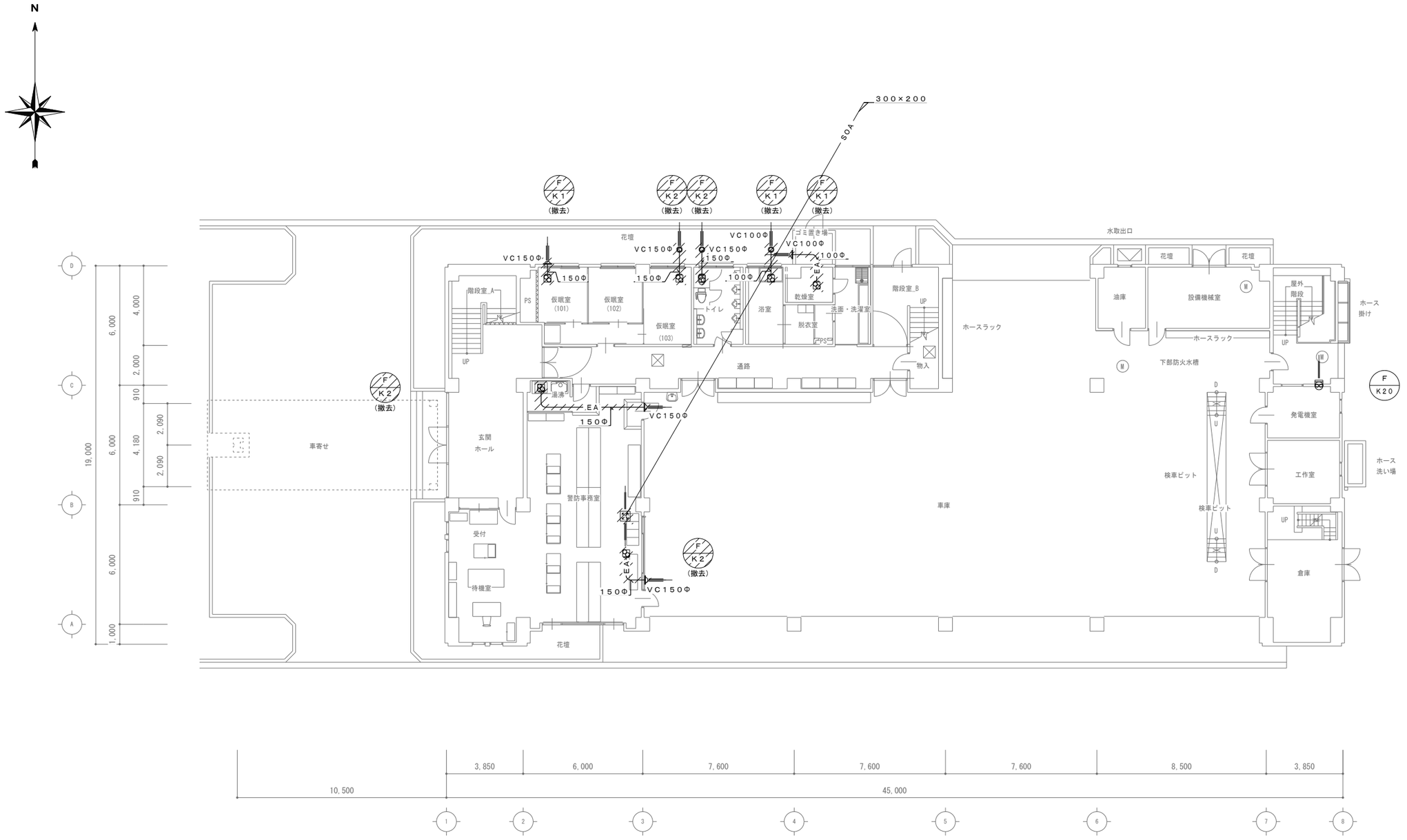


凡例	
———	新設配管を示す
- - - - -	既設配管を示す
★	既設接続ヶ所を示す
☆	コア抜きヶ所を示す。

株式会社 松浦建築事務所

ＴＥＬ (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	空調設備　改修後　ダクト系統図
縮尺	A2 1：150　A3 1：212
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	M-027

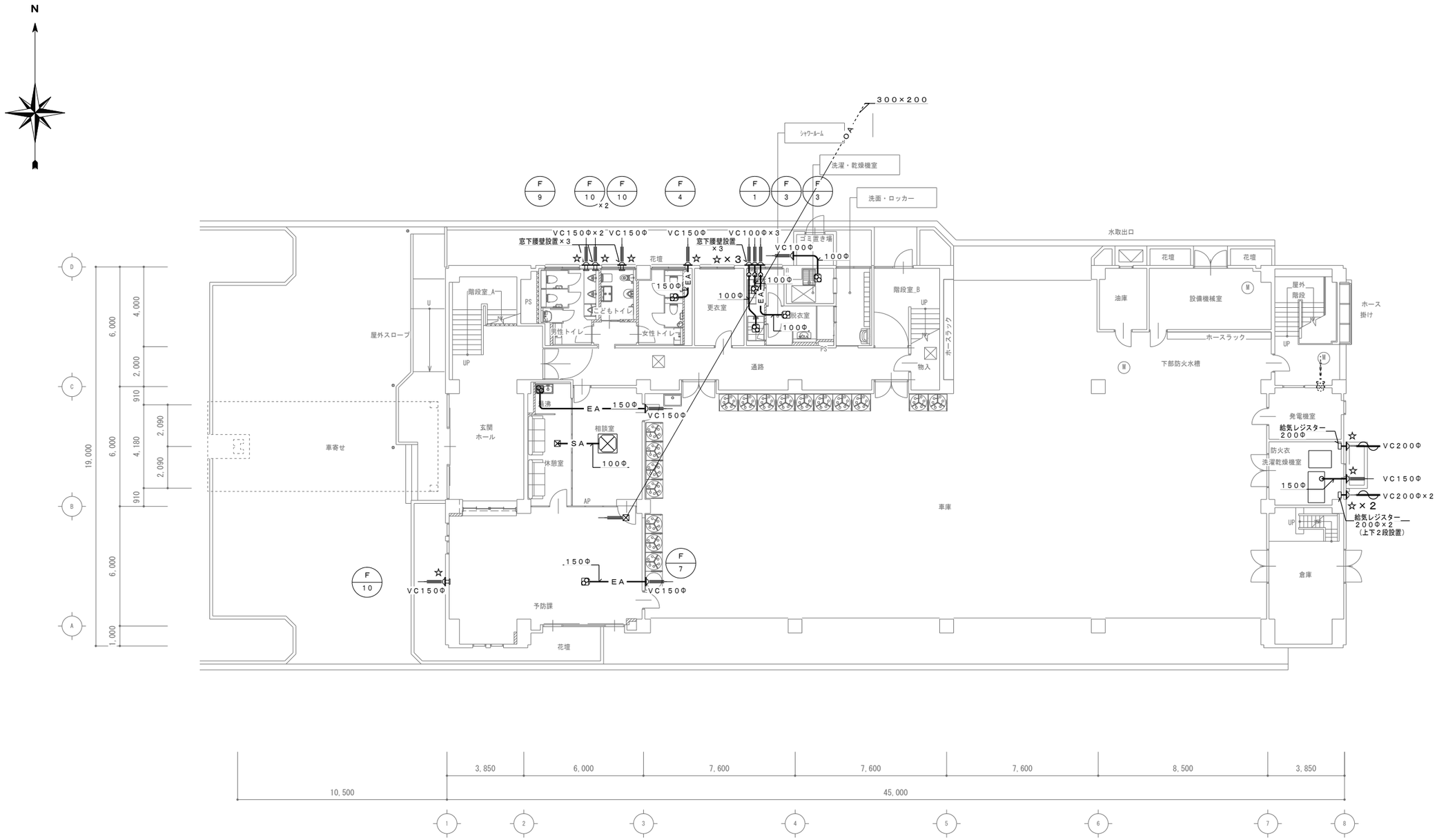


凡例	
———	既設配管を示す
//////	撤去を示す

警防事務室		
VHS	600×300	1
OA	900CMH	

改修前　１階平面図　1/150

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	縮尺 A2 1：150 A3 1：212	
	空調設備　改修前　ダクト１階平面図	製図 令和08年03月	
TEL (0561) 32-0318	１級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. M-028



休憩室	
VHS 200×200	1
SA 250CMH	

予防課	
VHS 300×300	1
OA 600CMH	

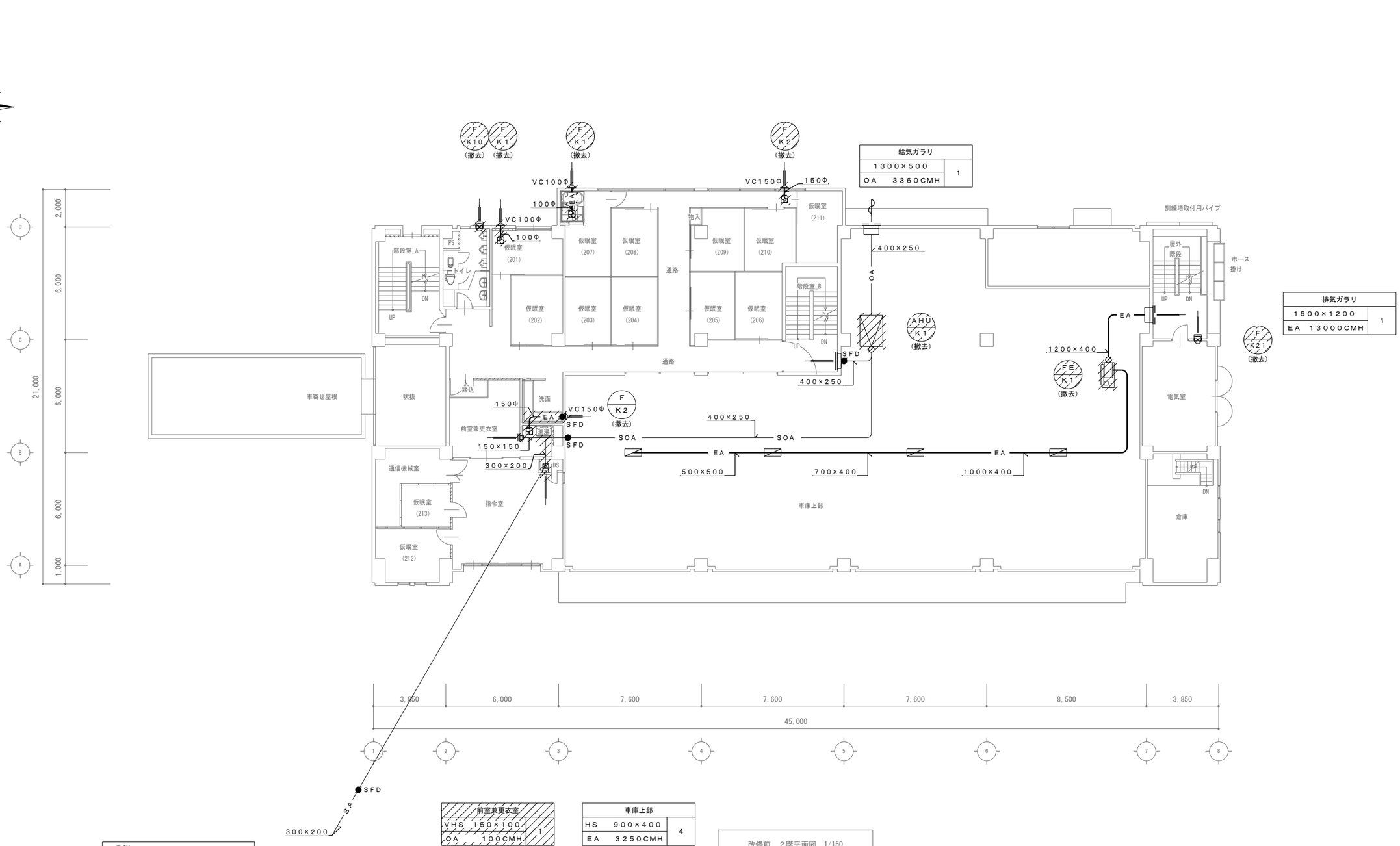
改修後　1階平面図　1/150

凡例	
———	新設配管を示す
- - - - - -	既設配管を示す
★	既設接続ヶ所を示す
☆	コア抜き ヶ所を示す。

株式会社　松浦建築事務所

TEL　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	空調設備　改修後　ダクト1階平面図
縮尺	A2　1：150 A3　1：212
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	M-029



凡例	
———	既設配管を示す
//////	撤去を示す

前室兼更衣室		
VHS	150×100	1
OA	100CMH	

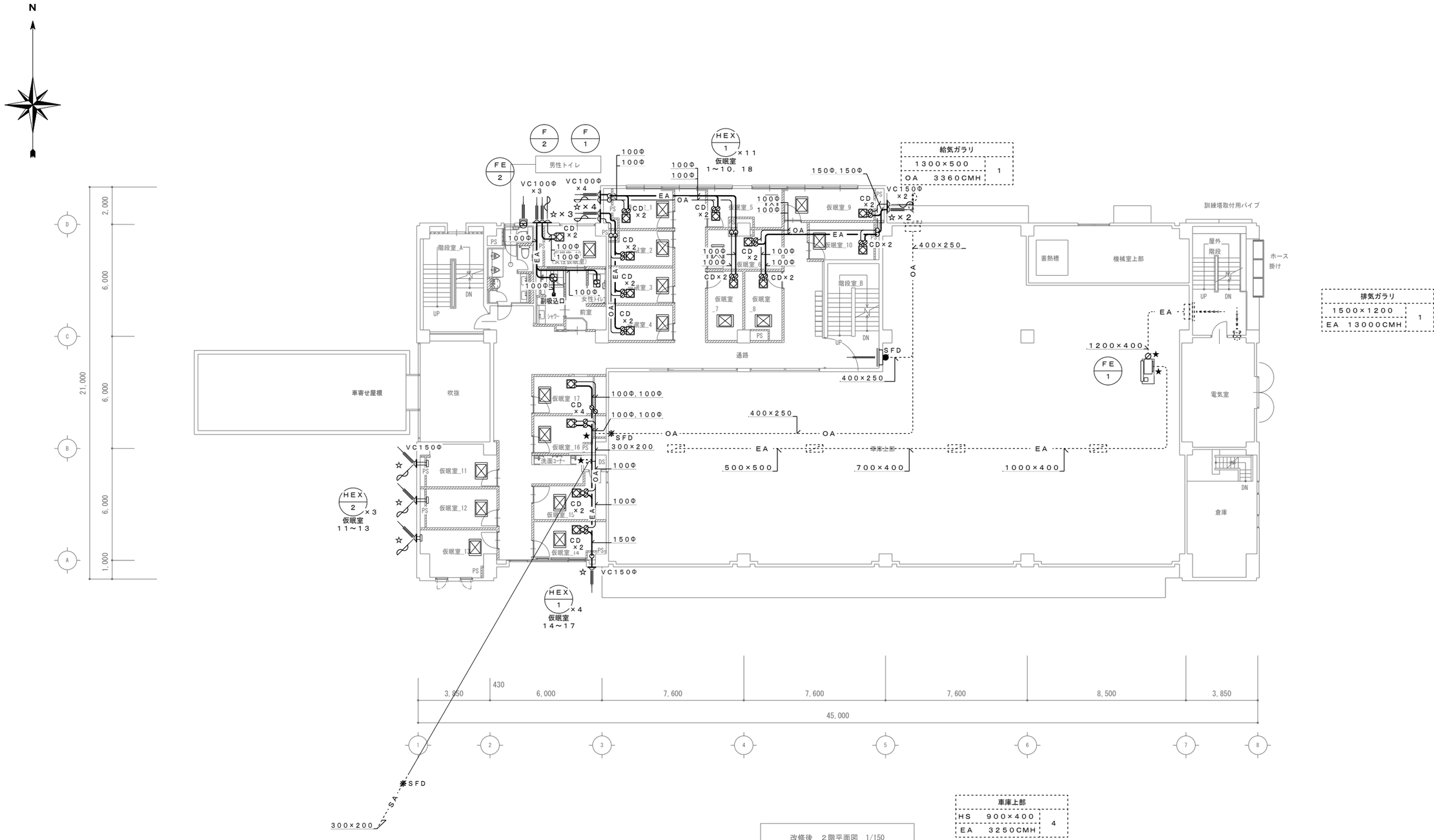
指令室		
VHS	300×200	1
SA	500CMH	

車庫上部		
HS	900×400	4
EA	3250CMH	

廊 下		
VHS	700×300	1
OA	1860CMH	

改修前 2階平面図 1/150

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
TEL (0561) 32-0318	図面名称	空調設備 改修前 ダクト2階平面図	縮尺 A2 1:150 A3 1:212
			製図 令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. M-030



改修後　２階平面図　1/150

凡例	
———	新設配管を示す
- - - - -	既設配管を示す
----‖★	既設接続ヶ所を示す
——二☆	コア抜きヶ所を示す。

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	空調設備　改修後　ダクト２階平面図	縮尺　A2　1：150　A3　1：212
		製図　令和08年03月
１級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. M-031

N

排気ガラリ Ⓑ	
450×300	1
EA 920CMH	

給気ガラリ ⑦	
1250×400	1
OA 2720CMH	

排気ガラリ Ⓐ	
350×300	1
EA 660CMH	

会議室	
VHS 520×125	4
SA 510CMH	
HS 520×240	4
RA 510CMH	
HS 250×250	1
EA 400CMH	

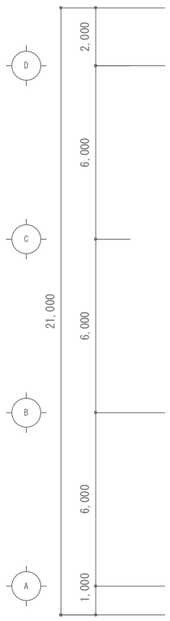
排気ガラリ Ⓒ	
900×400	1
EA 2510CMH	

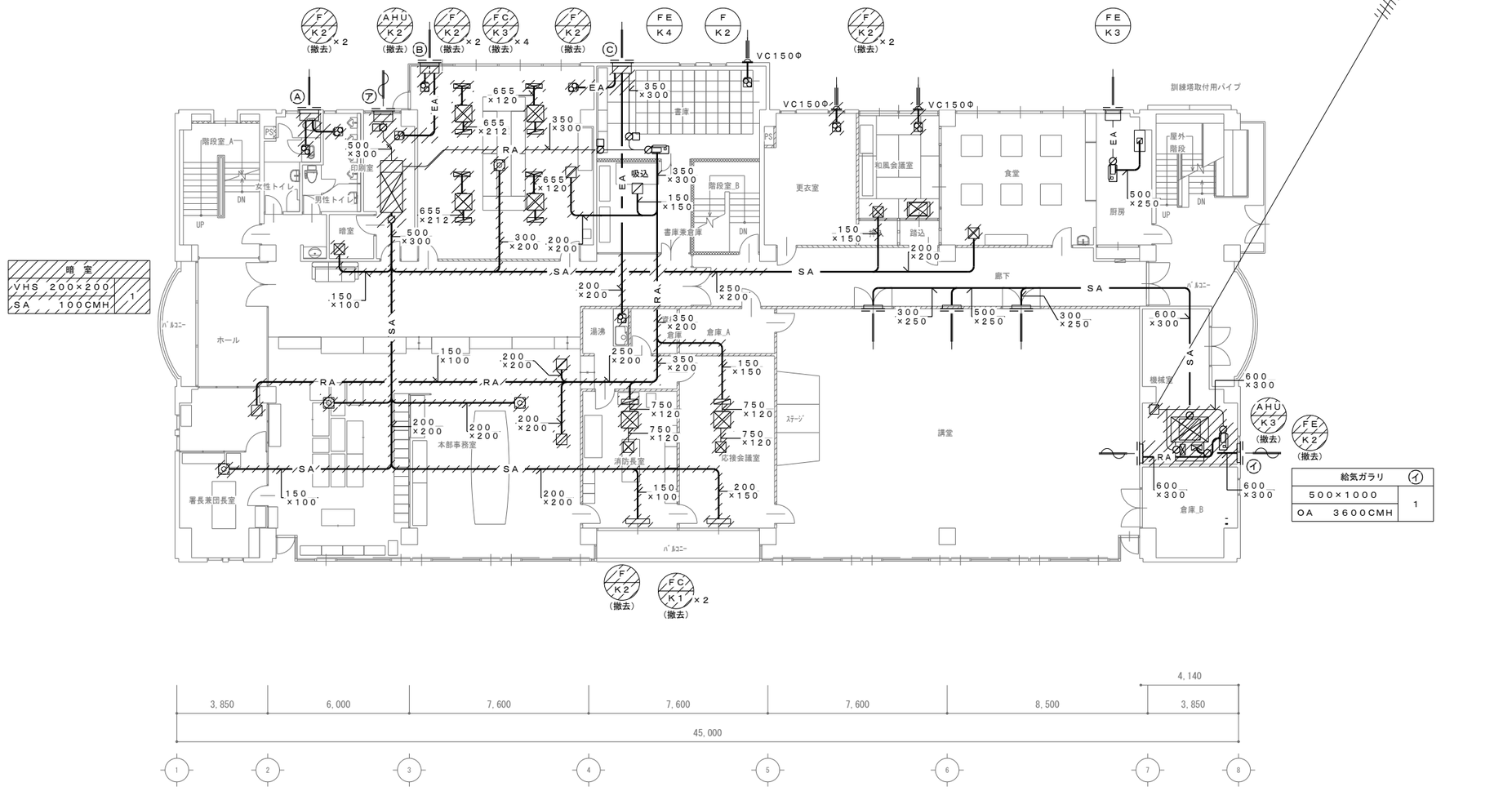
書庫兼倉庫	
HS 200×200	1
EA 200CMH	

食 堂	
VHS 400×100	1
SA 400CMH	

和風会議室	
VHS 200×100	1
OA 200CMH	

暗 室	
VHS 200×200	1
SA 100CMH	





給気ガラリ ㋑	
500×1000	1
OA 3600CMH	

凡例	
———	既設配管を示す
//////	撤去を示す

署長兼団長室	
C2 ＃12.5	1
SA 120CMH	
HS 150×100	1
RA 120CMH	

本部事務室	
C2 ＃20	2
SA 400CMH	
HS 150×100	2
RA 200CMH	

消防長室	
E2 ＃25	1
SA 680CMH	
BLS 1000L	1
SA 100CMH	
HS 720×240	1
RA 780CMH	

応接会議室	
E2 ＃25	1
SA 680CMH	
BLD 1000L	1
SA 280CMH	
HS 720×240	1
RA 960CMH	

改修前　3階平面図　1/150

講 堂	
VHS 750×150	3
SA 1200CMH	
HS 700×1000	1
RA 3600CMH	

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	空調設備　改修前　ダクト3階平面図	縮尺 A2 1：150 A3 1：212
TEL (0561) 32-0318	製図	令和08年03月	
	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. M-032

N

排気ガラリ	Ⓑ
450×300	1
EA 920CMH	
ボックス 25t内貼り	
550×400×500H	

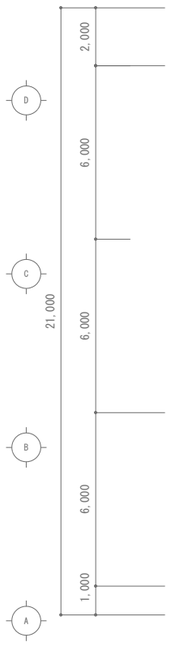
給気ガラリ	㋐
1250×400	1
OA 2720CMH	
ボックス 25t内貼り	
1350×500×500H	

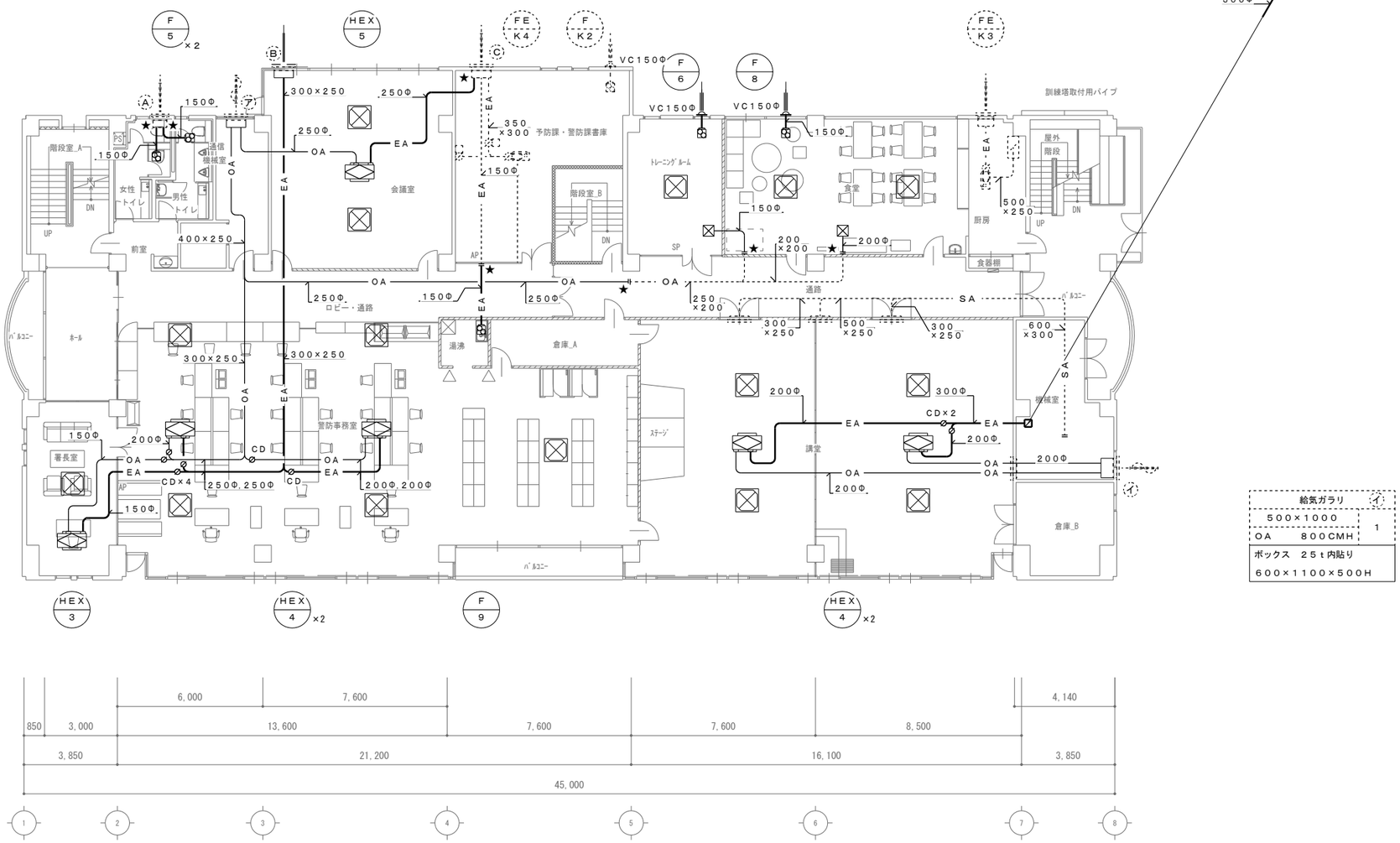
排気ガラリ	Ⓐ
350×300	1
EA 660CMH	

排気ガラリ	Ⓒ
900×400	1
EA 2510CMH	

トレーニングルーム	
VHS 200×200	1
OA 200CMH	

食 堂	
VHS 250×250	1
OA 400CMH	





給気ガラリ	㋑
500×1000	1
OA 800CMH	
ボックス 25t内貼り	
600×1100×500H	

講 堂	
VHS 750×150	3
SA 1200CMH	
HS 700×1000	1
RA 3600CMH	

凡例	
———	新設配管を示す
- - - - -	既設配管を示す
- - - -‖★	既設管接続ヶ所を示す
——☆	コア抜き ヶ所を示す。

改修後 3階平面図 1/150

株式会社 松浦建築事務所

TEL (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	空調設備 改修後 ダクト3階平面図	縮尺 A2 1:150 A3 1:212
		製図 令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. M-033

撤去器具表

器具名	摘要	設置階 室名 合計	1階 トイレ	浴室	脱衣室	洗面洗濯室		2階 トイレ	洗面		3階 男性トイレ	女性トイレ		屋外
洋風大便器	ロータンク・温水洗浄便座・他一式共	3	1					1			1			
和風大便器	ロータンク・他一式共	3	1					1				1		
小便器	フラッシュバルブ	11	4					3			4			
洗面器	壁掛け・単水栓	8	2		1			3			1	1		
横水栓		8	1			1			5			1		
バス水栓		1		1										
シャワー金具		3		3										
混合水栓		4				4								
化粧鏡		17	2		1	4		3	5		1	1		

既設機器表

記号	機器名	台数	仕様	設置年	稼働の有無	措置
T－K1	受水槽	1	1．5×3．0×2．0H	1983年	稼働中	既設そのまま
T－K2	蓄熱槽	1	1．5×1．5×2．0H	1983年	稼働していない	既設そのまま
T－K3	膨張タンク	1	1．5×1．5×2．0H	1983年	稼働中	既設そのまま
GB－K1	ガス給湯器	1	50号	2016年	稼働中	移設利用
GB－K2	ガス給湯器	1	16号	2012年	稼働停止中	撤去
GB－K3	ガス湯沸器	2	5号		稼働中	撤去
P－K1	給水ポンプ	1	上水系統	1983年	稼働中	既設そのまま
P－K2	給水ポンプ	1	雑用水系統	1983年	稼働中	既設そのまま
P－K3	集熱ポンプ	1	30Φ×30L/min×15m×0.4KW	1983年	稼働中	既設そのまま
P－K4	給湯一次ポンプ	1	50Φ×180L/min×14m×0.75KW	1983年	稼働中	既設そのまま
SO－K1	ソーラーパネル	34		1983年	稼働していない	撤去

株式会社 松浦建築事務所
TEL (0561) 32-0318

工事名称 長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称 衛生設備 改修前 器具表・機器表

縮尺 NS

製図 令和08年03月

1級建築士
登録第92794号 松浦孔明

No. M-034

新設器具表

器具名	参考型番（ＬＩＸＩＬ）	摘要	参考型番（ＴＯＴＯ）	摘要	設置階	1階							2階				3階			屋外
					室名＼合計	男子トイレ	女子トイレ	こどもトイレ	シャワールーム	脱衣前室	洗面・手洗室	洗濯乾燥機室	男性トイレ	洗面・脱衣	トイレ	洗面コーナー	男性トイレ	女性トイレ		
洋風大便器	C−P111PA/BW1	タンク式・温水洗浄便座・壁リモコン	ＵＡＸＣ３Ｃ１Ａ	タンク式・温水洗浄便座（ＴＣＦ５８３１ＡＵＲ）・壁リモコン	９	２	２						１		１		１	２		
		点検口付ライニング・棚付２連紙巻器・他一式共		点検口付ライニング（ＵＡＣＮ４ＮＮ１１１Ｗ）・棚付２連紙巻器（ＹＨ１９１ＫＬ）・他一式共																
洋風大便器	ＢＣ−Ｐ２０ＨＵ	手洗無ロータンク・温水洗浄便座、蓋無し	ＣＳ５９７ＢＭＳ	ＳＨ５９６ＢＡＹＲ(手洗無ロータンク)・ＴＣＦ５８７１ＡＣＲ(温水洗浄便座、蓋無し)	１								１							
		壁リモコン・棚付２連紙巻器・他一式共		壁リモコン・ＹＨ１９１ＫＬ(棚付２連紙巻器)・他一式共																
幼児用便器	Ｃ−Ｐ１４３Ｓ	ＤＴ−５２０ＸＥＣＨ３８(手洗無ロータンク)・ＣＦ−４３ＤＣＫ(暖房便座)	ＣＳ３００Ｂ	ＴＶ５６０Ｑ(フラッシュバルブ)・ＴＣＦ４０(暖房便座)・ＡＢ５４５ＫＡ（防汚板）他一式共	１			１												
		ＣＦ−ＡＡ２２Ｈ(紙巻器)・他一式共																		
小便器	Ｕ−Ａ５１ＡＰ	壁掛型壁排水センサー１体型（ＡＣ１００Ｖ）・他一式共	ＵＦＳ９００Ｒ	壁掛型壁排水センサー１体型（ＡＣ１００Ｖ）・他一式共	７	３							２				２			
〃	Ｕ−４０１Ｒ	壁掛形・ＵＦ−３Ｊ（手動フラッシュバルブ）・他一式共	Ｕ３１０ＧＹ	壁掛形・Ｔ６０１Ｐ（手動フラッシュバルブ）・手すり付・他一式共	１			１												
洗面器	Ｌ−２７５Ｎ	自動単水栓・排水トラップ・水石鹸入れ・他一式共	Ｌ２７０ＣＭ	ＴＬＥ２８ＳＳ１Ａ（自動単水栓）・排水トラップ・ＴＬＫ０５２０２Ｊ（水石鹸入れ）・他一式共	１					１										
〃	Ｌ−１５ＡＧ	自動単水栓・排水トラップ・他一式共	Ｌ３０ＤＭ	ＴＬＥ２８ＳＳ１Ａ（自動単水栓）・排水トラップ・他一式共	１			１												
〃	Ｌ−１５ＡＧ	自動単水栓・排水トラップ・他一式共	ＭＬＲＢ３２ＢＡＬ	カウンター一体形・ＴＬＥ３１ＳＳＪ１(自動単水栓)・排水トラップ・他一式共	１										１					
洗面器一体カウンター	ＭＢ−４５０ＨＡＷＳ	間口＝１０６０・洗面器１ケ設置・自動水栓・自動水石鹸入・排水金具・取付金具・他一式共	ＭＫＷＤ	間口＝１０６０・洗面器１ケ設置・自動水栓・自動水石鹸入・排水金具・取付金具・他一式共	１	１														
〃	ＭＢ−４５０ＨＡＷＳ	間口＝　８３０・洗面器１ケ設置・自動水栓・自動水石鹸入・排水金具・取付金具・他一式共	ＭＫＷＤ	間口＝　８３０・洗面器１ケ設置・自動水栓・自動水石鹸入・排水金具・取付金具・他一式共	１		１													
〃	ＭＢ−４５０ＨＤ７ＷＳ	間口＝１５４０・洗面器２ケ設置・自動水栓・自動水石鹸入・排水金具・取付金具・他一式共	ＭＫＷＤ	間口＝１５４０・洗面器２ケ設置・自動水栓・自動水石鹸入・排水金具・取付金具・他一式共	１								１							
〃	ＭＢ−４５０ＨＴ７ＷＳ	間口＝２６９０・洗面器３ケ設置・自動水栓・自動水石鹸入・排水金具・取付金具・他一式共	ＭＫＷＤ	間口＝２６９０・洗面器３ケ設置・自動水栓・自動水石鹸入・排水金具・取付金具・他一式共	１											１				
〃	ＭＢ−４５０ＨＡＷＳ	間口＝１４８０・洗面器１ケ設置・自動水栓・自動水石鹸入・排水金具・取付金具・他一式共	ＭＫＷＤ	間口＝１４８０・洗面器１ケ設置・自動水栓・自動水石鹸入・排水金具・取付金具・他一式共	１												１			
〃	ＭＢ−４５０ＨＡＷＳ	間口＝１６２０・洗面器１ケ設置・自動水栓・自動水石鹸入・排水金具・取付金具・他一式共	ＭＫＷＤ	間口＝１６２０・洗面器１ケ設置・自動水栓・自動水石鹸入・排水金具・取付金具・他一式共	１													１		
化粧鏡	ＫＦ−４５６０Ａ	４５０×６００	ＹＭ４５６０Ｆ	４５０×６００	１					１										
化粧鏡	ＫＦ−Ｄ３０８３ＡＳ	３５０×８００	ＹＭ３５８０ＦＣ	３５０×８００	９	１	１						２			３	１	１		
小型多目的流し	Ｓ−５３１ＡＮＣ	立水栓・Ｐトラップ・他一式共	ＳＫ５１０Ｄ	ＴＬ１５５ＡＦＲ(立水栓)・Ｐトラップ・他一式共	３	１							１				１			
洗濯パン	ＰＦ−７４６４ＡＣ	７４０×６４０・縦引きトラップ・他一式共	ＰＷＰ７４０Ｎ２Ｗ	７４０×６４０・縦引きトラップ・他一式共	１								１							
洗濯水栓	ＬＦ−ＷＪ３８ＲＨＱＡ	緊急止水栓弁付横水栓	ＴＷ１１ＧＲ	緊急止水弁付	１								１							
手すり	ＫＦ−７０１ＡＥＪ	樹脂被覆タイプ(小便器用手すり)・他一式共	Ｔ１１２ＣＵ２２	樹脂被覆タイプ(小便器用手すり)・他一式共	１	１														
〃	ＫＦ−９１０ＡＥ６０Ｊ	樹脂被覆タイプ(多用途用Ｉ型手すり)・他一式共	Ｔ１１２Ｃ６	樹脂被覆タイプ(多用途用Ｉ型手すり)・他一式共	７	２	２										１	２		
〃	ＫＦ−ＡＡ１３１ＣＥＰ４４	樹脂被覆タイプ(幼児用大便器手すり)・紙巻器付・他一式共	ＹＹＢ１０Ｐ１	樹脂被覆タイプ・幼児用腰掛便器用・紙巻器付・他一式共	１			１												
ベビーキープ	ＡＣ−ＢＫ−Ｆ６２		ＹＫＡ１６Ｓ	コーナータイプ	１		１													
ベビーシート	ＡＣ−ＯＫ−２１Ｆ		ＹＫＡ２５Ｎ		１			１												
チェンジングボード	ＡＣ−ＣＢ−１４		ＹＫＡ４１Ｒ		１			１												
モップ掛けパネル	――――		ＵＴＲ４２２Ｓ		１	１														
洗面化粧台	ＲＢＨ−７５５ＪＹ−Ａ	配管接続は本工事	ＬＤＳＦＭ０７５ＢＡＧＢＮ１	間口７５０・ＬＭＦＭ０７５Ａ３ＧＨＣ１Ｇ（化粧鏡）	１						１									
洗面化粧台	ＲＡＦＨ７５５ＪＹ−Ａ	配管接続は本工事	ＬＤＳＦＭ１３５ＢＦ１ＡＮ１	間口１３５０・ＬＭＦＭ０７５Ａ３ＧＨＣ１Ｇ（化粧鏡）	１										１					
ユニットシャワー	（建築工事）	配管接続は本工事	（建築工事）	配管接続は本工事	（３）				（２）						（１）					

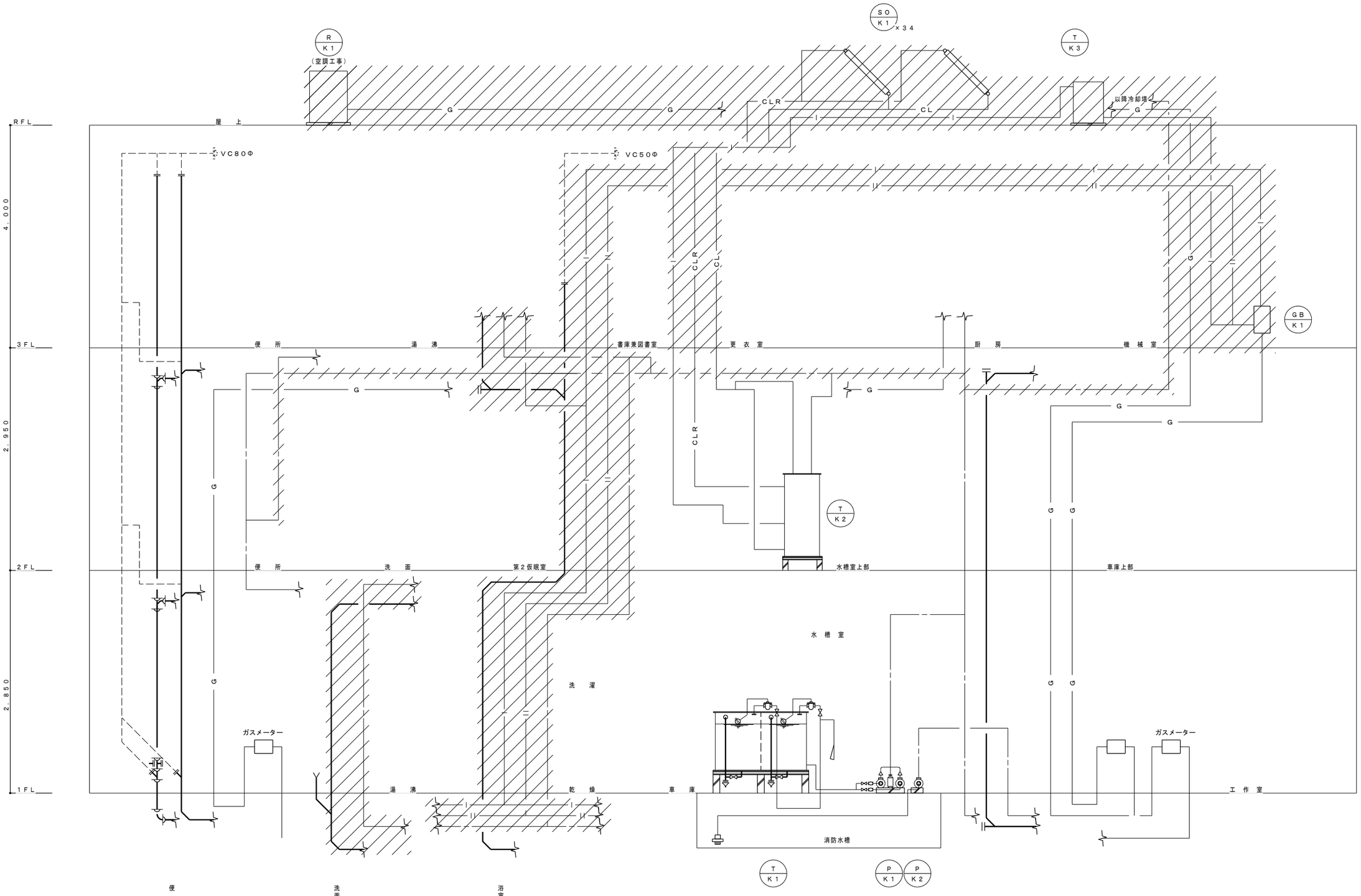
新設機器表

※特記なき限り電圧は３Φ２００Ｖとする。

記号	機器名	型式	台数	設置場所	仕様
ＧＢ−１	ガス給湯器	屋内壁掛型	１	２階脱衣室	屋内壁掛け強制給排気形
					給湯専用　１６号　　消費電力　１５０Ｗ（ヒータ作動時）×１Φ１００Ｖ
					給排気筒（７ｍ）・給排気トップ・リモコンスイッチ（電気配管配線共）
ＧＢ−２	ガス給湯器	屋外壁掛型	１	１階屋外	屋外壁掛形
					給湯専用　２０号　　消費電力　１３３Ｗ（ヒータ作動時）×１Φ１００Ｖ
					リモコンスイッチ（電気配管配線共）

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561) 32-0318
１級建築士
登録第92794号　松浦孔明

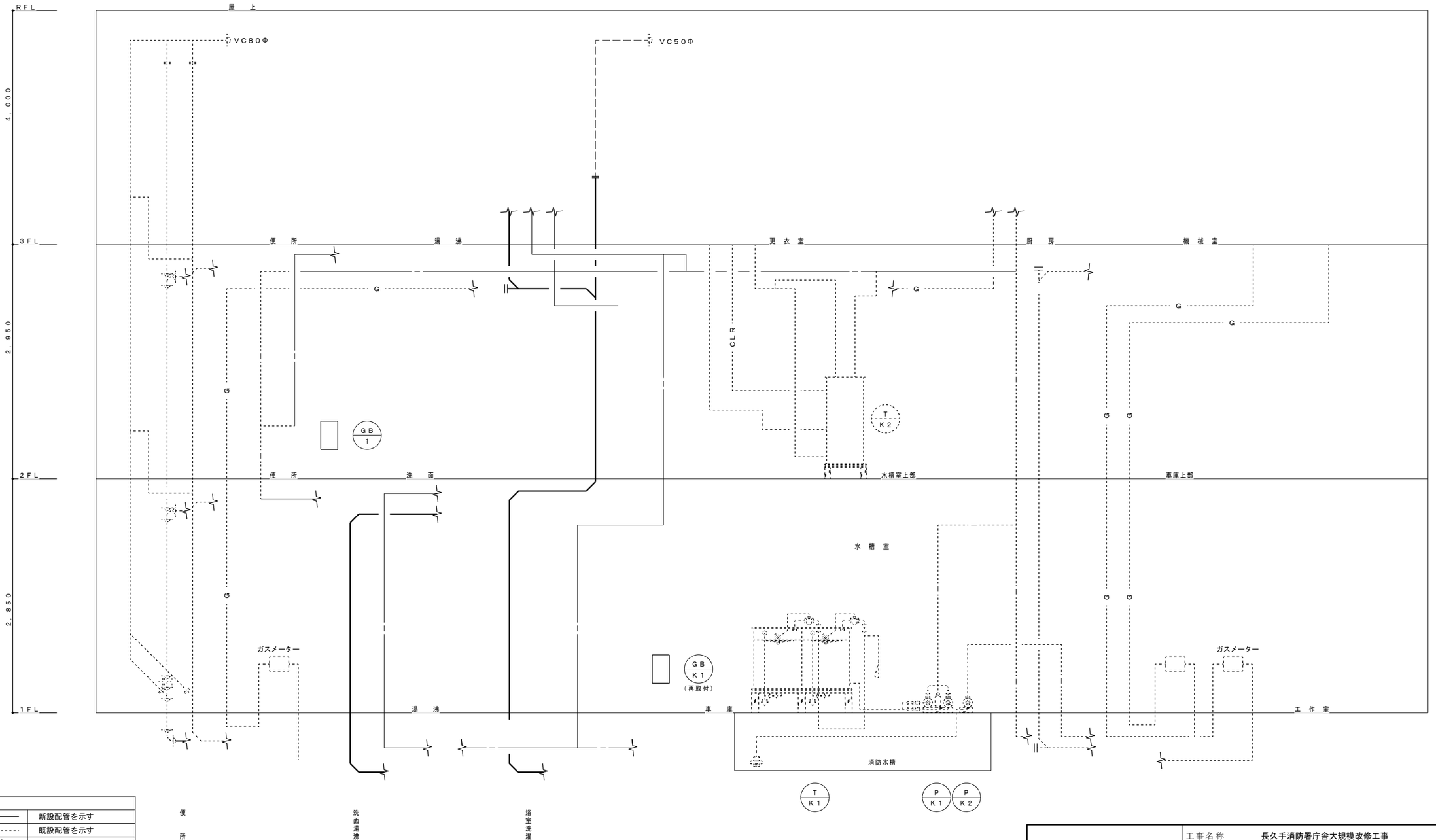
工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称　衛生設備　改修後　器具表・機器表
縮尺　NS
製図　令和08年03月
No. M-035



凡例	
———	既設配管を示す
//////	撤去を示す

株式会社 松浦建築事務所
ＴＥＬ (0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	衛生設備 改修前 器具表・機器表
縮尺	NS
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松 浦 孔 明
No.	M-036



株式会社　松浦建築事務所
TEL　(0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

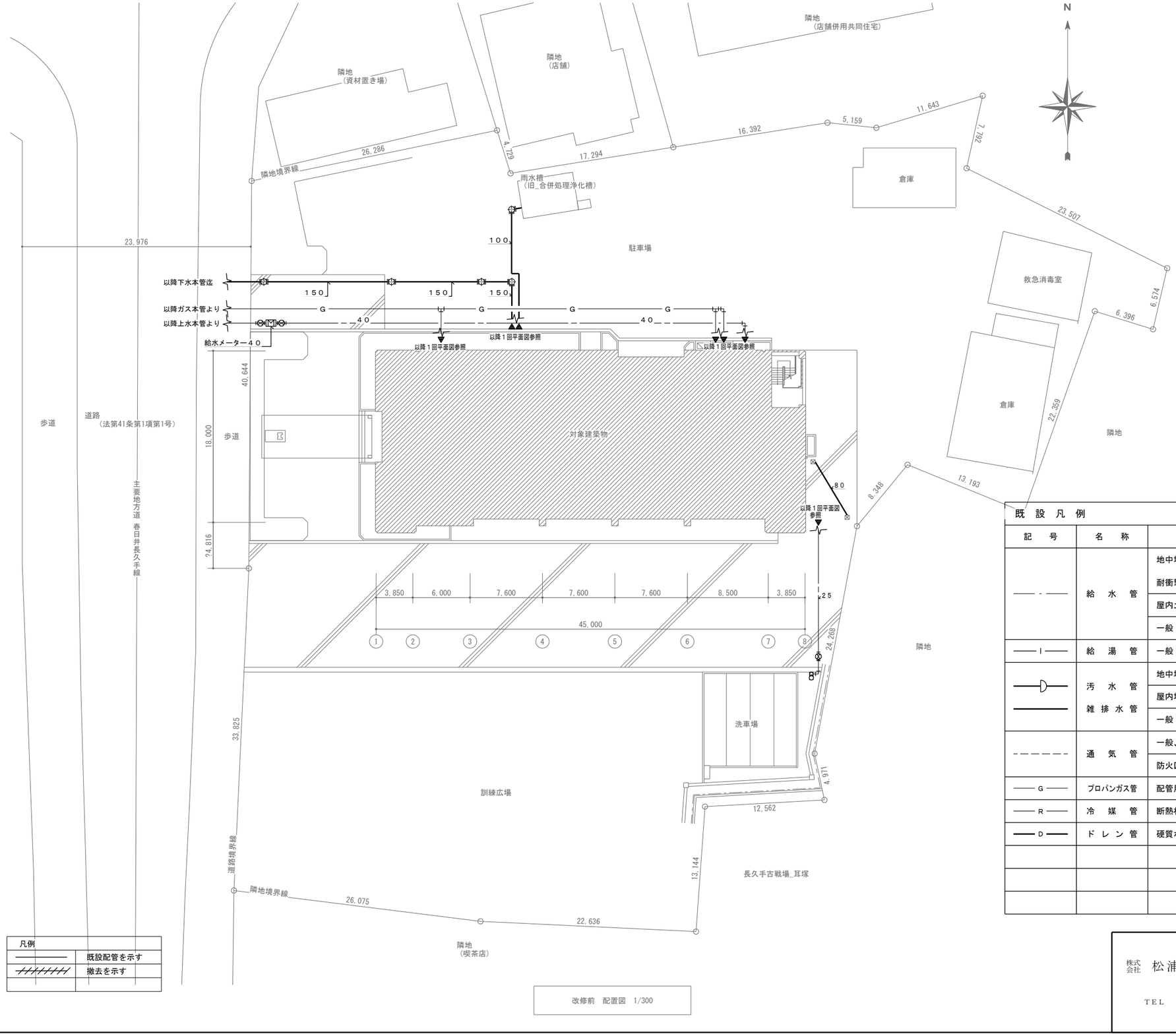
図面名称　衛生設備　改修後　器具表・機器表

縮尺　NS

製図　令和08年03月

1級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. M-037



凡例

――――	既設配管を示す
//////////	撤去を示す

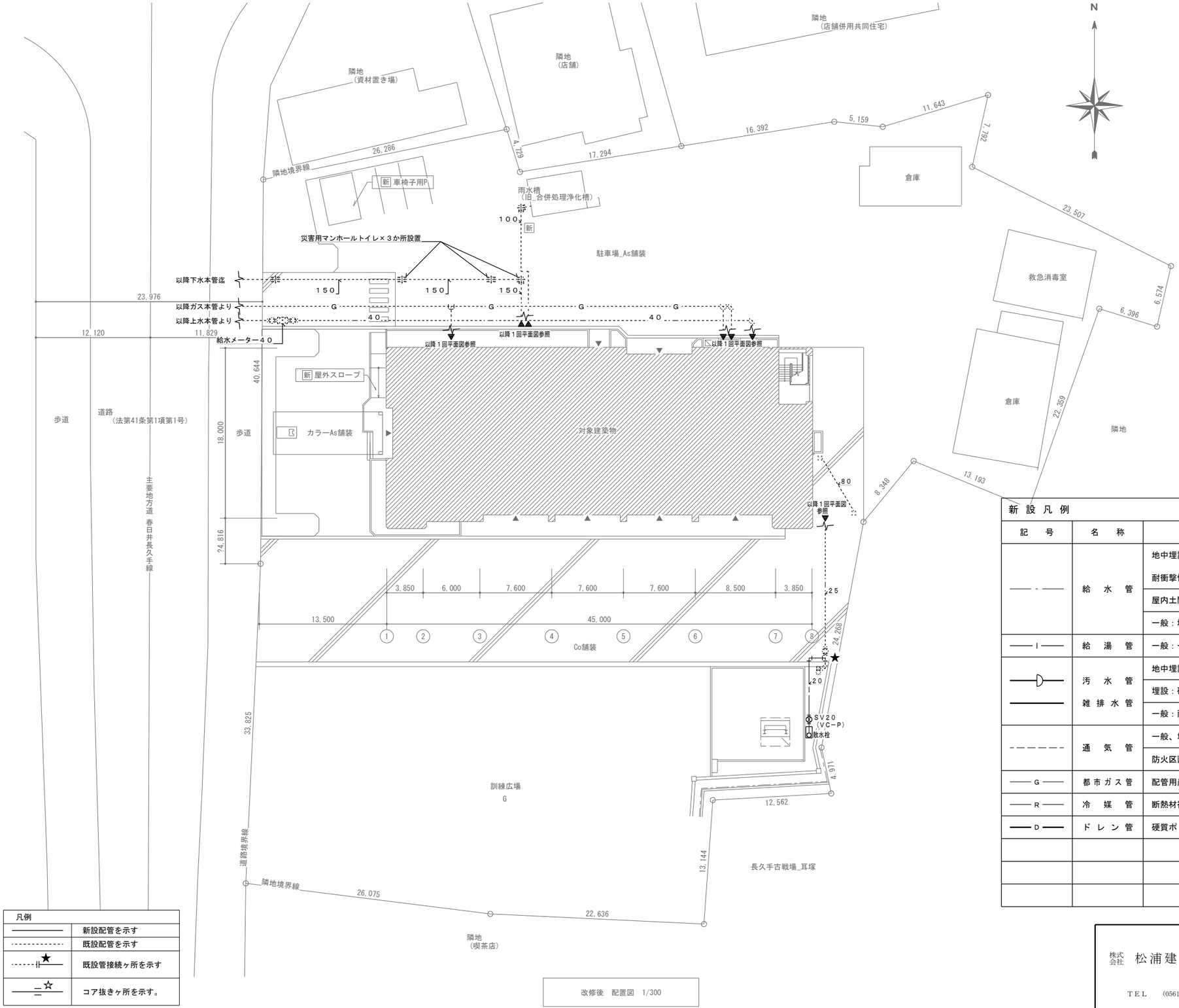
改修前　配置図　1/300

既　設　凡　例

記　号	名　称	配管材料・その他		記　号	名　称
―― - ――	給　水　管	地中埋設：耐衝撃性硬質塩化管	HIVP	―⋈―	弁　類
				―⊗―	バルブボックス
		屋内土間埋設：内外面塩ビライニング鋼管	SGP-VA	▭	散　水　栓
		一般：塩ビライニング鋼管	SGP-VA	⊘	排水金物
―― I ――	給　湯　管	一般：一般配管用ステンレス鋼管		⊘	排水金物
―▷―	汚　水　管	地中埋設：硬質塩ビ管	VP	◫	掃除口金物
―――	雑排水管	屋内埋設：配管用炭素鋼鋼管	SGP	----▷	通気金物
		一般：配管用炭素鋼鋼管	SGP	○	小口径桝
- - - - - -	通　気　管	一般、埋設：硬質ポリ塩化ビニル管	VP	▢	既設汚水桝
		防火区画貫通ヶ所・PS竪管：耐火二層管	FDP	▨	既設雑排水桝
―― G ――	プロパンガス管	配管用炭素鋼鋼管	SGP-白		
―― R ――	冷　媒　管	断熱材被覆銅管		▭	別紙詳細図箇所
―― D ――	ド　レ　ン　管	硬質ポリ塩化ビニル管			

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	衛生設備　改修前　配置図
縮尺	A2　1：300　A3　1：423
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	M-038



凡例

———	新設配管を示す
- - - - -	既設配管を示す
---//--- ★	既設管接続ヶ所を示す
——☆——	コア抜きヶ所を示す。

改修後　配置図　1/300

新設凡例

記号	名称	配管材料・その他		記号	名称
—— - ——	給水管	地中埋設：耐衝撃性硬質塩化管	HIVP		弁類
		屋内土間埋設：内外面塩ビライニング鋼管	SGP-VD		バルブボックス
		一般：塩ビライニング鋼管	SGP-VB		散水栓
—— I ——	給湯管	一般：一般配管用ステンレス鋼管			排水金物
	汚水管	地中埋設：硬質塩ビ管	VP		掃除口金物
		埋設：硬質塩ビ管	VP		通気金物
	雑排水管	一般：耐火二層管	FDP		小口径桝
- - - - - -	通気管	一般、埋設：硬質ポリ塩化ビニル管	VP		既設汚水桝
		防火区画貫通ヶ所･PS竪管：耐火二層管	FDP		既設雑排水桝
—— G ——	都市ガス管	配管用炭素鋼鋼管	SGP-白		
—— R ——	冷媒管	断熱材被覆銅管			別紙詳細図箇所
—— D ——	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管			

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

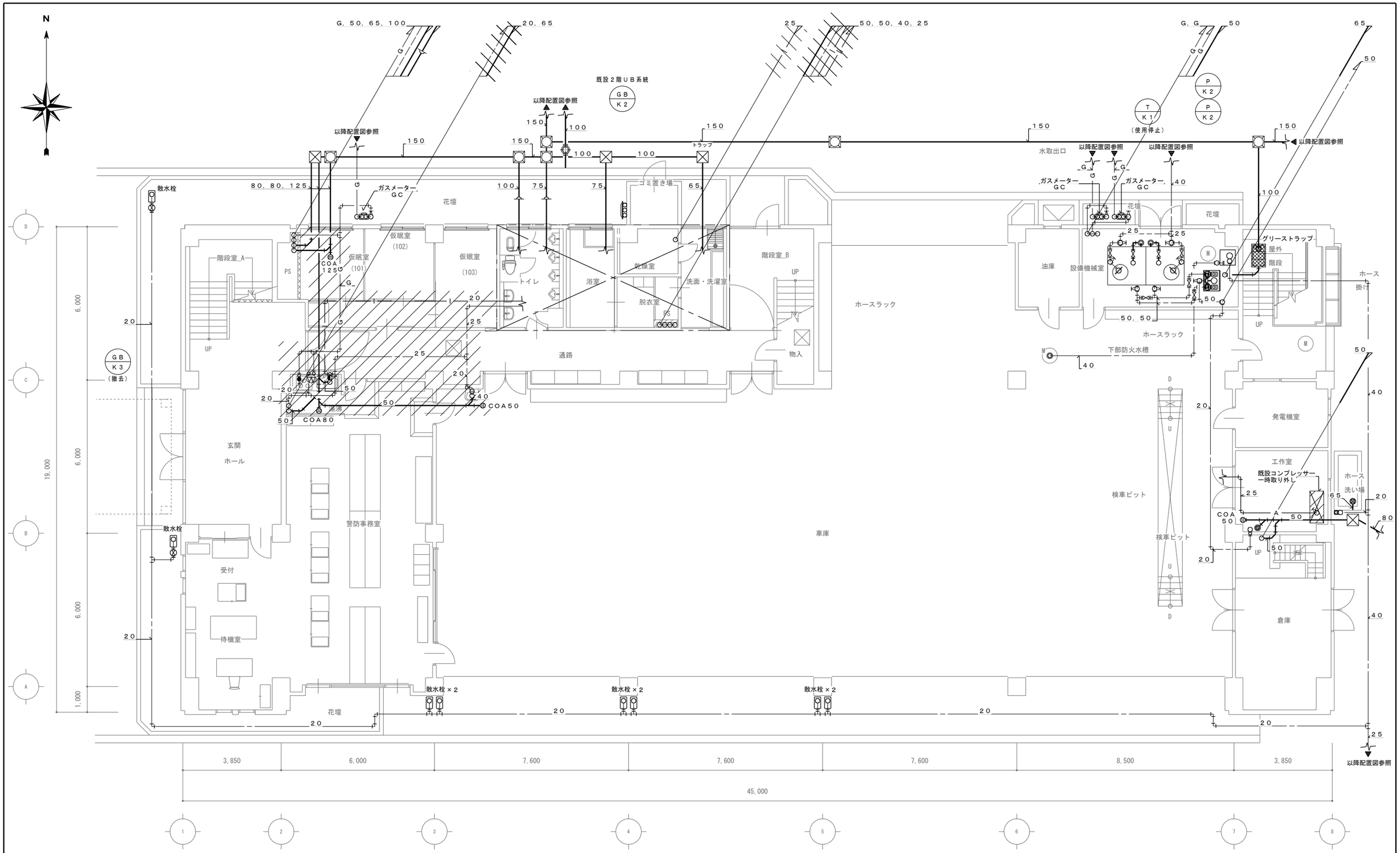
図面名称　衛生設備　改修後　配置図

縮尺　A2　1：300　A3　1：423

製図　令和08年03月

1級建築士
登録第92794号
松浦孔明

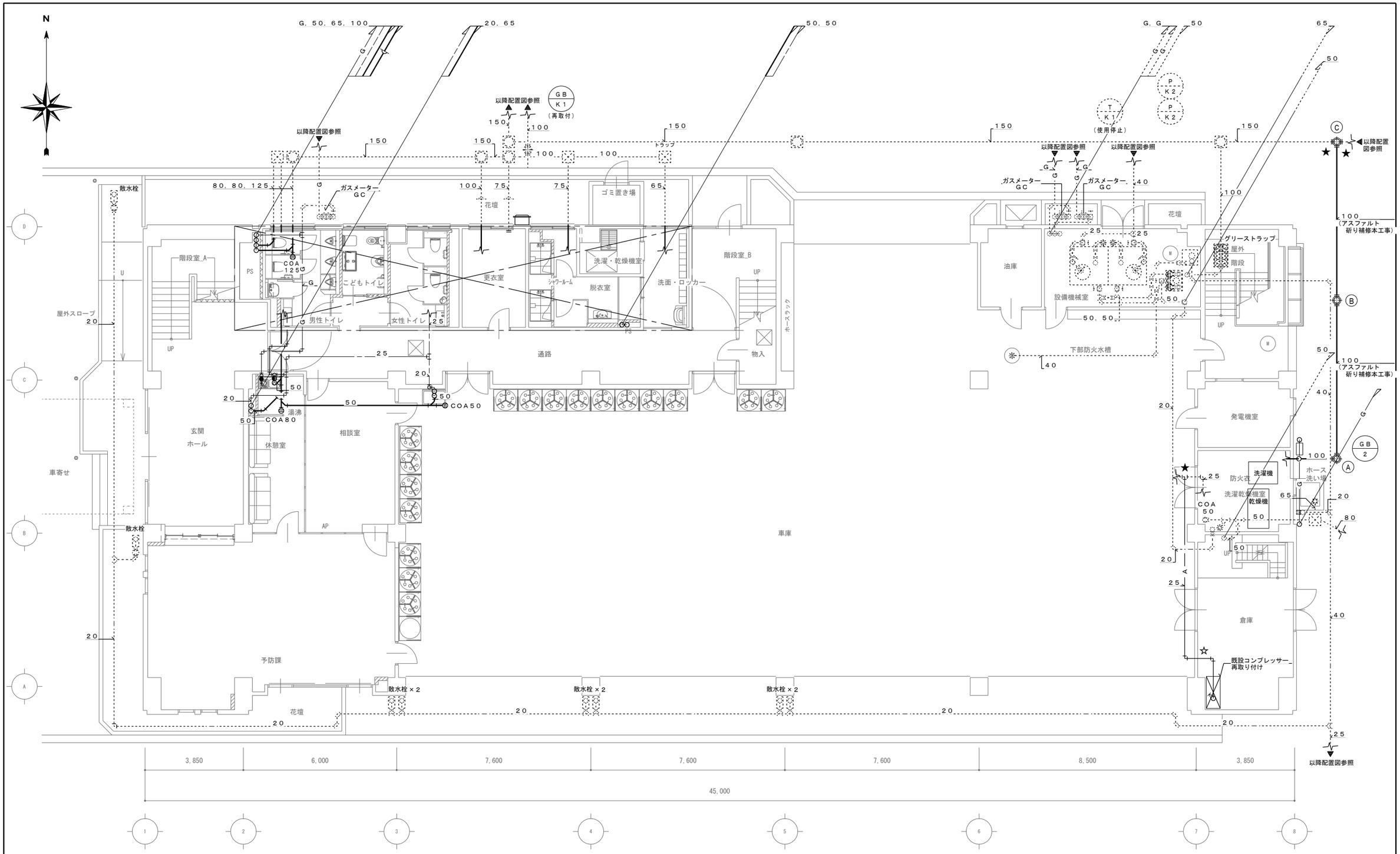
No. M-039



凡例	
――――	既設配管を示す
//////////	撤去を示す

改修前　１階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	衛生設備　改修前　１階平面図
	縮尺	A2　1：100　A3　1：141
	製図	令和08年03月
ＴＥＬ　(0561) 32-0318	１級建築士 登録第92794号	松 浦 孔 明
	No.	M-040



凡例

———	新設配管を示す
- - - - -	既設配管を示す
----‖★	既設管接続ヶ所を示す
——二☆	コア抜きヶ所を示す。

改修後　１階平面図

桝リスト　（新設）

桝記号	桝形式	桝略号	管径－蓋径	桝深さ	蓋種別	備考
Ⓐ	小口径塩ビ桝	９０Ｌ	100 － 200	400 Ｈ	鋳鉄製	
Ⓑ	小口径塩ビ桝	ＳＴ	100 － 200	460 Ｈ	鋳鉄製	
Ⓒ	小口径塩ビ桝	９０Ｙ	100 － 200	520 Ｈ	鋳鉄製	

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称　衛生設備　改修後　１階平面図

縮尺　A2　1：100　A3　1：141

製図　令和08年03月

１級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. M-041

N

以降詳細図参照

G, 50, 65, 100
50
GV40
GV40

50, 50, 40, 25

32, 32, 50
CLR
CL

G, G

50
50

T
K2
（使用停止）

訓練塔取付用パイプ

ホース
掛け

階段室_A
UP
DN
PS
X
トイレ

仮眠室
(201)
仮眠室
(202)
仮眠室
(203)
仮眠室
(204)
仮眠室
(205)
仮眠室
(206)
仮眠室
(207)
仮眠室
(208)
仮眠室
(209)
仮眠室
(210)
仮眠室
(211)
物入
通路
通路
階段室_B
UP
DN
25
50, 50, 40, 25
（天井）

CLR
CL
32, 32, 50
CLR
CL
32, 32, 50
50
P
K3
P
K4

屋外
階段
UP
DN

電気室

倉庫
DN

車庫上部

車寄せ屋根
吹抜
踏込
65, 20
洗面
20
20
50
65
50
COA65
湯沸
前室兼更衣室
通信機械室
DS
仮眠室
(213)
仮眠室
(212)
指令室

G, 50, 65, 100
20, 65
25
50, 50, 40, 25
G, G
50
50
50
50

2,000
6,000
6,000
21,000
6,000
1,000

D
C
B
A

3,850
6,000
7,600
7,600
7,600
8,500
3,850
45,000

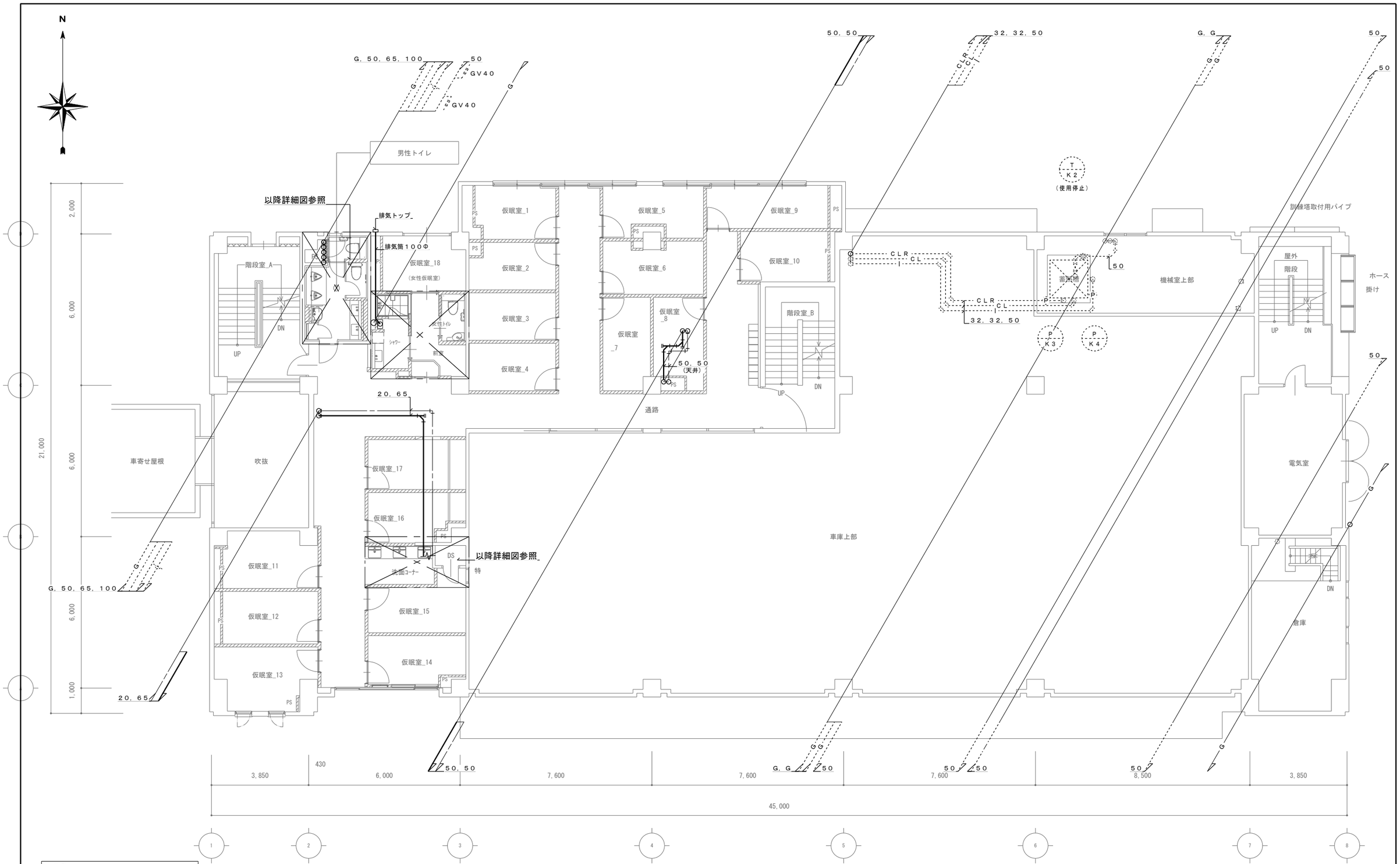
1
2
3
4
5
6
7
8

凡例

———	既設配管を示す
//////////	撤去を示す

改修前　２階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	衛生設備　改修前　２階平面図	縮尺 A2 1：100 A3 1：141
TEL　(0561) 32-0318			製図　令和08年03月
	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No. M-042



凡例	
———	新設配管を示す
- - - - - -	既設配管を示す
- - -‖★	既設管接続ヶ所を示す
——=☆	コア抜きヶ所を示す。

改修後　２階平面図　1/100

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
	図面名称	衛生設備　改修後　２階平面図
	縮尺	A2　1：100　A3　1：141
	製図	令和08年03月
TEL　(0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
	No.	M-043

N

50，65，100

以降詳細図参照

VC100Φ

L100
（天井）

階段室_A

印刷室

会議室

書庫

書庫兼倉庫

階段室_B

女性トイレ

男性トイレ

暗室

UP

DN

50，32，32
（天井）

更衣室

和風会議室

押入

踏込

50，32，32

食堂

以降厨房系統

駐房

65

屋外
階段

以降厨房系統

40，G

訓練塔取付用パイプ

廊下

50，20

50

20

25，40
（天井）

バルコニー

資機材
倉庫

倉庫_A

COA50
湯沸

20，50

40，25
（天井）

40

既設１階浴室系統

GB
K1
（取り外し）

ホール

カウンター

G，50，50，65，100

本部事務室

署長兼団長室

消防長室

応接会議室

ステージ

講堂

機械室

倉庫_B

バルコニー

GB
K3

50，50，40，25

32，50，50

65

50

21，000

2，000

6，000

6，000

6，000

1，000

3，850

6，000

7，600

7，600

7，600

8，500

3，850

45，000

1

2

3

4

5

6

7

8

A

B

C

D

凡例

———	既設配管を示す
//////////	撤去を示す

改修前　３階平面図　1/100

株式会社	松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
		図面名称	衛生設備　改修前　３階平面図
		縮尺	A2　1：100 A3　1：141
		製図	令和08年03月
ＴＥＬ	(0561) 32-0318	1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
		No.	M-044

N

50，65，100

以降詳細図参照

訓練塔取付用パイプ

階段室_A

女性トイレ

男性トイレ

通信機械室

前室

会議室

予防課・警防課書庫

階段室_B

トレーニング ルーム

食堂

厨房

屋外階段

食器棚

自販機

ロビー・通路

通路

バルコニー

ホール

オープンカウンター

湯沸

以降詳細図参照 倉庫_A

警防事務室

ステージ

講堂

署長室

機械室

倉庫_B

G，50，50，65，100

50，20

65

50

50

2,000

6,000

6,000

21,000

6,000

1,000

3,850

6,000

7,600

7,600

7,600

8,500

3,850

凡例

———	新設配管を示す
- - - - -	既設配管を示す
★	既設管接続ヶ所を示す
☆	コア抜きヶ所を示す。

改修後　３階平面図　1/100

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

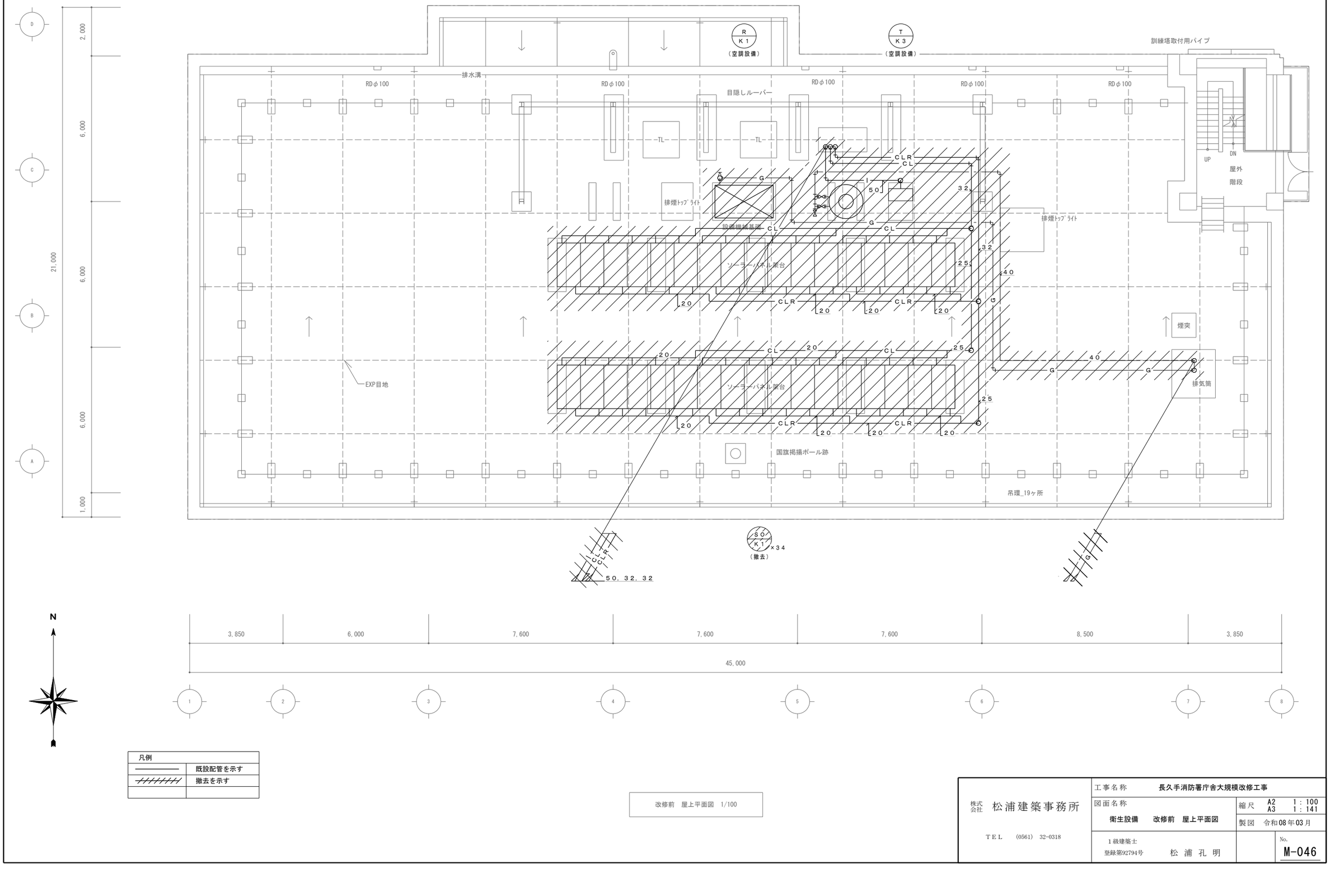
図面名称　衛生設備　改修後　３階平面図

縮尺　A2　1：100　A3　1：141

製図　令和08年03月

１級建築士　登録第92794号　松浦孔明

No. M-045



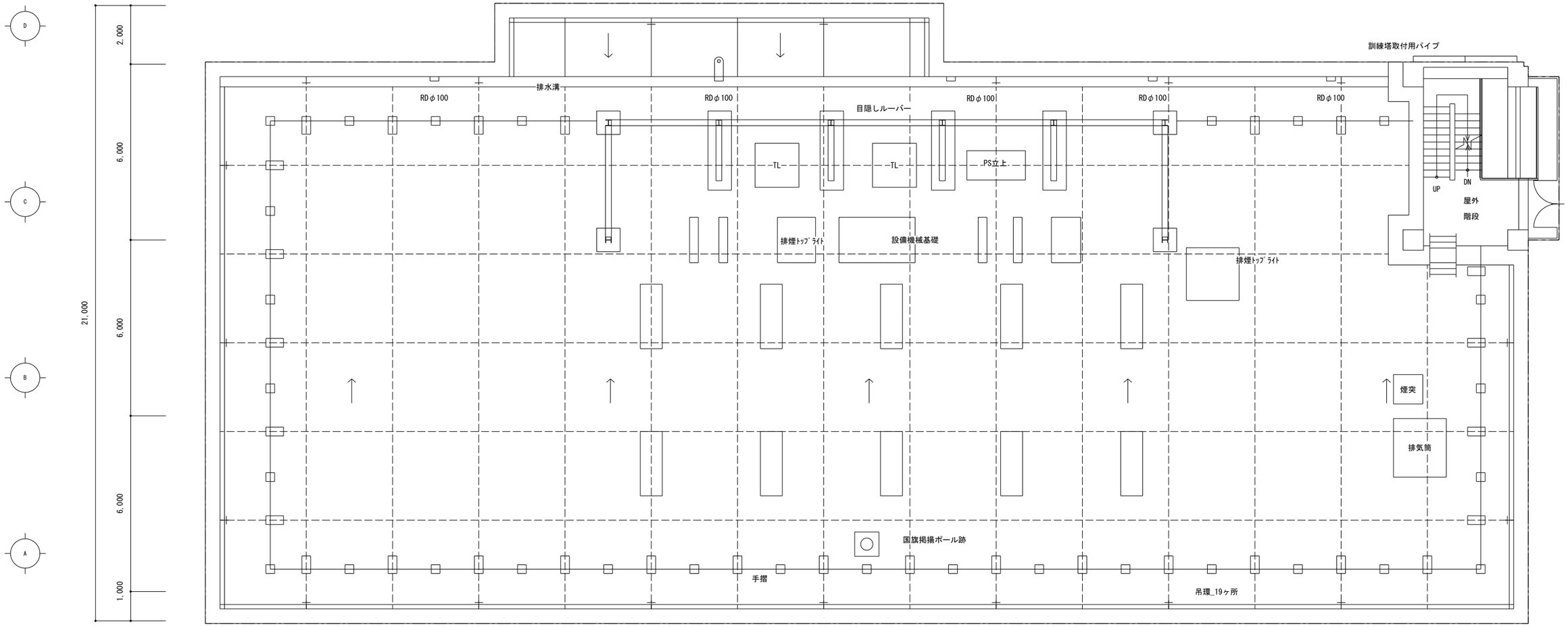
凡例	
――――	既設配管を示す
//////////	撤去を示す

改修前　屋上平面図　1/100

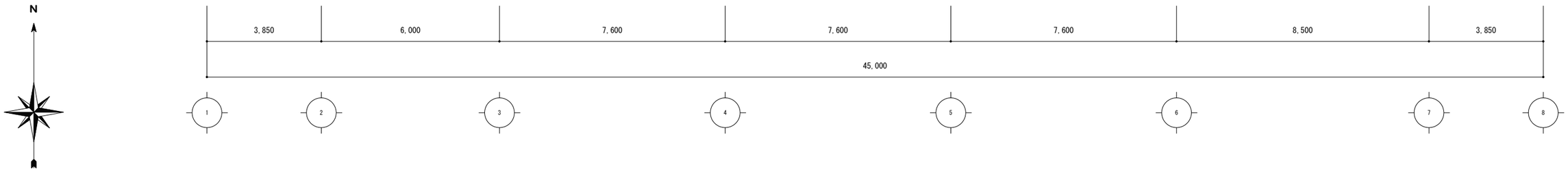
株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
図面名称	縮尺	A2 1：100 A3 1：141
衛生設備　改修前　屋上平面図	製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号　松浦孔明		No. M-046



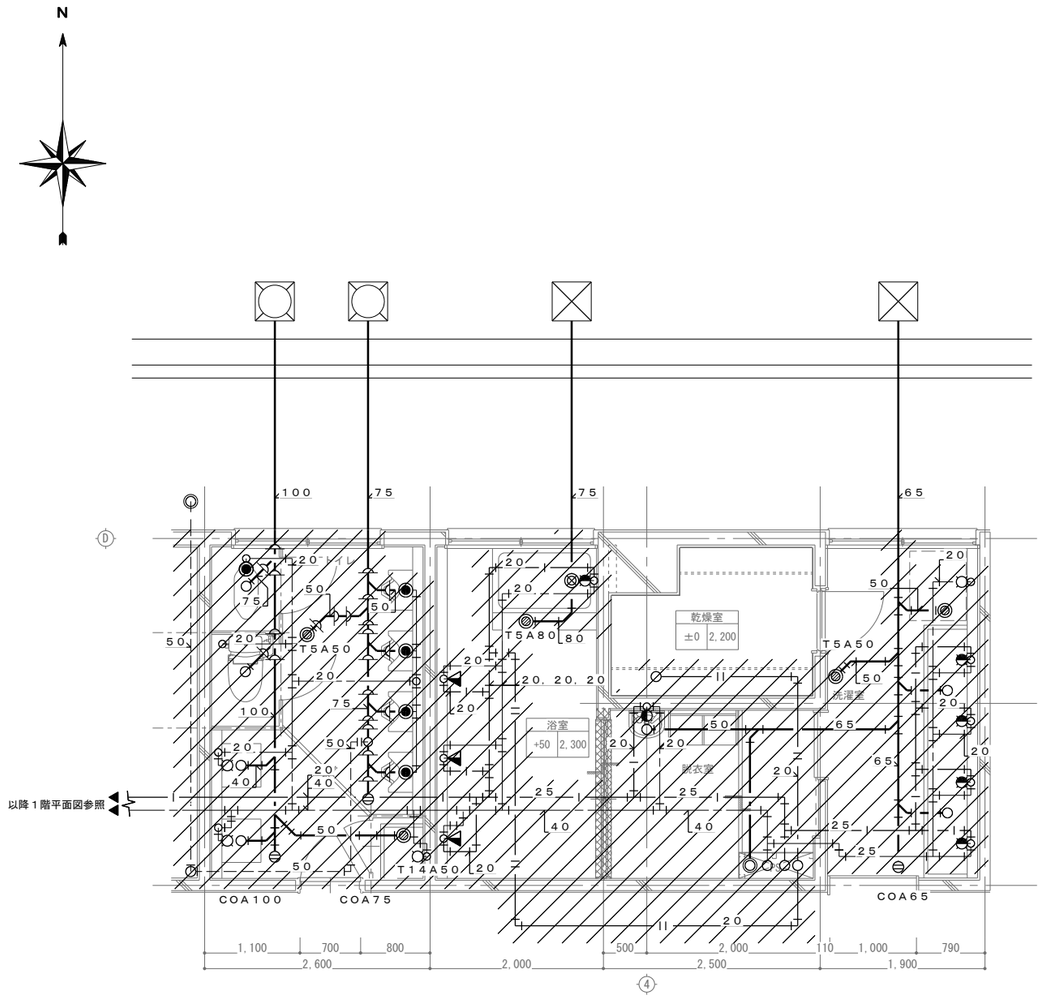
給水設備は無し



改修後　屋上平面図　1/100

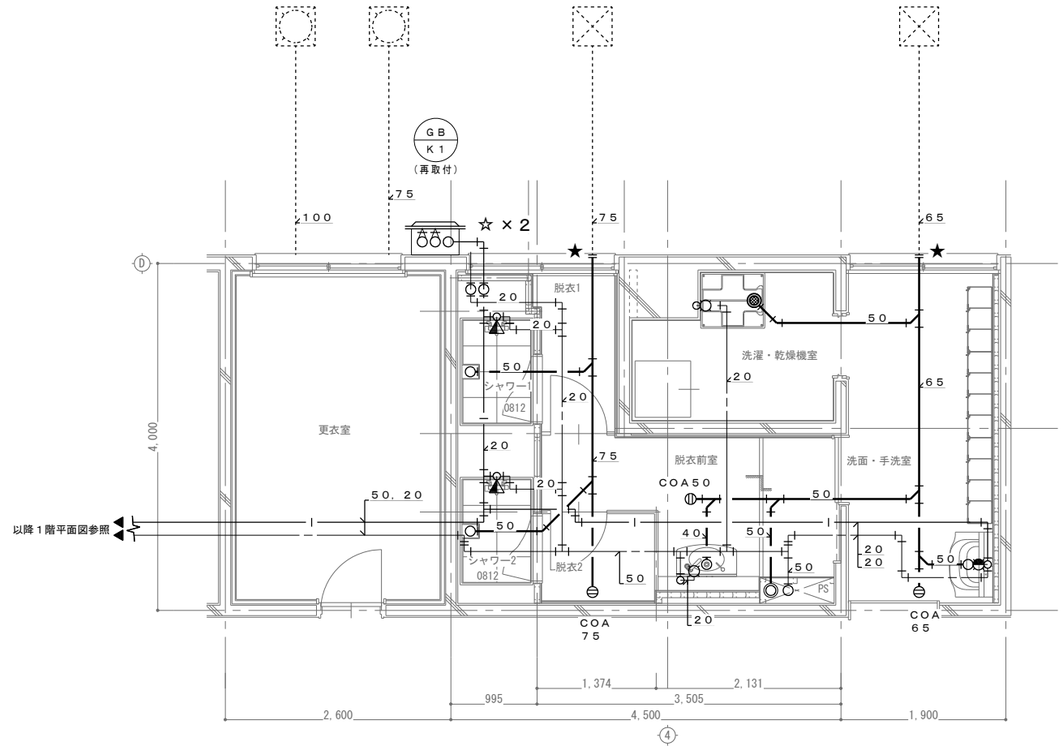
株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	衛生設備　改修後　屋上平面図
縮尺	A2　1：100　A3　1：141
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	M-047



改修前　１階　浴室廻り　1：30

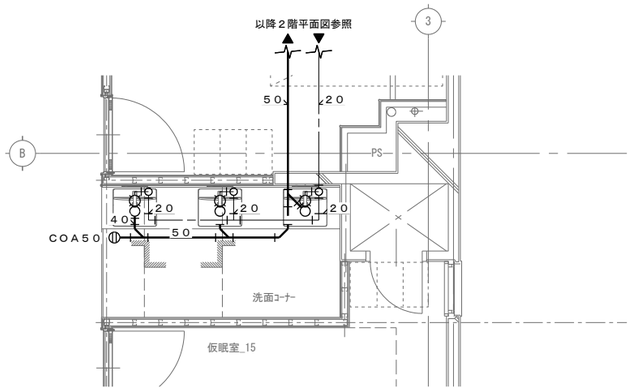
凡例	
――――	既設配管を示す
//////////	撤去を示す



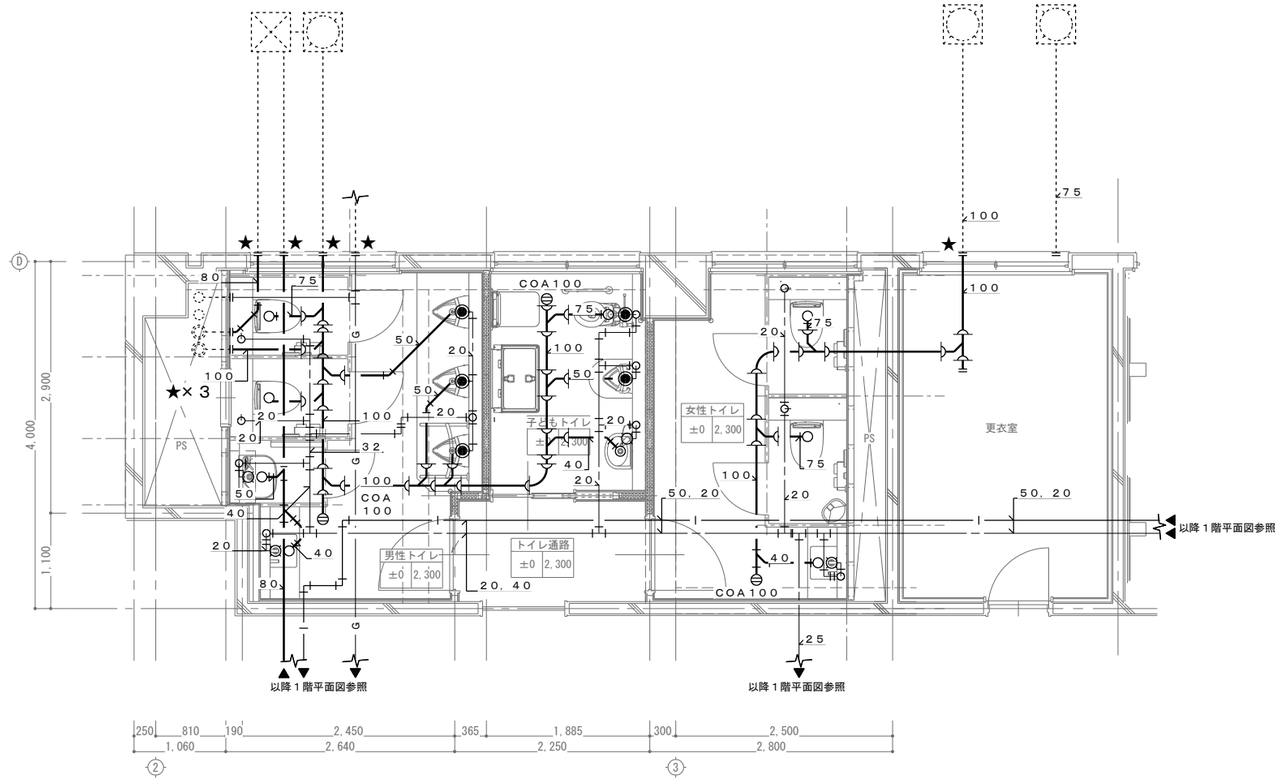
改修前　１階　ｼｬﾜｰﾙｰﾑ廻り　1：30

凡例	
――――	新設配管を示す
----------	既設配管を示す
----‖---★	既設管接続ヶ所を示す
―――☆	コア抜きヶ所を示す。

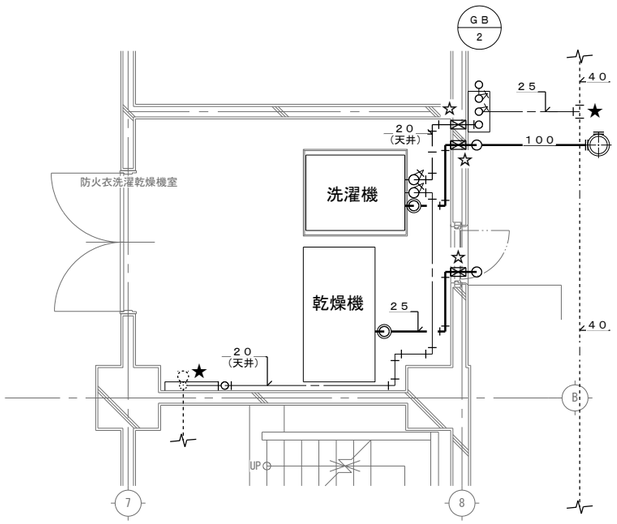
株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事	
	図面名称	縮尺 A2 1：50 A3 1：71	
	衛生設備　改修前・後　平面詳細図－１	製図 令和08年03月	
TEL (0561) 32-0318	１級建築士 登録第92794号 松浦孔明		No. M-048



改修後　２階　洗面コーナー　平面詳細図 1/50



改修後　１階　ｼｬﾜｰﾙｰﾑ廻り　1：30

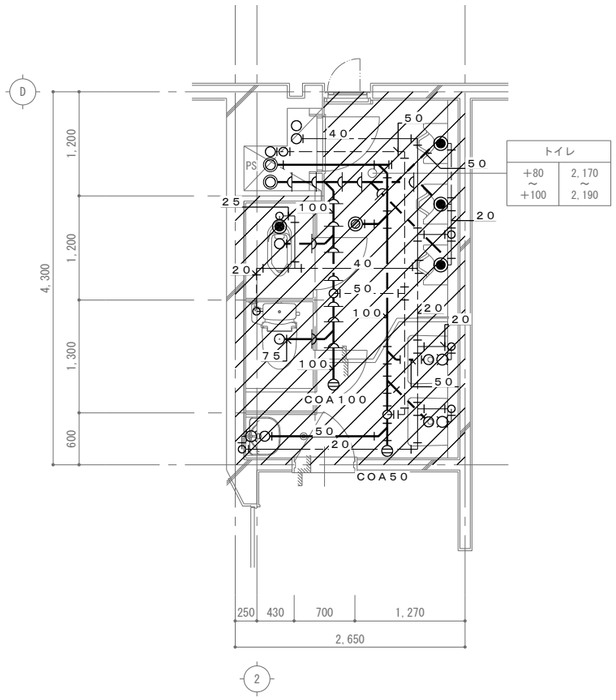


改修後　１階　防火衣洗濯乾燥機室　平面詳細図 1/50

凡例	
――――	新設配管を示す
- - - - - -	既設配管を示す
----‖★	既設管接続ヶ所を示す
―二☆	コア抜きヶ所を示す。

株式会社 松浦建築事務所	工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
TEL (0561) 32-0318	図面名称	衛生設備　改修前・後　平面詳細図－２
	縮尺	A2 1：50　A3 1：71
	製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号 松浦孔明	No.	M-049

N



改修前 ２階　トイレ　平面詳細図 1/50

凡例	
――――	既設配管を示す
//////////	撤去を示す

改修後 ２階　男性トイレ　平面詳細図 1/50

改修後 仮眠室_18(女性用仮眠室)　平面詳細図 1/50

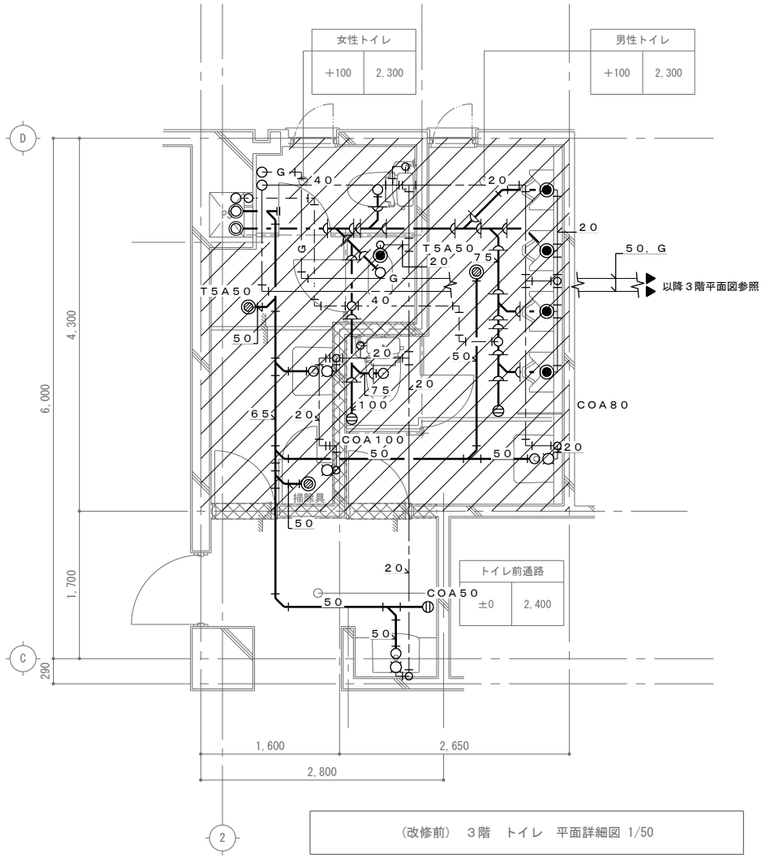
凡例	
――――	新設配管を示す
----------	既設配管を示す
------‖―― ★	既設管接続ヶ所を示す
――=☆=	コア抜きヶ所を示す。

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561) 32-0318

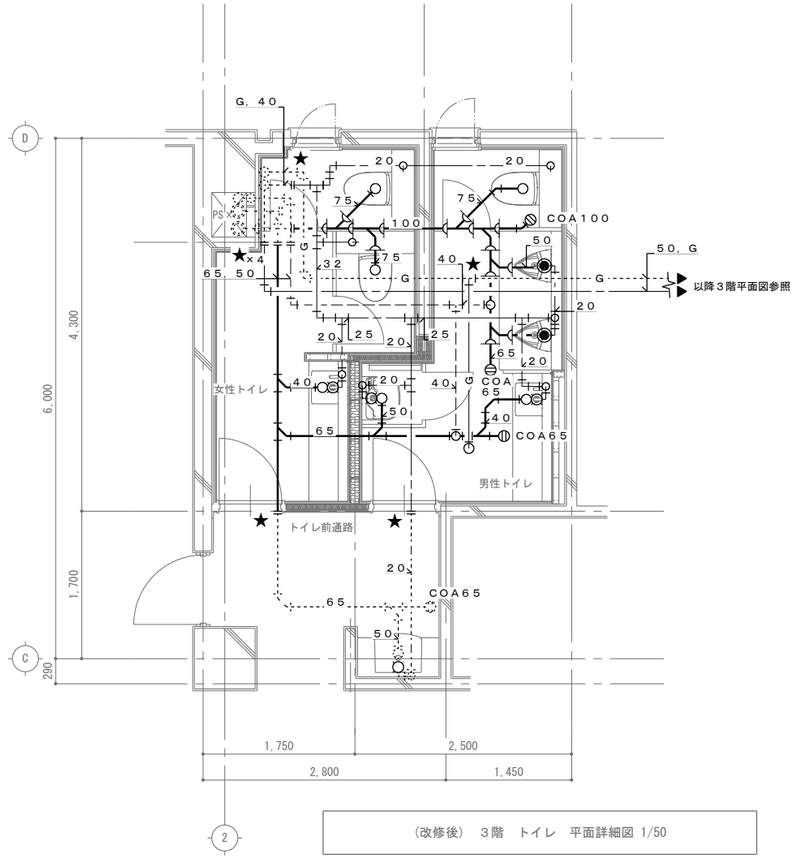
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	衛生設備　改修前・後　平面詳細図－３
縮尺	A2　1：50　A3　1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	M-050

N



（改修前）　３階　トイレ　平面詳細図 1/50

凡例	
――――	既設配管を示す
//////////	撤去を示す



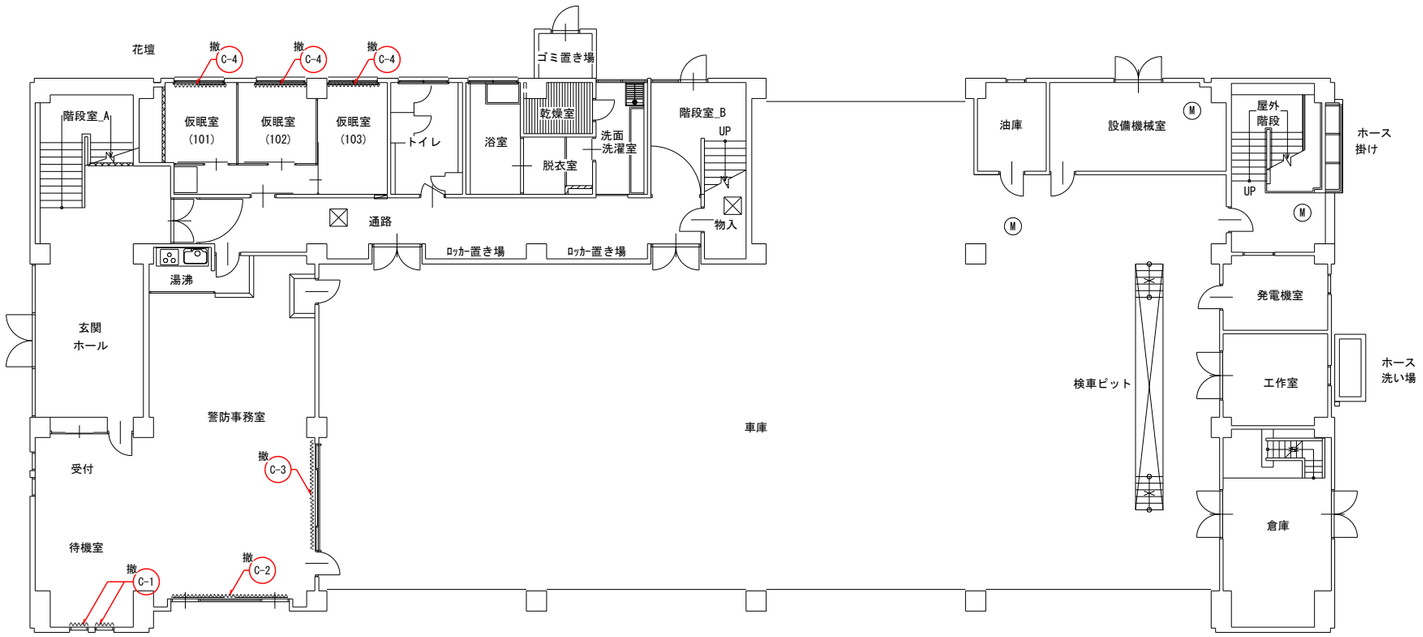
（改修後）　３階　トイレ　平面詳細図 1/50

凡例	
――――	新設配管を示す
- - - - - -	既設配管を示す
----★----	既設管接続ヶ所を示す
―――☆―	コア抜きヶ所を示す。

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561) 32-0318

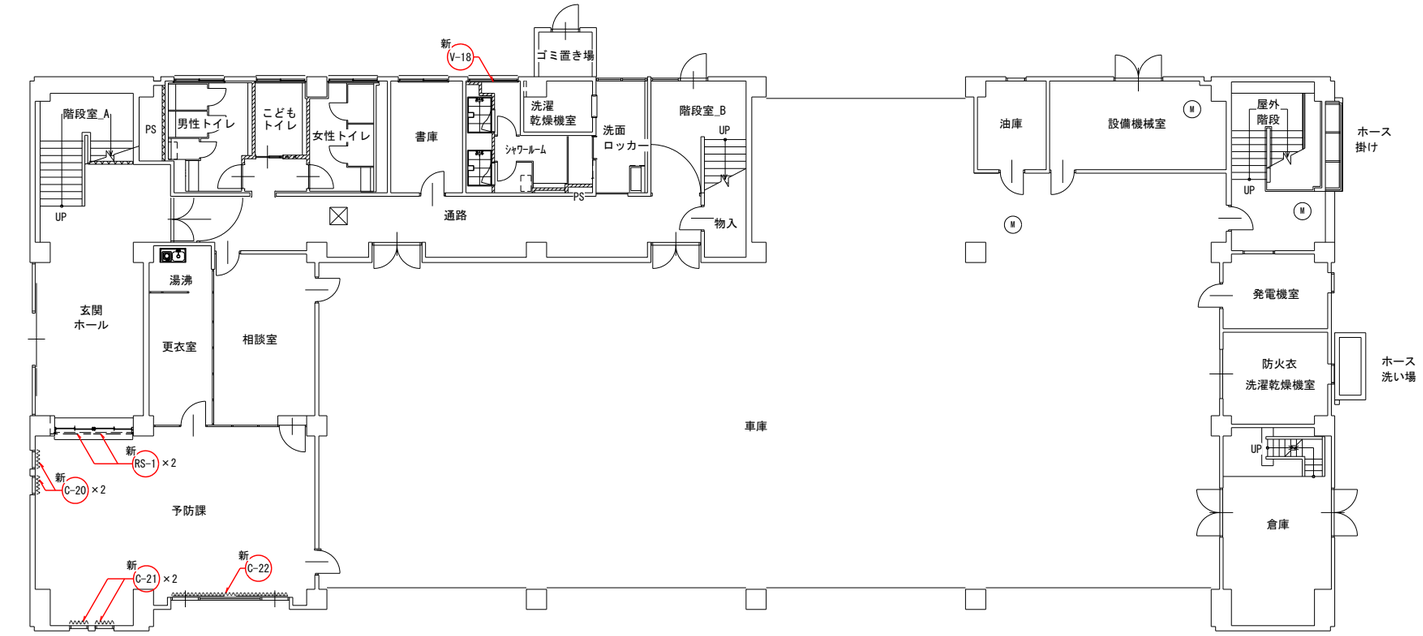
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	衛生設備　改修前・後　平面詳細図－４
縮尺	A2　1：50　A3　1：71
製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明
No.	M-051



改修前　１階平面図　1/150

室名	凡例	寸法	数量	仕様	処置
待機室	C-1	550 x 1,410	2	カーテン(2倍ヒダ)	撤去
警防事務室	C-2	4,000 x 1,850	1	カーテン(2倍ヒダ)	撤去
	C-3	3,630 x 1,260	1	レース(1.5倍ヒダ)	撤去
仮眠室(101-103)	C-4	1,640 x 1,080	3	カーテン(2倍ヒダ)	撤去

撤○：撤去



改修後　１階平面図　1/150

室名	凡例	寸法	数量	仕様	処置
警防事務室	C-20	650 x 1,260	2	カーテン(2倍ヒダ)	新設
	C-21	550 x 1,260	2	カーテン(2倍ヒダ)	新設
	C-22	4,000 x 1, 850	1	カーテン(2倍ヒダ)	新設
	C-23				
	RS-1	1,320 x 1,315	2	ロールスクリーン	新設
シャワールーム	V-18	1,640 x 1,080	1	ブラインド	新設

新○：新設

※カーテンのレールは全て撤去新設

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561) 32-0318

工事名称　長久手消防署庁舎大規模改修工事

図面名称　（改修前後）
1階　カーテンブラインドリスト

縮尺　A2　1：150
A3　1：212

製図　令和08年03月

１級建築士
登録第92794号　松浦孔明

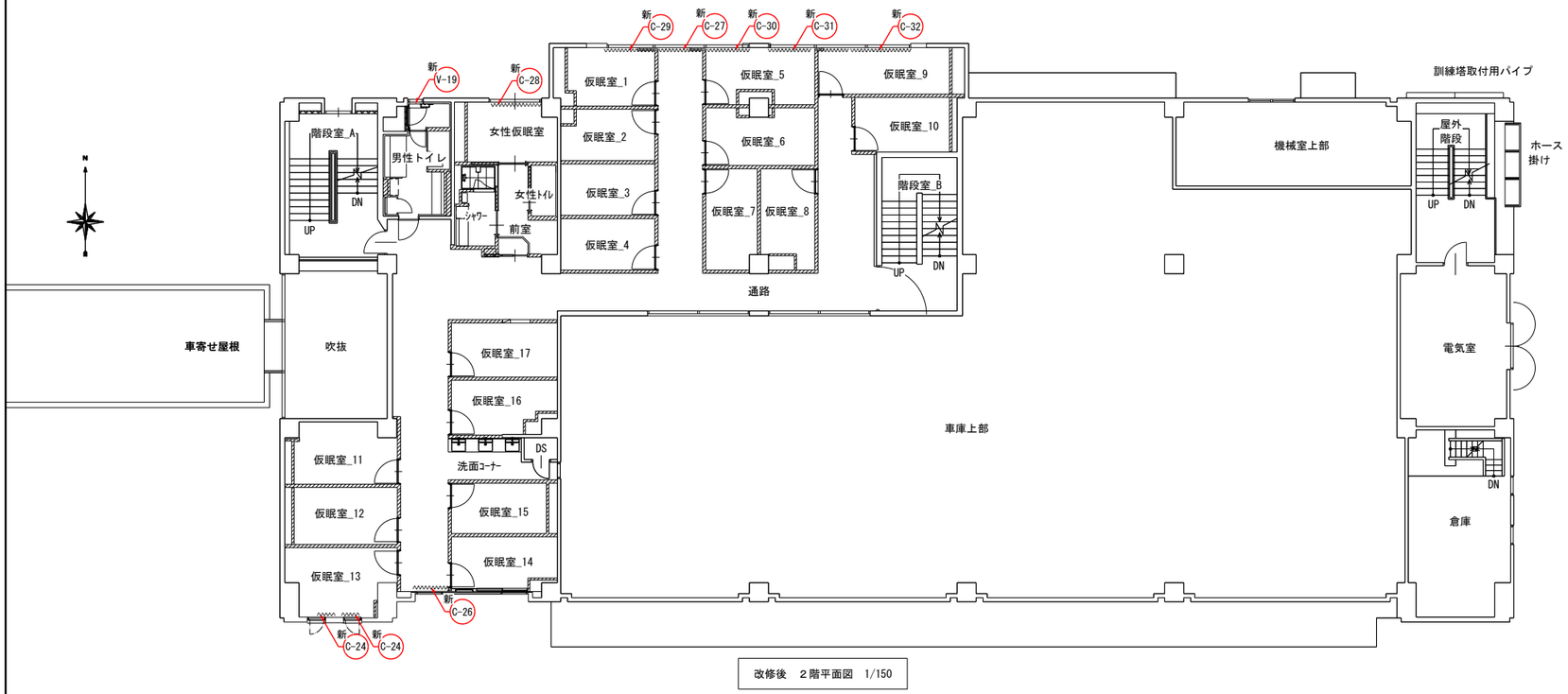
No. W-001



改修前　２階平面図　1/150

室名	凡例	寸法	数量	仕様	措置
指令室	V-1	4,000 x 1,360	1	バーチカルブラインド	撤去
仮眠室(212)	C-5	550 x 1,460	2	カーテン(２倍ヒダ)	撤去
仮眠室(201)	C-6	1,800 x 1,100	1	カーテン(2倍ヒダ)	撤去
仮眠室(207)	RD-1	1,800 x 1,100	1	レース+ドレープ(2倍ヒダ)	撤去
通路	RD-2	3,300 x 1,100	1	レース+ドレープ(2倍ヒダ)	撤去
	RD-3	4,200 x 1,100	1	カーテン(2倍ヒダ)	撤去
仮眠室(211)	C-7	900 x 1,100	1	カーテン(2倍ヒダ)	撤去

撤 ○ ：撤去



改修後　２階平面図　1/150

室名	凡例	寸法	数量	仕様	措置
仮眠室_13	C-24	550 x 1,260	2	カーテン(2倍ヒダ)	新設
~~仮眠室_14~~	~~C-25~~				
通路	C-26	2,900 x 1,460※	1	カーテン(2倍ヒダ)	新設
	C-27	1,800 x 1,300※	1	カーテン(2倍ヒダ)	新設
女性仮眠室	C-28	1,800 x 1,100	1	カーテン(2倍ヒダ)	新設
仮眠室_1	C-29	2,065 x 1,300	1	カーテン(2倍ヒダ)	新設
仮眠室_5	C-30	1,535 x 1,300※	1	カーテン(2倍ヒダ)	新設
	C-31	1,535 x 1,300※	1	カーテン(2倍ヒダ)	新設
仮眠室_9	C-32	3,660 x 1,300※	1	カーテン(2倍ヒダ)	新設
男性トイレ	V-19	450×1,100	1	ブラインド	新設

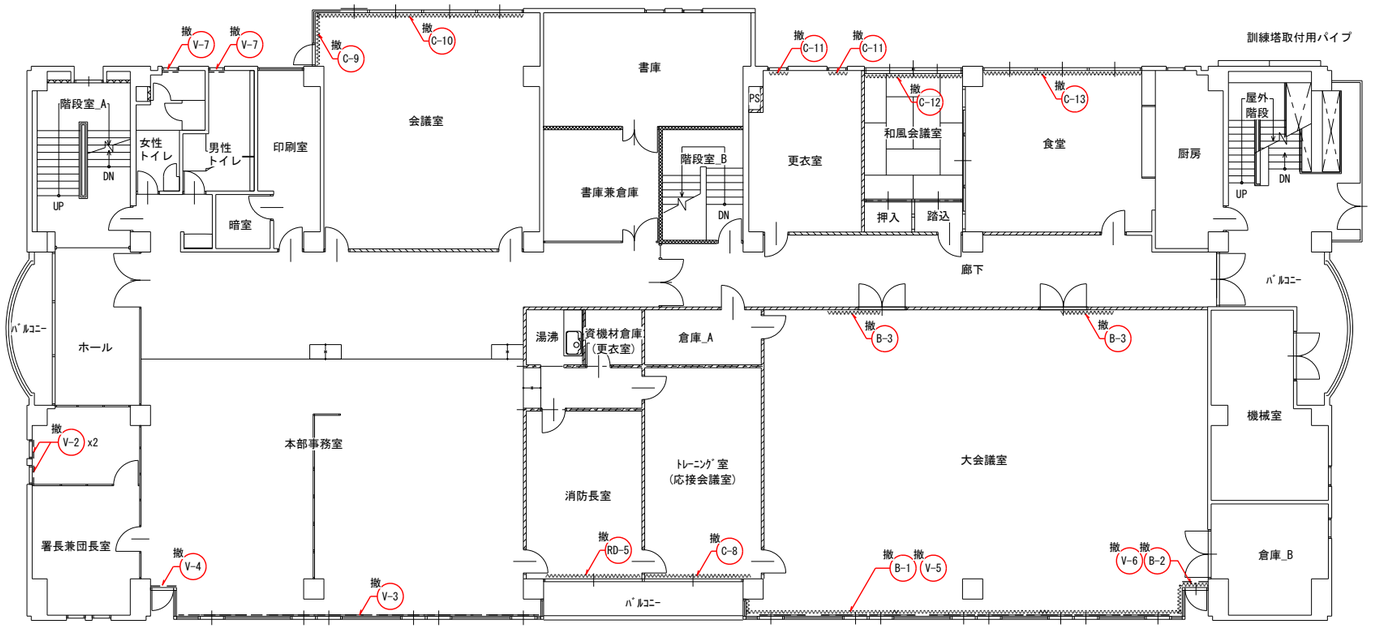
※寸法は参考数値

新 ○ ：新設

※カーテンのレールは全て撤去新設

株式会社　松浦建築事務所
ＴＥＬ　(0561) 32-0318

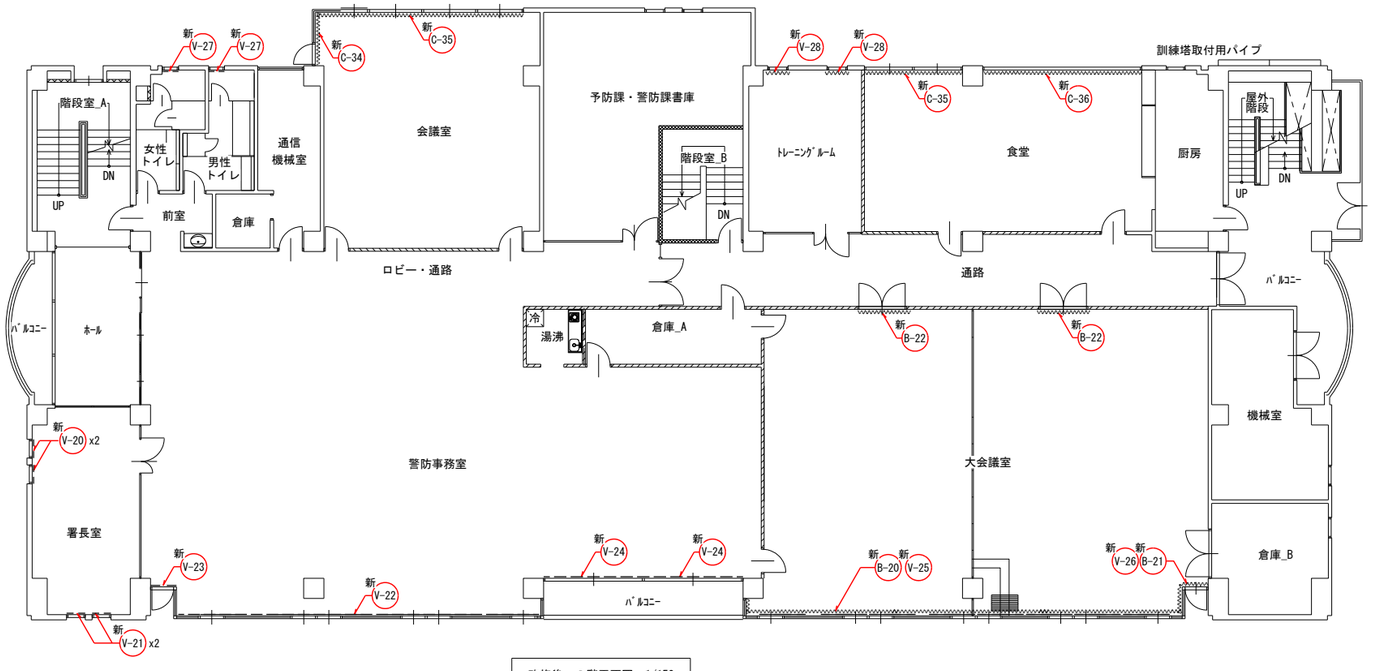
工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事		
図面名称	（改修前後） 2階　カーテンブラインドリスト	縮尺	A2 1：150 A3 1：212
		製図	令和08年03月
1級建築士 登録第92794号	松浦孔明	No.	W-002



改修前　３階平面図　1/150

室名	凡例	寸法	数量	仕様	措置
署長兼団長室	V-2	550 x 1, 600	2	ブラインド	撤去
本部事務室	V-3	12, 525 x 1, 800	1	ブラインド	撤去
	V-4	880 x 2, 60	1	ブラインド	撤去
消防長室	RD-5	3, 355 x 2, 000	1	レース+ドレープ(2倍ヒダ)	撤去
応接会議室	C-8	3, 355 x 2, 600	1	カーテン(1. 5倍ヒダ)	撤去
講堂（大会議室）	B-1	14, 300 x 1, 800	1	暗幕	撤去
	B-2	880 x 2, 600	1	暗幕	撤去
	B-3	1, 600 x 2, 150	2	暗幕	撤去
	V-5	14, 300 x 1, 800	1	ブラインド	撤去
	V-6	880 x 2, 600	1	ブラインド	撤去
男性・女性トイレ	V-7	450 x 1, 100	2	ブラインド	撤去
会議室	C-9	1, 840 x 1, 700	1	カーテン(2倍ヒダ)	撤去
	C-10	7, 150 x 1, 700	1	カーテン(2倍ヒダ)	撤去
更衣室	C-11	800 x 1, 400	2	カーテン(1. 5倍ヒダ)	撤去
和風会議室	C-12	4, 600 x 1, 700	1	カーテン(2倍ヒダ)	撤去
食堂	C-13	5, 540 x 1, 800	1	カーテン(2倍ヒダ)	撤去

撤○：撤去



改修後　３階平面図　1/150

室名	凡例	寸法	数量	仕様	措置
応接コーナー	V-20	550x1, 600	2	ブラインド	新設
	V-21	650x1, 600	2	ブラインド	新設
警防事務	V-22	12, 525x1, 800	1	ブラインド	新設
	V-23	880x2, 60	1	ブラインド	新設
	V-24	3, 355x2, 600	2	ブラインド	新設
講堂（大会議室）	B-20	14, 300x1, 800	1	暗幕	新設
	B-21	880x2, 600	1	暗幕	新設
	B-22	1, 600x2, 150	2	暗幕	新設
	V-25	14, 300x1, 800	1	ブラインド	新設
	V-26	880x2, 600	1	ブラインド	新設
男性・女性トイレ	V-27	450 x 1, 100	2	ブラインド	新設
会議室	C-35	1, 840 x 1, 700	1	カーテン(2倍ヒダ)	新設
	C-34	7, 150 x 1, 700	1	カーテン(2倍ヒダ)	新設
トレーニングルーム	V-28	800 x 1, 100	2	ブラインド	新設
食堂	C-35	4, 600 x 1, 800	1	カーテン(2倍ヒダ)	新設
	C-36	5, 540 x 1, 800	1	カーテン(2倍ヒダ)	新設

新○：新設

※カーテンのレールは全て撤去新設

株式会社　松浦建築事務所

ＴＥＬ　(0561)　32-0318

工事名称	長久手消防署庁舎大規模改修工事
図面名称	（改修前後） 3階　カーテンブラインドリスト
縮尺	A2　1：150 A3　1：212
製図	令和08年03月

１級建築士
登録第92794号　松浦孔明

No. W-003